

フューチャーフォース プリキユア

ブレード

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

かつて全世界と全宇宙の平和を守ったプリキュア達。ファイナルウオーでハデユス率いるインフェルノとの戦いでプリキュアの力を失い、パートナーの妖精も失い、最愛の仲間だったひかり、亜久里、ことは、はぐたんは自ら犠牲となって消滅し、存在しなくなった。そしてあれから10年、ハデユスの攻撃で人間界（地球）は復興を着々と進んでいるが、再びインフェルノが現れた。そこで新たなプリキュアが現れ、歴代プリキュアの力とかつて全世界と全宇宙を守ったジャスティスヒーローの力を使って戦う。

この物語は歴代プリキュアの力とアベンジャーズなど元にしたヒーローの力を使っ

て戦う物語です。主人公は小学生です。スタートトゥインクルプリキュアの参戦はまだわかりません、物語次第で出して決めたいと考えてます。

目次

第一部

プロローグ

設定1

第1話 始まりの日

第2話 伝説の戦士と伝説の英雄の力

第3話 未来を切り開く勇気の力!!

キュアマジック!!

第4話 ピンチ、プリキュア絶体絶命

第5話 未来へ導く希望の光!! キュア

ジャック!!

177

153

107

62

30

6

1

第6話 プリキュア、北米に立つ

215

設定2

第7話 デトロイトの夜の戦い

250

第8話 アトランタの激闘

第9話 かつての戦敵の再会

第10話 激闘のニューヨーク前編

322

第11話 激闘のニューヨーク後編

346

設定3

第12話 敵はプリキュア

388

374

242

280

306

第13話	炎と氷のヒーロー	417	第23話	修行の果てに	710
第14話	母の日を込めて	449	第24話	闘魂	738
第15話	将来	485	設定6		783
第16話	狙撃手を倒せ	512	第25話	最強の吸血鬼	793
第17話	新たな敵の来襲	536	第26話	2人のハンター	829
第18話	絶望の戦い	566	第27話	吸血鬼との決着	845
設定4		590	第28話	暴虐	875
第19話	未来を信じる誠実の心!!	606	設定7		888
キュアクイーン!!		606	第29話	ぶつかり合う戦い	899
第20話	クイーンンの秘密	629	第30話	堕ちたプリキュア	934
設定5		655	第31話	3人の過去	957
第21話	己の弱さ	670	第32話	大貝町へ	975
第22話	強くなるためには	695	第33話	電撃の激闘	992

第34話	復活の4人のプリンセス	1021
第35話	ダイヤモンドを砕け	1045
第36話	分かり合うために	1067
設定8		1105
第37話	龍の君臨	1151
第38話	プリキュア全滅	1143
第39話	観星町へ	1177
第40話	スタートウインクルプリ	1191
キュア		
設定9		1224
第41話	共鳴	1248

第42話	ヴァンガードヒーロー	
フォーム		
第43話	アルフォート	1312
第44話	3人の想い	1339
設定10		1370
第45話	ゴール三姉妹	1380
第46話	レヴォリユード	1413
第47話	居場所	1446
第48話	母との再会	1475
第49話	中東へ	1500
第50話	2人の母のかつての友	1517
第51話	東京大パレードピック	

1728	第59話	新たな決意とスタート	1705
	第58話	完全敗北	1683
	第57話	魔王君臨	1659
	第56話	宿命の決着	1639
	第55話	宿命の再戦	1625
	第54話	東京激戦	
1605	第53話	さらば11人の幹部	1580
	の猛威		
	第52話	激戦、インフェルノ幹部達	1573
	設定11		
	1551		

第二部

	設定12		
	第60話	新たな戦いへ	
	第61話	プリキュアの再動	
	設定13		
	第62話	旅立ちへ	
	第63話	共に戦う	
	第64話	次元内の戦い	
	設定14		
	第65話	救出	
	第66話	ヴァイド	
	第67話	ヴァイドの戦い	
	第68話	レーシング	

第87話 対決、ジャイアントレア

2407

第88話 圧倒

2416

第89話 ジャステイスヒーローの戦

い

第90話 シン・ハデユス

2462

第91話 レヴオリユードとの決着

2486

第92話 最終決戦

最終話

2515

2499

第一部

プロローグ

プロローグ

10年前起きたファイナルウォーとの戦いでプリキュア達は力を失い、地球各地はハデウスとインフェルノの被害によって壊滅的なダメージを受けた。10年後の今、着々と復興が進んでいるが、以前みたいに明るいような雰囲気はなく、街全体の雰囲気は暗く、元気もなく、悲しみに満ちた社会になっていた。そんな中、ある1人の人物がある動きをしていた。

アメリカ

ロッキー山脈

WJG司令部

司令部

ヴァレリアン「……………」

WJGの新しい長官のヴァレリアンは、インフェルノが再び動き出してきた事に察知し、彼は日本へ向かわせるためにある者に行かせようとする。

麗奈「入ります。」

ヴァレリアン「麗奈か、元気だったか。」

麗奈「ここでは長官です。それとお呼びでしょうか？」

ヴァレリアン「インフェルノが再び動き出そうとしている。奴らは日本のあさぎ市に現れようとしている。あさぎ市には既にWJGのメンバーがいる。彼女と一緒に行動してくれ。」

麗奈「了解です、長官。」

ヴァレリアン「今から新たなプリキュアが誕生する。」

ヴァレリアンの口から出てきた新たなプリキュアの誕生する意味。異世界のアスゴルド王国では、新たなプリキュアの誕生に3匹の妖精が人間界のあさぎ市に着いた。

日本

あさぎ市

トットム「オーズイーン様と閻魔様が新しいプリキュアが誕生すると聞いてやって来たぜ。」

ペル「本当にこの人間界に新しいプリキュアがあるのかな？」

アーニヤ「メップルさん達妖精達はいまフェアリージュエルにいと聞いてこの人間界の世界に散らばっていると聞いていますわ。」

トットム「人間界には正義の組織みてえなW J Gとかがいるみてえだぜ。」

ペル「既に1人新しいプリキュアは誕生してW J Gにいるようです。」

アーニヤ「今W J Gが集めたプリキュライドジュエルやヒーローライドジュエルもあるようね。」

トットム「おいら達も頑張つてやろうじゃねえの。」

そしてここは日本のあさぎ市では、自宅から学校へ通う2人の小学生の少女がいた。

桃園家自宅

アイカ「じゃあ行ってきます。」

はるな「学校へ行ってくるね。」

せつな「2人とも行ってらっしゃい。」

ラブ「アイカ、はるな、ママも今からお仕事行くね。」

ラブとせつなの間で生まれた双子の娘、アイカとはるな。2人は小学生4年生で、ア
リーナ学園小等部に通っており、今から学校へ通いにいく。

アリーナ学園

屋上

咲耶歌「じゃあ今からマジックショーやるよー。」

後ろに二つに結んだ真紅の長髪した中学生の少女、名前は天爛咲耶歌。彼女はマジックが大好きで、クラスのみんなに自分のマジックを披露し、手でトランプマジックで十数枚のトランプを並べて、スペードのエースの絵柄のカードを隠して、どこにあるか見つけ出させて、クラスの生徒が12番目のカードを取り出したらダイヤの絵柄の5で、スペードのエースの絵柄のカードは20番目にあつた。

市街地

海「ここが私が暮らすところね。」

青いセミロングが特徴した少女、儀城海。先日家族と共にあさぎ市に引つ越したばかりで、ここで自分の何かを見つけようとする。

アメリカ

ロッキー山脈

W J G 司令部

格納庫

麗奈「これより出撃する。」

ロッキー山脈の司令部からカタパルトが出現し、紫の人型ロボットに操縦する麗奈は日本のあさぎ市へ向けて直ちに攻撃する。そして新たなブリキアの誕生が今ここから始まる。

第1話へ

設定1

プリキュア

桃園アイカ（9）／キュアストライク

CV：諸星すみれ（アイカツの星宮いちご）

本作の主人公。桃園ラブと東せつなの間でプリマティアル細胞性出産で生まれた双子。小学4年生で、髪型はツインテールで、元気で明るく真面目な性格、笑顔で、勉強が苦手で、成績はあまり良くない。運動は得意。家事とかも得意。嫌いな食べ物はいんじん、玉ねぎなどの野菜。2人の母親が大好き。家族ははるなと2人の母親であるのラブとせつな。

桃園はるな（9）／キュアシンシア

CV：千本木彩花（甲鉄城のカバネリの無名）

本作の主人公。桃園ラブと東せつなの間でプリマティアル細胞の同性出産で生まれた双子。小学4年生で、髪型は長髪、いつも優しい女の子で、成績は優秀でクラスで1位。運動は素早い運動神経を持つ。アイカと同様家事が得意。嫌いな食べ物はピーマン、トマトなどの野菜。2人の母親が大好き。家族はアイカと2人の母親であるのラブ

とせつな。

麗奈Ⅱブランシユネージュ（19）／キュアフエツター

CV：庄司芽香（ゲゲゲの鬼太郎6期の猫娘）

WJGのメンバー、階級は中尉。彼女はクールな性格で自分に厳しく、成績、スポーツは常に優秀で誰より優れている。剣、体術を得意とし、銃の扱い方も慣れている。弱い人を見過ごさない正義感を持ち、ハデユスを倒す事に燃やし、日々戦い続けている。家族は義父のみ。彼女にはある秘密がある。

天爛咲耶歌（14）／キュアマジック

CV：麻倉もも（マジアレコードの環いろは）

中学2年生。後ろに二つに結んだ真紅の長髪が特徴で、成績や運動は得意ではないが、マジックが大好きで、手品が得意、性格は元気で明るくドジなところがある。家族は父、姉2人、母は10年前から行方不明。

pixivの桔梗さんのオリキュアより

儀城海（14）／キュアジャック

CV：木村茉莉（フューチャーアベンジャーズのクロエ）

中学2年生。青いセミロングが特徴、成績、運動共に優秀で、冷静沈着な性格で、高級洋菓子店『セレブ堂』の社長令嬢でもあるが、彼女は自分の将来に悩んでいる。家族

は両親、兄は10年前から行方不明。

pixivの桔梗さんのオリキュアより

妖精

トットム

アスゴルド王国出身の妖精。性格は江戸っ子で口が悪く、姿は頭に鉢巻を締めたハムスター。ハデユスが再び動き出した事により、オーズインと地獄界の閻魔大王の命によりペル、アーニヤと共にフェアリアルジュエルやプリキュライドジュエルを探す事で、人間界へ向かう。

pixivの桔梗さんのオリキュアより

ペル

アスゴルド王国出身の妖精。真面目でしっかり者で、ペンギンの姿をしている。周りの人間に対してはくさんと呼んでいる。オーズインと地獄界の閻魔大王の命によりトットム、アーニヤと共にフェアリアルジュエルやプリキュライドジュエルを探す事で、人間界へ向かう。

pixivの桔梗さんのオリキュアより

アーニヤ

アスゴルド王国出身の妖精。首にネックレスを掛けたシャム猫の姿をしている。

オーズイーンと地獄界の閻魔王の命によりトットム、アーニヤと共にフェアリールジユエルやプリキュアライドジユエルを探す事で、人間界へ向かう。

pixivの桔梗さんのオリキャラより

プリキュア

キュアストライク

アイカが変身したプリキュア。髪型はピーチと同じ金髪のツインテール、衣装はピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスで、素のパンチとキックが強い。歴代プリキュアやジャスティスヒーローの力に変身する能力を持つ。

変身時の名乗り「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

必殺技

プリキュア・ストライクサンシャイン

ストライクの必殺技。両手からピンクのハート型光線を放つ。相手を浄化または撃破する。

キュアシンシア

はるなが変身したプリキュア。髪型はパッションと同じピンクのロングヘア、衣装は赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスで、動きとスピードが速い。歴代プリキュアやジャスティスヒーローの力に変身する能力を持つ。

変身時の名乗り「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

必殺技

プリキュア・シンシアサンシャイン

ストライクの必殺技。両手からレッドのハート型光線を放つ。相手を浄化または撃破する。

キュアフェッター

麗奈が変身したプリキュア。髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスで、バランスに優れている。歴代プリキュアやジャスティスヒーローの力に変身する能力を持つ。

変身時の名乗り「正義の剣、キュアフェッター!!」

必殺技

プリキュア・フェッターソードショット

フェッターの必殺技。パールの剣型光線を放つ。相手を浄化または撃破する。

キュアマジック

咲耶歌が変身したプリキュア。髪型はピンクのポニーテール、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスで、頭にシルクハットを被り、マジックを得意とし、ストライク、シンシア、フェッターにはない5人の分身を生み出して歴代プリキュアに

変身したり、またジャスティスヒーローに変身する能力を持つ。

変身時の名乗り「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

pixivの桔梗さんのオリキュアより

必殺技

プリキュア・マジックトランプショット

マジックがトランプを出して、敵全体に手裏剣のように投げて刺し、爆発させる。

キュアジャック

海が変身したプリキュア。髪型は青いセミロング、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスで、頭にシルクハットを被り、マジックを得意とし、マジックと同様に5人の分身を生み出して歴代プリキュアに変身したり、またジャスティスヒーローに変身する能力を持つ。

変身時の名乗りは、「未来へ導く希望の光!! キュアマジック!!」

pixivの桔梗さんのオリキュアより

必殺技

プリキュア・ジャックコインバレッツ

ジャックが指先からコインを数枚出して、光弾にして連射して相手を打ち貫く。防御力の高い敵に貫通効果を持つ。

変身アイテム

キュアートフォンチェンジャー

アイカとはるなと麗奈と咲耶歌と海が使う変身アイテム。形状はスマートフォン型で、宝石型のプリジューエルライドを装着してプリキュアに変身する。さらに歴代プリキュアやジャスティスヒーローズの力を使って変身する事も可能。また電話での通話が可能。アイカはプリキュライドジューエルストライク、はるなはプリキュライドジューエルシンシア、麗奈はプリキュライドジューエルフェッター、咲耶歌はプリキュライドジューエルマジック、海はプリキュライドジューエルジャックでそれぞれ変身する。変身時は「プリキュア・チェンジアップ!!」

武器

キュアブレードマグナム

ストライクとシンシアの武器。剣モードと銃モードの2種類の機能を持つ。

プリキュア・ストライクスラッシュ

ストライクの必殺技。キュアブレードマグナム剣モードの刀身にピンクの光状を纏いながら相手を斬撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・シンシアスラッシュ

シンシアの必殺技。キュアブレードマグナム剣モードの刀身にレッドの光状を纏い

ながら相手を斬撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ストライクショット

ストライクの必殺技。キュアブレードマグナム銃モードの銃口から多数のピンクのハート型エネルギー弾を連射して、敵全体に射撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・シンシアショット

シンシアの必殺技。キュアブレードマグナム銃モードの銃口から多数のレッドのハート型エネルギー弾を連射して、敵全体に射撃する。相手を浄化または撃破する。

キュアカタナテツポウ

フェッター専用の武器。刀モードと鉄砲モードの2種類を持つ。

プリキュア・フェッターザンバー

フェッターの必殺技。キュアカタナテツポウ刀モードの刀身からパープルの光状を纏いながら斬撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・フェッターショット

フェッターの必殺技。キュアカタナテツポウの鉄砲モードの銃口から多数のパープルの剣型エネルギー弾を連射して、敵全体に射撃する。相手を浄化または撃破する。

マジックステッキスピア

マジック専用武器。杖モードと槍モードの2種類を持ち。棒の横にプリキュライド

ジュエルを5つ装着する機能があり、マジックや多段変身が可能。

ジャックステッキスピア

ジャック専用武器。杖モードと槍モードの2種類を持ち。棒の横にプリキュライドジュエルを5つ装着する機能があり、マジックや多段変身が可能。

レジェンドプリキュライドジュエルその1

ブラック達プリキュアの力が宿ったアイテム。形状は宝石型。

手持ち一覧

ブラック、ホワイト、ブルーム、イーグレット、ドリーム、ミント、アクア、ベリー、プロツサム、マリン、メロディ、リズム、ハッピー、マーチ、ビューティ、ハート、ロゼッタ、ソード、エース、ラプリー、プリンセス、ミラクル、マジカル、ホイップ、ジェラート、マカロン、パルフェ、エール、アンジュ、マシエリ、アムール

ビークル

キュアライドロボ

全高：7.10m?

WJGが開発した人型機動兵器。プリキュアバスターP01の発展型で、ファイナルウオー後にて、巨大怪物との戦闘に備えて、戦闘データを参考にしながら開発が行われ、

完成したのは2機のみ。1号機はピンクとレッドのカラーリングはストライクとシンシア専用機。2号機はパープルのカラーリングはフェッター専用機。またプリキュアイドジュエルを装着して歴代プリキュアやジャステイスヒーローの能力を使う事が可能。背中に飛行ユニット、脚部にブースターが内蔵されていて、飛行が可能。

ジャステイスヒーロー

かつて全世界と全宇宙を守った英雄達。ブラック達プリキュアが誕生する前に邪悪な者達と戦っていた。現在は宝石型のヒーローライドジュエルになったり、また人間界を旅したり、地獄界の閻魔大王の配下になったりする者がいて、散らばっている。

アイゼンアロイス

CV：花輪英司

ジャステイスヒーローの1人。全身鋼鉄のアーマーの姿をしたヒーロー、全身に武装が内蔵されており、両肩から小型ミサイル、掌からビームを発射、さらにビームソードを出刃したり可能、脚部にブースター、背中に小型飛行ユニットで飛行が可能。戦闘も超人並の力を持ち、四肢にはパワージャッキがあり、格闘も得意とする。彼の前世は海外の大企業の社長だったが、とある事件で死亡して地獄界の閻魔大王によってジャステイスヒーローに転生し、現在はヒーローライドジュエルに入っており、ストライクが使用して召喚し、またストライクと一体化してキュアストライクアイゼンフォームへと

なる。

アベンジャーズのアイアンマンとシンフォギアのアームドギア響を元に

キュアストライクアイゼンフォーム

ストライクとアイゼンアロイスが一体化した姿。ストライクの全身にアイゼンアロイスの姿をしたアーマーを身に纏い、両腕にガントレット、両脚にグリーフを装着し、パワージャッキがあり、格闘を得意とする。武器はガントレットからビームを発射したり、ビームソードを出刃し、両肩から小型ミサイルを発射する。背中に飛行ユニット、グリーフにブースターがあり飛行可能。

必殺技

プリキュア・アイゼンナックル

ストライクアイゼンフォームの必殺技。両腕のガントレットのパワージャッキを起動して発光しながら相手を思いつきり殴る。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・アイゼンサンシャイン

ストライクアイゼンフォームの必殺技。両腕のガントレットのパワージャッキを起動して両手を合わせて掌から強力な光線を放ち、敵全体に喰らわせる。相手を浄化または撃破する。

フェアリアル

C V：水橋かおり

ジャスティスヒーローの1人。妖精の姿で服装はブラウスとスカートと背中に蝶の羽があるのが特徴。武器はマスケット銃で、マスケット銃を無数に召喚して、敵全体に攻撃する。掌から光弾を放ち、蝶の羽で飛行しながら素早く回り込んで駆使する。彼女はプリキュアの妖精とは違う種類で、ことはと同じ妖精で、現在はヒーローライドジュエルに入っており、シンシアが使用して召喚し、またシンシアと一体化してキュアシンシアフェアリアルフォームへとなる。

アベンジャーズのワスプと魔法少女まどかマジカのように巴マミを元に

キュアシンシアフェアリアルフォーム

シンシアとフェアリアルが一体化した姿。シンシアにフェアリアルを召喚して、攻撃を行い、ウスとスカートを着用し、背中に蝶の羽があり、マスケット銃を召喚して、攻撃を行い、無数のマスケット銃を召喚して、一斉射撃をし、あらゆる遠距離や全方位からの対応を可能とし、命中率も確実で、弾は通常弾、貫通弾、魔法弾の3種類に切り替え、掌から光弾を放ち、蝶の羽で飛行しながら素早いスピード攻撃を駆使する。

必殺技

プリキュア・フェアリアルボレー

シンシアフェアリアルフォームの必殺技。無数のマスケット銃を召喚して、敵全体に

一斉射撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・フェアリアルエアリアルアタック

シンシアフェアリアルフォームの必殺技。蝶の羽で空を飛んで素早く周りながら敵全体に突撃して、掌から光弾を放ち、さらにマスケット銃をあらゆる方位から召喚して射撃し、最後に掌から光線を放つ。相手を浄化または撃破する。

烈陣丸

CV：小西克幸

ジャステイスヒーローの1人。鎧武者の姿をし、全身に鎧を身に纏い、武器は刀型の戦烈鬼のみで、剣術を得意とし、剣技で駆使する。性格は真面目で正々堂々とし、武士道を貫き、卑怯な事を嫌う。色は黒と赤でのカラーリングで、日本武者と思わせる。麗奈とは古い付き合いで、彼女を自分の主と見ている。フェッターが使用して召喚し、またフェッターと一体化してキュアフェッター烈陣フォームへとなる。

キュアフェッター烈陣フォーム

フェッターと烈陣丸と一体化した姿。フェッターに烈陣丸の姿をした武者鎧を身に纏い、女武者と思わせ、防御力も高い。武器は戦烈鬼のみで、技に特化し、剣術を駆使してあらゆる斬撃技を繰り出して敵を撃破する。

必殺技

プリキュア閃光一戦斬り

フェッター烈陣フォームの必殺技。戦烈鬼を構えて、刀身に光を発光しながら素早く駆け込みながら敵を一刀両断する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア剣風連斬

フェッター烈陣フォームの必殺技。戦烈鬼から剣風を連続で放ち、敵を切り刻む。相手を浄化または撃破する。

プリキュア飛翔閃月

フェッター烈陣フォームの必殺技。戦烈鬼を手を持ったまま刀身を発光し、敵に向かってダツシユして斬撃し、敵を上に乗せて飛ばして、自身も昇りながら斬撃する。相手を浄化または撃破する。

ソール

CV：加瀬康之

ジャスティスヒーローの1人。神話の偉人の格好をした姿で、アスゴルド王国の王子であり、手に代々から伝わる雷槌ミヨルニアを持ち、ミヨルニアはアスゴルド王国で作られた特殊金属で作られ、上にかざして雷を降らし、さらに雷を自在に操りながら、あらゆる方向へ放つ。あらゆる気象を操り、飛行能力を持ち、超人的な肉体を持ちながらパワーもかなり高い。現在はヒーローライドジュエルに入っており、マジックが使用して

召喚し、またマジックと一体化してキュアマジックソールフォームへとなる。

アベンジャーズのマイティソーを元に

キュアマジックソールフォーム

マジックがソールと一体化した姿。マジックにソールの姿をしたフォームを纏い、雷槌ミョルニアを手にしながら雷を中心とした攻撃を得意とし、ソールと同様に気象を操り、飛行能力を持ち、高いパワーで圧倒する。

必殺技

プリキュア・ソールサンダースマッシュ

マジックソールフォームの必殺技。ミョルニアを雷で纏いながら相手に打ち込む。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ソールサンダーボルトテンペスト

マジックソールフォームの必殺技。ミョルニアから雷を放電して、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ソールライトニングサンダーブレイカー

マジックソールフォームの必殺技。ミョルニアに雷を集中させて、強力な雷光を放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。

ファイツ

C V：中谷一博

ジャステイスヒーローの1人。超人でありながら全身にプロテクターアーマーを身に纏い、顔にマスク型ヘルメットを着用し、色は青一色でカラーリングしている。格闘技と円形盾のジャステイスシールドによる戦闘を得意とする。ジャステイスシールドはプリキュアのバリア並の固さで、異世界の特殊合金で出来ている。ステータスはバランスに優れている。彼の前世は第二次大戦中のアメリカ軍の兵士だった、ある理由で地獄界の閻魔大王によってジャステイスヒーローに転生し、現在はヒーローライドジュエルに入っており、ジャックが使用して召喚し、またジャックと一体化してキュアジャックファイツフォームへとなる。

アベンジャーズのキャプテンアメリカとキン肉マンのテリーマンを元に

キュアジャックファイツフォーム

ジャックがファイツと一体化した姿。ジャックにファイツの姿をしたプロテクターアーマーを身に纏い、格闘技とジャステイスシールドによる戦闘を中心とし、得意な格闘技と盾技を駆使して敵を倒す。攻守動き共にバランスに優れている。

プリキュア・ファイツイーグルキック

ジャックファイツフォームの必殺技。ジャンプして、敵に向かって両手を広げて両脚を揃えたままキックを打ち込む。

テリーマンのテキサスコンドルキックを元に

プリキュア・ファイツエボルバスター

ジャックファイツフォームの必殺技。エルボーで相手に強く打ち込む。

プリキュア・ファイツスピンホールドアタック

ジャックファイツフォームの必殺技。相手の脚を掴んで回転して、地面に叩き込む。

プリキュア・ファイツシールドストレートナックル

ジャックファイツフォームの必殺技。ジャスティスシールドを手を持ったまま敵に

ストレートによるパンチを打ち込む。

プリキュア・ファイツシールドブーメラン

ジャックファイツフォームの必殺技。ジャスティスシールドを発光して、ブーメランのように投げて敵全体にぶち込む。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ファイツシールドシユート

ジャックファイツフォームの必殺技。ジャスティスシールドを発光して、真っ向からシユートして敵に大きく打ち込む。相手を浄化または撃破する。

インフェルノ

悪の巨大組織。組織のメンバーは人間、超人、機械生命体、アンデッド、悪魔などで

構成され、目的は全てのパラレルワールドと宇宙を支配するために征服をし、兵力は数千億の軍勢で、各部隊を編成している。本拠地はパラレルワールドにある幽魔界の幽魔要塞とアルファードの2つに置いている。

最高幹部

D r イー ジ ス

C V : 武内駿輔

インフェルノの最高幹部兼科学者の一人で、人間タイプで、外見は人間界の科学者に似ており、冷静でロジカルな性格だが、彼はマッドサイエンティストでありながら邪悪な行為を好み、D r t ラウムとは違い、冷酷な人間で生物の命を平然と人体実験を行いながら楽しみ、あらゆる非道的な実験でインフェルノを大きくし、あらゆるもの開発する。自身も戦闘形態も密かに用意してる。

ベイブレードバースト超ゼツのイベル・オックスフォード

大幹部

ジェットーム

C V : 鶴岡聡

インフェルノの大幹部兼軍事参謀の一人で、機械生命体で、外見は戦闘機の姿をした細身な体型でありながら性格は卑劣で冷酷で残忍であり、主に侵攻作戦を立てていき、

ザッパードらの上司である。機動力が高く空中戦を得意として機動力を活かした戦いを得意とし、また戦闘力も高い。背中に飛行ユニットが固定されて空中を飛び回り、両脚には加速ブースターを装備し、武器は両手にある鋭い爪と腕にミサイル、ビームブラスター。

トランスフォーマープライムのスタースクリームを元に

幹部

ステイブトン

CV：寺島拓篤

インフェルノの幹部の一人で、機械生命体で、外見は人型ロボと鉱石物を組み合わせた姿で、性格は好戦的な性格で、冷酷かつ残忍性を持ちながら無差別攻撃で人々を傷めることを楽しむ。人間界（地球）への初陣は上司のジェットームと同僚のザッパードとドラン・キュラー3世と共に出陣し、無差別攻撃を行う。武器はマシンガン、左腕にストーンブラスターを装備する。

ジウオウジャーのジャグドを元に

ザッパード

CV：小野坂昌也

インフェルノの幹部の一人で、機械生命体で、外見はSF人型ロボとパンクを組み合わせ

わせた姿で、性格は短期で粗暴で乱暴であり、相手は一般人であっても容赦はしない。彼は力押し、射撃を得意とし、武器はサブマシンガン二丁と大型ビームガトリングガン、トマホーク、トゲ型ナックルダスター、頭部に内蔵されているビームブラスターを装備する。

SDガンダムフォースのザッパードを元に

ドラン・キュラー13世

CV：鳥海浩輔

インフェルノの幹部の一人。アンデッドで、吸血鬼の姿をし、漆黒のマントにスーツ、イケメンだが口からは八重歯が生えている。マントから蝙蝠型光弾を多数放ち、武器は剣を手に持ちながら斬撃する。口の牙で相手に吸血する。表面上は紳士な振る舞いをし、口調も丁寧だが、戦闘時は冷酷な性格を表し、一般人を攻撃する。ザッパードやステイブトンとは非常に仲が良く、一緒に行動する事が多い。

pixivの桔梗さんのオリキャラより

スラツシユラー

CV：島信長

インフェルノの幹部の一人で、彼は人間タイプでありながら身体を改造し、性格はクールな頭脳派で、残忍かつ狡猾な性格の野心家であり、ザッパードとドラン・キュラー

13世とは犬猿の仲。彼は格闘、接近、頭脳戦を得意とし、武器は大型サバイバルナイフ、手甲爪アーム、右腕に仕込まれている鞭、レーザー砲アーム、両脚に仕込まれている折畳み式のダガーナイフを装備し、完全にサイボーグである。

SDガンダムフォースのグラップラーグフを元に

フラーゲン

CV：長嶺高士

インフェルノの幹部の一人で、アンデッドで、縫い目の傷が浮き彫りになっている四角く醜い顔に2メートルを優に超えそうな巨体を持つフランケンシュタインの姿をし、筋肉ムキムキでパワーは幹部の中では高く、プリキュアを追い詰める力を見せつける。知能が低いのが弱点で、スラッシュユラーによく面倒見て貰われてる。

クラッシュトロイ

CV：木村隼人

インフェルノの幹部の一人で、彼は人間タイプであり、姿は巨体で高いパワーを持ち、全身にバトルアーマーを着装し、プリキュアを圧倒するが、知能が低いゆえに性格は穏やかそうだが、戦闘時は好戦的となり、敵味方問わず無差別攻撃を行う。また彼は武器を好み、あらゆる武器を集めたり、一度の武器を全てに着装して身につけたりして全弾発射し、相手の持っている武器にも目につけたりする。武器はチェーンソー、バズーカ、

ビームバズーカ、ナパームボム、炸裂弾、大型ガトリングガン、両肩に3連ミサイルランチャー、両脚にナパームランチャー、両腰にパンツァーフアウスト、ハンマーを装備する。

SDガンダムフォースのデストロイヤードムを元に

ラミィ

CV：進藤尚美

インフェルノの幹部の一人で、アンデッドであり、全身包帯を姿をしたミイラ型女性であり、艶々とした、肩まで伸びた黒髪をし、全身から包帯を放ち、相手を攻撃、拘束し、さらに指の包帯で形成したクローで攻撃する。さらに全身の包帯を放ちながら尖った形状に変化して攻撃する。口から毒ガスを吐いたりする。彼女は卑怯な作戦を得意とし、またプリキュアの身内にも手を出したりする。

pixivの桔梗さんのオリキャラより

兵士

インフェルノ兵

インフェルノの人間タイプの一般兵。砂漠の使徒のスナツキ、幻影帝国のチヨイアークとは違い、こちらは人間界と同じ人間の姿で、異世界のアルファートから徴兵として集められている。服装は兵服で、頭にドイツ軍風の軍用ヘルメットを着用し、射撃

武器はマシンガン、近接武器はトンファーのみ。

第二次世界大戦のドイツ兵、ファイナルファンタジー7の神羅兵を元に

スカルトイ

インフェルノの骸骨兵。アンデッドで、骸骨の姿をし、鎧を身に纏いながら剣で攻撃する。

前作のファイナルウオーからの引き続き参戦

ゾンビーン

インフェルノの一般兵。設定はファイナルウオーと同じで、ゾンビの姿をして身体は腐敗しているのが特徴で、爪で引っ搔く、口で噛み付いて毒液を吐いたりする。

デユラハーン

インフェルノの騎士型の一般兵。設定はファイナルウオーと同じで、首なし騎士の姿にして武器は剣、斧、盾を持っているのが特徴。

バトル

インフェルノの蝙蝠型の一般兵。設定はファイナルウオーと同じで、蝙蝠の姿をして鋭い牙で噛み付いて口と翼から音波を放って、集団で組んで襲撃する。

マシンソルジャー

インフェルノのロボットタイプ的一般兵。設定はファイナルウォーと同じで、ロボットの姿をしてるが、武器はクエイルライフルソード、さらにバズーカやトマホークを加えた。

仮面ライダービルドのガーディアンを元に

レジェンドプリキュア

桃園ラブ(33) / キュアピーチ

アイとはるなの母親。せつなど2人で仲間達と決別し、ファイナルウォー終結後の大晦日の日にアイカを生み、母親となる。現在はあさぎ市の職員として働いている。休日には家族と過ごす事が多い。

桃園せつな(33) / キュアパッション

アイとはるなの母親。ラブと2人で仲間達と決別し、ファイナルウォー終結後の大晦日の日にはるなを生み、母親となる。現在は家事全般をしている。休日に家族一緒にドーナツを作って楽しく食べたりする。

春野はるか(26) / キュアフローラ

元キュアフローラ。ファイナルウォーでプリマティアル細胞を失い、現在はアリーナ学園小等部の教師を務めている。ラブとせつなの双子の娘であるアイカとはるなのクラスの担当でもあり、2人のことをいつも見守っている。

第1話 始まりの日

フアイナルウォーの壮絶な戦いから10年、町の復興は進んでいく中、昔みたいなるようなのはなく、暗い雰囲気、ハデユスのもたらした被害はとてつもなく、企業の打撃や倒産などをはじめ、機関や組織なども壊滅し、国は消滅し、さらに日本を含めた世界各地で略奪や暴動、内戦などが起きたりした。そして今10年経った今、世界全体は暗く、悲しみに満ちていた。そんな中、ハデユスの被害から必死で復興に力を明るく豊かで生きていける町、あさぎ市。この町は復興に全てを注ぎ、皆が誰もが暮らせる町となった。

あさぎ市

アリーナ学園

校庭

アイカ、はるな「おはよう。」

アイカとはるなは学校に到着し、校門を通って生徒達に挨拶をかけていき、2人はい

つも笑顔で見せた。2人の笑顔に周りの生徒や教師も挨拶をし、2人はいつも元気で喜んだ。

はるか「アイカちゃん、はるなちゃん。」

アイカ「はるか先生、おはようございます。」

はるな「はるか先生、今日も1日笑顔で満開です。」

はるか「ごきげんよう。2人はいつも元気で明るく笑顔だね。」

アイカ「はい。」

はるな「私とアイカはいつも一緒です。」

アイカ「はるないつも仲良し双子なんだよ。」

はるか「2人はいつも仲良しだね。」

アイカとはるなの双子はいつも一緒に仲良しで、その明るい笑顔と元気が2人の特徴である。2人のクラスの担任はかつてはキュアフローラとして戦った春野はるか。今はハデユスとの戦いでプリンセスパフォームの代わりだったプリマティアル細胞を失い、現在はアリーナ学園小等部の教師をしている。そんな平和な町に忍び寄る魔の手が迫ろうとしていた。ここはパラレルワールドの幽魔界、背景は暗闇で真っ暗な世界で、

外は不気味な木、いくつかの墓地があり、そこには巨大な要塞である幽魔要塞が高くそびえ立ち、そう、10年前プリキュアと死闘を繰り広げたインフェルノの本拠地だった。中の大きな広い居間にはインフェルノの幹部らが集まっていた。

幽魔界

幽魔要塞

居間

ステイブトン「さっさと人間界へ侵略しに行こうぜ!!」

ジェットーム「ステイブトン、おめえは早とちりすんな!!俺は上司だぞ!!」

ザッパード「ジェットーム様、ステイブトンは早く人間界を行きたがって侵略したいそうですよ。」

ドラン・キュラー3世「私もザッパードもステイブトンと同じで人間界侵略を楽しみにしております。」

居間にいるインフェルノの幹部ら、人型ロボと鉱石物を組み合わせた機械生命体のステイブトン、パンク風のSF人型ロボのザッパード、ドラキュラの姿をしたドラン・キュラー3世、大幹部は人型ロボと戦闘機の組み合わせた姿をした細身な体型のジェツ

トームだ。

ジエットーム「俺もだよ、早く人間界を侵略してハデユス様を喜ばせてやりたいと思ってるんだ。」

ステイブトン「ジエットーム様も人間界からプリキュアがいなくなった今がチャンスだ。」

ジエットーム「パラレルワールドでWJGのプリキュアが今最高幹部の方々が戦ってる間に人間界へ侵略するチャンスだ。」

ザッパード「ようやく人間界からプリキュアがいなくなった今が絶好だ。」

ドラン・キュラー3世「では私達もそろそろ人間界へ参ろうとしましょうか。D r
イージス様。」

D rイージス「任せろ。」

人間の科学者はインフェルノの最高幹部であるD rイージスは、人間界へのゲートを開くため次元発生装置を起動して、人間界への扉を開き、ジエットームを初めとするインフェルノの幹部らは早速部隊を率いて向かった。10年ぶりに動き出したインフェルノが平和な日々を打ち壊そうとする。それから、人間界では早速授業を終えたアイカ

とはるなは自宅へ帰りに向かった。

あさぎ市

市街地

アイカ「今日も授業終わったね。」

はるな「おうちに帰って、せつなママがまつてるから。」

アイカ「今日の夜ご飯なんだろう。」

はるな「せつなママがきつといいもの料理してくれるんだろう。」

アイカ「なんだか楽しみだね。」

2人は今日の夕食が何か楽しそうにしていた。2人が歩く中、そこで母親のせつなに会った。

せつな「アイカ、はるな。」

アイカ、はるな「せつなママ。」

せつな「あら、2人は学校終わったばかりね。」

アイカ「もしかして今から買い物？」

せつな「そうね、せっかくだから一緒に行かない？ラブママも後で来るから。」
はるな「ラブママも。」

せつな「仕事が終わったら来るから、スーパーで待ち合わせよ。」

アイカ「家族一緒にスーパーね。」

せつなと一緒にスーパーへ向かうアイカとはるな。早速スーパーに到着し、アイカとはるなのもう1人の母親のラブが来るの待つ。

スーパーマーケット

外

アイカ「ラブママ、そろそろかな？」

はるな「もうじきみたいね？」

ラブ「おい。」

せつな「ラブ。」

ラブ「今仕事終わったところよ。」

アイカ「おつかれ。」

はるな「お疲れ様。」

ラブ「もう疲れたよ。」

せつな「ラブ、お疲れ様。アイカもはるなもお疲れ様。一緒に買い物して私が3人のためにハンバーグ作ってあげるわ。」

アイカ「わーい。」

はるな「私、楽しみー。」

夕食がハンバーグだと喜ぶアイカとはるな。楽しい家族と一緒の時間に魔の手が迫った。同じ頃、幽魔界からゲートを通じて人間界のあさぎ市へ到着したジエットームらの率いる部隊。

あさぎ市

市街地

ジエットーム「ここが人間界か。」

ステイブトン「待ちに待ってたぜえー!!」

ザッパード「こいつは丁度絶好調だ。」

ドラン・キュラー3世「ふっ、初めて開幕のようでありますな。」

初めて人間界へ到着したジェットームら。彼らの姿に偶然いたパトカーから降りた警官が拳銃を出した。

ジェットーム「？」

警官「止まれ、そこの怪しい者達よ、すぐに武器を捨てろ!!」

ステイブトン「俺達に向かってそんな口をするとはいいい度胸じゃねえかよ!!」

早速、ステイブトンが左腕のストーンブラスターからビームを警官に向けて放った。

警官「うわあああああー!!」

ステイブトンのビームを喰らった警官は飛ばされ、同時にインフェルノの部隊の兵達が攻撃をし始めた。

ラブ、せつな「?!」

アイカ「どうしたの？」

爆音が聞こえたラブとせつなはすぐに走って向かったが、街に10年ぶりに姿を現したインフェルノが再び動き出したのを目の当たりにする。

ラブ「インフェルノ・・・!!」

せつな「まさかもう動き出したのね・・・!!」

かつて10年前に世界を脅威に晒したインフェルノが再び姿を現した事で、平和を保った10年が打ち壊され、再び争いが起き始めた。

男性1「うわぁー!!」

女性1「きゃぁー!!」

インフェルノの兵達よる人々と市街地を襲撃し始め、ゾンビーンが口から毒液を吐いて、建物を溶解し、デユラハーンが剣で一般人を斬り、バトルの集団が逃げ回る人々に噛みつきをし、マシンソルジャーがトマホークを振り回して車など破壊したりした。

アイカ、はるな「あつ、あああつ。」

まだ小学生のアイカとはるなは、目の前に起きている事で、今まで日常的に暮らしていたのが、怪物という存在を目の当たりに恐怖に怯えた。

はるか「ラブさん、せつなさん!!」

ラブ「はるか!!」

はるか「10年前現れたインフェルノがまた姿を現したんですね。」

せつな「インフェルノはみんなの力を封じ、さらに妖精達やひかりや亜久里やことはやばぐたんが犠牲にしても止められなかった。」

はるか「ハデユスが今動き出した事ですね。」

ハデユスが再び動き出した事に察知するはるか。彼女達の前にインフェルノの幹部らが警官を死に至ぶりながら楽しんでいく姿を表した。

警官1「うわあああああー、嫌だ、死にたくないー、母さん!!」

ジェットームらに死に至る傷を負わされた警官が泣きながら叫び、今殺されようとする

る。

ジェットーム「俺達に歯向かうとはいいい度胸ねえか、お前。」

警官「わあああああー!!」

ジェットーム「トドメと行こうか!!」

ジェットームが手の鋭い爪で警官にトドメを刺して、殺害し、平然とした姿をした。

ラブ、せつな「……………」

はるな「ママ……………」

ジェットームらインフェルノの幹部らが平然と人を殺害して楽しむ姿に怒りを表したラブとせつなは、

せつな「はるか、2人をお願い。」

ラブ「あたしとせつなは戦いにいく。」

はるか「戦うんですか……………」

ラブ「今戦えられるプリキュアはあたしとせつなだけ。だから今やらなきゃ世界が支配されてしまう。」

せつな「行ってくるわ。」

はるかに娘を任せて、ラブとせつなは再び戦いに出るため町を無差別攻撃しているインフェルノの部隊に立ち向かった。

ジェットーム「なんだてめえらは?!」

ラブ「あんた達を倒しに来た。」

せつな「これ以上みんなを傷つけるなら私達が相手よ!!」

ラブとせつなが自分達のリンクルンを出し、再びプリキュアに変身をし始めた。

ラブ、せつな「チェインジ・プリキュア・ビートアップ!!」

再びプリキュアに変身した2人は、ジェットームらインフェルノの面々に挑みにかかった。

アイカ、はるな「あああつ。」

アイカとはるなは2人の母親がプリキュアだった事に驚いた。

ピーチ、パッション「・・・。」

ジエットーム「お前からプリキュアだったのかよ?!まさか生き残りがいたとは。」

ザツパード「今からぶちのめしてやるぜ!!」

ドラン・キュラ13世「あなた達いや貴様らを斬り殺してあげようか!!」

ステイブトン「プリキュアって事はいい獲物じゃねえかよ!!」

ジエットーム「おめえら、かかれ!!」

再び闘いの場から現れたピーチとパッションの前にステイブトン、ザツパード、ドラン・キュラ13世とその兵達が一斉にかかってきた。

ピーチ、パッション「!!」

接近してくるデュラハーンを2人がパンチで殴り飛ばして、ゾンビーンにぶつけ、空中から来るバットルの集団をパッションがパッションがパッションツヴァイガンで撃ち落とし、ピーチがあるピーチツヴァイブレードでマシンソルジャーに斬撃した。

ザッパード「野郎!!」

ザッパードがサブマシンガン二丁を両手に持ったまま2人に射撃する。ピーチがピーチツヴァイブレードで全弾切り払い、パッションが空中からキックでザッパードに打ち込んだ。

ドラン・キュラー3世「シャアアアアアー!!」

ドラン・キュラー3世が剣を手に持ったまま素早く駆けながら2人に向かって斬りにかかってきた。ピーチがドラン・キュラー3世の

動きを見切り、すぐにピーチツヴァイブレードで振り込んで、ドラン・キュラー3世の動きを牽制した。

ジェットーム「なっ?!」

自分の配下と兵がたった2人のプリキュアに一瞬で倒されたのに驚愕するジェットーム。

ステイブトン「てめえらなんぞここで俺が相手をしてやる!!」

ステイブトンがピーチとパッションに向かって、ストーンブラスターからビームを放って攻撃をしたが、2人には全く効いておらず、ステイブトンに向かって同時にパンチで打ち込んだ。

ピーチ、パッション「……」

ジェットーム「ひいつ!!」

残りはジェットームだけとなり、2人は無言でそのまま彼を倒しにかかった。その時、上空から1人の人物が現れて、ピーチとパッションの前に立ち塞がりに来た。その人物の名はドラグード。彼はインフェルノのドレイジスと同じ最高幹部の1人で、彼

の全身は西洋の龍と騎士を組み合わせたアーマーを纏った超人で、顔に龍の姿をしたマスクを着用している。

ドラグード（戦闘形態）「ジェットーム、ここは私が相手をする。」

ジェットーム「どっ、ドラグード様!!」

ピーチ、パッション「?!」

ドラグード（戦闘形態）「まさかプリキュアの生き残りがいたとは驚くようだ。」

ピーチ「久しぶりの戦いにまさか強敵と出会うなんて思わなかったみたいね。」

パッション「いきなり戦いとは思ってもよらなかったわ。」

ドラグード（戦闘形態）「ならば戦わせて貰おう。」

2人の久しぶりの戦いにいきなり強敵の出現で激突する事となり、きつて幕を開けた。ピーチとパッションが同時にかかってドラグードの間を挟んで攻めていく。ドラグードは両腕からアームドラゴブレードを出して、2人の攻撃を受け止めて、振り払った。

ピーチ、パッション「くっ!!」

ドラグードに振り払われて飛ばされたピーチとパッションが足に力を入れて地面に止まり、パッションがパッションツヴァイガンで射撃し、続いてピーチがピーチツヴァイブレードで斬撃した。

ドラグード（戦闘形態）「はあっ!!」

パンチを繰り返しながらピーチに殴り込み、パッションに向かってキックで強く打ち込んだ。

ピーチ、パッション「はあああああー!!」

ピーチとパッションが同時にパンチを出してドラグードに向けたが、ドラグードは2人の攻撃を防御し、アームドラゴブレードから真空波を放ち、ピーチとパッションに攻撃した。久しぶりの戦いで強敵と激闘するピーチとパッション。

アイカ、はるな「……」

はるかと共に2人の母親の戦いを見るアイカとはるなは、自分達の母親がプリキュアだった事に、今まで一緒に過ごして来た母親が今プリキュアとして戦っている姿に驚きを隠せずにはいた。だがピーチとパッションにやられたステイブトンが2人がドラグードと戦っている間にアイカとはるなとはるかに狙いをつね、ストーンブラスターを向けて、ビームを発射した。

ピーチ、パッション「!!」

娘が狙われている事を知り、急いで2人の元へ駆けつけに向かった。

アイカ、はるな「あっ!!」

ピーチ、パッション「アイカ、はるな!!」

ステイブトンが放ったビームをアイカとはるなを守るため、自ら身代わりになってダメージを受けて、飛ばされた。

アイカ、はるな「ママー!!」

2人の母親の元へ急いで向かおうとするが、はるかに止められた。

はるか「行っちゃダメ!!」

アイカ「ラブママが……!!」

はるな「せつなママが……!!」

ステイブトン「さて、俺らを痛めつけた2人のプリキュアをボコしてやろうぜ!!」

ステイブトンが突いた隙によって形勢は逆転され、倒れたピーチとパツシヨンに一気に総攻撃にかかるジェットーム、ステイブトン、ザツパード、ドラン・キュラー3。

ピーチ、パツシヨン「あつ、あああああー!!」

インフェルノの幹部らの総攻撃によってズタズタにされて倒れたピーチとパツシヨン。

アイカ、はるな「ママー!!」

2人の母親が倒されていく姿を見るアイカとはるなは大事な母親が今日の前に殺されようとしている。

ピーチ、パッション「うつ、うわあああああー!!」

ジェットームらになおも総攻撃を喰らい続けるピーチとパッション。だが攻撃を喰らい続ける2人は必死になって力を出す切りながらジェットームを振り払った。

ドラグード（戦闘形態）「まだそんな力があつたとは。」

ピーチ「やられるわけはいかない。」

パッション「残ったプリキュアが私達2人よ。」

ドラグード（戦闘形態）「なからばここで息の根を止めてくれる!!」

ジェットームらの攻撃を受けて傷ついたピーチとパッションにトドメを刺すべくド

ラグードが2人の前に向かってそのまま持ち上げて上に投げ、自身も空を飛んで自身の両脚の膝を2人の首に近付けた。

ドラグード（戦闘形態）「龍獄の断頭魔!!」

空中から急降下して自身の両脚の膝にピーチとパッションのそれぞれの首に近づけたまま、地面に叩き込み、衝撃波を起こした。

ピーチ、パッション「わあああああー!!」

ドラグードの必殺技によって直撃を受けて倒されたピーチとパッション。

はるか「あああつ!!」

アイカ、はるな「ママあああああー!!」

2人の母親が倒されたの目の当たりにして泣き叫ぶアイカとはるなは、すぐ2人の元へ走り始めた。

はるか「2人とも!!」

ドラグード（戦闘形態）「ジェットトーム、ザッパード、ドラン・キュラ13世、この2人のプリキュアを連れて行け。」

ジェットトーム「はっ、ドラグード様。」

ドラグードはジェットトーム、ザッパード、ドラン・キュラ13世と共に倒したピーチとパッションを連れて、幽魔界へ帰投した。

アイカ、はるな「あつ、あああつ。」

母親が連れて行かれて消えてしまったのに愕然とするアイカとはるな。

ステイブトン「へへへ、まだガキが生き残っていたとはな。」

泣き崩れるアイカとはるなにステイブトンが現れて、2人にストーンブラスターを向けた。

はるか「アイカちゃん、はるなちゃん!!」

ステイブトン「死ね。」

ステイブトンのストーンブラスターからビームが放たれようとした。その時、一つの影が現れて、ステイブトンに蹴りをした。

ステイブトン「ぐわあっ!!」

アイカ、はるな「?!」

はるか「何?!」

ステイブトンに蹴りを打ち込んだのは新しいものプリキュアの1人、キュアフェツターだ。

フェツター「私が相手よ、インフェルノ!!」

ステイブトン「何だ、見たこともねえプリキュアだな。ならばここで始末してやる、やれ、野郎共!!」

ステイブトンがゾンビーン、デュラハーン、マシンソルジャー、バットルらに命令して、フェッターに襲撃かからせた。フェッターは自身の武器であるキュアカタナテッポウを出して、刀モードで敵を次々と斬撃した。

フェッター「はあああああー!!」

続いて鉄砲モードに変形して、空中から来るバットルの集団を撃ち落とす。

アイカ、はるな「あああつ。」

フェッターの戦闘を見たアイカとはるなは、自分達もプリキュアになれば母親を助ける事が出来ていた。

アイカ「プリキュアになりたい……。」

はるな「プリキュアになればママを助ける事だって出来ていた。」

だけど、自分達2人はプリキュアになっておらず、普通の姿で敵に太刀打ち出来ず、むしろやられてしまう。

アイカ「あたし、プリキュアになりたい。プリキュアになってママを助きたい!!」
はるな「アイカ、無理よ、プリキュアになれるなんて簡単じゃないよ。」

アイカ「あたしはそれでもプリキュアになりたい、あたしとはるなをどうかプリキュアにならせてください!! ママを助きたい、どんな事だつて、あたしとはるなをプリキュアにならせてください!!」

涙を流しながら必死になってプリキュアになる事を強く訴えるアイカ。その時、2人の身体が発光し、2人の前に2つスマートフォン型のキュアートフォンチェンジャーと2つの宝石型のプリキュライドジュエルが現れた。

アイカ、はるな「これは?！」

自分達の前に現れたプリキュアに変身するアイテムに驚くアイカとはるな。

フェッター「それはキュアートフォンチェンジャーよ!!あなた達2人が手元にあるプリキュライドジュエルに刺すのよ!!プリキュア・チェンジアップと叫ぶのよ!!」

フェッターから説明を受けたアイカとはるなの2人は早速、それぞれ手にしたキュアートフォンチェンジャーにプリキュライドジュエルストライク、プリキュライドジュエルシンシアを装着し、プリキュアに変身し始める。

アイカ、はるな「プリキュア・チェンジアップ!!」

変身をし始めたアイカとはるなは、全身が光に纏われ、髪型や服装など一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなった。

トットム、ペル、アーニヤ「まさか、まさか、まさか!!」

人間界にようやくたどり着いたアスゴルド王国からやってきた3匹の妖精のトット

ム、ペル、アーニヤらは遠くから偶然ら新しいプリキュアの誕生を目の当たりにした。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

アイカはキュアストライク、はるなはキュアシンシアに変身し、新しいプリキュアが誕生し、今新たな物語が始まった。

ステイブトン「プリキュアが誕生したただとだと?!」

フェッター「新しいプリキュアが誕生したのね。」

はるか「アイカちゃんとはるなちゃんがプリキュアになっちゃった……。」

プリキュアに変身したストライクとシンシアがインフェルノの部隊に立ち向かうために今動き出した。

ストライク「たああああー!!」

ストライクが前に出て、デュラハーンの集団に向かってパンチで一気に蹴散らし、ゾンビーンにキックで思いっきりシュートし、バットルの集団を連続パンチを繰り出して殴り落とし、さらにマシンソルジャーの集団に向かって突撃して、マシンソルジャーを掴んで振り回しながら他のマシンソルジャーをぶつけて蹴散らした。彼女は素のパンチとキックが強く、高いパワーを持つ。まるでキュアブラックと合わせる一面を見せた。

シンシア「はああああー!!」

シンシアが素早い動きで駆けながらゾンビーンの集団に向かって、身体を動かしながら回し蹴りをして蹴散らし、マシンソルジャーの集団がクエイルライフルで一斉射撃し、彼女はすぐに反応して素早く回避して、空中ジャンプで飛び込んで、パンチを素早く繰り出して撃破した。彼女は動きとスピードが速く、反射神経も強く、かつてのキュアホワイトと思わせる一面を見せた。

ステイブトン「おもしれえじゃねえか!!こんな相手をするなんて上等だ!!」

インフェルノの幹部であるステイブトンが新しく誕生したストライクとシンシアの2人に右手にマシンガンと左手のストーンブラスターで同時攻撃をしてきた。ステイブトンの攻撃を回避しながら、そのまま懐に飛び込んで同時にキックをした。

ステイブトン「ぐうっ!!」

2人の同時攻撃を喰らったステイブトンはストーンブラスターからビームを一気に連射していった。

ストライク、シンシア「!!」

ステイブトンのビーム連射攻撃を回避しつつ、2人はそのまま同時にパンチを前に出してぶち込んだ。

ステイブトン「ぐわあっ!!」

ストライクとシンシアの連携により、追い詰められていくステイブトン。2人の戦い

をフェッターがしつかりと見ていた。

ストライク、シンシア「これで終わりよ!!」

ステイブトンを倒すべくストライクとシンシアが両手を構えて、必殺技を発動させた。

ストライク「プリキュア・ストライクサンシャイン!!」

シンシア「プリキュア・シンシアサンシャイン!!」

ストライクの両手からピンクのハート型光線、シンシアの両手からレッドのハート型光線をそれぞれ発射して、ステイブトンに直撃した。

ステイブトン「ぐわあつ、バカな、この俺様がこんなガキごときに・・・!!」

ストライクとシンシアの必殺技によって倒されたステイブトンは消滅した。ストライクとシンシアはインフェルノの最初の幹部の1人であるステイブトンを見事撃破し

た。

フェッター「すごいわね。」

2人の戦闘を見たフェッターが近づいて来た。

ストライク「あなたは？」

フェッター「私はキュアフェッター、名前は麗奈Ⅱブランネージュよ。あなたと同じプリキュアよ。」

自らの名を紹介するフェッター。

トットム「見つけたでい!!」

3人のプリキュアの前に3匹の妖精が現れた。

シンシア「誰？」

トットム「オイラ達はプリキュアのサポートをする妖精なんいでい、オイラの名はトットム。」

ペル「私の名前はペル。」

アーニャ「私はアーニャですわ。」

次回 2話へ続く

第2話 伝説の戦士と伝説の英雄の力

アイカとはるなは初めてプリキュアに変身して、インフェルノの幹部の1人であるステイプトンを倒した。今フェッターこと麗奈と3匹の妖精のトットム、ペル、アーニヤとはるかと一緒に自宅に集まった。

桃園自宅

リビング

麗奈「あなた達2人はたった今プリキュアになったの。」

アイカ「あたしとはるながプリキュアに。」

トットム「お嬢ちゃん達お2人さんはたった今プリキュアになったんだぜ。」

はるな「言われてみれば私とアイはプリキュアになったのね。」

自分2人がたった今プリキュアになった事に自覚するアイカとはるな。自分達2人はインフェルノに捕らわれてしまった2人の母親のラブとせつなを助けたいと言う強い思いでプリキュアになった。

ペル「おふたりさんがプリキュアとしてやる事は世界の平和を守る事です。プリキュアは今まで世界を守るために悪い奴らと戦ってきたんです。」

アーニャ「さっき変身したあなた達2人とその方と一緒にプリキュアとして使命をやり遂げる事です。」

麗奈「今いるプリキュアは私とあなた達2人よ。だから一緒に平和のために戦って欲しいの。」

アイカ「いきなりそんなこと言われてもあたしとはるなはまだ小学生だよ。」

はるな「いきなり世界の平和を守るなんて私とアイカに無理よ。」

はるか「2人はまだ小学生よ。いきなり世界の平和を守れって言われて困惑するよ。」

プリキュアになれたものの、アイカとはるなはまだ小学生で、いきなり世界の平和を守るために戦う事に困惑してた。

アイカ「それよりママを取り返す事が先だよ。」

はるな「ラブママとせつなママを連れ戻して行きたいんだから。」

麗奈「何無謀な事を言っているの?!あなた達はインフェルノの拠点をわかってるの?」

それに行く方法だつて知ってるの？」

アイカ、はるな「あつ。」

麗奈「とにかくあなた達2人はプリキュアが何かよく考えて行く事ね。」

まだプリキュアになったばかりのアイカとはるなはプリキュアになった事でプリキュアの使命と言うのに納得せず、麗奈からプリキュアの事を考えるように言われた。一方、さつそく幽魔界の幽魔要塞へ帰還したジェットームらは、ステイブトンが倒された報を知る。

幽魔界

幽魔要塞

居間

ジェットーム「ステイブトンがやられた?!」

ザッパード「一体誰にだ?!」

Drリージス「新しいプリキュアだ。」

ドラン・キュラ13世「プリキュアはあの2人の生き残りもいたのですか?!」

Drリージス「私も初耳だ、どう誕生したかは知らないが。」

ジェットーム「おいおい、こりや厄介のが増えちまったぞ。」

ドラグード「……」

Drījis「ドラグード。」

ドラグード「新しいプリキュアとはお目にかかっておきたかったな。」

Drījis「お前はパラレルワールド侵攻が先ではないか。」

ドラグード「捕まえたあの2人はどうした？」

Drījis「今先ほど水槽プールに入れておいた。この2人にはハデユス様に仕えるための改造を行っている。」

ドラグード「もう行なっているのか。」

ザッパード、ドラン・キュラー3世「ドラグード様!!」

ドラグード「？」

ザッパード「俺らを人間界にまた行かせてください。」

ドラン・キュラー3世「同胞のステイブトンの仇を取りたいので御座います。」

ザッパード「ステイブトンをやった新しいプリキュアって奴を倒してやりたいんだ。」

ドラン・キュラー3世「どうか出させてください!!」

ドラグード「よし、ハデユス様の代わりに私が出撃を命じてやろう。」

ザッパード、ドラン・キュラー3世「ありがとうございます、ドラグード様!!」

ドラグード「ジェットーム、お前は行かなくていいのか？」

ジェットーム「俺はちよつと……」。

ドラグード「部下の見習う事だ。いつまで情けないまままでいるだけだ。」

ジェットーム「うっ、行つてきます!!」

ザッパード「俺らの配下も連れて行くぜ。」

ドララン・キュラー13世「出てきた前。」

人間界への再出撃に伴い、ザッパードとドララン・キュラー13世は自身の配下を連れていくいく事に、今配下の怪人がやってきた。

ヤリバート「ザッパード様、このヤリバート参ります。」

クロスキラー「ドララン様、俺もひと暴れしてやろうぜ。」

アイスード「ステイブトン様の仇を取りに行く!!」

ザッパード「よし、人間界へまた行くぜ!!」

再び人間界へ出に行くため、開いたゲートを通じて出現するザッパードとドララン・キュラー13世とジェットームとその配下と兵達。一方、公園でベンチに座つて考え込むア

イカとはるなとトットムとペルとアーニヤ。

人間界

あさぎ市

公園

アイカ「はあ、プリキュアって何だろう。どうして平和のために戦うのか。」
はるな「私だってわからないわ。いきなりプリキュアになったからわからないことだらけよ。」

トットム「お嬢さん2人がいきなりプリキュアになったの無理もねえわな。」

アーニヤ「でもこの世界を守るのはあなた達2人とあの女性です。」

ペル「答えはまだですか。」

アイカ「あたし、どうしたらいいかわからない。」

はるな「ママがいてくれてたらどうしてくれたんだろう。」

考えてもなかなか上手く答え出せず悩み悩みでいた。悩んでいるアイカとはるなの前に見知らぬ女性3人がやって来た。

「はな「あら、その子、何か悩んでるの？」

アイカ「えっ？」

なぎさ「浮かない顔元気ないよ。」

ほのか「落ち込んでるといみはないわよ。」

はるな「あなた達は誰なんですか？」

トットム「もっ、もしかしてあなた方は?！」

アイカ、はるな「？」

ペル「伝説の……。」

アーニャ「レジェンドプリキュアの方々ではありませんか?！」

アイカ、はるな「プリキュア?!」

その見知らぬ3人の女性は世界を守った歴戦の戦士たるレジェンドプリキュア、キュアブラックだった美墨なぎさ、キュアホワイトだった雪城ほのか、キュアエールだった野乃はなだ。新しいプリキュアであるアイカとはなと対面する。

なぎさ「プリキュアの事で考えていたのね。」

アイカ「あたしとはるなはプリキュアになってわからないことだらけです。プリキュ

アが何なのかよくわからなくて。」

はるな「プリキュアが何かすごくわからないのです。平和のために守れって言われてもすごく悩んでいます。」

ほのか「最初は私達だって同じだったのよ。」

アイカ、はるな「えっ？」

はな「初めてプリキュアになった時はびっくりしたの。私、プリキュアになってからいろんな事があつたりしたの。」

アイカ「いろんなこと？」

なぎさ「あたしとほのかはプリキュアになって2人でいる事が多くなったりしたの。

一緒に楽しく過ごしたり、時に喧嘩もあつたりしたんだ。」

ほのか「私はなぎさと一緒にプリキュアになった事を今でも本当に良かったと思ってるわ。」

はな「みんなに出会えて、一緒に過ごしたり、仲良くなつたつて友達になつたりしたの。だからプリキュアには戦うだけじゃなくいろんな事があつたりするの。」

なぎさ「2人にはまだなつたばかりだから、きつといい事はあるよ。」

自分達も初めてプリキュアになった時のことを話し、最初は戸惑いもあつて悩んだり

したが、プリキュアになった事でいろんな事があつたり、一緒にいる機会が増えて仲良くなつて友達になつたり、喧嘩もしたりした事を言う。

アイカ「プリキュアになっていろんな事があつたんですか。」

なぎさ「あなた達だつてこれがあるよ。」

ほのか「新しいプリキュアであるあなた達2人もいろんな事が起きるわ。」

はな「そんなに悩まなくなつていいのよ。これ、よかつたら元気出して食べてみて。」

はながアイカとはるなに自身が日々作った希望まんじゅうを渡し、2人は口にした。

アイカ「このおまんじゅう、美味しい。」

はるな「元気が湧き上がってきたみたい。」

はな「私のおじいちゃんとおばあちゃんが作った希望まんじゅうよ。食べれば誰もが元気になれるよ。」

アイカ「食べたら本当に元気になつたよ。」

はるな「悩みもなくなつたよ。」

はな「2人も始まつたばかりだから応援するよ。」

プリキュアの事で悩んでいたアイカとはるなは、なぎきとほのかとはなと出会って、悩みも打ち消し、2人はプリキュアに始まったばかりであり、これから新しいプリキュアとしての始まりが起きた。その頃、再び人間界に着いたジェットームとザッパードとドラン・キュラー3世は自身の配下を引き連れて、再び攻撃を始めようとする。

市街地

ヤリバート「早速開始する。」

クロスキラー「楽しい幕開けだ!!」

アイスード「凍りつかせてやる!!」

ヤリバートが邪悪な雲空を作り出して無数の槍を雨のように降り注いで街やビルなどを破壊し、クロスキラーが胴体の十字を伸ばして、一般人を攻撃した。アイスードが両手の爪を地面に突き刺して冷気の波を起こして、逃げ回る人々を凍結して、粉碎した。

ジェットーム「ははははは、最高だ!!」

破壊活動を楽しむインフェルノの面々ら。早速インフェルノの出現に駆けつけにきたアイカ、はるな、トットム、ペル、アーニヤはインフェルノの破壊活動によって、人々が犠牲になって悲しんで泣いている姿を目の当たりにする。

アイカ「酷い……。」

アーニヤ「インフェルノは街の人々を襲っているです。」

トットム「街がめちゃくちゃにされてやがる!!」

ペル「なんて酷いことを!!」

はるな「許さない……。」

インフェルノの非道さを目の当たりにしたアイカ達は怒りを表し、破壊活動する彼らの元へ向かった。

ザッパード「人間共の間抜けつらは最高だぜ!!」

アイカ、はるな「インフェルノ!!」

ドラン・キュラ13世「邪魔がきてしまいましたね。」

ジエットーム「何だてめえら?!」

ヤリバート「こいつら誰やんすか？」

クロスキラー「俺達に楯突く気か？」

アイスード「俺らインフェルノに齒向かうものには皆死だ。」

アイカ「街をめちやくちやにして。」

はるな「人々を苦しめるあなた達を。」

アイカ、はるな「許さない!!」

ザツパード「てめえら、俺達に逆らうとこいつらみてえになっちまうぞ。」

ドララン・キュラー3世「我々インフェルノに逆らう者には死を与えるのみ。」

ジエツトーム「おめえら、このガキ共を殺してしまえ!!」

自分達に楯突くアイカとはるなにヤリバートとクロスキラーとアイスードが襲いかかってきた。

アイカ、はるな「!!」

トツトム、ペル、アーニヤ「させない!!」

トツトムとペルとアーニヤがヤリバートとクロスキラーとアイスードの顔にしがみ

付いた。

アイカ「トットム、ペル、アーニャ!!」

トットム「2人とも、早くプリキュアに変身するんだ!!」

ペル「今インフェルノと戦えるのはお2人だけです!!」

アーニャ「早く変身してください!!」

アイカ「あたし達が。」

はるな「今やらなきやインフェルノに。」

今インフェルノと戦えるのが自分達しかない事に気付くアイカとはるな。

ヤリバート「邪魔をするな、虫けらの分際が!!」

自分達の顔にしがみついたトットム、ペル、アーニャを力づくでなぎ払ったヤリバート、クロスキラー、アイスード。

クロスキラー「死ねえ!!」

アイカ、はな「!!」

クロスキラーの胴体から伸ばした十字がアイカとはるなに向けられようとした。その時、2人の前になぎさとほのかとはなが現れて、2人を庇って攻撃を受けた。

アイカ、はるな「なぎささん、ほのかさん、はなさん!!」

なぎさ「あなた達2人を傷付けるわけにはいかない・・・。」

ほのか「新しいプリキュアのあなた達を今、失うわけにはいかないわ・・・。」
はな「どんなに痛くても私達が守る・・・。」

アイスード「情けない、虫けら如きを庇うなんて、お前らはそんなに死にたいか!!」

アイカ「許さない・・・。」

はるな「もう絶対許さない。」

なぎさとほのかとはなを攻撃して虫けら扱いたしたインフェルノにアイカとはるなの怒りが爆発した。

麗奈「2人とも!!」

アイカ「麗奈さん!!」

麗奈「変身よ!!」

はるな「私達新しいプリキュアの力、見せていこう。」

新しいプリキュアである自分達3人は平和を脅かすインフェルノを倒すため、今プリキュアに変身し始めた。

アイカ、はるな、麗奈「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈は、全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、プリキュアの姿へなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

プリキュアに変身した3人は、インフェルノの部隊に挑んだ。

ジェットーム「我が軍の兵士達よ、やれ!!」

大幹部のジェットームがインフェルノ兵、ゾンビーン、マシンソルジャーの各兵達に戦闘の号令を出し、接近してくるストライク、シンシア、フェッターに遠距離からの攻撃を行った。

ストライク「わあっ!!」

遠距離から射撃してくる雑兵にすぐに回避するストライクとシンシア。

シンシア「迂闊に近づけないわ。」

フェッター「そういう時は武器で対応よ。あなた達も持っているはずよ。」
ストライク「武器ってどこにあるの？」

フェッター「キュアートフォンチェンジャーを操作して出すのよ。」

2人はフェッターから武器の出し方の説明してもらって、キュアートフォンチェンジャーを操作して、2人の前に剣らしき武器が2つ現れた。

ストライク「これがあたし達の武器?!」

シンシア「剣みたいね。」

フェッター「あなた達2人の武器はキュアブレードマグナムよ。それ使ってみなさい。」

ストライクとシンシアの前に現れた2つの武器はキュアブレードマグナム、2人は早速使って試して使い始めた。

ストライク、シンシア「いっけー!!」

2人はキュアブレードマグナム銃モードで遠距離からいるインフェルノ兵、ゾンビーン、マシソルジャーに射撃した。

ジェットーム「何、あいつらいつの間にか武器を?!なら接近だ、かかれ!!」

プリキュアが武器を持って射撃してきた事に対し、ジェットームは兵をすぐに接近してかからせた。

ストライク「今度は剣でいくね。」

シンシア「接近戦はこれで決まりね。」

接近しかかる敵兵に対し、キュアブレードマグナムを剣モードに変形して、2人はインフェルノ兵やゾンビーンやマシソルジャーを斬撃した。インフェルノ兵がトンファー、ゾンビーンが爪、マシソルジャーがトマホークでストライクとシンシアに斬りかかり、ストライクとシンシアはキュアブレードマグナム剣モードで次々と斬り込めていった。

フエッター「はあああああー!!」

フエッターがキュアカタナテツポウ刀モードでインフェルノ兵、ゾンビーン、マシンソルジャーを次々と斬撃し、撃退していった。

ジエットーム「ならば一斉に八つ裂きだ!!」

追い詰められていき優勢するプリキュアに対し、兵を全部一斉にかからせたジエットーム。

ストライク「これで決めるよ。」

シンシア「いくね。」

フエッター「まとめていく!!」

ストライク、シンシア、フエッターらが自分達の手持ちの武器を持ったまま、必殺技を発動する。

ストライク「プリキュア・ストライクスラッシュユ!!」

シンシア「プリキュア・シンシアショット!!」

フェッター「プリキュア・フェッターザンバー!!」

ストライクはキュアブレードマグナム剣モードから刀身にピンクの光状を纏いながら敵を斬撃し、シンシアはキュアブレードマグナム銃モードから銃口から多数のレッドのハート型エネルギー弾を連射し、フェッターはキュアカタナテツポウ刀モードパールの光状を纏いながら敵を斬撃し、撃破した。

ジェットーム「俺達の兵士が・・・!!」

ザッパード「あいつら・・・!!」

ドラン・キュラー3世「くっ!!」

ジェットーム「ならばヤリバート、クロスキラ、アイスード、一緒にかかるぞ!!」

兵士達を倒したプリキュアにジェットーム、ザッパード、ドラン・キュラー3世らが配下の怪人達と共に襲いかかってきた。

フェッター「気をつけて、相手は幹部が3人もいるわ!!」

ストライク、シンシア「幹部?! 最初にあつた奴らは・・・!!」

ザッパード「ステイブトンの仇、取らせて貰うぜ!!」

ドラン・キュラー3世「貴様達を葬ってやろう!!」

ジェットーム「覚悟しろ、プリキュア!!」

ストライク、シンシア、フェッターらは、怪人3体の故にさらに幹部3人を合わせて6人を相手に戦う事になり、最大のピンチを迎えた。

ザッパード「行くぜ!!」

ザッパードが大型ビームガトリングガンを両手に持ったまま一気に乱射をし、ドラン・キュラー3世がマントから蝙蝠型光弾を多数放ち、ジェットームが腕からビームブラスターからビームを放ち、プリキュアを攻撃した。

ストライク、シンシア、フェッター「わあっ!!」

幹部3人の攻撃を喰らうプリキュア。その直後に怪人3体が攻撃をしかかってきた。

ヤリバート、クロスキラ、アイスード「死ね!!」

ヤリバートが槍を振り回し、クロスキラは胴体の十字を伸ばし、アイスードが強力な爪で引っ掻いて攻撃してきた。

ストライク「どうしたらいいの?!」

シンシア「6人相手はキツイよ!!」

6人相手では流石に厳しく、2人はまだ戦いの経験も始めたばかりで、このままいくとやられてしまう、どうする。

フェッター「仕方ない、これを使うしかないわ。」

フェッターはプリキュアライドジュエルに似たものを3つ取り出し、ストライクとシンシアにそれぞれ1つずつ渡し、ストライクは鋼鉄アーマーをしたジュエル、シンシアは

ブラウス風をしたジュエル、フェッターが手にしている鎧武者をしたジュエルだ。

ストライク、シンシア「これは?!」

フェッター「ヒーローライドジュエル。かつてブラック達プリキュアが誕生する前に活躍したヒーローよ!!すぐにキュアートフォンチェンジャーに刺して!!」

ストライク、シンシア「わかった!!」

フェッターから渡されたそれぞれのヒーローライドジュエルで、ストライク、シンシアは自分達のキュアートフォンチェンジャーに刺した。

ストライク、シンシア、フェッター「ヒーローライドジュエル!!」

ヒーローライドジュエルをキュアートフォンチェンジャーに刺した3人は使用し、各ヒーローライドジュエルが発光し、ヒーローライドジュエルから人らしき人物が現れ、鋼鉄のアーマー、四肢にはパワージャツキがあるなどした姿、ブラウスとスカートと背中に蝶の羽がある姿、武者鎧を身に纏った姿が出てきた。

ストライク、シンシア「?!」

アイゼンアロイス「何だここは？」

フェアリール「麗奈、あなたが呼んだのね。」

烈陣丸「麗奈様、ここはどこでござるか？」

鋼鉄アーマーをしたヒーローライドジュエルから現れたのはアイゼンアロイス、ブラス風をしたヒーローライドジュエルから現れたのはフェアリール、鎧武者をしたヒーローライドジュエルから現れたのは烈陣丸だ。

フェッター「3人とも、ここは人間界のあさぎ市よ。今日の前にインフェルノがいるわ!!」

アイゼンアロイス「インフェルノがいるのか!!」

フェアリール「この人間界によく現れてきたのね。」

烈陣丸「ハデウスも再び動き出したというのでござるか。」

フェッター「烈陣丸、一緒に戦いましょう。」

烈陣丸「承知でござる、麗奈様。」

フェッター「戦闘中はフェッターよ。」

アイゼンアロイス「じゃあ俺らも。」

フェッター「あなた達を呼び出したのはそこにいる2人のプリキュアよ。」

アイゼンアロイス、フェアリール「えっ?!」

ストライク「あなた達を呼んだのはあたし達2人です。」

シンシア「ええつと、あなた達のお名前は?」

アイゼンアロイス「俺の名はアイゼンアロイス。」

フェアリール「私はフェアリールよ。」

ストライク「あたしはキュアストライク。」

シンシア「私はキュアシンシア。」

自分達2人を呼び出した2人のプリキュアと自己紹介をするアイゼンアロイスとフェアリール、またストライクとシンシアも呼び出した2人に自己紹介をした。

ジェットーム「話してねえで、俺らとやり合え!!」

自分達を無視したストライク達に怒り出したジェットームらは、彼女達に向かってジェットームが腕からミサイルを発射した。

アイゼンアロイス「!!」

ジェットームが発射したミサイルをアイゼンアロイスが片手で掴んでそのまま上に投げ飛ばした。

アイゼンアロイス「お前らが悪党に変わりが無いのはわかった、人々を苦しめるお前らを俺達ジャステイスヒーローが相手をする!!」

ストライク「あたし達と一緒に戦ってくれる?」

シンシア「インフェルノをどうしても許せない、だから私達と戦って。」

アイゼンアロイス「よし、お互い正義のヒーロー同士、協力し合おうじゃないか。」

フェアリール「あなた達の想い伝わるわ、一緒に戦いましょう!!」

ストライク「じゃあ、行くよ。」

シンシア「一緒に戦ってインフェルノを倒そう。」

お互いの息ぴったり合わせて意気込むストライクとシンシアとアイゼンアロイスとフェアリール。フェッターから2人にあるものを渡して来た。

フェッター「ついでにあなた達にこれを渡すわ。」

ストライク、シンシア「これは？」

フェッターから渡されたのはブラック、ホワイト、エール、マシエリの衣装の絵柄のそれぞれレジェンドプリキュライドジュエルだ。

フェッター「これは歴代プリキュアの力が宿ったレジェンドプリキュライドジュエルよ。あなた達なら使いこなせるわ。」

ストライク「渡してくれてありがとうございます。」

シンシア「じゃあ使ってみるね。」

ストライクはプリキュライドジュエルブラック、シンシアはプリキュライドジュエルホワイトをそれぞれ手にしながらキュアートフォンチェンジジャーに装着して変身をはじめた。

ストライク、シンシア「プリキュライドチェンジマックスハート!!」

それぞれのレジェンドプリキュライドジュエルで変身をするストライクとシンシア。2人の髪型と衣装が変化し、ストライクはブラックに、シンシアはホワイトになった。

ブラックストライク「えっ、何これ?！」

ホワイトシンシア「わっ、私とストライク、何か変わってる?!」

レジェンドプリキュライドジュエルを使って変身して、2人の姿が一変し、髪型と衣装がブラックとホワイトの姿で、顔と声だけはそのまま、だがサイズは小学生に合わせて、従来のブラックとホワイトの身長を少し縮ませた感じだ。

なぎさ「あの子達、あたしとホワイトの姿がになってる!!」

ほのか「信じられないわ!!」

はな「めちよつく!!」

またなぎさとほのかは自分達の変身していたブラックとホワイトの姿をストライクとシンシアが変身した姿に驚いてしまった。

ペル「お二人は歴代プリキュアの力が宿ったレジェンドプリキュライドジュエルを使つて変身したのです。」

ブラックストライク「あたしとシンシアがブラックとホワイトになっちゃった!!」

ホワイトシンシア「うそ、私とストライクは歴代プリキュアの方に変身したつて訳ね。」

アイスード「よそ見してねえ命はいただきだ!!」

アイスードが上から飛びかかってきて、ブラックストライクとホワイトシンシアに両手の強力な爪で切りかかってきた。2人は同時にパンチを出して、アイスードをぶち込んだ。

アイスード「ぐわあああー!!」

ブラックとホワイトの持つパワーによってアイスードを圧倒し、ブラックとホワイトの能力をレジェンドプリキュライドジュエルによって再現し、その使用者であるストライクとシンシアが2人の力を使った。

ブラックストライク「すごい……!!」

ホワイトシンシア「何てパワー。」

アイゼンアロイス「さあ、行こう。」

フェアリー「じゃあ開始ね!!」

歴代プリキュアの力で変身した姿とジャステイスヒーローと一緒に力を合わせて、インフェルノに挑んだ。

ブラックストライク、ホワイトシンシア「はああああー!!」

ブラックとホワイトに変身した2人はアイズードとヤリバートに向かってパンチを殴り込んだ。

ブラックストライク「だだだだだー!!」

ブラックストライクが高いパワーを駆使してアイズードに思いっきりパンチで打ち

込み、左右からパンチを連打して殴り込んだ。

ホワイトシンシア「やあ、たあっ!!」

ホワイトシンシアはスピードを駆使して身体を回転しながらヤリバートの顔をキックし、さらに周りを動き回って翻弄させ、ヤリバートの顔を殴り込んだ。

アイゼンアロイス「はああああー!!」

アイゼンアロイスとフェアリールは、幹部のザツパードと大幹部のジェットームをと戦い、アイゼンアロイスは両肩から小型ミサイル、掌からビームを発射し、ジェットームに攻撃した。フェアリールがマスケット銃を3本召喚して、ザツパードに射撃した。

フェッター、烈陣丸「はあっ!!」

フェッターと烈陣丸はドラン・キュラー3世とクロスキラを相手に戦い、フェッターはレジェンドプリキュライドジュエルのキュアソードのプリキュライドジュエル

ソードを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

フェッター「プリキュライドチェンジドキドキ!!」

ソードの力が宿ったプリキュライドジュエルでソードに変身したフェッターは、ストライクとシンシアと同様に髪型と衣装が変わり、顔と声だけはそのままで、サイズは彼女は学生でなく大人と同じサイズだ。

クロスキラー「変わっただけで!!」

ソードフェッター「どうかしら?」

ソードに変身したフェッターがソードの力で手刀を発光しながらクロスキラーを切り裂いた。

クロスキラー「ぐわあっ!!」

ソードフェッターの手刀を喰らったクロスキラーは、すぐに反撃に出て、胴体の十字

を伸ばした。

ソードフェッター「隙だらけよ!! 十字しか伸ばせないのね!!」

クロスキラーは十字を伸ばした事で隙だらけとなり、すぐに間合いに駆け込んで急所を刺しにかかった。

ソードフェッター「はあああああー!!」

間合いに駆け込んだソードフェッターが回し蹴りをしてクロスキラーを打ち込んだ。

烈陣丸「はああああああー!!」

烈陣丸がドラン・キュラー13世と激突し、烈陣丸は愛刀の戦烈鬼を手にして、ドラン・キュラー13世の剣とぶつかり合った。

ドラン・キュラー13世「やりますね。」

烈陣丸「剣術は拙者の得意分野でござる。」

ドラン・キュラー3世「我が剣を喰らうがいい!!」

剣を手に持つドラン・キュラー3世は剣を振りまいながら烈陣丸に斬撃を繰り出した。

烈陣丸「くっ!!」

ドラン・キュラー3世の攻撃を喰らった烈陣丸も自身も剣技を繰り出して、刀による連続斬りを繰り出して攻撃した。激闘するプリキュア、ジャスティスヒーローとインフェルノの幹部、怪人。

ブラックストライク、ホワイトシンシア、ソードフェッター「はあああああー!!」

歴代プリキュアの力で変身した3人が怪人3体を圧倒しつつあった。次の歴代プリキュアに変身しようとする。

ブラックストライク「次のも変身してみよう。」

ホワイトシンシア「いいわね。」

ソードフェッター「じゃあ決まりね。」

3人が他のレジェンドプリキュライドジュエルを出したのは、ストライクはプリキュライドジュエル、シンシアはプリキュライドジュエルマシエリ、フェッターはプリキュライドジュエルアムール、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身し始めた。

ブラックストライク、ホワイトシンシア、ソードフェッター「プリキュライドチェンジHUGと!!」

早速、他の歴代プリキュアに変身した3人は、ストライクはエール、シンシアはマシエリ、フェッターはアムールになった。

はな「今度はエールとマシエリとアムールになった。」

今度は自分のエールとマシエリとアムールの姿になったのに驚くはな。エールストライク、マシエリシンシア、アムールフェッターが怪人3体にとどめを刺すべく必殺技を発動した。

エールストライク「ハート・フォー・ユー!!」

マシエリシンシア「ハート・ソング!!」

アムールフェッター「ハート・ダンス!!」

3人がそれぞれの必殺技を発動して、ヤリバート、クロスキラ、アイスードに光線を放ち、撃破した。

ヤリバート、クロスキラ、アイスード「ぐわああああー!!」

3人の必殺技を受けた怪人3体は消滅した。

ジェットーム「あいっら!!」

ザッパード「俺らの配下を倒しやがったな。」

ドラン・キュラー3世「くっ!!」

ジェットーム「ならばここで引く訳にはいかねえ!!新しいプリキュアとやらを俺らの手で葬ってやる!!」

配下の怪人が倒されて、自らの手でプリキュアを倒しにかかるジェットーム、ザッパード、ドラン・キュラー3世。アイゼンアロイスらジャステイスヒーローもストライク達3人の元へ駆けつけに来て、ある事をし始めた。

アイゼンアロイス「俺達と一体化するぞ。」

エールストライク、マシエリシンシア「一体化?!」

アムールフェッター「ジャステイスヒーローと一体化する事で、ジャステイスヒーローの力を使う事が出来るのよ。」

フェアリアル「あなた達なら使いこなせるわ。」

烈陣丸「フェッター、いくでござる。」

エールストライク「じゃあ一体化やってみるよ。」

ジャステイスヒーローの3人と一体化する事で、その力を使う事が可能で、プリキュ

ア3人が自分達がそれぞれ呼んだジャスティスヒーローと一体化をし始めた。

ストライク「アイゼンアロイス!!」

アイゼンアロイス「ストライク!!」

シンシア「フェアリール!!」

フェアリール「シンシア!!」

フェッター「烈陣丸!!」

烈陣丸「フェッター!!」

ストライクはアイゼンアロイス、シンシアはフェアリール、フェッターは烈陣丸と一体化し、全身にアイゼンアロイスの姿をしたアーマーを身に纏い、両腕にガントレット、両脚にグリーフを装着し、パワージャッキがあるのがストライクアイゼンフォーム、妖精の姿で服装はブラウスとスカートと背中に蝶の羽があるのがシンシアフェアリールフォーム、烈陣丸の姿をした武者鎧を身に纏い、女武者と思わせるフェッター烈陣丸フォーム。今ジャスティスヒーローと一体化プリキュア3人がインフェルノの幹部と衝突する。

ストライクアイゼンフォーム「はああああー!!」

アイゼンアロイスと一体化したストライクがストライクアイゼンフォームとなって、両腕脚にあるパワージャッキを起動して走りながらジェットームにパンチでお見舞いした。

ジェットーム「ぐわあっ!!」

ストライクアイゼンフォームにパンチで殴られたジェットームは、両腕からビームブラスターを展開して、ビームを発射して攻撃した。ジェットームのビームを受けつつストライクアイゼンフォームは、ガントレットからビームソードを出刃して、斬撃し、両肩から小型のミサイルを発射した。

シンシアフェアリアルフォーム「えいっ!!」

フェアリアルと一体化したシンシアはシンシアフェアリアルフォームとなってザッパードに向かって、マスケット銃を両手に2丁構えながら射撃し、さらに自身の周りに

マスケット銃を6丁召喚して、射撃した。

ザッパード「この野郎、いい気になるな!!」

怒ったザッパードが大型ビームガトリングガンで乱射しながら、シンシアフェアリーフォームに攻撃するが、シンシアフェアリーフォームの蝶の羽で素早く飛んで攻撃を回避し、掌から光弾を放ち、攻撃した。

フェッター烈陣丸フォーム「はああああー!!」

烈陣丸と一体化したフェッターはフェッター烈陣丸フォームとなつて、戦烈鬼を両手に構えて、ドラン・キュラー3世に真っ向から刺突し、横から大きく回して斬り込んだ。

ドラン・キュラー3世「いい気になるな!!」

マントから蝙蝠型光弾を一斉発射してフェッター烈陣丸フォームに攻撃し、そのまま接近しつつ、口から牙を出して吸血しようとした。

フェッター烈陣丸フォーム「そこね!!」

接近してくるドラン・キュラー3世の顔にかかと下ろしで打ち込み、そのまま戦烈鬼で十文字斬りした。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンナックル!!」

ストライクアイゼンフォームが必殺技を発動して、両腕のガントレットのパワージャッキを起動して発光しながらジェットームに殴り込んだ。

シンシアフェアリールフォーム「プリキュア・フェアリールボレー!!」

シンシアフェアリールフォームが必殺技を発動して、無数のマスケット銃を召喚して、ザッパードに一斉射撃をした。

フェッター烈陣丸フォーム「プリキュア閃光一戦斬り!!」

フエッター烈陣丸フォームが必殺技を発動して、戦烈鬼を構えて、刀身に光を発光しながら素早く駆け込みながらドラン・キュラー13世を斬撃した。

ジェットーム、ザツパード、ドラン・キュラー13世「うっ、ぐわあっ!!」

ジャステイスヒーローと一体化した3人のプリキュアの必殺技を受けたジェットーム、ザツパード、ドラン・キュラー13世。

ジェットーム、ザツパード、ドラン・キュラー13世「覚えてろ!!」

すぐに、生き残った兵達を連れて、ゲートを通じて撤退するジェットーム、ザツパード、ドラン・キュラー13世。戦いは終わり、プリキュアが勝利を収めた。

なぎさ「頑張ったね。」

ストライク「はい。」

ほのか「あなた達ならきつと私達の力を使いこなせるわ。」

シンシア「ありがとうございます。」

はな「あなた達にこれを渡すわ。」

なぎさ、ほのか、はなは、アイカ、榛名、麗奈の戦いを見て、彼女達ならインフェルノ、ハデウスを倒す事が出来るとそう確信し、新しいプリキュアとなった3人を認め、そして3人に渡したのは、メップルとミップルがそれぞれ入ったフェアリージュエルだ。

トットム「これって?!」

ペル「ブラックとホワイトのパートナーのメップル殿とミップル殿ではありませんか?!」

はな「今は力を果たして眠りについてるのよ。だからこのフェアリージュエルをあなた達に託すわ。」

そう言いながらアイカ達に自分達の力、フェアリージュエルを託して立ち去ったなぎさ、ほのか、はな。

アイカ「あたし達が全てを託された。」

歴代プリキュアに託された想いを受け取り、その想いを果たすため、アイカとはるなは、プリキュアとしての自覚を持った。

麗奈「ようやく、プリキュアとして自覚したね。」

アイカ、はるな「はい。」

麗奈「これからあなた達に着いて来て欲しい欲しいところがあるわ。」

麗奈はアイカとはるなを連れて、連れて行きたい場所へと向かい、着いた場所は母ラブが勤務していたあさぎ市役所だった。

アイカ、はるな「!!」

あまりに驚いたアイカとはるなは、一体なぜなのか戸惑いを感じた。そして、ある場所、ある少女がキュアエースのプリキュライドジュエルを手に握らながらベットの上で寝転んでいた。

天爛家自宅

咲耶歌の部屋

咲耶歌「さて、明日どんなマジックしようかな？」

この少女が次の物語で4人目のプリキユアとなる。

次回 3話へ続く

第3話 未来を切り開く勇気の力!!キュアマジック!!

インフェルノとの戦いが終わって、麗奈に連れて来られたの、あさぎ市役所だ。

あさぎ市

市役所

アイカ、はるな「……………」

麗奈が連れて来た場所が区役所なのに驚きと戸惑いを感じる2人。3人は中へと入り、市長室へ向かった。

市長室

麗奈「入ります。」

由紀「待っていたわ。」

市長室で椅子に座るあさぎ市の市長である明藤寺由紀。

アイカ、はるな「市長さん?!」

由紀「あなた達は2人の娘さんね。あなた達が新しいプリキュアになられたのね。」

アイカ「はい。」

麗奈「明藤寺市長。」

由紀「インフェルノ、ハデウスが再び動き出した事は分かっています。これから地下基地へ向かうわ。」

アイカ、はるな「基地?」

由紀は市役所の真下にWJGの地下の秘密基地の事を教え、麗奈と一緒にアイカとはるなを連れてエレベーターに乗って、真下へ進んだ。

WJG地下秘密基地

格納庫

アイカ「わあ。」

はるな「すごい。」

トットム「人間界にこんなところがあったなんて驚いたぜ。」

あさぎ市役所の真下にWJG地下秘密基地があつた事に驚くアイカとはるな。格納庫には麗奈が日本に来る際に使ったパープルのカラーリングの人型機動兵器がおり、もう1機はここで開発されたピンクとレッドのカラーリングの人型機動兵器がいた。

アイカ「これは？」

マリーシエ「キュアライドロボよ。」

WJGの捜査官のマリーシエがやって来て、2機の人型機動兵器の名はキュアライドロボと告げた。

はるな「あなたは？」

マリーシエ「私の名前はマリーシエ・ファンデルです。WJG捜査官、少佐でありますわ。」

麗奈「ご無沙汰です、少佐。」

マリーシエ「あなたと新しいプリキュアの活躍は先程お聞きしましたわ。」

麗奈「新しいプリキュアはその2人です。」

マリーシエ「あなた達2人がプリキュアね。」
はるな「はい。」

アイカ「あたし達2人が新しいプリキュアです。」

マリーシエ「よろしく申し上げますわ。」

由紀「早速なんだけどここはWJGの地下秘密基地。今後はここで今後の事を立てていくわ。」

マリーシエ「その妖精3匹さん。あなた達はどこからやって参られたのですか？」
アーニャ「私とトットムとペルは。パラレルワールドのアスゴルド王国からやって来ました。」

ペル「僕達は新しいプリキュア10人と人間界に散らばっているレジェンドプリキュライドジュエルとジャスティスヒーローを見つけるために来ました。」

麗奈「WJGも既に見つけたレジェンドプリキュライドジュエルとジャスティスヒーローのジュエルはあるわ。」

トットム「つてどんなの何だい?!」

WJGが既に見つけたレジェンドプリキュライドロボジュエルとジャスティスヒー

ローは、まず最初にレジェンドプリキュライドジュエルからはさっきの戦いで使ったブラック、ホワイト、ソード、エール、マシエリ、アムールのジュエル、次にトランクを出して中を開け、中からブルーム、イーグレット、ドリーム、ミント、アクア、ベリー、ブロッサム、マリン、メロディ、リズム、ハッピー、マーチ、ビューティ、ハート、ロゼッタ、ラブリィ、プリンセス、ミラクル、マジカル、ホイップ、ジェラート、マカロン、パルフェ、アンジュのジュエルが入っていた。次はジャスティスヒーローのヒーローライドジュエルはさっきの戦いで使ったアイゼンアロイス、フェアリアル、烈陣丸のジュエル、テーブルの上に3つのジュエルが置いてあった。

ペル「WJGは既に見つけたんですか。」

マリーシエ「見つけるのに大変だったでありますわ。」

麗奈「探すのに苦労したの。」

マリーシエ「インフェルノは必ずレジェンドプリキュライドジュエルやフェアリアルジュエルも狙うはずよ。」

由紀「何とか守り抜かないと。」

マリーシエ「このレジェンドプリキュライドジュエルはインフェルノとの戦いに必要になるわ。これはあなた達に渡すわ。」

アイカ、はるな「ありがとうございます。」

アーニヤ「後ジャステイスヒーローの方々を見つけていたなんて驚きましたわ。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「俺も驚いたぜ、人間が俺達を見つけて出すなんてよ。」

アイカ「あつ、中からでも喋れるんだ。」

フェアリール（ヒーローライドジュエル）「そうよ、私達ジャステイスヒーローはヒーローライドジュエルからでも喋れるわ。」

烈陣丸（ヒーローライドジュエル）「そうでござる。」

はるな「それとプリキュアが10人つて言ったよね？私とアイカと麗奈さんは7人だから残り3人だよな？」

トットム「ああ、そうだい、嬢ちゃん。プリキュアはそこにいる嬢ちゃん3人と残り7人合わせて10人だい。」

麗奈「残り7人が誰がプリキュアになるかね。」

新しいプリキュアは10人。10人のうち3人はアイカ、はるな、麗奈。残りは7人はどう探していくか。一方、幽魔界の幽魔要塞でさっきの戦いで敗れたジェットーム、ザッパード、ドラン・キュラ13世は、Dリージスによる電撃の罰を受けていた。

幽魔界

幽魔要塞

居間

ジェットーム「D r イービス様、お許しをください!!」

ザッパード「ハデウス様に恥をかいた事は申し訳ありません!!」

ドラン・キュラー3世「プリキュアに敗れてしまった事には本当にお許しをください!!」

D r イービス「プリキュアに破れるとは恥を知れ!! 肝心な事を忘れてないか? 新しいプリキュアは歴代プリキュアの力を使った事とフェアリールジュエルの存在を。」

ジェットーム「しっ、しまった・・・。」

D r イービス「奴らが次使うときは歴代プリキュアの力が宿るレジェンドプリキュアイドジュエルとフェアリージュエルも狙え。それとお前達と一緒に加わる仲間を紹介する。来い、スラツシユラー、フラージェン!!」

人間界侵攻時に共に加わる仲間を連れてきたD r イービス。インフェルノの新たな2人の幹部、刃物型武器を身に纏ったサイボーグのスラツシユラーと縫い目の傷が浮き

彫りになっている四角く醜い顔に2メートルを優に超えそうな巨体を持つフランケンシュタインの姿したフラーゲンがやって来た。

スラツシユラー「ザツパード、ドラン、久しぶりだったな。」

フラーゲン「元気だったフガー?」

ザツパード「おめえはスラツシユラー!!」

ドラン・キュラー3世「そなたはフラーゲン!!」

スラツシユラー「プリキュアに手こずるとはお前らもずいぶん力押しで攻めているところだめなんだよ。」

ザツパード「んだとゴラア!!」

ドラン・キュラー3世「貴様、私を愚弄する気か?!」

スラツシユラー「お前ら、この俺とガチでやり合う気か?! やったっていいんだぞ。」
フラーゲン「フガー!!」

幹部同士のなかでザツパード、ドラン・キュラー3世とスラツシユラー、フラーゲンの2人2組の幹部らは犬猿の仲で、歪み、衝突し合った。

ジェットーム「お前ら、仲間同士喧嘩はやめんか!!」

上司のジェットームが4人の喧嘩を止めに入るが、4人の喧嘩は激しくなり、仲間同士争う羽目になってしまった。

ドリージス「やめろ、お前ら。」

仲間同士争うザッパード、ドラン・キュラー3世、スラッシュラー、フラーゲンに対し、ドリージスが静かな口調で4人の喧嘩を牽制した。

フラーゲン「申し訳ないフガー。」

スラッシュラー「わりい、血がのぼちちまって。」

ドリージス「ならば今すぐにお前達4人は人間界へ向かえ。」

ザッパード「了解致しました。」

ドラン・キュラー3世「レジェンドプリキュライドジュエルとフェアリージュエルも必ず手に入れてみせます。」

新たな幹部、スラッシュラーとフラワーゲンと共にザッパードとドラン・キュラー13世が人間界へと出撃した。一方、アリーナ学園へ通うアイカとはるなは、朝の授業を終えて昼放課で一緒に食堂を食べ終えて校庭にいた。

あさぎ市

アリーナ学園

校庭

アイカ「プリキュアになってもう1日か。」

はるな「敵と戦うだけじゃなくて歴代プリキュアの力とジャスティスヒーローの力をフエアリージュエルを見つけて集めるのも大事ね。」

トットム「後残り7人のプリキュアを見つける事も大事だい。」

アイカ「それと3人はなるべく学園にはなるべくこないように。バレるといけないから。」

ペル「僕達はあなた達2人がプリキュアだから一緒にいる事だからそこは仕方ないかと。」

アーニャ「何かあるといけないから私は市長さんから一緒にいるようにと言われてまし

たの。」

はるな「インフェルノがまた来るかもしれないね。」

またいつインフェルノが現れるか警戒をするアイカ達。校庭の広場で何やら生徒が集まって、1人の少女がある事を披露する。

咲耶歌「今からマジックをするよー。」

アイカ、はるな「ん？」

少女の名は咲耶歌でマジックをしにやって来て、2人は人が集まっている事で、近くへやって来てた。咲耶歌はハンカチマジックで、ハンカチを右手にして、左手にAの文字のトランプにしてハンカチで隠した。

アイカ、はるな「あっ!!」

咲耶歌が右手に持ったハンカチで隠した左手に持ったAの文字のトランプを開けたら、消えていた。消えたAの文字のトランプはどこに消えたか戸惑う生徒ら。消えたA

の文字のトランプは彼女の右手に現れた。彼女のマジックに拍手をする生徒ら。アイカとはるなは彼女の右のポケットの中に宝石らしいものを偶然目にした。

アイカ、はるな「!!」

2人が見たものは、何とエースのレジェンドプリキュライドジュエルだった事に気付く。マジックを終えた咲耶歌を追ったアイカとはるなは、すぐに彼女に声をかけた。

アイカ「すみません、ちょっといいですか？」

咲耶歌「あら、あたしのマジックまた見たいの？」

はるな「違うんです、ポケットに入ってるのを見せてくれませんか？」

2人は咲耶歌にポケットに入っているのをすぐに見せるように頼んだ。

咲耶歌「あたしのポケットに入ってるこれね。」

2人な頼まれた咲耶歌は早速ポケットの中から出したものを見せた。アイカとはる

なはすぐに確認したら、本当にレジェンドプリキュライドジュエルだった。

アイカ「それどこで見つけたんですか？」

咲耶歌「昨日学校の帰りに草むらで偶然見てけて拾ったの。」

はるな「それを渡してくれませんか？」

咲耶歌「ダメよ、それは私が拾ったんだから私の物よ。」

アイカ「お願い、それはどうしてもあたし達に必要な物なんです、どうか渡してください。」

アイカとはるなは、咲耶歌が持っているプリキュライドジュエルエースを渡すように頼んだが、彼女はそれを拒否し、それを自分のものだと主張した。

はるな「それを渡してくれないと後からとんでもない事が起きます。」

咲耶歌「そんなの信じないよ。いくらお願いしても渡さないよ。」

プリキュライドジュエルエースをそれでも渡さないと言い張る咲耶歌。3人が絡み合う中、学園外の街ではインフェルノが現れて、攻撃が行われた。

市街地

スラツシユラー「お前ら、かかれー!!」

兵達にすぐに命じるスラツシユラーは、市街地へ向けて攻撃を開始した。インフェルノの襲撃から逃げ回る一般人達。

咲耶歌「何、何なの?!」

アイカ「インフェルノ。」

はるな「私達の世界を侵略する悪の組織よ。」

咲耶歌「インフェルノ……。」

インフェルノの出現に急いでアイカとはるなは急いで現場へ向かった。咲耶歌はインフェルノの名を聞いて、彼女は何か怯え出した。街を破壊するインフェルノの部隊。

スラツシユラー「出てこい、プリキュア!!」

アイカ、はるな「インフェルノ!!」

フラーゲン「何だお前らフガ？」

アイカ「街を破壊するはやめなさい!!」

はるな「これ以上やるなら私達が相手よ!!」

ザッパード「プリキュア、また邪魔する気か?！」

スラツシユラー「あのガキ2人がなのか?」

ドラン・キュラ13世「そうです。」

麗奈「2人共!!」

アイカ「麗奈さん!!」

麗奈「新手の幹部2人いるね。気をつけて。」

はるな「変身しましょう。」

駆けつけにきた麗奈と一緒にアイカとはるなはキュアアトフォンチェンジャーを出して、自分達のプリキュライドジュエルをそれぞれ刺して変身し始めた。

アイカ、はるな、麗奈「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアトフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈

は、全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、プリキュアの姿へなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

プリキュアに変身した3人は、新たな幹部2名のスラッシュラーとフラワーゲンらに挑んだ。

咲耶歌「プリキュア……」

アイカとはるなを追ってやってきた咲耶歌が2人がプリキュアだと知り動揺した。

スラッシュラー「来い、ボウガンンド、フローズンクラッチ!!」

スラッシュラーとフラーゲンは自身の配下怪人のボウガンンドとフローズンクラッチを呼んで、プリキュア達に襲いかからせた。

ボウガンンド「はい、はい!!」

フローズンクラッチ「!!」

ボウガンンドがクロスボウを乱射して、プリキュアに攻撃、さらに街を破壊した。フローズンクラッチがパンチで地面に殴って衝撃波を起こして、街を崩壊させた。

ストライク「街が!!」

シンシア「被害が出ちゃう!!」

フェッター「何とかしないと!!」

マリーシエ「町の人達の避難は済ませましたわ。昨日貰ったレジェンドプリキュライドジュエルを使ってください。」

ストライク「わかったよ。」

怪人2体の攻撃で街に被害が出てしまい、すぐに対処にかかる3人。マリーシエが現れ、町の人々を避難させた。昨日地下秘密基地でもらったレジェンドプリキュライドジュエルで、ストライクはプリキュライドジュエルハート、シンシアはプリキュライドジュエルロゼッタ、フェッターはプリキュライドジュエルビューティを取り出した。

フェッター「これでなんとかするしかないわね。」

シンシア「じゃあ使ってみるわ。」

ストライク「行くよ。」

3人は新たに使うレジェンドプリキュライドジュエルを自分達のキュアートフォンチェンジャーに刺して、変身する。

ストライク、シンシア「プリキュライドチェンジドキドキ!!」

フェッター「プリキュライドチェンジスマイル!!」

ストライク、シンシア、フェッターらはそれぞれのレジェンドプリキュライドジュエルの力で変身し、ストライクはハート、シンシアはロゼッタ、フェッターはビューティ

となった。

ハートストライク「はあああああー!!」

ハートになったストライクがラブハートアローを出して、ボウガンンドに向けて射撃し、またボウガンンドはクロスボウでハートストライクに反撃した。

ロゼッタシンシア「ロゼッタウオール!!」

ロゼッタになったシンシアは人々を守るためにインフェルノ兵、マシンソルジャー、スカルトイの攻撃にロゼッタウオールを展開して、防いだままバリアごと押し返して蹴散らした。

ビューティフェッター「はあああああー!!」

ビューティになったフェッターが氷の剣を2本形成して、フローズンクラッチに向かって二刀流を強いて斬撃し、フローズンクラッチは両腕を上にあげて、ビューティ

フエッターを殴り込んだ。

ボウガンンド「お前、弓使うなんて気に喰わんぞ!!」

ハートストライク「平気で人を傷付けるあなた達悪い人を許さないわ!!」

ボウガンンド「その減らず口、撃ち抜いてやる!!」

両者による弓同士の対決を繰り広げ、撃ち合いをした。クロスボウで無差別に乱射をするボウガンンドにロゼッタシンシアがロゼッタウオールで防いだ。

ロゼッタシンシア「ストライク!!」

ストライク「シンシア、力を合わせていこう。」

双子一緒に力を合わせて、インフェルノの怪人に挑み、ハートストライクが攻撃、ロゼッタシンシアが防御で、連携して挑み、ロゼッタシンシアがロゼッタウオールでボウガンンドのクロスボウの攻撃を防ぎ、ハートストライクがラブハートアローで射撃した。

ビューティフェッター「はあああああー!!」

氷の剣で斬撃を繰り出して、フローズンクラッチと渡り合うビューティフェッター。

フローズンクラッチ「おらあー!!」

パンチでビューティフェッターに向けて殴りにかかるフローズンクラッチ。

ビューティフェッター「プリキュア・ビューティブリザード!!」

フェッタービューティが右手に氷エネルギーを溜め、左手でアスタリスクを描いて雪の結晶とし、両手から冷気の光波を放って、フローズンクラッチの両脚を凍らせた。

咲耶歌「あああつ。」

プリキュアの戦いを実感する咲耶歌。だが、そんなプリキュア達の戦いに思わぬ事が起きた。

スラッシュラー「貫うぜ!!」

フラーゲン「プリキュア、覚悟フガー!!」

ボウガンードと交戦中のハートストライクとロゼッタシンシアにスラッシュラーとフラーゲンが乱入し、フラーゲンがハートストライクに強く殴り込んだ。

ハートストライク「あああああー!!」

フラーゲンの高いパワーによって、圧倒されてしまい、元のストライクに戻ってしまっただ。

フラーゲン「まだまだフガー!!」

フラーゲンが両手を合わせて上にあげながら、ストライクに強くぶち込んだ。

ロゼッタシンシア「うっ!!」

スラッシュユラーは右手に大型サブバイバルナイフ、両脚に仕込まれている折畳み式のダガーナイフによる斬撃を繰り出し、ロゼッタシンシアはロゼッタウォールで攻撃を防いだが、スラッシュユラーが上に飛んで、彼女の背後に突いて、右手に手甲爪アームを変えて、彼女に切り込んだ。

ロゼッタシンシア「きゃああああー!!」

スラッシュユラーにバリアの弱点を突き付けられて背後が展開しなかった事で、攻撃を受けてしまい、元のシンシアに戻ってしまった。

スラッシュユラー「バリアってな、無防備の後ろ狙われたら意味はねえんだよ。」

スラッシュユラーとフラーゲンにやられてしまったストライクとシンシア。

ビューティフェッター「ストライク、シンシア!!」

ザッパード「そうはさせるかよ!!」

2人を助けに行こうとしたらザッパードとドラン・キュラー13世が現れた。

ドラン・キュラー13世「レジェンドプリキュライドジュエルとフェアリージュエルをよこしてもらいましょうか!!」

レジェンドプリキュライドジュエルとフェアリージュエルを狙いにかかるザッパードとドラン・キュラー13世。ザッパードがトゲ型ナックルダスターで彼女に殴りにかかり、ドラン・キュラー13世が剣で斬りにかかった。

ビューティフェッター「ヒーローライドジュエル!!」

2人の攻撃を回避し、ビューティフェッターはヒーローライドジュエル烈陣丸を出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して、すぐ呼び出した。

烈陣丸「はあああああー!!」

すぐに召喚された烈陣丸が戦烈鬼で剣風連斬で、剣風を連続で放ち、攻撃した。スラッシュユラーとフラーゲンの乱入によって追い詰められてしまったストライクとシンシア。

ストライク、シンシア「あああああー!!」

スラッシュユラーの斬撃とフラーゲンの活かしたパワー攻撃で圧倒されつつピンチに陥ったストライク、シンシア。

ボウガンンド「こいつはお返しだぜ!!」

幹部2人の乱入によって氣勢を逆転したボウガンンドがクロスボウで2人に射撃した。

スラッシュユラー「さあ、大人しくレジェンドプリキュライドジュエルとフェアリージュエルを渡すんだな。」

咲耶歌「!!」

ピンチに追い詰められた2人を見た咲耶歌は、10年前に起きたある事を思い出した。

回想

10年前

日本

咲耶歌「お母さん、お母さん!!」

10年前、インフェルノが地球全体に起こしたファイナルウォーによって、日本を含めた全ての世界に襲撃し、プリキュアとインフェルノの激しい戦いが繰り広げられた。そんな中、まだ4歳だった咲耶歌は父、母、2人の姉と一緒に家族でインフェルノの襲撃から逃げ回っていた。地面が割れて、一緒にいた母が離れ離れになってしまい、さらに地球の上空から出現したハデユスの攻撃により、辺り一帯が焦土化し、目の前に気付いたらそこに地面で割れた場所に母の姿はなく、母がどこに行ったのかわからず、咲

耶歌と父と2人の姉は母がいなくなってしまう事で、泣き崩れた。

現在

咲耶歌「……。」

10年前の過去の悲劇が彼女の中で蘇ろうとしており、また同じ事が起きてしまう事に震え、恐れを感じた。

咲耶歌「どうしたらいいの……。」

だが、咲耶歌は逃げるのでなく、どうしたらいいのか考え、10年前に起きた悲劇を再び同じ繰り返しを起こさないために今自分に出来る事は何か。

咲耶歌「!!」

咲耶歌は、近くに落ちていた鉄パイプを拾って、スラツシユらに追い詰められているストライクとシンシアを助けるために単身で走っていった。

ストライク「さっきの子……。」

昼放課に会ったマジックをした咲耶歌が一人でやって来て、インフェルノに立ち向かおうにかかる。

スラッシュユラー「何だ、お前は？」

咲耶歌「私が相手よ!!」

咲耶歌は鉄パイプを手を持ちながらスラッシュユラーに振り回した。だが、全く効いておらず、相手は人間離れた存在で、鉄パイプが効くはずもない。

フラーゲン「邪魔なんだフガー!!」

フラーゲンが咲耶歌に向けてパンチを殴り飛ばした。

咲耶歌「があっ!!」

フラーゲンに殴り飛ばされた咲耶歌は、地面に強くぶつかり、全身にひどい痛みを受けた。

咲耶歌「痛いよ……」

自分の非力さに涙を流す咲耶歌。10年前のインフェルノの襲撃で母が行方不明になってしまって家族がどれだけ悲しんだか、そして今自分がここで死んでしまうんじゃないか思ってしまった。

スラツシユラー「さて、トドメと行こうか。」

地面に倒れた咲耶歌にトドメを刺そうとするスラツシユラーが大型サバイバルで斬りかかろうとした。その時、彼女のポケットの中に入っているプリキュライドジュエルエースが光出し、その光が咲耶歌を包み込んだ。

???

咲耶歌「ここは……?!」

気付いたら、どこからかの空間にいており、さつき殴られて地面にぶつかつた痛みが消えており、そこに赤い長髪をした女性が目の前に立っていた。

エース（幻影）「……………」

咲耶歌「あなたは？」

エース（幻影）「私の名はキュアエース。あなたは一人で立ち向かおうとしました。あなたは逃げずにその勇気を見せてくれました。あなたにこれをお渡しします。」

その女性はキュアエース。ファイナルウォーで二度と存在しなくなつたはずが何故この姿に現れたかはわからない。だが彼女は咲耶歌が逃げずに立ち向かつたその勇気を見た事で、咲耶歌にキュアートフォンチェンジャーとプリキュライドジュエルマジックとエースのとパートナーのアイちゃんが入っているフェアリージュエルを渡した。

咲耶歌「これを私に？」

エース（幻影）「あなたなら使いこなせます。新しいプリキュアとして戦うのです。」

エースからそう告げられて、光の中は解除された。

あさぎ市

市街地

咲耶歌「……。」

スラツシユラー「どうなつてやがる?!」

咲耶歌「あたしの勇気、未来を守つてみせる。」

エースから渡されたキュアアートフォンチェンジャー時プリキュライドジュエルマジックを手にした咲耶歌は、今インフェルノを倒す力ため、プリキュアに変身し始める。

咲耶歌「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアートフォンチェンジャーにプリキュライドジュエルマジックを刺して変身する咲耶歌は、全身に光が纏い、髪型と服装を一新し、髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルク

ハットを被った。

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

咲耶歌は4人目のプリキュア、キュアマジックとなり、今新たなプリキュアの誕生、彼女のプリキュアとしてのマジックを披露する。

スラッシュラー「プリキュアだと?!」

シンシア「うそつ、マジックした子がプリキュアになっちゃうなんて。」

ストライク「あり得ない。」

ビューティフェッター「4人目が誕生したなんて。」

烈陣丸「奇跡でござるな。」

トットム「キュアマジック、奇跡の登場なんでい!!」

ペル「奇跡の登場ですね。」

アーニャ「本当そうですね。」

4人目のプリキュアであるマジックの奇跡の誕生と出現に驚いたストライク達。

フラーゲン「お前なんかコテンパンにしてやる!!」

フラーゲンがマジックに向かって殴りにかかってきた。

マジック「!!」

フラーゲンの来るパンチをジャンプしてかわし、フラーゲンの頭の上に乗った。

マジック「こっち、こっち!!」

自分の頭の上に乗ったマジックに掴みにかかったフラーゲン。マジックはフラーゲンの頭の上からジャンプして、今度はキックでフラーゲンの頭に強く打ち込んだ。
だ。

フラーゲン「いたたた!!」

スラッシュラー「野郎調子に乗りやがって!!ボウガード、フローズンクラッチ、そ

れにザッパード、ドラン・キュラー13世、こいつを倒せ!!」

配下の怪人と同僚2人に命令するスラッシュラー。

ザッパード「なんであいつが命令すんだ!!」

ドラン・キュラー13世「今はプリキュアを倒すしかありません。」

ザッパード「くっ。」

同僚のスラッシュラーの命令とはいえ、プリキュアを倒す事で、受け入れざるをえず命令を受けたザッパードとドラン・キュラー13世は部下と共にマジックに襲いかかった。

トットム「キュアマジックの嬢ちゃん、自分のキュアートフォンチェンジャーでさつき持っているプリキュライドジュエルエースに刺すんだい。」

マジック「これね。じゃあやってみるよ。」

マジックはトットムから自分が持っているプリキュライドジュエルエースをキュ

スマートフォンチェンジャーに刺すように言われてすぐに行い始める。

マジック「プリキュライドチェンジドキドキ!!」

声をかけて変身したマジックは、髪型と衣装が変わり、自分が光の中で会ったエースになった。

エースマジック「わあっ!!」

自分の姿に驚いたマジックは、自分がまるで別人になっていて、顔と声以外は変わっており、背のサイズはマジックのサイズに合わせて、中学生と同じだ。

エースマジック「これがあたし。じゃあやってみるよ!!」

エースの姿になったマジックは、ザッパード、ドラン・キュラー3世、ボウガード、フローズンクラッチを相手に挑んだ。

ザッパード「オラオラオラー!!」

ザッパードがトゲ型ナツクルダスターでエースマジックに殴りにかかった。ザッパードの攻撃をエースマジックが取り出した1枚のトランプでガードし、回し蹴りをした。

ドラン・キュラー13世「いただきます!!」

上からドラン・キュラー13世が飛びかかってきて、剣でエースマジックに斬りかかろうとした。ドラン・キュラー13世の剣に対し、マジックエースが素早く動き回ってかわっていた。

ザッパード「ならば一斉にかかるぞ!!」

4人同時に一斉になって、エースマジックに襲いかかった。

ペル「キュアートフォンチェンジャーを出すのです。それでアイテムを出す事が出来

ます。」

エースマジック「わかった!!」

キュアアトフォンチェンジャーを出して操作したエースマジックは、手元に現れたのは杖の形をした武器マジックステッキスピアだ。それを手にしたエースマジックは、元のマジックに戻りながらマジックショーを行った。

マジック「レディーズ、アンド、ジェントルメン!! マジックショーの始まりよ!!」

マジックステッキスピアを構えたマジックが前に出して、杖から爆発を起こして、ザッパードらをけん制した。

一同「うわあっ!!」

杖から出た爆発に驚いて動きが止まったザッパードら。次にシルクハットを出して、中から多数の鳩を呼び出して、ザッパードらに突っついた。

ザツパード、ドラン・キュラー3世、ボウガンンド、フローズンクラッチ「うわあー!!」

マジックのシルクハットから出て来た多数の鳩に襲撃されたザツパードら。

スラッシュラー「こうなれば俺らの出番か、フラーゲン!!」

フラーゲン「フガー!!」

マジックの披露したマジックによって、混乱したザツパードらがしくじり、自らマジックを倒しにかかるスラッシュラーとフラーゲン。

ビューティフェッター「キュアマジック、これを使って!!」

その時、ビューティフェッターがマジックにヒーローライドジュエルを投げて渡し、受け取ったのは偉人の格好をしたヒーローライドジュエルだ。

マジック「じゃあ使うね。」

ビューティフェッターから渡されたヒーローライドジュエルをキュアートフォン
チェンジャーに刺した。

マジック「ヒーローライドジュエル!!」

早速キュアートフォンチェンジャーに刺して現れたのは、神話の偉人の格好をして超
人的な肉体をした姿の人物だ。

ソール「私を呼んだのは君か？」

マジック「はい。」

烈陣丸「ソール殿。」

ソール「烈陣丸、それにフェッターもか。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「俺やフェアリアルもいるぞ。」

フェアリアル「やつほー、ソール。」

ソール「アイゼンアロイス、フェアリアル」

トットム「あなた様はソール様!!」

ソール「お前達は？」

ペル「私達はアスゴルド王国からやって来た妖精3匹です、あなた様の父オーズイー
ン様の命により参られたのです。」

アーニヤ「私達はインフェルノ、ハデウスを倒すために新しいプリキュアと歴代プリ
キュアの力とフェアリージュエルとジャスティスヒーローを探すために来たのです。」

ソール「父上が。」

ペル「はい。」

ソール「あそこにインフェルノがいるのか。」

目の前にインフェルノがいる事に気付くソールは、平和を乱す邪悪な存在を見逃すわけにはいかないと鋭い表情で目を向けた。

スラッシュラー「ジャスティスヒーローめ、またハデウス様の邪魔をする気か?！」

ソール「お前達インフェルノを野放しにしない。」

フローズンクラッチ「お前、いい気になるな!!」

ソールに向かって、殴りにかかるフローズンクラッチが思いつきりパンチをする。

ソール「!!」

フローズンクラッチのパンチを片手で受け止めて、受け止めた片手で持ち上げて、そのまま投げ飛ばして、右手に持っているアスゴルド王国代々から伝わる雷槌ミヨルニアを持ちながら、飛ばしたフローズンクラッチに向けて雷を放射し、撃破した。

マジック「すごい……。」

ソールが怪人1体を一撃で撃破したのに驚愕するマジック。ソールが彼女に声をかけた。

ソール「一緒に戦おうか。」

マジック「はい、2人で一緒にインフェルノを倒しましょう!!」

インフェルノを倒す事は両者共通で、一緒に戦う事で意気投合するマジックとソールは一体化をする。

マジック「ソール!!」
ソール「マジック!!」

マジックとソールの2人が一体化し、ソールの姿をしたフォームを纏い、雷槌ミヨルニアを手にし、偉人のような格好となったマジックはマジックソールフォームとなった。

マジックソールフォーム「はああああー!!」

ソールと一体化して、マジックソールフォームはミヨルニアを右手に持ちながら、スラッシュラー、フラーゲン、ボウガンンドに向けて進みながら、ミヨルニアを手にしたまま必殺技を発動した。

マジックソールフォーム「プリキュア・ソールサンダーボルトテンペスト!!」

マジックソールフォームはミヨルニアから雷を放電して、スラッシュラー、フラーゲン、ボウガンンドに喰らわせた。

スラツシユラー、フラーゲン、ボウガンンド「ぐぎやあああー!!」

マジックソールフォームの必殺技の放電を浴びたスラツシユラー、フラーゲン、ボウガンンド。必殺技の威力によってボウガンンドは耐えきれず、撃破された。

スラツシユラー、フラーゲン「うっ、ぐう。」

マジックソールフォームの必殺技で放電を浴びたスラツシユラー、フラーゲンは倒れていた。

ザッパード「スラツシユラーとフラーゲんめ、でかい口ツラしやがって。俺とドラン・キュラー13世が相手だ!!」

ザッパードとドラン・キュラー13世がマジックソールフォームを倒しにかかろうとするが、

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリーフォーム「そうはさせない!!」

ザッパードとドラン・キュラー3世の前に、各ジャステイスヒーローと一体化したストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリーフォームが現れた。

ザッパード「邪魔するな!!」

両手にサブマシンガン2丁構えて、2人に乱射するザッパード。ザッパードの攻撃をストライクアイゼンフォームがガントレットからビームソードを出刃して切り払い、そのものまま必殺技を発動した。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンサンシャイン!!」

両腕のガントレットのパワージャッキを起動して両手を合わせて掌から強力な光線を放ち、ザッパードとドラン・キュラー3世に喰らわせた。

ザッパード、ドラン・キュラー3世「うっ!!」

ストライクアイゼンフォームの必殺技の光線を喰らい、ザッパードとドラン・キュラ13世はこれ以上の戦いは無理と判断し、スラッシュユラーとフラワーゲンを連れて、引き上げて逃走した。無事、勝利をしたストライク達、4人目のプリキュアであるマジックの誕生で、勝つ事が出来た。

咲耶歌 「あたしもプリキュアになっちゃったんだ。」

アイカ 「あなたもあたし達と同じプリキュアなんだね。」

はるな 「名前は？」

咲耶歌 「あたし、天爛咲耶歌。14歳、よろしくね。」

アイカ 「あたしの名前は桃園アイカ。」

はるな 「私の名前は桃園はるな。」

咲耶歌 「2人は双子なんだ。あたしには姉が2人いるのよ。」

はるな 「姉が2人もいるんだ。」

麗奈 「・・・。」

咲耶歌 「あなたは？」

麗奈 「私は麗奈Ⅱブランネージュよ、よろしく。」

咲耶歌「よろしくね、麗奈さん。」

アイカ「これからも一緒にプリキュア、頑張ろう。」

新たに4人目のプリキュアである天爛咲耶歌ことマジックが仲間になり、今後共に歩んでいく。

次回 4話へ続く

第4話 ピンチ、プリキュア絶体絶命

4人目のプリキュア、マジックが仲間に加わり、同じ学校に通いながら学年は違っても一緒に過ごす事が増えた。今は咲耶歌が2人の家にやって来た。

桃園家自宅

咲耶歌「ここがアイカちゃん、はるなちゃんのお家なんだ。」

アイカ「ママ2人とは一緒だったけど。」

はるな「インフェルノの最初の戦いで捕らわれたの。」

由紀「今は私と麗奈が2人の保護者代わりとして見ているわ。」

はるか「市長さんがWJGの協力者だったのには驚いたわ。」

麗奈「私は表向き大学部に通っている生徒としているわ。私がWJGだとバレないようにしたから。」

アイカ「身分を秘密にするんだ。」

麗奈「当たり前よ、WJGだと知ったら大騒ぎになるわよ。」

咲耶歌「身分隠すの大変だね。」

トットム「麗奈の嬢ちゃんはプリキュアの正体隠すのも同じく大変なんでないな。」

ペル「WJGって秘密主義が多いみたいだね。」

アーニャ「レジエンドプリキュライドジュエルとジャスティスヒーローをよく集められましたわね。」

麗奈「WJGが集めたのはこのくらいよ。後はまだ他のレジエンドプリキュライドジュエルとジャスティスヒーローの行方はまだどこにいるのかわからない。でもフェアリージュエルだけは見つからなかったわ。」

トットム「それによく集められたもんだぜ。」

麗奈「私はハデウスを倒すためにプリキュアになったの。ハデウスだけはこの手で倒す。」

はるな「麗奈さん。」

麗奈「全世界と全宇宙を支配しようとするハデウスの野望だけは必ず阻止してみせる。」

麗奈はハデウスへの打倒を燃やし、ハデウスだけは必ずこの手で倒すと言う彼女の執念がアイカ達に伝わる。

アイカ「10年前に現れた悪の元凶ね。」

由紀「おかげで世界はめっちゃめっちゃになったわ。」

咲耶歌「あたしの家族をも引き裂かれたの。」

はるか「私は10年前、プリキュアとして他のプリキュアの仲間達と一緒に戦ったの。ハデユスを倒す事は出来なかった。ハデユスに1人で立ち向かった戦士がいたけど最後の最後で負けてしまったの。」

ハデユスによってその被害は大きく、地球全体を壊滅させ、あらゆる企業、団体、組織、機関、国などが崩壊し、その影響で治安も崩壊して、テロや内戦や暴動が起きるようになった。そして今、ハデユスが再び動き出して、インフェルノを再び出現させて、10年前の脅威を再び起きようとした。新たに誕生した4人のプリキュア達が表れて、ハデユスとインフェルノの野望を阻止にかかる。一方、幽魔界の幽魔要塞では、スラッシュシューターとフラージェンまでもプリキュアに敗れて失敗し、2人もD r i j sの電撃の罰を受けた。

幽魔界

幽魔要塞

居間

スラッシュユラー「うぎやあああー、D r i e e j s様、お許してください!!」

フラーゲン「フガー、プリキュアを次こそは倒すフガー!!」

D r i e e j s「お前達2人もか!!プリキュアに敗れ、レジェンドプリキュライドとフェアリージュエルを奪えなかつたとは恥を知れ!!」

プリキュアに敗れたスラッシュユラーとフラーゲンはD r i e e j sに叱責されていた。そして既に次の幹部も用意しようとしていた。

D r i e e j s「プリキュアに敗れたお前達にまた新たな仲間を用意した、来い!!」

D r i e e j sに連れて来られた新たな幹部は、1人は巨体の故に全身に武器を身に纏うクラツシトロイ、2人は全身に包帯を巻いた女性ラミイだ。

クラツシトロイ「ただ今参りましたー。」

ラミイ「あたしの出番か。」

ザッパード「クラツシトロイ!!」

ドラン・キュラー13世「ラミイ!!」

ラミイ「お前達が手こずっていると聞いてな。」

スラツシユラー「お前らが呼ばれて来たとは。」

クラツシトロイ「プリキュアはどんな相手だ？」

フラーゲン「言われてみればだいたい少女が戦い感じフガー。」

ラミイ「プリキュア、あたしにはそいつらが忌々しく感じる。この手で葬ってやる。」

クラツシトロイ「俺とラミイでやっつけてやるんだな。」

スラツシユラー「お前ら2人でか。」

ラミイ「あんた達もちゃんと来な。」

ザツパード「あああつ。」

ラミイ「あたしとクラツシトロイの配下も手配している。んじやこつちもそろそろ人間界へ行く。」

新たな幹部、クラツシトロイとラミイが加わり、ザツパード、ドラン・キュラー3世、スラツシユラー、フラーゲンと配下の怪人と兵を率いて人間界へ出現する。一方、アリーナ学園の校庭で昼放課で4人揃って集まったアイカとはるなど麗奈と咲耶歌は、

アリーナ学園

校庭

アイカ「4人で集まってなんか歳の差が。」

はるな「私とアイカは小学生で、咲耶歌さんは中学生で、麗奈さんは表向きは大学生。」
麗奈「それぞれ歳の差が集まった者同士の組み合わせは珍しいわね。」

咲耶歌「いやー、言われてみると確かにすごいよ。」

アイカ「何だか変わった組み合わせだね。」

それぞれ歳の差が集まって、アイカとはるなは小学生、咲耶歌は中学生、麗奈は表向き大学生だ。4人がいる中、そこで青いセミロングをした少女が通りかかった。

海「……。」

アイカ、はるな「綺麗……。」

青いセミロングをした少女は、綺麗な髪で、髪の色が海のような特徴して、その少女に綺麗さを感じたアイカとはるな。

海「何かようかしら？」

はるな「あつ、あの……。」

アイカ「髪、綺麗ですね……。」

海「ありがとう。あなた達はそこで何をしてるの？」

はるな「ちよつと大事な打ち合わせをしていたの。」

海「そう。」

彼女は何やら寂しげな表情で返事して立ち去った。

アイカ「今の人は？」

咲耶歌「ええつと、今の人は儀城海。彼女はあたしと同じ中学生で同じクラスであの有名な高級洋菓子店セレブ堂のところの娘さんよ。ついこの間、このあさぎ市に来たばかりで。」

麗奈「へえー、転校生ね。」

咲耶歌「まあね、偶然かな？」

アイカ「さっきの儀城さんって人何か寂しそうな表情をしていたみたいね。」

はるな「どこか悩んでいる感じだった。」

海と言う少女からは何か寂しい表情をし、悩みを抱えていたのに感じたアイカとはるな。それからして授業は終わり、学校を出たアイカとはるなど麗奈と咲耶歌と一緒に帰りながら時間に余裕があり、街に寄って、偶然建っていたキラキラパティスリーというお店に入店した。

市街地

キラキラパティスリー

いちか「いらつしやいませ。お客様は4名様ですか？」

麗奈「4名よ。」

いちか「では席はあちらにどうぞ。」

手前の席に座った4人。アイカとはるなはまだ海の事を気にかけていた。

アイカ「今日会った儀城さんって人、何だか気になっちゃう。」

はるな「どこか寂しげな表情だったね。」

咲耶歌「彼女、まだあさぎ市に来たばかりだからね。」

麗奈「あの子の事、まだ気にしてるんだ。」

はるな「何だろう、どこか悩みを抱えてるんじゃないかなって。」

海が何か悩みを抱えてるのではないかと思うアイカ達。そこで海がこのキラキラパティスリーに入って来た。

海「……。」

アイカ「あつ、儀城さん。」

海「あなた達はさっきの。」

偶然、キラキラパティスリーの中でまた会ったアイカ達と海。

麗奈「まさかまた会うなんて偶然ね。」

海「……。」

アイカ「儀城さん、あの、もしよかったら一緒にこのスイーツを食べませんか？」

はるな「ほら、ここのお店のスイーツは美味しそうだからよかったら一緒に頼んでみませんか？」

海「ごめんなさい、私、みんなとは一緒に仲良く食べる事は出来ないの。」

アイカ達が一緒にスイーツ食べるの誘ったのを断り、そのまま店を出てしまった。彼女の表情はまた寂しげで切ない顔をしていた。

いちか「……………」

アイカ「儀城さん、また寂しい顔をしてたね。」

はるな「何か理由があるかもね。」

彼女の寂しい表情に何か理由があると考えたアイカとはるな。そんな中、街で爆音が響いた。

咲耶歌「今の爆発はまさかインフェルノ?！」

麗奈「厄介ね、毎度現れて。」

はるな「スイーツ食べようと思ったらこんな時に。」

アイカ「行こう、また犠牲を出す前にインフェルノを倒しに。」

スイーツを食べようとしたらインフェルノの出現に早速気付き、急いで向かうアイカ

達。

いちか「……………」

そんなアイカ達が飛び出て向かう姿にいちかは。

いちか「あの子達が新しいプリキュアね。」

街で出現したインフェルノのクラッシトロイとラミイと配下のスニーカーズとスカルドーン、一緒に随行する事になったザツパード、ドラン・キュラー3世、スラツシユラー、フラーゲン。

クラッシトロイ「出てこい、プリキュア!!」

ラミイ「お前らをここで仕留めてやる!!」

街を破壊するクラッシトロイとラミイ。

アイカ「インフェルノ、そこまでよ!!」

ラミイ「お前らがプリキュアか。」

はるな「また新しい幹部。」

麗奈「どれだけいるの。」

トットム「インフェルノの幹部は何人なんでい。」

ペル「6人もいますな。」

アーニヤ「多いですわ。」

クラツシトロイ「俺の名はクラツシトロイ。」

ラミイ「あたしの名はラミイ。」

咲耶歌「ザッパード達の仲間ね。」

ザッパード「ああ、数がこれだけありや俺達の勝ちだ。」

ドラン・キュラ13世「かかれ!!」

インフェルノの幹部6名と怪人2体と兵達が一斉にかかって、アイカ達に襲いかかった。

アイカ「みんな変身するよ!!」

はるな「いつで出来るわ。」

麗奈「とつとと済ませていくわ。」

咲耶歌「じゃあ、シヨータムといきますか。」

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌らは自分達のキュアートフォンチェンジャー、プリキュライドジュエルを出して刺し、変身し始める。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌は、全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、プリキュアの姿へなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

4人は早速プリキュアになって、インフェルノと対決する。

海「!!」

偶然街にいた海はプリキュアを目撃し、プリキュアと言う存在が彼女に大きく与える事となる。

ストライク、シンシア「はああああー!!」

ストライクとシンシアがキュアブレードマグナム剣モードでインフェルノ兵、ゾンブーン、マシソルジャーを次々と斬り込んでいった。フェッターがキュアカタナテツポウ鉄砲モードでバトルの集団を撃ち落としていった。

マジック「たああああー!!」

マジックがマジックステッキスピア槍モードで振り回しながら、敵兵を蹴散らした。スカルトイの集団が剣で斬りかかってマジックに向かつて襲いかかったが、マジックはマジックステッキスピア槍モードで真つ向から突き刺して、一気に蹴散らした。

ザッパード「行くぜ!!」

ドラン・キュラー13世「喰らえ!!」

ザッパードがサブマシンガン2丁、ドラン・キュラー13世が蝙蝠型光弾でプリキュアに射撃した。

マジック「!!」

マジックステッキスピア槍モードでなぎ払い、杖モードに変形して、杖の先端から花を出現して、花びらを撒き散らして、2人の顔にくっ付けた。

ザッパード、ドラン・キュラー3世「目が見えん!!」

マジックに撒き散らした花びらで前が見えなく攪乱するザッパード、ドラン・キュラー3世。マジックがマジックステッキスピア槍モードで攻撃した。

スラツシユラー「いただき!!」

フラーゲン「フガー!!」

スラツシユラーとフラーゲンが一緒になってストライクとシンシアに襲いかかった。

ストライク、シンシア「ヒーローライドジュエル!!」

2人はヒーローライドジュエルをキュアートフォンチェンジャーに刺して、アイゼンアロイス、フェアリアルを召喚し、スラツシユラー、フラーゲンと対決させた。

アイゼンアロイス「喰らえ!!」

スラッシュユラーに掌からビームを発射して攻撃し、さらにビームソードを出刃して斬撃した。

フェアリール「こっちよ!!」

空を飛びながらフラージェンを挑発させ、フラージェンは殴りにかかりに来た。掌から光弾を放ち、フラージェンを蹴散らした。一気に優勢するプリキュアと思われたが、

ラミイ「だらしねえな、こんな奴らに手こずるとは。クラツシトロイ、スカルドーン、スニーカーズ、あたしらの力を見せてやるぞ!!」

クラツシトロイ「暴れてやるんだな。」

スカルドーン、スニーカーズ「はい、ラミイ様、クラツシトロイ様。」

ラミイ、クラツシトロイ、その配下のスカルドーン、スニーカーズが戦闘に出て、プリキュア達を倒しにかかった。

ストライク「同じ幹部ならここで倒してみせる!!」

ストライクとシンシアがキュアブレードマグナム剣モードを持ったまま、ラミイ、クラツシトロイに向かって斬りかかった。

ラミイ「そうはさせるか!!」

ラミイは全身に巻いてある包帯が放たれ、ストライクとシンシアに攻撃した。

ストライク、シンシア「あああっ!!」

ラミイの全身に巻いてある包帯の攻撃技喰らったストライクとシンシア。

ラミイ「次はこれを喰らえ!!」

ラミイが口から毒ガスを吐いて、2人に浴びせた。

ストライク、シンシア「うつ、あああっ!!」

ラミイの口から吐いた毒ガスによってストライクとシンシアが毒状態になって、ダウンした。

ラミイ「貰った!!」

両腕の包帯で形成したクロードでストライクとシンシアを切り裂いた。

フェッター、マジック「ストライク、シンシア!!」

アイゼンアロイス「ストライク!!」

フェアリール「シンシア!!」

すぐにストライクとシンシアを助けに向かおうとするが、そこにクラツシトロイとスカルドーンとスニーカーが立ちはばかった。

クラツシトロイ「お前達の相手は俺らがしてやる!!」

武器を手に持ったクラッシトロイは性格が好戦的になり、右腕にバズーカ、左腕にビームバズーカをそれぞれ持ちながらアイゼンアロイス、フェアリールに攻撃した。

アイゼンアロイス、フェアリール「うわあああー!!」

クラッシトロイのWバズーカ攻撃を喰らってしまったアイゼンアロイスとフェアリール。すぐに次に移ったクラッシトロイがハンマーに切り替えて、2人を打ち込んだ。

スニーカー「はははっ、死ねえ!!」

スニーカーはキックでフェッターに打ち込み、フェッターはキュアカタナテツポウ刀モードでスニーカーのキックをガードした。

フェッター「はああああー!!」

そのままキュアカタナテツポウ刀モードを大きく上から斬りおろし、スニーカーに

喰らわせた。

スニーカー「うっ!!」

フェッターの斬撃を受けたスニーカーは、顔にすり傷が出来て、血が流れた。顔に血が流れたスニーカーは、突如急変した。

スニーカー「俺に血を見せてくれた事を後悔させてやる!!」

フェッターに向かって空中からジャンプしたスニーカーはある事を行い始めた。

スニーカー「チェンジスニーカーアタック!!」

自身の身体をスニーカーに変化して、空中からフェッターに打ち込んだ。

フェッター「ああああああー!!」

スニーカーに変化したスニーカースの攻撃を受けたフェッター。スニーカーはスニーカーのままフェッターに強く押し込み、お見舞いし、彼女の口から血を吐いた。

スニーカース「いいぞ、苦しめ!!」

残酷残忍な性格を表し、苦しむ姿を楽しむスニーカース。

スカルドーン「喰らえ!!」

スカルドーンが両腕のボーンハンマーでマジックに向けて振りかかった。すぐにジャンプして回避したマジックはヒーローライドジュエルソールを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺した。

マジック「ヒーローライドジュエル!!」

ソールを呼び出したマジックは、2人がかりでスカルドーンに挑んだ。

ソール「はあああああー!!」

ソールがミヨルニアを持って大きく振りながらスカルドーンに打撃した。

スカルドーン「やるな、だがここからだ!!」

両腕のボーンハンマーで地面を叩いて、尖った岩を出現して、マジックとソールを蹴散らした。優勢をしていたプリキュアがインフェルノに追い詰められて逆転されてしまい、危機に陥った。

ストライク、シンシア「わあああああー!!」

ラミイの繰り出す包帯攻撃で圧倒され、追い詰められるストライクとシンシア。

ラミイ「どうした、こんなもんかプリキュア!! レジエンドプリキュライドジュエルとフェアリースジュエルはいただくぞ!! わ」

ストライクとシンシアを追い詰めていくラミイ。インフェルノがプリキユアを追い詰めていく姿を目の当たりにする海は恐怖に震え出した。

海「あつ、あああつ。」

だが、震えた足が石にぶつけ、音を立ててしまい、その反応に気付いたラミイが目を付けた。

ラミイ「面白い獲物を見つけたー!!」

海に目を向けたラミイが包帯を放って、彼女に向けた。絶体絶命、ラミイの放った包帯によって海はこのままどうなる。

次回 5話へ続く

第5話 未来へ導く希望の光!!キュアジャック!!

この場にいた海がラミイに狙われ、ラミイの放った包帯が海に向けられた。

海「あああつ!!」

海は逃げようとしてもラミイの放った包帯が迫り来り、近づいて来ようとしていた。

ストライク「危ない!!」

その時、ストライクがすぐに飛び込んで海を庇い、毒の状態でもラミイの包帯攻撃をキュアブレードマグナム剣モードで切り払った。

海「!!」

ストライク「大丈夫?」

海はプリキュアが自分を助けてくれた事に驚き、プリキュアと初めて接触した。

ラミイ「いい気になりやがって!!」

ストライクに攻撃を阻まれて、苛立つラミイ。そこで彼女の通信機にD r i e e j sから通信が入ってきた。

ラミイ「ん?」

D r i e e j s (声)「私だ。」

ラミイ「D r i e e j s様。」

D r i e e j s (声)「一旦戻れ。」

ラミイ「どう言う事なんだ?!」

D r i e e j s「詳細は後で言う。今は引きあげろ。」

D r i e e j sから突如入った通信で、一旦引き揚げて幽魔界へ戻ったラミイ達。敵が引き上げたところで戦いが終わり、プリキュアも元の姿に戻った。

海「えっ?!」

プリキュアの正体がキラキラパティスリーで会ったアイカ達だった事に驚く海。

海「あなた達プリキュアだったの?」

アイカ「あつ。」

自分達の正体を海の前で見られてしまったアイカ達は、彼女にちゃんと説明した。

海「平和のためにプリキュアとして戦っているのね。」

アイカ「はい。」

はるな「インフェルノから世界を守るために戦っているんです。」

海「インフェルノ・・・。」

咲耶歌「あたし達はインフェルノと戦うためにプリキュアの力を使って変身して戦っているの。」

麗奈「インフェルノは全世界と全宇宙を支配しようとしているわ。だから私達が戦っているの。」

トットム「それにしてもよく偶然見ちまったもんだな。」

ペル「一般人に見られてしまうとまずいかも知れませんか。」

アーニヤ「また命を狙われないようしないとね。」

海「ごめんなさい、私、話がわからなくてさっぱりなの。」

アイカ「そうだよ。流石にわからないよね。」

はるな「儀城さんに正体がバレちゃったからどうするの？」

麗奈「難しいわね。しばらく彼女とは一緒にいさせるしかないわね。」

海に正体を知られてしまい、しばらく彼女と一緒にいさせようとする麗奈。海が一緒にいる事で、アイカとはるなが彼女に声をかけた。

アイカ「儀城さん、あのお話いいですか？」

海「いいけど。」

はるな「儀城さんはさつき店でみんなと一緒に食べるのをどうして嫌がっていたんですか？」

海「……。」

アイカ「儀城さん。」

海「私はみんなと楽しく過ごす事が出来ないの。私は将来の事で悩んでいるの。」
はるな「将来？」

海「セレブ堂の跡を継がなければならないのよ。」

咲耶歌「実家の会社を継ぐって事ね。」

海「お兄様がいれば私だって自分の将来の事を考えていたのよ。」

アイカ「兄がいたんですか？」

海「兄は10年前のファイナルウオーで行方不明になったの。」

咲耶歌「(あたしと同じだ。)」

海「私はいなくなった兄の代わりに今から会社の跡を継ぐ事を考えなきゃならないの。私には将来の夢を好きなようにする事なんて出来ないの。」

海がみんなと一緒に食べなかったり、寂しい表情をしたのは、本来なら兄がセレブ堂を継ぐはずだったのが、10年前に起きたファイナルウオーで兄が行方不明になり、今は自分がセレブ堂を継がなければならないと考えた。

海「私には将来なんてない、だから私には好きな事なんてないの。」
はるな「儀城さん。」

海「私は好きな事なんか出来ないわよ。私なんか。」

自分に好きな事や将来なんてないと言い、走って去っていく海。

アイカ「儀城さん。」

麗奈「いなくなってしまうたわ、困ったね。」

正体も知られてる故に海に逃げられてしまって、困る麗奈。海は走りながら自分の将来の事で悩み悩み、自分には好きな事がないと思いつめていた。走っている際にギターを背負った青髪の女性とぶつかった。

海「きやあつ!!」

あおい「大丈夫か？」

海「あつ、はい。」

あおい「元気ない顔してるみたいだな。」

海「えっ？」

あおい「あたしが話に乗ってやるよ。よかったら着いて来な。」

その女性は海を連れて、ある場所へと向かい、着いた場所はさつき自分がキラキラパティスリーだ。

キラキラパティスリー

いちか「いらつしやいま・・・!!」

あおい「よっ、久しぶりだったな、いちか。」

いちか「もしかしてあおちゃん!!」

あおい「久しぶりの再会にね。」

いちか「それにさつきの子。」

あおい「せっかくだから久しぶりのスイーツいいかな?それとこの子と話もしたいから。」

いちか「じゃあ、あつちの席でいいかしら?」

あおい「じゃあ決まりで。」

2人は席に座り、いちかが用意したうさぎショートケーキを食べた。

海「美味しい。私のところのスイーツより美味しい。」

あおい「キラパティのスイーツは誰もが笑顔になるんだ。」

海「笑顔。」

あおい「キラパティスイーツは誰もがみんなを笑顔にする。」

海「さつきまで元気がなかったのが、湧き上がって来た。」

あおい「だろ。そろそろ話し合いかな？」

海「はい。」

早速話をする2人。海は自分の将来の事で悩んでいた。

あおい「将来か。」

海「はい。」

あおい「将来と言うのは自分が何したいか、そしてその何かを見つけてやる事だ。あたしだって最初は同じだった、自分が何をしたいか。」

海「自分の何かをしたい。」

あおい「自分のやりたいことを見つけていく事だ。君だって何かきつと見つけられるはずだ。」

海「ありがとうございます。キラパティのスイーツを食べたおかげで自分にも将来を見つけると確信しました。」

あおい「んじゃ、これ渡すよ。」

海に渡されたのはフェリーチエの力が宿ったプリキュライドジュエルフェリーチエだ。

海「これは？」

あおい「お守りみたいなもんだけど、大事にしな。」

海「はい。」

元気がなかった海は笑顔になり、店を出た。

いちか「渡しちゃっていいの？」

あおい「あの子ならきつとプリキュアになれる。」

その人物はかつてキラキラプリキュアアラモードのキュアホイップだった宇佐美

ちか、キュアジェラートだった立神あおいだ。海がプリキュアになれる事に確信した。一方、ドレイジスに一時戻されたラミイ達は、

幽魔界

幽魔要塞

居間

ラミイ「フェアリージュエルが見つかった?！」

ドレイジス「ああ、場所はあさぎ市から離れた山にある。」

クラツシトロイ「フェアリージュエルは任せておくんだな。」

ドレイジス「それと今別働隊を北米侵略へ向かわせた。そちらの陽動を成功させるために貸してもらいたい。」

ラミイ「任せておけ。」

クラツシトロイ「俺達がプリキュアを引き付けておく。」

ラミイ「ザッパード、ドラン、スラツシユラー、フラワーゲン、行くぞ。」

ザッパード「あつ、あああつ。」

フェアリージュエルが見つかった事で、場所はあさぎ市から離れた山で、再び人間界

へと向かったラミイとクラッシュトロイ達。またドライージスの言う北米へ向かった別働隊のための陽動とは？また同じ頃、アイカ達もまたマリーシェから連絡を受けて、あさぎ市から離れた山へと向かっていた。

移動中

アイカ「急に連絡が来てフェアリージュエルが見つかったって。」

はるな「あさぎ市から離れた山って。」

麗奈「インフェルノのも必ず狙いに来るはずよ。」

咲耶歌「じゃあ早速変身して取りに行こう。」

4人はすぐにプリキュアに変身し、プリキュアになって素早く進み、あさぎ市から離れた山へと向かった。また偶然彼女達が向かっているのを追っていく海。山に辿り着いたストライク達は、フェアリージュエルを探し出した。

山

ストライク「フェアリージュエルどこかな？」

フェッター「とにかくインフェルノに見つけ出す前に探さないよ。」

山の辺りのどこかにフェアリージュエルを探し出すストライク達。

シンシア「あつ、あつた。」

目の前に離れた所にフェアリージュエルを見つけた。中にあるフェアリージュエルはキラキラプリキュアアラモードと共に活躍したペコリンだ。早速見つけて手にしようとしたら、インフェルノが現れた。

ラミイ「待ちな、フェアリージュエルを渡しな。」

ストライク「インフェルノ!!」

クラツシトロイ「そのフェアリージュエルをよこすんだな。」

マジック「誰が渡すものか。」

シンシア「フェアリージュエルは絶対に渡さない。」

ラミイ「ならば力づく奪い取れ!!」

ラミイの号令で力づくでフェアリージュエルを奪いかかり、ストライク達も戦闘にか

かり、挑んだ。

ストライク、シンシア、フェッター「はああああー!!」

ストライク、シンシア、フェッターはパンチを同時に出していきながらマシソルジャー、スカルトイの集団を撃破し、空中から来るバトルの群れにはストライク、シンシアはキュアブレードマグナム銃モード、フェッターはキュアカタナテツポウ鉄砲モードで次々と撃ち落とした。

マジック「いつけえー!!」

マジックステッキスピア杖モードから花火を放って、インフェルノ兵、ゾンビーンに撒き散らして火傷し、ゾンビーンはアンデッドである事で火を喰らって消滅した。マジックの花火で撒き散らして火傷したインフェルノ兵がアサルトライフルで反撃にかかって射撃した。

マジック「!!」

マジックステッキ杖モードを振り回しながらアサルトライフルから射撃した弾をすべきだなブロックし、素早くジャンプしてキックでお見舞いした。

ストライク「プリキュア・ストライクショット!!」

シンシア「プリキュア・シンシアスラッシュユ!!」

フェッター「プリキュア・フェッターショット!!」

ストライクはキュアブレードマグナム銃モードから多数のピンクのハート型エネルギー弾、フェッターはキュアカタナテツポウの鉄砲モードの銃口から多数のパープルの剣型エネルギー弾を連射し、スカルトイを撃退した。シンシアはキュアブレードマグナム剣モードで刀身にレッドの光状を纏いながらマシンソルジャーを次々と斬り込んだ。

ラミイ「いい気になってんじやねえんだよ!!」

ラミイが戦闘に参加し、口から毒ガスを吐いてストライク、シンシア、フェッターに

浴びせた。

ストライク、シンシア、フェッター「うっ、あああっ!!」

再びラミイの毒ガスを浴びて毒に陥ったストライクとシンシア。さらにフェッターまでもが毒にかかってしまった。

ザツパード、ドラン・キュラー3世「もらった!!」

隙を突いてかかってきたザツパードとドラン・キュラー3世がラミイの毒に陥ったストライク、シンシア、フェッターに攻撃した。

マジック「ストライク、シンシア、フェッター!!」

毒に陥ったストライク、シンシア、フェッターを倒しに向かおうとするマジック。だが、クラッシュトロイとスラッシュユラーとフラワーゲンが現れてきた。

クラッシュトロイ「お前の相手は俺達何だな!!」

右手にチェーンソーを持ったままマジックに斬りかかりつて来た。マジックはクラッシュトロイのチェーンソーをジャンプしてかわしたが、背後からスラッシュユラーが左手の手甲爪アームで斬撃した。

マジック「きゃあつ!!」

スラッシュユラーの斬撃を受けてしまったマジック。続いてフラーゲンが力強く彼女にパンチした。圧倒的に追い詰められていくプリキュア。フェアリージュエルペコリンはインフェルノに渡ってしまうのか?!

海「!!」

プリキュア達を追ってやって来て辿り着いた海は、プリキュア達がインフェルノに追い詰められていく姿を目の当たりにした。

海「……………」

ただ自分は見ているだけで何もしないわけにいかないと海は自分で行動をしにかかった。

ラミイ「死ね!!」

全身の包帯を放ってプリキュアを攻撃するラミイ。

ラミイ「あたしの毒にやられちゃ意味はないもんだな。」

海「やめなさい!!」

海が現れて大声で叫んだ。

ラミイ「さっきのやつか。」

クラツシトロイ「死にに来たか。」

海「これ以上プリキュアに手を出さないで!!」

ザッパード「やめろだ？はははっ、バカにしやがって。」
ドラン・キュラー3世「笑いますよ。」

スラッシュラー「雑魚がやめろなんて聞く耳持つかよ。」
フラーゲン「俺達に叶うわけないフガー。」

ラミイ「スカルドーン、スニーカース、やれ!!」

スカルドーン、スニーカース「はっ、ラミイ様。」

ラミイの命を受けて海に迫りにかかるスカルドーン、スニーカース。

海「!!」

このまま自分が殺されてしまう、どうする。その時、あおいから渡されたプリキュラ
イドジュエルフェリーチェが光り出し、彼女を包み込んだ。

???

海「ここは？」

空間の中にいる海はピンクの髪をした女性がいた。

フェリーチェ（幻影）「あなたは自分の意志を見せてもらいました。」

海「あなたは？」

フェリーチェ（幻影）「私の名前はキュアフェリーチェ。あなたが自分で意志を表しました。これをあなたに渡します。」

その女性はキュアフェリーチェ。ファイナルウォーで二度と存在しなくなったはずが何故この姿に現れたかはわからない。だが彼女は海が自分の意志を表したのを見た事で、海にキュアートフォンチェンジャーとプリキュライドジュエルジャックを渡した。

海「私にですか？」

フェリーチェ（幻影）「あなたなら使えるはずですが、私は信じてます。」

フェリーチェからそう告げられて、光の中は解除された。

山

海「……。」

海はフェリーチェから渡されたキュアートフォンチェンジャーを手にし、プリキュア
イドジュエルジャックを刺して変身する。

海「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアートフォンチェンジャーにプリキュライドジュエルジャックを刺して変身す
る海は、全身に光が纏い、髪型と服装を一新し、髪型は青いセミロングとなり、衣装は
ブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被った。

ジャック「未来へ導く希望の光!!キュアジャック!!」

海は5人目のプリキュア、キュアジャックとなり、新しいプリキュアの誕生が今ここ

に推参する。

ペル「5人目のプリキュアの誕生です。」

ストライク「儀城さんがプリキュアに。」

シンシア「儀城さん。」

海が自分達と同じプリキュアになったのを驚くストライク達。

ジャック「インフェルノ、私が相手よ。」

ラミイ「プリキュアになったところで、同じは同じだ、やれ!!」

スカルドーン「のぼーんハンマーとスニーカーが巨大なスニーカーに変化して、ジャックに襲いかかった。ジャックは2人の動きをすぐに見切り、後ろにジャンプしてかわした。」

スカルドーン「かわしただと?！」

スニーカー「いい気になりやがって。やれ、スカルトイ、マシンソルジャー!!」

スカルトイとマシンソルジャーにジャックに向かわせて攻撃をしにかかった。

ジャック「プリキュア・ジャックコインバレッツ!!」

ジャックが指先からコインを数枚出して、光弾にして連射してスカルトイとマシンソルジャーの集団を撃ち貫いて、全体貫通し、撃退した。

クラツシトロイ「全滅だ?!」

ラミイ「ちい!!」

スカルドーン「いい気になるなよ!!」

スカルドーンがボーンハンマーで地面に叩きながら地面から尖った岩をジャックの前に出現させた。その直前にジャックがすぐにジャンプして回避した。

ペル「キュアジャック、キュアートフォンチェンジャーでプリキュライドジュエルを刺したり、また操作しながら武器を出す事も出来ませぬ。」

ジャック「わかったわ、じゃあやってみるわ。」

キュアアートフォンチエンジャーを手にし、プリキュライドジュエルフェリーチェを刺して変身する。

ジャック「プリキュライドチエンジ魔法使い!!」

声をかけて変身したジャックは、髪型と衣装が変わり、自分が光の中で会ったフェリーチェになった。

フェリーチェジャック「これが私ね。意外かしら。」

自分が変身した姿に驚いたジャックは、意外にも感じ、新しい体感をし、フェリーチェジャックはまずラミイの毒にかかったストライク、シンシア、フェッターに魔法で解毒し、毒を打ち消した。

ストライク「毒が消えた。」

シンシア「これなら反撃に出れるね。」

フェッター「一気に行くわ。」

マジック「あたし達も行くよ。」

4人も反撃に出て、ラミイ達にかかり、ストライクはプリキュライドジュエルドリーム、シンシアはプリキュライドジュエルミント、フェッターはプリキュライドジュエルソード、マジックはプリキュライドジュエルハッピーを出して、自分達のキュアアートフォンチェンジャーにそれぞれ刺して変身する。

ストライク、シンシア「プリキュライドチェンジ5GOGO!!」

フェッター「プリキュライドチェンジドキドキ!!」

マジック「プリキュライドチェンジスマイル!!」

4人はそれぞれのプリキュアに変身して、ストライクはドリーム、シンシアはミント、フェッターはソード、マジックはハッピーとなってラミイ達に挑んだ。

ドリームストライク「ふっ、はあああああー!!」

接近して来るスラッシュユラーにキック、パンチを繰り出して行き、さらにクリスタル・フルーレを出しながら武器として攻撃した。

ミントシンシア「プリキュア・エメラルド・ソーサー!!」

ミントシンシアが緑色の円盤状の物体をけいせいして、ザッパードに向けて投げ、攻撃した。

ドラン・キュラー3世「シャアアアアー!!」

剣を振り出してソードフェッターに斬撃するドラン・キュラー3世。

ソードフェッター「プリキュアスパークルソード!!」

右腕にラブハートアローを乗せて、大量の剣型光弾を正面にいるドラン・キュラー3世に向けて連射して命中した。

ハッピーマジック「プリキュア ・ ハッピーシャワー!!」

勢いがかかって来るフラーゲンに向かってハッピーマジックが両手でハート形を作り、光線を放ち、攻撃した。

ザッパード、ドラン・キュラー3世、スラツシユラー、フラーゲン「うわああああー!!」

4人の攻撃を受けて倒されたザッパード達4幹部ら。

フェリーチェジャック「はああああー!!」

パンチを繰り出してスカルドーン、スニーカーズに打ち込み、ジャックスステッキスピアを出して、槍モードで突いて攻撃した。

スカルドーン「喰らえ!!」

ボーンハンマーを上げてフェリーチェジャックに殴りかかるスカルドーン。フェリーチェジャックはバリアを展開して防御した。

スニーカース「野郎!!チェンジスニーカーアタック!!」

スニーカースが再び巨大なスニーカーに変化してフェリーチェジャックに向かってかかって来た。巨大なスニーカーを両手で受け止めてそのまま地面にぶつけた。

ラミイ「スカルドーン!!」

クラツシトロイ「スニーカース!!」

配下の怪人2体を圧倒するフェリーチェジャックに対し、ラミイとクラツシトロイが襲いかかった。

ドリームストライク、ミントシンシア、ソードフェッター、ハッピーマジック「はあ
あああー!!」

その時、4人が空中からジャンプでラミイ、クラツシトロイにお見舞いした。

フェリーチェジャック「4人とも。」

ドリームストライク「5人勢揃いだね。」

ミントシンシア「あなたも私達と同じプリキュアね。」

ハッピーマジック「ジャックも一緒だね。」

ソードフェッター「あなたも今日からプリキュアよ。これをあなたに渡すわ。」

同じプリキュアとして仲間に加わったジャック。ソードフェッターから渡されたの青いプロテクターアーマー風のヒーローライドジュエルが渡された。彼女は早速キュアートフォンチェンジャーに刺して使ってみた。

フェリーチェジャック「ヒーローライドジュエル。」

彼女がキュアートフォンチェンジャーで刺したヒーローライドジュエルから現れた

のはジャステイスヒーローの1人青いプロテクターアーマーを纏った超人ファイツだ。

ファイツ「私を呼んだのは君か？」

フェリーチェジャック「はい。」

ファイツ「私の名はファイツ。ジャステイスヒーローの1人だ、よろしく。」

フェリーチェジャック「私の名前はキュアジャックです。よろしくお願いします。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「よお、ファイツ。」

ソール（ヒーローライドジュエル）「お前もようやくパートナーが見つかったようだな。」

ファイツ「彼女を私が支えていこう。彼女が何を目指しているのかは彼女自身が決める。」

フェリーチェジャック「私の将来は私が探して決める。」

ラミイ「ごちやごちやと、まとめて始末してやる!!」

5人のプリキュアに一齐にかかっていくラミイ、クラッシトロイ、スカルドーン、スニーカーズ。5人のプリキュアが行動に出て攻撃に出た。

フェリーチェジャック「プリキュライドチェンジアラモード!!」

フェリーチェジャックがプリキュライドジュエルジェラートをキュアートフォンチェンジャーに刺して、キュアジェラートへとなり、ジェラートとなった彼女は、クリームエネルギーで形成した氷のグローブで連打してスカルドーンとスニーカーにお見舞いした。

スカルドーン「貴様!!」

スニーカー「チェンジスニーカーアタック!!」

スカルドーンがボーンハンマー、スニーカーが巨大なスニーカーに変化してジェラートジャックに襲いかかるが、

ファイツ「はああああー!!」

ファイツが円形盾のジャステイスシールドをブーメランのように投擲して、スカルドーン、スニーカーに喰らわせ、続いてジャンプして空中から両手を広げて両脚を揃

えたままキックで怪人2体に打ち込んだ。

クラツシトロイ「貴様!!」

ラミイ「ぶちのめしてやる!!」

クラツシトロイが左右の手にバズーカ、ビームバズーカを持ちながら乱射し、ラミイが包帯を放って、2人に一斉攻撃しかかった。

ホイップマジック、パルフエシンシア、マカロンフェッター「そうはさせない!!」

その時、ホイップに変身したマジック、パルフエに変身したシンシア、マカロンに変身したフェッターがスイーツパクトからクリームエネルギーを放ち、2人の動きを拘束した。

ラミイ「うっ、動けい!!」

クラツシトロイ「あああー、ここから出せ!!」

ドリームストライク「アイゼンアロイス、いくよ!!」

ドリームストライクがキュアアートフォンチェンジャーにヒーローライドジュエルア
イゼンアロイスを刺して変身し、ストライクアイゼンフォームとなって、身動き出来な
いラミイとクラツシトロイに必殺技を仕掛けた。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンナックル!!」

両腕のガントレットのパワージャッキを起動して発光しながらラミイ、クラツシトロ
イに思いっきり殴った。

ラミイ、クラツシトロイ「うわああああー!!」

ストライクアイゼンフォームに殴られたたラミイ、クラツシトロイは吹き飛ばされ
た。

ジェラートジャック「あああ。」

ファイツ「君も私と一体化しないか？」

ジェラートジャック「はい。」

アイゼンアロイスと一体化したストライクを見たジェラートジャックはファイツと早速意気投合して一体化をし始める。

ジェラートジャック「ファイツ!!」

ファイツ「ジャック!!」

ジャックとファイツが一体化し、ファイツの姿をしたプロテクターアーマーを身に纏い、右腕にジャステイスシールドを手にしたジャックはキュアジャックファイツフォームとなった。

ジャックファイツフォーム「プリキュア・ファイツエルボーバスター!!」

ジャックファイツフォームがスカルドーンにエルボーで強く打ち込み、その影響でスカルドーンにヒビが入り、割れ始めた。

スニーカース「スカルドーンをやってくれたな!!」

スカルドーンにヒビ割れさせたジャックファイツフォームに向かってスニーカースが巨大なスニーカーに変化して襲いかかったが、ジャックファイツフォームがジャステイスシールドで防御し、盾で押し返して、そのまま必殺技を発動する。

ジャックファイツフォーム「プリキュア・ファイツシールドストレートナックル!!」

ジャステイスシールドを手に持ったままスニーカースにストレートによるパンチで打ち込んだ。

スニーカース「ぐわあああー!!」

ジャックファイツフォームに振り返り討ちにあつたスニーカース。最後にとどめを刺すべく彼女が今ここで決める。

ジャックファイツフォーム「プリキュア・ファイツシールドブーメラン!!」

ジャステイスシールドを発光して、ブーメランのように投げてスカルドーン、スニーカーズにぶつけ、2体の怪人を撃破した。

ラミイ「引き上げだ!!」

配下の怪人2体やられてしまい、撤退をするラミイ達。

ジャックファイツフォーム「一件落着ね。」

無事、勝利をしたプリキュア。5人目のプリキュア、ジャックの登場によって勝利する事が出来て危機を乗り越え、フェアリージュエルペコリンを手に入れた。戦いが終わってすぐにキラキラパティスリーへ向かうアイカ達。だがさつきまであった建物がいつの間になくなっていた。

市街地

はるな「なくなってる。」

アイカ「食べたかったのに。」

海「よろしかったら私のところのスイーツを食べませんか？」

アイカ「えっ、セレブ堂のスイーツを?!」

海「プリキュアになったんだから折角だと思つてパーティをしようかと。」

はるな「それいいね。」

プリキュアになったあかつきにセレブ堂のスイーツでパーティをしよう持ちかける海。早速その案を受け入れようとするが、その時、市長の由紀から突然通信が入ってきた。

由紀（通信）「みんな、すぐに市役所の地下秘密基地へ集まって!!」

由紀から入った連絡をすぐに受け取ったアイカ達は市役所の地下秘密基地へと向かった。

あさぎ市役所

W J G 地下秘密基地

格納庫

麗奈「市長、何あったんですか？」

由紀「これを見て!!」

すぐにモニターの映像を移し、場所は北米のニューヨーク。ニューヨークが火の海と化し、インフェルノの別動隊が北米の半分を制圧した。

はるか「!!」

トットム「どうしたんだい?!」

ペル「何かあったんですか?!」

アーニヤ「怖い顔ですよ?」

はるか「うそ、何で……」。

はるかはモニターの映像でインフェルノの別動隊の中から自分が以前出会った人物を目の当たりにした。

ガメッツ（映像）「久しぶりだったな、プリキュア。いや初めてだな新しいプリキュア。」

かつてジャステイスウオーで倒された闇の魔法使いの幹部だったガメッツが生きていた事に驚愕したはるか。

次回 6話へ続く

第6話 プリキュア、北米に立つ

モニターでインフェルノが北米の半分を制圧したのを目の当たりにしたアイカ達。さらに倒されたガメッツが生きていた事にも驚くはるか。

あさぎ市役所

WJG地下秘密基地

会議室

由紀「インフェルノが北米の半分を制圧していたなんて。」

麗奈「さつき私達が戦ったのは囷だった訳ね。」

マリーシェ「そのようでありませぬ。インフェルノは北米の半分を制圧したとなれば侵略も本格的に攻めてきたようですわね。」

はるか「ジャステイスウオーで倒したはずのガメッツが生きていたなんて。」

アイカ「はるか先生、ガメッツって？」

はるか「ガメッツはかつて闇の魔法使いの幹部。魔法使いプリキュアが戦った敵。」

はるか「魔法使いプリキュア？」

麗奈「ミラクル、マジカル、フェリーチエら3人の事よ。」

海「私が使ったフェリーチエは魔法使いプリキュアの1人でいいのかしら？」

はるか「そうよ。ガメツツ何で蘇ったのかわからない。」

咲耶歌「それよりインフェルノに制圧された北米の半分をどう解放するかだよ。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「インフェルノは私の故郷のアメリカを既に半分の支配している。奴らのせいで苦しむ人が出ている。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「悪党に好き勝手させてたまるか。」

フェアリール（ヒーローライドジュエル）「悪党は世界征服が大好きね。」

ソール（ヒーローライドジュエル）「全くだ。」

烈陣丸（ヒーローライドジュエル）「そのようでごさる。」

由紀「インフェルノに支配された北米大陸の半分は既にWJGも動いてるわ。あなた達プリキュアにも是非行ってもらいたい。」

麗奈「了解です。」

はるか「待ってください。」

由紀「？」

はるか「まだ小学生のアイカちゃん、はるなちゃん、中学生の咲耶歌さん、海さんを出すなんて反対します。」

はるな「先生。」

はるか「私は子供を戦争のために行かせる事には断じて向かわせません。」

アイカ「先生、あたし達、今やらなきや世界はインフェルノの手に落ちます。」

はるな「私達が今いるプリキュアがやらないと世界と宇宙はインフェルノに支配されてしまいます。」

咲耶歌「あたし達にどうか北米へ行かせてください。」

海「お願いします。」

北米へ向かう事に反対するはるかに自分達が行かなきやインフェルノの手に落ちてしまう事で強くお願いするアイカ、はるな、咲耶歌、海。

はるか「あなた達が言うなら行く事を認めます。私も一緒に同行します。」

アイカ「はるか先生。」

はるか「私は1人の大人としてあなた達の身の安全を責任を持っていきます。」

4人が北米へ行く事を認めて、自分も一緒に同行し、4人の安全をしつかり責任を持って行く事で、教師として保護者代わりとしていくはるか。そして出撃の準備が整つ

た。格納庫にて、北米へ向かうために、キュアライドロボ2機を出撃準備した。

格納庫

マリーシエ「準備はよろしいですか？」

麗奈「いつでも準備完了よ。」

咲耶歌「こっちは麗奈さんと海と一緒によ。」

海「いつでも万端よ。」

く。
麗奈はあさぎ市へ来た際に使ったキュアライドロボ2号機を咲耶歌と海を乗せてい

麗奈「アイカ、はるな。」

アイカ「1号機はマリーシエさんが色々教えてくれるから。」

はるな「私とアイカははるか先生とマリーシエさんが一緒だね。」

マリーシエ「初めて操縦するお2人は私がやり方を教えます。」

はるか「まだ2人は小学生だから一緒にいるわ。」

キュアライドロボ1号機はアイカとはるな、2人は初めて乗る事で、マリーシエが補佐をし、また2人の小学生である事がはるかも一緒に乗った。

麗奈「そろそろ出るわ。」

アイカ「じゃあ行くよ。」

北米へ向けて出発をし、2機のキュアライドロボが地下の基地からまっすぐあるカタパルトの上に乗ってまっすぐ突き進みながら奥へと進み、奥の外から海が見えて、その前に発進し、2機共両脚に内蔵されてるブースター、背中の飛行ユニットを推進して飛行した。

アイカ「すごい、空飛んでる。」

はるな「本当だ。」

初めて乗るキュアライドロボで空を飛んでる事に驚くアイカとはるな。

マリーシエ「このまま突き進んで北米へ向かいます。」

このまま北米へと向かって突き進み、飛行する2機のキュアライドロボ。日本からアメリカへ向かい、大空や真下に海が見えたりして実感するアイカとはるな。また麗奈の2号機にいる咲耶歌や海も同じように実感した。北米へ向かうアイカ達。日本を出て12時間が経ち、そろそろ北米へ到着し、北米で着いたのは、戦火まっぴらのグランドアイランドだ。そこにインフェルノの北米侵略部隊とWJGの部隊が交戦していた。

北米

アメリカ

グランドアイランド

WJG隊員1「うわぁー!!」

ゾンビーンの爪攻撃を受けて倒されるWJG隊員。

WJG隊員2「このおっ!!」

マシンガンを構えたままゾンビーンの集団に応戦するWJG隊員。ゾンビーンが口

から毒液を吐いて、W J G 隊員らを溶解した。W J G の部隊を圧倒した。

ジェットーム「全軍、このまま進軍だ!!」

北米侵略部隊を指揮するジェットームは、このまま一気に進軍し、北米大陸全土制圧にかかる。

アルカディア「させてたまるものか!!」

W J G 所属のプリキュアのチームウォーブレイカープリキュアの1人のアルカディアが単身で猛威を振るいながらインフェルノの部隊に挑んだ。アサルトライフルで突撃しながら射撃し、バズーカも射撃して敵の兵を蹴散らした。

ジェットーム「邪魔しやがって。デッドナイト、ライノマン、ウィープス、コイツを始末しろ!!」

進軍に加わっている怪人3体に命じて、アルカディアに向けて攻撃させた。

アルカディア「はああああー!!」

アルカディアが怪人3体を相手に挑むが、

デッドナイト「させるか!!」

口から毒ガスを吐いて、アルカディアを毒状態にし、ライノマンが勢いよく突進して、鼻のツノでぶち込み、ウィープスが両腕のエネルギー状のムチ攻撃した。

アルカディア「ああああー!!」

3怪人の連携で圧倒されたアルカディア。

ジェットーム「死ね!!」

ジェットームがアルカディアにとどめを刺そうとするが、空中から北米大陸に到着し

た2機のキュアライドロボが現れた。

ジェットーム「なっ、何だ?!」

ストライク（キュアライドロボ1号機）「そうはさせないよ!!」

キュアライドロボ1号機に操縦するストライクがパンチを出して、ゾンビーンの集団を蹴散らした。

ジェットーム「まさか、あいつらか?!」

フェッター（キュアライドロボ2号機）「インフェルノ、私達が相手よ!!」

ジェットーム「また邪魔をしに来たのかよ。ジャイアントデッド、このロボットをぶっ倒せ!!」

日本から来たストライク達の出現に気付いたジェットームは、ロボットに乗っている事に気づき、ゾンビ巨人のジャイアントデッドを向かわせた。

マリーシェ（キュアライドロボ1号機）「来ます!!」

ストライク（キュアライドロボ1号機）「!!」

接近しかかるジャイアントデッドにストライクの操縦するキュアライドロボ1号機がすぐにパンチで思いつき強く殴った。キュアライドロボ1号機に殴られたジャイアントデッドはジャンプして殴りにかかった。

フェッター（キュアライドロボ2号機）「はああああー!!」

フェッターの操縦するキュアライドロボ2号機がキックを繰り出してジャイアントデッドに打ち込んだ。

ジャイアントデッド「ぐおおおおー!!」

キュアライドロボ2機に圧倒されていくジャイアントデッド。

ストライク（キュアライドロボ1号機）「プリキュライドチェンジマックスハート!!」

フェッター（キュアライドロボ2号機）「プリキュライドチェンジHUGっと!!」

ストライク、フェッターがそれぞれのプリキュライドジュエルに装着して、1号機の姿がブラック、2号機の姿がアムールとなってジャイアントデッドにとどめを刺しにかかった。

ストライク（ブラックキュアライドロボ1号機）「はあああああー!!」

ブラックの力を駆使してパンチでラツシユし、最後にアムールキュアライドロボ2号機が必殺技のハート・ダンスで紫色のハート型エネルギー弾を作り出して放ち、ジャイアントデッドを撃退した。ジャイアントデッドを倒した5人は機体から出た。

ジェットーム「!!」

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「フューチャーフォースプリキュア!!」

5人同時名乗りと共にチーム名フューチャーフォースプリキュアと名乗り、新しいプリキュアのチームが今ここに誕生した。

アルカディア「これが新しいプリキュア。」

新しいプリキュアを目の当たりにするアルカディア。彼女達がハデユスを倒す新たなプリキュアだ。

ジェットーム「何がフューチャーフォースプリキュアだ、お前らこいつらを八つ裂きにしてやれ!!」

部下達に命じてプリキュアに襲いかからせるジェットーム。

ストライク「じゃあ、みんな行くよ。」

5人が揃ってインフェルノの部隊を相手に挑んだ。

ストライク「はああああー!!」

ストライクが先頭に立って、彼女の持つ高いパワーを活用してパンチを連打して繰り出している、ゾンビーン数十体を蹴散らした。

シンシア「たああああー!!」

シンシアが素早い動きを駆使してスピードで攻撃しかかろうとするマシンソルジャー数十機を翻弄し、蹴りを連打して打ち込んだ。

フェッター「てやああああー!!」

フェッターが次から次へと来るスカルトイをパンチとキックを繰り返して撃退し、ス

カルトイを持ち上げて、地面にぶつけて粉砕した。

マジック「ジャック、行くよ!!」

ジャック「マジック、行きましよう!!」

マジックとジャックが2人で一緒に組んで、ゾンビーン、マシンソルジャー、スカルトイの集団を相手にかかり、マジックとジャックが空中からジャンプでキックし、さらに身体を回転しながら一気に蹴散らした。

デッドナイト「死ね!!」

デッドナイトが右手に持っている斧を振り回して、ストライク、シンシアに斬りかかった。

ストライク、シンシア「!!」

すぐにジャンプして回避したストライク、シンシア。デッドナイトは2人に向かって

口から毒ガスを吐いた。すぐに毒ガスから急いで逃れたストライク、シンシア。

デッドナイト「もらった!!」

その直後に、デッドナイトが斧で2人に斬撃した。

ウィープス「喰らえ!!」

ウィープスが両腕から伸ばしたエネルギー状のムチを振りながらフェッターに攻撃する。

フェッター「!!」

ウィープスのムチをキュアカタナテツポウ刀モードで切り払ったフェッター。

ウィープス「ムチだけだと思っな!!」

ウィープスのエネルギー状のムチが剣に変換して、フエッターに向かって斬撃した。

ライノマン「オラオラオラ、突き進むぜ!!」

マジックとジャックに向かって突進するライノマンは鼻のツノで2人にぶつけた。

マジック、ジャック「ああああつ!!」

ライノマンの突進に吹き飛ばされた2人。

マジック「サイミたいな怪人も何とかしないと。」

ジャック「ツノに当たるのは痛くて嫌よ。」

トットム「マジックとジャックの嬢ちゃん!!」

ペル「良い方法があります。」

マジック「良い方法?」

アーニヤ「2人の持つステッキスピアには5人分身を作り出して、さらにその分身にプリキュライドジュエルを5つも装着して、その分身も変身する事が可能です。」

ジャック「ステッキスパアにそんな機能があつたんだ。」

マジック「ジャック、一緒にやろう。」

トットム達から自分達の持っているステッキスパアには5人分身する機能を持ち、さらに5人分身にも歴代プリキュアへの変身が可能。2人は自分の持っているステッキスパアを出した。

マジック、ジャック「1、2、3!!」

2人の持つステッキスパアから自分の分身が5つも増え、マジックの周りにマジックが5人増え、ジャックの周りにもジャックが5人増えた。

マジック、ジャック「お楽しみはここからよ!!」

マジックはドリーム、ブロッサム、ハッピー、ラブリー、ホイップのプリキュライドジュエルをマジックステッキスパアに、ジャックはアクア、ベリー、マリン、ビューティ、プリンセスのプリキュライドジュエルをジャックステッキスパアに装着をした。

マジック、ジャック「プリキュライドチェンジオールスターズ!!」

マジックとジャックが分身した合計10人に2人のそれぞれステッキスピアに装着したプリキュライドジュエルが発動し、分身体が変身した。

ライノマン「なっ、何だ?!」

マジックとジャックのステッキスピアによつて分身体を歴代プリキュアに変身し、ライノマンにかかった。

ライノマン「まとめて始末してやる!!」

ライノマンがツノを強いながら分身体に向かって突進しかかった。

ベリージャック「ベリーソード!!」

ベリージャックがベリーソードを前に出して、突進してくるライノマンに必殺技を放とうとする。

ライノマン「突進してやる!!」

勢いで突き進むライノマンはベリージャックの方へとかかった。必殺技を使おうとするベリージャックは、ベリーソードをライノマンの脚に投げて当てて転ばせた。

ライノマン「うわぁー!!」

ベリージャックが投げたベリーソードで転落してしまったライノマン。必殺技と見せかけてベリーソードを囷にして投げた作戦だ。その直後にプロッサムマジック、マリンジャック、ラプリーマジック、プリンセスジャックが隙について攻撃を仕掛けた。

プロッサムマジック、マリンジャック「プリキュア ・ダブル・インパクト!!」

プロッサムマジック、マリンジャックがライノマンに向けて、同時にパンチを繰り出

して、衝撃波を起こした。

ラブリーマジック、プリンセスジャック「プリキュア・ツインミラクルシュート!!」

空中からラブリーマジックとプリンセスジャックが両手にエネルギー弾を発生させ、2つのエネルギー弾を合わせ、金色のオーラをまとった中心にハートが入った円環形のエネルギー弾を同時にシュートして、ライノマンに打ち込んだ。

ライノマン「ぐわあああー!!」

2人の必殺技によって撃退されたライノマン。またマジックとジャックの残った分身体はストライク、シンシア、フェッターを助けるために向かった。

デッドナイト「ぶった切ってやる!!」

ウィープス「切り刻んでやる!!」

デッドナイトが斧を振り回しながらストライクとシンシアに斬撃しかかった。また

ウィープスが素早い動きで回りながら両腕のエネルギー状のムチを剣に変換して斬撃しかかった。

ドリームマジック、アクアマジック「はああああー!!」

ドリームマジックとアクアマジックが空中からジャンプして同時キックでデッドナイトに喰らわせた。

ホイップマジック「はあっ!!」

ホイップマジックがスイーツパクトからクリームエネルギーを放ち、ウィープスの動きを封じ、ハッピーマジックとビューティマジックが同時にパンチを繰り出した。

ストライク「マジック!!」

シンシア「ジャック!!」

ドリームマジック「おまたせ。」

アクアジャック「怪我はない?」

フエッター「あなた達増えてない？」

ハッピーマジック「ステツキスピアの機能で5人まで増やしたの。」

ストライク「いいなあ。」

シンシア「一緒に行こう。」

マジックとジャックの生み出した分身体と協力して組み合うストライク、シンシア、フエッターは、デッドナイトとウィープスに挑んだ。

ストライク、シンシア「プリキュライドチェンジスイート!!」

フエッター「プリキュライドチェンジアラモード!!」

ストライク、シンシア、フエッターは各キュアートフォンチェンジャーにメロディ、リズム、マカロンをそれぞれ刺して変身し、メロディストライクがミラクルベルティエ、リズムシンシアがファンタステックベルティエを出して、デッドナイトに真上から必殺技を放つ。

メロディストライク、リズムシンシア「プリキュア・ミュージッククロンド!!」

2つのベルティエからリングが放たれ、デッドナイトに向けた。

デッドナイト「!!」

左手の盾で攻撃を防いだデッドナイト。

マジックドリーム「いただき!!」

マジックドリームが空中からデッドナイトの真上にキックで強く打ち込んだ。

マカロンフェッター「遊んであげるわ。」

マカロンになったフェッターが手で誘うような動きを示して、ウイープスに挑発する。

ウイープス「舐めた真似しやがって!!」

マカロンフェッターに向かっていくウィープスは両腕のエネルギー状のムチを槍に変換して刺突してかかった。その攻撃をスラスラ回避し、ウィープスは連続で刺突しにかかり、マカロンフェッターの相手の動きを見切りながら回避し続けた。

マカロンフェッター「にゃん。」

手から爪を出して、ウィープスの腹に斬撃した。

ウィープス「ぐわあっ!!」

マカロンフェッターの爪を喰らい動きを崩したウィープス。その直後にホイップマジックがクリームエネルギーをムチのように振りながらウィープスに喰らわせ、ハッピーマジックとビューティージャックがパンチで連打して攻撃した。

デッドナイト、ウィープス「うっ!!」

マジック、ジャックの分身体と連携したメロディストライク、リズムシンシア、マカロンフェッターがデッドナイトとウィープスを追い詰めた。ようやくマジックとジャック本人もやって来て、トドメはヒーローライドジュエルを使って変身する同時攻撃で決めた。

メロディストライク、リズムシンシア、マカロンフェッター、マジック、ジャック「ヒーローライドチェンジ!!」

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリールフォーム、フェッター烈陣丸フォーム、マジックソールフォーム、ジャックファイツフォームとなって、怪人にとどめを刺すべく必殺技を発動する。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンサンシャイン!!」

シンシアフェアリールフォーム「プリキュア・フェアリールボレー!!」

フェッター烈陣丸フォーム「プリキュア剣風連斬!!」

マジックソールフォーム「プリキュア・ソールライトニングサンダーブレイカー!!」

ジャックファイツフォーム「プリキュア・ファイツシールドシュート!!」

ジャスティスヒーローの力で変身した5人のプリキュアが必殺技を発動してデッドナイトとウィープスにぶつけて、撃退した。

ジエットーム「覚えてろ!!撤退だ!!」

怪人3体倒されて生き残った兵を連れて撤退するアルカディア。インフェルノのグランドアイランド侵攻をストライク達プリキュア5人の介入で阻止できた。

アルカディア「助けてくれて感謝する。」

ストライク「あなたは?」

アルカディア「WJG所属のキュアアルカディア。」

フェッター「ご無沙汰です、中佐。」

アルカディア「中尉もよく新しいプリキュアを4人も見つけたなんて。」

フェッター「はい。」

アルカディア「まずこのインフェルノに半分支配された北米をどう解放するか。」

ヴァレリアン「私が決めよう。」

彼女達の前に現れたW J G長官のヴァレリアンが現れた。

フェッター、アルカディア、マリーシエ「ヴァレリアン長官。」

ストライク、シンシア、マジック、ジャック「長官?」

ヴァレリアン「君達4人は初めてだな。私の名前はヴァレリアンⅡブランネージュ。W J Gの長官だ。君達には一緒にやって欲しいことがある。北米の大半をインフェルノの支配から解放べく協力して欲しい。」

ヴァレリアンからの要請を受けたストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャックらは、インフェルノに支配された北米の半分を解放すべく、W J Gと一緒に協力して行く事となった。インフェルノ北米侵略部隊はニューヨークを本拠地とし、ニューヨークを向かうには二手に分かれて行く事になり、ストライク、シンシアはアルカディアと一緒に行動してアトランタルト、フェッター、マジック、ジャックは一緒に行動してデトロイトルートへそれぞれ行動して向かった。プリキュア達のインフェルノに支配された北米大陸の半分の解放戦線が始まった。

次回 7話へ続く

設定2

インフェルノ

ガメッツ

元闇の魔法使いの幹部で、インフェルノの大幹部。ジャスティスウオーでの戦いで倒されたと思われたが、自力で復活を遂げたが、自分1人だけが生き残り、プリキュアに敗れて仲間も失い、孤独の日々を送るが、怪魔界インフェルノへ入り、怪人達を育て、打倒プリキュアへの激しい執念を燃やす。現在の姿は肉体が衰退しており、歯がボロボロ、体重を落ちて痩せており、右目を失って眼帯をしており、キン肉マン二世のサンシャインの姿に近い。自身はもう戦えない身体となっている。周りから時代遅れ、落ちこぼれ、老害と呼ばれている。

チエスメイト

CV：梅原裕一郎

インフェルノの幹部。種族は超人。幼い頃に両親に捨てられ、貧困生活をして来たが、インフェルノに入ったガメッツに拾われ、インフェルノの若手幹部として鍛えられ、性格は戦う為だけの冷酷。ポーン、ルーク、ナイトの3種類の形態に切り替えていき、通

常形態のポーンは人型形態、ルークは城形態、ナイトはケンタウロス形態。

キン肉マン二世のチェックメイトを元に

ポーン形態

通常形態の人型。攻守動きに優れたバランスを持つ。周りに剣を出現して相手に斬り込む。

必殺技

ジャンプポーンアタック

空中からジャンプして相手に直接打ち込む。

ソードポーンスラッシュ

自身の周りに剣を出現して、相手に連続突きをして、次に大きく斬り込む。

ルーク形態

防御形態の城型。防御に優れ、どんな攻撃もビクともしない。全身から内蔵したカノン砲が出現して一斉砲撃する。弱点は動きにすごく弱く、またルーク形態は動きがすごく鈍い。

ナイト形態

攻撃型のケンタウロス形態。人馬の姿になって素早いスピードを駆使して、ランスを出して突いて攻撃する。防御力が低いのが弱点。

必殺技

ナイトジャンプアタック

空中からジャンプして周りにいる敵全体に衝撃波を起こす。

グランドキング形態

ポーン、ルーク、ナイトの3つの形態が一つとなった最終形態。頭部はポーン形態で、胴体がルーク形態、下半身はナイト形態を組み合わせ、能力はかなり上昇し優れているが、3つの形態を組み合わせた事で、体力が低下している事が弱点。

必殺技

グランドキンググラム

空中からジャンプして、地面に着地して地震を起こして敵全体に喰らわす。

グランドキングジャンプアタック

空中からジャンプして、4脚で相手に強く打ち込んで衝撃を与える。

ジユラシツクキング

CV：高塚正也

インフェルノの幹部。ガメッツが育て上げた幹部で、恐竜の姿をした超人。頭部はティラノサウルスの顔をして、口には強力な牙で相手を噛み砕いていき、あらゆるものを噛み砕いていく。尻尾はハンマーのように振るいながら強力な打撃を与える。

キン肉マン二世のレックスキングを元に

必殺技

ザウルスドウスフアング

ジュラシツクキングの必殺技。口の牙で相手に思いつきり噛み砕く。

怪物

ジャイアントデッド

インフェルノの巨大怪物。ゾンビの姿をした巨人で、とてつもないパワーを持ちながら街を壊滅させたり、両手を地面に叩いて衝撃波を起こしたりする。プリキュア単身では勝つ事は難しく、キュアライドロボで戦わないと出来ない。

兵

ゴーストン

インフェルノの一般兵。幽霊の姿をし、口が大きく、音波を発生したりし、相手に噛み付きをする。実体を持たないため全ての物理攻撃が効かない。

W J G

ヴァレリアンブルーブランシュネージュ（48）

C V：家中宏

W J Gの新長官であり、麗奈の義父である。彼はフランス人で、10年前に現れたハ

デユス率いるインフェルノに立ち向かうため、組織の強大化を行い、新たなプリキュア
の存在を探し出し、サルニコフの後任として長官に着く、義娘の麗奈とは大事に想つて
いる。

マリーシェルフアンデル（26）

CV：生田善子

WJGのメンバーで、性別は女性、オランダ人。階級は少佐で、捜査官であり、喋り
方は令嬢風で、あさぎ市の地下基地におり、インフェルノの襲撃に対して、一般人の避
難を行い、悪事をする企業、団体、組織の取り締まりなどをする。拳銃の腕は一人前。紅
茶が大の好きで、休憩中に飲むことが多い。

あさぎ市

明藤寺由紀（42）

CV：今野宏美

あさぎ市の市長で、あさぎ市の市政を行い、日々市民の生活のためを尽くしている。
ラブやせつなどは顔見知りで、実はWJGの協力者で、インフェルノの脅威に備えて、プ
リキュア達をサポートする。またいなくなったラブ、せつなの代わりにアイカとはるな
の保護者代わりをする。家事も得意とする。

ジャステイスヒーロー

光陰命

CV：豊崎愛生

ジャスティスヒーローの一人。陰陽師の姿をし、術式や呪詛などを得意とし、式神を呼び出したりし、彼女の術はアンデッドにはかなり有効であり、御札を使つて相手の動きを一時的に封じたりし、結界を形成したりする。目に見えないものが見えたりする。相手の気配を感じたりする。烈陣丸とは古い付き合いで、主の麗奈を支えている。性格は冷静で穏やかである。

デジモンテイマーズのタオモンを元に

キュアフェツター光陰命フォーム

フェツターが光陰命と一体化した姿。光陰命の陰陽師の服装を身に纏い、術式や呪詛などを中心で、術を得意とした戦いで、式神や御札など駆使していき、呪文を唱えたりする。また目に見えないものが見えたりする。

プリキュア光陰命五芒地陣

フェツター光陰命フォームの必殺技。手で五芒星の陣を形成して、敵全体に五芒星の陣から光線で攻撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア光陰命呪心起

フエッター光陰命フォームの必殺技。呪詛を起こして、敵全体に一時的に能力を弱体化する。

プリキュア光陰命霊札天滅

フエッター光陰命フォームの必殺技。御札を多数出現して、相手に貼り付けて爆散させる。相手を浄化または撃破する。

プリキュア光陰命蟬芯壮破

フエッター光陰命フォームの必殺技。自身の同サイズの人型式神を4体呼び出して共に五芒星の陣を形成して、陣からいくつからの光を降り注いで敵全体を攻撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュアの必殺技

プリキュア・アイゼンドリルクラッシュヤー

ストライクアイゼンフォームの必殺技。右腕のガンレットのパワージャッキを起動してをドリルに変形して、発光したドリルで相手を貫く。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・フェアリアルキャノンシユート

シンシアフェアリアルフォームの必殺技。巨大なマスケット銃を召喚して強力な魔法弾を発射して相手に射撃する。その威力は通常の数倍を持つ。相手を浄化または撃

破する。

用語

あさぎ市

ファイナルウォー後に出来た町。ファイナルウォーの被害で集まった人々が作り上げた町で、主に福祉や教育や自然農業などを中心とし、人々が豊かで暮らせる町づくりとし、全て市営で行なっている。

WJG（ワールドジャスティスガーディアン）

国際連合が作り出した秘密諜報機関組織。主に情報収集の一環と情報による戦略を中心とする事で潜入で行動だったが、ファイナルウォーのハデユスの率いるインフェルノとの戦い後、組織を拡大、強化し、諜報機関から防衛組織となり、戦闘部隊を多数配備する。プリキユアが関わっている企業の四葉財閥、水無月財閥、立神コンツェルン、愛崎コンツェルンを全て買収し、WJGの管理下に置いている。

第7話 デトロイトの夜の戦い

北米解放戦線に参加したアイカ達は、二手に分かれて行動し、アイカ、はるなはWJ Gの睦月と一緒にアトランタルト、麗奈、咲耶歌、海と一緒にデトロイトルートへ向かい、各地にいるインフェルノの部隊と戦っていった。デトロイトへ車で移動する麗奈達。

北米

アメリカ

移動中

咲耶歌「あたし達、本当にアメリカにいるみたいだね。」

海「私もアメリカへ行くのは初めてよ。」

麗奈「私達は遊びに来たんじゃないのよ。インフェルノに侵略された北米の半分を解放する事よ。」

ペル「インフェルノの侵略はパラレルワールドにも及ぼしてるんですよ。」

咲耶歌「インフェルノって一体どんなの？」

トットム「インフェルノは幽魔界とアルファードってところあるんだ。」

海「幽魔界とアルファード？」

ペル「幽魔界はほとんどが怪人だらけの世界で特にこちらに本拠地を置いているんですが、アルファードは人間界と同じだけど、アルファードの人間達はインフェルノの支配下に置かれて徴兵として使われているんだ。」

咲耶歌「あたし達が戦った普通の兵士も。」

トットム「そう、あの普通の兵士もアルファードから徴兵された人間だ。」

咲耶歌、海「……。」

麗奈「敵に同情しているつもり？」

咲耶歌「そつ、それは。」

麗奈「相手は全世界と全宇宙を支配する極悪集団よ。10年前インフェルノが人間界にした事を忘れてない？」

咲耶歌「忘れてないよ。お母さんがいなくなった事。」

海「お兄様がいなくなったのはインフェルノのせいには確かよ。」

咲耶歌「でも私達と同じだと知ったらどうしたらいいかわからない。」

麗奈「戦いは甘くはないの。やるかやられるかよ。それをしっかり覚えておきなさい。」

咲耶歌、歌「……。」

相手が自分と同じ人間と知ってどうしていくか悩む咲耶歌と海。麗奈は戦いは甘くなく、やるかやられるかと2人に厳しく言う。道端で偶然大きく手を振っている女性2人を見つけた。

みらい「すみません、車に乗せてくれませんか？」

リコ「私達事情があつてここに迷つてしまつたんです。」

麗奈「良いわ、乗りなさい。」

2人の女性を車に乗せた麗奈。するとトットムとペルが2人の女性を見て何か気づき始めた。

トットム「あつ、あなた様はもつ、もしかして・・・?!」

ペル「キュアミラクルとキュアマジカルのお2人ではありませんか?!」

咲耶歌、海「えええつ?!」

今、目の前にいる2人の女性がかつてキュアミラクルとキュアマジカルだった事を知

り、驚く咲耶歌と歌。

みらい「私達の事知ってるってもしかして新しいプリキュアの方だね？」

海「はい。」

ペル「この3人が新しいプリキュアでございます。もう2人は別のルートに行つてます。」

リコ「偶然出会えるなんて運命的よね。」

麗奈「私もね。今インフェルノが支配しているデトロイトへ向かうところだったの。」

みらい「デトロイト……。」

咲耶歌「何かあったんですか？」

リコ「実はデトロイトにはモフルンのフェアリージュエルがあると聞いたの。私とみらいはデトロイトへ向かったの。そうしたら途中で魔法の筈が魔力が切れて落ちちゃったの。」

みらい「モフルン。」

咲耶歌「大丈夫、あたし達がいいます。」

海「モフルンのフェアリージュエルを私達が手に入れてみせます。」

トットム「この3人なら必ずモフルン先輩のフェアリージュエルを手に入れられるはず

だぜ。」

ペル「心配は無用です。」

リコ「ありがとう。」

麗奈「……。」

咲耶歌「麗奈さん？」

麗奈「とにかくデトロイトへ行くわ。」

インフェルノが持っているモフルンのフェアリージュエルを手に入れるため、デトロイトへ向かう麗奈達。そして時間が経ち、夜のデトロイトでは、北米全土侵略をするインフェルノが駐在し、プリキュアが北米に出現した事でドラン・キュラー3世、フラーゲン、ラミイを増援として送らせた。

デトロイト

ドラン・キュラー3世「プリキュアが北米の地にいるとは。」

フラーゲン「プリキュア必ず仕留めてやるフガー。」

ラミイ「奴らはどうやらこのフェアリーズジュエルを目当てにここへ来るな。」

ラミイが手にしているのは、フェアリージュエルモフルンだ。これを目当てに必ず来る事を確信し、ここで殲滅を図るラミイ。

ドラン・キュラー3世「もうじきプリキュアも来る頃ですか。」

プリキュアがもうすぐ来る頃に察知したドラン・キュラー3世。デトロイトへ辿り着いた麗奈、咲耶歌、海、みらい、リコは、この街を支配しているインフェルノの部隊と遭遇する。

麗奈「敵のお出迎えね。」

海「そうみたいね。」

リコ「お約束の展開ね。」

みらい「かなり多いみたい。」

咲耶歌「じゃあ早速変身よ。」

麗奈、咲耶歌、歌は、自分達のキュアートフォンチェンジャー、プリキュライドジュエルを出して刺し、変身し始める

麗奈、咲耶歌、歌「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めた咲耶歌、歌、麗奈は、全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、プリキュアとなった。

フエッター「正義の剣、キュアフエッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

プリキュアになった3人は、早速インフェルノの部隊と交戦し始めた。

ドラン・キュラー3世「来ましたか。」

フラーゲン「プリキュア、ここで仕留めるフガー。」
ラミィ「行け、お前ら!!」

プリキュアが来た事で兵達に迎撃に向かわせるインフェルノ3幹部ら。

マジック「はああああー!!」

マジックがマジックステツキスピアを出して槍モードでゾンビーン、バトルの集団を突き払っていき、マジックステツキスピア槍モードを振り回しながら敵を蹴散らした。

ジャック「ヒーローライドジュエル!!」

ジャックがキュアートフォンチェンジャーにヒーローライドジュエルファイツを刺して、ファイツを呼び出して一緒に組んで戦う。

ファイツ「行くぞ、ジャック!!」

ジャック「はい、ファイツ!!」

遠距離からマシンソルジャーの部隊がクエイルライフルソード、バズーカで射撃をし、ファイツがジャステイスシールドで防御し、その直後にジャックが空中からジャンプしてマシンソルジャーの部隊に飛び込んで、パンチ、キックで蹴散らし、続いてファイツがエルボーでマシンソルジャーに打ち込んだ。

フェッター「はあああああー!!」

フェッターがキュアカタナテツポウで、スカルトイやインフェルノ兵に次々と斬撃をし、得意な剣術で撃退していった。

ドラン・キュラー3世「なかなかやりますね。」

ラミイ「ならばあいつらの出番か。ゴーストル、ビートル、スタッグラー!!」

ゴーストル「へへへ、ただ今参上。」

ビートル「いくぜ、スタッグラー。」

スタッグラー「ああ、ビートル。」

北米侵略部隊の怪人3体を呼び出したラミイは、フェッター、マジック、ジャック、ファイツに襲いかからせた。

ファイツ「来るぞ!!」

怪人3体が接近に対し、フェッター達はすぐに行動に出てかかった。

フェッター「はああああー!!」

フェッターがキュアカタナテツポウ刀モードで、ゴーストルに斬撃した。だがゴーストルにキュアカタナテツポウ刀モードの斬撃効いてなかった。

フェッター「?!」

ゴーストルに自分の攻撃が効かなかった事に驚くフェッター。再びキュアカタナテツポウ刀モードでゴーストルに斬り込んだが、全く効いてなかった。

マジック「フェッターの攻撃が効いてない?！」

ジャック「どうなってるの?！」

ファイツ「物理攻撃を無効か?！」

マジック、ジャック「えっ?！」

ファイツ「相手が幽霊だと全ての物理攻撃が通じない!!」

ビートラー「お見事だな、ジャステイスヒーロー。」

スタツグラー「だがお前らの相手は俺らだ!!」

ビートラーとスタツグラーがマジックとジャックに攻撃しにかかり、ビートラーが両腕のスパイクアーム、スタツグラーが両腕のチェーンソーアームで2人に殴りにかかった。

ファイツ「!!」

マジックとジャックの前に立ったファイツが二人を守るべくジャステイスシールドで攻撃を防いだ。

ビートルー「こいつはどうだ!!」

ビートルーのヘッドアーマーの角から電撃を放電し、ファイツに浴びせた。

ファイツ「うわぁー!!」

ビートルーの角から電撃を浴びたファイツ。

ジャック「ファイツ!!」

スタツグラー「貰うぜ!!」

スタツグラーがヘッドアーマーのハサミの刃でジャックに向けて掴みかかった。

マジック「はぁぁぁぁー!!」

マジックがキックでスタツグラーの頭に打ち込んだ。

スタツグラー「野郎、やりやがったな!!」

自分の顔にキックしたマジックにチェーンソーアームで思いつき殴りこんだ。

マジック「きゃああああーっ!!」

マジックがスタツグラーのチェーンソーアームに顔を殴られて血が出た。

フエッター「マジック!!」

ゴーストル「お前は俺が相手してやってんだ、よそ見るな!!」

実体を持たずゴーストでありながら全ての物理攻撃を無効にするゴーストルがフエッターに向けて口です噛み付きかかった。

フエッター「!!」

ゴーストルの嘯み付きをすぐに下にしやがんで回避したフェッター。

ゴーストル「なら俺の配下を呼ばせてやる、来い、ゴーストン共!!」

ゴーストルと同じゴーストの一般兵のゴーストンを数体呼んでフェッターに一斉に襲いかかった。

フェッター「くっ!!」

数体のゴーストンから走って逃げ回るフェッター。ゴーストンの口から音波を発生して、フェッターに喰らわせた。

フェッター「あああっ!!」

マジック、ジャック「フェッター!!」

数体のゴーストンの口から発生した音波攻撃を受けたフェッター。マジックとフェッターとファイツがすぐに彼女を助けようと向かおうとするが、

ビートルー「待ちやがれ!!」

スタツグラー「お前らの相手は俺らだろ!!」

ビートルーとスタツグラーが邪魔をして阻み、ビートルーのヘッドアーマーの角から電撃を放電し、3人は浴びせた。

マジック、ジャック、ファイツ「うわあああああー!!」

ビートルーの電撃を受けてダメージを喰らい、阻まれてしまったマジック、ジャック、ファイツ。

ラミイ「あたしすらも入らせてもらおうぞ!!」

ドラン・キュラー3世、フラーゲン、ラミイも加わり、マジック、ジャック、ファイツは追い詰められていく。

マジック「だったら、ヒーローライドジュエル!!」

キュアアトフォンチェンジャーにヒーローライドジュエルソールを刺し、ソールを召喚してマジックは4人一緒にラミイ達5人相手に挑んだ。

ソール「気を抜くな、マジック!!」

マジック「はい!!」

マジックとソールが一緒になって、フラーゲンとビートラーを相手に挑み、ソールがミヨルニアを大きく振り回してフラーゲン

に喰らわせ、マジックがマジックステツキスピア槍モードでビートラーの頭に喰らわせた。

ファイツ「はああああー!!」

ファイツがジャステイスシールドでブーメランのように投げて、ラミイの全身から放ってくる包帯を払い、ジャックがラミイを持ち上げながらドラン・キュラー3世、ス

タツグラマーに投げてぶつけた。ゴーストルに追い詰められていくフェッターは、

ゴーストル「もうおしまいかな？」

フェッター「うっ!!」

数体のゴーストルに噛み付かれてダメージを大いに受けるフェッター。だがフェッターは攻撃を受けて傷ついてもそれでもやられなかった。

フェッター「これを使うしかないね。」

フェッターあるヒーローライドジュエルを出して、陰陽師の絵柄をしたヒーローライドジュエルだ。それをキュアートフォンチェンジャーに差し出した。

フェッター「ヒーローライドジュエル!!」

フェッターがキュアートフォンチェンジャーに刺したヒーローライドジュエルから女性の陰陽師が現れた。

光陰命「お呼びでございますか。」

ジャステイスヒーローの1人である光陰命は陰陽師の姿をし、術式や呪詛などを得意とし、式神を呼び出したりする。

マジック「あれもしかしてジャステイスヒーロー？」

ソール「ああ、彼 私達と同じジャステイスヒーローだ。」

フェッター「光陰命。」

光陰命「任せてください。」

数体いるゴーストンに対し、光陰命は御札を取り出して放ち、実態のない数体のゴーストンに近接して御札が爆散して撃退した。

ゴーストル「何?!」

ゴーストンが倒された事で、相手が物理攻撃でなく違う特殊な攻撃で倒した事に驚愕

するゴーストル。

光陰命「実体のない霊は私がお相手します。」

ゴーストル「俺を舐めるなよ!!」

口から音波を発生して光陰命に攻撃するゴーストル。

光陰命「!!」

ゴーストルの音波攻撃を結界を形成して防ぐ光陰命。

マジック、ジャック「あああつ。」

光陰命の戦いに実感するマジックとジャックは、フェッターが召喚して、実体のない敵と渡り合うのに驚愕した。

フェッター「ジツとしてないでちゃんと戦いなさい!!」

ジツとしているマジックとジャックに叱り、フェッターはジャックにプリキュライドジュエルマジカルを投げ渡した。

ジャック「これ、マジカルの。」

フェッター「これを使ってあなた達2人で魔法使いプリキュアになつて戦いなさい。」
ジャック「この間貰つたフェリーチェのジュエルと一緒に私が使うわ。マジック、あなたはミラクルに変身して。」

マジック「わかつたよ。」

ジャックはフェッターから渡されたプリキュライドジュエルマジカルをキュアアートのフォンチエンジャーに刺し、プリキュライドジュエルフェリーチェをジャックステッキスピア杖モードに装着し、マジックはプリキュライドジュエルミラクルをキュアアートのフォンチエンジャーに刺して変身する。

マジック、ジャック「プリキュライドチェンジ魔法使い!!」

ミラクル、マジカル、フェリーチェのプリキュライドジュエルで変身したマジックとジャックは、ビートラー、スタツグラーに挑んだ。

みらい、リコ「あっ!!」

マジックとジャックがかって自分達に変身したミラクル、マジカルと10年前に消えたフェリーチェの姿に驚くみらい、リコ。

ビートラー、スタツグラー「喰らえ!!」

3人に向かってビートラーがスパイクアーム、スタツグラーがチェーンソーアームで殴りにかかってきた。

ミラクルマジック、マジカルジャック「はあっ!!」

ミラクルマジックとマジカルジャックが同時にパンチを繰り出してビートラー、スタツグラーを殴り飛ばした。

ビートラー、スタッグラー「うっ、ぐわあっ!!」

ミラクルマジックとマジカルジャックの同時攻撃を喰らったビートラーとスタッグラーはヘッドアーマーの武器を使って対処に出た。

ビートラー「やりやがったな!!」

スタッグラー「いい気になるな!!」

ビートラーがヘッドアーマーの角から電撃を放ち、スタッグラーがヘッドアーマーのハサミで掴みにかかり、2人に向けて来た。

フェリーチェジャック「はあっ!!」

フェリーチェジャックがバリアを展開してビートラー、スタッグラーの攻撃を防いだ。そうしたらミラクルマジックとマジカルジャックが従来と同じようにダイヤスタイルからポーズスタイルへチェンジして、2人は各2つね光の玉でハンマーを形成し

て、ビートラー、スタッグラーに喰らわせた。

ドラン・キュラー3世「はあああああつ!!」

剣で斬撃を繰り出してソールに喰らわせていくドラン・キュラー3世。

ソール「簡単にはやられん!!」

左腕からパンチで強くドラン・キュラー3世に殴り込んでいき、上からジャンプして殴りにかかって来たフラーゲンにミヨルニアを上にかざして雷を降らして、雷撃した。

ファイツ「ファイツシールドストレートナツクル!!」

ファイツがラミイに向けてジャステイスシールドを手を持ったまま敵にストレートによるパンチで殴り込んだ。

ラミイ「痛え、やってくれてんじやねえかよ!!」

ラミイも指の包帯で形成したクロードファイツに向けて引っ掻いた。

ファイツ「これならどうだ!!」

ファイツがラミイに向かって左腕を思いつき回り回しながらストレートした。

ラミイ「がはあっ!!」

ファイツに殴られたラミイ。手に持っていたフェアリージュエルモフロンを落とすてしまい、それをファイツが回収していった。

フェッター「光陰命、一気に決める!!」

光陰命「承知。」

2人はゴーストルを倒すべく一体化をし始める。

フェッター「光陰命!!」
光陰命「フェッター!!」

2人は一体化し、キュアフェッター光陰命フォームとなつて、ゴーストルを倒しにくく。

ゴーストル「舐めた真似を!!」

ゴーストルが口で噛みつきにかかっているが、フェッター光陰命フォームは呪詛を起こし始める。

フェッター光陰命フォーム「プリキュア光陰命呪心起!!」

呪詛を起こして、ゴーストルを一時的に能力を低下して、弱体化させた。

ゴーストル「なっ、何だ、どうなってる?!!」

フェッター光陰命フォームの呪詛により、能力が低下し、一時的に弱体化したゴーストル。

フェッター光陰命フォーム「散々やってくれたわね。」

ゴーストル「うっ、くうっ!! 舐めるなよ!!」

口から音波を発生してフェッター光陰命フォームに攻撃したが、能力低下によって、威力もダウンし、フェッター光陰命には全く効いていなかった。

フェッター光陰命フォーム「受けなさい、プリキュア光陰命五芒地陣!!」

フェッター光陰命フォームが手で五芒星を形成して五芒星の陣から光線で放って、ゴーストルを喰らわせた。

ゴーストル「ぐわあああー!!」

フェッター光陰命フォームの必殺技の五芒星の陣から放った光線を受けて消滅した

ゴーストル。

ミラクルマジック、マジカルジャック「たああああー!!」
ビートラー、スタッグラー「うりやああああー!!」

ミラクルマジックとマジカルジャックどうフェリーチェジャックがビートラーとスタッグラーが激闘を繰り広げていた。ミラクルマジックとマジカルジャックが2つの光の玉から大砲を形成して、ビートラーとスタッグラーに砲撃した。ビートラーとスタッグラーも2人に向かって攻撃しにかかるが、フェリーチェジャックがバリアを展開して防御された。

ミラクルマジック「これで決めるよ!!」
マジカルジャック「ええ!!」

ビートラーとスタッグラーを倒すべく2人は手を合わせて必殺技を発動した。

ミラクルマジック、マジカルジャック「プリキュア・トパーズ・エスペランサ!!」

リンクルステッキにリンクルストーン・トパーズをはめて、黄色い竜巻と稲妻が発生すると共に巨大なリンクルステッキが現れ、魔法陣でヨクバールを固定し、レールガンのようにビートラーとスタッグラーを射出した。その時、必殺技の威力でビートラーとスタッグラーのヘッドアーマーが割れた。

ミラクルマジック、マジカルジャック、フェリーチエジャック「えっ?!」

彼女達が見たのは、ビートラーとスタッグラーのヘッドアーマーから割れて出たのは、自分達と同じ人間の顔だった。

ビートラー「プリキュア、勝ったと思うな、次は必ず勝つ。」

割れたヘッドアーマーから人間の顔の姿を出して撤退するビートラー、スタッグラー。またフェアリージュエルモフルンがファイツに奪われて、ドラン・キュラー3世らも撤退をした。戦いはプリキュアが勝利をし、デトロイトの町は解放されたが、

咲耶歌、海「……」。

相手が自分達と同じ人間だった事を知り、インフェルノにも自分達と同じ人間がいた事で、どうして人同士争わなきゃならないのか。

トットム「やつとモフルン先輩のジュエルを手に入れてゲットだせい!!」

ペル「あの2人、元気がないですね。」

みらい「……」。

リコ「あの2人、敵が自分達と同じ人間だった事を知ってショックを受けているわね。」

みらい「そうだね。もし人間界とまほう界が争っていたら今頃リコとは仲良くしていなかったかも。」

リコ「そうね、もし争いがあつたら今頃仲良くしていなかったかもね。」

自分達の住んでいる世界がもし争いをしていたら、今頃仲良くしていなかったかもしれないとそう思えたみらいとリコ。

麗奈「戦いは甘くはないわ、戦いはやるかやられるかのどちらかよ。」

次回 8話へ続く

第8話 アトランタの激闘

ニューヨークへ向かうため、二手に分かれて行動を取り、麗奈達と分かれてアトランタへ向かったアイカとはるなと睦月とはるかどマリーシエ。アトランタはかつては盛んな都市だったが、10年前のハデユスの攻撃で破壊され、荒れ果てた大地となり、再建した町の姿はかつてのアメリカのウエスタンのような町と化して、治安も悪く、犯罪も出回り、現在はインフェルノに侵略され、人々を奴隷労働として使われていた。

移動中

マリーシエ「アトランタ、かつては盛んな町でしたが、ハデユスの攻撃で破壊されて、今のかつてウエスタンのような町になり、治安や犯罪も悪いわ。」

睦月「インフェルノに町の人達を奴隷として使われてるようね。」

アイカ「何だか酷いね。」

はるな「悪党が実にやる事だね。」

アーニヤ「インフェルノは実に暴虐でありますね。」

はるか「アトランタへ行かないと。」

車に乗ったままアトランタへ移動し、アトランタに到着したアイカ達は、今のアトランタを目の当たりにした。

アトランタ

アイカ、はるな「あああつ。」

今のアトランタが荒れ果てた大地となり、再建した街はかつてのウエスタンのような街で、治安も悪く、犯罪が多発すると街で、インフェルノに北米の半分を侵略されて、街の人々を奴隷として扱われている姿を目の当たりにした。

インフェルノ兵1「さっさと働け!!」

男性1「うっ!!」

男性2「あっ!!」

インフェルノ兵に無理やり物資の生産をするために1日24時間働かせられ、休む事すら許されず、ムチで叩かれたりし、また女性や子供や老人までもが働かされていた。

子供1「うわぁーん!!」

老人1「うっ、うううっ。」

女性1「あつ、あああつ!!」

インフェルノ兵2「休むな、働け!!」

強制労働を強いられて苦しむ子供や老人や女性をムチで叩いて働かせるインフェルノ。

アイカ、はるな「……」。

インフェルノによるアトランタの人々を無理やり強制労働をさせているのを目の当たりにしたアイカとはるなは、黙って見過ごす訳にはいかないとキュアートフォンチェンジャーを出して変身しようとするが、

はるか「!!」

はるかか2人の手を掴み、止めさせて建物の影へ連れ込んだ。

アイカ「何で止めるの?!」

はるか「今変身したらバレルのよ。」

はるな「町の人達が捕まって無理やり働かせられている人達を見殺し?!」

はるか「今無闇に変身したらやられるだけよ!!」

アイカ、はるな「……。」

はるかに無闇に変身して戦うと返り討ちに合うと止められて、言う通りにするアイカとはるな。

マリーシエ「どこかの建物へ入って立てていくしかないようね。」

睦月「そうだな。」

一旦、どこかの建物へ入って行動を立てていく事で、近くにあつた酒場へ入った。中は人がいっぱいいて、席も人がたくさん座っていたりした。偶然近くに奥にある大きなテーブルに女性2人が座っていて、そこに席が4つ空いているからそこに座っていく事

にし、その大きなテーブルへと向かい、座り込んだ。

酒場

マリーシエ「人がいっぱいなんて珍しいようですね。」

はるか「そうみたいね。疲れたみたいだからここで何か頼もう。」

アーニヤ「せっかくだからね。」

酒場で休息を取って何かを注文をしようとするはるか。偶然一緒の席に座っていた女性2人がはるかを見て気付き始めた。

咲「もしかしてあなた、はるかじゃないの？」

はるか「えっ?！」

舞「あなた、はるなでしょ？」

マリーシエ「？」

アイカ「えっ、どうして先生を知ってるの？」

はるな「あなた達は誰なんですか？」

アーニヤ「もしかしてあなた方はふたりは……。」

咲「しっ、声が大きい。」

舞「余計バレルわ。」

はるか「私が紹介します。この2人はふたりはプリキュアスプラッシュスターのキュアブルームの咲さんとキュアイーグレットの舞さん。」

この2人の女性はかつてふたりはプリキュアスプラッシュスターのキュアブルームだった日向咲とキュアイーグレットだった美翔舞だ。

アイカ「はるか先生の知り合いなんですね。」

はるな「同じプリキュアに会えるなんて奇遇ね。」

咲「今のあたしや舞やみんなはもうプリキュアじゃないんだ、10年前の戦いで力を失ったの。」

舞「大事な仲間まで失ったのよ。」

アイカ「もしかして妖精の事ですか？」

舞「そうよ。妖精、私と咲の一番大事な仲間は自分を犠牲にしても全てを賭けたの。だけどハデウスを倒す事は出来なかった。戦いが終わって私と咲はハデウスの攻撃で故郷を失い、家族や思い出の場所も全部失ったの。」

咲「故郷や家族を失ったあたしと舞は生き残った人達と一緒に町の再建を一生懸命尽くして頑張ってるんだ。」

舞「なかなか簡単に上手くいかないわ。治安も悪化してなかなか上手く進んでいかないの。」

アイカ「2人は大変辛かったんだ。」

はるな「私とアイカは、母がインフェルノに連れさらわれてプリキュアとして戦っているんです。」

アイカ「あたしとはるなは母を助けるだけでなく、今の時代に生きるプリキュアとしてインフェルノと戦ってるんです。他のプリキュアとジャスティスヒーローとの出会いであたし達は強くなっているんです。」

咲「頑張っているんだね。」

睦月「それとアトランタをインフェルノからどう解放していくのか？」

マリーシエ「インフェルノは町の人間を奴隷労働しているのは確かのようにありますね。」

はるか「収容所を叩くのはどうかしら？」

睦月「まず最初にはるながキュアライドロボで収容所にいる人々を解放し、隙を突いて私とアイカが敵の物資の倉庫を焼き討ちしていく。最後に残った敵を片付けてい

く。」

マリーシエ「決まりね。」

最初にはるながキュアライドロボ1号機で收容所に囚われている町の人々の解放し、隙を突いて倉庫にある物資を睦月が焼き討ちして、最後に残った敵を一掃し、町を解放する作戦だ。町にはインフェルノの兵達がいており、一旦町を出たアイカ達は、プリキュアに変身して、ストライクとシンシアはキュアライドロボ1号機に搭乗して、アトランタの收容所へと向かった。

シンシア(キュアライドロボ1号機)「こちら、シンシア。今收容所上空にいます。これより行動開始します。」

收容所の上空でキュアライドロボ1号機を操縦するシンシアは行動を開始し、收容所に攻撃し始めた。

インフェルノ兵1「何だ?!」

インフェルノ兵2「敵襲だ!!」

敵の襲撃に気付いき、すぐに応じにかかるインフェルノの兵達は早速攻撃にかかった。

シンシア（キュアライドロボ1号機）「!!」

シンシアが操縦するキュアライドロボ1号機からキックでデユラハーンの集団を蹴散らし、空中から来るバットルの集団をパンチで連打して殴り落とした。マシンソルジャーの部隊がバズーカを出して、キュアライドロボ1号機に射撃した。

シンシア（キュアライドロボ1号機）「プリキュライドチェンジマックスハート!!」

シンシアはプリキュライドジュエルホワイトを装着して、ホワイトの姿になったキュアライドロボ1号機がマシンソルジャー部隊に向かって回し蹴りで一気に蹴散らした。収容所の壁を殴り壊して穴を空け、インフェルノに囚われた街の人々を解放した。次に倉庫にある物資を潰しにかかり行動に始めるストライクとアルカディアは、倉庫内に突入し、中に護衛していたインフェルノ兵、マシンソルジャー、スカルトイと交戦する。

ストライク「雑魚はあたしが引き受けません。」

アルカディア「私は物資を破壊する。」

敵兵の相手をストライクが引き受けて、その間に物資の破壊をアルカディアが行なっていく。敵兵と交戦するストライクは、キュアブレードマグナム銃モードでインフェルノ兵に射撃し、接近してかかってくるスカルトイには剣モードに変えて斬撃した。だが数体のらマシンソルジャーがトマホークを出して、ストライクに向かって一斉に斬りにかかった。

ストライク「!!」

マシンソルジャーのトマホークの攻撃をかわし、ストライクはプリキュライドジュエルハートを出して、キュアアトフォンチェンジャーに刺して変身する。

ストライク「プリキュライドチェンジドキドキ!!」

ハートに変身したストライクは、マジカルラブリーパッドを出して数体のマシンソル

ジャーに必殺技を放つ。

ハートストライク「ハートダイナマイト!!」

マジカルラブリーパッドを触りながら無数のハートマークが敵の回りを取り囲んで、数体のマシンソルジャーを包み込んで一つの巨大なハートマークに合体し、爆発して撃破した。

アルカディア「はあああああー!!」

アルカディアがバズーカとグレネードランチャーを両手に構えながら倉庫内にある物資を次々と撃ち込んでいき、破壊した。収容所、倉庫が破壊された事を知ったアトラントを担当するインフェルノの怪人2体とまた北米に救援部隊として送られたザッパード、スラッシュユラー、クラッシュトロイがプリキユアがいる事を知って倒しにかかった。

ザッパード「プリキユア!!」

シンシア「ザッパード、スラツシユラー、クラツシトロイ!!」

サボテキーラサス「お前の相手は俺達だ!!」

ガンガンハンター「今ここで撃ち込んでやるよ!!」

ハートストライク「町の人達を苦しめるあなた達を絶対許さない。」

クラツシトロイ「ここがお前らの墓場何だな。」

スラツシユラー「覚悟しな、プリキュア!!」

ザッパードら3幹部らとサボテキーサスとガンガンハンターがハートストライクとシンシアとアルカディアに襲いかかってきた。

ハートストライク、シンシア「ヒーローライドジュエル!!」

ハートストライクとシンシアがキュアアートフォンチェンジヤーに自分のヒーローライドジュエルをそれぞれ刺して、アイゼンアロイス、フェアリアルを召喚した。

アイゼンアロイス「ストライク、行くぞ!!」

ハートストライク「はい。」

フェアリール「シンシア、気を抜かないで。」

シンシア「幹部3人に怪人2体ね。」

アルカディア「幹部は私とジャステイスヒーローが引き受けるわ。あなた達2人は怪人と戦って。」

ザッパードら3幹部は自分とアイゼンアロイスとフェアリールが引き受け、ハートストライクとシンシアはサボテキーサスとガンガンハンターの相手を引き受けて交戦する。

サボテキーサス「喰らえ!!」

サボテキーサスが全身のトゲを発射して、ハートストライクとシンシアに向けた。

ハートストライク「はあああああー!!」

ラブハートアローでサボテキーサスの発射した針を撃ち落とし、シンシアがキュアブレードマグナム銃モードで射撃した。

ガンガンハンター「プリキュア、俺の弾丸を受けてみる!!」

ガンガンハンターの両腕のリボルバーアームから発射した弾丸がハートストライクとシンシアに向けられてきた。すぐに弾丸を防ぐべく、シンシアがプリキュライドジュエルロゼッタを出してキュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

シンシア「プリキュライドチェンジドキドキ!!」

ロゼッタに変身したシンシアがロゼッタウォールを展開してガンガンハンターの発射した弾丸を防御したが、

ロゼッタシンシア「きゃあああー!!」

ガンガンハンターの発射した弾丸が爆発でバリアが破れて吹き飛ばされたロゼッタシンシア。

ハートストライク「シンシア!!」

ザッパード「ガンガンマスターの弾丸は爆弾並の威力だぜ。当たるとお前らもお陀仏だ。」

ガンガンハンター「撃ちまくってやるぜ!!」

ガンガンハンターのリボルバーアームから発射する弾丸の威力は爆弾並で当たると大ダメージを受けてしまう。ガンガンハンターがリボルバーアームで乱射し、ハートストライクとロゼッタシンシアに攻撃してきた。すぐに走 走りながら回避するハートストライクとロゼッタシンシア。

サボテキーサス「俺を忘れるな!!」

サボテキーサスが両手にリボルバー2丁持ちながら2人に連射攻撃した。

ハートストライク、ロゼッタシンシア「あああああー!!」

サボテキーサスのリボルバー2丁の攻撃を受けたハートストライクとロゼッタシン

シア。攻撃を受けて元のストライクとシンシアに戻ってしまった。

アイゼンアロイス「ストライク!!」

フェアリアル「シンシア!!」

ザッパード「余所見してんな!!」

2人がピンチになっているの目にするアイゼンアロイスとフェアリアル。だが今はザッパードとスラツシユラーと交戦中で、助けに行く事が出来ない。

スラツシユラー「喰らえ!!」

スラツシユが右手に大型サブバルナイフで、アイゼンアロイスに向かって飛びながら斬りにかかってきた。

アイゼンアロイス「させるかよ!!」

アイゼンアロイスは両掌からビームソードを出刃してスラツシユラーの大型サブ

バルナイフと交えた。スラッシュユラーの大型サバイバルナイフから繰り出す斬撃をビームソードで受け止めて、こちらにも斬撃を繰り出してぶつかり合った。

ザッパード「ぶんぶん飛んでんじやねえよ!!」

フェアリール「いつも脳細胞で突っ走らないでくれないかしら!!」

空中を飛び回るフェアリールにザッパードがサブマシンガン2丁で彼女に向けて撃ちまくり、その攻撃を素早く回避し、掌から光弾を連射して攻撃し、さらにマスケット銃を4丁召喚して攻撃した。

アルカディア「プリキュア・ウォーターライザー!!」

アルカディアがアッパーでクラッシトロイに当てて、同時に水柱を発生して喰らわせた。

クラッシトロイ「こいつ!!」

右手にチェーンソーを持ちながらアルカディアに向けて斬りにかかった。クラッシトロイのチェーンソーにアルカディアがプラズマライフルで応戦した。

ガンガンハンター「撃ちまくってやるぜ!!」

ガンガンハンターが両腕のリボルバーアームで無差別に連射して撃ちまくり、撃った弾丸から爆発し、街の建物にも被害を出した。

ストライク「街が!!」

シンシア「これじゃ迂闊に出せない!!」

ガンガンハンター「ははははっ、俺の弾丸の威力を思い知ったか!!」

咲、舞「2人共!!」

た。ガンガンハンターの撃つ弾丸に悩まされるストライク、シンシアの前に咲と舞が現れた。

ストライク、シンシア「咲さん、舞さん。」

咲「あなた達プリキュアならインフェルノの怪人を倒せるはずよ。」

舞「だから負けないで。」

咲、舞「最後まで自分を信じて!!」

ストライク「咲さん、舞さん、あたしとシンシアはインフェルノを倒せると信じます。」
シンシア「私とストライクはプリキュアだからです。」

咲と舞の励ましの言葉にストライクとシンシアはインフェルノを倒せると確信し、2人はブルームとイーグレットのプリキュライドジュエルを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

ストライク、シンシア「プリキュライドチェンジスプラッシュスター!!」

ブルームとイーグレットのプリキュライドジュエルを刺したストライクとシンシアは変身し、ストライクはブルーム、シンシアはイーグレットへと変わった。

ブルームストライク、イーグレットシンシア「はああああー!!」

ブルームストライクとイーグレットシンシアが精霊の力を両足に集中して高く飛んで、サボテキーサスとガンガンハンターにキックした。

サボテキーサス、ガンガンハンター「ぐぎやああああー!!」

ブルームストライクとイーグレットシンシアの精霊の力で集中したキックで飛ばされて地面に衝突したサボテキーサスとガンガンハンター。

ガンガンハンター「調子に乗ってんじゃねえぞ!!」

両腕のリボルバーアームでブルームストライクとイーグレットシンシアに向けて連射するガンガンハンター。

ブルームストライク、シンシアイーグレット「そうはさせない!!」

ガンガンハンターが発射した弾丸をブルームストライクとイーグレットシンシアが突風を起こして、ガンガンハンターの撃った弾丸を上には飛ばして全弾爆発した。

ガンガンハンター「なっ、何?!」

ブルームストライク「危ないものを片付けたよ。」

イーグレットシンシア「何度も上に飛ばしてあげるよ。」

サボテキーサス「俺の針を忘れるな!!」

サボテキーサスが全身の針をブルームストライクとイーグレットシンシアに向けて発射した。その発射した針をバリアを展開して防ぎ、2人は空中を飛びながらサボテキーサスとガンガンハンターにパンチで思いつき殴り込んだ。

サボテキーサス、ガンガンハンター「ぐわああああー!!」

2人の繰り出したパンチで殴られたサボテキーサスとガンガンハンターは一気に追いやられていき、最後に2人がトドメを刺すべく必殺技を発動する。

ブルームストライク、イーグレットシンシア「プリキュア・ツイン・ストリーム・スプラッシュ!!」

ブルームストライクとイーグレットシンシアが手を繋いで、掌に精霊の力を収束して、精霊の力を集めた手の甲のマークに発光し、回転した片腕から金色と銀色の2つの異なるエネルギー奔流で両手を打ち出し、エネルギー奔流が交差して、サボテキーサスとガンガンハンターを包み込んだ。

サボテキーサス、ガンガンハンター「うわああああー!!」

2人の必殺技によって最後を遂げて消滅したサボテキーサスとガンガンハンター。2人はアルカディア達の元へ駆けつけに向かった。

ブルームストライク「アイゼンアロイス!!」

イーグレットシンシア「フェアリアル!!」

アイゼンアロイス「そっちも終わったか。なら一体化して決めるぞ!!」

フェアリアル「行きましょう!!」

ザッパードら3幹部との対決をするため、ブルームストライクはアイゼンアロイス、イーグレットシンシアはフェアリアルとそれぞれ一体化し始める。

ブルームストライク「アイゼンアロイス!!」

アイゼンアロイス「ストライク!!」

イーグレットシンシア「フェアリアル!!」

フェアリアル「シンシア!!」

ブルームストライクとアイゼンアロイスが一体化してストライクアイゼンフォーム、イーグレットシンシアとフェアリアルが一体化してシンシアフェアリアルフォームとなつて、ザッパードら3幹部を相手に戦う。

ストライクアイゼンフォーム「はああああー!!」

ストライクアイゼンフォームがパンチでザッパードとスラッシュユラーとクラッシュトロイに四肢のパワージャッキを起動してパンチを繰り返して連打し、さらにキックで打

ち込み、ガントレットからビームを発射して攻撃した。

シンシアフェアリーフォーム「当たれ!!」

シンシアフェアリーフォームがマスケット銃を6本召喚して、ザツパードらに射撃した。

ザツパード「野郎!!」

スラツシユラー「喰らえ!!」

ザツパードとスラツシユがストライクアイゼンフォームとシンシアフェアリーフォームに向かって攻撃をしかかるが、ストライクアイゼンフォームの両肩からミサイルが発射して、ザツパードとスラツシユラーに撃ち込んだ。

シンシアフェアリーフォーム「これで終わりよ!!」

2人は必殺技を発動してザツパードらに向けて戦いを終わらせにかかった。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンドリルクラッシュャー!!」

右腕のガントレットのパワージャッキを起動してをドリルに変形して、発光したドリルでクラッシュトライにぶち込んだ。

シンシアフェアリーフォーム「プリキュア・フェアリーキャノンシュート!!」

シンシアフェアリーフォームが巨大なマスケット銃を召喚して強力な魔法弾を发射して、ザツパードとスラッシュユラーに射撃した。

ザツパード「引き上げだ!!」

プリキュアの必殺技を受けたザツパードらはすぐにアトランタから退却した。

ストライクアイゼンフォーム「これで戦いも終わったね。」

戦いが終わり、アトランタの街はインフェルノの支配から解放された。

咲「頑張ったね。」

舞「すごかったわ。」

アイカ「どう致しまして。」

咲「これを渡すね。」

咲がアイカとはるなに渡されたのは、フラツピとチョツピとフープとムーブのフェアリージュエルだ。

アーニヤ「先輩達のフェアリージュエル、4つも。」

舞「あなた達新しいプリキュアならきつと任せられるわ。だからこれからも頑張つて。」

アイカ、はるな「はい。」

次回 8話へ続く

第9話 かつての戦敵の再会

デトロイト、アトランタの2つのルートを通つていき、それぞれ2組が合流をし、インフェルノ北米侵略部隊の本拠地であるニューヨークへと向かつていた。今ハーシーで作戦を立てていた。

ハーシー

麗奈「北米侵略部隊の本拠地はニューヨークよ。そこ解放すれば奴らも撤退はするわ。」

マリーシエ「敵の指揮官はあのガメッツね。」

みらい「ガメッツが生きてたなんて驚いたよ。」

リコ「私達が倒したはずのガメッツが復活したなんて驚くわ。」

咲「何で今になって蘇つたんだろう。」

舞「わからないわ。」

アイカ「ここはみんなでニューヨークを偵察するのはどうですか？」

はるな「何か手がかりが見つかると思うの。」

麗奈「アイカ、はるな、無理な事言わないで。私達プリキュアだからニューヨークに入ると敵に襲われるよ。」

アイカ「無闇に攻めて行くわけにも行かないからここニューヨークの街を見てどうなっているか調べてみたいの。」

咲耶歌「あたしはアイカちゃんとはるなちゃんの家賛成よ。ニューヨークを偵察なら何かいいものが見れるんじゃない？」

海「私ただ単に攻めて突っ込むだけじゃなく、先にニューヨークの状況を調べて行くほうがいいかと。」

トットム「アイカとはるなの嬢ちゃんのみずみ見ていくのが案にいいと思うぜ。」

ペル「いきなり攻撃に出たら無闇にやられるだけです。」

アーニヤ「そうです、見て調べるのが一番でありますわ。」

麗奈「敵は目の前よ。今叩けるチャンスよ。」

はるな「いきなり攻めたりすると相手がどれだけ強いのか返り討ちにあつたりするよ。」

アイカ「ここはニューヨークの街へ行って調べて行くって事で。」

麗奈「じゃあ戦う前に調べて行くって事ね。」

アイカとはるなが提案したインフェルノに支配されたニューヨークの街を視察する事になり、咲や舞やみらいやリコモ一緒に連れてニューヨークまで車に乗って移動し、それから時間は経ち、ニューヨークのユニオンシティに到着したアイカ達。ニューヨークの街にはインフェルノの兵達たくさん並んでいた。

ニューヨーク

ユニオンシティ

アイカ「ここがニューヨーク。」

はるな「初めて見るよ。」

麗奈「かつてファイナルウォーでハデユスの攻撃で崩壊し、アメリカで唯一ここだけ復興したって。」

咲耶歌「夢みたいだけど、インフェルノに支配されてなんだか楽しそうな雰囲気じゃないね。」

海「兵があちこちいるって事は迂闊に怪しまれないようにしないといけないね。」

トットム「とにかく怪しまないようにする事だい。」

ペル「敵の状況も調べて行く必要もあるですね。」

アーニヤ「また分かれて行動するのはどうですか？」

麗奈「ニューヨークは広いから分かれて行動した方がいいね。」

ペル「では私が決めます。アイカさん、はるなさん、はるかさん、みらいさん、リコさん、アーニヤ。次に咲耶歌さん、海さん、麗咲さん、舞さん、トットム、私。」

睦月「私はここで待機している。みんなはニューヨークを見回って。」

アイカ「はい。」

ニューヨークは面積が広い。二手に分かれて行動する事になり、睦月がユニオンシティで待機とし、二手に分かれたアイカ達はニューヨーク内を行動する。一方、ニューヨークのクイーンズに北米侵略部隊の本拠地では、プリキュアに敗れたザツパードらを叱責するガメッツ。

クイーンズ基地

ガメッツ「お前ら、揃ってプリキュアに敗れるとはどう言うつもりだ!!」

ザツパード「テメエみてえな老害に何で怒られなきやならねえんだよ。」

ラミイ「老いぼれの分際があたしに嫉妬か?!」

スラッシュラー「時代遅れの分際がいい気になってんじやねえんだよ!!」

ガメッツに叱責されたザッパード、スラツシユラー、ラミイは、ガメッツを老害扱いし、バカにした。

ガメッツ「お前達若者は調子に乗っておるな!!だから教育が足りとらん!!」

ザッパード「老いぼれのジジイがいい気になるよ。」

スラツシユラー「戦えねえポロポロの身体で俺達とやり合うってどうなるかわかってるか?」

ガメッツ「貴様らぁー!!」

チエスメイト「そこまです。」

ザッパードらの前に突如、チエス風の姿をした超人チエスメイトと恐竜の姿をした超人ジユラシツクキングが現れた。

ガメッツ「チエスメイト、ジユラシツクキング。」

チエスメイト「ガメッツ師匠。私がお引き受けしよう。」

ザッパード「ん?」

チエスメイト「あなた達3人、日本でプリキュアで何度も負けているようですね。」

ザツパード、スラツシユラー、ラミイ「うっ。」

チエスメイト「自分達の実力が不足しているからプリキュアに何度も負けている。あなた達が弱いから。」

スラツシユラー「そっ、それは。」

ラミイ「あたしらは……。」

チエスメイト「悔しければ自分達の力を証明して倒してみる事です。」

ザツパード、スラツシユラー、ラミイ「うっ、あっ。」

ジユラシツクキング「チエスメイトは流石だな。」

ガメツツ「ワシは出かけに行く。」

チエスメイト「どちらへ？」

ガメツツ「ちよつとな。」

基地から出て1人で出かけに行くガメツツ。

ジユラシツクキング「ガメツツ師匠が1人で行くとは何か用があるのかな。」

チエスメイト「ガメツツ師匠の事です。」

ブルツクリンの街中を歩く咲耶歌、海、咲、舞、トットム、アーニヤ。インフェルノの兵があちこちにいる中、咲耶歌は海に話をしてきた。

ブルツクリン

咲耶歌「ねえ、海。」

海「どうしたの、咲耶歌？」

咲耶歌「海は将来になりたいのってある？」

海「将来？」

咲耶歌「海はどんな事になりたいの？」

海「……。」

咲耶歌「海？」

トットム「何か悩んでんのかい？」

ペル「海さん？」

海「私は自分が何になりたいのかわからないの。」

咲耶歌「えっ？」

海「私、幼い頃からずっと自分が何をしたいのかずっとわからずに悩んでいたの。幼い頃から私はどう言う事がしたいか今もわからないの。」

咲耶歌「海はずっと小さい頃から何がしたいのか悩んでいるんだ。」

海「ファイナルウォーで兄が行方不明になつてから私が実家の跡を継がなきゃならなくなつてさらに悩み出したの。自分はどうしたらいいのか。」

咲耶歌「海の気持ち、すごく分かるよ。」

海「咲耶歌。」

トットム「海の嬢ちゃんの気持ちはわかるぜ。」

ペル「海さんならきつと見つけられるはずですよ。」

咲「今からでも自分の将来は見つけられるよ。」

舞「まだあなたはこれからきつと見つけるはずよ。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「海、君の可能性はまだ始まったばかりだ。」

海「トットム、ペル、ファイツ、咲さん、舞さん。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「君が一番したい事が何かだ。」

海「私が一番したい事……。」

ファイツ「それは自分自身見つけていく事だ。」

海は自分が一番何をしたいのか、自分が一番したい事を探して見つけていく事で、見つけていく中で自分の将来に繋がる事にもあった。

麗奈「将来ね。」

烈陣丸（ヒーローライドジュエル）「麗奈様。」

光陰命（ヒーローライドジュエル）「ハデユスを。」

麗奈「ええ、ハデユスを倒す事が私の将来よ。まだハデユス以外にも倒さなければいけない者もいる。」

烈陣丸（ヒーローライドジュエル）「あいつか。」

麗奈「私の故郷を支配したハデユスとあいつらだけはこの手で……!!」

麗奈には何か隠された秘密があり、その秘密にはとても重い事が秘められており、アイカ達はいずれ麗奈の秘密を知る事になる。現在、彼女の秘密を知っているのは烈陣丸と光陰命とヴァレリアンだけだ。一方、ニューヨークのヨンカーズにいるアイカ達は、敵の情勢をしつかり視察していた。

ヨンカーズ

アイカ「インフェルノの兵は町にあちこちいるね。」

はるな「それに武器庫みたいなのもあちこちにあるみたいね。」

ヨンカーズの街はすでにインフェルノの兵がいつぱいいており、街の人々はインフェルノに支配されてから恐怖に怯えて生活を送っている。

みらい「街の人達もインフェルノの恐怖に怯えてるんだね。」

リコ「弾圧だつてされているわね。」

はるか「いきなり攻め込まれて怖い思いだつてしてるんだろう。」

アーニャ「インフェルノはニューヨークにあんなにたくさん兵を送り込んだんですね。」

アイカ「インフェルノを北米から追い出してみんなの平和を取り戻そう。」

はるな「私達でインフェルノを絶対倒してみせます。」

ニューヨークはインフェルノに支配されて街の人々の生活は恐怖に怯える毎日を送る故に弾圧もされ、アイカとはるなはインフェルノを倒して北米から追い出す事を強く決意する。だが、ここで2人はお腹を空いてしまい、近くにあった飲食店で食事を取る事にした。

飲食店

アイカ「何だかお腹空いちやったね。」

はるな「急にお腹が空いたね。」

みらい「私もお腹空きましたー。」

リコ「みらい、あまり調子に乗らないの。」

はるか「近くに食べるところがあつて助かったわ。みんなは何を食べるの？」

アイカ「アメリカに来たんだからあたしはハンバーガーがいい。」

はるな「私もハンバーガーがいい。」

みらい「じゃあ私もハンバーガーで。」

リコ「みらい!!」

みらい「うぐつ。」

はるな「2人はいつもこうなんだからね。アメリカに来たんだからハンバーガーで決まりで。」

アメリカに来て、本場のハンバーガーを味わいたいと言う事で、ハンバーガーを食べる事にしたアイカ達。早速頼んで来たハンバーガーは、普通のより2、3倍の大きさだ。

みらい「でっ、デカい。」

リコ「本場は流石に大きいわね。」

アイカ「にんじんとたまねぎが入ってる、嫌だー。」

はるな「トマトも大きくて嫌い。」

はるか「2人とも好き嫌いはダメだよ。」

アイカ「えー、あたし、にんじんとたまねぎ食べるのは嫌だ。」

はるな「トマトが大きくてもっと嫌。」

アイカとはるなは、ハンバーガーに入っている野菜で自分達の嫌いな物が入っていた事で、食べるを嫌がっていた。

はるか「ちゃんと食べて。食べないと大きくなれないよ。」

アイカ「食べたくない。」

はるな「私、嫌いなものは食べたくない。」

嫌いな野菜を絶対的には口にしないアイカとはるな。そこで隣の席に座っていたとある人物が声をかけてきた。

ガメツツ「野菜はちゃんと食べるんだな、じゃないと一生お子様のままだぞ。」

その人物はガメツツだった。

アイカ、はるな「おっ、お子様ー?!」

みらい「まさか、あなたは……。」

リコ「ガメツツ!!」

ガメツツ「早速気付いたか、キュアマラクル、キュアマジカル。」

アーニャ「かつて闇の魔法使いのガメツツ。」

アイカ「あれがガメツツ……。」

はるな「どうしてここに……。」

ガメツツ「今日は暇つぶしにきたんだ。ワシもすっかり年をいったもんだ。それに比べお前達は大きくなったもんだな。」

はるか「私達はみんなは大人になりました。でもプリキュアの力はもうない。」

ガメツツ「今のワシはもうこんな身体でポロポロ、もう年じゃ。戦う事だつて出来ん

な。」

みらい「あなたがまさか生きていたなんて驚いたわ。あなたはどのようにしてインフェルノに？」

ガメツツ「決まっている、ワシの目標はプリキュアを倒す事だ。プリキュアを倒す事がワシの目標だからじゃ。」

リコ「どうしても戦わなきゃならないのね。」

ガメツツ「決まっている、ワシはプリキュアを倒す事が目標だと。げふ、げふ、げふ。」
みらい「ガメツツ!!」

ガメツツ「お前達に心配される筋合いはない。ワシはこの10年、プリキュア打倒に全てを燃やして尽くしてきたか?!」

リコ「打倒?」

ガメツツ「そうだ、あれから10年だ。ジャスティスウオーで倒されたらワシは、ファイナルウオー後に自力で復活を遂げた。だがワシが見たのは、孤独の日々といなくなつた仲間達だ。ワシは孤独に苦しみながらその無念を晴らせなかつた痛みを胸に刻み、ワシは身体もボロボロに衰退し、打倒プリキュアに強い決意をしたんじゃ。ワシはインフェルノと出会い、そしてプリキュア打倒のために怪人を育成していく日々を送つてきた。」

はるか「苦しい思いをしたんだね。」

ガメツツ「お前達プリキュア共に同情される筋合いなどない。ワシはプリキュアを倒す事が一番だ。」

アイカ、はるな「……。」

はるか「アイカちゃん、はるなちゃん。」

ガメツツ「お前らお子様が今のプリキュアだな。」

アイカ「あたしとはるながプリキュアだよ。」

はるな「私とアイカ以外にもいるわよ。」

ガメツツ「ここで会うとは運命的だ、ははははははっ。」

アイカ「あたし達プリキュアはインフェルノを倒して北米から追い出す。」

はるな「みんなを苦しめるインフェルノを必ず倒す。」

ガメツツ「面白い事を言わせるな。お前今のプリキュアがどんなに強いか待ってるぞ。お前今のプリキュアの力見せてみる。」

ガメツツは、アイカとはるなが今のプリキュアだと知り、戦う事に強く望み、今のプリキュアがどれだけ実力があるのかガメツツは待ち望んでいた。アイカ達はユニオンシテイで睦月とブルックリンから戻った咲耶歌達と合流し、ニューヨークを出て、敵の

情勢を視察し終えて、ハーシーに戻った。北米でのインフェルノとの決着はもうすぐだ。果たして勝つのは、プリキュアかインフェルノ、どちらの手に……。

次回 10話へ続く

第10話 激闘のニューヨーク前編

インフェルノとの戦いに向けて、ニューヨークが北米の決戦の地であり、戦いに向けて準備するアイカ達。

北米

アメリカ

ハーシー

アイカ「いよいよ決戦ね。」

はるな「インフェルノと北米での戦いももうすぐ終わりだね。」

咲耶歌「ニューヨークにいるインフェルノの部隊を倒せば北米にも平和が訪れるはずだよ。」

海「敵はかなりの数でたくさんよ。」

麗奈「油断は禁物よ。敵はかなりの数でかかってくるわ。」

アイカ「あたし達5人と歴代プリキュアの力とジャスティスヒーローの力を合わせればインフェルノに勝てるはずだよ。」

はるな「私達の力、見せていこう。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「ああ、アイカとはるな達の力なら勝てるはずだ。プリキュアだってどんな強敵に立ち向かって勝ってきた。」

フェアリール（ヒーローライドジュエル）「ええ。」

アイカ「行くよ、みんな!!」

北米の決戦の地であるニューヨークへ再び向かうアイカ達。ニューヨークに到着したアイカ達は、目の前にインフェルノの大軍が集まっていた。

ニューヨーク

エリザベス

咲耶海「もう待ち伏せをしていたんだね。」

はるな「あんな程度の相手は私達でも勝てるわ。」

海「私達の力を見せていきましよう。」

麗奈「準備はいい?」

アイカ「じゃあ行く。」

アイカ達5人はキュアートフォンチェンジャー、プリキュライドジュエルに刺してプ

リキュアに変身する。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海は全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「フューチャーフォースプリキュア!!」

プリキュアに変身した5人はインフェルノの大軍を相手に挑んだ。

ストライク、シンシア「はああああー!!」

ストライクとシンシアが先手に出て、ゾンビーン、マシンソルジャーに同時にパンチを出して蹴散らした。

マジック「ジャック、一緒に行くよ。」

ジャック「ええっ。」

マジックとジャックが一緒に組んで、インフェルノ兵、スカルトイ、バトルに対し、マジックはマジックステッキスピア、ジャックはジャックステッキスピアを出し、杖モードで先端から炎を出し、敵兵に喰らわせた。

マジック「プリキュア・マジックトランプシヨット!!」

そうしたらマジックがトランプを出して、敵全体に手裏剣のように投げて刺し、爆発して敵兵を蹴散らした。

フエッター「あんたら雑魚なんか余裕よ!!」

フエッターがキュアカタナテツポウ刀モードでゾンビーン、マシンソルジャー、スカルトイを斬撃していき、鉄砲モードに変形してマシンソルジャーを射撃した。早速敵の大軍を一気に撃退していくプリキュア5人。

ジェットーム「いい気になってんじやねえぞ、お前らいくぞ!!」

ジェットーム、ザツパード、ドラン・キュラー3世、スラツシユラー、フラーゲン、クラツシトロイ、ラミイら幹部も駆けつけてにかり、ストライク達に一斉にかかってきた。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「ヒーローライドジュエル!!」

ジェットームら幹部に対し、ストライク達はヒーローライドジュエルを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して、ジャステイスヒーローを召喚した。

アイゼンアロイス「ヒーロー参上だ!!」

召喚されたアイゼンアロイス、フェアリール、烈陣丸、光陰命、ソール、ファイツらがジェットームら幹部と激突する。

アイゼンアロイス「はああああー!!」

空中を飛び回るアイゼンアロイスとジェットームが空中戦を繰り広げて、アイゼンアロイスが四肢にあるパワージャッキを起動してジェットームにパンチで殴った。

ジェットーム「やってくれてんじやねえか!!」

両腕からビームブラスターでアイゼンアロイスに射撃するジェットーム。アイゼンアロイスは掌からビームを発射して、ジェットームのビームブラスターの攻撃を撃ち落とすとした。

フェアリール「あなたも懲りないわね!!」

ザッパードと交戦するフェアリールは、彼の周りに向かってマスケット銃を多数召喚して射撃した。

ザッパード「やってくれてんじやねえぞ、女!!」

ザッパードが大型ビームガトリングガンで一気に撃ちながらフェアリールに向けて射撃した。

烈陣丸「ドラン、覚悟!!」

烈陣丸がドララン・キュラー13世と激しく剣同士ぶつかり合い、烈陣丸が戦烈鬼を構えたままドララン・キュラー13世に斬撃した。

ドララン・キュラー13世「貴公と何度も交えるようだ。」

烈陣丸と何度も交えるドララン・キュラー13世が剣を真つ直ぐに向けてフェンシングのようにつなが突きをした。

ソール「デカ物2人がかりとはな。」

フラーゲン「お前、倒すフガー!!」

クラツシトロイ「お前なんか倒してやる!!」

フラーゲンとクラツシトロイの巨漢幹部2人を相手に戦うソールは、自身のパワーを駆使してフラーゲンとクラツシトロイに圧倒し、フラーゲンがジャンプして殴りにかかり、クラツシトロイが両肩に3連ミサイルランチャー、両脚にナパームランチャー、両腰にパンツァーフアウストを一斉発射した。

ソール「!!」

ソールがミョルニアから雷を放電して、フラーゲンとクラツシトロイに浴びせて、そのままミョルニアで打撃した。

ファイツ「たああああー!!」

ファイツとラミイが交戦し、ファイツがジャステイスシールドを手を持ったままラミイに向かって体当たりし、ジャステイスシールドを武器のように使いながら大きく振り回した。

ラミイ「調子に乗るんじゃねえ!!」

ラミイが全身の包帯を放って、ファイツに向けて攻撃した。

スラツシユラー「切り刻んでやるぜ!!」

スラッシュユラーが光陰命に向かって、大型サバイバルナイフで斬撃しかかかっていき、光陰命に攻撃する。

光陰命「はあっ!!」

式神を多数呼び出して、スラッシュユラーの全身に張り付いて身動きを封じて、そのまま爆散させた。ニューヨークで繰り広げるプリキュア、インフェルノの両軍。

ガメッツ「お前達の力を見せる時だ、チェスマイト、ジュラシツクキング。」
チェスマイト、ジュラシツクキング「はい、ガメッツ様。」

ガメッツが育て上げた2人の幹部であるチェスマイトとジュラシツクキングが動き出し、ついにプリキュアと対決をしに向かった。

一同「!!」

ザッパードらと同じ幹部であるチェスマイトとジユラシツクキングが迫りかかり、ストライク達に襲いかかり始め、チェスマイトがストライクとシンシア、ジユラシツクキングがマジック、ジャックと交戦する。

チェスマイト「ふっ、はあっ!!」

チェスマイトがストライクとシンシアを2人相手にキックで打ち込んできた。

ストライク、シンシア「やああああー!!」

ストライクとシンシアがチェスマイトに同時にパンチを出して反撃した。

ジユラシツクキング「ふん!!」

ジユラシツクキングが尻尾を振ってマジックとジャックに向けてぶつけた。

マジック、ジャック「うっ!!」

ジユラシツクキングの尻尾の攻撃を受けた2人は、ジユラシツクキングに対し、マジックがキツクでお見舞いした。

ジユラシツクキング「痛くもねえな。」

マジック「えっ?!」

ガメツツ「ふふふ、見せてやれ、ジユラシツクキング。お前の牙でプリキュアを噛み砕け!!」

ジユラシツクキング「はい、師匠。ザウルスドゥースファング!!」

ジユラシツクキングが必殺技で大きな口を開いて、マジックに向かって口の中の牙で彼女の右腕に噛み付いた。

マジック「ああああああー!!」

ジユラシツクキングの口の牙の必殺技で右腕を噛み付かれたマジックは、とてつもない痛みを受け、悲鳴を上げた。

ジャック「マジック!!」

ソール「マジック!!」

マジックがジュラシツクキングに右腕を噛みつかれて、腕から大量の血が流れて酷い怪我を負い、彼女の元へ駆けつけたジャックとソール。

ソール「大丈夫か、マジック!!」

ジャック「マジック、しっかりして!!」

マジック「いつ、痛い、痛いよ・・・!!」

ジュラシツクキングに右腕を噛み付かれて酷い怪我を負ったマジックは、戦う事が出来なくなった。

ジュラシツクキング「俺の牙でプリキュアを一撃で仕留めたぞ!!」

ジャック「よくもマジックを!!」

マジックにひどい怪我を負わせたジユラシツクキングに対し、ジャックが単身で挑みにかかった。

ソール「待て、ジャック!!」

ソールは彼女を制止するが、そのままジユラシツクキングに挑んでしまった。

ジャック「プリキュア・コインバレッツ!!」

ジャックが指先からコインを数枚出して、光弾にして連射してジユラシツクキングに命中した。だがジユラシツクキングに全く効いていなかった。

ジユラシツクキング「死ね!!」

尻尾をハンマーのように振って、ジャックに向けてかかってきた。

ソール「させるか!!」

ジャックの前にソールが現れ、ジユラシツクキングの尻尾をミヨルニアで防いだ。

ジャック「ソール!!」

ソール「マジックの仇を取らせてもらおうぞ!!」

マジックに重傷させたジユラシツクキングに怒りを燃やすソールがミヨルニアに雷を纏って打撃した。

ジユラシツクキング「うっ!!」

ソールの攻撃を受けたジユラシツクキング。

ジユラシツクキング「貴様、やってくれたな。俺の必殺技を受けるがいい。ザウルスドゥースファング!!」

ジユラシツクキングが口を開いて牙で思いつきりソールに噛み付いた。

ソール「ぐわあああー!!」

ジュラシツクキングの必殺技の噛み付き攻撃を受けたソールは一瞬で倒されてしまい、元ヒーローライダージュエルに戻ってしまった。

マジック「ソール!!」

ソールが目の前に倒された姿を見たマジックは、彼があつという間にやられてしまった姿に驚愕した。

マジック「ソールをよくもやってくれたね!!」

右腕を酷い怪我をしたまま立ち上がるマジックがジュラシツクキングに挑もうとする。

ジャック「マジック、ダメよ、そんな怪我じゃ無理よ!!」

マジック「でも何もしないわけにはいかないの!! あたし、インフェルノを絶対倒すつて決めたの。」

ジャック「マジック。」

怪我を負つてでもそれで世界を絶望に陥れたインフェルノを倒す事に強い決意を見せるマジック。2人の前にラミイと交戦したファイツがやって来た。

ファイツ「ジャック、マジック。」

マジック、ジャック「ファイツ。」

ファイツ「ソールがやられてしまつてすぐに駆けつけに来た。」

ジャック「ファイツ、ありがとう。」

ファイツ「ラミイなら先ほど倒して来た。それとマジック、怪我は大丈夫か？」

マジック「あたしは平気。」

ジャック「マジック。」

マジック「怪我でもあたしは戦う。今日の前にいるインフェルノの幹部を絶対倒して北米を解放して見せるんだから。」

ファイツ「わかった、君達2人は私が守る。」

ジャック「マジック、怪我をしているあなたを私がしっかり支えてあげる。」
マジック「ジャック、ありがとう。」

酷い怪我を負ったマジックをジャックが支えて、ファイツが2人を守りに一緒に力を合わせてジユラシツクキングに挑んだ。

ジユラシツクキング「死にに来たか、プリキュア!!」

ジユラシツクキングが怪我をしたマジックを支えているジャックと共に口の牙で噛み付きにかかって来た。

ジユラシツクキング「ザウルスドゥースファンク!!」

ジユラシツクキングの牙が2人に向けられて来た。

ファイツ「させるか!!」

2人の前にファイツが立ち、ジユラシツクキングの牙をジャステイスシールドで防いだ。

ジユラシツクキング「んぐ?!」

ジユラシツクキングの牙をファイツの頑丈な合金で出来たジャステイスシールドによつて噛み砕く事は出来ず、逆に歯が折られてしまった。

ジユラシツクキング「やってくれやがったな!!」

自分の歯を折ったファイツに対し、尻尾を振って打ち込んだ。

マジック、ジャック「今よ!!」

上空からマジックを支えたジャックと共に空中からハッピーとビューティのプリキュライドジュエルを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身した。

マジック、ジャック「プリキュライドチェンジスマイル!!」

マジック、ジャックがハッピー、ビューティに変身して、ジユラシツクキングに必殺技を発動した。

ハッピーマジック「プリキュア・ハッピーシャワー!!」

ビューティジャック「プリキュア・ビューティブリザード!!」

2人が同時に必殺技を発動しながら、ジユラシツクキングに攻撃した。

ジユラシツクキング「ぐわあああああー!!」

ハッピーマジックとビューティジャックの必殺技を受けて倒されたジユラシツクキング。

ハッピーマジック「やった!!」

ジュラシツクキングは倒されたと思いや、彼の身体から骸骨の姿をしたティラノサウルスが尻尾を振ってファイツをぶつけた。

ファイツ「うわああああー!!」

マジツク、ジャツク「ファイツ!!」

倒されたはずのジュラシツクキングがなぜ骸骨の姿になってファイツを一瞬で倒した。

スカルジュラシツクキング「グハハハハハハハハハハつ、俺の切り札を見せてやる!! 骸骨になった姿をたっぷり味あわせてやる!!」

スカルジュラシツクキングがマジツクとジャツクを尻尾で攻撃し、さらに腹部の骨を伸ばしてマジツクとジャツクに攻撃した。

ガメツツ「派手にやるな、ジュラシツクキング。」

ジャツク「もう、ダメ……。」

マジック「諦めない、あたし達は絶対諦めないんだから……!!」

絶体絶命に陥ったマジックとジャック。その時、2人の持っているステッキスピアが光り出した。

トットム「お二人のステッキスピアが光ってるぜ!!」

ペル「これはもしや?！」

マジック「ステッキスピアが光っている。」

ジャック「一緒に合わせてやるって事ね。」

マジック「あたしとジャック、2人で一緒に力を合わせれば出来るはずだよ。」

ジャック「マジック、あなたと一緒に力を合わせて行けば勝てるはずよ。」

マジック「行こう、ジャック。」

マジックのマジックステッキスピアとジャックのジャックステッキスピアが光り出しで高く掲げ、2つのステッキスピアを重ね合わせる。

マジック「勇気よ!!」

ジャック「希望よ!!」

重ね合わせた光り出す2つのステッキスピアが威力を増していき、先端をジュラシツクキングに向けた。

マジック、ジャック「プリキュア・デュアル・オブ・ジャツジメント!!」

重ね合わせた2つのステッキスピアから強力な光波を放ち、スカルジュラシツクキングを包み込んだ。

スカルジュラシツクキング「うわああああー、ガメッツ師匠!!」

2つの合わせた必殺技によって消滅して最期を遂げたジュラシツクキング。

ガメッツ「あああつ、わしのわしのわしのジュラシツクキングがあ!!」

自分が育て上げた弟子のジュラシツクキングがプリキュアに倒された姿に無念に泣

き崩れるガメッツ。

マジック「やったね……。」

ジャック「マジック!!」

スカルジュラシックキングを倒したが、マジックは酷い傷を負った右腕のダメージで倒れてしまい、元の姿に戻ってしまった。

ストライク「うっ!!」

シンシア「くっ!!」

一方、ストライクとシンシアはチェスマイトと交戦し、戦いを繰り広げていた。

次回 11話へ続く

第11話 激闘のニューヨーク後編

ニューヨークで繰り広げるプリキュアとインフェルノの対決。

ニューヨーク

エリザベス

フェッター（キュアライドロボ2号機）「はあああああー!!」

キュアライドロボ2号機に操縦するフェッターがジャイアントデッド数体いるを相手に戦いを繰り広げた。

ジャイアントデッド1「うおおおおー!!」

キュアライドロボ2号機に高いパワーで思いっきり殴り込むジャイアントデッド。

フェッター（キュアライドロボ2号機）「やってくれたわね!!」

ジャイアントデッドにキュアライドロボ2号機がパンチで連打し、そのままストレートして撃破した。他のジャイアントデッド数体接近して来た。

フェッター（キュアライドロボ2号機）「プリキュライドチェンジアラモード!!」

フェッターはプリキュライドジュエルマカロンを装着して変身し、キュアライドロボ2号機の指先から爪を伸ばして、3体のジャイアントデッドに斬り裂いた。デッドジャイアントが両手を合わせて、地面に叩いて衝撃波を起こしてマカロンキュアライドロボ2号機に向けた。

フェッター（マカロンキュアライドロボ2号機）「!!」

ジャイアントデッドが放った衝撃波を受けたマカロンキュアライドロボ2号機は、攻撃に屈せずそのまま片手からクリームエネルギーを発射して拘束し、そのまま他のジャイアントデッドにぶつけて同士討ちさせた。

ストライク、シンシア「はあああああー!!」

ストライクとシンシアがチェスマイトと交戦し、同時にパンチを繰り出した。

チェスマイト「ふっ。」

2人の繰り出すパンチを手で受け止めるチェスマイトは、回し蹴りをして、2人まとめて打ち込んだ。

ストライク「強い。」

シンシア「今まで戦った敵とは違う。」

チェスマイト「私はあなたが今まで戦って来た相手とは違うのですよ。」

自分以外の誰より桁違いだと言うチェスマイトは、ストライクとシンシアにパンチで連打を繰り出し、自分の周りに剣を出現して、2人に斬りかかった。

ストライク「剣ならあたし達も!!」

ストライクとシンシアもキュアブレードマグナムを出して、剣モードでチェスメイトの剣とぶつかり合い、渡り合った。

チェスメイト「剣というのはこうですよ。ソードポーンスラッシュ!!」

チェスメイトは必殺技を発動して、剣でストライクとシンシアに連続突きをして、次に大きく斬り込んだ。

ストライク、シンシア「あああああー!!」

チェスメイトの必殺技を喰らったストライクとシンシア。チェスメイトが次の攻撃に出てかかって来た。

チェスメイト「ジャンプポーンアタック!!」

チェスメイトが空中からジャンプしてストライクとシンシアに打ち込んだ。

ストライク「何て強い?!」

シンシア「今までの相手とは違う!!」

チェスメイト「私は今までの相手とは違うという事を!!」

ストライク「だったらこれはどう!!」

シンシア「歴代プリキュアの力を見せてあげるよ!!」

チェスメイトに対抗するため、歴代プリキュアの力を使って挑み、ストライクとシンシアはブラックとホワイトのプリキュライドジュエルを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

ストライク、シンシア「プリキュライドチェンジマックスハート!!」

ストライクはブラック、シンシアはホワイトに変身して、チェスメイトに攻撃しにかかった。

ブラックストライク、ホワイトシンシア「はあああああー!!」

2人がジャンプして空中からキックでチェスマイトに向けたが、

チェスマイト「ふっ、私の力を見せてあげましょう。」

チェスマイトがチェスの駒で通常形態のポーンからルークに切り替えて、防衛形態のルークにチェンジし、ブラックストライクとホワイトシンシアの攻撃を防御した。

ブラックストライク「えっ?!」

ホワイトシンシア「効いてない?!」

高いパワーを持ちながら肉弾戦を得意とするブラックとホワイトの力がチェスマイトルーク形態には全く効いておらず、ビックともしなかった。

チェスマイトルーク形態「あなた達の攻撃は私のルーク形態には傷一つも着きませんよ。私のルークは防衛だけでない事を教えてあげましょう。」

チェスメイトルーク形態の全身から内蔵したいくつかのカノン砲が出現して、ブラックストライクとホワイトシンシアに一斉砲撃した。

ブラックストライク、ホワイトシンシア「わあああああー!!」

チェスメイトルーク形態の全身から出現したいくつかのカノン砲の砲撃を受けたブラックストライクとホワイトシンシア。

ガメツツ「流石、チェスメイト。わしが育てた中で彼は一番鍛え、自分の能力を引き出し、相手の動きを読み取り、実力も抜群じゃ。」

ガメツツが育てて来た中でチェスメイトは自分が一番育てて来て、実力も高い故に自分の能力も引き出し、相手の動きを読み取り、全てにおいて完璧だ。

ブラックストライク「どうしたらいいの？」

ホワイトシンシア「ならばスピードで行くしない。」

チェスメイトの防御形態のルーク形態に対抗するためには、スピード戦で行き、スピードならルーク形態も動きに弱いはずだと考えたブラックストライクとホワイトシンシアは、ブロッサムとマーチのプリキュライドジュエルを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

ブラックストライク「プリキュライドチェンジハートキャッチ!!」

ホワイトシンシア「プリキュライドチェンジスマイル!!」

他のプリキュアに変身して、ブラックからブロッサムになったストライクとホワイトからマーチになったシンシアがスピード戦を持ち込んでチェスメイトルーク形態に挑んだ。

ブロッサムストライク「レッドのこころの種、スピードアップ!!」

マーチシンシア「直球真つ向よ!!」

ブロッサムストライクがレッドのこころの種を使って、全身が赤く発光してスピードアップし、マーチシンシアが風の力で素早く駆け込んで、チェスメイトルーク形態の周

りを走ってスピード戦で勝負した。

チェスマイトルーク形態「……」

2人のスピードを目でしっかり動きを見るチェスマイトルーク形態。そんな2人のスピードに対し、ある行動に出た。

チェスマイトルーク形態「愚かだ、私がスピードでやられると思いませんか？」

ルーク形態のチェスマイトがチェスの駒をルークからナイトへ切り替えて、ナイト形態はケンタウロス形態へとなって、スピードを出しているブロッサムストライクとマーチシンシアに4足で駆け込んで、キックで打ち込んで、ランスで攻撃した。

ブロッサムストライク、マーチシンシア「あああああー!!」

ナイト形態にチェンジしたチェスマイトに逆にスピード戦で返り討ちにあったブロッサムストライクとマーチシンシア。

「ブロッサムストライク「なっ、何であたし達の行動が……。」

「チェスメイトナイト形態「あなた達の行動は最初から丸見えてるのですよ。」

「マーチシンシア「そんな……!!」

「チェスメイトナイト形態「あなた達はここで負けるのですよ、ナイトジャンプアタック!!」

「チェスメイトナイト形態がジャンプして空中からブロッサムストライクとマーチシンシアの前に着地して衝撃波を起こして蹴散らした。

「ブロッサムストライク、マーチシンシア「あああああー!!」

「チェスメイトナイト形態の必殺技で蹴散らされ、元の通常のストライクとシンシアに戻ってしまった。

「ストライク「何て強い……。」

「シンシア「これじゃ勝てないよ……。」

チェスメイトの冷徹な戦いぶり、自分達の行動を読み取られてしまい、なすすべもなくこのまま2人は負けてしまうのか？

ガメッツ「ふふふ、ついにプリキュアを倒す時が来たか。」

ついにプリキュアを倒して勝利を確信したガメッツ。自分は今まで何度もプリキュアに敗れて来て、自分がインフェルノに入って怪人を育て上げた日々を思い出す。

回想

ガメッツ「わし1人で、わし1人でプリキュアを倒してやる……!!」

ファイナルウォー後、自力で復活を遂げたガメッツは、自分1人だけが蘇り、他の仲間達の姿は見当たらず、ただ1人孤独を過ごしていた。彼の身体はもうボロボロで体力もなく、戦う身体でなくなっており、それでプリキュアを倒すと言う信念を貫き通していた。そんな中、彼はインフェルノと出会い、彼はインフェルノに入り、大幹部としてこれから育て上げる怪人や若き幹部や兵士達を厳しく鍛えて育てた。

ガメッツ「気合いが足らん、ちゃんとしつかりせい!! 90周走らんかい!!」

竹刀を手に持って振り回しながら厳しく指導し、強く鍛えさせるために残り90周走らせた。

ガメッツ「腕立てをキチンとせんかい!!」

腕立てをしつかりしていない者を竹刀で叩いていき、強くするために厳しい訓練を日々指導するガメッツ。そんな中、彼の厳しい訓練を1人だけ耐えて耐えて一生懸命頑張り抜く者がいた。

チエスメイト（少年期）「190回……。」

ガメッツ「!!」

ガメッツは自分の厳しい訓練を一生懸命やり抜く少年期のチエスメイトだった。少年期のチエスメイトは両親に捨てられて、1人で必死で生き抜く中で、彼はガメッツに

拾われて、自分を拾ってくれたガメツツのために彼の厳しい訓練を日々欠かさず受けて、自分を強くなるためと師が果たせなかったプリキュアを倒すという目標を自分が成し遂げて行くという。

チエスマイト（少年期）「500回!!」

少年期のチエスマイトは、もうすでに訓練の回数の上限を越したのにもかかわらず、ただ一人自分で増やして増やしていき、また夜になって寝てる者がいる中で彼は寝ずにそのまま自分なりに訓練を続けていた。

現在

ガメツツ「チエスマイト、おまえはわしが育てた中で一番強く鍛え来たようじゃな。」
チエスマイト「あなた達プリキュアはこんな程度だったのですか？」

チエスマイトの冷徹な戦いに追い詰められたストライクとシンシア。

アイゼンアロイス「ストライク!!」

フェアリール「シンシア!!」

チェスマイトに追い詰められたストライクとシンシアの前にアイゼンアロイスとフェアリールが助けにやって来た。

ストライク「アイゼンアロイス。」

シンシア「フェアリール。」

アイゼンアロイス「一緒に力を合わせて戦うぞ。」

フェアリール「私達ジャスティスヒーローの力を見せて行きましょう。」

ストライク「一緒に協力すれば勝てるはずだよ。」

シンシア「じゃあ行くよ。」

ストライクとシンシアはアイゼンアロイスとフェアリールと一緒に協力して力を合わせれば、チェスマイトに勝てるかと信じて挑んだ。

チェスマイト「無駄なあがきをまだするのですか。」

チェスマイトはチェスの駒をポーンからルークに切り替えて、ルーク形態にチェンジ

し、一斉にかかってくるストライクとアイゼンアロイスに全身からカノン砲を出現して一斉砲撃をしようとした。

アイゼンアロイス「させるか!!行くぞ、ストライク!!」

ストライク「決めるよ!!」

ストライクとアイゼンアロイスが一体化して、ストライクアイゼンフォームとなつて、背中の飛行ユニット、グリーフのブースターで加速して、チェスメイトルーク形態に体当たりで押し込んだ。

チェスメイトルーク形態「うっ、くっ!!」

チェスメイトルーク形態は、ストライクアイゼンフォースの推進力に自身のルーク形態が押されてしまい、地面に倒されてしまった。

チェスメイトルーク形態「小癩な真似をしてくれたな、ならばまだナイトで!!」

チェスの駒をナイトに切り替えて、ナイト形態にチェンジして、素早く駆け込んできた。

フェアリール「これを狙ったわ、シンシア、決めるよ!!」

シンシア「はい!!」

チェスメイトナイト形態の得意なスピードを狙ったシンシアとフェアリールが一体化して、シンシアフェアリールフォームになって同じスピードで対抗して挑んだ。

シンシアフェアリールフォーム「プリキュア・フェアリールエアリアルアタック!!」

シンシアフェアリールフォームは蝶の羽で空を飛んで素早く周りながらチェスメイトナイト形態に突撃して、掌から光弾を放ち、さらにマスケット銃をあらゆる方位から召喚して射撃し、最後に掌から光線を放った。

チェスメイトナイト形態「ぐわあああー!!」

シンシアフェアリーフォームのスピードを駆使した必殺技で追い詰められたチエスメイトルーク形態は、全方からの攻撃を受けて元の通常形態に戻ってしまった。

ストライクアイゼンフォーム「やった!!」

シンシアフェアリーフォーム「これで勝てたわ!!」

チエスメイトに勝利したと確信したストライクアイゼンフォームとシンシアフェアリーフォーム。

チエスメイト「私を本気にさせな、許さんぞ!! 貴様らにとっておきのものを見せてやる!!」

自分が初めて追いやられてしまった事でチエスメイトが怒りを爆発し、本気出して、口調が荒っぽくなり、自身3つのチエスの駒を同時に使用して3つの形態を1つにしたグラウンドキング形態となり、頭部はポーン形態で、胴体がルーク形態、下半身はナイト形態を組み合わせた姿だ。

ストライクアイゼンフォーム「なっ、何?!」

シンシアフェアリーフォーム「1つになった?!」

チェスメイトブランドキング形態「見せてる、ブランドキング形態でお前達にたっぷり味あわせてやる!!」

3つの形態を1つにしたチェスメイトブランドキング形態が2人に向かって飛びかかって来た。

チェスメイトブランドキング形態「ブランドキングジャンプアタック!!」

空中ジャンプをしたチェスメイトブランドキング形態が4脚でストライクアイゼンフォームとシンシアフェアリーフォームに打ち込んだ。

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリーフォーム「うわああああー!!」

チェスメイトブランドキング形態の4足を使った必殺技を受けて地面に衝突したストライクアイゼンフォームとシンシアフェアリーフォーム。

チエスメイトグランドキング形態「まだまだだ、グランドキングスラム!!」

チエスメイトグランドキングが空中からジャンプして、地面に着地して地震を起こして2人に喰らわせた。

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリーフォーム「あああああー!!」

チエスメイトグランドキング形態の引き起こした地震攻撃を受けた2人は元の通常形態に戻ってしまった。

シンシア「うっ、うううっ。」

ストライク「強過ぎる……。」

ガメツツ「ふふふふ、これがチエスメイトの最強の力だ。チエスメイトはワシが日々育て上げ、鍛えて、強い超人となった。チエスメイトは今や若手幹部の中では実力も評価されて注目もされている。ついにプリキュアを倒せる時が来たのだ!!」

ガメツツついに自分の悲願のプリキュア打倒が弟子のチェスマイトが果たそうとしているのをとても実感し、自分が一生懸命育てて鍛え上げたチェスマイトがこの手でプリキュアを倒そうとした。

チェスマイト「これが最期だ、プリキュアあつ!!」

ランスを手を持ったまま、さらに自身の周りに剣も出現して、ストライクとシンシアにトドメを刺しにかかった。

ストライク、シンシア「!!」

チェスマイトブランドキング形態の刺しにかかって来たランスと剣をストライクとシンシアが立ち上がって、キュアブレードマグナム銃モードで彼の武器の先端に射撃して破壊した。

チェスマイトブランドキング形態「なつ、何?! お前達はすでにやられていたはずだ!!」
ストライク「あたし達プリキュアを絶対負けない!!」

シンシア「私達プリキュアの力、見せてあげるよ!!」

チェスメイトブランドキング形態「小癪な!!」

ストライクとシンシアに再び空中ジャンプして必殺技で攻撃する。

チェスメイトブランドキング形態「ブランドキングジャンプアタック!!」

4足で2人に必殺技を向けたが、ストライクとシンシアがチェスメイトブランドキング形態の前足を掴んだ。

チェスメイトブランドキング形態「何?!」

ストライク、シンシア「プリキュアの力、見せてあげる!!」

チェスメイトブランドキング形態の前足を掴んでいるストライクとシンシアの全身が光り出し、2人が空中ジャンプしてチェスメイトブランドキング形態を持ち上げたまま頭上に逆さまにし、左右の両腕、両腿を掴んで、相手の首を自分2人の肩で支えて、尻餅して地面への着地を急降下とする。

ストライク、シンシア「プリキュア・ツインバスターアタック!!」

ストライクとシンシアの2人が合わせた必殺技でチエスメイトグランドキング形態を持つたまま空中で急降下しながら地面に着地し、一気に喰らわせた。

チエスメイトグランドキング形態「ぐわあっ!!」

2人の合体技で大きく喰らったチエスメイトは敗北してしまった。

ストライク「やった!!」

ついに強敵チエスメイトに勝利をしたストライクとシンシア。

アーニヤ「やりましたわ!!」

みらい「勝ったわ。」

リコ「ええ。」

フェッター（キュアライドロボ2号機）「こっちもようやく片付けたわ。」

ジャイアントデッドの軍団をたった1人で片付けたフェッター。

アルカディア（通信）「こちら、アルカディア。たった今敵の基地を制圧した。同時に敵は北米から全面撤退をした。」

またアルカディアがクイーンズ基地を制圧し、制圧した事で、インフェルノが北米侵略が失敗し、全面撤退をした。

ストライク「これで北米も平和が来たね。」

北米大陸もインフェルノの手から支配を解放され、平和が訪れた。勝利して喜びをしたストライク達。だが、まだ残ったガメッツがいた。

ガメッツ「……。」

みらい「ガメッツ。」

ガメッツはプリキュアに敗れたチエスメイトの元へ向かい、傷付いた彼を抱えた。

チエスメイト「しっ、師匠。」

ガメッツ「お前はよく頑張った。お前はワシの1番の誇りだ。」

チエスメイト「ガメッツ。」

ガメッツ「お前を一生懸命育てた事、じつに悔いはない。」

そう言いながら彼を連れてどこかへ立ち去った。

みらい「ガメッツ。」

北米での戦いは終わり、人間界から離れたパラレルワールドのインフェルノの拠点である幽魔界の幽魔要塞では、大会議室にて幹部、大幹部、最高幹部らが集まる中、北米大陸失敗した事で、参加したジエツトーム、ザツパード、ドラン・キュラー3世、スラツシユラー、フラージェン、クラツシトロイ、ラミイ、ビートラー、スラツグラーらは、最高幹部のヴェルアルにその責任を問われて半殺しをされた。

幽魔界

幽魔要塞

大会議

ヴェルアル「お前らはオメオメと何しに来たんだ!!」

ザツパード、ドラン・キュラー³世、スラツシユラー、フラーゲン、クラツシトロイ、ラミイ、ビートラー、スラツグラー「すつ、すいません・・・。」

ヴェルアル「せっかくの侵略を台無しにしてくれるとは貴様ら、どう責任を取るんだ!!おい!!」

ジエットーム「おつ、お許しをください、ヴェルアル様。」

ヴェルアル「貴様らがいつまで経っても弱いからプリキュアにやられるんだ!!」

ザツパード、ドラン・キュラー³世、スラツシユラー、フラーゲン、クラツシトロイ、ラミイ、ビートラー、スラツグラー「うっ。」

ヴェルアル「ちゃんと責任取ってもらうぞ、おい!!」

北米大陸侵略の失敗をジエットームらに責任を取らせようと圧迫するヴェルアル。そこで同じ最高幹部のドラグードが入り込んだ。

ドラグード「もうそのくらいにしろ。」

ジェットーム「ドラグード様。」

ヴェルアル「貴様、どう言うつもりだ。」

ドラグード「彼らを責めてさらに暴力でパワハラか。」

ヴェルアル「何?!」

ドラグード「お前が立案した侵略作戦の失敗を部下に押し付けか。」

ヴェルアル「何だと、貴様。」

Drījis「仲間同士喧嘩はやめるんだな。」

ドラグード「Drījis。」

Drījis「これが我々が戦っている今のプリキュアだ。」

テーブルの上に今戦っているプリキュアの映像を映し出し、全幹部達の前に公開した。その中でドラグードはストライクとシンシアの姿を見て驚き出した。

ドラグード「!!」

Drījis「どうした?」

ドラグード「いや、何でもない。」
カロン「あれが新しいプリキュアか。」

全幹部達がテーブルで座る中、そこにかつてファイナルウォーで倒されたはずのカロンが姿を再び現してやってきた。

ヴェルアル「貴様はカロン!!」

ドラグード「もう復活したのか?!

カロン「10年前、私はとある人間の身体を使って維持をしている。」

ドライジス「調子はどうだ?」

カロン「今は順調だ。この身体を使ってな。ハデユス様がそろそろお見えだ。」

ヴェルアル「ハデユス様が?!」

部屋内全体が暗くなり、天井から大きな空間が現れてそこから穴が空いた。

ドラグード「!!」

穴からかつてファイナルウォーでプリキュアを地獄に追い込んだ最悪最強の魔王ハデユスが現れた。

ハデユス「皆の者共よ、久しぶりだったな。」

一同「ハデユス様!!」

一同の前に姿を現した魔王ハデユス。

次回 12話へ続く

設定3

プリキュア

イゼル（21）／キュアアラム

CV：石原夏織

中東出身で、頭にターバンを巻いている。ライラとは姉妹で姉である。4年前、中東の紛争で仲間の裏切りによって人間界に絶望し、インフェルノに着く。

ライラ（19）／キュアジュルフ

CV：佐倉綾音

中東出身で、左目に眼帯をしている。イゼルとは姉妹で妹である。彼女はクールな性格で、姉のイゼルと行動している。

キュアアラム

イゼルが変身したプリキュア。変身アイテムはキュアアートフォンチェンジャーとプリキュアライドジュエルアラムで、特長は中東風のグリーンのベリーダンスで、素早い動きが得意で、パンチとキックも優れている。

変身時の名乗り「切り裂く風、キュアアラム!!」

必殺技

プリキュア・アラムストームエツジ

アラムの必殺技。手足に風の刃を纏って走りながら相手に向かって切り刻む。相手を浄化または撃破する。

キュアジユルフ

ライラが変身したプリキュア。変身アイテムはキュアートフォンチェンジャーとプリキュライドジュエルで、特長は中東風のマリードレスで、高いパワーを持ちながらパンチとキックによる肉弾戦を得意とする。

変身時の名乗り「荒ぶる大地、キュアジユルフ!!」

プリキュア・ジユルフブレイク

ジユルフの必殺技。手足に光を纏いながら高いパワーを駆使して相手に思いつきり殴り込む。相手を浄化または撃破する。

ジャステイスヒーロー

ジェーニー

CV：神谷浩史

ジャステイスヒーローの1人。ランプの魔人の姿をし、煙のような姿をしてあらゆる実質に変幻自在し、あらゆる姿に変身する。能力は魔法や物理攻撃を得意とし、さらに

幻術を使って相手を惑わせる。非実体であるため相手から物理攻撃を半減するが、魔法攻撃や非物理攻撃に弱い。現在はヒーローライドジュエルに入っており、アラムが使用して召喚し、またアラムと一体化してキュアアラムジェーニーフォームへとなる。

アラブ神話のジンを元に

キュアアラムジェーニーフォーム

アラムとジェーニーが一体化した姿。アラビアンドレス風を纏いながら、幻術を得意とし、変幻自在な攻撃で相手を翻弄する。一体化している事で、物理攻撃を半減する能力も持つ。

プリキュア・ジェーニーミスト

アラムジェーニースフォームの必殺技。黒い霧を発生して、敵全体に幻覚を見せて混乱状態にさせる。

プリキュア・ジェーニーミスティックショット

アラムジェーニーフォームの必殺技。霧で形成した光弾を大量に発射する。相手を浄化または撃破する。

アラミラード

CV：森田成一

ジャスティスヒーローの1人。頭に角を生やしたウサギに似た生物の姿をし、素早い

動きを駆使して相手を翻弄してスピードを得意とし、頭の角で相手を貫く。嫌いなものは正義、政治で、人間を酷く嫌っている。イゼルとライラの姉妹だけには優しく愛情を持っている。現在はヒーローライドジュエルに入っており、アラムが使用して召喚し、またアラムと一体化してキュアアラムアラミラードフォームへとなる。

中東神話のアルミラージを元に

キュアアラムアラミラードフォーム

アラムとアラミラードが一体化した姿。全身にアラミラードアーマーを身に纏い、動きも素早く優れている。背中にアラミラードブースターを装着し、右腕に装着しているアラミラードドリルアームで相手を貫き、ドリルから竜巻を発生する。両脚に装着しているアラミラードレガースはジャンプ力を増し、スピードで駆使する。

必殺技

プリキュア・アラミラードステイングブレイカー

アラムアラミラードフォームの必殺技。右腕に装備しているアラミラードドリルアームを回転して発光しながら相手に突撃する。バリアや防御の高い相手に貫通する能力を持つ。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・アラミラードスパイラルブレイカー

アラムアラミラードフォームの必殺技。右腕に装備しているアラミラードドリル

アームを回転して発光しながらドリルの先端から竜巻を放ち、敵全体を蹴散らす。バリアや防御の高い相手に貫通する能力を持つ。相手を浄化または撃破する。

アメモント

CV：平田広明

ジャステイスヒーローの1人。頭はワニ、上半身は獅子、下半身は河馬の姿をした超人。高いパワーを持ちながら口の牙であらゆるものを噛み砕いていき、腕の爪で切り裂き、脚から地震を引き起こす。食べ物には嫌いなものは特になく平気で食べるが、自然を否定した科学ものを激しく嫌う。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ジュルフが使用して召喚し、またと一体化してキュアジュールファメモントフォームへとなる。

キュアジュールファメモントフォーム

ジュールファメモントが一体化した姿。両手にアメモントクロー、脚にアメモントパワーブーツ、胴体にアメモントアーマーを身に纏い、攻守共に優れている。アメモントクローは鋭い斬撃力を誇り、どんな相手でも切り裂く。アメモントアーマーの胴体にワニの顔があり、ワニの口から強力な必殺技を放つ。

必殺技

プリキュア・アメモントスライサー

ジュールファメモントフォームの必殺技。両手のアメモントクローで敵に向かって連

続斬りをする。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・アメントブラスター

ジュルフアメントフォームの必殺技。アメントアーマーの胴体にワニの顔の口を開いて、強力な光線を敵全体に向けて発射する。相手を浄化または撃破する。

マナートウ

CV：ブリドカットセーラ恵美

ジャスティスヒーローの1人。女性の姿をし、陽気な性格をしている。格闘力が優れていて、バランスも優れている。右手に装着している籠手型のマナートウクローは敵の攻撃を吸収して自分の力に増していく。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ジュルフが使用して召喚し、またと一体化してキュアジュルフマナートウフォームへとなる。

アンジュ・ヴェエルジュ のナイア・ラピュセアとアラビア神話のマナートを元に
キュアジュルフマナートウフォーム

ジュルフとマナートウが一体化した姿。軍服風ドレスを纏い、右手にマナートウクローを装着し、格闘力が強くバランスも優れている。あらゆる技を駆使していく。

必殺技

プリキュア・マナートウエツジスラッシュ

ジュルフマナートウフオームの必殺技。右手のマナートウクロウの爪を発光して相手切り裂く。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・マナートウバツクブリツカー

ジュルフマナートウフオームの必殺技。相手を両手に持ち上げて、相手の背骨にダメージを与える。

プリキュア・マナートウスパイラルキック

ジュルフマナートウフオームの必殺技。自身を回転しながら相手に向かって突撃してキックで打ち込む。

プリキュア・マナートウレイシユート

ジュルフマナートウフオームの必殺技。いくつかの光玉を形成して敵全体に放って攻撃する。相手を浄化または撃破する。

ボルケリート

CV：岡本信彦

ジャステイスヒーローの1人。頭に2本の有角を生やした筋肉質な魔人の姿をし、炎属性を持ちながら炎の攻撃を可能とし、彼の炎は地獄界の炎であり、敵を地獄界の炎で焼き尽くし、また肉弾戦を得意とする。弱点は水と氷である。現在は地獄界の灼熱地獄の担当をしている。現世で犯した罪人を裁いている。またストライクと一体化して、

キュアストライクボルケリートフォームとなる。

FFシリーズのイフリートを元に

キュアストライクボルケリートフォーム

ストライクとボルケリートが一体化した姿。頭にボルケリートの2本の有角のボルケリートカチューチャを着け、胴体にインナーの上にボルケリートアーマーを身に纏い、両手にボルケリートナツクルを装備し、武人と思わせる姿をしている。炎攻撃を得意とし、地獄界の炎で敵を焼き尽くす。

必殺技

プリキュア・ボルケリートファイヤーボール

ストライクボルケリートフォームの必殺技。炎で形成した火炎球でシュートし、敵にぶち込む。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ボルケリートフレイムナツクル

ストライクボルケリートフォームの必殺技。両拳に火炎を纏いながら連打で敵にぶち込む。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ボルケリートバーストーム

ストライクボルケリートフォームの必殺技。火炎の嵐を呼び起こして敵全体に焼き尽くす。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ボルケリートバーニングチャージ

ストライクボルケリートフォームの必殺技。地獄界の炎で形成して全身に火炎を纏いながら敵全体に向かつて突撃して焼き尽くす。相手を浄化または撃破する。

スカヴァア

CV：大西沙織

ジャステイスヒーローの1人。氷の美女の姿をし、氷属性を持ちながら氷の攻撃を可能とし、彼女の氷はアスゴルド王国の氷であり、絶対零度で凍結して粉碎し、また魔法攻撃を得意とする。弱点は炎である。現在はアスゴルド王国の氷原を司っている。シンシアと一体化してキュアシンシアスカヴァアフォームとなる。

FFシリーズのシヴァを元に

キュアシンシアスカヴァアフォーム

シンシアとスカヴァアが一体化した姿。スカヴァアをイメージしたクラシックドレスを身に纏い、両腕にスカヴァアリングを装着し、リングから冷気を漂う。氷のような綺麗な麗人と思わせる姿をし、氷攻撃を得意し、アスゴルド王国の氷で凍りつくし、粉碎する。

必殺技

プリキュア・スカヴァアブリザードシャワー

シンシアスカヴァアフォームの必殺技。掌を掲げて吹雪を敵全体に放つ。相手を浄化

または撃破する。

プリキュア・スカヴァアイスレイン

シンシアスカヴァフォームの必殺技。上空から多数の水結の雨を降り注いで敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・スカヴァフリーザービーム

シンシアスカヴァフォームの必殺技。掌から冷気のビームを発射し、敵に攻撃して氷結して粉碎する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・スカヴァダイヤモンドダスト

シンシアスカヴァフォームの必殺技。掌を前に出してアスゴルド王国の水で形成した氷の巨大な球をシュートして敵全体に喰らわして、そのまま氷結して粉碎する。相手を浄化または撃破する。

ウオーテイル

CV：雨宮天

ジャスティスヒーローの1人。女戦士の姿をし、クールな性格をしており、水属性を持ちながら水の攻撃を得意とし、水中戦も可能とする。騎士鎧を身に纏いながら手にウオーテイルハルバートを装備し、槍術も得意である。現在は人間界で水野冴子と名乗っており、女性用スーツを着用し、弁護士として活動している。ジャックと一体化し

てキュアジャックウォーテイルフォームとなる。

マジアレコードの七海やちよを元に

キュアジャックウォーテイルフォーム

ジャックとウォーテイルと一体化した姿。胸部にウォーテイルアーマー、両腕にウォーテイルガントレットを装着し、武器はウォーテイルハルバートを手に持つ。女騎士と思わせる姿をし、槍術や水攻撃を得意とし、水を自在に操る。水中戦を得意とする。

必殺技

プリキュア・ウォーテイルスウイング

ジャックウォーテイルフォームの必殺技。ウォーテイルハルバートを手に持ったまま身体ごと360度回転して敵全体を薙ぎ払う。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ウォーテイルアクアランス

ジャックウォーテイルフォームの必殺技。ウォーテイルハルバートに水状を纏いながら敵に向かって突撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ウォーテイルスピアレイン

ジャックウォーテイルフォームの必殺技。多数の水状の槍を召喚して敵全体に喰らわせる。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ウォーテイルウェーブシユート

ジャックウォーティルフォームの必殺技。掌から波を放つて敵全体飲み込ませる。相手を浄化または撃破する。

ウィザーデー

CV：内田彩

ジャステイスヒーローの1人。可愛い女の子の姿をした魔法使いで、性格は子供っぽく、可愛い一面を持つ。魔法使いの衣装をし、魔法攻撃を得意とし、あらゆる魔法を駆使していく。武器はウィザーデIROッドで、必殺技を唱える際に使用する。弱点は体力の低さと物理攻撃に弱い。現在は人間界では、マジシャンをしている。マジックと一体化してキュアマジックウィザーデIFOフォームとなる。

キュアマジックウィザーデIFOフォーム

マジックとウィザーデーが一体化した姿。魔法少女のような姿をし、衣装はウィザーデIROッドを身に纏い、武器はウィザーデIROッドを装備し、あらゆる魔法を使用した。魔法だけでなくマジシャンとしての能力も使用する。

プリキュア・ウィザーデIFOプランライト

マジックウィザーデIFOフォームの必殺技。掌を発光して姿を消している敵を暴く。

プリキュア・ウィザーデIFOリユージュンアタック

マジックウィザーデIFOフォームの必殺技。自身の分身を数体形成して、相手に囲んで

突撃し、魔法や様々な事を駆使していく。

プリキユア・ウイザーデイスクエアチェーン

マジックウイザーデイフォームの必殺技。いくつかの魔法陣を出現してチェーンを多数放つて敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキユア・ウイザーデイリリカルアップ

マジックウイザーデイフォームの必殺技。ウイザーデイロッドで味方全体に唱えて能力をパワーアップさせる。

プリキユア・ウイザーデイミラクルバーン

マジックウイザーデイフォームの必殺技。ウイザーデイロッドで敵全体の下に魔法陣を出現して、魔法陣から結界を発生しながら閉じ込めて爆発させる。相手を浄化または撃破する。

プリキユア・ウイザーデイマジカルシューティングシュート

マジックウイザーデイフォームの必殺技。ウイザーデイロッドに魔力を集中して一気に魔法光線を放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。

必殺技

プリキユア・デュアル・オブ・ジャッジメント

マジックとジャックの必殺技。マジックのマジックステッキスピアとジャックの

ジャックステッキスピアが光り出して高く掲げ、2つのステッキスピアを重ね合わせ、光り出す2つのステッキスピアが威力を増していき、先端を敵に向けて強力な光波を放ち、敵を包み込む。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ツインバスターアタック

ストライクとシンシアの合体技。ストライクとシンシアが敵を掴んで、2人が全身が光り出し、2人が空中ジャンプして敵持ち上げたまま頭上に逆さまにし、左右の両腕、両腿を掴んで、相手の首を自分2人の肩で支えて、尻餅して地面への着地を急降下して地面に着地し、衝撃を与える。相手を浄化または撃破する。

第12話 敵はプリキュア

ニューヨークでインフェルノと決戦し終えて勝利を収めたプリキュア達。あれから1週間が経ち、彼女達はロッキー山脈のWJG司令部にいた。

北米

アメリカ

ロッキー山脈

WJG司令部

ブリーフィングループ

アイカ「これがWJGの司令部。」

はるな「アニメに出てくる基地と同じみたいね。」

咲耶歌「建物も大きいね。」

海「凄いところに来たみたいね。」

麗奈「ここがWJGの司令部よ。ここで作戦や指揮やあらゆる事を執っているのよ。」

咲耶歌「へえー。」

トットム「人間界も凄いのがあるんだな。」

ペル「そのようですね。」

アーニヤ「人間も巨大な組織があるなんて珍しいですね。」

ヴァレリアン「どうだ、WJGの司令部は？」

アイカ「ロッキー山脈に基地を建てた事で何だか景色が見れる感じがします。」

はるな「それは違うでしょ、アイカ。」

ヴァレリアン「ははは、言ってもらえるだけで嬉しいよ。そう言えば君達の名前がまだだったな。」

アイカ「あたしは桃園アイカです。」

はるな「私は桃園はるなです。」

咲耶歌「あたしは天爛沙耶歌。」

海「私は儀城海です。」

ヴァレリアン「……。」

アイカ「どうかしたんですか？」

ヴァレリアン「いや何でもありません。それ5階の資料室にプリキュアに関する資料が置いてある是非見に行くといい。」

咲耶歌「プリキュアの事全部載ってるんですか？」

ヴァレリアン「君達が出会ったプリキュアの事も載っている。見るといい。」

ヴァレリアンから5階にある資料室にプリキュアが載っている資料が置いてあると教えてもらい、5階の資料室へと向かったアイカ、はるな、咲耶歌、海。

麗奈「何か知っているような顔みたいのようね。」

ヴァレリアン「桃園と天爛の名前。」

麗奈「桃園って、やはりあの2人の……。」

ヴァレリアン「ああ、間違いなくあの2人の娘だ。2人の娘がプリキュアになった事を。」

麗奈「本当、あの2人に似ているね。」

ヴァレリアン「あの2人のプリキュアに関しての資料はない。2人がこれ以上プリキュアとしてやっていけなくなつたか。ジャステイスウォーが2人を大きく変えた。」

麗奈「プリキュア同士戦わせた謀略ね。」

ヴァレリアン「どれほど辛い思いをしてきたか。」

麗奈「……。」

ヴァレリアン「天爛、彼女の娘までプリキュアになったのか。」

麗奈「えっ、咲耶歌の母親を知っているの?!」

ヴァレリアン「彼女の母親は実は……。」

4人がいない場に2人で話をし、ヴァレリアンはアイカとはるながラブとせつなの娘である事に気付きながらプリキュアになった事、さらに行方不明の咲耶歌の母親に関しても知っているようであった。5階の資料室にて、アイカ達は早速プリキュアの資料の本を出して詳しく見たりしていた。

資料室

アイカ「これがプリキュア。」

アイカ達4人はまず最初に読んでいるのは2人はプリキュアマックスハートの本を読み、最初に活躍したブラック、ホワイト、ルミナスの事が載っており、3人の事が詳しく載っていた。

はるな「ブラックとホワイト、私とアイカが以前会ったなぎささんとほのかさんの事

ね。」

咲耶歌「私も会いたかったな。」

海「咲耶歌、これ見て。」

アイカとはるなが2人はプリキュアはマックスハートの本を読んでいるのに対し、海はキラキラプリキュアアラモードの本を読み、そこに自分が以前会ったいちかとおいの事が載っていた。

海「あの2人、プリキュアだったんだ。」

咲耶歌「キラパティの人もプリキュアだったんだ。」

アイカ「キラパティのスイーツ食べたかったよ。」

はるな「まだ覚えていたんだ。」

咲耶歌「あたしも食べたかったな。」

4人がプリキュアに関する資料の本を読んでいる中、1人の人物がやって来た。

津賀「そこで何をしてるんだい？」

アイカ、はるな、咲耶歌、海「誰？」

津賀「初めて見る顔だな。」

麗奈「彼女達4人はプリキュアよ、津賀研究科長。」

はるな「麗奈さん。」

トットム「科学者って事なんだな？」

津賀「わあっ、喋った?!」

麗奈「こちらの3匹は妖精よ。」

トットム「俺の名はトットムだい。」

ペル「私の名前はペルと申します。」

アーニヤ「私はアーニヤでありますわ。」

津賀「妖精なのか、本当に?!」

トットム「俺達3匹は妖精なんだぜ。」

アイカ「トットム、ペル、アーニヤはアスゴルド王国と言うか国からやって来たんで

す。」

津賀「そんなところからわざわざ来たんだ。紹介が遅れた、俺は津賀大貴、よろしく

な。」

W J Gの研究科長の津賀と一緒にプリキュアの資料を見ながら読むアイカ達。自分達が誕生する前のプリキュアの事などを調べたりし、またその戦いなども詳しく見たりした。だが、このW J Gの司令部に忍び寄り魔の手が迫ろうとしていた。司令部の外の遠くから2人の女性が立っていた

外

イゼル「あれがW J Gの司令部か。」

ライラ「とても大きいところだ。」

イゼル「インフェルノの上の連中が北米侵略が失敗したからW J Gの本拠地をあたしとライラに攻めに行けど。」

ライラ「高慢な奴らばかりだな。」

ジェーニー（ヒーローライドジュエル）「全くだ、押し付けも程があるな。」

アラミラード（ヒーローライドジュエル）「自分だけ行かず人に無理矢理行かせる奴は嫌いだ。」

アムムント（ヒーローライドジュエル）「W J Gをここで倒すのもチャンスだ。」

マナートウ（ヒーローライドジュエル）「とつととめんどくせえ事終わらせよう。」

ライラ「ああ。」

イゼル「んじゃ、行くぜ。」

WJG司令部へと突き進むイゼルとライラ。また2人の手元にあるアイカ達が持っているヒーローライドジュエルはアイゼンアロイス達と同じジャステイスヒーローがいた。一方、プリキュアの資料を読み終えたアイカ達は、3階の食堂室にて食事を取っていた。

食堂室

咲耶歌「いただきます。」

5人が食堂室で頼んだのは、アイカとはるなの2人が頼んだのはカレーライス、咲耶歌はハンバーガー、海はシーフードパスタ、麗奈はきつねうどんをそれぞれ食べた。

咲耶歌「アイカちゃん、はるなちゃんも2人揃ってカレーライスなんだ。」

アイカ「あたしとはるなはカレーが大好きだよ。」

はるな「私とアイカが一番好きな食べ物だよ。」

ペル「言う割にはにんじんと玉ねぎとピーマンを避けてますな。」

アイカ、はるな「あー、それ言わないで!!」

麗奈「まだまだお子様ね。」

楽しく賑やかに食事をする5人。資料室でプリキュアの事を調べ、気になる事があつた。

アイカ、はるな「……。」

咲耶歌「どうしたの?」

海「何か急に雰囲気下がったみたいいな表情ね。」

アイカ「さっき行った資料室であたしとはるなが見たので載っていないプリキュアいたの。」

咲耶歌「えっ?!」

海「まだ他にいたの?」

はるな「あたしとアイカに似たプリキュアよ。」

咲耶歌「2人に似ている?」

麗奈「……。」

アイカ「その2人はあたしとはるなのママだよ。」

海「あなた達2人の母親?!」

はるな「インフェルノの最初の襲撃でママは捕まったの。」

咲耶歌「……。」

アイカ「咲耶歌さん？」

咲耶歌「何でもないよ。」

トットム「咲耶歌の嬢ちゃんも元気ねえみたいだな？」

歌「さつきまで元気だったのにアイカとはるなが母親の事を言い出したら急に元気がなくなつたみたいね。」

咲耶歌「本当に何でもないよ。」

アイカとはるなが資料室で見たプリキュアの本の中で自分達2人の母親の事が載つていなかった事で疑問に持ち、さらに母親の事で元気がなくなつた咲耶歌。その時、司令部内で警報が鳴つた。

麗奈「この司令部に敵?!」

津賀「分からんが、とにかく行くしかない!!」

アイカ「行こう!!」

ロッキー山脈のWJG司令部に敵が現れたのに、すぐに向かうアイカ達。司令部内の1階の廊下では、イルゼとライラが2人がかりで1000人の兵を相手に蹴散らした。

廊下

イルゼ「こんな雑魚余裕さ。」

ライラ「無駄なあがきだ。」

イルゼ「さて、ついでだからここも壊してやらねえと。」

アイカ「そこまでだよ!!」

すぐに駆けつけにやってきたアイカ達5人は、司令部内を攻撃するイルゼとライラと対峙する。

海「につ、人間?!」

咲耶歌「インフェルノじゃないの?」

イルゼ「あたしら2人はインフェルノ仲間だ。」

アイカ「仲間?!何であたし達と同じ人間がインフェルノなんか!!」

ライラ「私達2人はこの世界に裏切られて絶望したんだ。」

イルゼ「あたしらを捨てた世界が許せないんだよ!!」

はるな「許せない? どういう事?!

ライラ「お前らには関係ない!!」

そう言いながらアイカ達に向かって姉妹揃って空中ジャンプして飛び蹴りをして来た。

麗奈「!!」

2人の飛び蹴りに麗奈が前に立ち、麗奈が拳で2人の飛び蹴りを受け止めた。

イルゼ「あんた、あたしらの蹴りを受け止めるなんて珍しいな。」

麗奈「あんたら何て余裕よ。」

ライラ「ならここで死ぬがいい。」

生身の戦いをする麗奈、イルゼとライラ。イルゼが素早い動きを駆使して周りながら麗奈の元へかけて殴りにかかった。イルゼの動きをすぐに見切ってキックで打ち込ん

だ。

ライラ「はあああー!!」

ライラがナイフを出して、麗奈に向かって投擲した。ライラの投げたナイフを拳銃を出して振り払い、パンチで殴りこんだ。

イルゼ「只者じゃないなあ。」

麗奈「そろそろ本気を出しなさい。」

イルゼ「見せてやるよ、あたしら2人の本気をな。」

ライラ「ああ。」

本気を見せるべく、イルゼとライラはアイカ達と同じキュアートフォンチェンジャーとプリキュライドジュエルを出した。

アイカ「あれはキュアートフォンチェンジャーとプリキュライドジュエル?!」
はるな「私達と同じのがどうして?!」

ライラ「見せてやる!!」

イルゼ、ライラ「プリキュア・チェンジアップ!!」

イルゼとライラは、それぞれのキュアトフォンチェンジャーでイルゼはプリキュライドジュエルアラム、プリキュライドジュエルジュルフに刺してプリキュアに変身し、全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、イルゼは中東風のグリーンのベリーダンス、ライラは東風のマリードレスを身に纏った。

アラム「切り裂く風、キュアアラム!!」

ジュルフ「荒ぶる大地、キュアジュルフ!!」

イルゼはキュアアラム、ライラはキュアジュルフとなり、2人は中東風のドレスを着けているのが特徴だ。

咲耶歌「えっ、あの2人、プリキュアだったの?!」

海「私達と同じプリキュアなのにインフェルノの仲間……。」

トットム「まさか6人目と7人目のプリキュアがインフェルノの仲間入りなんてこつ

た!!」

アラム「さあ来い、お前らもプリキュアに変身して戦えよ。」

麗奈「戦うしかないみたいね。」

アイカ「みんな、変身しよう。」

アイカ達5人もキュアアートフォンチェンジャー、プリキュライドジュエルを出して刺し、変身する。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海は全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、

衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフエッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気之力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「フューチャーフォーस्प
リキュア!!」

プリキュアに変身した5人はアラムとジュールフに挑んだ。

アラム「ようやく来たか。」

ジュールフ「私達2人の力、見せてやる。」

ストライク達5人のプリキュアを相手に2人がかりで挑むアラムとジュールフ。アラムが素早い動きで駆使して走りながらジャンプして、ストライク達の元に空中キックを

した。

一同「うっ!!」

ジュールフ「はああああー!!」

続いてジュールフがストライク達に向かって走り込んで自分の高いパワーを持ちながら思いっきり5人まとめ殴り込んだ。

ストライク「このっ!!」

シンシア「はあああああっ!!」

ストライクがアラムに向かってパンチで反撃して食らわせ、シンシアがキックでジュールフに打ち込んだ。

ジュールフ「全然面白くないな。」

シンシア「何?!」

アラム「お前達と同じジャスティスヒーローで使わせてやる。」

ジュルフ「行くぞ。」

アラムとジュルフは自分達の持っているヒーローライドジュエルを2個ずつ出し、キュアアートフォンチェンジャーに刺した。

アラム、ジュルフ「ヒーローライドジュエル!!」

2個のヒーローライドジュエルを連続でキュアアートフォンチェンジャーに刺して、4人のジャスティスヒーローを召喚した。

一同「!!」

アラムとジュルフが召喚した4人のジャスティスヒーローを見たストライク達は自分達以外にもヒーローライドジュエルを持っていた事に驚く。

ストライク「ジャスティスヒーロー!!」

シンシア「私達と同じ・・・!!」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「まさか、お前達はジェーニー、アラミラード、アムムント、マナートウ!!」

ジェーニー「久しぶりのようだな、アイゼンアロイスにファイツ。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「私達と同じジャステイスヒーローである君達が何故インフェルノに?！」

アラミラード「俺達は彼女達と共に着いた。」

ソール（ヒーローライドジュエル）「何故止めない!!」

アムムント「こんな世界に絶望したを守ってどうすんだ?」

マナートウ「ヒーローとか面倒なんだよ。」

フェアリール（ヒーローライドジュエル）「何ですって?!」

烈陣丸（ヒーローライドジュエル）「貴様ら、それでも同じジャステイスヒーローか?!」

光陰命（ヒーローライドジュエル）「インフェルノに着くと言う事がどれだけ愚かな行為なのかお分かりですか?!」

ジェーニー「何もわからねえ奴らに黙ってるんだな!!」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「こうなったら戦うしかない、ストライク。」

ストライク「わかった。」

同じジャステイスヒーロー同士戦う事となり、ストライク達もヒーローライドジュエルを出して、キュアアトフォンチェンジャーに刺して一体化する。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「ヒーローライドチェンジ
!!」

各ジャステイスヒーローと一体化し、ジェーニーらと対決をする。

アラム「向こうも一体化したならこっちも一体化だ。」

ジェーニー「アラム!!」

アラム「ジェーニー!!」

アメント「ジュルフ!!」

ジュルフ「アメント!!」

アラムとジェーニー、ジュルフとアメントと一体化をし、アラムとジェーニーはキュアアラムジェーニーフォーム、ジュルフとアメントはキュアジュルフアメント

フォームとなった。

ストライクアイゼンフォーム「一体化した?!」

マジックソールフォーム「向こうも出来るってわけね。」

アラムジェーニーフォーム「さあ、行くぜ、あたしらの力を見せてやる!!」

アラムジェーニーフォームとジュルファメントフォームが力を見せるべくストライクアイゼンフォーム達に襲いかかった。

アラムジェーニーフォーム「プリキュア・ジェーニーミスト!!」

アラムジェーニーフォームが黒い霧を発生して、ストライクアイゼンフォーム達に幻覚を見せた。

ストライクアイゼンフォーム「あれは?!」

黒い霧の中に現れたのはゾンビーンとマシンソルジャーの集団だった。

シンシアフェアリアルフォーム「雑魚なんか!!」

シンシアフェアリアルフォームが先手に出て、マスケット銃を出して、ゾンビーンとマシンソルジャーの集団に攻撃したが、効いていなかった。

シンシアフェアリアル「えっ?!」

シンシアフェアリアルフォームがゾンビーンとマシンソルジャーの集団に攻撃が効いてない事に驚愕する。

ジャックファイツフォーム「まさかこの霧の幻覚ね!!」

ジュールファメントフォーム「もらった!!」

ジュールファメントフォームが両手のアメントクロードストライクアイゼンフォームら5人をまとめて斬り込んだ。

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリーフォーム、マジックソールフォーム、ジャックファイツフォーム、フェッター烈陣フォーム「わあああああー!!」

ジュールアメントフォームの奇襲攻撃を受けたストライクアイゼンフォーム達。

フェッター烈陣フォーム「何て連携なの!!」

アラミラード「こっちも行くぞ!!」

マナートウ「とつとと終わらせて楽しんでやる!!」

アラミラードとマナートウが同時攻撃で仕掛けて来て、ストライクアイゼンフォーム達に襲いかかった。

マジックファイツフォーム「くう!!」

アラミラードの頭の角の刺突攻撃を受け、さらにマナートウが右腕に装着しているマナートウクロウの爪で切り裂きを受けたストライクアイゼンフォーム達。

ストライクアイゼンフォーム「うっ!!」

マジックソールフォーム「やってくれたね、プリキュア・ソールサンダーボルトテンペスト!!」

マジックソールフォームがミョルニアから雷を放電して、アラムジエーニーフォームらに攻撃した。

アラムジエーニーフォーム、ジュルフアメントフォーム、アラミラード、マナートウ「ぐうっ!!」

マジックソールフォームの必殺技の攻撃を受けたアラムジエーニーフォームら。

アラムジエーニーフォーム「やってくれたな!!プリキュア・ジエーニーミスティックショット!!」

ジュルフアメントフォーム「プリキュア・アメントブラスター!!」

アラムジエーニーフォームが霧で形成した光弾を大量に発射し、ジュルフアメント

フォームがアメモントアーマーの胴体にワニの顔の口を開いて、強力な光線を敵全体に向けて発射した。

ジャックファイツフォーム「!!」

ジャックファイツフォームがジャステイスシールドで2つの必殺技の攻撃を防いだが、その2つ必殺技の合わせた威力に押されて吹き飛ばされた。

ジャックファイツフォーム「あああああー!!」

ストライクアイゼンフォーム「ジャック!!」

アラムジェーニーフォーム「次のやつを見せてやろうぜ。アラミラード!!」

アラミラード「よし、一体化だ。」

ジュルフ「マナートウ、こちらも一体化だ。」

マナートウ「ならいくぜ。」

アラミラードとマナートウがアラムジェーニーフォームとジュルフアメモントフォームと一体化するため、アラムとジュルフはジェーニーとアメモントと分離し、ア

ラムはアラミラード、ジュールフはマナートウと一体化をし始める。

アラム「アラミラード!!」

アラミラード「アラム!!」

ジュールフ「マナートウ!!」

マナートウ「ジュールフ!!」

アラムとアラミラードはキユアアラムアラミラードフォーム、ジュールフとマナートウはキユアジュールフマナートウフォームとなった。

シンシアフェアリーフォーム「別の姿にチェンジした!!」

2人が他のジャスティスヒーローとフォームチェンジした事に驚愕したストライクアイゼンフォーム達。

アラムアラミラードフォーム「一気に仕留めてやるよ!!」

アラムアラミラードフォームが背中ของブースターを加速して、右腕に装備しているアラミラードドリルアームを前に向けてストライクアイゼンフォーム達に攻撃にかかった。

アラムアラミラードフォーム「プリキュア・アラミラードステイングブレイカー」

アラミラードドリルアームを回転して発光しながらストライクアイゼンフォーム達に向かって突撃した。

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリールフォーム、マジックソールフォーム、ジャックファイツフォーム、フェッター烈陣フォーム「わあああああー!!」

アラムアラミラードフォームの必殺技のドリル攻撃を喰らったストライクアイゼンフォーム達。

ジュルフマナートウフォーム「プリキュア・マナートウレイシュート!!」

ジュールフマナートウフォームがいくつかの光玉を形成して敵全体に放って攻撃した。

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリールフォーム、マジックソールフォーム、ジャックファイツフォーム、フェッター烈陣フォーム「ああああああー!!」

2人のフォームチェンジによって圧倒されてしまい、元の姿に戻ってしまったて倒されたアイカ達。

アラムアラミラードフォーム「こんな程度か。」

ジュールフマナートウフォーム「帰るよ。」

アイカ達を倒した2人は司令部からそのまま立ち去っていった。

津賀「……………」

トットム「嬢ちゃん達、しっかりしろ!!」

アラムとジュールフに倒されたアイカ達5人の元へ駆けつけたトットム、ペル、アー

ニヤ。

一同「うつ、うううつ。」

2人のプリキュアとそのジャステイスヒーローのフォームによって圧倒されてしまったアイカ達。インフェルノにプリキュアとジャステイスヒーローがいる事のまま、ます新たな強敵の出現とも言えた。どう立ち向かう。

次回 13話へ続く

第13話 炎と氷のヒーロー

イルゼとライラの姉妹に敗れてしまったアイカ達。

日本

あさぎ市

桃園家自宅

リビング

アイカ、はるな「……………」。

アイゼルとライラとの戦闘に敗れたアイカとはるなは、黙ったまま何を思い詰めているのか？

トットム「まさかインフェルノ側にプリキュアとジャスティスヒーローがいた何て驚いたぜ。」

ペル「インフェルノとの戦うべきはずのプリキュアとジャスティスヒーローがまさか

敵にもいた何て信じれないです。」

アーニヤ「また会おうとした厄介になるようですね。」

咲耶歌「ねえ、トットム。」

トットム「何だい？」

咲耶歌「ソール達とあの4人の以外のジャステイスヒーローはいるの？」

トットム「いるのはいるが、他のジャステイスヒーローの行方は俺達でもわからねえ。」

咲耶歌「わからない？」

ペル「かつて一緒にハデウスと戦ったジャステイスヒーロー達は、戦いが終わってからみんなバラバラになったんです。」

アーニヤ「何処にいるのか私達にもわからないです。」

咲耶歌「あの2人に勝つためには新しいジャステイスヒーローを見つけるしかない。だから3人が知っているジャステイスヒーローを教えてください。」

トットム「わかったぜ。まず1人はアスゴールド王国にいる。」

咲耶歌「アスゴールド王国。」

トットム「もつ、もう1人は地獄界なんだ。」

トットムから知っているジャステイスヒーローの事を聞く咲耶歌。トットムはまず1人目はアスゴルド王国にいる、2人目は地獄界にいる。

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「ボルケリートとスカヴァアの事か。」
ペル「アイゼンアロイス。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「ボルケリートとスカヴァアは俺達と同じジャステイスヒーローだ。ボルケリートとスカヴァアの事は知っている。ボルケリートは地獄界の灼熱地獄にいる。スカヴァアはアスゴルド王国の氷原を司っている。」

海「地獄界って私達知っている地獄の事？」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「ああ、全てのパラレルワールドと宇宙を治める地獄界。その長が閻魔大王様。生前で行った者の判決を下し、悪い事した人間は地獄の裁きが待っている。」

咲耶歌「怖いところだね。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「そうだ、私とアイゼンアロイスは罪人としてジャステイスヒーローに転生した。」

海「ファイツとアイゼンアロイスが罪人って？」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）、ファイツ（ヒーローライドジュエル）

「……」

ソール（ヒーローライドジュエル）「今話すのはやめろ。まずは2人に対抗するため新たなジャステイスヒーローを仲間にするかだ。」

アイカ「ねえ、あたし達を地獄界とアスゴルド王国に連れて行って。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「アイカ。」

フェアリール「はるな。」

はるな「私とアイカ、あの2人に勝つためなら地獄界とアスゴルド王国へ行くよ。」

アイカ「だから連れて行って。」

トットム「2人が言うなら俺らが連れて行ってやるぜ。」

アイカ、はるな「ありがとう。」

ペル「一緒に2つの場所へ行くのは極めて難しいです。ここは手分けして行く事でありませぬ。」

アーニヤ「地獄界はペルとアイカさん、海さん。アスゴルド王国は私とトットムとはるなさん、咲耶歌さんで。」

麗奈「私は留守をするわ。もしまたインフェルノが現れるといけないから私はここで待機する。」

アイカ「あたしと海さんとペルは地獄界。」

はるな「私と咲耶歌さんとトットムとアーニヤはアスゴルド王国ね。」

トットム「じゃあ早速二手に分かれて行ってこようぜ!!」

地獄界とアスゴルド王国の2つの世界を一緒に行く事が不可能で、ここでアーニヤの提案で二手に分かれて行く事になり、地獄界はアイカと海とペル、アスゴルド王国ははるなと咲耶歌とトットムとペルで行く事になり、麗奈は1人で人間界で留守をする事になった。2組はそれぞれパラレルワールドへ行くためにゲートを通じて辿り、地獄界へ向かうアイカと海とペル、アスゴルド王国へ向かうはるなと咲耶歌とトットムとアーニヤ。それぞれの世界に到着した2組は、

パラレルワールド

地獄界

アイカ「ここが地獄界。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「ああつ。」

アイカ達は地獄界に到着し、この地獄界は、おぞましい背景だ。周りには業火の炎、真下にはマグマがあり、目の前の周りには地獄の鬼、獄卒が生前で罪を犯した亡者を裁い

ている姿を目の当たりにする。

海「これが地獄ね。」

ペル「地獄界が一番恐ろしいところですよ。閻魔大王様は生前で行った者達への裁きを行い、悪事が多く見つかったら地獄行きですよ。」

アイカ「……。」

ペル「アイカさん？」

アイカ「閻魔大王様がいる閻魔庁まで行こう。そこでボルケリートの灼熱地獄の場所も聞きに行こう。」

アイカはひたすら閻魔大王のいる閻魔庁まで向かい、ボルケリートの灼熱地獄の場所を聞きに行くため進んだ。

パラレルワールド

アスゴルド王国

はるな「さっ、寒い。」

アスゴルド王国に到着したはるな達は、辺り一帯が雪で覆われており、この世界全体が氷原に支配され、雪の世界でもある。

ソール（ヒーローライドジュエル）「我が故郷アスゴルド王国、実に何十年ぶりだ。」
咲耶歌「ソールは故郷に帰るの久々なんだ。」

ソール（ヒーローライドジュエル）「ああ。」

トットム「ソール様もお父上様が見られたら大喜びだろう。」

アーニヤ「私達がここへ来たのでスカヴァを会いに来たのです。」

はるね「そうだね、新たなジャステイスヒーローを仲間にするために。」

アスゴルド王国へ来たはるな達はジャステイスヒーローのスカヴァを仲間にするためにこの極寒の地にやって来た。はるな達はオーズイーンのいるアスゴルド城へ向かった。地獄界では、閻魔庁に辿り着いたアイカ達は、閻魔大王のところに行こうとしたら地獄の獄卒の牛頭と馬頭と鬼に阻まれた。

パラレルワールド

閻魔庁

牛頭1「貴様、勝手に地獄に来るとは何事だ!!」

ペル「私達は閻魔大王様に用があつて来たんであります!!」

アイカ「あたし達は大事な用があつて来たんです。」

馬頭1「閻魔大王様は貴様みたいな者と会う事などない、帰れ!!」

鬼1「帰らなければおまえも裁くぞ!!」

アイカ達が話をしようとするが、牛頭と馬頭と鬼に追い返されようとした。その時、1人の人物が近くやって来た。

五官王「そこで何をしている。」

牛頭1、馬頭1、鬼1「五官王様!!」

ペル「あなた様は五官王様!!」

五官王「お主はペルではないか?!

アイゼンアロイス(ヒーローライドジュエル)「俺達もいます、五官王様。」

五官王「アイゼンアロイスにファイツか。そこにいる2人はプリキュアか。」

アイカ、海「はい。」

五官王「私が閻魔大王の元へ案内してやろう。」

アイカ達を閻魔大王の元へ連れて案内する五官王。閻魔大王のいる部屋に辿り着いたアイカ達は、ついに地獄の長である閻魔大王と対面する。

閻魔大王の部屋

閻魔大王「よくぞ来たな、ペル。それにアイゼンアロイス、ファイツよ。」

ペル「閻魔大王様、ご無沙汰してます。」

アイゼンアロイス「あなたと会うのは何年ぶり以来です。」

ファイツ「閻魔大王様、お久しぶりでございます。」

閻魔大王「お前達も何よりだな。お前達2人は元は人間、今はジャスティスヒーローとしてインフェルノとの戦っている。」

アイカ「アイゼンアロイスとファイツは人間？」

アイカはアイゼンアロイスとファイツが元は人間だった事を知る。閻魔大王は近くにいたアイカの顔に何か反応する。

閻魔大王「!!」

五官王「閻魔大王様？」

閻魔大王「その少女よ。」

アイカ「はい。」

閻魔大王「名は？」

アイカ「桃園アイカです。あたし達がここへ来たのは灼熱地獄にいるジャステイスヒーローのボルケリートに会いに来たのです。」

閻魔大王「そうか。お前達はボルケリートに会いに来たのか。灼熱地獄はお前達が思っていたところではない。この地獄界全体がどう言うところなのか覚悟があるかだ。」

アイカ「あたし達はそれでもボルケリートに会いに行きます。この灼熱地獄を突き進んでボルケリートに会いに行きます。」

閻魔大王「ならばお前達その覚悟見せてもらうぞ。」

アイカ達は閻魔大王にボルケリートに会う事と地獄がどう言う場所なのかの覚悟を見せて彼のいる灼熱地獄へと向かった。

パラレルワールド

アスゴルド王国

アスゴルド城

オーズイーン「久しぶりだったな、ソールよ。」

フリーカ「息子に会えるなんて久しぶりね。」

ソール「父上、母上、お久しぶりであります。」

オーズイーン「お前も随分たくましくなったな。こうして家族がまた揃うとはな。」

咲耶歌「ソールも家族がいてよかったね」

ソール「……。」

咲耶歌「ソール？」

オーズイーン「まだ、弟の事を想っていたのか。」

咲耶歌「弟？」

ソール「私の弟ロキユゲ。彼は後継争いです選ばれずインフェルノに着いた。」

咲耶歌「……。」

ソール「どうした、咲耶歌？」

咲耶歌「何でもないよ。」

トットム「それとオーズイーン様、話に入ります。俺達がアスゴルドド王国に来たのはジャステイスヒーローのスカヴァに会いに来たからです。」

オーズイーン「スカヴァアはアスゴルド王国の氷原の果てにいる。彼女の元へ行くには極寒の地を進まなければならない。アスゴルド王国の寒さは人間の寒さを誇る。それでも行くのであればわしはお前達を止めない。」

はるな「私達はそれでもスカヴァアを会いに仲間にします。」

オーズイーン「ならば見せてみるんだ、お前達の覚悟を。」

はるな達はその覚悟をオーズイーンに見せるため、スカヴァアのいる氷原の果てまで向かう事となった。地獄界の灼熱地獄では、ボルケリートの所まで進むアイカ達は、灼熱地獄の暑さを進みながら暑く感じ、全身から汗が出て、死に狂うような暑さで進むアイカ達。アスゴルド王国の氷原では、スカヴァアの所まで進むはるな達は、極寒の寒さを進みながら寒く感じ、全身寒気がし、凍え死にするような寒さで進むはるな達。そして両者、それぞれの着く場所に辿り着いた。

パラレルワールド

地獄界

灼熱地獄

ボルケリート「ん？人間、俺に何の用だ？」

灼熱地獄のボルケリートの所に到着したアイカ達はついに彼と対峙する。

アイカ「あたし達はあなたに会いに仲間にしに来た。」

またアスゴルド王国の氷原の果てに到着したはるな達はスカヴァと対峙する。

パラレルワールド

アスゴルド王国

氷原

スカヴァ「人間が私に何の用だ。」

はるな「あなたに会いに仲間をしに来た。」

パラレルワールド

地獄界

灼熱地獄

ボルケリート「笑わせるな、俺を仲間にするなど断じて不可能だ。」

アイカ「あたしはジャステイスヒーローであるあなたを仲間にしてインフェルノを倒す。」

ボルケリート「お前がそんなに俺を仲間にしたいなら俺と勝負だ!!」

パラレルワールド

アスゴルド王国

氷原

スカヴァ「私を仲間にするなんて話にならないわ。」

はるな「それでも私はあなたがジャステイスヒーローである事で仲間になりたい。インフェルノを倒すために。」

スカヴァ「ならば私に勝って見せなさい!!」

地獄界、アスゴルド王国の2つの世界でそれぞれのジャステイスヒーローと勝負になったアイカ達とはるな達。

パラレルワールド

地獄界

アイカ、海「プリキュア・チェンジアップ!!」

パラレルワールド

アスゴルド王国

はるな、咲耶歌「プリキュア・チェンジアップ!!」

それぞれの2つの世界でプリキュアに変身したアイカ、はるな、咲耶歌、海は、ボルケリート、スカヴァと勝負する事となった。

パラレルワールド

地獄界

灼熱地獄

ストライク「キュアブレードマグナム!!」

ストライクが先手を打ってキュアブレードマグナム剣モードでボルケリートに斬りかかった。

ボルケリート「!!」

ストライクのキュアブレードマグナム剣モードを拳で受け止めたボルケリートは、拳に火炎を出現して纏いながらストライクを押し返した。

ボルケリート「はああああー!!」

拳に纏わせた火炎でストライクに連打して打ち込んだ。

ストライク「うわああああー!!」

ボルケリートの炎による連打攻撃を受けて大ダメージを受けたストライク。

パラレルワールド

アスゴルド王国

シンシア「はああああー!!」

シンシアがキュアブレードマグナム銃モードでスカヴァにむけて射撃した。

スカヴァ「見え見えよ!!」

シンシアの射撃の弾丸を見通しながら掌から吹雪を放って、全弾凍らせた。

スカヴァ「受けなさい!!」

スカヴァが上空から多数の氷結の雨を降り注いでシンシアとマジックに攻撃した。

シンシア、マジック「あああああー!!」

スカヴァの降り注いだ氷結の雨を喰らったシンシアとマジック。

パラレルワールド

地獄界

灼熱地獄

ボルケリート「そんな程度で俺を仲間にするなど不可能だと言う事を!!」

ジャック「ならこれはどう!! ストライク!!」
ストライク「わかった!!」

ボルケリートに対抗するため、ストライクとマジックがプリキュライドジュエルを出し、ストライクはエール、ジャックはアクアのプリキュライドジュエルを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

ストライク「プリキュライドチェンジHUGっと!!」

ジャック「プリキュライドチェンジ5GOGO!!」

2人は変身し、ボルケリートに挑んだ。

アクアジャック「プリキュア・サファイア・アロー!!」

アクアジャックが水の弓と矢を形成して、ボルケリートに水の矢を放ち、ボルケリートに命中した。

ボルケリート「ぐわあっ!!」

アクアジャックの放った水の矢により、ボルケリートは炎属性である事で水に弱く、水の攻撃を受けたボルケリートは大ダメージを受けた。

エールストライク「はあああああー!!」

弱点攻撃を受けたボルケリートに隙を突いたエールストライクが手足に光の粒子を纏いながらでボルケリートにキック、パンチで喰らわせた。

パラレルワールド

アスゴルド王国

スカヴァ「私を仲間にするなど不可能よ!!」

シンシア「こうなったらこれで行くしかない!!」

マジック「シンシア、一緒に行こう!!」

スカヴァの氷攻撃に対抗するため、シンシアとマジックはプリキュライドジュエルを

出して、シンシアはミント、マジックはラブリーのプリキュライドジュエルを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

シンシア「プリキュライドチェンジ5 G O G O!!」

マジック「プリキュライドチェンジハピネス!!」

シンシアはミント、マジックはラブリーに変身して、スカヴァに挑んだ。

ミントシンシア「プリキュア・エメラルド・ソーサー!!」

ミントシンシアが緑の円盤状を形成して、スカヴァに向けて投げた。スカヴァはミントシンシアのエメラルド・ソーサーを吹雪で凍結した。その直後に隙を突いてきたラブリーマジックが真上から現れて、彼女に攻撃を仕掛けた。

マジックラブリー「ラブリーエクスポージョンボンバー!!」

マジックラブリーがラブプリプレスに炎のエネルギーを溜めて、そのままパンチで火

の玉を射出して、スカヴァアに撃ち込んだ。

スカヴァア「ぐわあああー!!」

氷属性のスカヴァアにマジックが変身したラブリーの炎属性による攻撃が有効で、大ダメージを受けた。ボルケリートとスカヴァア、弱点攻撃を受けて一気に大ダメージを受けたが、

パラレルワールド

地獄界

ボルケリート「おのれえつ、貴様、俺の嫌いな水を喰らわせてくれた事、後悔させてやる!!」

パラレルワールド

アスゴルド王国

スカヴァア「私に炎を打ち込んでくれた後悔させてやる!!」

ボルケリートとスカヴァ、自分の弱点攻撃を受けた事で、本気を出して自分の全ての力を出した。全身に地獄界の炎を身に纏ったボルケリート、全身にアスゴルド王国の氷を身に纏ったスカヴァ、それぞれ本気を出して殺しにかかった。

パラレルワールド

地獄界

ボルケリート「死ねえ!!」

本気を出したボルケリートが地獄の炎を全身に纏いながらエールストライクとアクアジャックに向かって突撃し、燃え滾る地獄の炎を2人にぶち込んだ。

エールストライク、アクアジャック「うわあああああー!!」

ボルケリートの突撃により、地獄の炎を喰らって燃やし尽くされるエールストライクとアクアジャック。その影響により、元のストライクと元のジャックへと戻ってしまった。

パラレルワールド

アスゴルド王国

スカヴァ「散れ!!」

本気を出したスカヴァが掌を前に出してアスゴルド王国の氷で形成した氷の巨大な球をシュートして、ミントシンシアとラブリーマジックに向けた。すぐにバリアを展開したミントシンシアは氷の巨大な球を防いだが、その巨大さに押されて、バリアを砕かれた。

ミントシンシア、ラブリーマジック「あああああー!!」

バリアを砕かれて吹き飛ばされた2人はその衝撃により、元のシンシアとマジックに戻ってしまった。本気を出した2人のジャスティスヒーローに圧倒されてしまった4人。

パラレルワールド

地獄界

灼熱地獄

ストライク「あつ、暑過ぎる……。」

ジャック「何か手はないの……?」

パラレルワールド

アスゴルド王国

氷原

シンシア「これじゃ負けちゃうよ……。」

マジック「もうおしまいなの……。」

パラレルワールド

地獄界

灼熱地獄

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「諦めるな!!」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「君達はここでおしまいか?!」

ストライク「アイゼンアロイス。」

ジャック「ファイツ。」

パラレルワールド

アスゴルド王国

氷原

フェアリール（ヒーローライドジュエル）「あなた達、2人を仲間にするために来たんじゃないの?!」

ソール「お前達の力はそんなものだったのか?!」

パラレルワールド

地獄界

灼熱地獄

ストライク「あたし達はボルケリートを仲間にするためにここまで来たんだ。」
ジャック「ボルケリートに勝って仲間にする。」

パラレルワールド

アスゴルド王国

氷原

シンシア「絶対勝って仲間にしてみせる!!」

マジック「あたし達のジャスティスヒーローの力、見せていこう!!」

アイゼンアロイスらの言葉で立ち上がった4人は、自分達の持つジャスティスヒーローの力を使って、ボルケリート、スカヴァアに挑んだ。

パラレルワールド

地獄界

氷原

ストライク、ジャック「ヒーローライドチェンジ!!」

パラレルワールド

アスゴルド

氷原

シンシア、マジック「ヒーローライドチェンジ!!」

それぞれの場所でジャスティスヒーローと一体化した4人は、ボルケリート、スカ

ヴァに早期で決着しにかかった。

パラレルワールド

地獄界

灼熱

ボルケリート「無駄なあがきを!!」

ボルケリートが再び地獄の炎を全身に纏いながら2人に向かって突撃しにかかった。

パラレルワールド

アスゴルド王国

氷原

スカヴァ「まだ刃向かう気か!!」

スカヴァが再び掌を前に出してアスゴルド王国の氷で形成した氷の巨大な球を2人に向けてシュートした。

パラレルワールド

地獄界

灼熱地獄

ジャックファイフオーム「受け止めてみせる!!」

ジャックファイフオームがジャステイスシールドを前に出して、全身に地獄の炎を纏ったボルケリートの突撃を防いだ。

ボルケリート「まさか、その姿はアイゼンアロイスとファイツの力なのか?!」

ジャックファイフオーム「そうよ、彼いや他のジャステイスヒーロー達は私達と一緒にインフェルノと戦うために協力して戦っているの!!」

ストライクアイゼンオーム「あたし達と一緒に戦ってくれているアイゼンアロイスや他のジャステイスヒーローを信じているの!!そしてあたし達を認めた先輩プリキュアのためにも!!」

ボルケリート「お前達の力、見せてみる!!」

ジャステイスシールドで防がれたボルケリートが力を出してジャックファイツ

フォームを押し込んでいく。

ジャックファイツフォーム「うっ!!」

ボルケリートに力押しされていくジャックファイツフォーム。

ジャックファイツフォーム「ストライク!!」

ボルケリートが押し込んでいる間にストライクアイゼンフォームが隙を突いて、ボルケリートに攻撃を加えた。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンドリルクラッシュャー!!」

ストライクアイゼンフォームが右腕のガントレットのパワージャッキを起動してをドリルに変形して、発光したドリルでボルケリートにぶち込んだ。

パラレルワールド

アスゴルド王国

氷原

マジックソールフォーム「プリキュア・ソールライトニングサンダーブレイカー!!」

マジックソールフォームがミョルニアをに雷を集中させて強力な雷光を放ち、氷の巨大な球を粉碎した。

スカヴァ「あなた達、その姿はフェアリールとソールの力で?!」

マジックソールフォーム「あたし達はソール達ジャスティスヒーロー、そして先輩プリキュアからその想いを背負っているの!!」

シンシアフェアリールフォーム「私達今のプリキュアはみんなの想いを背負って戦っているのよ!!」

スカヴァ「ならば見せなさい、その想いを!!」

スカヴァが2人に向けて掌から冷気のビームを発射した。

シンシアフェアリールフォーム「プリキュア・フェアリールキャノンシユート!!」

シンシアフェアリーフォームが巨大なマスカット銃を召喚して強力な魔法弾を発射して、スカヴァアのビームを撃ち返してそのまま魔法弾でスカヴァアに直撃した。想いを込めた一撃が2人を倒し、勝利した。

パラレルワールド

地獄界

灼熱地獄

ボルケリート「この俺を倒すとは流石だ。お前達の仲間になってやろう。」

パラレルワールド

アスゴルド

氷原

スカヴァア「あなた達やるじゃない、私に勝つなんて。あなた達の仲間になってあげるわ。」

こうしてそれぞれの世界にいる2人のジャスティスヒーローであるボルケリートとスカヴァアに勝利して仲間にしたアイカ達。ボルケリートとスカヴァアはアイゼンアロイ

ス達と同じようにヒーローライドジュエルに入った。

パラレルワールド

地獄界

閻魔庁

閻魔大王「彼女達の覚悟、確かに見させてもらった。お前達なら出来る。」

パラレルワールド

アスゴルド王国

アスゴルド城

オーズイーン「その覚悟見せてもらった。お前達の力なら出来る。」

彼女達の戦いを見守った閻魔大王とオーズイーン。彼女達の覚悟がボルケリートとスカヴァを仲間にした事に彼女の可能性がある事に確信した。新たなジャステイスヒーロー、ボルケリートとスカヴァを仲間にしたアイカ達は、インフェルノとの戦う力を新たに手にした。

次回 14話へ続く

第14話 母の日を込めて

ボルケリートとスカヴァを仲間にしたアイカ達。人間界で学校の屋上で皆で一緒に食事をしていた。

人間界

あさぎ市

アリーナ学園

屋上

アイカ「何だか暇だね。」

はるな「この間、私達がボルケリートとスカヴァを仲間にして5日ね。」

咲耶歌「本当大変だったよ。」

海「ジャステイスヒーローと戦う事になってかなり大変だったね。」

ボルケリートとスカヴァと勝負してかなりの激戦だった事で、4人は初めてジャステイスヒーローと対決して実感した。

ペル「それより残ったプリキュライドジュエルやフェアリージュエルも見つけないといけませんね。」

アイカ「そう言えばすっかり忘れてた。」

海「残ったプリキュライドジュエルやフェアリージュエルを早く見つけないと。」

残りのプリキュライドジュエルフェアリージュエルを見つけないといけないアイカ達。

咲耶歌「手がかりないと見つからないね。」

麗奈「そうね。地下秘密基地へ行って手がかりを見つけないとね。」

W J G 地下秘密基地で手がかりがないか調べる麗奈。

教室

アイカ「……。」

はるか「はい、まずの計算を教えます。」

クラスの担当のはるかが数学の授業を行なっている中、アイカは残りのプリキュライドジュエルフェアリージュエルの事で考えていた。

アイカ「(残りのプリキュライドジュエルよフェアリージュエルを見つけないと。)」

はるか「アイカちゃん!!」

アイカ「はっ、はい。」

はるか「ちゃんと授業聞いていた?」

アイカ「ごめんなさい。」

はるかに授業の事を聞いていなかった事です叱られるアイカ。授業が終わり、学校から下校するアイカ達。

市街地

はるな「アイカ、はるか先生に叱られていたでしょ。」

アイカ「うっ、うん。」

咲耶歌「もしかして残りのプリキュライドジュエルやフェアリージュエルの事?」

アイカ「どこにあるのかなって？」

海「簡単に見つかるにもなかなか見つかりにくいみたいね。」

麗奈「インフェルノに渡る前に何とか見つけ出さないと。」

残りのプリキュライドジュエルやフェアリージュエルをインフェルノの手に渡る前に探して見つけ出すか考えるアイカ達。そこで一人の少女と遭遇する。

かな子「……………」

アイカ「(あれはもしかしてフェアリージュエル?)」

かな子と言う少女は、ポケットに宝石らしい物が入っているのに気付いたアイカ達は、彼女に声をかけた。

アイカ「ちよつと、いい？」

かな子「なっ、何？」

アイカ「ポケットに入っているのを見せてもらえる？」

が、アイカ達はかな子のポケットに入っている宝石らしいを見せてもらえないか頼んだ

かな子「これは見せたくないの。」

咲耶歌「どうしてなの？」

かな子「これだけ大切な人にどうしてもプレゼントしたいの。」

はるな「プレゼント？」

かな子「ママにどうしてもプレゼントをしたいの!!」

アイカ、はるな、咲耶歌「!!」

かな子の母親という言葉に強く反応したアイカとはるなと咲耶歌。彼女は母への感謝の想いを込めてプレゼントする事だ。

麗奈「母親へのプレゼント。」

かな子「私、ママにどうしてもプレゼントがしたいの。だから今回はどうして渡したいの。」

アイカ「あなたの名前は？」

かな子「私の名前はかな子。」

はるな「かな子って言うんだ。かな子ちゃん、そのポケットに入っているのを見せていい?」

はるなに頼まれて、自分のポケットの中に入っているのを出して、見せた。かな子のポケットから出ていた宝石は、フェアリージュエルだ。そのフェアリージュエルはプリキュア5を支えたココとナッツの2つだった。

麗奈「やつぱりフェアリージュエルだったみたいね。」

海「この子、母親に渡したいみたいね。」

かな子「これ、お姉ちゃん達に返すよ。大事なものなんでしょ?」

かな子はココとナッツのフェアリージュエル2つをアイカ達に返した。

アイカ「無理に返してごめんね。あたし達も悪いから。」

かな子「いいの、私1人で何とするから。」

はるな「私達もあなたのために一緒にするから。」

かな子「本当？」

咲耶歌「お母さんへのプレゼント、お姉ちゃん達が手伝ってあげるから。」

かな子のために一緒に手伝うというアイカ達。彼女にしてあげられる事は何か？何を
してあげたらいいか。彼女達が考える中、ある一人の女性が通りかかってきた。

りん「そこで何してるの？」

アイカ「あなたは？」

りん「あたしは夏木りん。」

はるな「夏木りん、どこかで聞いた名前って、もしかしてあなたは……。」

りん「あたしの事、知っているみたいね。あたしのもう一つの名はキュアルージュ
よ。」

咲耶歌「プリキュア5のキュアルージュ。」

りん「あんた達はそこで何してるの？」

海「実はね。」

アイカ達から事情を聞いたりんは、かな子が母へのプレゼントをするためにある事を

提案した。

りん「かな子ちゃんのお母さんのためにプレゼントね。じゃあアクセサリー手作りでプレゼントするってのはどうかな？」

アイカ「アクセサリー手作りでプレゼント、それいいですね。」

はるな「母の日にピツタリですね。」

かな子「手作りならママだって喜んでくれる。」

りん「じゃあ決まりね。みんなと一緒に手作りで。」

かな子の母親へプレゼントをアクセサリー手作りでする事で、かな子のためにみんなと一緒に作る事となった。一方、幽魔界の幽魔要塞で、イゼルとライラが人間界から帰って来ていた。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

居間

イゼル「あたしらが帰って何も喜ばねえみたいだな。」

ライラ「ああ。」

スラツシユラー「貴様ら2人がプリキュアと言うのが気に食わん!!」

ドラン・キュラー13世「そもそも何故我がインフェルノにプリキュアがいる事だ!!」

イゼル「あたしら2人に喧嘩か?」

ライラ「上等だ、かかって来い。」

スラツシユラー「丁度、プリキュアをこの手で倒せるな。」

ドラン・キュラー13世「そのようです。」

D r i イージス「やめないか!!」

ドラン・キュラー13世、スラツシユラー「D r i イージス様。」

D r i イージス「我がインフェルノにプリキュアがいるくらい力になった事に感謝する

んだな。」

ドラン・キュラー13世、スラツシユラー「はっ。」

D r i イージス「彼女ら一緒に行動したらどうだ。」

スラツシユラー「この2人と一緒にですか?」

D r i イージス「そうだ、我がインフェルノにもプリキュアとジャステイスヒーローが

いるだけで頼れる存在だ。」

ドラン・キュラ13世「確かに。」

イゼル「都合のいい時にか。」

ライラ「一緒に協力か。」

Drīz「楽しみにしているぞ。」

イゼルとライラらプリキュアとインフェルノの幹部であるドラン・キュラ13世とスラッシュラーが共闘する事になり、プリキュアと幹部が初の共闘により出撃が行われる事となった。

人間界

桃園自宅

アイカとはるなの部屋

アイカ、はるな「……。」

アイカとはるなはかな子が母親へプレゼントをする事で、自分達の母の事を思い出した。

アイカ「ママに会いたい。」

はるな「2人のママのいない日々は辛いよ。」

2人の母親のラブとせつながインフェルノとの最初の戦いでドラグードに敗れて捕らわれてしまい、そんな寂しい気持ちを表すアイカとはるな。そこで咲耶歌が部屋に入って来た。

咲耶歌「アイカちゃん、はるなちゃん。」

アイカ、はるな「沙耶歌さん。」

咲耶歌「お母さんの事で悩んでいたの？」

アイカ「ママがいないと寂しいの。」

咲耶歌「インフェルノとの戦いに敗れて捕まったって。」

はるな「そうだよ、2人のママはインフェルノの龍のアーマーをした幹部に敗れて捕まったの。」

咲耶歌「龍のアーマー？」

アイカ「あの龍のアーマーをした男は強いの。」

はるな「ママはあの龍のアーマーをした男に捕まったの。」

咲耶歌「2人の気持ちわかるよ。」

アイカ「沙耶歌さん。」

咲耶歌「あたし、10年前にインフェルノの襲撃でお母さんが行方不明になったの。」
アイカ「咲耶歌さんのママは行方不明になった？」

咲耶歌「あたしはお父さんとお母さんと2人の姉と一緒にクリスマスをレストランで過ごしていたの。ある日、インフェルノが現れて街全体は襲われて、あたし達は家族は必死で逃げ回ったの。その時、空からハデユスが現れて、世界全体を焼き尽くし、その被害でお母さんは行方不明になったの。」

はるな「咲耶歌さんは10年前からママを。」

咲耶歌「あたし、今もお母さんがどこかで生きてるって信じてるの。お母さんがもし生きていたらちゃんと連れて帰っていききたい。」

アイカ「あたし達と同じだね。」

ソール（ヒーローライドジュエル）「その気持ちわかるぞ。」

咲耶歌「ソール。」

ソール「家族を失う事がどれだけ心に痛いか、私にはわかる。」

咲耶歌「あなたの弟がいなくなつてインフェルノに着いて家族を失つた気持ちはわかるよ。」

ソール「ああ。」

家族を失った者の同士、その心の痛みをわかり合うアイカ、はるな、咲耶歌、ソール。次の日、今日は母の日、りんがかな子のためにアクセサリーの材料を用意してくれた。

ナツツカフエ

りん「じゃあ、早速やり始めるよ。」

かな子「はい。」

アクセサリーを作るための材料、コットンパール、ビーズ、紐などだ。りんがアクセサリーの作り方を教え、かな子は母親を喜ばせたためにカラフルなアクセサリーに仕上げようとアイカ達と一緒にコットンパールとビーズを組み合わせて、穴の部分に紐を通して入れ、ネットクレスが完成した。次に花びらのビーズと腕かけの紐着けて、プレスレットが完成した。

アイカ「やった。」

はるな「ついに出来たね。」

かな子の母親へのプレゼントのアクセサリー作りが完成した。コットンパールとビーズを組み合わせたネックレスと花びらで出来たブレスレットだ。

かな子「ママ、プレゼントした喜んでくれる。」

咲耶歌「お母さんのところへ行こう。」

一緒に作ったアクセサリーを大好きな母親にプレゼントをしたいとかかな子の思いが込められて、一緒に彼女の母親の元へ向かった。一方、イルゼとライラと行動する事になったドラゴン・キュラー3世、スラッシュユラーは配下のマンドレイトウとアウラネールとフラワイルディーアを連れて人間界にやって来た。

あさぎ市

市街地

スラッシュユラー「くくく、今回は特別な怪人を用意した。」

フラワイアー「スラッシュユラー様、この私、フラワイアーとマンドレイトウとアウラネールが行って参ります。」

ドラン・キュラー3世「マンドレイトウとアウラネール!!」

マンドレイトウ「僕とアウラネールとフラワイアーにお任せを。」

アウラネール「楽しい花を人間達に咲かせましょう。」

イルゼ「さっさとここをぶち壊してやればいいんだろ。」

ライラ「そうだな。」

人間界にやって来たイルゼとライラとドラン・キュラー3世とスラツシユラーは配下の怪人と共に街を襲撃開始した。マンドレイトウの全身、アウラネールの花びらのスカートから蔓を出して、建物に破壊した。

フラワイアー「はい、溶かし尽くしてあげるよ!!」

フラワイアーがジョウロを振り回しながら毒液をばら撒いて、周辺を溶解した。

アイカ「あれはインフェルノ!!」

アイカ達はかな子と一緒に彼女の母親の元へ行く途中、インフェルノの襲撃が目の当

たりにした。

かな子「あああつ。」

まだ幼いかな子は、インフェルノ、怪人を初めて見て怖がり出した。

かな子「こつ、怖い……。。」

咲耶歌「かな子ちゃん。」

ドラン・キュラー3世「来ましたか、プリキュア。」

アイカ「ドラン、スラッシュラー、それにイルゼにライラ。」

イルゼ「また会えるとは光栄だ。」

ライラ「ならばここで勝負だ。」

再びアイカ達と対峙するイルゼとライラはプリキュアに変身して戦闘態勢を整えた。

麗奈「私達も変身よ。」

海「りんさん、かな子ちゃんをお願いします。」

りん「わかったわ、この子はあたしに任せて。」
はるな「みんな、行くよ。」

かな子を守るためにインフェルノとイルゼとライラと対決するアイカ達は、プリキュアに変身する。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海は全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気之力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「フューチャーフォースプ
リキュア!!」

プリキュアに変身した5人は、アラムとジュールとドラン・キュラー3世とスラツ
シユラーとフラワイアーとマンドレイトウとアウラネールに挑んだ。

アラム「待っていたぞ!!」

ジュール「再び戦う時を!!」

アラムとジュールがストライクとシンシアに襲いかかった。

ストライク、シンシア「!!」

アラムとジュルフと交戦する事になったストライクとシンシア。

アラム「おらやつ!!」

アラムがジャンプしてストライクにパンチで殴りにかかった。

ストライク「!!」

ストライクはアラムのパンチに対し、回避しながらカウンターパンチで喰らわせた。

ジュルフ「プリキュア・ジュルフナツクル!!」

手足に光を纏いながら高いパワーを駆使してシンシアに殴りにかかった。

シンシア「はああああつ!!」

シンシアはジュールフの動きを見て、キュアブレードマグナムを出して、銃モードで殴りにかかるジュールフの手足に射撃し、姿勢を崩した。

アラム「やってくれやがったな。」

ジュールフ「ならばジャステイスヒーローだ!!」

アラムがジュールフはキュアアートフォンチェンジャーにジーニーとアラミラードとアメントとマナートウの4つのヒーローライドジュエルを刺して召喚する。

アラム、ジュールフ「ヒーローライドジュエル!!」

アラムとジュールフはジーニーとアラミラードとアメントとマナートウを召喚し、ストライクとシンシアに一齐にかかった。

ストライク「こつちも行くよ。」

ストライク、シンシア「ヒーローライドジュエル!!」

ストライクとシンシアもアイゼンアロイスとフェアリールのヒーローライドジュエルをキュアートフォンチェンジャーに刺して召喚し、ジャスティスヒーロー同士ぶつかり合った。

アイゼンアロイス「インフェルノに着いたならお前らを容赦はしねえぞ!!」

フェアリール「覚悟しなさい!!」

ジェーニー「木っ端微塵にしてやる!!」

アラミラード「貫いてやる!!」

アメモント「噛み砕いてやるよ!!」

マナートウ「とつとと終わらせてやるよ!!」

ジェーニーが自身の身体の煙による変幻自在で、蛇に変身して、フェアリールに巻きつきにかかった。フェアリールはジェーニーの変身した蛇の巻き付きから回避し、マスケット銃に魔法弾で射撃した。マナートウが右手に装着しているマナートウクローでフェアリールの背後切り裂いた。アイゼンアロイスはアラミラードとアメモントを相手に戦い、パンチを連打してアメモントに殴りこんだが、アラミラードが素早く駆け込んで頭の角でアイゼンアロイスに攻撃した。

マジック「プリキユア・マジックトランプショット!!」

マジックがトランプを出して手裏剣のように投げてマンドレイトウとアウラネールにぶつけた。

マンドレイトウ、アウラネール「あああーっ!!」

マジックの投げたトランプで切り傷を負ったマンドレイトウとアウラネール。だが、2人の身体の切り傷の跡が回復し始めた。

マジック「回復した?！」

マンドレイトウ「僕とアウラネールには再生能力を持っているのさ。」

アウラネール「私とマンドレイトウは植物なのよ。」

フェッター「だったら切り刻んでるわ!!」

フェッターがマンドレイトウとアウラネールにキュアカタナテツポウ刀モードで、2人の全身に切り刻んでバラバラにしたが、2人の身体はすぐに再生し、元に戻った。

マンドレイトウ「無駄だと言うのがわからないか!!」

マンドレイトウが口から毒液をフェッターに吐いて、毒状態にした。

フェッター「うっ、ううう。」

マンドレイトウの吐いた毒液に毒状態になったフェッター。

フラワイアー「ほらほらほら!!」

ジャックを追い詰めるフラワイアーは両肩からタネ爆弾を発射して、攻撃した。

ジャック「くっ!!」

フラワイアーの爆弾を避けるため、ジャックはファイツのヒーローライドジュエルをキュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

ジャック「ヒーローライドチェンジ!!」

ジャックファイツフォームとなつて、フラワイアーの爆弾をジャスティスシールドでガードしながら、パンチでお見舞いした。戦いは激化する中、そんな中一人の女性がやって来た。

かな子の母「かな子ー!!」

かな子「ママ!!」

かな子は母親が自分を探しにやって来たことに驚いた。

りん「来ちゃダメ!!」

ドラン・キュラー3世「面白いのが見つかりましたね、マンドレイトウ、あなたの種を放つてその人間を怪物にしなさい!!」

マンドレイトウ「お任せを。」

マンドレイトウは種を放出して、かな子の母親に当てて取り付けた。

かな子の母親「きゃあああああー!!」

マンドレイトウの放った種により、かな子の母親は植物怪物と化した。

かな子「ママー!!」

大好きな母親が植物怪物にされて泣き出し、母親の元へ行こうとするかな子。

りん「近付いちゃダメよ!!」

かな子「ママが!!」

アラム「面白い事になってんな。」

ジュール「ふふふ。」

ストライク「人が苦しんでいるのを楽しんでいるの?!」

シンシア「人が悲しむ事を嘲笑うなんて許さない!!」

アラミラード「ごちゃごちゃと!!」

ストライクとシンシアに向かって頭の角で刺突しにかかるアラミラード。その時、マジックと召喚したソールが現れて、アラミラードの頭の角を掴んだ。

ストライク、シンシア「マジック、ソール。」

マジック「ストライク、シンシア、2人はあの子のお母さんを助けてあげて。」

ソール「ここは私とマジックが食い止める。」

アイゼンアロイス「俺とフェアリールも食い止めてやる。」

フェアリール「あなた達2人は行きなさい。」

シンシア「ありがとう。」

ストライク「あたし達、助けに行ってくるね。」

アラムとジュルフラをマジック、ソール、アイゼンアロイス、フェアリールに任せ、ストライクとシンシアはかな子の母親を助けるためにマンドレイトウとアウラネールと

フラワイアーを倒しに向かった。

フラワイアー「あなた達2人死にに来たのね。」

ストライク「あたし達はあんたら倒してその子のママを元に戻す。」

アウラネール「小賢しいわね。」

マンドレイトウ「そいつを殺しちゃえ!!」

植物怪物化したかな子の母親がストライクとシンシアに襲いかかった。

ストライク「シンシア、この間仲間にしたあの2人の力を使おう。」

シンシア「ボルケリートとスカヴァアね。」

この間、仲間になったボルケリートとスカヴァアを出すため、2人はそれぞれのヒーローライドジュエルを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して召喚する。

ストライク、シンシア「ヒーローライドジュエル!!」

ストライクとシンシアはボルケリートとスカヴァアを召喚し、出現させた。

ボルケリート、スカヴァア「……」

ストライクとシンシアに召喚されたボルケリートとスカヴァアは、周りの状況を把握し、理解した。

ボルケリート「目の前にインフェルノのか。」

スカヴァア「一人、無理やり怪物化されている人がいるみたいね。」

ストライク「ボルケリート、スカヴァア、その人は無理やり怪物にされてるの!!あの怪人を倒せば元に戻せるはずよ!!」

ボルケリート「わかった、あの3人の怪人を倒す事だな。」

状況を把握したボルケリートとスカヴァアがマンドレイトウとアウラネールとフラワイアーに向かって攻撃にかかり、ボルケリートは拳に地獄界の炎を纏わせて、マンドレイトウの顔に殴り込み、スカヴァアはアウラネールに掌から吹雪を放ち、アウラネールに放った。

マンドレイトウ「うぎやあああー、痛い、暑い、痛い、暑いよおー!!」
アウラネール「寒い、寒い、寒いー!!」

ボルケリートとスカヴァアの攻撃を喰らって悲痛して叫ぶマンドレイトウとアウラネール。

マンドレイトウ「この僕が初めて殴られるなんて痛いよおー!!」

アウラネール「この私に寒さなんてあり得ません!!」

ボルケリート「人の苦しみを嘲笑うお前らを許せん。」

スカヴァア「この凍結であなた達を裁いてあげるわ。」

フラワイアー「この私を忘れちゃ困るわよ!!」

ボルケリートとスカヴァアの前にフラワイアーが現れて、ジヨウロから毒液を2人に向けて撒いたが、

ボルケリート、スカヴァア「!!」

スカヴァアが掌から冷気のビームを放って、毒液とジヨウロを凍結し、続いてボルケリートが炎で形成した火炎玉をシュートしてジヨウロを焼き尽くした。

フラワイアー「私の大事なジヨウロが!!」

ボルケリート「毒液がなくなればお前はもう何も出来ない。」

フラワイアー「ならば、こいつを始末しろ!!」

植物怪物化したかな子の母親がボルケリートとスカヴァアに襲いかからせた。

かな子の母親「うおおおおー!!」

植物怪物化したかな子の母親が爪でボルケリートとスカヴァアに引つ掻いた。

ボルケリート「くっ。」

スカヴァア「動きだけで封じさせる。」

植物怪物化したかな子の母親を倒すでなく身動きを封じるためにスカヴァアが掌で吹雪を放ち、下半身を凍らせた。

ボルケリート「ストライク、シンシア、怪人3人を倒すぞ。」

マンドレイトウとアウラネールとフラワイアーを倒すため、ストライクとシンシアはボルケリートとスカヴァアとそれぞれ一体化し始める。

ストライク「ボルケリート!!」

ボルケリート「ストライク!!」

シンシア「スカヴァア!!」

スカヴァア「シンシア!!」

ストライクとボルケリート、シンシアとスカヴァアが一体化をし、ストライクとボルケリートはキュアストライクボルケリートフォーム、シンシアとスカヴァアはキュアシンシアスカヴァアフォームとなり、マンドレイトウとアウラネールとフラワイアーを倒しにかかった。

マンドレイトウ「いい気になるなよ!!」

アウラネール「植物の餌食にしてやる!!」

フラワイアー「喰らいなさい!!」

マンドレイトウが口から毒液、アウラネールが花びらのスカートから花粉、フラワイアーが肩から爆弾を放ち、二人に向けたが、

ストライクボルケリートフォーム「プリキュア・ボルケリートフレイムナックル!!」

ストライクボルケリートフォームが両拳に火炎を纏いながら連打で毒液と花粉と爆弾を殴り、その拳に纏った火炎で燃やし尽くした。

シンシアスカヴァフォーム「プリキュア・スカヴァアイスレイン!!」

シンシアスカヴァフォームが上空から多数の氷結の雨を降り注いで敵全体に攻撃した。

マンドレイトウ、アウラネール、フラワイアー「ぐわああああー!!」

2人の新しいフォームの力で圧倒されたマンドレイトウとアウラネールとフラワイアー。そして最後にとどめを刺すべく、2人が必殺技を発動する。

シンシアスカヴァフォーム「プリキュア・シンシアダイヤモンドダスト!!」

シンシアスカヴァフォームがフラワイアーに向けて掌を前に出してアスゴルド王国の氷で形成した氷の巨大な球をシュートして敵全体に喰らわして、そのまま氷結して粉砕してフラワイアーを消滅させた。

ストライクボルケリートフォーム「プリキュア・ボルケリートバーニングチャージ!!」

ストライクボルケリートフォームが地獄界の炎で形成して全身に火炎を纏いながらマンドレイトウとアウラネールに向かって突撃して焼き尽くす。

マンドレイトウ、アウラネール「ぎよえええええー!!」

ストライクボルケリートフォームの必殺技で焼き尽くされて消滅したマンドレイトウ、アウラネール。

スラツシユラー「撤退だ!!」

配下の怪人3人が倒されて撤退するドラン・キュラー3世とスラツシユラー。

アラム「こつちも引くぞ。」

ジュール「あああつ。」

アラムとジュールも自身のジャステイスヒーローと共に撤退をした。怪人3人を倒して、植物怪物化したかな子の母親も元に戻った。

かな子「ママー!!」

母親の元へ駆けつけたかな子は母親に抱きしめて泣きながら無事であった。

かな子の母親「かな子!!」

かな子「ママ、無事で良かったよ!!」

母娘無事をし合い、その姿にアイカ達は見届ける。

アイカ「よかったね。」

はるな「そうだね。」

りん「これをわたすわ。」

アイカ達はりんから渡されたのは、ルージュ、レモネード、ミルクイローズのプリキユ
ライドジュエルとシロップのフェアリージュエルだ。

咲耶歌「これをあたし達に。」

りん「あなた達なら大丈夫ね。」

りんはそう言いながらアイカ達に渡して立ち去った。

麗奈「プリキュア5も全部揃ったね。」

アイカ「かな子ちゃん、ママと一緒に幸せにしてるかな？」
はるな「そうだね。」

次回 15話へ続く

第15話 将来

インフェルノでは、ある者が集まっていた。

幽魔界

幽魔要塞

居間

Drイージス「死んだステイブトンの配下3人か。」

バンデイツト「俺バンデイツトです。」

スナイプス「スナイプスだ。」

インセキード「この俺インセキードま。」

ザッパード「死んだステイブトンの配下か。」

バンデイツト「死んだステイブトン様のために俺たち幹部になります。」

イゼル「お前みたいなのやつになれっこないさ。」

バンデイツト「なっ、何だと。お前みたいな人間がいるのが気に喰わないんだよ。」

イゼル「やるか?!」

スナイプス「やめんか、仲間同士争う気か？」

Drīージス「ではここは私が指名していいこうではないか。まずはバンディット。」

バンディット「わあーい、やったー。」

Drīージス「ザッパードとラミイ、バンディットを補佐してやれ。」

ザッパード「お任せを。」

ラミイ「我が配下の手配を連れて参ります。」

イゼル「あたしらはその幹部を指すものやらをお手並み拝見か。」

ライラ「面白そうだ。」

バンディット「んじや行ってくるよー。」

亡きステイブトンの意志を継いで幹部を目指すバンディットはザッパードとラミイと共に人間界へ出撃した。

人間界

あさぎ市

アリーナ学園

中等部

教室

咲耶歌「はぁー、何だか暇ね。」

中等部にいる咲耶歌と海は休憩中を過ごし、暇そうでした。

海「私の将来は何があるのかな？」

咲耶歌「海、もしかして自分の将来を考えていたの？」

海「そうよ、自分がどんな事がしたいのか考えていたのよ。」

咲耶歌「海はどんな事になりたいの？」

海「それが自分でもわからなくて考えていたのよ。」

咲耶歌「将来か。」

海「咲耶歌？」

咲耶歌「あたしはマジシャンになるのを目指しているんだ。」

海「そう言えば咲耶歌はよくマジックをやっているね。」

咲耶歌「マジシャンになるために一生懸命目指しているの。毎日マジックの練習を積み重ねてやっているの。」

海「夢のために一生懸命頑張っているんだ。」

咲耶歌の将来の夢はマジシャンになる事で、マジックの練習を日々毎日している。

海「マジシャンね。」

咲耶歌「あたしもまだまだただけどね。」

夢を目指す咲耶歌を羨む海。自分には将来がまだはつきりしていない事で悩んだ。2人のキュアアートフォンチェンジャーから連絡がきた。

咲耶歌「えっ、まさかインフェルノが町に?!」

街にインフェルノが現れた事を知った沙耶歌と海はアイカ、はるな、麗奈と一緒に街へ向かった。街の銀行では、バンディットがザッパードの配下のザリガンとラミイの配下のマミイードと共に金を強奪しにかかってきた。

銀行

銀行員1「わあー!!」

バンディット「この金全部よこせ。1枚足らず全部頂いちやうぞ!!」

バンディットが両手の指の鎌をした爪で銀行員を次々と切り裂いていき、奥にある金庫のトビラを爪で切り裂いて開け、そのまま金庫に入っているお金を全て強奪した。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「インフェルノ!!」

すぐに駆けつけたストライク達。だが、バンディットとザリガンとマミイードに銀行員の半分が襲撃されて倒れていた。

銀行員1「うっ、あああつ、助けて……」

シンシア「ひどい……」

ストライク「どうして酷い事が出来るの!!」

バンディット「物は力づく奪うのが俺達インフェルノのやり方さ。」

マジック「くっ!!」

ジャック「残虐行為をするあなた達を許さない!!」

平然と人を傷付けて楽しむバンデイトに怒りを表すジャックが殴りにかかった。

ザリガン「させるかよ!!」

ザリガンが前に立って、ジャックのパンチを受け止めた。

ジャック「うっ、効いてない?！」

ザリガン「俺様の全身にある甲殻の硬さは頑丈なんだよ!!」

ザリガンの全身にある甲殻の硬さは頑丈で、あらゆる攻撃をビクともしない。ザリガンは両手のハサミでジャックに切り裂いた。

ジャック「あああああー!!」

ザリガンのハサミ攻撃を喰らったジャック。

ストライク、シンシア、マジック、フエッター「ジャック!!」

ジャックの元へ急いで駆けつけにいくが、

マミイード「させるかよ!!」

マミイードが全身の包帯を放って、ストライク達に攻撃した。

ストライク、シンシア、マジック、フェッター「くっ!!」

敵の攻撃で足止めされてしまったストライク。その時、遠くから一本の槍と光球が放たれ、マミイードとザリガンに直撃した。

マミイード、ザリガン「うわあっ!!」

放たれた槍と光球を喰らったマミイードとザリガン。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック「?!」

ウォーテイル「派手な事をしてくれるわね。」

ウィザーデイ「全くなのだ。」

現れたのは女戦士の姿をしたウォーテイルと可愛い女の子の姿をした魔法使いウィザーデイの2人ジャステイスヒーローだった。

バンディット「援軍か。ここは逃げるぞ!!」

現れたウォーテイルとウィザーデイにより、今の状態だと不利と判断したバンディットはザリガンとマミードと共に逃走した。

ジャック「助けてくれてありがとうございます。あなた達2人の名前は？」

ウォーテイル「私の名前はウォーテイル。」

ウィザーデイ「我はウィザーデイなのじゃ。」

マジック「もしかして2人はジャステイスヒーロー？」

ウォーテイル「よくわかるね。」

トットム「まさか偶然ジャスティスヒーローが助けに来たなんて驚いたぜ。」
ペル「柵からぼたもちでありますな。」

アーニヤ「そうでありますわ。」

マジック「ソール達と同じジャスティスヒーローの仲間かなって。」

ウイザーデイ「お主、ソール達の仲間か？」

マジック「はい、そうです。あたし達はソール達の仲間のプリキュアです。」

ウオーテイル「あなた達がプリキュアね。」

ウイザーデイ「ならちよつといいか？そこの2人。」

マジック、ジャック「はい？」

ウイザーデイ「我らと一緒に着いてきて貰おうか。」

ウオーテイルとウイザーデイに突如連れて行かれたマジックとジャック。

ストライク「ちよつと!!」

シンシア「一体何なの!!」

フェッター「2人共、逃げたインフェルノを追って。私は怪我をした銀行員を病院に連絡して運ばせる。」

マジックとジャックがウオーテイルとウイザーデイに連れてかれてしまい、ストライクとシンシアは逃げたインフェルノを追跡し、フェッターはインフェルノに襲われた銀行員を病院に連絡する。

公園

咲耶歌、海「……」

ウイザーデイ「お前達2人は何か自分の将来の事で考えておるようだな。」

咲耶歌「どうしてわかるの？」

ウオーテイル「顔でわかるわ。もう1人の方は何か自分の将来で悩んでいたみたいね。」

海「私の悩みの事も。」

ウイザーデイ「そこでじゃ、我とウオーテイルとどちらが2人で2人2組で組むというのはどうじゃ。」

咲耶歌「いいね。」

海「別々の人と一緒に組むのもいいかもしれないね。」

ウオーテイル「では決まりね。その前にあなた達2人の名前は？」

咲耶歌「あたしは天欄咲耶歌。」

海「私は儀城海です。」

ウオーテイル「じゃあ私は海さんと一緒に。」

ウイザーデイ「我は咲耶歌と一緒にじゃ。」

咲耶歌はウイザーデイ、海はウオーテイルと一緒に組んでいき、2人2組は別々になつて行動を取り始めた。

市街地

ウイザーデイ「咲耶歌はマジシャンになる事を目指しているのか。」

咲耶歌「あたしはマジシャンになつてみんなを笑顔にしたい。」

ウイザーデイ「笑顔か。少々見せてもらおうか？」

咲耶歌はウイザーデイに自分のマジックを見せてもらおうよう頼まれ、自分の得意なマジックを彼女に見せ始める。

咲耶歌「じゃあショータイムの始まりだよ。」

沙耶歌は右手にコインを手に乗せて、左手も出して、両手を握りしめたまま左右のを合わせ、そしてたら両手を開いたら右手にあったコインが左手にあった。

ウィザーデイ「これがお主のマジックか。」

沙耶歌「まだまだで手品で。」

ウィザーデイ「では我がマジックを教えてやろう。」

ウィザーデイが咲耶歌にこれから本当のマジックを見せるため、彼女が今行い始める。

ウィザーデイ「ほれっ。」

ウィザーデイが手から火を出して自在にし、次に何処からか現れた2つのロープを縛って結び、さらに今度はシルクハットを出して、中から大量の鳩やウサギがいっぱい現れた。

咲耶歌「あああつ。」

ウイザーデイの上級マジックに驚愕した咲耶歌は、普通では出来ないマジックをウイザーデイが軽々と披露し、そのマジックを見ていた一般の人々が拍手をした。

ウイザーデイ「どうだ、これが我のマジックじゃ。」

ウイザーデイの並外れたマジックに咲耶歌は、自分のした手品より彼女のは本物いやそれすら遥かに超えるマジックだ。種明かしも全く身抜けられない。一方、ウオーテイルと一緒に組んだ海は、ウオーテイルは人間界の姿、水野定子として弁護士で活動し、彼女の事務所に行った。

水野弁護士事務所

海「で、ウオーテイルさん、その格好は？」

水野定子（ウオーテイル）「私はね、人間界で弁護士をしてるのよ。様々な裁判の弁護をして、強者と戦っているの。」

海「弁護士。」

水野定子（ウォーテイル）「その裁判に必要な証拠、証言、矛盾などを集めて見つけること。」

海「積極的ですね。」

水野定子（ウォーテイル）「私は人間界で様々な事を学んでやって来たの。力で戦うだけでなく、法律、知識などを身に付けて様々な分野に興味を持ったの。」

海「あなたはいろんな事を学びたいと人間界に。」

水野定子（ウォーテイル）「そうよ、私は人間界の事を学びたいから弁護士をしているの。あなたは自分が何がしたいのか、自分がやりたい事。」

海「やりたい事。」

水野定子（ウォーテイル）「見つけていく事でああなたの目指すべき道はあるのよ。」

水野定子（ウォーテイル）から自分のしたい事、目指すべき道は自分が見つけていく故であると答えは出てくる。

海「私、自分の道を自分で見つけて見せます。その中で自分画やりたい事は見つかるはずですよ。」

水野定子（ウォーテイル）「あなたならきつと見つけ出すはずよ。自分を信じて。」

そう言いながら海の可能性を信じる水野定子（ウオーテイル）。海のキュアアートフォ
ンチエンジャーから連絡が来た。

海「はい。」

ストライク（通信）「今港でインフェルノとの戦っているの、すぐに来て!!」

あさぎ市の港でインフェルノと交戦するストライクから連絡がかかり、海と水野定子
（ウオーテイル）はすぐに向かい、また沙耶歌やウィザーデイもすぐに港へ向かった。

港

ストライク、シンシア「はああああー!!」

ストライクとシンシアは港で暴れているバンディットとザリガンとマミイードと
ザップードとラミイを相手に召喚したアイゼンアロイス、フェアリール、ボルケリート、
スカヴァと共に交戦した。

ザッパード「撃ち抜いてやるぜ!!」
フェアリール「相変わらずね!!」

ザッパードがサブマシンガン2丁でフェアリールに向かって乱射し、フェアリールはマスケツト銃をあらゆる方向から出現して、射撃した。

ラミイ「マミイード、行くぞ!!」

マミイード「はい、ラミイ様!!」

ラミイが配下のマミイードと共にアイゼンアロイスに向かって、2人同時に全身の包帯を放った。

アイゼンアロイス「ふっ、はあっ!!」

アイゼンアロイスは掌からビームソードを出刃して、2人の放った包帯を切り払い、ビーム弾を発射して攻撃した。

ザリガン「オラオラ行くぜ!!」

港の海を利用して水中に潜るザリガンは、地上にいるストライクとボルケリートに向かって、ハサミから水弾を発射して攻撃した。

ストライク、ボルケリート「うっ!!」

水中にいるザリガンのハサミから発射した水弾を喰らったストライクとボルケリート。ボルケリートは水に弱いため、倍のダメージを受けていた。

ストライク「ボルケリート、しっかり!!」

ボルケリート「流石に水相手だときついな。」

水攻撃をするザリガンに対し、自分の弱点を突かれていくのに苦戦するボルケリート。

シンシア「うっ!!」

スカヴァ「姿が見えない。」

シンシアとスカヴァは、バンディットのステルス機能で、バンディットは姿を消したままシンシアとスカヴァに爪で攻撃した。

シンシア、スカヴァ「ああああつ!!」

ステルス機能で姿を消したバンディットの爪の攻撃を喰らったシンシアとスカヴァ。現場に辿り着いたマジックとジャックとウイザーデイとウォーテイル。

マジック「ジャック。」

ジャック「すぐにストライク達に加勢しよう。」

ウイザーデイ「待つんじゃ。」

ウォーテイル「相手の戦いを見て。」

ストライク達に加勢をしようとするが、ウイザーデイとウォーテイルに制止され、まず敵の戦いを見ていき、ストライクとボルケリートは水中から攻撃するザリガンに苦戦

を強いられ、シンシアとスカヴァはステルス機能で姿を消したバンディットに追い詰められていた姿だ。

マジック「敵は姿を消したり、さらに水中から攻撃ね。」

ジャック「水中戦で変身出来るプリキュアがないわ。」

ウオーテイル「私の力なら水中戦は可能よ。」

ウイザーデイ「我の力なら姿を消す相手を見破る事は可能じゃ。」

マジック「あなた達の力で。」

ウイザーデイ「そうじゃ、マジック、我と一体化してお主の新しいマジックを見せてもらうぞ。」

ウオーテイル「ジャック、あなたは私と一体化するのよ。あなたの将来が何か見せて。」

マジック「ウイザーデイ、じゃあお願い。」

ジャック「ウオーテイル、私見つけてみせる。」

マジック「ウイザーデイ!!」

ウイザーデイ「マジック!!」

ジャック「ウオーテイル!!」

ウオーテイル「ジャック!!」

マジックとウィザーデイ、ジャックとウオーテイルが一体化をし、マジックとウィザーデイはキュアマジックウィザーデイフォーム、ジャックとウオーテイルはキュアジャックウオーテイルフォームへとなって、ステルス機能で姿を消すバンディットと水中から攻撃するザリガンに挑んだ。

マジックウィザーデイフォーム「プリキュア・ウィザーデイオープンライト!!」

マジックウィザーデイフォームが掌を発光して姿を消しているバンディットを暴いた。

バンディット「ありや?!」

マジックウィザーデイフォームの技でステルス機能で姿を消したはずが、いつの間にも姿が現れてしまった。

マジックウイザーデイフォーム「姿を晒されたね。」

バンディット「お前、よくも俺のステルス機能を!!」

マジックウイザーデイフォーム「かかって来なさい!!」

ステルス機能を見破られたバンディットは腕を伸ばして爪でマジックウイザーデイフォームに切り裂きにかかった。

マジックウイザーデイフォーム「プリキュア・ウイザーデイイリユージュオンアタック!!」

マジックウイザーデイフォームが自身の分身を数体形成して、バンディットの爪攻撃を分身でかわし、形成した分身体と共に魔法攻撃をした。

ザリガン「喰らえ!!」

水中から攻撃をするザリガンは、ストライクとボルケリートを追い詰めていた。

ジャックウオーテイルフォーム「はあああああー!!」

その時、海に飛び込んだジャックウオーテイルフォームが水中を移動して、ザリガンにウオーテイルハルバートで攻撃した。

ザリガン「ぐわあっ!!」

ジャックウオーテイルフォームの乱入により、その攻撃を受けたザリガン。

ザリガン「何だ、水中が出来る相手がいたとは。」

ジャックウオーテイルフォーム「貫いてみせる。」

水中を移動していくジャックウオーテイルフォームがザリガンの周囲を回りながらウオーテイルハルバートで刺突していった。

ジャックウオーテイルフォーム「プリキュア・ウオーテイルアクアランス!!」

ジャックウオーテイルフォームがウオーテイルハルバートに水状を纏いながら敵に向かって突撃してぶち込み、海の中から突き飛ばし、地上へ追いやった。

バンディット、ザリガン「くうっ!!」

新たなジャスティスヒーローと一体化したマジックとジャックに追い詰められたバンディットとザリガン。そして2人にとどめを刺すべく、必殺技を発動する2人。

マジックウイザーデイフォーム「プリキュア・ウイザーデイマジカルシューティングシュート!!」

ジャックウオーテイルフォーム「プリキュア・ウオーテイルウェーブシュート!!」

マジックウイザーデイフォームがウイザーデイルッドに魔力を集中して一気に魔法光線を放ち、ジャックウオーテイルフォームが掌から波を放って、バンディットとザリガンにぶち込んだ。

バンディット、ザリガン「ぎよえええええー!!」

2人の同時必殺技によって倒されて消滅したバンデイトとザリガン。

ストライク、シンシア「たああああー!!」

ストライクとシンシアとボルケリートとスカヴァアは、アイゼンアロイスとフェアリーと共にザッパード、ラミイ、マミイードと交戦していた。

ボルケリート「ストライク、決めるぞ。」

スカヴァア「シンシア、終わらせるわ。」

早期に終わらせるため、ストライクとシンシアはボルケリートとスカヴァアとそれぞれ一体化する。

ストライク「ボルケリート!!」

ボルケリート「ストライク!!」

シンシア「スカヴァア!!」

スカヴァ「シンシア!!」

ストライクボルケリートフォーム、シンシアスカヴァフォームとなって、一気に決めにかかった。

ストライクボルケリートフォーム「プリキュア・ボルケリートバーストーム!!」
シンシアスカヴァフォーム「プリキュア・スカヴァフリーザービーム!!」

ストライクボルケリートフォームが火炎の嵐を呼び起こし、シンシアスカヴァフォームが掌から冷気のビームを発射し、同時攻撃でマミードを撃破した。

ザッパード「ちい、ここまでか。」

ラミイ「引くぞ。」

配下の怪人を倒されてすぐに撤退するのザッパードとラミイ。

イゼル、ライラ「……。」

また遠くから戦いを拝見したイゼルとライラは、近いうちに再び戦う事を悟った。

水野事務所

咲耶歌、海「ありがとうございます。」

ウイザーデイ「礼は言わんでいい。」

ウオーテイル「あなた達2人が将来に向かって目指している事は伝わったわ。」

咲耶歌「あたし、ウイザーデイさんみたいなマジシャンを目指します。」

ウイザーデイ「咲耶歌よ、お主なら立派なマジシャンになれるはずだ。様々な事を学び、経験していき、立派なマジシャンとなる。」

海「あなたに出会えたおかげで私の一歩が進みました。」

ウオーテイル「海、あなたなら自分の目指す将来をきつと見つかるはずよ。」

咲耶歌と海、自分達2人は将来に向けて進む道を前に向かった。

ウオーテイル「あなた達2人も将来は見つかるわ。あなた達が何を目指してなるのか。」

アイカ「将来。」

はるな「私とアイカの将来。」

まだ小学生であるアイカとはるなも自分達2人がどんな将来を目指すのか。2人は何を目指すのか。そして、ウィザーデイは咲耶歌、ウォーテイルは海のそれぞれの新しいパートナーとなり、アイゼンアロイス達と同じようにヒーローライドジュエルに入った。彼女達が目指す将来は何か？

次回 16話へ続く

第16話 狙撃手を倒せ

いつものように街で暴れているインフェルノと交戦するストライク達。

あさぎ市

市街地

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「はあああああー!!」

5人はオークスとオーガンとフラーゲンとクラッシュトロイとジェットームに向かって突撃しにかかった。

オークス、オーガン「うおおおおー!!」

オークスが斧を右手に持って、オーガンが右手に棍棒を右手に持って、ストライク達に下ろしにかかった。

マジック「はあっ!!」

マジックがマジックステッキスピア杖モードで先端から火炎を放ち、オークスとオーガンに喰らわせた。

フェッター「もらった!!」

フェッターがキュアカタナテツポウ刀モードでオークスとオーガンの2体まとめて斬撃した。

フラーゲン「邪魔をするなフガー!!」

クラッシュトロイ「死ね!!」

ジェットーム「プリキュアあっ!!」

フラーゲンがパンチで殴りにかかり、クラッシュトロイが大型ガトリングガン、ジェットームがビームプラスターで射撃してきた。

ジャック「プリキュライドチェンジHUGっと!!」

ジャックがプリキュライドジュエルアンジュでキュアートフォンチェンジャーに刺して変身してアンジュになり、バリアを展開してフラーゲンのパンチ、クラッシュトロイとジェットトームの射撃を防御した。

ストライク、シンシア「プリキュライドチェンジスプラッシュスター!!」

ストライクとシンシアがブルームとイーグレットのプリキュライドジュエルをキュアートフォンチェンジャーに刺して変身し、空中を飛びながらフラーゲン、クラッシュトロイ、ジェットトームに光弾を連射した。

フラーゲン、クラッシュトロイ、ジェットトーム「ぐわあっ!!」

ブルームストライクとイーグレットシンシアの空中攻撃を喰らったフラーゲン、クラッシュトロイ、ジェットトームら。

フェッター「プリキュア・フェッターザンバー!!」

フェッターがキュアカタナテツポウ刀モードの刀身からパープルの光状を纏いながらオークスとオーガンをまとめて斬撃し、撃退した。

フラーゲン、クラッシュトロイ、ジェットーム「引き上げだ!!」

怪人を倒されてすぐに撤退したフラーゲン、クラッシュトロイ、ジェットーム。

ブルームストライク「やったー!!」

勝利をしたブルームストライク達。遠くから彼女達が勝利して喜んでいる姿をビル
の屋上から見るイゼルとライラとスナイプス。

ビル
屋上

イゼル「何も気付いてねえな。」

ライラ「あいつら、勝って喜んでるようだな。」

イルゼ「スナイプス、お前の狙撃を見せてみる。」

スナイプス「プロの狙撃であるワシの腕を見せてやる。」

スナイプスがビルの屋上から遠く離れたストライク達にスナイプライフルを構えて、スコープでストライク達に照準を合わせ、スナイプライフルのトリガーを引き、弾丸を発射した。戦いが終わったと思ったストライク達は、遠くから来た狙撃の反応した。

一同「!!」

すぐに狙撃から回避したストライク達は、まだ敵がいた事に気付く。

市街地

シンシア「敵?!」

マジック「一体どこから?!」

ジャック「相手は遠距離からの狙撃ね。」

フェッター「すぐに隠れるわ!!」

すぐに敵の遠距離からの狙撃に気付いたストライク達は、何処かの建物の中へ入り込んで隠れた。

ビル

屋外

イルゼ「隠れやがったか。」

ライラ「暴れていくか。」

イルゼ「スナイプス、任せたぞ。」

スナイプス「任せろ。」

イルゼとライラがプリキュアに変身して、ストライク達を引き出すために街を襲撃する。

市街地

イゼル「オラオラオラ、出てこいよ!!」

ジュール「出ないならこっちから出すまでだ!!」

アラムとジュールが召喚したジェーニー、アラミラード、アムメント、マナートウと共に街を破壊し、人々を攻撃した。

ストライク「街の人達が!!」

シンシア「私達を誘い出すためね。」

マジック「街の人達を助けなきゃ!!」

アラム達が市街地を襲撃して、街の人々を助けるために出たストライク達。

ビル

屋上

スナイプス「貰った!!」

建物の角から出てきたストライク達に照準をし、スナイプスライフルで狙撃した。

市街地

一同「ああああー!!」

スナイプスが遠距離から狙撃を喰らったストライク達。

アメント「貰うぜ!!」

アメントが口から強烈な牙でストライク達に噛み付きにかかった。

シンシア「!!」

シンシアがキュアブレイドマグナムを出して、銃モードでアメントの口の中を射撃した。

ストライク「こつちもジャステイスヒーローを呼んで戦おう。」

ストライク達5人もアラム、ジュールが召喚したジャステイスヒーローに対抗するため、自分達もジャステイスヒーローを召喚するため、ヒーローライドをキュアアートフォ

ンチェンジャーに刺して召喚する。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「ヒーローライドジュエル
!!」

ストライク達はアイゼンアロイス、ボルケリート、フェアリール、スカヴァ、烈陣丸、
光陰命、ソール、ウィザーデイ、ファイツ、ウオーテイルを呼び出し、同じジャステイ
スヒーローであるジェーニー、アラミラード、アメモント、マナートウと激突する。

アイゼンアロイス、ファイツ「はあああああー!!」

アイゼンアロイスが手脚のパワージャッキを起動して、アラミラードにパンチとキツ
クをお見舞いし、ファイツがジャンプして両腕を広げて両脚を前に出してキツクでアラ
ミラードに打ち込んだ。

アラミラード「やってくれたな!!」

アラミラードが素早く駆けながらアイゼンアロイスとファイツに頭の角で攻撃した。

フェアリール「当たりなさい!!」

スカヴァ「これを受けなさい!!」

フェアリールとスカヴァはマナートウと交戦し、フェアリールはマスケット銃で魔法弾を射撃し、スカヴァは掌から冷気のビームを発射した。

マナートウ「甘いな。」

2人が放った攻撃をマナートウが右手に装着しているマナートウクロウで吸収し、吸収した攻撃を自分の力に増して、2人に攻撃した。

ボルケリート「アメモメント、覚悟しろ!!」

同じジャステイスヒーロー仲間だったアメモメントがインフェルノの着いた事で、敵とみなしたボルケリートは彼に拳で連打した。

ウオーテイル「もらった!!」

アメモントの背後からウオーテイルがウオーテイルハルバートで突いて攻撃した。

光陰命「式神達よ、お行き!!」

光陰命が多数の紙を式神に変え、多数の式神にアメモントにしがみ付かせた。

アメモント「俺一人でやられると大間違いだよ!!」

3人を相手にするアメモントが力いっぱい踏ん張りながら身体にしがみ付いている式神を振り払い、身体でボルケリートに体当たりし、さらに尻尾でウオーテイルを振り払った。

ジエーニー「死になよ!!」

ジェーニーは自分の身体を変幻自在して、斧になり、ソールとウイザーデイと烈陣丸に斬撃した。

烈陣丸「間際らしい事を!!」

烈陣丸が戦烈鬼でジェーニーに斬撃したが、ジェーニーは煙で出来ているため、物理攻撃は一切効いていなかった。

ウイザーデイ「ならば我が魔法はどうじゃ!!」

ウイザーデイが煙で出来ているジェーニーに対し、攻撃攻撃で火を放ち、ジェーニーに喰らわせた。

ジェーニー「攻撃魔法か。やってくれてんじやねえか!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「はああああー!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャックはアラムとジュールと肉弾戦を繰り広げ、ストライクとシンシアは同時にパンチでアラムのパンチとぶつかり合い、フェッターとマジックとジャックはジュールのパワーに対抗するため3人がかりで押し合った。交戦中にビルの上にいるスナイプスがスナイプスライフルでストライクに狙撃した。

一同「ああああっ!!」

アラム達に気を取られて、スナイプスの狙撃を喰らったストライク達。

烈陣丸「遠くからいる狙撃手を倒さねば・・・!!」

ストライク「じゃあ、あたし達がアラムとジュールを引き受ける。フェッターと烈陣丸と光陰命は狙撃手の方をお願い。」

フェッター「わかったわ。烈陣丸、光陰命!!」

烈陣丸「では拙者達は狙撃手を倒しに参りましょう。」

光陰命「ええ。」

アラム達の相手を引き受けたストライク達。ビルの屋上から狙撃するスナイプスを倒しに行くフェッター、烈陣丸、光陰命。

アラム「なら行くぞ、ジエーニー!!」

ジエーニー「あああつ。」

ジュルフ「マナートウ、行くぞ!!」

マナートウ「一発ぶちかますか。」

アラムとジエーニー、ジュルフとマナートウが一体化し、ストライク達に襲いかかった。

ストライク「あたし達も一体化よ!!」

ストライク達4人もボルケリート達と一緒に一体化して、2人に挑んだ。

アラムジエーニーフォーム「こいつでも喰らいな!!」

アラムジエーニーフォームが幻術で姿を変えて大鷲に変身して、爪で引つ掻きかかった。

マジックウィザードイフォーム「プリキュア・ウィザードイスクエアチェーン!!」

マジックウィザードイフォームがいくつかの魔法陣を出現してチェーンを多数放つて、大鷲に変身したアラムジエーニーフォームに攻撃し、動きを捉えた

アラムジエーニーフォーム「動きが!!」

マジックウィザードイフォームのいくつかの魔法陣から放ったチェーンで身体の動きを封じられたアラムジエーニーフォーム。

ジュルフマナートウフォーム「今助けてやる!!」

チェーンで縛り付けたアラムジエーニーフォームを解放すべく、ジュルフマナートウフォームがマナートウクロードで切り裂き、マジックウィザードイフォームに向かっ

て、キックする。

ジュルフマナートウフオーム「プリキュア・マナートウスパイラルキック!!」

ジュルフマナートウフオームが自身を回転しながらマジックウイザーデIFOオームに向かつて突撃してキックで打ち込んだ。

マジックウイザーデIFOオーム「ああああー!!」

ジュルフマナートウフオームの必殺技のキックを打ち込まれたマジックウイザーデIFOオーム。

ジャックウオーテイルフオーム「はああああっ!!」

ジャックウオーテイルフオームが現れて、ジュルフマナートウフオームにウオーテイルハルバートで刺突する。

ジュールフマナートウフォーム「邪魔をするな!!」
ジャックウオーテイルフォーム「はあっ!!」

攻撃吸収出来るジュールフマナートウフォームの右手に装着しているマナートウクローに狙いを付けて、ジャックウオーテイルフォームがウオーテイルハルバートで攻撃した。

ジュールフマナートウフォーム「マナートウクローを狙ってきたか?!ならフォームチェンジだ!!アメモント!!」

アラムジェーニーフォーム「アラミラード!!」

すぐに他のジャステイスヒーローと一体化して、フォームチェンジした。

アラムアラミラードフォーム「死ね!!」

アラミラードのスピードを駆使して強襲にかかるアラムアラミラードフォームがアラミラードドリルアームでマジックウイザーデイフォームとジャックウオーテイル

フォームに向けた。

ストライクボルケリートフォーム「プリキュア・ボルケリートフレイムナツクル!!」

ストライクボルケリートフォームが両手のボルケリートナツクルに火炎を纏いながらアラムアラミラードフォームに殴りにかかった。

アラムアラミラードフォーム「させるかよ!!プリキュア・アラミラードスパイラルブレイカー!!」

アラムアラミラードフォームがアラミラードドリルアームのドリルを発光しながら竜巻を放ち、ストライクボルケリートフォームに攻撃した。

ストライクボルケリートフォーム「はあああああー!!」

両拳に纏った火炎で竜巻に殴り込んで、打ち消した。

シンシアスカヴァフォーム、ジュールファミメントフォーム「はああああー!!」

シンシアスカヴァフォームとジュールファミメントフォームがぶつかり合い、シンシアスカヴァフォームは掌から吹雪を放ち、ジュールファミメントフォームに攻撃した。ジュールファミメントフォームはアメメントアーマーの胴体にワニの顔の口を開いて、強力な光線を放ったが、シンシアスカヴァフォームが氷で形成した虚像で回避された。

ビル

屋上

スナイプス「さて、次こそ仕留めてくれるわ。」

アラム、ジュール達と交戦しているストライク達に再び狙いを定めて照準をし、スナイプスライフルで狙撃しようとした。ところが、フェッターと烈陣丸と光陰命がビルに向かっていてのを偶然目撃した。

スナイプス「気付かれたか!!ならばこやつらから先に変更じゃ!!」

自分の元へ接近してきた事で、ターゲットの変更をし、フエッター達に狙いを定めて照準し、スナイプスライフルで狙撃する。

市街地

フエッター「!!」

早速存在に気付かれたフエッター達は、スナイプスからの狙撃を喰らった!!

フエッター「気付かれみたいね!!」

烈陣丸「このままではやられてしまうでござる。」

光陰命「私の式神で使うしかありません。」

フエッター「どうするの?」

光陰命「この式神でいい考えがあります。」

光陰命は式神を使ってあることを考え、まずは建物の角の間に入り隠れた。

ビル

屋上

スナイプス「ふつ、わざわざ逃げ込んだか。」

建物の角の間に隠れたフェッター達を逃げ込んだと思うスナイプス。建物の角の間から出てきたのはフェッター、烈陣丸、光陰命の3人の姿だ。

スナイプス「死にに來おったか!!」

3人に照準を合わせ、スナイプスライフルで3人まとめて狙撃した。スナイプスの狙撃を受けた3人はそのまま何事もなく倒れた。

スナイプス「やったぞ、ついに仕留めたぞ!!」

勝利を確信したと大喜びをしたスナイプス。だが、彼の背後に狙撃されたフェッター、烈陣丸、光陰命が現れた。

フェッター「残念だったね、さつき狙撃したのは式神で化けた偽者よ。」

スナイプス「なっ、なんじゃと?! なぜいつの間にも!!」

光陰命「私の式神で私達3人の姿に化けさせてあなたを惑わせたのです。」

烈陣丸「勝負あつたな。」

スナイプスが狙撃した3人は、光陰命が式神で化けた偽者で、それを本物と確信して狙撃し、まんまと罠にかかり、式神に化けた3人を倒したと喜んでいる間に本物の3人はビルの屋上へ向かった。

スナイプス「わしを舐めるなよ!!」

スナイプスライフルでフェッター、烈陣丸、光陰命に向けて照準するが、

フェッター「こんな距離から狙撃は無理よ!! 光陰命!!」

光陰命「はい!!」

フェッターは光陰命と一体化して、フェッター光陰命フォームとなつて、スナイプスを倒すべく必殺技を発動する。

フェッター光陰命フォーム「プリキュア光陰命霊札天滅!!」

フェッター光陰命フォームが御札を多数出現して、スナイプスに貼り付けて爆散し、撃破した。

スナイプス「ぐわああああー!!」

フェッター光陰命フォームの必殺技で撃破されたスナイプス。スナイプスが倒された事で、アラムとジュールは自分達のジャスティスヒーローと共に撤退した。

ストライクボルケリートフォーム「戦いも終わったから帰ろう。」

シンシアスカヴァフォーム「帰って、ゆっくり休もう。」

ジャックウオーテイルフォーム「・・・。」

マジックウイザードフォーム「どうしたの?」

ジャックウオーテイルフォーム「何でもない。」

ジャックはこの戦いが何が仕組まれていたのか感じていた。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

研究室

Drイージス「ようやく完成か。私の科学とカロンの魔力で作り上げたリビングデッドマシン。かつてプリキュアに倒された者達の蘇生を。」

カロン「それだけではない、アルフォートからアルフォート人のプリキュアとその配下、そして武者の国の阿苦羅から来た者達が加勢に加わる。」

Drイージスとカロンが作り上げた棺桶型のリビングデッドマシン。アルフォートから来たアルフォート人のプリキュアとその配下、武者の国の阿苦羅から来た者が加勢に加わる。

次回 17話へ続く

第17話 新たな敵の来襲

プリキュアに連敗し続けるジェットームらは、ヴェルアルとドライージスの制裁を受けていた。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

居間

ジェットーム、ザツパード、ドラン・キュラー3世、スラッシュラー、フラーゲン、クラッシュトロイ、ラミィ「どうかお許しください!!」

ドライージス「プリキュアに何回負けた!!もう飽き飽きした!!」

ジェットーム「せめてチャンスを。」

ヴェルアル「言い訳など聞きたくなどない!!新たに貴様らに代わる者を連れてきた。」

ヴェルアルとドライージスはプリキュアに連敗し続けて来たジェットームに代わる

新たな侵略部隊のメンバーを連れて来た。

一同「!!」

2人が連れて来たメンバーに驚くジェットムら。その中で武者2人と忍者と黒い戦闘スーツの姿をした人物に驚く。

阿修羅弁慶「拙者の名は阿修羅弁慶でござる。」

忍里丸「拙者は忍里丸。我らは亜苦羅の主である安田野悪炉血様の命で派遣されたでござる。」

宗司「俺は仁戦組一番隊の沖野宗司だ。」

スノーダーク「俺の名はスノーダークだ。」

ザップード「亜苦羅って、あの武者の国の?!」

Drījis「そうだ、わざわざ同盟している亜苦羅に頼み込んだんだ。お前達の不甲斐なさに。」

クレア、アルス、バイソック「・・・。」

Drījis「おっと忘れていな。クレア、アルス、バイソック。」

クレア「相変わらずだな、D r i e j s、ヴェルアル。」

ヴェルアル「アルフォート人の貴様がお出にかかるとはな。」

クレア「人間界に新しいプリキュアがいると聞いてね。」

アルス「そいつがどんな奴か見てみたいんだよ。」

バイソック「早く戦ってみてえんだ。」

クレア「意気込んでいるな。」

ヴェルアル「お前達が動くとなると期待は見込めるな。」

カロン「私も入れてもらおうか。」

D r i e j s「カロン。」

カロン「お前と私が開発したりビングゲッドマシンの性能を試せる機会だ。イージ

ス、お前も一緒に行かないか？」

D r i e j s「プリキュアか、一度はお目にかかってみたいものだ。」

阿修羅弁慶「拙者にはある者に会わねばならぬ。」

D r i e j s「ある者？」

阿修羅弁慶「10年前に姿を消した光川家の娘だ。」

D r i e j s「亜苦羅の前將軍の生き残りが生きていたのか？」

阿修羅弁慶「奴とは因縁があるでござる。」

D r i i j i s 「奴とは。」

阿修羅弁慶 「その者とは……。」

阿修羅弁慶からその人物の名を聞かされたD r i i j i sは、

D r i i j i s 「なるほど、あのプリキュアか。」

スノーダーク 「俺にも会いたい奴がいる。」

D r i i j i s 「会いたいやつ？」

スノーダーク 「奴らに会えば彼に会える。」

ヴェルアル 「そろそろ行くのか？」

D r i i j i s 「ああ、私とカロンは彼らを連れてプリキュアに会いに行くよ。」

カロン 「プリキュアを見るのは10年ぶりか。」

クレア 「では行ってくる。」

D r i i j i sは自ら人間界へ向けて、カロンとクレアとアルスとバイソックと亜苦羅から来た阿修羅弁慶と忍里丸と宗司と共に出撃した。

パラレルワールド

人間界

あさぎ市

アリーナ学園

小等部

教室

アイカ「はるな、何だか暑くなってきたね。」

はるな「そろそろ夏だし、暑くなってくるね。」

人間界では季節が夏になり、気温も暑くなり、これから暑い日々を過ごす事になる。

アイカ「後一ヶ月で7月だね。」

はるな「そうだね。7月でいたい事は海と夏祭りくらいかな？」

アイカ「早く7月になってみんなと夏休みを過ごしたい。」

すでに来月の事まで考えている2人は7月から始まる夏休みの事も膨れ上がり、小学生である2人にとって一番の楽しみであった。

はるか「2人ともまだ先の事は早いよ。」

アイカ、はるな「はるか先生。」

はるか「夏休みを楽しむなら宿題もばばっと出すからね。」

アイカ、はるな「ええー、宿題はー。」

トットム「全くなもんだぜ。」

ペル「お二人は夏休みと言うのが楽しみみたいですな。」

アーニヤ「これから暑くなるみたいですわね。」

こうして、2人とトットムとペルとアーニヤは学校を出て、同じく下校している麗奈と沙耶歌と海と合流して、街まで寄り道をし、カフェでお茶などを頼んで満喫した。

市街地

カフェ

アイカ「くー、ここで冷たいアイスクリームを食べてすつきりするー。」

はるな「暑い日には冷たいのを食べるのが一番ね。」

咲耶歌「もう夏って感じだね。」

海「もうすっかり夏の気分ね。」

麗奈「……。」

アイカ「麗奈さん？」

麗奈「何でもないわ。ちよつと考え事をしていたの。」

アイカ「……。」

麗奈は何でもないといい、アイカは麗奈の表情が少し切なそうな表情をしている事で何かあると気付いた。そして店から出た5人は、帰宅しようとする。

市街地

咲耶歌「あー、美味しかった。」

海「アイス、美味しかったね。」

はるな「暑い日には丁度だね。」

アイカ「食べて涼しくなったよ。」

麗奈「……。」

咲耶歌「麗奈さん、さつきから元気がないけどどうしたんですか？」

麗奈「……。」

麗奈の様子に気にかけて咲耶歌は声をかけたが、何も答えなかった。

海「何かあったんですか？」

はるな「麗奈さん。」

麗奈「……。」

はるなや海からも声をかけたが、それでも答えようとしなかった。そんな中、彼女達の前にD r i e j sとカロンが現れた。

D r i e j s「これはこれはお目にかかり光栄だ、プリキュア。」

カロン「お前達が新しいプリキュアか？」

アイカ「誰？」

咲耶歌「あなた達インフェルノの仲間でしょ？」

カロン「その通りだ、我々2人は怪魔界インフェルノの最高幹部だ。」

はるな「最高幹部?!」

Drījis「私の名はDrījis。インフェルノの科学者。」
カロン「私の名はカロン。ハデユス様の腹心だ。」

麗奈「!!」

2人の名を聞いた麗奈は突如、拳銃を出して2人に射撃した。

アイカ「麗奈さん?!」

麗奈「ハデユスはどこだ?!」

カロン「貴様、亜苦羅の前將軍の光川家の生き残りか。」

咲耶歌「亜苦羅?!」

麗奈「……。」

海「生き残りって?」

阿修羅弁慶「その女は、亜苦羅の前將軍の定長の娘だ。」

彼女達の前に突如と現れた阿修羅弁慶。

麗奈「おっ、お前は、鬼丸!!」

阿修羅弁慶「久しぶりだったな、麗奈。」

麗奈「その家紋は悪炬血に下ったのか?！」

阿修羅弁慶「そう、悪炬血によって亜苦羅は素晴らしい国となったのだ。」

麗奈「ふざけるな!! 悪炬血は父上を殺し、国をハデユスとゴウガイに売国した奴だぞ!!」

阿修羅弁慶「麗奈、何故悪炬血様の素晴らしさがわからぬか?」

麗奈「悪炬血を信じるお前がおかしいだろ!! 奴が何をしたのかわかっているのか?！」

阿修羅弁慶「血迷っているのか。」

カロン「まあいい、他の者達も紹介しよう。来い!!」

カロンの号令に呼びに現れた麗奈と阿修羅弁慶と同じ亜苦羅の出身の宗司、アルフォート出身のクレアとその配下のアルスとバイソック、スノーダークが現れた。

宗司「俺は仁戦組一番隊の沖野宗司だ。」

クレア「私はクレア||ベルリーニ。」

アルス「俺はアルスだ。」

バイソック「俺の名はバイソックだ。」

スノーダーク「俺はスノーダークだ。」

カロンの背後から5人揃いと現れた宗司、クレア、アルス、バイソック、スノーダーク。

アイカ「新手?!」

はるな「インフェルノの新しい仲間ね。」

阿修羅弁慶以外にも新手の5人の幹部にも驚くアイカ達。そんな中、海のヒーローライドジュエルファイツが突如、スノーダークの姿を見て反応し始めた。

海「ファイツ？」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「まさか、そんな……。」

スノーダーク「久しぶりだったな、ハロルド。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「リッキー。」

スノーダークが会いたがった人物は何とファイツだった、2人は一体どんな関係なの

だ。

スノーダーク「お前がプリキュアにいるとは。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「リツキー、君は死んだはずじゃ……。」

スノーダーク「今の名はスノーダークだ。俺はインフェルノの兵士として戦っている。」

ファイツ「リツキー……。」

かつての親友がインフェルノの兵士として戦っている事に思わず愕然とするファイツは、彼が敵として再び現れた事で信じれない出来ごとだ。

咲耶歌「みんな、すぐにプリキュアに変身しよう!!」

新たな敵が目の前に現れ、アイカ達はすぐにプリキュアに変身するため、キュアアトフォンチェンジャー、プリキュライドジュエルを出して刺し、変身する。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアトフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海は全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、プリキュアとなった。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「・・・。」

ドリージス「ようやく変身したか。なら、ついでにあれも出そう。」

アイカ達5人がプリキュアに変身した事で、ドリージスはカロンと共同で開発したリビングデッドマシンを5つ用意した。

ストライク「何?！」

ジャック「棺桶？」

カロン「さあ、甦れ。プリキュア達に倒された邪悪な者達よ。今ここに復活をするのだ!!」

5つのリビングゲテッドマシンの中から開いて現れたのは、かつて歴代プリキュアに倒された幹部達だ。

マジック「何?!」

シンシア「何なの?!」

5つのリビングゲテッドマシンから現れたその幹部達は、かつてブラックとホワイトに倒されたドクツゾーンの幹部であるピーサード、ブルームとイーグレットに倒されたダークフォールのカレハーン、ラビリンズ最高幹部のノーザ、バッドエンド王国のウルフルン、幻影帝国のオレスキーだ。

ピーサード「我が名はピーサード。」

カレハーン「俺の名はカレハーン。」

ノーザ「私はノーザ。」

ウルフルン「俺の名はウルフルンだ。」

オレスキー「俺はオレスキーだ。」

リビングゲデッドマシンから現れたプリキュアにかつて倒された幹部達は、ノーザ以外の4人はかつての従来の感情がなく、まるでゾンビのような感情がなく冷たい表情をしている。

ストライク「何あれ?！」

トットム「あれはプリキュアに倒された幹部だ!!」

ペル「全員、姿は本物です!!」

シンシア「なぎささん達が倒した敵達……」

アーニヤ「あの5人のうち2人は正しく浄化されて元に戻ったはずであります!!」

ドライージス「言い忘れていたがウルフルン、オレスキーは浄化されて残った邪悪をリビングゲデッドマシンで呼び寄せたのだよ。」

マジック「何て酷い事を。」

アルス「言っている暇があるなら今から攻めてやるぜ!!」

早速、動き出しにかかったインフェルノの新手がストライク達に襲いかかってきた。

ストライク、シンシア、マジック、ジャック「ヒーローライドジュエル!!」

4人は早速ヒーローライドジュエルを出して、アイゼンアロイス、ボルケリート、フェアリール、スカヴァ、ソール、ヴィザードイ、ファイツ、ウォーテイルを召喚した。

クレア「これがお前達のジャステイスヒーローか。面白い、ならば私もお前達と同じジャステイスヒーローを呼び出してやる、ヒーローライドジュエル!!」

クレアはストライク達と同じキュアートフォンチェンジャーを出し、3つのヒーローライドジュエルを出しながら連続で刺して、ジャステイスヒーロー3人召喚した。

ミラーシエナ「久しぶりのようね、アイゼンアロイス。」

エスパキネス「随分相変わらずのようだな、ソール。」

ワプニオン「お前達と会うのは久しぶりだな。」

クレアが召喚した3人のジャステイスヒーロー、鏡による攻撃を得意とするミラーシエナ、超能力を使うエスパキネス、瞬間移動であらゆる地形に移動が可能なワプニオンだ。

アイゼンアロイス「ミラーシエナ、エスパキネス、ワプニオン、お前達までインフェルノにか?！」

ミラーシエナ「自然を破壊する人間共が許せないからよ!!」

エスパキネス「我々もジェーニー達同様自分達の意志でインフェルノに着いた。」

ワプニオン「お前達の敵だ。」

ソール「インフェルノに着いた以上、お前達を敵とみなす!!」

同じジャステイスヒーロー同士対決をするアイゼンアロイス達。

ストライク、シンシア「はあああつ!!」

ストライクとシンシアがアルスとバイソックとノーザと交戦し、3人相手に繰り広げ

た。

アルス「行くぜえ!!」

アルスが足を飛び跳ねて、自身の身体を活かしてストライクに向かって体当たりする。

ストライク「!!」

アルスの体当たりを両手で掴んでジャーマンスープレックスで地面でぶち込んだ。

アルス「舐めんじゃねえ!!」

すぐに立ち上がったアルスがストライクにパンチで連打した。

バイソック「オラオラオラー!!」

シンシア「たああああっ!!」

シンシアが突進で襲いかかるバイソックをジャンプして上からキックで打ち込んだ。

ノーザ「はあっ!!」

ノーザは地面から植物の蔓をいくつか出現して、ストライクとシンシアに向けて攻撃する。

ボルケリート、スカヴァ「!!」

ボルケリートとスカヴァがノーザの植物の蔓を振り払い、ボルケリートが火炎球、スカヴァが吹雪で蔓を払った。

ノーザ「あなた達がジャステイスヒーローね。」

ボルケリート「お前、かつて倒された敵の1人だな。」

スカヴァ「あなたからとつもない邪気を感じる。」

ノーザ「いかにも、私がこうして現世に蘇る事が出来たのよ。それにあの2人のプリ

キュア、どこか私が戦った2人に似ているのよ。」

ノーザはストライクとシンシアの姿を見て、自分がかつて戦っている2人に似ている
と思ひ出す。またその2人にも興味を持ち始めた。

アイゼンアロイス「こいつを喰らえ!!」

アイゼンアロイスが掌からビームを発射して、ミラーシエナに攻撃をした。

ミラーシエナ「うふ。」

アイゼンアロイスの発射したビームに対し、ミラーシールドを出して反射し、アイゼ
ンアロイスに返した。

アイゼンアロイス「うっ!!」

フェアリアル「アイゼンアロイス!!」

ミラーシエナ「私の鏡はあらゆる攻撃を跳ね返したりするのよ。」

アイゼンアロイス「くっ、厄介だ。」

フェアリール「迂闊に戦えないね。」

ミラーシエナ「じゃあ私も攻撃してあげる。」

ミラーシエナの能力は鏡による反射であらゆる攻撃を跳ね返し、さらに彼女のミラーシールドから光波を発射して、アイゼンアロイスとフェアリールに攻撃した。

ソール「我が雷を受けよ!!」

ソールがミヨルニアに雷を集中しながら、強力な雷光をエスパネスに放ったが、

エスパネス「はあっ!!」

両手を前に合わせて、超能力の念でサイコキネシスで形成したバリアで防いだ。

エスパネス「これだけではない!!」

超能力によるパイロキネシスで、ソールの元に火を起こした。

ソール「ぐわああああっ!!」

エスパネスが引き起こしたパイロキネシスで火だるまになるソール。

ウオーテイル「はああああー!!」

ワプニオンに向かって、ウオーテイルハルバートで刺突しにかかるウオーテイル。彼女の槍を交わすべく、瞬間移動した。

ウオーテイル「かわした?!」

だが、ウオーテイルの真上から異空間の穴が開いて、光弾が降り注いだ。

ウオーテイル「きゃああああー!!」

ワプニオン「私はあらゆる方向からでも攻撃は出来るんだ。」
ウイザーデイ「ならば我が魔法を受けよ!!」

ウイザーデイが自身の得意な魔法で、瞬間移動するワプニオンに対し、いくつかの魔法陣を出現してチェーンを多数放った。

ワプニオン「!!」

ウイザーデイの放ったいくつかのチェーンをすぐに瞬間移動で回避してかわした。

ファイツ「リツキー、何故こんな事に・・・!!」

かつての親友と交戦する事になったファイツは、目の前の親友を相手に戦う事が辛く感じた。

スノーダーク「ふっ!!」

スノーダークは、かつての親友だったファイツにキックで打ち込み、さらにコンバットナイフを出して斬撃する。

ファイツ「くっっ!!」

スノーダークのコンバットナイフの斬撃をジャステイスシールドで防御し、盾でそのまた体当たりした。

マジック、ジャック「プリキュライドチェンジオールスターズ!!」

マジックはドリーム、プロツサム、ハツピー、ミラクル、ホイップのプリキュライドジュエルをマジックステッキスピア、ジャックはベリー、マリン、ビューティ、マジカル、ジェラートのプリキュライドジュエルをジャックステッキスピアを装着しながら分身した合計10人に2人のそれぞれステッキスピアに装着したプリキュライドジュエルが発動し、分身体が変身し、宗司、ピーサード、カレハーン、ウルフルン、オレスキーに挑んだ。

ドリームマジック、ベリージャック「はああああー!!」

ドリームマジックとベリージャックは宗司を相手に交戦する。ドリームマジックがパンチを繰り出しながら宗司に喰らわせ、ベリージャックがベリーソードで斬撃した。

宗司「この程度か、俺の剣技を受けろ!!」

自身の刀でドリームマジックとベリーソードの攻撃を防ぎ、刀で2人をまとめて一閃の如く斬撃した。

マジックミラクル、マジカルジャック「はあっ!!」

マジックミラクルとマジカルジャックはピーソードを相手に戦い、2人は息合ったコンピネーションを繰り広げながらピーソードを追い詰めたが、

ピーソード「この程度か？」

2人の攻撃が全く効いておらず、ピーサードが2人をまとめてぶち込んだ。

ハッピーマジック「プリキュア・ハッピーシャワー!!」

ビューティジャック「プリキュア・ビューティブリザード!!」

2人はウルフルンに向かって、必殺技を同時に放ったが、

ウルフルン「そんなもん、丸見えなんだよ!!」

爪で2人の必殺技を振り払いながらハッピーマジックとビューティジャックもまとめて攻撃した。

ホイップマジック、ジェラートジャック「えいつ!!」

ホイップマジックとジェラートジャックがクリームエネルギーでオレスキーを拘束したが、

オレスキー「そんな程度では俺を倒せんな!!」

2人の放ったクリームエネルギーをそのまま力いっぱいぶち破りながら2人に直接パンチした。

ブロッサムマジック、マリンジヤック「ダブル・プリキュア・パンチ!!」

2人が同時にパンチを出して、カレハーンに打ち込んだ。

カレハーン「俺をそんな程度で倒せると思うな!!」

ブロッサムマジックとマリンジヤックに大量の枯葉の嵐を呼び起こして、2人をまとめて蹴散らした。

フエッター「はああああー!!」

かつての友である鬼丸如く阿修羅弁慶とぶつかり合うフエッター。フエッターが

キユアカタナテツポウ刀モードで、阿修羅弁慶の真上から斬りかかった。

阿修羅弁慶 「甘いな!!」

左右の肩から現れた腕で棍棒、槍、ハンマー、小太刀をそれぞれ持ったまま、フェッターの攻撃を受け止めた。

フェッター 「鬼丸、その姿?!」

阿修羅弁慶 「俺はD r i e e j s によつて改造されてサイボーグとなった、お前を倒すために!!」

フェッター 「お前、インフェルノに魂を売つたのか?!」

阿修羅弁慶 「お前を倒すためにサイボーグになったんだ!!」

フェッター 「武士の情けを捨てた事を恥を知れ!!」

阿修羅弁慶がD r i e e j s の手によりサイボーグとなり、サイボーグとなった彼は、左右の両肩に4本の腕を授かり、身体の全身も機械化し、心は人のまま、だがその心はフェッターを倒すと言う強い執念を燃やしていた。

阿修羅弁慶「死ね!! 阿修羅猛進撃!!」

右手の薙刀と左手の大太刀と左右の両肩の4本の腕に持っている棍棒、槍、ハンマー、小太刀と共に前に向けて、両脚に内蔵された小型ブースターで加速し、フェッターに突撃した。

フェッター「あああああー!!」

阿修羅弁慶の6本の武器による突撃を喰らって蹴散らされたフェッター。新手の幹部と復活した歴代幹部達に追い詰められたプリキュア達。

ストライク、シンシア、マジック、ジャック「あああああー!!」

アルス達に猛威を振るわされ、ストライク達は窮地に陥った。

アルス「アルスステイングヘアー!!」

アルスは自身の髪を伸ばしながら先端を尖った状態でストライク達に喰らわせた。圧倒的に追い詰められたストライク達は果たしてどうなる。

次回 18話へ

第18話 絶望の戦い

インフェルノの新たな幹部の出現により窮地に陥ったストライク達。

あさぎ市

市街地

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「うっ、あああつ。」

アルス達に圧倒されてやられてしまったストライク達。

アルス「さて、どう始末するか。」

倒れたストライク達にとどめを刺そうとするアルス達。

アイゼンアロイス「させるか!!」

アイゼンアロイス達ジャスティスヒーローがアルス達に攻撃を加えて、倒れているストライク達を回収してすぐに撤退した。

バイソツク「逃げやがったか。」

宗司「逃げ足は速いか。」

阿修羅弁慶「こんな時のために忍里丸を追跡させておいた。奴らの居場所を見つけるためにだ。」

ノーザ「ちよつといいかしら?」

D r i ー ジ ス 「 ? 」

ノーザはD r i ー ジ スにある事で話をし出した。逃走したストライク達の居場所を見つけるために忍里丸が追跡をする。W J G地下秘密基地へアイカ達を運んだアイゼンアロイス達。

W J G地下秘密基地

ブリーフィンルーム

マリーシエ「これは一体?!」

マリーシエらはアイゼンアロイス達ジャステイスヒーローがアイカ達を連れて来た事に驚き、事情を知った。

由紀「インフェルノの新しい幹部。」

アイゼンアロイス「それだけじゃない、かつて倒した敵も蘇って大変だった。」

ソール「私達と同じジャステイスヒーローもあっち側に。」

マリーシエ「インフェルノもかなり手強くなってきたようですね。」

由紀「インフェルノがより本格的にプリキュアを排除しにかかってきたようね。」

マリーシエ「向こうはプリキュアに何度も敗れてきたことで新手を出してきたわけですね。」

アイカ「あんなに強い敵は初めてだよ。」

はるな「今まで戦った敵でこんなに強かったの初めてよ。」

咲耶歌「今まで先輩プリキュアが倒した敵がこんなに手強かったなんて。」

海「麗奈さん、さっきの人はあなたの……。」

麗奈「私の事は触れないで。」

海「えっ。」

麗奈「いいから触れないで!!」

海「……………」

海は先の麗奈が戦った相手の間こうとしたら彼女に拒否された。彼女がこの世界の人間でない事で、彼女が一体どんな人間だったのか気になり始めた。

ファイツ「……………」

海「ファイツ、あなたもさつき戦った相手は……………」

ファイツ「彼は私の親友だった。」

海「親友?」

ファイツ「人間だった頃の私の親友だ。」

さつきの戦いで会ったスノーダーク如くりツキーはファイツの人間時代の親友であり、彼が何故インフェルノにいたのか動揺した。彼女達がこの地下秘密基地に忍び寄る魔の手が迫っている事に気付いていなかった。

あさぎ市役所

外

忍里丸「ここが奴らの居場所か。」

アイゼンアロイスを追跡してやってきた忍里丸。あさぎ市役所のどこかにいると悟り、まず一般人に変装し、市役所の中に入った。

受付ルーム

忍里丸「……。」

一般人に変装したら忍里丸は、まず市役所内を歩き回った。

忍里丸「(まずこの姿では気付かれていないようだな。それとこの市役所で働いている人間達は奴らの居場所の事に気付いてないようだな。)」

市役所内全体を歩き回る忍里丸は一般人として変装している以上、誰にも気付かれていなかった。市役所内を歩いて回りながらある場所に目を付けた、それは市長室だ。市長室に居場所があると気付いた忍里丸は、すぐに市長室へ向かい、入り込んだ。

市長室

忍里丸「誰もいないか。調べてみる必要はあるな。」

誰もいない市長室へ入り込んだ忍里丸は、部屋に怪しいところがないか調べ始めた。そうしたらそこにエレベーターを発見した。

忍里丸「あれは？ 奴らの居場所がこの下にあるのか。」

エレベーターに目を付けた忍里丸は、下に居場所があると気づき、エレベーターへ入り込んで下へ進んだ。

W J G 地下秘密基地

忍里丸「!!」

エレベーターで下へ降りて着いた忍里丸は、ここがW J Gの地下秘密基地だと知り、さらに遠くにアイカ達の姿も見つけた。だが、姿は一般人のままだと見つかってしま

う。怪しまれないよう行動をするため、元の姿に戻り、身に着けている鎧のステルス機能で姿を消して、行動を取り始めた。

麗奈「?!」

沙耶歌「どうしたの？」

麗奈「何でもないわ。」

麗奈はこの地下秘密基地に誰かが入り込んだ気配を取ったが、その気配が突然消えてしまい、気を感じ取れなかった。この地下秘密基地に侵入者がすでに来ている事に。ステルス機能で姿を消した忍里丸は、場所を見つけてD r i e e j s 達に報告をした。

忍里丸「場所はこの町の市役所の地下だ。」

D r i e e j s (通信)「わかった、こちらへすぐに向かう。ワプニオンの瞬間移動ですぐに到着して攻撃する。」

地下基地の存在を知ったD r i e e j s はワプニオンの瞬間移動で到着して奇襲を仕掛ける事に行動を開始する。

ブリーフィングルーム

アイカ「ねえ、アイゼンアロイス。」

アイゼンアロイス「何だ？」

アイカ「さっき戦った他のジャステイスヒーロー何だけど、彼らも最初は同じ仲間だったの？」

アイゼンアロイス「ああ、ミラーシエナ、エスパネス、ワプニオン、そしてジェーニー、アラミラード、アムムント、マナートウも同じ仲間だった。彼らは平和を愛し、誰よりも人々を守り続けてきた。だが自然環境破壊や戦争や格差などで人々に絶望し、彼らは姿を消した。そして再会した時はインフェルノに着いていた。」

アイカ「彼らも同じだったんだ。」

アイゼンアロイス「人々を守って来た彼らが人間社会の闇を知って絶望したのに無理はない。」

アイカ「ねえ、アイゼンアロイス。」

アイゼンアロイス「何だ？」

アイカ「アイゼンアロイスは人間だった頃は何かした？」

アイゼンアロイス「……。」

アイカ「アイゼンアロイス。」

アイゼンアロイス「今は言えない。俺も人間だった頃は立派な罪人の1人だ。」

人間だった頃のアイゼンアロイスは立派な罪人の1人だと、彼が一体どんな罪を犯し、何をしたのか？

はるな「……。」

フェアリール「どうしたの？」

はるな「アイゼンアロイスやソールやファイツや暗い事を抱えてるんだ。フェアリールは？」

フェアリール「私は彼らみたいな暗い事はないわ。私はそんな彼らの辛い事を考える気持ちかわかるの。」

はるな「麗奈さんや烈陣丸や光陰明は何の過去かあったのか？」

フェアリール「麗奈がこの世界の人間じゃないって彼女は……。」

麗奈がこの世界の人間でなく、別世界の人間だった事、彼女がどうやって来たのか。その時、この地下秘密基地に爆発がした。

一同「!!」

由紀「まさか、インフェルノがこの地下秘密基地に?！」

麗奈「急ぐわ!!」

この地下秘密基地にインフェルノが突如襲撃して来た事ですぐに向かったアイカ達。地下秘密基地の格納庫では、忍里丸の情報で居場所を知って、ワプニオンの瞬間移動で到着して、一気に襲撃した。

格納庫

W J G 隊員1「うわああああー!!」

この地下秘密基地に現れたインフェルノの幹部達の襲撃を受けるW J Gの隊員達。

W J G 隊員2「このっ!!」

必死でインフェルノの幹部らに抵抗すべく銃で応戦するW J G 隊員ら。だが通常武

器では、インフェルノの幹部らの前では豆鉄砲のようにしか全く効いていなかった。

阿修羅弁慶「はあっ!!」

6本の腕を持つ阿修羅弁慶が手に持った6つの武器でWJG隊員を蹴散らした。

宗司「一刀流、滝一閃!!」

宗司は自身の持つ刀の菊花丸を片手に持って真上から刀を下ろして、WJG隊員を一閃した。地下秘密基地は、インフェルノの襲撃によって、全体が混乱し、陥った。

アルス「基地を潰せばおしまいだな!!」

ストライク「インフェルノ!!」

すぐに駆けつけに現れ、プリキュアに変身したストライク達。

Drīジス「また会えて光栄だ、プリキュア。」

ストライク「どうやってここに?!」

Drīジス「君達が逃走した後、忍里丸に追跡させて、場所を特定させてもらった。」
フェッター「やはり忍里丸を着けさせていたか!!」

忍里丸「お見事だ、拙者の隠密行動を気付くとは、だがもう遅い!!」

フェッター「地下秘密基地が戦場になるなんて。」

マリーシエ「私は市長と共に他の隊員達や上にいると職員や一般人を連れて避難するわ。」

マジック「お願いします。」

マリーシエは由紀と共にWJG隊員と上にいる職員と一般人を連れて非難し、ストライク達は地下秘密基地に現れたインフェルノの幹部らと交戦する。

ノーザ「また会えたわね、2人のプリキュア。」

ストライクとシンシアに急接近でかかってきたノーザが背中から植物の蔓を出して、攻撃してきた。

ストライク、シンシア「はああああー!!」

2人はキュアブレードマグナム出して、剣モードでノーザの植物の蔓を切り払い、銃モードに変形して射撃した。

ノーザ「あなた達2人はあの2人の娘だったようね。」

ストライク、シンシア「!!」

ノーザはストライクとシンシアが自分がかつて戦ったピーチとパッションの娘だと知り、その2人がプリキュアだった事に目をつけて来た。

ストライク「何でそれを知っているの……。」

ノーザ「あなた達2人を見て気付いたの。D r i j sにも話してみたの。あの2人は敗れて捕まり、そしてあなた達2人があの2人の娘だと知っておどろいたわ。」

ストライク、シンシア「!!」

ノーザが2人の母がかつて戦った敵でありながら、自分2人が娘だと知られ、ストラ

イクとシンシアは感情的になって、ノーザを攻撃した。

ノーザ「ムキになってるわね。」

感情的になった2人を上手くに挑発に乗せたノーザは、2人に対し、アルスとバイソックに攻撃を任せた。

アルス「こいつを喰らいな!!」

アルスがジャンプして空中キックでストライクに打ち込んだ。

バイソック「バイソックチャージ!!」

バイソックが走りながら頭の角でシンシアに向けて突撃して体当たりした。

アイゼンアロイス「ストライク、シンシア!!」

ノーザの挑発に乗せられて感情的になったストライクとシンシアの元へすぐに駆けつけに行くアイゼンアロイスとフェアリール。

ミラーシエナ「通さないよ。」

ボルケリート「お前のは相手は俺とスカヴァアがしてやる!!」アイゼンアロイス、フェアリールの前にミラーシエナが現れたが、ボルケリートとスカヴァアが駆けつけて、彼女の相手を引き受けて、アイゼンアロイスとフェアリールをノーザの挑発を受けたストライクとシンシアに向かわせた。

スカヴァア「凍りつかせてあげる!!」

掌から冷気のビームを放ち、ミラーシエナに攻撃した。だが、ミラーシエナは鏡を前に出して、スカヴァアのビームを跳ね返し、喰らわせて逆に凍らせた。

ボルケリート「スカヴァア!!」

ミラーシエナの鏡による反射で自身の攻撃で凍ってしまったスカヴァアに対し、ボルケ

リートは、ミラーシエナに殴りにかかった。だが、ミラーシエナは、鏡を剣に変形して、ボルケリートに斬撃し、さらに彼女の身につけていた下半身のスカート部のアーマーから4基のビットが放出して、ボルケリートに攻撃した。

エスパネス「我が超能力を受けよ!!」

ソールと再び交戦するエスパネスは、地下秘密基地の格納庫にある物を念力で持ち上げながらソールに向けてぶつけにかかった。

ソール「!!」

エスパネスの念力で動かした物をミョルニアで振り払い、雷を纏いながら打撃した。

エスパネス「私を舐めては困るんだよ!!」

両手から超能力を強いた光線をソールに向けて放ち、攻撃した。

ファイツ「リツキー!!」

スノーダーク「今の名はスノーダークだ!!」

リツキーだったスノーダークと戦うファイツは、彼のコンバットナイフから繰り出す斬撃をジャステイスシールドで防いだが、リツキーが右手甲に仕込まれたベアクローを出刃して、ファイツに叩き込んだ。

ワプニオン「動きが見え見えよ!!」

瞬間移動で駆使するワプニオンは、ウオーテイルとウイザーデイをあらゆる場所で瞬間移動でしながら攻撃し、2人を追い詰めた。

マジック、ジャック「あああああー!!」

マジックとジャックは、ピーサード、カレハーン、ウルフルン、オレスキーら再生幹部と宗司を相手に戦うが、歴戦の幹部である4人の強さと宗司の繰り出す剣技に圧倒され、追い詰められた。

宗司「真旋斬!!」

宗司は菊花丸を右手に持ったまま360度回しながら、回した刀から風斬を発生して、マジックとジャックに斬りつけた。

フェッター烈陣フォーム「鬼丸!!」

阿修羅弁慶「麗奈、貴様をここで討ち取ってくれる!!」

阿修羅弁慶とぶつかり合うフェッターは、烈陣フォームとなって、戦烈鬼を手に持ちながら必殺技を発動しながら斬撃にかかった。

フェッター烈陣フォーム「プリキュア飛翔閃月!!」

戦烈鬼を手に持ったまま刀身を発光し、敵に向かってダッシュして斬撃し、阿修羅弁慶を上に乗ばして、自身も昇りながら斬撃したが、

阿修羅弁慶「甘いな!!」

6本の腕に持っている武器で、フェッター烈陣フォームの必殺技を防御した。

フェッター烈陣フォーム「何?!」

阿修羅弁慶「喰らえ、阿修羅乱撃破!!」

6本の腕に持っている薙刀、大太刀、棍棒、槍、ハンマー、小太刀でフェッター烈陣フォームに向けて、真っ向から連続突きをした。

フェッター烈陣フォーム「あああああー!!」

阿修羅弁慶の6本の腕に持っている武器の連続突きを喰らったフェッター烈陣フォーム。

ストライク、シンシア「わあああああー!!」

ノーザの挑発を受けて我を失って感情的になったストライクとシンシアは、自暴自棄になってアルスとバイソックに攻撃したが、

アルス「乱れてんじや意味がねえな!!」

冷静さを失い、感情的になったストライクとシンシアにアルスが2人まとめてボディプレスをし、パンチで連打した。

バイソック「死ねえ!!」

バイソックが勢いよく走りながら2人に向かって思いつきり突進した。

ストライク、シンシア「うわあああああー!!」

アルスの格闘とバイソックの突進を喰らったストライクとシンシア。

アイゼンアロイス「2人とも冷静になれ!!」

フェアリール「落ち着いて、2人とも!!」

ノーザ「無駄よ、あの2人は母親の事を思い出すと冷静を失うようだよ。無様ね。」

アイゼンアロイス「お前が2人を!!」

フェアリール「2人の辛い事を思い出させるなんて!!」

ノーザ「2人の哀れな姿を指を加えていなさい。」

ノーザは植物の種を放出して、アイゼンアロイスとフェアリールに爆発させた。

アイゼンアロイス「こいつ!!」

掌からビームを発射してノーザに攻撃した。

ノーザ「あなた、過去に罪を犯したそうね。」

アイゼンアロイス「!!」

ノーザ「あら、本当の言われてあなたもあの2人みたいなるわね。」

アイゼンアロイス「黙れ!!」

ノーザ「いいわね、その顔。あなたにピッタリね。」

アイゼンアロイス「黙れ!!」

ノーザに過去の事を気付かれて感情的になったアイゼンアロイスはビームを連射して攻撃した。戦いはインフェルノの優勢し、プリキュア達を圧倒した。

フェッター、マジック、ジャック「あつ、ああああつ。」

ボルケリート、スカヴァ、ソール、ファイツ、ウオーテイル、ウイザーデイ「うっ、くうっ!!」

敵の強さ、過去の関わりを持つ相手に敗れてしまい、力尽きてしまったフェッター達。

アルス「トドメを刺してやるぜ!!」

冷静さを失い感情的になったストライクとシンシアを上投げ飛ばして、アルスがジャンプして、2人を両脚で力強く挟んで、両手で2人の足を強く掴んだまま地上に急

降下する。

アルス「アルス・ザ・バスター!!」

空中から急降下したまま両脚で力強く挟んだストライクとシンシアを地面に思いつきりぶつけて、直撃した。

ストライク、シンシア「うわああああー!!」

アルスの必殺技によって、地面に叩き込まれて直撃したストライクとシンシアはやられてしまった。地下秘密基地に進撃したインフェルノによって追い詰められたプリキュア達。はたして、どうなる。

D r i e e j i s 「トドメと行こうか。」

倒れたプリキュア、ジャステイスヒーローにトドメを刺そうとするD r i e e j i s 達。その時、彼らに石のような蝶が多数放たれた。

D r i j s 「!!」

すぐにそれを振り払ったD r i j sは、すると目の前に1人の人物が現れた。

クイーン「……。」

カロン「何だ、お前は?!」

クイーン「私の名はキュアクイーン。みんなの未来を守るために私は現れたの。あなた達インフェルノの相手は私がするわ。」

次回 19話へ

設定4

プリキュア

周防文（14）／キュアクイーン

CV：石川由依（進撃の巨人のミカサ・アツカーマン）

中学2年生。栗色の短髪が特徴で、成績は優秀で運動も得意。ファイナルウォードで両親を亡くし、孤児院『ひまわり』でシスターに育てられて、その影響で優しい性格であり、困っている人の手助けや子供達の面倒を見たりしている。だけど怒ると怖い。ある日、偶然シャイニールミナスのプリキュアライドジュエルを拾い、光の中に包まれ、ファイナルウォードで消滅したルミナス本人と出会う。

p i x i v の桔梗さんのオリキュアより

キュアクイーン

周防文が変身したプリキュア。変身アイテムはキュアアートフォンチェンジャーとプリキュアライドジュエルクイーン。両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール。衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレス

で、頭にシルクハットを被り、バランスに優れている故マジックも得意とし、マジックとジャックのより数多い分身在10体も生み出す事が可能。ストライク、シンシア、フェッターと同じ浄化能力を持つ。変身アイテムはキュアートフォンチエンジャー、プリキュライドジュエルクイーン。

変身時の名乗りは「未来を信じる誠実の心!!キュアクイーン!!」

pixivの桔梗さんのオリキュアより

武器

キュアナギナライフル

クイーン専用の武器。薙刀モードと小銃モードの2種類を持つ。

クイーンファン

クイーン専用の扇子型武器。マジックとジャックのステツキスピアはプリキュライドジュエルを5つ装着するの対し、こちらは扇子の扇面に10本装着する事で、マジックや多段変身が可能。

キュアブレイカー

キュアナギナライフルとクイーンファンを合体した武器。キュアナギナライフルを小銃モードの銃口にクイーンファンと連結し、強力な必殺技を発動する。

必殺技

プリキュア・ストーンバタフライ

クイーンの必殺技。石で形成した蝶を放って、敵に喰らわす。

プリキュア・クイーンパレットシユート

クイーンの必殺技。イエローの光弾を連射して敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・クイーンスラツシユ

クイーンの必殺技。キュアナギナライフル薙刀モードの刀身にイエローの光状を纏いながら相手を斬撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・クイーンシヨツト

クイーンの必殺技。キュアナギナライフル小銃モードの銃口から多数のイエローのハート型エネルギー弾を連射して、敵全体に射撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・クイーンブレイカーアタック

クイーンの必殺技。キュアブレイカーに強力な光柱を纏いながら敵を一刀両断する。相手を浄化または撃破する。

ジャステイスヒーロー

バルクマツスラー

C V：松田健一郎

ジャスティスヒーローの1人。マッスルビルダーの姿をした黄色の巨人。巨体の故に240cmのサイズを持ち、性格は厳格で、自分に厳しいがいじめや差別を嫌う。腕力はジャスティスヒーローの中でずば抜けた圧倒的なパワーを持ちながら衝撃波を引き起こし、数十から数百トンの物を持ち上げたりし、耐久力も高い。凄まじいパワーはミラーシエナの反射能力の影響を受けない。パワーだけでなく相撲技も得意とする。彼は元は人間の科学者だったが、事故で今の姿でとなっている。現在はヒーローライドジュエルに入っており、クイーンが使用して召喚し、またクイーンと一体化してキュアクイーンバルクフォームへとなる。

アベンジャーズのハルクとキン肉マンのウルフマンを元に

キュアクイーンバルクフォーム

クイーンがバルクマッスラーと一体化した姿。両腕にバルクナツクル、胴体にバルクアーマー、両脚にバルクレギンスを装着し、高いパワーを駆使していき、単身でも大幹部クラスと渡り合う力を持つ。打撃技を得意とし、荒々しい戦い方をする。

必殺技

プリキュア・バルクスマッシュ

クイーンバルクフォームの必殺技。両手をブローで合わせながら思いっきり地面に

打ち込んで敵全体衝撃波喰らわせる。その威力は凄まじく、一撃で倒す事が可能。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・バルクストレートナツクル

クイーンバルクフォームの必殺技。腕を発光しながら敵にストレートで思いっきりパンチする。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・バルク合掌震

クイーンバルクフォームの必殺技。相手の胴体を両手で掴んで上に投げ飛ばして、そのままジャンプしながら手を合わせ打ち込んだまま地面に叩き込む。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・バルクブレイカーバスター

クイーンバルクフォームの必殺技。キュアブレイカーを構えて、武器をチャージしてトリガーを引いて、バルクマツスラーのエネルギー状の光線を放ち、敵全体に喰らわせる。相手を浄化または撃破する。

翔華楽

CV：夏川椎菜

ジャスティスヒーローの1人。和服を着た舞妓の姿をし、両手に2つの扇子型の天翔心を持ち、先端に刃が仕込まれて斬撃に使用したり、ブーメランとして投げたりし、風

を引き起こしたりする。動きが得意で舞いながら駆使してく。元気な性格で、仲間思いである。現在はヒーローライドジュエルに入っており、クイーンが使用して召喚し、またクイーンと一体化してキュアクイーン翔華楽フォームへとなる。

マジアレコードの由比鶴乃を元に

キュアクイーン翔華楽フォーム

クイーンが翔華楽が一体化した姿。和服を身に着用し、日本の両手に天翔心を持ちながら舞で駆使し、動きも優れている。華麗な動きで舞を踊って戦う事が特徴。

プリキュア・翔華楽舞風斬

クイーン翔華楽フォームの必殺技。天翔心を手に持ちながら舞いながら風斬を呼び起こして、敵を斬り込む。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・翔華楽舞風斬

クイーン翔華楽フォームの必殺技。2つの天翔心を両手に持ちながら舞いながら風斬を呼び起こして、敵全体を斬り込む。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・翔華楽舞天気

クイーン翔華楽フォームの必殺技。クイーンファンを右手に、天翔華を左手にそれぞれ持ちながら2つの扇子を発光しながら光風を起こして、敵全体に包み込む。相手を浄化または撃破する。

大和丸

CV：ボルケーノ太田

ジャステイスヒーローの1人。烈陣丸と同じ武者鎧を身に纏い、武器は日本風の槍の橙破槍で、槍術を得意とし、槍技を得意とする。性格は荒っぽく、正々堂々とした戦いを好む。超能力などへの耐久力が高い。色は橙色であり、烈陣丸や光陰命とは戦友関係であり、同じ槍使いのウオーテイルの事が好きみたい。現在はヒーロイドジュエルに入っており、クイーンが使用して召喚し、またクイーンと一体化してキュアクイーン大和丸フォームへとなる。

キュアクイーン大和丸フォーム

クイーンが大和丸と一体化した姿。大和丸の姿をした武者鎧を身に纏い、攻守共に優れながら槍術を得意とし、武器は橙破槍のみである。

必殺技

プリキュア・大和乱撃

クイーン大和丸フォームの必殺技。橙破槍を構えて、敵に向けて連続突きをする。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・大和突鬼破

クイーン大和丸フォームの必殺技。橙破槍をしながら、敵に向かって刺突する。相手

を浄化または撃破する。

プリキュア・大和昇麟斬

クイーン大和フォームの必殺技。橙破槍を発光しながら高ジャンプして、敵に強力な斬撃を与える。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・大和双破走

クイーン大和フォームの必殺技。右手にキュアナギナライフル薙刀モード、左手に橙破槍をそれぞれ手に持ったまま走りながら、敵全体に2つの槍を光柱状を纏いながら突撃する。相手を浄化または撃破する。

インフェルノ

クレアIIベルリーニ(20) / キュアミスティック

CV：田所あずさ

インフェルノの大幹部。アルフォート出身で、髪型はレザーカットで色は紫、性格はクールであり喜怒哀楽の感情を見せない。服装の露出度とスタイルのいい豊満な胸の持ち主である。故郷のアルフォートはインフェルノに支配されて、ハデユスには絶対的な忠誠、服従を誓わされてる。

マジンボーンのリーベルトを元に

キュアミスティック

クレアが変身したプリキュア。変身アイテムはキュアアートフォンチェンジャー、プリキュライドジュエルミステイック。短髪のレザーカットからパープルのロングカットになり、ドレスはMHのブラックの似たスカート丈の短いドレスとスパッツで、格闘が得意とし、バランスに優れている。変身アイテムはキュアアートフォンチェンジャー、プリキュライドジュエルミステイック。

変身時の名乗りは「神祕の戦士、キュアミステイック!!」

専用武器

ミステイックサークルスピナー

ミステイック専用の武器。左腕に装着し、円形型をし、エネルギー弾を連射し、また盾として使用したりする。

必殺技

プリキュア・ミステイックショット

ミステイックの必殺技。片手からパープルの光線を放つ。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ミステイックサークルザンパー

ミステイックの必殺技。左腕に装着しているミステイックサークルスピナーに光状の円形の刃を纏わせて、敵を斬撃する。相手を浄化または撃破する。

ジャステイスヒーロー

ミラーシエナ

CV：井口裕香

ジャステイスヒーローの1人。可愛らしい少女の姿をし、全身にインナーを纏い、両肩に肩アーマー、下半身にアーマー状のスカート部を着用し、武器はミラーシールドは鏡と剣の2つの変形する機能を持ち、スカート部からビット4基を搭載している。彼女は鏡を召還して相手の攻撃を反射する能力を持ち、また鏡から光線を放つたりする。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ミスティックが使用して召喚し、またミスティックと一体化してキュアマスティックミラーシエナフォームへとなる。

シンフォギアの小日向未来を元に

キュアマスティックミラーシエナフォーム

ミスティックがミラーシエナと一体化した姿。ミラーシエナと同じ両肩に肩アーマー、下半身にアーマー状のスカートを装着し、武器は鏡と剣の2つの機能に変形するミラーシールドを装備、鏡による反射能力、攻撃を用いる。スカート部にビット4基が搭載されている。頭部にはバイザーがあり、索敵、分析能力を持つ。

必殺技

プリキュア・ミラーシエナフレクト

ミステイックミラーシエナフォームの必殺技。鏡を出現して、敵の攻撃を跳ね返し返り討ちにする。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ミラーシエナビーム

ミステイックミラーシエナフォームの必殺技。ミラーシールド鏡モードからビームを放つ。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ミラーシエナデットリート

ミステイックミラーシエナフォームの必殺技。ミラーシールド鏡モードと4基のビットによるで攻撃で、4基のビットによる敵全体に攻撃をし、ミラーシールド鏡モードから強力なビームを放つ。相手を浄化または撃破する。

エスパネス

C V：興津和幸

ジャステイスヒーローの1人。超能力者であり、あらゆる超能力を自在に駆使し、サイコキネシスやパイロキネシスなど得意とし、念動力で形成した技も可能とし、服装は白いスーツ姿であり、性格は冷静で真面目であり、身勝手な人間達を酷く嫌っている。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ミステイックが使用して召喚し、またミステイックと一体化してキュアミステイックエスパネスフォームへとなる。

キュアミステイックエスパネスフォーム

ミステイックがエスパネスと一体化した姿。白いドレスコートを着用し、右腕にエスパネスガントレットを装着し、あらゆる超能力などを使い、念動力で形成した技を可能とし、超能力による魔法攻撃を得意とする。

プリキュア・エスパネスバインド

ミステイックエスパネスフォームの必殺技。両手を前に出して、念動力で敵を持ち上げていき、念動力で形成した光線に敵を放つ。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・エスパネスパイロキネシス

ミステイックエスパネスフォームの必殺技。念動力で敵に火を起こして、燃やし尽くす。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・エスパネスポルターアタック

ミステイックエスパネスフォームの必殺技。周辺に落ちている物を念動力で持ち上げて、敵全体にぶつける。

プリキュア・エスパネスフォースバリア

ミステイックエスパネスフォームの必殺技。念動力で形成したバリアで敵の攻撃を防ぐ。

プリキュア・エスパネスフォースサイコビーム

ミステイックエスパネスフォームの必殺技。念動力を最大限に引き出して、右腕のエ

スパネスガントレットから強力な念動力の光線を放ち、敵に喰らわす。相手を浄化または撃破する。

ワプニオン

CV：日高里菜

ジャステイスヒーローの1人。性格は好戦的である。能力はあらゆる場所へ瞬間移動し、自分の攻撃をワープして、あらゆる遠近距離にいる敵に与える。姿は胴体にアーマーを身に纏い、アーマーから電磁波を放ち、敵の身動きを一時的に封じる。クレアが移動する際は、彼女の力を使って人間界へ移動する。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ミステックが使用して召喚し、またミステックと一体化してキュアミステックワプニオンフォームへとなる。

マジンボーンのダークパンサーを元に。

キュアミステックワプニオンフォーム

ミステックがワプニオンと一体化した姿。胴体にアーマーを着用し、空間移動による戦いを得意とし、アーマーから電磁波を発生して、敵の身動きを一時的に封じる。能力はバランスよく優れている。

プリキュア・ワプニオンレインショット

ミステックワプニオンフォームの必殺技。上空から異空間の穴を空けて、敵全体に

光弾を降り注ぐ。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ワプニオンシャインバースト

ミスティックワプニオンフォームの必殺技。アーマーから電磁波を用いた強力な光波を放ち、敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。

インフェルノ

亜苦羅

阿修羅弁慶

CV：市来光弘

インフェルノの同盟国の亜苦羅の武者。幼い頃、麗奈と1対1の対決に敗れて、無念を感じ、そこで安田野悪炉血と出会い、彼の配下となり、彼がインフェルノと内通している事で、ドライジスにサイボーグとなり、身体を改造した事により、両肩に4本の腕を授かり、両脚に小型ブースター、胴体にバルカンを内蔵された。6本の腕を持つ事で、薙刀、大太刀、棍棒、槍、ハンマー、小太刀をそれぞれ手にする。実力もかなり高い。

必殺技

阿修羅猛進撃

阿修羅弁慶の必殺技。右手の薙刀と左手の大太刀と左右の両肩の4本の腕に持って

いる棍棒、槍、ハンマー、小太刀と共に前に向けて、両脚に内蔵された小型ブースターで加速し、敵に突撃する。

阿修羅乱撃破

阿修羅弁慶の必殺技。6本の腕に持っている薙刀、大太刀、棍棒、槍、ハンマー、小太刀で、敵に向けて、真つ向から連続突きをする。

沖野宗司

CV：斉藤壮馬

インフェルノの同盟国の亜苦羅の武者。種族は人間タイプ。仁戦組一番隊の隊長であり、剣術の腕前は高く、普通の人間でありながらプリキュアと互角に渡り合う力を持つ。愛刀は菊花丸。

必殺技

真旋斬

宗司の必殺技。菊花丸を右手に持ったまま360度回しながら、回した刀から風斬を発生して、敵全体に斬り付ける。

一閃斬

宗司の必殺技。菊花丸を発光し、複数の敵に斬撃する。

忍里丸

CV：山下大輝

インフェルノの同盟国の亜苦羅の忍者。種族は人間タイプ。忍びとして忍術や諜報活動を得意とし、実力の腕前は高く、身に付けている鎧の忍影鎧はステルス機能を持つ。武器はクナイ型の影鬼、手裏剣のみである。

必殺技

闇斬り

忍里丸の必殺技。クナイを手にとって、敵に素早く斬撃する。

闇討ち

忍里丸の必殺技。クナイを手にとって、敵の真上から急所を刺す。

火遁の術

忍里丸の必殺技。片手から炎を放つ。

第19話 未来を信じる誠実の心!! キュアアキーン!!

敵に地下秘密基地の居場所を探られ、窮地に陥ったストライク達の前に、新たなプリキュア、クイーンが現れた。

あさぎ市

あさぎ市役所

W J G 地下秘密基地

格納庫

D r i ー ジ ス 「何者だ？」

クイーン 「私はキュアアキーン。」

クイーンと名乗る謎のプリキュア。

マジック 「キュアアキーン？」

トットム 「俺達も初めて知るぞ!!」

ペル「一体誰なんですか？」

クイーンを初めて見て驚くマジック達。

アルス「新手か?!」

バイソック「まだ仲間がいたとはな。」

忍里丸「拙者の諜報でもあのプリキュアは初めてだ。」

またインフェルノもクイーンの姿を見て、初めて驚いていた。

ジャック「あなたは？」

クイーン「私はあなた達の味方よ。」

マジック「味方？」

フェッター「どうにも信用出来ないわ。」

クイーン「私の戦いを見て。」

突如現れた新しいプリキュア、クイーンの戦いが今始まる。

アルス「クイーンだが知らねえが、同じようにしてやるぜ!!」

アルスが先に行動にかかり、クイーンに向かってラリアットで右腕を広げたまま勢いよく前進しかかった。アルスの前進から来るラリアットをクイーンがキックで受け止めた。

アルス「何?!」

自分のラリアットがクイーンにキックで簡単に止められたのに驚愕したアルス。キックでラリアットを受け止めたクイーンはそのままキックで力強くアルスを押し返して、パンチで打ち込んだ。

アルス「ぐうつ!!」

クイーンはアルスを上に持ち上げて、地面に投げ込んだ。

クレア「あいつ、アルスを簡単に。」

エスパネス「クレア様、ここは私とミラーシエナとワプニオンにお任せください。」

クレアのジャスティスヒーローのミラーシエナとエスパネスとワプニオンが新しいプリキュアであるクイーンに攻撃にかかった。

クイーン「こつちも行くわ。」

襲いかかってくる3人のジャスティスヒーローに対し、クイーンはある3つのヒーローライドジュエルを出して、キュアートフォンチェンジャーに連続でした。

クイーン「ヒーローライドジュエル!!」

クイーンがキュアートフォンチェンジャーに連続で刺したヒーローライドジュエルから3人のジャスティスヒーローが現れた。

バルクマツスラー、翔華楽、大和丸「……。」

クイーンの持つ3つのヒーローライドジュエルから現れた3人のジャスティスヒーロー、黄色い肌をした巨体の故に240cmのサイズを持つバルクマツスラー、両手に2つの扇子型の天翔心を持ち、和服を着た舞妓の姿をした翔華楽、烈陣丸と同じ武者鎧を身に纏い、日本風の槍の橙破槍を持つ大和丸。

バルクマツスラー「クイーン、俺達の戦う相手は目の前にいる奴らか？」

クイーン「そうよ、インフェルノよ。」

翔華楽「目の前に近づいて来たって訳ね。」

大和丸「拙者達3人にお任せじゃ!!」

目の前に接近して来るミラーシエナ、エスパネス、ワプニオンに対し、常に戦闘態勢でいるバルクマツスラー、翔華楽、大和丸が同じ3人のジャスティスヒーローと対決する事となった。

バルクマツスラー「うおおおおおー!!」

勢いよく前進して、ミラーシエナに殴りにかかるバルクマツスラー。

ミラーシエナ「私の鏡で跳ね返してあげる。」

自分の得意な鏡を前に出して、バルクマツスラーのパンチを当てたが、だが、バルクマツスラーのパンチが彼女の鏡を反射の影響を受けず、粉碎した。

ミラーシエナ「私の鏡を破るなんてさすがね、バルクマツスラー。」
バルクマツスラー「俺のパワーは最強だ。どんなもので打ち砕く。」

バルクマツスラーは高いパワーを持ち、強力なパンチで一撃であらゆる物を粉碎するのが特徴だ。ミラーシエナはミラーシールドから光線を放ち、さらにスカート部からビットを4基放出して、バルクマツスラーに攻撃した。

翔華楽「ちやちやつといくよ!!」

瞬間移動であらゆる場所移ったりするワプニオンの攻撃を身体で舞いながらかわし

ていき、次に来るワプニオンの空間の穴から開いたパンチを天翔心でブロックし、天翔心で振りながらワプニオンに斬撃した。

ワプニオン「相変わらずその元気は変わらないようだな。」

翔華楽「あたしの舞で斬り刻んであげるよ。」

ワプニオン「ならこれはどうだ!!」

ワプニオンが身に付けているアーマーから電磁波が放たれ、翔華楽の動きを一時停止した。

翔華楽「うっ!!」

ワプニオンのアーマーから放たれた電磁波によって動きを停止させられた翔華楽。隙を突いてワプニオンが殴りにかかった。

翔華楽「こんなのすぐに破ってやるんだから!!」

電磁波で身動きを停止させられた翔華楽が自分の根性を振り出して、立ち上がりながら、殴りにかかったワプニオンに天翔心を手に持って、斬撃した。

大和丸「はあああああー!!」

エスパネスとぶつかり合う大和丸は、日本風の槍の橙破槍を構えて、エスパネスに連続突きをした、

エスパネス「!!」

大和丸の槍から繰り出す連続突きを目で見切りながらかわすエスパネスは、掌から念動力で周辺に落ちている物を持ち上げて、大和丸にぶつけにかかった。

大和丸「オラオラオラオラー!!」

橙破槍を振り回しながらエスパネスの念動力で持ち上げた物を振り払い、続いて真つ向からエスパネスに突いた。

エスパネス「貴様の荒ぶる戦い方は相変わらさずだ。」

大和丸「わしの腕は抜群じゃ!!」

エスパネス「これはどうだ!!」

大和丸に念動力から火を起こし、燃えたぎる火でダメージを与えた。ジャステイスヒーロー同士、互角に渡り合い、ぶつかり合った。

カロン「お前達、あのクイーンとか言うプリキュアを叩き潰せ。」

カロンは阿修羅弁慶、宗司、忍里丸、スノーダーク、ピーサード、カレハーン、ウルフルン、オレスキーに命じて、クイーンに襲い掛からせた。

クイーン「相手は8人。あれを使うわ。」

クイーンは翔華樂が持っている天翔心に似た扇子型のクイーンファンを出し、さらに近くにいたトットム、ペル、アーニヤの元に寄った。

クイーン「これを使わせてもらおうわ。」

3匹が持っていたルージュとレモネードとローズのプリキュライドジュエルを借り、彼女が持っているパイン、サンシャイン、ビート、ピース、サニー、ハニー、カスタードのプリキュライドを出して、クイーンファンに刺した。

クイーン「プリキュライドチェンジオールスターズ!!」

クイーンファンに装着した10個のプリキュライドジュエルから分身体が現れ、変身した10人の分身体がクイーンと共に8人の幹部に挑んだ。

阿修羅弁慶「貴様も同じようにしてやる!!」

阿修羅弁慶が6本の腕と共にレモネードクイーンに向かって強襲をしかかってきた。

レモネードクイーン「動きは見切った!!プリキュア・プリズム・チェーン!!」

クイーンレモネードの両手から光状の鎖が放たれ、阿修羅弁慶の身体を縛り付けた。

阿修羅弁慶「なっ、何だ?!」

レモネードクイーンの光状の鎖で身体を縛り付けられて封じられた阿修羅弁慶。そのまま阿修羅弁慶を持ち上げて叩き込んだ。

宗司「死ね!!」

宗司が菊花丸でカスタードクイーンに向かって斬撃をしにかかった。

カスタードクイーン「はああああつ!!」

カスタードの持つ素早い動きを駆使して、宗司の動きを回避し、キャンディロッドを出して、クリームエネルギーを放ち、彼の持つ菊花丸の刃に取り付いた。

宗司「俺の刀が!!」

カスタードクイーンによって、菊花丸がクリームエネルギーによって取り付けられて戦いが出来なくなった宗司。

ピーサード「落ちろ!!」

ピーサードがパンチとキックを繰り返して、ローズクイーンに喰らわせた。

ローズクイーン「こんなの比にならないわ!!」

ピーサードの攻撃を受けたローズクイーンがパンチで思いつき反撃し、さらに空中ジャンプをしたピースクイーンがピースサンダーを放ち、雷撃した。

ピースクイーン「イェーイ!!」

自分の放った必殺技でピーサードを倒し、ピースサインをするピースクイーン。

カレハーン「お前達も枯れ果ててやる!!」

カレハーンが大量の枯葉をルージュクイーン、サニークイーンに向けて放った。

ルージュクイーン、サニークイーン「私達の炎で焼き尽くしてあげる!!」

ルージュクイーンとサニークイーンが同時に炎を出現して、カレハーンに喰らわせ、カレハーンは植物である事で、炎にすぐ弱かった。

オレスキー「死ね!!」

ウルフルンとオレスキーが一緒になって、サンシャインクイーンとハニークイーンを攻撃をしにかかった。

サンシャインクイーン「!!」

サンシャインクイーンがウルフルンとオレスキーに駆け込んで、サンシャインの得意な武術で真つ向から2人に直接徒手で打ち込んだ。

ウルフルン、オレスキー「うっ!!」

サンシャインの徒手でまとめて打ち込まれたウルフルンとオレスキー。続いてハニークイーンがトリプルダンスハニーバトンでリボンモードで中央の黄色い星から光のリボンを鞭のように振るいながら2人に直接打ち込んだ。さらにビートクイーンがビート・ソニックアローでウルフルンとオレスキーに喰らわせた。

トットム、ペル、アーニヤ「すっ、すごい。」

マジック「分身体を10人作れるなんて。」

ジャック「彼女のジャスティスヒーローも強いわ。」

ソール「バルクと翔華楽と大和丸は伊達ではないな。」

クイーンの戦いを見て、自分達を圧倒した再生幹部達と互角に渡り合い、ぶつかり合う姿に驚くマジック達。

クイーン「はああああー!!」

クイーンは忍里丸とスノーダークの2人を相手を1人で挑んだ。

スノーダーク「!!」

コンバットナイフを出して、クイーンに刺しにかかるスノーダーク。スノーダークのコンバットナイフに対し、キュアートフォンチェンジャーを操作して、薙刀型の武器のキュアナギナライフルを出し、薙刀モードで刺しにかかって来るスノーダークに真っ向から突いた。

忍里丸「死ね!!」

忍里丸が素早い動きを駆けながらクイーンの周りを回り、手に持っているクナイ型の影鬼で、クイーンの真上から飛んで、刺しにかかった。

クイーン「そこね!!」

真上から飛んで闇討ちをしにかかって来た忍里丸にキュアナギナライフル薙刀モードで上にあげて突いた。

忍里丸「なかなか上手く行かぬな。ならばこれはどうだ!!」

接近戦で闇討ちをしようとしたら、クイーンに見抜かれてしまい、忍術を使い、忍者の得意な分身の術で、いくつかの分身を作り出して、クイーンの周りに襲いかかった。

クイーン「!!」

忍里丸の生み出した分身体をキュアナギナライフルを薙刀モードから小銃モードに切り替えて、両手に構えて持ちながら、忍里丸の分身体を次々と射撃して、消滅させた。

忍里丸「ちい、こいつなら!!」

クイーンに自分の分身体が次々と破れてしまい、次の手は手裏剣をいくつか投げて、クイーンに向けた。忍里丸の投げた手裏剣に対し、クイーンはキュアートフォンチェンジャーを出して、さらにプリキュライドジュエルルミナスを刺して、変身する。

クイーン「プリキュライドチェンジマックスハート!!」

プリキュライドジュエルルミナスをキュアートフォンチェンジャーに刺したクイーンは、シャイニールミナスへと変身し、両手からバリアを発動し、手裏剣を全て防いだ。

ルミナスクイーン「全部防いだわ。」

スノーダーク「まだ俺を忘れちゃ困るな!!」

クイーンルミナスの背後からスノーダークが現れ、右手甲に仕込まれたベアクロードを出刃して、斬撃した。

ルミナスクイーン「うっ!!」

スノーダークに背後を攻撃されてしまったルミナスクイーン。

スノーダーク「バリアは背後を突かれたら元も意味がないな!!」

ルミナスクイーン「私はこちらではないわよ。」

ルミナスクイーンが次に取り出したのは、プリキュライドジュエルムーンライトだ。そのままキュアアートフォンチェンジャーに刺して、変身する。

ルミナスクイーン「プリキュライドチェンジハートキャッチ!!」

ルミナスクイーンは、次のプリキュアに変身し、キュアムーンライトへととなり、彼女はスノーダークに手刀を閃光のように素早くお見舞いする。

ムーンライトクイーン「これを受けない!!」

ムーンライトクイーンが手刀でスノーダークに強いダメージを受けさせた。

スノーダーク「舐めるな!!」

ムーンライトクイーンの攻撃を受けたスノーダークがジャンプして、左手甲にも仕込まれたベアクローを出刃して、左右揃って2つのベアクローで彼女に斬撃する。

ムーンライトクイーン「!!」

スノーダークのベアクローに対し、ムーンライトタクトを出して、先端から光の刃を纏って、ぶつかり合った。

ムーンライトクイーン、スノーダーク「はあああああー!!」

刃と刃で交えて渡り合い、2人は互角にぶつかり合い、両者激闘を繰り広げた。

カロン「全員撤退だ。」

その時、カロンの口から撤退が出て、クイーンと交戦している幹部達は、カロンの言

葉に従い、撤退をし始める。

ミラーシエナ「次は必ず勝つわ!!」

エスパネス「今度は必ず着ける!!」

ワプニオン「では引き上げる!!」

カロンの撤退で集まった幹部達がワプニオンのワープ能力で幽魔界へ移動し、撤退した。戦いはクイーンの介入により、辛うじて助かったが、地下秘密基地は大きな被害が出た。

フェッター「これじゃしばらく無理はないね。」

インフェルノの襲撃により、地下秘密基地は大きな被害が出てしまい、格納庫は敵の攻撃で崩壊状態で、さらにキュアライドロボも損傷してしまい、当分使用出来ない状態になった。

トットム「こりや大変だな。」

ペル「全くだす。」

マジック「かなりきついね。」

クイーン「じゃあ、私はここで。」

クイーンはそのまま地下秘密基地から出て立ち去った。

マジック「キュアクイーン。」

ソール「バルクマツスラー、翔華楽、大和丸、あの3人はどこで……。」

ジャック「それよりストライクとシンシアは？」

アイゼンアロイス、フェアリール「……。」

マジック「何があつたの？」

ストライクとシンシアの身に何があつたのかすぐに2人の元へ駆けつけに向かったマジック達は、そこにストライクとシンシアがノーザとの戦いで精神攻撃で追い詰められて、哀しい表情をして涙流した2人の姿だった。

ストライク、シンシア「……。」

ノーザの精神攻撃で敗れてしまい、母親の事を口に出されて、精神が傷付くくらい、追い詰められた2人。またスノーダークとの戦いに敗れたファイツの姿もあった。かつての友戦う事が出来ず、敵として現れたかつての友を倒す事が出来なかった。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

ブリーフィングループ

クレア「……………」

先程現れたクイーンに興味を持ち始めたクレア。

クレア「キュアクイーン、あなたとはいずれ戦ってみたいわ。私もそろそろ変身する時ね。」

クイーンとの対決を望むクレア。彼女の手にはアイカ達と同じキュアアートフォン

チェンジャーとプリキュライドジュエルだ。

次回 20話へ続く

第20話 クイーンの秘密

新たなプリキュア、クイーンが出現した事で、インフェルノの危機を救われて1週間が経った。

あさぎ市

アリーナ学園

中等部

屋上

咲耶歌「あれから1週間。」

海「私達はキュアクイーンが助けに来ていなかったら負けていた。」

トットム「そうだな。今回の敵はあまりにも強過ぎた。しかも先輩プリキュアが倒した敵まで蘇っちまったな。」

ペル「今の君達では勝てる見込みはないですね。」

麗奈「私は二度も鬼丸に敗れた。」

咲耶歌「アイカちゃん、はるなちゃんは精神攻撃のダメージがまだ残って立ち上がれ

ないみたいよ。」

海「ファイツもかなり心に深くダメージを負ってるわ。」

先の戦いで、アイカとはるなはノーザに母親の事で精神的に追い詰められて、心にか
なりのダメージを追い、またファイツもスノーダークがかつての友リツキーだった事
で、どうしても戦う事が上手くないか、その心に深く傷を負った。

アーニヤ「また彼らと戦うとなれば最悪覚悟決めるしかありませんわね。」

麗奈「……。」

咲耶歌「麗奈さん。」

麗奈「何？」

咲耶歌「ちよつといいですか？麗奈はこの世界の人間じゃないってどう言う事です
か？」

麗奈「……。」

咲耶歌「麗奈さん？」

麗奈「あなた達には関係ない事よ。」

海「関係ないって私達は仲間よ。」

麗奈「だからあなた達には関係ないって言っているでしょ!!」

麗奈がこの世界の人間でない事を知り、彼女に聞こうとしたら怒って拒否されてしまった。麗奈はそのまま立ち去ってしまった。

海「麗奈さん。」

咲耶歌「よっほど触れたくないんだ。」

昔の事を知られるのを強く拒む麗奈の姿に深い悲しみを感じた咲耶歌と海。2人は学校の授業が終わって、一緒に歩いて下校する。

住宅地

咲耶歌「何だか寂しいね。」

海「アイカちゃん、はるなちゃん、麗奈さんがいないからね。」

咲耶歌「そうだね。」

海「小学生の2人にはとても辛い思いをして可哀想だわ。」

咲耶歌「悲しくなっちゃうね。」

アイカとはるなと麗奈がいけない事で寂しい気分になる咲耶歌と海。アイカとはるなはまだ小学生である事で、インフェルノの最初の戦いで母親が連れさらわれてしまった事を思い出され、2人の辛い事を悲しく感じる咲耶歌と海。2人の目の前に自分達と同じ年の周防文と言う少女がやって来た。

文「あら、そこで何しているの？」

咲耶歌、海「誰？」

文「誰って？私の事、覚えてる？」

咲耶歌「覚えているって、いきなり言われてもわからないよ。」

海「私だつてわからないわ。」

いきなり現れた文が誰なのかわからない咲耶歌と海。

文「全然覚えてないんだ。」

咲耶歌「当たり前よ、いきなり現れて覚えているって言われても知らないよ!!」

海「そうよ、あなた誰なの？どうして私と咲耶歌を知っているの？」

文「じゃあ私が教えてあげるね。」

文は自分の事を知らない咲耶歌と海に自分の持っているキュアートフォンチェンジャーとプリキュライドジュエルを見せた。

咲耶歌、海「!!」

文が見せたキュアートフォンチェンジャーとプリキュライドジュエルの色を見て、あの事に思い出した。

咲耶歌「もしかしてあの時のプリキュア?!」

海「あなたがキュアクイーン?!」

文「そうよ、私がキュアクイーンよ。」

WJG地下秘密基地に現れたクイーンが文である事に気付いた咲耶歌と海。2人は彼女に何故プリキュアになったのか話を聞き出す。

咲耶歌「どうしてあなたはプリキュアになったの？」

文「それは秘密。」

海「秘密？」

ソール（ヒーローライドジュエル）「やれやれだ。」

ペル「秘密でありますか。」

文「じゃあ、せつかくだから私に着いて来て。」

そう言いながら、2人を連れて行く文。文に着いて行く咲耶歌と海。文が着いた場所はただの小さな教会だった。

ひまわり学園

咲耶歌、海「教会?!」

文が連れて来た場所が教会に驚く咲耶歌と海。そこに小さな子供達が楽しく遊んでいる姿があった。

文「みんな、元気にしてた？」

男の子「文お姉ちゃんだ。」

女の子「文お姉ちゃん。」

文「今日も遊びに来たわよ。」

遊んでいた小さな子供達が一齐に文の元に集まってきた。

咲耶歌「ここは？」

文「ここは親を失った子供を育てるひまわり学園よ。」

海「親を失った子供を育てる場所？」

文「私もここで育ったの。」

咲耶歌「育ったって？」

2人の前に歳を取ったシスターが現れた。

シスター「彼女の両親は10年に亡くなられて、育てられたのです。」

咲耶歌、文「!!」

この一見、教会をした場所は、親を亡くした子供を育てる施設、ひまわり学園。文もこのひまわり学園で10年前に育てられたのを知った咲耶歌と海は、その10年前というのある事に気付いた。

シスター「まだ幼かった彼女は両親と楽しいクリスマスと一緒に過ごしていたら突然爆発が起きたのです。気が付いた彼女が目にしたのは両親の死と目の前に怪物の群れが人々や街を襲っているのを目の当たりに恐怖に怯えて泣いたのです。必死で逃げ回る彼女は命辛々で走って走っていたのです。助ける場所を必死で探し求めた彼女が辿り着いたのがこの場所です。」

咲耶歌「周防さんもあたし達と同じ……。」

海「家族を失ったんだね。」

ソール（ヒーローライドジュエル）「……。」

10年前に起きたファイナルウォーで文は家族と共にクリスマスを過ごしていたが、突如インフェルノの襲撃により巻き込まれ、幼い彼女が目にしたのは、両親の死と怪物の群れが人々や街を襲っている姿を目の当たりにし、その恐怖に怯えて泣きながら必死になって逃げ回り、幼い彼女が辿り着いたのは、小さな教会であるひまわり学園だ。そ

ここで彼女はシスターに育てられ、彼女は自分と同じ親を亡くした子供と一緒に仲良く遊んだり、触れ合ったり、料理をしたりした。シスターに育てられた彼女は優しく、人に思いやる心の性格で、里親に引き取られた後も彼女はこのひまわり学園に来て、子供達の面倒を見たりしている。

シスター「文さんは里親に引き取られても今もひまわり学園で親を失った子供面倒をよく見ているのです。」

咲耶歌「周防さんはこのひまわり学園の事を大事にしているんだ。」

海「自分を育ててくれたこの教会をとてても大事にしているんだね。」

男の子2「文お姉ちゃん。」

女の子2「遊ぼ、遊ぼ。」

文「みんなで楽しく遊びましょう。」

子供達と一緒に楽しく遊ぶ文は、いつもこのひまわり学園の子供達と一緒に過ごす事を楽しみ、いつも彼女は明るく笑顔で優しい姿だった。ひまわり学園から離れた遠くの場所で1人で文を見つめるクレアの姿だった。

クレア「キュアクイーン、勝負の時だ。」

文如くクイーンとの対決を望むクレアは、単身で彼女に挑みにかかろうとする。文と一緒に子供達と楽しく遊ぶ咲耶歌と海。

咲耶歌「一緒に遊ぶのって楽しいね。」

海「何だか楽しいね。」

文「みんなで一緒に遊ぶのって楽しいよね。」

咲耶歌「子供達と一緒に遊んだりするのいいよね。」

文と一緒に子供達と一緒に遊ぶ咲耶歌と海は、子供と一緒に遊ぶ楽しさを実感し、子供達と仲良くなったりした。

男の子1「その2人のお姉ちゃんも一緒に遊ぼう。」

ひまわり学園の子供達と一緒に遊んで楽しみ、いろんなしたりする咲耶歌と海。そんな中、ある人物が近くにやって来た。

クレア「……………」

子供達と一緒に遊んでいる咲耶歌と海と文の前にWJG地下秘密基地の襲撃にいたクレアが現れた。

咲耶歌、海「クレア!!」

クレア「また会ったな。それにキュアクイーン。」

シスター「あら、この人はお知り合いですか？」

文「シスター、子供達を早く中に避難して!!」

シスター「えっ。」

文「早く避難して!!」

文の言葉にすぐ外にいる子供達を連れて、中に避難したシスター。

クレア「邪魔を退けさせたわけか。」

咲耶歌「何の用？」

クレア「キュアクイーンと対決をしに来ただけだ。」

海「彼女に用があるって事ね。」

ソール（ヒーローライドジュエル）「咲耶歌、海、変身するぞ。」

早速、2人はキュアアートフォンチェンジャーを出してプリキュアに変身しようとするが、

文「待つて!!ここは私一人でやらせて。彼女は私に用があるの。」

咲耶歌「周防さん。」

文「私の戦いを見てて。」

プリキュアに変身しようとした咲耶歌と海を止め、文はクレアと1対1の対決をするためにプリキュアに変身するため、キュアアートフォンチェンジャーとプリキュライドジュエルクイーンを出し、変身する。

文「プリキュア・チェンジアップ!!」

文はキュアアートフォンチェンジャーにプリキュライドジュエルクイーンを刺して変身を始め、全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール。衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを被った。

クイーン「未来を信じる誠実の心!!キュアクイーン!!」

クイーンに変身した文。クレアも自身のキュアアートフォンチェンジャーとプリキュライドジュエルミスティックを出した。

咲耶歌「まさか彼女もあたし達と同じプリキュア?!」

クレア「私の力、見せてやる。」

クレアはクイーンとの対決のためプリキュライドジュエルミスティックをプリキュライドジュエルミスティックに刺して変身する。

クレア「プリキュア・チェンジアップ!!」

クレアの全身に光が纏い、髪型と服装を一新し、髪型はパープルのロングカットになり、ドレスはMHのブラックの似たスカート丈の短いドレスとスパッツだ。

ミスティック「神秘の戦士、キュアミスティック!!」

クレアはキュアミスティックとなり、そしてクイーンと1対1の対決が行われた。

クレア「はあああああー!!」

クイーンがキュアナギナライフルを出して、薙刀モードでミスティックに刺突しにかかった。

ミスティック「!!」

クイーンの攻撃に対し、左腕に装着されているミスティックサークルスピナーで防ぎ、そのまま回し蹴りでクイーンに打ち込んだ。

クイーン「うっ!!」

ミスティックに攻撃を防がれ、返り討ちにあつたクイーンは、キュアナギナライフルを薙刀から小銃に切り替えて距離を少し離れて、ミスティックに射撃する。

ミスティック「小賢しいな。」

ミスティックサークルスピナーでクイーンの射撃を防ぎ、ミスティックサークルスピナーからエネルギー弾を連射し、クイーンに攻撃する。

クイーン「!!」

ミスティックの放つたエネルギー弾をジャンプしてかわし、空中からキックでミスティックに打ち込んだ。

ミスティック「うっ!!」

クイーンの中キックを喰らったミスティックは、素早く駆けながらパンチで連打でクイーンに打ち込み、そのまま彼女の身体を持ち上げて、投げ飛ばした。

クイーン「こんな程度で!!」

ミスティックに投げ飛ばされたクイーンが身体を回転して姿勢を取り戻し、ダッシュしてミスティックにパンチで思いつき殴り込んだ。

ミスティック「やるな、ならばもつといいものを見せてやる。」

ミスティックはさらなる力を見せるため、ヒーローライドジュエルワプニオンを出し、キュアートフォンチェンジャーに刺して、変身する。

ミスティック「ヒーローライドチェンジ!!」

ヒーローライドジュエルワプニオンを刺して変身したミスティックは、ワプニオンと

一体化して、キュアミスティックワプニオンフォームとなった。

クイーン「だったらこつちも変身よ、ヒーローライドチェンジ!!」

ミスティックもジャステイスヒーローと一体化した事でクイーンも同じようにヒーローライドジュエル翔華樂を出して、キュアトフォンチェンジャーに刺して変身し、翔華樂と一体化してキュアクイーン翔華樂フォームとなり、ミスティックワプニオンフォームとジャステイスヒーローと一体化した姿で対決をする。

ミスティックワプニオンフォーム「ワプニオンと一体化した力を見せてやる!!」

ワプニオンと一体化したミスティックがワープを開いてパンチを入れて、クイーン翔華樂フォームの後ろに開いた異空間の穴から自身のパンチを向けた。

クイーン翔華樂フォーム「そこね!!」

すぐに後ろから開いた異空間の穴からミスティックワプニオンフォームのパンチを

天翔心で防ぎ、天翔心を投げて、ブーメランのように回りながらミステックワプニオンフォームに向けた。

ミステックワプニオンフォーム「!!」

パンチでクイーン翔華楽フォームの投げた天翔心を殴り返したミステックワプニオンフォームは、必殺技を発動する。

ミステックワプニオンフォーム「プリキュア・ワプニオンレンショット!!」

ミステックワプニオンフォームが上空から異空間の穴を空けて、クイーン翔華楽フォームに光弾を降り注いだ。

クイーン翔華楽フォーム「うっ!!」

ミステックワプニオンフォームが上空から降り注いだ無数の光弾を受けたクイーン翔華楽フォーム。

クイーン翔華楽フォーム「ならこれを受けて!!プリキュア・翔華楽舞嵐斬!!」

クイーン翔華楽フォームが2つの天翔心を両手に持ちながら舞いながら嵐を呼び起こして、ミスティックワプニオンフォームを斬り込んだ。

ミスティックワプニオンフォーム「ぐわあっ!!」

クイーン翔華楽フォームの必殺技を受けたミスティックワプニオンフォーム。

ミスティックワプニオンフォーム「ならば次はこれだ!!」

次に出したのは、ヒーローライドジュエルエスパネスだ。すぐにキュアートフォンチェンジャーに刺してフォームチェンジする。

ミスティックワプニオンフォーム「ヒーローライドチェンジ!!」

ヒーローライドジュエルエスパネスを刺したミスティックワプニオンフォームはエスパネスの力が宿ったキュアミスティックエスパネスフォームにフォームチェンジした。

クイーン翔華楽フォーム「あなたもフォームチェンジなら私もフォームチェンジよ!!」

ミスティックと同じようにフォームチェンジするため、クイーンはヒーローライドジュエル大和丸を出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

クイーン翔華楽フォーム「ヒーローライドチェンジ!!」

ヒーローライドジュエル大和丸を刺したクイーン翔華楽フォームは大和丸の力が宿ったキュアクイーン大和丸フォームにフォームチェンジした。

ミスティックエスパネスフォーム「受けよ、エスパネスの超能力を!!」

ミステイックエスパネスフォームが両手を前に出して、クイーン大和丸フォームに念動力を発動する。

ミステイックエスパネスフォーム「プリキュア・エスパネスバインド!!」

両手を前に出したミステイックエスパネスフォームがクイーン大和丸フォームを念動力で持ち上げて、念動力で形成した光線を放った。

クイーン大和丸フォーム「うっ、やってくれたわね。」

ミステイックエスパネスフォームの超能力の攻撃を受けたクイーン大和丸フォームが橙破槍を手に持ったままジャンプをし始めた。

クイーン大和丸フォーム「プリキュア・大和昇麟斬!!」

クイーン大和丸フォームが橙破槍を発光しながら高ジャンプして、ミステイックエスパネスフォームに大きな斬撃を与えた。

ミステイックエスパネスフォーム「うっ、ぐうっ!!」

大きな斬撃を受けたミステイックエスパネスフォームは、念動力でクイーン大和丸フォームに火を起こす。

ミステイックエスパネスフォーム「プリキュア・パイロキネシス!!」

念動力によってクイーン大和丸フォームに火を起こして、念動力の火で燃やし尽くす。

クイーン大和丸フォーム「あああっ!!」

ミステイックエスパネスフォームの起こした火によって全身に燃やし尽くされてるクイーン大和丸フォーム。

ミステイックエスパネスフォーム「もらった!!」

ダウンして姿勢を崩したクイーン大和丸フォームに攻撃にかかるミスティックエスパネスフォーム。だが、火で燃やし尽くされるクイーン大和丸フォームは次の手を打ち、ヒーローライドジュエルバルクマツスラー出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

クイーン大和丸フォーム「ヒーローライドチェンジ!!」

ヒーローライドジュエルバルクマツスラーを刺して変身したクイーン大和丸フォームはバルクマツスラーの力が宿ったクイーンバルクフォームへとなり、全身にもやし続
く火を打ち消し、攻撃にかかったミスティックエスパネスフォームに思いつきりパンチで打ち込んだ。

ミスティックエスパネスフォーム「あああああー!!」

バルクマツスラーの力でフォームチェンジしたクイーンバルクフォームの強力なパンチを喰らったミスティックエスパネスフォーム。こちらに対抗して、ヒーローライド

ジュエルミラーシエナを出し、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

ミステイクエスパネスフォーム「ヒーローライドチェンジ!!」

ヒーローライドジュエルミラーシエナを刺して変身したミステイクエスパネスフォームは、ミラーシエナの力が宿ったミステイクミラーシエナフォームへと変なり、スカート部から4基のビットを放出して、クイーンバルクフォームに攻撃し、さらにミラーシールド鏡モードから必殺技を放つ。

ミステイクエスパネスフォーム「プリキュア・ミラーシエナビーム!!」

ミラーシールド鏡モードから放った光線をクイーンバルクフォームに喰らわせた。だが攻撃を受けつつ、そのままジャンプして殴りにかかった。

クイーンバルクフォーム「プリキュア・バルクストレートナックル!!」

腕を発光しながらミステイクミラーシエナフォームにストレートで思いつきりパ

ンチしたが、ミラーシールド鏡モードで防いだ。

ミステイックミラーシエナフォーム「やるな。」

クイーンバルクフォーム「互角ね。」

互角の戦いを繰り広げる両者。違うミステイックのキュアートフォンチェンジャーから通信が入った。

ミステイックミラーシエナ「こんな時にか、今回は引き上げだ!!次は必ず。」

この場を引いたミステイックミラーシエナ。戦いは終わり、元の文に戻り、咲耶歌と海は彼女の元へ駆けつけた。

咲耶歌「周防さん。」

文「私の戦いどうだった?」

海「互角に渡り合う何て凄かったわ。」

文「私はみんなの笑顔と幸せを守るために戦っているの。悲しい思いはさせたくない」

い。私もあなた達と一緒に戦っていききたい。だからお願い。」

咲耶歌「わかったよ、文。文が言うならあたし達と一緒にインフェルノと戦おう。」
海「みんなの幸せを守るために私達はプリキュアになったのよ。」

文「これからは一緒に行こう。」

8人目のプリキュア、クイーン如く周防文が加わり、共に戦う事となった。

桃園家自宅

アイカとはるなの部屋

アイカ、はるな「……」。

ノーザの精神攻撃で傷付いたアイカとはるな。2人は果たして立ち上がれるのか？

次回 21話へ続く

設定5

ジャスティスヒーロー

鉄斉

CV 木村良平

ジャスティスヒーローの1人。中国武闘着を着た拳法使いの姿をし、性格はクールで厳格であり、頭が剥けているのが特徴。素手、格闘、体術、拳法を得意とし、彼の繰り出す拳は一発であらゆる物を粉碎し、敵を一瞬で倒す力を持つ。気力を充実に付けている。相手の行動を読みながら見切っている。彼は地獄界の閻魔大王の腹心でもあるが、現在は世界を旅している。ストライクと一体化してキュアストライク鉄斉フォームとなる。

キョウリユウジャーのキョウリユウグレー、キン肉マンのモンゴルマンを元に
キュアストライク鉄斉フォーム

ストライクと鉄斉が一体化した姿。闘技服を着用し、右肩に肩当を着用し、絵柄が拳の文字をしているのが特徴。格闘に特化している事で、素手から繰り出す拳で、体術、拳法も活かしていき、あらゆる武術も得意とする。気力も高い。見切りで相手の行動を讀

み取る。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキユア・鉄斉突破拳

ストライク鉄斉フォームの必殺技。気力で形成したエネルギー状の拳を放つ。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキユア・鉄斉気蹴練

ストライク鉄斉フォームの必殺技。ジャンプしてキックに気力を纏いながら敵に打ち込む。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキユア・鉄斉百烈拳

ストライク鉄斉の必殺技。両拳から繰り出す拳で敵全体に100発のパンチを喰らわせる。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキユア・鉄斉翔蹴進

ストライク鉄斉フォームの必殺技。敵に向かって進みながら片脚を広げてラリアー卜で打ち込む。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・鉄斎昇烈拳

ストライク鉄斎フォームの必殺技。気力を拳に集中して飛び上がって、敵にアツパークットする。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

明利江

CV：洲崎綾

ジャステイスヒーローの1人。くノ一の姿し、服装は身軽の軽装であり、素早い動きや忍術を得意とする。武器は投げて手元に戻るクナイ型の羽佐鬼2本と大型手裏剣型の旋忍風と手裏剣のみである。彼女は麗奈と烈陣丸と光陰命と翔華楽と大和丸と同じ亜苦羅出身であり、現在は祖国を取り戻すための亡命活動をしている。シンシアと一体化する事で、キュアシンシア明利江フォームとなる。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアシンシア明利江フォーム

シンシアと明利江が一体化した姿。全身に軽装鎧を身に纏い、くノ一らしさがしつかり姿をし、忍びの如く素早い動きを駆使しながら忍術を得意とする。武器は投げて手元に戻るクナイ型の羽佐鬼2本と大型手裏剣型の旋忍風と手裏剣のみである。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・明利江稲妻斬

シンシア明利江フォームの必殺技。2本の羽佐鬼に稲妻を纏いながら敵を斬撃する。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けな
い。

プリキュア・明利江速風斬

シンシア明利江フォームの必殺技。旋忍風を投げて自由自在に回りながら敵全体を斬り込む。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けな
い。

プリキュア・明利江爆炎波

シンシア明利江フォームの必殺技。忍術を唱えて掌から炎を放ち、敵全体に当てて爆発させる。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けな
い。

プリキュア・明利江水昇陣

シンシア明利江フォームの必殺技。忍術を唱えて掌を合わせて、地上から巨大な洪水を起こして、敵全体を飲み込み、喰らわせる。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けな
い。

プリキュア・明利江雷閃滅

シンシア明利江フォームの必殺技。忍術を唱えて両手を広げて、敵全体に無数の雷を降り注ぐ。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・明利江乱れ斬り

シンシア明利江フォームの必殺技。シンシア明利江フォームが分身して、敵に向かつて分身と共に斬り裂いていく。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ヴォイダートマン

CV：菅原雅芳

ジャステイスヒーローの1人。ファイツのかつての親友リツキーだったが、第二次世界大戦後に瀕死で倒れていたところ、旧ソ連に拾われてサイボーグとなり、名前はスノーダークと名付けられて、暗殺任務を遂行する。ファイツの想いによってジャステイスヒーローに転生し、姿が黒いヘルメットと仮面とアーマーを身に纏い、手甲にスノーダーク時に使われたベアクローがあるのが特徴で、格闘技を得意とする。身体能力が高く、バランスが非常に優れている。ジャックと一体化する事で、キュアジャックヴォイダートフォームとなる。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キン肉マンのウォーズマンとアベンジャーズのバツキーを元に
キュアジャックヴォイダートフォーム

ジャックとヴォイダートマンが一体化した姿。胴体にヴォイダートアーマーを纏い、
両腕にヴォイダートガンレットを着用し、手甲からベアクローを出刃して斬り裂いた
り、さらに格闘技を駆使していく。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ヴォイダートスラッシュ

ジャックヴォイダートフォームの必殺技。両手の手甲のベアクローを発光しながら
敵を斬撃する。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影
響を一切受けない。

プリキュア・ヴォイダートキックランチャー

ジャックヴォイダートフォームの必殺技。ジャンプで両脚を出したまま、敵に打ち込
む。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ヴォイダートロックブレイカー

ジャックヴォイダートフォームの必殺技。敵を持ち上げて、そのままジャンプして両
手で敵の両腕を掴み、両脚で敵の両脚をはみながら、引っ掻きあげて、敵の両腕脚を折
る。敵に打ち込む。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ヴォイダートスクリュードライバー

ジャックヴオイダートフォームの必殺技。両手の手甲のベアクローを突き出して、全身を発光しながら錐揉み回転して、敵に突撃して貫く。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スーパーレディ

CV：平田絵里子

ジャスティスヒーローの1人。髪が金髪で、青と赤と黄色の3色のスーツを着ているのが特徴。超人的体力と怪力を持ち、敵のエネルギー、光線等の攻撃を吸収して自分の力に変えていく。現在は人間界で増野志保と名乗って、幼稚園の先生として、園児達の面倒を見ている。マジックと一体化する事で、キュアマジックスーパーレディフォームとなる。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アベンジャーズのキャプテンマーベルを元に

キュアマジックレディフォーム

マジックとスーパーレディが一体化した姿。マジックにスーパーレディの姿をしたスーツを身に纏い、超人的体力と怪力を持ち、敵の敵のエネルギー、光線等の攻撃を吸収して自分の力に変えていく。あらゆる技など繰り出し、さらに強力な必殺技を放つ。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・レディエナジービーム

マジックレディフォームの必殺技。掌から強力なビームを放つ。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・レディストロングパンチ

マジックレディフォームの必殺技。右手を発光しながら敵に強く殴り込む。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・レディエナジーブラスト

マジックレディフォームの必殺技。敵のエネルギ、光線等の攻撃を吸収し、全身を発光しながら敵全体に強烈な光波を放つ。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

隼疾風

CV：石川界人

ジャスティスヒーローの1人。隼の姿をした鳥人をし、背中に翼を生やして空を飛ぶのが特徴。猛スピードで駆けながら敵を翻弄し、さらに風を引き起こしたりする。彼も亜苦羅出身であり、現在は明利江と一緒に祖国を取り戻すための亡命活動をしている。フェッターと一体化する事で、キュアフェッター隼疾風フォームとなる。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアフェッター隼疾風フォーム

フェッターと隼疾風が一体化した姿。全身に軽装を纏いながら背中に隼疾風の翼があり、空を飛び、空中戦を得意とする。風を自在に呼び起こしたり、さらにスピードを駆使して敵を翻弄させる。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・隼疾風活速進

フェッター隼疾風フォームの必殺技。素早く飛びながら敵全体に翼で斬り付ける。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・隼疾風竜巻進

フェッター隼疾風フォームの必殺技。竜巻を発生して、敵全体を飲み込んで一気に蹴散らす。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・隼疾風旋風斬り

フェッター隼疾風フォームの必殺技。キュアカタナテツポウ刀モードの刀身に風を纏いながら敵を一刀両断する。相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

インフェルノ

アルス

CV：増田俊樹

インフェルノの幹部。種族は超人で、パワーファイターの姿をしながら大きな髪の毛のような部分をしているのが特徴。実力も高く、たった1人でプリキュアを圧倒する力を見せる。幼い頃からプリキュアの歴代幹部に憧れてインフェルノに入り、将来の最高幹部候補でもある。

キン肉マン二世のスカーフフェイス（マルス）を元

必殺技

アルステイングヘアー

アルスの必殺技。自身の髪を伸ばしながら先端を尖った状態で敵に喰らわせる。

アルスラリアット

アルスの必殺技。右腕を広げて思いつきり敵に喰らわせる。

アルス・ザ・バスター

アルスの必殺技。敵2人を上に投げ飛ばして、アルスがジャンプして、敵2人を両脚で力強く挟んで、両手で2人の足を強く掴んだまま地上に急降下し、地面に思いつきりぶつけて、直撃する。

バイソック

CV：マックスウエル・パワーズ

インフェルノの幹部の1人。バイソンの姿をした超人。体格は巨漢で、パワーは高く、プリキュアを圧倒する力を持ち、頭に生えている角は鋭く、あらゆる物を貫き破壊する。両腕は強力な剛腕で殴り抜く。彼は元々は貧弱な姿で周りからバカにされて、孤独な日々を過ごしていた。ある日、ハデウスとの出会いにより、ハデウスから授かった邪悪な力で今の姿となった。

キン肉マンのバツファローマンを元に

必殺技

バイソックチャージ

バイソックの必殺技。走りながら頭の角で敵に向けて突撃して体当たりした。

バイソックホーンアタック

バイソックの必殺技。角で敵に直接喰らわせる。角の尖った先端はあらゆる物を貫き破壊する。

バイソックナックル

バイソックの必殺技。両腕の剛腕を振りながら敵に思いっきりぶち込む。

カロン

CV：水島大宙

インフェルノの大幹部。かつてファイナルウォーで倒されたと思われたが、何らかの理由で生存し、外見は10年前と同じで、全身を覆う暗黒のローブと片手に握られた巨大な鎌、不気味な髑髏の仮面で顔を覆っている。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

pixivの桔梗さんのオリキヤアより

WJG

津賀大貴（52）

CV：子安武人

WJGの研究科長。プリキュアに関する研究を行い、またジャスティスヒーローの研究を行っている。外見は中年で、口にヒゲを生やしている。

アルトIIクローガンズ（30）

CV：村田太志

WJGの隊員。階級は少佐。外見はサングラスをかけており、武器は弓で、あらゆる矢を放ち、敵への狙いは外さず、弓の腕は高い。楽的な性格である。

アベンジャーズのホークアイを元に

ユーリアンIIクルスコフ（22）

C V：諏訪彩花

W J Gの隊員。階級は中尉。眼鏡をかけているのが特徴で、事務職の仕事をしているが、眼鏡を外すと表情が変わり、戦闘時の姿となり、武器は剣2本で、剣術を得意とする。

アイテム

リビンググデッドマシン

カロンとD r e e j sが共同に開発した棺桶型で、かつて歴代プリキュアに倒された幹部達を蘇生させる。蘇った幹部達は従来の姿でなく、ゾンビのような感情がなく冷たい表情をしている。

プリキュアの必殺技

プリキュア・アイゼンバスターショット

ストライクアイゼンフォームの必殺技。キュアブレードマグナム銃モードを手に持ったままパワージャッキを起動してエネルギーを集中し、一気に強力な光線を放ち、敵全体に喰らわせる。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・フェアリアルバスターテンペスト

シンシアフェアリアルフェアリアルモードの必殺技。キュアブレードマグナム銃モードと無数のマスケット銃と共に一斉射撃し、敵全体に喰らわせる。相手を浄化または撃破す

る。

プリキュア・烈陣双破斬

フェッター烈陣フォームの必殺技。キュアカタナテツポウ刀モードを右手に、戦烈鬼を左手にそれぞれ構えて発光し、敵に二刀で斬撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ソールサンダースピア

マジックソールフォームの必殺技。マジックステツキスピア槍モードに雷を纏いながら敵に向けて投擲する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ファイツシールドイリュージョンシユート

ジャックファイツフォームの必殺技。ジャックステツキスピア杖モードで分身体を作り、ファイツシールドを発光しながら敵全体に向けて一斉に投擲する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・ボルケリートフレイムスラツシユ

ストライクボルケリートフォームの必殺技。キュアブレードマグナム剣モードに炎を纏いながら敵に斬撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキュア・スカヴァアイススラツシユ

シンシアスカヴァフォームの必殺技。キュアブレードマグナム剣モードに氷を纏いながら敵に斬撃する。相手を浄化または撃破する。

プリキユア・光陰命天光雨

フエツター光陰命フォームの必殺技。キュアカタナテツポウ鉄砲モードを上げたまま光球を放ち、そのまま光の雨となって放ち、敵全体に喰らわせる。相手を浄化または撃破する。

プリキユア・ウオーテイルダブルレイカー

ジャックウオーテイルフォームの必殺技。ジャックステツキスピーア槍モードを右手に、ウオーテイルハルバート左手に構えて、両槍に水状を纏いながら敵思いつきりぶち込む。相手を浄化または撃破する。敵の防衛無視。

プリキユア・ウイザーデイマジック・ザ・ショータイム

マジックウイザーデイフォームの必殺技。マジックステツキスピーア杖モードを右手に、ウイザーデロッドを左手に構えて、2つの杖で辺り一帯をステージに変え、ステージの上にいる敵全体にクラッカーで攻撃し、次に大量の鳩で攻撃し、さらに巨大なシルクハットを召喚して、閉じ込めて、最後に巨大な花火を起こして蹴散らす。相手を浄化または撃破する。

第21話 己の弱さ

季節は夏、蒸し蒸しする暑さの毎日を送り、その暑さに嫌気さも出ていて、灼熱地獄を過ごしているような感じだ。

桃園家自宅

アイカとはるなの部屋

アイカ、はるな「……」

未だに部屋に閉じこもったままにいるアイカとはるな。2人はノーザとの戦いで彼女の精神攻撃によって、心に深い傷を負い、立ち上がる事も出来ない状態だ。

アイカ「あたしとはるなは弱かった。」

はるな「私とアイカは勝てなかった。」

ノーザの精神攻撃によって今も立ち上がれない状態にいるアイカとはるな。

咲耶歌「アイカちゃん、はるなちゃん。」

傷付いたアイカとはるなの側に咲耶歌と海と文とはるかと由紀がやって来た。

アイカ「咲耶歌さん、海さん。」

はるな「はるか先生。」

はるか「まだ心が傷付いている?」

海「ノーザと言う人の精神攻撃ね。」

はるな「麗奈さんは?」

咲耶歌「麗奈さんは用事があつて。」

文「初めまして、私は周防文。あなた達2人がアイカちゃんとはるなちゃんだね?」

アイカ「その人は?」

由紀「彼女はあなた達の仲間よ。彼女はキュアクイーンに変身して戦うの。」

文「よろしくね。」

アイカ、はるな「……。」

文「元気がないみたいだね。」

アイカとはるなのお見舞いに来た咲耶歌達。2人のいつもの元気で明るい姿はなかった。そんな中、キュアートフォンチェンジャーからインフェルノの出現の反応がした。

咲耶歌「インフェルノ!!」

海「こんな時に。」

文「みんなが苦しむ前に行こう。」

アイカ、はるな「・・・。」

海「2人は無理しなくていいから。」

アイカ「行きます・・・。」

はるな「わたしとアイカも戦います。」

由紀「本当に無理はしないで。」

アイカ「どうしても行きます・・・。」

精神攻撃で心が傷付いたままそれでも行こうとするアイカとはるなは、咲耶歌と海と文と共にインフェルノを倒しに行つた。町ではD r i i j s等のカロロンがリビング

デッドマシンから他の歴代幹部を蘇らせて、襲撃させた。

あさぎ市

市街地

男性1「うわあー!!」

女性1「きゃあー!!」

ピーサード、カレハーン、ノーザ、ウルフルン、オレスキーとリビンググデッドマシンから蘇って現れたのは、サーキュラス、クモジャキー、ホツシーワの3人が町の人々に攻撃をした。幹部の阿修羅弁慶、宗司、忍里丸、スノーダーク、雑兵のゾンビーン、マシソルジャー、スカルトイ、インフェルノ兵、ゴーストンらも共に襲撃した。

Drīジス「他の幹部3人も蘇らせて実にいい。」

カロン「リビンググデッドマシンは素晴らしい。」

サーキュラス「死ね!!」

サーキュラスがパンチで逃げる一般人に強く殴りこんだ。

クモジャキー「俺の刃を受けるじゃき!!」

クモジャキーが剣を振りながら一般人を一斉に殺害した。

ホツシーワ「あらあらこれは面白い事だわ。」

パラソルを前に向けて、先端からチョコの液体を放出して人々にかけて、そのままパラソルで振り払った。

フエッター「インフェルノ!!」

町への破壊活動を行うインフェルノの前にフエッターが一人で現れた。フエッターの出現に対し、阿修羅弁慶が早速彼女に襲いかかった。

阿修羅弁慶「麗奈、覚悟!!」

フエッター「鬼丸!!」

阿修羅弁慶が手に持っている6つの武器でフェッターのキュアカタナテツポウ刀モードとぶつかり合ひ、6つの繰り出す武器でフェッターを追い詰める。

咲耶歌、海、文「インフェルノ!!」

アイカ達も早速駆けつけに現れ、インフェルノと対峙する。

ノーザ「また会ったわね。」

アイカ、はるな「!!」

その中にノーザの姿もあり、2人はノーザに恐怖心を抱いた。

アイカ、はるな「あつ、あああつ。」

咲耶歌「アイカちゃん、はるなちゃん。」

海「ノーザが目の前にいるのね。」

文「恐怖にまだ怯えているのね。」

海「麗奈さんもいるわ。」

フェッターがすでに戦っているのを目撃する咲耶歌と海と文。

ノーザ「あの2人もいるわね。どうしていこうかしら？」

咲耶歌「あたし達3人で行くしかないね。海、文、変身よ!!」

目の前にいるノーザの恐怖に怯えて戦えないアイカとはるな。3人だけで変身して戦う咲耶歌と海と文はキュアートフォンチェンジャー、プリキュライドを出して刺し、変身する。

咲耶歌、歌、文「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めた咲耶歌、海、文は全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たド

レスを着用し、頭にシルクハットを被り、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを被った。

マジック「行くよ、ジャック、クイーン!!」

プリキュアに変身した3人はすぐにインフェルノと対決をする。マジックとジャックが早速自分達のステッキスピアを出し、さらにマジックはドリーム、ハッピー、ラブリー、ミラクル、ホイップのプリキュライドジュエルをマジックステッキスピア、ジャックはアクア、ベリー、ビューティ、マジカル、ジェラートのプリキュライドジュエルをマジックステッキスピアを装着しながら分身した合計10人に2人のそれぞれステッキスピアに装着したプリキュライドジュエルが発動した。

マジック、ジャック「プリキュライドチェンジオールスターズ!!」

2人は合計10人の分身体を変身させて、再生幹部達と戦わせ、さらにマジックとジャックはキュアートフォンチェンジャーにヒーローライドジュエルを出し、マジック

はウィザーデイ、ジャックはファイツを出して、刺して召喚する。

マジック、ジャック「ヒーローライドジュエル!!」

ヒーローライドジュエルからウィザーデイが召喚されたが、ファイツは何故かヒーローライドジュエルのままだった。

ジャック「ファイツ？」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「すつ、すまない。私はリツキーとは戦いたくない……。」

戦いが出来ないのはアイカとはるなだけではなかった、何とジャスティスヒーローのファイツまでもが戦いが出来ず、ファイツはかつての親友であるリツキー如くスノーダークと戦う事に精神的に苦しんでいた。

ジャック「彼と戦うのが無理と言うのね。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「あああつ。」

ウイザーデイ「仕方ない、我らだけで戦うのだ!!」

ウイザーデイと分身体と共にインフェルノの面々と戦うマジックとジャック。

クイーン「はああああー!!」

クイーンが忍里丸と宗司とオレスキーとホツシーワを4人相手に戦った。

オレスキー「この前の返してやる!!」

オレスキーがパンチを連打に繰り出しながらクイーンに打ち込んだ。両腕ガードしたクイーンは、素早くコークスクリューでオレスキーの腹に打ち込んだ。

ホツシーワ「ほらほら、いただくわ!!」

ホツシーワがパラソルでクイーンに向かって刺突しにかかった。

クイーン「そこね!!」

すぐに反応をキャッチしたクイーンは、ホッシーワのパラソルの刺突をかわして、彼女の背後にパンチで殴り込んだ。

忍里丸「火遁の術!!」

忍里丸が火遁の術でクイーンに向けて、片手から炎を放ち、彼女に喰らわせた。その時、すぐにキュアナギナライドフル薙刀モードを出して、切り払ったクイーンは、小銃モードに切り替えて、射撃した。

宗司「ここで死んでもらうぞ。」

宗司がクイーンに向かって直接斬りにかかり、菊花丸で振り下ろしにかかった。すぐに薙刀モードに切り替えて受け止め、力を入れて宗司を押し返した。

クイーン「ヒーローライドジュエル!!」

クイーンはヒーローライドジュエル翔華楽を出してキュアートフォンチェンジャーに刺し、起動し、翔華楽を召喚した。

翔華楽「チャチャつといくよ!!」

天翔心2つを両手に持ちながら、周りにいる忍里丸と宗司とオレスキーとホツシーワに喰らわせ、さらにクイーンがパンチで繰り出した。

ドリームマジック、アクアマジック「はああああー!!」

ドリームマジックとアクアジャックがそれぞれのフルーレを出して、クモジャキーに同時に斬撃しにかかった。

クモジャキー「そんな緩い攻撃など通じんじやきら!!」

キュアフルーレで斬りにかかって来たドリームマジックとアクアジャックに対し、ク

モジャキーが剣から真空波を放ち、2人まとめて喰らわせた。

ドリームマジック、アクアジャック「きやああああー!!」

クモジャキーの剣から放った真空波で返り討ちにあつたドリームマジックとアクアジャックは消滅させられてしまった。

ハッピーマジック、ラブリーマジック、ミラクルマジック、ホイップマジック、ベリージャック、ビューティージャック、マジカルジャック、ジェラートジャック「ああああー!!」

マジックとジャックの分身体がスノーダーク、ピーサード、サーキュラス、カレハン、ウルフルンにやられてしまい、一気に倒されてしまった。

マジック「そんな、あたしとジャックの分身体が……。」

サーキュラス「そんな程度か、今の時代のプリキュアは。」

ジャック「そんな事なんてない!! 私達はこれまで戦ってきたわ!!」

スノーダーク「プリキュア、こんな程度とは笑わせるな。」

ウィザーデイ「そうじゃ、彼女達はこれまで今までずっと戦い抜いてきたのだ!!」
ウルフルン「そいつらのどこが勝ち抜いたんだ? 見ろよ、あそこにいる2人はノーザ
がもう近付いてビビってやがるぜ!!」

マジック、ジャック、ウィザーデイ「しまった!!」

自分達が戦っている間にすでにノーザがアイカとはるなの元に寄っていた事に気付
き、急いで向かおうとするが、スノーダークらに阻まれてしまい、交戦が続いた。

アイカ、はるな「あつ、あああつ!!」

近づいて現れたノーザに恐怖を怯えるアイカとはるな。

ノーザ「あらあら、私の事怖がつてるわね。大好きな母親の事をまた思い出させてあ
げるわ。」

アイカ「やめてー!!」

はるな「これ以上掘り起こさないで!!」

ノーザ「あなた達の苦しむところが楽しいのよ。だからもっと苦めてあげる。」

アイカとはるなを再び精神攻撃をしようとするノーザ。

トットム、ペル、アーニヤ「そうはさせない!!」

トットムとペルとアーニヤの3匹の妖精がノーザの前に立ち向かい、抵抗するが、

ノーザ「雑魚は引っ込んでなさい!!」

蔓でトットムとペルとアーニヤを強く振り払い、地面に強く衝突させたノーザ。

アイカ、はるな「トットムとペルとアーニヤ!!」

ノーザ「もうおしまいよ、あなた達。」

2人に迫ろうとするノーザ。その時、1人の男が現れて、ノーザに強くキックをした。

ノーザ「ぐわあっ!!」

アイカ、はるな「!!」

アイカとはるなの前に現れた謎の1人の男。

ウイザーデイ「!!まさか、あいつは!!」

翔華楽「ようやく来たわけね。」

トットム「もしやあのお方は?!」

クイーン「知っているの?!」

ペル「彼の名は鉄斎殿。ジャステイスヒーローの1人で、閻魔様の腹心です。彼は武術の達人であります!!」

その男の名は、鉄斎。アイゼンアロイス達と同じジャステイスヒーローであり、閻魔大王の腹心であり、彼は頭が剥けているのが特徴で、素手、格闘、体術、拳法を極めて得意とする。

鉄齊「この様か。」

ノーザ「何者?!」

アルス「何だてめえは?!」

鉄齊「お前達など俺に敵うなどない。」

バイソック「んだと!!」

ノーザ「調子に乗ると痛い目に合わせるわよ!!」

ノーザが蔓を一斉に出して、鉄齊に向けて襲いかかった。

鉄齊「そんな見え見えの行動は既にお見通しだ。」

右脚を前に出して、ノーザの多数の蔓を回し蹴りで全て蹴散らした。

ノーザ「何?!アルス、バイソック!!」

自分の蔓を全て蹴散らされたのに驚愕したノーザは、アルスとバイソックに攻撃にかからせた。

鉄斎「!!」

先手を取って行動に出た鉄斎が素手から繰り出す拳で、アルスに喰らわせた。

アルス「うわああああー!!」

鉄斎の強烈な拳で一撃で倒されたアルス。

バイソック「死ね!!」

鉄斎に向かって、自身の角を強いて突進しかかるバイソック。バイソックの突進をジャンプしてかわして、手刀でバイソックの右の角をへし折った。

バイソック「俺の角を折っただと?!」

自分の角が鉄斎によって折られてしまい、今まで自分の角で倒してきたのが、逆に折

られてしまったのに驚愕するバイソック。

鉄斉「俺以外にも他のやつもそろそろ来る頃だ。」

鉄斉が自分以外の者達が来る頃だと言い、3つの影がこの場に駆けつけに現れた。敵兵の大軍を1人で挑むくノ一の姿をした人物が挑んだ。

明利江「我が忍法を受けよ!!」

くノ一の姿をした人物の名は明利江。彼女はジャスティスヒーローであり、くノ一の姿をし、素早い動きを回りながら敵兵を翻弄し、クナイ型の羽佐鬼2本で敵兵を次々と切り、さらに大型手裏剣型の旋忍風を投げて自由自在に回りながら敵全体に斬り込んだ。

スーパーレディ「あなた達の相手は私がしてあげるわ。」

ピーサードらに苦しめられたマジックとジャックとウイザーデイを助けに来た髪が

金髪で、青と赤と黄色の3色のスーツを着ている女性スーパーレディが彼らの相手をする。

ウルフルン「死にに来たのか?!」

ピーサード「1人で挑むとは、なら望み通り殺してやろう!!」

ピーサードとウルフルンがスーパーレディに向かって襲いかかってきたが、

スーパーレディ「はああああー!!」

超人的体力と怪力でストレートでピーサードの腹を強く殴り込み、さらにウルフルンには、掌から強力なビームを放ち、一瞬で倒した。

クモジャキー「貴様あつ!!」

クモジャキーがカレハーンと一緒にになって、強襲をするが、

スーパーレディ「お見通しよ!!」

2人まとめて思いつきり強く殴り込んだスーパーレディ。

スノーダーク「貴様、ただ者ではないな。」

スーパーレディ「私と戦ってみる?」

スノーダーク「消し去ってやる!!」

スーパーレディに向かって、ベアクローで斬りにかかるスノーダーク。スノーダークのベアクローをキックでブロックし、続いてパンチでカウンターした。

隼疾風「我が速さを受けよ!!」

隼の姿をした鳥人のジャステイスヒーローの隼疾風が背中に翼を生やして空を飛びながら阿修羅弁慶に急降下して、口の嘴で喰らわせた。

阿修羅弁慶「ぐわあっ!!」

空中から急降下した隼疾風の嘴を喰らった阿修羅弁慶はその一撃でノックアウトした。

ドライージス「新手が現れたか。」

カロン「ここは引き上げだ。」

新たなジャステイスヒーローの登場により、形勢は不利となり、ドライージスとカロンは部下達と共に引き上げた。鉄斉らの介入で辛うじて救われたが、

咲耶歌「あつ、ありがとうございます。」

海「助けてくれてありがとう。」

鉄斉「お前達はまだまだ未熟だ。」

突如、鉄斉は咲耶歌達の戦いを見て未熟だ言い放った。

海「私達が未熟?!」

明利江「お主達は自分達の力をうまく使いこなせておらぬな。」

咲耶歌「私達が使いこなせてないって?!」

隼疾風「麗奈殿、先の戦い、どうやら焦りと迷いを生じているでござるな。」

麗奈「……。」

スーパードレイ「そしてあなた達2人、変身して戦おうとしなかったわね。」

アイカ、はるな「……。」

ウイザーデイ「彼女達はちゃんと頑張っておる!!何故否定するのだ!!」

鉄斎「こいつらがどれだけ力不足がわかっているのか?!インフェルノに連敗して来たか?!新しく誕生したキュアクイーンは5人とは比べ物にならない実力を持っている!!」

文「……。」

鉄斎「お前達5人は弱い。今のお前達ではインフェルノに勝つ事は不可能だ!!」

アイカ、はるな、咲耶歌、海、麗奈ら5人は鉄斎から今の自分達ではインフェルノに勝つ事は不可能と言われ、自分達がここまで弱ったか。その事実をどう受け入れる?

アイカ「あたし達は弱かった……。」

海「アイカちゃん。」

はるな「全部弱かったから負けたんだ……。」

咲耶歌「はるなちゃん。」

鉄斉「何故自分達が弱かったか、答えてみる。」

アイカ、はるな「……。」

鉄斉「答えれないと言う事はお前達の弱さを認めたくないと言う事だな。」

アイカ、はるな「……。」

鉄斉「お前達5人は今のままで勝てると思ってるのか？」

麗奈「私なら勝つ。勝てると思ってる!!」

鉄斉「なら何故負けた、何故自分が負けた事に自覚がない？」

麗奈「それは……。」

鉄斉「お前は己の弱さを自覚していないと言う事だな。」

麗奈「……。」

鉄斉「今のお前達5人をこのままにはしない。俺達がお前5人を鍛えてやる。地獄の特訓をしてやる。」

今アイカ達5人では、勝てないと告げた鉄斉は彼女達5人を強制的に地獄の特訓を行う事となった。

次回
22話へ続く

第22話 強くなるためには

鉄斎らから自分達の未熟さと弱さを告げられたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海は、彼らの元で地獄の特訓に受ける事になった。場所は、パラレルワールドにある極蓮寺と言うお寺だ。そこで5人は厳しい修行を受けていた。

パラレルワールド

極蓮寺

森林

アイカ、はるなちゃん「わあああああー!!」

アイカとはるなの2人は、後ろから追尾してくる巨大イノシシから必死で走っていた。2人は鉄斎からの最初の特訓で、2000km?を走る事で、巨大イノシシから追尾される事となる。

アイカ「こんなの無理だよ!!」

はるな「無理だつて!!」

巨大イノシシ2000km?まで必死で走り続けるアイカとはるな。2人の特訓を遠くからみる鉄斉と明利江。

鉄斉「まだまだだな。」

アイカとはるなをまだまだ未熟と感じる鉄斉。一方、咲耶歌と海は、特訓は高さ600m?ある崖を登っていくが、登ってる際に頂上から岩が降つて来た。

崖

咲耶歌「えつ、ちよつと、待つて!!」

海「こんなの無茶よ!!」

崖の頂上から降ってくる岩に戸惑う咲耶歌と海。崖に手を掴んだまま、降ってきた岩に当たったりし、悲痛した。同じ頃、麗奈はただ1人、深い暗闇の洞窟で刀を手に持ったまま、凶暴な蝙蝠の大群を相手に1人でやり合っていたが、深い暗闇の中で全く何も見えずにいた。

洞窟

麗奈「うっ、あっ!!」

何も見えずに蝙蝠の大群に襲われる麗奈。5人の修行は始まったばかりで、うまくいかずにいた。

極蓮寺

スーパードレイ「あの5人はまだまだみたいね。」

文「5人は修行無事出来るかな?」

トットム「いきなり無茶なことから始まるにも無理があるぜ。」

ペル「ハードを超えた地獄ですな。」

アーニヤ「とてつもない地獄の修行なんて大変でありますわ。」

文「やっぱ、大変な目にあってるかな?」

極蓮寺内で、5人の修行を見守る文とトットムとペルとアーニヤとスーパードレイ。

森林

アイカ「あんなデカイイノシシから逃げるなんて出来ないよ!!」

はるな「今は走る事に専念よ!!」

後ろから追尾する巨大イノシシから必死で走り続けるアイカとはるな。巨大イノシシから走る中、はるなが転んでしまった。

はるな「あああっ!!」

アイカ「はるな!!」

転んでしまったはるなをすぐに手を掴んで立ち上げようとするが、巨大イノシシが間近に迫ってきた。その時、遠くから見ていた鉄斎が一瞬で駆け込んで来た。

鉄斎「突破拳!!」

鉄斎が気力で形成したエネルギー状の拳を巨大イノシシに放ち、一瞬で倒した。

アイカ、はるな「あああつ。」

鉄斉が素手で巨大イノシシを一瞬で倒したのを驚愕するアイカとはるな。

鉄斉「そんなんではお前達はいつまで弱いままだ。」

アイカ「あんな巨大イノシシから逃げ切るなんて無理だよ!!」

はるな「逃げ切るなんて無理があるよ!!」

鉄斉「無理と言うならお前達2人は一生無理と言う事だな。」

アイカ「違う、あたし達はこれまでずっと頑張つて来たよ!!」

はるな「どんな敵だつて勝つて来たわ!!」

鉄斉「だから何だ? 今のお前達は弱い。あのノーザと言う女に何故敗れた?」

アイカ、はるな「!!」

鉄斉の口からノーザに敗れた事を言われたアイカとはるなは、彼女の精神攻撃で追い詰められた事を思い出した。

鉄斉「お前2人はわかっているはずだ、その精神が弱かったのかを!!」

アイカ、はるな「……」

鉄斎「どうした、何も言えないのか？」

アイカ「あたしとはるなはノーザに負けたんだ……」

はるな「精神攻撃で追い詰められて、私とアイカは負けた……」

鉄斎「お前達2人が何故負けたか、わかっただろ。お前達2人が弱いと言う事を!!」

自分達の弱さを告げられたアイカとはるなは、ノーザの精神攻撃で母親の事で追い詰められて、その精神をズタズタにされて負けた事を事実を認めたアイカとはるな。

アイカ「あたしとはるなは、もう負けたくない。だからこれ以上屈折はしたくない。はるな「私とアイカは精神も追い詰められたくない。だからもつと強くなる。」

鉄斎「ならば見せてみる、お前達2人が特訓で鍛えて力を付けた姿を!!」

ノーザに二度と精神攻撃で追い詰められて負けないためにも、その特訓で強くなつて鍛えて励み歩むアイカとはるな。咲耶歌と海は、無数の岩の針山を渡り歩く特訓をしていた。

岩の針山

咲耶歌、海「うっ!!」

無数の岩の針山を渡ろうとするが、針の先端が尖って行って、ヘタをしてしまうと身体を刺されて死んでしまう。

咲耶歌「これじゃ渡れそうにもないよ。」

海「咲耶歌、諦めるつもり？」

咲耶歌「こんなの渡っこないよ!!こんな特訓意味があるの？」

海「あなた、それでもプリキュアなの!!私達が何で弱かったのか、わかっているの!!」

咲耶歌「それは……。」

海「あなた、本当に今のままでいいの?!今度戦ったらもう次はないのよ!!」

咲耶歌「!!」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「海、言い過ぎではないか？」

海「ファイツ、どうしてあなたは過去の友人から逃げているの?あなたは彼と向き合

う気はあるの?」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「!!」

海が自分達が今のまま弱いから負けてしまし、自分がプリキュアとしてその資質を問われ、次戦うとしたら負けてしまう事を言われた咲耶歌といつまでもリツキーの事から逃げて向きわない事を言われたファイツ。

咲耶歌「あたしはこのまま一生負けて負けていくのね・・・。」

海「本当強くなりたいのなら今ここで頑張らなきゃならないのよ!!だからみんなが頑張らなきゃ今度は永久に敗北よ!!」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「君の言う通りだ、海。私はリツキーから逃げた。逃げているばかりでは何も変わらない。だから今こそリツキーと向き合い、着ける時だ。」

海「ファイツ。」

ソール（ヒーローライドジュエル）「鍛えるのはお前達2人だけではない。私達ジャステイスヒーローも強くならなければならない。」

咲耶歌「ソール。」

ウオーテイル（ヒーローライドジュエル）「私達だって強くならなきゃいけないのよ。だからあなた達と一緒に強くなっていききたいの。」

ウィザーディ（ヒーローライドジュエル）「我らも共に強くなるのだ。」

この地獄の特訓で強くなるのは咲耶歌、海だけではなく、ジャスティスヒーローも自分達を強くなるため共に歩み出す。一方、岩場で麗奈はただ一人で巨大ゴリラと巨大ライオンを相手に戦っていた。

岩場

麗奈「はああああー!!」

巨大ゴリラがパンチで殴りかかり、麗奈が刀で受け止めて行き、刀を持っている両手に力をいっばい入れて押し返し、両断しかかるが、

巨大ライオン「がおおおー!!」

まだいた巨大ライオンが爪で麗奈に引っ搔いて吹き飛ばした。

麗奈「ああああああー!!」

巨大ライオンに吹き飛ばされて、地面に強く衝突した麗奈。衝突した影響で頭から血が出て来た。

麗奈「私は、負けない……。亜苦羅を取り戻すまでは……。」

奪われた故郷を取り戻すために傷付いた状態でそれでも立ち上がりとする麗奈は、刀を再び手に持ちながら巨大ライオンに斬撃しにかかった。

巨大ゴリラ「ぐおおおー!!」

その時、巨大ゴリラが真上からジャンプして、麗奈に両手をブローで合わせて思いっきり喰らわせた。

麗奈「わあああああああー!!」

巨大ゴリラの強い攻撃を受けて、大きなダメージを負い、口から吐血した麗奈。

麗奈「がはっ!!」

巨大生物2匹を相手に1人で戦う麗奈は無茶な戦いにし、かなりの重傷を負っていた。

麗奈「私は諦めない・・・。故郷を取り戻すまで諦めないんだ・・・!!」

かなりの重傷を負ってでも戦いをする麗奈。巨大ゴリラと巨大ライオンの2匹が同時に麗奈に襲いかかった。その時、烈陣丸と光陰命のヒーローライドジュエルがキュートフォンチエンジャーに刺さずに発光しながら起動し、麗奈の前に現れて、巨大生物2匹を相手をした。

麗奈「烈陣丸、光陰命!!」

烈陣丸「戦うのは麗奈様だけではないでござる!!」

光陰命「私と烈陣丸や他の者達も強くならなければならぬ時なのです!!あなたや他のプリキュア達だけではありません!!共に歩めば強くなるはずですよ!!」

麗奈「共に歩む……」

烈陣丸「今こそ皆で共に鍛えて強くなる時でござる!!」

烈陣丸、光陰命の言葉で共に歩んで強くなる事で、麗奈は3人で力を合わせて巨大ゴリラと巨大ライオンを相手に挑んだ。そしてアイカ、はるなは強くなるのは自分達だけでなくアイゼンアロイス、フェアリール、ボルケリート、スカヴァラジャステイスヒーローと共に灼熱のマグマ池の岩を渡りながら空中から来る巨大鷲と対峙する。

マグマ池

アイカ、はるな「!!」

岩を必死で渡るアイカとはるな。真下のマグマに落ちたら死んでしまう。ちゃんと周りを確認しながら空中から飛び回る巨大鷲の行動を目でしっかり見ながら動きを読み、巨大鷲が自分達に向かって襲いかかってくるのを察知した。

アイゼンアロイス「こいつは俺らに任せろ!!」

アイカとはるなが巨大鷲の動きを読んだ事で、アイゼンアロイスとフェアリールが空中をし、巨大鷲に攻撃に出た。

アイゼンアロイス「喰らえ!!」

フェアリール「当たりなさい!!」

アイゼンアロイスが掌からビーム、フェアリールはマスケット銃でそれぞれ射撃し、巨大鷲に攻撃した。

ボルケリート「次は俺とスカヴァアに任せろ!!」

スカヴァア「行くわよ!!」

続いてボルケリートとスカヴァアが同時に出て、2人は炎と氷を組み合わせた攻撃で巨大鷲に喰らわせ、その影響で巨大鷲の体力が徐々に減っていった。

アイカ、はるな「最後はあたし（私）達で決める!!」

最後はアイカとはるなが出て、2人はキュアートフォンチェンジャーでそれぞれプリ

キュライドジュエルを刺してプリキュアに変身し、2人で同時に巨大鷲に殴りにかかった。

ストライク、シンシア「はあああああー!!」

2人の同時パンチで巨大鷲を殴り飛ばし、撃退した。そしてそのままマグマの岩を渡りながら到着点へ進んだ。

鉄斎「まずはひと段落だな。あいつらがどこまで強くなるかだ。」

彼女達の修行を見届ける鉄斎。アイカ達がこの特訓でどのように強くなるか? 一方、アイカ達のいないあさぎ市では、WJGが彼女達の不在のためにロッキー山脈のWJG司令部よりさらに上のモスクワの最高司令部からWJGのメンバーが2人派遣された。

人間界

あさぎ市

WJG地下秘密基地

マリーシエ「来ましたか。」

アルト「よつ、マリーシエ。」

ユーリアン「マリーシエ少佐、お久しぶりです。」

サングラスをかけた男性隊員のアルトとクロローガンズ、眼鏡をかけた女性隊員のユーリアンとクルスコフ。そして2人の部隊の隊員達も共に同行して来た。

次回 23話へ続く

第23話 修行の果てに

鉄斎らの地獄の特訓を日々を過ごして2週間が経ちアイカ達は自分達だけでなく、アイゼンアロイスらジャステイスヒーローらも強くなるために共に修行を励んでいた。

パラレルワールド

極蓮寺

寺内

アイカ「うー!!」

アイカ達が今やっているのは、頭を使った修行に取り組んでいた。それは知恵の輪だ。この知恵の輪は歴代プリキュアのエムブレムの輪状が13つもあり、13の輪が繋がって円形になっていて、全部を取ろうとしても外せなかった。

はるな「次は知恵の輪ね。頭を使ってよく考えてやる事ね。」

咲耶歌「ええええー、何で知恵の輪!!しかも全然外れないし。」

海「よく考えてやるのよ。」

麗奈「何だからめんどくさそうね。」

アイゼンアロイス「こいつは全部同時に外さねえと無理だな。」

麗奈「ぜつ、全部同時に?!」

ソール「頭が痛くなるな。」

ウィザーデイ「くうー、何故知恵輪何かやる必要があるのだ。頭が痛くなるわ。」

アイカ「みんなで考えてやろう。そうすればきつと出来るはずだよ。」

はるな「頭なら私の得意中の得意よ。」

海「私もはるなさんと同じのは得意よ。」

アイゼンアロイス「よし、全員で考えてやるぞ。」

知恵の輪は全員を頭を使って考え始める一同。なかなか思い浮かばず、悩んで悩んで
いるばかりだった。

はるな「あっ!!」

そんな中、はるなは早速ある事に閃き、みんなに言い始める。

はるな「みんな、一緒に合わせてやるって言うのはどお？」

咲耶歌「みんなと一緒にやるって？」

はるな「この知恵の輪を一緒に合わせて同時にやるって言う事よ。」

ファイツ「一緒に合わせて同時に輪を取るか。」

烈陣丸「全員が同時に合わせていくでござる。」

アイカ「頭で考えたのがみんなで合わせて輪を外すって事で。」

ウオーテイル「じゃあみんなで合わせて輪を外しましょう。」

全員で頭で考えた結果、一緒に合わせて輪を外す事となり、アイカ達プリキュア5人とアイゼンアロイス達ジャスティスヒーロー10人が一緒に円状に繋がった13の輪を手に持ち、同時に合わせて外し始める。

一同「せーのー!!」

全員が同時に合わせて知恵の輪を外し、結果全員で合わせてやって、13の輪を全て外す事が出来た。

アイカ「やった!!」

麗奈「全部外れたね。」

鉄斉「見事だな、お前達。」

プリキュアのエンブレムで出来た13つの輪を外したアイカ達の前に鉄斉、明利江、スーパーレディ、隼疾風が現れた。

アイカ「鉄斉。」

鉄斉「頭を考えたのが結果は皆同じか。そして一緒に合わせて共に外した。」

明利江「やるわね。」

スーパーレディ「今からあなた達に最終試験を出すわ。」

咲耶歌「もう最終試験ですか?」

鉄斉「そうだ、この地獄の特訓でお前達がどこまで鍛えてきたか今ここで見せる時だ。」

麗奈「そうね、私達がどこまでこの修行で鍛えたか、見せる時ね。」

アイカ「この2週間、あたし達は強くなるために鍛えてきたんだ。」

はるな「その成果を見せる時だね。」

アイゼンアロイス「俺達ジャスティスヒーローも鍛えた成果を見せてやるぞ。」

鉄斉「その意気込みだ、今から最終試験の発表する。アイカ、はるな、アイゼンアロイス、フェアリアル、ボルケリート、スカヴァは俺と明利江と勝負する事だ。」

アイカ「対決。」

鉄斉「次に咲耶歌、ソール、ウイザーデイは、スーパーレデイのいる幼稚園で自分のマジックを見せろ。」

咲耶歌「あたしのマジックね。」

鉄斉「次に海、ファイツ、ウォーテイルは、ある場所である者と対決だ。」

ファイツ「リツキーか。」

海「ファイツ。」

鉄斉「最後に麗奈、烈陣丸、光陰命は海を切斬ってみろ。」

麗奈「成果を出してみせる時ね。」

文「みんな頑張つて。」

トットム「嬢ちゃん達なら出来るはずだい。」

ペル「彼女達ならきつと信じて出来るはずです。」

アーニャ「頑張つてー。」

それぞれ与えられた最終試練に挑み、2週間鍛えてきた成果を出すために彼女達は挑んだ。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

居間

バイソツク「・・・。」

Drīージス「おや、どうした、バイソツク。」

バイソツク「何でもねえ。」

Drīージス「先日の戦いに敗れた事を気にしているのか？」

バイソツク「・・・。」

カロン「バイソツクよ、負ければまた昔みたいに「戻るぞ。お前が貧弱で周りがいなかっただ事。お前を拾ったのはハデユス様である事を忘れるな。」

バイソツク「お前はハデユス様のためにこの命を捧げる。」

カロン「必ず勝て、そしてプリキュアを討ち取るのだ。」

次の戦いに執念を燃やすバイソックは次はないと真剣に勝つ事に全てを賭ける。

ドラン・キュラー3世、スラッシュラー、フラワーゲン、クラッシュトロイ、ラミィ「……。」
D r i e e j s 「どうした、お前達。さっきのバイソックの話で昔に戻りたくないのか？」

スラッシュラー「俺は二度とあんな惨めな姿に戻りたくねえ。」

ドラン・キュラー3世「私は昔にはもう戻りたくなどない!!」

カロン「ならばプリキュアを倒せ、そして討ち取れ。」

ラミィ「あたしらはもう昔みたいな思いはやりたくない。」

フラワーゲン「俺達は必ずプリキュアを倒すフガ!!」

クラッシュトロイ「俺を惨めにさせた者達への復讐だ!!」

ザッパード「……。」

D r i e e j s 「ザッパード、お前は5人とは何もないうだな。」

ザッパード「あああつ、俺は5人と違って、インフェルノに作られた機械生命体だ。だが仲間のためなら俺は尽くす。」

クレア「随分と雰囲気暗いな。」

カロン「クレア。」

クレア「そろそろ行く頃だ。」

カロン「あああつ。」

アルス「派手にぶち込んでやるぜ!!」

Drイージス「行くぞ。」

インフェルノの面子らが人間界に向けて出撃開始した。バイソックはもう昔の辛い出来事に戻りたくないため、その執念を燃やす。

パラレルワールド

人間界

あさぎ市

あさぎ市役所

WJG地下秘密基地

ブリーフィンルーム

アルト「そのプリキュアが少女達って事でいいのわ？」

マリーシエ「ええ、プリキュアはだいたい中学、小学の子が変身しているわ。」

ユーリアン「今修行中でいないみたいと。」

由紀「いつ来るかわからないから最高司令部の命であなた達2人が呼ばれたと。」

アルト「プリキュアっての一度会ってみたかったんだよな。」

ユーリアン「少佐、私達は遊びに来たのではありません。不在している代わりとして呼ばれたのです。」

マリーシエ「インフェルノがいつ来るか常に備えて行かないと。」

アルト「モスクワ最高司令部の部隊所属の俺とユーリアンが来たからにはインフェルノをやってやるぜ。」

由紀「彼らは手強い相手よ。」

アルト「俺達の腕を見せてやろうってんだよ。」

ロシア最高司令部から派遣された最高司令部の部隊所属のアルトとユーリアン。2人の実力は一体？一方、鉄斉に与えられた最後の試験に挑んだアイカ達は、鉄斉と明利江と対決するアイカとはるな、アイゼンアロイス、フェアリール、ボルケリート、スクヴァアは、極蓮寺の決闘場にいた。

パラレルワールド

極蓮寺

決闘場

ストライク、シンシア「はあああああー!!」

ストライクとシンシアの2人はパンチを繰り出していきながら鉄斎と明利江に喰らわせるが、

鉄斎、明利江「!!」

鉄斎と明利江は、ストライクとシンシアのパンチに対し、鉄斎は掌でストライクのパンチを受け止めて放り投げ、明利江は素早い動きでジャンプして、シンシアのパンチをかわした。

アイゼンアロイス「俺達がまだいるぞ!!」

フェアリール「行くわよ!!」

空中からアイゼンアロイスとフェアリールが鉄斎と明利江に向かって攻撃を仕掛け

てきたが、鉄斉が拳から気力で形成したエネルギー状の拳を放ち、アイゼンアロイスに打ち込み、明利江が手裏剣を数本投げて、フェアリーが召喚したマスケット銃に刺して破壊した。

鉄斉「簡単に倒せると思うな。」

明利江「お見通しよ。」

ボルケリート、スカヴァ「だったらこれはどうだ!!」

ボルケリートとスカヴァが同時に火炎球と冷気のビームを鉄斉と明利江に向けて放ったが、

鉄斉「はあああああー!!」

2人の同時攻撃を自身の気迫を起こして、打ち消した。

ボルケリート「何?!」

明利江「喰らえ!!」

攻撃に出てきた明利江が2本のクナイ型の羽佐鬼に稲妻を纏いながらボルケリートとスカヴァアをまとめて斬撃した。

ボルケリート、スカヴァア「うわあああああー!!」

ストライク「ボルケリート!!」

シンシア「スカヴァア!!」

鉄斎「よそ見をする暇があるのか?！」

ボルケリートとスカヴァアの心配をするストライクとシンシアに鉄斎が両拳から繰り出す拳で2人に100発のパンチを喰らわせた。一方、咲耶歌は、スーパーレディのいる幼稚園でマジックショーをする事になった。

人間界

ひいらぎ幼稚園

咲耶歌「これが私の最終試練……。」

増野志保（スーパーレディ）「あなたはマジシャンになる事に目指していると聞いたわ。」

咲耶歌「はい、あたしはマジシャンになってみんなを笑顔にしたいんです。」

増野志保（スーパーレディ）「あなたのマジックで園児達がどう受け取るのかよ。極蓮寺で修行した成果をここで見せる時ね。」

咲耶歌「はい。」

増野志保（スーパーレディ）「あなたなら出来るはずよ、さあ見せていきなさい。」

咲耶歌は極蓮寺で修行した成果を見せるべく、園児達にマジックを見せに行く。その頃、ある場所へ着いた海、ファイツ、ウォーテイルは、その場所とは、ファイツとリツキーが一緒に過ごしたセドナだ。そこにはすでにリツキー如くスノーダークの姿もあつた。

北米

アメリカ

セドナ

ジャック「ファイツ、いよいよ彼と決着の時ね。」

ファイツ「そのようだな。」

スノーダーク「待っていたぞ、ハロルド。今日こそ決着の時だ!!」

ウォーテイル「ファイツ、あなたの全てを彼にぶつけましょう。」

ファイツ「あああつ、行くぞ。」

決着をつけるためついにぶつかり合うファイツとスノーダーク。ファイツはジャックと一体化して、ジャックファイツフォームとなつてスノーダークに全力で挑んだ。

ジャックファイツフォーム「はああああー!!」

ジャックファイツフォームがスノーダークに向かって、パンチを繰り出して攻撃した。スノーダークはサバイバルナイフを出して、ジャックファイツフォームに斬撃する。ジャスティスシールドで攻撃を防いだジャックファイツフォームは盾を持ったままファイツシールドストレートナックルで見舞いした。

スノーダーク「やるな、ファイツとその相方!!これはどうだ!!」

ステルス機能を使って姿を消したスノーダークがジャックファイツフォームに襲いかかった。

ウォーテイル「その手は効かないわ!!」

ステルスで姿を消したスノーダークに対し、ウォーテイルが手を地面に着いて水柱を発生して雨で降り注ぎ、降った影響でステルスらしき姿を見つけた。

スノーダーク「ちい!!」

ウォーテイルの発生した水により、雨に濡れてステルスを破られてしまったスノーダークは、手甲からベアクローを出して切りにかかった。その頃、極蓮寺の海では、海を斬ろうとする麗奈、烈陣丸、光陰命と3人を見守る隼疾風がいた。

パラレルワールド

極蓮寺

海辺

フエッター「これが私の最終試練ね。」

烈陣丸「麗奈様の修行の成果を見せる時でござるな。」

光陰命「この全てを出し切る時ですね。」

フエッター「やってみせるわ。」

隼疾風「……。」

修行の成果を見せるべくフエッターはキュアカタナテツポウ刀モードを手に海に向けて切りにかかろうとする。一方、あさぎ市では、インフェルノが現れて町に襲撃をした。

パラレルワールド

人間界

あさぎ市

市街地

バイソック「出てこい、プリキュアあつ!!お前達を殺してやる!!」

プリキュアを叫ぶバイソックは巨体を生かして猛突進しながら建物を次々と破壊し、

町の人々にも危害を加えた。

スラツシユラー「プリキュア、出てこい!! 現れねえならこいつらを皆殺しにしてやる!!」

町の人々に攻撃をするスラツシユは大型サバイバルナイフで斬撃し、ドラム・キュラ13世がマントから蝙蝠型光弾を多数放ち、ラミイが全身から包帯を放ち、クラツシユトロイが両肩に3連ミサイルランチャー、両脚にナパームランチャー、両腰にパンツアーファウストを同時に発射して町を攻撃した。その時、プリキュア達の不在の中、WJGモスクワ最高司令部の部隊所属のアルトとユーリアンらその部隊が現れた。

アルト「インフェルノ、代わりに相手をしてやろうか。」

ザップード「何だお前ら?!」

アルト「俺達はWJGだ。」

ユーリアン「プリキュアの代わりに私達があなた達の相手をします。」

バイソツク「WJGだと?! 雑魚は雑魚だ!! あの時を送ってやるぜ!!」

バイソックが先手に出て突進しながらアルトとユーリアンに襲いかかった。

アルト「見え見えだ!!」

アルトが弓を出して矢を放ち、バイソックに命中した。

バイソック「うぐっ!!」

アルトの放った矢を受けたバイソックは、動きを崩した。

ザッパード「人間共の分際が!!」

ザッパードが両手に2本のトマホークを持ちながら斬りにかかって来たが、

ユーリアン「あなたの相手は私です。」

ユーリアンが両手に2本の剣を持ちながらザッパードのトマホークの先端を破壊し、

そのまま斬撃した。

フラーゲン「人間の分際が!!」

クラツシュトロイ「ぶっ壊してやる!!」

フラーゲンとクラツシュトロイが同時にかかって、アルトに襲いかかったが、

アルト「見せてやりな!!」

アルトの部隊の隊員達が弓で爆弾矢を一斉に放ち、フラーゲンとクラツシュトロイに喰らわせた。

スラツシユラー、ラミイ「うっ!!」

アルトが剣を繰り出しながらスラツシユラーとラミイにまとめて斬撃した。アルトの部隊の隊員達がゾンビーン、インフェルノ兵に交戦し、剣で攻撃した。一方、アメリカのセドナでは、スノーダークと決着が迫ろうとした。

北米大陸

アメリカ

セドナ

ジャックファイツフォーム、スノーダーク「はああああー!!」

2人が拳と拳でぶつかり合い、互角に渡り合う両者。

スノーダーク「これで終わりだ!!」

スノーダークがジャックファイツフォームに向かって飛びかかってベアクローで引き裂こうとするが、ジャックファイツフォームがジャスティスシールドで防ぎ、そのままジャスティスシールドで投擲し、スノーダークに喰らわせた。

スノーダーク「ぐわあああー!!」

ジャックファイツフォームにやられたスノーダークは、地面に倒れた。ジャックファ

イツフォームは、元の姿に戻り、ファイツと共にスノーダークの元へ近寄った。

ファイツ「リツキー。」

スノーダーク「さあ、やれ。俺を殺せ・・・。」

ファイツ「君を殺す事は出来ない。リツキー、私はずっと君に会いたかった。」

スノーダーク「ハロルド。」

ファイツ「私は君と再会するのをずっと待っていた。君の事をずっと友だと思つてい
る。」

スノーダーク「今の俺はインフェルノの兵士、スノーダークだ。」

ファイツ「君はリツキーだ、インフェルノの兵士じゃない。私の大親友だ。」

海「そうよ、あなたはファイツの親友でしょ。だからこれからもずっと親友としてい
てあげて。」

スノーダーク「親友か、また昔みたいに戻るか。」

その時、ファイツの想いがスノーダークに異変が起き、彼は突然発光し、姿が変わり
始めた。

ヴォイダートマン「……」

姿が黒いヘルメットと仮面とアーマーを身に纏い、彼はヴォイダートマンに転生し、ファイツと同じジャステイスヒーローとなった。

ファイツ「君も私達と同じジャステイスヒーローになったんだ。」

ウォーテイル「奇跡だわ。」

ヴォイダートマン「ファイツ、俺もこれから共にインフェルノと戦うぞ。」

ファイツ「共に戦おう、ヴォイダートマン。」

ヴォイダートマンとなったりリッキーは、かつての友ファイツと共に歩む事となった。

一方、咲耶歌はひいらぎ幼稚園でマジックショーを行つた。

ひいらぎ幼稚園

咲耶歌「さあ、今からマジックショーの始まりだよ!!」

咲耶歌がステッキとシルクハットを手にし、ステッキでシルクハットを叩いたら、穴

から大量の鳩が現れ、次にステッキを上にあげて、先端から大量の花びらを降り注ぎ、さらにステッキで空で円をなぞりながら穴が現れて、そこから大量のぬいぐるみが出てきた。咲耶歌のマジックに園児達が拍手をし、さらに周りにいた人達も咲耶歌のマジックに大いに拍手をした。

咲耶歌「みんなが喜んでいる。」

増野志保（スーパーレディ）「あなたは園児だけでなく周りの人々を喜ばせた。あなたならきつと素晴らしいマジシャンになれるわ。」

咲耶歌「はい。」

咲耶歌のマジックはみんなを喜ばせる事で、将来一人前のマジシャンになれると認めたスーパーレディ。極蓮寺では、

パラレルワールド

極蓮寺

海辺

フエッター「はああああー!!」

フエッターが両手にキュアカタナテツポウ刀モードを降ろしながら海に向けて剣閃を放ち、海を真つ二つにした。

隼疾風「あなたは見事成果を出されましたね。」

フエッターの海を真つ二つにし、彼女の修行の成果を出したのを褒めた隼疾風。そして、ストライクとシンシアは、アイゼンアロイス達と共に鉄斉と明利江と激しい死闘を繰り広げ、今決着が着こうとした。

決闘場

ストライク、シンシア「はああああー!!」

ストライクとシンシアが同時にパンチを出し、鉄斉と明利江に思いつきり喰らわせた。

鉄斉、明利江「ぐうっ!!」

ストライクとシンシアの同時に出したパンチを受けた鉄斎と明利江は、2人が修行で鍛えたパンチで大きく喰らい、岩に衝突した。

鉄斎「見事だ。」

明利江「あなた達は合格よ。」

ストライク、シンシア「やったー!!」

アイゼンアロイス「ようやく終わったな。」

無事、修行の成果を出したストライクとシンシア。そして、修行の成果を出した彼女達は再びインフェルノと対峙をする。

人間界

あさぎ市

市街地

アルト「これで終わりだ!!」

ザッパード達を追い詰めたアルトとユーリアン。だが、そこにミスティックと彼女のジャスティスヒーロー3人とアルスと阿修羅弁慶、忍里丸、宗司、リビングデッドマシンから現れた歴代幹部が現れた。

ミスティック「失せろ。プリキュア・ミスティックショット!!」

ミスティックが片手からパープルの光線を放ち、アルトに喰らわせた。

アルト「うわあああああー!!」

ユーリアン「少佐!!」

ミスティックの放った光線を喰らったアルトは負傷し、さらに部隊の隊員達が歴代幹部らに倒された。

ウルフルン「さあて、どうして行こうか？」

敵の強さに圧倒され、境地に陥ったアルトとユーリアン。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文「ちよつと待った!!」

その時、現れたのアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、アイゼンアロイスらジャステイスヒーローがやって来た。

アルス「ようやく現れたか、プリキュア!!」

ノーザ「待ちくたびれたわ。」

アイカ「もう絶対に負けたりしない!!」

はるな「修行の成果を見せていく!!」

麗奈「私達が強くなったのを見せてやるわ!!」

咲耶歌「あたし達のマジックショーを見せてあげる!!」

海「修行で強くなった私達が相手よ!!」

文「みんな行くよ!!」

修行したアイカ達のその成果が今ここで試されようとした。

次回
24話へ続く

第24話 闘魂

極蓮寺から修行し終えたアイカ達は、インフェルノと再びと対決する事となった。

あさぎ市

市街地

Drīージス「久しぶりだな。」

アルス「逃げて怖気着いていたと思っただぜ。」

はるな「もう恐怖から逃げないわ!!」

アイカ「あたし達は自分達の弱さを強くするために修行したの!!」

咲耶歌「強くなるためにあたし達は帰って来たのよ!!」

海「私達はもう2度負けたりしないわ!!」

麗奈「私達の成果見せる時よ!!」

アイゼンアロイス「俺達ジャステイスヒーローも鍛えた成果を見せてやる時だ!!」

文「みんな変身よ!!」

極蓮寺での修行の成果を出すべくアイカ達は再びプリキュアに変身する。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文は全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを着用し、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「フューチャー
フォースプリキュア!!」

クイーンを加えて6人でプリキュアに変身をし、プリキュアとジャスティスヒーロー
達の逆襲が始まった。

アルス「また同じ目にしてやるぜ!!」

アルスが先手を打ってダッシュシュしに、ストライク達に殴りにかかった。

ストライク「そこね!!」

殴りにかかったアルスにストライクが腕を挿んで思いつきり回しながら上に投げた。

シンシア「ええーい!!」

シンシアが空中に投げ飛ばされたアルスにキックで打ち込んだ。

アルス「ぐわあっ!!」

シンシアにキックをされて攻撃を受けたアルス。

ウルフルン「また同じ目に合わせてやるぜ!!」

ピーザード「死ぬがいい。」

ピーザードとウルフルンが同時に出て、マジックとジャックに攻撃しにかかった。

マジック「マジックステッキスピア!!」

ジャック「ジャックステッキスピア!!」

2人がそれぞれのステッキスピア槍モードを出して、ピーザードとウルフルンに刺突し、さらに杖モードに切り替えて、杖の先端から流水を放ち、さらに放電し、浴びせた。

フエッター「行くわよ!!」

フエッターがキュアカタナテツポウ刀モードを手に持ちながらドラン・キュラー3世とスラツシユラーとラミイを3人まとめて斬撃した。

ザッパード「舐めた真似してんじゃねえ!!」

ザッパードが大型ビームガトリングガンでフエッターに向かって、乱射した。

フエッター「!!」

ジャンプしてかわしながら、武器を鉄砲モードに切り替えて射撃し、そのまま空中からキックで打ち込んだ。

フラーゲン、クラツシユトロイ「ぶっ潰してやる!!」

フラーゲンとクラツシユトロイが同時にかかって、フェッターに襲いかかった。

フェッター「プリキュライドチェンジアラモード!!」

フェッターがプリキュアジュエルマカロンをだして、キュアートフォンチェンジャーに刺してマカロンに変身し、キャンディロッドからマカロン型クリームエネルギーを放ち、フラーゲンとクラツシユトロイを吹き飛ばした。

ミスティック「クイーン、覚悟!!」

クイーン「ミスティック、かかって来なさい!!」

再びクイーンとミスティックの2人は再戦し、クイーンがパンチでミスティックに連打で打ち込み、クイーンの連打パンチをミスティックシールドで防御したミスティックはクイーンに押し返した。

クイーン「くっ!!」

ミステイックに押し返されたクイーンはすぐに身体を反転して足で着地し、両脚を跳ねて手刀を強いてミステイックに喰らわせた。

ミステイック「ミラーシエナ、エスパネス、ワプニオン!!」

自身のジャステイスヒーロー3人を呼び寄せて、クイーンに襲い掛からせた。

クイーン「ならばこちらも!!ヒーローライドジュエル!!」

クイーンも自身のジャステイスヒーローを召喚すべくバルクマツスラー、翔華楽、大和丸のヒーローライドジュエルをキュアートフォンチェンジャーに刺して召喚し、ジャステイスヒーロー同士ぶつかり合う。

バルクマツスラー「うおおおおおー!!」

バルクマツスラーがミラーシエナに向かって、パンチで殴りにかかった。

ミラーシエナ「させないわ!!」

ミラーシエナがバルクマツスラーには反射が効かない事で、ミラーシールド鏡モードを出し、さらに鏡を数枚召喚して、光線を一齐に放った。

バルクマツスラー「舐めるなあっ!!」

拳を振るいながらミラーシエナの召喚した鏡を次々と殴り壊し、さらにミラーシエナに向かって体当たりをしにかかったが、ミラーシエナもミラーシールド鏡モードで体当たりを防御した。

ワプニオン「そこ!!」

瞬間移動でワープを使って、翔華楽の背後に奇襲を仕掛けたワプニオン。

翔華楽「あんたのパターンはお見通しだつて
!!」

ワープで背後から現れたワプニオンに感知した翔華楽が背後からの攻撃を天翔心で受け止め、そのまま真つ向から突いた。

エスパネス「喰らえ!!」

大和丸と交戦するエスパネスは、彼にパイロキネシスで全身に炎を起こして燃やし尽くすが、

大和丸「ワシを火だるまにするなど侮っちゃ困るわ!!」

エスパネスのパイロキネシスの炎を力振り絞って炎を消し、橙破槍でエスパネスに攻撃する。

エスパネス「!!」

エスパネスが念動力で形成したバリアで大和丸の橙破槍を防いだ。

激動を繰り広げるプリキュアとインフェルノ。極蓮寺修行したプリキュアとジャステイスヒーローが今、その成果を発揮する時だ。

ストライク、シンシア「プリキュアライドチェンジマックスハート!!」

ストライク、シンシアがブラック、ホワイトのプリキュライドジュエルを出してキュートフォンチェンジャーに刺して変身し、2人がアルスにかかった。

ブラックストライク、ホワイトシンシア「はああああー!!」

ブラックストライクがパンチで連打、ホワイトシンシアがキックで回し蹴りでアルスに喰らわせた。

アルス「舐めるなあ!!アルスステイングヘアー!!」

アルスが自身の髪を伸ばしながら先端を尖った状態で、ブラックストライクとホワイトシンシアに向けたが、2人はアルスの伸ばした髪を掴んでそのまま回して上に投げた。上に投げ飛ばされたアルスが身体を反転して、地面に着地した。

アルス「舐めんじゃねえ!!アルスラリアット!!」

次の手に出てかかったアルスが右腕を広げて思いつきりブラックストライクにぶつけて飛ばし、さらにホワイトにぶつけた。

アルス「こいつで最後だ!!アルス・ザ・バスター!!」

ブラックストライクとホワイトシンシアを上投げ飛ばして、アルスがジャンプして、敵2人を両脚で力強く挟んで、両手で2人の足を強く掴んだまま地上に急降下しかかるが、

ブラックストライク、ホワイトシンシア「はあああああー!!」

その時、アルスに掴まれたブラックストライクとホワイトシンシアが力を出し切つて、アルスの両手と両脚から解放し、2人同時にパンチをお見舞いした。

アルス「うわああああー!!」

2人に殴られて倒されたアルス。

ノーザ「次は私が相手よ。」

次はノーザが出て、ストライクとシンシアの2人にとって最も難敵が現れた。

ブラックストライク、ホワイトシンシア「ノーザ!!」

ノーザ「また会えるなんて光荣だわ。あなたの母親の事を思い出させてあげるわ。」

再び2人に精神攻撃で追い詰めにかかるノーザ。

アイゼンアロイス「させるかよ!!」

その時、アイゼンアロイスとフェアリールが空中からキックでノーザにお見舞いした。

フェアリール「2人とも。」

ブラックストライク「アイゼンアロイス!!」

ホワイトシンシア「フェアリール!!」

ノーザ「邪魔をするなあっ!!」

ノーザが背中から蔓を出して、アイゼンアロイスとフェアリールに向けて攻撃にかかった。

アイゼンアロイス「やられるかよ!!」

アイゼンアロイスが両掌からビームソードを出刃して、ノーザの蔓を全て斬り払い、フェアリールが高速でノーザの周りを飛び回りながら体当たりし、さらに掌から光

弾を放って攻撃した。

ノーザ「ぐわあっ!!」

アイゼンアロイスとフェアリールのスピード戦で圧倒されたノーザ。次の行動に出たストライクとシンシアはアイゼンアロイスとフェアリールと一体化し、ノーザに向けて必殺技を発動させた。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンバスターショット!!」

ストライクアイゼンフォームがキュアブレードマグナム銃モードを手を持ったままパワージャッキを起動してエネルギーを集中し、一気に強力な光線を放ち、ノーザに攻撃した。

シンシアフェアリールフォーム「フェアリールバスターテンペスト!!」

キュアブレードマグナム銃モードと無数のマスケット銃と共に一斉射撃し、ノーザに

攻撃した。

ノーザ「ぐわあああああー!!」

キュアブレードマグナム銃モードを強いた新たな技でノーザに大きく喰らわせた。

ノーザ「ガキ共があっ!!」

大ダメージを負ったノーザが本気を出して地面から巨大な植物の蔓を出してストライクアイゼンフォームとシンシアフェアリアルフォームに向けて伸ばした。

ボルケリート「そうはさせん!!」

ボルケリートが火炎球を放って、ノーザの巨大な植物の蔓を焼き払った。

スカヴァ「はあっ!!」

続いてスカヴァアが上空から多数の氷結の雨を降り注いでノーザに喰らわせた。

ボルケリート「ストライク!!」

スカヴァア「シンシア!!」

ストライクアイゼンフォーム「はい!!」

シンシアフォーム「行くよ!!」

2人はボルケリートとスカヴァアとそれぞれ一体化して、キュアブレードマグナム銃モードを剣モードに切り替えて、ノーザに接近して必殺技を発動する。

ストライクボルケリートフォーム「プリキュア・ボルケリートフレイムスラッシュ!!」
シンシアスカヴァアフォーム「プリキュア・スカヴァアアイススラッシュ!!」

ストライクボルケリートフォームがキュアブレードマグナム剣モードに炎を纏いながらノーザに斬撃し、さらにシンシアスカヴァアフォームがキュアブレードマグナム剣モードに氷を纏いながらノーザに斬撃し、炎と氷の攻撃を喰らわせた。

ノーザ「うわあああああー!!」

ストライクシンシアが修行して生み出した必殺技を喰らって敗れたノーザ。

ノーザ「今回は引くわ、だが必ず次は・・・!!」

そう言いながら撤退したノーザ。ノーザに勝つ事が出来たストライクとシンシア。

サーキュラス、カレハーン、クモジャキー「落ちろ!!」

サーキュラス、カレハーン、クモジャキーが 一斉にかかってマジックに襲いかかった。

マジック「はい、1、2、3!!」

マジックがマジックステッキスピア杖モードを回しながら自身の分身体を5体作り、サーキュラス、カレハーン、クモジャキーにお見舞いした。

マジック「まだまだこれからよ!!プリキュライドチェンジオールスターズ!!」

マジックがドリーム、プロツサム、ハッピー、ラブリー、ミラクルのプリキュライドジューエルをマジックステッキスピア杖モードに刺して、分身体に変身させ、さらに自身はプリキュライドジューエルエースをキュアートフォンチェンジャーに刺して変身した。

エースマジック、ドリームマジック、プロツサムマジック、ハッピーマジック、ラブリーマジック、ミラクルマジック「スペシャルマジックショーの始まりよ!!」

分身体5人と共にスペシャルマジックショーの開幕を始め、エースマジックがラブキッスルージュで紫のハート型のエネルギー体を射出し、サーキュラス、カレハーン、クモジャキーに四芒星状のエネルギー塊を地上から噴出させて動きを停止し、分身体が隙を突いていき、ドリームマジック、プロツサムマジック、ハッピーマジック、ラブリーマジック、ミラクルマジックが一斉にかかって、サーキュラス、カレハーン、クモジャキーを攻撃した。

サーキュラス「いい気になるな!!」

サーキュラスが自力で動きを取り戻してそのままエースマジックへ突撃しにかかった。

ソール「マジック、行くぞ!!」

マジックはソールと一体化して、マジックステッキスパア杖モードを槍モードに切り替えて、手に持ちながら必殺技を発動した。

マジックソールフォーム「ソールサンダースピア!!」

マジックソールフォームがマジックステッキスパア槍モードに雷を纏いながらサーキュラスに向けて投擲し、消滅した。

ウィザーデイ「次は我の番だ!!」

次はウィザードイと一体化し、マジックウィザードイフォームがマジックステッキスピア杖モードを右手に、ウィザードロッドを左手に構えて、必殺技を発動した。

マジックウィザードイフォーム「プリキュア・ウィザードイマジック・ザ・シヨータイム!!」

2つの杖で辺り一帯をステージに変え、ステージの上にいるカレハーン、クモジャキーにクラツカーで攻撃し、次に大量の鳩で攻撃し、さらに巨大なシルクハットを召喚して、閉じ込めて、最後に巨大な花火を起こして蹴散らし、消滅させた。

ジャック「行くわよ!!」

ジャックはファイツ、ウォータイルと共にピーザード、ウルフルン、ホツシーワ、オレスキーに挑んだ。

オレスキー「死ね!!」

オレスキーがパンチでファイツに殴りにかかった。

ファイツ「!!」

ファイツがオレスキーの腕掴んで持ち上げながら地面にぶつけ、さらに相手の脚を掴んで回転して、地面に叩き込んだ。

ホツシーワ「忌々しい女だわ!!」

ホツシーワがパラソルでウオーテイルに振り回して攻撃した。

ウオーテイル「舐めないでもらうわ。」

ウオーテイルがウオーテイルハルバートでホツシーワに斬る、突くの攻撃をし、さらに掌から水を放ち、ホツシーワを眩ませた。

ウルフルン「切り裂いてやる!!」

ピーザード「消えてもらおうぞ!!」

ピーザードとウルフルンが二人掛かりでジャックに攻めて来た。

ジャック「もう負けたりしないわ。」

ジャックがピーザードとウルフルンの動きを見切り、パンチでピーザードの顔を殴って掴みながら、ウルフルンに向けて投げた。

ピーザード、ウルフルン「ぐわあっ!!」

ジャックに投げ飛ばされたピーザードはウルフルンとぶつかり、姿勢を崩した。

ファイツ「行くぞ、ジャック!!」

ファイツがジャックと一体化してジャックファイツフォームになり、ピーザード、ウルフルン、オレスキーに対し、ジャステイスシールドを構えて必殺技を発動する。

ジャックファイツフォーム「プリキュア・ファイツシルドイリユージョンシユート
!!」

ジャックファイツフォームがジャックステッキスピア杖モードで分身体を作り、ジャスティスシルドを発光しながらピーザード、ウルフルン、オレスキーに向けて一斉に投擲し、消滅させた。

ホツシーワ「まだ私がいるわよ!!」

まだ生き残ったホツシーワがパラソルでジャックファイツフォームに襲いかかった。

ウオーテイル「そうはさせないわ!!」

ウオーテイルがウオーテイルハルバートでホツシーワのパラソルを突き飛ばし、そのまま槍を振り回してホツシーワを飛ばした。

ジャック「ウオーテイル、一体化よ!!」

ジャックとウオーテイルは一体化して、ジャックウオーテイルフォームになり、右手にマジックステツキスピア槍モード、左手にウオーテイルハルバートをそれぞれ持ったまま必殺技を発動する。

ジャックウオーテイルフォーム「プリキュア・ウオーテイルダブルブレイカー!!」

ジャックウオーテイルフォームが手に持っている2つの槍に状を纏いながらホッシーワにぶち込み、消滅させた。

カロン「彼らはやられたようだな。」

D r i ー ジ ス 「引くとするか。」

リビングデッドマシンで蘇った幹部が倒され、自分達2人はこの場から引くD r i ー ジスとカロン。

フェッター「はあああああー!!」

フェッターはキュアカタナテツポウ刀モードで滅多斬りを強いながらザツパード、ドラン・キュラー13世に斬り込んだ。

烈陣丸「フェッター!!」

フェッター「えええっ!!」

フェッターと烈陣丸が一体化して、フェッター烈陣フォームとなり、右手にキュアカタナテツポウ刀モード、左手に戦烈鬼を手に持ちながら必殺技を発動する。

フェッター烈鬼フォーム「プリキュア・烈陣双破斬!!」

フェッター烈陣フォームが必殺技を発動しながら二刀でスラッシュラーとフラーゲンに斬撃した。

クラッシュトロイ、ラミィ「プリキュア!!」

クラッシュトロイがバズーカ、ラミイは全身の包帯を放って、フェッターに攻撃をする。

光陰命「!!」

光陰命が術式でフェッター烈陣フォームの周りに一時的に結界を張って、攻撃を防いだ。

光陰命「一体化であります!!」

フェッター烈陣フォーム「決めるわ!!」

フェッター烈陣フォームと光陰命が一体化して、フェッター光陰命フォームとなり、キュアカタナテツポウ刀モードから鉄砲モードに切り替えて、必殺技を発動する。

フェッター光陰命フォーム「プリキュア・光陰命天光雨!!」

フエッター光陰命フォームがキュアカタナテツポウ鉄砲モードを上げたまま光球を放ち、そのまま光の雨でなつて放ち、ザッパードらに喰らわせた。

ザッパード、ドラン・キュラー3世、スラツシユラー、フラーゲン、クラツシユトロイ、ラミイ「うわああああああー!!」

フエッター光陰命フォームの新たな必殺技によつて大ダメージを負つたザッパードらはここは撤退をした。

クイーン、ミステイック「はあああああー!!」

クイーンとミステイック、激突して渡り合う2人。クイーンはキュアナギナライフルとクイーンファンを出して、2つの武器を合体してクイーンブレイカーとなり、両手に構えて、ミステイックに向けて必殺技を発動する。

クイーン「プリキュア・クイーンブレイカーアタック!!」

クイーンがキュアブレイカーに強力な光柱を纏いながらミステイックに斬りにか

かった。だが、ミステイックも負けてはいられず、左腕のミステイックサークルに必殺技を発動させた。

ミステイック「プリキュア・ミステイックサークルザンバー!!」

ミステイックが左腕に装着しているミステイックサークルスピナーに光状の円形の刃を纏わせて、クイーンのクイーンブレイカーの光柱とぶつかり合いながら激しい衝突をし、吹き飛ばされ、両者相討ちになった。

ミラーシエナ、ワプニオン「クレア様!!」

エスパネス「引き上げだ!!」

彼女のジャスティスヒーロー3名がミステイックを運んで、ワプニオンのワープ能力で撤退した。戦いはプリキュア側が圧倒した。

ストライク「残りはあっちだけね。」

残った敵はバイソック、阿修羅弁慶、宗司、忍里丸だ。勝利を確信したと思われたが、その時、上空から隕石が降り注いできた。

一同「!!」

すぐに墜落してきた隕石を回避するストライク。そこに隕石を降り注いだ1体の怪物が現れた。

インセキード「ようやく長々待った、インセキード様よ!!」

亡きステイブトンの配下であるインセキードがついに姿を現した。

ジャック「新手の怪人!!」

鉄斎「お前達、俺達の力を使う時だ。」

ストライク「鉄斎達の力を？」

スーパードレイ「あなた達は厳しい修行をこなしてちゃんと強くなった。」

隼疾風「そなた達なら出来るはず。」

明利江「修行した成果で私達と一体化を見せるのよ。」

ストライク「みんな、行こう。鉄斎達があたし達のために修行して強くしてくれたために一体化するよ。」

シンシア「私達が強くなった姿、もつと見せていこう。」

フェッター「私達の強くなった実力を!!」

マジック「アンコールショーと行こう!!」

ジャック「決まりね。」

鉄斎「ならば今からお前達と一体化だ。」

修行して強くなった彼女達と一体化をするため、鉄斎らはストライク達と一体化を始める。ストライクは鉄斎、シンシアは明利江、フェッターは隼疾風、マジックはスーパーレディと一体化を行う。

ヴォイダートマン「キュアジャック、君は俺と一体化してくれ。」

ジャック「あなたはファイツの親友、ファイツと同じところがあるわ。私と一緒に一体化して。」

ジャックはヴォイダートマンと一体化をする。5人は新たなジャスティスヒーロー

と一体化をし、ストライクと鉄斎はキュアストライク鉄斎フォーム、シンシアと明利江はキュアシンシア明利江フォーム、フェッターと隼疾風はキュアフェッター隼疾風フォーム、マジックとスパーレディはキュアマジックレディフォーム、ジャックとヴォイダートマンはキュアジャックヴォイダートフォームへとそれぞれなり、バイソックらと対決する。

ストライク鉄斎フォーム「はああああー!!」

格闘を得意とするストライク鉄斎フォームは拳を繰り出して、バイソックに喰らわせた。

バイソック「野郎!!」

ストライク鉄斎フォームに勢いよく体当たりするバイソック。

ストライク鉄斎フォーム「!!」

バイソックの体当たりを受けて飛ばされたストライク鉄齋フォームは、建物の壁に一時着地しながらジャンプして必殺技を発動する。

ストライク鉄齋フォーム「プリキュア・鉄齋気蹴練!!」

ストライク鉄齋フォームがジャンプしてキックに気力を纏いながら、バイソックに打ち込んだ。

シンシア明利江フォーム「くノ一の速さ見せてあげるよ。」

素早い動きを駆使していくシンシア明利江フォームがジャンプして動き回り、同じく動き回る忍里丸と対決する。

忍里丸「おのれ、小癩な!!」

同じ忍びであるシンシア明利江フォームに手裏剣を投げて攻撃をする忍里丸。

シンシア明利江フォーム「!!」

忍里丸の投げた手裏剣を変わり身の術を使って防いだシンシア明利江フォームは、2本のクナイ型の羽佐鬼を出して必殺技を発動する。

シンシア明利江フォーム「プリキュア・明利江稲妻斬!!」

シンシア明利江フォームが2本の羽佐鬼に稲妻を纏いながら忍里丸を斬撃する。

忍里丸「ぐわあっ!!」

シンシア明利江フォームの必殺技を喰らった忍里丸。

忍里丸「ならばこれはどうだ!!」

分身の術で分身体を作り、さらに自身が身に付けている忍影鎧でステルス機能で分身体と共に姿を消して、シンシア明利江フォームに襲いかかった。

シンシア明利江フォーム「そこだね、プリキュア・明利江水昇陣!!」

シンシア明利江フォームは忍術を唱えて掌を合わせて、地上から巨大な洪水を起こして、分身体と共にステルス機能で姿を消した忍里丸を飲み込み、分身体、ステルス機能共々打ち破った。

マジックレディフォーム「行けえええええー!!」

マジックレディフォームはインセキードと戦っていた。

インセキード「喰らえ!!」

頭部の火山の穴から隕石を発射してマジックレディフォームに攻撃した。

マジックレディフォーム「!!」

インセキードの発射した隕石を拳で殴り砕くき、そのままインセキードに向かつて殴りにかかった。

マジックレディフォーム「プリキュア・レディストロングパンチ!!」

マジックレディフォームが右手を発光しながら、インセキードに殴り込んだ。

インセキード「ぐわあああああー!!」

マジックレディフォームの必殺技のパンチを受けたインセキードは、そのまま飛ばされて地面に衝突した。

インセキード「舐めんじゃねえぞおらあ!!燃やし尽くしてやる!!」

頭部の火山からマグマを放ち、マジックレディフォームに向けた。

マジックレディフォーム「吸収してみせる!!」

インセキードの発射したマグマをマジックレディフォームがスーパーレディの持つ吸収能力でマグマを吸収して自分の力に変え、必殺技を発動する。

マジックレディフォーム「プリキュア・レディエナジーブラスト!!」

マグマを吸収したマグマレディフォームが全身を発光しながらインセキードに強烈な光波を放った。

インセキード「ステイブトン様ー!!」

亡きリーダーの名を叫びながら最期を遂げたインセキード。

ジャックヴォイダートフォーム「はあああああー!!」

ジャックヴォイダートフォームが宗司とぶつかり合った。宗司が菊花丸を手に構えて、斬撃しにかかった。

ジャックヴオイダートフォーム「プリキュア・ヴオイダートキックランチャー!!」

ジャックヴオイダートフォームがジャンプで両脚を出したまま、宗司に強く打ち込んだ。
だ。

宗司「うわあああああー!!」

ジャックヴオイダートフォームの必殺キックを強く受けた宗司。

宗司「貴様あつ!!受けよ、真旋斬!!」

宗司が菊花丸を右手に持ったまま360度回しながら、回した刀から風斬を発生して、敵全体に斬り付ける。

ジャックヴオイダートフォーム「うっ!!」

宗司の剣技を全身に受けたジャックヴオイダートフォーム。だが、身に纏っているヴオイダートアーマーの影響で全く効いていなかった。

ジャックヴオイダートフォーム「はああああー!!」

ジャックヴオイダートフォームがダッシュして宗司に向かってパンチで連打して打ち込み、さらに回し蹴りして宗司に打ち込んだ。

宗司「貴様ああああー!!」

ジャックヴオイダートフォームの攻撃を受けた宗司が本気を出し、彼女に連続斬りをした。

ジャックヴオイダートフォーム「あっ!!」

宗司の連続斬りを受けたジャックヴオイダートフォーム。

ジャックヴォイダートフォーム「やってくれたわね!!これを喰らいなさい!!」

ジャックヴォイダートフォームが手甲からベアクローを出刃して、宗司に斬り込んだ。
だ。

フェッター隼疾風フォーム「はああああー!!」

フェッター隼疾風フォームが空中を飛び回りながら地上にいる彼女の宿敵である阿修羅弁慶と交戦した。

阿修羅弁慶「小癩な!!」

薙刀を前に出してフェッター隼疾風フォームに刺突しにかかる阿修羅弁慶。

フェッター隼疾風フォーム「そこ!!」

背中の翼を羽ばたきながら阿修羅弁慶の薙刀をかわし、スピードを活かしながらキュ

アカタナテツポウ刀モードで斬りつけた。

阿修羅弁慶「麗奈あっ!!」

両脚に内蔵された小型ブースターで加速し、飛行で飛び回るフェッター隼疾風に向かって突撃する。

フェッター隼疾風フォーム「!!」

阿修羅弁慶の突撃を素早く回避したフェッター隼疾風フォームは、翼を広げたまま必殺技を発動する。

フェッター隼疾風フォーム「プリキュア・隼疾風活速進!!」

フェッター隼疾風フォームが素早く飛びながら阿修羅弁慶に翼で斬り付けた。

阿修羅弁慶「ぐわあああああー!!」

フェッター隼疾風フォームの素早さで駆けた必殺技を喰らった阿修羅は、そのまま地上へ墜落した。戦いはプリキュア側が圧倒していた。

ストライク鉄斉フォーム「プリキュア・鉄斉翔蹴進!!」

ストライク鉄斉フォームがバイソックにに向かって進みながら片脚を広げてラリアートで打ち込んだ。

バイソック「ぐうっ!!」

ストライク鉄斉フォームの脚のラリアートを受けて飛ばされたバイソック。

バイソック「俺は負けるわけにはいかないんだ!!」

バイソックが昔みたいに戻らないために必死になってストライク鉄斉フォームに突進せかかった。

バイソック「バイソックチャージ!!」

バイソックが走りながら頭の角でストライク鉄齋フォームに向けて突撃して体当たりした。

バイソック「バイソックホーンアタック!!バイソックナックル!!」

次にバイソックが自身の角でストライク鉄齋フォームに直接喰らわせ、さらに両腕の剛腕を振りながらストライク鉄齋フォームに思いつきりぶち込んだ。

ストライク鉄齋フォーム「あああつ!!」

猛威を振るうバイソックの連撃を受けたストライクは圧倒された。

ストライク鉄齋フォーム「負けるわけにはいかない!!」

こつちも負ける訳にいかないとストライク鉄斎フォームは、拳に気力を集中させる。

ストライク鉄斎フォーム「プリキュア・鉄斎昇烈拳!!」

ストライク鉄斎フォームが気力を拳に集中して飛び上がって、バイソックにアッパーカッとした。

バイソック「ぐわあああああー!!」

ストライク鉄斎フォームの必殺技を喰らってやられたバイソックは敗北をした。

バイソック「引くぞ!!」

バイソックが仲間達に退却を叫び、全員この場を引いた。ようやく無事勝利をしたストライク達は、鉄斎らの修行したおかげで強くなり、無事勝つ事が出来た。

アルト「君達がプリキュアか。」

マジックレディフォーム「あなた達は？」

アルト「俺はWJGのアルトⅡクロウガンズ少佐だ。」

ユーリアン「私はユーリアンⅡクルスコフ中尉です。」

ジャックヴォイダートフォーム「WJG。」

フェッター隼疾風フォーム「わざわざ私達が来る間に戦闘をお疲れ様です。」

アルト「一度プリキュアに会って見たかったんだからさ。」

そして、それから数日後、夏休みを過ごすアイカ達は、海で楽しく遊んでいた。

海

アイカ「海だ!!」

咲耶歌「夏と言えば海よ!!」

海で楽しく泳いで遊ぶアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文。

海「夏休みだね。」

麗奈「修行もようやくし終えたわ。」

はるな「夏休みやっとな。」

文「私はひまわりの子供達と一緒に遊ぶわ。」

麗奈「楽しく過ごしましょう。」

夏休み、楽しく休息するアイカ達。

次回 25話へ続く

設定6

ジャスティスヒーロー

ブレイディオ

CV：谷山紀章

ジャスティスヒーローの1人。彼は剣士の姿をし、外見は渋い中年男性の姿をし、武器は異世界の鉱石シルバーミネラルで出来た剣型のブレイディオソードは、あらゆるものを斬り、全てのアンデッドや機械系に有効的であり、また実体を持たないゴーストなども斬る事が可能。杭型のシルバーバンカーで打ち貫く。胴体には軽装鎧のシルバーアーマーを身に纏っている。剣術の腕が高く、また格闘も得意とする。彼は吸血鬼等の全てのアンデッドと機械生命体を狩っており、全てのアンデッド、機械生命体からはキラハンターと呼ばれている。初代ドラゴン・キュラー世とは因縁関係である。ストライクと一体化する事で、キュアストライクブレイディオフォームとなる。

キュアストライクブレイディオフォーム

ストライクとブレイディオが一体化した姿。ブレイディオの姿をしたシルバーアーマーを纏い、武器はブレイディオソード、シルバーバンカーで、剣術、剣技を駆使して

いく。素早い動きで翻弄し、暗闇の戦いも優れている。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。る

必殺技

プリキュア・ブレイディオスラッシュ

ストライクブレイディオフォームの必殺技。ブレイディオソードを発光しながら敵を斬撃する。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ブレイディオサークルスラッシュ

ストライクブレイディオフォームの必殺技。ブレイディオソードを発光しながら360度回転しながら周囲にいる複数の敵を斬撃する。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ブレイディオクラッシュ

ストライクブレイディオフォームの必殺技。ブレイディオソードに光状を纏いながら敵に向かって斬撃する。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ブレイディオツインクロスクラッシュ

ストライクブレイディオフォームの必殺技。キュアブレッドマグナム剣モード、ブレイディオソードを両手に持ちながら光状を纏いながら敵に向かって十文字斬りをする。

相手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ガンニークス

CV：上田燿司

ジャスティスヒーローの1人。ガンマンの姿をし、外見はブレイディオと同じ渋い中年男性の姿をし、武器は異世界の鉱石シルバーミネラルで出来た2丁銃ガンニークスガンはレーザー光線を放ち、さらに銃口の下部にシルバーバンカーで敵を貫く。銃の腕前も高く、格闘も得意。彼は吸血鬼等の全てのアンデッドや機械生命体を狩っており、全てのアンデッドからはキラーハンターと呼ばれている。初代ドラム・キュラー世とは因縁関係である。ストライクと一体化する事で、キュアシンシアガンニークスフォームとなる。

キュアシンシアガンニークスフォーム

シンシアとガンニークスが一体化した姿。ガンニークスの姿をした衣装を纏い、武器は2丁銃ガンニークスガンのみで、銃の腕前は高く、命中は必中確実で、狙った相手を外さない。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ガンニークスショット

シンシアガンニークスフォームの必殺技。2丁ガンニークスガンから光波を放つ。

相手を浄化または撃破する。敵の防御無視。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ガンニークスシューティングプラスト

シンシアガンニークスフォームの必殺技。2丁のガンニークスガンから光球を連射して敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ガンニークスバスターショット

シンシアガンニークスフォームの必殺技。2丁のガンニークスを合わせて左右合体し、強力な光線を放ち、敵を攻撃する。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ガンニークスツインバスターショット

シンシアガンニークスフォームの必殺技。キュアブレードマグナム銃モード、左右合体した2丁のガンニークスを両手に持ちながら強力な光線を放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

インフェルノ

バトルヴェソール

CV：松山鷹志

インフェルノの最高幹部。機械生命体で、艦隊提督と戦艦を組み合わせた姿をし、両肩にはヴェソールキヤノンは火力は高く、両腕にヴェソールクロウを装備し、防御力も高く、水中戦を得意とする。自身の配下と共にいくつかのパラレルワールドや星を征服、攻め滅ぼしたりし、失敗した部下や兵を容赦はせず制裁し、さらに部下や兵をパワハラや酷使したりする。征服して捕らえたパラレルワールドや星の住民を奴隷として酷使する。部下や兵達から嫌われ、さらに同じ最高幹部の同僚からも嫌われている。

リュウソウジャーのガチレウスを元に

初代ドラゴン・キュラー世

CV：井上倫宏

インフェルノの最高幹部。種族はアンデッドで、吸血鬼の帝王であり、ドラゴン・キュラと言う名の最初の存在でもある。姿は吸血鬼らしく、全身に騎士鎧を身に纏い、手に大剣ドラゴンキヤリバーを装備し、背中に翼を持ちながら空中が可能、翼から無数の蝙蝠を放つ。口に鋭い牙で噛み付いて吸血し、吸血した相手を吸血鬼化させ、自身の配下にする。バトルヴェソールとは仲が悪く、部下や兵には優しい。部下や兵達から尊敬されている。

必殺技

ブラッドスラッシュ

初代ドラン・キュラー世の必殺技。ドランキャリバーに血状を纏いながら敵に斬撃する。

ブラッドショット

初代ドラン・キュラー世の必殺技。掌から血状の光弾を放つ。

オートソルジャーズ

インフェルノの最強の機械兵団。4人の機械生命体のみで編成され、各戦地で戦績を上げ、実力も高い故にプリキュアと同じ肉弾戦を得意とし、機械の身体を駆使した戦いを得意とする。

ビーストウォーズセカンドのオートローラーズを元に

オートコマンダー

CV：安元洋貴

オートソルジャーズのリーダー。インフェルノの大幹部で、種族は機械生命体で、右腕にミサイルランチャー、左腕にアームクロウを装備し、格闘戦を得意とし、攻守動き共にバランスが優れている。プリキュアと互角に渡り合う力を持つ。指揮力も優れている。

ビーストウォーズセカンドのオートステインガーを元に

オートブレイカー

C V：田尻浩章

オートソルジャーズのメンバー。インフェルノの幹部で、種族は機械生命体で、右腕にドリルアーム、左腕にスピンスーが装備され、高いパワーと頑丈な装甲を持ちながら接近戦を得意とする。プリキュアと互角に渡り合う力を持つ。

ビーストウォーズセカンドのオートクラッシュヤーを元に
オートウインガー

C V：浅沼晋太郎

オートソルジャーズのメンバー。インフェルノの幹部で、種族は機械生命体で、両腕にジェット機の両翼風のミサイルランチャーを装備し、さらに胴体にはバルカン砲、両脚に飛行ブースターが内蔵されている機動力が非常に優れている。プリキュアと互角に渡り合う力を持つ。

ビーストウォーズセカンドのオートジェットターを元に

オートバスター

C V：内匠靖明

オートソルジャーズのメンバー。インフェルノの幹部で、種族は機械生命体で、全身に装甲で覆われて、武器はガトリングガン、両肩にツインキャノンで、火力は高く、射程距離も高く、さらに防御力も高い。プリキュアと互角に渡り合う力を持つ。

ビーストウォーズセカンドのオートランチャーを元に

モンスターレディズ

インフェルノの西洋妖怪兵団。バトルヴェソールが攻め滅ぼしたパラレルワールドと星の少女を捕らえて、無理やり改造人間にし、西洋妖怪をモチーフにした改造人間。

シンフォギア XVのノーブルレッドを元に

フランマシンド

CV：Lynn

モンスターレディズのリーダー。インフェルノの幹部で、種族は機械生命体で、元はパラレルワールドのサイレイタス出身だが、バトルヴェソールの率いる軍勢により、故郷を攻め滅ぼされ、自分以外の家族や世界の住民を全て殺され、1人生き残った彼女は、バトルヴェソールに改造され、フランケンシュタインをモチーフにした改造人間とされ、全身に武装が纏われ、両指からマシンガン、腹部からビーム砲、両脚に内蔵ブースター、炎を自在に操ったりし、さらに超人的な能力も持つ。

シンフォギアXVのヴァネッサと炎炎ノ消防隊のプリンセス・火華を元に

ロクサーパイア

CV：愛美

モンスターレディズのメンバー。インフェルノの幹部で、種族はアンデッドで、元は

惑星ナチュラリアス出身で元気で明るく楽しく過ごしていたが、ある日、バトルヴェエソールの率いる軍勢により、故郷の星を見て攻め滅ぼされ、自分以外の家族や世界の住民を全て殺され、1人生き残った彼女は、バトルヴェエソールに改造され、ドラキュラをモチーフにした改造人間にされ、背中に蝙蝠の翼を生やし、両手に爪を生やし、口にもありながら吸血能力を持ち、戦闘力も高い。性格も改造人間の影響で残虐性となっている。

シンフォギアXVのミラアルクを元に

アルフェルン

CV：市ノ瀬加那

モンスターレディズのメンバー。インフェルノの幹部で、種族は超人で、惑星ムーラ出身で優しく可愛い少女として過ごしたが、ある日、バトルヴェエソールの率いる軍勢によって、故郷の星を壊滅させられ、捕らわれた彼女は彼によって改造され、狼男をモチーフにした改造人間にされ、頭に耳が生え、後ろに尻尾があり、両手に鋭い爪を持つ。神経率、感覚が鋭く、スピードも素早い。

乗り物

エビルシッポ

インフェルノの侵略用の航空戦艦。バトルヴェエソールが侵略用の旗艦として使い、特

徴としてはやや鋭角V字状の二段飛行甲板があり、そこからジャイアントデッド、グアーグオイル、ベノムマシンを発進させる。武装は主砲、対空機銃、対地空水ミサイルランチャーがある。

エビルクルーザー

インフェルノの侵略用の巡洋艦。侵略用の主力艦として使い、特徴はエビルシップと同じ鋭角V字状の二段飛行甲板があり、そこからジャイアントデッド、グアーグオイル、ベノムマシンを発進させる。武装は主砲、対空機銃、対地空水ミサイルランチャーがある。

第25話 最強の吸血鬼

夏休みをリラックスして過ごすアイカ達は、海の実家の別荘で遊びに来ていた。

海

海の別荘

アイカ「海さんの別荘凄くおしゃれだ。」

はるな「海に別荘があるなんて嬉しいわ。」

海「喜んでくれて嬉しいわ。夏休みに過ごすのにピッタリだわ。」

咲耶歌「夏もリラックス出来るわ。」

はるか「まるで昔を思い出すわ。」

文「ひまわりの子供達も海の別荘を凄く喜んでるわ。」

麗奈「こういうところで過ごすのいい感じね。」

トットム「気持ちよく過ごせるぜ。」

ペル「気分も快適です。」

アーニヤ「リラックス出来ますわ。」

海の別荘で楽しく過ごしながら遊び、ひまわりの子供達と一緒に海で泳いだり、砂浜で城を作ったり、楽しい一日を過ごす。アイカ達が楽しんでいる最中、パラレルワールドの幽魔界では、各パラレルワールドと宇宙を攻め滅ぼしたり、支配下に納めた提督と呼ばれる最高幹部のバトルヴェソールがやって来た。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

ブリーフィングループ

バトルヴェソール「インフェルノの艦隊の提督バトルヴェソール、ただいま帰還参つた。」

ヴェルアル「バトルヴェソール、久しぶりだな。」

バトルヴェソール「ヴェルアル、久しぶりだな。」

ヴェルアル「いつ以来だな。」

バトルヴェソール「どうやら今のプリキュアに手こずっていると聞いて。」

ヴェルアル「役立たず共が手こずったせいだな。」

バトルヴェソール「せっかくだからその役立たずと一緒に連れて我が配下と共戦して無理無駄なくやってもらわねばな。」

イゼル「へえー、そいつは面白そうだな。」

ライラ「入れさせてもらおうぞ。」

人間界へ向かおうとするバトルヴェソールの前にイゼルとライラ、さらにクレアがやって来た。

バトルヴェソール「クレア、それに人間界の2人。」

クレア「私も出ないと気が済まない。」

イゼル「ちようど出向いていこうと思つてな。」

バトルヴェソール「貴様ら如きに何が出る。」

クレア「自分の失敗を他人に責めてパワハラするお前が言うことか?」

イゼル「私はあんたみたいなやつが一番嫌いだね。」

ライラ「弱い者をいたぶって自分だけは楽になるつもりか。」

バトルヴェソール「最高幹部である俺にその口の聞き方は何だ?!」

イゼル「やっただっていいんだぞ。」

ライラ「お前など余裕だ。」

バトルヴェソール「貴様あつ、上司である俺に楯突いた事、思い知らせてやる!!」

上下の立場、衝突するバトルヴェソール、クレアとイゼルとライラ。その時、1人の人物が介入し、止めにかかった。

初代ドラン・キュラー1世「やめぬか!!」

バトルヴェソール「貴様は、初代ドラン1世!!」

介入したその人物は、ドラン・キュラー13世と同じ吸血鬼の故にその名の初代を持つと言われる初代ドラン・キュラー1世だ。

初代ドラン・キュラー1世「貴様は相変わらずだな。」

バトルヴェソール「貴様のような吸血鬼如きが何しに来た。」

初代ドラン・キュラー1世「人間界にいるプリキュアと戦ってみたいのだ。」

バトルヴェソール「確か貴様は俺と同じ最高幹部だな。」

初代ドラン・キュラー1世「プリキュアがどんな実力か戦ってみたいのだよ。」

バトルヴェソール「貴様がプリキュアを倒す？ 貴様の腕なら倒せるはずだが、役立たずの部下が全く使えない奴ばかりで、人間界征服も失敗だな。」

初代ドラン・キュラー1世「貴様、プリキュアの強さを何もわかっていないようだな。13世からの話によればプリキュアはかなり強くなったと聞いた。さらに他のプリキュアやジャステイスヒーローの力を使って戦っていると。」

バトルヴェソール「ならば一気に攻めこむのみだ。」

初代ドラン・キュラー1世「ふっ、いつまで貴様の戦いが通じるとは限らん。」

バトルヴェソール「そちらこそ甘く見るなよ。俺はいくつかのパラレルワールドや星を攻め滅ぼし、支配して来たことをな。」

人間界へと向かうバトルヴェソールは自身の配下やクレア、イゼル、ライラやジエツトームらを率いていき、さらに初代ドラン・キュラー1世も同行して向かう事となった。

人間界

海

海の別荘

アイカ「海を見るのも綺麗だね。」

はるな「何だか綺麗だね。」

海「いつもここでお兄様と一緒に海の景色を見ていたのよ。」

アイカ「海さんはお兄さんと一緒に海をよく見ていたんですね。」

海「お兄様とはよく海を見ていたのよ。一緒に遊んでくれたりしたのよ。」

はるな「楽しかった？」

海「今もずっと忘れていないわ。お兄様と一緒に過ごした思い出は私の中にずっとあるのよ。」

アイカ「わかるよ、あたしとはるなも2人のママと一緒に海で楽しく遊んだりしたの。」

はるな「海の家で一緒に食べたりしたの。」

海「海の家？」

アイカ「海さんは初めてですか？」

海「あんまり知らなくて。」

はるな「じゃあ一緒に海の家に行こう。いろんな食べ物もあるから一緒に食べに行こう。」

海の家を知らない海をアイカとはるなが彼女を連れて近くにある海の家へ行った。

海の家

あかね「いらつしやい、熱いお好み焼きあるでー!!」

えりか「冷たいかき氷もあるよ!!」

海の家で夏に定番のお好み焼きとかき氷が用意されていて、海に来る客がいつも頼んでいた。海の家にやって来たアイカ達は、

アイカ「かなり並んでいるね。」

はるな「人気だね。」

咲耶歌「すごい列だ。」

海「混んでいるわね。」

はるか「時間がかかりそうだね。」

麗奈「はあ、困ったわ。」

文「うーん、これじゃ何時間も待たないと無理みたいね。」

海の家で長い列並ぶアイカ達は長く待ち続けて、ようやく空き、お好み焼きとかき氷を注文しようとする。

あかね「いらっしやい、何人様？」

はるか「あっ!!」

あかね「あああっ!!」

お好み焼きとかき氷を注文しようとしたら、はるかが海の家で働いている人物を見ていたら、自分が知っているあかねとえりかだった。

あかね「まさか、はるかが来るなんて驚いてもうたわ。」

はるか「あかねさんやえりかさんが海の家でいたなんて驚いたわ。」

えりか「いやー、本当驚いたしよ、はるかが来たなんて。」

アイカ「はるか先生、その2人は？」

はるか「この2人はかつて私と同じプリキュアと一緒に戦った仲間よ。」

あかね「うちは日野あかね、かつてキュアサニーやで。」

えりか「あたしは来海えりか、かつてはキュアマリンよ。」

咲耶歌「キュアサニー、キュアマリン。」

文「お二人もプリキュアなんですわね。」

あかね「今は実家のお好み焼き屋を引き継いでおるで。ちょうど今日は海の家で直売してるで。」

えりか「あたしはファッションのデザイナーとして、いろんな服をデザインしているの。今夏だから夏をテーマにした服のデザインを考えたら、ちょうどあかねと会って、店手伝いながら考えてるのよ。」

はるか「2人が会うなんて偶然ですね。」

えりか「でしょ。」

アイカ「プリキュア同士の会うのも偶然だね。」

はるか「せっかくだからお好み焼きやかき氷を食べましょう。」

かつての仲間と再会を果たし、楽しくお好み焼きやかき氷を食べようとするが、そこで黒い服の集団を連れて来た90代に近い小柄な老人が現れた。

一同「ん?」

あかね「あいつは?」

突如、海の家に現れた黒い服の集団を連れて来た90代に近い小柄な老人に反応する

アイカ達。

ラスフェックター「何かいいものはないかのう。」

その90代に近い小柄の老人の名は、ダビッツⅡラスフェックター。彼は世界一の大富豪の1人で、食品、家電等を扱う大企業デスロック社の会長。

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）、ウォーテイル（ヒーローライドジュエル）、鉄齋（ヒーローライド）「!!」

また、ヒーローライドジュエルにいるアイゼンアロイス、ウォーテイル、鉄齋は彼を知っているような表情をし、驚く反応をした。

ラスフェックター「おい、そこのお前、何か良いものはないか？」

アイカ「誰？」

海「彼は世界一の大富豪、ラスフェックターよ。」

はるな「ラスフェックター？」

海「静かに。」

海は席に座っているアイカ達に静かにさせ、ラスフェックの目の前に何か起こさせないようにさせた。

あかね「いらつしやい、何をご注文？」

ラスフェック「おい、貴様、何だこの店は?!何も美味しいもんはないぞ!!」

あかね「すいません、当店は好み焼きとかき氷とおにぎりしか置いてなくて……。ラスフェック「貴様、わしを侮辱する気か?!」

あかね「ここは海を楽しんで過ごすための場所や。文句あるなら帰って貰おうか?」
ラスフェック「わしに刃向かう気か?ならば望み通り潰しにかかるうではないか。」
えりか「潰すつて?あんた、偉そうな口をして出来るの?」

ラスフェック「ほお、わしに刃向かう度胸はあるな。ならばお望み通り潰してやれ。」

自分に注意したあかねとえりかに配下の黒服達に命じて潰しにかかるうとする。

麗奈「ちよつと待ちなさい!!ここはみんなが楽しむ場所でしょ?!気を悪くするつもり？」

争い事になろうとしたら、麗奈が止めに入り、争いは止まった。

ラスフェックター「まあいい、今回はやめだ。行くぞ。」

部下と共に海の家から引いて出ていたラスフェックター。

麗奈「何とかなつたわ。」

海「えええつ。」

アイカ「そう言えばアイゼンアロイスや鉄斎やウォーターテイルの様子がおかしかったよ。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「いや、何でもない。」

鉄斎（ヒーローライドジュエル）「すまない。」

ウォーターテイル（ヒーローライドジュエル）「心配かけさせてごめんなさい。」

アイカ、はるな、海「……。」

3人は何か隠しているとそう感じるアイカとはるなど海。さっきの表情は何かラスフェックラーを知っているような反応で、何か関係があると思う。そんな中、上空から数隻の軍艦らしきものが現れた。

一同「!!」

上空から現れた艦隊に反応したアイカ達は、インフェルノの来襲に気付いた。

アイカ「インフェルノ!!」

咲耶歌「こんな時に!!」

麗奈「すぐにプリキュアに変身していきましよう。」

海「えええつ。」

インフェルノの来襲にすぐにプリキュアに変身するアイカ達。またエビルシップから配下と兵と共に降りて攻撃にかかるバトルヴェソール。

バトルヴェソール「はははははっ、死ぬがいい!!」

両肩からヴェソールキャノンで逃げ回る人々に砲撃して、破壊を行うバトルヴェソール。

ストライク、シンシア「インフェルノ!!」

すぐに駆けつけに現れたストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン。

バトルヴェソール「お前達がプリキュアか？」

マジック「誰なの？」

バトルヴェソール「我が名はバトルヴェソール。インフェルノの艦隊提督、最高幹部だ。」

ストライク「最高幹部？」

シンシア「Drイーリスやカロンと同じ最高幹部って事ね。」

バトルヴェソール「我の力、とくと見るがいい。出でよ、我が配下のオートソルジャー

ズ、モンスターレディズよ!!」

バトルヴェソールは自分の配下である2つのチーム、オートソルジャーズとモンスターレディズを呼び出した。

一同「!!」

現れた2つのチームの姿に4体の機械生命体と3人の西洋妖怪ノ女性だ。

オートコマンダー「行くぞ、お前ら!!」

オートブレイカー「いつもみてえにぶち壊してやるぜ。」

オートウインガー「さっさと片付けてやろうぜ。」

オートバスター「今終わらせてやるぜ。」

4人の機械生命体で編成したオートソルジャーズ。兵器をモチーフにした姿をし、その実力は計り知れない。

フランマシンド「二人とも行くわよ。」

ロクサーパイア「フラン、あたしらの力見せてやろうぜ。」

アルフェルン「私達の力、プリキュアに見せてあげるのであります。」

3人の西洋妖怪の女性で編成したモンスタースターレイズ。元は一般人だが、バトルヴェソールの侵略により、改造人間にされ、強い力を持つ。

ミステイック「私達もいるぞ。」

クイーン「ミステイック!!」

アラム「あたしにもいるぞ。」

ジュール「久しぶりだったな。」

ストライク、シンシア「アラム、ジュール!!」

アラム「久しぶりの再会じゃねえか？」

ジュール「喜べ。」

ジェットーム「俺様もいるぜ。久しぶりだったな。」

ドラン・キュラー3世「プリキュア、息の根を止めて貰おう!!」

スラッシュラー「切り裂いてやるぜ!!」

フエッター「ジェットーム、ドラン・キュラー3世、スラッシュユラーまで。」
バトルヴェソール「全員死ぬ気でかかれ!!」

バトルヴェソールの命で一齐にかかるインフェルノの面子とプリキュアもジャステイスヒーローを召喚し、激突する。

ストライク、シンシア、クイーン「はああああー!!」

ストライク、シンシア、クイーンが3人同時にパンチを出してミステイック、アラム、ジュルフに殴りにかかった。

ミラーシエナ「やらせないよ!!」

ミラーシエナが前に立って、鏡を出して、3人のパンチを跳ね返して、返り討ちにした。

ストライク、シンシア、クイーン「ああああつ!!」

ミラーシエナの鏡によって、自分達の攻撃を反射されて返り討ちにあつたストライク、シンシア、クイーン。

アラム「行くぜ!!」

アラムとジュールが同時にかかつて、ストライクとシンシアとクイーンに襲いかかった。

ストライク「!!」

2人の強襲に対し、ストライクがキュアブレードマグナム銃モードで応戦し、攻撃した。

バルクマツスラー「こいつでも喰らえ!!」

バルクマツスラーが飛びかかって、アラムとジュールに殴りにかかったが、

アムメント「デカぶつの相手は俺がしてやるよ!!」

アムメントがバルクマツスラーに体当たりして、そのまま海の中に潜り、海の中で動き回りながらバルクマツスラーを攻撃した。

アイゼンアロイス「喰らえ!!」

アイゼンアロイス、フェアリアル、ソール、ファイツは、オートソルジャーズと交戦した。

オートコマンダー「ジャステイスヒーロー、その力、見せてもらおうぞ!!」

ジャステイスの4人と交戦するオートコマンダーは右腕のミサイルランチャーからミサイルを発射して攻撃し、さらに機械で出来たボディで体当たりし、左腕のアームクローで殴り込んだ。

アイゼンアロイス、フェアリール、ソール、ファイツ「うっ!!」

オートコマンダーの攻撃を受けたアイゼンアロイス、フェアリール、ソール、ファイツ。
ツ。

オートブレイカー「これでも喰らえ!!」

オートウインガー「空から撃ち落としてやるぜ!!」

オートバスター「目標補足する。」

続いてオートブレイカーが右腕のドリル、左腕のスピンスー、オートウインガーが空中から両腕のミサイルランチャー、オートバスターが両肩からツインキャノンでアイゼンアロイスに攻撃した。

ファイツ「くっ!!」

ファイツがジャステイスシールドを出して、3人の一斉攻撃を防いだ。

フェアリール「よくもやってくれたわね、喰らいなさい!!」

マスケッド銃を数本召喚して、オートソルジャーズに射撃した。

ソール「我が雷を受けよ!!」

続いてソールがミョルニアから雷を放電して、オートソルジャーズに放電した。

フランマシンド「燃やしてあげる!!」

フランマシンドとロクサーパイアとアンフェルンのモンスターレディズと交戦する
フェッターとマジックとジャックとウィザーデイとウォーティル。

マジック「ドランに似ているわね。」

ジャック「確かに似てるわね。」

ロクサーパイア「あたしをあいつと一緒にするな!!」

マジック、ジャック「えっ?!」

ロクサーパイア「あたしら3人はバトルヴェソールによって改造人間にされたんだよ!!」

アンフェルン「私達の力、見せてあげましょう。」

フランマシンド「私の炎で焼き尽くしてあげるわよ。」

フランマシンドが炎状の花びらを降り注いで、マジック、ジャック、ウィザーデイ、ウオーテイルに当てて、火傷させた。

マジック「暑っ!!」

ジャック「相手は魔法攻撃ね。」

ウィザーデイ「ならば私も魔法を使っていこうではないか!!」

ウィザーデイがいくつかの魔法陣を出現してチェーンを多数放って、フランマシンド、ロクサーパイア、アンフェルンに攻撃するが、

アンフェルン「そこですな。」

耳の感覚で反応したアンフェルンがウイザーデイの放った多数のチェーンを素早く振り払い、その4人の爪で引っ掻いた。

ロクサーパイア「あたしもやらせろ!!」

続いてロクサーパイアが両手の爪で4人に引っ掻いた。

マジック「このっ!!」

マジックがマジックステッキスピア銃モードでロクサーパイアとアンフェルンに攻撃した。

ジャック、ウオーテイル「はあああああー!!」

ジャックとウオーテイルが同時にマシンブランドにキックで強く打ち込んだ。

フエッター「はあああああー!!」

フェッターと烈陣丸と光陰命は、ジェットーム、ドラン・キュラー3世、スラツシユラーを相手に戦っていた。

スラツシユラー「死ぬ、プリキュア、ジャステイスヒーロー!!」

スラツシユラーが大型サバイバルナイフでフェッター、烈陣丸、光陰命に振り回して斬撃した。

フェッター「!!」

フェッターがキュアカタナテツポウ刀モードで受け止めて、そのまま力押しでスラツシユラーを押し払い、斬撃した。

ドラン・キュラー3世「東洋の侍如きめ!!」

烈陣丸を剣で連続斬りで押し込んでいくドラン・キュラー3世。

烈陣丸「力任せでござるな。」

ドラン・キュラー13世「消えろ!!」

光陰命「力任せは身を滅ぼすだけです!!」

光陰命が光術でドラン・キュラー13世の顔に当てて眩ませ、隙を突いた烈陣丸が戦烈鬼で正面から突いた。海で激動を繰り返すプリキュアとインフェルノ。

バトルヴェソール「何をモタモタしておるのだ、役立たずが!!」

初代ドラン・キュラー1世「私が出ようではないか。」

バトルヴェソール「貴様が?!」

初代ドラン・キュラー1世「我が吸血鬼の力を見せて行こうではないか。」

初代ドラン・キュラー1世がついに動き出し、吸血鬼の力が今、プリキュアに牙向こうとされた。海で遠くから戦いを見る謎の剣士と銃士2人組がいた。

ブレイディオ、ガンニークス「……」

ストライク鉄斉フォーム、シンシア明利江フォーム「はああああー!!」

ストライク鉄斉フォームが回し蹴りでミステックワプニオンフォームに打ち込み、シンシア明利江フォームが大型手裏剣型の旋忍風を投げて、攻撃した。

ミステックワプニオンフォーム「!!」

ワープ能力を使って瞬間移動し、2人の背後に攻撃しかかった。

ストライク鉄斉フォーム「そこね!!」

背後からの存在に感知したストライク鉄斉フォームが拳でミステックワプニオンフォームに殴り込んだ。

ミステックワプニオンフォーム「ならばこれはどうだ!!」

ミステックワプニオンフォームがワープ能力を最大限に引き出し、瞬間移動であら

ゆる方向に現れたりしながら攻撃した。

ストライク鉄齋フォーム「これじゃ見分けがきついよ!!」

シンシア明利江フォーム「私に任せて!!」

ミステイクワプニオンフォームの最大限の瞬間移動に対し、シンシア明利江フォームが打ち破るために必殺技を発動する。

シンシア明利江フォーム「プリキュア・明利江雷閃滅!!」

シンシア明利江フォームが忍術を唱えて両手を広げて、ワープであちこちに瞬間移動するミステイクワプニオンフォームに雷撃した。

ミステイクワプニオンフォーム「ああああああー!!」

シンシア明利江フォームの雷の忍術を浴びたミステイクワプニオンフォームは、ワープ能力を止められてしまい、そしたらシンシア明利江フォームが突撃しにかかっ

た。

シンシア明利江フォーム「プリキユア・明利江乱れ斬り!!」

シンシア明利江フォームが分身を作って、ミスティックワプニオンフォームにに向かって分身と共に斬り裂いていた。

ミスティックワプニオンフォーム「ぐわあああああー!!」

シンシア明利江フォームの必殺技を受けたミスティックワプニオンフォームは、これ以上の戦闘は不能と判断し、引いた。

アラムジェーニフォーム、ジュールフマナートウフォーム「死ね!!」

アラムジェーニフォームがクイーン翔華楽フォームに幻術を使って、無数のピラニアの幻覚で惑わせ、その際にジュールフマナートウフォームがマナートウクロードで引っ掻いた。

クイーン翔華楽フォーム「こんなの、へっちゃらよ。」

2人の攻撃に耐え抜くクイーン翔華楽フォームは、クイーンファンと天翔楽を手に持ちながら必殺技を発動する。

クイーン翔華楽フォーム「プリキュア・翔華楽舞天氣!!」

クイーン翔華楽フォームがクイーンファンを右手に、天翔楽を左手にそれぞれ持ちながら2つの扇子を発光しながら光風を起こして、アラムジェーニーフォーム、ジュルフマナートウフォームを包み込んだ。

アラムジェーニーフォーム、ジュルフマナートウフォーム「うわあああああー!!」

クイーン翔華楽フォームの必殺技により、光風に包み込まれたアラムジェーニーフォームとジュルフマナートウフォームは破られた。

マジックスーパーレディフォーム「プリキュア・レディエナジービーム!!」

マジックスーパーレディフォームが掌から強力なビームを放ち、ロクサーパイアに攻撃し、さらにパンチで思いつき殴り込んで喰らわせた。

ロクサーパイア「舐めんなあっ!!」

ロクサーパイアが翼を広げて飛び回りながら爪で引つ掻きかかった。

ウイザーディ「今じゃ!!」

ウイザーディがその隙を突いて、ロクサーパイアに魔法で炎を放ち、ロクサーパイアに命中し、マジックスーパーレディがキックした。

ジャックヴォイダートフォーム「プリキュア・ヴォイダートキックランチャー!!」

ジャックヴォイダートフォームがジャンプで両脚を出したまま、フランマシンドに打

ち込んだ。

フランマシンド「小癩な!!」

フランマシンドが両指からマシンガン、腹部からビーム砲を同時に発射し、ジャックヴォイダートフォームに攻撃した。

ジャックヴォイダートフォーム「はああああー!!」

ジャックヴォイダートフォームが両手の手甲からベアクローを出刃して、フランマシンドに斬り込んだ。

フランマシンド「てりやあつ!!」

フランドマシンドがパンチでスマッシュで打ち込み、さらにジャックヴォイダートフォーム持ち上げてパイルドライバーでの両足首を掴んで飛び、空中で逆さになったジャックヴォイダートフォームの腋に足をかけて打ち込んだ。

ジャックヴォイダートフォーム「ああああー!!」

フランマシンドのパイルドライバーを強く打ち込まれたジャックヴォイダートフォーム。だが、すぐに立ち上がって、フランマシンドを持ち上げてそのままジャンプした。

ジャックヴォイダートフォーム「プリキュア・ヴォイダートロックブレイカー!!」

両手でフランマシンドの両腕を掴み、両脚で敵の両脚をはみながら、引っ掻きあげて、フランマシンドの両腕脚を折った。

フランマシンド「うっ、ああああー!!」

サイボーグでありながら機械の関節を折られてしまい、動けなくなったフランマシンド。

フェッター隼疾風フォーム「プリキュア・隼疾風活速進!!」

フェッター隼疾風フォームがジェットーム、ドラン・キュラー3世、スラツシユラーらに翼で斬り付けた。

ジェットーム「うぐつ!!いい気になるなよ!!」

フェッター隼疾風フォームに両腕からビームプラスターで反撃するジェットーム。戦いはプリキュア側から優勢に立ったが、突如、一般人が、プリキュアの前に現れた。

ストライク鉄齋フォーム「？」

突如、一般人が前に立って現れたのに驚くストライク鉄齋フォーム達。その時、一般人が口を開いて囁み付きかかった。

シンシア明利江フォーム「何?!」

襲いかかってくる一般人達に戸惑うストライク鉄齋フォーム達。さらに彼女達の前に現れた初代ドラン・キュラー1世。

初代ドラン・キュラー1世「人間共は私の吸血能力で吸血鬼化したのだよ。」

マジックレディフォーム「誰?!」

ジャックヴオイダートフォーム「ドランに似ているわ。」

初代ドラン・キュラー1世「いかにも私の名は初代ドラン・キュラー1世なのだ。我こそが初代吸血鬼なのだ。」

自ら初代吸血鬼と名乗る初代ドラン・キュラー1世はプリキュアと対峙する。

ストライク鉄齋フォーム「初代ドラン・キュラー1世?」

初代ドラン・キュラー1世「我が剣を受けよ。」

自らの手持ちの大剣ドランキャリバーを出し、プリキュア達に向け始めた。

初代ドラン・キュラー1世「ブラッドスラッシュユ!!」

初代ドラン・キュラー世がドランキャリバーでに血状を纏いながらストライク鉄齋フォーム、シンシア明利江フォーム、フェッター隼疾風フォーム、マジックレディフォーム、ジャックヴオイダートフォーム、クイーン翔華楽フォームに連続斬りした。

ストライク鉄齋フォーム、シンシア明利江フォーム、フェッター隼疾風フォーム、マジックレディフォーム、ジャックヴオイダートフォーム、クイーン翔華楽フォーム、
「ああああああー!!」

初代ドラン・キュラー世の剣技を受けたストライク鉄齋フォーム達。

初代ドラン・キュラー世「行け、我が蝙蝠達よ!!」

背中の翼から大量の蝙蝠を放ち、ストライク鉄齋フォームらに襲いかからせ、さらにドランキャリバーで6人まとめて斬り込んだ。

ブレイディオ、ガンニークス「……」

遠くから見ていた2人組がプリキュア達と初代ドラン・キュラー1世の戦いに介入しようとする。果たして敵か味方か?!

次回 27話へ続く

第26話 2人のハンター

突如、現れた初代ドラン・キュラー世に圧倒されたストライク鉄斎フォーム達。

人間界

海

初代ドラン・キュラー世「散れ!!」

ドランキャリバーでマジックレディフォームに縦一直線に斬撃した初代ドラン・キュラー世。

マジックレディフォーム「あああああー!!」

ストライク鉄斎フォーム、シンシア明利江フォーム、ジャックヴオイダートフォーム
「マジック!!」

ソール「貴様、よくもマジックを!!」

彼女のパートナーであるソールが初代ドラン・キュラー世に向かって、ミヨルニアから雷を放電したが、

初代ドラン・キュラー世「見え見えだ。」

ソールの放電を簡単に回避した初代ドラン・キュラー世が翼を広げて空を飛びながらソールを斬撃した。

ソール「うわああああー!!」

アイゼンアロイス「ソール!!」

オートコマンダー「お前達の相手は俺達だつて事を忘れるな!!」

オートソルジャーズが前に立ち塞がり、激戦を繰り広げるアイゼンアロイスら。

オートウィンガー「羽根のねーちゃんは俺が仕留めてやるぜ!!」

空中戦でフェアリールを追撃するオートウインガーが両脚の飛行ブースターで加速しながら胴体のバルカン砲で攻撃した。

フェアリール「邪魔よ!!」

マスケット銃を6本召喚して、オートウインガーに射撃したフェアリール。

ファイツ「はあああああー!!」

オートブレイカーとオートバスターの2人を相手に戦うファイツは、オートブレイカーのドリルアームとスピンソーをジャスティスシールドで防ぎながら、そのまま盾を回しながら重いつきり打ち込み、遠距離から攻撃するオートバスターの攻撃をかわしながらジャンプしてキックで打ち込んだ。

初代ドラン・キュラー世「これがプリキュアか？」

プリキュア6人をたった1人で軽々と追い詰める力を見せる初代ドラン・キュラー

世。彼の高い実力を前に圧倒されるストライク鉄齋フォームら。

ストライク鉄齋フォーム「つ、強い……。」

シンシア明利江フォーム「今までの敵とは桁違いよ。」

ジャックヴオイダートフォーム「何て強さなの……。」

初代ドラン・キュラー世がたった1人で自分達を圧倒する実力に苦戦を強いられ、なすすべもないストライク鉄齋フォーム達。

初代ドラン・キュラー世「ならば我が吸血鬼化した者と戦わせてやろう、行け!!」

初代ドラン・キュラー世によって吸血鬼化した一般人達がプリキュアに襲いかかった。

男性1「うおー!!」

女性1「血をよこせ!!」

男性2「血を吸わせろ!!」

吸血鬼化した一般人達がプリキユア達を掴んで血を吸おうとした。

シンシア明利江フォームフォーム「プリキユア・明利江水昇陣!!」

シンシア明利江フォームが忍術を唱えて掌を合わせて、地上から巨大な洪水を起こして、吸血鬼化した一般人達を飲み込んで、振り払った。

クイーン翔華楽フォーム「シンシア、ありがとう。」

シンシア明利江フォーム「吸血鬼にされた人達をどう戻すのかよ。」

初代ドラン・キュラー1世によって吸血鬼化された一般人をどうやって戻すか考えるプリキユア達。その時、2つの影が現れ、プリキユアとインフェルノの戦いに介入した。

一同「?!」

突如現れた謎の2人に驚くプリキユア達。敵か味方か？

バトルヴェソール「なんだ、貴様らは？」

ブレイディオ「俺達2人はお前に用があつて来たんじゃない。」

ガンニークス「そのヴァンパイアに用がある。」

初代ドラン・キュラー1世「お前達2人か。」

ブレイディオ「久しぶりだな、初代。」

ガンニークス「お前をここまで追つてやって来た。」

ストライク鉄斎フォーム、シンシア明利江フォーム、フェッター隼疾風フォーム、マジックレディフォーム、ジャックヴォイダートフォーム、クイーン翔華楽フォーム「誰？」

突然現れた2人組に困惑するプリキュア達。

ブレイディオ「俺の名はブレイディオ。」

ガンニークス「俺はガンニークスだ。」

2人組の名は剣士の姿をしたブレイディオと銃士の姿をしたガンニークスだ。

バトルヴェソール「オートソルジャーズ、モンスターレディズ、この2人組を始末しろ!!」

バトルヴェソールの命令で2人に襲いかかるオートソルジャーズとモンスターレディズ。

ブレイディオ「相手は機械生命体とアンデッドか。」
ガンニークス「俺達の相手に不足はないな。」

2人は多数でかかる相手に挑んだ。ブレイディオが異世界の鉱石シルバーミネラルで出来た剣型のブレイディオソード、ガンニークスがブレイディオソードと同様にシルバーミネラルで作られた2丁銃型のガンニークスガンを出して、攻撃する。

ブレイディオ「はあああああー!!」

ブレイディオがブレイディオソードで素早い剣撃でオートコマンダーとオートブレ

イカーとロクサーパイアに斬撃した。

ガンニークス「行くぜ!!」

2つのガンニークスガンからレーザー光線を連射しながらオートウインガーとオートバスターとマシンフランドとアルフェルンに撃ち込んだ。

オートブレイカー「舐めやがって!!」

ロクサーパイア「舐めんな!!」

オートブレイカーとロクサーパイアが同時にかかって、ブレイディオに襲いかかった。

ブレイディオ「!!」

ブレイディオソードで180度に振り込んでオートブレイカーとロクサーパイアに斬撃し、さらに2人に連撃を加えた。

オートウインガー「死ねえ!!」

オートバスター「落ちろ!!」

空中を飛行するオートウインガーがミサイルを発射し、更にオートバスターがツインキャノンでガンニークスに砲撃した。

ガンニークス「!!」

2人の同時攻撃を回避したガンニークスは、ガンニークスガンで空中にいるオートウインガーに射撃で撃ち落とし、さらに砲撃するオートバスターに突つかかって、至近距离からガンニークスの銃口の下部からシルババンカーで打ち込んだ。

フランマシンド「舐めやがって、お前を燃やし尽くしてやる!!」

ブレイディオとガンニークスに炎魔法を唱えて攻撃するフランマシンド。

ブレイディオ、ガンニークス「うっ!!」

フランマシンドの炎魔法の攻撃を受けたブレイディオ、ガンニークス。

アルフェルン「いただくであります!!」

アルフェルンがダッシュで駆けながらブレイディオとガンニークスに爪で引つ掻いた。

ブレイディオ「向こうもやるな。」

ガンニークス「やられるわけにはいかないな。」

向こうの強さに実感するブレイディオとガンニークスは、負けるわけにはいかないと踏ん張り、ブレイディオが炎魔法で攻撃するフランマシンドの麓に飛び込んで、大きく剣撃を繰り出して、喰らわせた。ガンニークスが素早く動き回るアルフェルンの動きを見切りながら射撃した。

マシンブランド、アルフェルン「ぐうっ!!」

ブレイディオとガンニークスの2人の強さに圧倒されたオートソルジャーズとモンスターレディズ。

バトルヴェソール「何をしているお前ら!!それでもハデユス様への尽力はそんなもんか!!」

フランマシンド「うるせえ、あたしらはてめえの配下じやねえんだよ!!」

ロクサーパイア「あたしら3人はお前の奴隷じやねえーよ!!」

バトルヴェソール「上司の俺に楯突くところなるぞ!!」

自分に反抗したフランマシンドとロクサーパイアに楯突いた事で、両肩のヴェソールキヤノンで砲撃した。

フランマシンド、ロクサーパイア「わああああー!!」

アルフェルン「フラン、ロクサー!!」

フランマシンドとロクサーパイアがバトルヴェソールに攻撃されたのを目の当たりにするアルフェルン。

ストライク鉄齋フォーム「仲間を攻撃するなんて!!」

シンシア明利江フォーム「ひどい!!」

バトルヴェソールが仲間を攻撃した姿はストライク鉄齋フォーム達からも驚愕し、信じられない光景を目の当たりにした。

バトルヴェソール「俺に盾突きやがって、この役立たずめ!!」

初代ドラン・キュラー1世「やめろ。」

バトルヴェソール「吸血鬼は黙れ!!上司の俺に刃向かったこいつら2人に躰をしているんだ!!」

初代ドラン・キュラー1世「貴様がやっているのはパワハラ、八つ当たりだ。」

バトルヴェソール「何だと?!」

初代ドラン・キュラー1世「これ以上やるのだ、私が指揮を出す。全軍一時引き上げた!!」

自ら指揮をした初代ドラン・キュラー世は、バトルヴェソールが仲間を攻撃した事で一時引き上げを下し、立ち去った。

マジックレディフォーム「敵が逃げていく。」

敵が一時退却し、戦いは終わったが、初代ドラン・キュラー世によって吸血鬼にされた一般人も同行してしまい、彼らをどう助けるか。

アイカ「吸血鬼にされた人達も一緒に行っちゃったね。」

はるな「吸血鬼にされた人を戻さないよ。」

ブレイディオ「お前達がプリキュアか。」

アイカ達の元にブレイディオとガンニークスが近くにやって来た。

はるな「あなた達はさっきの……。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「お前はブレイディオ、ガンニークス!!」

ブレイディオ「久しぶりだったな、アイゼンアロイス達。」

ガンニークス「プリキュアと一緒にいるとはな。」

アイカ「知り合い？」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「2人の名はブレイディオ、ガンニークスだ。」

ブレイディオ「よろしくな。」

ガンニークス「俺達もアイゼンアロイス達と同じジャスティスヒーローだ。」

何と、ブレイディオとガンニークスもアイゼンアロイス達と同じジャスティスヒーローであると判明した。

咲耶歌「2人もジャスティスヒーローって事だね？」

ブレイディオ「あああ。」

ガンニークス「俺とブレイディオは一緒に組んで、人々に害をもたらずアンデッドと機械生命体を狩っている。」

ブレイディオ「俺とガンニークスはアンデッドと機械生命体を狩っている事でキラークハンターと呼ばれている。」

アイカ「キラーハンター……」

ガンニークス「初代をまた倒し損ねたな。」

ブレイディオ「次は必ず来るはずだ。」

文「初代って？もしかしてドラン・キュラー世の事だよな？」

ブレイディオ「あああ、そいつだ。奴はインフェルノの最高幹部であり、初代吸血鬼でもある。奴に血を吸われた人間は吸血鬼にされ、配下となる。」

あかね「まるで本物のドラキュラよないか。」

えりか「何だかハラハラする。」

ガンニークス「奴に吸血鬼化された人達を戻すには奴を倒す以外方法はない。」

海「1世を倒せば元に戻るわけね。」

麗奈「後、敵は艦隊を率いているわ。かなり厄介ね。」

アイカ「艦隊にはキュアライドロボがあるよ。」

はるな「キュアライドロボなら艦隊に挑めるわ。」

文「キュアライドロボ？」

麗奈「人型ロボットよ。あるのは2機だけよ。」

文「私、乗ってみたいわ。」

麗奈「遊びじゃないのよ。」

文「わかってるよ。」

海「どう戦うかね。初代ドラン・キュラー世と艦隊を相手に。」

アイカ「じゃあ、あたしとはるなと咲耶歌さんと海さんと初代ドラン・キュラー世を倒す、麗奈さんと文さんはキュアライドロボに乗って、艦隊と対決でどうかな？」

麗奈「それ、良いわね。」

文「やったー、私、ロボットに乗れるんだ。」

咲耶歌「初代と対決って事ね。」

はるな「ブレイディオやガンニークスも初代を倒す事だよね。」

ブレイディオ「あああ、俺達の手で必ず倒す。」

初代ドラン・キュラー世とバトルヴェソールの艦隊とそれぞれ対決する事になったアイカ達。そして、吸血鬼にされた人達を戻す事は出来るのか？

次回 27話へ続く

第27話 吸血鬼との決着

初代ドラン・キュラー1世とバトルヴェソールの艦隊と対決するため、二手に分かれて行動する事になったアイカ達。

海

エビルシツプ

ブリツジ

バトルヴェソール「この役立たず共めがあっ!!」

戦いに敗れた部下達全員に攻撃するバトルヴェソールは、人間界を1ミリも征服出来ずにパワハラをした。

フランマシンド「うっ、あっ!!」

ロクサーパイア「わああああああー!!」

アルフェルン「痛いー!!」

ジェットーム、ドラン・キュラー3世、スラツシユラー「ぐわああああああー!!」

オートコマンダー、オートブレイカー、オートジェットター、オートバスター「うっ!!」

プリキュアとの戦いで上手くいかなかったフランマシンド、ロクサーパイア、アルフェルン、ジェットーム、ドラン・キュラー3世、スラッシュユラー、オートコマンダー、オートブレイカー、オートジェットター、オートバスターらにヴェソールキャノンで砲撃するバトルヴェソール。

フランマシンド「てめえ、何様なんだ・・・!!」

ロクサーパイア「失敗したからパワハラかよ!!」

バトルヴェソール「当たり前だ、役立たずめ!!プリキュアを倒せねえとは期待外れの奴隷だな!!」

アルフェルン「私達はお前の奴隷じゃない!!」

バトルヴェソール「お前達3人は俺の奴隷だからな。故郷を俺に滅ぼされて、奴隷になって改造された気分はどうだ。」

フランマシンド「あたし達の・・・家族やみんなを、お前が殺した・・・!!」

ロクサーパイア「あたし達3人を怪物に改造して、てめえの奴隷にされやがった・・・!!」

バトルヴェソール「奴隷は黙っている!!」

反抗的な態度を取ったフランマシンドとロクサーパイアにバトルヴェソールが両腕のヴェソールクローで引つ掻いた。

フランマシンド、ロクサーパイア「あああああー!!」

アルフェルン「フラン、ロクサー!!」

バトルヴェソール「どうした、怪物にされた奴隷はこんなもんか?そこのお前ら2人もこいつらと同じだったんだろ?」

ドラン・キュラー3世、スラツシユラー「・・・」

バトルヴェソール「答える気にもならないのか。一生、負け犬のままと言う訳だな。」

バトルヴェソールが部下を。パワハラやさらに侮辱発言をし、その反応に初代ドラン・キュラー1世が怒りを表して、彼に近付いた。

バトルヴェソール「何だ、初代?!!」

初代ドラン・キュラー1世「貴様は自分が上手くないから相手にいじめか?」

バトルヴェソール「何だと?!」

イゼル「てめえ、さつきからパワハラしたくてしょうがないんだろ？」

ライラ「お前はただの高慢な指揮官なだけだな。」

クレア「貴様を指揮官とは思わないな。」

バトルヴェソール「貴様らあー、俺に刃向かうなら、こいつらと同じようにしてやる

!!

イゼル「なら今ここでやってもいいんだぞ。」

ライラ「お前など蹴散らしてやる。」

クレア「今その首を取ってやる。」

バトルヴェソールがクレア、イゼル、ライラに馬鹿にされて、ついに仲間同士対決しようとするが、

初代ドラン・キュラー1世「やめんか!!」

バトルヴェソール「初代、邪魔をするな!!」

初代ドラン・キュラー1世「ならばお前がプリキュアを倒してみろ。」

バトルヴェソール「俺の手で直接倒せだど?!」

初代ドラン・キュラー1世「部下をいびり、責任を押し付けるなら自らの手で倒せ。」
バトルヴェソール「俺を馬鹿にしてるのか、老害があ!!」

初代ドラン・キュラー1世「貴様は自分が戦うのを怖がっているのか？何とでも言う方がいい。」

バトルヴェソール「ならばお望み通り俺が自ら倒しに行つてやる!!」

初代ドラン・キュラー1世の言葉で、自らプリキュアを倒す事に決意したバトルヴェソール。

ドラン・キュラー3世「初代様。」

初代ドラン・キュラー1世「怪我はないか？」

ドラン・キュラー3世「あつ、はい。」

初代ドラン・キュラー1世「お前達も怪我はないか？」

バトルヴェソールにパワハラで攻撃されたドラン・キュラー3世達に気遣う初代ドラン・キュラー1世。

バトルヴェソール「お前ら3人、代わりに艦を任せるぞ、いいな!!」
イゼル「都合が悪いのをあたしらに押し付けか。」

ライラ「いいだろう。せいぜい倒してみろんだな。」

クレア「さて、どうなるのか。」

バトルヴェソールはクレア、イゼル、ライラらに艦隊を任せて、初代ドラゴン・キュウラ1世と共にプリキュアを倒しに出撃した。一方、プリキュア側は、艦隊との対決に備えて、キュアライドロボ2機を用意し、麗奈と1号機の操縦をする事になった文の2人だ。

海の別荘

麗奈「文、操縦はもう慣れてる?」

文「一生懸命覚えて練習して来たよ。」

麗奈「2人で行きましょう。」

ブレイディオ「お前達4人は俺とガンニークスと一緒に初代と対決だ。」

アイカ「初代ドラゴン・キュウラ1世を倒して必ず元に戻してみせる。」

はるな「血を吸われて吸血鬼にされないように戦わないと。」

ガンニークス「準備はいいか?」

海「バツチリよ。」

咲耶歌「いつでも大丈夫よ。」

トットム「相手はかなり手強いみてえだ。」

ペル「最高幹部クラスが2人もいます。」

アーニヤ「幹部クラスがいっぱいでありますわ。」

アイカ「わかっているよ、こつちもジャステイスヒーローと一緒に力を合わせて戦うよ。」

咲耶歌「あたし達プリキュアの力、見せていこう。」

初代ドラン・キュラー1世との対決する意気込むアイカ達は、彼を倒して吸血鬼にされた人達を元に戻すべく全力を出して挑みにかかる。早速、上空からインフェルノの艦隊が現れてきた。

海「早速お出ましまいたいね。」

文「来たってことねだね。」

麗奈「みんな、行くわよ。」

早速アイカ達はプリキュアに変身をし、ストライク、シンシア、マジック、ジャックは初代ドラゴン・キュラー世との対決、フェッター、クイーンはキュアライドロボで艦隊の迎撃をそれぞれ行う事になった。

クイーン（キュアライドロボ1号機）「フェッター、行くよ。」

フェッター（キュアライドロボ2号機）「敵艦隊を迎撃にかかるよ。」

クイーン（キュアライドロボ1号機）「任せて!!」

2機のキュアライドロボが同時に空中を飛行しながら、敵の艦隊へと突き進んで向かった。敵機の接近に直ちに迎撃開始をするインフェルノの艦隊は、エビルクルーザーから主砲、対空機銃、対地空水ミサイルランチャーを同時に一斉発射した。

フェッター（キュアライドロボ2号機）、クイーン（キュアライドロボ1号機）「!!」

すぐに敵艦からの一斉砲撃を回避する2機のキュアライドロボは、2号機を操縦するフェッターはプリキュアライドジュエルマカロン、1号機を操縦するクイーンはプリキュアライドジュエルシヨコラをそれぞれ出して、装着する。

フェッター（キュアライドロボ2号機）、クイーン（キュアライドロボ1号機）「キュアライドチェンジアラモード!!」

マカロン、シヨコラのプリキュライドジュエルで装着し、2号機はマカロン、1号機はシヨコラの姿となつて、敵艦隊に攻撃を仕掛けた。マカロンキュアライドロボ2号機とシヨコラキュアライドロボ1号機が片手からクリームエネルギーを発射してエビルクルーザーを拘束して、そのまま振り回して、他のエビルクルーザーに数隻ぶつけて撃沈させた。

エビルクルーザー艦長「迎撃機を出せ!!」

エビルクルーザーからすぐにジャイアントデッド、グアグオイル、ベノムマシンを発進させて、2機のキュアライドロボに攻撃にかからせた。

フェッター（マカロンキュアライドロボ2号機）「来るわよ!!」

クイーン（シヨコラキュアライドロボ1号機）「わかつてるわ!!」

エビルクルーザーから発進したジャイアントデッド、グアーグオイル、ベノムマシン
の部隊に対し、マカロンキュアライドロボ2号機が指先から爪を伸ばして、ベノムマシ
ン数機を切り裂き、シヨコラキュアライドロボ1号機が板チョコ状のクリームエネ
ギーで出来た剣で、ジャイアントデッド、グアーグオイルに斬撃した。一方、地上では、
ストライク、シンシア、マジック、ジャック、アイゼンアロイス、フェアリール、ソ
ール、ファイツはブレイディオ、ガンニークスと共に初代ドラン・キュラー世とバトルヴェ
ソールとマシンソルジャーズとモンスターレディズとジェットームとドラン・キュラー
3世とスラツシユラーと交戦した。

海

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリールフォーム「はああああー!!」

ストライクとシンシアはフランマシンドとロクサーパイアとアルフェルンと交戦を
し、繰り広げていた。

フランマシンド「喰らえ!!」

フランマシンドが腹部からビーム砲を発射して、ストライクとシンシアに攻撃して来た。

ストライク「!!」

ストライクがキュアブレードマグナム剣モードで、フランマシンドのビームを両断し、シンシアがキュアブレードマグナム銃モードで射撃した。

ロクサーパイア「死にやがれ!!」

ロクサーパイアが蝙蝠の翼を広げて羽ばたきながら爪で、ストライクとシンシアに攻撃しかかった。

シンシア「そこね!!」

シンシアがキュアブレードマグナム銃モードでロクサーパイアに射撃し、ストライク

がジャンプしてキュアブレードマグナム剣モードで斬撃した。

アルフェルン「私もいます!!」

アルフェルンが素早い動きを駆使して、ストライクとシンシアに攻撃した。

ストライク「だったらこれで!!」

2人は、ブルーム、イーグレットのプリキュライドジュエルを出して、キュアアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

ストライク、シンシア「プリキュライドチェンジスプラッシュユスター!!」

ブルームとイーグレットに変身したストライクとシンシアは空中飛行して、モンスターレディズの周りを飛び回りながら攻撃した。

ロクサーパイア「あたしも飛べるんだよ!!」

ロクサーパイアが背中の蝙蝠の翼を広げて空を飛んで、ブルームストライクとイーグレットシンシアに攻撃をしかかった。

ブルームストライク、イーグレットシンシア「!!」

2人は突風を起こして、ロクサーパイアを吹き飛ばし、そのまま飛行したままキックで打ち込んだ。

マジック、ジャック「とりやあああああー!!」

マジックとジャックはジェットームとドラン・キュラー3世とスラツシユラーと交戦をした。

ジェットーム「オラオラオラ!!」

ジェットームが両腕からビームプラスターでマジックとジャックに射撃した。

マジック「させないよ!!」

マジックがトランプを数枚出して、バリア代わりに使って、ジェットームのビームブラスターの攻撃を防いだ。

ジャック「プリキュア・ジャックコインバレッツ!!」

ジェットームが攻撃した直後にジャックが指先からコインを数枚出して、光弾にして連射してジェットームに攻撃した。

ドラン・キュラー3世、スラツシユラー「死ねえ!!」

ドラン・キュラー3世とスラツシユラーが近接でかかって、マジックとジャックに攻撃しかかった。マジックとジャックはそれぞれステッキスピア槍モードを出して、ドラン・キュラー3世とスラツシユラーとやり合った。

ドラン・キュラー3世「はあああああー!!」

マジックに剣を振るいながら真っ向から連続突きをするドラン・キュラー3世。マジックがマジックステツキスピア槍モードで、ドラン・キュラー3世の剣を受け止め、掌からトランプを放ち、喰らわせた。

スラツシユラー「切り刻んでやるぜ!!」

スラツシユラーが右手に手甲爪アーム、左手に大型サバイバルナイフでジャックに斬りかかった。ジャックがジャックステツキスピア槍モードで、スラツシユラーの武器攻撃を受け止めて、そのままジャックステツキスピアで真っ向から刺突した。

アイゼンアロイス「はあああああー!!」

アイゼンアロイスが両腕をパワージャッキで起動して発光しながらオートコマンダーにパンチを打ち込んだ。

オートコマンダー「やるな、ジャステイスヒーロー。俺の力、味わうがいい!!」

オートコマンダーが右腕のミサイルランチャーでアイゼンアロイスに射撃し、左腕アームクローで握り込んだ。

アイゼンアロイス「やってくれたな!!」

両手からビームソードを出刃して、オートコマンダーに連続斬りで喰らわせた。

フェアリール、オートウインガー「はあああああー!!」

フェアリールとオートウインガーの両者が空中戦を繰り広げ、フェアリールがマスケット銃を数本召喚して一斉射撃し、オートウインガーが両腕のミサイルランチャーを一斉発射し、両者の攻撃がぶつかり合った。

ファイツ「我が盾を喰らえ!!」

オートブレイカーと交戦するファイツはジャステイスシールドを上から降ろして喰らわせ、キックで打ち込んだ。

「オートブレイカー」「死ね!!」

オートブレイカーが左腕のスピンスーでファイツに斬り付け、さらに右腕のドリルアームで攻撃した。

オートバスター「落ちろ!!」

オートバスターが両肩のビームキャノンをソールに向けて連射し、さらにビームガトリングガンで射撃した。

ソール「我が雷を受けよ!!」

ソールがミョルニアから雷を放電してらオートバスターに喰らわせた。

ブレイディオ、ガンニークス「初代、覚悟!!」

ブレイディオとガンニークスは自分達2人の宿敵である初代ドラン・キュラー世と対決をし、さらにバトルヴェソールも同時に交戦する。

バトルヴェソール「まとめて倒してやる!!」

初代ドラン・キュラー世と交戦しているブレイディオとガンニークスに向けて両肩のヴェソールキャノンで砲撃した。

ブレイディオ、ガンニークス「ぐわあっ!!」

バトルヴェソールの砲撃を受けたブレイディオとガンニークス。その隙について初代ドラン・キュラー世がドランキャリバーで斬り込んだ。

ブレイディオ「はあっ!!」

ブレイディオがブレイディオソードで初代ドラン・キュラー世に飛びにかかって斬り込んだ。

初代ドラン・キュラー世「!!」

ドランキャリバーでブレイディオのブレイディオソードと交じり合い、剣と剣がぶつかり合った。

バトルヴェソール「いただき!!」

バトルヴェソールがヴェソールキャノンでブレイディオに向けて砲撃するが、

ガンニークス「させるかよ!!」

ガンニークスがガンニークスガンからレーザー光線でバトルヴェソールに射撃した。

バトルヴェソール「貴様あつ!!」

ガンニークス「お前の相手をしてやるよ!!」

ガンニークスとバトルヴェソールの両者による射撃戦が繰り広げられ、二丁銃使いのガンニークスが素早い反応と瞬発力で連射し、高い火力を持つバトルヴェソールが繰り広げていた。一方、キュアライドロボでインフェルノの艦隊を次々と撃退したフェッターとクイーン。だが、エビルシッパから待ち伏せしたミスティックとアラムとジュールが攻撃を仕掛けてきて、キュアライドロボから降りて戦うことになったフェッターとクイーン。

フェッター烈陣フォーム「はあああああー!!」

フェッター烈陣フォームがキュアカタナテツポウ刀モードを右手に、戦烈鬼を左手に持ちながら二刀流でミスティックミラーシエナフォームと繰り広げた。

ミスティックミラーシエナフォーム「散れ。」

フェッター烈陣フォームの持つ二刀から繰り出す斬撃をミラーシールド剣モードで

受け止め、そのまま大きく振り回した。

フェッター烈陣フォーム「プリキュア・烈陣双破斬!!」

二つの刀を発光しながら、ミステックミラーシエナフォームに斬撃するが、

ミステックミラーシエナフォーム「プリキュア・ミラーシエナリフレクト!!」

ミステックミラーシエナフォームが鏡を出現して、フェッター烈陣フォームの必殺技を跳ね返した。

クイーン大和丸フォーム「はああああー!!」

クイーン大和丸フォームがアラムアラミラードフォームとジュールファメントフォームを相手に戦っていた。

アラムアラミラードフォーム「喰らいな!!」

アラムアラミラードフォームが背中ブースターを加速しながらアラミラードドリルアームで攻撃した。

ジュールファメントフォーム「散れ!!」

ジュールファメントフォームがアメントクロードクイーン大和丸フォームに斬り裂いた。

クイーン大和丸フォーム「全然効かないよ!!」

大和丸の武者鎧の頑丈な防御で2人の攻撃に耐え、次は自分が反撃に出てかかった。

クイーン大和丸フォーム「プリキュア・大和双破走!!」

クイーン大和丸フォームが右手にキュアナギナライフル薙刀モード、左手に橙破槍をそれぞれ手に持ったまま走りながら、アラムアラミラードフォーム、ジュールファメン

トフォームに2つの槍を光柱状を纏いながら突撃した。激動を繰り広げるプリキュアとインフェルノ。

初代ドラン・キュラー世「行け、吸血鬼達よ!!」

初代ドラン・キュラー世によって吸血鬼化された一般人達が現れて、ストライク達に襲いかかった。

ストライク「キリがないよ!!」

シンシア「何とかしないと!!」

ブレイディオ「ストライク、シンシア!!」

ガンニークス「俺達2人の力を使え、そうすれば初代を倒して元に戻るはずだ!!」
ストライク「ブレイディオとガンニークスもアイゼンアロイス達と同じジャスティスヒーロー。」

シンシア「一体化すれば、初代ドラン・キュラー世を倒せるって事ね。」

ブレイディオ「時間がない、行くぞ!!」

初代ドラン・キュラー1世を倒すべく一体化を行い始めるストライクとシンシアとブレイディオとガンニークス。

ストライク「ブレイディオ!!」

ブレイディオ「ストライク!!」

シンシア「ガンニークス!!」

ガンニークス「シンシア!!」

ストライクはブレイディオ、シンシアはガンニークスとそれぞれ一体化し、ブレイディオの姿をしたシルバーアーマーを纏い、手にブレイディオソードを持ちながらストライクとブレイディオが一体化した姿、ストライクブレイディオフォーム、ガンニークスの姿をした衣装を纏い、両手に2丁銃ガンニークスガンを持ちながらシンシアとガンニークスが一体化した姿、シンシアガンニークスフォームとなり、初代ドラン・キュラー1世と激突する。

初代ドラン・キュラー1世「一体化した事で、同じものだ!!」

初代ドラン・キュラー世が翼から大量の蝙蝠を放ち、2人に向けて攻撃するが、

ストライクブレイディオフォーム「そこっ!!」

初代ドラン・キュラー世が放った大量の蝙蝠をストライクブレイディオフォームがブレイディオソードの繰り出す斬撃から一閃で葬った。

シンシアガンニクスフォーム「はあああああー!!」

シンシアガンニクスフォームがガンニクスガンニ丁を両手に持ちながら素早い速度でレーザー光線を連射し、初代ドラン・キュラー世に攻撃した。

初代ドラン・キュラー世「ぐわあっ!!」

シンシアガンニクスフォームの連射攻撃による光線を受けた初代ドラン・キュラー世はガンニクスガンが鉾石シルバーミネラルで出来ている事で、自身がアンデッドである事で大きく喰らった。

初代ドラン・キュラー1世「ならば切り刻んでやる、ブラッドスラッシュ!!」

ドランキャリバーを手に持った初代ドラン・キュラー1世が大剣に血状を纏いながらシンシアガンニークスフォームに斬りかかった。

ストライクブレイディオフォーム「プリキュア・ブレイディオサークルスラッシュ!!」

ストライクブレイディオフォームがブレイディオソードを発光しながら360度回転しながら初代ドラン・キュラー1世に斬撃した。

初代ドラン・キュラー1世「ぐわあああああー!!」

ガンニークスガンと同様にシルバーミネラルで出来たブレイディオソードもアンデッドに有効で大きなダメージを受けた。

初代ドラン・キュラー1世「まさかお前達2人、ブレイディオとガンニークスと一体化

したと言うのか?!

ストライクブレイドイデオフォーム「そうだよ、2人と一体化したあたし達はお前を倒すして、吸血鬼にされた人達を元に戻す事だ!!」

初代ドラン・キュラー1世「貴様如きが倒せるはずがなからう!!ブラッドショット!!」

初代ドラン・キュラー1世が掌から血状の光弾をストライクブレイドイデオフォームに向けて放った。

シンシアガンニークスフォーム「プリキュア・ガンニークスシューティングプラスト!!」

シンシアガンニークスフォームが丁のガンニークスガンから光球を連射して初代ドラン・キュラー1世の発射した光弾を撃ち落とし、そのまま彼にも喰らわせた。

初代ドラン・キュラー1世「バカな、この私がやられるのか?！」

最強の吸血鬼と言われた初代ドラン・キュラー1世は自分が追い詰められていくのに驚

愕し、2人のプリキュアに圧倒されていた。

ストライクブレイディオフォーム「これで終わりだよ!!」

初代ドラン・キュラー1世を倒すべく必殺技を発動するストライクブレイディオフォームとシンシアガンニークスフォーム。

ストライクブレイディオフォーム「プリキュア・ブレイディオクラッシュユ!!」

シンシアガンニークスフォーム「プリキュア・ガンニークスバスターショット!!」

2人はそれぞれの必殺技を発動し、シンシアガンニークスフォームが2丁のガンニークスを合わせて左右合体し、強力な光線を初代ドラン・キュラー1世に放ち、次にストライクブレイディオフォームがレイディオソードに光状を纏いながら初代ドラン・キュラー1世を斬撃した。

初代ドラン・キュラー1世「うおおおおおー!!」

2人の必殺技を受けた初代ドラン・キュラー世は最期を迎えて消滅した。

バトルヴェソール「邪魔が消えたか。ここは退却はする。」

初代ドラン・キュラー世が戦死された事で退却を出して去るバトルヴェソール。彼が倒された事で、吸血鬼化された人々も元に戻った。

アイカ「みんな、元に戻ったね。」

はるな「もう吸血鬼にはならなくなったね。」

あかね「あんた達これを渡す。」

えりか「受け取って。」

えりかとあかねから渡されたのはシプレ、コフレ、キャンディ、ポップのフェアリージュエルだ。

咲耶歌「久しぶりのフェアリージュエルだ。」

海「いつ以来かしら？」

麗奈「残りも集めないと。」

文「そうだね。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「・・・。」

アイカ「アイゼンアロイス？」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「何でもない。」

アイゼンアロイスは、自分達が遠くから監視されているのに気付いていた。その遠くから見ている人物は海の家で出会ったラスフェックターだった。

ラスフェックター「あれがプリキュアとジャスティスヒーローか。プリキュア達やWJ Gやインフェルノもわしらの計画も気付いてないようだな。全てはわしらとハデユスに踊らされているのを。」

次回 28話へ続く

第28話 暴虐

9月から新学期が始まり、学校へ通うアイカ達。

あさぎ市

アリーナ学園

小等部

教室

アイカ「二学期だ。」

はるな「もう秋だね。」

アイカ「暑さも和らいできたみたいだね。」

はるか「授業も早速始まり開始よ。」

二学期の授業が始まり、授業を受けるアイカとはるな。秋の季節になってからは涼しい風が吹き、暑さも和らいだ。

市街地

アイカ「なんだか涼しくなったね。」

咲耶歌「そうだね。」

文「秋とは何かしら？」

麗奈「そうね、秋は何がいいかしら？」

海「読書かしら？」

はるな「芸術かな？」

麗奈「文化的ね。」

アイカ「食べ物のお秋。」

麗奈「相変わらずね。」

文「運動かしら。」

麗奈「運動もいいわね。」

食べ物、運動、読書、芸術、それぞれの秋を言いながら楽しむアイカ達。そんな中、偶然一人の少年が前に立っていた。

一同「ん？」

青太「……。」

アイカ「どうしたの、こんなところで立って？」

青太「僕に何か用？」

咲耶歌「君が1人で立っていたから？」

青太「ほつといておいてくれない？」

海「ほつといてって言われても？」

はるな「あなたの名前は？」

青太「僕は青太。」

アイカ「青太君って言うんだ。」

青太「僕に用がないなら帰ってくれないか？」

文「1人でいて寂しくない？」

青太「いいから放っておいてくれ!!」

自分の事に構うなど言う青太。

麗奈「行きましょう。」

麗奈がそう言いながらアイカ達を立ち去った。

一同「……」。

青太と言う少年の事を気にかけるアイカ達。

アイカ「青太君って子、気になるね。」

はるな「あの子、何だか寂しいそんな感じだった。」

麗奈「……」。

海「麗奈さん？」

麗奈「何でもないわ。」

咲耶歌「？」

麗奈は青太を見て何かに感じ、彼の目が辛そうな表情をしていて、何か悲しい事に気付いた。その事は、アイカ達には教えなかった。一方、インフェルノは、カロンがたった1人でWJGの次元刑務所を襲撃して、収監された囚人者達を配下に加え、さらにかつて世界に名を轟かせた3人の凶悪犯を配下にした。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

ブリーフィングルーム

Drリージス「カロン、どうやらWJGのの収監した犯罪者を配下にしたようだな。」
カロン「その中でかつて世界に名を轟かせた3人の凶悪犯が結成したデスバイオレンスだ。彼らはいろんな人を殺し、残虐なやり方で殺していったのだ。」

Drリージス「実にいいな。」

カロン「まずはいろんな人々を惨殺し、街を破壊尽くした、ジャイアント・ザ・ドージャーを送り込む。ついでに彼にはフラージェンとクラッシュトロイ、リビングデッドマシンで蘇ったかつてのプリキュアの敵達も一緒に同行させた。」

Drリージス「楽しみだ。」

カロン「それにかつてプリキュア達と一緒に戦った中であるプリキュアもそろそろ動き出す頃だ。」

Drリージス「あるプリキュア?！」

カロン「それは見てのお楽しみだ。まずはジャイアント・ザ・ドージャーの戦いを拝見

だ。」

カロンがW J Gの次元刑務所から解放した凶悪犯のジャイアント・ザ・ドーザーを人間界に送り込み、プリキュアに迫ろうとした。次の日、学校へ通うアイカ達。

市街地

アイカ「いつもの毎日だね。」

はるな「学校で勉強ね。」

咲耶歌「この日常が続くといいね。」

海「何か起きないといいわね。」

文「争い事が起きるのは嫌だよ。」

麗奈「そうね。」

いつもの平和な日常、続く事を祈るアイカ達。いつものようにアリーナ学園へ到着したアイカ達。だが、この学園で彼女達の目の前に大きな惨劇が起きた。

一同「!!」

学園のグラウンドに入ったアイカ達は、そこで生徒達が悲鳴を叫んで襲われているのを目の当たりにした。

アイカ「何?!」

麗奈「アイカ、あれを見て!!」

生徒達を襲ったのは、インフェルノのフラーゲンとクラツシュトロイ、リピングゲデツドマシンで蘇ったゲキドラゴ、ウラガノス、ドロドロロン、怪物形態のバストラ、アカオーニ、以前倒したはずのオレスキーだ。

咲耶歌「インフェルノ!!」

フラーゲン「ここはお前達の行く場所だったんだなフガ!!」

アイカ「あたし達の学校に何をするの?!」

クラツシュトロイ「破壊しているんだよ。」

海「こんな事はさせないわ!!」

フラーゲン「こんな事させないとフガ?!お前達に紹介したい奴がいるフガ。」

文「紹介したい奴？」

ジャイアント・ザ・ドーザー「この俺様だあっ!!」

フリーゲンとクラッシュトロイの前に現れた工事業者とブルドーザーを合わせて姿をした巨漢の超人のジャイアント・ザ・ドーザーだ。

はるな「誰なの?!」

ジャイアント・ザ・ドーザー「俺様の名はジャイアント・ザ・ドーザーだ!!そしてパラレルワールドに恐怖と地獄と絶望を残したデスバイオレンスだあっ!!」

麗奈「デスバイオレンス?!まさかあの……」

ジャイアント・ザ・ドーザー「そうさあ、俺とハンニヤードとキラヒツツの3人で結成したデスバイオレンスだあっ!!」

ジャイアント・ザ・ドーザーはかつて他の2人の凶悪犯と一緒にデスバイオレンスの一員であり、WJGの必死の総力によって拘束され、次元刑務所に収監された。

ジャイアント・ザ・ドーザー「今となつちや、俺達3人はインフェルノによって解放されたんだぜえ!!だから派手に殺させてもらうぜえ!!」

ジャイアント・ザ・ドーザーが大きくジャンプしてグラウンドに着地し、逃げ回る生徒達シャベルドーザーで一気に蹴散らした。

男子生徒1「うわあああああー!!」

女子生徒1「きゃあああああー!!」

ジャイアント・ザ・ドーザーのシャベルドーザーで蹴散らされた生徒達が殺された。

一同「!!」

ジャイアント・ザ・ドーザーが生徒達を殺害する姿を目の当たりにするアイカ達。

ジャイアント・ザ・ドーザー「ははははは、人を殺すのは最高だぜえ!!」

生徒達を思いつきり殴り込み、無惨に人を殺すのを楽しむジャイアント・ザ・ドーザー。

アイカ「やめろおおおおー!!」

ジャイアント・ザ・ドーザーの生徒の殺害について怒りを爆発したアイカ達は、彼の虐殺を止めにかかろうとした。

ジャイアント・ザ・ドーザー「俺とやり合うのか!!」

咲耶歌「こんな人殺しが許されてたまるものか!!」

はるな「私達の学校をめっちゃめっちゃにしないで!!」

海「人を殺すような者は絶対許さない!!」

文「人の命はおもちゃじゃない!!」

麗奈「外道は容赦しない!!」

ジャイアント・ザ・ドーザーの虐殺に怒りを表したアイカ達6人はプリキュアに変身とすが、

トットム「人前で変身したらダメだ!!」

ペル「皆さん、今いる目の前での変身は危険です!!」

アーニヤ「プリキュアだと知られてしまったらまずいでありますわ!!」

今いる人の目の前でプリキュアだとバレたらまずいと止めるトットム、ペル、アーニヤ。

ジャイアント・ザ・ドージャー「どうした、変身しないのか?!」

はるか「みんな!!」

生き残った生徒達をすぐに他の教師達と一緒に避難させるはるか。その時、ジャイアント・ザ・ドージャーがはるかに目を付け、彼女を掴んだ。

はるか「きゃああああー!!」

アイカ、はるな「はるか先生!!」

ジャイアント・ザ・ドージャー「こいつを人質にしてやる!!」

咲耶歌「返して!!」

海「人質なんて卑怯よ!!」

ジャイアント・ザ・ドージャー「お前達が戦う気がないならこの女は人質だ。返して欲

しければ廃墟と化した夢ヶ浜のノーブル学園まで来い!!」

はるかを人質にしたジャイアント・ザ・ドーザーはアイカ達に廃墟と化した夢ヶ浜のノーブル学園まで来いと言い、フラーゲンとクラツシュトロイ、ゲキドラゴ、ウラガノス、ドロドロロン、怪物形態のバスドラ、アカオーニ、オレスキーとともに立ち去った。

アイカ「はるか先生……。」

はるな「はるか先生が連れさらわれちゃった……。」

麗奈「場所は廃墟化した夢ヶ浜のノーブル学園よ。」

咲耶歌「その場所へ急いで行こう!!」

海「ええっ。」

文「はるな先生を助けて下さいと。」

はるかを助けるべく、急いで夢ヶ浜のノーブル学園へと向かうアイカ達。廃墟化した夢ヶ浜である人物が立って現れた。

夢ヶ浜

みなみ、きらら「……」。
次回 29 話へ続く

設定7

インフェルノ

菱川六花（29）／ハデユスダイヤモンド

かつてキュアダイヤモンドとして戦った人物。ジャステイスウオーで人生、将来を共に失い、さらに子供も生まれてしまい、悲惨な毎日の日々を送り、現在はラケルと息子の青太と暮らしているが、実質母子家庭であり、パートとして働いており、なかなか上手くいかず、職場からいじめやパワハラに遭わされており、毎日地獄の日々を送る。上手くいかずに感情的になって息子の青太に虐待してしまう。そんな中、彼女の前にハデユスが現れて全てに復讐するためにハデユスの邪悪な力を手にし、ハデユスの邪悪な力が宿った悪の戦士ハデユスダイヤモンドとなる。邪悪な力にした彼女は冷酷、冷血の性格となり、かつての仲間であるマナ達やジャステイスウオーで世界会議に着いた者達を敵視する。戦いに敗れた者を死罪する。インフェルノの大幹部。

ハデユスダイヤモンド

ハデユスによって与えられた力によって悪になったキュアダイヤモンド。憎しみと冷酷の性格で、自分の人生を壊した者への復讐をし、全てを破壊する。能力はハデユス

の力によって増した事で、闇の力に染まり、髪型が縦ロールのツインテール、衣装はビキニアーマーを纏い、おへそが見えてるのが特徴で、背中に堕天使の翼を生やし、翼の色が血の色で染まり、飛行も可能とし、両腕にハデウスガントレットを装着してダイヤモンド刃がある。また左腕のガントレットにはプリキュライドジュエルを2つも装着可能とし、2つのプリキュアの力を組み合わせた変身体も可能とする。武器はハデウスガンブレード。

必殺技

プリキュア・ハデウスダイヤモンドフローズン

ハデウスダイヤモンドの必殺技。掌を挙げて、強烈な吹雪で敵全体に攻撃する。

プリキュア・ハデウスダイヤモンドアイスレイン

ハデウスダイヤモンドの必殺技。掌を挙げて、氷結の雨を敵全体に降り注いで攻撃する。

プリキュア・ハデウスダイヤモンドフリーズエッジ

ハデウスダイヤモンドの必殺技。ハデウスダイヤモンドガンブレードの刃に氷結を纏いながら敵に斬撃する。

プリキュア・ハデウスダイヤモンドギロチンレッグ

ハデウスダイヤモンドの必殺技。相手を持ち上げて空中ジャンプしたまま相手の首

を膝の下にくっ付けて、地上に喰らわせる。

ボルトプラズマー

CV：小山剛志

インフェルノの幹部で、種族はサイボーグ超人で、筋肉質な体型でありながら、両肩にコイルがあり、髪型がドレッドヘアしているのが特徴。電気攻撃を得意とし、ソールを上回る電気の威力を持ち、残酷な攻撃を得意とする。体内にはハデユスの邪悪な力で形成した電力を無限に蓄積する。過去は貧弱な体型で、周りからいじめられたが、彼の前にハデユスが現れて、邪悪な力を授かって、今の姿となった。

キン肉マン二世のボルトマンを元に

必殺技

ツインボルトシヨック

ボルトプラズマーの必殺技。敵に近付いて、両肩のボルトコイルから電力を放電して浴びせる。その威力は1億ボルトである。

ボルトサンダークラッシュ

ボルトプラズマーの必殺技。体内にあるハデユスの邪悪な力で形成した電力で全身から強力な雷を放ち、敵全体に放電する。その威力は10億ボルトである。

ボルトデスパニッシュ

ボルトプラズマーの必殺技。胴体を電子レンジに変えて、相手を中に閉じ込めて、ハデユスの邪悪な力で形成した電力によるマイクロ波で100億ボルトで相手に喰らわせ、肉や骨も残さず溶かす。

レオンダー

CV：後藤光祐

インフェルノの幹部で、ライオンの姿をした超人。巨体の故に大柄かつ屈強な肉体、強力な爪を持ち、パワーファイターである。スピーディニングとはタッグで組む事で、さらなる力を発揮し、合体技を使う。彼は出自は暴漢の父に誘拐された母との間で生まれ、6歳の時に母が去り、周りから迫害され、彼は自分と同じスピーディニングと出会い、親友として交わしてきたが、2人の前ハデユスが現れ、邪悪な力を授かり、自分を迫害した者達を殺害する。

キン肉マン二世のサンダーを元に

必殺技

スピアクロー

レオンダーの必殺技。右手の爪で真っ向から伸ばしながら槍のように相手に刺突する。

レオンボンバースラッシュ

レオンダーの必殺技。両手の爪で接触した複数の敵に攻撃し、そしたら爆発させる。
レオンタイフーン

レオンダーの必殺技。顔の鬣から竜巻を起こして、敵全体に飲み込ませて蹴散らす。
レオンブレイクツープレックス

レオンダーの必殺技。狙った相手に爪で斬撃し、次に身体を掴んで持ち上げて、思いつきり地面に投げる。

スピーディニング

CV：高橋伸也

インフェルノの幹部で、種族は超人。レオンダーより小柄だが、動きとスピードが非常に優れており、両腕に刃が生えている事で、残虐な戦いを得意とする。レオンダーとはタッグで組む事で、さらなる力を発揮し、合体技を使う。彼は生まれた時から親に捨てられ、自分は日々孤独で生きてきたが、そこでレオンダーと出会い、親友として交わってきたが、2人の前ハデウスが現れ、邪悪な力を授かる。

キン肉マン二世のライトニングを元に

必殺技

ライトニングスピードシックル

スピーディニングの必殺技。複数の敵に向かって両腕に生えている刃で閃光のよう

に素早く突撃する。

フオーエツジスラツシユ

スピーディニングの必殺技。両腕両脚から刃を生やして発光し、敵に4方向から斬撃する。

デストロイニードル

スピーディニングの必殺技。両脚を合わせて巨大な針へ変えて、敵に向かって刺突する。

合体必殺技

デスニードル・ブランディック

レオンダーとスピーディニングの合体必殺技。レオンダーが相手を2人を逆さまに捕らえて、スピーディニングが両脚を針に変えて、2人同時に刺突する。

パイルニードルブレイカー

レオンダーとスピーディニングの合体必殺技。スピーディニングが両脚を巨大な針に変えて、レオンダーが伸ばしながらスピーディニングの肩を掴んで共に回転して、敵全体に突撃する。

デストロイベル

レオンダーとスピーディニングの合体必殺技。スピーディニングが吊し鐘に変えて、

レオンダーが強く叩いて鳴らし、強烈な波を起こして、敵全体に響かせて、敵の過去のトラウマを呼び起こして行動不能にする。

キラーヒッツ

CV：逢坂良太

種族はヒューマンで、サイボーグ。ジャイアント・ザ・ドーザー、ハンニヤードと共にかつて3人で結成したデスバイオレンスで、各パラレルワールドで暴虐、殺戮を行ったが、WJGの手で次元刑務所に収監された。インフェルノの手によって脱獄をし、次元刑務所にいる囚人達を配下にした。彼は頭の上にシルクハット帽を被り、右腕に装備しているカタールランチャーは右手に持ったまま右腕に内蔵にしたワイヤーで伸ばして発射し、相手を刺突する。大量のナイフを敵全体に投げたりする口になっている葉巻を投げて爆発させたりする。彼は少年期にプリキュアとの戦いに何度も敗れた父親に虐待され、耐え切れず逃走し、裏社会を転々とし、サイボーグとなる。

キン肉マン二世のボーン・ワールドを元に

必殺技

シューティングキラースョット

キラーヒッツの必殺技。右手に持っているカタールランチャーを発光しながら右腕からワイヤーを発射して敵に刺突する。

シューティングキラースラッシュ

キラートリツツの必殺技。右手に持っているカタールランチャーを発光しながら敵に斬撃する。

クラッチキラースパイラルドリル

キラートリツツの必殺技。身体を回転しながら敵に向かって突撃する。

ハンニャード

CV：蒼井翔太

種族は超人で、キラートリツツ、ジャイアント・ザ・ドクターと共にかつて3人で結成したデスバイオレンスで、各パラレルワールドで暴虐、殺戮を行ったが、WJGの手で次元刑務所に収監された。インフェルノの手によって脱獄をし、次元刑務所にいる囚人を配下にした。彼は顔に般若のお面を被り、両腕を憎腕刀に変化し、相手を斬殺する。斬れ味は鋭く、あらゆるものを斬る。彼はパラレルワールドのコーガワールド出身で、幼年期に多数の隕石の墜落の影響で顔を火傷を負い、周りから迫害され、自分を迫害した者達への復讐として殺害した。ハデウスから憎しみの力を与えられて、より強大となった。

キン肉マン二世のハンゾウを元に

必殺技

斬翔殺

ハンニヤードの必殺技。両腕を憎腕刀に変えて、相手に斬撃する。

斬虐烈

ハンニヤードの必殺技。両腕を憎腕刀に変えて、剣風を無数に放ち、敵全体に喰らわ

せる。

虐吐炎

ハンニヤードの必殺技。口から火炎を吐き、敵全体に喰らわせる。ハンニヤードの火

炎は邪悪で形成しており、能力をダウンする効果を持つ。

虐砕割り

ハンニヤードの必殺技。相手を持ち上げて高くジャンプし、空中から急降下で相手の

頭に地面に強くぶつける。

ジャイアント・ザ・ドーザー

CV：小野友樹

種族は超人。キラーヒッツ、ハンニヤードと共にかつて3人で結成したデスバイオレンスで、各パラレルワールドで暴虐、殺戮を行ったが、WJGの手で次元刑務所に収監

された。インフェルノの手によって脱獄をし、次元刑務所にいる囚人達を配下にした。彼はバルクマツスラーと同じ巨体の故にサイズも同じであり、パワーが非常にすぐているが、全身が工事作業者とブルドーザーを合わせた姿をし、胴体のシャベルドーザーで相手を喰らわせ、暴虐のように振る舞う。彼は職場の人間関係で悩み、苦しみ、結果上司と同僚を殺害し、犯罪者となり、人を殺す事を楽しむようになった。ハデユスから憎しみの力を与えられて、より強大となった。

キン肉マン二世のフオーク・ザ・ジャイアントを元に

必殺技

ドーザーハンマー

ジャイアント・ザ・ドーザーの必殺技。胴体のシャベルドーザーで大きく上げて、敵に思いっきり降ろして打ち込む。

ドーザークラッシュヤー

ジャイアント・ザ・ドーザーの必殺技。胴体のシャベルドーザーを動かしながら敵全体に突進する。

その他

菱川青太（11）

菱川六花の息子。しっかりした性格だが、母子家庭であり、貧困生活を送っており、最

近母親が姿を現さなくなつて、一人で探している。母親の事が大好き。

第29話 ぶつかり合う戦い

ジャイアント・ザ・ドージャーに連れさらわれたはるかを救うべく、夢ヶ浜のノーブル学園へと向かったアイカ達。夢ヶ浜に到着したアイカ達は、ファイナルウオーの被害によつて廃墟と化した光景を見た。

夢ヶ浜

廃墟

アイカ「これが夢ヶ浜……。」

はるな「なんだか荒れ果ててるね。」

文「10年前の影響で廃墟と化しちゃったからね。」

咲耶歌「なんだか怖い感じだね。」

海「ここに住んでいるのは貧困層と犯罪者だけよ。」

麗奈「何が来るかわからないから気をつける事よ。」

夢ヶ浜に着いたアイカ達はノーブル学園に向かうため、廃墟と化した町を突き進ん

だ。廃墟の町を歩き回るアイカ達は、その町に住んでいる人々の姿を見た。

一同「……」。

10年前に起きたファイナルウォーの影響によつて町は壊滅し、かつて賑やかだった頃と比べ、今は絶望と地獄が漂う場所となった。

男性1「こいつは俺のものだ!!」

男性2「いやこれは俺のものだ!!」

他の町から奪つて手に入れた食料を取り合いし、明日に生きていくために必死で争い合つた。

ヤクザ1「なんじゃおどりや、わしらの縄張りを取つとんのかあ?!!」

ヤクザ2「それはおどれが出て行かんかあ、ボケ!!」

またこの廃墟となった夢ヶ浜ではヤクザも住み着き、ヤクザ同士争う毎日起きてい

た。

アイカ、はるな「!!」

まだ小学生のアイカとはるなは、この廃墟の町で暮らす人々の光景に驚愕した。

麗奈「これが今の夢ヶ浜よ。もう昔みたいに賑やかな町じゃないのよ。明日に生きていくために必死よ。」

アイカ、はるな「……。」

咲耶歌「怖いのか？」

アイカ「怖いよ……。」

はるな「あんな光景を見たら震えが出るよ……。」

海「わかるわ、私だって10年前に起きたファイナルウォーを思い出すわ。」

文「その被害で地球全体に大規模の被害が起きたの。」

麗奈「ハデユスによって、平和は壊された。」

10年前に起きたハデユスが引き起こしたファイナルウォーによって、地球全体は大

規模な被害が出て、地球各地の都市は壊滅状態に陥り、貧困やテロが生まれた。明日に生きていくためには食料の奪い合いも起きたりした。街中を歩くアイカ達はそこであ
る2人の人物と遭遇する。

アイカ「ん？」

廃墟の町で立っている2人の女性と遭遇したアイカ達。

はるな「あなた達は？」

みなみ「あなた達こそ何しに来たの？」

はるな「私達、先生を助けるためにここまで来たんです。」

きさら「先生？」

アイカ「あたし達の学校の先生です。」

みなみ「ここまで来たのね。」

はるな「はい。」

咲耶歌「あなた達は誰なんですか？」

みなみ「私は海藤みなみ。」

きらら「あたしは天ノ川きらら。」

ペル「ひよつとしてお二人はあのキュアマーマイドとキュアトウインクルでありますか？」

海「お二人がプリキュア？」

みなみ「今はプリキュアじゃないわ。」

きらら「あたし達はデイスピアとの戦いが終わって夢に向かってプリキュアをやめたのよ。」

トットム「Goplinセスプリキュアはたしか、デイスダークとの戦いが終わって解散したと聞いて。キュアフローラだけが残った。」

みなみ「はるかだけがプリキュアを続けていたなんて。」

アイカ「はるか先生を知っているんですか？」

みなみ「あなた達ははるかを知り合いなの？」

はるな「2人もはるか先生の知り合いなんですか？」

きらら「そうよ、あなた達こそはるはるとはどう言う関係？」

お互いに事情を話し、それぞれ関係を打ち明けた彼女達。

アイカ「お二人ははるか先生と知り合い何ですネ。」

みなみ「ノーブル学園で私達は知り合い、プリキュアになったのよ。」

きらら「あたし達4人はプリキュアとなって、デイスタークとの戦ったの。」

海「4人つて、もう1人は？」

きらら「もう1人はもうこの世界にはいないわ。自分の故郷へ帰って行ったから。」

みなみ「私達はバラバラになり、解散状態になったのよ。」

文「解散してからはるか先生はずっと寂しい思いをして来たの。」

みなみ「急いではるかを助けに行きましょう。」

きらら「はるはるを必ず助け出そう。」

はるか「のいるノーブル学園へと急いで向かうアイカ達。みなみときららははるかがいると知って、彼女との再会を果たすために共に向かった。」

ノーブル学園

ジャイアント・ザ・ドーザー「ここはお前の通っていた場所か。」

はるか「どうして私を捕まえたの？」

ジャイアント・ザ・ドーザー「お前を運び寄せるためなんだよ。俺は早くあいつら

と殺し合うのうずうずして楽しいんだよ。」

はるか「人を殺して楽しむなんてどうかしている。」

ジャイアント・ザ・ドーザー「何だど?!今ここで殺してやろうかあっ!!」

ハンニヤード「やめな、ジャイアント・ザ・ドーザー。」

はるかに反抗されたジャイアント・ザ・ドーザーがカッとなつて彼女を殺そうとしたら、同じデスバイオレンスのハンニヤードがやって来た。

ジャイアント・ザ・ドーザー「ハンニヤード。」

ハンニヤード「俺も一緒にプリキュアを殺そうと思つて来たんだ。」

ジャイアント・ザ・ドーザー「お前もか。」

ハンニヤード「お前はすぐになつて殺そうとするな。人質はちゃんと最後まで生かしておけよ。」

ジャイアント・ザ・ドーザー「わかったよ。」

はるか「……。」

ジャイアント・ザ・ドーザー「確かキュアフローラだったよな?」

はるか「わたしはもうプリキュアじゃないの。」

ハンニヤード「プリキュアじゃない？確かデイスタークとのプリキュアの力を返したが、何かの影響で代用してまたプリキュアになったそうだな。」

はるか「……………」

ハンニヤード「まあいい。」

フラーゲン、クラツシュトロイ「……………」

ジャイアント・ザ・ドージャー「どうした？」

フラーゲン「何でもないフガ。」

ハンニヤード「お前達2人、過去に辛い目遭っているな。」

クラツシュトロイ「何故それを知ってるんだ?!」

ジャイアント・ザ・ドージャー「俺達と同じように苦しめられ、周りから悪者扱いされ、

ずっと苦しめられて来た。」

フラーゲン「俺はこの世の中が憎い、俺、いや俺達を苦しめたこの世の中が憎い、殺してやるフガ。」

ハンニヤード「わかるぜ、俺はガキの頃、隕石の墜落で顔に酷い火傷を負い、周りから迫害された。」

クラツシュトロイ「お前ら2人も同じか？」

ジャイアント・ザ・ドージャー「あああつ、俺はこの世の中をぶち壊してやりてえんだ。」

フラーゲン「そうだな。」

ハンニヤード「そろそろ来る頃だ。」

はるかを助けにノーブル学園までやって来たアイカ達。彼女を捕らえたジャイアント・ザ・ドーザー達と対峙する。

アイカ、はるな「はるか先生!!」

はるか「アイカちゃん、はるなちゃん!!」

みなみ「はるか!!」

きらら「はるはる!!」

はるな「えっ、みなみさん、きららちゃん……。」

はるかはアイカ達と一緒にいる中でかつて共に戦ったみなみときららの姿を確認した。

はるか「本当にみなみさん、きららちゃんだよね?!」

みなみ「そうよ。」

きらら「本物よ。」

ジャイアント・ザ・ドージャー「おっと、そう簡単に合わせるかよ。」

アイカ「ジャイアント・ザ・ドージャー!!」

ジャイアント・ザ・ドージャー「俺達に勝てたらこの女を返してやるよ。」

ハンニヤード「お前達がプリキュアか。」

海「誰？」

ハンニヤード「俺の名はハンニヤード。お前達の命をもらいに来てやったぞ。」

ジャイアント・ザ・ドージャー「ハンニヤードは俺と同じデスバイオレンスの仲間さあ、

お前達を八つ裂きにしてやるぜ!!」

ハンニヤード「さあ、かかって来いやあ、プリキュアあ!!」

アイカ「みんな、変身するよ。」

ジャイアント・ザ・ドージャーと対決する為、アイカ達はプリキュアに変身し始めた。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、

咲耶歌、海、文は全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを着用し、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「フューチャーフォースプリキュア!!」

プリキュアに変身した6人は、はるかを取り戻すべくジャイアント・ザ・ドーザーらと対決する。

シンシア、マジック「はああああー!!」

シンシアとクイーンがジャイアント・ザ・ドーザーに向かって、同時にパンチを繰り出して攻撃した。

ジャイアント・ザ・ドーザー「効かん、効かんわあー!!」

2人の攻撃をビクともせず全く効いていないジャイアント・ザ・ドーザーは、2人にそのままパンチで思いつき喰らわせた。

シンシア「キュアブレードマグナム!!」

シンシアがキュアブレードマグナムを出して、銃モードでジャイアント・ザ・ドーザーに射撃した。

クイーン「キュアナギナライフル!!」

クイーンがキュアナギナライフルを出して、薙刀モードでジャイアント・ザ・ドーザーに刺突した。

ジャイアント・ザ・ドーザー「やりやがったなあ、ぶち殺してやる!!」

自分を攻撃したシンシアとクイーンに対し、ジャイアント・ザ・ドーザーが2人に向かって、胴体のドーザーシャベルでぶち当てた。

シンシア、クイーン「きゃああああー!!」

ジャイアント・ザ・ドーザーのドーザーシャベルの攻撃を受けたシンシアとクイーン。

フエッター、マジック「はああああー!!」

フエッターとマジックがフラーゲンとクラツシュトロイ、ゲキドラーゴ、ウラガノス、ドロドロ、怪物形態のバズドラ、アカオーニ、オレスキーらを相手に戦った。

ウラガノス「うおりやああああー!!」

ウラガノスが自分の自慢のパワーでフエッターに攻撃しかかった。

フエッター「再生された分際が!!」

フエッターがウラガノスの腕を掴んで持ち上げて、ゲキドラーゴと怪物形態のバズドラに向けて投げた。

フラーゲン「フエッター、覚悟しろ!!」

フラーゲンがフェッターにジャンプして、パンチで殴りにかかった。

フェッター「!!」

すぐにジャンプして回避したフェッターはプリキュライドジュエルソードを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

フェッター「プリキュライドチェンジドキドキ!!」

ソードに変身したフェッターが手刀を強いて、フラーゲンに斬り裂いた。

マジック「たあっ!!」

マジックがクラッシュトロイ、ドロドロン、アカオーニ、オレスキーを相手に戦い、マジックステッキスピア槍モードで攻撃した。

クラッシュトロイ「死ね!!」

チェーンソーを振り回してマジックに斬りかかるクラッシュトロイ。

マジック「!!」

マジックステッキスピア槍モードでクラッシュトロイのチェーンソーを受け止めるマジック。

ドロドロ「泥まみれにしてあげるよ!!」

全身から泥を放ち、マジックに向けた。

マジック「うっ!!」

マジックがドロドロの泥にかかり、その隙にクラッシュトロイが力押しでマジックを吹き飛ばした。

ストライク「プリキュア・ストライクサンシャイン!!」
ジャック「プリキュア・ジャックコインパレット!!」

ストライクとジャックが同時に必殺技を放って、ハンニヤードに当てたが、

ハンニヤード「必殺、斬翔殺!!」

ハンニヤードが両腕を憎腕刀に変えて、2人の必殺技を切り払った。

ストライク「両腕を刀に変えた?!」

ハンニヤード「まだだぜえ、俺の邪悪で形成した炎を受けなあ!! 虐吐炎!!」

ハンニヤードが口から邪悪で形成した火炎を吐き、ストライクとジャックに喰らわせた。

ストライク、ジャック「あああああー!!」

ハンニヤードの邪悪で形成した火炎を喰らったストライクとジャックは能力をダウンしてしまった。

ハンニヤード「ひゃーあー、死ねえええええー!!」

ハンニヤードが両腕の憎腕刀でストライクとジャックにまとめて斬り込んだ。

ストライク、ジャック「うわあああああー!!」

ハンニヤードの斬撃を受けたストライクとジャックは、彼の残忍性の斬り方で大きな切り傷を負い、出血した。

ストライク、ジャック「いつ、痛い……!!」

ハンニヤードの斬撃によって出血して痛み出すストライクとジャック。

シンシア「ストライク!!」

クイーン「ジャック!!」

ジャイアント・ザ・ドーザー「余所見するならこいつを受けろ、ドーザークラッシュャー!!」

シンシアとクイーンにジャイアント・ザ・ドーザーが必殺技を発動して、胴体のシャベルドーザーを動かしながら突進した。

シンシア、クイーン「わあああああー!!」

ジャイアント・ザ・ドーザーの必殺技を喰らったシンシアとクイーン。

ジャイアント・ザ・ドーザー「死ねえ、ドーザーハンマー!!」

続いてシャベルドーザーを大きく上げて、クイーンに思いつきり降ろして打ち込んだ。
だ。

クイーン「あああああー!!」

ジャイアント・ザ・ドーザーの必殺技で直撃を受けたクイーン。

シンシア「クイーン!!」

その直撃により、クイーンの頭から血が流れて来た。

ジャイアント・ザ・ドーザー「どうだ、思い知ったか?!」
はるか「あああつ。」

ハンニヤード「俺達デスバイオレンスは人を殺す事だあ!!人を殺すのは楽しいぜえ!!」

ストライク「人を殺すのが楽しい……。何でそんな酷い事が楽しめるの?!」

ジャイアント・ザ・ドーザー「俺達はなあ、弱者だったからだよ!!」

マジック「弱者?!」

ハンニヤード「俺達は元は罪のない者として生きてきた。だが周りは俺達を虐げてきた。」

ジャック「えっ?!」

ジャイアント・ザ・ドーザー「俺は元々は今の性格じゃなかった、俺は仕事場で毎日
毎日に上手くいわずに周りからバカにされ、上司から叱責を受けてきた。俺は限界が来
てカツとなつてみんなまとめて殺したぜ!!」

ハンニヤード「おれはガキの頃、隕石の墜落の衝撃で顔に火傷を負い、醜い顔になり、
俺は周りから迫害されて来た。俺は迫害した奴をこの手で殺した。」

ストライク「悲しい事があつたんだね。」

ジャイアント・ザ・ドーザー「悲しい事だあ?!お前ら今のプリキュアは敵を殺して殺
しているようだな。」

シンシア「私達はみんなを守るためにインフェルノを倒しているのよ!!」

ハンニヤード「前のプリキュア達は敵を救済とかしたな。それに比べてお前らは平気
で殺しているようだな。」

マジック「違う、あたし達は殺すなんて・・・!!」

ジャイアント・ザ・ドーザー「何、言いがかりうとしてんだ?!お前らは自分達にして
る事を認めようとしてねえな!!」

ジャック「私達は殺すなんか・・・!!」

フラージェン「素直に認めろ、偽善者!!」

クラッシュトロイ「お前達は正義と言う大義の名の下で人を殺しているのを!!」

クイーン「私達は人殺しなんか……!!」
ソードフェッター「それがどうしたの？」

敵の巧妙な手口で精神的に追い詰められ、自分達も殺していると言われて陥る中、フェッターだけはそれがどうしたと答えた。

ソードフェッター「私知ってどうするの？」

ストライク、ジャック「フェッター。」

ソードフェッター「何同情なんてしてるの?!その甘さが命取りよ!!」

マジック「でもあたし達は……。」

ジャック「可哀想な過去を背負った彼らとは戦いたくない!!」

ソードフェッター「甘い事を抜かすな!!敵は打ち倒すのみよ!!こいつらがいるから世界は被害は起きているのよ!!」

ハンニヤード「そうか、お前はただ敵を倒すだけしか考えてねえな。」

ソードフェッター「敵を倒して何がいけない?!」

ジャイアント・ザ・ドージャー「お前にプリキュアと言う名は相応しくねえな!!」

ソードフェッター「私はプリキュアだ!!」

ジャイアント・ザ・ドーザー「ならお前は倒された奴らに恨まれた事はあるか?!」
ソードフェッター「あっ!!」

ジャイアント・ザ・ドーザーの口から人に恨まれた事があるのか問われ、強気だったフェッターは突然一変した。

ハンニヤード「お前、どうやら過去に何かあったな。」

ソードフェッター「鬼丸……。」

ハンニヤード「他のプリキュア5人達よ、お前達は人から恨まれると言うのわかっていないようだな。お前達はインフェルノの怪人や幹部を悪と思っっているだろ? 何故インフェルノに入ったのか、考えた事があるのか?」

ストライク「それは……?」

シンシア「私達はただみんなを苦しめる相手だから……。」

ジャイアント・ザ・ドーザー「お前達は最初から偽善者で、ただ倒すだけだと思っっているだろ!! お前達はプリキュアと言う名のただの暴虐者だ!!」

ただインフェルノと戦い、倒す彼女を偽善者、暴虐者と言い、彼女を精神的に追い詰

めた。そんな中、プリキユア達の前に、かつて戦った人物が目の前に現れた。

ストライク「あつ、あああつ!!」

シンシア「まさか、あなたは?!」

そう、ストライク達が北米戦線で戦ったチエスメイトだった。

チエスメイト「……」

ジャイアント・ザ・ドージャー「どうやらお前達を恨みに来たようだな。」

ストライク、シンシア「チエスメイト!!」

はるか「どうしてここに?!」

トットム「ガメッツはどうしたんでい?!」

チエスメイト「……」

ハンニヤード「お前達の前に現れるとは何か言いたい事があるようだな。」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「……」

クイーン「ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック。」

ジャイアント・ザ・ドーザーとハンニヤードに精神的に苦しめられる中、チエスメイトが現れた。クイーン以外プリキュア達に何を言うのか。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック「うっ。」

トットム、ペル、アーニヤ「あああつ。」

はるか、みなみ、きらら「・・・。」

ジャイアント・ザ・ドーザー、ハンニヤード「ふふふふつ。」

チエスメイトが彼女達に言う言葉は果たして、憎しみなのか?!

チエスメイト「プリキュア、頑張れ・・・。」

一同「!!」

彼の口から出た言葉は、憎しみではなく彼女達を応援する言葉だった。

ハンニヤード「バカな?!お前は奴らを人でいたはずだ!!」

ジャイアント・ザ・ドーザー「どう言う事だ?!」

チエスメイト「私は彼女達を恨んでなどいません。私は彼女達に出会えた事に感謝を

しているのです。」

フラァーゲン「なっ、何だと?!」

クラッシュユトロイ「お前、裏切るつもりか?!」

チエスメイト「私の道は私が決める!! 私は彼女達と一緒に歩いて自分を磨いていきたくない!!」

ストライク「チエスメイト。」

チエスメイト「プリキュア、あなた達の力はそんなはずではありません。あなた達の力なら必ず勝てるはずです!!」

シンシア「チエスメイトが私達の事を応援してくれるなら私達は負けるわけにはいかない!!」

マジック、ジャック、クイーン「憎しみに囚われたあなた達を解放してみせる!!」

ソードフェッター「憎しみを断ち切ってみせる!!」

プリキュア達の反撃が開始、ジャイアント・ザ・ドージャーらを倒すべく、各ヒーローライドジュエルを出し、自分達のキュアアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

ストライク、シンシア、ソードフェッター、マジック、ジャック、クイーン「ヒーロー

ライドチェンジ!!」

ヒーローライドでストライクブレイディオフォーム、シンシアガンニークスフォーム、フェッター光陰命フォーム、マジックレディフォーム、ジャックファイツフォーム、クイーンバルクフォームへととなって挑んだ。

ジャイアント・ザ・ドーザー「結果は全部同じだあつ!!」

シンシアガンニークスとクイーンバルクフォームに向かって襲いかかるジャイアント・ザ・ザ・ドーザーがシャベルドーザーで押しかった。

クイーンバルクフォーム「もう同じでは効かないわ!!」

クイーンバルクフォームが両手でシャベルドーザーを掴みながらジャイアント・ザ・ドーザーを持ち上げて投げ飛ばした。

シンシアガンニークスフォーム「プリキュア・ガンニークスシューティングブラスト

!!

シンシアガンニークスフォームがガンニークスガン2丁から光球を連射して、ジャイアント・ザ・ドーザーに命中した。

フェッター光陰命フォーム「プリキュア光陰命霊札天滅!!」

フェッター光陰命フォームが御札を多数出現して、ゲキドラーゴ、ウラガノス、ドロロン、怪物形態のバストラ、アカオーニ、オレスキーらに貼り付けて爆散させた。

マジックレディフォーム「2人まとめて相手してあげるよ!!」

マジックレディフォームがフラージェンとクラッシュシュトロイの2人を相手に挑み、フラージェンがパンチで殴りにかかるが、片手で受け止めて、放り投げた。続いてクラッシュシュトロイがビームバズーカで射撃してきた。

マジックレディフォーム「!!」

クラッシュトロイのビーム攻撃を吸収して、自分の力に変えて、必殺技を発動した。

マジックレディフォーム「プリキュア・レディエナジーブラスト!!」

全身を発行しながらフラーゲン、クラッシュトロイに強烈な光波を放ち、撃退した。

ハンニヤード「洒落せえ!! 虐砕割り!!」

ハンニヤードがジャックファイツフォームを持ち上げて高くジャンプし、空中から急降下で地面にぶつけようとするが、

ストライクブレイドイフォーム「プリキュア・ブレイドイオスラッシュ!!」

ストライクブレイドイフォームがブレイドイオソードを発光しながらハンニヤードに斬撃し、ジャックファイツフォームを解放した。

ジャックファイツフォーム「はああああー!!」

ジャックファイツフォームがパンチでハンニヤードに殴り込んだ。

ハンニヤード「バカな、俺達を押されてるだど?!」

ジャイアント・ザ・ドーザー「こんな事が?!」

ストライクブレイディオフォーム「今終わらせる!!」

決着を着けるべく必殺技を発動させるストライクブレイディオフォーム達。

ストライクブレイディオフォーム「プリキュア・ブレイディオツインクロスクラッシュ!!」

シンシアガンニークスフォーム「プリキュア・ガンニークスツインバスターショット!!」

クイーンバルクフォーム「プリキュア・バルクブレイカーバスター!!」

ストライクブレイディオフォームがキュアブレードマグナム剣モード、ブレイディオソードを両手に持ちながら光状を纏いながらハンニヤードに向かって十文字斬りをした。シンシアガンニークスフォームがキュアブレードマグナム銃モード、左右合体した2丁

のガンニークスを両手に持ちながら強力な光線を放ち、クイーンバルクフォームがクイーンブレイカーを構えて、武器をチャージしてトリガーを引いて、バルクマツスラーのエネルギー状の光線を放ち、ジャイアント・ザ・ドーザーに喰らわせた。

ハンニヤード、ジャイアント・ザ・ドーザー「ぐわあああああー!!」

プリキュアの強い力によって倒されたハンニヤードとジャイアント・ザ・ドーザー。

フラージェン「退散だフガー!!」

2人が負けた事でフラージェンとクラッシュトロイはすぐに撤退した。

ハンニヤード、ジャイアント・ザ・ドーザー「……。」

戦いに敗れたハンニヤードとジャイアント・ザ・ドーザーは、

ハンニヤード「さあ、殺せ。」

ジャイアント・ザ・ドーザー「敗者の俺達を殺れ……」

フェッター光陰命「良いわ、望み通り殺してあげる。」

ストライクブレイディオフォーム「待って、フェッター。」

シンシアガンニークスフォーム「2人を助けたいの。」

クイーンバルクフォーム「だからお願い。」

フェッター光陰命フォーム「好きにしなさい。」

3人は戦いに敗れたハンニヤードとジャイアント・ザ・ドーザーの近くに寄り、手を差し出した。

ハンニヤード「どう言うつもりだ?！」

ジャイアント・ザ・ドーザー「殺人者の俺達に?！」

ストライクブレイディオフォーム「辛かったんだよね。」

シンシアガンニークス「周りから酷い事されたんだよね。」

クイーン「私達はあなた達を受け入れるわ。」

ハンニヤード「受け入れるだと、こんな殺人鬼の俺達を何故救いの手を差し伸べるん

だ……!!」

ジャイアント・ザ・ドーザー「人を殺して来た俺達何故受け入れるんだ……!!」
ストライクブレイドイデオフォーム「人はどんなに過ちをして償って解り合う事だつて出来るよ……。」

ハンニヤード、ジャイアント・ザ・ドーザー「うっ、うっ、うおおおお!!」

過去の出来事で殺人者となった2人は、自分達を受け入れた彼女達に涙して泣き出した。彼女達の差し出した手の温かさと優しさが2人を救った。

はるか「みなみさん、きららちゃん!!」

そしてかつての仲間とついに再会を果たしたはるかも何十年ぶりに対面し、共に涙を流した。

チエスメイト「ふっ。」

チエスメイトはプリキュア達の戦いを最後まで見届けた。戦いは終わったが、その時、遠くから刃物のようなのが放たれて、ハンニヤードの胴体を貫き、絶命した。

ハンニヤード「があっ!!」

一同「!!」

キラーヒッツ「見損なつたぞ、ハンニヤード、ジャイアント・ザ・ドージャー。プリキュアに情けをかけるなんて失格だ。」

ジャイアント・ザ・ドージャー「キラーヒッツ!!」

自分とハンニヤードと同じデスバイオレスのキラーヒッツが姿を現し、さらに他の4人の人物が現れた。

はるか、みなみ、きらら「!!」

はるか、みなみ、きらら、トットム、ペル、アーニヤはその4人の中である人物の姿に驚いた。

はるか「嘘でしょ・・・?!」

ストライクブレイディオフォーム「どうしたんですか?!」

トットム「まさか、あのプリキュアは?!」

ペル「そんなまさか、かつてキュアハート達と戦ったあのプリキュアが……!!」
アーニヤ「キュアダイヤモンド……!!」

ハデユスダイヤモンド「久しぶりだったわね。」

次回 30話へ続く

第30話 堕ちたプリキュア

プリキュア達の前に現れた新たな敵5人。その中ではるか、かつて共に戦った六花の姿に目の当たりにした。

ノーブル学園

はるか「まさか六花さんですね？」

ハデユスダイヤモンド「そうよ、はるか。久しぶりのようね。それに他の2人も来ていたなんて偶然ね。」

みなみ「どうしてあなたがここに?!」

きらら「あたし達一緒に戦った仲間が何で?!」

ハデユスダイヤモンド「仲間？笑わせないで、私はその仲間によつて人生と将来を壊されたのよ。」

みなみ、きらら「えっ?!」

はるか「ジャステイスウオーの事件ですね。」

ハデユスダイヤモンド「私はジャステイスウオーで全てを失い、地獄の日々を過ごし、

悲痛を味わって来た。そんな中、私はハデユス様に救われて、ハデユス様の邪悪な力を授かったのよ。」

みなみ「はるか、彼女の人生を失ってどう言う意味？」

きらら「何がどうなっているのか、わからないわ。」

はるか「……。」

ハデユスダイヤモンド「さて、プリキュアに情けをかけた一人をどう殺していいかわからないわ。」

ストライクブレイディオフォーム「そんな事させない。」

ハデユスダイヤモンド「？」

シンシアガンニークスフォーム「やっと改心し始めた彼を殺す事はさせない!!」

ハデユスダイヤモンド「改心だと？笑わせないで貰えないかしら？そんなのは役に立たないわ。」

マジックレディフォーム「あなただって同じプリキュアとして解り合う、救済をして来たはずですよ!!」

ハデユスダイヤモンド「そんなの私には無意味だったわ。何が解り合う、救済よ。私の人生と将来は二度と修復出来ないほど失ったのよ。お前達にも私と同じようにしてやる、ボルトプラズマー、レオンダー、スピーディニング、キラーヒッツ!!」

彼女の声で駆けつけにきたキラーヒッツと他の3名の機械的な姿であるサイボーグ超人のボルトプラズマー、ライオンの姿をした超人のレオンダー、超人のスピーディングだ。

キラーヒッツ「さてどいつから殺せばいい？」

ボルトプラズマー「処刑執行とするか。」

レオンダー「行くぜ、相棒。」

スピーディング「あああつ、兄弟!!」

ハデユスダイヤモンドと共に4人の超人がストライクブレイディオフォーム達に襲いかかって来た。

ハデユスダイヤモンド「やあつ!!」

ストライクブレイディオフォームとシンシアガンニークスフォームに両腕のハデユスガンレットのダイヤモンド刃で斬りつけるが、ストライクブレイディオフォームが

ブレイディオソードで受け止めて、防いだ。

ストライクブレイディオフォーム「同じプリキュアなのに何でインフェルノに着いたの?!」

ハデユスダイヤモンド「私の人生を壊した奴らへの復讐だ。私は同じプリキュアに裏切られて、私は全てを失い、何もかも失った。」

シンシアガンニークスフォーム「同じプリキュアに裏切られたってどう言う事?!」

ハデユスダイヤモンド「子供のお前達には分かるまい!!プリキュア・ハデユスダイヤモンドフローズン!!」

ハデユスダイヤモンドが掌を挙げて、強烈な吹雪でストライクブレイディオフォームとシンシアガンニークスに攻撃した。

ストライクブレイディオフォーム、シンシアガンニークスフォーム「あああつ!!」

ハデユスダイヤモンドの放った吹雪を喰らった2人は、反撃に出て、武器攻撃をした。

ハデユスダイヤモンド「うっ!!」

2人の攻撃を受けたハデユスダイヤモンドは、ハデユスガンブレードを出し、2人に射撃した。

ボルトプラズマー「死ねえっ!!」

ボルトプラズマーがジャイアント・ザ・ドーザーに向かって攻撃をしにかかった。

フェッター光陰命フォーム「あんたの相手は私よ!!」

フェッター光陰命フォームが入り込んで、ボルトプラズマーにキックでお見舞いした。

ボルトプラズマー「まず最初に貴様から相手をしてやる!!」

ボルトプラズマーがフェッター光陰命フォームに向かって襲いかかってきた。

フェッター光陰命フォーム「喰らえ、プリキュア光陰命蟬芯壮破!!」

フェッター光陰命フォームが自身の同サイズの人型式神を4体呼び出して共に五芒星の陣を形成するが、

ボルトプラズマー「そうはさせせん!!ボルトサンダークラッシュ!!」

必殺技を発動する最中にボルトプラズマーが体内にあるハデユスの邪悪な力で形成した電力で全身から強力な雷を放ち、フェッター光陰命フォームに喰らわせた。

フェッター光陰命フォーム「あああああー!!」

ボルトプラズマーの放った雷は10億ボルトで、その高い電力を受けたフェッター光陰命フォームは、元の基本形態へと戻ってしまった。

フェッター「くっ!!」

基本形態に戻ったフェッターがキュアカタナテツポウ鉄砲モードで射撃するが、

ボルトプラズマー「はあああああー!!喰らえ、ツインボルトシヨック!!」

ボルトプラズマーがフェッターに向かって、両肩のボルトコイルから電力を放電して浴びせー億ボルトを浴びせた。

フェッター「うわあああああー!!」

ボルトプラズマーの電気攻撃を受けるフェッター。

クイーンバルクフォーム「どうして仲間を殺したの!!」

キラーヒッツ「お前達に情けをかけたからだ。」

クイーンバルクフォーム「人と解り合って何でいけないの!!」

キラーヒッツ「そんな下らないもの俺が貫いてやる!!シューティングキラーシヨット

!!」

右手に持っているカタールランチャーを発光しながらサイボーグ化した身体により、右腕からワイヤーを発射してクイーンバルクフォームに攻撃した。

クイーンバルクフォーム「あああっ!!」

キラーヒッツの放った右腕のカタールランチャーの攻撃を受けたクイーンバルクフォーム。

クイーンバルクフォーム「えいつ!!」

キラーヒッツに向かって、バルクナックルでパンチで殴りこんだが、

キラーヒッツ「効いてたまるかよ。」

クイーンバルクフォームのパンチをカタールランチャーで受け止め、そのままキックで打ち込んだ。

キラーヒッツ「シューティングキラースラッシュユ!!」

キラーヒッツが右手に持っているカタールランチャーを発光しながらクイーンバルクフォームに斬撃した。

マジックレディフォーム、ジャックファイツフォーム「くっ!!」

レオンダーとスピーディニングのコンビを相手に戦うマジックレディフォームとジャックファイツフォーム。2人の連携プレーで圧倒されていた。

レオンダー「おりやあっ!!」

スピーディニング「相棒、決めるぜ!!」

レオンダーとスピーディニングがマジックレディフォームとジャックファイツフォームの2人の間を挟んで同時にキックで打ち込み、さらにレオンダーが爪で2人まとめて引っ掻き、スピーディニングが両腕に生えている刃で、2人をまとめてX文字斬

りした。

マジックレディフォーム「プリキュア・レディストロングパンチ!!」

レオンダーに向かって、右手を発光しながら敵に強く殴りかかるが、

レオンダー「ガキの分際が舐めてかかるな!!スピアクロー!!」

レオンダーがマジックレディフォームに右手の爪で真っ向から伸ばしながら槍のよ
うに刺突した。

マジックレディフォーム「あああああー!!」

レオンダーの必殺技を受けたマジックレディフォームは、その刺突を受けてしまい、
元の基本形態に戻った。

ジャックファイフォーム「うっ!!」

スピーディングの両腕の刃から繰り出す斬撃をジャスティスシールドで防御していくジャックファイツフォーム。

スピーディング「防御だけするならお前の弱点はお見通しだ!! ライトニングスピードシックル!!」

ジャックファイツフォームに向かって両腕に生えている刃で閃光のように素早く突撃した。

ジャックファイツフォーム「あああっ!!」

スピーディングの必殺技を受けたジャックファイツフォームは、彼の切りつけた刃により彼女の右腕から酷い出血をした。

ジャックファイツフォーム「わああああああー!!」

スピーディニングにより、右腕を切りつけられて出血したジャックファイツフォームは、右腕を負傷し、動けない状態になった。戦いは非常に劣勢を強いられるプリキュア達。

ハデユスダイヤモンド「これが今のプリキュアか。こんなものなのか!!」

ストライク「つ、強い……。」

シンシア「これが先代プリキュアの実力なの……。」

ハデユスダイヤモンド「お前達今のプリキュアがこんなに弱いとは軟弱だな。」

マジック「あたし達が軟弱……。」

ジャック「私達はこれまでどんな強敵にも勝ってきたわ!!」

ハデユスダイヤモンド「お前達は先代のプリキュアとジャスティスヒーローの力を借りて戦っているだけだ!! 実力をまともに戦えてないお前達が強いとは無用だ!! それに力をうまく使いこなせていないようだな。」

クイーン「私たちは……!!」

フェッター「……。」

ハデユスダイヤモンド「ならば私が力と言うのを見せてやろう!!」

ハデウスダイヤモンドの左腕のガントレットに2つの穴があり、彼女はあゝ2つのプリキュライドジュエルを出して、左腕のガントレットに装着した。

ハデウスダイヤモンド「ハデウスライドフュージョン!!」

2つプリキュライドを起動し、2つの力をフュージョンしたハデウスダイヤモンドは、2つのプリキュアを組み合わせた姿へと変わった。

一同「!!」

はるか、みなみ、きらら「嘘、あれって?!」

トットム「まつ、まさかあの姿は・・・!!」

ペル「キュアミューズとキュアフォーチュン!!」

アーニヤ「どうしておふたりの力が・・・!!」

ハデウスダイヤモンドミューズフォーチュンフォーム「この2人の力はインフェルノが密かに手に入れて見つけたのよ。その私が今2人の力をフュージョンして使うのよ。」

ペル「インフェルノがまさかプリキュアの力を2つ手に入れていたなんて・・・。」

ハデユスダイヤモンドミューズフォーチュンフォーム「見せてあげるわ、2人のプリキュアを組み合わせ力を!!」

ミューズとフォーチュンの力をフュージョンした姿となった彼女は、ストライク達に襲いかかった。

ハデユスダイヤモンドミューズフォーチュンフォーム「フォーチュンバースト!!」

ハデユスダイヤモンドミューズフォーチュンフォームが掌から星形のエネルギー弾を一斉に放ち、ストライク達に攻撃した。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「うわあああああー!!」

ハデユスダイヤモンドミューズフォーチュンフォームの放った星型エネルギー弾を受けたストライク達。

ハデユスダイヤモンドミューズフォーチュンフォーム「プリキュア・スパークリング・シヤワー!!」

掌から漆黒の泡を無数に放ち、ストライク達に攻撃した。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「ぐわあああああー!!」

2人のプリキュアを取り組んだハデユスダイヤモンドミューズフォーチュンフォームの力に圧倒されたストライク達。

ストライク「何て強さなの……!!」

シンシア「2人のプリキュアの力を使うなんて……。」

マジック「強いよ……。」

ハデユスダイヤモンドミューズフォーチュンフォーム「さて、これを受けてみなさい。プリキュア・スターダストシユート!!」

ハデユスダイヤモンドミュージーフオーチუნフォームが衝撃波を拳に込めて掌底を叩きつけ、ストライク達6人まとめて吹き飛ばした。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「うわあああああー!!」

ハデユスダイヤモンドミュージーフオーチუნフォームによって吹き飛ばされたストライク達。その影響で彼女達の持っていたプリキュライドジュエルを全て落としてしまった。

ハデユスダイヤモンドミュージーフオーチუნフォーム「これは他のプリキュアの力ね。全部頂くわ。」

ストライク「それを返して!!」

シンシア「それは私達に託したプリキュアの先輩方の力を返して!!」

マジック「あたし達の事を信じて託してくれた先輩方の想いを取らないで!!」

ジャック「先輩方の力を取らないで!!」

ハデユスダイヤモンドミュージーフオーチუნフォーム「返せだど?笑わせるな、お前

達に先代のプリキュアの力を持つ資格などない。レオンダー、スピーディニング、こいつらを動けなくさせろ!!」

レオンダー「任せな。」

スピーディニング「あれを使うぞ。」

レオンダーとスピーディニングが一緒になってある行動に出て、プリキュア達に向けて何かし始めた。

レオンダー、スピーディニング「デストロイベル!!」

スピーディニングが吊し鐘に姿を変え、そしたらレオンダーが強く叩いて鳴らし、強烈な波を起こして、ストライク達に響かせた。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「あああああああー!!」

レオンダーとスピーディニングの合体必殺技により、強烈な波を響かされたストラ

イク達は、突如、過去のトラウマの記憶が蘇り、苦しみ出した。

ストライク、シンシア「まつ、ママああああー!!」

インフェルノの襲撃で母親であるラブとせつながドラグードとの戦いに敗れて連れさらわれていく記憶に苦しむストライクとシンシア。

マジック「お母さん、お母さん、お母さん!!」

ジャック「お兄様!!」

クイーン「お父さん、お母さん!!」

10年前に起きたファイナルウォーで大切な家族を失った記憶に苦しむマジック、ジャック、クイーン。レオンダーとスピーディニングの合体必殺技の影響はプリキュアだけではなかった。

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「わあああああー、やめてくれー、俺が全部悪かった!!武器なんか作って売った俺が悪かった!!」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「もうやめてくれ、私が悪かった!!戦争で人をた

くさん殺して来た事はすまなかつた!!」

ソール（ヒーローライドジュエル）「ロキユゲ、兄として何も救えなかつた、情けない兄を許してくれ!!」

ヒーローライドジュエルにいたジャステイスヒーロー達もレオンダーとスピーデーニングの合体必殺技の影響を受けて、過去の記憶に苦しめられていた。

フエッター「うっ、くっ!!」

ただ一人、フエッター一人だけがその影響を受けていなかった。

ボルトプラズマー「さて、トドメと行こうか!!」

レオンダー「さてどいつから始末するか?」

スピーデーニング「そうだな。」

キラーヒッツ「殺しを始めるぞ。」

ボルトプラズマー、レオンダー、スピーデーニング、キラーヒッツらがストライク達

に向かって殺しにかかろうとする。

ジャイアント・ザ・ドーザー「待て!!」

その時、ボルトプラズマらの前にジャイアント・ザ・ドーザーが立ち塞がった。

フェッター「ジャイアント・ザ・ドーザー!!」

ジャイアント・ザ・ドーザー「お前達を死なせねえ。俺を受け入れたお前達を死なせねえ。」

キラーヒッツ「俺達を裏切った事を後悔しろ。」

ボルトプラズマ「わざわざ死にに来たか。」

レオンダー「死にに来たのか。」

スピーディング「ならばお前から先に殺してやる!!」

プリキュア達を庇うジャイアント・ザ・ドーザーから先に殺しにかかり、レオンダーとスピーディングが一緒にかかって、彼に襲いかかる。

レオンダー、スピーディニング「デスニードル・ブランディック!!」

レオンダーがジャイアント・ザ・ドーザーをを逆さまに捕らえて、スピーディニングが両脚を針に変えて、刺突した。

ジャイアント・ザ・ドーザー「ぐわあああああー!!」

レオンダーとスピーディニングの合体を受けたジャイアント・ザ・ドーザー。続いてボルトプラズマーが胴体を電子レンジに変え、ジャイアント・ザ・ドーザーを中に閉じ込めた。

ジャイアント・ザ・ドーザー「ボルトデスパニッシュ!!」

ハデユスの邪悪な力で形成した電力によるマイクロ波で100億ボルトで中に閉じ込めたジャイアント・ザ・ドーザーに喰らわせた。

ジャイアント・ザ・ドーザー「うおおおおおおおー!!」

ボルトプラスマールのマイクロ波の100億ボルトの電気地獄を浴びるジャイアント・ザ・ドーザーは肉体が溶け、骨も溶けて、跡形もなく消滅し、絶命した。

ハデウスダイヤモンドミュージズフォーチュンフォーム「なんて無様かしら。プリキュアに情けをかけて、最期は遺体も跡形もなく消えるなんて。」

フェッター「仲間を嘲笑うの・・・。」

ハデウスダイヤモンドミュージズフォーチュンフォーム「使えない奴は死のみよ。」

仲間の死を嘲笑う彼女にかつて正義のために戦った頃の面影はなく、まるで別人のように変わり果てていた。

青太「ママー!!」

そんな中、戦闘中に彼女達の前に青太が現れた。

ハデウスダイヤモンドミュージズフォーチュンフォーム「青太・・・。」

目の前に現れた彼に表情を変えたハデユスダイヤモンドミュージーズフォーチュン
フォーム。果たして・・・。

次回 31話へ続く

第31話 3人の過去

ハデユスダイヤモンドにプリキュライドジュエルを全て奪われてしまい、レオンダーとスピーディニングの合体必殺技により、フェッター以外のプリキュア達が過去のトラウマで苦しみ、和解したジャイアント・ザ・ドーザーが死亡し、追い詰められた。そんな中、以前出会った青太が現れて、ハデユスダイヤモンドは戦いを止めた。

人間界

ノーブル学園

青太「ねえ、ママだよね!!」

ストライク「ママ・・・?」

シンシア「どういう事?」

ハデユスダイヤモンドミュージーズフォーチュンフォーム「・・・」

青太「ママ!!」

突如、ハデユスダイヤモンドミュージーズフォーチュンフォームの事を母と叫ぶ青太。

レオンダー「うっ、あつ・・・!!」

二人の姿を見たレオンダーに突如異変が起きた。

レオンダー「うっ、わあああああー!!」

突如苦しみ出したレオンダーは、何かを思い出して叫び出した。

スピーディニング「おい、兄弟!!」

レオンダー「ママ、ママああああー!!」

青太を見て、母を叫ぶレオンダーは過去の出来事を思い出して、苦しんだ。

キラーヒッツ「ちい、これじゃ戦えねえな。」

ボルトプラズマー「どうするんだ？」

スピーディニング「連れて行くぞ!!」

後一步でプリキュアを追い詰めたものの、青太と言う少年が現れて、突如戦いをやめてしまったハデユスダイヤモンドミューズフォーチュンフォームとレオンダーを連れて引き上げるボルトプラズマー、スピーディニング、キラーヒッツ。

青太「待つて、ママを連れて行かないでよ!!」

ハデユスダイヤモンドミューズフォーチュンフォームを連れて去るボルトプラズマーに母を連れて行かないで叫ぶ青太。

ストライク「青太君……。」

シンシア「キュアダイヤモンドは青太君のお母さんだったんだ……。」

青太はハデユスダイヤモンドの息子と知ったストライク達は元の姿に戻って、彼の元へ向かった。

アイカ「青太君!!」

青太「君達は？」

咲耶歌「青太君はどうしてここに来たの？」

青太「……」。

海「もしかして母親を探しに……」。

青太「そうだよ、ママをずっと探してきたんだよ。ママに会いたかった。」

一同「……」。

はるな「わかるよ、私とアイカだって同じだよ。」

アイカ「2人のママがいなくなって寂しい想いもしたんだよ。」

クイーン「1人で辛かったんだね。」

青太「うん……」。

麗奈「キュアダイヤモンドに息子ね。ジャスティスウオーの事件で彼女はすべてを

失った。」

みなみ「彼女に何があつたのか教えてくれないかしら？」

ジャスティスウオーに参加しなかったみなみときららに六花にあつた出来事を全てを話した麗奈とはるか。

みなみ「えっ、そんな!!」

きらら「彼女にそんな事があつたの?!」

はるか「六花さんはあの以来、人生を失い、みんなと決別をしたんです。」

みなみ「私達のいないあいだこんな事があつたなんて……。」

きらら「悲しくてたまらないね。あんな酷い目に合わされて、将来も全て失うなんて悲しいよ。」

はるか「六花さんだけじゃありません。他の人だつて将来を失つたんです。」

みなみ「私達がちゃんといればこんな悲しい事なんて起きずに済んだわ。」

きらら「彼女があんなに変わり果てた姿、悲しいかつたよ。」

はるか「そうだね。」

みなみ「私達の学校が廃墟になるなんてさらに悲しいわ。」

きらら「夢ヶ浜があんなに悲しい姿になるなんて。」

はるか「凄く悲しい気分だよ。」

アイカ「はるか先生の大事な場所だつたんだね。」

はるな「夢ヶ浜やノーブル学園ははるか先生にとつての思い出なんですわ。」

はるか「私の一番の思い出。」

ジャステイスウォーでノーブル学園が襲撃され、さらにファイナルウォーでハデユスの攻撃で夢ヶ浜は廃墟と化し、大切な思い出の場所が破壊された姿に心を痛むはるか、みなみ、きらら。

はるか「トワちゃんが来たたら、きつと悲しむだろう。」

咲耶歌「トワって誰なんですか？」

みなみ「私達と一緒に戦った仲間よ。」

きらら「今は故郷の国にいるの。もう2度と会えないままよ。」

トットム「キュアスカーレットの事だな。」

みなみ「ええ。」

ペル「スカーレット殿はホープキングダムにいると。」

きらら「そうよ、あたし達のプリキュアになるためのパフォームもあつちにあるの。」

アーニヤ「復活も厳しいですね。」

麗奈「それより、あの2人の合体技で鐘を鳴らして、過去のトラウマを起こすみたいね。」

咲耶歌「あんなのはもうまた喰らいたくない。」

海「お兄様の事を思い出すわ。」

麗奈「この合体技でジャスティスヒーローの過去もわかったみたいね、特にアイゼンアロイス、ソール、ファイツは。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）、ソール（ヒーローライドジュエル）、ファイツ（ヒーローライドジュエル）「……。」

麗奈「そろそろ隠さずに行ったらどうなの？」

アイカ「アイゼンアロイス。」

咲耶歌「ソール。」

海「ファイツ。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「あああつ、わかった。麗奈の言う通り、もう俺達の事も言おう。」

アイゼンアロイス、ファイツ、ソールらは自分達の事をアイカ達全員に言い始めた。

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「俺が人間だった頃は、軍需産業の社長だ。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「私が人間だった頃は、第二次世界大戦でアメリカ軍の兵士だ。」

ソール（ヒーローライドジュエル）「私は後継争いでロキユゲを救えなかった事だ。」
アイカ「アイゼンアロイスが軍需産業の社長？」

海「フアイツ、あなたがどんな人間だったか教えて。」

咲耶歌「ソール、弟の事を教えて。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「俺は人間だった頃、大学であらゆる研究分野を学んでいたが、両親が亡くなって俺は会社の社長を継ぎ、新技術でいろんなを生み出して来た。俺は其中で特に兵器と言う物をただ売るだけだと考えていた。ある日俺はその取引人からイラクと呼ばれて、俺はそ新技術で開発した兵器を用意し、その取引人は購入したが、だが取引人が購入したその兵器は俺に向けて攻撃をし、俺は重症を負った。付き人達にすぐに取引人にやめるよう伝えたが、一緒にいた付き人は取引人と一緒に俺を攻撃をした。俺は必死に命からがら逃げていった。俺は自分の会社が今まで多国籍企業としてあらゆる国の文化や習慣や環境の破壊、さらに兵器を売りつけて多くの人の命を奪って来た事にも気付き、軍需産業だった事にも知った。俺は自分の罪に気付き、後悔した。俺は自分の罪に全く気付けずに戦争を引き起こした事に罪を自覚している。何でこうなってしまったのか。俺は逃げ続ける中、地雷を踏んで命を落とした。」

アイカ「……。」

フアイツ（ヒーローライドジュエル）「私は人間だった頃、アメリカ軍の兵士として第二次世界大戦に参加していた。私は最初はヨーロッパ戦線で配属され、ドイツ軍を相手に戦い、当然私は敵兵をいっぱい殺してきた。私は正義のため、祖国のために戦い、殺して来た。1945年3月にそんな私は突如、太平洋戦線に配属される事になった。沖繩戦に参加した私はここで現実と言うのを知った。泣きながら逃げる女性、子供達が罪もなく殺されていく姿に私はこの目で見て震えてと恐怖を感じた。敵も味方も関係なく罪なき人々が殺されて死んでいく姿を目の当たりにし、私は心を痛んだ。私は自分が今までしてきた過ちに気付き、人を殺すと言うのがどう言う重さ、愚かさに気付いた。私は何のために生きて何のためにして来たのか。正義や祖国の大義と言う名の人殺しをして来たのか。戦後、祖国へ帰還した私は周りから英雄と呼ばれて、私は戦争で人を殺した自分を英雄と呼ばれるのが嫌だった。何が英雄だ、正義だ、祖国のためだ。こんなのは愚かな行為だと。そして私は戦争を引き起こした国の大統領を相手に1人で殺しにかかったが、だが大統領の配下にやられて、私は命を落としたり。」

ソール「私は数百年前、アスゴルド王国で私と弟のロキユゲの兄弟のどちらかが王座の後継争いをしていた。ロキユゲは国や民の事を第一に考え、彼は民からも幕われ、支持されて来た。私は民を考えるそんな弟を尊敬した。彼こそがアスゴルド王国の王に相応しいと考えた。だがある日、弟の即位に反対する上層部が密かに冤罪計画を立て

て、弟が反乱を起こして国を乗つとると言うでつち上げをし、弟を無実の罪を着せた。私は弟が反乱を起こして国を乗つ取るなどデタラメだと信じなかった。だが父上や母上までもが弟を危険視し、弟を国から追放した。私は弟を救う事が出来ず悔やみ悔やみ罪悪感した。その数年後、ロキユゲは世界を支配するインフェルノの一員として現れ、復讐をしに帰ってきた。自分を追い出したアスゴルド王国を攻めたの対し、私は彼を最後までやめるよう説得した。彼はいずれまた復讐をすると言い去った。」

ついに明らかになったアイゼンアロイス、ソール、ファイツの過去。3人の過去は壮絶で自分の犯した罪に今も感じ、アイゼンアロイスとファイツは前世は人間だった事を知るアイカ達。

アイカ「アイゼンアロイスとファイツは人間だったんだ。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「あああつ。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「私とアイゼンアロイスは人間だった頃は悪事をしていた。だがその罪に気付き、後悔をしている。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「死後、辿り着いたのが地獄だ。そこで本来裁かれるはずが、閻魔大王様により、自分の罪に自覚しながら後悔している事に

チャンスを与えてくれた。こうして俺とファイツはジャスティスヒーローへ転生した。」

海「インフェルノと戦うために。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「あああつ。」

咲耶歌「ソールの事、わかるわ。あたし、家でいつもお母さんがいなくなって任されきりなのよ。」

ソール「咲耶歌。」

咲耶歌「私はソールのパートナーだから。」

閻魔王によってジャスティスヒーローとして転生したアイゼンアロイスとファイツは、インフェルノに立ち向かうため日々戦う事となり、ソールは弟がインフェルノに着いた事で戦いに身を投じた。一方、一時撤退したハデウスダイヤモンドらは、

パラレルワールド

幽冥界

幽冥要塞

ブリーフィングループ

ハデユスダイヤモンド「……」

ボルトプラズマー「なぜあの時、攻撃をやめやがった!!」

ハデユスダイヤモンド「お前らには関係ない事だ。」

ボルトプラズマー「何だと、かつて正義だった分際がいい気になるなよ!!」

ハデユスダイヤモンド「貴様、私に楯突く気か?」

ボルトプラズマー「いいだろう。気に入らなかつたところだ。やってやろうじゃねえか!!」

キラールヒッツ「おい、今ここで争うのはやめろ。」

ハデユスダイヤモンド「ふっ。」

ボルトプラズマー「わかつたよ。」

Drījis「おやおや、プリキュライドジュエルを全て奪ったそうだな。」

ハデユスダイヤモンド「イーjis。」

Drījis「よくやったな。これハデユス様も大喜びだ。残りのG oプリンセスプリ……」

ハデユスダイヤモンド「それは私のものだ。お前に渡すつもりはない。」

Drījis「そうか。」

ハデユスダイヤモンド「やけに受け入れる反応だな。」

D r i ー ジ ス 「ハデユス様の力を授けた君が2つのプリキュアをフュージョンする能力があるようだな。」

ハデユスダイヤモンド「そうよ。私はハデユス様によつて新しく生まれ変わったのよ。プリキュアの力も私のものよ。」

D r i ー ジ ス 「そうか。」

ハデユスダイヤモンド「そろそろ行くわ。」

D r i ー ジ ス 「早いな。」

ハデユスダイヤモンド「昔いた街へ行くわ。ボルトプラズマー、レオンダー、スピーディニング、キラーヒッツ!!」

ボルトプラズマー、レオンダー、スピーディニング、キラーヒッツ「はっ!!」

彼女の命で共に出撃するボルトプラズマー、レオンダー、スピーディニング、キラーヒッツら。向かう場所は彼女が昔いた街へと向かった。

D r i ー ジ ス 「いいデータが取れそうだな。」

不敵な表情をするD r i ー ジ スはハデユスダイヤモンドの戦いを見て何か企ててい

た。

パラレルワールド

人間界

桃園家自宅

アイカ「プリキュライドジュエル、どうやって取り戻そう。」

はるな「ハデユスダイヤモンドが全部持っているから、場所はわからないわ。」

咲耶歌「次戦うならプリキュライドジュエルを2つ使ってフュージョンしてくる事はあるよ。」

海「他にボルトプラズマーの電撃やレオンダーとスピーディニングのコンビネーションやキラーヒッツもよ。」

文「かなり強かったね。」

麗奈「次戦うならどのように行くかよ。」

アイカ「特にボルトプラズマーの必殺技とレオンダーとスピーディニングの合体技はかなり手強いよ。」

はるな「レオンダーとスピーディニングの合体技で鐘を起こすと過去のトラウマが。」
海「喰らいたくないわ。」

麗奈「私がスピーディニングを引き受けるわ。」

アイカ「麗奈さん。」

麗奈「私は唯一2人の合体技に耐えているわ。私ならこの打破を打ってみせる。」
はるな「無理はしないで。」

麗奈「任せて。」

咲耶歌「ボルトプラズマーならあたしに任せて。」

海「咲耶歌。」

文「相手は100億ボルトも持つ電力相手は無理よ。」

海「あなた1人では無理させられないわ。」

咲耶歌「大丈夫だよ、ソールやウィザーディヤスパーレディがいるよ。一緒に力を合わせてボルトプラズマーを打破してみせるよ。」

麗奈がレオンダーとスピーディニングの合体必殺技、咲耶歌がボルトプラズマーを打破する事を引き受けて、2人がどう立ち向かうのか。アイカがテレビを付けたらそこにハデユスダイヤモンドが映っていた。

ハデユスダイヤモンド（映像）「プリキュアよ。」

アイカ、はるな、咲耶歌、海、文「ハデユスダイヤモンド!!」
青太「ママ!!」

麗奈、はるか、みなみ、きらら「……」

ハデユスダイヤモンド（映像）「私は廃墟となつた東京クロバータワーで待っている。ここがお前達の墓場だ。」

大貝町の東京クロバータワーで待ち、再戦すると言うハデユスダイヤモンド。

青太「ママ。」

はるな「東京クロバータワー。」

海「大貝町にあると。」

はるか「あの町はマナさん達の住んでいる場所だ。」

みなみ「変わり果てた彼女を姿を見たら凄く傷つくみたいね。」

きらら「感動の再会とは言えないね。」

チエスメイト「奪われたプリキュライドを取り戻すには彼女を倒すしかありませんね。」

麗奈「戦わなきゃならないようね。」

青太「……………」

アイカ「青太君。」

青太「ママとまた戦うの？」

アイカ「青太君、あなたのママを必ず助けてみせるよ。」

はるな「私達が必ず会わせてあげる。」

咲耶歌「あなたのお母さんを絶対私達が連れ戻してみせるから。」

麗奈「みんな、行くよ。大貝町の東京クロバータワーへ。」

ハデウスダイヤモンドと決着を着けるべく、大貝町の東京クロバータワーへと向かうアイカ達。

大貝町

マナ、ありす、真琴「……………」

廃墟と化した大貝町に立つ3人。別の場所では、

トワ「……………」

はるかが知っている人物が今この世界に帰ってきた。

次回 32話へ続く

第32話 大貝町へ

ハデユスダイヤモンドのいる東京クローバータワー行くために大貝町へ向かったアイカ達。大貝町に辿り着いた彼女は、そこは夢ヶ浜と同じ廃墟と化し、荒れ果てた姿だった。

大貝町

麗奈「ここも荒れ果ててるね。」

廃墟と化した町では、人間同士の争いや略奪などが起きていた。

男性1「てめえ、やるのか?！」

男性2「そっちもやるか?！」

女性1「あんたこそ!!」

醜い争いを日々しつづける町の人々は、昔はみんなで仲良くして来たのが、ファイナ

ルウォーの影響により、人々が争いをするようになり、明日に生きていくために必死でいた。物を奪い合いをし、中で殺し合ったりし、もはや変わり果てたと言うべきだ。

麗奈「もう昔みたいに戻らないみたいね。」

アイカ、はるな、咲耶歌、海、文、青太「・・・。」

はるか「怖く感じるね。」

きらら「そうだね。」

みなみ「憎しみに溢れているみたいね。」

チェスメイト「もはや人と人がぶつかり合う中のようにありますね。」

彼女達が歩く中、突如チンピラの集団が現れて彼女達を囲んだ。

チンピラ1「おい、姉ちゃん達!!」

チンピラ2「どこへ行くんだ?！」

アイカ、はるな「あつ、あああつ!!」

チンピラの集団に囲まれて震え出すアイカとはるな。

麗奈「どけ、お前達に構っている暇はない。」

チンピラー1「んだとごらあ、てめえ殺されてえか?!

チンピラー3「ぶち殺すぞ!!」

咲耶歌「れっ、麗奈!!」

麗奈「かかって来なさい。あんた達の相手をしてあげる。」

チンピラー4「だったらここで殺してやるよお!!」

チンピラーの集団が一斉に襲い掛かって来た。

チンピラー1「ヒヤッハー!!」

金属バットで麗奈に向けて振り回すが、

麗奈「!!」

すぐにかわして、パンチで腹に殴り込んだ麗奈。

チンピラ2 「1人倒したくらいでいい気になってんじやねえぜ!!」

チェーンを振り回して、麗奈に放った。

麗奈 「たあっ!!」

チンピラの放ったチェーンをジャンプしてかわしながらそのまま空中キックでお見舞いした。

チンピラ3 「この野郎!!」

拳銃を出して麗奈に射撃したが、彼女の反射神経の反応により回避され、麗奈が素早く駆け込みながらパンチで殴り込んだ。

チンピラ2 「ひいひいっ!!」

麗奈1人の強さに驚愕したチンピラの集団は、すぐに逃走した。

チンピラー「待つてくれ、逃げないでくれ!!」

1人逃げ遅れたチンピラが麗奈1人に敗れて、命拾いをしようとする。

麗奈「……。」

チンピラー「俺が悪かったから許してくれ!!」

麗奈「断る。お前はここで死ぬ事ね。」

命拾いをお願いするチンピラに一蹴し、自身の拳銃をフォルダーから取り出して、頭に突き付けた。

チンピラー「ひいつ!!」

アイカ、はるな、咲耶歌「麗奈さん!!」

海「待つて、殺す必要は……!!」

麗奈「こいつは死ぬべき存在だ!!」

文「敵でも殺してはいけないわ!!」

はるか「殺すと言うのはどう言う事なのかわかってるの?!」

麗奈「分かっているからよ。何故プリキュアが甘いところがあるのかわかるか？」

みなみ「プリキュアは敵を殺すためじゃない!!」

きらら「プリキュアは誰かを救いたためだけの存在よ!!」

麗奈「それは甘さだ!!その甘さが命取りになる!!私は甘くない、こいつが存在してはいけないのを!!」

制止を振り切りながらチンピラに拳銃を撃とうとする麗奈。

マナ「撃つちやだめええええー!!」

その時、1人の女性が駆け込んで拳銃を撃とうとした麗奈の両手を掴んだ。

麗奈「離せ!!」

マナ「撃たせないよ!!」

麗奈「ちいっ!!」

チンピラー「じゃああばよ!!」

麗奈「待て!!」

1人の女性に止められて、チンピラが逃げられてしまった。

はるか「あなたもしかして、マナさん。」

マナ「もしかしてはるか?」

みなみ「私もきららもいるわ。」

マナ「えっ、もしかしてみなみやきららなの?!」

かつての同じプリキュア同士再会を果たすマナ、はるかとみなみときらら。

きらら「もう10年以上も会ってないね。」

マナ「そうみたいね。」

ありす「マナちゃん。」

真琴「マナー。」

マナ「ありす、まこぴー。」

みなみ「2人もいたのね。」

ありす「お2人はもしかして……?!」

真琴「みなみときららなの?!」

きらら「そうよ。」

みなみ「私達はようやく日本に帰って来たの。」

マナ、ありす、真琴「……。」

きらら「どうしたの?」

マナ「前仲良くしたあたし達の大事な友達が……。」

はるか「六花さんの事ですね。」

マナ「六花に会ったの?!」

はるか達に事情を聞いたマナ達3人がかつての仲間がインフェルノに入った事で、プリキュアの力を奪った事を知る。

マナ「そんな、六花が……!!」

はるか「プリキュアの力は彼女に全て奪い取られました。」

ありす「彼女に全部奪われてしまったのであれば熾烈な戦いになるかもしれません

わ。」

真琴「私と亜久里ちゃん達がジャスティスウオーで世界会議に着いていなかったら今頃こんな事には……。」

きらら「彼女には息子がいるのよ。」

青太「……。」

マナ「この子が六花の息子。」

青太「ママとは知り合いなの？」

ありす「そうですね。私達はあなたの母親の友人であります。」

真琴「私達3人は仲良しだったの。」

青太「ママの友達。」

マナ「名前は？」

青太「僕は青太。」

マナ「青太って言うんだ。」

ありす「よろしくでございますわ、青太君。」

青太「うん。」

ドキドキプリキュアの3人と共に東京クローバータワーへと向かうアイカ達。一旦、

息抜きをするため、マナの実家に寄り、食事を取る事になった。

ぶたのしつぽ

マナ「はい、どうぞ。」

咲耶歌「わあっ。」

マナが料理したオムライスを食事するアイカ達。

アイカ、はるな、咲耶歌、海、文、青太「いただきます!!」

オムライスを口にして食べるアイカ達は、マナの料理したオムライスに共感した。

アイカ「美味しいー!!」

はるな「上に卵が柔らかくてトロトロしているよ。」

咲耶歌「熱々で美味しいわ。」

海「うちの料理人のよりも凄く出来ている。」

文「私のオムライスより美味しいわ。」

チエスメイト「このオムライスは素晴らしい味です。」

マナ「あたしのオムライスを美味しく食べてくれるなんてありがたい。」

青太「こんな料理食べるの初めてだよ。」

真琴「初めて？」

青太「僕は今までママに限られた物しか出してくれなかった。僕はママと青い妖精と3人で貧乏生活をして来たから。」

ありす「ずっと苦しい日々を過ごして来たのですね。」

青太「ママ。」

麗奈「相手はインフェルノに着いたキュアダイヤモンドよ。奪ったプリキュアの力を使って戦って来る可能性はあり得るわ。」

チエスメイト「他にもボルトプラズマーやレオンダーやスピーディングやキラヒッツだっています。」

麗奈「やるしかないね。」

マナ「あたし達も連れて。」

はるか「マナさん。」

ありす「六花ちゃんは私達の大事な友達です。」

真琴「私、六花に謝りたいの。だからどうして会って謝りたい。」

みなみ「必ず彼女に会いに行きましょう。」

きらら「そしてみんなと一緒に。」

アイカ「青太君のお母さんを必ず助け出そう。」

はるな「あなたのお母さんをぜったい私達が会わせてあげる。」

麗奈「行くよ。」

ハデユスダイヤモンドとの戦いに備えて決戦に挑むアイカ達。

東京クローバータワー

最上階

ハデユスダイヤモンド「ねえ、ラケル。」

ラケル「僕は六花の側にずっといるよ。僕は六花を愛しているんだから。」

ハデユスダイヤモンド「信じれるのはあなただけよ。私もあなたの事を愛してる。」

ラケル「青太は？」

ハデユスダイヤモンド「あの子にはもう辛い思いをさせたくない、だからハデユス様から授かった力で私は全てに復讐し、家族一緒に幸せになりたいの。」

ラケル「僕は六花と青太のために全てを尽くすよ。」

ハデユスダイヤモンド「えええ、必ずそうしましょう。もうあんな地獄の日々を味わいたくないの。」

この戦いに全てを賭けて、家族幸せになる事を望むハデユスダイヤモンドとラケル。その会話を聞いたレオンダーとスピーディングとキラーヒッツは、

レオンダー「家族か。」

キラーヒッツ「家族何か、俺にあんなものは必要ない。俺を苦しめ、俺を叩きのめすためにあると。」

レオンダー「おめえは家族が憎いのか？」

キラーヒッツ「あああつ、過去に虐待を受けてな。」

レオンダー「おまえにそんな事があつたのか。」

キラーヒッツ「俺は家族と言うのが憎いんでな。」

レオンダー「・・・。」

スピーディング「どうした、相棒？」

レオンダー「いや、何でもねえ。」

キラーヒッツ「そろそろプリキュアが来る頃だ。」

レオンダー「今回こそ奴らの息の根を止めてやる。」
スピーディング「行くぞ。」

プリキュアとの対決に向け、動き出すハデユスダイヤモンドら。目的地の東京クロウバータワーへ到着したアイカ達は、

1 F

アイカ「これが東京クロウバータワー……。」

はるな「人の気配がないみたいね。」

マナ「ここへ来るのは久しぶりだね。」

ありす「最上階に彼女がいますね。」

咲耶歌「行きましょう。」

高さ999メートルの建物を階段を登るアイカ達は、真つ暗な中、懐中電灯を着けて最上階へ進んでいき、最上階へ進むのに時間はかかり、それでも突き進み、数時間が経ち、彼女のいる最上階へ到着した。

最上階

ハデユスダイヤモンド「待っていたわ、プリキユア。」

アイカ「ハデユスダイヤモンド。」

マナ「六花。」

ありす「六花ちゃん。」

ハデユスダイヤモンド「あら、久しぶりのようねマナ、ありす、それに真琴も。」

マナ「六花、どうしてこんな事を……。」

ハデユスダイヤモンド「私の人生を壊した奴らに復讐よ。ハデユス様が与えてくれた力で生まれ変わったのよ。だから全部滅ぼしてあげるの。」

かつて大事な仲間だった彼女と再会したマナ、ありす、真琴は、変わり果てた彼女の姿を見て、昔の姿とは思えない姿に感じ、悪に堕ちた彼女に愕然とした。

アイカ「あなたに勝って、昔のあなたに戻してみせます。」

ハデユスダイヤモンド「昔に戻すだと?! 笑わせるな。私が昔に戻る事などない。」

はるな「あなたの事を待っている人のために私達は戦いに来たの。」

咲耶歌「私達はあなたを必ず戻してみせます。」

ハデユスダイヤモンド「今日がお前達の墓場にしてやろう。」
アイカ「みんな、行くよ!!」

ハデユスダイヤモンドらとの対決をするためにプリキュアに変身するアイカ達6人。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアトフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文は全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを着用し、プリキュ

アとなった。

ハデユスダイヤモンド「早速、お前達の最期にしてやろう、行くぞ!!」
ストライク「こつちも行くよ!!」

ついに再び、ハデユスダイヤモンドらと対決する事となったストライク達。彼女達は果たして彼女を元に戻し、プリキュライドジュエルを戻せるのか?!

1 F

トワ「今、私も参りますわ。」

次回 33話へ続く

第33話 電撃の激闘

東京クロバータワーの最上階にてハデユスダイヤモンドらと再戦する事になったストライク達。

東京クロバータワー

最上階

ストライク、シンシア「はああああー!!」

ハデユスダイヤモンドに向かってキュアブレードマグナム剣モードで斬撃するストライクとシンシア。

ハデユスダイヤモンド「ふん。」

ハデユスダイヤモンドガンブレードで2人のキュアブレードマグナム剣モードを受け止めたハデユスダイヤモンド。

ハデユスダイヤモンド「散れ。」

掌から氷弾を放ったハデユスダイヤモンド。

ストライク、シンシア「!!」

すぐに反応してかわしたストライクとシンシア。

ストライク「絶対負けるわけにはいかない。」

シンシア「私達は絶対あなたを救っていききたい。」

ハデユスダイヤモンド「何が救いたいだ?!そんなもの、役に立たない事!!プリキュア・ハデユスダイヤモンドフリーズエツジ!!」

ハデユスダイヤモンドガンブレードの刃に氷結を纏いながらストライクとシンシアに斬撃した。

ストライク、シンシア「あああああっ!!」

ハデユスダイヤモンドの必殺技の斬撃を受けたストライクとシンシアは、反撃に出て、キュアブレードマグナム剣モードで必殺技を発動する。

ストライク「プリキュア・ストライクスラッシュユ!!」

シンシア「プリキュア・シンシアスラッシュユ!!」

ストライクとシンシアも必殺技の斬撃でハデユスダイヤモンドに喰らわせるが、ハデユスダイヤモンドがハデユスダイヤモンドガンブレードで切り払われてしまった。

ハデユスダイヤモンド「ならばこれはどうだ、ハデユスライドフュージョン!!」

ハデユスダイヤモンドがドリームとハッピーの2つのプリキュライドジュエルを出して、左腕のガントレットに装着して、組み合わせた姿に変身した。

ハデユスダイヤモンドドリームハッピーフォーム「プリキュア・ハッピーシャワー!!」

手から漆黒のハートの光波を放ち、ストライクとシンシアに攻撃した。

ストライク「なら、これなら!!」

ハデウスダイヤモンドの2つのプリキュアの組み合わせに対抗すべく、ストライクとシンシアはヒーローライドジュエルを出し、ストライクはアイゼンアロイス、シンシアはフェアリールのヒーローライドジュエルを出して変身する。

ストライク、シンシア「ヒーローライドチェンジ!!」

ジャスティスヒーローの力で変身した2人はハデウスダイヤモンドの2つのプリキュアの組み合わせに対抗して挑んだ。

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリールフォーム「はああああおー!!」

ストライクアイゼンフォームがパンチを連打して繰り出し、シンシアフェアリールが

マスケット銃で射撃し、ハデユスダイヤモンドに応戦した。

フェッター、ジャック、クイーン「はあああああー!!」

フェッター、ジャック、クイーンはレオンダーとスピーディングとキラールヒツツと交戦し、繰り広げていた。

レオンダー「散れ、レオンタイフーン!!」

レオンダーの鬣から竜巻を起こして、敵全体に飲み込ませて、フェッター、ジャック、クイーンを蹴散らした。

スピーディング「フォーエツジスラッシュ!!」

スピーディングが両腕両脚から刃を生やして発光し、フェッターに4方向から斬りにかかった。

フェッター「!!」

フェッターがフェッターカタナテツポウ刀モードで4方向から来るスピーディニングの刃を斬り払い、そのまま斬撃した。

レオンダー「うがおー!!」

レオンダーが爪でジャックに斬りにかかった。ジャックがジャックステツキスピア槍モードで受け止めた。

ジャック「やられる訳にはいかない!!」

レオンダー「いい気になるなよ、プリキュア!!」

ぶつかり合う2人。

キラーヒツツ「シューティングキラースョット!!」

キラーヒッツが右手に持っているカタールランチャーを発光しながら右腕からワイヤーを発射してクイーンに攻撃する。

クイーン「!!」

クイーンがクイーンナギナライフル薙刀モードで斬り払い、そのままキラーヒッツに斬撃した。

キラーヒッツ「俺の斬撃を受けな!!」

カタールランチャーを右手で握ったままクイーンに斬り込むキラーヒッツ。クイーンもすぐに反撃に出て、クイーンナギナライフル薙刀モードで斬撃する。

クイーン「はああああー!!」

キラーヒッツに斬撃したクイーンは、そのまま真っ向から突きをした。

マジック「はああああー!!」

マジックはボルトプラスマーを相手に戦い、繰り広げていた。

ボルトプラスマー「せやあああああー!!」

ボルトプラスマーが両肩のボルトコイルから雷をマジックに放電した。

マジック「とう!!」

ボルトプラスマーの攻撃をかわすマジックは必殺技を発動する。

マジック「プリキュア・マジックトランプショット!!」

マジックがトランプを出して、ボルトプラスマーに手裏剣のように投げて刺し、爆発させた。

ボルトプラスマー「ぬるいぞ!!」

マジックの攻撃にひるまず、そのまま彼女に体当たりした。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンドリルクラッシュャー!!」

ストライクアイゼンフォームが右腕のガントレットのパワージャッキを起動してをドリルに変形して、発光したドリルでハデユスダイヤモンドドリームハッピーフォームに向けたが、

ハデユスダイヤモンドドリームハッピーフォーム「そんなのはお見通しだ!!」

だが、彼女に攻撃を見抜かれてしまい、回避され、彼女が右手から光弾を大量に拡散した。

ストライクアイゼンフォーム「うわああああー!!」

ハデユスダイヤモンドドリームハッピーフォームに振り返ちにあったストライクア
イゼンフォーム。

シンシアフェアリーフォーム「ストライク!!」

ストライクを助けにかかるシンシアフェアリーフォームはハデユスダイヤモンド
ドリームハッピーフォームにマスケット銃を数本召喚して射撃した。

ハデユスダイヤモンドドリームハッピーフォーム「はあっ!!」

ハデユスダイヤモンドガンブレードで斬り払い、さらにシンシアフェアリーフォー
ムに斬撃した。

シンシアフェアリーフォーム「あああああああー!!」

ハデユスダイヤモンドドリームハッピーフォームの斬撃を受けたシンシアフェア
リーフォーム。

ハデユスダイヤモンドドリームハッピーフォーム「まだまだこれからよ、ハデユスライドフュージョン!!」

続いてミラクルとマジカルのプリキュライドジュエルを出して、左腕のガントレットに装着して変身し、ハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォームとなった。

ハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォーム「プリキュア・ダイヤモンド・エターナル!!」

ハデユスダイヤモンドガンブレードを振りながらダイヤモンド型ケージを放ち、ストライクアイゼンフォームとシンシアフェアリーフォームを閉じ込めて、爆発させた。

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリーフォーム「あああああー!!」

ミラクルとマジカルの能力をフュージョンして1人で必殺技を放ったハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォーム。

トットム「ミラクルとマジカルの必殺技を1人で使うなんて……。」

ハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォーム「私にはもう仲間なんて必要ないわ。仲間はすぐに裏切る、騙す、自分だけいいと思っている。そうでしょ、真琴。」

真琴「違う、私は……!!」

ハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォーム「お前と亜久里達の裏切りがなければ私は人生と将来を失わずに済んだんだ!!わかるか、全てを失った私の苦しみを!!」

ストライクアイゼンフォームとシンシアフェアリールフォームを完膚なきまで痛み付けるハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォームは2人にハデユスガントレットのダイヤモンド刃で斬り込んだ。

レオンダー「死ねえっ!!」

レオンダーがスピーディニングと共にフェッターとジャックに同時にラリアットで2人まとめてクロスして打ち込んだ。

ジャック「ならこれなら!!」

フェッターとジャックは手と手を繋ぎ合わせて互いの身体を回しながらレオンダーとスピーディングにぶつめた。

スピーディング「2人で合わせてきたか。ならば俺とレオンダーのタッグを見せてやる!!」

レオンダー「行くぜ、相棒!!」

レオンダーとスピーディングがタッグで組んで、フェッターとジャックに襲いかかった。

レオンダー、スピーディング「パイルニードルブレイカー!!」

スピーディングが両脚を巨大な針に変えて、レオンダーが伸ばしながらスピーディングの肩を掴んで共に回転して、フェッターとジャックに突撃した。

フエッター、ジャック「うわああああー!!」

レオンダーとスピーディングの合体技を喰らったフエッターとジャックは、ヒーローライドジユエルを出して対抗し、変身する。

フエッター、ジャック「ヒーローライドジチェンジ!!」

変身した2人は、フエッター烈陣フォーム、ジャックヴォイダートフォームへと変身し、挑んだ。

ジャックヴォイダートフォーム「プリキュア・ヴォイダートキックランチャー!!」

ジャックヴォイダートフォームがジャンプで両脚を出したまま、レオンダーに打ち込んだ。

レオンダー「うりゃあああー!!」

ジャックヴォイダートフォームに向かって、勢いでタックルをしてぶちかまし、続いて爪で引つ掻きかかった。

レオンダー「レオンブレイクツープレックス!!」

ジャックに爪で斬撃し、次に身体を掴んで持ち上げて、思いつきり地面に投げた。

ジャックヴォイダートフォーム「あああっ!!」

レオンダーの必殺技を受けたジャックヴォイダートフォーム。だが、身に付けているヴォイダートアーマーでダメージを軽減した。

ジャックヴォイダートフォーム「こっちも!!」

ジャックヴォイダートフォームがレオンダーの右腕を掴みながら持ち上げて、投げ飛ばした。

フエッター烈陣フォーム「はああああー!!」

スピードで駆使するスピーディニングに対抗して、目でしっかり動きを確認しながら捉えて、キュアカタナテツポウ鉄砲モードで射撃した。

スピーディニング「うぐっ!!」

フエッター烈陣フォームに動きを捉えられたスピーディニングは、彼女に向かって両脚を合わせて巨大な針へ変えた。

スピーディニング「デストロイニードル!!」

両脚を合わせて巨大な針へ変えたスピーディニングは、そのままフエッター烈陣丸フォームに突撃して刺突するが、

フエッター烈陣フォーム「えいつ!!」

両手で巨大な針を掴んで地面に降ろして叩き込んだフェッター烈陣フォーム。

スピーディング「ぬわあっ!!」

フェッター烈陣フォームに地面にぶつけられたスピーディング。

キラーヒッツ「死にな!!」

クイーンに向けて大量のナイフを一斉に投擲するキラーヒッツ。

クイーン「えいつ!!」

クイーンナギナライフル薙刀モードで斬り払い、大和丸のヒーローライドジュエルを出して、キュアアトフォンチェンジャーで刺して変身する。

クイーン「ヒーローライドチェンジ!!」

クイーン大和丸フォームとなって、キラーヒッツに橙破槍で攻撃を加えた。

キラーヒッツ「洒落せえ!!」

口にくわえている葉巻を投げてクイーン大和丸フォームに爆発させたキラーヒッツ。だが、彼女は身に付けている武者鎧の頑丈な防御のおかげ不屈し、橙破槍でキラーヒッツに刺突した。

ボルトプラズマー「ボルトサンダークラッシュユ!!」

マジックはボルトプラズマーと激戦を繰り広げ彼の電撃から必死で逃れていた。マジックはスーパーレディのヒーローライドジュエルを出して、キュートフォンチェンジャーに刺して変身する。

マジック「ヒーローライドチェンジ!!」

マジックレディフォームとなって、ボルトプラズマーに直接パンチで打ち込みにか

かった。

マジックレディフォーム「プリキユア・レディストロングパンチ!!」

ボルトプラズマーに右手を発光しながら殴り込んだマジックレディフォーム。だが、彼女が近付いた直後に右手を掴んだ。

ボルトプラズマー「簡単にくたばるかよ!!ボルトデスパニッシュ!!」

そう言いながらボルトプラズマーは胴体を電子レンジに変えて、マジックレディフォームを中に閉じ込めた。

マジックレディフォーム「!!」

ボルトプラズマーの電子レンジの中に閉じ込められたマジックレディフォームはハデユスの邪悪な力で形成した電力によるマイクロ波で100億ボルトを喰らった。

マジックレディフォーム「あああああー!!」

ボルトプラスマーの電子レンジの電力によるマイクロ波で100億ボルトを受けたマジックレディフォーム。

ボルトプラスマー「ははははは、死ぬがいい!! 貴様も跡形もなく溶かしてやるわ!!」

体内の電子レンジの100億ボルトでマジックレディフォームをどかそうとするボルトプラスマー。だが時間が経っても彼女の身体は溶けていなかった。

ボルトプラスマー「なっ、何だと?! 溶けてないだと!!」

マジックレディフォーム「電力を吸収したのよ・・・!!」

ボルトプラスマーの電子レンジの100億ボルトを受けて溶けているはずが、彼女は敵のエネルギーを吸収する能力で電撃を吸収していた。電気を吸収した状態でソールのヒーローライドジュエルをキュアートフォンチェンジャーに刺して変身した。

マジックソールフォーム「プリキュア・ソールサンダースピア!!」

ボルトプラズマーの電子レンジの100億ボルトを吸収した状態で必殺技を発動し、吸収した100億ボルトの電力をマジックステッキスピアに注入し、ボルトプラズマーの体内に刺突した。

ボルトプラズマー「ぐわああああー!!」

自身の100億ボルトの電力を相手を倒すはずが、逆に利用されて自分が体内から攻撃される羽目になったボルトプラズマー。中からの攻撃により爆発し、脱出したマジックソールフォームはボルトプラズマーを倒した。

ペル「まず1人やりました!!」

アーニャ「やりましたわ!!」

マジックソールフォームがボルトプラズマーを倒して勝利を喜んだペルとアーニャ。

トットム「いやマジックの嬢ちゃんが!!」

だが、マジックソールフォームへボルトプラスマーの100億ボルトの電力を吸収した事により、身体に酷い負担が掛かり、ついに限界を超えて立ったまま力尽きてしまい、元の身体に戻ってしまった。

ジャックヴォイダートフォーム「咲耶歌ー!!」

ストライクアイゼンフォーム「咲耶歌さん!!」

咲耶歌「あたし・・・頑張ったよ・・・任せたよ・・・。後・・・ソールとワイザーデイとスーパーレディをお願い・・・。」

ボルトプラスマーに勝利をした咲耶歌は100億ボルトの電力を受けて身体に重い負担してしまい、ソールとワイザーデイとスーパーレディのヒーローライドジュエルをストライクアイゼンフォームとシンシアフェアリアルフォームに投げて渡し、自分の身体は力尽きてしまい、倒れて、最上階から落下してしまった。

ジャックヴォイダートフォーム「咲耶歌、咲耶歌、咲耶歌あああああー!!」

フェッター烈陣フォーム、クイーン大和丸フォーム「咲耶歌!!」

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアールフォーム「咲耶歌さん!!」

はるか、みなみ、きらら、マナ、ありす、真琴、トットム、ペル、アーニヤ、チエスメイト、青太「!!」

ソール（ヒーローライドジュエル）、ウイザーデイ（ヒーローライドジュエル）、スパーレディ（ヒーローライドジュエル）「咲耶歌!!」

仲間が力尽きて、落下してしまった姿に叫ぶ彼女達。

ボルトプラズマー「うっ、あああつ、たっ、頼む、助けてくれ……。」

マジックとの戦いに敗れたボルトプラズマーはすでに戦えない状態で瀕死に陥り、助けを求めたが、

ハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォーム「使えない奴はもう用済みよ。」

瀕死になって助けを求める仲間氷結のビームで身体を貫き殺害したハデユスダイ

ヤモンドミラクルマジカルフォーム。

ボルトプラズマー「ぐわあああああー!!」

彼女に使えないと用済みにされて処刑されて死亡したボルトプラズマー。

ストライクアイゼンフォーム「何で殺すの!!」

シンシアフェアリールフォーム「助けを求めた仲間を何で酷い事をするの!!」

ハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォーム「弱い奴は死に与えるのみだ。使えない奴は死の制裁を与えるのみだ。」

マナ「六花・・・!!」

ハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォーム「ハデユス様に尽くせない者には死に与えるのみだ!!」

インフェルノに入って、その仲間が戦いに敗れた事で助けを求めたのに対して、彼女はそのまま彼を死罪し、何とも思わない冷酷無慈悲さを表し、もはや昔の知っている彼女ではなかった。

ハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォーム「お前達も仲間が使うなくなって、何と思つてないだろ!!」

ストライクアイゼンフォーム「あなたにとつてプリキュア、仲間は何なんだったの?!」
ハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォーム「裏切り、何も得られない、幸せを得られない!!私は人生、将来を失い、地獄を味つてきた!!お前達には何もわからないのか!!」

シンシアフェアリールフォーム「それは・・・!!」
ハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォーム「死ねえっ!!」

掌を挙げて、氷結の雨を敵全体に降り注いでストライクアイゼンフォーム達に攻撃し、さらにハデユスダイヤモンドガンブレードで連射した。

ハデユスダイヤモンドミラクルマジカルフォーム「レオンダー、スピーディニング!!」
レオンダー「行くぜ、相棒、再びあれをやるぜ!!」
スピーディニング「おうよ、兄弟!!」

スピーディングが吊し鐘に変えて、レオンダーが叩こうとするが、

フエッター烈陣フォーム「させない!!」

その時、フエッター烈陣フォームが飛び込んで、吊し鐘の状態のスピーディングにキュアカタナテツポウ刀モードを右手に、戦烈鬼を左手に二重で斬り込んだ。

スピーディング「ぐわあああああー!!」

レオンダーとの合体必殺技の発動の際にフエッター烈陣フォームに割り込まれ、スピーディングは元の姿に戻ってしまった。

レオンダー「野郎!!」

自分と相棒の技を妨害したフエッター烈陣フォームに爪で引っ掻きかかるレオンダー。

ジャックヴォイダートフォーム「やらせない!!」

ジャックヴォイダートフォームが飛び込んでレオンダーにパンチで打ち込んだ。両者仲間を失い、戦いはますます激戦に走った。

ハデユスダイヤモンドルージュサニー「プリキュア・ファイヤー・ストライク!!」

炎を球状を形成してシュートし、ストライクアイゼンフォームとシンシアフェアリーフォームに打ち込んだ。

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリーフォーム「だったら、ヒーローライドチェンジ!!」

ストライクはアイゼンフォームからボルケリートフォーム、シンシアはフェアリーフォームからスカヴァフォームへとチェンジして、ハデユスダイヤモンドルージュサニーフォームとぶつかり合った。

はるか、みなみ、きらら「……。」

自分達がプリキュアに戦えれず黙っている事しか出来ないはるか、みなみ、きらら。

きらら「あたし達も変身さえ出来れば……。」

そんな中、彼女達の前にある人物が現れた。

はるか、みなみ、きらら「!!」

トットム「どうしたんだい?!

ペル「まつ、まさかあの人は!!」

アーニヤ「このお方は!!」

トワ「お久しぶりのようでありますわ、皆さま。」

そう、はるか、みなみ、きららのよく知る一番の仲間だった者、トワがついに姿を現した。

次回
34話へ続く

第34話 復活の4人のプリンセス

ハデウスダイヤモンドらとの交戦中に突如トワが十数年ぶりに現れた事に驚く一同。

東京クローバータワー

最上階

はるか「本当にトワちゃんなの・・・?!」

トワ「ええ、本当に私です。パフやアロマもいます。」

パフ「みんな、久しぶりパフ。」

アロマ「僕達もいるロマ。」

みなみ「どうしてここに？」

トワ「私はこの世界に危機を知り、やって来たのです。私がない間、人間界は大きな被害が出ていた事には・・・。」

きらら「この事も知ったんだ。」

トワ「ええ、私達が戦いに出なかつた事で力を失つた事。」

チエスメイト「彼女は？」

アロマ「この方はホープキングダム女王トワ様ロマ。」
はるか「トワちゃんか女王様?!」

トワ「それより今は目の前の方が先です。」

はるか達と再会を果たすトワは、目の前の事を目視する。

ハデユスダイヤモンドルージュサニーフォーム「はああああー!!」

邪悪な炎を放ち、ストライクボルケリートフォームとシンシアスカヴァフォームに攻撃した。

ストライクボルケリートフォーム、シンシアスカヴァフォーム「えいつ!!」

2人はキュアブレードマグナム剣モードでハデユスダイヤモンドルージュサニーフォームの邪悪な炎を斬り払い、そのまま攻撃した。

ハデユスダイヤモンドルージュサニーフォーム「燃やし尽くしてやる、ガキ共があつ

!!
」

両腕のガントレットのダイヤモンド刃に邪悪な炎を纏いながら2人に斬りにかかるハデユスダイヤモンドルージュサニーフォーム。ストライクボルケリートフォームとシンシアスカヴァフォームが彼女の刃をキュアブレードマグナム剣モードで受け止めた。

ハデユスダイヤモンドルージュサニーフォーム「ならばこれはどうだ、ハデユスライドフュージョン!!」

次にフュージョンしたのは、ビューティとジェラートの力で、ハデユスダイヤモンドビューティジェラートフォームとなり、冷酷の氷結が2人を襲う。

ハデユスダイヤモンドビューティジェラートフォーム「凍り付け!!」

掌から強力な氷の塊を無数に放ち、ストライクボルケリートフォームとシンシアスカヴァフォームに攻撃した。

ストライクボルケリートフォーム「こんな氷の塊!!」

キュアブレードマグナム剣モードの刀身に炎を纏いながら氷の塊を次々と斬り払ったが、

ハデユスダイヤモンドビューティージェラートフォーム「散れ!!」

その直後にハデユスダイヤモンドガンブレードがストライクボルケリートフォームに斬撃した。

ストライクボルケリートフォーム「わああああー!!」

シンシアスカヴァフォーム「ストライク!!」

ハデユスダイヤモンドビューティージェラートの斬撃を受けたストライクボルケリートフォーム。

フエッター烈陣フォーム「プリキュア・烈陣双破斬!!」

キュアカタナテツポウ刀モードを右手に、戦烈鬼を左手にそれぞれ構えて発光し、スピーディニングに斬撃する。

スピーディニング「やられてたまるかよ!!」

両腕の刃でキュアフエッター烈陣フォームの二刀を受け止めて、蹴りを打ち込んだ。

スピーディニング「ライトニングスピードシックル!!」

キュアフエッター烈陣フォームに向かって、閃光のように素早く突撃したスピーディニング。

キュアフエッター烈陣フォーム「うっ!!」

スピーディニングの必殺技により、元の基本フォームに戻ってしまったフエッター。

ジャックヴォイダートフォーム「たああああー!!」

レオンダーにヴォイダートクロードで斬り込み、さらに真つ向から打撃で打ち込むジャックヴォイダートフォーム。

レオンダー「舐めてんじゃねえぞ!!レオンブレイクツープレックス!!」

ジャックヴォイダートフォームの攻撃にレオンダーが爪で大きく引つ掻き、さらに身体を掴んで地面に思いっきり投げ落とした。

ジャックヴォイダートフォーム「あああああつ!!」

レオンダーの猛攻を受けて、元の基本フォームに戻ってしまったジャック。

クイン大和丸フォーム「プリキュア・大和大乱撃!!」

キラーヒッツに向けて、橙破槍を構えて連続突きをするが、

キラーヒッツ「甘い!!」

クイーン大和丸フォームの連続突きを見切りながらカタールランチャーで斬り払い、さらに口の葉巻を投げて、爆発させた。

クイーン大和丸フォーム「あああつ!!」

キラーヒッツ「死ね!!」

右手に持っているカタールランチャーで右腕からワイヤーを発射してクイーン大和丸フォームに攻撃し、基本フォームに戻した。

ストライクボルケリートフォーム、シンシアフェリールフォーム
「わあああああー!!」

ハデユスダイヤモンドビューティージェラートフォームの吹雪の猛攻により基本フォームに戻された2人。圧倒的に追い詰められたプリキュア側。

ストライク、シンシア、フェッター、ジャック、クイーン「うっ、ああああっ。」

ハデユスダイヤモンドらに追い詰められ、倒れてしまったストライク達。

ハデユスダイヤモンド「どいつから始末してやろうか。」

床に倒れているストライクの顔を強く足で踏むハデユスダイヤモンド。

ストライク「わあああああぁぁぁー、痛い、痛い、痛いよ!!」

小学生のストライクの顔を無慈悲で踏んで蹴りながら痛み付けるハデユスダイヤモンド。
ンド。

シンシア「アイカ・・・!!」

ハデユスダイヤモンド「死ぬ、ガキの分際が救うなどとほざくな!! 私はジャステイスウオーで仲間に裏切られてからは人生、将来を全て壊されて、何もかも全て失った!! 私は息子が生まれて必死に子育てに専念したが、生活は貧しくなり、ラケルだけでは仕事を任せれず、私も仕事をするが、私はパートと言う職で長時間の過労の日々に追われ、職場からのいじめやパワハラに遭い精神的に苦しみながらノイローゼにもなり、絶望の日を送った。」

マナ「六花……。」

ありす「辛い思いをされたんですね。」

真琴「私のせいだ、私のせいで……。」

レオンダー「うっ、ママ……。」

キラーヒッツ「昔の事を思い出せてしまう。」

ハデユスダイヤモンド「ある日、私の前にある者が現れた。その者は私に全てに復讐する力を与えてくれたの。」

トットム「まさか、ハデユスか!!」

ハデユスダイヤモンド「そうよ、ハデユス様が私に力を与えて今の姿になったのよ。だから何もかも終わらせてやる!!」

全てに復讐をするためハデウスから授かった力を手に今の姿となった彼女は、見せしめに痛めつけているストライクにハデウスガンブレードで殺そうとする。

ハデウスダイヤモンド「死ぬがいい。」

武器をストライクに向けて下ろそうするが、その時、4つの影が現れて、ハデウスダイヤモンドに攻撃し、ストライクを解放した。

ハデウスダイヤモンド「ぐうっ!!」

一同「!!」

フローラ「お待たせ。」

4つの影は、なんとはるか、みなみ、きらら、トワの4人が再びプリキュアになった姿だった。デイスピアとの最終決戦以来、解散状態だったG oプリンセスプリキュアが今ここに復活した。

シンシア「はるか先生……」

フローラ「これが私達の姿よ。」

マーメイド「今復活した私達の力!!」

トウインクル「見せてあげるわ!!」

スカーレット「お覚悟はよろしくて。」

ハデユスダイヤモンド「ならばこちらも全力で行くぞ!!」

復活したフローラ達4人のG.Oプリンセスプリキュアがハデユスダイヤモンドらと
激突する。

フローラ「はあああああー!!」

フローラがパンチを繰り出してハデユスダイヤモンドに殴り込んだ。

ハデユスダイヤモンド「ようやく久しぶりに本来の姿になったようだな。」

フローラ「ようやくみんなが再び揃って、変身が出来たの!!会いたかった、ずっと待っていた、最後まで信じていた……!!」

ハデユスダイヤモンド「お前も私と同じだ、お前を置いて裏切った者達を何故恨まない!!」

フローラ「あなたは何で最後まで信じなかったの・・・!!」

ハデユスダイヤモンド「黙れ!!」

フローラ「あなたがどんなに悲しい思いをしてきたかわかるわ。だからあなた悲しいと憎しから解放してみせる!!」

フローラが悲しいと憎しみに囚われたハデユスダイヤモンドを救うべく、花のプリンセスが立ち向かった。

マーメイド「はあああああー!!」

レオンダーと激突するマーメイド。レオンダーの繰り出す爪を回避し、蹴りで打ち込み、パンチで殴り込んだ。

レオンダー「お前がマーメイドか!!」

マーメイド「私の事、知ってるわね。」

レオンダー「お前は家族を捨てて、逃げたと。そのファイナルウォーの被害で会社は倒産、一家は離散した。」

マーメイド「私は夢のためは……!!」

レオンダー「言いがかりもやめるんだな!!お前は家族を捨てた事が最大の罪を犯した!!」

マーメイド「それは……!!」

レオンダー「俺は幼い頃、母に捨てられた。俺は暴漢の父の間で無理矢理生まれた子で周りから迫害されて来たんだ。」

マーメイド「……。」

レオンダー「こんな世の中は滅んでしまえばいいんだよ!!皆殺しにしてやる!!」

過去にレオンダーは自分の父が暴漢で母と無理矢理生まれて、自分は周りから迫害されて来たと告げ、世の中を滅ぼす事に燃やす。マーメイドは自分が家族の元を離れて、ファイナルウォーの影響で会社は倒産し、一家は離散した事を抱えていた。

トウインクル「プリキュア・トウインクル・ハミング!!」

腰部のリボンに付いている星から星状の光を取り出し、それをブーメランのようにゼツボーグへ向かって投げ、大きな星でスピーディニングを攻撃した。

スピーディニング「こいつを喰らえ!!」

素早い動きでトウインクルの周り駆け巡り、両腕両脚の刃で斬り込んだ。

スピーディニング「ハデユスダイヤモンドから聞いたぜ。お前、栄光つてずっと継り付きてえって!!」

トウインクル「うっ!!」

スピーディニング「今もその栄光とやりずっと継り付きいてるだけなんだから!!」

トウインクル「違う、あたしは夢のためにずっと輝いている!!」

スピーディニング「輝いているだど?!馬鹿にするな、お前はただの目立ちがり屋に過ぎねえんだよ!!」

トウインクルの夢を否定したスピーディニングは足蹴りを強いた刃に生えた脚でサマーソルトした。

スカーレット「はあああああー!!」

キラーヒッツと交戦するスカーレットは掌の炎を放ち、キラーヒッツに命中させた。

キラーヒッツ「落ちろおっ!!」

右手に持っているカタールランチャーで右腕からワイヤーを発射して、スカーレットに向けた。

スカーレット「!!」

キラーヒッツの攻撃をかわしたスカーレットは彼に話をかけた。

スカーレット「あなたは何か辛い事を隠しているようですね。」

キラーヒッツ「んなのねえ、俺に辛い事などない!!俺はデスバイオレンスの極悪の殺人鬼だ!!」

スカーレット「嘘をおっしやわないでください!!あなたからとても悲しいと苦しみが溢れています。」

キラーヒッツ「黙れえ、俺に辛い事など・・・うっ!!」

辛い事がないと言い切るキラーヒッツ。だが彼は幼い頃の記憶からプリキュアに敗れた父に虐待された事を思い出す。

回想

幼いキラーヒッツ「父さん、やめてよ!!」

????? 「プリキュアに敗れた腹癒せにいいわい!!」

父と思われる人物にプリキュアに敗れた事で虐待を受ける幼いキラーヒッツ。

現在

キラーヒッツ「うっ、わあああああー!!」

幼い頃の記憶に虐待された事に苦しみ、叫ぶキラーヒッツは精神が乱れ始め、激化し

た。

キラーヒッツ「死ねえつ、女あつ!!」

激化したキラーヒッツがカタールランチャーでスカーレットに思いつきり斬り込んだ。
だ。

スカーレット「あああああー!!」

キラーヒッツ「まだまだだ!!」

さらに大量のナイフをスカーレットに投げて喰らわせ、さらにカタールナイフで連続斬りをした。フローラ4人の参戦も加わり、さらに激戦を強いられていた。

ハデユスダイヤモンド「死ね!!」

ハデユスダイヤモンドガンブレードでフローラ達に射撃するハデユスダイヤモンド。

フローラ「これで決めるよ!!」

フローラ、マーメイド、トウインクルらはクリスタルプリンセスロッドを出し、それぞれのエレガントドレスアップキーを装着し、必殺技を発動する。

フローラ、マーメイド、トウインクル「プリキュア・トリニティ・リュミエール!!」

ロッドのクリスタルに光のパワーをため、3人がそれぞれ半円を描き合体させて巨大なティアラを出現させ、強力な浄化の光をハデユスダイヤモンドに放つ。

スカーレット「プリキュア・フェニックスブレイズ!!」

スカーレットバイオリンにフェニックスキーをセットし、巨大な火の鳥を召喚し、ハデユスダイヤモンドに向けて攻撃した。4人のプリキュアが放った必殺技がハデユスダイヤモンドに喰らわせたと思われたが、

ハデユスダイヤモンド「はあっ!!」

ハデユスダイヤモンドが4人の必殺技をハデユスダイヤモンドガンブレードで振り払った。

マーメイド「そんな・・・!!」

トウインクル「効いていないなんて・・・!!」

ハデユスダイヤモンド「今度は私の番だ、行くぞ、レオンダー、スピーディニング、キラーヒッツ!!」

レオンダー「決めてやるぜ!!」

スピーディニング「あああつ!!」

キラーヒッツ「始末してやる!!」

ハデユスダイヤモンドらがレオンダーとスピーディニングとキラーヒッツと共にフローラ達に反撃にかかり、ハデユスダイヤモンドはフローラ、レオンダーとスピーディニングはマーメイドとトウインクル、キラーヒッツはスカーレットに必殺技を發動する。

ハデユスダイヤモンド「プリキュア・ハデユスダイヤモンドギロチンレッグ!!」

フローラを持ち上げて空中ジャンプしたまま相手の首を膝の下にくっ付けて、地上に喰らわせた。

レオンダー、スピーディング「パイルニードルブレイカー!!」

スピーディングが両脚を巨大な針に変えて、レオンダーが伸ばしながらスピーディングの肩を掴んで共に回転して、マーメイド、トウインクルに突撃した。

キラーヒッツ「クラッチキラースパイラルドリル!!」

キラーヒッツが身体を回転しながらスカーレットに向かって突撃した。

フローラ、マーメイド、トウインクル、スカーレット「きゃああああー!!」

4人の必殺技により、圧倒されたフローラ達はやられてしまい、窮地に陥った。

ストライク、シンシア「先生!!」

ハデユスダイヤモンド「さてトドメを刺すとするか。」

倒れた4人にトドメを刺そうとするハデユスダイヤモンド。

パフ「やめるパフ!!」

アロマ「させないロマ!!」

その時、パフとアロマが駆けつけに現れて、ハデユスダイヤモンドの腕にしがみ付いた。

ハデユスダイヤモンド「離せ!!」

フローラ「パフ、アロマ!!」

パフ「パフだって何も見ているだけはいやパフ!!」

アロマ「僕とパフだって折角はるか達と再会した事を無駄にしたくないロマ!!」

ハデユスダイヤモンド「小賢しい!!」

腕にしがみ付いたパフとアロマを振り払うハデユスダイヤモンド。

パフ「離さないパフ!!」

アロマ「絶対離さないロマ!!」

フローラ達を殺させないと必死でしがみ付いて抗うパフとアロマ。

ハデユスダイヤモンド「この邪魔があっ!!」

腕にしがみ付いているパフとアロマを地面に強く叩いて切り離れたハデユスダイヤモンド。

パフ、アロマ「があっ!!」

マーメイド、トウインクル「パフ、アロマ!!」

ハデユスダイヤモンドに地面に叩かれてパフとアロマ。

スピーディニング「後は俺とレオンダーに任せな!!」

倒れたパフとアロマを捕らえたレオンダーとスピーディニングが合体必殺技を発動して、2人に差し掛かった。

レオンダー、スピーディニング「デスニードル・ブランディック!!」

レオンダーがパフとアロマを逆さまに捕らえて、スピーディニングが両脚を針に変えて、2人に刺突した。

パフ、アロマ「うぎやああああー!!」

レオンダーとスピーディニングの合体技により大きくにぶち抜かれたパフとアロマ。

フローラ、マーメイド、トウインクル、スカーレット「パフ、アロマ!!」

パフ「パフ達、はるか達……再会出来て……よかった……。」
アロマ「僕とパフ……ずっと会いたかった……。」

レオンダーとスピーディニングの合体技により絶命したパフとアロマはメツプル達と同様にフェアリージエエルになった。

フローラ、マーメイド、トウインクル、スカーレット「パフ、アロマあああああー！！」

一緒に戦った妖精の最期を見たフローラ達。ハデユスダイヤモンドらに勝てるか？果たして……。

1 F

トラウム「……。」

次回 35話へ続く

第35話 ダイヤモンドを砕け

パフとアロマが死亡し、フェアリージェエルとなり、窮地に立たされた。

東京クローバータワー

最上階

ハデユスダイヤモンド「他愛もない、雑魚2匹が死んだくらいで情けをかけるとは。」

パフとアロマの死に冷酷無比な表情をするハデユスダイヤモンド。

ストライク「2人の死を何と思わないの・・・!!」

シンシア「あなたはどこまで冷酷になるんですか!!」

ハデユスダイヤモンド「貴様らみたいなガキにも死を与えてやる!!」

2人を殺すべき、ハデユスダイヤモンドはハートとロゼッタのプリキュライドジュエルを出して、左腕のガントレットに装着して変身してハデユスダイヤモンドハート口

ゼツタフォームとなって、殺しにかかった。

ハデユスダイヤモンドハートロゼツタフォーム「プリキュア・ロゼツタリフレクション!!」

掌から四つ葉のクローバー形のエネルギー障壁を展開し、さらにノコギリ刃を生やし、ストライクとシンシアに向けて投擲した。

ストライク、シンシア「ああああっ!!」

ハデユスダイヤモンドハートロゼツタフォームの投擲したノコギリ刃が生えた四つ葉のクローバー形のエネルギー障壁を喰らったストライクとシンシア。

ありす「!!」

自分の防御技が人を傷付けるために使われる姿に驚愕したありすは変わり果てた彼女の姿によって痛々しく感じた。

ハデユスダイヤモンドハートロゼッタフォーム「まだだ、プリキュア・ハートシュート!!」

ハデユスダイヤモンドガンブレードから漆黒のハート形のエネルギー矢を形成し、放ち、ストライクとシンシアに攻撃した。

ストライク、シンシア「うわああああー!!」

ハデユスダイヤモンドハートロゼッタフォームの必殺技を喰らったストライクとシンシア。

マナ「もうやめて、六花!!こんな酷い事はして楽しいの!!」

ありす「お願いです!!こんなのはあなたができる事ではありません!!」

真琴「母親がこんな酷い事をして息子がどんなに悲しい気持ちになるのよ!!」

ハデユスダイヤモンドハートロゼッタフォーム「お前達に人生を狂わされた私の気持ちかわかるか!!私は一人で頑張ってきたんだ!!」

マナ「違う、こんなのは間違っている!!」

ハデユスダイヤモンドハートロゼッタフォーム「黙れ、お前も私を拒否するなら敵だ!!」

マナ「六花・・・!!」

ストライク「これが本当にあなたが望んだ事なの・・・!!」

シンシア「あなたがしている事は間違っている!!」

ハデユスダイヤモンドハートロゼッタフォーム「ガキ如きが何がわかる!!」

ストライクとシンシアにノコギリ刃が生えた四つ葉のクローパー形のエネルギー障壁を投擲するハデユスダイヤモンド。

ハデユスダイヤモンド「ハデユスライドフュージョン!!」

次にベリーとソードのプリキュライドジュエルを使ってフュージョンし、斬撃を得意とする2人の能力で、ストライクとシンシアに手刀を強いた斬撃した。

ストライク、シンシア「うわああああー!!」

2人に手刀で斬撃したハデユスダイヤモンドベリーソードフォームは、さらにハデユスダイヤモンドガンブレードで連続斬りをした。

ストライク、シンシア「わあああああー!!」

ハデユスダイヤモンドベリーソードフォームの猛攻に追い詰められたストライクとシンシア。続いて2人に必殺技を向けた。

ハデユスダイヤモンドベリーソードフォーム「プリキュア・スパークルソードおっ!!」

ハデユスダイヤモンドガンブレードから大量の剣形光弾をストライクとシンシアに向けた。

フェッター、ジャック、クイーン「そうはさせない!!」

ストライクとシンシアの前にフェッター、ジャック、クイーンらが立って、ハデウス
ダイヤモンドベリーソードフォームの攻撃を防いだ。

ストライク、シンシア「フェッター、ジャック、クイーン!!」

フェッター「2人を死なせない・・・!!」

ジャック「私達3人が盾なる・・・!!」

クイーン「私達のこれを・・・!!」

ハデウスダイヤモンドベリーソードフォームの必要技を受けた3人がストライクと
シンシアに自分達のヒーローライドジュエルを全て託して倒れた。

レオンダー「残りはお前ら2人だ。」

スピーディング「さっさと殺してやるぜ!!」

キラーヒッツ「今楽にしてやるぜ。」

残ったプリキュアはストライクとシンシアだけになってしまい、ついに絶体絶命に陥

り、窮地に立たされようとしていた。

ハデユスダイヤモンドベリーソードフォーム「さあ、お前達2人にはどうトドメを刺してやろうか。」

このまま為すすべもなく、2人はどうなる?!

ストライク「あたし達は絶対負けたくない……!!」

シンシア「プリキュアは最後まで諦めない……!!」

ストライク、シンシア「この命ある限り、負ける訳にはいかない!!」

その時、2人の全身が発光して輝き出した。

ハデユスダイヤモンドベリーソードフォーム「なっ、何だこの光は?!」

ストライク、シンシア「こっ、これは……?!」

自分2人の全身が光輝いているのに驚くストライクとシンシア。

はるか「あの2人はプリマティアル細胞……。」

2人は2人の母親のプリマティアル細胞によって生まれて、その細胞を持ち、その力を発揮する。

ストライク「あたしとシンシアに……。」

シンシア「希望が……。」

ヒーローライドジュエルにいるジャスティスヒーロー達がプリマティアル細胞の力で輝いたストライクとシンシアを励ます。

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「俺達だっている!!」

フェアリール（ヒーローライドジュエル）「あなた達には私達がいる!!」

ソール（ヒーローライドジュエル）「私達ジャスティスヒーローがお前達の力になる

!!

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「我々はいつでも味方だ!!」

烈陣丸（ヒーローライドジュエル）「拙者達が助太刀する!!」

光陰命（ヒーローライドジュエル）「私達はいつでもあなた達を支えます!!」

ボルケリート（ヒーローライドジュエル）「お前達の熱い想いは伝わった!!」

スカヴァア（ヒーローライドジュエル）「想いは無駄じゃない!!」

ウォーテイル（ヒーローライドジュエル）「未来を切り開くために!!」

ウィザードイ（ヒーローライドジュエル）「お主達の活躍は常に見てきた!!」

バルクマツスラー（ヒーローライドジュエル）「お前達の力なら出来る!!」

翔華楽（ヒーローライドジュエル）「いつでもあなた達があなた達を力になる!!」

大和丸（ヒーローライドジュエル）「お前さん達なら出来る!!」

鉄斎（ヒーローライドジュエル）「お前達の鍛錬して来た日々を見せろ!!」

明利江（ヒーローライドジュエル）「困難を乗り越えられるはずだ!!」

スーパーレディ（ヒーローライドジュエル）「私達はあなた達の頑張りをちゃんと信じ

ている!!」

ヴオイダートマン（ヒーローライドジュエル）「お前達なら出来るはずだ!!」

隼疾風（ヒーローライドジュエル）「お主達なら必ず切り開かれる。」

ブレイディオ（ヒーローライドジュエル）「俺達と共に力を合わせば勝てる!!」

ガンニークス（ヒーローライドジュエル）「お前達の可能性を見せろ!!」

ジャスティスヒーロー達に励まされたストライクとシンシアはハデユスダイヤモンドドらとの決着を着けるべき、ついにプリマティアル細胞によって今、奇跡が起き始めた。

レオンダー「行くぜ、相棒!!」

スピーディニング「兄弟、こいつらも今始末してやるぜ!!」

レオンダーとスピーディニングが同時にかかって、ストライクとシンシアに襲いかかった。

ストライク、シンシア「そこっ!!」

レオンダーとスピーディニングの襲撃に先手を打って2人で同時にパンチを繰り出した。

レオンダー、スピーディニング「うっ!!」

ストライクとシンシアに先手を打たれて殴り飛ばされたレオンダーとスピーディニング。

キラーヒッツ「この野郎、シューティングキラーショット!!」

キラーヒッツが右手に持っているカタールランチャーを発光しながら右腕からワイヤーを発射し、2人に向けた。

ストライク、シンシア「ヒーローライドチェンジ!!」

ストライクとシンシアはフェッター達から託されたヒーローライドジュエルからファイツとスーパーレディのヒーローライドジュエルを出して、変身した。

ストライクファイツフォーム、シンシアレディフォーム「はあああああー!!」

2人が同時にパンチを繰り出して、キラーヒッツの発射したカタールランチャーを払い、そのまま彼の元に飛び込んで、次はウォーテイルとウォーテイルにフォームチェン

ジした。

ストライク大和丸フォーム「プリキュア・大和突鬼破!!」

シンシアウオーテイルフォーム「プリキュア・ウオーテイルアクアランス!!」

2人の力で持つ槍技を繰り出し、キラーヒッツにぶち込んだ。

ストライク大和丸フォーム、シンシアウオーテイルフォーム「ヒーローライドチェンジ!!」

次はバルクマツスラーとスーパーレディにフォームチェンジしたストライクバルクフォームとシンシアレディフォームがパワーを得意としながら、パンチで力いっぱいキラーヒッツに殴り込んだ。

キラーヒッツ「うわあああああー!!」

2人の連続フォームチェンジによって圧倒されたキラーヒッツ。

レオンダー「いい気になるなよ!!」

スピーディニング「貴様らぶち殺してやる!!」

レオンダーとスピーディニングが再び立ち上がって、ストライクバルクフォームとシンシアレディフォームに合体技で攻撃しにかかった。

レオンダー、スピーディニング「パイルニードルブレイカー!!」

スピーディニングが両脚を巨大な針に変えて、レオンダーが伸ばしながらスピーディニングの肩を掴んで共に回転して、ストライクバルクフォームとシンシアレディフォームに襲いかかった。2人は次のフォームにチェンジし、ストライクは烈陣丸、シンシアは光陰命のフォームにそれぞれなり、ストライク烈陣フォームは戦烈鬼で斬り払い、シンシア光陰命フォームは手で五芒星の陣を形成して光線で攻撃した。

レオンダー、スピーディニング「うわあああああー!!」

2人の同時攻撃を喰らい、返り討ちに遭わされたレオンダーとスピーディング。続いてファイツとヴォイダートにそれぞれフォームチェンジにしたストライクとシンシアが同時で決める。

ストライクファイツフォーム、シンシアヴォイダートフォーム「ダブル・プリキユア・パンチ!!」

ストライクファイツフォームとシンシアヴォイダートフォームが同時に繰り出すパンチでレオンダーとスピーディングに殴り込んだ。次に翔華楽と隼疾風にフォームチェンジし、ストライク隼疾風フォームが飛び回りながらレオンダーとスピーディングに突撃し、続いてシンシア翔華楽フォームが2つの天翔心を両手に持ちながら舞いながら斬撃した。

ストライク隼疾風フォーム、シンシア翔華楽フォーム「ヒーローライドチェンジ!!」

次にソールとウイザーデイにフォームチェンジし、ストライクソールフォームがミョルニアから雷を放電し、シンシアウイザーデイフォームがウイザーデイロッドに魔力を

集中して一気に魔法光線を放ち、レオンダーとスピーディングを撃退した。残りはハデウスダイヤモンドベリーソードフォームのみとなった。

ハデウスダイヤモンドベリーソードフォーム「貴様らあ!!」

ストライクソールフォーム「残りはあなただけよ!!」

シンシアウイザーデイフォーム「あなたの悲しみと憎しみの連鎖を終わらせてみせる!!」

ハデウスダイヤモンドベリーソードフォーム「ならば今日が貴様達の最期にしてやる!!」

全てをぶつけるため、両者の決着が始まろうとした。ブルームとイーグレットの力をフュージョンし、ハデウスダイヤモンドブルームイーグレットフォームとなって、空中を飛び回らながら光弾を連射した。2人はフォームチェンジし、ストライク鉄齋フォームとシンシアガンニークスフォームとなり、ストライク鉄齋フォームが拳で連打で繰り出しながら光弾を殴り払い、さらにシンシアガンニークスフォームがガンニークスガン2丁で空中にいるハデウスダイヤモンドブルームイーグレットフォームに攻撃した。

ハデユスダイヤモンドブルームイーグレットフォーム「うっ!!ならばこいつは!!」

次にメロディとリズムをフュージョンし、ハデユスダイヤモンドメロディリズムフォームでミラクルベルティエ・クロスロッドとファンタスティックベルティエ・クロスロッドを両手に持ちながら必殺技を発動した。

ハデユスダイヤモンドメロディリズムフォーム「プリキュア・ミュージックロンド・スーパーカルテット!!」

ミラクルベルティエ・クロスロッドとファンタスティックベルティエ・クロスロッドから漆黒の色の5本のエネルギーリングが出現し、漆黒のハート形の光と共に螺旋の光波を描きながらストライク鉄齋フォームとシンシアガンニークスフォームに喰らわせた。

ストライク鉄齋フォーム、シンシアガンニークスフォーム「うっ!!」

2人はハデユスダイヤモンドメロディリズムフォームの必殺技を喰らい、すぐに

フォームチェンジし、ストライクブレイディオフォーム、シンシア明利江フォームとなつて、斬撃を繰り出した。

ハデユスダイヤモンドメロディリズムフォーム「ハデユスライドフュージョン!!」

次に変身したのは、ブラックとホワイトを組み合わせ姿となり、肉弾戦を活かした戦いで2人に迫つた。

ハデユスダイヤモンドブラックホワイトフォーム「はあああああー!!」

パンチを連打して繰り出していき、さらにキックで思いつき打ち込んだりするハデユスダイヤモンドブラックホワイトフォーム。

ストライクブレイディオフォーム、シンシア明利江フォーム「負けるわけにはいかな
い!!」

そう言いながら2人はフォームチェンジし、ストライクボルケリートフォームとシン

シアスカヴァフォームが炎と氷を組み合わせた同時攻撃ですハデユスダイヤモンドブラックホワイトフォームに喰らわせて、そして次にストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリーフォームとなつて、ハデユスダイヤモンドブラックホワイトフォームに攻撃する。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンナックル!!」

シンシアフェアリーフォーム「プリキュア・フェアリーボール!!」

2人が同時に必殺技を発動しながらハデユスダイヤモンドブラックホワイトフォームに攻撃し、基本形態へ戻させた。自分達もまた基本形態へ戻り、彼女に合体技で決めるべく、掴み始めた。

ストライク、シンシア「プリキュア・ツインバスターアタック!!」

2人はハデユスダイヤモンド掴んで、2人が全身が光り出し、2人が空中ジャンプして敵持ち上げたまま頭上に逆さまにし、左右の両腕、両腿を掴んで、相手の首を自分の人の肩で支えて、尻餅して地面への着地を急降下して地面に着地し、衝撃を与えた。

ハデユスダイヤモンド「わあああああー!!」

2人の合体技によって強い衝撃を受けたハデユスダイヤモンドはついに倒された。そしてこの戦いに勝利をした。

ストライク「やつと勝てた……。」

シンシア「はあ、はあ、はあ……。」

ハデユスダイヤモンドに勝利をしたストライクとシンシアは全力を尽くした故に倒れたストライクとシンシア。

トットム「やつと勝てたな。」

ペル「ええっ。」

アーニヤ「そうですね。」

激しい死闘に勝利をしたプリキュア。戦いに敗れて元の姿へ戻った六花に悲しい事が訪れた。

六花「ラケル、ラケル、ラケル、お願い目を開けて!!」

ラケル「六花、もう僕は長く持たない……だから青太と一緒に幸せになるんだ……」

六花「嫌だ、ラケル死なないで、お願い!!」

ラケル「僕はハデユスの邪悪な力で吸収し過ぎて耐え切れずもう身体が持たないよ……だからありがとう六花……」

ハデユスの邪悪な力の吸収のし過ぎでラケル自身の身体はもう持ちきれず、命が尽きた。そして彼は消滅していった。

六花「ラケルうううううー!!」

今まで大切なパートナーが目の前に死んで消えていく姿に泣きながら涙を流す六花。

マナ、ありす、真琴「ラケル……!!」

ラケルの最期はマナ達も彼が死ぬ姿を見た。一緒に戦った仲間の最期を見届け、悲し

みに包まれた。

スピーディニング「うっ、あつ。」

倒されたスピーディニングが立ち上がって、下から降りようとした。

レオンダー「スピーディニング!!」

スピーディニング「敗者の俺に生きる資格はねえ。」

レオンダー「待ってくれ、スピーディニング!!」

スピーディニング「じゃあな、兄弟……俺達はずっとダチだよ……!!」

レオンダーとは日々一緒に戦い、友として想ったスピーディニングは彼に大事な友だったと告げて最上階から飛び降りて自決した。

レオンダー「スピーディニングうううううー!!」

相方のスピーディニングの最期に涙を流すレオンダー。この戦いに悲しみに包まれ、

大切な仲間の死に涙を暮れていた。
次回 36話へ続く

第36話 分かり合うために

ハデユスダイヤモンドとの戦いに勝利をしたプリキュア達は戦いが終えて、ぶたのしっぽにいた。

大貝町

ぶたのしっぽ

2F

部屋

アイカ、はるな「うっ。」

マナ「目が覚めたね。」

アイカ「マナさん。」

マナ「もう大丈夫？」

はるな「はい。」

マナ「他の子も下にいるわ。ちやうど食事をしている最中よ。」

目が覚めたアイカとはるなは1階に降りて、1階のテーブルで仲間達と食事をしようとするが、そこに戦闘中に落下した咲耶歌の姿がいた。

咲耶歌「アイカちゃん、はるなちゃん!!」

アイカ、はるな「さっ、咲耶歌さん?!」

海「私も驚いたわ、咲耶歌が生きていたなんて。」

文「もうびつくりさせるんだから。」

咲耶歌「驚かせようと思って。」

麗奈「あなたはあの年寄りとその2人に助けられたんでしょ。」

アイカ「年寄りとその2人?」

落下した咲耶歌を助けたのは年寄りとその2人によって救われたと言う。

D r t ラウム「わしとその2人じゃ。」

その人物とはかつてクライアス社のD r t ラウムとキュアミューズだったアコとキュアフォーチュンだったいおなだ。

ペル「キュアミューズとキュアフォーチュンだったおふたりがいるとは。」

アコ「私は彼女に謝りに来たの。」

いおな「私はあなた達今のプリキュアがどんなのか会いに来たのよ。」

海「ここであつてプリキュアだった方々に会えるのも何かの運命ね。」

麗奈「それとあつてクライアス社の者がどうしてここに。」

Drトラウム「息子に謝りたいんじゃない。」

一同「息子？」

彼には息子がいた。今テーブルに黙って座っているキラーヒッツに関係があつた。

キラーヒッツ「……。」

Drトラウム「息子よ。」

アイカ「えええ?!」

はるな「もしかして親子?!」

Drトラウムとキラーヒッツが親子だった事に驚く一同。

キラートイツ「わざわざ何しにに来た。」

D r t ラウム「お前がこんな事になってしまったのは全部わしの責任じゃ。」

キラートイツ「全部あんたのせいでこうなったんだ!!俺はお前に虐待をされて、お前のせいで家庭はめっちゃめっちゃ、人生は台無しだ!!」

D r t ラウム「わしはプリキュアに敗れて、腹いせに息子や妻に暴力を振ってしまった。息子は出て行ってしまい、家族は崩壊した。」

D r t ラウムはプリキュアに敗れて、腹いせに家族に八つ当たりし、妻に暴力を振るい、まだ幼かった息子のキラートイツに虐待をし、家庭は崩壊した。彼の暴力に耐え切れず家を出たキラートイツはパレルワールドで裏社会で殺人稼業をしていき、殺人のやり方を身につけて学び、さらに自分の身体をサイボーグにし、右腕にワイヤーを内蔵し、カターランチャーを手に持ったまま刺殺する。やがて彼は偶然出会ったジャイアント・ザ・ドージャー、ハンニヤードと出会い、3人はデスバイオレンスを結成した。

D r t ラウム「お前には本当にすまなかった、ヒッツ。」

キラートイツ「黙れえ、俺は今もあんたが憎い、今もずっとあんたが憎いんだ!!」

今まで自分を虐待した父を激しく憎むキラーヒッツ。

一同「……………」

親子の問題はこの2人だけでなかった。

六花「……………」

ハデユスダイヤモンドとして戦った六花の姿がいた。

青太「ママ、会いたかったよ、ママ!!」

母の六花とついに再会を果たす青太。だが、六花は辛い表情をしていた。

六花「ママ、失格ね。」

青太「僕はママが大好きだよ。僕はママがどんなに辛い思いをしてきたのかわかる

よ。」

六花「あなたにずっと今まで母親として何もしてあげられなくて本当にごめんなさい。」

青太「ママ。僕はね、ママがいなくなるのが嫌なんだ!!」

六花「うっ、うううっ。」

貧困生活をして来て、息子の青太に何もしてあげれずに母親失格と感じる六花。

みなみ、きらら、トワ「・・・。」

そんな、2人の親子の前にみなみときららとトワがやって来た。

六花「?」

3人は何やら不穏な表情で六花の顔を殴り込んだ。

六花「あっ!!」

みなみ「このクズ女!!」

きらら「よくも平気な顔でいられるわね!!」

トワ「パフとアロマを死んだ事を何と思っていないの?！」

六花「あっ!!」

彼女達の大事な仲間だったパフとアロマの死に六花を責めるみなもときららとトワ。

はるか「やめて!!」

その時、はるかが現れて、止めに入った。

みなみ「はるか、この女はパフとアロマを殺したのよ!!」

きらら「この女は何とも思っていない!!」

トワ「このような恥晒しを許す訳にはいきません!!」

はるか「3人は六花さんがどんなに辛い思いをして来たのか何もわかってない!!」

みなみ「この女を許したくない・・・!!」

きらら「パフとアロマを殺した女が憎い・・・!!」

トワ「あなたはプリキュアの名を恥を晒した女を庇うのですか?！」

はるか「3人がやっているのは憎しみよ、憎しみは憎しみを生むだけだよ!!プリキュアは人を憎んじやダメだよ!!」

みなみ「そつ、それは……」

はるか「美しくないよ……憎しみに囚われたみなみさん、きららちゃん、トワちゃんらしくないよ……。憎しみは何も幸せにはならないよ……」

きらら「うっ、うっ、うううっ。」

トワ「わあああーん!!」

みなみ「はるかー!!」

パフとアロマの死を六花に憎しみをぶつけたみなみ、きらら、トワを説得したはるかは、憎しみは憎しみしか生まない、憎しみから幸せは生まれない、憎しみはさらに人を不幸にし、争いを激化させるだけだと告げた。一方、幽魔界では、ハデユスダイヤモンダラの敗北の報を知った幹部達は、

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

居間

ザッパード「ハデユスダイヤモンド達が負けただと?!」

アルス「あああつ。」

ザッパード「せつかく奪い取ったプリキュアの力が奪い返されるとはクソっ!!」

アルス「俺らでやるしかねえ。」

プリキュライドジュエルを奪い返された事で奪還の動きにかかるザッパードとアルス。そんな中、ラミイとバイソックと阿修羅弁慶と宗司は何やら深刻な表情をしていた。

ラミイ「あたし達にはもう後はねえんだ。」

バイソック「俺達インフェルノはプリキュアに何度も敗れてきた。」

阿修羅弁慶「これ以上負ける訳にはいかない。」

宗司「俺達も本気を出せねば。」

ラミイ「昔みたいな惨めな思いはしたくねえ。」

バイソック「俺は昔の俺には戻りたくねえ、俺はハデユス様から授かった力を無駄にはしたくねえ、ハデユス様のために尽くすぞ!!」

プリキュアを倒すために必死で執念を燃やすラミイ、バイソック、阿修羅弁慶、宗司。彼らの前にカロンが現れた。

カロン「お前達。」

ザッパード、ラミイ、アルス、バイソック、「カロン様!!」

阿修羅弁慶、宗司「カロン殿!!」

カロン「プリキュアを倒すの期待しているぞ。」

バイソック「あああつ。」

ザッパード「早速ぶち抜いて行くぜ。」

ラミイ「プリキュアを倒してやる。」

アルス「俺達がズタズタにしてやる。」

阿修羅弁慶「拙者達の力、見せてやる。」

宗司「出るぞ。」

人間界へ向けて出撃するザッパード達。

カロン「ふふふふっ。」

Drīージス「彼らにはもういずれ後はないからな。」

一方、人間界では、六花、レオンダー、キラーヒツツら3名をどうするのか議論していた。

パラレルワールド

人間界

ぶたのしっぽ

麗奈「この3人の件だけど、野放しにする訳にはいかないわ。WJGの部隊が来て連行させるわ。」

アイカ「この3人はどんなに辛い思いをして来たのかわかっているのですか？」

麗奈「罪を犯した者にはそれなりの処罰を与えられなきやならないわね。」

はるな「私は反対よ、辛く苦しい思いをして来た3人を処罰する事は反対よ。」

咲耶歌「あたしも反対よ、処罰させるなんてあたしは納得しません。」

海「この3人のして来た事は許されないのは確かよ、でもどんな辛い思いをして苦し日々をして来たのか私達は反対よ。」

文「麗奈さん、あなたは人の辛い気持ちを考えた事がありますか?！」

六花、レオンダー、キラーヒッツをWJGに引き渡して処罰しようと考える麗奈に対し、アイカ、はるな、咲耶歌、海、文が反対をした。

麗奈「悪いけど罪人を許すつもりは尚更ないわ。インフェルノがどれだけ悪事をし、人々を苦しめて来たのかわかる? 私は悪が憎い、その悪を斬るために私は戦い続けているのよ。」

アイカ「憎しみは何も生みません!!」

はるな「憎しみは憎しみを生むだけです!!」

麗奈「小学生の分際が生意気な言うな!!」

小学生のアイカとはるな、2人の9歳年上の麗奈が言い争いになり、3人の処罰の賛否を巡っていた。

ペル「落ち着いてください。」

トットム「熱くなりすぎだ!!」

アーニヤ「喧嘩はダメです。」

トットム、ペル、アーニヤら3匹の妖精が仲裁するが、麗奈は考えを変えなかった。

麗奈「私は考えを変えるつもりはないわ。」

アイカ「どうしてそこまで人を許さないの?!」

はるな「過去の事があつたから？」

麗奈「あなた達には関係のない事でしょ!!私は故郷を奪った悪焔血が憎い!!悪焔血のせいで何もかも失つたのよ!!あなた達にはわかるの?!」

故郷を奪われ、全て何もかもが失い、悪焔血のせいで全て狂わされた麗奈は人を許さないという事を強く気持ちでいた。

アコ、いおな「……。」

そんな中、彼女達の前にアコといおながやって来た。

アイカ「アコさん。」

はるな「いおなさん。」

いおな「憎しみに囚われないで。」

麗奈「……。」

アコ「私はジャスティスウオーで仲間を裏切る行為をして、他の仲間から恨まれたの。」

いおな「私は姉が犠牲になった事を憎しみを抱いていたのよ。だけど結局、憎しみだけは勝てなかった。」

麗奈「……。」

アコ「敵を倒すだけが全てじゃない。敵を救済し、解り合う事がプリキュアよ。」

麗奈「解り合う……。」

アコ「プリキュアは誰か救済する事よ。敵を倒す事が全てじゃないの。」

いおな「かつてブラックとホワイトは自分達のその強い力で敵を消してしまった事に後悔はあるの。」

アイカ「なぎささんとほのかさんも。」

いおな「敵を倒すだけが全てじゃないの。強い力は傷付けてしまう。」

アコ「プリキュアが悲しみや憎しみや苦しみに囚われて欲しくないの。だからプリ

キュアを大事にして。」

プリキュアが何なのか、敵を倒す事が全てでなく、悲しみや憎しみや苦しみに囚われている敵を救済、和解し、そして共に歩む事だ。またプリキュアの力は相手を傷付けしてしまうだけの力があり、その力で相手を消してしまう事もある。アイカ達にプリキュアの力を大事にするよう求めた。

アイカ「あたし達、先輩方からプリキュアの力を大事にします。プリキュアの力、妖精達も必ず復活する日を。」

はるな「ジャスティスヒーローの皆さん先輩プリキュアと同じように大事にします。いつか先輩達にプリキュアの力を返す日を。」

プリキュアとジャスティスヒーローの力を常に日々大切にし、彼女達の想いを無駄にしないためにするアイカ達。そんな中、外で騒ぎのような音が鳴った。すぐに部屋から出たアイカ達は、そこにザッパードらが現れて攻撃をしていた。

外

ザッパード、アルス「オラオラオラ、プリキュア出て来い!!」

ラミイ「プリキュア、お前達を殺してやる!!」

バイソツク「プリキュア、出て来い!!」

阿修羅弁慶「来ないなら力づくで出すのみだ!!」

宗司「お前達をやらねばならないんだ!!」

廃墟とした町や人々に攻撃を加えるザッパード達。プリキュアを倒さんと燃やすラミイ、バイソツク、阿修羅弁慶、宗司。

アイカ「インフェルノ!!」

ザッパード「プリキュア、来たか。」

ラミイ「お前達の存在だけは忌々しいんだよ!!」

バイソツク「お前達が憎い!!」

アルス「プリキュアをここでぶち殺してやるぜ!!」

阿修羅弁慶「今日こそ仕留めてやる!!」

宗司「お前達の命、ここで仕留めるまでだ!!」

はるな「何でそこまで戦いをするの?!」

ラミイ「あたしらを惨めに追い詰めた奴らを殺してやりたいんだ!!」
バイソック「お前達は惨めに追い詰められた者の気持ちがかかるか!!俺達は世界をぶち壊してやるんだよ!!」

咲耶歌「もうこんな事をして楽しいの?!」

海「あなた達は人を傷付けて楽しいの?」

文「もうこんな事やめよう。」

ザッパード「俺達が簡単に受け入れると思うか?」

アルス「俺達はなあ、暴れるのを楽しいからやってんだよ。」

麗奈「それがお前達の本性か。」

アイカ「麗奈さん。」

麗奈「インフェルノは分かり合えない相手よ。倒すのみよ。」

はるな「敵は倒すだけが……。」

麗奈「敵は話を通じないみたいね、変身よ。」

アイカ「うっ。」

戦闘を繰り返すインフェルノの面子らに分かり合えないと判断した麗奈はアイカ達に変身するよう伝え、キュアートフォンチェンジャーを出して、変身する。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアトフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文は全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを着用し、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フエッター「正義の剣、キュアフエッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

ストライク、シンシア、フエッター、マジック、ジャック、クイーン「フューチャー
フォースプリキュア!!」

プリキュアに変身した6人は、ザッパードらと対決する。

ザッパード「行け、兵士達よ!!」

ザッパードは手下のゾンビーン、デュラハーン、バトル、マシンソルジャー、スカ
ルトイ、インフェルノ兵らにかからせて、プリキュア達に攻撃する。

ストライク、シンシア「たあああつ!!」

ストライクとシンシアがパンチを同時に出して、ゾンビーンとデュラハーンの部隊を

蹴散らした。

マジック、ジャック、クイーン「はああああー!!」

マジックがマジックステッキスピア槍モード、ジャックがジャックステッキスピア槍モード、クイーンがキュアナギナライフル薙刀モードで3つの槍を強い突でマシンソルジャーとスカルトイと蹴散らした。

フエッター「はあっ!!」

フエッターはキュアカタナテツポウ鉄砲モードで空中にいるバトルを次々と撃ち落とし、さらに刀モードに切り替えて、地上にいるインフェルノ兵を斬撃した。

ザッパード「撃ち抜いてやる!!」

ザッパードがサブマシンガン2丁を両手に持ちながらストライクとシンシアに射撃する。

ストライク、シンシア「!!」

ザッパードの攻撃をかわし、左右に分かれて、ザッパードに挟みうちして同時にキックで打ち込んだ。

アルス「アルスステイングヘアー!!」

アルスがの髪を伸ばしながら先端を尖った状態でストライクとシンシアに攻撃するが、2人はアルスの髪を掴みながら同時に回さして投げ飛ばした。

ラミイ「散れ!!」

ラミイが全身の包帯を放ちながらマジックとジャックに向けた。

バイソック「バイソックチャージ!!」

バイソックが2人に向かって、走りながら頭の角で向けて突撃して体当たりする。

マジック、ジャック「!!」

マジックとジャックはラミイとバイソックの攻撃をかわして、マジックステッキスピア槍モードで攻撃した。

クイーン、宗司「はあっ!!」

クイーンは宗司と1対1でぶつかり合い、クイーンはキュアナギナライフル薙刀モード、宗司は菊花丸で刃同士ぶつかり合い、クイーンがキュアナギナライフル薙刀モードを両手で持ちながら360度回転して真っ向から突き、宗司はクイーンの攻撃を菊花丸で受け止めた。

フェッター「鬼丸!!」

阿修羅弁慶「麗奈!!」

再び因縁の対決をするフェッターと阿修羅弁慶。フェッターがキュアカタナテツポウ刀モード、阿修羅弁慶が薙刀、大太刀で交えてぶつかり合った。

阿修羅弁慶「お主はまだ憎しみに囚われているな。」

フェッター「私は故郷を奪った悪炬血が憎い!!」

阿修羅弁慶「悪炬血様による新しい亜苦羅を受け入れよ!!」

フェッター「誰が受け入れるつもりか?!悪炬血をこの手で斬る!!そしてゴウドウも!!」

故郷を奪った者達に対する強い憎しみを燃やすフェッターは、阿修羅弁慶を強く押し込み、斬撃した。インフェルノの幹部達と激闘するプリキュア達。

ストライク「あなた達は戦いがそんなに大好きなの?!」

シンシア「これが望んだ事?!」

ザッパード「俺達インフェルノは戦う事と世界を支配する事が本望だ。」

アルス「強い奴が支配して当たり前だ。」

マジック「支配なんて間違っている!!」

ジャック「こんなのは許されないわ!!」

ラミイ「あたしらを惨めに追い詰めた奴らが憎い、そいつらにそれ以上の事をしてやりたい!!」

バイソック「俺はずっと周りからバカにされ、差別され、孤独な日々を過ごして来た!!お前らに何がわかる!!」

クイーン「憎しみは憎しみを生むだけよ!!」

宗司「そんなのは知った事か!!」

インフェルノ幹部達はプリキュア達の会話で支配する事を望む者、復讐する者、彼女達に強くぶつけた。

はるか「みんな!!」

インフェルノの幹部と交戦するストライク達の前にはるか、みなみ、きらら、トワ、マナ、六花、ありす、真琴、アコ、いおなが現れた。

ストライク「はるか先生。」

はるか「あなた達だつて彼らを救済出来るはずよ。」

マナ「憎しみの連鎖を断ち切つて。」

アコ「憎しみを終わらすには光よ。」

いおな「光で憎しみを消して。」

はるか達からの言葉で憎しみを消すには光と、その光はプリキュアの持つ光である事で、ストライク達はドキドキプリキュアのプリキュライドジュエルを手にする。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、クイーン「プリキュライドチェンジドキドキ!!」

5人はドキドキプリキュアのプリキュライドジュエルで変身し、ストライクはハーフト、シンシアはダイヤモンド、フェッターはソード、マジックはエース、クイーンはロゼッタへとなって挑んだ。

ザッパード「他のプリキュアに変身した分際が!!」

ザッパードが大型ビームガトリングガンを構えて、ドキドキプリキュアに変身した5人にむけて乱射した。

ロゼツタクイーン「プリキュア・ロゼツタリフレクション!!」

ロゼツタクイーンがラブハートアローから四つ葉のクローバー形のエネルギー障壁を発生して、攻撃を防いだ。

エースマジック「エースショット!!」

エースマジックがラブキッスルージュから赤い薔薇の花びらを纏った強力な赤いビームを発射し、ザッパードに攻撃した。

ラミイ「良い気になるな!!」

全身の包帯を放って、攻撃にかかるラミイ。

ダイヤモンドシンシア「プリキュア・ダイヤモンドシャワー!!」

ダイヤモンドシンシアがラブハートアローを頭上に掲げ、右手で打ち鳴らして猛烈な吹雪を放ち、ラミイの放った包帯を凍らせた。

アルス、バイソック「いい気になるなよ!!」

アルスとバイソックが突っ走りながらハートストライク達に殴りにかかった。

ハートストライク「プリキュア・ハートシユート!!」

ハートストライクがラブハートアローからハート形のエネルギー体を生成して放ち、アルスとバイソックに攻撃した。

阿修羅弁慶「散れ!!」

6本の腕で薙刀、大太刀、棍棒、槍、ハンマー、小太刀を持ってソードフェッターに

乱撃する阿修羅弁慶。

ソードフェッター「はあっ!!」

ソードフェッターが手刀で阿修羅弁慶の持っている武器を全て破壊した。

ザッパード「簡単にやられてたまるかよ!!」

ザッパードが接近戦を持ち込んでトマホークで斬撃しにかかった。

ハートストライク「!!」

ザッパードの攻撃をかわすハートストライクは次はフローラ達4人のG oプリンセスプリキュアのプリキュライドジュエルを出し、変身する。

ハートストライク、ダイヤモンドシンシア、ロゼッタクイーン、ジャック「プリキュライドチェンジプリンセス!!」

4人はG oプリンセスプリキュアに変身し、フローラストライク、スカーレットシンシア、トウインクルクイーン、マーメイドジャックへととなり、4人の華麗な戦いを披露する。

フローラストライク「たあああー!!」

フローラストライクがアルスにパンチを繰り出し、さらにジャンプしてキックを繰り出した。

スカーレットシンシア「プリキュア・スカーレット・スパーク!!」

スカーレットシンシアがスカーレットバイオリンの先端にハナビキーをセットして、敵かな楽曲を奏でながら、バイオリンの弓から炎が吹き出て、アルスに攻撃した。

マーメイドジャック「はあっ!!」

マーメイドジャックが右脚に水状を纏いながらラミイにサマーソルトし、さらに自分の周りから水を拡散して、バイソックに喰らわせた。

トウインクルクイーン「プリキュア・トウインクル・ハミング!!」

トウインクルクイーンが腰部のリボンに付いている星から星状の光を取り出し、それをブーメランのように投げて、宗司にぶつけた。

阿修羅弁慶「舐めるな!!」

武器を失っても素手で勢いでかかる阿修羅弁慶。

ソードフェッター「プリキュライドチェンジハピネス!!」

フォーチュンのプリキュライドジュエルをキュアートフォンチェンジャーに刺して変身し、阿修羅弁慶にパンチを連打し、さらに掌から衝撃波を起こして叩き込んだ。

宗司「まだやられてたまるか!!」

宗司が菊花丸を両手で構えながらプリキュア達に向かって斬りにかかった。

トウインクルクイーン「プリキュライドチェンジスイート!!」

すぐにプリキュライドジュエルミューズをキュアートフォンチェンジャーに刺して変身し、分身体を形成して、宗司を囲んで翻弄した。

宗司「舐めるな!!」

ミューズクイーンが生み出した分身体を斬撃する宗司。その直後に本物のミューズクイーンが宗司に飛び蹴りをした。ドキドキプリキュアとG.Oプリンセスプリキュアとミューズとフォーチュンの力を使ったストライク達がザッパードらを圧倒した。

ザッパード「うつ、ううつ。」

バイソック「さあ、殺れ、俺達を殺せ……。」

戦いに敗れて自分達にトドメをさせと告げたザツパードら。

フローラストライク、スカーレットシンシア、フォーチュンフェッター、エースマジック、マーメイドジャック、ミューズクイーン「……」。

彼らからトドメを刺すよう求められたプリキュア達。戦いで敗れた彼らにトドメを刺せるのか。

フォーチュンフェッター「そんなに死にたいなら私がトドメを刺してあげる。」

フローラストライク「ダメ、彼らを殺しちゃう!! 彼らだってどうしてインフェルノに着いたのか知りたい!!」

スカーレットシンシア「何か悲しい事があって着いたんじゃないって思ってるの!!」
エースマジック「彼らを倒しだけが全てじゃない!!」

マーメイドジャック「インフェルノだって分かり合えるわ!!」

ミューズクイーン「そうよ、私達はプリキュアはみんなの幸せを守るだけじゃなく、敵を救済して分かり合う事よ!!」

フォーチュンフエッター「……」

トドメを刺そうとするフォーチュンフエッターにフローラストライク達が説得し、制止した。フローラストライク達がザッパード達に近付いて話をし出す。

ラミイ「何の真似だ?!」

フローラストライク「あなた達は どうしてインフェルノに戦うの? あたし達はあなた達とは無駄な争いはしたくない。」

バイソック「笑わせてくれるな。」

アルス「俺達インフェルノに分かり合うと言う共感はねえな。」

ザッパード「戦いだけ生涯だ。」

宗司「そのような申し入れは受け入れん。」

ラミイ「あたしらに分かり合うだと笑わせるな!!」

阿修羅弁慶「拙者達に分かり合うなど無用だ!!」

ザッパードらインフェルノの幹部達は彼女との和解を拒み、この場から立ち去り、戦いは終わった。

アイカ、はるな、咲耶歌、海、文「……」。

マナ「きつと彼らだつて分かり合える日は来るよ。」

いおな「いつかはね。」

アコ「えええつ。」

麗奈「さて、この3人を引き渡して処遇をきつちり決めさせないと。」

六花、レオンダー、キラーヒッツの3人をWJGの部隊に引き渡して、処遇を決めさせようとする麗奈。だが、彼女達の前に雷が降り、そこに突如ある人物が現れた。

五官王「待てっ!!」

トットム「あつ、あなた様は五官王様!!」

アイカ「五官王様、どうして!!」

現れたのは、地獄界の閻魔大王と同じ十王の五官王だ。

麗奈「地獄界の方が何をしに？」

五官王「この者達を裁くな。この3人がどんな苦しい生き方で苦しんできたのか。」

麗奈「私は罪人を裁くために……。」

五官王「お主は全く何もわかっておらぬ!!お主は相手の気持ちを考えた事はあるか?!」

麗奈「それは……。」

五官王「彼女らにもやり直せれる機会はある。」

麗奈「……。」

五官王「今回3人の件は閻魔大王様に命じて恩赦する。3人がどのように新しくやり直せれるか。」

地獄界の閻魔大王の命によってWJGに裁かれるはずの六花、レオンダー、キラヒッツの罪を恩赦し、3人に新しい人生を歩ませる。

青太「ママああー!!」

マナ、ありす、真琴「六花!!」

六花の罪が晴れて、彼女に抱きしめて泣くマナ達。

六花「マナ、ありす、真琴、青太……。」

マナ「もういなくならないで!!」

ありす「私達はずつと一緒にいますから!!」

真琴「私達は友達だから!!」

青太「ママの事、ずっと側にいるから!!」

六花「うっ、あつ、わああああーん!!」

彼女達の言葉に涙を流し、その言葉で泣き出す六花。

レオンダー「俺らはこれからもう二度と人殺しをしない事だな。」

キラーヒツツ「あああつ、俺達はゼロからやり直しをする。」

Drトラウム「息子よ。」

キラーヒツツ「親父、これからは俺とレオンダーは全てに足を洗う。俺がこれまで犯してきた罪を全て償っていく。」

人生をやり直すため、自分達が今まで犯した罪を償う事をするレオンダーとキラー

ヒツツ。

アイカ「あの人達、やり直しをするんだ。」

はるか「これからどんな先が待っているのかしつかり見守りたい。」

五官王「お前達にこれを渡す。」

アイカ達に五官王から渡されたのは、ハミイ、シャルル、ラケル、ランス、ぐらさんのフェアリージュエルだ。

咲耶歌「これは?!」

はるな「ラケルのもある。」

五官王「本来ハデウスに加担した妖精だが、愛する彼女のために全てを尽くして自分の命を犠牲になった彼を閻魔大王様が特別にこのフェアリージュエルで蘇らせたのだ。」

六花「ありがとうございます……。」

五官王「全ての妖精達が蘇り、そしてプリキュアの力を戻す日を。」

ピーチとパッション以外の全てのプリキュライドジュエルを集め、更に大半のフェアリージュエルも集まり、残りのフェアリージュエルも間近だ。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

屋上

ドラグード「そろそろ出る時か。」

カロン「インフェルノの本当の力とやらを見せてやろう。」

インフェルノの2人の最高幹部がついに本格的に動き出してきた。

次回 37話へ続く

設定8

インフェルノ

ドラグード

CV：津田健次郎

インフェルノの最高幹部であり、種族は超人で、アルフォート出身。インフェルノの最高幹部の中で彼は地位はNo.2、実力は高く、超人でありながらプリキュアを瞬殺、惑星やパラレルワールドや数億の宇宙艦隊をたつた1人で滅ぼす力を持つ。彼は外見は初老した男性で、勇ましさと武人さを持つ。戦闘時は全身に西洋の龍と騎士を組み合わせたドラゴアーマーを身に纏い、頭部は龍のアーマーマスクをしているのが特徴し、背中にある翼のドラゴウイングは飛行が可能、両腕に装備されているアームドラゴブレードや多彩な技を持つ。その実力はファイナルゼロ（Ver.2）と互角である。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マジンボーンのクルード／ダークワイバーン、キン肉マンの悪魔將軍を元に

必殺技

龍獄双龍斬

ドラグードの必殺技。両腕のアームドラゴブレードで敵にX字斬りする。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

龍獄龍光波

ドラグードの必殺技。掌からエネルギー状の龍の光線を敵全体に放つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

龍獄昇天拳

ドラグードの必殺技。敵に向かって拳を上げて殴り込む。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

龍獄龍光斬

ドラグードの必殺技。アームドラゴブレードにエネルギー状を纏いながら敵に強力な斬撃を与える。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

龍獄滅龍波

ドラグードの必殺技。巨大なエネルギー状の龍を形成して、敵全体に喰らわせる。そ

の威力は惑星やパラレルワールド1個分を消滅させる事も可能。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

龍獄大回転

ドラグードの必殺技。アームドラゴブレードを前に出して前方宙返りしながら複数の敵に突撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

龍獄の断頭魔

ドラグードの必殺技。敵2人を持ち上げて上に投げ、自身も空を飛んで自身の両脚の膝を2人の首に近付け、空中から急降下して自身の両脚の膝に敵2人にそれぞれの首に近づけたまま、地面に叩き込み、衝撃波を起こす。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

コロッセオス

CV：濱野大輝

インフェルノの大幹部。種族は人間、アルフォート出身。ドラグードの配下であり、性格は荒々しく、武闘派であり、実力も高い。戦闘時は全身にサメとワニを組み合わせ

たシャークゲーターアーマーを身に纏い、武器はシャークトライデント、アームゲーター。水中戦を得意とし、攻撃、防御力共に高い。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マジンボーンのドロツサス／ダークアリゲイツ、大怪獣ラツシユのラーズを元に

必殺技

アリゲイツバイトナツクル

コロツセオスの必殺技。両腕のアームナツクルにエネルギー状の牙を纏いながら相手を左右から打ち込む。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

シャーククラツシユスピア

コロツセオスの必殺技。シャークトライデントに水状を纏いながら敵に突撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

シャークゲイツウオーターバースト

コロツセオスの必殺技。シャークトライデントにエネルギーを集中して、水状のエネルギー光線を放ち、敵全体に攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在に

も大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ヴァイル

CV：前野智昭

インフェルノの大幹部。出身は人間、アルフォート出身。ドラグードの配下であり、性格はクールであり、頭脳家であり、実力も高い。戦闘時は全身に鷲とコンドルを組み合わせたイールドルアーマーを身に纏い、武器はツインイーグルガン、翼のコンドルウィング。空中戦を得意とし、動き、持久力共に高い。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マジンボーンのバイロ/ダークイーグル、大怪獣ラツシユのシーズを元に

必殺技

イーグルツインショット

ヴァイルの必殺技。イーグルツインガンを風状の弾を連射して敵全体に攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

コンドルウィングタイプーン

ヴァイルの必殺技。コンドルウィングを羽ばたきながら竜巻を発生して、敵全体に攻

撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

イードルエアリアルアタック

ヴァイルの必殺技。コンドルウイングで飛び回りながら敵全体に突撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

必殺技

デスサイズスラッシュ

カロンの必殺技。大鎌の刃に闇状を纏いながら敵を斬り込む。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

デスサイズフレイム

カロンの必殺技。掌からハデウスの邪悪な力で形成した火炎を敵全体に放つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

デスサイズシャドウスラッシュ

カロンの必殺技。カロンが分身を形成して、敵全体に斬撃する。実体のない者や不

死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

デスサイズダークローリングショット

カロンの必殺技。カロンがハデユスの邪悪な力で形成した6つの闇状の光輪を敵全体に放つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

W J G

ヨーゼフⅡソボレフ(43)

CV：石川英郎

W J Gの隊員。階級は少将。外見はガチムキ中年男性で、普通の人間でありながらプレキキュアと同じ格闘を得意とし、武器はナツクルダスターである。麗奈達の上司でもあり、師団長も務めている。

アレクセイⅡクズネツオフ(33)

CV：白石充

W J Gの隊員。階級は大佐。いくつかの戦場を戦い抜き、高い実力を持つ。戦闘時はコンバットスーツを着用し、武器はビームランチャーで、狙撃の腕は高い。

アシモフⅡモロトフ(27)

CV：遠藤大智

WJGの隊員。階級大尉。タフな筋肉質であり、高い力持ちで、1個師団を1人で壊滅させる実力を持つ。武器はバトルハンマーである。

ジャステイスヒーロー

エンキナウ

CV：河西健吾

ジャステイスヒーローの1人。姿は髪が長く頭に角が生えている超人。能力は格闘を得意とし、技を駆使して相手を翻弄し、バランスに優れている。現在はヒーローライドジュエルに入っており、アラムが使用して召喚し、またアラムと一体化してキュアアラムエンキナウフォームへとなる。

キュアアラムエンキナウフォーム

アラムとエンキナウが一体化した姿。中東の闘士の姿をし、格闘を得意とした戦いを得意とする。能力はバランスに優れており、あらゆる技を駆使していく。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・エンキナウクロスキック

アラムエンキナウフォームの必殺技。脚に気を纏いながら敵に十文字蹴りする。相

手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・エンキナウブラストルパンチ

アラムエンキナウフォームの必殺技。拳に気を纏いながら無数のエネルギー状の拳を放つ。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・エンキナウブライトクラッシュユナツクル

アラムエンキナウフォームの必殺技。両拳と両脚に気を纏いながら敵に向かって殴るや蹴るの連発する。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ゴールドメツシユ

CV：濱野大輝

ジャスティスヒーローの1人。黄金の鎧を身に纏い、さらに黄金の武器のゴールドツインダガー、ゴールドアロー、ゴールドアックスを装備しているのが特徴で武器を使った攻撃を得意とする。暴れん坊でかなりの豪快な性格。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ジュルフが使用して召喚し、またアラムと一体化してキュアジュルフゴールドメツシユフォームへとなる。

キュアジュルフゴールドメツシユフォーム

ジュルフとゴールドメツシユが一体化した姿。ジュルフにゴールドメツシユの黄金

の鎧を身に纏っており、黄金の武器のゴールドツインダガー、ゴールドアロー、ゴールドアックスを装備し多彩な攻撃を得意とする。鎧を身に纏っている事で防御力も高い。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ゴールドツインザンバー

ジュルフゴールドメッシュフォームの必殺技。ゴールドツインダガーを発光しながら敵に斬撃する。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ゴールドアローレイン

ジュルフゴールドメッシュフォームの必殺技。ゴールドアローを構えて多数の光矢を放ち、敵全体に降り注ぐ。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ゴールドブレイクアックス

ジュルフゴールドメッシュフォームの必殺技。ゴールドアックスを発行して力を集中して、敵に強力な斬撃を与え、さらに衝撃波を起こして、敵全体に与える。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

第37話 龍の君臨

ハデユスダイヤモンドとの戦いから1週間が経ち、彼女達はいつも日常生活を送っていた。

ひいらぎ幼稚園

咲耶歌「はぁーい、今からマジックショーを始まるよー!!」

咲耶歌は以前来たひいらぎ幼稚園で再び来て、今度は参観のためにやって来て、家族で来た人達も笑顔にするためにマジックショーを行う。

咲耶歌「じゃあ今から始めるよ。」

左手に赤い袋を持っている咲耶歌は、今から始めるマジックをお披露目する。

咲耶歌「1、2、3!!」

咲耶歌は左手に持っている赤い袋からたくさんの花が出て来て、さらかにたくさんの花から花びらが吹雪のように舞いながら観客を驚かせた。

子供1 「わあ、凄い!!」

子供2 「凄過ぎる!!」

咲耶歌の披露したマジックに驚く子供は笑顔になり、一緒に観にいた親も喜んだ。

増野志保（スーパーレディ）「あなたも夢のために一生懸命頑張っているわね。」

咲耶歌のマジックの一生懸命頑張っている姿を見届けるスーパーレディ。

水野弁護士事務所

水野冴子（ウォーターティル）「いつも勉強しているわね。」

海 「私は将来弁護士になる事を目指します。」

海が将来、弁護士になるに勉強をしており、彼女は水野冴子（ウォーテイル）の事務所で様々な法律の知識の本を学びながら勉強している。

海「私は弁護士になって困っている人を助けたい。」

ひまわり学園

男の子「わぁーい、文お姉ちゃんだ。」

女の子「遊ぼう、遊ぼう。」

文「今日も楽しく遊んで行こう。」

いつものようにひまわり学園の子供達と一緒に楽しく遊ぶ文。

あさぎ市

あさぎ市役所

W J G 地下秘密基地

訓練場

麗奈「はあっ!!」

麗奈は一人で訓練場で射撃の練習を行い、100 km離れた的の中心部を拳銃で遠くから射撃し、その遠距離からの中心部を撃ち抜いた。

麗奈「まだまだ足りないわ。もっと鍛えていかないと。」

そのまま同じ事を続ける麗奈は100 km離れた的の中心部を射撃し、遠距離からの攻撃を訓練に励んだ。アイカとはるなはるかとはるか3人で街中を歩いていった。

市街地

アイカ「今日は休日でみんな、ゆっくりしているね。」

はるな「みんなそれぞれ楽しんでるみたいね。」

トットム「そりゃ楽しい休暇だからな。」

はるか「沙耶歌ちゃんにはひいらぎ幼稚園でマジックショー、海さんはウオーテイルの事務所で弁護士になるために勉強で、文さんはひまわり学園で子供達の面倒を見たりしている、麗奈さんは毎日戦闘訓練。」

ペル「皆さん、ゆっくり過ぎられてますね。」

アイカ「咲耶歌さん、海さんは将来に向けて進んでいるね。」

はるな 「2人は日々一生懸命夢に向かって進んでいるんだね。」

はるか 「麗奈さんは奪われた故郷を取り戻すために日々強くなるために鍛えてるね。」

アイカ 「麗奈さんも一生懸命頑張ってるね。」

はるな 「私達の夢は何だろう。」

アイカ 「言われてみると何だろう、あたしとはるなの夢は……。」

はるな 「難しいね。」

アーニヤ 「妖精の私達でもわかりませんわ。」

麗奈や沙耶歌や海が将来に向かって向かっているのに対して、自分達に将来が何なのかわからないままでいるアイカとはるな。

はるか 「将来の夢ね、私はあったけど挫折して現実を選んだの。教師になったの。」

アイカ 「はるか先生は学校の先生になったんだ。」

はるか 「夢は見る、なる者じゃないの。自分で何を見つけていきたいのか。」

アイカ、はるな 「自分が何を見つけていきたいか……。」

自分達が2人がどのように将来を見つけて目指すのか考える。一方、インフェルノで

は大きな動きが起きようとしていた。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

会議室

バトルヴェソール「人間界へ再び行くのはこの俺だ!!」

前回敗れたバトルヴェソールが人間界へ再出撃を求める強く求めていた。

ヴェルアル「何を言う、貴様はプリキュアに敗れて大恥をかきおつて!!」

キングファラーミー「そうだ、お前はプリキュアに失態したではないか。それにわしの仲間を1人失った事もたかいぞ!!」

バトルヴェソールが前回の出撃でプリキュアに敗れた事に非難するヴェルアルと同じ最高幹部のキングファラーミー。

バトルヴェソール「あの時は部下がだらしなかつたせいであつたんだ!!」

キングフアラミー「自分の失態を他人に押し付けるつもりか?」

バトルヴェソール「黙れ、俺は常に悪くない!! 部下が悪いんだ!!」

キングフアラミー「無能の分際が!!」

バトルヴェソール「俺とやり合う気か、包帯王!!」

キングフアラミー「わしとやり合う気か無能が!!」

言い争いをする中、同じ最高幹部同士がやり合いをしようとする。その時、部屋内全体が暗くなり、天井から大きな空間が現れてそこから穴がハデユスが現れた。

ハデユス「やめぬか・・・!!」

バトルヴェソール、キングフアラミー「ハデユス様!!」

ハデユス「行くのはお前達ではない。」

ドラグード「私とカロン自ら行く。」

ハデユスの介入にバトルヴェソールとキングフアラミーは喧嘩をやめ、人間界へ向かうのドラグードとカロンだ。

カロン「そろそろ私と彼の力をお見せする時で。」

ドラグード「そのプリキュアがどんなのか1度は見ておきたいのだよ。」

ヴェルアル「まさかお前達2人が行くとはな。」

ドラグード「そろそろ出る幕でな。」

カロン「今、クレアとイゼルとライラが先に向かっている。」

ドラグード「プリキュアを倒しにか。我々も後から行くぞ。コロッセオス、ヴァイル。」

コロッセオス、ヴァイル「はっ!!」

ドラグード「人間界へ向かうぞ。」

カロン「ついでに私とイージスのリビングゲッドマシンも使わせてもらおう。ノーザともう2人とそしてかつて散ったグランマンモスを。」

ドラグードとカロン、インフェルノの2人の最高幹部が今動き出そうとする。一方、文のいるひまわり学園にやって来たアイカとはるなは、彼女に将来の事で話をする。

パラレルワールド

人間界

ひまわり学園

アイカ「文さん。」

文「あら、アイカちゃん、はるなちゃん。」

はるな「私とアイカはあなたにお話があつて来ました。」

文「お話？」

アイカ「実はね。」

文に将来の事を話したアイカとはるなは、

文「将来ね。」

はるな「文さんは？」

文「私はね、将来は親を亡くした子供達を引き取って一生懸命育てるようにしたいの。」

アイカ「ひまわり学園みたいに。」

文「親を亡くして悲しんでいる子供を助けたいの。私はね、そのために学ぶための大
学に向けて勉強だつてしているの。」

アイカ「文さんも将来に向けて頑張っているんだ。」

文も3人と同じように将来に向けて進んでいる事を知り、彼女は親を亡くした子供達を引き取って一生懸命育てて幸せにする事で、その学ぶための大学に行くために日々勉強していた。自分達2人だけが何も将来が決まらないまま悩むことアイカとはるな。

市街地

アイカ「文さんも決まっっていていいなあ。」

はるな「みんな、一生懸命頑張っているね。」

アイカ「あたし達にも夢はあるかな？」

はるな「わからないわ。でも何を見つけるか？」

アイカ「あたしとはるなの夢か・・・。」

自分達2人が将来の夢を見つめるか考えており、そのために何を見つけていくのか。

はるか「将来の事、考えているみたいね。」

アイカ「あたしとはるなは何がしたいのかわからないの。」

はるな「私とアイカはまだ小学生、何がしたいのかわからないの。」

はるか「私でもわからないわ、夢はね、簡単じゃないの。」

アイカ「簡単じゃない……。」

夢は何をしたのかだけでなく簡単にいかない事も考えるアイカとはるな。そんな中、彼女達の前にクレアとイゼルとライラが現れた。

クレア「久しぶりだな。」

アイカ、はるな「あなた達は!!」

イゼル「久しぶりに顔出ししていこうと思つてな。」

ライラ「こんな所で何している?」

はるな「そっちこそ何しに来たの?! またいつものように町や人々を襲うつもり?!」

クレア「当たり前だ、アルファードの民のために私は戦う。」

アイカ「アルファードの民?」

クレア「私の故郷の世界、アルファードはインフェルノの属国されている。その民はインフェルノの支配者ハデユス様のために尽くさねばならない。」

はるな「ハデユスのために尽くすって……?!」

アイカ「世界と宇宙を脅かすハデユスに何で尽くすの?!」

クレア「私の世界はハデユス様によって支配されている。支配人の命令は絶対だ。」

アイカ「そんなの間違っている!!」

はるな「悪い奴の言う事を従うなんて間違っているわけ!!」

クレア「ならばここでお前達とやり合う事だな。」

イルゼ「さあ、とつとと済ませてやるぜ!!」

クレア、イゼル、ライラはそれぞれのキュアートフォンチェンジャーと各プリキュア
イドジュエルを刺して変身する。

クレア、イゼル、ライラ「プリキュア・チェンジアップ!!」

3人はプリキュアに変身し、衣装もチェンジし、プリキュアの姿となった3人は戦闘
にかかり始めた。

はるな「私とアイカで戦います。」

はるか「わかったわ。」

アイカ「はるか先生、トットム、ペル、アーニヤ、みんなに知らせて!!」
トットム「任せておけ!!」

3人と対決するため、アイカとはるなもキュアートフォンチェンジャーとプリキュア
イドジュエルを出してプリキュアに変身する。

アイカ、はるな「プリキュア・チェンジアップ!!」

早速プリキュアに変身し始めた2人は、衣装もチェンジし、プリキュアの姿となり、3
人に挑んだ。

アラム「来たか。」

ジュール「とっておきのやつを見せてやるぞ。」

アラム「あたしらの新しいジャスティスヒーローを見せてやる!!」

2人は新たなヒーローライドジュエルを手に出し、キュアートフォンチェンジャーに
刺した。

アラム、ジュエル「ヒーローライドジュエル!!」

早速、各ヒーローライドジュエルから召喚された2人のジャスティスヒーローが現れ、1人はアラムが召喚して髪が長く頭に角が生えている超人のエンキナウ、もう1人はジュルフが召喚して黄金の鎧を身に纏い、さらに黄金の武器を手にするゴールドメツシュだ。

エンキナウ「こいつらがお前達の言うプリキュアか？」

ゴールドメツシュ「お前達を手こずらせて来た相手か？」

アラム「そうだ。」

ジュルフ「こいつらは今まで数々の戦いに勝って来たからな。」

ストライク「新たなジャスティスヒーロー?!」

シンシア「あの2人も新しく手に入れた事ね。」

アラム「新しい力を見せてやるぜ!!」

ジュルフ「行くぞ!!」

新たなジャスティスヒーローと共に行動するアラムとジュールフがストライクとシンシアに攻撃する。ストライクとシンシアもすぐにブレイディオとガンニークスのヒーローライドジュエルを各キュアートフォンチェンジャーに刺して召喚する。

ストライク、シンシア「ヒーローライドジュエル!!」

2人はブレイディオとガンニークスを召喚し、エンキナウとゴールドメツシュと交戦する。

エンキナウ「久しぶりだったな、我が同士よ!!」

ガンニークス「お前達2人もインフェルノに着いたのか?!」

ゴールドメツシュ「あああつ、今の腐敗した社会が気に食わないんでよ。」

ブレイディオ「やらかなきゃならないのか?」

エンキナウ「行くぜ!!」

同じ同士戦う事となり、目の前にいるかつて共に戦ったエンキナウとゴールドメツシュと不本意でありながら交戦するブレイディオとガンニークス。

ガンニークス「オラオラオラ!!」

エンキナウが右脚を前に出して蹴りを繰り出して、ガンニークスに打ち込んでいった。

ガンニークス「接近戦か、ならっ!!」

格闘で攻めてくるエンキナウに対し、ガンニークスがガンニークスガンの銃口の下部にシルバーバンカーでエンキナウに打ち込んでいく。

エンキナウ「!!」

ガンニークスの攻撃をパンチでカウンターで殴り、さらに腕を掴んで上から持ち上げて、地面に叩き込んだ。

ゴールドメツシュ「俺の双剣とお前の剣、どちらが強いかな勝負だ!!」

ブレイディオ「インフェルノに着いたお前ら2人を斬るのみだ!!」

ブレイディオのブレイディオソードとゴールドメッシュのゴールドツインダガーがぶつかり合い、ブレイディオが斬撃を繰り出してゴールドメッシュに喰らわせるが、ゴールドメッシュのゴールドツインダガーに受け止められ、もう片方の短剣がブレイディオに斬撃した。

ストライク、シンシア「チェンジプリキュライドチェンジプリンセス!!」

ストライクとシンシアはフローラとスカーレットのプリキュライドジュエルで変身して、ミステイック、アラム、ジュールと交戦していた。

ミステイック「!!」

左腕に装備しているミステイックサークルスピナーからエネルギー弾を発射して2人に攻撃するミステイック。

スカーレットシンシア「プリキュア・スカーレットイリユージュョン!!」

スカーレットシンシアがハナビキーをセットしたスカーレットバイオリンを奏でて、自分からの周囲に火花を発生させ炎の障壁を張り、ミステイックの攻撃を防いだ。

フローラストライク「プリキュア・リイス・トルビヨン!!」

フローラストライクがクリスタルプリンセスロッドにリイキーを差し込で、ロッドの先端に巨大な百合の花が咲き、百合の花びらがマシンガンのように放ち、ミステイック、アラム、ジュルフに攻撃したが、

アラム、ジュルフ「はああああー!!」

アラムとジュルフが息合わせて、2人同時にキックを出して、百合の花びらを振り払った。

ミステイック「プリキュア・ミステイックサークルザンバー!!」

ミステイックが左腕に装着しているミステイックサークルスピナーに光状の円形の刃を纏わせて、フローラストライクとスカーレットシンシアに斬撃する。

フローラストライク、スカーレットシンシア「!!」

2人はすぐにミステイックの必殺技をかわし、彼女に向かって空中キックでお見舞いする。

ミステイック「ヒーローライドチェンジ!!」

ミステイックはミラーシエナのヒーローライドジュエルをキュアアトフォンチェンジヤーに刺して、変身し、2人の空中キックに対し、必殺技を発動する。

ミステイックミラーシエナフォーム「プリキュア・ミラーシエナリフレクト!!」

鏡を出現して、2人の同時キックを跳ね返して打ち返した。

フローラストライク、スカーレットシンシア「うわあっ!!」

ミステイックミラーシエナフォームの必殺技に跳ね返された2人は返り討ちに遭わされた。

ミステイックミラーシエナフォーム「負けるわけにはいかないのだよ、アルファードのために!!」

フローラストライク「何でそんなに故郷を支配したハデユスのために尽くすの?!」

スカーレットシンシア「ハデユスに何で抗おうとしないの?!」

ミステイックミラーシエナ「ハデユス様に逆らった者、挑んだ者は皆、死で処された!! 抗ったところで何になる!! ハデユス様の力は強大、ハデユス様に勝てる者はいない!! ハデユス様の恐ろしさを知らないお前達が何がわかる!!」

自分の故郷の世界であるアルファードはハデユスによって支配され、ハデユスに抗い挑んだが、ハデユスの強大な強さを前に屈して、隷属の道を選び、ハデユスに尽くさず

得なくなったアルファードの人々は、インフェルノの兵となって、ハデユスの命により各世界や惑星を侵略や破壊を行った。

ミスティクミラーシエナフオーム「お前達も ハデユス様の恐ろしさを知れ!!」
アラム「だったらあたしら2人が代わりに味合わせてやるぜ。」

ジュルフ「エンキナウ、ゴールドメツシュ!!」

ブレイディオ、ガンニークスと交戦中のエンキナウ、ゴールドメツシュを呼び戻して、2人は一体化しようとかかった。

ゴールドメツシュ「よし、行くぜ!!ジュルフ、一体化だ!!」
エンキナウ「アラム、一体化するぞ!!」

アラムとエンキナウ、ジュルフとゴールドメツシュが一体化をしキュアアラムエンキナウフオーム、ジュルフゴールドメツシュフオームとなった。

フローラストライク「ならこっちも!!」

スカーレットとシンシア「ガンニークス、ブレイディオ!!」

2人もブレイディオ、ガンニークスらとそれぞれ一体化し、2人と激突する。

アラムエンキナウフォーム「オラオラオラー!!」

パンチを連打して繰り出しながらシンシアガンニークスフォームに殴り込むアラムエンキナウフォーム。

シンシアガンニークスフォーム「やったわね、プリキュア・ガンニークスシューティングブラスト!!」

シンシアガンニークスフォームが2丁のガンニークスガンから光球を連射してアラムエンキナウフォームに射撃したが

アラムエンキナウフォーム「豆鉄砲何か殴り落としてやる!!プリキュア・エンキナウブラストルパンチ!!」

アラムエンキナウフオームが拳に気を纏いながら無数のエネルギー状の拳を放ち、シンシアガンニークスフオームの光球を殴り落とし、そのまま彼女諸共に喰らわせた。

シンシアガンニークス「きゃああああー!!」

アラムエンキナウフオームの必殺技を喰らったシンシアガンニークスフオーム。

ストライクブレイディオフオーム、ジュールフゴールドメツシュフオーム
「はあああああー!!」

ストライクブレイディオフオームのブレイディオソードとジュールフゴールドメツシュフオームのゴールドツインダガーがぶつかり合い、剣と双剣がぶつかり合った。

ストライクブレイディオフオーム「プリキュア・ブレイディオスラッシュユ!!」

ストライクブレイディオフオームがブレイディオソードに発光しながらジュールフ

ゴールドメツシユフォームに斬撃するが、

ジュルフゴールドメツシユフォーム「!!」

ストライクブレイディオフォームの必殺技をゴールドツインダガーで受け止めた。

ジュルフゴールドメツシユフォーム「双剣だけが武器じゃない事を教えてやる。」

そのまま武器を変えて、ゴールドアックスを出して、斧による巨大な刃がストライクブレイディオフォームに繰り出す。

ストライクブレイディオフォーム「!!」

ブレイディオソードで受太刀して攻撃を防いだが、

ジュルフゴールドメツシユフォーム「うおおおー!!」

カ一杯出して押し返してストライクブレイディオフォームを飛ばし、さらに今度ゴールドアローに切り替えて、必殺技を発動する。

「ジュルフゴールドメツシユフォーム」プリキュア・ゴールドアローレイン!!」

ジュルフゴールドメツシユフォームがゴールドアローを構えて多数の光矢を放ち、ストライクブレイディオフォームに攻撃した。

ストライクブレイディオフォーム「きゃああああー!!」

ジュルフゴールドメツシユフォームの放った多数の光矢を喰らったストライクブレイディオフォーム。アラムとジュルフの新しいジャスティスヒーローの力によって圧倒されるストライクブレイディオフォームとシンシアガンニークスフォーム。

ストライクブレイディオフォーム「強い……!!」

シンシアガンニークスフォーム「2人も新しいジャスティスヒーローで強くなったなんて……。」

アラムエンキナウフオーム「さあ、これでおしまいだ。」

追い詰めた2人に一気に攻めかかろうとするアラムエンキナウフオームとジュールフ
ゴールドメツシユフオーム。その時、トットム達がマジック達を呼んで助けにやって来
た。

マジック「ストライク、シンシア、お待たせ!!」

ストライクブレイディオフオーム「マジック、ジャック!!」

シンシアガンニークスフオーム「フェッター、クイーン!!」

クイーン「もう私達が来たから安心して。」

ジャック「相手はミスティック、アラム、ジュールね。」

フェッター「気を付けて、アラムとジュールには新しい力があるみたいよ。」

アラムエンキナウフオーム「向こうもおいでなされたか。」

ジュールフゴールドメツシユフオーム「まとめて相手してやる。」

加勢に来たフェッター、マジック、ジャック、クイーンらにも相手をしかかるアラム
エンキナウフオームとジュールフゴールドメツシユフオーム。だが、その時、雲が暗雲と

なり、落雷が鳴った。

一同「!!」

突然の雷鳴に驚く彼女達、その目の前に突如現れたドラグードとカロンとドラグードの配下であるコロッセオス、ヴァイル、リビングゲットマシンから蘇ったノーザともう3人はナイトメアのカワリーノ、バッドエンド王国のジョーカー、10年前ファイナルウオーで倒されたグランマンモスだ。

ドラグード（戦闘形態）「あれが今のプリキュアか？」

カロン「そうだ。」

ノーザ「うふふふ、また会えたわね。」

マジック「あれはノーザ!!」

ジャック「それに知らない幹部もいるわ。」

ノーザ以外の者を見るマジック達。だが、その中でストライクブレイディオフォーム

とシンシアガンニークスフォームは突如、ある人物を見て顔色を変えた。

ストライクブレイドイオフォーム、シンシアガンニークスフォーム「!!」
フェッター「2人とも?!」

クイーン「ねえ、どうしたの？」

ストライクブレイドイオフォーム「何で……。」

シンシアガンニークスフォーム「嘘でしょ……。」

フェッター、マジック、ジャック、クイーン「?!」

ストライクブレイドイオフォーム「ママをさらった奴が何で……!!」

ドラグード（戦闘形態）「……。」

ついに最初の戦い以来姿を現したドラグード。そして母2人を倒してさらった彼と再び対峙する事になったストライクブレイドイオフォームとシンシアガンニークスフォーム。

次回 38話へ続く

第38話 プリキュア全滅

彼女達の前に突如現れたインフェルノ最高幹部のドラグードとカロン。ストライクとシンシアにとって因縁であるドラグードが姿を現し、2人にとって最大の出来事が訪れた。

あさぎ市

市街地

ドラグード（戦闘形態）「……」

ストライクブレイディオフォーム、シンシアガンニークスフォーム「あつ、あああつ。」

2人の母を倒した最大の因縁の相手であるドラグードが姿を現した事に驚愕するストライクブレイディオフォームとシンシアガンニークスフォーム。

マジック「どうしたの、2人とも？」

ジャック「何か様子が変わみたいね。」

クイーン「ストライク、シンシア、ねえ、どうしちやったの？」

2人の様子に異変を感じ、声をかけたが、

ストライクブレイディオフォーム「あいつは、あいつは、あいつは……」
シンシアガンニークスフォーム「私とアイカのママをさらった奴よ……」
マジック、ジャック、クイーン「えっ?!」

フェッター「2人の母親を倒して連れて行ったのはこの者みたいね。」

母親2人を倒して連れさらった者が目の前にいる事で感情を抑え切れず、動揺するストライクブレイディオフォーム、シンシアガンニークスフォーム。

ヴァイル（戦闘形態）「ドラグード様、何やら2人があなたばかり見えています。」
ドラグード（戦闘形態）「2人？」

自分の方を見ているストライクブレイディオフォームとシンシアガンニークスフォームを目を向けたドラグードは2人を見てある事を思い出す。

ドラグード（戦闘形態）「あの2人、似ている。」

カロン「あの2人の事か。」

ノーザ「あの2人の子供よ。」

ドラグード（戦闘形態）「あの2人に子供がいたとは。」

グランマンモス「ハデユスの力で蘇った現世で俺が知っているあの2人に子供がいたとはな。」

ストライクブレイディオフォームとシンシアガンニークスフォームを見たドラグードが自分が戦ったピーチとパッションの事を思い出し、2人の子供である事に気付いた。

ミステイックミラーシェナフォーム「何故、ドラグード様がこちらに。」

ドラグード（戦闘形態）「そのプリキュアが何なのか見てみたかったのだな。」

ストライクブレイディオフォーム「あいつだけは絶対許さない……!!」

シンシアガンニークスフォーム「ママを、ママを……!!」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「奴に手を出すな!!」

ヒーローライドジュエルにいるアイゼンアロイスが2人に声をかけた。

ストライクブレイドイデオフォーム「アイゼンアロイス。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「奴の名はドラグード。インフェルノの中でも実力No.2だ。お前達の敵う相手じゃない。」

フェアリール（ヒーローライドジュエル）「ドラグードは今までの中でとてつもない強さ、圧倒さを持っているわ。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「君達が戦って勝てる相手ではない。」

ストライクブレイドイデオフォーム「嫌よ、あいつだけ絶対勝ちたい!!」

シンシアガンニークスフォーム「私とアイカはどれだけ待っていたのか?！」

ソール（ヒーローライドジュエル）「ドラグードは我々ジャスティスヒーローでも勝てなかった相手だ。」

鉄斎（ヒーローライドジュエル）「奴の強さはハデユスに近い実力だ、ここは退け。」

ストライクブレイドイデオフォーム「あたしとシンシアは退かない。ラブママやせつなママを連れて行った相手を今ここで戦えるチャンスよ!!」

シンシアガンニークスフォーム「私とストライクは勝ってみせる!!」

アイゼンアロイス達からドラグードの強きはハデユスに近い強い実力で、戦って勝てる相手でないと言うが、2人にとって母親を連れ去った相手が目の前にいる事で彼らの説得を無視してドラグードに挑んだ。

ミステイックミラーシエナフォーム「ドラグード様、2人が向かってきます。」
ドラグード（戦闘形態）「私の力を見せてやろう。」

自分に向かって来るストライクブレイディオフォームとシンシアガンニークスフォームに対し、ドラグードが動きにかかり、今その実力を見せるのであった。

ストライクブレイディオフォーム、シンシアガンニークスフォーム「はあああああー！！」

2人の攻撃に対し、ドラグードは片手で受け止めて振り払った。

ドラグード（戦闘形態）「これがお前達の攻撃か？」

ストライクブレイドフォーム、シンシアガンニクスフォーム「えっ?!」

自分達2人の攻撃がドラグードが片手で軽々と受け止められてしまい、ドラグードが攻撃にかかった。

ドラグード（戦闘形態）「お前達に攻撃と言うのを何なのか教えてやる。」

攻撃を行い始めるドラグードが拳を向けて2人に殴りにかかった。その時、2人の前に一体化したブレイドイオとガンニクスが現れ、元のフォームに戻った2人をドラグードからの攻撃を防ぐために突き放す。

ストライク「ブレイドイオ!!」

シンシア「ガンニクス!!」

ブレイドイオ「逃げろ!!」

ガンニクス「ドラグードは勝てる見込みじゃない!!」

2人に逃げるように必死で言うが、目の前に攻撃にかかったドラグードがブレイドイ

オとガンニークスを2人まとめてパンチで殴った。

ブレイディオ、ガンニークス「うわあああああー!!」

ドラグードの出した1発のパンチでブレイディオとガンニークスを一撃で葬り、たった1発のパンチで普通の威力とは思えない彼のとてもない力によって圧倒された。

ストライク「ブレイディオとガンニークスを一撃で。」

シンシア「そんな……。」

ブレイディオとガンニークスをパンチ1発で葬ったドラグードの強さに愕然としたストライクとシンシア。

ドラグード（戦闘形態）「この程度か。」

カロン「ではそろそろ我々もやらせてもらおうとするぞ。」

ヴァイル（戦闘形態）「ドラグード様、我々もやらせていただきます。」

コロッセオス（戦闘形態）「俺達の実力を見せてやるぜ!!」

カロン達も自らの実力を試すべく、彼女達に襲いかかって来た。

ソール（ヒーローライドジュエル）「まずいぞ、すぐに我々を呼べ!!」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「これは厳しい戦いになるぞ!!」

マジック「わかったわ!!」

ジャック「ファイツ達を召喚するわ!!」

クイーン「すぐにしないと!!」

フエッター「えええっ!!」

フエッター達はすぐにヒーローライドジュエルでファイツ達を召喚して、カロン達と対決させた。

烈陣丸「お主達はかつて倒された者だな!!」

カワリーノ「ええ、その通りです。私のはカワリーノ、ハデウス様によって甦られたのです。」

光陰命「あなたからとてつもない邪気を感じるわ。」

隼疾風「貴殿は友好的ではない。」

カワリーノ「私や他の3人はハデユス様の邪悪で蘇ったのですよ。」

カワリーノは戦闘形態に変身し、尻尾を振りながら烈陣丸、光陰命、隼疾風に攻撃する。烈陣丸は戦烈鬼でカワリーノに斬撃し、光陰命は手で五芒星の陣を形成して、カワリーノに五芒星の陣から光線で攻撃し、隼疾風が空中から素早く飛びながらカワリーノに翼で斬り付けた。

カワリーノ（戦闘形態）「簡単にはくたばりませんよ!!」

カワリーノが尻尾を思いつき振りながら、烈陣丸、光陰命、隼疾風に攻撃し、さらに手から破壊弾を放った。

ファイツ「お前からとてつもない邪気を感じる。」

ジョーカー「私も邪悪の1人です、私の名はジョーカー、かつてはバッドエンド王国の道化師で、今は偉大なるハデユス様に甦られたのです。」

ウオーテイル「あなたからは非道さを感じるわ!!」

ソール「お前は特に邪悪さを感じる!!」

スーパーレディ「今までにない悪意を感じるわ!!」

ヴォイダートマン「こいつは悪魔そのものだ!!」

ウイザードィ「その者は分かり合えぬ!!」

ジョーカー「えええ、私は悪意そのものでありますよ。」

ジョーカーから感じる邪悪と悪意にソール、ファイツ、ウオーテイル、スーパーレディは彼を倒しにかかり、ソールがミョルニアから雷を放電し、ウオーテイルが掌から波を放ったが、ジョーカーが2人の技を吸収して跳ね返した。

ファイツ、ヴォイダートマン、スーパーレディ「はああああー!!」

ファイツとヴォイダートマンとスーパーレディが同時にパンチを出して、ジョーカーに向けたが、ジョーカーはトランプを数枚出してガードし、3人をトランプで振り払った。

ウイザードィ「我が魔法を受けよ!!」

ウイザーデイがジョーカーにいくつかの魔法陣を出現してチェーンを多数放ったが、ジョーカー「効きませんよお。」

剣でウイザーデイの放ったいくつかのチェーンを斬り払い、そのまま斬撃した。

バルクマツスラー「うおおおおおー!!」

バルクマツスラーと翔華楽と大和丸はグランマンモスと交戦し、バルクマツスラーが勢いでかかりながらグランマンモスに殴りにかかった。

グランマンモス「力の強さを教えてやるぜ!!」

殴りかかって来たバルクマツスラーを鼻を伸ばして受け止めて、自身の巨体を強いて体当たりし、さらに2本の巨大な牙で突いてバルクマツスラーを蹴散らした。

翔華楽「あたしの舞で動き回ってあげる!!」

翔華楽が自分の動きを舞いながらグランマンモスに天翔心で斬り付けるが、

グランマンモス「テメエの動きは丸見えなんだよ!!」

翔華楽の舞ながら動き回るのを目でしっかり見切りながら鼻で叩いた。

大和丸「俺が相手だ!!」

続いて大和丸がグランマンモスに向かって橙破槍で突きかかったが、

グランマンモス「突きなら俺が教えてやるぜ!!フアングランス!!」

グランマンモスが2本の牙を伸ばして、大和丸に攻撃した。

マジック、ジャック「たああああー!!」

マジックとジャックはカロンを相手に戦い、2人がかりで挑んだ。

カロン「ふっ!!」

マジックとジャックを2人相手に大鎌で斬りかかるカロン。

マジック、ジャック「プリキュライドチェンジ魔法使い!!」

マジックとジャックはプリキュライドジュエルでミラクルとマジカルに変身して、カロンの魔法攻撃を仕掛ける。

ミラクルマジック「リンクル・タンザナイト!!」

マジカルジャック「リンクル・アクアマリン!!」

マジカルジャックがリンクルステッキにリンクルストーン・タンザナイトを装着してカロンの強い光を放って目を眩ませ、ミラクルマジックがリンクルステッキにリンクル

ストーン・アクアマリンを装着して吹雪を起こして凍らせた。

カロン「そんなもの効かん。」

2人の技を全くびくともせず目を眩ませても凍られてもカロンには効いてなかった。

カロン「我が力を受けよ、デスサイズフレイム!!」

カロンは掌からハデユスの邪悪な力で形成した火炎をミラクルマジックとマジカルジャックに放った。

ミラクルマジック、マジカルジャック「わああああー!!」

カロンの放ったハデユスの邪悪な力で形成した火炎を喰らったミラクルマジックとマジカルジャック。

フェッター「このっ!!」

空中を飛び回るヴァイルにフェッターがキュアカタナテツポウ鉄砲モードで射撃していた。地上から攻撃するフェッターに対し、ヴァイルはイーグルツインガンを出して必殺技を発動させた。

ヴァイル（戦闘形態）「イーグルツインショット!!」

ヴァイルがイーグルツインガンから風状の弾を連射してフェッターに攻撃した。

フェッター「うっ!!」

ヴァイルの放った必殺技を喰らったフェッター。

フェッター「ならこれは!!プリキュア・フェッターショット!!」

フェッターが空中にいるヴァイルにキュアカタナテツポウ鉄砲モードの銃口から多数のパープルの剣型エネルギー弾を連射したが、

ヴァイル（戦闘形態）「見え見えだ!!」

フェッターの放った必殺技を素早い速度で回避し、空中から素早い動きで体当たりした。

コロッセオス（戦闘形態）「今楽にしてやるよ!!」

クイーンに向かって、シャークトライデントで突きかかるコロッセオス。

クイーン「ならこっちも!!」

コロッセオスのシャークトライデントに対抗して、キュアナギナライフル薙刀モードを出してぶつかり合うクイーン。

コロッセオス（戦闘形態）「オラオラオラあー!!」

シャークトライデントを大きく回して突いていくコロッセオス。彼の攻撃をキュアナギナライフル薙刀モードで受け止めて、足で蹴り込んだクイーン。

コロッセオス(戦闘形態)「なら俺の力、見せてやるぜ!! シャーククラッシュスピア!!」

コロッセオスがシャークトライデントに水状を纏いながらクイーンに向かって突撃した。

クイーン「きゃあああー!!」

コロッセオスの必殺技を喰らってしまったクイーン。

ストライク「どうする?」

シンシア「フェアリール達を召喚していくしかないね。」

ブレイディオとガンニークスを倒したドラグードにストライクとシンシアはすぐにアイゼンアロイス達を召喚し、ドラグードに同時攻撃を仕掛ける。

ノーザ「あら、私も忘れないで貰えないかしら？」

ストライク達の前にノーザとミステックミラーシエナフォームとアラムエンキナウフォームとジュールフゴールドメツシュフォームが立ち阻んだ。

ボルケリート「ここは俺達に任せろ!!」

ボルケリートとスカヴァと鉄斎と明利江がノーザ達の相手を引き受け、ストライク、シンシア、アイゼンアロイス、フェアリールはドラグードと対決する。

ボルケリート「こいつを受けろ!!」

ボルケリートが両拳に火炎を纏いながら連打でノーザに喰らわすが、

ミステックミラーシエナフォーム「プリキュア・ミラーシエナリフレクト!!」

ミラーシエナシールド鏡モードを前に出して、ボルケリートの攻撃を跳ね返した。

スカヴァ「背後を突かせてもらおうわ!!」

スカヴァがミステイクミラーシエナフオームの背後を突いて、脚に纏った冷気で蹴りを打ち込みにかかるが、

ノーザ「そうはさせないわ。」

ノーザが地面から巨大な植物の蔓を出現させて、スカヴァに鞭のように叩いた。

鉄斉「たあああああー!!」

アラムエンキナウフオームと肉弾戦を繰り広げ、ぶつかり合う鉄斉。鉄斉が脚を飛び跳ねて、空中キックをお見舞いする。

アラムエンキナウフオーム「やらせるかよ、プリキュア・エンキナウクロスキック!!」

空中キックをして来る鉄斎に対し、アラムエンキナウフオームが脚に気を纏いながら十文字蹴りをした。

鉄斎「うわあああああー!!」

アラムエンキナウフオームの足技を喰らった鉄斎はやられてしまった。

ジュールフゴールドメツシユフオーム「落ちろ!!」

明利江に向かってゴールドアローから放たれる多数の矢で攻撃するジュールフゴールドメツシユフオーム。

明利江「!!」

ジュールフゴールドメツシユフオームの放った矢を素早い動きでかわしながら羽佐鬼で斬り払い、そのまま斬撃しにかかった。

「ジユルフゴールドメツシユフオーム「そこか!!プリキュア・ゴールドツインザンバー!!」」

明利江「あああああつ!!」

明利江の素早い動きをすぐに見切ったジユルフゴールドメツシユフオームはツインゴールドダガーを出しながら必殺技を発動して、双剣を発光しながら斬撃し、明利江を倒した。

アイゼンアロイス「こうなった以上やるしかないな。」

フェアリー「ええつ。」

ストライク「行くよ。」

シンシア「力を合わせて行こう。」

ドラグードに4人がかりで挑むストライク、シンシア、アイゼンアロイス、フェアリーは、彼に対し、4方向に分かれて、包囲した。

ストライク、シンシア、アイゼンアロイス、フェアリール「はああああー!!」

ドラグードの包囲を囲んで攻めにかかるストライク、シンシア、アイゼンアロイス、フェアリール。

ドラグード「ふっ。」

4人の攻撃を片手で軽々と受け止めつつ、無傷であるドラグード。

ドラグード（戦闘形態）「なら見せてやろう、私の力を。」

自分の力を見せるく、4人に対し、ドラグードは掌を前に出した。

ドラグード（戦闘形態）「龍獄龍光波!!」

ドラグードの掌からエネルギー状の龍の光線をフェアリールに放った。

フェアリール「きゃあああー!!」

シンシア「フェアリール!!」

ドラグードの放ったエネルギー状の龍の光線で一撃で倒されたフェアリール。

アイゼンアロイス「ドラグード・・・!!」

ドラグード（戦闘形態）「今のお前達ジャスティスヒーローもこの程度か。」

ストライク「ならこるなら、シンシア!!」

シンシア「歴代プリキュアの力で!!」

歴代プリキュアの力を使ってドラグードに対抗するため、ストライクとシンシアはメロディとリズムのプリキュライドジュエルを出して、変身する。

ストライク、シンシア「プリキュライドチェンジスイート!!」

2人はメロディ、リズムに変身し、ドラグードに2人の連携で挑んだ。

メロディストライク、リズムシンシア「たあああああー!!」

2人はドラグードの間を左右から挟んで、同時にパンチをする。

ドラグード（戦闘形態）「……。」

左右から来る2人の攻撃を両手で受け止めて振り払った。

ドラグード（戦闘形態）「これが戦いか？なら私が今から教えてやる!!」

両腕のドラゴアームブレードで2人に向かって斬りにかかったドラグード。

アイゼンアロイス「させるか!!」

2人の前にアイゼンアロイスが立って、両手からビームソードでドラグードのドラゴアームブレードを受け止めた。

メロデイストライク「アイゼンアロイス!!」

ドラグード(戦闘形態)「俺の攻撃を受け止めたとはな。だが貴様もここまでだ、龍獄双龍斬!!」

ドラグードが両腕のアームドラゴブレイでアイゼンアロイスにX字斬りし、一撃で葬った。

アイゼンアロイス「うわあああああー!!」

メロデイストライク「アイゼンアロイス!!」

アイゼンアロイスまでも倒されてしまい、ドラグードの圧倒的な強さにジャステイスヒーロー4人を一撃で葬り、その実力はプリキュアを上回る力を持ち、インフェルノの実力No.2は伊達ではなかった。そして追い詰められたプリキュア達は、

烈陣丸、光陰命、隼疾風「ぐわああおああー!!」

カワリーノの戦闘形態に圧倒されたやられてしまった烈陣丸、光陰命、隼疾風。

ソール、ファイツ、ウォーテイル、ウイザーデイ、ヴォイダートマン、スーパーレディ
「あああああー!!」

ジョーカー一人に多数で挑んだものの、彼の繰り出す行動により、一気に返り討ちにあつたソール、ファイツ、ウォーテイル、ウイザーデイ、ヴォイダートマン、スーパーレディ。

バルクマツスラー、翔華楽、大和丸「うわあああああー!!」

グランマンモスの強大な強さを前に敗れたバルクマツスラー、翔華楽、大和丸。

ボルケリート「はあ、はあ、はあ。」

スカヴァ「ノーザが前より強くなっていない?！」

ノーザ「えええつ、私は一度敗れてハデユス様に強化されたのよ。」

ミステイックミラーシエナフォーム「私との連携を忘れては困る。」

前回の戦いで敗れたノーザはハデウスに強化され、さらに強さを増していき、さらに反射能力を持つミステイックミラーシエナフォームとの連携でボルケリートてスカヴァを圧倒した。

フェッター「何て速さなの!!」

ヴァイルがスピードに圧倒され、追い詰められていくフェッター。

ヴァイル（戦闘形態）「受けよ、イードルエアリアルアタック!!」

ヴァイルがコンドルウイングで飛び回りながらフェッターに突撃して、撃破した。

フェッター「ぐわあああああー!!」

ヴァイルの必殺技により、彼の繰り出す空中からのスピード攻撃で倒されたフェッ

ター。

クイーン「うっ、くうっ!!」

コロッセオスのシャークトライデントの繰り出す攻撃にクイーンは追い詰められ、圧倒されていた。

!!
コロッセオス（戦闘形態）「こいつで終わりだ!! シャークゲイツウオーターバースト!!」

コロッセオスはシャークトライデントにエネルギーを集中して、水状のエネルギー光線を放ち、クイーンに攻撃した。

クイーン「あああああー!!」

コロッセオスの必殺技を受けてやられてしまったクイーン。

メロディストライク、リズムシンシア「はあ、はあ、はあ、はあ……。」

ドラグードの壮絶な強さを前に為すすべ無く、窮地に立たされたメロディストライクとリズムシンシア。

ドラグード（戦闘形態）「お前達はこの程度か。お前達2人に我が技を受けよ。」

ドラグードはメロディストライクとリズムシンシアに向かって、首を掴んで持ち上げた。

メロディストライク、リズムシンシア「あつ、あああああー!!」

ドラグードに首を掴まれて持ち上げられたメロディストライクとリズムシンシア。2人にとってあの悪夢が起きようとした。

ドラグード（戦闘形態）「龍獄の断頭台!!」

メロデイストライクとリズムシンシアの首を挿んだまま上に投げ、自身も空を飛んで自身の両脚の膝を2人の首に近付け、空中から急降下して自身の両脚の膝に敵2人にそれぞれ首に近づけたまま、地面に叩き込んで、衝撃波を起こした。

メロデイストライク、リズムシンシア「うわあああああー!!」

かつて母親が受けた技を自分達2人も受ける羽目となり、結果衝撃波を受けて倒されてしまい負けてしまった。

ミラクルマジック、マジカルジャック「ストライク、シンシア!!」

ドラグードの必殺技を受けて倒れた2人に目を向けたが、

カロン「よそ見るなら死ぬが良い。デスサイズダークローリングショット!!」

カロンがハデユスの邪悪な力で形成した6つの闇状の光輪をミラクルマジックとマジカルジャックに放った。

ミラクルマジック、マジカルジャック「あああおああー!!」

カロンの必殺技を喰らってやられてしまったミラクルマジックとマジカルジャックは敗れてしまい、元の姿に戻ってしまった。

カロン「!!」

突如、カロンは自分が倒したジャック如くの海の姿を見て異変が起きた。

カロン「くっ、あああああー!!」

海の姿を見て動揺し始めたカロン。

カロン「何故だ、何故だ、何故っ!!」

あまりにも叫び出すカロンは冷静さを失った。

D r i i j i s 「これはいけない。」

冷静さを失ったカロンの前、次元の穴が開いてD r i i j i s が現れた。

ドラグード（戦闘形態）「イージス!!」

ミステイクミラーシエナフォーム「何をしに来た?！」

D r i i j i s 「彼をこのままにするわけにはいかないのだよ。ここは彼を回収して引き上げだ。」

ドラグード（戦闘形態）「ならばそうしよう。」

冷静さを失ったカロンを回収して引き上げたドラグード達。だが、ドラグード達の強さを前に敗北したプリキュアとジャステイスヒーロー達。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文「・・・。」

ペル「みんな、しっかりするんです!!」

トットム「おい、みんな、目を開けるんだ!!」

アーニャ「プリキュア達が完膚なきまで叩きのめされる何て……。」

プリキュアとジャスティス達がドラグード達に完膚なきまで叩きのめされて敗北し、その中でドラグードはとてつもない圧倒的な強さで一撃で葬るだけの力を持ち、なす術はなかった。

パラレルワールド

地獄界

閻魔庁

閻魔大王の部屋

閻魔大王「ドラグードが動きだしたか。」

パラレルワールド

アスゴルド王国

アスゴルド城

王室

オーズイーン「最強と言われた男が動いたか。」

パラレルワールド

人間界

ロシア

モスクワ

W J G 最高司令部

サルニコフ「インフェルノは本気で動いて来たか。」

次回 39 話へ続く

第39話 観星町へ

ドラグード達に敗北したアイカ達は、W J G 総司令部に運ばれて医務室にいた。

北米

アメリカ

ロッキー山脈

W J G 司令部

医務室

アイカ「ここは？」

ヴァレリアン「気が付いたか？」

アイカ「ヴァレリアン長官。」

はるな「さっきの戦いで私達は……。」

ヴァレリアン「そうだ、敵はどうやら本格的に動き出したようだ。」

麗奈「インフェルノは本気でかかってきたと言う事ですか？」

ヴァレリアン「あああつ、インフェルノはこれから侵略をさらに強めていくはずだ。」

咲耶歌「このままだと地球や他の星や世界も支配されちゃうね。」

海「向こうは私達が敵わない実力者もいるみたいね。」

文「また現れたらまた負けるよ……。」

アイカ、はるな「……。」

ドラグード達の強さに完全敗北したアイカ達は次戦つても今の自分達ではまた負けてしまう。

アイカ「あたし達、どうしたらいいのですか？」

はるな「今の私達じゃ勝てない。」

咲耶歌「あんなに強いとどうしたらいいのかわからないよ。」

海「ファイツ達でも敵わなかった先輩達が戦った敵の強さ。」

文「このままだとやられていくみたいね。」

今の自分達ではドラグード、カロン、コロツセオス、ヴァイル、カワリーノ、ノーザ、ジョーカー、グランマンモス、エンキナウ、ゴールドメツシユには勝てないとわかり、次に戦って必ず負けてしまうだけだ。

トットム「嬢ちゃん達が勝てる方法は今の段階は全くねえ。」

ペル「歴代プリキュアやジャステイスヒーローの力でも勝てなかった何て驚きです。」
アーニヤ「どうしたら勝てたらいいのですか。」

ヴァレリアン「いやーっただけある。」

一同「えっ?!」

ヴァレリアン「君達が唯一勝てる方法はーっただけある。それはヴァンガードクリスタルだ。」

一同「ヴァンガードクリスタル?」

ヴァレリアン「それは君達の持つているジャステイスヒーローの力をーっにした姿だ。何十倍の力を引き出し、さらにプリキュアの力を必殺技に使ったりする事が可能だ。」

アイカ「ヴァンガードクリスタルがあれば強くなれるんですね。」

ヴァレリアン「だが、これを手に入れるにはジャステイスヒーロー達とプリキュアの想いをーっに共鳴しなければならぬ。」

はるな「フェアール達と共鳴・・・。」

文「もつと必要以上にいるかもしれないみたいね。」

海「私たちが持っているプリキュアの力は今53個。」

ヴァレリアン「これだけでは足りない。」

咲耶歌「足りないって？」

ヴァレリアン「次に必要なのはスタートウインクルプリキュアの力だ。」

一同「スタートウインクルプリキュア？」

ヴァレリアン「スタートウインクルプリキュアは別の世界にいる。」

麗奈「パラレルワールドと言うですね。」

ヴァレリアン「その通りだ。スタートウインクルプリキュアは別の世界に行かないと手に入らない。スタートウインクルプリキュアの力が揃わない限りヴァンガードクリスタルは発揮しない。」

ドラグード達を対抗する力、その名はヴァンガードクリスタル。アイカ達が持っている各ジャスティスヒーローの力を1つにし、新たな姿となり、今の数倍の力となら、各プリキュアの力を必殺技として使ったりする。ジャスティスヒーローとプリキュアの想いを1つにしなければならぬ。そのためには別世界にいる残りのスタートウインクルプリキュアの力を手に入れなければならない。スタートウインクルプリキュアの世界に向かうためパラレルワールドを経由して行く事になったアイカ達。だが、ア

イカとはるなは疑問な事を感じた。

アイカ、はるな「……………」

ヴァレリアン「どうした？」

アイカ「一つ質問したい事があります。」

ヴァレリアン「どんな事だ？」

はるな「今あるプリキュライドジュエル53個で肝心な事があります。」

ヴァレリアン「？」

アイカ「キュアピーチとキュアパッションについてです。」

ヴァレリアン「……………」

自分達が今あるプリキュアの力は53個ある事を言うヴァレリアンに対し、アイカとはるなは自分達2人の母親であるピーチとパッションの事を触れていなかった事を言い出した。

はるな「どうしてこの2人の事を触れていないのですか？」

アイカ「前ここに訪れた時、あたしとはるなは資料室で他のプリキュアを見た時、この2人だけは何も載っていなかった。」

はるな「どうしてですか?!

ヴァレリアン「……」。

アイカ「2人の事をどうして何も言わないんですか?」

ヴァレリアン「君達2人に本当の事を言おう。着いて来た前。」

アイカとはるなを連れて行くヴァレリアン。

アイカ、はるな「……」。

ヴァレリアンと共に歩いて進むアイカとはるな。司令室に到着し、ここで話をする事となった。

司令室

ヴァレリアン「君達2人の母親の事を全て話そう。」

アイカ「知っている事を教えてください。」

はるな「お願いします。」

ヴァレリアン「キュアピーチとキュアパッションいや桃園ラブと東せつなは君達2人

を戦いに巻き込ませたくなかった。」

アイカ、はるな「えっ?! ママが巻き込ませたくないって……。」

ヴァレリアン「今から12年前、君達が生まれる前の出来事から始まった。ジャステイスウォーでプリキュア同士の戦い、その影響で将来を失った者達の姿を見て、精神に凄く傷付いた。プリキュアとして戦うたびに2人の精神は落ち着かなくなったり、悲しむようになったりした。ジャステイスウォー後の次にクライアス社との戦いで2人は互いに結婚し、君達2人がお腹の中いる頃、更なる惨状を目の当たりにし、生まれてくる君達2人のためにプリキュアをやり続ける事が出来なくなり、そして2人は仲間の元を立ち去った。」

アイカ、はるな「……。」

ヴァレリアン「あの2人はジャステイスウォーが終わった後に君達2人が生まれた。2人はまだ赤ん坊だった君達2人がいつか戦いに巻き込まれるのではないかと不安を感じ、2人は赤ん坊だった君達2人を連れて行きながら地獄界の閻魔大王様の元に訪れた。自分達2人の事を他の者達から触れないようにするように頼み、閻魔大王様から2人の存在を我々WJGに存在を極秘にした。君達が重い事に背負わせたくない、そして家族で幸せに暮らしたかった。」

アイカ、はるな「ママが……」

ヴァレリアン「彼女達はファイナルウォー後で新興された町、あさぎ市で暮らす事を始め、穏やかな日々を送る事となった。それは続かなかつた。インフェルノがあさぎ市に現れて、町を襲い、君達2人の母は彼らの襲撃を目の当たりに対し、プリキュアとして戦わざる得なくなり、再びプリキュアとなった。だが2人の前に現れたインフェルノ最高幹部のドラグードに敗れて捕われてしまった。窮地に陥った君達2人はプリキュアに目覚めた。」

ヴァレリアンから聞かされた話にアイカとはるなは、母親のラブとせつなが娘の幸せと穏やかな暮らし、重い事を背負わせないのために地獄界へ行って閻魔大王と会い、自分達2人の存在を触れないようお願いし、2人の頼みを聞いた閻魔大王はキュアピーチとキュアパッションの存在に関しては周りが触れないよう地獄界とWJGのみが2人の存在を極秘とし、2人は娘と共にあさぎ市で生活をするが、その日々は続かなかつた。インフェルノの襲来で再び戦いは起こり始め、2人は再び戦わざる得なくなり、再びプリキュアとなったが、ドラグードとの戦いに敗れて捕われの身となった。そしてアイカとはるなはプリキュアに目覚め、インフェルノと戦う事となった。

アイカ「ラブママとせつなママはあたしとはるなが幸せに生きるために……。」
はるな「私とアイカに重い事を背負わせたくないために……。」

ヴァレリアン「2人はプリキュアの事もずっと隠して来た。君達を背負わないために2人の必死の願いだった。」

アイカ、はるな「うっ、ううううっ、わあああああー、ママあああー!!」

母のラブとせつなが自分達2人が幸せに暮らせるためにプリキュアの存在の事を隠し、母親が一生を懸けて自分達のために守るために尽くしていた事を知り泣くアイカとはるな。自分達2人が平穩に暮らせたのも母が一生懸命頑張っていた事で、自分達2人は今まで何も知らないまま過ごして来て、娘の事を大事にしていた事を知る。それからして時間は経ち、泣き終えたアイカとはるな。

ヴァレリアン「キュアピーチとキュアパッションのいない今、2人の血を引く君達2人が代わりとなっていくんだ。」

アイカ「あたし達2人が……?」

ヴァレリアン「ヴァンガードクリスタルを起こすには君達2人にかかっている。58

個のプリキュライドジュエル、ジャスティスヒーローの力を合わせていけば必ず起きる。」

はるな「絶対に私達、ヴァンガードクリスタルを起こしてみせます。」

ヴァレリアン「頼んだぞ。」

ヴァンガードクリスタルを起こすため、スタートウインクルンプリキュアのいる世界へ向かうため準備をし始め、アイカ達はその世界でスタートウインクルプリキュアを手に入れるために向かう事となった。

格納庫

ヴァレリアン「いよいよ行くようだな。」

麗奈「スタートウインクルプリキュアに会って行きます。」

咲耶歌「あたし達、スタートウインクルプリキュアに出会って行きます。」

海「最後のプリキュアの力。」

文「ヴァンガードクリスタルを起こすために必要な力。」

アイカ「インフェルノの手に渡る前にあたし達が行きます。」

はるな「未来のために。」

ヴァレリアン「頼んだぞ、みんな。」

格納庫から開いたパラレルワールドのゲートに入ったアイカ達は、各キュアライドマシンに操縦してスタートウインクルンプリキュアの世界へと向かった。パラレルワールドを通じて進むアイカ達。アイカ達がスタートウインクルンプリキュアの世界へと向かう中、インフェルノもスタートウインクルンプリキュアの力を手に入れるため、バトルヴェソールを向かわせ、さらに彼と同じ最高幹部のキングファラミーも一緒に向かう事となった。

パラレルワールド

異空間

移動中

エビルシツプ

ブリッジ

バトルヴェソール「スタートウインクルンプリキュアの力か、力を奪うついでにその世界も侵略してやろう。」

キングファラミー「お前と一緒に向かう事となるとはな。」

バトルヴェソール「ハデユス様はへびつかい座のプリンセスも動かしていたと。」
キングフアラームイ「先程、スタートウインクルプリキュアに敗れたと聞いたぞ。」
バトルヴェソール「敗れた今、我々が代わってスタートウインクルプリキュアを倒して力を手に入れて、世界も支配する。」

キングフアラームイ「既に実行にかかるつもりだな。」

バトルヴェソール「そうだ。」

キングフアラームイ「到着したらやるとするか。」

スタートウインクルプリキュアの世界に向かうバトルヴェソールの艦隊。スタートウインクルプリキュアの力を奪い、その世界を支配して征服する事を目論んだ。一方、キュアライドロボ1号、2号で到着したアイカ達は、スタートウインクルプリキュアの世界に到着していた。

パラレルワールド

スタートウインクルプリキュアの世界

観星町

森

アイカ「ここがスタートウインクルプリキュアの世界?!」

はるな「私達のいる世界と同じみたいね。」

咲耶歌「何だか、そっくりだね。」

海「本当に同じね。」

文「まるで本当に一緒みたいね。」

スタートウインクルプリキュアの世界が自分達のいた世界と似ていると言うアイカ達。

麗奈「なるべく怪しまれないよう気を付ける事ね。私達は別世界から人間と言う事だけは忘れないように。」

アイカ達は自分達が別世界から来た事で、怪しまれないように心掛けて行動する。市街地へ向かったアイカ達は、

市街地

アイカ「へえー、町も一緒みたいだね。」

はるな「本当ね。」

町も自分達のいた世界に似ていて、同じである事に共感したアイカとはるな。

麗奈「私達はスタートトゥインクルプリキュアに探しに来たのよ。」

海「インフェルノの手に渡る前に見つけないと。」

アイカ達がスタートトゥインクルプリキュアを見つけ出すため、そこに5人の少女達が近くにやって来た。

ひかる「あの、そこで何しているの？」

次回 40話へ続く

第40話 スタートウインクルプリキュア

スタートウインクルプリキュアの世界に到着して彼女達を探しにやって来たアイカ達は、そこで5人組に少女達と出会う。

パラレルワールド

スタートウインクルプリキュアの世界

観星町

市街地

ひかる「そこで何してるの？」

ひかると言う少女に声をかけられたアイカ達。

アイカ「あたし達はこの町に初めて来たんです。」

はるな「この町はどんなところかなって？」

えれな「もしかして初めてなの？」

咲耶歌「はい。」

海「私達、この町が何なのかわからなくて。」

文「この町はどんな所なの？」

麗奈「あなた達の名前は？」

ひかる「私は星奈ひかる。」

ララ「私は羽衣ララ。」

えれな「あたしは天宮えれな。」

まどか「私は香久矢まどかです。」

ユニ「私はユニよ。」

5人組の少女の名はひかる、ララ、えれな、まどか、ユニと名乗った。

アイカ「あたしは桃園アイカ。」

はるな「私は桃園はるな。」

麗奈「私は麗奈Ⅱブランネージュ。」

咲耶歌「あたしは天蘭咲耶歌。」

海「私の名前は儀城海。」

文「私、周防文。」

アイカ達6人も自己紹介をし、こうして彼女達は観星町を歩き回る事となった。

ひかる「へえー、アイカちゃんとはるなちゃんは2人は双子なんだ。」

アイカ「あたしとはるなは双子で、いつも一緒なんだ。」

はるな「やる事は正反対だけだね。」

ララ「あなた達は2人は双子なんだルン。」

アイカ、はるな、咲耶歌、海、文「ルン？」

ララ「私の口癖なのルン。」

咲耶歌「可愛いね。」

ララ「ありがとうルン。」

麗奈「ちよつといいかしら？」

ララ、ユニ「？」

麗奈「あなた達2人、頭にあるのは何かしら？」

ララ、ユニ「ドキッ!!」

麗奈に自分達2人の頭の上にあるもの気にかけて自分達の正体にわかってしまう事に恐れたララとユニは、その時、鞆の中から翼が生えて頭に角を生やした可愛げらしい動物が現れた。

フワ「フワー。」

アイカ、はるな、咲耶歌、海、文「何?!」

ひかる「フワ、中に隠れててって。」

フワ「この人達、ひかる達と同じプリキュアを感じるフワ。」

ひかる「えっ?!」

ララ「この人達がプリキュア?」

アイカ「えっ。」

一同「えええええー!!」

フワがアイカ達6人がプリキュアだとわかり、またアイカ達はひかる達5人がスタートウインクルプリキュアだと知り、両者違うプリキュア同士の対面となった。

アイカ「ひかるさん達がスタートウインクルプリキュアですか?」

ひかる「私達がスタートウインクルプリキュアだよ。」

ララ「そっちもプリキュアだったなんて驚いたルン。」

まどか「別の世界から来たプリキュアって初耳ですわ。」

麗奈「私達6人は別の世界から来た人間よ。」

えれな「宇宙とは違うって事みたいね。」

ユニ「パラレルワールドって事ね。」

咲耶歌「そうだよ。」

アイカ達は別世界から来たプリキュアだと知るひかる達。ララの背中に背負っているリュックからクラゲのような生物が現れた。

咲耶歌「えっ、何?!」

プルンス「自分の名はプルンスでプルンス。」

アイカ「クラゲが喋った!!」

プルンス「失礼だ、自分は宇宙妖精でプルンス!!」

トットム「俺達とは違う妖精と言う事か?」

ペル「そうみたいですわね。」

アーニヤ「宇宙にも妖精がいるなんて驚きますわ。」

海「話を変えるけど、実は私達はあなた達に用があつて来たの。」

ひかる「私達に用があるって？」

アイカ「それはね……。」

ひかる達に事情を話したアイカ達は、

ひかる「私達の持っている力を……？」

アイカ「はい、私達はあなた達スタートウインクルプリキュアの力を必要としているの。」

はるな「今、全世界と全宇宙が大いに危機が迫っているの。」

えれな「また宇宙に危機が迫っているの?!」

まどか「蛇遣い座のプリンセスを倒したばかりなのに。」

咲耶歌「それには訳があつて。」

ララ「訳？」

アイカ「インフェルノに全世界と全宇宙を支配から戦っているの。」

ひかる「インフェルノ？」

ララ「初めて聞くルン。」

まどか「インフェルノって何ですか？」

麗奈「インフェルノは巨大な悪の組織。世界や宇宙を武力で支配し、支配者のハデクスに逆らう者はみんな死よ。」

ユニ「そんな恐ろしいのがあるなんて。」

ララ「……。」

アイカ「そう簡単に渡して貰うわけにはいきませんよね？」

えれな「蛇遣い座のプリンセスとの戦いが終わってこっちは平和になったけど。」

まどか「うーん、また戦わなきゃならないのですわ。」

ひかる「どうしよう。」

蛇遣い座のプリンセスとの戦いが終わり、宇宙に平和が訪れたが、別世界から来たアイカ達がインフェルノは全世界と全宇宙を支配している事を知り、自分達が再び戦わなきゃならないのかと動揺した。

文「何だか凄く困っているみたいね。」

麗奈「平和になったはずがまた戦わないと行けないみたいね。」

アイカ「あたし達が来ちやったせいで困ってるみたいね。」

トットム「向こうもいきなり言われて困ってるみてえだな。」

ペル「うーむ、困りますな。」

アーニヤ「そうですね。」

咲耶歌「じゃあみんなと一緒に仲良くするのはどうかな？」

海「咲耶歌、単純じゃ……。」

ひかる「じゃあ、せっかく別の世界のプリキュアが来たんだから一緒に仲良くしよう。」

フワ「みんな一緒に仲良くしていくフワ。」

アイカ「スタートウインクルプリキュアに逢えたんだから、みんなと一緒に仲良くしよう。」

違う世界のプリキュア同士仲良くする事となり、アイカ達フューチャーフォースプリキュアを観星町に案内するひかる達スタートウインクルプリキュア。観星町の商店街にあるスタードーナツの店に寄り、一緒にスタードーナツを食べたり、次にえれなの実家のソニリッサで彼女の弟と妹達と遊んだり、続いて天文台でプラネタリウムを見たりした。

アイカ「あー、楽しかった。」

ひかる「観星町は楽しかった？」

咲耶歌「とつても楽しかったよ。」

ララ「違う世界から人間と触れ合うのは楽しかったルン。」

はるな「宇宙人に会えるなんて何だか夢みたい。」

海「私達の知らない世界で宇宙人がいるなんて、本当に驚くわ。」

ユニ「違う世界の人と仲良くなるのもいいかしら。」

文「私、みんなと触れ合って仲良くするのは好きよ。」

えれな「そうね、あたしも同じよ。」

まどか「宇宙を見てきた私達は他の世界にも行ってみたいですね。」

麗奈「パラレルワールドや宇宙も同じね。」

他世界同士仲良くするアイカ達とひかる達。皆が街中で楽しんで歩く中、突如、老人のような人物とその多数の黒服の男性が現れた。

一同「？」

ロークット「何じゃ、わしに何かようか？」

アイカ「いえ、何でもありません。」

ロークット「そうか。」

そのまま歩き去る老人と多数の黒服達。

麗奈「あの老人、もしかしてオムニアロークット。あの大手で有名な世界旅行会社ツアードの会長が何故……。」

麗奈はさつき会った老人をみて、大手で一番有名な世界旅行会社ツアードの会長のオムニアロークットだと知り、自分達と同じ世界の人間がスタートウインクルプリキユアの世界に何故いるのかと考えた。

ロークット「さて、インフェルノもそろそろ来る頃か、プリキユアとインフェルノ、どちらが勝つか？ワシらとハデユスの手の中で踊らされているのを。」

上空から異次元の穴が開き、バトルヴェソールの率いる艦隊が現れた。

アイカ「あれはインフェルノ!!」

はるな「スタートウインクルプリキュアの力を狙いに来たのね!!」

ひかる「アイカちゃん、あれがインフェルノ?」

アイカ「そうだよ、あれがインフェルノだよ。」

咲耶歌「インフェルノのせいで多くの人達が苦しみ、悲しんでいるの。」

文「私達の世界はインフェルノに被害を受けたの!!」

えれな「あたし達の世界も同じように……。」

麗奈「そうよ。」

ユニ「急いで戦うニャ!!」

インフェルノがスタートウインクルプリキュアの世界に現れて、すぐに向かったアイカ達。一方、バトルヴェソールとキングフアラーミイは配下と兵達を率いて、地上に降りて観星町を攻撃した。

バトルヴェソール「スタートウインクルプリキュアはどこだ、出てこい!!」

両肩のヴェソールキャノンで建物に向かって無差別に砲撃するバトルヴェソール。彼の命令で人々に攻撃するジェットームとオートソルジャーズとモンスターレディズと兵達。

キングフアラーミイ「相変わらず、お前は力で攻めているな。」

バトルヴェソール「強い者が偉い、弱い者は永遠に支配される。」

アイカ「インフェルノ!!」

バトルヴェソール達の前に現れたアイカ達とひかる達。

バトルヴェソール「現れたか、プリキュア。」

アイカ「バトルヴェソール、また街を破壊しているのね?」

バトルヴェソール「スタートウインクルプリキュアの力を手に入れるために。はるな「力で奪い尽くす者を許さないわ!!」

ひかる「・・・。」

アイカ「ひかるさん?」

ひかる「平和になった私達の世界をめっちゃめっちゃにしないで!!」

バトルヴェソール「俺に楯突くとどうなるか思い知らせてやる!!」

麗奈「みんな、行く。」

まどか「私達の戦いを見せていきましよう。」

えれな「こう言う者を野放しにする訳に火行かない。」

文「力で支配する悪を倒そう。」

海「平和を脅かす悪は私達が倒す。」

ユニ「私達の世界を壊させないニヤ。」

ララ「私達がこの世界を守るルン。」

ひかる「宇宙だけじゃなく世界も守り抜いてみせる。」

はるな「みんなでプリキュアに変身よ。」

アイカ「みんな行くよ。」

アイカ達フューチャーフォースプリキュアはキュアトフォンチェンジャー、ひかる達スタートウインクルプリキュアはスターカラーペンダントを出して、プリキュアに変身をし始める。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文「プリキュア・チェンジアップ!!」

ひかる、ララ、えれな、まどか、ユニ、「スターカラーペンダント!! カラーチェンジ!!」

アイカ達6人とひかる達5人が全身を光で一新し、11人の着ていた私服からドレスとなり、髪型も一新した。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フエッター「正義の剣、キュアフエッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気之力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

スター「宇宙に輝くキラキラ星!! キュアスター!!」

ミルキー「天にあまねくミルキーウェイ!! キュアミルキー!!」

ソレイユ「宇宙を照らす!! 灼熱のひらめき!! キュアソレイユ!!」

セレーネ「夜空に輝く!! 神秘の月あかり!! キュアソレイユ!!」

コスモ「銀河に輝く虹色のスペクトル!! キュアコスモ!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「フューチャー
フォースプリキュア!!」

スター、ミルキー、ソレイユ、セレーネ、コスモ「スタートウインクルプリキュア!!」
別世界同士のプリキュア2チームが今ここに夢の共演が実現した、プリキュア2チー
ムがバトルヴェソールの率いる軍勢に挑んだ。

バトルヴェソール「両チームか。ならばこちらも行くぞ!!」

バトルヴェソールはジェットチームとオートソルジャーズとモンスターレディズと兵
達にプリキュアに攻撃させた。

ストライク、マジック、スター「はああああー!!」

ストライク、マジック、スターの3人のピンクのプリキュアがゾンビーンの部隊に同
時にパンチを出して蹴散らした。

ミルクィー「プリキュア・ミルクィーショック!!」

シンシア「プリキュア・シンシアショット!!」

ミルクィーがカチューシャの流れ星型の装飾にエネルギーをチャージし、左右のセンサーから強力なエネルギーでマシンソルジャーの部隊に喰らわせ、シンシアがキュアブレードマグナム銃モードから多数のレッドのハート型エネルギー弾を連射して、撃破した。

クイーン「ソレイユ、一緒に行くよ!!」

ソレイユ「わかったわ。」

クイーンとソレイユが連携を取って、クイーンが蹴りでスカルトイに打ち込んでいき、両手で掴みながら他のスカルトイの群れに投げてぶつけていき、ソレイユが炎の球を形成して、シュートしてスカルトイの群れを燃やした。

セレーネ「遠距離は私に任せてください。」

フェッター「近接は私がやるわ。」

セレーネは射撃、フェッターは近接の2つの距離による連携で行き、セレーネが三日月型の弓を形成し、スターカラーペンで形成した多数の光状の矢で、バットルの集団に射撃し、そしてフェッターがジャンプして駆けながらキュアカタナテツポウ刀モードでバットルの集団に次々と斬り込んだ。

コスモ「行くよ。」

ジャック「えええつ。」

ジャックとコスモが素早い動きで走りながらインフェルノ兵の集団にまわって散乱し、2人の素早い動きに戸惑うインフェルノ兵の集団はマシンガンで射撃したが、全弾かわされてしまい、逆に2人の繰り出すパンチで蹴散らされた。

プルンス「凄いでプルンス!!」

トットム「2つのチームのプリキュアが連携取れてて息ぴったりだぜ。」

両チームのプリキュア達が違う世界同士一緒に連携しながらうまく戦い、息ぴったり
の戦いが取れていた。

バトルヴェソール「死ね!!」

バトルヴェソールが両肩のヴェソールキャノンでプリキュア達に砲撃した。

ストライク「うっ!!」

キングフアラミー「わしの古代呪術を受けよ!! キャーメンポイズンミスト!!」

キングフアラミーが両手を広げて、プリキュア達の周囲全体に霧を出現させて、そ
の霧には毒があり、ストライク達に毒を浴びせた。

一同「うっ、あああっ!!」

キングフアラミーの毒の霧によって、毒状態に陥ったストライク達。

ジェットーム「いただくぜ!!」

ジェットームが両腕からビームプラスターでストライク達に射撃した。

オートコマンダー「一気にかかるぞ!!」

毒状態に陥ったストライク達に攻撃しにかけ、オートコマンダーがパンチを連打して、ストライク、マジック、スターに打ち込んだ。

オートブレイカー「貰った!!」

オートブレイカーがストライク、マジック、スターに右腕のドリルアームで突き、次に左腕のスピンソーで斬り込んだ。

ストライク、マジック、スター「うっ!!」

オートブレイカーの攻撃を喰らったストライク、マジック、スター。

マシンフランド「散れえっ!!」

マシンフランドが腹部からビーム砲でシンシア、ミルキーに攻撃し、さらに炎を出現して攻撃した。

シンシア、ミルキー「あああっ!!」

マシンフランドのビームと炎攻撃を喰らったシンシア、ミルキー。

ロクサーパイア「オラオラア、死になよ!!」

オートウインガー「空からせめてやるぜ!!」

フェッターとセレーネに空中から攻撃にしかかるオートウインガーとロクサーパイア。オートウインガーが両腕のミサイルランチャーを一斉発射して攻撃し、ロクサーパイアが爪で斬り裂いた。

フエッター「やってくれたね……!!」

セレーネ「こちらも……!!」

空中にいるオートウインガーとロクサーパイアに射撃で応戦するが、毒の影響でうまく狙いが定まらず、外れてしまい、逆に2人に攻撃された。

オートバスター「撃ち落としてやるぜ!!」

クイーンとソレイユに向かって、ガトリングガンとツインキャノンで射撃するオートバスター。

クイーン、ソレイユ「あああああー!!」

オートバスターの射撃を喰らったクイーンとソレイユ。

アルフェルン「いただきます!!」

アルフェルンが素早い動きで駆けながらジャック、コスモに尻尾を振って攻撃し、さらに鋭い爪で引っ掻いた。

コスモ「相手は犬、こんな時……」
ジャック「毒の影響で身体が……」

キングフアラーミイの毒の霧によつて、陥つてしまったプリキュア達。

キングフアラーミイ「次はこれを受けよ、キヤーメンデスショット!!」

キングフアラーミイが掌からカーメン型の光弾を連射し、プリキュア達に攻撃した。

プリキュア一同「ああああああー!!」

キングフアラーミイの攻撃を受けたストライク達。

ストライク「こうなったら、ジャステイスヒーローを召喚よ!!」

毒状態におちいったストライク達は各ヒーローライドジュエルを出して、キュアアートフォンチェンジャーに刺して召喚する。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「ヒーローライドジュエル!!」

ストライクはアイゼンアロイス、シンシアはフェアリール、フェッターは隼疾風、マジックはウィザードイ、ジャックはヴォイダートマン、クイーンはバルクマツスラーを召喚して、オートコマンダー達と交戦した。

アイゼンアロイス「またお前と戦えるとはな!!」
オートコマンダー「来い、アイゼンアロイス!!」

両者再戦し、アイゼンアロイスが掌からビームソードで出刃してオートコマンダーに斬撃した。またオートコマンダーは右腕のミサイルランチャーで射撃し、そのまま殴り込んだ。またオートブレイカーがドリルでアイゼンアロイスに攻撃しにかかったが、だ

が、アイゼンアロイスはパンチでオートブレイカーの胴体に殴り込み、そのままキックで打ち込んだ。

隼疾風「空なら私が相手してやる!!」

オートウインガー「2人相手に勝てるか?！」

ロクサーパイア「やれるならやりなよ!!」

空中では隼疾風がオートウインガーとロクサーパイアと激戦を繰り広げていた。隼疾風が翼を広げて飛ばたきながら、2人に竜巻を起こして喰らわせた。オートウインガーは両脚の飛行ブースターで推進しながら隼疾風に向かって、バルカン砲で攻撃し、ロクサーパイアが翼を広げて素早く飛ばたきながら鋭い爪で引っ掻きかかった。

隼疾風「!!」

すぐにロクサーパイアの攻撃をかわし、素早く飛びながらオートウインガーとロクサーパイアに翼で斬り込んだ。

バルクマツスラー「うおおおおー!!」

バルクマツスラーがオートバスターの攻撃を受けつつ勢いで走りながら、オートバスターの元に向かって思いっきり殴り込んだ。

ヴォイダートマン「そこか!!」

素早い動きで駆けながら回るアルフェルンの動きを目で見ながら確認したヴォイダートマンは後ろから駆けて来るアルフェルンにキックで蹴り込み、続いて手刀でアルフェルンに打ち込んだ。

フェアリール「これを喰らいなさい!!」

マシンフランド「失せろ!!」

フェアリールがマスケット銃を6本召喚して、マシンフランドに射撃し、またマシンフランドも両指のマシンガンで反撃した。

ウイザーデイ「今解毒をする。」

キングフアラーミイに毒状態にされたストライク達を魔法で解毒したウイザーデイ。

マジック「ウイザーデイ、ありがとう。」

ウイザーデイ「どうって事ないのじゃ。」

フェッター「特にあの厄介な呪術を使う敵には気を付けていかないかね。」

キングフアラーミイは呪術を使って来る事で、警戒していくストライク達。

キングフアラーミイ「ならば、これを受けよ。キヤーメンサウンドウェーブ!!」

キングフアラーミイが掌から強烈的な音波を発生して、ストライク達に響かせた。

一同「うわあっ!!」

キングフアラーミイの放った強力な音波に響かされ、ダメージを受けたストライク

達。

キングファラーミイ「まだまだじゃ、次はこれじゃ。キヤーメンサンダー!!」

続いてキングファラーミイは呪術で唱えた雷を降らせて、ストライク達に攻撃した。

一同「わあああああー!!」

キングファラーミイの唱えた攻撃呪術で追い詰められたストライク達。

バトルヴェソール「流石だ、キングファラーミイ。」

ジェットーム「こいつはすげえ。」

キングファラーミイの呪術によりプリキュア達が追い詰められていき、このままなす術はないのか？

フワ「フワー!!」

その時、フワが駆け込んで来て、キングファラーミイに体当たりをした。

キングファラーミイ「くっ、何をする!!」

フワの体当たりにより、呪術を阻まれたキングファラーミイ。

スター「フワ!!」

フワ「みんなをいじめさせないフワー!!」

キングファラーミイにしがみ付いて、呪術を使わせないとするフワ。

キングファラーミイ「ワシに楯突いたことを後悔させてやる、受けよ!!」

自分の身体にしがみつくフワに対し、キングファラーミイがある呪術を唱えて、フワに異変を起こした。

フワ「フワー!!」

キングフェアリーミイの呪術により、フワは他の妖精達と同じようにフェアリージュエルにされてしまい、その影響により、スター達5人のスタートウインクルプリキュアも変身解除されて、5人の力もプリキュライドジュエルにされてしまった。

ひかり「えっ?!」

ララ「何?!」

えれな「フワが?!」

まどか「私達の変身が……!!」

ユニ「解けた……!!」

フワがキングフェアリーミイの呪術によりフェアリーライドジュエルにされてしまい、ひかる達5人の変身が解除されて、5人のプリキュアの力がプリキュライドジュエルにされてしまった。

ストライク「スター達が……!!」

スター達5人が変身解除され、5人の持つ力はプリキュライドジュエルにされたのを目の当たりにするストライク達。

バトルヴェソール「キングフアラーミイ、お前よく妖精の1人をフェアリージュエルにしたな。」

キングフアラーミイ「これは記念に手にしておこうか。」

フェアリージュエルにされたフワを手にしたキングフアラーミイ。

ひかる「フワを返して!!」

ララ「フワを元に戻してルン!!」

キングフアラーミイ「これはもうワシのものじゃ、ついでにお前達のカモワシのものにしてやろう。」

プリキュライドジュエルにされた5人の力を奪おうとかかるキングフアラーミイがひかる達のところへ接近しかかった。

ストライク「そうはさせない!!」

その時、ストライク達6人が駆けつけにかかり、キングファラーミイの行動を阻んだ。

キングファラーミイ「邪魔をするな!!」

シンシア「フワを返しなさい!!」

キングファラーミイが手に持っているフワのフェアリージュエルにシンシアがキュアブレードマグナム銃モードで、手に射撃して切り離し、フワのフェアリージュエルをすぐに回収した。

キングファラーミイ「おっ、おのれえっ!!」

ストライク「さあ、覚悟して!!」

バトルヴェソール「またしてもか。」

キングファラーミイ「ここは引くしかあるまいな。」

バトルヴェソール「全員、退却だ!!」

直ちに配下や兵達に退却命令を出し、この世界から引き上げるバトルヴェソールとキングファラーミイはエビルシップに戻り、艦隊を連れて退却した。戦いが終わり、フワがフェアリージュエルにされて、自分達5人の力がプリキュライドジュエルにされて失ったひかる達は、

ひかる「アイカちゃん、これをお願い。」

アイカ「スタートウインクルプリキュアの力、フワのフェアリージュエル。」

ララ「私達の力じゃ元には戻せないルン。」

ユニ「これはあなた達が持つておいた方がいいかもしれないから。」

えれな「あたし達の力、必要なんでしょ。」

まどか「大事にしてください。」

アイカ「ありがとうございます、あなた達スタートウインクルプリキュアの力、大丈夫にします。いつか必ずあなた達の力をお返しし、フワを必ず元に戻す事を約束します。」

ひかる達に託されたスタートウインクルプリキュアの力が宿った5つのプリキュラ

イドジュエルとフワのフェアリージュエルを手にしたアイカ達は、必ず返す事とフワを戻す事を約束した。そして元の世界へと帰還するアイカ達。スタートウインクルプリキュアの力を手にし、そしてヴァンガードクリスタルが起動が近づこうとした。

次回 41話へ続く

設定9

ヴァンガードヒーローフォーム

ヴァンガードクリスタルの力で新たなフォームとなり、通常やフォームチェンジの数十倍の能力を持ち、各プリキュアごとによりそれぞれ優れた能力を持つ。ドラグードと互角に渡り合える力を持つ。

キュアストライクヴァンガードヒーローフォーム

ストライクの強化フォーム。ヴァンガードクリスタルによってアイゼンアロイス、ボルケリート、鉄斉、ブレイディオと一体化した鎧闘士の風の姿をし、胴体にヒーローアイゼンアーマー、両腕にヒーローボルケリートガントレット、ヒーロー鉄斉レガースを纏い、武器はヒーローブレイディオソードであり、ヒーローボルケリートガントレットにパワーシヤッキがあり、ヒーローアロイスアーマーの背中にあるヒーローアロイスジェットユニットは飛行が可能である。能力は今までの数十倍の力を持ち、格闘と剣技に優れていて、攻撃力が非常に高い。ドラグードと渡り合う力を持つ。またヒーローボルケリートガントレット、ヒーロー鉄斉レガース、ヒーローブレイディオブレードにはプリキュアライドを装着して必殺技を発動させる事が可能。全ての特殊能力の影響を一

切受けない。

必殺技

プリキュア・ストライクヴァンガードライジングナツクル

ストライクヴァンガードヒーローフォームの必殺。両腕を発光しながら敵に強烈なパンチする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ストライクヴァンガードライジングキック

ストライクヴァンガードヒーローフォームの必殺技。両脚を発光ながらジャンプして空中キックで敵に打ち込み。相手を浄化または撃破する。完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ストライクヴァンガードブレイジングスラッシュ

ストライクヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローブレイディオソードを発光しながら敵を一刀両断する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ストライクヴァンガードバーストファイア

ストライクヴァンガードヒーローフォームの必殺技。掌から強力な火炎を放ち、敵全体を燃やし尽くす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ストライクヴァンガードブレイドバーストサンシャイン

ストライクヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローブレイドイオソードにエネルギーを集中しながら強力なピンクのハート型光線を放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードブラックスターツインナックル

ストライクヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローボルケリートガントレットにブラック、スターのプリキュライドジュエルを装着して2人の力を発動しながら両拳に強力なピンクの光状の拳を放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードブルームフローラストームキック

ストライクヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーロー鉄斎レガースにブルーム、フローラのプリキュライドジュエルを装着して2人の力を発動しながら両脚にピンクの光状を纏いながら敵全体にキックする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードメロディハートエールザンバー

ストライクヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローブレイドイオソードにメロディ、ハート、エールのプリキュライドジュエルを装着して3人の力を発揮しな

がら刀身に集中しながらピンクのエネルギー状を纏いながら大きく下ろして敵全体に斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

キュアシンシアヴァンガードヒーローフォーム

シンシアの強化フォーム。ヴァンガードクリスタルによってフェアリアル、スカヴァ、明利江、ガンニクスと一体化したクノ一銃士で、胴体にヒーローフェアリアルドレス両腕にヒーロースカヴァガントレット、両足にヒーロー明利江シューズを纏い、武器はヒーローガンニクスツイインライフルで、ヒーローフェアリアルドレスの背中にヒーローフェアリアルウイングは飛行が可能であり、ヒーローガンニクスツイインライフルの銃口の下部に羽佐鬼がある。能力は今までの数十倍の力を持ち、機動力と射撃に優れていて、スピードが非常に高い。ドラグードと渡り合う力を持つ。またヒーローガンニクスツイインライフル、ヒーロースカヴァガントレット、ヒーロー明利江シューズにプリキュライドを装着して必殺技を発動させる事が可能。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・シンシアヴァンガードライトニングエアリアル

シンシアヴァンガードヒーローフォームの必殺技。シンシアヴァンガードヒーローフォームが全身を発光しながら全速で敵全体に突撃して飛び回りながらヒーローガン

ニークスツインライフルの羽佐鬼で斬り込んでいく。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・シンシアヴァアンガードオールガンショット

シンシアヴァアンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローガンニークスツインライフルを発光しながら、敵全体に強力な赤色のレーザー光線を射撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・シンシアヴァアンガードソーサードアーツ

シンシアヴァアンガードヒーローフォームの必殺技。分身体をいくつか形成して、敵にエネルギー状の円形手裏剣を形成して投擲して攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・シンシアヴァアンガードアイスハリケーン

シンシアヴァアンガードヒーローフォームの必殺技。両腕を発光しながら強力な氷結状の竜巻を出現して敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・シンシアヴァアンガードシユーツーティングバーストサンシャイン

シンシアヴァアンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローガンニークスツインライフルにエネルギーを集中しながら強力な赤色のハート型光線を放ち、敵全体に攻撃す

る。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードミントマーチパルフェミルキークイクダツシユ

シンシアヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーロー明利江シユーズにミン
ト、マーチ、パルフェ、ミルキーのプリキュライドジュエルを装着し、4人の力を発動
して両脚に赤色の光状を纏いながら最速で駆けながら敵全体に突撃する。相手を浄化
または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードミントダイヤモンドロゼッタマシエリスパイラルソーサー
シンシアヴァンガードヒーローフォームの必殺技。スカヴァガントレットにミント、
ダイヤモンド、ロゼッタ、マシエリのプリキュライドジュエルを装着して4人の力を発
動しながらスカヴァガントレットから形成した2つの赤色のエネルギー状の無数の刃
が生えた円形を投擲して敵に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力
の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードホワイトイーグリットリズムスカーレットクロスシヨット
シンシアヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローガンニクスツイインラ
イフルにホワイト、イーグリット、リズム、スカーレットのプリキュライドジュエルを
装着して4人の力を発動しながら2丁小銃に集中して赤色のエネルギー状を纏いなが
ら強力な光弾を連射し、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能

力の影響は一切受けない。

キュアフェッターヴァンガードヒーローフォーム

フェッターの強化フォーム。ヴァンガードクリスタルによって烈陣丸、光陰明、隼疾風と一体化した翼武者で、全身にヒーロー隼疾風鎧、両腕にヒーロー光陰明籠手を纏い、武器はヒーロー烈陣セイバーで、ヒーロー隼疾風鎧の背中にヒーロー隼疾風翼で飛行が可能である。能力は今までの数十倍の力を持ち、能力においては全体的にバランスが非常に優れている。ドラグードと渡り合う力を持つ。またヒーロー隼疾風翼、ヒーロー光陰明、ヒーロー烈陣セイバーにプリキュライドを装着して必殺技を発動させる事が可能。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・フェッターヴァンガード烈気斬

フェッターヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーロー烈陣セイバーに気を纏いながら敵に一刀両断する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・フェッターヴァンガード陽陰波

フェッターヴァンガードヒーローフォームの必殺技。両腕を発光しながら右手から陽光波、左手から陰光波をそれぞれ放ちながら、光と闇の攻撃を同時に敵全員に喰らわ

す。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・フェッターヴァンガード風翔陣

フェッターヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーロー隼疾風翼を羽ばたきながら突風を起こして敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・フェッターヴァンガード剣放斬

フェッターヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーロー烈陣セイバーにエネルギーを集中しながら強力な紫色の剣型光線を放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードソードマカロン烈空波

フェッターヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーロー烈陣セイバーにソード、マカロンのプリキュライドジュエルを装着し、2人の力を発動しながら刀身に紫色の光状を纏いながら敵全体に真空波を放つ。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードフォーチュンセレーネ夜星光

フェッターヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーロー光陰明籠手にフォーチュン、セレーネのプリキュライドジュエルを装着し、2人の力を発動しながら左右の

両手から陽と陰の2つで組み合わせた光線を敵に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードマジカルアムール双翼乱轟

フェッターヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーロー隼疾風翼にマジカル、アムールのプリキュライドジュエルを装着し、2人の力を発動しながら翼に紫色の光状を纏いながら飛行し、敵全体に向かって突撃して翼で斬り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

キュアマジックヴァンガードヒーローフォーム

マジックの強化フォーム。ヴァンガードクリスタルによってソール、ウイザーディ、スーパーレディと一体化した偉人と思わせる魔導士の姿で、全身にヒーローウイザーディローブ、両腕にヒーローレディグローブを纏い、武器はヒーローソールハンマーを装備し、ヒーローウイザーディローブからはあらゆる特殊能力を発動したり、飛行も可能であり、能力は今までの数十倍の力を持ち、能力においてはパワーと魔法が優れている、魔法攻撃が非常に高い。ドラグードと渡り合う力を持つ。またヒーローウイザーディローブ、ヒーローソールハンマー、ヒーローレディローブにはプリキュライドジュエルを装着して必殺技を発動させり、また分身体作る事も可能。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

必殺技

プリキュア・マジックヴァンガードソーサリーブラスト

マジックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。掌から魔力で形成した多数のマゼンタの魔法光線を多数放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・マジックヴァンガードビックハットトリックランプボンバー

マジックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。巨大なマジックハットを出現して、中から多数のランプのカードを放出して、敵全体に爆発させる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・マジックヴァンガードサンダークラッシュ

マジックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローソールハンマーにエネルギーを集中しながら、強力な雷を放出して敵全体に喰らわす。敵全体に爆発させる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・マジックヴァンガードソーサリーパンチ

マジックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。スーパーレディグローブを発光しながら、マゼンタのエネルギー状のパンチを敵に放つ。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・マジックヴァンガードワンダーポーション

マジックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローレディグローブで味方を回復させる。また状態異常も解除させる。

プリキュア・マジックヴァンガードリリカルアツプ

マジックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローレディグローブで味方全体の攻撃力、防御力をアツプさせる。

プリキュア・ヴァンガードドリームハッピーリリカルブラストパンチ

マジックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローレディグローブにドリーム、ハッピーのプリキュライドジュエルを装着し、2人の力を発動しながらヒーローレディグローブにマゼンタの光状を纏いながらエネルギー状のパンチを大量に放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードブロッサムミラクルソーサリートリックペタルストーム

マジックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローウィザードグローブにブロッサム、ミラクルのプリキュライドジュエルを装着し、2人の力を発動しながら上空から大量のマゼンタの花びらを敵全体に嵐のように飲み込みながら、嵐の中の花びらと共に大爆発する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けな

い。

プリキュア・ヴァンガードエースラブリーホイップワンダーボールシュート

マジックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローソールハンマーにエース、ラブリー、ホイップのプリキュライドジュエルを装着し、3人の力を発動しながらエネルギーを集中しながら巨大な魔力で形成した魔法の球を出現し、そのままシュートし、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

キュアジャックヴァンガードヒーローフォーム

ジャックの強化フォーム。ヴァンガードクリスタルによってファイツ、ウォーティル、ヴォイダートマンと一体化した鎧騎士の姿で、全身にヒーローヴォイダートメイルを纏い、武器はヒーローウイザーデイハルバート、ヒーローファイツシールドを装備し、ヒーローファイツシールドはバリアより頑丈であらゆる攻撃を防いだり、攻撃として使用したりし、またヒーローヴォイダートメイルは水中戦も可能とする。能力は今までの数十倍の力を持ち、格闘と槍技に優れていて、防御力が非常に高い。ドラグードと渡り合う力を持つ。またヒーローヴォイダートメイル、ヒーローウォーティルハルバート、ヒーローファイツシールドにはプリキュライドジュエルを装着して必殺技を発動させり、また分身体作る事も可能。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ジャックヴァンガードシールドブーメラン

ジャックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローファイツシールドを手に持ちながら、盾を発光しながら投擲して敵に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ジャックヴァンガードブレイクエルボー

ジャックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。片腕を発光しながら、ジャンプしながら敵に向かってエルボーで強く打ち込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ジャックヴァンガードバスターパンチ

ジャックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。右腕を発光したまま360°回転しながら、敵に向かって、思いっきり殴り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ジャックヴァンガードハイドロスピアレイン

ジャックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローウォーターイルハルバートから無数の水状の槍を出現して、共に向かいながら敵全体に突撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ジャックヴァンガードスクリュートルネードスピア

ジャックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローウオーテイルハルバートを突き出して、全身を発光しながら錐揉み回転して、敵に突撃して貫く。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードアクアマリンマーメイドジェラートハイドロオーシャン

ジャックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローヴォイダートマイルにアクア、マリン、マーメイド、ジェラートのプリキュライドジュエルを装着し、4人の力を発動しながらいくつかの巨大な水柱を出現して、敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードベリービューティプリンセストライブレイカー

ジャックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローウオーテイルハルバートにベリー、ビューティ、プリンセスのプリキュライドジュエルを装着し、3人の力を発動しながら槍に青色の光状を纏いながら、敵に斬る、払う、最後に刺突していく。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードフェリーチェアンジュコスモシールドシユート

ジャックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローファイツシールドにフェリーチェ、アンジュ、コスモのプリキュライドジュエルを装着し、盾に青色の光状

を纏いながらエネルギーをチャージし、そのまま投擲して敵全体にぶち込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

キュアクイーンヴァンガードヒーローフォーム

クイーンの強化フォーム。ヴァンガードクリスタルによってバルクマツスラー、翔華楽、大和丸と一体化した舞妓の姿で、全身にヒーロー翔華楽花着、両腕にヒーローバルクナツクル、武器はヒーロー大和丸槍を装備し、ヒーロー翔華楽花着には隠れている敵を見破ったり、さらにバリアを貼る事も可能であり、今までの数十倍の力を持ち、フェツターヴァンガードヒーローフォームと同じように全体的にバランスが非常に優れている。ドラグードと渡り合う力を持つ。またヒーロー翔華楽花着、ヒーローバルクナツクル、ヒーロー大和丸にはプリキュライドジュエルを装着して必殺技を発動させり、また分身体作る事も可能。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・クイーンヴァンガード舞華天翔

クイーンヴァンガードヒーローフォームの必殺技。両手に黄色のエネルギー状の扇子を2本出現して、敵に向かって、舞いながら飛翔して斬り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・クイーンヴァンガード地砕石散

クイーンヴァンガードヒーローフォームの必殺技両腕を発光しながら黄色の光状を

纏いながら地面を殴って、いくつかの地面の破片を飛ばしながら敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・クイーンヴァンガード烈突鬼

クイーンヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーロー大和丸槍を発光しながら、敵に向かって真つ向から刺突する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・クイーンヴァンガード震烈下撃

クイーンヴァンガードヒーローフォームの必殺技。敵を掴んで持ち上げたまま高くジャンプして、敵を下に向けたまま急降下して、地面に思いつきりぶち込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・クイーンヴァンガード大烈乱舞

クイーンヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーロー大和丸槍を発光しながら、敵全体に向かって薙刀を大きく振り回しながら攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードパインムーンライトミューズシヨコラエトワール進突砕

クイーンヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーロー大和丸槍にパイン、ムーンライト、ミューズ、シヨコラ、エドワールのプリキュライドジュエルを装着し、5人

の力を発光しながら薙刀に黄色の光状を纏いながら敵に向かって刺突する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ヴァンガードルミナスレモネードサンシャインビートトウインクルカスタード光壁頑気

クイーンヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーロー翔華楽花着にルミナス、レモネード、サンシャイン、ビート、トウインクル、カスタードのプリキュライドジュエルを装着し、6人の必殺技を発動しながら、黄色の光状の壁を出現させて、敵全体からの強力な攻撃を防ぐ。

プリキュア・ヴァンガードルージュローズサニーピースハニーソレイユ土火雷衝拳
クイーンヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローバルクナツクルにルージュ、ローズ、サニー、ピース、ハニー、ソレイユのプリキュライドジュエルを装着し、6人の力を発動し、両腕を発光しながら土、火、雷の3つのエネルギー状を纏いながら敵全体に向かって、エネルギー型のパンチを放ち、攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

キュアミスティックヴァンガードヒーローフォーム

ミスティックの強化フォーム。ヴァンガードクリスタルによってミラーシエナ、ワプニオン、エスパネスと一体化した超能力者の姿で、全身にヒーローワプニオンアーマー

を纏い、武器は右腕にヒーローエスパネスガントレット、左腕にヒーローミラーシエナシールドを装備し、ヒーローエスパネスアーマーの頭部あるヒーローワプニオンバイザーには敵や地形などの索敵、分析する機能を持ち、ヒーローエスパネスガントレットはあらゆる超能力を発動したりし、ヒーローミラーシエナシールドは光刃や反射や防御する機能や攻撃する能力を持つ。今までの数十倍の力を持ち、フェッターヴァンガードヒーローフォームとクイーンヴァンガードヒーローフォームと同じように全体的にバランスが非常に優れており、格闘も得意とし、超能力による特殊能力を使う。ドラグードと渡り合う力を持つ。またヒーローワプニオンアーマー、ヒーローエスパネスガントレット、ヒーローミラーシエナシールドにはプリキュライドを装着して必殺技を発動させる事が可能。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ミスティックヴァンガードハンドスラッシュ

ミスティックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。両手を手刀にして発光しながら、敵に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ミスティックヴァンガードスピッキク

ミスティックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ジャンプして身体を発光し

て前後360°。回転しながら敵に向かって強烈なキックする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ミスティックヴァンガードミラーリフレクトバリア

ミスティックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローミラーシエナシールドからバリアを貼り、敵からの攻撃を防ぐと同時に跳ね返す。全ての特殊能力の影響は一切受けない敵からの攻撃を跳ね返す事は出来ない。

プリキュア・ミスティックヴァンガードサイコブラストビーム

ミスティックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローエスパネスガントレットの掌から超能力で形成したビームを乱射し、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ミスティックヴァンガードワープアサルト

ミスティックヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローワプニオンアーマーの能力で敵全体の周りを瞬間移動して光弾を放ちながら攻撃して、次にヒーローミラーシエナシールドから光刃を出現して斬り込み、最後にヒーローエスパネスガントレットからビームを放ち、トドメを指す。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

キュアアラムヴァンガードヒーローフォーム

アラムの強化フォーム。ヴァンガードクリスタルによってジェーニー、アラミラード、エンキナウと一体化した中東の闘士の姿で、全身にヒーロージェーニーアラビアンドレス、両脚にヒーローエンキナウレガースを纏い、武器はヒーローアラミラードドリルアームを装備し、ヒーロージェーニーアラビアンドレスからは魔法や幻術を起こしたり、今までの数十倍の力を持ち、魔法と格闘の両方に優れていて、攻撃力が高い。ドラグードと渡り合う力を持つ。またヒーロージェーニーアラビアンドレス、ヒーローエンキナウレガース、ヒーローアラミラードドリルアームにプリキュライドを装着して必殺技を発動させる事が可能。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・アラムヴァンガードミストヴィジョンアタック

アラムヴァンガードヒーローフォームと必殺技。霧で出来た分身をいくつか形成して、敵全体に向かって、一斉にかかってぶち込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アラムヴァンガードドリルスパイルドライバー

アラムヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローアラミラードドリルアームを回転して発光しながら、ドリルの先端に緑色の光状を纏いながら敵に向かって突撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アラムヴァンガードラッシングスマッシュ

アラムヴァンガードヒーローフォームの必殺技。両手両足を発光しながら、敵に向かってキックで強く打ち込み、次にパンチで連打していき、さらに脚でかかと下ろしをし、最後にパンチで殴り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アラムヴァンガードミストチャージアタック

アラムヴァンガードヒーローフォームの必殺技。全身にエネルギーを集中しながら、霧状で出来た自分の巨大な分身を放ち、敵全体に向かって放ちながらぶち込んでいく。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

キュアジュルフヴァンガードヒーローフォーム

ジュルフの強化フォーム。ヴァンガードクリスタルによってアメント、マナートウ、ゴールドメッシュと一体化した中東の鎧騎士の姿をし、全身にヒーローアメントアーマー、両腕にヒーローマナートウクロー、武器はヒーローゴールドアームズを装備し、ヒーローゴールドアームズは弓と双剣に切り替える機能を持ち、両腕のヒーローマナートウクローはあらゆる攻撃を吸収し、自分の力に増し、今までの数十倍の力を持ち、格闘と武器など戦い得意とし、攻撃力、防御力ともに高い。ドラグードと渡り合う力を持つ。またヒーローアメントアーマー、ヒーローマナートウクロー、ヒーロー

ゴールドアームズにはプリキュライドジュエルを装着して必殺技を発動させる事が可能。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ジュルフヴァンガードエツジスライサー

ジュルフヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローマナートウクローを発光しながら敵を切り裂いていき、最後に突いていく。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ジュルフヴァンガードツインザンバー

ジュルフヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローゴールドアームズ双剣モードを発光しながら敵に斬撃し、最後に双剣を合わせたなら上から斬り込んでいく。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ジュルフヴァンガードアローシユート

ジュルフヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローゴールドアームズ弓モードで、エネルギーを集中しながら強力な光矢を素早く放ち、敵に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・ジュルフヴァンガードブラスター

ジュルフヴァンガードヒーローフォームの必殺技。ヒーローアメモントアーマーの

胴体にワニの顔の口を開いて、強力な光線を敵全体に向けて発射する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

インフェルノ

キングフアラミーイ

CV：宇垣秀成

インフェルノの最高幹部であり、種族はアンデッドで、外見はフアラオの姿をしたミイラ男で、あらゆる呪術を使い、呪術で相手を苦しめていき、攻撃魔法も使い、彼は古代キヤーマン族の末裔で、滅びた一族の再興を目指しており、最高幹部でありながら部下や兵達の面倒もよく見ており、周りから信頼されている。バトルヴェソールとは不仲である。

必殺技

キヤーマンポイズンミスト

キングフアラミーイの必殺技。両手を広げて呪術を唱えながら、敵全体に毒の霧を発生して毒状態にする。

キヤーマンデスショット

キングフアラミーイの必殺技。掌から光弾を連射し、敵全体に攻撃する。

キヤーマンサンダー

キングファラーミイの必殺技。呪術を唱えながら、敵全体に攻撃する。

キヤーメンサウンドウエーブ

キングファラーミイの必殺技。呪術を唱えながら、掌から強烈な音波を発生して、敵

全体に攻撃する。

第41話 共鳴

スタートウインクルプリキュアの力を手に入れて、元の世界へ帰還したアイカ達はロシアのWJGのモスクワ最高総司令部に到着し、集めたプリキュライドジュエルとヒーローライドジュエルを揃えて、ヴァンガードクリスタルを発動させる準備をしていた。

ロシア

モスクワ

WJG最高司令部

アイカ「ここが最高司令部。」

麗奈「モスクワはWJGを統括最高司令部よ。司令部より一番上よ。」

咲耶歌「凄いね。」

はるな「集めたプリキュライドジュエル、ヒーローライドジュエルをヴァンガードクリスタルの発動の準備するために。」

文「そうだね。」

海「ヴァンガードクリスタルは私達プリキュアとジャスティスヒーローの想いを共鳴

しないと発動しない。」

サルニコフ「無論、敵は必ずここに狙ってくる可能性は高い。」

アイカ達の前にWJGの前長官であり、今は総監のサルニコフが現れた。

麗奈「サルニコフ総監。」

サルニコフ「麗奈中尉、プリキュアとして一緒にやっているようではないか。」

麗奈「はい。」

サルニコフ「君達5人が今のプリキュアか。」

アイカ、はるな、咲耶歌、海、文「はい。」

サルニコフ「わしはWJG総監のイワンⅡサルニコフ元帥だ。」

咲耶歌「軍のお偉いさんですね。」

サルニコフ「そうだ。君達の活躍もよく知ってる。」

アイカ「あたし達の事も知ってるんですか？」

サルニコフ「ヴァレリアンから聞いている。それと今はヴァンガードクリスタルを発動させるためには君達とプリキュアの力とジャスティスヒーローの力を共鳴させなければならぬ。」

はるな「私達の共鳴で引き起こさなければならぬのね。」

サルニコフ「ヴァンガードクリスタルは今となつて最後の切り札と言ふべきだな。今後の戦いにおいて優位にもたらず事も出来る。これがヴァンガードクリスタルだ。」

サルニコフはアイカ達6人にヴァンガードクリスタルを出し、形は神秘のような丸いクリスタルをしていた。

はるな「これがヴァンガードクリスタル。」

咲耶歌「綺麗……。」

アイカ「あたし達はヴァンガードクリスタルの共鳴に専念……。」

はるな「インフェルノが来た場合……。」

サルニコフ「その必要はない。WJGが戦いを行う。来た前。」

ヴァンガードクリスタルに専念するアイカ達の前に現れたWJGの隊員達。その中で以前会ったアルトとユーリアン、他のWJGの隊員3人と自分と同じプリキュア8人だ。

アルト「久しぶりだな。」

咲耶歌「あなたはクローガン少佐にクルスコフ中尉。」

ユーリアン「またお会いできましたね。」

海「この人達は？」

ソボレフ「ヨーゼフソボレフ。」

クズネツオフ「俺の名はアレクセイクズネツオフ。」

アシモフ「俺はアシモフモロトフ。」

3人のWJGの隊員はソボレフ、クズネツオフ、アシモフはアイカ達に自己紹介した。

美那「私の名前は天津美那、またの名はキュアイブリースだ。」

真理奈「私の名前は国塚真理奈、またの名はキュアハルファスよ。」

クリス「私は草薙クリス、またの名はキュアロード。」

シーナ「私の名前は姫宮シーナ、またの名はキュアエイジスよ。」

アリーナ「私はWJGのアリーナグリスロフ中佐、またはキュアチェーニよ。」

ケリー「あたしはWJGのケリールシーマン少佐、またはキュアコード。」

テッサ「私の名前はWJGのテッサパールパージュ少佐、またの名はキュアステルス。」

ジェナ「あたしはジェナドローヴレンスだ、またはキュアデイメンションだ、よろし

くな。」

自己紹介をする美那らアームズフリートプリキュアとアリーナらシークレットエージェントプリキュアとジェナ。彼女達はアイカ達と同じプリキュアだが、少し違う特徴を持つ。そしてヴァンガードクリスタルの発動により、プリキュア達は強い力を得て、戦いを大きく変える事も出来る。一方、ヴァンガードクリスタルの発動を知り、直ちにモスクワへ向かうバトルヴェソール、キングフアラミー、ジェットームらは配下のオートソルジャーズとモンスターレディズ、ザツバード達を連れて、大戦力でヴァンガードクリスタルの阻止にかかった。

移動中

異空間

エビルシツプ

ブリッジ

バトルヴェソール「奴らを叩き出してやる。ヴァンガードクリスタルを発動させたら俺達も歯が立たないからな。」

キングフアラミー「モスクワを潰せばWJGも壊滅出来るはずじゃ。」

ジエットーム「ヴァンガードクリスタルが発動する前に俺達が先にやってやるぜ。」
バトルヴェソール「ついでにプリキュアの力やフェアリージュエルも全て奪ってやる。」

キングファラーミー「ドラグード達が来る前にワシらだけで阻止せねば。」
バトルヴェソール「大戦力を持ってでも阻止してやる。」
ジエットーム「今度こそ手柄を立ててやる。」

ヴァンガードクリスタルの発動の阻止にバトルヴェソール、キングファラーミー、ジエットームらは今度こそ戦果を果たすため、全力を持ってかかった。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

ブリーフィングルーム

カロン「我々と行くでしょうか。」

ドラグード「あああつ。」

クレア「ドラグード様、既にバトルヴェソールとキングファラーミーは向かわれてい

ます。」

コロッセオス「ドラグード様、すぐにモスクワへ参りましょう。」

ドラグード「そのつもりだ。」

グランマンモス「暴れ尽くしてやるぜ。」

ドラグード達もまたモスクワへ向かい、ヴァンガードクリスタルの阻止にかかった。

パラレルワールド

人間界

ロシア

モスクワ

WJG 最高司令部

サルニコフ「これよりヴァンガードクリスタルの発動を開始する。またインフェルノの襲撃に備えて、直ちに迎撃態勢を整えよ!!」

アイカ達6人がヴァンガードクリスタルの発動のために全てのプリキュライドジュエルとヒーローライドジュエルを円形に揃えていて、ヴァンガードクリスタルとの共鳴

するために6人は中央になっていた。発動には時間がかかり、さらにインフェルノの襲撃する可能性もあり、代わりにWJGが襲撃に備えて迎撃態勢を取り、WJGの隊員やアームズフリートプリキュアやシークレットエージェントプリキュアが待機していた。

アイカ「いよいよだね、あたし達6人プリキュアで。」

はるな「ヴァンガードクリスタルを発動してみんなと共鳴して。」

麗奈「プリキュアとジャステイスヒーローの仲間達と共に。」

咲耶歌「あたし達6人なら共鳴してみせる。」

海「みんなと一緒に。」

文「私達と歴代プリキュアの先輩方やジャステイスヒーロー達の想いでヴァンガードクリスタルを発動させよう。」

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文の6人はヴァンガードクリスタルの発動して共鳴するため、歴代プリキュア達とジャステイスヒーロー達と共に強い想いを寄せていく。

サルニコフ「ようやく現れたか。」

早速、上空から次元の穴が開き、インフェルノのバトルヴェソールの艦隊が現れた。

イブリース「いいか、みんな。私達で奴らを食い止める。」

ハルファス「絶対に彼女達を近づけさせないためにも。」

ソブレフ「俺達がしっかり戦わないとな。」

チエーニ「行くよ!!」

インフェルノと交戦を開始するイブリース達。バトルヴェソールもイブリース達に
対し、兵を迎撃に向かわせた。

イブリース「イブリースバスター!!」

背部に装備されてるビームキャノンでゾンビーンの集団に射撃するイブリース。

ハルファス「はあああああー!!」

空中では、ハルファスが多数のバトルに対し、ビームサーベルで次々と撃墜していた。

ロード「一気に決めます。」

エイジス「えええっ。」

ロードとエイジスが接近して来るスカルトイの集団を同時に攻撃し、一気に蹴散らした。

チエーニ「コード、ステルス、3人で行くよ。」

コード「そうこなくちや。」

ステルス「私達3人のプレーを見せましょう。」

チエーニ、コード、ステルスの3人が連携して、ザッパード、ドラン・キュラー3世、スラツシユラー、フラージェン、クラツシユトロイ、ラミイの周りを動き回りながら攪乱し、素早い動きを繰り返してシークレットブレードガンで斬撃、射撃した。

ザッパード「野郎!!」

ドラン・キュラー13世「邪魔だあつ!!」

ザッパードがサブマシンガン二丁と頭部のビームブラスターを同時に射撃し、さらにドラン・キュラー13世がマントから蝙蝠型光弾を多数放ち、攻撃したが、

チエーニ「はあああああー!!」

チエーニがシークレットブレードガンで振りながら、ザッパードとドラン・キュラー3世の攻撃を払い、2人に向かって斬撃した。

ソボレフ「俺の力を見せてやる!!」

ソボレフはオートソルジャーズを相手にし、両手に装備しているナツクルダスターでオートブレイカーに殴り込んだ。

オートバスター「人間如きの分際が!!」

オートバスターがガトリングガンと両肩のツインキャノンと同時に射撃して、ソボレフに向けたが、

ソボレフ「たあああああー!!」

ナツクルダスターを装備した両手から繰り出す連打で殴り払い、そのまま飛び込んでオートバスターに強く殴り込んだ。

オートウインガー「空なら出来まい!!」

飛行中のオートウインガーが空中から両腕の両翼風のミサイルランチャーでミサイルを発射し、ソボレフに攻撃したが、

ソボレフ「空から攻めて有利になれると思ったか!!」

空中にいるオートウインガーに対し、高く跳びながらして、オートウインガーにキッ

クで打ち込んだ。彼のジャンプ力はプリキュア並のジャンプで、空中にいる敵に向かって跳んで向かう事も可能だ。

オートコマンダー「もらった!!」

オートコマンダーが右腕強いながら、ソボレフに向かって殴りにかかった。

ソボレフ「!!」

ソボレフはオートコマンダーの右腕を片手で受け止めた。

オートコマンダー「人間にしちやただの普通の者とは思えないな。」

ソボレフ「俺達人間を舐めちゃ困るな。」

ソボレフとオートコマンダーの両者がぶつかり合い、2人は肉弾を繰り広げた。

グズネツオフ「当れ!!」

ビームランチャーを構えたグズネツオフが空中にいるロクサーパイアに向かって、狙撃した。

ロクサーパイア「邪魔だあっ!!」

地上から狙撃するグズネツオフに対し、空中から勢いよくかかって爪で引つ掻きかかるロクサーパイア。彼女の急接近に対し、ビームランチャーをバットのよう振りながら彼女に打ち込んだ。

アルト「おっと、ケモ耳っ子は俺が相手をしてやる。」

アルトとユーリアンはアルフェルンを相手に戦い、アルトは弓から多数の矢を放ち、素早く動き回るアルフェルンをけん制し、ユーリアンが2本の剣で斬撃しにかかった。

アルフェルン「!!」

ユーリアンの2本の剣に爪で受け止めて、尻尾を振りながら彼女にぶつけた。

フランマシンド「焼き尽くしてやる!!」

モロトフ「ぶち壊してやるぜ!!」

フランマシンドが炎を放ちながらモロトフに攻撃し、モロトフはバトルハンマーで地面に叩きながら衝撃波を起こして炎を消し、彼女に向かって叩き込んだ。

バトルヴェソール「死ね!!」

ヴェソールキャノンでアームズフリートプリキュア4人に砲撃するバトルヴェソール。

イブリース「そんなのは見え見えだ。」

バトルヴェソールの砲撃をイブリースブレイカーで切り払い、そのまま斬撃した。

キングファラーミイ「キヤーメンポイズンミスト!!」

キングファラーミイが両手を広げて呪術を唱えながら、毒の霧を発生して、イブリース達に毒状態にした。

イブリース「うっ!!」

ソボレフ「身体が・・・!!」

キングファラーミイの唱えた呪術によつて、毒状態に陥つたイブリース達。だが、全ての特殊能力の影響を受けなかったデイメンションがキングファラーミイに向かって、殴りかかった。

デイメンション「残念だったな、あたしは全ての特殊能力は一切受けないんでな!!」
そう言いながらキングファラーミイの顔を殴り込んだ。

キングファラーミイ「うっ、ぐう、貴様、わしの呪術が効いてないじゃと?!」

「デイメンション」「そういう事だ、ロード、解毒を!!」

ロードの持つ解毒能力で、イブリース達全員に毒から解毒し、態勢を戻し、反撃にかかった。

イブリース「倍返しだ、プリキュア・イブリースプラスター!!」

イブリースが掌から黒い拳の光線を放ち、バトルヴェソールとキングファラーミイに攻撃した。

バトルヴェソール、キングファラーミイ「ぐわあっ!!」

イブリースの攻撃を受けたバトルヴェソールとキングファラーミイ。インフェルノの幹部もまた追い詰められていき、戦いはWJGが優位に立った。

イブリース「我々の勝ちだな。」

そう勝利を確信したと感じたイブリース達は、一気にインフェルノを総攻撃にかかった。だが、その時、何処からかエネルギー状の龍の光線が放たれた。

イブリース「!!」

その光線をイブリースがイブリースブレイカーで切り払い、目の前に現れたのはドラグード達だ。

イブリース「ドラグード!!」

ドラグード（戦闘形態）「我々も参加させて貰おうか。」

カロン「お前達は私達が相手をしよう。」

ソボレフ「まずい相手が来たな。」

ユーリアン「このままではヴァンガードクリスタルが阻止されてしまいます。」

アルト「命がけでやるしかないぞ!!」

ドラグード達の出現で、全員決死の行動にかかり、挑んだ。

イブリース、ハルフアス、ロード、エイジス「はああああー!!」

イブリース、ハルフアス、ロード、エイジスら4人のアームズフリートプリキユアがドラグードに一斉にかかった。

ドラグード（戦闘形態）「ふっ。」

一斉にかかってくる4人のプリキユアをパンチで連打して繰り出し、次に回し蹴りをし、さらに両腕のアームドラゴブレードで4人まとめて斬撃した。

イブリース、ハルフアス、ロード、エイジス「うわああああー!!」

ドラグードの攻撃を受けて圧倒されたイブリース、ハルフアス、ロード、エイジス。

ドラグード（戦闘形態）「この程度か？」

イブリース「まだだ、これならどうだ!!」

ハルファス以外のアームズフリートプリキュアの3人が最終フォームに変身して、ドラグードに対し、一斉にかかった。

イブリースデストラクトモード「プリキュア・アプソリユートバスター!!」

エターナルエイジス「プリキュア・デイベインアンカー!!」

シユバリアー「プリキュア・シユバリアーレイブ!!」

ハルファス「プリキュア・ハルファスフェザー!!」

一斉に必殺技を放ち、ドラグードに命中したが、全く傷一つ効いていなかった。

イブリースデストラクトモード「効いていないだと・・・?!」

ドラグード(戦闘形態)「お前達の攻撃、大した意味はなかったな。ならば見せてやる、龍獄大回転!!」

ドラグードはアームドラゴブレードを前に出して前方宙返りしながらイブリースデストラクトフォームら4人に突撃して喰らわせた。

イブリースデストラクトモード、エターナルエイジス、シュバリアー、ハルファス「うわああああー!!」

ドラグードの宙返りによる突撃を喰らったイブリースデストラクトモードら4人。

ヴァイル（戦闘形態）「貰った!!」

コロッセオ（戦闘形態）「喰らえ!!」

続いてヴァイルとコロッセオスが同時にかかって、イブリースデストラクトモード達に攻撃した。

ミステイックミラーシエナフォーム、アラムエンキナウフォーム、ジュルフゴールドメツシユフォーム「散れ!!」

チエーニ、コード、ステルス「ぐわああああー!!」

ミステイックミラーシエナフォームとアラムエンキナウフォームとジュルフゴールドメツシユフォームの連携による力量によってズタズタにされるチエーニ、コード、ス

テルス。

ソボレフ「うつ、まずいぜ……。」

フ。
グランマンモスの凄まじいパワーで押され、彼の巨体と鼻と牙で圧倒されたソボレフ。

グランマンモス「まだまだだぜえ!!」

鼻を伸ばして鞭のように振りながらソボレフに喰らわせた。

カワリーノ（戦闘形態）「おらおらおら、お前らなど惨殺してやる!!」

多数のWJG隊員を1人で蹴散らすカワリーノ。

グズネツオフ「この野郎!!」

グズネツオフがビームランチャーで遠距離からカワリーノに狙撃したが、カワリーノに尻尾でビームを振り払われ、彼が勢いよく飛びかかって、グズネツオフに爪で引っ掻いた。

ノーザ「あらあら、こんな程度かしかな？」

植物の蔓でアルトとユーリアンを捕らえて痛めつけるノーザ。

アルト「この野郎……!!」

ユーリアン「動けない……!!」

ノーザ「じゃあ、今から降ろしてあげるわ。」

植物の蔓で捕らえたアルトとユーリアンを地面に思いつき叩き付けるノーザ。

デイメンション「やはり生きていたのか？」

カロン「そうだ、私は何度だって蘇る。」

かつてファイナルウォーで一度倒したカロンと再び対決するデイメンジョンは、彼の
大鎌による斬撃を回避し、デイメンジョンアックスで大きく下ろして斬撃した。

カロン「ふっ。」

デイメンジョンのデイメンジョンアックスをカロンは左手で受け止めた。

デイメンジョン「何?!」

カロン「私が2度もやられると思うな。デスサイズスラッシュ!!」

右手に持つてる大鎌の刃に闇状を纏いながらデイメンジョンに斬撃した。ドラグー
ド達の圧倒的な実力を前に一気にやられていくWJG。

アイカ「WJGのみんなが!!」

はるな「アイカ、私達はヴァンガードクリスタルに集中しないとダメなのよ!!」

麗奈「今行ったら、ここでおしまいよ!!」

アイカ「わかったよ……。」

ヴァンガードクリスタルの発動に集中に専念し、一刻も早く集中した。

イブリースデストラクトモード「まだまだだー!!」

アイカ達の邪魔させないと必死になって立ち上がって奮闘するイブリースデストラクトモード達。

ドラグード（戦闘形態）「まだ楯突く気か？」

イブリースデストラクトモード「彼女達の邪魔はさせないぞ!!」

ソボレフ「最後までやり切ってやる!!」

ボロボロの状態のままイブリースデストラクトモード達は命を張って決死でドラグード達に戦い続けた。

ドラグード（戦闘形態）「なら、貴様らに我が力見せてやる。龍獄昇天拳!!」

ドラグードがエターナルエイジスに向かって拳を上げて殴り、そのまま撃殺した。

エターナルエイジス「ああああああー!!」

アームズフリートプリキュアの1人のエターナルエイジスがドラグードに一撃で倒されて、死亡した。

シュバリアー、ハルファス「エイジス!!」

イブリースデストラクトモード「真理奈ああああー!!」

仲間のハルファスごと真理奈の最後を見たイブリース達。

シュバリアー、ハルファス「よくも、エイジスをやったなあっ!!」

エイジスを殺したドラグードに対し、怒りを表しながら一斉にかかるシュバリアーとハルファス。

ドラグード（戦闘形態）「ならば、お前達2人も同じようにしてやろう。龍獄龍光波!!」

ドラグードが掌からエネルギー状の龍の光線を放ち、シュバリアーとハルフアスに喰らわせた。

シュバリアー、ハルフアス「うわあああああー!!」

ドラグードの放った光線の一撃により、一瞬で葬られたシュバリアーとハルフアスは死亡した。

イブリースデストラクトモード「クリス、シーナ!!」

ヴァイル（戦闘形態）「残るのはお前1人だ。」

コロッセオス（戦闘形態）「さあ、覚悟するんだな。」

イブリースデストラクトモード「私は最後まで戦う、この身体、命が尽きるまで私は戦う!!」

戦死した3人の仲間のため、命が尽きるまで戦うイブリースデストラクトモードは1人でドラグード、ヴァイル、コロッセオスを3人相手に交戦した。一方、ヴァンガード

クリスタルの発動にアイカ達は、

海「まだヴァンガードクリスタルは発動しないの?!」

咲耶歌「このままだとみんなやられちゃう!!」

文「お願い、ヴァンガードクリスタル、発動して!!」

アイカ「お願い、あたし達とプリキュアとジャスティスヒーローの想いを届いて!!」

必死でヴァンガードクリスタルの発動を求めるアイカ達は、このままだと自分までもやられてしまう。その時、ヴァンガードクリスタルを発光し始めて、光が6人を包んだ。

???

アイカ「ここは?!」

はるな「どこの?!」

麗奈「ヴァンガードクリスタルの光に包まれたみたいね。」

咲耶歌「前起きたのと同じだ。」

海「そうみたいね。」

文「私も同じだったわ。」

ヴァンガードクリスタルの光の中にいる6人の前にルミナスとエースとフェリーチエとプリキュア達とジャスティスヒーローが現れた。

ルミナス（幻影）「あなた達はヴァンガードクリスタルを発動させました。」

文「あなたはシャイニールミナス!!」

咲耶歌「それにキュアエース。」

海「キュアフェリーチエまで。」

エース（幻影）「またお会いできましたね。」

フェリーチエ（幻影）「あなた達の想いによってヴァンガードクリスタルは発動し、プリキュア達とジャスティスヒーロー達が共鳴されたのです。」

アイゼンアロイス「お前達の想い、届いたぞ。」

フェアリール「その想いが私達に伝わったわ。」

烈陣丸「そなた達との共鳴がヴァンガードクリスタルを発動させた。」

ソール「その想いを今見せる時だ。」

ファイツ「その可能性は無限大だ。」

バルクマツラー「決して無駄ではない。」

アイカ「あたし達の想いを今、起こす時だよ。」
はるな「私達の可能性を見せよう。」

ヴァンガードクリスタルで想いを届け、そして今、アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文の6人のプリキュアが新たな力を得た。

ロシア

モスクワ

W J G 最高司令部

ソボレフ、グズネツォフ、モロトフ、アルト、ユーリアン「うわあああああー!!」

ドラグード達に追いやられ、絶対絶滅の窮地となったW J Gのメンバー達。

ドラグード（戦闘形態）「無駄だ、諦めるがいい。」

イブリースデストラクトモード「まだまだだ、お前を倒すまでは諦めん!!」

ボロボロ状態のイブリースデストラクトモードが最後の力を振り絞って、ドラグードに向けて、必殺技を発動させた。

イブリースデストラクトモード「プリキュア・アプソリユートバスター!!」

最後の力を振り絞りながら胸部の宝石と大砲形態になった戦闘アームから高出力の光線を放ち、ドラグードに喰らわせた。

イブリースデストラクトモード「これで終わりだ!!」

そう確信したと思われたが、その必殺技はドラグードに傷一つも効いていなかった。

ドラグード（戦闘形態）「この程度の攻撃、効かん!! 龍獄龍光斬!!」

イブリースデストラクトモードの放った必殺技にびくともしなかったドラグードがアームドラゴブレードにエネルギー状を纏いながらイブリースデストラクトモードに斬撃し、撃殺した。

イブリースデストラクトモード「バカな・・・!!」

かつて最強だったイブリースデストラクトモードがたった今ドラグードに敗れて、無残に敗死した。そして今、アームズフリートプリキユア全員が戦死し、今日終わりを遂げた。

デイメンション「イブリース!!」

カロン「諦めるがいい、お前達に残されたのは敗北のみだ。」

アームズフリートプリキユアが全員戦死し、窮地へと追い詰められたデイメンション達。その時、ヴァンガードクリスタルとの共鳴をし終えたストライク達6人が現れた。

ストライク「インフェルノ!!」

ドラグード「？」

シンシア「あなた達の相手よ!!」

カロン「またお前達か。」

アラムエンキナウフォーム「またやられに来たのか？」

フェッター「いいや、今度は負けない。」

マジック「歴代プリキュアとジャスティスヒーロー達と共鳴して強くなった力を見せてあげる。」

ジャック「私達プリキュアの新しい力を。」

クイーン「ヴァンガードクリスタルで共鳴した力、見せていくわ。」

ストライク「みんな、行くよ!!」

ストライク達6人はヴァンガードクリスタルを前に出し、ヴァンガードクリスタルは発動して、光に放たれ、彼女達の持っているプリキュライドジュエル、ヒーローライドジュエルにより新たな姿となり、ストライクは鎧闘士、シンシアはくノ一銃士、フェッターは翼武者、マジックは魔道士、ジャックは鎧騎士、クイーンは舞妓の姿をしたヴァンガードヒーローフォームとなった。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム、シンシアヴァンガードヒーローフォーム、ジャックヴァンガードヒーローフォーム、マジックヴァンガードヒーローフォーム、ジャックヴァンガードヒーローフォーム、クイーンヴァンガードヒーローフォーム「ヴァンガードヒーローフォーム、ただいま参上!!」

次回
4 2 話へ続く

第42話 ヴァンガードヒーローフォーム

ヴァンガードクリスタルとの共鳴により、新たな姿ヴァンガードヒーローフォームとなったストライク達6人は、ドラグード達に再び挑んだ。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「私達の新しい力、見せていくよ!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「ヴァンガードクリスタルと共鳴した新しい姿を!!」

アラムエンキナウフォーム「また死にに来たつもりか?！」

ジュールゴールドメッシュフォーム「姿が変わっただけだろ?」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「いや、見た目ではないわ。」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「先輩プリキュアやジャステイスヒーロー達の想いを一つにした力を甘くみないでもらうわ。」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「私達の新しい力、今見せてあげるわ。」

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「私達プリキュアと先輩プリキュアやジャステイスヒーローのみんなの想いを見せてあげる。」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「みんな、行くよ!!」

ついにヴァンガードクリスタルの力で新しい姿ヴァンガードヒーローフォームとなった6人がドラグード達に挑んだ。

アラムエンキナウフォーム「死ね、プリキュア・エンキナウブライトクラッシュユナツクル!!」

アラムエンキナウフォームが両拳と両脚に気を纏いながらストライクヴァンガードヒーローフォームに向かって殴るや蹴るなど連発して打ち込んだが、

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「効かないよ!!」

ヴァンガードクリスタルの力によってヴァンガードヒーローフォームとなったストライクは高い防御力でアラムエンキナウフォームの必殺技を防ぎ、傷一つ付かなかった。

アラムエンキナウフォーム「効いてないだど?!」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「ヴァンガードクリスタルで強くなった力、見せてあげる。」

ストライクヴァンガードヒーローフォームがヴァンガードクリスタルで強くなった力を見せるため、アラムエンキナウフォームに向かつて、パンチを繰り返しながら殴り、続いて蹴りで打ち込み、さらにヒーローブレイディオソードで斬撃した。

アラムエンキナウフォーム「うわああああー、何だ、この強さは!!」

ヴァンガードクリスタルによってパワーアップしたストライクヴァンガードヒーローフォームに強い攻撃を受けたアラムエンキナウフォーム。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「次はこれだよ、プリキュア・ストライクヴァンガードライジングナックル!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームが両腕を発光しながらアラムエンキナウ

フォームに強烈なパンチした。

アラムエンキナウフォーム「うわあああああー!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームの繰り出したら強烈なパンチにより、一瞬で葬られたアラムエンキナウフォーム。

ジュルフゴールドメツシユフォーム「散れ!!」

ジュルフゴールドメツシユフォームがゴールドアローで矢を連射しながら、シンシアヴァンガードヒーローフォームに攻撃した。

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「そこね!!」

ジュルフゴールドメツシユフォームの放った大量の矢を自由自在に動き回りながら回避するシンシアヴァンガードヒーローフォーム。

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「次はこっちの番よ!!」

ヒーローガンニークスツインライフルを2丁構えたままジュルフゴールドメツシュフォームに向かって射撃し、次に銃口の下部にある羽佐鬼で斬撃した。

ジュルフゴールドメツシュフォーム「ちい、なら、これを喰らえ!!プリキュア・ゴールドブレイクアックス!!」

ジュルフゴールドメツシュフォームがゴールドアックスを発行して力を集中して、シンシアヴァンガードヒーローフォームに向かって斬りかかったが、両脚を高く跳ねて回避し、必殺技を発動する。

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・シンシアヴァンガードオールガンショット!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォームがヒーローガンニークスツインライフルを発光しながら、ジュルフゴールドメツシュフォームに強力な赤色のレーザー光線を射撃

した。

カワリーノ（戦闘形態）「姿が変わっただけですか？」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「どうかしら？」

フェッターヴァンガードヒーローフォームはヒーロー隼疾風鎧の背中にヒーロー隼疾風翼を羽ばたきながら飛んで、カワリーノ戦闘形態に向かって、ヒーロー烈陣セイバーで斬撃する。

カワリーノ（戦闘形態）「そんな程度効きません!!」

爪を伸ばして、フェッターヴァンガードヒーローフォームに引っ掻きにかかったが、ヒーロー烈陣セイバーで受太刀し、そのまま必殺技を発動した。

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・フェッターヴァンガード烈気斬!!」

ヒーロー烈陣セイバーに気を纏いながらカワリーノ戦闘形態に斬撃した。

カワリーノ（戦闘形態）「があああつ、何だ、この強さは……!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「これがヴァンガードクリスタルの力でパワーアップしたのよ。」

カワリーノ（戦闘形態）「小賢しい!!」

カワリーノ戦闘形態が尻尾を振りながら、フェッターヴァンガードヒーローフォームに向けたが、

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「はあつ!!」

ヒーロー烈陣セイバーでカワリーノ戦闘形態の尻尾を切り払いながらそのまま斬撃した。

ジョーカー「さあ、見せてください、あなた達のその力とやらを。」

ジョーカーがマジックヴァンガードヒーローフォームとジャックヴァンガードヒーローフォームに向かって、多数のトランプを放った。

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォームが前に立って、ヒーローファイツシールドでジョーカーの放ったトランプを全て防ぎ、マジックヴァンガードヒーローフォームが攻撃に出た。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・マジックヴァンガードソーサリーパンチ!!」

マジックヴァンガードヒーローフォームはスーパーレディグロブを発光しながら、マゼンタのエネルギー状のパンチをジョーカーに放ち、攻撃した。

ジョーカー「うぐつ、何と言うちからですか?!ならばこれはどうですか!!」

多数の剣を出現して、2人に向けて一斉に放ったジョーカー。ジャックヴァンガードヒーローフォームがジョーカーの放った多数の剣に対し、ヒーローウオーテイルハルバートを前に出して、必殺技を発動する。

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ジャックヴァンガードハイドロスピアレイン!!」

ヒーローウオーテイルハルバートから無数の水状の槍を出現して多数の剣を払い、共に向かいながらジョーカーに突撃した。

グランマンモス「死ね!!」

グランマンモスは自身の2つの牙を伸ばしながら、クイーンヴァンガードヒーローフォームに向けた。

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「そこね!!」

グランマンモスの伸ばした牙をヒーロー大和丸槍で薙ぎ払い、そのまま必殺技を発動する。

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・クイーンヴァンガード烈突鬼!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォームがヒーロー大和丸槍を発光しながら、グランマンモスに向かって真っ向から刺突した。

グランマンモス「なっ、何だ、この力は?!」

パワーアップした彼女の力の強さに驚愕したグランマンモス。

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「新しい力で強くなった私達の力、見せてあげる!!」

動きを舞いながらグランマンモスの周りを飛んでいき、ヒーロー大和丸槍で攻撃を繰

り出した。ヴァンガードクリスタルの力によってパワーアップした事により、通常やフオームチェンジの数十倍の能力を持ち、カワリーノ達を翻弄した。

ミステイックミラーシエナフオーム「散れ!!」

スカート部から発射した4基のビットでストライクヴァンガードヒーローフオームとシンシアヴァンガードヒーローフオームにオールレンジ攻撃するミステイックミラーシエナフオーム。

ストライクヴァンガードヒーローフオーム、シンシアヴァンガードヒーローフオーム
「!!」

ミステイックミラーシエナフオームのビットのオールレンジ攻撃をすぐに回避したストライクヴァンガードヒーローフオームとシンシアヴァンガードヒーローフオーム。

ノーザ「私も忘れちゃ困るわ。」

ノーザも介入し、植物の触手を出現して2人に向けた。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「はあっ!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームがヒーローブレイディオソードでノーザの植物の触手を斬り払い、掌を前に出した。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ストライクヴァンガード
バーストファイア!!」

掌から強力な火炎を放ち、ノーザに喰らわせた。

ノーザ「ぐわあああああー!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームの放った火炎により、燃やし尽くされる
ノーザ。

ノーザ「火は嫌あ、火はああああああー!!」

そう言いながら弱点の火に苦しめられるノーザ。

ミステイックミラーシエナフォーム「喰らえ、プリキュア・ミラーシエナデットリート!!」

ミステイックミラーシエナフォームがミラーシールド鏡モードと4基のビットによるで攻撃で、4基のビットでシンシアヴァンガードヒーローフォームに放ち、ミラーシールド鏡モードから強力なビームを放ったが、シンシアヴァンガードヒーローフォームが高い機動力で攻撃をかわし、ミステイックミラーシエナフォームに向けて、必殺技を発動する。

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・シンシアヴァンガードライトニングエアリアル!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォームが全身を発光しながら全速でミステイック

ミラーシエナフォームに突撃して飛び回りながらヒーローガンニークスツインライフの羽佐鬼で斬り込んだ。

ヴァイル（戦闘形態）「死ね!!」

空中から飛行するヴァイルがフェッターヴァンガードヒーローフォームとクイーンヴァンガードヒーローフォームに向かつて、ツインイーグルガンで射撃した。

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・クイーンヴァンガード地砕石散!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォームは両腕を発光しながら黄色の光状を纏いながら地面を殴って、いくつかの地面の破片を飛ばしながら空中にいるヴァイルに当たった。

ヴァイル（戦闘形態）「貴様、やってくれたな!! イードルエアリアルアタック!!」

ヴァイルがコンドルウィングで飛び回りながらフェッターヴァンガードヒーローフォームとクイーンヴァンガードヒーローフォームに向かつて突撃するが、

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・フェッターヴァンガード陽陰波!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォームの両腕を発光しながら右手から陽光波、左手から陰光波をそれぞれ放ちながら、光と闇の攻撃を同時にヴァイルに喰らわせた。

コロッセオス（戦闘形態）「オラオラオラ、散れ!!」

両腕に装備されてるアームゲーマーでマジックヴァンガードヒーローフォームとジャックヴァンガードヒーローフォームに連打で繰り出すコロッセオス。だが、ジャックヴァンガードヒーローフォームのヒーローファイツシールドで防御された。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「行くよ、プリキュア・マジックヴァンガードサンダークラッシュ!!」

マジックヴァンガードヒーローフォームがヒーローソールハンマーにエネルギーを集中しながら、強力な雷を放出してコロッセオスに喰らわせた。

コロッセオス（戦闘形態）「うわああああー!! 貴様らあつ!!」

マジックヴァンガードヒーローフォームの強力な雷撃を喰らったコロッセオスは雷撃を受けて尚、すぐに立ち上がり、シャークトライデントを前に向けて必殺技を発動する。

コロッセオス（戦闘形態）「シャークゲイツウオーターバースト!!」

シャークトライデントにエネルギーを集中して、水状のエネルギー光線を放ち、2人に向けた。

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ジャックヴァンガードシールドブーメラン!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォームはヒーローファイツシールドを手を持ちながら、盾を発光しながら投擲してコロッセオスの放った水状のエネルギー光線を打ち破りながら、そのまま彼諸共ぶち込んだ。ヴァンガードクリスタルの力でパワーアップした6人はインフェルノの強豪幹部を追い詰めた。

グランマンモス「こいつら、強過ぎる・・・!!」

ジョーカー「この私達が圧倒されるなんて信じられません!!」

ヴァイル（戦闘形態）「これでは勝てん!!」

ヴァンガードヒーローフォームとなった6人のプリキュアに圧倒され、敗れたヴァイル達は勝てないと判断した。

ドラグード（戦闘形態）「ここは私とカロンが引き受けようではないか。」

コロッセオス「ドラグード様!!」

カロン「私とドラグードで相手をする。」

ヴァンガードクリスタルでパワーアップしたストライク達6人の強さに挑むにかかったドラグードとカロン。今再び、2人とぶつかり合う事となった。

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「ドラグード、カロン。」

ドラグード(戦闘形態)「お前達6人がヴァンガードクリスタルで新しい力を得たようだな。」

カロン「その力、見せてもらうか。」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「こつちも私達6人の新しい力、見せていくよ!!」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「今度は負けないよ!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「先輩プリキュアとジャスティスヒーロー達の想いで共鳴した力を見せていくわ!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「私達プリキュア6人は絶対負けない!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「ドラグード、カロン、絶対あなた達に勝つてみせるよ!!」

ドラグード(戦闘形態)「ならば来い、お前達6人のその力とやらを!!」

再びぶつかり合う6人のプリキュアとドラグード、カロン。ヴァンガードクリスタルで新しい力を得た6人が2人にリベンジする。

ドラグード（戦闘形態）「散れ。」

両手から拳を左右から繰り出し、ストライクヴァンガードヒーローフォームとシンシアヴァンガードヒーローフォームとフェッターヴァンガードクリスタルフォームに殴り込んだ。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム、シンシアヴァンガードヒーローフォーム「はあああああー」

ストライクヴァンガードヒーローフォームはパンチを繰り出してドラグードに殴り、続いて空中からシンシアヴァンガードヒーローフォームがキックで打ち込んだ。

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「一閃!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォームがドラグードの間合いを踏み込んでヒー

ロー烈陣セイバーで素早く一閃して斬り込んだ。

ドラグード（戦闘形態）「うっ、少しはやるな。だが……!!」

3人を相手に戦うドラグードはアームドラゴブレードでまとめて斬撃し、さらに掌から光弾を連射した。

カロン「お前達3人はここで死ぬがいい。」

マジックヴァンガードヒーローフォーム、ジャックヴァンガードヒーローフォーム、クイーンヴァンガードヒーローフォームを3人まとめて戦い、大鎌で斬撃を繰り出すカロン。

ジャックヴァンガードヒーローフォーム、クイーンヴァンガードヒーローフォーム
「!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォームはヒーローウオーテイルハルバート、クイ

ンヴァンガードヒーローフォームはヒーロー大和丸槍でカロンの大鎌を受け止め、その隙を突いてマジックヴァンガードヒーローフォームがヒーローソールハンマーで上から打ちにかかった。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「たあああああー!!」

マジックヴァンガードヒーローフォームがヒーローソールハンマーでカロンの打ち込んだ。

カロン「うっ、やってくれたな。デスサイズシャドウスラッシュ!!」

カロンは分身体を形成して、3人に斬撃しにかかった。

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「やらせないわ!!」

クイーンが身に着用してるヒーロー翔華楽花着にルミナス、レモネード、サンシャイン、ビート、トウインクル、カスタードのプリキュライドジュエルを装着し、必殺技を

発動する。

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードルミナスレモネードサンシャインビートトウインクルカスタード光壁頑気!!」

6人のプリキュアの力を必殺技を発動しながら、黄色の光状の壁を出現させて、カロンの分身体の斬撃を防いだ。一方、ドラグードと激闘を繰り広げるストライクヴァンガードヒーローフォーム、シンシアヴァンガードヒーローフォーム、フェッターヴァンガードヒーローフォームは彼と全力でぶつかり合った。

ドラグード（戦闘形態）「いくら互角でも私を甘く見ては困るな!!」

3人のプリキュアを相手に互角に戦うドラグードは3人まとめて回し蹴りをし、さらにアームドラゴブレードで斬撃し、必殺技も発動した。

ドラグード（戦闘形態）「龍獄龍光斬!!」

ドラグードは両腕のアームドラゴブレードをにエネルギー状を纏いながらストライクヴァンガードヒーローフォームに斬撃しにかかった。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「!!」

ドラグードの必殺技の斬撃をストライクヴァンガードヒーローフォームがヒーローブレイディオソードで受太刀し、そのまま押し返した。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ストライクヴァンガードブレイジングスラッシュ!!」

ヒーローブレイディオソードを発光しながらドラグードに斬撃した。だが、簡単にはくたばる訳にはいかないとドラグードはパンチを連打で繰り出して、攻撃した。

ドラグード（戦闘形態）「貴様らあっ!!」

ヴァンガードクリスタルの力で自分と互角の力で渡り合う3人に負ける訳にはいか

ないと決死で戦い、猛威を振るった。

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・シンシアヴァンガードアイスハリケーン!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォームが両腕を発光しながら強力な氷結状の竜巻を出現してドラグードに攻撃したが、ドラグードは掌を手刀に変えて、氷結状の竜巻を振り払った。

ドラグード（戦闘形態）「私と互角に渡り合えた事は褒めてやろう。」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム、シンシアヴァンガードヒーローフォーム「じゃあ、これどう!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームとシンシアヴァンガードヒーローフォームが各プリキュライドジュエルを出して、ストライクヴァンガードヒーローフォームはブルームとフローラのプリキュライドをヒーロー鉄斉レガースに装着し、シンシアヴァンガードヒーローフォームはヒーロー明利江シューズにミント、マーチ、パルフェ、ミ

ルキーのプリキュライドジュエルを装着し、必殺技を発動する。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードブルームフローラストームキック!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードミントマーチパルフエミルキークイックダッシュユ!!」

必殺技を発動し、ストライクヴァンガードヒーローフォームは両脚にピンクの光状を纏いながらドラグードにキックし、シンシアヴァンガードヒーローフォームは両脚に赤色の光状を纏いながら最速で駆けながらドラグードに突撃した。一方、カロンと死闘を尽くすマジックヴァンガードヒーローフォーム、ジャックヴァンガードヒーローフォーム、クイーンヴァンガードヒーローフォーム。

カロン「死ぬがいい!! デスサイズダークローリングショット!!」

カロンがハデユスの邪悪な力で形成した6つの闇状の光輪を3人に放った。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードブロッサムミラクルソーサリートリックペタルストーム!!」

マジックヴァンガードヒーローフォームがヒーローウイザーデイローブにブロッサム、ミラクルのプリキュライドジュエルを装着し、2人の力を発動しながら上空から大量のマゼンタの花びらをカロンの放った6つの闇状の光輪を打ち払った。ジャックヴァンガードヒーローフォームがヒーローファイツシールドを手に構えて、カロンに向けて必殺技を発動する。

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードフェリーチェア
ンジユコスモシールドシュート!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォームはヒーローファイツシールドにフェリーチェ、アンジユ、コスモのプリキュライドジュエルを装着し、盾に青色の光状を纏いながらエネルギーをチャージし、そのまま投擲してカロンに打ち込んだ。その影響でカロンの仮面が割れて、その顔は人間の顔で、20代前半の男性だ。そしてジャックヴァンガードヒーローフォームはカロンの素顔を見て、驚き出した。

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「嘘でしょ……。」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「えっ？」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「どうしたの？」

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「ジャック?!」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「勇一お兄様……!!」

カロンの仮面から表したその人間の正体はジャックこと海の実の兄である勇一だった。10年前に行方不明になった兄が何故ここに。カロンの正体を知った彼女達の前にDrīeesが現れた。

Drīees「彼の正体を見てはしまったな。」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「Drīees。」

Drīees「彼は回収させて貰うよ。」

仮面を割れたカロンこと勇一を回収しに連れて行くDrīeesはゲートを開いて行くが、

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「待つて、お兄様を連れて行かないで!!」

カロンの正体が兄だと知ったジャックヴァンガードヒーローフォームがすぐにゲートへ向かい中に入った。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「ジャック!!」

また彼女を追い、ゲートの中へと入ったストライクヴァンガードヒーローフォーム達5人。

ドライジス「君達6人には別の所へ飛んで貰おうか。」

ゲートの中へ入った6人を何処か別の世界へ飛ばしたドライジス。

一同「ああああああー!!」

Drījisの力によって別の世界に飛ばされた6人。彼によって飛ばされた6人が着いたのは……。

パラレルワールド

アルフォート

アイカ「うっ、ここは？」

はるな「何処なの？」

麗奈「私も初めて見るわ。」

咲耶歌「何ここ？」

海「お兄様は?!」

文「知らない世界ね。」

見知らぬ世界に飛ばされたアイカ達6人。彼女達の前にクレアが現れた。

アイカ「あなたはクレア?!」

クレア「ようこそ、我が故郷アルフォートへ。」

次回
4 3
話へ
続く

第43話 アルフォート

Drīイジスによって飛ばされたアイカ達6人が着いたのは、クレアの故郷の世界のアルフォートだ。

パラレルワールド

アルフォート

アイカ「故郷って？」

クレア「この世界は私やドラグード様の故郷だ。」

麗奈「私達に罠をかけるつもり?!」

クレア「罠などではない、お前達の私達の世界を見てもらいたいからだ。」

咲耶歌「見て貰う？」

クレア「ハデユス様に支配されたアルフォートを。」

一同「……。」

クレア「着いてこい。」

クレアに連れてアルフォートの世界を見る事になったアイカ達。彼女達はクレアの故郷の実態を目の当たりにする事となる。一方、人間界ではD r イージスの開いたゲートに入り込んだアイカ達6人が行方をくらました事で捜索するW J G。

パラレルワールド

人間界

モスクワ

W J G 最高司令部

司令室

サルニコフ「彼女達の行方は？」

W J G オペレーター「現在わかりません!!」

サルニコフ「必ず何処かのパラレルワールドにいるはずだ!!」

トットム「アイカの嬢ちゃん達は?！」

サルニコフ「さつき開かれたゲートに飛ばされてどこかに居るはずだ。」

ペル「インフェルノの幹部が開いたゲートをどう辿るかもわからないままですよ。」

アーニヤ「アイカさん達がどの世界に飛ばされたのですか?！」

トットム「地獄界の閻魔大王様やアスゴルド王国のオーズイーン様に頼むしかねえな

？」

サルニコフ「我々WJGの力でも無理ならこのお二人に頼むしかあるまい。」

アーニヤ「そうしかありませんわ。」

トットム「俺はアスゴルド王国、ペルとアーニヤは地獄界だ。」

ペル「私とアーニヤは地獄界の閻魔大王様にお会いして行くであります。」

行方不明になったアイカ達を探すため、地獄界の閻魔大王とアスゴルド王国のオーズインの元へそれぞれ向かったトットム、ペル、アーニヤ。一方、クレアに連れられたアイカ達6人はアルフォートの環境を見た。

パラレルワールド

アルフォート

アイカ「こつ、これがアルフォート……。」

アルフォートの環境を見たアイカ達は、インフェルノによって支配された世界で、その地形は荒れ果てた荒野と化し、そこにはアルフォートの人々がインフェルノに奴隷として酷使されている姿があり、軍事兵器開発するための資源採掘でスカルトイが奴隷労

働とし何日何十時間も休めないアルフォートの人々を鞭で叩いた。

はるな「酷い……」。

インフェルノの兵達がアルフォートの人々が奴隷として酷使していく光景を目の当たりにするアイカ達。

クレア「奴隷労働だけでない。兵士として徴兵に繰り出されているのも。」

奴隷労働だけでなく、インフェルノの兵士されるべく徴兵に出されて、過酷な戦闘訓練も行われていた。無理やり連れ出された普通の人々を毎日休む事のない戦闘訓練をさせられた。

咲耶歌「これがインフェルノのやり方、許せない……」。

イゼル「お前達も来てたのか？」

アルフォートの光景を目の当たりにするアイカ達の前にイゼルとライラが現れた。

アイカ「イゼル、ライラ。」

ライラ「お前達がこの世界に来るとはな。」

はるな「私達と同じ世界の人間がどうしてインフェルノに着いたの？」

イゼル「人間界は争いと欲望と裏切りと絶望で溢れた世界だからだ。」

咲耶歌「えっ?！」

ライラ「私とイイゼル、戦争だけの日々を生きてきたからだ。」

イゼル「あたしとライラは中東の国で生まれ育ち、貧しい日々を過ごして来た。親は国の内戦で亡くなり、あたしとライラは2人で生き抜くために必死で生き続けて来た。毎日紛争や内戦が続く中、あたしらも戦わざる得なくなり、少年、少女の兵として戦地で戦いの毎日を送った。神のための聖戦だ。」

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文「・・・。」

ライラ「戦って見えたのは愚者と無駄な事の繰り返しだった。私とイゼルは生きるために死ぬ気で戦いながら毎日何人か殺して来た。休む事なく戦いをし続け、肉体精神もダメージを負った。4年前、私とイルゼは仲間裏切られて、自分達だけが生き残るために駒にするために犠牲にさせられ、仲間から命辛々逃げていった。私とイルゼが逃げた場所古代遺跡のような場所に逃げ込み、身を隠した。そこで見つけたのは2つのキュアートフォンチェンジャーとプリキュライドジュエルとヒーローライドジュエルだ。」

イゼル「最初はこれは何なのかわからなかった、何を使えば良いのかと考えた。そんな中、裏切った仲間達があたしら2人を追ってやって来た。再び殺されそうになったあたしら2人はもうダメかと思つたら、突然キュアートフォンチェンジャーとプリキュアイドジュエルとヒーローライドジュエルが光り出し、衣装も変わって、さらにジュエルから現れた4人らしき者がジェーニー、アラミラード、アムムント、マナートウだ。」

ライラ「その4人はジャステイスヒーローと名乗り、裏切った仲間を次々と殺してくれた。4人は私とイゼルの事情を聞き、ジェーニー達は私達2人のことを受け入れ、キュアートフォンチェンジャーとプリキュアライドジュエルとヒーローライドジュエルのやり方を教えてもらい、プリキュアとなり、故郷の内戦を終わらせた。だが、そんなある日私達2人の前にカロンとドレイジスが現れて私達をインフェルノに連れて行き、幹部となった。」

アイカ「2人は戦いだけ生きてきたんだね。」

イゼル「人間界はクソみてえな世界だ、だがこのアルフォートはインフェルノに支配された絶対だけの世界だ。インフェルノも結局同じだ。インフェルノは力で支配し、弱者を奴隷のように扱っている。歯向かった者には死を与える。」

クレア「そうだな、何をやっても必ずハデユス様に逆らった死が来る。」

アイカ「それでいいの?!あなた達はいつまでインフェルノやハデユスに怖気続けるの?!」

はるな「本当に取り戻したいなら最後まで立ち向かわないの?!」

麗奈「負け続けたままでいいの?!」

クレア「最後まで立ち向かった、ハデユスの絶対的な強さを前に勝てなかった、抗つても結果は同じなんだ!!お前達に何がわかる!!」

咲耶歌「あたし達はそれでも戦うよ、インフェルノ、ハデユスに最後の最後まで戦うよ。」

海「私達プリキュアが今いる限り諦めたりしないわ。」

文「私達の戦いを見て。」

クレアやイゼルとライラの事情を知ったアイカ達は奴隸として酷使されているアルフォートの人々を解放すべくインフェルノの兵達に立ち向かった。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文は全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを着用し、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「フューチャーフォーспプリキュア!!」

プリキュアに変身した6人はアルフォートの人々を奴隷として酷使するインフェルの兵達に攻撃する。

ストライク「はああああー!!」

ストライクがパンチで数機のマシンソルジャーを連打して殴り破壊した。

シンシア「ええええー!!」

シンシアが右脚を前に出したまま回転して、数体のゾンビーンを回し蹴りで蹴散らした。

フェッター「そこっ!!」

フエッターが手刀でマシンソルジャーやスカルトイを次々と破壊し、さらに空中にいるバットルの群れをジャンプしてパンチで連打して撃退した。

マジック「ジャック、クイーン、行くよ。」

ジャック「えええっ。」

クイーン「3人で決めるね。」

マジック、ジャック、クイーンの3人が連携を取りながら、スカルトイの群れに対し、マジックとジャックが各ステッキスピア槍モードで同時に刺突し、クイーンが真上からジャンプしたままナギナライフル薙刀モードを降下して、スカルトイの群れに喰らわせた。

ストライク「さあ、早く逃げて。」

奴隷をされたアルフォートの人々を解放するストライク達。彼女達の戦いを見たクレアとイルゼとライラは、

クレア、イゼル、ライラ「……。」

ハデウスに支配されたアルフォートに6人が一生懸命立ち向かってインフェルノの兵達に抗って戦う姿に3人はその誠意を見せられた。

ストライク、シンシア「キュアブレードマグナム!!」

ストライクとシンシアはキュアブレードマグナムを出しながら剣モードで複数のゾンビーンを斬撃し、蹴散らした。インフェルノの兵達を蹴散らしていく中、この世界の各エリアを管轄する幹部プリズンボーラーと2体の怪人ウィップテイマーとジェイソックが現れた。

プリズンボーラー「何をしている?！」

クレア「あれはアルフォートの5番エリア担当のプリズンボーラーとその配下のウィップテイマーとジェイソック!!」

ストライク「新手ね!!」

プリズンボーラー「勝手に奴隷達を解放されると困るんだよ、だからここでお前達を倒して奴隷にしてやる!! ウイツプテイマー、ジェイソック!!」

鞭使いの姿をしたウィツプテイマーとジェイソンの姿をしたジェイソックがストライク達に襲いかかった。

ストライク「行くよ、みんな!!」

襲いかかってきたウィツプテイマーとジェイソックにストライク達6人は行動にかかり、ストライクはスター、シンシアはミルキー、フェッターはセレーネのプリキュアイドジュエルを出して、キュアアトフォンチェンジャーに刺して変身する。

ストライク、シンシア、フェッター「プリキュライドチェンジスタートウインクル!!」

ストライクはスター、シンシアはミルキー、フェッターはセレーネに変身して、ウィツプテイマーに挑んだ。

マジック、ジャック、クイーン「ヒーローライドチェンジ!!」

マジック、ジャック、クイーンはヒーローライドジュエルを出してキュアアートフォンチェンジヤーに刺して、マジックはスーパーレディ、ジャックはファイツ、クイーンはバルクマツスラーの力でフォームチェンジし、ジェイソックに挑んだ。

スターストライク「はああああー!!」

スターストライクが黄色い星形のエネルギー体を作り出し、足場を利用してジャンプして、パンチでウィップティマーに殴り込んだ。

ミルキーシンシア「えええーい!!」

頭についたセンサーから電流を放ち、ウィップティマーに喰らわせた。

セレーネフェッター「プリキュア・セレーネ・アロー!!」

セレーネフェッターが水色の三日月を作り出しそれを弓に変え、変身ペンで対象に向かって矢を放ち、ウィップテイマーに攻撃した。

「ウィップテイマー」やってくれたな、お前達に俺の力を見せてやる。兵達よ、かかれ!!」

鞭を地面に叩きながら号令し、集まって来たインフェルノ兵、マシンソルジャー、スカルトイ、ゾンビーン、デユラハーン、バトル、ゴーストンの大軍がスターストライクとミルキーシンシアとセレーネフェッターに襲いかかった。

スターストライク「戦闘員の大軍、楽勝ね。」

敵兵の大軍を相手に余裕を見せるスターストライクは必殺技を発動するが、その時、インフェルノ兵とマシンソルジャーがスターストライクに向けて一斉射撃した。

スターストライク「うわぁー!!」

ミルキーシンシア「ストライク!!」

セレーネフェッター「どうなってるの?!

ウィツプティマー「俺の指揮でしつかり動いているからだ。やれ!!」

続いて地中に潜ったゾンビーンが地上に現れて、3人に奇襲をした。

ミルクィシンシア「わあっ!!」

すぐにジャンプしたが、空中からはバトルの群れが3人に飛びかかって攻撃した。

スターストライク、ミルクィシンシア、セレーネフェッター「うわああああー!!」

ウィツプティマーの指揮により連携で動く兵達にやられる3人。

ジェイソック「オマエラコロス……」。

右手に持っている電動式戦闘チエーンソーをマジックレディフォーム、ジャックフアイツフォーム、クイーンバルクフォームに向けて大きく振り回した。

マジックレディフォーム、ジャックファイツフォーム、クイーンバルクフォーム「!!」
すぐにチェンソーからジャンプしてかわし、マジックレディフォームが攻撃に移り
にかかった。

マジックレディフォーム「はああああー!!」

右手を拳で握りながらジエイソックに殴りにかかるマジックレディフォーム。

ジエイソック「チレ・・・!!」

マジックレディフォームに対し、ジエイソックは円形型のホットケーキパックを出しながらとうてきして彼女に喰らわせた。

マジックレディフォーム「きやあああああー!!」

ジエイソツクが投擲したホツケーパックを大きく喰らったマジックレディフォーム。

クイーンバルクフォーム「マジック!!」

ジャックフォーム「来るわ!!」

すぐに勢いがかかって来たジエイソツクがチェンソーで斬りかかろうとし、ジャックフォームがファイツフォームがファイツシールドで防御した。

ジャックフォーム「くっ!!」

ファイツシールドで攻撃を防いだものの、ジエイソツクの高いパワーに押されてプチ飛ばされた。

ジャックフォーム「あああああー!!」

ジエイソツクの高いパワーにより押されて飛ばされたジャックフォーム。

クイーンバルクフォーム「よくもジャックを！、プリキュア・バルクスマッシュユ!!」

クイーンバルクフォームは両手をブローで合わせながら思いつきり地面に打ち込んでジェイソックに衝撃波を喰らわせるが、ジェイソックが電動式戦闘チェンソーで衝撃波を斬り払いながらクイーンバルクフォームごと攻撃した。

クイーンバルクフォーム「うわああああー!!」

ジェイソックの高いパワーによる電動式戦闘チェンソーで圧倒されたクイーンバルクフォーム。怪人2体に圧倒される中、幹部のプリズンボーラーも戦闘に介入して来た。

プリズンボーラー「俺も入れさせろやあつ!!」

鎖鉄球を振りましながら怪人2体と戦っているプリキュア達に当てて喰らわせた。

スターストライク、ミルキーシンシア、セレーネフェッター、マジックレディフォー

ム、ジャックファイツフォーム、クイーンバルクフォーム「うわああああー!!」

プリズンボーラーの振り回す鎖鉄球の攻撃を受けたスターストライク達6人。

プリズンボーラー「兵共かかれ!!」

プリズンボーラーが兵達に指揮を取りながらプリキユア達に一斉に襲いかかり、遠距離からはインフェルノ兵、マシンソルジャーが射撃、ゾンビーンとデュラハーンとスカルトイが接近戦、空中からはバトルとゴーストンがそれぞれプリキユアに総攻撃した。

クレア、イルゼ、ライラ「!!」

彼女達の戦いを見たクレアとイゼルとライラは彼女達が必死でインフェルノに立ち向かって戦っていく姿に心を滾らせ、動き出した。

クレア「行くぞ。」

イゼル「あたし達が本当にすべき事を。」

ライラ「あいつらは教えてくれた。」

一方、プリズンボーラーの鎖鉄球による攻撃と指揮で統制された兵達の行動により追いつめられたストライク達。

ストライク「うつ、ううつ。」

プリズンボーラー「貴様達6人を奴隷にしてやる。」

追いつめたストライク達6人を奴隷にしようと企むプリズンボーラーは捕らえにかかろうとする。その時、彼の前にミスティックとアラムとジュールフが現れた。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「!!」

プリズンボーラー「おや、手を貸してくるつもりか?」

ミスティック「手を貸すだ?! 悪いが、私達3人は今日からお前インフェルノに反逆する。」

ストライク達の戦いを見たミステイック、アラム、ジュールの3人がインフェルノに反逆を宣言をし、プリズンボーラーに攻撃した。

プリズンボーラー「うっ、ぐう、何のつもりだ?!」

ミステイック「私達3人はお前達に抗う。」

アラム「お前達のやり方にも嫌機になったんでな。」

ジュール「力で支配する者達とはこれ以上付き合いたい切れないな。」

ストライク「ミステイック、アラム、ジュール。」

プリズンボーラー「貴様ら、インフェルノを裏切るとどうなるかわからせてやる!!
ウイツプティマー、ジェイソック、かかれ!!」

自分達に反逆をしたミステイック、アラム、ジュールに攻撃にウイツプティマーとジェイソックに命令を出してかからせた。

ウイツプティマー「兵達よ、かかれ!!」

ジェイソック「オマエ、クロス。」

兵達を率いて一斉にかからせるウィップタイマーと電動式戦闘チェンソーで斬りかかるジエイソック。

アラム「見せてやるぜ。」

ジユルフ「あああつ。」

アラムとジユルフが2人で一緒に組んで、素早く駆けながらインフェルノの兵達に突撃して、2人の連携で繰り出す脚でキックで蹴散らし、動きを駆使して兵達を翻弄し、アラムが身体を回転しながら兵達を一気に倒し、ジユルフがパンチをたくさん連打して兵達を一気に倒した。

ウィップタイマー「貴様あつ!!」

兵達を倒したアラムとジユルフに対し、鞭で攻撃しかかってきたウィップタイマー。

アラム「失せな。」

ジユルフ「決めるぞ。」

アラムとジュールフが一緒に駆けながらウィップタイマーに向かって、必殺技を發動する。

アラム「プリキュア・アラムストームエッジ!!」

ジュールフ「プリキュア・ジュールフブレイク!!」

アラムが手足に風の刃を纏い、ジュールフが手足に光を纏いながらプリズンボーラーに向かって同時に必殺技をぶち込み、撃破した。

ミステイック「どこを見ている。」

ジェイソックの電動式戦闘チェンソーの来る方向を見切りながらすらすら回避するミステイック。

ジェイソック「オマエ、カワスナ。」

ミステイック「なら私もそろそろ攻撃といこうか。」

攻撃に移りにかかるミスティックは左腕に装着しているミスティックサークルスピナーを前に出して必殺技を発動する。

ミスティック「プリキュア・ミスティックサークルザンバー!!」

ミスティックは左腕に装着しているミスティックサークルスピナーに光状の円形の刃を纏わせて、ジェイソックを斬撃して撃破した。

プリズンボーラー「貴様らあつ、よくも!!」

部下のウィップテイマーとジェイソックを倒されて、3人を討ちにかかって来たプリズンボーラーは鎖鉄球を大きく振り回して攻撃する。プリズンボーラーの鎖鉄球に対し、ミスティックはミラーシエナ、アラムはアラミラード、ジュルフはマナートウの各ヒーローライドジュエルを出し、キュアートフォンチェンジャーに刺して変身する。

ミスティック、アラム、ジュルフ「ヒーローライドチェンジ!!」

早速チェンジした3人はミステイックはミステイックミラーシエナフォーム、アラムはアラムアラミラードフォーム、ジュールフはマナートウフォームとなり、プリズンボーラーの鎖鉄球をミステイックミラーシエナフォームが前に立って、必殺技を発動する。

ミステイックミラーシエナフォーム「プリキュア・ミラーシエナリフレクト!!」

鏡を出現して、プリズンボーラーは自分の鎖鉄球を跳ね返され、自分が受けるてしまった。

プリズンボーラー「うぎやあああー!!」

ミステイックミラーシエナフォームの必殺技による反射を自分の鎖鉄球を受けて攻撃を喰らったプリズンボーラー。隙を突いてアラムアラミラードフォームとジュールフマナートウフォームが同時に必殺技をして来た。

アラムアラミラードフォーム「プリキユア・アラミラードスパイラルプレイヤー!!」
ジュルフマナートウフォーム「プリキユア・マナートウレイシュート!!」

アラムアラミラードフォームが右腕に装備しているアラミラードドリルアームを回転して発光しながらドリルの先端から竜巻を放ち、ジュルフマナートウフォームがいくつかの光玉を形成して放ち、プリズンボーラーを同時に喰らわせて撃破した。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「……」

3人がインフェルノに反逆を起こして戦った姿を見た6人は、

ストライク「3人が本当に反逆をしたなんて……」

ミスティック「これもお前達が教えてくれたおかげだ。」

アラム「あたしらはインフェルノを今日限り抜けるぜ。」

ジュルフ「私達は私達だ。」

自らの意志でインフェルノに反逆を起こして組織を裏切ったミスティック、アラム、

ジュールフの3人は自分達の道を進むことを選んだ。

次回 44話へ続く

第4 4話 3人の想い

インフェルノを裏切ったクレアとイゼルとライラと共にアルフォートの世界を歩き回るアイカ達。

パラレルワールド

アルフォート

アイカ「クレア……さん。」

クレア「何だ？」

アイカ「アルフォートって元々はどんな世界だったんですか？」

クレア「アルフォートがどんな世界だったのか？」

アイカ「はい。」

はるな「アルフォートはどう言う世界だったの？」

クレア「アルフォートは平穏とした世界で、みんなが生活に必要な採掘を行ったり、格闘技を学んだりしていた。みんなが仲良く過ごして暮らしていた。ハデユスが来週する日までは。」

麗奈「私も同じよ、ハデウスに故郷を奪われてプリキユアとして戦っているの。ハデウスは倒さなければならぬ相手よ。」

クレア「そっちも故郷を奪われたのか？」

麗奈「そうよ、ハデウスによって何もかも全て奪われたの。」

クレア「ハデウスの強さは絶対的よ、逆らう者には死を。アルフォートが支配されてもう300年も経つわ。」

咲耶歌「そんなに長くも支配されて来たって事なの？」

クレア「毎日毎日強制労働、徴兵として過ごして来たからな。」

イゼル「向こうもあたしらが裏切った事を追ってくるだろうな。」

ライラ「時間の問題だな。」

自分達がインフェルノを裏切った事で、向こうも追つてを出して来る事も考えて、迂闊に目立たないようにするクレアとイゼルとライラ。一方、3人の裏切りは幽魔界にもその報を知った。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

居間

バトルヴェソール「ドラグード、貴様の部下が裏切ったようだな。」

ドラグード「……。」

バトルヴェソール「黙っているようだな。何も言えないと言う事だな。」

ドラグード「……。」

ヴェルアル「ハデユス様に恥をかかるとは貴様の部下もどうかしているな。」

ドラグード「……。」

バトルヴェソール「都合が悪くなると無言か。」

ドラグード「プリキュアに敗れている貴様はどうだ。」

バトルヴェソール「何だと!!」

ヴェルアル「ドラグード、貴様のその態度は不快だ、だいたい隷属のアルフォートが上に立つ事が気に喰わないんだ!!」

ドラグード「ヴェルアル、お前は1度も戦いには出ないのか？」

ヴェルアル「何だと……?!」

ドラグード「部下に戦いを任せて自分は何もせず指を加えているだけか？」

ヴェルアル「オレを馬鹿にしているのか?!」

ドラグード「ならばお前自ら出てプリキュアを倒してみせろ。」

ヴェルアル「貴様が決める筋合いはない!!裏切った部下の後始末をしない貴様が行け!!」

ドレイジス「喧嘩はやめるんだな。」

ドラグード、ヴェルアル「ドレイジス。」

ドレイジス「3人の裏切りに関してはすでにザッパード達とモンスターレディズを向かわせた。」

ドラグード「そうか。」

バトルヴェソール「あの奴隷3人娘か。」

ドレイジス「おや、どうした?」

バトルヴェソール「役立たずの奴隷がどこまで持つかだ。」

組織を裏切ったクレアとイルゼとライラを討伐すべく、ドレイジスがザッパード、阿修羅弁慶、忍里丸、モンスターレディズと配下の怪人をアルフォートへ向かわせた。

パラレルワールド

異空間

移動中

ザッパード「クレアとイルゼとライラの奴らが裏切りやがった。」

阿修羅弁慶「ハデユス様を裏切った事をわからせてやる。」

忍里丸「裏切者には死を必ず下す。」

フランドル、ロクサーパイア、アルフェルン「・・・。」

ザッパード「おい、どうした？」

フランドル「あたしらは奴隷じゃない、好きでこんな事をしてるんじゃない。」

ロクサーパイア「あたしらは元々は普通の女の子だった。ある日、バトルヴェソールがあたし達のそれぞれの故郷を滅した。」

アルフェルン「私達3人はバトルヴェソールに無理やり改造されて、今の姿にされたのであります。」

阿修羅弁慶「お前達3人は無理やり戦わされてるようだな。」

ロクサーパイア「元に戻りたい、こんな姿は嫌だ!!」

阿修羅弁慶「・・・。」

ザッパード「おい、阿修羅弁慶。」

阿修羅弁慶「いや、何でもない。プリキュアを必ず倒す。」

アルフォートへと向かうザツパード達。一方、アルフォートにいるアイカ達はアルフォートの地区で奴隷を解放するためプリキュアに変身して、インフェルノと戦っていた。

パラレルワールド

アルフォート

ストライク、シンシア「はああああー!!」

ストライクとシンシアと一緒に組んでスカルトイの群れを殴り散らしていった。

アラム「あたしらも行くぜ。」

ジュルフ「あああつ。」

アラムとジュルフが加わって、ストライクとシンシアと一緒に組みながら4人でジャイアントデッドと交戦する。

ジャイアントデッド「グオオオオオー!!」

4人に向かって殴りにかかったジヤイアントデッドは拳を向けて来た。

アラム「かわすぞ!!」

ジヤイアントデッドの向けてきた拳をジャンプしてかわした4人。ストライクとシンシアはアラムとジュールフにある物を渡す。

ストライク「これを使って!!」

ストライクとシンシアから受け取ったアラムとジュールフはブラックとホワイトのプリキュライドジュエルを手にした。

アラム「これをあたしらにか？」

シンシア「あなた達のキュアートフォンチェンジャーも使えるはずよ。」

ジュールフ「なら使わせつもろう。」

ストライクとシンシアから受け取ったブラックとホワイトのプリキュライドジュエルを自分達のキュアートフォンチェンジャーに刺して、変身する。

アラム、ジュルフ「プリキュライドチェンジマックスハート!!」

アラムはブラック、ジュルフはホワイトに変身し、肉弾戦を得意とする2人のプリキュアの能力を使ってジャイアントデッドに挑んだ。

ブラックアラム「オラオラオラー!!」

ブラックアラムが連打パンチを繰り返しながらジャイアントデッドに喰らわせた。

ホワイトジュルフ「たああああー!!」

ホワイトジュルフが空中から両脚を揃えて前に出しながらキックでジャイアントデッドに喰らわせた。

ストライク、シンシア「プリキュライドチェンジスプラッシュユスター!!」

ストライクとシンシアはブルームとイーグレットのプリキュライドジュエルを使って変身し、空中から光弾を放って攻撃し、最後2人同時に合体技のプリキュア・ツイン・ストリーム・スプラッシュでジャイアントデッドに喰らわせて、撃破した。

ミステイック「ふっ、たあっ!!」

ミステイックがパンチで数機のマシンソルジャーを殴り込み、次にミステイックサークルスピナーからエネルギー弾を発射しながら空中にいるバットルを撃ち落とした。

マジック「あの3人が味方になると心強いわ。」

ジャック「えええっ。」

クイーン「私達も負けないわ。」

フェッター「えええ。」

3人の戦いっぷりを見て自分達も負けないように戦うマジック達4人。マジックは

ミラクル、ジャックはフェリーチエ、フェッターはマジカルのプリキュライドジュエルを使って変身し、多様な攻撃でスカルトイ、ゾンビーンの集団を蹴散らした。クイーンはエトワールのプリキュライドジュエルを使って変身し、エトワールフルートから星のエネルギーを先端のクリスタルに集め黄色に輝いた後にオレンジ色の星を作り出し、そのうちの一つに自身も乗って対象に向かってマシンソルジャーの集団を突撃して破壊した。ミステイック、アラム、ジユルフが仲間に加わって優勢に立ったが、その時、ザッパード達が現れた。

ザッパード「待たせたな、プリキュア!!」

ブルームストライク「ザッパード!!」

阿修羅弁慶「裏切者を始末しに来た!!」

ミステイック、ブラックアラム、ホワイトジユルフ「……」

マジカルフェッター「鬼丸……」

ザッパード「さあ、俺らの配下で裏切者を始末してやるぜ。」

バルカンマシンド、甲心丸、戦錦丸「はっ。」

ザッパード、阿修羅弁慶、忍里丸の配下のバルカンマシンド、甲心丸、戦錦丸が襲い

かかってきた。

ブルームストライク「みんな、行くよ!!」

イーグレットシンシア「決めるわ!!」

ザッパード達に攻撃にかかるブルームストライク。だが、ザッパード達の配下のバルカンマシンド、甲心丸、戦錦丸が先手を打ってかかって来た。

バルカンマシンド「先手開始!!」

アームビームバルカンで接近しかかるブルームストライクに射撃するバルカンマシンド。

一同「うっ!!」

バルカンマシンドの先制攻撃を受けたブルームストライク達。その隙を狙って甲心丸、戦錦丸が襲いかかって来た。

甲心丸「我が忍法を受けよ!!」

甲心丸が鎖鎌を放ちながら、ブルームストライク、イーグリットシンシア、ブラックアラム、ホワイトジュルフに当てながら伸ばした鎖で縛り付けた。

戦錦丸「拙者の力を受けよ。」

巨大な鉞を片手で持ちながらミラクルマジック、マジカルフェッター、フェリーチェジャック、エトワールクイーン、ミステイックにスウィングして喰らわせた。

一同「あああああー!!」

配下の怪人達の攻撃を喰らうブルームストライク達。

ロクサーパイア「死ねっ!!」

怪人達が攻撃をした直後に空中からロクサーパイアが両手の爪でブルームストライク達に攻撃しかかった。

ブルームストライク、イーグレットシンシア「!!」

空中から来るロクサーパイアの攻撃に対し、ブルームストライクとイーグレットシンシアが飛行しながら、彼女と空中戦を繰り広げた。

ブルームストライク「あなたも何でインフェルノのために戦うの?!」

イーグレットシンシア「インフェルノがこれまでどれだけ非道な事を尽くして来たのか、あなたもわかっているはずよ!!」

ロクサーパイア「黙れ、お前らに何がわかる!!」

ブルームストライク、イーグレットシンシア「?!」

ロクサーパイア「あたしは好きでこんな事をしてるんじゃないやねえんだよ!!あたしやフランドルやアルフェルンは元々は普通に生活を送っていたんだ、バトルヴェソールに故郷を攻め込まれて、あたしら3人は改造人間にされて、無理やり戦わされてるんだよ!!」

ブルームストライク「あなたも犠牲者なのね。」

ロクサーパイア「何同情してんだよ!!」

フランマシンド「そうよ、敵からの同情は無用だ!!」

アルフェルン「私達に後なんかありません!!」

フランマギアレコードとアルフェルンが加わり、ロクサーパイアと共に3人がかりで攻めかかった。

ザッパード「散れ!!」

両拳に装備したトゲ型ナックルダスターでミラクルマジックとマジカルフェッターとフェリーチエジャックに殴りにかかるザッパード。

ミラクルマジック、マジカルフェッター、フェリーチエジャック「!!」

3人はザッパードの攻撃を分散して回避し、3人同時に攻撃を仕掛けるが、阿修羅弁慶がマジカルフェッターに飛び込んで、彼女に攻撃をしかかった。

阿修羅弁慶「貴様をやるのは俺だ!!」

マジカルフェッター「鬼丸!!」

マジカルフェッターは阿修羅弁慶と対峙し、彼と1対1の対決を繰り広げた。阿修羅弁慶が薙刀と槍でマジカルフェッターの左右を挟んで突きかかった。すぐに上にジャンプし、空中で身体を回転しながらキックした。

エトワールクイーン「ハート・スター!!」

忍里丸と交戦するエトワールクイーンは彼と動きでぶつかり合いながら激突し、忍里丸が手裏剣を放ち、エトワールクイーンに向けたが、エトワールクイーンは自分の周囲に無数の星をだし回転しながら両手に星を集めハート型にした後、忍里丸に向かってウエーブ状にして攻撃した。

ブラックアラム「ジュール!!」

ホワイトジュール「怪人は私たちでやる。」

ミステイック「えええっ。」

3人は怪人を倒しにかかりに向かうが、

バルカンマシンド「裏切者3名、確認。発射!!」

バルカンマシンドが背中の内蔵8連ミサイルランチャーを発射して、接近しかかるミステイック、ブラックアラム、ホワイトジュールに全弾命中させた。

ミステイック、ブラックアラム、ホワイトジュール「うわあっ!!」

バルカンマシンドの放ったミサイルを喰らった3人。さらに甲心丸と戦錦丸が同時にかかって、3人を攻撃しにかかった。

甲心丸、戦錦丸「散れ!!」

甲心丸が雷迅を放って3人に浴びせ、戦錦丸が巨大な鉞を下ろして喰らわせた。

ミステイック、ブラックアラム、ホワイトジュール「あああああつ!!」

3体の怪人の連携に圧倒されるミステイック、ブラックアラム、ホワイトジュール。

ミステイック「負けたくない、私は私は故郷を解放するまでは・・・!!」

このままでやられてしまい、負けてしまうのか?!その時、ブルームストライク達が持つているヴァンガードクリスタルが光を放ち、3人を包み囲んだ。

???

アラム「何だ、ここは?!」

ジュール「ストライク達と同じか?」

ミステイック「一体?!」

ストライク達と同様にヴァンガードクリスタルの光の中にいるアラムとジュールとミステイック。そこでルミナスとエースとフェリーチェとプリキュア達とジェーニー達が現れた。

ルミナス（幻影）「あなた達も彼女達と同じように想いによつて導かれたのです。」

アラム「あんたは誰だ？」

エース（幻影）「今、あなた達もその想いがヴァンガードクリスタルにより導かれたのです。」

フェリーチエ（幻影）「あなた達の想いが新しい可能性を生むのです。」

ジュール「可能性・・・？」

アラミラード「新しい可能性が未来を切り開く事も出来る。」

アメモント「お前達の未来は俺達は最後まで着いていくぜ。」

ミラーシエナ「想いがあなた達を強くする。」

ミステイツク「私達の想いが強くする。」

アラム「その想いで可能性を未来を作り出してやる。」

ジュール「私達にもその想いで可能性を新しく作り出してみせる!!」

ヴァンガードクリスタルに導かれたミステイツク、アラム、ジュールは自分達の想いを届け、アイカ達と同様に新しい力を得た。

パラレルワールド

アルフォート

ミステイック、アラム、ジュール「……」

ブルームストライク「ミステイック、アラム、ジュール」

ミステイック「私達の共鳴を見せていくよ。」

アラム、ジュール「あああつ。」

ブルームストライク達が持っているヴァンガードクリスタルが発動し、光に放たれ、彼女達の持っているプリキュライドジュエル、ヒーローライドジュエルにより新たな姿となり、ミステイックは超能力者、アラムは中東の闘士、ジュールは中東の鎧騎士の姿をしたヴァンガードヒーローフォームとなった。

ミステイックヴァンガードヒーローフォーム、アラムヴァンガードヒーローフォーム、ジュールヴァンガードヒーローフォーム「ヴァンガードヒーローフォーム、ただいま参上!!」

ストライク達と同様にヴァンガードヒーローフォームへとなった3人が3体の怪人を相手に挑んだ。

ミステイクヴァンガードヒーローフォーム「はああああっ!!」

ミステイクヴァンガードヒーローフォームが右腕に装着しているヒーローエスパネスガントレットから超能力を発動して、バルカンマシンドを念力で持ち上げて、宙に浮かばせた。

バルカンマシンド「なっ、何だ?!」

ミステイクヴァンガードヒーローフォーム「お前は私の超能力によって浮かばれている。お前にはこれを喰らうがいい。」

念力で宙を持ち上げたバルカンマシンドを動き回すミステイクヴァンガードヒーローフォームは地面にぶつけていき、そのまま彼に向かって必殺技を発動する。

ミステイクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ミステイクヴァンガードスピッキツク!!」

ミステイクヴァンガードヒーローフォームがジャンプして身体を発光して前後360°回転しながらバルカンマシンドに向かって強烈なキックをして撃破した。

アラムヴァンガードヒーローフォーム「オラオラオラオラっ!!」

アラムヴァンガードヒーローフォームが格闘を強いながら甲心丸にパンチとキックで喰らわせた。

甲心丸「うぐつ、ならばこれはどうだ!!」

忍術で分身を形成した甲心丸がいくつかの分身と共にアラムヴァンガードヒーローフォームに向かって一斉にかかった。

アラムヴァンガードヒーローフォーム「悪いが、あたしもその手は出来るさ。プリキュア・アラムヴァンガードミストヴィジョンアタック!!」

アラムヴァンガードヒーローフォームが霧で出来た分身体をいくつか形成して、甲心丸とその分身体に向かって、一斉にかかって突撃し、甲心丸を撃破し、分身体も蹴散らした。

ジュルフヴァンガードヒーローフォーム「はあっ!!」

ジュルフヴァンガードヒーローフォームが両手にヒーローゴールドアームズ双剣モードで戦錦丸に斬り付けていき、戦錦丸は巨大な鉞で下ろしにかかったが

ジュルフヴァンガードヒーローフォーム「!!」

ヒーローゴールドアームズ双剣モードで巨大な鉞を受け止めて、さらに全身にヒーローアメントアーマーのワニの顔の口を開いて、必殺技を発動する。

戦錦丸「何?!!」

ジュルフヴァンガードヒーローフォーム「終わりだ、プリキュア・ジュルフヴァンガードブラスター!!」

ヒーローアメモントアーマーのワニの顔の口から強力な光線を放ち、戦錦丸を撃破した。ミステイクヴァンガードヒーローフォームらが3人の怪人を倒した事で、ブルームストライク達も一気に反攻にかかり始めた。

ブルームストライク「あたし達もヴァンガードクリスタルで!!」

ブルームストライク達もヴァンガードクリスタルを発動しながら、ヴァンガードヒーローフォームになって、一気にインフェルノの幹部達に攻勢にかかった。

ロクサーパイア「洒落せえ!!」

フランマシンド「姿が変わったくらいで!!」

アルフェルン「同じはずです!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームとシンシアヴァンガードヒーローフォームに向かってフランマシンドとロクサーパイアとアルフェルンが攻撃にかかった。それに対し、2人は必殺技を発動する。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ストライクヴァンガードブレイジングスラッシュ!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・シンシアヴァンガードアイスハリケーン!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームがヒーローブレイディオブレードを発光しながらロクサーパイアに思いつきり斬撃し、シンシアヴァンガードヒーローフォームが両腕を発光しながら強力な氷結状の竜巻を出現してアルフェルンに喰らわせた。

ロクサーパイア、アルフェルン「ああああああー!!」

2人の必殺技を喰らい、戦闘不能になったロクサーパイアとアルフェルン。フランマシンドが全身にある武器を全て開放しながら2人に攻撃する。

フランマシンド「散れえっ!!」

両指からマシンガン、腹部からビーム砲、さらに炎を操りながら2人に攻撃したフランマシンド。だが、彼女の攻撃はヴァンガードヒーローフォームとなった2人の前では効いておらず、今度は2人が反撃に出てかかりながら、各プリキュライドジュエルを出して必殺技を発動する。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードブラックスターツインナックル！」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードミントダイヤモンドロゼッタマシエリスパイルソーサー!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームはヒーローボルケリートガントレットにブラック、スターのプリキュライドジュエルを装着して2人の力を発動しながら両拳に強力なピンクの光状の拳を放ち、シンシアヴァンガードヒーローフォームはスカヴァガントレットにミント、ダイヤモンド、ロゼッタ、マシエリのプリキュライドジュエルを装着して4人の力を発動しながらスカヴァガントレットから形成した2つの赤色のエネルギー状の無数の刃が生えた円形を投擲してフランマシンドに喰らわせた。

フランマシンド「うわあああああー!!」

2人の必殺技を同時に喰らい、大ダメージを負ったフランマシンドは重傷し、戦闘不能になった。ザッパードと交戦するマジックヴァンガードヒーローフォームとジャックヴァンガードヒーローフォーム。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「あなたにはこれよ。」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「覚悟しなさい。」

2人はザッパードに対し、必殺技を発動する。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・マジックヴァンガードビックハットトリックトランポンバー!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ジャックヴァンガードバスターパンチ!!」

マジックヴァンガードヒーローフォームが巨大なマジックハットを出現して、中から

多数のトランプのカードを放出してザツパードに爆発させ、さらにジャックヴァンガードヒーローフォームが右腕を発光したまま360°回転しながら、ザツパードに向かって、思いつきり殴り込んだ。

ザツパード「ぐおおおー!!」

2人の必殺技を喰らったザツパードはそのまま敗れた。

阿修羅弁慶「麗奈あつ、覚悟!!」

阿修羅弁慶と激闘するフェッターヴァンガードヒーローフォームは彼に対し、各プリキュライドを2つ出して、必殺技を発動する。

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードソードマカロ
ン烈空波!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォームはヒーロー烈陣セイバーにソード、マカロ

ンのプリキュライドジュエルを装着し、2人の力を発動しながら刀身に紫色の光状を纏いながら阿修羅弁慶に真空波を放ち、喰らわせた。

阿修羅弁慶「ぐわああああー!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォームの必殺技を喰らい、敗れた阿修羅弁慶。

忍里丸「火遁の術!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォームに向かって、火遁の術を唱えながら火炎を喰らわせる忍里丸。だが、クイーンヴァンガードヒーローフォームはヒーロー大和丸槍で火炎を振り払いながら、各プリキュライドジュエル5つ出して、装着した。

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードパインムーンライトミュージーズショコラエトワール進突碎!!」

ヒーロー大和丸槍にパイン、ムーンライト、ミュージズ、ショコラ、エドワールのプリ

キュライドジュエルを装着し、5人の力を発光しながら薙刀に黄色の光状を纏いながら忍里丸に喰らわせた。

忍里丸「うわあああああー!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォームの必殺技を喰らった忍里丸。戦いはヴァンガードヒーローフォームになったストライク達の勝利により、ザッパード達は撤退した。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム、シンシアヴァンガードヒーローフォーム「……。」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「どうしたの？」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「何でもないよ……。」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「……。」

戦いが終わった彼女達の前に雷が突如鳴り、五官王とトットムとペルとアーニヤが現れた。

五官王「ようやく見つけたぞ。」

トットム「やつと探したぜ。」

ペル「見つけましたよ。」

アーニヤ「心配しましたわ。」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「五官王様、トットム、ペル、アーニヤ。」

五官王「敵はすぐに追ってくる、今からワシが人間界へ連れて脱出するぞ。」

ミステイックヴァンガードヒーローフォーム「・・・。」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「ミステイック。」

ミステイックヴァンガードヒーローフォーム「ここは人間界へ撤退した方がいい。い

ずれ大軍で必ず来る。だから今は脱出をしよう。」

五官王「よし、行くぞ。」

五官王は彼女達を連れて移動し、人間界へ到着した。

パラレルワールド

人間界

北米

アメリカ

ロッキー山脈

WJG司令部

五官王「彼女達を無事連れて来た。」

ヴァレリアン「ありがとうございます、五官王。」

無事、人間界へ帰還したアイカ達。アルフォートにて、クレア、イゼル、ライラがインフェルノを抜けて、仲間となり、プリキュアは8人となった。

???

咲耶歌の母「……。」

次回 45話へ続く

設定10

インフェルノ

幹部

レヴオリユード（25）

CV：内田雄馬

インフェルノの最高幹部であり、種族は超人で、出身地は不明。ドラグードと同じ最高幹部であり、彼は最高幹部の中で一番の若手で発言力も高く、影響力も高く、実力においてはドラグードと同格でありながら互角であるが、彼は破壊と殺戮と虐殺を好む冷酷冷血、外道な性格である。惑星1つやパラレルワールド1つや宇宙艦隊数億隻をたつた1人で壊滅させる力を持ち、相手を見下し、嘲笑う。ハデウスに忠誠的であり、裏でハデウスの命でラスフェック達人間界の政官財の人間とある事を企む。戦闘時はアイゼンアロイス達と同じジャステイスヒーローのケルベニウスと一体化し、ケルベロスと騎士鎧を組み合わせたケルベルニウスメールを全身に纏い、頭部はケルベルウスヘッドアーマーを身に付け、ケルベルウスアームアーマーからは闇状の刃や闇状の光線を放つたり、パンチ力も凄まじい威力を持ち、ケルベルウスレッグアーマーで素早い迅速で駆

使用する。その実力はファイナルゼロ（Ver2）と互角である。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マジンボーンのレボルト／ダークケルベロスを元に

必殺技

ケルベニウスダークビーム

レヴォリユードの必殺技。掌から闇状の光線を放つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ケルベニウスフック

レヴォリユードの必殺技。敵に向かって左右から両拳で繰り出して喰らわす。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ケルベニウスデスカッターブレイク

レヴォリユードの必殺技。両腕に強力な闇状の刃を纏いながら敵に斬撃しながらぶち込む。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ケルベニウスデスレイン

レヴオリユードの必殺技。掌を挙げたまま、無数の光線を大量に放ち、敵全体に喰らわす。その威力は大陸1つ分を焼け野原にする。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ケルベニウスダークカッターショット

レヴオリユードの必殺技。片手に闇状の刃を纏いながら敵全体に巨大な闇状の刃を放つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ケルベニウスラッシュブレイカー

レヴオリユードの必殺技。最速で空を飛んで自由自在に駆けながら、敵全体に向かつて突撃して強烈に喰らわす。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ケルベニウスダーククラッシュ

レヴオリユードの必殺技。片手から強烈な邪悪光線を敵全体に放つ。その威力はパラレルワールド1つや惑星系1つや宇宙艦隊数億隻を消し去る事が可能とされる。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させ

ることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ケルベニウスダークザトリプルクラッシュシュート

レヴォリユードの必殺技。両手とケルベルウスメイルの胴体のケルベロスの口から強烈な邪悪光線を同時に放ち、敵全体に放つ。その威力はケルベルウスダーククラッシュの数十倍の威力で、敵全体をあつという間に瞬殺させ、パラレルワールドーつや惑星系ーつや宇宙艦隊数億隻を消し去る。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ゴーゴルステノー

CV：原由実

インフェルノの大幹部。種族は爬虫類、レヴォリユードの配下である。ゴーゴル三姉妹の長女で、頭の髪の毛が無数の蛇で敵を石化させ、さらに無数の蛇を伸ばして相手を捕らえて吸血する。背中に悪魔の翼を生やし、魔法攻撃も得意とする。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

必殺技

アイザデスストーン

ゴーゴルステノーの必殺技。目から放つ光で敵全体を石化させる。

必殺技

ステノダークヴァイパー

ゴーゴルステノーの必殺技。闇状の蛇を放ち、敵にぶつける。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ステノヴァイパーフラッシュブラスト

ゴーゴルステノーの必殺技。頭の無数の蛇を発光しながら敵全体に喰らわす。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ステノヴァイパーポイズンブレス

ゴーゴルステノーの必殺技。頭の無数の蛇から毒状の息を吐き、敵全体を毒状にし、さらにダメージを与える。

ステノヴァイパードレイン

ゴーゴルステノーの必殺技。頭の無数の蛇で相手を捕らえて吸血して回復する。

ステノダークブリザード

ゴーゴルステノーの必殺技。闇の魔力で形成して、漆黒の吹雪を放ち、敵全体に喰らわす。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全

消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ゴールアレー

CV：沼倉愛美

インフェルノの幹部。種族は爬虫類、レヴオリユードの配下である。ゴール三姉妹の次女で、ゴールステノーと同様に頭の髪の毛が無数の蛇で敵を石化させ、こちらは音を使った攻撃を得意とし、あらゆる音を使って駆使する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

アイザデストーン

ゴールアレーの必殺技。目から放つ光で敵全体を石化させる。

アレーサウンドボイス

ゴールアレーの必殺技。口から音波を放ち、敵全体に攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

アレーノイズブレイク

ゴールアレーの必殺技。不気味な騒音を発生して、敵全体に響かせてダメージを喰らわせる。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、

完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

アレースコブラスマツシュ

ゴーゴルアレーの必殺技。頭の無数の蛇を鞭のように振りながら敵に強力な打撃を喰らわす。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ゴーゴルドゥーサ

CV：津田美波

インフェルノの幹部。種族は爬虫類、レヴォリユードの配下である。ゴーゴル三姉妹の三女で、ゴーゴルステノーとゴーゴルアレーと同様に頭の髪の毛が無数の蛇で敵を石化させ、こちらは格闘や力技を得意とし、パワーはプリキュアに匹敵する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

必殺技

アイザデストーン

ゴーゴルドゥーザの必殺技。目から放つ光で敵全体を石化させる。

ドゥーザスネークテンペスト

ゴーゴルドゥーザの必殺技。頭の無数の蛇伸ばしながら敵全体に攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させるこ

とが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ドゥーザデスクロー

ゴールドドゥーザの必殺技。両手の指を伸ばして敵を引っ搔いて攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ドゥーザスネークハンマー

ゴールドドゥーザの必殺技。頭の無数の蛇を上に向つ直ぐ伸ばしながら敵全体にハンマーのように思いっきり喰らわす。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

一般兵

マシンウオーリア

インフェルノのロボットタイプ的一般兵。マシンソルジャーの強化版で、全身に強化装甲を纏い、性能も強化され、プリキュアに匹敵する力を持つ。武器はクウエルビームサブマシンガンとクウエルバズーカとクウエルクローで、背中にジェットウイングパツクを装着している。

スカルファイター

インフェルノの骸骨タイプの一般兵。スカルトイの強化版で、強化された騎士鎧を身に纏いながら防御力が高く、さらに能力も強化され、武器は剣とハンマーとスピアとシールド。

レブンナンツ

インフェルノのゾンビタイプの一般兵。ゾンビーンの強化版で、口の牙が鋭く、外見もさらに傷だらけの酷似で、爪も鋭く伸びてあらゆるものを切り裂き、口から何でも溶かす毒液を吐く。

ゴブリオン

インフェルノの獣タイプの一般兵。人間タイプの一般兵より数倍能力が高く、凶暴性で争いを好んでおり、戦闘力も高く、素手も得意とする。武器はアサルトビームカービンとアサルトステイック。

アントアーミー

インフェルノの虫タイプの一般兵。アリの姿をしており、口の歯が鋭く、口から溶液を吐き、多数の脚による攻撃で、地中に潜り込んだりする。単体では弱い、数による集団で組んでかかると脅威となり、数が多いほど力を増す能力を持つ。

レイストン

インフェルノの幽霊タイプの一般兵。ゴーストンの強化版で、魔道士の姿をした幽霊

で、魔法攻撃を得意とし、口から音波を放つたりする。武器はレイスナイフで相手を斬り付ける。

リザードアーミー

インフェルノの爬虫類タイプ的一般兵。トカゲの姿した一般兵。今までの一般兵とは違う強さを持ち、高い実力は怪人クラスを上回り、プリキュアを圧倒する。素手も得意とし、武器は槍、盾で身体に鎧を身に付けている。

第45話　ゴール三姉妹

人間界へ無事帰還したアイカ達は、ヴァレリアンに事情を全て話し、またインフェルノを抜けたクレア、イゼル、ライラはWJGから尋問され、知っている事を全て話し、現在、3人はアイカ達と共にアメリカのニューヨークで街中を歩いていた。

北米大陸

アメリカ

ニューヨーク

ブルックリン

クレア「人間界にこんな都市があるのね。」

イゼル「ニューヨークへ行くのは初めてだな。」

ライラ「あああつ。」

トットム「この3人と一緒に同行するとは驚いたもんだ。」

ペル「3人が味方になるのは驚きます。」

アーニヤ「そうですね。」

ニューヨークに初めて踏み入るクレアとイゼルとライラは、今まで戦いだけで過ごして来た彼女らには都会の街と言うのがどんなのか見物をしに行く。

アイカ「ニューヨークは世界で一番有名なんだよ。」

はるな「街も広いのよ。」

クレア「そんなに有名か？」

咲耶歌「あたし達が案内してあげるね。」

アイカ達にニューヨークの街を案内してもらい、歩いていくクレア、イゼル、ライラ。まず最初に着いたのは洋服店だった。店の中に入って、3人はアイカ達が選んだ服を試着した。

洋服屋

クレア「どう、似合っている・・・？」

イゼル「あたしらこんな服を着替えるの初めてだ。」

ライラ「何だか照れてしまう。」

アイカ達に選んだ服を着た3人、クレアは上にルパシカ、下にスリムスカート、イゼルはオールインワン、ライラはブブをそれぞれ着て披露した。

咲耶歌「わあ、似合ってる。」

海「オシヤレね。」

文「ピツタリね。」

クレア「こんな服を着るのは初めてよ。」

ライラ「違う服を着るのも良い機会だ。」

イゼル「他ののも色々着てみたいな。」

アイカ「じゃあ、色々試着しよう。」

はるな「他にも何が合うか着てみよう。」

他の服にも着替えるクレアとイゼルとライラはいろんな服を着たりして、ファッションを初めて楽しんだ。服を楽しんだら、次は博物館へ行き、着いた場所はメトロポリタン美術館だ。

メトロポリタン美術館

クレア「これが美術館か？」

イゼル「いろんなのが置いてあるな。」

ライラ「歴史を集めた場所だな。」

麗奈「美術館はいろんなのが置いてあるわ。絵や銅像などと言った芸術品があるのよ。」

クレア「興味深いわ。人間界っていろんなのがあるわ。」

イゼル「自分達の住んだ世界にいろんな事があるんだな。」

ライラ「あああつ。」

美術館の中を歩き回りながらあらゆる美術品を見るクレアとイゼルとライラは、美術館は歴史的な物が並べてあるのに感心した。一方、幽魔界では、クレア、イゼル、ライラの裏切りでざわめく中、3人の女性幹部が幽魔要塞にやって来た。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

居間

ゴーゴルステノー、ゴーゴルアレー、ゴーゴルドゥーサ「ゴーゴル三姉妹、ただ今帰投しました。」

ヴェルアル「ご苦労だ。」

ゴーゴルステノー「私達三姉妹、パラレルワールドをたくさん征服したり滅ぼしたり参りましたわ。ハデユス様のために。」

ゴーゴルアレー「私達三姉妹は余裕で滅ぼして来ましたわ。」

ゴーゴルドゥーザ「楽勝でしたわ、あはははっ。」

ヴェルアル「お前達が来てくれたとは心強い。最近役立たず共がプリキュアにやられているばかりでな。」

ゴーゴルステノー「プリキュア？もしかして人間界で手こずらせている奴の事でありますか？」

ヴェルアル「あああつ、奴らはかなり手強い。」

ゴーゴルドゥーザ「そのプリキュアを会いに行くのはどうかしら？」

ゴーゴルアレー「いいわね、私達三姉妹の力を見せてあげるわ。」

ゴーゴルステノー「そうですね、せっかくだからついでに完成したばかりの新しい兵達の力を試すのもいいかしら？」

ヴェルアル「丁度いい、お前達に是非任せて行こう。」

ゴーゴルステノー「私達ゴーゴル三姉妹にお任せください。」
ゴーゴルアレー「ステノーお姉様、ドゥーザ、行くわよ。」
ゴーゴルドゥーザ「プリキュアがどんなのかお相手したいわ。」
ヴェルアル「任せたぞ。」

ゴーゴル三姉妹は最新鋭の兵を率いて、人間界へと向かった。

ヴェルアル「そろそろここも終わる頃か、ハデユス様に踊らされているのを。ゴーゴル三姉妹が来たと言う事はレヴォリユードも動き出す頃か。」

パラレルワールド

人間界

アメリカ

ニューヨーク

自由の女神

クレア「これが自由の女神……。」

次はアイカ達に連れられて自由の女神を観にやって来たクレアとイルゼとライラ。

イゼル「まさにでかいな。」

ライラ「あああつ。」

クレア「ニユーヨークは色んなところだね。」

アイカ「楽しい？」

クレア「ニユーヨークはまさに広いところだな。」

麗奈「ではそろそろ食事にしようかしら？」

イゼル「ちようど食べてみたいのがあるんだ、ハンバーガーってやつを。」

ライラ「私もハンバーガーがどんなのか食べてみたい。」

咲耶歌「じゃあ、みんなでハンバーガーを食べに行こう。」

食事をハンバーガーで食べる事にしたアイカ達は早速、ハンバーガーのある店へと向かい移動する。

ロウアーマンハッタン

街中

アイカ「アメリカのハンバーガーがまた食べれる何て楽しみー。」

はるな「みんなでハンバーガー食べるお揃いだね。」

海「何だが楽しみね。」

クレア「ハンバーガー、食べてみたいわ。」

ライラ「今から楽しみだ。」

イルゼ「早く食べてみたいな。」

トットム「俺達も食事したいところだぜ。」

ペル「皆様と食事は楽しみでありますね。」

アーニヤ「こんなに仲が良いと楽しみですわ。」

ハンバーガーを初めて食べる事にワクワクするクレアとイゼルとライラは今から店に着いて食べるのを楽しみにしていた。アイカ達がハンバーガー店へ向かう最中、突如、謎の男性が護衛のSPを連れてアイカ達の近く現れた。

アイカ「？」

咲耶歌「誰？」

ブランバーク「おやおや、君達ここで何をしているんだい？」

謎の男性はブランバーグ。外見は30代後半で、彼は投資家として世界各企業を投資して大きくし、彼が投資した世界各企業を動かして自分の意のまま操っている。

麗奈「(あれば、モーロ||ブランバーグ。)」

ブランバーグ「可愛い少女達が何道草にしているんだい？」

アイカ「あたし達はこれから食事をしに行くだけです。」

ブランバーグ「へえー、食事。君達はまだ子供だね。」

咲耶歌「子供で何がいけないの?!」

海「私達に何か用なの?!」

ブランバーグ「別にどうって事もないんだよ。」

麗奈「.....」

ブランバーグ「じゃあ帰るね。」

SPを連れて立ち去るブランバーグ。

麗奈「(最近、有名な財界人と目を合わせるようになってい。何かの偶然かしら?)」

ブランバーク「(君達がプリキュアなのはわかってるよ。)」

最近、自分達はラスフェックやロークットと遭遇している事で、何かの偶然かと考える麗奈。その時、街中から爆音が鳴った。

一同「!!」

すぐにその場所へ向かったアイカ達は、インフェルノが新しい兵達で街を襲撃しているのを目の当たりにする。

ゴーゴルドウーザ「これが新しい兵達の力ね。」

ゴーゴルアレー「すごい性能だわ。」

ゴーゴルステノー「プリキュアに使わせてやりたいですわ。」

ゴーゴル三姉妹はインフェルノの最新鋭の兵のマシンソルジャーの強化版のマシンウオーリアとスカルトイの強化版のスカルフアイターとゾンビーンの強化版のレブナツとゴーストンの強化版のレイストーン新種のゴブリオンとアントアーミーリザード

アーミーが街を衝撃させた。

アイカ「インフェルノ!!」

ゴーゴルステノー「？」

早速現場に到着したアイカ達は、新手の幹部であるゴーゴル三姉妹と対面する。

はるな「見た事がない幹部ね。」

咲耶歌「もしかして新手ね。」

ゴーゴルアレー「もしかしてあなた達がプリキュアね？」

麗奈「私達がプリキュアよ。」

クレア「お前達、もしかしてゴーゴル三姉妹だな。」

ゴーゴルドゥーザ「そうよ、私達がゴーゴル三姉妹よ!!」

イゼル「気を付けろ、そいつらは石化する能力を持っている、石化されたらおしまいだ。」

アイカ「みんな、変身よ!!」

「ゴール三姉妹と対決するためアイカ達はプリキュアに変身をし始めた。」

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「プリキュア・チェンジアツプ!!」

キュアアトフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラは全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアツプ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを着用し、クレアは髪型がパープルのロングカット、衣装はMHのブラックの似たスカート丈の短いドレスとスパッツで、イゼルは衣装は中東風のグリーンのベリー

ダンス、ライラは中東風のマリードレスで、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気のパワー!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

ミスティック「神秘の戦士、キュアミスティック!!」

アラム「切り裂く風、キュアアラム!!」

ジュルフ「荒ぶる大地、キュアジュルフ!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミスティック、

アラム、ジュルフ「フューチャーフォースプリキュア!!」

プリキュアに変身した9人はゴーゴル三姉妹と強化兵達と対決する。

ゴーゴルアレー「来ましたわね、プリキュア。我が必殺技を受けよ!!」

ゴーゴル三姉妹「アイザデストーン!!」

ゴーゴル三姉妹の目から放った光がストライク達に向けられた。

ミステイック「避ける!!」

ゴーゴル三姉妹の目から放った光をすぐに分散して回避したストライク達9人。偶然、逃げ遅れた一般人がその光を浴びて石化した。

マジック「街の人達が!!」

ゴーゴルドゥーザ「どお、私達三姉妹の石化は？」

ジャック「石化なんかさせないわ!!」

クイーン「私達が相手よ!!」

石化する能力を持つゴーゴル三姉妹に対し、9人は3組3人に分かれて、三姉妹を1人ずつ集中攻撃する。

「ゴーゴルドウーザ」私の相手はあなた達ね。」

ゴーゴルドウーザはマジック、ジャック、クイーンと交戦し、最新鋭のレブナンツとレイストンとスカルフアイターの集団で3人と戦わせた。

マジック「こいつら、強い!!」

強化兵のレブナンツとレイストンとスカルフアイターと交戦するマジック、ジャック、クイーンはパワーアップした兵の数と力で攻められ、レブナンツが爪、レイストンが口から音波、スカルフアイターがスピアで攻撃しかかった。

マジック、ジャック、クイーン「プリキュライドチェンジオールスターズ!!」

マジックとジャックは各ステッキスピア、クイーンはクイーンファンでプリキュライドジュエルを装着してマジックはドリーム、プロッサム、ハツピー、ラブリー、ホイップ、ジャックはアクア、マリン、プリンセス、ジェラート、コスモ、クイーンはルミナス、レモネード、パイン、サンシャイン、ミューズ、ハニー、トウインクル、カスター

ド、エトワール、ソレイユを召喚してレブナンツとレイストーンとスカルフアイターの集団と交戦する。

ドリームマジック、ブロッサムマジック、ハッピーマジック、ラブリーマジック、ホイップマジック、「はああああー!!」

ドリームマジックとブロッサムマジックとハッピーマジックとラブリーマジックとホイップマジックがレブナンツの集団に交戦し、ドリームマジックがクリスタル・フルーレ、ハッピーマジックがプリンセスキャンドル、ホイップマジックがキャンディロットで数体のレブナンツに攻撃し、ブロッサムマジックがブロッサム・インパクトで衝撃波で蹴散らし、ラブリーマジックがラブリーブラスターで焼き尽くしたが、他のレブナンツが爪でドリームマジックに切り裂いて撃破し、さらに口から毒液を吐いてブロッサムマジックとホイップマジックに喰らわせて消滅させた。

アクアジャック、マリンジヤック、プリンセスジャック、ジェラートジャック、コスモジャック「たああああー!!」

アクアジャックマリンジックが水を自在に駆使しながらレイストンに攻撃し、プリンススジャックとジェラートジャックが氷と風の組み合わせ合体攻撃でレイストンを蹴散らし、コスモジャックがレインボーパフォームでレイストンを攻撃した。だが、レイストンもその力を見せるべく、闇術でアクアジャックとマリンジックをこうげきして消滅させ、レイストンナイフでコスモジャックに斬り付けて撃退した。

ルミナスクイーン、レモネードクイーン、パインクイーン、サンシャインクイーン、ミューズクイーン、ハニークイーン、トウインクルクイーン、カスタードクイーン、エトワールクイーン、ソレイユクイーン「てやああああー!!」

レモネードクイーン、パインクイーン、ミューズクイーン、ハニークイーン、トウインクルクイーン、カスタードクイーン、エトワールクイーン、ソレイユクイーンが数体のスカルフアイターの攻撃を喰らわせたが、スカルフアイターがハンマーを振り回しながら蹴散らしにかかるが、クイーンルミナスとクイーンサンシャインがバリアを同時に発動して防いだが、ハンマーの威力でバリアが割れて蹴散らされた。

マジック、ジャック、クイーン「はああああー!!」

マジック、ジャック、クイーンが3人がかりでゴーゴルドウーザと交戦した。

ゴーゴルドウーザ「ドウーザスネークテンペスト!!」

ゴーゴルドウーザが頭の無数の蛇伸ばしながら、マジック、ジャック、クイーンに攻撃した。

マジック「プリキュア・マジックトランプショット!!」

マジックがトランプを出して、ゴーゴルドウーザに手裏剣のように投げたが、

ゴーゴルドウーザ「ドウーザデスクロー!!」

ゴーゴルドウーザが両手の指を伸ばしてマジックの投げたトランプを斬り払った。

ジャック「かなり手強いわ!!」

クイーン「遠距離で!!」

クイーンがキュアナギナライフル小銃モードで遠距離さららゴールドウーザに射撃したが、ゴールドウーザは頭の無数の蛇で射撃を薙ぎ払った。

ストライク、シンシア、フェッター「はああああー!!」

ストライク、シンシア、フェッターはマシンウオーリアとゴブリオンの集団と戦っていた。数体のマシンウオーリアが背中のジェットウイングパックで飛行して、地上にいるストライク、シンシア、フェッターにクウエルビームサブマシンガンで攻撃して来た。地上からはゴブリオンの集団が突撃しにかかった。

フェッター「空は私に任せて!!」

フェッターは隼疾風のヒーローライドジュエルを出して変身し、フェッター隼疾風フォームとなって飛行し、空中にいるマシンウオーリアにキュアカタナテツポウ刀モードで次々と斬り込み、攻撃してくるマシンウオーリアを一刀両断した。

ストライク、シンシア「たあああああー!!」

ストライクとシンシアがタッグでゴブリオンの集団とぶつかり合い、数倍能力が高いゴブリオンがアサルストスティックで2人に振りかかった。

ストライク、シンシア「!!」

2人はゴブリオンのアサルストスティックを左右に分かれて交わし、他のゴブリオンがアサルトビームカービンで2人に射撃した。

ストライク、シンシア「くっ!!」

ゴブリオンのアサルトビームカービンの攻撃を受けた2人はキュアブレードマグナム銃モードで応戦した。

ゴーゴルアレー「プリキュア、覚悟しなさい!!」

ゴーゴルアレーがストライク、シンシア、フェッター隼疾風フォームに襲いかかって来た。

ゴーゴルアレー「アレーサウンドボイス!!」

ゴーゴルアレーが口から音波を放ち、3人に喰らわせた。

ミステイック、アラム、ジュール「はあああああつ!!」

3人はアントアーミー、リザードアーミーの集団を相手に戦い、数が多いほど強さを発揮するアンとアーミーがアラムとジュールに襲いかかった。

アラム「あたしらを舐めるな!!」

ジュール「2人の力見せてやる!!」

アラムとジュールが素早い動きを駆使していきながら、アントアーミーの集団を回り

ながら翻弄し、2人同時攻撃でアントアーミーぶち込んだ。

ミステイック「トカゲが相手か。」

リザードアーミーと対決するミステイックは、高い戦闘力を持つリザードアーミーが槍で攻めにかかり、ミステイックに攻撃を加えにかかった。

ミステイック「!!」

突きかかった槍を素手で受け止めながら持ち上げたまま、他のリザードアーミー数体に投げ飛ばしてぶつけ、そのままミステイックサークルスピナーで必殺技のプリキュア・ミステイックサークルザンバーで斬り込んだ。

ゴーゴルステノー「散りなさい、ステノヴァイパーフラッシュユブラスト!!」

ゴーゴルステノーが頭の無数の蛇を発光しながらミステイック、アラム、ジュールフに喰らわせた。

ミステイック、アラム、ジュール「ぐうっ!!」

ゴーゴルステノー「あなた達3人は私とお遊びですわ。」

ミステイック、アラム、ジュールに頭の無数の蛇を伸ばして攻撃するゴーゴルステノー。

ゴーゴルステノー「ステノーヴァイパーポイズンブレス!!」

ゴーゴルステノーが頭の無数の蛇から毒状の息を吐き、ミステイック、アラム、ジュールに向けた。3人はすぐにジャンプしてかわしたが、ゴーゴルステノーが無数の蛇を伸ばして3人を捕らえた。

ゴーゴルステノー「ステノーヴァイパードレイン!!」

捕らえた3人を吸血するゴーゴルステノー。

ミステイック、アラム、ジュール「うわああああー!!」

ゴーゴルステノーに吸血されたミステイック、アラム、ジュール。ゴーゴル三姉妹と強化兵達と大激戦を繰り広げるストライク達9人のプリキュア。

ストライク「兵達も強くなっている!!」

シンシア「怪人並みに!!」

マジック「これじゃキリがない!!」

パワーアップした兵達が怪人並みの強さに圧倒され、追い込まれていき、窮地に陥ったストライク達。

ミステイック「ゴーゴル三姉妹も強い……。」

ジュール「何とかしないと……!!」

ストライク「こうなったらヴァンガードクリスタルで!!」

ゴーゴル三姉妹と強化兵の強さに押されるストライク達はヴァンガードクリスタル

を出して、ヴァンガードヒーローフォームになるため発動する。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュール「ヴァンガードフォーム!!」

ヴァンガードクリスタルを発動し、9人はヴァンガードヒーローフォームへととなり、ゴーゴル三姉妹と強化兵に挑んだ。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・マジックヴァンガードソーサリーブラスト!!」

マジックヴァンガードヒーローフォームが掌から魔力で形成した多数のマゼンタの魔法光線を多数放ち、レブナンツとスカルフアイターを次々と打撃して撃退した。

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ジャックヴァンガードハイドロスピアレイン!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォームがヒーローウオーテイルハルバートから無

数の水状の槍を出現して、共に向かいながらレイスドンの集団に突撃し、撃退した。

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・クイーンヴァンガード舞華天翔!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォームが天翔

クイーンヴァンガードヒーローフォームの必殺技。両手に黄色のエネルギー状の扇子を2本出現して、ゴーゴルドゥーザに向かって、舞いながら飛翔して斬り込んだ。

ゴーゴルドゥーザ「ぐうっ!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォームの必殺技を受けたゴーゴルドゥーザは彼女に反撃するために必殺技を発動する。

ゴーゴルドゥーザ「ドゥーザスネークハンマー!!」

頭の上の無数の蛇を上に向っ直ぐ伸ばしながら3人に向かってハンマーのように思

いつきり振り回しにかかった。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・マジックヴァンガードソーサリーパンチ!!」

マジックヴァンガードヒーローフォームがヒーローレディグローブを発光しながら、マゼンタのエネルギー状のパンチをゴールドウーザの頭の上の無数の蛇に喰らわせて、阻止した。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム、シンシアヴァンガードヒーローフォーム「はあああああー!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームが背中にあるヒーローアロイスジェットユニットで空を飛びながらヒーローブレイディオソードでマシンウオーリアを次々と斬撃し、シンシアヴァンガードヒーローフォームもヒーローフェアリアルウィングも空を飛びながらヒーローガンニークスツインライフルで地上にいるゴブリオンの集団を撃ち落とした。

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「そこっ!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォームがゴーゴルアレーの口から放つ音波を手
刀で斬り払い、ジャンプしてキックで打ち込んだ。

ゴーゴルアレー「よくもやったわね、アレーノイズブレイク!!」

ゴーゴルアレーが不気味な騒音を発生して、3人に響かせてダメージを喰らわせた。
だが、3人も反撃に出て、ゴーゴルアレーに攻撃を加え始めた。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ストライクヴァンガードラ
イジングキック!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・シンシアヴァンガードソー
サードーツ!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・フェッターヴァンガード陽
陰波!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームが両脚を発光ながらジャンプして空中キックでゴールアレーに打ち込み、次にシンシアヴァンガードヒーローフォームが分身体をいくつか形成して、ゴールアレーにエネルギー状の円形手裏剣を形成して投擲して攻撃し、続いてフェッターヴァンガードヒーローフォームが両腕を発光しながら右手から陽光波、左手から陰光波をそれぞれ放ちながら、光と闇の攻撃を同時にゴールアレーに喰らわせた。

アラムヴァンガードヒーローフォーム、ジュルフヴァンガードヒーローフォーム「おりやあああああー!!」

アラムヴァンガードヒーローフォームがヒーローアラミラードドリルアームでアントソルジャーの集団を次々と蹴散らしていき、ジュルフヴァンガードヒーローフォームがヒーローマナートウクローでリザードアーミーの集団を次々と斬り裂いた。

ミステイクヴァンガードヒーローフォーム「ゴールステノー!!」

ミスティックヴァンガードヒーローフォームは、ゴーゴルステノーにヒーローエスパネスガントレットから超能力を発動して、念力で近くにあった車を動かしてぶつけた。

ゴーゴルステノー「車をぶつけただけではびくともしませんわ。」

念力をぶつけられた車を受けても平気であり、ゴーゴルステノーは闇術でミスティックヴァンガードヒーローフォームに攻撃した。

ミスティックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ミスティックヴァンガードミラーリフレクトバリア!!」

ミスティックヴァンガードヒーローフォームがヒーローミラーシエナシールドからバリアを貼り、ゴーゴルステノーの闇術を防ぐと同時に跳ね返した。

ゴーゴルステノー「私の攻撃を跳ね返すとはお見事ですわね。でも、くたばりませんわ、ステノダークヴァイパー!!」

闇状の蛇を放ち、ミスティックヴァンガードヒーローフォームに向けたが、

アラムヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・アラムヴァンガードラッシングスマッシュ!!」

ジュルフヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ジュルフヴァンガードエッジスライサー!!」

その時、アラムヴァンガードヒーローフォームが両手両足を発光しながら、闇状の蛇をキックで強く打ち込み、次にパンチで連打していき、さらに脚でかかと下ろしをし、最後にパンチで撃退し、ジュルフヴァンガードヒーローフォームがヒーローマナートウクローを発光しながらゴールステノーを切り裂いていき、最後に突いた。

ゴールステノー「うぐっ!!」

ジュルフヴァンガードヒーローフォームに切り裂かれ、ダメージを負ったゴールステノーはこのまま負けると判断し、退却の行動をし始める。

「ゴーゴルステノー「今日はこのくらいにしますわ。ゴーゴルアレー、ゴーゴルドウーザ。」

次女のゴーゴルアレー、三女のゴーゴルドウーザを連れて退却したゴーゴルステノー。彼女達の戦いをビルの上から拝見したブランバーク。

ブランバーク「プリキュア、君達の活動は見させてもらったよ。そして君達の正体もね。ハデユスと我々の計画はもうすぐだよ。」

ハンバーガー屋

店内

クレア「……。」

アイカ「どうしたんですか？」

クレア「何でもないわ。」

はるな「そうですか？」

咲耶歌「そろそろハンバーガーが来るよ。」

ウエイトレスがハンバーガーを持って来て、みんなでハンバーガーが食べ始めて美味しく実感した。クレアは未だにゴール三姉妹の事を気にかけていた。

クレア「(ゴール三姉妹が出て来たと言うならもしかしてあの者が動き出したって事かもしれない。)」

次回 46話へ続く

第46話 レヴォリユード

とある一つのパラレルワールドでは、たった一人の者によって、その世界の民や生命は全て殺されていき、また大地や空や海を死と化し、その世界は滅びを迎えようとした。

パラレルワールド

フラワリア

パンジー「はあ、はあ、はあっ……。」

この世界を守るプリキュアの一人、キュアパンジーは目の前で自分の世界の民や生物を虐殺した者を相手に戦うが、全く敵わずにいた。

レヴォリユード（戦闘形態）「この世界のプリキュア、この程度か。」

その者はインフェルノのレヴォリユード、彼はドラグードと同じインフェルノの最高幹部で25歳でありながら、一番の若手である。彼は全身にアイゼンアロイス達と同じ

ジャステイスヒーローのケルベニウスと一体化し、ケルベロスと騎士鎧を組み合わせたケルベルニウスメイルを全身に纏い、頭部はケルベルウスヘッドアーマーを身に付けており、今彼はフラワリアを滅ぼそうとする。

パンジー「私の世界を・・・!!」

レボリユード（戦闘形態）「どうだ、お前の大事にしていた世界の最期を。」

パンジー「みんなを、みんなを・・・!!」

最後の力を振り絞って全てを出し切りながらレボリユードに向かって、突撃するが、

レボリユード（戦闘形態）「朽ち果てるがいい!!」

レボリユード飛び蹴りでパンジーごと強く押しながら、地面を地中深く潜り込みながらその世界の中心部まで衝突させた。

パンジー「私の世界が・・・!!」

中心部に衝突させられて大爆発を起こして最期を遂げたパンジー。中心部の大爆発によりフラワリアは消滅し、滅亡させたレボリユード。滅した世界からその世界のコアとパンジーの力を手にした。

レボリユード（戦闘形態）「これで惑星を合わせて1000個目だ。」

何と彼はパラレルワールドだけでなく、他の惑星もフラワリアと同じように消滅して滅亡させて、コアやプリキュアの力を入手していたのだ。

レボリユード（戦闘形態）「偉大なるハデウス様の計画のために。」

パラレルワールド

人間界

あさぎ市

イゼル「ここがお前達の町か？」

アイカ「あたし達の暮らす町だよ。」

はるな「ここは福祉や教育や自然農業などを中心とし、人々が豊かで暮らせる町だ

よ。」

クレア「理想的だな。」

海「私は別の町から来たの。ここへ来た時は何かの運命的かしら？」

ライラ「興味深いな。」

文「みんなで楽しみましょ。」

クレア、イゼル、ライラを連れてあさぎ市の町を案内して回るアイカ達。

トットム「あの3人もすっかり仲良くなったみたいだな。」

ペル「最初は敵として戦ってきましたが、今ではすっかり仲が馴染んでいますね。」

アーニヤ「プリキュア同士、仲良く出来て嬉しいです。」

敵だったクレア、イゼル、ライラが今では味方となり、そんな3人と仲良くやっているのを快く思うトットム、ペル、アーニヤ。

アイカ「トットム、ペル、アーニヤ。」

アイカに呼ばれて一緒に加わって、クレア、イゼル、ライラと共に親しくし、仲良く
なった。全員でカフェに入店した。

カフェ

クレア「これは？」

咲耶歌「これはねマロンタルトって言うんだよ。」

イゼル「珍しい物なのか？」

海「秋頃になると出るのよ。」

ライラ「季節の時期にか。」

文「季節の時期によっていろんなのが出てきたりするのよ。」

クレア「色々気になるな。」

9人でマロンタルトを食べ、秋の季節を味わい、楽しく過ごした。一方、幽魔要塞で
は、フラワリアを滅ぼしたレヴォリユードが帰投していた。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

居間

レヴオリユード「久しぶりだったな。」

ヴェルアル「レヴオリユード、久しぶりだな。」

レヴオリユード「今パラレルワールドと惑星を滅ぼしてやった。」

ヴェルアル「流石だ。」

レヴオリユード「民や生物を一人足らず消してやった。」

バトルヴェエソール「俺よりも活躍してるな。」

レヴオリユード「バトルヴェエソール、お前は何やらプリキュアに連敗してるようだな。」

バトルヴェエソール「役立たずの部下がしつかりしないからだ。」

レヴオリユード「お前自身はどうやら他人のせいになっているようだな。」

バトルヴェエソール「何だと?！」

レヴオリユード「プリキュアに毎度敗れているようではないか?」

バトルヴェエソール「若造の分際が!!」

レヴオリユード「無能の分際でプリキュアに勝てないから貴様が悪い。」

バトルヴェエソール「俺に逆らう気か?！」

レヴォリユード「貴様など、俺の前では余裕だ。」

バトルヴェソール「何だと?!」

ドラグード「やめろ。」

喧嘩をしようとするバトルヴェソールとレヴォリユードの前にドラグードが現れて、喧嘩を止めた。

レヴォリユード「これはこれはドラグード殿。」

ドラグード「お前が帰ってくるとはな。」

レヴォリユード「人間界は新しいプリキユアが強いそうだな。」

ドラグード「1度は倒したが、ヴァンガードクリスタルの力で互角の力を持つようになった。」

レヴォリユード「互角か。我が配下のゴーゴル三姉妹も報告によるとヴァンガードクリスタルとやられて強化したようだな。」

ドラグード「お前が何故帰って来た?」

レヴォリユード「偉大なるハデユス様のためだ。」

ドラグード「ただ戻って来たと言う訳ではないようだな。」

レヴオリユード「お前には言えない事だ。」

ドラグード「どう言う事だ？」

レヴオリユード「これは極秘だ。」

ドラグードと同じ最高幹部であるレヴオリユードの帰投に空気はただならぬ雰囲気となり、それ各幹部達も影響をもたらした。

廊下

スラツシユラー「俺達ももうこれ以上失敗は許されねえ。」

ドラン・キュラー3世「私達にはもう後がない事を。」

オートコマンダー「レヴオリユードが帰って来た今、俺達はもうこの先はもうないと思っただ方がいい。」

オートウインガー「俺達に残されたのは、」

オートブレイカー「プリキュアを倒す事だ。」

オートバスター「プリキュアを倒す事が俺達の最期のチャンスだ。」

ドラン・キュラー3世「もう過去の頃には味わいたくない。」

スラツシユラー「失敗したら昔の俺に逆戻りだ。」

今まで何度もプリキュアに敗れて敗北して来た彼らは、もうこれ以上の失敗は許されないと語り、レヴォリユードが帰って来た事で、彼がどんなに恐ろしいのか、自分達が彼に何をされるか懸命になり、自分達の倒すべき相手であるプリキュアを倒す事に燃やし始め、今日こそ倒す事に彼らの決死の戦いが始まった。

パラレルワールド

人間界

あさぎ市

クレア「楽しい1日だったな。」

イゼル「平和な日常もいい感じだな。」

ライラ「平穏な日常はいいものだ。」

咲耶歌「あたし達もう仲良しだね。」

クレア「こうして仲良く出来たのもお前達と出会ったおかげだ。」

アイカ達6人と仲良くなれた3人は平和な日常を過ごしながら彼女達と一緒に街を歩き回り、自分達が心を通わせた事を彼女達に感謝した。一方、ドラン・キュラ13世

とスラツシユラーとオートソルジャーズは配下の怪人と兵達を率いて、人間界に到着していた。

市街地

スラツシユラー「行くぞ、お前ら・・・!!」

ドラン・キュラー13世「プリキュアを今こそ殺す・・・!!」

マシンコマンダー「俺達の命を賭けた戦いをするぞ!!」

マシンウインガー、マシンブレイカー、マシンバスター「あああつ!!」

スラツシユラー「もう後がねえ事を!!」

ドラン・キュラー13世「フェアリージュエルとプリキュライドジュエルを必ず奪い取る!!」

町への総攻撃を開始するスラツシユラー達は、この戦いに全てを賭けて、後の引けない戦いを行った。

一同「!!」

インフェルノの襲撃に急いで駆け付けたアイカ達。

アイカ「インフェルノ!!」

ドラン・キュラー3世「来たか、プリキュアあつ!!」

海「またいつもみたいに!!」

スラツシユラー「いつもだと?!俺達は今日はお前達を殺しに来た!!」

一同「!!」

オートコマンダー「俺達はもうお前達に負けるわけにはいかないんだあつ!!」

オートブレイカー「俺達全員はお前達プリキュアに敗れて後がなくなつた!!」

オートウインガー「フェアリージュエルとプリキュライドジュエルを奪ってやる!!!」

オートバスター「もう後がないんだ!!」

ドラン・キュラー3世「貴様らに全てをぶつけてやるのみだあつ!!」

今までにない気迫と全身全霊でアイカ達プリキュアにぶつけにかかるスラツシユラー達。

アイカ「みんな、変身よ!!」

キュアアトフォンチェンジャーを出して、9人は自分達のプリキュライドを出して刺し、変身する。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「プリキュア・チェンジアツプ!!」

キュアアトフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラは全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアツプ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のりボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルク

ハットを着用し、クレアは髪型がパープルのロングカット、衣装はMHのブラックの似たスカート丈の短いドレスとスパッツで、イゼルは衣装は中東風のグリーンのベリーダンス、ライラは中東風のマリードレスで、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフエッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気のパワー!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

ミステイック「神秘の戦士、キュアミステイック!!」

アラム「切り裂く風、キュアアラム!!」

ジュール「荒ぶる大地、キュアジュール!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、

アラム、ジュール「フューチャーフォースプリキュア!!」

プリキュアに変身した9人はスラッシュユラー達と対決する。

ドラン・キュラー3世、スラツシユラー「来い、キルキルナイト、ゾンバイト!!」

ドラン・キュラー3世とスラツシユラーが配下のキルキルナイト、ゾンバイトと強化兵と共にプリキュア達に攻撃を加えにかかった。

キルキルナイト「死ね!!」

キルキルナイトが右腕の刀剣、左腕のサバイバルナイフでストライク達に斬りかかった。

ストライク、シンシア「!!」

2人はキュアブレードマグナム剣モードでキルキルナイトの攻撃を受け止めた。

スラツシユラー「喰らえっ!!」

スラッシュユラーが高くジャンプして両脚に仕込まれている折畳み式のダガーナイフを出刃して、2人に蹴り込んだ。さらにマシンウオーリアがクウエルクロー、ゴブリオンがアサルトステイツクで2人に攻撃を加えた。

ストライク、シンシア「うっ!!」

敵の一斉攻撃を喰らったストライクとシンシアはボルケリートとスカヴァアのヒーローライドを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して、召喚した。

ボルケリート「我が炎の拳を受けよ!!」

スカヴァア「我が冷気で凍結させる!!」

ボルケリートが両拳に火炎を纏いながらマシンウオーリアを次々と破壊し、スカヴァアが吹雪を放ちながら、ゴブリオンを凍らせて、粉々にした。

マジック、ジャック、クイーン「たあああああー!!」

マジック、ジャック、クイーンが3人同時にスカルフアイター、レブナンツにパンチを喰らわせた。その直後にドラン・キュラー3世が剣で3人に斬りかかって来た。

ドラン・キュラー3世「プリキュアあつ!!」

剣を横にストレートして振りながら3人をまとめて斬撃し、さらに配下のゾンバイトが大きな口から毒液を吐いて3人に喰らわし、さらに大剣で斬撃した。

マジック、ジャック、クイーン「うっ!!」

ゾンバイトの吐いた毒液を浴びて毒状態に陥ったマジック、ジャック、クイーン。

マジック、ジャック、クイーン「こうなったら、これよ・・・!!」

マジック、ジャック、クイーンの3人はウイザーデイ、ウオーテイル、大和丸のヒーローライドジュエルを出して、キュアートフォンチェンジャーに刺して、召喚した。

ウイザーデイ「今、解毒する!!」

すぐに魔法で毒状態になった3人の解毒を行うウィザードイ。

ウオーテイル、大和丸「はああああー!!」

ウオーテイル、大和丸が2人で連携しながらゾンバイトに槍術で攻撃を加えた。

オートコマンダー「散れ!!」

右腕のミサイルランチャーでミステイックに射撃するオートコマンダー。ミステイックは素手でミサイルを振り払い、オートコマンダーにパンチを繰り出して喰らわせた。

ミステイック「いつもと違うな!!」

オートコマンダー「あああつ、お前達を殺す事だ!!」

プリキュアを殺す事で必死で命がけてミステイックに全力でかかるオートコマン

ダー。

フエッター「空なら!!」

空中から攻撃するオートウインガーに対し、隼疾風のヒーローライドジュエルを出して、召喚し、空中にいるオートウインガーに隼疾風が飛行して攻撃にかかった。

隼疾風「受けよ!!」

空を飛行する隼疾風が素早く飛びながらオートウインガーに翼で斬りかかった。

オートウインガー「喰らうかよ!!」

オートウインガーが胴体のバルカン砲で急接近する隼疾風に射撃するが、

フエッター「貰うわ!!」

地上からフェッターがジャンプして、空中にいるオートウインガーにパンチで顔面に喰らわせ、さらに手刀し、胴体に斬り付けて、破損させた。

オートブレイカー「野郎が!!」

オートバスター「撃ち落としてやる!!」

オートブレイカーとオートバスターが一緒に組みながら、アラムとジュルフにかかり、オートバスターが遠距離から射撃し、その直後にオートブレイカーが近距離で攻撃した。

アラム「こつちも見せてやる!!」

ジュルフ「あああつ!!」

アラムとジュルフも一緒に組んで連携を取り、左右に分かれて、オートブレイカーとオートバスターを攪乱させ、オートバスターが左右に分かれた2人の動きに翻弄され、オートブレイカーも左右に分かれた2人の動きに翻弄されて、双方共攻撃が出来ず、迷い出した。

アラム、ジュール「いつけええええー!!」

アラムとジュールが同時にキックを出してオートブレイカーを打ち込みながら蹴り飛ばして、オートバスターの所まで飛ばしてぶつけた。

スラッシュユラー「やられてたまるか、俺達はもうこれ以上の敗北は許せねえんだよ!!」
必死で猛威を振るうスラッシュユラーはストライクとシンシアとボルケリートとスカヴァに右腕に仕込まれている鞭を振りながら攻撃し、さらに大型サバイバルナイフで4人まとめて斬撃した。

キルキルナイト「切り刻んでやる!!」

キルキルナイトが頭部の大剣、右腕の刀剣、左腕のサバイバルナイフ、両脚の剣で4人に連続斬りで喰らわせた。

ストライク「何で切れ味なの?！」

シンシア「いつものスラツシユラー達とは違う!!」

スラツシユラー「俺達はもう負ける訳にはいかねえんだよ!!」

ドラン・キュラー3世「貴様達に何度も敗れてもう後がない、後がないんだ!!」

何かに取り憑かれているようにいつもの表情ではなく、必死で命がけで戦うスラツシユラー達はもう自分達にこれ以上の敗北をしてしまうとハデユスや組織に顔向けで出来ないとプリキュアを必死に殺しにかかる。

ゾンバイト「死ね!!」

口から毒ガスをプリキュア達に向けて吐くゾンバイト。

隼疾風「そうはさせない!!」

隼疾風が翼を羽ばたきながら、ゾンバイトが吐いた毒ガスを打ち消した。

オートバスター「図に乗るなあっ!!」

オートバスターがツインキャノンでストライク達に砲撃し、さらにガトリングガンで射撃した。

クイーン「やらせないわ!!」

クイーンがキュアナギナライフル薙刀モードを両手に持って360度回転しながらオートバスターの射撃を斬り払った。

マジック「すぐに終わらせる!!」

戦いを終わらせるため、プリキュア達はヴァンガードクリスタルを出して、ヴァンガードヒーローフォームになるため発動する。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュルフ「ヴァンガードフォーム!!」

ヴァンガードクリスタルを発動し、9人はヴァンガードヒーローフォームへとなり、スラッシュラー達に交える。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「はああああー!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームがヒーローブレイディオソードで斬撃を繰り出しながらキルキルナイトに喰らわせた。

キルキルナイト「うっ、貴様の斬撃に負けてたまるか!!」

右腕の刀剣、左腕のサバイバルナイフでストライクヴァンガードヒーローフォームに左右から挟んで斬りかかるが、

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「えいつ!!」

遠距離からシンシアヴァンガードヒーローフォームがヒーローガンニークスツイン

ライフル2丁でキルキルナイトに射撃した。

スラツシユラー「プリキュアあつ!!」

スラツシユラーが決死の猛威を振るいながら、ストライクヴァンガードヒーローフォームとシンシアヴァンガードヒーローフォームに向かつて、大型サブバイバルナイフで斬りかかった。ストライクヴァンガードヒーローフォームがヒーローブレイディオソードで受け止めて、振り払われた。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「どうして必死なの?!」

スラツシユラー「俺達はお前らを倒す事とフェアリージュエルを奪わなきや後がな
い、負ければ昔に戻っちまうんだよお!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「昔に?」

スラツシユラー「お前達を知る必要はないんだよおつ!!」

2人の会話で自分の過去の事を言わず、ただ攻撃するスラツシユラー。

マジックヴァンガードヒーローフォーム、ジャックヴァンガードヒーローフォーム、クイーンヴァンガードヒーローフォーム「はああああー!!」

マジックヴァンガードヒーローフォームがヒーローウイザーデイローブでパンチをし、ジャックヴァンガードヒーローフォームがヒーローファイツシールドで投擲し、クイーンヴァンガードヒーローフォームがヒーローバルクナツクルでパンチでゾンバイトに喰らわせた。

ドラン・キュラー3世「死ね!!」

ドラン・キュラー3世がマントから蝙蝠型光弾を多数放ち、さらに剣から斬撃を繰り出しながら3人に向けた。

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「はあっ!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォームがヒーローファイツシールドでドラン・キュラー13世の攻撃を防御し、マジックヴァンガードヒーローフォームとクイーンヴァン

ガードヒーローフォームが同時にパンチを繰り出して、ドラン・キュラー3世に喰らわせた。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「どうしてそこまで戦うの?!」

ドラン・キュラー3世「貴様達に答える筋合いはない!!」

またオートソルジャーズと激闘するフェッターヴァンガードヒーローフォーム、ミスティックヴァンガードヒーローフォーム、アラムヴァンガードヒーローフォーム、ジュルフヴァンガードヒーローフォーム。

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「たあああああー!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォームがオートウインガーと空中戦で飛行しながらぶつかり合い、ヒーロー烈陣セイバーで斬撃を繰り出し、オートウインガーに喰らわせ、墜落させた。

オートウインガー「まだだ!!」

両腕からミサイルランチャーを発射し、攻撃するオートウインガー。

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・フェッターヴァンガード風翔陣!!」

ヒーロー隼疾風翼を羽ばたきながら突風を起こして、オートウインガーに喰らわせて撃破した。

オートウインガー「わああああー!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォームの必殺技を前に最期を遂げたオートウインガー。

オートコマンダー「散れ!!」

オートコマンダーが格闘を強いながらミステイクヴァンガードヒーローフォーム

に押しかけた。

ミステイクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ミステイクヴァンガードワープアサルト!!」

ミステイクヴァンガードヒーローフォームがヒーローワプニオンアーマーの能力でオートコマンダーにの周りを瞬間移動して光弾を放ちながら攻撃して、次にヒーローミラーシエナシールドから光刃を出現して斬り込み、最後にヒーローエスパネスガントレットからビームを放ち、トドメを刺して、オートコマンダーを撃破した。

オートコマンダー「あつ、バカな・・・!!」

ミステイクヴァンガードヒーローフォームの必殺技によって敗れて倒されたオートコマンダーは最期を遂げた。

オートブレイカー、オートバスター「ぶち壊してやる!!」

近距離と遠距離に連携でアラムヴァンガードヒーローフォームとジュールフヴァンガードヒーローフォームを攻撃するオートブレイカーとオートバスター。

アラムヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・アラムヴァンガードドリルスパイラルドライブー!!」

ジュールフヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ジュールフヴァンガードアローシユート!!」

アラムヴァンガードヒーローフォームがヒーローアラミラードドリルアームを回転して発光しながら、ドリルの先端に緑色の光状を纏いながらオートブレイカーに向かって突撃し、撃破した。ジュールフヴァンガードヒーローフォームがヒーローゴールドアームズ弓モードで、エネルギーを集中しながら強力な光矢を素早く放ち、オートバスターを打ち貫き、撃破した。

オートブレイカー、オートバスター「うわああああー!!」

2人の必殺技をそれぞれ喰らい、最期を迎えたオートブレイカーとオートバスター。

そしてオートソルジャーズのメンバー全員がプリキュアに倒され、戦死した。

ドラン・キュラー3世「オートソルジャーズ!!」

スラツシユラー「貴様ら、よくもおっ!!」

オートソルジャーズが倒された事で敵討ちに燃えすドラン・キュラー3世とスラツシユラーは仲間を倒したプリキュア達に勢いよくかかり、配下のゾンバイトとキルキルナイトが強襲しかかった。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ストライクヴァンガードブレイドバーストサンシャイン!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・シンシアヴァンガードシユーティングバーストサンシャイン!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームがヒーローブレイディオソードにエネルギーを集中しながら強力なピンクのハート型光線を放ち、シンシアヴァンガードヒー

ローフォームがヒーローガンニクスツイインライフル2丁にエネルギーを集中しながら強力な赤色のハート型光線を放ち、キルキルナイトに直撃し、撃破した。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードドリームハッピーリリカルブラストパンチ!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードアクアマリンマーメイドジェラートハイドロオーシャン!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・クイーンヴァンガード大烈乱舞!!」

マジックヴァンガードヒーローフォームがヒーローレディグロープにドリーム、ハッピーのプリキュライドジュエルを装着し、2人の力を発動しながらヒーローレディグロープにマゼンタの光状を纏いながらエネルギー状のパンチを大量に放ち、ジャックヴァンガードヒーローフォームがヒーローヴォイダートメールにアクア、マリン、マーメイド、ジェラートのプリキュライドジュエルを装着し、4人の力を発動しながらいくつかの巨大な水柱を出現して、ゾンバイトに喰らわせ、最後にクイーンヴァンガードヒーローフォームがゾンバイトを掴んで持ち上げたまま高くジャンプして、敵を下に向

けたまま急降下して、地面に思いっきりぶち込んで、撃破した。

スラツシユラー「おのれ、プリキュアあつ!!」

ドラン・キュラー3世「今度は必ず!!」

戦いに敗れたドラン・キュラー3世とスラツシユラーが撤退した。戦いは無事勝利をしたが、今回の戦いで彼らがいっつもとは違っていた雰囲気を感じ始めた。

アイカ「ねえ?」

海「どうしたの?」

アイカ「スラツシユラー達、いつも様子が変だったね。」

はるな「そう言えば、アルフォートの時もモンスタージェイリスも同じだったね。」

咲耶歌「あんな表情今までになかったね。」

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

廊下

スラツシユラー「はあ、はあ、はあ、はあ……。」
ドラン・キュラー3世「プリキュアにまた敗れた……!!」

プリキュアに敗れて、帰投するドラン・キュラー3世とスラツシユラー。2人の前にレヴォリユードが立って現れた。

レヴォリユード「おやおや、何をしているんだ、役立たずの出来損ないが。」

次回 47話へ続く

第47話 居場所

ひまわり学園

文「みんな、今日も遊ぼう。」

季節は秋、気温も寒くなり、ひまわり学園では文は子供達のお世話をしたり、いつものように明るく笑顔でいて、子供達と遊んだりした。

シスター「彼女はいつも子供達の事をよく遊んでくれてますね。」

文が子供達と一緒に仲良く遊んでいる姿を見守るシスターと彼女に誘われて来た麗奈とクレアもいた。

麗奈「文はいつも子供達と一緒に遊んでいるね。」

クレア「子供達と仲良くしてるね。」

文が子供達と遊んでいる姿に麗奈とクレアが見ていた。

文「2人もよかったら一緒に子供達と遊ぼう。」

文に声をかけられて、子供達と一緒に遊ぶ事になった麗奈とクレア。

男の子「ねえ、お姉ちゃん2人は文お姉ちゃんの知り合い？」

麗奈「そうよ。」

クレア「彼女とは仲が良い。」

女の子「一緒に遊ぼう。」

ひまわり学園の子供達と一緒に遊んで過ごす麗奈とクレア。子供達と遊びながら触れ合ったり、コミュニケーションもしたりした。一方、幽魔界では、

パラレルワールド

幽魔界

廊下

フラーゲン「俺達もますます立場が危うくなったフガ。」
クラツシュトロイ「あああつ、俺達はプリキュアに敗れて、フェアリージュエルさえ奪えなかった。」

フラーゲン「このままだといずれおしまいフガ。」

プリキュアに敗れて来たフラーゲンとクラツシュトロイは、自分達もこのままでは立場が危うく感じ、いつまで安心していられなくなつた。2人の前にレヴオリユードが現れた。

レヴオリユード「おやおや君達。」

フラーゲン、クラツシュトロイ「あつ、れつ、レヴオリユード様・・・!!」

レヴオリユード「何をそんなに私の顔を見て怯えているんだい。ひよつとして、君達は上手くないから悩んでるのかい？」

フラーゲン、クラツシュトロイ「うっ・・・!!」

レヴオリユード「君達などもはやそろそろ用済みだ、何も役にも立たない奴はいらないんだよ。君達はプリキュアに何回も敗れ、プリキュライドジュエルやフェアリージュエルさえも手に入らなかった。」

フラーゲン「そつ、それは……!!」

レヴオリユード「君達2人はまた昔に戻りたいか……?!」

フラーゲン、クラッシュトロイ「!!」

レヴオリユード「惨めで弱者だった日々を思い出したくないか……?!もう後がないの!!」

フラーゲン「俺達にはもう後が結局ないって事フガ……。」

クラッシュトロイ「プリキュアを倒して、プリキュライドジュエルやフェアリージュエルを手に入れるしかない……。」

レヴオリユード「この2つを果たさなければ君達はおしまいだ……!!」

フラーゲン「プリキュアを必ず殺すフガ……!!」

プリキュアを倒す事とフェアリージュエルを奪う事を両方果たさなければならないと自分達に後がないと言う事で、フラーゲンとクラッシュトロイの決死の戦いが始まろうとした。

パラレルワールド

人間界

ひまわり学園

クレア「文はどうして子供達の事をよく面倒見ているの？」

文「それはね、子供達を幸せに出来るようにしたいの。」

麗奈「子供達を面倒を見ながら育てていく事があなたの夢ね。」

文「そのためにも将来、大学に出て一生懸命学んだり、親を亡くした子供達を幸せに出来るようにしたいの。」

麗奈「あなた夢に向けて一生懸命頑張ってるね。」

クレア「夢に向かって頑張っている文が私は羨ましい。」

文「2人には将来の夢とかはあるの？」

麗奈、クレア「……。」

文「2人共……？」

麗奈「私は夢はないけど、奪われた故郷を取り戻す事よ。ハデユスとゴウドウと悪炬血を倒す事よ。」

文「麗奈さんは奪われた故郷を取り戻すためにね。」

クレア「私は将来と言うのを今まで考えた事がないの。だから自分がどんな事をしていきたいのか。インフェルノに支配された故郷を取り戻した後にアルフォートをどのようにしていくか。」

文「クレアさんも故郷の事を考えてるんだね。」

クレア「故郷を取り戻して、みんなが幸せに暮らせるようにしたい。」

文「2人を故郷を想う気持ちが強いからね。」

麗奈「私の故郷、亜苦羅を早く取り戻していきたい。故郷の人々やどうなっているも気になるわ。」

文「麗奈さんは故郷の事、心配してるんだ。」

麗奈「大切な故郷を1日でも早く取り戻したい。」

麗奈とクレア、それぞれの故郷は今ハデウスに支配されており、2人は一刻も早く解放したいと強い気持ちでいた。3人の持っているヒーローライドジュエルのジャスティスヒーロー達が声をかけてきた。

烈陣丸（ヒーローライドジュエル）「麗奈様の故郷を取り戻す事は拙者達も同じでございます。」

光陰命（ヒーローライドジュエル）「亜苦羅は今、悪路血に支配されている今、民も苦しんでいるはず。」

隼疾風（ヒーローライドジュエル）「亜苦羅は我々の故郷でもある。」

バルクマツスラー（ヒーローライドジュエル）「インフェルノにこれ以上世界や星を支配やこれ以上滅亡させるわけにはいかん。」

翔華楽（ヒーローライドジュエル）「みんなの幸せをこれ以上壊させないわ。」

大和丸（ヒーローライドジュエル）「わしらが守つてやる。」

ミラーシエナ（ヒーローライドジュエル）「私達はクレアの事、ずっと着いて行くわ。」

エスパネス（ヒーローライドジュエル）「クレアの決める道は我々はどこまで着いて行く。」

ワプニオン（ヒーローライドジュエル）「私達はいつまで味方だ。」

将来へ向かつて進む3人にバルクマツスラー達は、インフェルノから世界と未来を守るため、支配や滅亡させないと強い意志を固め、麗奈の故郷の亜苦羅を取り戻す想いを表す烈陣丸、光陰命、隼疾風、クレアの事をこれからも共に着いて行く事をえらぶミラーシエナ、エスパネス、ワプニオン。

男の子2 「ねえ、ねえ、お姉ちゃん達。」

女の子2 「もつと遊ぼう。」

子供達が近くにやって来て、文と麗奈とクレアは、元気で無邪気な姿の子供達とまた遊んでいく事となった。

文「もう、遊ぶの好きなんだから。」

麗奈「子供達と遊ぶのは楽しいね。」

クレア「子供と触れ合ったりするのは楽しいね。」

子供達と楽しく触れ合いながら、遊んだりする文と麗奈とクレア。平和な1日を過ごす中、彼女達の前に突如、フラーゲンとクラツシュトロイが現れた。

フラーゲン「見つけたフガ!!」

文「インフェルノ!!」

クラツシュトロイ「お前達を今日こそ殺す……!!」

麗奈「子供達が危ないわ、避難させないと。」

クレア「シスター、子供達を!!」

シスター「わかりました。」

シスターはすぐに子供達を連れて、建物の中へと避難した。

フラーゲン「俺達はお前達プリキュアを殺す事とプリキュライドジュエルやフェアリールジュエルを手に入れてやるフガー!!」

クラッシュトロイ「これ以上の失敗はもう許されない・・・!!」

麗奈「まるでドラゴン達と一緒にようね・・・」

フラーゲン「さあ、かかって来い、プリキュアあつ!!」

立場が危うくなった今、フラーゲンとクラッシュトロイの決死の戦いが始まろうとした。

文「変身よ。」

キュアアートフォンチェンジャーを出して、各プリキュライドジュエルを装着して変身する文、麗奈、クレアはプリキュアに変身し始める。

文、麗奈、クレア「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めた文、麗奈、クレアは全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを着用し、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、クレアは髪型がパープルのロングカット、衣装はMHのブラツクの似たスカート丈の短いドレスとスパッツで、プリキュアとなった。

クイーン「未来を信じる誠実の心!!キュアクイーン!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

ミステイック「神秘の戦士、キュアミステイック!!」

プリキュアになった3人はフラージェンとクラッシュトロイと対決する。

フラージェン「出て来い、兵達、我が配下フガ!!」

フラージェンとクラッシュトロイの配下のジャイアックとビッグンドと強化兵のマシ

ンウォーリア、スカルフアイター、レブナンツ、ゴブリオン、アントアーミー、レイストン、リザードアーミーをプリキュアを迎撃にかからせた。

クイーン「はあああああー!!」

クイーンがスカルフアイター、レブナンツの集団をキュアナギナライフル薙刀モードで薙ぎ払い、大剣で斬りかかってきたスカルフアイターを刺突して撃破し、小銃モードに切り替えて、遠くから毒液を吐くレブナンツの頭に射撃し、さらに空中から襲いかかって来るレイストンの集団に対し、必殺技を発動する。

クイーン「プリキュア・クイーンショット!!」

クイーンがキュアナギナライフル小銃モードの銃口から多数のイエローのハート型エネルギー弾を連射して、レイストンの集団を全て撃ち落とした。

フェッター「そこっ!!」

フエッターがマシンウオーリアとゴブリオンを相手に戦い、マシンウオーリア数体がクウエルビームサブマシンガンで、フエッターに攻撃して来たが、フエッターがキュアカタナテツポウ刀モードで斬り払い、刀身を強いて真つ向から刺突して破壊し、他のマシンウオーリアを一刀両断で真つ二つにし、次に接近しかかるゴブリオンの集団に対し、身体を360°回転しながら斬り込んだ。

ミスティツク「プリキュア・ミスティツクサークルザンバー!!」

一斉に襲いかかって来るアントソルジャーとリザードアーミーの集団に対し、ミスティツクが左腕に装着しているミスティツクサークルスピナーに光状の円形の刃を纏わせたまま身体を回転しつつ、複数斬り込んだ。

フラーゲン、クラッシュトロイ「プリキュアあつ!!」

フラーゲンとクラッシュトロイが勢いよくかかり、クイーンとフエッターとミスティツクに襲いかかった。

クイーン、フェッター、ミステイック「!!」

3人はフラーゲンとクラッシュトロイの攻撃を受け止めた。

フラーゲン「俺達はもう後がないフガあつ!!」

クラッシュトロイ「俺達はお前達にやられたせいで居場所がなくなろうとしているんだ!!」

クイーン、フェッター、ミステイック「居場所・・・?!」

フラーゲン「俺達はもう昔みたいには戻りたくないんだフガああああー!!」

必死になりながらフラーゲンとクラッシュトロイは勢いよく力一杯出しながらクイーンとフェッターとミステイックを押し込んだ。

フラーゲンとクラッシュトロイの高いパワーに押されたクイーンとフェッターとミステイック。

クラッシュトロイ「ジャイアック、ビッグンド、あの建物を壊せ!!」

「ジャイアック、ビッグンド「はっ!!」

子供達のいるひまわり学園へと目を向けたクラッシュトロイは、配下のジャイアックとビッグンドに命じてひまわり学園に襲いかからせた。

クイーン「子供達の大切な居場所が!!」

ひまわり学園が狙われているのを知り、すぐに急行するクイーンは、ジャイアックとビッグンドの攻撃を止めにかかった。

クイーン「うっ!!」

高いパワーを持つ怪人2体を相手にするクイーンは、必死でひまわり学園を守り抜こうとするが、ジャイアックがパンチで勢いよく彼女の腹を強く殴り、続いてビッグンドが爪で引っ掻いた。

ジャイアック「お前1人で何が出来る!!」

ビッグンド「お前何ぞ、2人で余裕だ!!」

ジャイアックとビッグンドの高いパワーを用いながらひまわり学園を守るため、受け身になるクイーン。

フェッター、ミスティック「クイーン!!」

2体の怪人に追いやれるクイーンの方を助けにいかうとするが、フラージェンとクラッシュトロイと交戦中のため、助けに行く事が出来ない。

フラージェン「よそ見するなフガー!!」

フラージェンが両手を合わせながらミスティックの真上から下ろして打ち込んだ。

クラッシュトロイ「お前らは俺らとの戦いに集中するんだな!!」

クラッシュトロイが右手にチェンソー、左手にハンマーでフェッターに思いつきり

喰らわせた。

フエッター、ミステイック「ああああああー!!」

フラーゲンとクラッシュトロイの猛攻により、圧倒されたフエッター、ミステイック。

クイーン「2人共・・・!!」

クイーンもひまわり学園を守るためジャイアックとビッグンドの同時攻撃を受けつつ、苦戦をしていた。敵の猛攻を受ける3人。

クラッシュトロイ「これだけくたばってもまだ懲りないな。」

フラーゲン「ならばまだいる兵達にあの建物を向かわせてやる。行けフガー!!」

まだ存続している兵達をひまわり学園へと向かわせて、攻撃しようとした。

クイーン「だめえええええー!!」

自分が孤児として育った場所が兵達に攻撃されようと阻止しようとするが、ビッグンドとジャイアックの猛攻により阻まれてしまい、ひまわり学園は攻撃されようとした。その時、6つの影が兵達の目の前に現れて、兵達を攻撃した。

クイーン、フェッター、ミステイック「!!」

ストライク「お待たせ。」

兵達達の攻撃からひまわり学園を阻止した6つの影はストライク、シンシア、マジック、ジャック、アラム、ジュールだった。

クイーン「みんな!!」

シンシア「私達も来たからもう安心よ!!」

マジック「学園はあたし達が守るから!!」

ジャック「クイーンはフェッターとミステイックと一緒にフラワーゲン達と怪人を……

!!」

アラム「ここは任せな!!」

ジユルフ「私達が守り抜いてやる。」

ストライク達がひまわり学園を守りを引き受け、クイーンはフェッター、ミステイックと共にフラーゲンとクラッシュトロイと怪人を倒しにかかった。

クラッシュトロイ「お前達は相変わらず・・・!!」

クラッシュトロイがバズーカ、ビームバズーカ、ナパームボム、炸裂弾、大型ガトリングガン、両肩に3連ミサイルランチャー、両脚にナパームランチャー、両腰にパンツァーフアウストで全弾一斉射撃を行い、クイーン、フェッター、ミステイックに向けた。

クイーン、フェッター、ミステイック「!!」

クイーンはキュアナギナライフル薙刀モード、フェッターはキュアカタナテツポウ刀モード、ミステイックはミステイックサークルスピナーでクラッシュトロイの放った全弾を斬り払った。

フラীগエン「フガあああああー!!」

フラীগエンがジャンプしながら3人の真上から飛びかかって強襲しかかったが、クイーンとフェッターとミステイックの3人が同時にパンチを出して、フラীগエンを吹き飛ばした。

クラッシュトロイ「お前達、どこからそんな力が……!!」

クイーン「私達の力を見せてあげるわ!!」

クイーンとフェッターとミステイックは自分達が持っている各ヒーローライドジュエルを取り出して、キュアートフォンチェンジャーに連続で刺した。

クイーン、フェッター、ミステイック「ヒーローライドジュエル!!」

クイーン、フェッター、ミステイックはキュアートフォンチェンジャーからバルクマッスラー、翔華楽、大和丸、烈陣丸、光陰命、隼疾風、ミラーシエナ、エスパネス、ワ

プニオンを召喚し、続いて、クイーンはキュアートフォンチェンジャーにプリキュライドジュエルルミナス、クイーンファンにレモネード、パイン、サンシャイン、ミューズ、ピース、ハニー、トウインクル、カスタード、エトワール、ソレイユのプリキュライドジュエル、フェッターはキュアートフォンチェンジャーにプリキュライドジュエルソード、ミステイックはキュアートフォンチェンジャーにプリキュライドジュエルムーンライトを刺した。

クイーン、フェッター、ミステイック「プリキュライドチェンジオールスター!!」

クイーンはルミナス、フェッターはソード、ミステイックはムーンライトに変身し、クイーンはクイーンファンからはレモネード、パイン、サンシャイン、ミューズ、ピース、ハニー、トウインクル、カスタード、エトワール、ソレイユが召喚されて、一斉にかかった。

フラージェン「数が多いからって・・・!!」

クラッシュトロイ「討ち滅ぼしてやる!!」

ジャイアック「殴り殺してやる!!」

ビッグンド「散れえっ!!」

多数のプリキュアに対し、一斉にかかるフラージェン、クラツシュトロイ、ジャイアック、ビッグンド。レモネードクイーンが多数のプリズム・チエーンでフラージェンらを拘束して身動きを封じ、パインクイーン、ミューズクイーン、ハニークイーン、エトワールクイーン、バルクマツスラー、烈陣丸が一斉に攻撃した。

フラージェン、クラツシュトロイ、ジャイアック、ビッグンド「ぐうっ!!」

クイーンレモネードに身動きを封じられて、攻撃を受けた4人は自分達の持つパワーを出しながら光の鎖を打ち破って、フラージェンとジャイアックとビッグンドがパンチでパインクイーン、ミューズクイーン、ハニークイーン、エトワールクイーン、バルクマツスラー、烈陣丸に殴りかかったが、ルミナスクイーン、サンシャインクイーン、ミラーシエナがバリアを張って防がれ、ミラーシエナの反射能力で自分達の攻撃を自分達自身が喰らい、さらにソードフェイトとムーンライトミスティックが同時にフラージェンらにキックで打ち込んだ。

大和丸、隼疾風、エスパネス「はあああああー!!」

大和丸が橙破槍で振り回しながら攻撃し、空中から隼疾風が飛び回って攻撃し、エスパネスが超能力で念力で攻撃した。

クラッシュトロイ「貴様らあっ!!」

多数のプリキュアに対し、クラッシュトロイが再び全射撃武器で全弾一斉射撃を行おうとするが、その時、カスタードクイーンが素早く駆け込みながらクラッシュトロイの周囲を動き回り、彼を翻弄させた。

クラッシュトロイ「くっ!!」

カスタードクイーンのスピードに翻弄されたクラッシュトロイは一斉射撃を阻まれてしまい、彼女に向けてバズーカで射撃するが、

マジカルフェッター、アムールミスティック、ピースクイーン、ソレイユクイーン

「はああああー!!」

マジカル、アムールにチェンジしたらフェッターとミステイックがクラッシュトロイの間を挟んでパンチを喰らわし、さらにピースクイーンが電気、ソレイユクイーンが炎を放ちながら、クラッシュトロイに喰らわせた。

翔華楽、光陰命、ワプニオン「こつちも行くよ!!」

翔華楽がクラッシュトロイに天翔心を投擲し、光陰命が術で火と水と雷と風と土を同時に起こしながらクラッシュトロイに喰らわせ、ワプニオンが瞬間移動で彼の周囲にあちこち現れながら攻撃した。

フラーゲン「クラッシュトロイ!!」

ジャイアック「お前ら、殴り殺してやる!!」

ビッグンド「喰らえ!!」

フラーゲン、ジャイアック、ビッグンドが一気にかかって、パワーを強いながらルミ

ナスクイーン達を殴り込んで蹴散らしたが、彼女達も次の行動に出て、ルミナスクイーンはルージュ、ローズ、ビート、サニー、シヨコラのプリキュライドジュエルを出し、クイーンファンに装着しているレモネード、パイン、サンシャイン、トウインクル、ソレイユのプリキュライドジュエルと変えて装着し、フェッターはセレーネ、ミスティックはフォーチュンのプリキュライドジュエルを装着し、発動する。

ルミナスクイーン、マジカルフェッター、アムールミスティック「プリキュライドチェンジオールスターズ!!」

ルミナスクイーンはルージュ、ローズ、ビート、サニー、シヨコラを召喚し、フェッターはセレーネ、ミスティックはフォーチュンとなって、フラーゲン、ジャイアック、ビッグンドにかかった。

ルージュクイーン、ローズクイーン、ビートクイーン、ミューズクイーン、サニークイーン、ピースクイーン、カスタードクイーン、シヨコラクイーン「たああああああー!!」

ルージユクイーン、ローズクイーン、ビートクイーン、ミューズクイーン、サニークイーン、ピースクイーン、カスタードクイーン、シヨコラクイーンが連携し、ルージユクイーンがキック、ローズクイーンがパンチでフラージェンに喰らわせ、ビートクイーンがラブリギターロッドで光の矢を放ち、ミューズクイーンが蹴りでジャイアックに喰らわせ、カスタードクイーンとシヨコラクイーンがキャンディロッドからクリームエネルギーでビッグンドの動きを封じ、ピースクイーンが雷、サニークイーンが炎を同時に放ち、喰らわせた!!

フラージェン「お前らあ、いい気なるなフガああああー!!」

プリキユア達の攻撃を喰らいながら激化したフラージェン、ジャイアック、ビッグンドがルージユクイーン、ローズクイーン、ビートクイーン、ミューズクイーン、サニークイーン、ピースクイーン、カスタードクイーン、シヨコラクイーンに対し、思いつきり殴り込んだが、セレーネフェッターが水色の三日月を作り出した弓で多数の矢を放ち、続いてハニークイーンとフォーチュンミスティックが同時にフラージェン、ジャイアック、ビッグンドに攻撃した。

バルクマツスラー「よし、今だ!!」

烈陣丸「後はヴァンガードヒーローフォームでござる!!」

ミラーシエナ「一気に決めよう!!」

ヴァンガードクリスタルを発動したクイーン、フェッター、ミステイツクはバルクマツスラー達と一体化し、ヴァンガードヒーローフォームへと変り、トドメを刺しにかかった。

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードルージュローズ
サニーピースハニーソレイユ土火雷衝拳!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードフォーチュン
セレーネ夜星光!!」

ミステイツクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ミステイツクヴァンガ
ドサイコブラストビーム!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォームがヒーローバルクナツクルにルージュ、ローズ、サニー、ピース、ハニー、ソレイユのプリキュライドジュエルを装着し、6人の力

を発動し、両腕を発光しながら土、火、雷の3つのエネルギー状を纏いながら敵全体に向かつて、エネルギー型のパンチを放ち、フェッターヴァンガードヒーローフォームがヒーロー光陰明籠手にフォーチュン、セレーネのプリキュライドジュエルを装着し、2人の力を発動しながら左右の両手から陽と陰の2つで組み合わせた光線を放ち、ミステイクヴァンガードヒーローフォームがヒーローエスパネスガントレットの掌から超能力で形成したビームを乱射し、ジャイアック、ビッグンドに喰らいながら撃破し、倒した。

フラーゲン、クラッシュトロイ「プリキュアあああああつ、貴様らああああー!!」
フラーゲンとクラッシュトロイが必死になって3人に向かつて勢いよく突撃しにかかった。

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・フェッターヴァンガード剣放斬!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォームがヒーロー烈陣セイバーにエネルギーを

集中しながら強力な紫色の剣型光線を放ち、フラーゲンとクラツシュトロイに攻撃した。

フラーゲン、クラツシュトロイ「覚えていろおっ!!」

無事、戦いは終わり、ひまわり学園を守る事が出来た。それからして、アイカ達も一緒に子供達と遊びながら楽しくし、子供達の楽しそうな笑顔をみんなで過ごした。

あさぎ市

市街地

アイカ「あー、楽しかった。」

はるな「麗奈さん、文さん、クレアさんは3人は何を話してた?」

麗奈「将来の事かな?」

クレア「将来が何かいろいろと考えてみたの。」

文「2人にも将来が何かあるのか考えたりしていたの。」

海「2人も将来の事を考えたのね。」

咲耶歌「どんな将来かな?」

麗奈、クレア「秘密。」

そう言いながら、道端を歩くアイカ達。そこで、とあるローブを着た人物が彼女達の前に突如、現れた。

一同「?!」

突如、目の前に現れたローブを着た人物に驚くアイカ達。そんな中、咲耶歌はローブを着た人物の顔を見て、驚き出した。

咲耶歌「えっ、嘘……!!」

海「咲耶歌？」

アイカ「どうしたんですか？」

咲耶歌「お母さんなの……?!」

咲耶歌の母「……。」

次回 48話へ続く

第48話 母との再会

突如、アイカ達の前に現れた咲耶歌の母。かつて生き別れた母が目の前に現れた事に驚く咲耶歌は、

あさぎ市

市街地

咲耶歌「お母さんなの・・・?!」

咲耶歌の母「久しぶりだったね、咲耶歌。」

10年前、ファイナルウォーでハデユスの全世界への攻撃の被害で地面が割れて、行方不明になった母が今となって現れ、その姿は本当に母本人だ。

咲耶歌「本当にお母さんなの・・・?!」

咲耶歌の母「そうよ、咲耶歌、お母さんだよ。」

咲耶歌「お母さん・・・!!」

生き別れた母と涙ながら再会をし、抱きしめる咲耶歌。

麗奈「ちよつといいかしら?」

麗奈は彼女が偽者ではないか確認をするため、キュアアートフォンチェンジャーを出し、本人かどうか確認をし、した結果本人そのものだった。

咲耶歌の母「驚かせて申し訳ないわ。私を地下秘密基地へ連れて行って貰えないかしら?」

彼女をあさぎ市役所のWJG地下秘密基地へ連れて行く事となり、事情を話す。

あさぎ市役所

WJG地下秘密基地

会議室

由紀「あなたが生きていたなんて。」

咲耶歌の母「この10年間、家族と離れ離れになって一人で生きて来たの。」

由紀「あなたも大変だったわね。」

咲耶歌「お母さんとは知り合いなんですか？」

由紀「彼女は元々はWJGの職員だったのよ。」

咲耶歌「お母さんが・・・?!」

咲耶歌の母「あなたには今まで黙っていてごめんなさい、私はWJGの職員だったのよ。あなたがプリキュアだって事も知っていたわ。」

アイカ「じゃああたし達がプリキュアだった事も？」

咲耶歌の母「知っているわ。あなた達9人だって事もジャスティスヒーローも。」

はるな「凄い・・・。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「俺達の事もよく知っているとは。」

ソール（ヒーローライドジュエル）「咲耶歌の母上としては普通の者ではないようだな。」

麗奈「そろそろ本題に移りたいけど・・・。」

咲耶歌の母「そうね、ハデウスが近いうちにまた人間に攻めにかかってくるわ。」

アイカ「ハデウスが・・・?!」

咲耶歌「インフェルノが近いうちに10年前みたいに攻めにかかって来る事ね。」

咲耶歌の母「インフェルノと言うよりハデウスが……。」
文「えっ？」

海「どう言う事ですか？」

咲耶歌の母「わからないは、でも裏がある事には間違いないわ。ハデウスは悪意のある人間と関わっている可能性が高いみたいよ。」

麗奈「悪意のある人間……。」

ハデウスが近いうちに現れ、その裏でハデウスは悪意のある人間達と手を組んで何が進められている事を咲耶歌の母から伝えられた。

パラレルワールド

幽冥界

幽冥要塞

廊下

ラミイ「くそ、プリキュアめ、あたしらの事を散々惨めにしやがって!!」
バイソック「俺達もこれ以上は失敗は許されねえ。」

プリキュアに今まで何度も敗北して来たラミイとバイソックは、これ以上の失敗は許されないと話した。

ラミイ「あたしらこれ以上負けたら．．．．」

レヴオリユード「お役目御免だ。」

2人の前にレヴオリユードが現れた。

ラミイ、バイソック「れっ、レヴオリユード様．．．!!」

レヴオリユード「お前2人はわかっているよな？負ければかつての惨めな姿に戻りた
いか?!過去の自分に戻って、散々な日々に戻りたいか．．．?!」

ラミイ、バイソック「!!」

レヴオリユード「そうでなければプリキュアを倒す事とフェアリージュエルを奪う事
だ!!」

ラミイ、バイソック「．．．．」

レヴオリユード「返事が出来ないのか、落ちこぼれ共が．．．．」

ラミイ、バイソック「はい．．．．」

レヴオリユード「次が最後だ、いいな!!」

残されたわずかで後がない事でラミイとバイソツクはプリキユアを倒す事とフエアリージュエルを奪う事で人間界へ向かった。一方、咲耶歌は母が生きていた事で、家族にどう話せばいいのか悩んでいた。

パラレルワールド

人間界

あさぎ市

咲耶歌「……」

海「お母さんの事、まだ悩んでいるの？」

咲耶歌「お父さんやくる姉やかえ姉にお母さんが生きていた事、どうしようか悩んでいたの。」

海「行方不明になったあなたのお母さんがいきなり現れたなんて驚いちやうわ。」

咲耶歌「いきなり生き別れたお母さんが生きてたなんて、お父さん達も驚くよ。」

海「そうね……」

咲耶歌「海はお兄さんの事、家族には話した？」

海「まだよ、私もお兄様が生きていた事をどうしたらいいかわからないの。」

咲耶歌「海もまだお兄さんの事話してないんだ。」

海「父や母に行方不明だった兄が生きていた事をいきなり言ったらパニックになっちゃうんじゃないかと思って。」

咲耶歌「わかるよ、本当の事をどう話したらいいのか考えてるの。」

咲耶歌と海、10年前のファイナルウォードでそれぞれの家族と生き別れて、失った強い悲しみに暮れ、そして今、生き別れたその家族が生きていた事に本当の事をどう伝えたらいいのか考えていた。

ソール（ヒーローライドジュエル）「咲耶歌。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「海。」

咲耶歌「ソール。」

海「ファイツ。」

ソール（ヒーローライドジュエル）「生き別れた家族が生きていた事で悩んでいたのか？」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「君達2人が今、悩み悩み考えていた事は私達に

もわかる。」

咲耶歌「せっかく生きていたお母さんがどう伝えたらいいのかわからなくて。」

海「私達は父達に本当の事を伝えるべきか悩んでいたの。」

ウィザーデイ（ヒーローライドジュエル）「言う言わないはお主達が決める事じゃ。」

ウオーテイル（ヒーローライドジュエル）「家族に本当の事を言うのかどうかはあなた達2人次第よ。」

スーパレディ（ヒーローライドジュエル）「生き別れた家族が今になって生きていた事、何かの運命かも知れないわ。」

ヴォイダートマン（ヒーローライドジュエル）「大事な家族を生きていた事は伝えるのはお前達自身が決める事だ。」

咲耶歌「ウィザーデイ、スーパレディ。」

海「ウオーテイル、ヴォイダートマン。」

家族の事で悩む咲耶歌と海を励ますソール達は本当の事を伝えるかどうかは自分達自身で決める事で、10年前別れたそれぞれの家族が今なって生きていた事を何かの運命的なのを感じた。遠くから何か大きな音が鳴り響いた。

咲耶歌、海「!!」

遠くから鳴った音の場所へ向かった2人は、そこでインフェルノが町を襲撃していた。

ラミイ、バイソック「プリキュアあ、どこだ、出てこい!!」

プリキュアを誘き出すために兵達に町を攻撃させるラミイとバイソック。

咲耶歌、海「インフェルノ!!」

ラミイ「ちようど来やがったな。」

バイソック「たったの2人だけか?!」

咲耶歌「あなた達もスラッシュユラー達と一緒にね?!」

ラミイ「あああつ、そうだ。お前達を殺さないと後がないんでなあ!!」

バイソック「フェアリールージュエルも全て奪ってやる!!」

海「私達を殺して何か得はあるの?」

ラミイ「黙れ、お前達を殺さなきゃ後がねえんだよ!!」

バイソック「今日こそ終わらせてやる!!」

戦闘態勢にかかって来たラミイとバイソックに対し、咲耶歌と海はキュアアートフォンチエンジャーを出して、各プリキュライドジュエルを装着して変身する。

咲耶歌、海「プリキュア・チエンジアップ!!」

キュアアートフォンチエンジャーでプリキュアに変身し始めた咲耶歌、海、文は全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被った。

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

プリキュアに変身した2人はラミイとバイソックと交戦する。

ラミイ「お前達、かかれ!!」

ラミイとバイソックは強化兵達にプリキュアへの攻撃を命じてかからせた。

マジック、ジャック「!!」

マジックがスカルファイターにマジックステッキスピア杖モードからマジックハンドを出現して喰らわせ、ジャックはジャックステッキスピア槍モードでマシンウオーリアとレブナンの集団に突撃してスウイングした。

マジック「プリキュア・マジックトランプショット!!」

マジックがトランプを出して、ゴブリオンの集団に投げて刺し、爆発させた。

ジャック「プリキュア・ジャックコインバレッツ!!」

ジャックが指先からコインを数枚出して、光弾にして連射してスカルフアイターの集団を打ち貫いた。

ラミイ「これでやられたじゃねえよ!! 行け、マミーレスト、アーマージロ!!」

ラミイとバイソックが配下のマミーレストとアーマージロを呼び出し、マジックとジャックに襲いかからせた。

マジック「怪人ね!!」

ジャック「一気に済ませて行くわ!!」

ラミイとバイソックの配下の怪人のマミーレストとアーマージロに攻撃にかかるが、アーマージロは身体を丸め始めて、マジックとジャックに向かって転がって来た。

マジック、ジャック「!!」

すぐに回避したが、丸まったアーマージロが突如、回転して、マジックとジャックの

後ろに向かってぶつかった。

マジック、ジャック「うわああああつ!!」

後ろに回転したアーマーゼロの体当たりを受けたマジックとジャック。その直後に
マミーレストが鶴嘴型鎌で斬り込んだ。

マジック、ジャック「ああああああー!!」

マミーレストの斬撃を受けたマジックとジャック。

マジック「こうなったら、これで行くよ。」

ジャック「えええつ!!」

マジックとジャックはそれぞれのヒーローライドジュエルを出してキュアートフォー
ンチエンジャーに刺して変身し、マジックはマジックソールフォーム、ジャックは
ジャックファイツフォームとなって挑んだ。

マジックソールフォーム「はああああー!!」

ソールハンマーでアーマージロに振りかかるマジックソールフォーム。アーマージロは全身の装甲板で受け身になって防御し、タツクルでマジックソールフォームに反撃した。

ジャックファイフォーム「プリキュア・ファイツシールドストレートナツクル!!」

ジャックファイフォームがジャスティスシールドを手を持ったままマミーレストにストレートによるパンチを打ち込んだが、マミーレストはびくともせず、鶴嘴型鎌を下ろして衝撃波を起こしてジャックファイフォームに喰らわせた。

マジックソールフォーム、ジャックファイフォーム「ああああああー!!」

アーマージロとマミーレストの攻撃を受けて圧倒されるマジックソールフォーム、ジャックファイフォーム。

ラミイ、バイソック「死ね!!」

ラミイが口から毒ガスを吐いて、2人に向けて攻撃し、バイソックがバイソックチャージで走りながら頭の角でマジックソールフォームとジャックファイツフォームに向けて突撃して体当たりした。

マジックソールフォーム、ジャックファイツフォーム「わああああー!!」

ラミイとバイソックの同時攻撃を喰らう2人は基本形態に戻された。

ラミイ「今日こそ終わりだ!!」

バイソック「息の根を止めてやる!!」

2人にとどめを差しにかかったラミイとバイソックはマミーレストとアーマージロと共に勢いよくかかって来た。その時、7つの影がラミイ達に一斉にキックで打ち込んだ。

マジック、ジャック「!!」

2人を助けた7つの影はストライク達だった。

ストライク「今、助けに来たよ!!」

シンシア「私達もいるよ!!」

フェッター、クイーン、ミステイック「もう安心して!!」

アラム、ジュール「あたしらがいれば100人力だ!!」

ストライク達が助けに来てくれた事で、一気に形勢は逆転し始めた。

ラミイ「数が増えたところで!!」

全身の包帯を放ちながらストライク達に向けて攻撃にかかるラミイ。9人一同がラミイの放った包帯を振り払い、同時にパンチで喰らわせた。

バイソック「バイソックホーンアタック!!」

バイソックが角でストライク達に向かって突きかかって来た。ストライク達9人が分散して飛び、バイソックに向かって1人ずつパンチで殴り込んだ。

ラミイ、バイソック「うぐつ!!」

プリキュア達9人の同時攻撃を喰らったラミイとバイソック。

ラミイ「くそつ、負けてたまるかよお、マミーレスト、アーマージロ!!」

配下のマミーレストとアーマージロを命じてプリキュアに攻撃をかからせた。

マジック「ジャック!!」

ジャック「えええつ!!」

マジックとジャックも同時に出て、自分達が持っている各ヒーローライドジュエルを取り出して、キュアアトフォンチェンジャーに連続で刺した。

マジック、ジャック「ヒーローライドジュエル!!」

マジック、ジャックはキュアートフォンチェンジャーからソール、ウイザーデイ、スーパレディ、ファイツ、ウオーテイル、ヴォイダートマンを召喚し、マジックはキュアートフォンチェンジャーにプリキュライドジュエルエース、マジックステツキスピアにドリーム、プロツサム、ハッピー、ラブリー、ホイップ、マジックはプリキュライドジュエルフェリーチェ、ジャックステツキスピアにアクア、マリン、ビューティ、プリンセス、ジェラートを刺した。

マジック、ジャック「プリキュライドチェンジオールスター!!」

マジックはエース、ジャックはフェリーチェに変身し、マジックステツキスピアからはドリーム、プロツサム、ハッピー、ラブリー、ホイップ、マジックステツキスピアからはアクア、マリン、ビューティ、プリンセス、ジェラートが召喚された、一斉にかかった。

マミーレスト「死ね!!」

マミーレストが鶴嘴型鎌を下ろして、衝撃波を起こしたが、

フェリーチエジャック「!!」

フェリーチエジャックが前に立ってバリアを張り、マミーレストの衝撃波を防いだ。その直後にウオーテイルとアクアジャックとマリンジックが3人で形成した巨大な水球を放ち、喰らわせた。

アーマージロ「打ち込んでやる!!」

アーマージロが身体を丸ながらエースマジックに向かって、ローリングアタックで突撃しかかった。

エースマジック「エースショット!!」

ラブキッスルージュの色が水色に光り、バブルフックを形成して、泡で丸まったアーマジロを封じた。泡で閉じ込められたアーマジロにソールがミヨルニアに雷を纏いながら打撃し、ドリームマジックとブロッサムマジックが同時にパンチで殴り込んだ。

ラミイ「いい気になってんじやねえぞ!!」

バイソック「ぶちのめしてやる!!」

ラミイが指の包帯で形成したクロウで引つ掻きかかり、バイソックが走りながら体当たりしてかかった。

ファイツ、ヴォイダートマン、ハッピーマジック、ビューティジャック、ホイップマジック、ジェラートジャック「たあああああー!!」

ファイツ、ヴォイダートマン、ハッピーマジック、ビューティジャック、ホイップマジック、ジェラートジャックがそれぞれ2人で組んでいき、ラミイとバイソックにファイツがヴォイダートマンを持ち上げながらハンマーのように下ろしてラミイとバイ

ソックに打ち込み、ハッピーマジックとビューティージャックが同時にパンチで殴り込み、続いてホイップマジックとジェラートジャックがクリームエネルギーで攻撃した。

マミーレスト、アーマージロ「落ちろ!!」

マミーレストとアーマージロが同時にかかって攻めにかかるが、ウィザードイが魔法でいくつかの魔法陣を出現してチエーンを多数放って攻撃し、ラブリーマジック、プリンスジャックがプリキュア・ツインミラクルパワーシユートで2つのエネルギー弾を合わせ、金色のオーラをまとった中心にハートが入った円環形のエネルギー弾を飛行状態の二人で同時に蹴り飛ばして、マミーレストとアーマージロに喰らわせ、そしてスーパーレディがパンチで殴り込んだ。

エースマジック「プリキュライドチェンジ魔法使い!!」

フェリーチェジャック「プリキュライドチェンジオールスターズ!!」

エースマジックはプリキュライドミラクルをキュアアートフォンチェンジャーに装着して変身し、フェリーチェジャックはジャックステッキスピアに装着されてるビュー

テイとプリンセスをベリーとマーメイドに入れ換えて装着し、召喚した。アクアジャックとマリンジックとマーメイドジャックが巨大な津波を形成してラミイ達に喰らわせていき、ベリージャックがベリーソードでエスポールシャワーを放ちながら喰らわせ、最後にミラクルマジックとドリームマジックとプロッサムマジックとハッピーマジックとラブリーマジックとホイップマジックの6人のピンクプリキュアが一斉に同時にパンチを繰り出して喰らわせた。

ラミイ、バイソック、マミーレスト、アーマージロ「ぐわあああああー!!」

プリキュア達の一斉により追い詰められたラミイ、バイソック、マミーレスト、アーマージロ。

ミラクルマジック「ヴァンガードヒーローフォームよ!!」

ミラクルマジックとフェリーチェジャックはヴァンガードクリスタルを発動し、ソール達と一体化し、ヴァンガードヒーローフォームへと変り、トドメを刺しにかかった。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・マジックヴァンガードビックハットトリックトランプボンバー!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ジャックヴァンガードスクリュートルネードスピア!!」

マジックヴァンガードヒーローフォームが巨大なマジックハットを出現して、中から多数のトランプのカードを放出して、マミーレストとアーマージロに大爆発させ、ジャックヴァンガードヒーローフォームがヒーローウオーテイルハルバートを突き出して、全身を発光しながら錐揉み回転して、マミーレストとアーマージロに貫き、撃破した。

ラミイ、バイソック「プリキュアあっ!!」

配下のマミーレストとアーマージロが倒されて、決死の勢いでかかるラミイとバイソックはマジックヴァンガードヒーローフォームとジャックヴァンガードフォームに突撃しかかった。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードエースラブリリー
ホイップワンダーボールシュート!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードベリービュー
ティプリンセストライブレイカー!!」

マジックヴァンガードヒーローフォームがヒーローソールハンマーにエース、ラブリリー、ホイップのプリキュライドジュエルを装着し、3人の力を発動しながらエネルギーを集中しながら巨大な魔力で形成した魔法の球を出現し、そのままシュートし、ラミイとバイソックに攻撃し、ジャックヴァンガードヒーローフォームがヒーローウオーテイルハルバートにベリリー、ビューティ、プリンセスのプリキュライドジュエルを装着し、3人の力を発動しながら槍に青色の光状を纏いながら、ラミイとバイソックに斬る、払う、最後に突いた。

ラミイ、バイソック「プリキュアあつ、このままでは済まさんぞ!!」

プリキュアに敗れたラミイとバイソックは撤退した。

あさぎ市役所

WJG地下秘密基地

会議室

咲耶歌「お母さん、私、戦いが終わるまでお父さんややる姉やかえ姉にお母さんの事、秘密にするよ。」

咲耶歌の母「咲耶歌、あなたは強くなったわね。」

咲耶歌「ハデユスを必ず倒してまた家族一緒に。」

咲耶歌の母「そうだね。」

海「私も必ずお兄様を助け出して、必ずお父様やお母様の元に連れ帰ってみせます。」

咲耶歌の母「あなたもあなたね。」

咲耶歌と海、家族を再び一緒に揃う日を必ず戦いが終わるまで我慢をし、2人は仲間達と共にインフェルノとの戦いに立ち向かって続ける。

次回 49話へ続く

第49話 中東へ

アイカ達はWJGの要請で中東の国である石油大国のアラビアン王国にやって来た。

中東

アラビアン王

アイカ「ここがアラビアン王国。」

咲耶歌「中東で一番の大国。」

海「その中で石油を一番莫大に保有しているの。」

麗奈「私達はこの王国を調査しに来たのよ。」

トットム「アラビアン王国、中東一有名な国が中東諸国に武器を売り付けて戦争を裏から起こしてる。」

ペル「国王のアゼールは何が目的なのでしょうか？」

アーニャ「人間も悪い人はいるのですね。」

アイカ達がアラビアン王国にやって来た理由は、この国の実態を調査しに向かい、こ

の王国の王であるアゼールⅡがリアーンが裏で中東諸国に武器を売り渡しているのを調べに来た。

イゼル、ライラ「……」

はるな「2人は確か中東出身だったみたいね。」

イゼル「あああつ。」

ライラ「昔を思い出す。」

文「2人は小さい頃から戦争して来たんだね。」

イゼル「あああつ。」

ライラ「毎日戦争だった。」

イゼル「生きるために人を殺さなきゃならなかった。」

麗奈「戦争は人と人が殺し合うため、戦争で一番利益を儲けるため、裏から糸を引く。」

故郷の中東へ踏み入れたイゼルとライラの2人は、昔の事を思い出し、幼い頃から戦争で人を殺していき、戦う毎日を過ごしていた。一方、この国の国王であるアゼールはアイカ達が自分を突き付けにやって来ることに察知した。

カリアーン王宮

アゼール「ネズミ共が近づいて来たか。」

アゼールの部下「どうされますか？」

アゼール「すでに手は打ってある。」

アゼールの部下「はっ。」

アゼール「奴らにわしらの計画を知られる訳にはいかんのだからな。急いで脱出をせねばな。」

アゼールは何やらある計画と言うのを知らされる訳にはいかなるところから脱出するため、アイカ達が向かっていている事に気づき、手を打ち出して来た。一方、街に着いたアイカ達は、この国の街に暮らしている人間は貧しい生活を送っているのを目の当たりにする。街は廃墟化や倒壊もし、水も飲めず、お腹を空かせた子供が店から食物を盗んで逃げ出す姿もあった。

街

アイカ「この国に暮らしている人達、みんな貧しい生活を送っているね。」

はるな「ご飯も食べれなくて苦しんでいる人達もいるみたいね。」

咲耶歌「そうだね。」

イゼル、ライラ「……。」

アイカ「イゼル、ライラ？」

イゼル「あたしらの故郷を含めた中東諸国で戦争が起きたのもこいつのせいだ。」

ライラ「金儲けや自分の利益のためだけだけの人間が死んだか？」

イゼル「中東諸国に起きた元凶を必ず討ち倒す……!!」

咲耶歌「2人にとって、アゼールは仇だね。」

麗奈「わかるわ、私も故郷を支配したゴウドウや悪焔血を仇として見てるのと同じよ。」

イゼル「お前も同じか。」

麗奈「故郷を奪われ、私はプリキュアになったの。」

ライラ「故郷の事を大事に想っているのか？」

麗奈「そうよ。私はハデウスやゴウドウや悪焔血を倒すまでは……。」

ライラ「故郷を奪った相手への強い憎しみ、よく伝わるな。」

麗奈「私は必ずこの手で討ち取りたい。」

イゼル「今は目の前の事が先だな。」

麗奈「アラビアン王国の調査ね。」

アラビアン王国の武器提供を探るため、国内を調査し、街の人に詳しい事情を聞いた
りし、アゼールが中東諸国にテロ組織に武器を提供して、内戦を起こさせたりして、実
権を握らせ、その国を牛耳ったりした。見つけた武器を手にして調べた結果、アラビア
ン王国で作られた物だとわかり、アゼールの王宮の石油採掘所の地下に秘密工場がある
事がわかり、向かい始めた。

イゼル「王宮へ行くぞ。」

ライラ「中東の元凶をここで倒す。」

中東諸国に武器を売り飛ばして各地で戦争を引き起こしたアゼールを倒しに向かう
アイカ達。イゼルとライラにとっては故郷に戦争を起こした者をこの手で引導を下し
ていきたいと言う激しい感情が今に爆発寸前だ。アゼールの王宮へともうすぐ到着し
ようとするアイカ達は、

移動中

麗奈「アゼールの王宮にもうすぐ到着ね。」

アゼールの王宮はもうすぐ間近だ、一同が到着しようとしたらそこで何処からか現れたソレワターセとデサートデビルとハイパーアカンベエが現れた。

トットム「あれはまさか・・・?!」

海「知ってるの?!」

ペル「先輩プリキュアを苦しめたと言われた怪物です!!」

アーニヤ「かなり強敵です!!」

アイカ「先輩プリキュアを苦しめた強い怪物、あたし達も倒してみせるよ!!」

はるな「私達だって倒してみせる!!」

イゼル「こいつらを倒していくぞ!!」

ライラ「あああっ!!」

ソレワターセ、デサートデビル、ハイパーアカンベエと対決するためアイカ達はプリキュアに変身をし始めた。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「プリキュア・チェンジアツプ!!」

キュアアトフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イルゼ、ライラは全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアツプ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを着用し、クレアは髪型がパープルのロングカット、衣装はMHのブラックの似たスカート丈の短いドレスとスパッツで、イゼルは衣装は中東風のグリーンのベリィダンス、ライラは中東風のマリードレスで、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気のパワー!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

ミステイク「神秘の戦士、キュアミステイク!!」

アラム「切り裂く風、キュアアラム!!」

ジュール「荒ぶる大地、キュアジュール!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイク、アラム、ジュール「フューチャーフォースプリキュア!!」

プリキュアに変身した9人はサボテンソレワターゼ、デザートデビル、オイルハイパーアカンベエ、と対決する。サハギンソレワターゼが全身から多数のトゲを放ち、ストライク達に向けた。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーンが自分達の手持ちの武器を出しながら、サボテンソレワターゼの放った多数の針を切り払った。

オイルハイパーアカンベエ「ハイパああああー!!」

オイルハイパーアカンベエが口からオイルを吐き、ストライク達に向けて浴びせた。

ジャック「まさか、これはオイル・・・?!」

フェッター「気を付けて、火が来たからおしまいよ!!」

オイルハイパーアカンベエにオイルを浴びせられたストライク達はデザートデビルの放った熱線を喰らい、オイルが燃え始めて大爆発し、大ダメージを受けて火傷した。

ストライク「うつ、うとう・・・。」

シンシア「またオイルを浴びて、熱線を喰らったら一溜りもしないわ・・・。」

オイルハイパーアカンベエとデザートデビルの連携で再び喰らったら一溜りもなく、今度はやられてしまうのだ。

アラム「あたしとジュールフにいい考えがある。」

マジック「いい考えが？」

ジュールフ「アラムと連携して怪物3匹をぶちのめしていく。」

アラム「プリキュライドジュエルを貸してくれ。コンビネーションの組みやすいプリキュアで行きたい。」

ジャック「わかったわ。」

アラムとジュールフの案にストライク達は2人にブルーム、イーグレット、プロッサム、マリン、マカロン、シヨコラのプリキュライドジュエルを渡し、アラムとジュールフが得意な連携プレーでサボテンソレワターゼとデザートデビルとオイルハイパーアカンベエに挑んだ。

アラム、ジュールフ「ヒーローライドジュエル!!」

まず最初にアラムとジュールフはそれぞれのヒーローライドジュエルをキュアードフオンチェンジャーで刺し、ジエーニー、アラミラード、エンキナウ、アメモント、マナートウ、ゴールドメツシュを召喚し、サボテンソレワターゼとデザートデビルとオイルハイパーアカンベエに駆け込んでいく。

オイルハイパーアカンベエ「ハイパああああー!!」

口からオイルを吐くオイルハイパーアカンベエ。だが、8人はジャンプして分散し、素早く動き回りながらオイルハイパーアカンベエを翻弄した。

オイルハイパーアカンベエ「アカ・・・?!」

8人の動きを見切れず、オイルハイパーアカンベエは攪乱してしまい、アラムがキック、ジュールフがパンチで同時に繰り出して喰らわせた。

サボテンソレワターゼ「ソレワターゼ!!」

サボテンソレワターゼが巨大な針を出現して、アラムとジュルフに向けて放った。

アラミラード「させるか!!」

アメント「振り払ってやるぜ!!」

アラミラードとアメントがサボテンソレワターゼの放った巨大な針に対し、アメントが口で巨大な針を受け止めて、アラミラードがジャンプしながら頭の角でサボテンソレワターゼに突いた。

デザートデビル「ぐおおおおー!!」

デザートデビルが再び熱線を放って来たが、ゴールドメツシュが前に立って、デザートデビルの熱線を防いだ。

ゴールドメツシュ「俺の黄金の鎧は熱線を防ぐ事も可能だ!!」

ゴールドメツシュがデザートデビルの熱線を防いだ後、エンキナウが飛び込んで、デ

サートデビルに攻撃を加えていく。

エンキナウ「こいつを喰らえ!!」

エンキナウが脚に気を纏いながら敵に十文字蹴りをし、拳で連打してデサートデビルに喰らわせた。

ジエーニー「幻術を受けよ!!」

ジエーニーが幻術を使って分身体をいくつか形成し、サボテンソレワターゼ、デサートデビル、オイルハイパーアカンベエの周りを動き回りながら攪乱した。

マナートウ「貰うぜ!!」

そしたらマナートウが割り込んで、マナートウクロードサボテンソレワターゼ、デサートデビル、オイルハイパーアカンベエに切り裂いた。アラムとジュルフがブルームとイーグレットのプリキュライドをキュアートフォンチエンジャーで刺して変身する。

アラム、ジュールフ「プリキュライドチェンジスプラッシュユスター!!」

ブルームとイーグレットに変身したアラムとジュールフは空中から飛行しながら、サボテンソレワターゼにし、次に光弾を同時に連射して喰らわせた。

ブルームアラム、イーグレットジュールフ「プリキュライドチェンジハートキャッチ!!」

次にプロツサム、マリンに変身し、デザートデビルに対し、プロツサムアラムはプロツサムタクト、マリンはマリンタクトを出し、2人はプリキュア・フローラルパワー・フォルティシモでタクトを振ってフォルテッシモ記号のような形をしたピンクとブルーのエネルギーを生み出し、身に纏いながらデザートデビルに突撃した。

プロツサムアラム、マリンジールフ「プリキュライドチェンジアラモード!!」

続いてショコラ、マカロンに変身し、口からオイルを吐こうとするハイパーアカンベエにマカロンジュールフがクリームエネルギーを放出して、口を防ぎ、ショコラアラム

がクリームエネルギーで形成したシヨコラの剣で攻撃した。

アラム、ジュール「ヴァンガードヒーローフォーム!!」

ヴァンガードクリスタルを発動したアラム、ジュールはジェーニー達と一体化し、ヴァンガードヒーローフォームとなり、サボテンソレワターゼとデサートデビルとオイルハイパーアカンベエにトドメを刺しにかかった。

アラムヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・アラムヴァンガードミストチャージアタック!!」

ジュール「プリキュア・ジュールヴァンガードツインザンバー!!」

アラムヴァンガードヒーローフォームが全身にエネルギーを集中しながら、霧状で出来た自分の巨大な分身を放ち、サボテンソレワターゼとデサートデビルとオイルハイパーアカンベエに喰らわせ、ジュールヴァンガードヒーローフォームがヒーローゴールドアームズ双剣モードを発光しながら3匹に斬撃し、最後に双剣を合わせたなら上から斬り込んで撃破した。戦いは終わり、アゼールの王宮へと向かい、中へ入り込んだアイ

力達。だが、そこには人の姿がおらず、王宮の中は無人大った。

カリアーン王宮

イゼル「逃げられたか……。」

ライラ「遅かったか……。」

アゼールはすでに逃げており、物を残っておらず、地下にある秘密工場も物も全て回収され、工場内も全て破壊されていた。

麗奈「中東での戦争は終わったが、アゼールを逃したわ。一体どこへ。」

行方がわからなくなったアゼールは一体何処へ逃げたのか？一方、行方をくらませたアゼールは、何処かの知らない場所で、ラスフェック、ロークット、ブランバーク、世界各国の政治家や富裕層や官僚やセレブなどが集まり、さらにレヴオリュードやゴゴル三姉妹やカワリーノやノーザやジョーカーやグランマンモスまでもいた。そこに集まっている者達全員は悪意が漂っていた。

???

アゼール「危ういところだったな。」

ラスフェツクー「わしらとハデユスの計画が知られるところだった」

ロークット「ハデユスはインフェルノを切り捨てる準備を進めておる。」

ブランバーク「さあ、どうなる事か？」

レヴォリユード「お前達が進めた計画は順調だ。」

ラスフェツクー「さて、次は12月に日本で開催される東京大パレードピククじや、そこで次の段階を行う。」

次回 50話へ続く

第50話 2人の母のかつての友

季節は冬、月は12月、寒い季節が始まろうとした。

あさぎ市

アリーナ学園

教室

アイカ「12月だね。」

はるな「寒い季節ね。」

アイカ「外も寒くなって来たね。」

12月になってからは季節も寒くなり、冬を過ごす事となった。

はるか「12月、もうすぐあれから10年ね。」

はるかにとっては10年前に起きた事、それは地球と世界の存亡をかけた戦いのフア

イナルウォーだ。この戦いによって自分達は守る事が出来ず、プリキュアの力や妖精を失い、世界が壊滅状態となった。最後の希望でもあった門矢零ごとキュアゼロはハデウスとの死闘を繰り広げ、敗れてしまい、行方がわからなくなってしまった。

はるか「……………」

アイカ、はるな「先生。」

はるか「昔の事を思い出していたの。」

はるな「ファイナルウォーですか？」

はるか「そうね、あの戦いは私達にとつては一番苦しい出来事だったの。」

アイカ「プリキュアの力や妖精を失って、さらに世界はめっちゃめちゃになったんですね……………」

はるか「とても苦しかった、辛かった、それでもハデウスには勝てなかった……………」
アイカ「ハデウスってどんなのだったんですか？」

はるか「ハデウスはとつともなく邪悪よ、圧倒的な強さ、逆らう者や命令に従わない者には絶望と死を与え、無慈悲冷酷非道な独裁者兼絶対的な権力者よ。」

アイカ「あたし達はハデウスに勝てるのかな……………」

はるか「私にはわからないわ……………」

はるな「私達はひょっとしてとてもない相手をするって事なの……？」
はるか「そうかもしれないわ、ハデユスは恐ろしかったの。」

はるかは10年戦ったハデユスの事で、ハデユスはとてもない邪悪さと絶対的な強さと逆らう者や命令に従わない者には絶望と死を与え、無慈悲冷酷非道な独裁者兼絶対的な権力者であり、勝てる者は誰一人いなかった。アイカとはるなは今自分の前にしている者がとてもない強大な敵である事に、勝てる自信があるのか不安を感じた。学校の授業を終えたアイカとはるなは下校し、トットム、ペル、アーニヤと一緒に歩いていた。

住宅街

トットム「ハデユスの事か。」

アイカ「トットム達はハデユスは何なの？」

ペル「言われてみると……。」

アーニヤ「ハデユスは私にとって一番恐ろしいですわ。」

トットム「ハデユスは遙か太古昔にマザーラパーパと渡り合い、結果1つだった世界がいくつかにバラバラとなり、パラレルワールドや宇宙が誕生したんだ。」

はるな「ハデユスが遙か昔からいる……。」
ペル「また現れたら……。」

ハデユスにどう勝てるのか考えるアイカとはるな。歩いて行く2人は突如、青い長髪の女性が目の前に現れた。

アイカ、はるな「?!」

美希「やつと見つけたわね。」

アイカ「えっ?」

はるな「誰ですか?」

トットム、ペル、アーニヤ「!!」

アイカ「トットム、ペル、アーニヤ……?」

アーニヤ「あなた様はもしかして、キュアベリーではありませんか?!」

アイカ、はるな「えっ?!」

美希「あたしはキュアベリー如く蒼乃美希よ。あなた達2人の母親のかつての仲間よ。」

アイカ「ママの知り合い……。」

美希「そうよ。あたしはあなた達2人に会いに来たの。」

はるな「会いに来た・・・？」

美希「2人の懐かしさに。」

青い長髪の女性はかつてキュアベリーだった蒼乃美希だった。彼女はアイカとはるながラブとせつなの娘だと知って会いにやって来た。

アイカ「あたし達2人がプリキュアだって事も？」

美希「えええつ、あなた達の活躍は聞いているわ。」

はるな「私達の戦いは先輩方も耳にされているんですね。」

美希「もちろんよ、あなた達に今週の日曜日に来て行きたい場所があるの。」

アイカ、はるな「連れて行きたい場所？」

美希「あなた達の母親が暮らした町よ。」

美希はアイカとはるなに2人の母親が暮らした町を日曜日に行く事にし、咲耶歌達も一緒に同行する事となった。一方、インフェルノは、幹部一同が集まり、人間界に向けて大規模な侵略計画を行う為、立てていた。

パラレルワールド

幽冥界

幽冥要塞

会議室

ヴェルアル「ハデユス様はこれ以上待てないと!!人間界を未だ征服出来ておらん、これ以上の失敗は許されん!!」

バトルヴェソール「人間界への全面的な侵略を開始する!!」

ヴェルアル「全兵力を人間界に向ける!!」

キングファラーミイ「全兵力をだど?!いくら人間界への侵攻のために全ての戦力を送るのは・・・!!」

ヴェルアル「黙れ、貴様も今までプリキュアにやられた分際が何弱音を吐いておる!!」

バトルヴェソール「ハデユス様に顔向けが出来んのだ、わかるか?!後がないんだぞ!!」

ヴェルアル「邪魔なプリキュアやジャスティスヒーローを倒さなければならん!!」

キングファラーミイ「それは確かだが、全戦力を持つてでもプリキュアを倒すのも・・・。」

バトルヴェソール「キングファラーミイ、もう失敗は許されん!!これが我々に残され

た最後のチャンスなんだ……!!」

レヴォリユード「その通りだ。ハデユス様はお前達の失敗にウンザリしている。失敗したらどうなるかわかるか……?」

人間界に大規模な侵略の議論する中、失敗は許されないと全戦力を投入して侵略を行うと言うバトルヴェソールと慎重論を言うキンググフアラーミイにレヴォリユードが近くにいるゾンビーンを片手で掴んで持ち上げながら幹部達の目の前でそのまま粉々にした。

レヴォリユード「ハデユス様に泥を塗るのならこうなると言う事を……!!」

一同「!!」

レヴォリユード「お前達、失敗したらどうなるのか、わかるか?!失敗したくないなら死ぬ気で全力でかかれ……!!」

レヴォリユードの圧迫した発言で周囲全体は恐怖に鳥肌が立ち、ハデユスにこれ以上は失敗は許されないと命がけで決死の人間界への全戦力による全面的な侵略が決まった。

ドラグード「……。」

居間

ジエットーム「これじゃ俺もお払い箱か。でかい事してプリキユアを倒さねえとな。」
アルス「そうだな。」

ジエットーム「ステイブトンやオートソルジャーズも倒され、プリキユアもますます強くなっていくな。」

アルス「俺らだけでまずやるしかねえな。」

ジエットーム「リビングゲッドマシンから倒された幹部や怪人を蘇らせて連れて行くしかねえな。」

D r i j s 「ジエットーム、アルス。」

ジエットーム、アルス「D r i j s 様。」

D r i j s 「お前達2人をまず先に人間界への大規模な侵略のための先行隊を任せらる。」

ジエットーム「おっし、先にプリキユアを討ち取ってやるぜ。」

アルス「あああつ。」

Drīージス「今まで倒された怪人達をリビングゲッドマシンで蘇生させた。彼らを率いて向かえ。」

ジェットーム「じゃあ、先行つてくるからよお!!」

アルス「先に俺らが倒して行くぜ!!」

リビングゲッドマシンで蘇った怪人達を率いて出撃するジェットームとアルスは人間界へ向かった。

Drīージス「カロンもそろそろ蘇るか。インフェルノはもうじき終わる。」

そして、曜日は日曜日、美希に連れられて咲耶歌達と一緒に母の暮らした街へ向かうアイカとはるな。

パラレルワールド

人間界

四ツ葉町

美希「ここがあなた達2人の母親が暮らした町よ。」

アイカとはるなの母親であるラブとせつなが暮らした町、四ツ葉町だ。ここでフレツシュプリキュアが誕生し、ラビリンズと戦った。10年のハデユスの地球全体への攻撃により、町は壊滅し、沢山の犠牲者が出て、現在は廃墟と化し、ボロ屋があちこち立ったスラム街となっていた。

トットム「四ツ葉町も変わっちまったんだ。」

美希「そうね。もう昔とは違うわ。今は貧困が暮らすスラム街よ。」

アイカ、はるな「・・・。」

美希「昔はいろんな店があつて、みんなでたのしくしたりしていたのよ。」

咲耶歌「ハデユスのせいで何もかも失った。」

美希「そうね。」

ペル「ハデユスは本当に大魔王です。」

アーニヤ「ハデユスは強大過ぎて誰も勝てないですわ。」

麗奈「本当にその通りよ。」

そう言いながらスラム街となった四ツ葉町内を踏み入れるアイカ達。

アイカ、はるな「……」。

アイカとはるなは今の四ツ葉町に暮らす人々が貧困に飢えて苦しみ、ボロ屋の住まいで寒く暮らし、電気やガスもなく、焚き火を付けて暖かくする姿を目の当たりにし、食事も畑を作って、米や野菜や穀物を耕していき、自給自足の生活を必死で送っていた。

美希「これが今のあなた達2人の母親の暮らした町よ。今を生きるためにみんな必死よ。」

文「どの町もスラム街や廃墟化しているんだね。」

イルゼ「ここも中東みたいになってしまったな。」

ライラ「復興はなかなか進まないみたいだな。」

美希「どの町も復興が進まないのはあることがあるのよ。」

麗奈「資本家達による東京大パレードピックね。金儲けするために民を犠牲にし、人々に貧困生活を押し付けて、自分達だけは得する。」

咲耶歌「そう言えば今月に開催と……」。

美希「どの世界の町の富も全て東京大パレードピックのために犠牲にされているの

よ。」

アイカ、はるな「……。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「これが資本主義のやり方だ、人の幸せを奪い、自分達だけが利を得る。」

アイカ「アイゼンアロイスは人間だった頃はやっぱり資本主義で人を苦しめたりしていたの？」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「そうだよ、俺の会社のせいで生活を壊されて苦しんでいる人もいるさ。俺は今もずっと自分が行った事に後悔や罪の意識を感じているさ。」

アイカ「アイゼンアロイスはどんな事がしたかったの？」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「それはみんなを豊かに幸せにしたかった。俺は日々のためにずっと尽くして来た。だが俺の会社の実態を知るまでは……。」
フェアアール（ヒーローライドジュエル）「共産主義や社会主義や軍国主義だってみんな同じよ、本当に何が正しいのかはわからないわ。」

美希「世の中は何が正しいか難しいわね。」

海「全くその通りね。」

クレア「私からすればまるでインフェルノと同じだな。」

文「クレアの住んでいる世界をインフェルノに支配されているの同じみたいね。」
クレア「全くその通りだ。やっている事も同じだ。」

資本主義によって人々は貧困と犠牲を虐げられ、様々な生活環境が破壊され、また自然や生態系にも危害は及び、まさに人間が災いをもたらしていると言う。四ツ葉町の現状を知ったアイカ達は、他の町と同様に廃墟やスラム街化がなり、世界各地で復興が進まないのは、12月に開催される東京パレードピックのため費用は全て使われ、資本主義によって人々は苦しめられていた。

美希「何だか、暗い雰囲気になってごめんなさい。」

アイカ「いいの、あたし達はママが暮らした町がどこに住んでいたのかわかってよかったです。」

はるな「こうしてあなたに出会えた事もプリキュアのきっかけです。」

美希「そうね。」

母親と一緒に戦った美希と出会えたのもプリキュアになった事がきっかけでもあり、これまでいろんなプリキュアに出会って来た。

一同「!!」

アイカ達は上空からジェットーム達の率いる部隊が現れたのを確認し、ジェットームは強化兵達と共に町を攻撃する事に目に見えていた。

ジェットーム「先に俺達でプリキュアを討ち取ってやるぜ!!」

街への攻撃を行うとするジェットーム達。

アイカ「インフェルノ!!」

早速駆け付けに現れたアイカ達。

ジェットーム「おっ、毎回来るとはな。」

はるな「これ以上好き勝手はさせないわ!!」

アルス「俺達もお前達を倒しに来たんだぜ。」

麗奈「お前達など余裕で倒す!!」

ジエットーム「余裕で倒すだあ?!お前達にとっておきのを紹介してやる。出でよ、プリキュアに倒された我が怪人達よ!!」

ジエットームはリビングゲッドマシンから蘇らせたのはかつてストライク達に倒されたステイブトン、アイスード、バンディッド、スナイプス、インセキードだ。

ステイブトン「ステイブトン!!」

アイスード「アイスード!!」

バンディッド「バンディッド!!」

スナイプス「スナイプス!!」

インセキード「インセキード!!」

ステイブトン、アイスード、バンディッド、スナイプス、インセキード「俺達ステイブトン軍団復活!!」

アイカ「まさかあれはあたしとはるなが倒したステイブトン・・・?!」

はるな「アイスードやバンディッドやスナイプスやインセキードもいるよ!!」

ジエットーム「俺様が特別に選んだからさ、お気に入り部下を!!」

海「みんな、変身よ。」

ジェットームに蘇られたステイブトン軍団と強化兵達対決するためアイカ達はプリキュアに変身をし始めた。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イルゼ、ライラは全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイ

エローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを着用し、クレアは髪型がパープルのロングカット、衣装はMHのブラックの似たスカート丈の短いドレスとスパッツで、イゼルは衣装は中東風のグリーンのベリーダンス、ライラは中東風のマリードレスで、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

ミステイック「神秘の戦士、キュアミステイック!!」

アラム「切り裂く風、キュアアラム!!」

ジュール「荒ぶる大地、キュアジュール!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュール「フューチャーフォースプリキュア!!」

プリキュアに変身した9人はジェットフォームと対決する。

ストライク「あたし達の力、見せていくよ!!」

シンシア「今の時代のプリキュアの力を美希さんに見せていくわ!!」

美希「……。」

母親の仲間だった美希に自分達の戦いを見せるため、ストライクとシンシアは仲間達と共にインフェルノの部隊に挑んだ。

ストライク、シンシア「ダブルプリキュア・パンチ!!」

クウエルビームサブマシンガンで射撃するマシンウオーリアの集団に向かってかかるストライクとシンシアがパンチを同時に出して、一気にまとめて喰らわした。続いて、ボーンファイターの集団がスピアで構えて2人に向かってかかるが、ストライクとシンシアがダッシュしてかかりながらパンチでラッシュして、打ち砕いた。

マジック「ジャック、行くよ。」

ジャック「2人で決めるわ。」

マジックとジャックがレブナントとアントソルジャーの集団を2人がかりでいき、マジックがトランプを数枚放ちながら、レブナントとアントソルジャーの集団に足元の周りに刺してけん制し、ジャックがコイン数十枚を放ちながら次々と撃退した。

フエッター「クイーン、私は接近で。」

クイーン「射撃は私に任せて。」

フエッターが接近、クイーンが射撃で、それぞれの距離で連携をし、クイーンがキュアナギナライフル小銃モードでゴブリオンとリザードアーミーの集団に射撃し、続いてフエッターが両手を手刀で敵を纏めて打ち込み、撃退した。

ミステイック「こっちは3人で行くぞ。」

アラム、ジュール「あああつ。」

ミステイック、アラム、ジュールは3人で組んで上空から攻めてくるレイストンの集

団に対し、アラムとジュールが地上から2人で円形を何周か走り続け、そうしたら2人が走った円形から巨大な竜巻を起こし、物理攻撃が効かないレイストーンに物理攻撃でない竜巻でレイストンの集団に喰らわせ、ミスティックがミスティックサークルスピナーからエネルギー弾を連射して全て撃ち落とした。

ジェットーム「お前ら、かかれ!!」

ジェットームはアルスと配下のステイブトン達にストライク達に攻撃するよう命じ、共にかかった。

ステイブトン「死ね!!」

ステイブトンがストーンブラスターからビームを連射し、ストライク達に攻撃した。

アイスード「凍らせてやるぜ!!」

アイスードが両手に強力な爪を地面に突き刺して、冷気の波を起こしてストライク達

の足元を凍らせて動きを封じた。

マジック「うっ、動かない・・・!!」

アイスードの冷気の波で足元を凍らされて動きが封じられてしまったストライク達は敵の一斉攻撃を喰らう事になる。

バンデイト、スナイプス、インセキード「死ね!!」

バンデイトが腕を伸ばして爪で纏めて引つ掻き、スナイプスがスナイプスライフルで次々と狙撃し、さらにインセキードが拳からマグマ弾を放ち、ストライク達に喰らわせた。

アルス「俺もやらせて貰うぜ、アルスリアット!!」

アルスがストライク達に向かって走りながら右腕を広げて思いっきり一人ずつ全員纏めて喰らわせた。

一同「わあああああー!!」

ステイブトン達の総攻撃を喰らってしまったストライク達。

ジエツトーム「もう終わりか?！」

ストライク「あたし達は終わりじゃない!!」

シンシア「私達プリキュアはこんなところで終わらないわ!!」

ジエツトーム「舐めてんのか?！」

ストライク「舐めてるのはそっちよ!!」

シンシア「ストライク、私のプリキュアの力、見せていこう!!」

ストライク「あたし達の力を!!」

自分達のプリキュアの力を見せるべき、ストライクとシンシアは自分達が持っている各ヒーローライドジュエルを取り出して、キュアートフォンチェンジャーに連続で刺した。

ストライク、シンシア「ヒーローライドジュエル!!」

ストライク、シンシアはアイゼンアロイス、ボルケリート、鉄斎、ブレイディオ、フェアリール、スカヴ、明利江、ガンニークスを召喚し、ストライクはブラック、シンシアはホワイトのプリキュライドジュエルをキュアートフォンチェンジジャーに刺して変身する。

ストライク、シンシア「プリキュライドチェンジマックスハート!!」

ブラック、ホワイトに変身したストライクとシンシアはアイゼンアロイス達と共にジエットーム達に挑んだ。

ステイブトン「返り討ちにしてやるぜ!!」

ステイブトンが右手にマシンガン、左腕のストーンプラスターで2人に向けて攻撃したが、

ブラックストライク、ホワイトシンシア「はああああー!!」

2人がは脚を跳ねながらステイブトンに向かって同時にパンチをした。

ステイブトン「うわああああー!!」

ブラックストライクとホワイトシンシアの同時攻撃を受けたステイブトン。続いてアイゼンアロイスとフェアリールがステイブトンに攻撃する。

アイゼンアロイス「こいつを喰らうんだな!!」

フェアリール「当たりなさい!!」

アイゼンアロイスが四肢のパワージャッキを起動しながらステイブトンに格闘し、フェアリールがステイブトンの周囲を飛び回りながらマスケット銃で射撃した。

アイスード「凍り付かせてやる!!」

インセキード「俺らの同時攻撃を受けろ!!」

アイスードとインセキードが冷気の氷と熱気のマグマによる同時攻撃をし、2人に向けた。

ブラックストライク、ホワイトシンシア「プリキュライドチェンジスプラッシュスター!!」

ブラックストライクとホワイトシンシアはブルームとイーグレットに変身し、2人は聖霊の力を両手に集中しながら強力な突風を起こして、アイスードとインセキードの同時攻撃を打ち消した。

ボルケリート「こっちも熱気と冷気を見せてやる!!」
スカヴァ「受けなさい!!」

ボルケリートが火炎を纏った自身の拳とスカヴァが冷気を纏った脚で同時にアイスードとインセキードに喰らわせた。

イーグレットシンシア「プリキュライドチェンジ5GOGO!!」

イーグレットシンシアがミントに変身し、片手からエメラルド・ソーサーを放ち、ア
イスードとインセキードにぶち込んだ。

バンディッド「斬り刻んでやる!!」

バンディッドがステルス機能を使って姿を消しながら、爪で引っ掻きかかった。

ブルームストライク、ミントシンシア「プリキュライドチェンジスイート!!」

2人はメロディ、リズムに変身し、ステルス機能で姿を消したバンディッドの動きを
音で感知し、メロディストライクとリズムシンシアがプリキュア・パツシヨナートハ
モニで互いの手を繋ぎ、同時に金色の閃光波を発射して、バンディッドに攻撃した。
リズムシンシアがマーチに変身し、バンディッドの周りを動きながら翻弄し、キックで
強く打ち込んだ。

スナイプス「ワシを忘るな!!」

2人に向かってスナイプスライフルで狙撃しようとするスナイプス。

鉄斉「そうはさせるか。」

明利江「近接ならどうだ。」

鉄斉と明利江が入り込んで、スナイプスに直接攻撃を加えた。

メロデイストライク、マーチシンシア「プリキュライドチェンジドキドキ!!」

メロデイストライクとマーチシンシアは次はハートとロゼッタに変身し、ハートストアイクがプリキュア・ハートシユートから巨大なハート型光弾を放ち、ロゼッタシンシアがプリキュア・ロゼッタリフレクションでエネルギー障壁を半分に割り、スナイプスに喰らわせ、次にロゼッタシンシアはダイヤモンドに変身し、ダイヤモンドシンシアがプリキュア・ダイヤモンドシャワーでラブハートアローを頭上に掲げ、先端部を右手で打ち鳴らす事で猛烈な吹雪を放ち、スナイプスを凍結させた。

アルス「まとめてぶちのめしてやる!!」

アルスが建物を利用して脚を横から飛び跳ねながらハートストライクとダイヤモンドドシンシアに体当たりしかかった。

ハートストライク、ダイヤモンドドシンシア「プリキュライドチェンジG o プリンセス!!」

2人はフローラとスカーレットに変身し、フローラストライクが花吹雪でアルスを眩ませ、スカーレットドシンシアが火フローラストライクが撒いた花卉に火を起こして爆発させて喰らわせ、スカーレットドシンシアはパルフェに変身し、パルフェドシンシアが空を飛び回りながらレインボーリボンを振りながらアルスに攻撃した。

ジェットーム「いい気になってんじやねえぞ、ガキ共が!!」

ジェットームが両腕からビームプラスターで2人に攻撃した。

ブレイディオ、ガンニークス「させるか!!」

ガンニークスがジェットームに射撃し、続いてブレイディオがブレイディオブレードでジェットームに斬撃した。

フローラストライク、パルフエシンシア「プリキュライドチェンジHUGつと!!」

エール、マシエリに変身した2人はジェットームの間を挟んでキックでお見舞いし、次にスターとミルキーに変身し、ミルキーシンシアが頭のセンサーから電気エネルギーを放電し、スターストライクがパンチから黄色の星形エネルギーを放ち、ジェットームに喰らわせた。

ジェットーム「ぐわあああああー!!」

ストライク、シンシアの2人の連続変身で圧倒されたジェットーム達。そして最後に2人はヴァンガードクリスタルを発動させた。

ストライク、シンシア「ヴァンガードクリスタル!!」

ヴァンガードクリスタルを発動したストライク、シンシアはアイゼンアロイス達と一体化し、ヴァンガードヒーローフォームへとなり、ジェットーム達を倒しにかかった。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードメロディハートエールザンバー!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードホワイトイীগレットリズムスカーレットクロスショット!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームがヒーローブレイディオソードにメロディ、ハート、エールのプリキュライドジュエルを装着して3人の力を発揮しながら刀身に集中しながらピンクのエネルギー状を纏いながら大きく下ろし、シンシアヴァンガードヒーローフォームがヒーローガンニークスツイインライフルにホワイト、イীগレット、リズム、スカーレットのプリキュライドジュエルを装着して4人の力を発動しながら2丁小銃に集中して赤色のエネルギー状を纏いながら強力な光弾を連射し、

ジェットーム、ステイブトン、アイスード、バンディッド、スナイプス、インセキードに攻撃した。

ジェットーム、ステイブトン、アイスード、バンディッド、スナイプス、インセキード「うわああああー!!」

2人の強力な必殺技を喰らったジェットームは蘇った部下達と共に最期を遂げる。

ジェットーム「俺が、こんな所で・・・!!」

部下達と共に最期を遂げたジェットームは消滅し、生き残ったアルスは1人で撤退した。無事戦いは終わった。

美希「これが今のプリキュア達ね。」

アイカ「あたし達はハデユスを絶対倒してみせます。」

はるな「そして母を必ず助け出します。」

美希「これをあなた達に渡すわ。」

アイカ達は美希からある物を渡された、それはココ、ナッツ、タルト、シフォン、ポプリ、ダビイ、リボンのフェアリージュエルだ。

アイカ「これはフェアリージュエル。」

美希「あなた達にならきつと。」

はるな「必ず妖精達も復活させてみます。」

咲耶歌「これで全部……。」

海「待って、まだ足りないのがあるは……。」

文「もしかしてポルンとルルンのフェアリージュエルの事ね。」

文はポルンとルルンのフェアリージュエルを出して、みんなの前で見せた。

麗奈「と言う事は全部集まった事ね。」

クレア「後はどうするのか。」

イゼル「そうだな。」

ライラ「あああつ。」

トットム「メツプル先輩達もこれで蘇るって事だな。」

ペル「ついに待ちに参りましたよ。」

アーニヤ「ようやく集まりましたわ。」

10年前のファイナルウォーで自ら犠牲になった妖精達が今、彼女達の手によつて集まり、ついに全てのフェアリージュエルが集結した。

パラレルワールド

幽魔界

幽魔要塞

廊下

ドラン・キュラー3世、スラッシュラー、フラーゲン、クラッシュユトロイ、ラミイ、バ
イソツク、阿修羅弁慶、宗司、フランマシンド、ロクサーパイア、アルフェルン「はあ、
はあ、はあ……。」

プリキュアに敗れたスラッシュラー達はもはや後がなく、自分達に残されたの
は……。

レヴオリユード「おやおや、役立たず共がなにをしている。」
スラツシユラー「レヴオリユード様……。」
レヴオリユード「お前達に最後のチャンスを与えてやる……。」

次回 51話へ続く

第51話 東京大パレードピック

ついに全てのフェアリージュエルを揃えたアイカ達は、

あさぎ市

あさぎ市役所

WJG地下秘密基地

会議室

由紀「ついに揃えたわね。」

アルト「ようやく全部揃ったな。」

麗奈「これでまず全部集まったって事ね。」

咲耶歌「集めるのも大変だったよ。」

海「フェアリージュエルが全部集まった事で妖精達ももうすぐ復活ね。」

ペル「ついにですね。」

マリーシエ「あれから10年ね。プリキュア達を最後の变身させるために自ら犠牲になった。」

はるな「どうやって復活させるのか？」

全てのフェアリージュエルを集めたアイカ達は妖精達をどう復活させるのか？

アーニヤ「復活の方法はアスゴールド王国でやります。」

文「アスゴールド王国ね。」

トットム「そこでオーズイーン様や地獄界の閻魔様や後他お二方同等の他の10大神の協力を得なければ復活出来ねえぜ。」

アイカ「10大神？」

ペル「オーズイーン様と閻魔大王様は全パラレルワールドと全宇宙を司る10大神の一員であります。その中で閻魔大王様は10大神の中ではリーダー格です。」

はるな「閻魔様はやっぱりお偉い方なんだね。」

咲耶歌「他の10大神はどんな方なの？」

アーニヤ「ええーと、それは……。」

アーニヤが話そうとしていたら中から1人の女性が入って来た。

滝絵「失礼します。」

一同「?!」

滝絵「これは失礼しました。」

文「この人は？」

由紀「彼女は中坂滝絵。WJGの新人隊員よ。」

滝絵「初めまして、私は中坂滝絵です。よろしくお願いします。」

女性の名は中坂滝絵、WJGの新人隊員だ。

アイカ「こちらこそよろしくお願いします。」

滝絵「ひよつとして、あなた達がプリキュア何ですか？」

アイカ「はい。」

滝絵「お目にかかれて光栄です。」

麗奈「……。」

WJGの新人隊員の中坂滝絵を見て、疑問を感じる麗奈は、

はるな「どうしたんですか？」

麗奈「いえ、何でもないわ。」

由紀「それと私達にこんな招待状が届いてるわ。」

咲耶歌「何々？」

アイカ達に何故か招待状が届き、手紙の中身を開けてみたら、明日明日開催される東京大パレードピックだ。

海「これって、もしかして東京大パレードピックの招待チケット……。」

文「どうして私達に？」

由紀「わからないわ。何故あなた達に送られて来たのか。」

麗奈「心当たりがあるわ。」

一同「?!」

麗奈「ラスフェック達大富豪よ。彼らが主催する東京大パレードピックのために。」

アイカ「何でラスフェックがあたし達を……？」

麗奈「わからないわ。何か裏があるかもしれないみたいね。」

海「私達の事をどうやって知っているのか……。」

咲耶歌「あたし達は海の家で1回会ったよね……。」

麗奈「確かに私達は一度会ったわ、あの時は私達の名前も何もまだ……。」

由紀「どうやって知ったのか？」

はるな「わからないみたい。」

自分達を明日開催される東京大パレードピックに招待したのは1度海の家で会ったラスフェックだ。何故自分達の名前をどうやって知ったのか？一方、インフェルノは全戦力を集結させ、人間界へ大規模な侵略を準備を進め、明日には全軍出撃だ。

パラレルワールド

幽冥界

幽冥要塞

会議室

ヴェルアル「ようやく全て整えたな。」

バトルヴェソール「全戦力を持って人間界を完全征服する。」

ヴェルアル「偉大なるハデウス様のため、やがて全パラレルワールドと全宇宙をハデウス様の物となる。」

バトルヴェソール「全てが我らインフェルノの力を思い知る時だ。」

D r i i j s 「明日には出撃か。」

ヴェルアル「D r i i j s 。」

D r i i j s 「カロンも復活した。」

ヴェルアル「カロンが復活か？」

D r i i j s 「彼は人間の身体を憑依している。だがそろそろ彼も元の姿を取り戻すはずだ。」

カロン「……。」

バトルヴェソール「カロン、調子はどうだ？」

カロン「あああつ、今は調子いい。身体もそろそろ元に戻る頃だ。取り憑いている人間もお役目もだ。」

ヴェルアル「そうか。」

レヴォリユード「明日の準備を楽しそうにしているな。」

ヴァンガード、バトルヴェソール、D r i i j s 「レヴォリユード。」

レヴォリユード「明日は私も出る。ドラグードも出るようだ。」

バトルヴェソール「お前が人間界にか。」

レヴォリユード「あああ、あの世界のプリキユアとやらを。それとD r i i j s 、例

の2人のプリキュアは？」

D r i i j i s 「もうすぐ出せる、ドラグードが捕まえたピーチとパッションはもうハデユス様の邪悪な力によって注がれた悪の戦士となった。」

レヴオリユード「これは楽しみだ。ついでドラン・キュラー3世達も最後のチャンスを与えてやった。」

ヴェルアル「？」

レヴオリユード「ハデユス様の邪悪な力でより強力となり、怪物となった。」

D r i i j i s 「君もえげつない事をするようだな。」

レヴオリユード「役立たずの最後の戦いをな。」

レヴオリユード達の前に支配者のハデユスが現れた。

ハデユス「お前達よ。」

レヴオリユード、ヴェルアル、バトルヴェソール、D r i i j i s 、カロン「ハデユス様。」

ハデユス「明日は人間界で全てを賭けた戦いになるだろう。」

レヴオリユード、ヴェルアル、バトルヴェソール、D r i i j i s 、カロン「はっ!!」

ハデユス「失敗は許されぬぞ。」

明日は人間界に大規模な侵略を行い、全戦力を投入して全てを賭けた戦いとなり、インフェルノの全身全霊を込めてでもプリキュア打倒と人間の完全征服を行う。同じ頃、ラsfエックター達は、

???

ラsfエックター「明日は全ての役者が揃うな。」

ロークット「プリキュアとインフェルノの最後の戦い、どちらが滅びるのか？」

ブランバーク「我らの者はインフェルノにもおり、WJGにもいる。全てはハデユスの手のひらで踊らされている事に。」

アゼール「東京大パレードピックは奴らにふさわしい墓場となるだろう。」

ラsfエックター「インフェルノはハデユスとレヴオリユードがしっかり動かしている。インフェルノはもうじき終わりじゃ。」

ゴーゴルステノー「その通りです、インフェルノもお役目終わりでありますわ。」

ブランバーク「戻らなくていいのかい？」

ゴーゴルアレー「えええ、私達やハデユス様やレヴオリユード様はもうすでにこっち

側よ。」

ゴーゴルドウーザ「明日は素晴らしい事になるかもね。」

アゼール「いよいよだな。」

プリキュアとインフェルノの戦いに暗躍するラスフェックター達。明日開催される東京大パレードピックにてら彼らは何を企むのか。そして翌日、アイカ達は車に乗って、東京大パレードピックの会場へと向かった。

パラレルワールド

人間界

東京

道路

咲耶歌「あたし達、東京大パレードピックへ行くんだね。」

海「招待された事には裏があるのも。」

麗奈「私達は招待された事に変わりはないわね。」

車で東京大パレードピックへ向かうアイカ。車内で外の景色を見ながら、今の東京の

街は10年前のハデユスの攻撃により壊滅し、富裕層と貧困層に分かれ、貧困層が暮らすスラム街は毎日明け暮れて貧しい生活をし、寒い寒い凍え震えたり、食料を盗んだり、縄張りの奪い合いなどが起きたりし、富裕層が暮らす都市は豊かな生活を送り、何事もなく気にせず自分達が安泰している事を思い、経済の発展で都市も充実した。

咲耶歌「何だか、貧富の差が激しいね。」

文「富裕層の暮らす都市は周りを気にせず自分達が安泰していると思ってるわ。」

トットム「人間も冷たくなったもんだな。」

ペル「今の儲かっている人間は自分達の事しか考えていませんね。」

アーニヤ「人間界も凄く冷たい世界に成り下がった感じですよ。」

アイカ「……。」

はるな「アイカ……?」

アイカ「悲しいね。」

はるな「そうね。」

由紀「こんなに貧富の差が広がり過ぎて、暗い感じがするわ。」

貧富の差に分けられた街の姿にアイカ達は悲しい気分になり、自分達では何も出来き

ず、ただ見ていた。そして、ようやく東京大パレードピックに到着したアイカ達は地区
一帯が会場で、東京大パレードピックはスポーツ競技や博覧会などをあらゆる分野が開
催され、未来の発展した車や飛行機や住宅地なども展示され、世界各国から集まった何
億の人々が来客されていた。

東京大パレードピック

会場

アイカ「凄い、広い……。」

はるな「人がたくさんいる。」

麗奈「東京大パレードピックを観に来客してみたみたいね。」

会場で人が大勢集まる中、アイカ達はある人物と遭遇する。

なぎさ「あつ、もしかしてアイカちゃん達じゃないの？」

ほのか「はるなちゃん達もいるわね。」

アイカ「もしかしてなぎささん。」

はるな「また会えるなんて嬉しいです。」

なぎさ「あたし達以外もいるわよ。」

その人物はなぎさとほのかだ、彼女達2人だけでなく、咲、舞、りん、美希、えりか、アコ、あかね、マナ、六花、ありす、真琴、六花の息子の青太、いおな、はるか、みなみ、きらら、トワ、みらい、リコ、いちか、あおいがいた。彼女達だけでなく、彼女達の同じプリキュアだったのぞみ、うらら、こまち、かれん、くるみ、祈里、つぼみ、いつき、ゆり、響、奏、エレン、みゆき、やよい、なお、れいか、めぐみ、ひめ、ゆうこ、ひまり、ゆかり、あきら、シエル、さあや、ほまれ、えみる、ルールーもいた。

トットム「おおおつ、歴代プリキュアのお方達がいっぱいだ!!」

ゆり「みんなとこうしてまた集まったのも何かの縁ね。」

いつき「本当に集まった感じだね。」

えりか「他のプリキュアに会えるのも久しぶり。」

つぼみ「そのようですね。」

咲耶歌「もしかしてあなた達も先輩プリキュア何ですか・・・？」

みゆき「そうだよ。」

めぐみ「あたし達と同じプリキュアだよ。」

あかね「また会えたな。」

やよい「私も先輩プリキュアだよ。」

なお「あたし達も先輩なんだな。」

れいか「そうですね。」

ひめ「みんな、揃いも揃ったね。」

ゆうこ「そうだね。」

いおな「何だか全員大集合ね。」

海「他の先輩プリキュアにお目にかかれて光栄ね。」

かれん「あなた達今のプリキュアは昔の私達と同じね。」

こまち「あなた達が今のプリキュアね。」

うらら「昔の私達みたいです。」

りん「久しぶりだね。」

くるみ「今のプリキュアが9人も私達より多いわね。」

のぞみ「そうだね。」

文「凄い歴戦って感じがするみたいね。」

ひまり「私達が歴戦って何だか照れてしまいます。」

あきら「私達も歴戦の英雄になった感じだね。」

ゆかり「昔の仲間とまた再会もいいわね。」

あおい「何年ぶりかな？」

シエル「本当久しぶりね。」

いちか「また、みんなと再会出来て嬉しいよ。」

麗奈「あなた達が歴代プリキュアね。」

ルールー「私達が正真正銘のプリキュアです。」

えみる「私達もあなた達と同じよ。」

さあや「同じプリキュア同士が集まって嬉しいわ。」

ほまれ「私達も先輩ね。」

はな「みんなイケてるね。」

クレア「本当に夢のようだな。」

みらい「全員大集合ね。」

リコ「本当ね。」

響「小学生がプリキュアって何だか昔のアコみたいだね。」

奏「本当そうね。」

エレン「何だか昔の姫さ、いや女王様ね。」

アコ「もう響や奏やエレンったら。」

イゼル「まるで映画スター勢揃いだな。」

咲「何だか照れるね。」

舞「私達も大物ね。」

ライラ「伝説との対面か。」

マナ「あたし達も伝説の存在だね。」

ありす「そうですね。」

六花「プリキュアも伝説ね。」

真琴「本当にレジェンドになった感じね。」

はるか「みんなとまたこうして会えるのもプリキュアの縁だね。」

みなみ「また会えたのも本当に嬉しいわ。」

きらら「本当だね。」

トワ「こうして全員と再会ですわね。」

美希「そうですね。」

祈里「本当に再会みたいね。」

アイカ達フューチャーフォースプリキュアとなぎさ達歴代プリキュアが揃って集結し、現在のプリキュアと過去のプリキュアが勢揃いした。

ひかる「おーい、私達もいるー。」

アイカ「ひかるさん達も来たんですか？」

ララ「私達もいるルン。」

えれな「また会えたね。」

まどか「他のプリキュアの方々を見るのはお目にかかります。」

ユニ「いっぱいいるニャ。」

ジエナ「あたしらもいるぞ。」

アイカ達の世界にひかる達スタートウインクルプリキュアもやって来て、さらにジエナや彼女の仲間の真科奈、圭、アリーナらシークレットエージェントプリキュア、睦月からチームウォーブレイカープリキュア、そしてここにいるプリキュア達全員大集合した。

咲耶歌「プリキュアがみんないっぱいだね。」

海「本当に全員大集合ね。」

文「スタートウインクルプリキュアのみんなも来てもう驚きよ。」

なぎさ「今日はプリキュア全員大集合よ。」

アイカ「本当にプリキュアがいっぱいだね。」

はるな「いろんなプリキュアが集まるのも何かの縁だね。」

麗奈「あなた達ももしかして東京大パレードピックに招待されたと言うのですか？」

なぎさ「あたし達みんなも招待されたのよ。」

ひかる「私達もよ。」

麗奈「やっぱりプリキュアを知っている事もあり得るか……。」

由紀「この東京大パレードピック自体が怪しいわ。」

麗奈「ラスフェック―達ね。」

自分達プリキュア全員がラスフェック―達の開催する東京大パレードピックに招待され、自分達がプリキュアの正体も知られている事も、何のために彼女達を招待したのか。そしてそれから、会場で席に座ったアイカ達は大勢の観客の中、まもなく開会式が始まろうとするのを観る。

アイカ「いよいよだね。」

はるな「もうすぐ始まるね。」

会場にいる大勢の観客が熱狂する中、一番見えやすい席からはラスフェックター、ロークト、ブランバーク、アゼールがいた。

ラスフェックター「そろそろじやな。」

何かを企み、そして事の出来事が起き始めようとした。カウントダウンが始まり、5、4、3、2、1、そして、

観客一同「!!」

プリキュア一同「!!」

会場の上空から多数の次元ゲートが現れ、ゲートからインフェルノの大軍勢が現れた。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「インフェルノ!!」

インフェルノが大軍勢を率いて現れた事で、その大軍勢を率いて指揮を務めるドラ

グードの姿もあった。

ドラグード（戦闘時）「これより全てを賭けた戦いを始める!!」

大軍勢に指揮をするドラグードは、直ちに攻撃をかからせた。インフェルノの出現により、会場にいる大勢の観客達がパニックになって戸惑い、その恐怖から逃げ始めた。

なぎさ「インフェルノが本格的に攻めて来たのね!!」

ほのか「人間界いや宇宙やパラレルワールドを本気で支配するつもりなのね!!」

アイカ「なぎささん達は観客の避難をお願いします!!」

はるな「私達はインフェルノを倒しに行きます。」

なぎさ「任せて!!」

ジェナ「あたしらも行くぞ!!」

変身出来ないなぎさ達55人の元プリキュア達は観客の避難をし、アイカ達フューチャーフォースプリキュアとジェナや彼女の仲間の真科奈、圭、アリーナらシークレットエージェントプリキュア、睦月らチームウォーブレイカープリキュアがインフェルノ

と戦いに行く。

ドラグード（戦闘形態）「来たか。」

アイカ「インフェルノ!!」

駆けつけにやって来たアイカ達。インフェルノの大軍勢を目の前とする。

はるな「これ以上好きにはさせない。」

ドラグード（戦闘形態）「こちらはお前達と全てを賭けた最後の戦いをする。」

麗奈「世界や宇宙は絶対支配させたりしない。」

咲耶歌「みんなの幸せを守り抜いてみせる。」

海「この世界を守り抜くわ。」

文「これ以上悲しくさせたりしないわ。」

クレア「未来を守り抜いてみせる。」

イゼル「あたしらが相手になってやる。」

ライラ「絶対に支配なんかはさせない。」

アイカ「みんな、行くよ!!」

インフェルノとの全面対決をするため、アイカ達は変身アイテムを出し、プリキュアに変身する。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「プリキュア・チェンジアアップ!!」

真科奈、圭「プリキュア・ライドチェンジ!!」

ジエナ「プリキュア・デイメンションチェンジ!!」

アリーナ、ケリー、テッサ「プリキュア・シークレットチェンジ!!」

睦月「プリキュア!!リジエネイト・ユニゾン!!」

唯「プリキュア!!セラフィックアドベント!!」

セシル「プリキュア!!コールキャリバー!!」

それぞれの変身アイテムでプリキュアに変身したアイカ達。すぐにプリキュアとなった彼女達はインフェルノと全面激突する。

ドラグード（戦闘形態）「さあ来い、プリキュア!!」

ストライク、シンシア、フエッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュールフ「行くぞ、インフェルノ!!」

次回 52話へ続く

設定 1 1

インフェルノ

ドラン・キュラ 1 3 世最終形態

ハデユスの邪悪な力によってパワーアップした姿。最終形態は巨大コウモリの姿をし、目が赤い血の色をして目から強力な赤黒光線を放ち、両翼を活かして素早い動きで相手を翻弄し、接近戦では足の鋭い爪と口の牙で襲うのを得意とし、また口から超音波を放つ。能力はスピードがとても高く、ヴァンガードヒーローフォームを圧倒する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スラッシュラー最終形態

ハデユスの邪悪な力によってパワーアップした姿。最終形態は全身が醜い機械まみれと化した巨大な姿をし、両手にメタルハンドクローであらゆる物を全て切り裂て破壊し、両足にメタルレッグクローであらゆる物踏み潰し、口から強力な牙で噛み砕いたり、さらに赤黒光線を放つ。近接戦ではヴァンガードヒーローフォームを圧倒する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

フラーゲン最終形態

ハデユスの邪悪な力によってパワーアップした姿。最終形態は所々に脈打つ筋肉が露わになった体長十メートルにも至る巨人となり、通常形態の数十倍の力を増し、攻撃力も高く、とてつもないパワーを持ちながらヴァンガードヒーローフォームを圧倒する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

クラッシュトロイ最終形態

ハデユスの邪悪な力によってパワーアップした姿。最終形態は全身が武装まみれた巨大な姿となり、右腕にメガバトルチェンソー、左腕にメガビームランチャー、胴体に多連メガナパームランチャー、両肩に3連メガミサイルランチャー、両脚にメガナパームランチャー、両腰にメガパンツァーフアウスト、両足はキャタピラレッグが内蔵され、火力も通常形態より数十倍の威力を持ち、ヴァンガードヒーローフォームを圧倒する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ラミイ最終形態

ハデユスの邪悪な力によってパワーアップした姿。最終形態は大量の包帯で全身が覆われ、下半身は長く、鋭い尖端を煌めかせた六の節足が生えて、上半身はかのケンタウロスのように頭から腹部までに至る少女の身体で形成された女郎蜘蛛のイメージで、包帯で形成された節足から糸を放って相手を捕える他、尖端から電撃を放って攻撃する。ヴァンガードヒーローフォームに匹敵する。全ての特殊能力の影響を一切受けな

い。

バイソック最終形態

ハデユスの邪悪な力によってパワーアップした姿。最終形態は巨大な猛牛の姿をし、荒々しい筋肉質が見られ、パワーがとてつもなく高く、頭に強力な2本の角であらゆるものを全て破壊し、貫き、赤黒光線を放つ。ヴァンガードヒーローフォームに匹敵する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

阿修羅弁慶最終形態

ハデユスの邪悪な力によってパワーアップした姿。最終形態は全身が機械化した巨大な阿修羅の姿をし、右上手に薙刀、右手中に大太刀、右手下に棍棒、左上手に槍、左手中にハンマー、左手下に小太刀を手に持ちながらあらゆる武器を繰り出した攻撃を得意とし、通常形態の必殺技も使用可能とする。ヴァンガードヒーローフォームに匹敵する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

総司最終形態

ハデユスの邪悪な力によってパワーアップした姿。最終形態は全身が巨大な落ち武者のとポロポロで醜いゾンビの組み合わせをした姿で、身体のいくつかの箇所には沢山の矢が刺さっており、刺さった矢を抜いて投げて爆発させ、口から毒ガスを吐き、右手には菊花丸を持ち、高いパワーで押しながら衝撃波を起こす。ヴァンガードヒーロー

フォームに匹敵する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

フランマシンド最終形態

ハデユスの邪悪な力によってパワーアップした姿。最終形態は頭部以外機械のよ
うな姿をし、右腕は高周波ブレード、左腕はビームキャノン、背中にはブースター、右
アームと左アームはマシクロロ、腹部からビームプラスター、両脚に内蔵ブースター、
炎を自在に操ったりする。ヴァンガードヒーローフォームに匹敵する。全ての特殊能
力の影響を一切受けない。

ロクサーパイア最終形態

ハデユスの邪悪な力によってパワーアップした姿。最終形態は両腕と両脚が肥大
化して、さらに悪魔の翼を生やし、吸血鬼から凶暴な悪魔へと変貌し、あらゆる武器を
血状で形成する能力を持つ。ヴァンガードヒーローフォームに匹敵する。全ての特殊
能力の影響を一切受けない。

アルフェルン最終形態

ハデユスの邪悪な力によってパワーアップした姿。最終形態は巨大な機械的な狼
の姿となり、頭部の額にアルフェルン本人が一体化しており、巨大な4足の爪と牙によ
る高い攻撃力を持ち、口から強力なビーム光線を吐く。ヴァンガードヒーローフォーム
に匹敵する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

怪物

パンプ lantern

インフェルノの怪物。種族は植物、巨大なカボチャの lantern の姿をし、口から巨大な蔓を出し、さらに爆弾種を発射する。ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ベノムマシン II

インフェルノが開発したベノムマシンの強化版。性能が強化され、右腕に大型アームビームソード、大型アームビームマシンガン、胴体に10連パイルミサイルランチャー、両脚にブースターが内蔵され、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

戦闘員

タンクマシンソルジャー

インフェルノのロボットタイプ of 兵士。マシンソルジャーを陸戦仕様 to 改造し、戦車風となり、両腕にはアームマシンガン、頭部にはヘッドビームキャノン、両腰には3連ミサイルランチャー、両脚部がキャタピラレックがあり、火力が非常に高く、射程距離も高い。ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ジェットマシンソルジャー

インフェルノのロボットタイプの兵士。マシンソルジャーを空戦仕様に改造し、戦闘機風の人型となり、両腕にはアームビームマシンガン、両翼にはミサイル、6連ミサイルポッド、両脚部に内蔵飛行ブースター、背中に飛行ユニットが装着されており、攻撃力が高く、機動力も高い。ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

スカルパラダイーン

インフェルノのアンデッドタイプの兵士。スカルファイターの上級形態で、骸骨風の騎士鎧を纏い、全能力が高く、プリキュアに匹敵する力を持つ。武器は大剣、スピア、ハンマー、盾のみ。

グールド

インフェルノのアンデッドタイプの兵士。レブナンツの上級形態で、全身が前のレブナンツ以上の醜い姿となり、凶暴性も秘めており、戦闘力もとてつもなく高くなっており、口から猛毒液を吐いて、あらゆるものを全て溶かす。

フォーム

ドラグードアルティメットゴッドフォーム

ドラグードが地獄界の閻魔大王と一体化した姿。種族は超人で、閻魔大王と一体化した事で全身に神と龍を組み合わせたアーマーを纏って神々さの姿をし、全身にアルティ

メットゴッドドラゴアーマー、背中のアルティメットゴッドドラゴウイング、両腕にアルティメットゴッドアームドラゴブレード、頭部のアルティメットゴッドドラゴヘッドアーマーを装着し、強さは通常形態を上回る実力で、数百億倍の力を持ち、不死身、不老不死、実体を持たない幽体など全てに対して彼の攻撃はさらに通用し、完全消滅させることが可能。歴代ラスボスや神を簡単に倒す力を持ち、ファイナルゼロ（Ver2）と神の存在を超えた究極の存在であり、ぶつかり合うと全パラレルワールドと全宇宙が滅ぶとされる。アルティメットゴッドは10大神の力でもある。全ての特殊能力の影響は一切受けず、ハデウスと渡り合う力を持つ。

必殺技

龍獄究極滅烈霸斬

ドラグードアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッドアームドラグードブレードに超強烈なエネルギーを集中して纏いながら、左右の両刃から超強烈な真空波を放ち、敵全体に喰らわす。一度喰らうと完全に跡形もなく消滅する。恐ろしい技である。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けず、各プリキュアの最終形態を倒す威力も持つ。

第52話 激戦、インフェルノ幹部達の猛威

東京大パレードピックの会場にて、インフェルノの大軍勢と激突する事となったストライク達。

東京

東京大パレードピック

会場

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュール「はああああー!!」

ストライクとシンシアはマシンソルジャーの大部隊に突っかかり、2人はキュアブレードマグナム銃モードで次々と射撃しながら破壊し、次に剣モードに切り替えながら次々と斬撃していった。マジック、ジャック、クイーンがゾンビーン、スカルトイの大部隊に3人が分散して動き回りながら攪乱し、そしたら3人が同時に駆逐し、撃退した。フェッターが空中から攻撃して来るバットル、ゴーストンに対し、フェッターはキュア

カタナテツポウ鉄砲モードでバトルの群れを撃ち落とし、刀モードに切り替えながら武器を360°回転しながら剣風を起こしながら、物理攻撃が効かないゴーストンの群れを蹴散らした。ミステイック、アラム、ジュールがインフェルノ兵とデュラハーンの大部隊にかかり、ミステイックが足を伸ばしながら蹴りで強く纏めて蹴散らし、アラムとジュールが左右に分かれて挟み撃ちをし、一気に蹴散らした。

バトルヴェソール「全軍、攻撃範囲を拡大にしろ!!!」

エビルシップから全軍の兵達の指揮を取るバトルヴェソールは東京全体に一気に攻撃範囲を伸ばし、攻撃を行った。

デイメンション「はあああああー!!」

デイメンションがデイメンションアックスを手を持ったままスウィングしながら回転斬りをし、次々とリザードソルジャーの集団を蹴散らした。

パーフェクト「目標、敵艦隊ターゲット、ファイア!!」

パーフェクトが上空にいる数十隻のエビルクルーザーにターゲットし、パーフェクトバスターランチャーで撃ちながら一気に壊滅させた。

ジエノサイド「どんどんかかって来な!!」

ジエノサイドは大量のベノムマシンを相手に1人で戦い、ジエノサイドギガサイズで大きく振り回しながら次々と破壊し、さらにジャイアントデッドを一刀両断した。

チエーニタクテイカルマスター「はあああああー!!」

タクテイカルマスターに変身したチエーニが敵の大軍と交戦し、チエーニタクテイカルマスターがタクテイカルギガティックライフルで撃ちながら数百隻のエビルクルーザーを撃墜した。

コード「ステルス、行くよ!!」

ステルス「2人で決めるよ!!」

コードとステルスがキュアライドロボ1号、2号にそれぞれ操縦し、1号に操縦するコードがパンチで連打しながらジャイアントデッドを殴り、キックでお見舞いして撃退し、次に新たに追加されたビームソードで次々と斬撃し、破壊した。2号に操縦するステルスが新たに追加されたビームガトリングガンでグアーゴイルとベノムマシンに向けて次々と射撃し、撃ち倒した。

アルカディア、セラフ、キャリバー「はあああああー!!」

チームウォーブレイカープリキュアの3人がマシンウォーリアの大軍を相手に戦い、アルカディアがスプリームマグナムで射撃し、セラフがセラフイムセイバー、キャリバーがキャリバーブレイドで次々と斬撃しながら破壊した。インフェルノの大軍勢を相手にストライク達は激戦を繰り広げる事となった。

フェッター「キリがない!!」

ストライク「こうなったらジャスティスヒーロー召喚よ!!」

大進撃するインフェルノの大軍勢に対し、ストライク達は全てのジャスティスヒー

ローを召喚し、召喚されたアイゼンアロイス達も加勢し、挑んだ。

アイゼンアロイス「お前達の相手は俺達だ!!」

フェアリール「私達が相手になって戦ってあげるわ!!」

ソール「ジャステイスヒーローの力、見せてやる。」

ファイツ「行くぞ、みんな!!」

アイゼンアロイスらジャステイスヒーローがインフェルノの大軍勢を激突し、対決し始めた。

アイゼンアロイス「喰らえ!!」

アイゼンアロイスが両手からビームを発射してマシンウォーリアに攻撃し、次にビームソードを出刃しながら斬撃した。

フェアリール「当たり前ささい!!」

フェアリールが空を飛び回りながらマシンウオーリアの部隊に光弾を放ち、次にマスケット銃を多数召喚して一斉射撃した。

ソール「我が力を受けよ!!」

ファイツ「我々ジャステイスヒーローの力を見せてやる!!」

ソールとファイツがスカルフアイターの大軍を相手に戦い、ソールがミョルニアを手に持ちながら横に向けながら振り回して打撃し、次に雷を起こしながら撃退した。ファイツがジャステイスシールドで投擲しながら複数のスカルフアイターに当てていき、次に格闘で強いながらパンチやキックなどで喰らわした。

バトルヴェソール「全軍かかれ、皆殺しにしろ!!」

この人間界を完全に制圧するため、何としてでも我がものにしようと全軍の兵士達を指揮しながら動かすバトルヴェソール。

烈陣丸「インフェルノ、拙者達が成敗するでござる!!」

光陰命「悪しき者達よ、我らがお相手です!!」

隼疾風「行くぞ!!」

烈陣丸、光陰命、隼疾風が3人で組んで、レブナンツの大群と交戦し、光陰命が自身の同サイズの人型式神を4体呼び出して共に五芒星の陣を形成して、陣からいくつからの光を降り注いでいき、隼疾風が素早く飛びながら翼で斬り付けていき、最後に烈陣丸が戦烈鬼を構えて、刀身に光を発光しながら素早く駆け込みながら次々と一刀両断した。

ボルケリート「お前達の野望を阻止してやる!!」

スカヴァ「私達が相手をするわ!!」

ウォーテイル「こちらも本気で行くわ。」

ウイザーデイ「我らの力、見せてやる!!」

ウイザーデイがウイザーデイロッドで唱えてボルケリート、スカヴァ、ウォーテイルの能力をパワーアップし、ボルケリートが両拳に火炎を纏いながら連打でゾンビーン、レブナンツの大群をぶち込み、次にスカヴァがから多数の氷結の雨を降り注いで攻撃し

た。

鉄斉「インフェルノが本気で攻めかかって来たと言う事か!!」

明利江「そのようね。」

ヴォイダートマン「俺達で食い止めていくしかない!!」

スーパーレディ「インフェルノの野望を食い止めてみせるわ!!」

鉄斉と明利江が進軍してくるマシンウォーリアの部隊の周りを動きながら翻弄させ、同時に攻撃し、ヴォイダートマンが高くジャンプしながら突撃して、手甲からベアクローで切り裂き、スーパーレディが右手を発光しながら次々と破壊した。

バルクマツスラー「うおおおおおー!!」

バルクマツスラーは数機のベノムマシンを相手に戦い、自分の持つ高いパワーを駆使していきながらパンチで思いつきり殴り破壊し、次々と撃破した。

翔華楽「こつちも行くよ!!」

大和丸「一緒に行つてやるぜ!!」

翔華楽が2つの天翔心を両手に持ちながら舞いながら嵐を呼び起こして、数機のベノムマシンに斬り付けていき、大和丸が橙破槍を発光しながら高ジャンプして喰らわせた。

ブレイディオ「敵も本気でかかって来た事か!!」

ガンニークス「そのようだな。」

ガンニークスが両手に2丁のガンニークスガンゴーストン、レイストンに射撃し、ブレイディオがブレイディオソードで次々と斬撃した。

ワプニオン「すぐに終わらせてやる!!」

エスパネス「あああつ!!」

ミラーシエナ「行くよ!!」

エスパネスが超能力を使って進軍するインフェルノ兵の部隊の動きを止めて、ミラーシエナ、ワプニオンが同時に攻撃を仕掛けて一気にインフェルノ兵を蹴散らした。

ジエーニー、アラミラード、アメモント、マナートウ、エンキナウ、ゴールドメツシユ
「はあああああー!!」

アラミラードは自身の頭の角、アメモントは腕の爪でスカルトイ、スカルフアイターの集団を蹴散らし、ジエーニーが黒い霧を発生して、リザードソルジャー、アントアーミーの集団に幻覚を見せて攪乱させ、マナートウ、エンキナウ、ゴールドメツシユが一気に攻め込んで攻撃した。

なぎさ、ほのか「……」

由紀「プリキュアとインフェルノ、この戦いが全てを決める。」

なぎさ達元プリキュアと由紀がプリキュアとインフェルノの壮大な戦いを最後まで見届けていく。インフェルノの兵達を相手に戦うストライク達とジャスティスヒーロー。また東京都内ではインフェルノの軍勢が進軍し、都市全体に攻撃をした。

ザッパード「お前ら、何してやがる、とつとつと攻撃をしろ!!」

アルス「全力を出して戦え!!」

ザッパードとアルスが部隊を指揮しながら兵達に攻撃にかからせた。

キングファラーミイ「全軍、このままかかれ!!」

軍を指揮しながら兵達を動かしながら総攻撃させるキングファラーミイ。

アルト「俺達を忘れちゃ困るな!!」

上空からWJGの飛行船らしきものが現れて、アルト、ユーリアン、ソボレフ、クズネツオフ、アシモフ、WJGの大勢の隊員達がパラシュートで降下して着地し、インフェルノと交戦する。

アルト「こいつを喰らいな!!」

アルトが6本の矢を弓にまとめて挿入し、そのまま発射して敵部隊を蹴散らし、ユー

リアンが両手に2本の剣を持ちながら左右から大きく振りながらゾンビーンの大群を薙ぎ払った。ソボレフが巨体であるジャイアントデッドを相手に、ジャイアントのパンチを受け止めてそのまま持ち上げて、地面に叩き込み、最後にナックルダスターで殴り倒した。クスネツオフがビームランチャーで遠くから来るデユラハーンの部隊を次々と狙撃し、自身も接近しながらビームランチャーをバットのよう大きく振りながら蹴散らした。アシモフがグアーゴイルの集団を相手に戦い、バトルハンマーを大きく振るいながらグアーゴイルに喰らわせて粉碎した。WJG隊員達も奮闘しながらインフェルノの軍勢と交戦した。

バトルヴェソール「奴らを出せ。」

インフェルノ兵1「ドラン様達をですか……。」

バトルヴェソール「役立たず共に最後のチャンスをだ。後最新鋭の兵達も出せ。」

インフェルノ兵1「はっ。」

バトルヴェソールはドラン・キュラー3世達幹部らと最新鋭の兵達を出させて、プリキュア達を倒しに向かわせた。インフェルノの大軍勢を相手に激闘するストライク達、プリキュアとアイゼンアロイス達、ジャスティスヒーロー。

ストライク「このまま決める!!」

その時、彼女達の前にドラン・キュラー3世、スラツシユラー、フラーゲン、クラツシユトロイ、ラミイ、バイソツク、阿修羅弁慶、宗司、フランマシンド、ロクサーパイア、アルフェルンが突如と現れた。

ドラン・キュラー3世、スラツシユラー、フラーゲン、クラツシユトロイ、ラミイ、バイソツク、阿修羅弁慶、宗司、フランマシンド、ロクサーパイア、アルフェルン「……。」

ストライク「ドラン……!!」

シンシア「スラツシユラー……!!」

ドラン・キュラー3世達が目の前に現れたが、彼らの様子が何かがおかしかった。

ドラン・キュラー3世「うっ、うっ、うがあああああー!!」

彼らは大声で叫ぶように目つきは鋭く、まるで凶暴な獣のような表情だ。

フェッター「何か様子が変わよ。」

バトルヴェソール「さあ、見せてみる、ハデウス様から授かった力で新しくなった姿を!!」

ドラン・キュラー3世、スラッシュラー、フラーゲン、クラッシュトロイ、ラミイ、バ
イソック、阿修羅弁慶、宗司、フランマシンド、ロクサーパイア、アルフェルンらはハ
デウスから授かった邪悪な力によって強化され、彼らの姿が変わり始め、化け物ような
姿となり、ドラン・キュラー3世は巨大コウモリの姿をし、スラッシュラーは全身が醜
い機械まみれと化した巨大な姿をし、フラーゲンは所々に脈打つ筋肉が露わになった体
長十メートルにも至る巨人となり、クラッシュトロイは全身が武装まみれした巨大な姿
となり、ラミイは大量の包帯で全身が覆われ、下半身は長く、鋭い尖端を煌めかせた六
の節足が生えて、上半身はかのケンタウロスのように頭から腹部までに至る少女の身体
で形成された女郎蜘蛛の姿をし、バイソックは巨大な猛牛の姿をし、阿修羅弁慶は全身
が機械化した巨大な阿修羅の姿をし、総司は全身が巨大な落ち武者のとポロポロで醜い
ゾンビの組み合わせをした姿をし、マシンブランドは頭部以外機械スーツのような姿をし

し、ロクサーパイアは両腕と両脚が肥大化して、さらに悪魔の翼を生やし、吸血鬼から凶暴な悪魔の姿をし、アルフェルンは巨大な機械的な狼の姿となり、11人の幹部達は凶暴な怪物となってストライク達に襲いかかった。

フェッター「来るわよ!!」

怪物となったドラン・キュラー3達の強襲にすぐに攻撃にかかるストライク達。マシンフランド最終形態の腹部からビームプラスターを発射し、次にフラージェン最終形態が強烈なパワーを駆使して地面を思いっきり叩きながら衝撃波を起こし、ストライク達に喰らわせた。

一同「ああああああー!!」

フラージェン最終形態とマシンフランド最終形態の攻撃を喰らったストライク達。

マジック「プリキュア・マジックトランプショット!!」

マジックがトランプを出して、敵全体に手裏剣のように投げたが、総司最終形態が菊花丸を持ったまま、高いパワーで押しながら衝撃波を起こして、マジック達に喰らわした。

ジャック「強い……。」

クイーン「何て強さなの……。」

パワーアップしたドラン・キュラー3世達幹部11人がとてつもない強さを感じたストライク達。

アイゼンアロイス「俺達が相手だ!!」

アイゼンアロイス達ジャスティスヒーローがパワーアップした幹部達の相手を交戦する。

ソール「我が雷を受けよ!!」

ソールがミヨルニアを掲げて雷を降らして、ドラン・キュラー3世最終形態に喰らわすが、パワーアップした事で防御力も上がり、効いていなかった。

クラツシュトロイ最終形態「効かないなあ!!」

クラツシュトロイ最終形態が全身にある左腕のメガビームランチャー、胴体の多連メガナパームランチャー、両肩の3連メガミシルランチャー、両脚のメガナパームランチャー、両腰のメガパンツアーファウストを全弾一斉発射して、アイゼンアロイス達に命中した。

フェアリール「幹部達も強くなっているのね・・・!!」

ドラン・キュラー3世最終形態「プリキュア、ハデユス様に与えられた最後の力、まだまだ味わえ!!」

ドラン・キュラー3世が空中を飛び回りながら足の鋭い爪と口の牙でストライク達に喰らわし、口から赤黒光線を吐いて攻撃し、ロクサーパイア最終形態が血状で形成した斧を下ろして攻撃し、バイソック最終形態が勢いよく猛突進しながら体当たりした。

一同「ああああああー!!」

幹部達の連続攻撃を喰らうストライク達。

ラミイ最終形態「これでも喰らえ!!」

ラミイ最終形態が包帯で形成された節足から糸を放ってプリキュア、ジャスティスヒーローらを捕らえ、スラッシュラー最終形態が両手にメタルハンドクロードで引っ掻き、阿修羅弁慶最終形態が右上手に薙刀、右手中に大太刀、右手下に棍棒、左上手に槍、左手中にハンマー、左手下に小太刀を手に持ちながら猛進で強襲し、アルフェルン最終形態が素早い動きで駆けながら巨大な4足の爪で攻撃し、さらに口からビーム光線を吐き、マシンブランドが左腕のビームキャノンで射撃した。

アイゼンアロイス「あんなに強くなっているとは……!!」

ファイツ「これでは負けてしまう……!!」

ミステイック「こうなったら、ヴァンガードヒーローフォームよ、ヴァンガードヒー

ローフォームになるしかないわ!!」

ストライク「みんな、ヴァンガードヒーローフォームよ!!」

パワーアップした幹部達の強さに圧倒されたストライク達はヴァンガードクリスタルを使用し、アイゼンアロイス達と共に一体化してヴァンガードヒーローフォームになって挑んだ。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム、シンシアヴァンガードヒーローフォーム
「はあああああー!!」

ストライクヴァンガードヒーローフォームとシンシアヴァンガードヒーローフォームがフランマシンド最終形態、ロクサーパイア最終形態、アルフェルン最終形態の相手をした。ストライクヴァンガードヒーローフォームが拳で連打しながらフランマシンド最終形態に喰らわせ、次に必殺技のプリキュア・ストライクヴァンガードライジングナツクルで両腕を発光しながら強烈なパンチをした。シンシアヴァンガードヒーローフォームはロクサーパイア最終形態とアルフェルン最終形態の2体に素早く動き回り、必殺技のプリキュア・シンシアヴァンガードライトニングエアリアルでシンシアヴァン

ガードヒーローフォームが全身を発光しながら全速で突撃して飛び回りながらヒーローガンニークスツイインライフルの羽佐鬼で斬り込んだ。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「こっちの力見せてあげる!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「私達だって行くわ!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「3人で決めるよ!!」

マジックヴァンガードヒーローフォーム、ジャックヴァンガードヒーローフォーム、クイーンヴァンガードヒーローフォームはドラン・キュラー3世最終形態、フラーゲン最終形態、ラミイ最終形態に挑み、マジックヴァンガードヒーローフォームは空中を飛び回るドラン・キュラー3世最終形態に掌から光球を連射し、次に必殺技のプリキュア・マジックヴァンガードソーサリーブラストで掌から魔力で形成した多数のマゼンタの魔法光線を多数放ち、攻撃した。ジャックヴァンガードヒーローフォームは包帯で形成された節足から糸を放つラミイ最終形態に対し、ヒーローウオーテイルハルバートで斬り払い、必殺技のプリキュア・ジャックヴァンガードブレイクエルボーで片腕を発光しながら、ジャンプしながら敵に向かってエルボーで強く打ち込んだ。クイーンヴァンガードヒーローフォームがフラーゲン最終形態とパワーでぶつかり合い、クイーンヴァ

ンガードヒーローフォームが力で思いっきりフラワーゲンを押し、そのまま必殺技のプリキュア・クイーンヴァンガード舞華天翔で両手に黄色のエネルギー状の扇子を2本出現して、舞いながら飛翔して斬り込んだ。

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「鬼丸!!」

阿修羅弁慶最終形態と激闘するフェッターヴァンガードヒーローフォーム。彼の多数の腕に持っている武器から繰り出す攻撃をヒーロー烈陣セイバーで受太刀し、必殺技のプリキュア・フェッターヴァンガード烈気斬でヒーロー烈陣セイバーに気を纏いながら斬撃したが、背後から総司最終形態が菊花丸を手を持ったまま彼女に斬撃し、ダメージを喰らわせた。

ミステイクヴァンガードヒーローフォーム、アラムヴァンガードヒーローフォーム、ジュールヴァンガードヒーローフォーム「たあああああー!!」

ミステイクヴァンガードヒーローフォーム、アラムヴァンガードヒーローフォーム、ジュールヴァンガードヒーローフォームはスラッシュユラー最終形態、クラッシュ

ロイ最終形態、バイソック最終形態を相手に戦い、猛突進しかかるバイソック最終形態にミステイクヴァンガードヒーローフォームが瞬間移動しながら回避して、バイソック最終形態の真上に現れて、必殺技のプリキュア・ミステイクヴァンガードスピッキングで身体を発光して前後360°回転しながらバイソック最終形態に向かって強烈なキックした。アラムヴァンガードヒーローフォームがスラッシュラー最終形態と交戦し、ジャンプしながらスラッシュラー最終形態にキックでお見舞いし、必殺技のプリキュア・アラムヴァンガードスラッシュングスマッシュで両手両足を発光しながら、スラッシュラー最終形態に向かってキックで強く打ち込み、次にパンチで連打していき、さらに脚でかかと下ろしをし、最後にパンチで殴り込んだ。ジュルフヴァンガードヒーローフォームはクラッシュトロイ最終形態にヒーローゴールドアームズ双剣モードで斬撃し、必殺技のプリキュア・ジュルフヴァンガードツインザンバーでヒーローゴールドアームズ双剣モードを発光しながら敵に斬撃し、最後に双剣を合わせたなら上から斬り込んだ。プリキュア達の必殺技を受けたドラン・キュラー3世最終形態達には全く効いていなかった。

ドラン・キュラー3世最終形態「その程度か・・・?!」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「必殺技でも効いてないなんて・・・!!」

フランマシンド最終形態「お前達には覚悟と執念と背負っているのがない!! 私達が今からそれを教えてやる!!」

激しい覚悟と執念を燃やすと背負っているドラン・キュラー3達11人の幹部達がプ
リキュア達に自分達の全てを見せるため猛威を振るいながらかかり、フランマシンド最
終形態がストライクヴァンガードヒーローフォームとシンシアヴァンガードヒーロー
フォームに右アームと左アームのマシンクロウで引つ掻いて炎で攻撃し、次にアルフェ
ルン最終形態が素早く走りながら体当たりし、ロクサーパイア最終形態が肥大化した両
腕と両脚で攻撃した。ドラン・キュラー3世最終形態が素早く飛び回りながらマジック
ヴァンガードヒーローフォームとジャックヴァンガードヒーローフォームとクイーン
ヴァンガードヒーローフォームに突撃し、フラーゲン最終形態とラミイ最終形態が同時
に攻撃した。阿修羅弁慶最終形態が必殺技の阿修羅猛進撃でフェッターヴァンガード
ヒーローフォームに向かって突撃し、総司最終形態が菊花丸を下ろしながら衝撃波を起
こし、喰らわせた。スラッシュユラー最終形態が口から赤黒光線、クラッシュトロイ最終
形態が全武器による一斉射撃でミスティックヴァンガードヒーローフォームとアラム
ヴァンガードヒーローフォームとジュールヴァンガードヒーローフォームに喰らわせ、
続いてバイソック最終形態が猛突進しながら頭の角で攻撃した。

一同「わあああああー!!」

ドラン・キュラー3世最終形態達の高い戦闘力を前に追いやられてしまうストライクヴァンガードヒーローフォーム達。ヴァンガードヒーローフォームを圧倒する程の力を持ち、今までプリキュアにやられて来たその執念をぶち込んだ。

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「何て強さなの……。」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「私達のヴァンガードヒーローフォームより強い何て……!!」

ロクサーパイア最終形態「あたし達は地獄ですつと生きて生きて生き続けてきたんだ!!」

一同「!!」

スラッシュラーラー11人がこの最近、激しい表情をして戦って来た事に気付き、ストライクヴァンガードヒーローフォーム達は今まで彼らの事を何も知らない。

バトルヴェソール「プリキュア達もそろそろ役立たず共の過去を知る時だな。」

不適にスラッシュラー達の事を知っているかのように嘲笑うバトルヴェソール。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「あなた達には何があつたのか、教えてちょうだい。」

ドラン・キュラー3世最終形態「いいだろう、我々11人の全てを教えてやろう。」

ついに明かされるドラン・キュラー3世、スラッシュラー、フラーゲン、クラッシュトロイ、ラミイ、バイソック、阿修羅弁慶、宗司、フランマシンド、ロクサーパイア、アルフェルンの過去とは、

次回 53話へ続く

第53話 さらば11人の幹部

ついに明かされたドラン・キュラ13世、スラツシユラー、フラーゲン、クラツシユトロイ、ラミイ、バイソツク、阿修羅弁慶、宗司、フランマシンド、ロクサーパイア、アルフェルンの過去。

東京

ドラン・キュラ13世最終形態「私はかつて中世の国の国王だった、我が国は平和で家族や民も幸せに暮らしていた。ある日、大陸を支配しようとする大国が我が国に攻め入り、必死の攻防で守り抜いたが、家臣の中の1人がその大国と裏で通じ、国を混乱させる行為をして陥れ、私は何もしていない事をでっち上げられ、民は何もしていない私を疑い始め、暴動を起こし始め、国は崩壊し始め、私は信じていた民に裏切られて、やがて最後に隙を突いた大国に攻められて、結果国は滅び、家族も民も殺され、私1人だけが生き残り、何故こうなったのだと。私は全てを憎み、何故私を悪者としてでっち上げられたのかと。」

スラツシユラー最終形態「俺はただごく普通の会社員として働き、変わらない毎日を

送っていたが、俺はある日、突然社長に解雇を言い渡され、今まで一生懸命働いていた会社を追い出された。俺は生活に生き抜くために必死で他の会社に面接を受けたが、結果落とされ、俺は崩れ落ち、ある日俺は偶然道端で前の会社の同僚と会い、話を聞かされ、前の会社の社長が俺の事が気に食わないから解雇し、さらに俺が他の会社に再就職出来ないように何もしてない事をでっち上げて、ブラックリストに入れ、それを知った俺は全てに絶望し、怒り狂い、復讐するためにその社長と役員を次々と殺害し、俺は警察に逮捕され、結果俺は死刑を言い渡された。俺は死刑直前の日、隙を突いて必死で逃げながら脱獄をし、逃亡生活を送った。俺は何もしていないのに解雇されなきゃならぬのか?!

フラーゲン最終形態「俺は生まれた時から身体が大きくて醜い姿でみんなから怖がられ、いじめや差別を受けられた。家族は俺の事を大事に育てて愛してくれたと信じてくれた。だがある日、家族は俺を突然忌み嫌うようになり、可愛がった俺の事を突然殴り始め、痛ぶりだし、俺をまるで憎むように攻めて来た。俺は必死で家族や周りから逃げ出し、俺は1人でずっと生き続けて来た。俺は最初からみんなから愛されず、信じて貰えず、惨めにされて来たただだったんだ。俺が何をしたんだ、俺は犠牲者だ!!」

クラッシュトロイ最終形態「俺は自然あふれる豊かな日々を送り、村の人達と共に大切な農作物を耕したり、先祖代々の土地や自然を大事にしたりして来た。俺はその土地

を村の人達や動物と一緒に幸せに過ごしたり、みんなで育てた野菜や穀物を美味しく食べた。ある日、外国の大企業がやって来て、俺達の住んでいる土地を無理やり奪い始め、今まで大事にして来た畑などを全て燃やし尽くし、動物達の住処を奪い、さらに動物達を殺して毛皮などにし、奪った俺達の土地を工場やリゾートホテルに埋め立てられ、全てを失った俺や村の人達は絶望した。俺達の土地は何故奪われなきゃならないんだ!!」

ラミイ最終形態「あたしはお前達プリキュアと同じ、14歳の少女だったんだよ。あたしはごく普通の町で生まれ、家族や友達と一緒に仲良く暮らし、平和な毎日を送っていたんだ。ある日、第二次世界大戦中に敵国があたしの国を攻めにかかって来た事を知り、あたしらは不安を感じた。数ヶ月後に敵国の爆撃があたしらの町に強力な爆弾を落とし、町はその大爆発によつて全て焼き尽くされ、家族や友達や町の人達もみんな死に、私は爆発の影響で全身火傷を負い、醜い姿となって、全身に包帯を巻いて2度と治らない身体になった。罪のない町に何故犠牲にならなきゃならないんだ。」

バイソック最終形態「俺は元々は体格が強そうなお姿でなく、貧弱で強い力もなかった。俺は少年時代から貧弱な事が原因で周りからずっといじめられ、馬鹿にされ、仲間外れにされたり、差別もされて来た。俺はただ1人孤独で、寂しい毎日を送り、俺は何で貧弱に生まれて来たのか？俺は何で1人だけ迫害されなければならないの?!」

阿修羅弁慶最終形態「拙者は麗奈との決闘に敗れ、己の自身強くなるため、日々修行をして鍛えながら彼女に再び挑んだのを、再び彼女に敗れてしまった。俺は何故彼女に勝てなかった、何故強く鍛えても彼女だけに勝つ事が出来ない、何故だ、何故だ、何故なんだ!!」

総司最終形態「俺は亜苦羅の下級武士の子として生まれ、生まれた時から病持ちで人と同じようにうまくいかず、俺はただ一人病気のせいで身体が弱く、武士になる事が出来ず、俺は寝たつきりで過ごしていく毎日を送った。」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「じゃあ、ドランやフラーゲンやラミイやスラッシュユラーやクラッシュユトロイやバイソックや阿修羅弁慶や総司は人間だったの……?!」

ドラン・キュラー13世最終形態「絶望した私達の前に現れたのがハデユス様だ。ハデユス様は闇の力を与え、強い力を手に入れた。」

阿修羅弁慶「ハデユス殿から授かった力で拙者と総司は悪炉血様に着くよう命じられた。」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「私に勝つために力を手に入れたと言う事ね。」

フランマシンド最終形態、ロクサーパイア最終形態、アルフェルン最終形態「……。」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「あなた達3人も・・・。」

フランマシンド最終形態「私達3人が・・・?!笑わせないで、私達3人はインフェルノに故郷を滅ぼされて、2度と元の姿に戻れなくなつたのよ!!」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「どう言う事?!」

ロクサーパイア最終形態「あたしらは無理やり捕まえられて、改造されたんだよ。」

アルフェルン最終形態「私達3人はバトルヴェソールの侵略によつてインフェルノに入らされたのです。」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「入らされた?!」

フランマシンド最終形態「そうよ、私はパラレルワールドのサイレイタスで生まれ、不自由なく静かな生活を家族や友人と暮らして来た。ある日、私達の世界にバトルヴェソールの艦隊が現れ、突然攻撃をされて、私は家族や友人と一緒に必死で逃げ続けたが、追つて来た兵達に私以外の家族や友人は皆殺され、この世界の住民は私以外のみんなは殺され、故郷を火の海にし、滅んだ。捕まつた私はバトルヴェソールに改造人間にされたの。」

ロクサーパイア最終形態「あたしは惑星ナチュリアスで生まれ、あたしは元気で明るく楽しく家族と共に過ごして来た。ある日、あたしの星にバトルヴェソールの艦隊が現れて、一気に総攻撃が行われて、この星の住民を1人残らず虐殺し、偶然生き残つた

あたしは捕まり、最後に星が滅ぼされるのを目の当たりにし、家族と一緒に過ごした思い出は消え、あたしはバトルヴェソールに改造人間にされた。」

アルフェルン最終形態「私は惑星ムーランで生まれ、優しく可愛い少女として家族や周りと共に暮らして来ました。ある日、バトルヴェソールの艦隊が現れて、私の星を攻撃し、家族や住民を虐殺して星を滅ぼし、私は捕まり、バトルヴェソールに改造人間にされたのです。」

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「あなた達3人はインフェルノに故郷を滅ぼされて、改造人間にされたのね。」

フランマシンド最終形態「そうよ、だからもう私達にはもう何も残されていない、プリキュアあ、お前達を殺せば私達は幸せになれる!!」

幹部達11人が一斉にかかり、ストライクヴァンガードヒーローフォーム達に襲撃する。

ドラン・キュラー3世最終形態「死ねえええええー、プリキュアああああー!!」

11人の幹部らが同時に破壊光線を放ち、プリキュア達に喰らわした。プリキュアを

倒したと確信したドラン・キュラー3世達。ところが、破壊光線を喰らったプリキュア達が全員無事だった。破壊光線の強力な威力により、大きなダメージを負っても、やられてもおかしくない情態だった。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「もうやめよう、こんなの。」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「あなた達の悲しい気持ちがわかるの。」

フラーゲン最終形態「黙れ、お前達何が分かるフガー!!」

クラッシュトロイ最終形態「全てを失った俺達にお前達何がわかるんだ!!」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「わかるよ、あたし達だって苦しい思いはしたの。」

スラッシュユラー最終形態「ほざけ、お前ら苦しんだと?!俺らを馬鹿にしているのか?!」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「私達はあなた達と同じ苦しみを味わったの・・・!!」

バイソック最終形態「どういう事だ?!」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「あたしとはるなは双子で2人のママの間から生まれたの。」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「女性同士から生まれてきた事が原因で私とアイカは周りからいじめられ、友達も1人も出来なかったの。」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「辛かった、寂しかった、痛かった、悲しかったよ。」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「友達も欲しかったよ。」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「私は10年前、故郷をハデウスとゴウガイと悪焔血に攻められて支配され、私はハデウスとゴウガイと悪焔血を倒すため、故郷を離れざる得なくなり、私はプリキュアになるために全てを捨てて1人で強くなるため日々修行をして来た。」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「あたしはファイナルウオーでお母さんが生き別れてから1人で家事を任せられて、姉や父は仕事へ行ったり、あたしは1人でずつと家事をやらされて寂しい毎日で辛い思いばかりして悲しかった。」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「私はファイナルウオーで行方不明になった兄の代わりに会社の跡を継ぐために私は必死で会社の支えをしたり、自分したい事を犠牲にし尽くして来たの。私はみんなみたいに楽しい事なんかしていないの。苦しい毎日ばかりだったのよ。」

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「私はね、ファイナルウオーで両親は死に、泣

きながら一人で必死で逃げて、そこでは私は施設に引き取られたけど、両親を失った私は孤独の毎日を送り、不安と恐怖を感じたの。私は凄く寂しかったの。」

ミステイクヴァンガードヒーローフォーム「私はインフェルノに故郷を支配されて、毎日過酷な奴隷労働を強いられて、休む暇なく、叩かれ、傷だらけの私は抗うことなく死ぬまで働かされて、泣きながら苦しい地獄の毎日を過ごしてきたのよ。」

アラムヴァンガードヒーローフォーム「あたしとライラは幼い頃、内戦が勃発して国内は大規模な戦闘に巻き込まれて、あたしら2人は生きるために必死で逃げて来た。」

ジュールヴァンガードヒーローフォーム「少年兵となった私とイゼルは毎日戦いの日々を送り、大勢の人を殺して来て、血が滲むくらい、地獄の日々を送って来た。」

ライミ最終形態「お前達もあたし達と同じだって事なのか？」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「そうだよ。だからあなた達だって分かり合えるはずだよ。」

フランマシンド最終形態「分かり合えるだと、笑わせるな、お前らに何がわかる!! 全てを失い、狂わされた私達を馬鹿にするなあ!!」

フランマシンド最終形態が腹部のビームブラスターを乱射しながら街全体に放ち、中には逃げている人々に命中し、犠牲となった。

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「何で酷い事をするの!!」

フランマシンド最終形態「酷い?もう私達は2度と元には戻れないの。だから全てめちゃくちゃにして壊してやる!!」

全てを狂ったかのように暴れるフランマシンド最終形態ら11人は都市全体を無差別攻撃をし始めた。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「やめてえええええー!!」

都市全体に無差別攻撃するフランマシンド最終形態達を止めにかかるストライクヴァンガードヒーローフォームは、11人らの行動を阻んだ。

ドラン・キュラ13世最終形態「離せ!!」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「何でそこまでしてやるの?!」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「そんなにしないと気が済まないの?!」

フラーゲン最終形態「こいつらにも同じ苦しみを与えてやるフガー!!」

ロクサーパイア最終形態「あたしらの苦しみをわからせてやるんだ!!」
ストライクヴァンガードヒーローフォーム「苦しみをわからせる。じゃああなた達の攻撃を受けて犠牲になった人達の姿見て!!」

自分達が攻撃した人々が犠牲になったのを見たドラン・キュラー3世最終形態らは、
女の子「うわああああー、パパあつ、ママあつ!!」

さっきの攻撃の被害で父親と母親がその攻撃を受けて死亡した事で、泣きながら叫ぶ女の子。また妻子がその攻撃によって死亡して泣き出す男性や建物が倒壊して下敷きになって大勢の人々が死亡した。

ドラン・キュラー3世最終形態、スラツシユラー最終形態、フラージェン最終形態、クラツシユトロイ最終形態、ラミイ最終形態、バイソック最終形態、阿修羅弁慶最終形態、宗司最終形態、フランマシンド最終形態、ロクサーパイア最終形態、アルフェルン最終形態「!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「これがあなた達が望んだ事なの?!」

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「あなた達は憎しみを生み出しただけじゃないの?!」

スラッシュラー最終形態「黙れ、黙れ、黙れ、黙れ、黙れええええー!!」

自分達が街全体を攻撃した事で逃げ遅れた人々が犠牲になった姿を見て、昔の自分達を思い出し、自暴自棄になって無差別攻撃を再び始めた。

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「どこまで暴れるの!!」

再び止めにかかろうとするが、突如ヴァンガードヒーローフォームが解除されて、一体化していたアイゼンアロイス達が現れた。

ストライク「アイゼンアロイス。」

アイゼンアロイス「奴の暴走は俺達も止める。」

ファイツ「彼らの過去は私達も同じだ。」

ソール「私達も彼らを止めるぞ!!」

マジック「ありがとう、彼らをきちんと救いたい!!」

ジャステイスヒーロー達と共にするストライク達はドラン・キュラー3世最終形態らを説得する。

アイゼンアロイス「お前ら、酷い思いをしたのはわかる!!だが、お前達だけじゃねえんだ!!」

バイソック最終形態「黙れ、お前達に何がわかる!!」

アイゼンアロイス「俺達だって同じを想いしてきた!!俺は人間だった頃は世界に誇る大企業として、世界各地をめっちゃめっちゃにした事は今も罪深く感じている、俺の事を恨む者は何百万人もいる!!」

ファイツ「私は人間だった頃はアメリカ兵として大勢の命を奪い、自分は人を殺してきた事で最低な人間として今もずっと反省している私は恨まれて構わない!!」

ソール「私は故郷にいた時、弟を救えなかった無念を感じ、私は何故大事な家族を救えず、今もその後悔が残ったのを!!」

バルクマツスラー「俺は人間だった頃は科学者として活躍していたが、ある日、事故で俺は今の姿となり、俺は周りを怖がらせないため家族や全てを捨てて1人孤独の身となった!!俺は何十年1人で寂しくずっと耐えてきたんだ!!」

烈陣丸「拙者はまだ幼い麗奈様と共に過ごして来た亜苦羅をハデユスに堕ちた悪炬血とゴウガイに立ち向かうために仲間達と共に全力で挑んだのも、奴らの強さに敵わず敗れ、亜苦羅は支配され、拙者達は己の弱さに悲観し、無念を感じたでござる!!」

ミラーシエナ「私はパートナーであるクレアの故郷を助けず、インフェルノに手を貸してしまった事で私は罪を感じて、その後悔が残ってしまった事を!!」

阿修羅弁慶最終形態「黙れえつ、貴様らごと分かってたまるか!!拙者達はもう後がない、後がないんだ!!」

総司最終形態「もう失敗は許されないんだ!!後がないんだ!!」

ラミイ最終形態「あたしらの全てをぶつけてやる!!」

ドラン・キュラー3世最終形態、スラツシユラー最終形態、フラーゲン最終形態、クラツシユトロイ最終形態、ラミイ最終形態、バイソツク最終形態、阿修羅弁慶最終形態、宗司最終形態、フランマシンド最終形態、ロクサーパイア最終形態、アルフェルン最終形態「うおおおおおー!!」

最後まで聞く耳を持たず、さらに闇の力を強大に引き出しながら凶暴化もし、もはや完全に凶暴な獣のように暴れ尽くし出した。

アイゼンアロイス「もうあいつらを倒す以外方法はねえ!!」

ストライク「ドラン達を……!!」

アイゼンアロイス「今のあいつらを止めるには倒す以外方法はない……。」

ストライク「彼らを助ける事はもう出来ないって事なんだね……。」

アイゼンアロイス「ああなってしまった以上、倒す以外方法はない。だから倒して安からに眠らすしかない……。」

ストライク「もうそれしかないって事なんだね……。」

破壊と殺戮をするドラン・キュラ13世最終形態らを倒す以外方法がないと判断したアイゼンアロイスにストライクは苦ししながら彼らを倒して安らかに眠らせる事を選び、9人のプリキュアは暴れ尽くすドラン・キュラ13世最終形態ら11人を倒しにかかった。

スラッシュユラー最終形態「邪魔をする気か?!

ストライク「あなた達を安からに眠らせる。」

シンシア「もう終わらせよう。」

フランマシンド最終形態「小癩なあつ、お前達からあの世に送ってやる!!」

ストライク達に襲いかかるインフェルノの幹部達。ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュールらが必殺技を發動させた。

ストライク「プリキュア・ストライクサンシャイン!!」

シンシア「プリキュア・シンシアサンシャイン!!」

フェッター「プリキュア・フェッターソードシヨット!!」

マジック、ジャック「プリキュア・デュアル・オブ・ジャツジメント!!」

クイーン「プリキュア・クイーンパレットシユート!!」

ミステイック「プリキュア・ミステイックシヨット!!」

アラム「プリキュア・アラムストームエツジ!!」

ジュール「プリキュア・ジュールブレイク!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュールらが必殺技を發動して、ドラゴン・キュラー3世最終形態、スラツシユ

ラー最終形態、フラーゲン最終形態、クラツシュトロイ最終形態、ラミイ最終形態、バ
イソツク最終形態、阿修羅弁慶最終形態、宗司最終形態、フランマシンド最終形態、ロ
クサーパイア最終形態、アルフェルン最終形態に喰らわせた。

ドラン・キュラー3世最終形態、スラツシュラー最終形態、フラーゲン最終形態、ク
ラツシュトロイ最終形態、ラミイ最終形態、バイソツク最終形態、阿修羅弁慶最終形態、
宗司最終形態、フランマシンド最終形態、ロクサーパイア最終形態、アルフェルン最終
形態「ぐおおおおおー!!」

ストライク達11人の必殺技を喰らったドラン・キュラー3世最終形態、スラツシュ
ラー最終形態、フラーゲン最終形態、クラツシュトロイ最終形態、ラミイ最終形態、バ
イソツク最終形態、阿修羅弁慶最終形態、宗司最終形態、フランマシンド最終形態、ロ
クサーパイア最終形態、アルフェルン最終形態らは消滅をし始めた。

ドラン・キュラー3世最終形態「があっ!!」

スラツシュラー最終形態「俺達は……!!」

フラーゲン最終形態「ここまでフガ……!!」

クラッシュトロイ最終形態「あつ、あああ．．．!!」

ラミイ最終形態「終わっちまったか．．．。」

バイソック最終形態「俺達も最期か．．．。」

総司最終形態「ここで最期か．．．。」

阿修羅弁慶最終形態「終わりか．．．。」

フランマシンド最終形態「私達もこれで死んじやうんだね．．．。」

ロクサーパイア最終形態「そうだな。」

アルフェルン最終形態「ようやく終われましたね．．．。」

そう言いながら彼らは浄化し、苦しみから解放されて、ようやく彼らは消え去った。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュール「．．．。」

彼らを倒す事以外の方法で救う事が出来ず、辛く哀しい気持ちになり、涙を溢した。

ストライク「うわああああーん、ごめんよ!!あなた達を救ってあげる事が出来なく

て本当にごめんよ!!」

シンシア「ごめんなさい!!あなた達の辛い思いを救ってあげなくて、本当にごめんなさい!!」

フェッター「鬼丸、あなたの事をわかってあげなくて……!!」

マジック「あたし達は結局救えなかった……!!」

ジャック「彼らを倒す以外で救えなかった……!!」

クイーン「彼らの苦しい気持ちを救ってあげれなかった……!!」

ミステイック「私達は助けてあげれなかった……!!」

アラム「何でだよ、何で、こうなっちまったんだよ!!」

ジュルフ「何故救えなかったんだ!!」

自分が彼らを救ってあげる事が出来ず、ただ泣き叫びながらその悔しさを感じた。彼らを救いたかった、何故自分達は救う事が出来ず殺してしまったのか?!そして彼女達の前で、ドラグードとカロンが現れた。

ドラグード（戦闘形態）「プリキユア。」

ストライク、シンシア「ドラグード!!」

マジック「カロン!!」

ジャック「お兄様……。」

ドラグード（戦闘形態）「決着を着けようではないか?！」

再び現れた2人の宿敵にストライク達は対峙する。

次回 54話へ続く

第54話 東京激戦

第54話

東京都全体で繰り広げられる大規模な戦い、大軍勢でかかるインフェルノは大進撃した。

東京

バトルヴェソール「もたもたするな、今日こそ人間界を我がものとするのだ!!」

全軍を指揮するバトルヴェソールは兵達を動かして、一気に総攻撃をかけた。

チエーニタクティカルマスター「はあああああー!!」

両腰に装備されているタクティカルマスターズランチャーで強力なビームを放ってインフェルノの大軍を蹴散らした。

バトルヴェソール「準備は出来たか?!

インフェルノ兵「はっ!!」

バトルヴェソール「最上級兵達を出現させる!!」

バトルヴェソールは新たに用意した最上級兵を出撃させるため、エビルシップ、エビルクルーザーから一斉発進し、戦場で激しい戦いを繰り広げる中、巨大なカボチャのラントンの姿をしたパンプランタン、ベノムマシンの強化版ベノムマシンII、マシンソルジャーの陸戦特化のタンクマシンソルジャー、空戦特化のジェットマシンソルジャー、スカルファイターの上級形態のスカルパラディーン、レブナツの上級形態のグールドが姿を現した。

アルト「何だあれは?!

ユーリアン「見たこともないものですね。」

初めて見る新たな敵兵の姿に驚くアルトとユーリアン。タンクマシンソルジャーが頭部のヘッドビームキャノンで攻撃して来た。

アルト、ユーリアン「!!」

すぐに攻撃を回避した2人。だが、そのとてつもない威力によって大爆発によって爆風が起きた。

アルト「何だ、この威力は?!」

タンクマシンソルジャーの大軍が一斉射撃をし、襲いかかった。

デイメンション「何だ、こいつは?!」

スカルパラダイーンの集団に襲われるデイメンション。スカルパラダイーンがハンマーを思いっきり振り回して、デイメンションに喰らわし、次に他のスカルパラダイーンが大剣で斬撃した。

パーフェクト「何て数なの?!」

空中が迫るジェットマシンソルジャーの大軍が一斉に空爆し、地上にいるパーフェクトに襲いかかった。パーフェクトはパーフェクトランチャーで攻撃するが、各機が連携を取りながら一斉回避し、両翼からミサイル、6連ミサイルポッドが一斉発射され、地上にいるパーフェクトとWJGの隊員達を蹴散らした。

ジェノサイド「雑魚の割に強い!!」

グールードの集団を相手に戦うジェノサイド。グールードは口から猛毒液を吐いていき、ジェノサイドに向けた。すぐにジャンプして回避したが、グールードが大きく飛びかかって、ジェノサイドに爪で引っ掻いた。

コード「なっ、何なの?！」

突如現れたパンプランタンの口から巨大な蔓の攻撃を受けたコードの操縦するキュアライドロボ1号機。彼女もビームソードでパンプランタンの巨大な蔓を切断し、パンプランタンを一刀両断したが、他のパンプランタンが口から放った爆弾を喰らってしまい、被弾した。

ステルス「このっ!!」

ステルスの操縦するキュアライドロボ2号機がベノムマシンIIの集団と交戦し、ベノムマシンIIが右腕に大型アームビームソード、大型アームビームマシンガンでキュアライドロボ2号機に攻撃し、キュアライドロボ2号機がパンチで殴り、ビームガトリングガンで射撃し、撃退したが、他のベノムマシンIIがキュアライドロボ2号機に大型アームビームソードで斬撃した。パンプランタン、ベノムマシンII、タンクマシンソルジャー、ジェットマシンソルジャー、スカルパラディーン、グールドの上級兵らに圧倒されるWJG。インフェルノは上級兵だけでなく、リビングデッドマシンから歴代幹部達も蘇らせて、一気に攻めかかった。

ソボレフ「来るぞ!!」

リビングデッドマシンから現れた歴代幹部達が迫り、ソボレフらに襲い掛かった。

ピーザード、ゲキドラゴ、ポイズニー、イクルーポ、ジュナ、レギーネ、ベルゼイ、

サーキュラス、ウラガノス、ビブリス、バルデス「うおおおおー!!」

ピーザード達元ドクツゾーンらの幹部達が一斉にソボレフに襲い掛かった。

ソボレフ「死者の分際があつ!!」

ナツクルダスターによる連打パンチを繰り出しながらピーザード達にお見舞いするソボレフ。だが、ゲキドラーゴ、ジユナ、ウラガノスが3人がかりでソボレフを取り押さえ、彼の動きを封じた。

ソボレフ「離せ!!」

ゲキドラーゴ、ジユナ、ウラガノスらによって身体を取り押さえられて身動きを封じられてしまったソボレフはピーザードらの反撃に遭う。

カレハーン、モエルンバ、ドロドロロン、ミズ・シタターレ、キントレスキー、ギリンマ、ガマオ、アクラネア、ブラツデイ、ハデーニヤ、スコルプ、ネバタコス、シビレツ

タ、イソギーン、ヤドカーン、ムカーディア、アナコンデイ「わあああああー!!」

カレハーンらダークフォール、ギリンマらナイトメア、スコルプらエターナルの元幹部らと交戦するアレクセイ、アシモフ。身体を溶かしたドロドロロンが2人の元に近づいたため地面に潜って、2人の足元を掴んで動きを封じ、ガマオとネバタコスが同時攻撃でアレクセイ、アシモフに喰らわせた。

クライン、サソリーナ、クモジャキー、コブラージャ、バリトン（怪物形態）、バズドラ（怪物形態）ファルセット（仮面形態）、ウルフルン、アカオーニ、マジヨリーナ、リヴァ、グーラ、ナマケルダ、ホツシーワ、オレスキー、ストップ、フリーズ、バツデイ、スパルダ、ヤモー「おおおおおー!!」

クライン達蘇った元幹部達がウォーブレイカープリキュアに一斉に襲い掛かった。

アルカディア、セラフ、キャリバー「!!」

アルカディアがスプリートマグナムで応戦しながらセラフがセラフイムセイバー、

キャリバーがキャリバーブレイドで次々と斬撃したが、実力が高い故に多数で攻めにかかられ、圧倒された。戦いはインフェルノが優位に進み、W J Gを大打撃を与えた。

アルト、ユーリアン「うっ!!」

インフェルノの上位兵部隊と蘇った歴代幹部達に大苦戦を強いられるW J G。

アルト「これじゃ勝てねえぞ!!」

ユーリアン「私達だけでは勝ち目がないわ!!」

今いる自分だけでは勝ち目がないと確信し、このままではやられて全滅してしまう。その時、上空からいくつかの人数が現れて、タンクマシンソルジャーに突然攻撃した。

アルト、ユーリアン「!!」

チエスメイト「私も駆け付けに参りました。」

アルト「お前はまさかチエスメイト!!」

チエスメイト「皆様、お久しぶりです。居るのは私だけではありません。」

ピンチに陥ったアルトとユーリアンを救ったのはチェスメイトだった。東京での戦場で来たのは彼だけではなかった。

満、薫、ウエスター、サウラー「はああああー!!」

満、薫、ウエスター、サウラーも駆け付けに参戦し、4人はアルカディア達3人を救うべく、クライン達と交戦し、ウエスターがパンチで次々と殴り散らしていき、サウラーがキックで蹴りながら次々と倒し、最後に満と薫が精霊の力でクライン達に喰らわして、浄化した。

ブンビー(戦闘形態)、レジーナ、テンダー、ミラージュ、ファントム「たあああああー!!」

ブンビーが戦闘形態となって、カレハーン、モエルンボに攻撃し、レジーナがミラクルドラゴングレイブでスウィングし、テンダーがキントレスキー、ガマオ、ネバタコスらにナツクルでお見舞いしていき、ミラージュとファントムが同時攻撃で他の幹部達を

蹴散らした。

シャツト、ロツク、ジユリオ、グレイブ、チャラリート、パツプル、ダイガン
「うおおおおー!!」

シャツト、ロツク、ピカリオ、グレイブ、チャラリート、パツプル、ダイガンらは大
多数のタンクマシンソルジャー、ジェットマシンソルジャーを相手に戦い、シャツトと
ロツク素早い動きを駆使して、タンクマシンソルジャーを翻弄し、チャラリート、パツ
プル、ダイガンらが次々と破壊した。ピカリオがクリームエネルギーを形成して大きな
鞭のように振りながら、空中にいるジェットマシンソルジャーを攻撃し、グレイブが
次々と殴り込んだ。

カッパード「俺達も加えさせてもらおう!!」

テンジヨウ「私達もみせるわよ!!」

アイワーン「やってやるっつうの!!」

スタートウインクルプリキュアのかつての敵だったノットレイダーのカッパード、テ

ンジョウ、アイワーン、ガルオウガが駆け付けに現れ、インフェルノと交戦中のWJGを助けた。カッパードが上下に付いた光刃でパンプランタンをみじん切りにして切り刻み、テンジョウが扇子でベノムマシンIIを突風で吹き飛ばして、最後にアイワーンの操縦するロボットに攻撃されて倒された。ガルオウガはバトルヴェソールと対決していた。

ガルオウガ「貴様からは全く他者を冷たくしているな。」

バトルヴェソール「兵は俺の忠実な道具だ、道具は上の命令に従えばいい!!」

ガルオウガ「そうやって今まで相手を扱って来たのか?」

バトルヴェソール「役立たずは切り捨て、死だ!!」

ガルオウガ「貴様はここで消す!!」

バトルヴェソールを倒しにかかるガルオウガが拳でストレートで打ち込み、バトルヴェソールはヴェソールキャノンで砲撃し、バトルヴェソールの攻撃を拳で殴り払い、そのまま彼に思いつき殴り込んだ。

バトルヴェソール「ぐわあああああー!!」

ガルオウガの攻撃を喰らうバトルヴェソールはボディに大きな損傷をし、破壊寸前に陥った。

バトルヴェソール「貴様如きに何故俺様が!!」

ガルオウガ「貴様のような奴を生かすわけにはいかん。だからここで終わらせてやる!!」

最後にガルオウガが拳でバトルヴェソールの胴体を貫き、そのまま破壊し、バトルヴェソールを完全撃破した。戦いはプリキュアのかつての幹部達が加勢した事により、WJGが優位に立った。

チエスメイト「ザッパード、アルス、この戦いをやめるんだ!!」

ザッパード「裏切り者があつ!!」

アルス「ここで始末してやる!!」

かつての仲間であるザッパードとアルスと対峙するチエスメイトは2人を説得して

戦いをやめるよう求めが、2人は制止せず、組織を裏切ったチエスメイトを攻撃した。

東京大パレードピック会場

地下室

ラスフェッター「ふふふふ、WJGとインフェルノ、どちらが滅ぶか。」

ロークット「見物ではないか。」

ブランバグ「プリキュアもバカだな、仕組まれた戦いだというのを。」

アゼール「さあ、どうなるかだ。」

ゴーゴルステノー「レヴオリユード様もそろそろお参り来る頃ですわ。」

ゴーゴルアレー「ハデユス様とD r i j s様も一緒に来るわね。」

ゴーゴルドウーザ「楽しみ。」

ラスフェッター「むしろグローヴァリテイが勝つかだ。」

ロークット「WJG、インフェルノにもわしらの者が潜んでおる。」

ラスフェッター「全てワシらに牛耳られているのを。」

東京大パレードピックで起きた戦いで暗躍するラスフェッターらは自分達の仲間をWJGやインフェルノに潜ませて、あらゆるものを牛耳り、世界はグローヴァリ

ティによって支配されていた。

あさぎ市

あさぎ市役所

滝絵「ふつ、余裕だったわ。こんな奴ら楽勝、楽勝よ。」

W J Gの新人隊員だった滝絵が何故か同じW J G隊員やあさぎ市役所の人間を殺害し、彼女が手に持っているものはアイカ達が集めたフェアリージュエルだった。

東京

ストライク、シンシア「はあああああー!!」

東京での戦いは激闘、果たしてどうなる。

次回 55話へ続く

第55話 宿命の再戦

ドラグードとカロンと再び対決するストライク達。

東京

ドラグード（戦闘形態）「プリキュア、ジャスティスヒーロー達よ、お前達がどこまで強くなったか見せてもらおう!!」

プリキュアとジャスティスヒーローがどこまで強くなったか見せるべくドラグードとカロンが彼女達に全力でかかった。

ストライク、シンシア「やらせない!!」

ストライクとシンシアがドラグードに対し、同時にパンチを繰り出していき、彼を突き飛ばした。

ドラグード（戦闘形態）「くっ!!」

ストライクとシンシアの同時攻撃を喰らったドラグードは必殺技の龍獄龍光波を放ち、2人に向けたが、アイゼンアロイスが両手から出刃したビームソードによつて切り払われた。

アイゼンアロイス「やらせてたまるか!!」

ドラグード（戦闘形態）「私の攻撃を斬り払うとは。」

フェアリール「これを受けてみなさい!!」

フェアリールがドラグードの方位全体にマスカット銃をいくつか召喚して一斉射撃した。ドラグードはフェアリールの攻撃を受けつつびくともせず、そのまま彼女の元へ近付きかかった。

ボルケリート、スカヴァ、鉄斎、明利江、ブレイディオ、ガンニークス
「たあああああー!!」

ドラグードの目の前にボルケリート、スカヴァ、鉄齋、明利江、ブレイディオ、ガンニークスが現れ、鉄齋が気力で形成したエネルギー状の拳、ガンニークスが2丁ガンニークスガンから光波をドラグードに向けて放ち、ボルケリートが両手に纏った火炎で殴り込み、スカヴァが両手から吹雪を放ちながら攻撃し、ブレイディオがブレイディオソード、明利江が2本の羽佐鬼で斬り込んだ。

ドラグード（戦闘形態）「くっ!!」

ジャステイスヒーロー達の一斉攻撃を受けたドラグードはダメージを喰らった。

ドラグード（戦闘形態）「やるようだな、こちらも行かせて貰おう。」

ドラグードが瞬間移動しながらストライクとシンシアとアイゼンアロイス達に向かってパンチとキックで次々と喰らわせた。

ストライク、シンシア「!!」

ドラグードの攻撃を受けたストライクとシンシアはすぐにすぐに間合いを挟みかかり、ストライクがパンチ、シンシアがキックでそれぞれ攻撃にかかった。2人の攻撃を両手でしっかり受け止めたドラグードはそのまま振り払った。

アイゼンアロイス、フェアリール「貫った!!」

その直後にアイゼンアロイスとフェアリールがドラグードに近接し、至近距離から射撃しながらドラグードにダメージを与えた。

ドラグード（戦闘形態）「ぐうっ!!」

アイゼンアロイスとフェアリールの至近距離からによる射撃を受けてダメージを受けたドラグード。

ドラグード（戦闘形態）「やってくれたな!!」

ドラグードは必殺技の龍獄龍光斬でアイゼンアロイスとフェアリールにアームドラ

ゴブレードにエネルギー状を纏いながら強力な斬撃しかかった。

ストライク、シンシア「はあああああー!!」

その時、彼の頭上からストライクとシンシアが現れ、彼に同時キックでお見舞いした。

カロン「散れ。」

カロンと交戦するマジックとジャック。カロンは大鎌を右手に持ちながら2人に向かって斬りかかった。

マジック、ジャック「!!」

マジックとジャックがジャンプしてかわし、2人はカロンに直接パンチでお見舞いした。

カロン「くっ!!」

マジックとジャックの同時攻撃を受けたカロンは必殺技のデスフレイムで掌からハデユスの邪悪な力で形成した火炎を放った。

マジック、ジャック「あああつ!!」

カロンの放った必殺技を喰らってしまったマジックとジャック。その隙にカロンが攻撃にしかかって来た。

ソール「そうはさせん!!」

ファイツ「我々も忘れては困る!!」

ソールとファイツがカロンの前に駆け込み、ソールがミヨルニアで殴り、ファイツがパンチで直接カロンに喰らわせた。

カロン「ジャステイスヒーローめ・・・!!」

プリキュアと同じ宿敵であるジャスティスヒーローのソールとファイツを倒すべく、分身体を形成して、大鎌で一斉に斬りかかった。

ウオーテイル、ウイザーデイ、ヴォイダートマン、スーパーレデイ「たあああああー！！」

ウオーテイル、ウイザーデイ、ヴォイダートマン、スーパーレデイがカロンとその分身体に対し、ウイザーデイが多数の水状の槍を召喚してカロンの分身体に喰らわせ、ウイザーデイがいくつかの魔法陣を出現してチェーンを多数放って攻撃して分身体を打ち消し、ヴォイダートマンがカロンに向かって飛びかかって、ペアクローで攻撃し、続いてスーパーレデイがパンチで思いっきり殴り込んだ。

カロン「私を舐めるなっ!!」

ウオーテイル、ウイザーデイ、ヴォイダートマン、スーパーレデイの連携攻撃にカロンは必殺技のデスサイズダークローリングショットでハデユスの邪悪な力で形成した6つの闇状の光輪を放ち、喰らわせた。

マジック、ジャック「そこっ!!」

マジックとジャックが同時にカロンにパンチでお見舞いし、カロンにダメージを与えた。

クイーン「行くよ!!」

フェッター「えええっ!!」

バルクマッスラー「俺が倒してやる!!」

翔華楽「あたしらの力見せていこう!!」

大和丸「決めてやるぜ!!」

烈陣丸「拙者達も参る!!」

光陰命「決戦の時です!!」

隼疾風「こちらも参る!!」

クイーン、フェッターはバルクマッスラーらと共にコロッセオスとヴァイルと交戦し、槍技を繰り出すヴァイルに、クイーンはキュアナギナライフル薙刀モードでぶつか

り合い、クイーンは真つ正面から連続突きでコロッセオスに向け、コロッセオスも彼女の攻撃を受け止め、コロッセオスはシャークトライデントを回しながら彼女に攻撃した。

バルクマツスラー、翔華楽、大和丸「そこだ!!」

コロッセオスの隙を突いてバルクマツスラー、翔華楽、大和丸がかかり、バルクマツスラーが真上からかかって殴り、翔華楽がコロッセオスの周りを動き回りながら翻弄し、その隙に大和丸が橙破槍で攻撃した。

コロッセオス（戦闘形態）「舐めるなあっ!!」

クイーン「負けるわけにはいかないわ!!」

両者の持つ槍と槍がぶつかり合い、互角に渡り合うクイーンとコロッセオス。

フェッター「今度こそ決着を付けてやる!!」

ヴァイル（戦闘形態）「貴様をここで最期にしてやる!!」

空中を飛行するヴァイルが地上にいるフェッターに向かって、イーグルツインガンで射撃した。フェッターはキュアカタナテップウ刀モードで斬り払いながら鉄砲モードに切り替えて、空中にいるヴァイルに射撃した。ヴァイルが必殺技のコンドルウイングタイフーンでコンドルウイングを羽ばたきながら竜巻を発生させようとするが、

烈陣丸、光陰命、隼疾風「はああああつ!!」

烈陣丸、光陰命、隼疾風らが飛びかかってヴァイルの行動を阻み、隼疾風が空を飛び回りながらヴァイルに攻撃し、光陰命が自身の同サイズの人型式神を4体呼び出してヴァイルに取り付かんで動きを崩して落下し、そしたら烈陣丸が戦烈鬼で斬り込んだ。

ミステイック「ふっ!!」

ミステイック、アラム、ジュルフらは敵兵の大軍の相手をし、交戦していた。

アラム、ジュルフ「はあああああー!!」

アラム、ジュルフと一緒に組んでいきながら、地上にいるタンクマシンソルジャー、スカルパラディーン、グールードの部隊と戦い、ハンマーで下ろしかかるスカルパラディーンにアラムが蹴りで連打を繰り返しながら突き飛ばして他のスカルパラディーンの集団にぶつけ、ジュルフがグールードをパンチで強く殴り飛ばしながら他のグールードの集団にぶつけて蹴散らした。

「ミステイック「そこっ!!」」

ミステイックがパンチでタンクマシンソルジャーを次々と破壊し、他のタンクマシンソルジャーがヘッドビームキャノンで攻撃して来るのをすぐに交わし、ミステイックサークルスピナーで砲身の中に射撃して破壊した。

ミラーシエナ、エスパネス、ワプニオン、ジェーニー、アラミラード、エンキナウ、アムメント、マナートウ、ゴールドメツシユ「はああああー!!」

ミラーシエナ達も敵の大軍にかかり、ジェーニーが黒い霧を発生して、進軍して来る

敵の師団に幻覚を見せて混乱状態にし、そうしたらミラーシエナ、ゴールドメツシュが遠距離から射撃しつつ、空中にいるジェットマシンソルジャー、マシンウオーリア、レイスドン、バットルをワプニオンが上空から異空間の穴を空けて光弾を降り注いで攻撃し、エスパネスが機械であるジェットマシンソルジャー、マシンウオーリアを念力で動かして衝突させ、そしてアラミラード、アメモント、マナートウ、ゴールドメツシュが一気に総攻撃をし、次々と撃破した。

ストライク、シンシア「プリキュライドチェンジスプラッシュユスター!!」

ストライクとシンシアはブルーム、イーグレットに変身し、ドラグードとぶつかり合った。ブルームストライクとイーグレットシンシアが空中で飛行しながらドラグードに精霊の力で纏ったキックでお見舞いし、同時に必殺技を発動した。

ブルームストライク、イーグレットシンシア「プリキュア・ツイン・ストリーム・スプラッシュユ!!」

2人が片手のひらに精霊の力を収束し、それぞれの片手に精霊の力を収束させた後、

精霊の力を集めた手の甲のマークに発光し、回転した片腕から金色と銀色の2つの異なるエネルギー奔流で両手を打ち出た。

ドラグード（戦闘形態）「そこかつ!!」

2人の打ち出した必殺技を両腕のアームドラゴブレードで斬り払い、2人に向かって直接斬り込んだ。

ブルームストライク、イーグレットシンシア「あああつ!!」

ドラグードの攻撃を受けて通常形態に戻されてしまったストライクとシンシアは、それぞれのキュアブレードマグナム銃モードを出して、ドラグードに射撃し、剣モードに切り替えながらすぐに斬撃した。

ドラグード「貴様ら、私を侮って困るぞ!!」

2人に対し、勢い良くかかるドラグード。

アイゼンアロイス「させるか!!」

フェアリール「やらさせないわ!!」

2人に接近しかかるドラグードに対し、フェアリールがマスケツト銃で射撃し、アイゼンアロイスが体当たりでドラグードの姿勢を崩した。

ドラグード「うっ!!」

アイゼンアロイス、フェアリールに行動を阻まれて、動きを崩したドラグード。

ドラグード「強くなっただけでなく、ジャステイスヒーローとの絆を深めたのか。」

ストライク「そうよ、あたし達は強くなっただけじゃない。」

シンシア「プリキュアやジャステイスヒーローのみんなと共に絆を深めたのよ。」

ドラグード「面白い、なら全てを見せてみる!!」

強くなっただけでなく、プリキュアやジャステイスヒーロー達と共に絆を深めたスト

ライクとシンシアにその全てを見せるため、全力でかかるドラグード。

マジック、ジャック「プリキュライドチェンジハートキャッチ!!」

マジックとジャックはプロッサムとマリンに変身し、カロンに各フラワータクトでエネルギー波を放ち、攻撃した。

プロッサムマジック、マリンジャック「プリキュア・フローラルパワー・フォルティシモ!!」

プロッサムマジックとマリンジャックが花の力を集めて手を繋ぎ、タクトを振ってフォルティシモ記号のような形をしたピンクとブルーのエネルギーを生み出し、それを身に纏ってカロンに突撃するが、

カロン「貴様らっ!!」

カロンも瞬間移動しながら突撃する2人の元に現れて大鎌で斬り付け、さらに蹴りで打ち込みながら掌から光弾を連射した。

ブロッサムマジック、マリンジャック「うっ!!」

カロンの攻撃を受けて通常形態に戻されたマジックとジャックは、それぞれのステッキスピアを出して、カロンに攻撃した。

カロン「消えろ!!」

カロンも大鎌から繰り出す斬撃でマジックとジャックに喰らわし、次にハデユスの邪悪な力で形成した火炎を放つが、

ファイツ「そうはさせない!!」

ファイツが2人の前に立って、カロンの放った火炎をジャステイスシールドをかざしながら防御した。

ソール「我が雷を受けよ!!」

ソールがミヨルニアに雷を集中させて、強力な雷光を放ち、カロンの喰らわせた。

カロン「ぐわあっ!!」

ソールの放った強力な雷を喰らい、大ダメージを受けたカロンは顔にはめている仮面が割れジャック如く海の実兄の勇一の姿に再びなった。

ジャック「お兄様!!」

勇一「うっ、うううっ!!」

カロンの仮面が割れた今、すぐに兄の勇一を助けに向かおうとするジャック。すると割れた仮面が元に戻り、勇一の顔に貼り付き、再びカロンとなった。

カロン「感動の再会はここまでだ。」

ジャックに大鎌で斬りかかろうとするカロン。

マジック「させない!!」

マジックがカロンのマジックステッキスピア槍モードで刺突し、攻撃を阻んだ。

ジャック「マジック!!」

マジック「一緒にあなたのお兄さんを助けよう。」

ファイツ「君のお兄さんを必ず助け出そう。」

ソール「我々と一緒に。」

カロンに取り憑かれた兄の勇一を救うべく、ジャックはマジック達と共に救出行動する。

フェッター、クイーン、ヴァイル、コロッセオス「はああああー!!」

フェッター、クイーンはヴァイルとコロッセオスと激突し、両者互角の戦いを繰り広げていた。フェッターがキュアカタナテツポウ刀モードでヴァイルに斬撃を繰り返す

ていき、クイーンがキュアナギナライフル雑刀モードでコロッセオスに攻撃した。

ミステイック、アラム、ジュール「トリプル・プリキュアキック!!」

ミステイック、アラム、ジュールが現れて、ヴァイルとコロッセオスに空中から同時キックでお見舞いした。

フェッター「ミステイック、アラム、ジュール!!」

ミステイック「ここは私達に任せて。」

アラム「ヴァイルとコロッセオスはあたしらに任せな。」

ジュール「ストライク達の元へ行くんだ。」

クイーン「わかったわ。」

ヴァイルとコロッセオスはミステイック、アラム、ジュールが引き受けて、フェッターとクイーンと烈陣丸達はストライク達の元へ向かった。ドラグード、カロンと激闘するストライク達は、

ドラグード（戦闘形態）「ここまで私とやり合うとは初めてだ。」
ストライク「こうして渡り合うのもあたし達も強くなつた証拠ね。」
カロン「お前達がここで最期と言うのに変わりはない。」
マジック「最期かどうかはわからない。」

ドラグードとカロンと戦いを繰り広げるストライク達。果たして決着は、

次回 56話へ続く

第56話 宿命の決着

ドラグード、カロンと激闘するストライク達。

東京

ドラグード（戦闘形態）「お前達に私の本気を見せてやろう。」

本気の出したドラグードがストライク達に強襲しかかって来た。

ストライク、シンシア「はああああー!!」

ドラグードの強襲に対し、ストライクとシンシアが一緒になって、パンチを同時に出しながらドラグードに喰らわした。

ドラグード（戦闘形態）「私に喰らわすとは、だが・・・!!」

すぐに反撃に出て、ストライクとシンシアに対し、必殺技を発動する。

ドラグード（戦闘形態）「龍獄龍光斬!!」

ドラグードはアームドラゴブレードにエネルギー状を纏いながらストライクとシンシアに斬撃した。

ストライク、シンシア「うううっ!!」

ドラグードの必殺技を受けたストライクとシンシア。

カロン「さあ、今日こそ終わりの時だ。」

カロンが大きく振りながら、マジックとジャックに斬りかかった。

マジック、ジャック「!!」

カロンの大鎌をかわし、2人同時にジャンプして喰らわした。

カロン「失せろ。」

瞬間移動して、マジックとジャックの前に現れて斬撃した。

マジック、ジャック「うわあっ!!」

瞬間移動したカロンの攻撃を喰らったマジックとジャック。

アイゼンアロイス「ドラグード!!」

フェアリール「私達の攻撃を受けなさい!!」

アイゼンアロイスとフェアリールがドラグードに接近しながらも射撃しつつ、アイゼンアロイスが掌からビームソードを出刃して斬撃し、フェアリールが飛び回りながらドラグードの周囲に光弾をいくつか放ち、攻撃した。

ドラグード（戦闘形態）「ジャスティスヒーロー共が。」

アイゼンアロイスとフェアリールに対し、ドラグードはアームドラゴブレードからエネルギー刃を放った。

アイゼンアロイス、フェアリール「うっ!!」

ドラグードが放ったエネルギー刃を喰らったアイゼンアロイスとフェアリール。その直後にドラグードが2人に向かって突撃して来た。

ボルケリート「そうはさせん!!」

スカヴァ「私達があなたを倒すわ!!」

鉄斉「お前をここで倒す!!」

明利江「ドラグード、私達が相手だ!!」

ボルケリート、スカヴァ、鉄斉、明利江が4人で連携を取り、ボルケリートが炎で形成した火炎球で鉄斉が蹴りでシユートして、ドラグードに喰らわし、スカヴァが冷気を

表して、明利江が旋忍風に纏わせながら、ドラグードに投擲した。

ドラグード（戦闘形態）「うぐっ!!」

4人の連携攻撃を喰らったドラグード。

ブレイディオ、ガンニークス「俺達も加えさせて貰うぜ!!」

ブレイディオ、ガンニークスも同時攻撃にかかり、ブレイディオがブレイディオソードに光状を纏いながらドラグードに向かって斬撃し、ガンニークスが2丁のガンニークスを合わせて左右合体し、強力な光線を放ち、ドラグードに攻撃した。

ドラグード（戦闘形態）「うううっ!!」

ジャステイスヒーローの総攻撃を喰らったドラグードは、その攻撃により大ダメージを負った。

ドラグード（戦闘形態）「私を追い込むとは、ならこれを受けよ!! 龍獄大回転!!」

ドラグードはアームドラゴブレードを前に出して前方宙返りしながらボルケリートらに突撃し、6人全員にぶつかった。

ボルケリート、スカヴァ、鉄斎、明利江、ブレイディオ、ガンニークス「ぐわああああー!!」

ドラグードの必殺技による突撃を喰らったボルケリート達。

メロデイストライク、リズムシンシア「プリキュア・ミュージッククロンド・スーパーカルテット!!」

メロデイストライク、リズムシンシアがミラクルベルティエ・クロスロッドとファンタステックベルティエ・クロスロッドを振りながら互いの手を繋ぎ、空色、薄橙色、桃色、桜色、レモン色の5本のエネルギーリングが出現し、ハート形の光と共に螺旋の光波を描きながらドラグードに向けた。

ドラグード（戦闘形態）「邪魔だ!!」

素手で2人の合体技を振り払い、そのまま2人に向かって攻撃にかかった。

ドラグード（戦闘形態）「龍獄昇天拳!!」

2人に向かって拳を上げて殴り込んだ。

メロデイストライク、リズムシンシア「わあああああー!!」

ドラグードの必殺技を喰らった2人は通常形態へと戻った。

カロン「プリキュア、ジャステイス、消え散れ!!」

カロンがいくつかの分身体を数十体形成して、マジック達に急襲しかかった。

マジック、ジャック「プリキュライドチェンジオールスターズ!!」

マジック、ジャックは各ステッキスピア杖モードでそれぞれ5つのプリキュライドジュエルに装着して分身体を作らせて変身し、マジックの分身体はドリーム、ブロッサム、ハッピー、ラブリー、ホイップ、ジャックの分身体はアクア、ベリー、マリン、ビューティ、プリンセスとなって、ソール達と共にカロンと彼の分身体とぶつかり合った。

ドリームマジック、ブロッサムマジック、ハッピーマジック、ラブリーマジック、ホイップマジック、アクアマジック、ベリーマジック、マリンマジック、ビューティマジック、プリンセスマジック「たあああああー!!」

ドリームマジック、ブロッサムマジック、ハッピーマジック、ラブリーマジック、ホイップマジック、アクアマジック、ベリーマジック、マリンマジック、ビューティマジック、プリンセスマジックがカロンの分身体10人と交戦した。

ブロッサムマジック、マリンジャック「プリキュア・ダブル・インパクト!!」

ブロッサムマジックとマリンジャックがプリキュア・ダブル・インパクトで同時にパンチを繰り出し、衝撃波を放った。

ラブリーマジック、プリンセスジャック「プリキュア・ツインミラクルパワーシュート!!」

ラブリーマジックとプリンセスマジックがプリキュア・ツインミラクルパワーシュートでお互いのラブプリプレスを腕を交差させて叩き、それぞれ振り上げた両手にエネルギー弾を発生させ、2つのエネルギー弾を合わせ、金色のオーラをまとった中心にハートが入った円環形のエネルギー弾を飛行状態の二人で同時に蹴り飛ばして命中し、さらにアクアマジックがプリキュア・サファイア・アローで攻撃し、続いてドリームマジックがプリキュア・シューティング・スターで腕をクロスさせて光を纏いながらカロンの分身体を次々と突進した。

ホイップマジック、ベリージャック「はああああー!!」

ホイップマジックがクリームエネルギーでカロン分身体を次々と拘束して、ベリー

ジャックが拘束されたカロン分身体を次々と撃破した。

カロン「舐めるなあつ!! デスサイズシャドウスラッシュユ!!」

カロンが分身体を形成して、マジックとジャックの分身体に斬撃し、撃破した。

ファイツ、ソール「我々も相手だ!!」

ウォーテイル、ウィザーデイ「こつちも行くわ!!」

ヴォイダートマン、スーパーレデイ「やらせてもらう!!」

ファイツ、ソール、ウォーテイル、ウィザーデイ、ヴォイダートマン、スーパーレデイが6人同時にかかって、カロンに挑んだ。ウィザーデイが魔法で5人の能力を上げ、ファイツが力一杯込めたパンチでカロンを殴り、ソールがミョルニアでカロンに打撃し、ウォーテイルがウォーテイルバルバードで刺突し、ヴォイダートマンがジャンプで両脚を出したままカロンに打ち込み、スーパーレデイが右手を発光しながらカロンに殴り込んだ。

カロン「貴様らあっ!! デスサイズダークローリングショット!!」

ファイツ達の攻撃を受けたカロンが本気になって、必殺技のデスサイズダークローリングショットでデュスの邪悪な力で形成した6つの闇状の光輪を放ち、ファイツに喰らわせた。ドラグード、カロンの猛威に大苦戦を強いられるストライク達。

ドラグード（戦闘形態）「散るがいい。」

カロン「終わりだ。」

その時、ドラグードとカロンの前にフェッター、クイーンが現れて、2人に空中から同時キックしてお見舞いし、ストライク達と合流した。

ストライク「フェッター、クイーン。」

フェッター「私とクイーンも一緒に戦うわ。」

クイーン「ドラグードとカロンを一緒に倒そう。」

シンシア「かなり手強いよ。」

フェッター「私の持っているプリキュライドジュエルを使っていくならどう?」

マジック「あたし達全員で……。」

クイーン「6人の力を合わせていけば……。」

ジャック「私達6人で……。」

ストライク「みんな、一緒に力を合わせて行こう。あたし達6人で、ドラグードとカロンを勝とう。」

ドラグードとカロんに勝つため、ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーンが6人で力を合わせて、プリキュライドを使って挑みにかかった。

ストライク、シンシア、クイーン「プリキュライドマックスハート!!」

フェッター、マジック、ジャック「プリキュライドチェンジ魔法使い!!」

ストライク、シンシア、クイーンはブラック、ホワイト、ルミナスに、フェッター、マジック、ジャックはマジカル、ミラクル、フェリーチェにそれぞれ変身し、ドラグードとカロんに挑んだ。

ドラグード（戦闘形態）「他者に変身くらいで……。」

カロン「結果は同じだ。」

ドラグードとカロンは歴代プリキュアに変身した6人に向かって攻撃にかかったが、

ブラックストライク、ホワイトシンシア「はああああー!!」

ブラックストライクとホワイトシンシアが同時にパンチを出して、ドラグードとカロンにお見舞いし、吹き飛ばした。

ドラグード（戦闘形態）、カロン「ぐうっ!!」

ブラックストライクとホワイトシンシアの身体能力によってダメージを受けたドラグードとカロン。

ドラグード（戦闘形態）「小細工な、ならこれを受けよ!!龍獄龍光波!!」

ドラグードが掌からエネルギー状の龍の光線を放って、ブラックストライクとホワイ

トシンシアに向けた。

ルミナスクイーン、フェリーチエジャック「そうはさせない!!」

ルミナスクイーンとフェリーチエジャックが同時にバリアを張って、ドラグードの攻撃を防いだ。

ミラクルマジック、マジカルフェッター「たあああああー!!」

ミラクルマジックとマジカルフェッターが空中からジャンプして、ドラグードとカロンの喰らわせた。

ドラグード（戦闘形態）、カロン「ぐうっ!!」

ミラクルマジックとマジカルフェッターの同時攻撃を喰らったドラグードカロン。すぐに他のプリキュアに変身し、ストライクはフローラ、シンシアはスカーレット、ジャックはマーメイド、クイーンはトウインクルに変身し、それぞれの特徴を持った戦

いに挑んだ。

フローラストライク「花よ舞い散れ!!」

フローラの持つ高い運動能力でドラグードの周りを動き回りながら駆使していき、花びらを出現してドラグードとカロンの眩まし、そのままキックでお見舞いした。

スカーレットシンシア「炎よ、燃え散れ!!」

スカーレットシンシアが片手から無数の火花を拡散しながら、ドラグードとカロンに降り注いで火花を爆散し、喰らわせた。

マーメイドジャック「海よ、波上がれ!!」

トウインクルクイーン「星よ、降り注げ!!」

マーメイドジャックがドラグードとカロンの真下から水柱を出現させて喰らわせた、トウインクルクイーンが空中からいくつかの星を降り注ぎ、全弾命中させた。

ドラグード（戦闘形態）「やられんぞ!!」

ドラグードがアームドラゴブレードからエネルギー刃を大量に放ち、4人に喰らわせた。

ミラクルマジック、マジカルフェッター「プリキュア・ダイヤモンド・エターナル!!」

ミラクルマジックとマジカルフェッターが必殺技でリンクルステッキにリンクルストーン・ダイヤを振りながら、ダイヤモンド型ケージを作りながらドラグードとカロンを閉じ込めて、爆発させた。

カロン「借り物如きには負けん!!」

カロンが大鎌を大きく振り回しながら周囲に斬り付けにかかって来た。

スカーレットシンシア、マジカルフェッター、ミラクルマジック、マーメイドジャツ

ク、トウインクルクイーン「プリキュライドチェンジアラモード!!」

5人はキラキラプリキュアアラモードに変身し、シンシアはパルフェ、フェッターはマカロン、マジカルはホイップ、ジャックはジェラート、クイーンは本人はカスタード、分身はシヨコラとなり、6人一斉にかかった。

パルフェシンシア「はああああー!!」

パルフェシンシアがレインボーリボンを鞭のように振りながらドラグードとカロンに喰らわしていき、ジェラートジャックが形成した巨大な氷の塊をホイップマジックとカスタードクイーンが同時にシユートして当てて行き、マカロンフェッターとシヨコラクイーンがキャンディロッドでクリームエネルギーで形成した巨大な大剣で大きく斬撃した。

ドラグード（戦闘形態）、カロン「ぐおっ!!」

彼女達に連携攻撃で圧倒されるドラグードとカロン。

ドラグード（戦闘形態）「ならば貴様らに我が力を思い知らせてやる!!龍獄滅龍波!!」

ドラグード巨大なエネルギー状の龍を形成して、6人に向けて放ちながら喰らわせて、とてつもない威力で大ダメージを与えた。ドラグードの強力な必殺技を喰らった6人は、ボロボロの状態になりつつ、それでも無事立っていた。

ストライク「あたし達は絶対に負けない!!」

シンシア「私達プリキュアは絶対負けるわけにはいかない!!」

フェッター「絶対必ず勝ってみせる!!」

マジック「例えこの命がある限り、あたし達は諦めない!!」

ジャック「インフェルノの脅威を私達が止めてみせる!!」

クイーン「私達の想いは簡単に破れたりはいしないわ!!」

カロン「しつこい奴らが!!ならば死ぬ!!デスサイズダークローリングショット!!」

カロンがハデユスの邪悪な力で形成した6つの闇状の光輪をストライク達に放った。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「はあああああー!!」

6人が一斉にカロンの放った6つの闇状の光輪を殴り払い、そのままプリキュライドジュエルを使つて変身し、ストライクはエール、シンシアはダイヤモンド、フェッターはフォーチュン、マジックはハッピー、ジャックはアクア、クイーンはソレイユにそれぞれ変身し、必殺技を同時に発動する。

エールストライク「ハート・フォー・ユー!!」

ダイヤモンドシンシア「プリキュア・ダイヤモンドシャワー!!」

フォーチュンフェッター「プリキュア・スターダストシュート!!」

ハッピーマジック「プリキュア・ハッピーシャワー!!」

アクアジャック「プリキュア・サファイア・アロー!!」

ソレイユクイーン「プリキュア・ソレイユ・シュート!!」

6人のそれぞれの必殺技が一斉に放ち、ドラグードとカロンの攻撃した。

ドラグード（戦闘形態）、カロン「ぐおおおおー!!」

6人が一斉に放った必殺技によって大ダメージを喰らったドラグードとカロン。

アイゼンアロイス「よし、今だ!!」

最後に6人はアイゼンアロイスらと一体化し、決着にかかった。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンサンシャイン!!」

シンシアフェアリールフォーム「プリキュア・フェアリールボレー!!」

フェッター烈陣フォーム「プリキュア剣風連斬!!」

マジックソールフォーム「プリキュア・ソールライトニングサンダーブレイカー!!」

ジャックファイフフォーム「プリキュア・ファイツシールドシュート!!」

クイーンバルクフォーム「プリキュア・バルクブレイカーバスター!!」

ジャステイスヒーローと一体化した6人が一斉に必殺技を放ち、ドラグードとカロンに直撃させて、大きく喰らわせた。

ドラグード、カロン「うわああああー!!」

6人の必殺技を大きく喰らったドラグードとカロン。その影響でカロンはジャックの実兄の勇一の身体から引き離し、2人は分離する事が出来た。

ジャックファイツフォーム「お兄様!!」

すぐに兄の勇一の元へ駆け付けたジャックファイツフォーム。

勇一「海なのか・・・?」

ジャックファイツフォーム「はい、私です、海です、お兄様。」

勇一「また会えるとは・・・。」

ついに兄を救う事が出来たジャックファイツフォームは今ここで再会を果たす事が出来た。

一同「?!」

突如、上空から巨大な穴が現れ、5つの姿が現れた。

一同「!!」

その5つの姿の中からはインフェルノの支配者のハデユス、彼の右腕のレヴオリュード、ドレイジス。

フエッター烈陣フォーム「あれはまさかハデユス……!!」

ハデユス「我は君臨したのだ。」

この人間界に再び姿を現した史上最悪の存在であるハデユス。ハデユスが再び姿を現した事で、10年前の悪夢が蘇ろうとするのだ。

なぎさ「あつ、ああああつ。」

10年前、ファイナルウォーでハデウスによって変身能力を失われ、妖精達の必死の犠牲で倒してハデウスは無傷だったのを思い出すなぎさ達は恐怖に震え出した。

レヴオリュード「今日が貴様らの最期だ!!」

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリールフォーム「!!」

その5人の姿を見たストライクアイゼンフォームとシンシアフェアリールフォームは突如、驚き始めた。

ストライクアイゼンフォーム「嘘でしょ……!!」

シンシアフェアリールフォーム「何でなの……!!」

クイーンバルクフォーム「どうしたの……?!」

2人にとって、自分達2人の母親でもあり、その人物がピーチとパッションの姿があった。

D r i j s 「さあ、試して行こうか、ハデユスピーチとハデユスパッションを。」

次回 57話へ続く

第57話 魔王君臨

再び姿を現したハデユス。かつて世界を滅ぼし、プリキュアの力を使えなくなるするなど、その強さは絶対的な力で、この存在に勝った者などはただ一人いない。彼は配下のレヴオリユードとドレイジスを連れて現れ、さらにストライク、シンシアの2人の母親を自らの配下に改造されハデユスピーチとハデユスパッションとなって現れた。

東京

ハデユス「我が名はハデユス!!今再び、舞い戻ったぞ!!これから、貴様達に絶望を与えてやる!!」

レヴオリユード「今日が貴様らの最期となる!!」

ハデユスの存在はとてつもない邪悪さ、圧倒的な威圧さ、絶対的な強さ、凄まじい悪意の集合、ハデユスの存在に恐怖に怯え出し、絶望感し始めた。

ほのか「また、私達は……」。

なぎさ「ハデユスは……。」

はな「何でここまで震えるの……。」

10年前ハデユスに敗れた恐怖が蘇り、なぎさ達はその恐怖に怯え出し、震え出した。

ひかる「何これ、こんなにとてもキラやばいの……。」

ララ「こんなのは普通と思えないルン……。」

現役プリキュアだったひかる達スタートウインクルプリキュアもハデユスを見るのは初めてでありながら、その恐怖に怯えた。

ハデユス「私の恐怖に怖気つけ!!」

インフェルノの支配者でもあるハデユスの圧倒的な威圧さと邪悪さと絶対的な強さを前に怯え、またハデユスの元へ駆け付けたストライク達。

レヴォリユード（戦闘形態）「近づいて来たか。」

フエッター「ハデユス!!」

ハデユス「現れたか、今のプリキュア共よ。」

クイーン「あなたがインフェルノの支配者ね。」

ハデユス「私はインフェルノの絶対的な支配者だ。」

マジック「ここで決着を着ける!!」

ジャック「インフェルノを終わらせる!!」

ハデユス「終わらせるだど?! 今日がお前達の最期となる日を!!」

ハデユスはプリキュアに対して、目から強力なビームを放ち、攻撃した。

一同「うっ!!」

食らった。
ハデユスの目から放ったビームでストライク達はその凄まじい威力に大ダメージを食らった。

マジック「何で力なの・・・?!」

クイーン「強過ぎる・・・!!」

ジャック「これがハデユスの力・・・!!」
フェッター「ハデユスは一筋縄いや今の私達じゃ絶対勝てない!!」

ハデユスの強さを目の当たりにし、その絶対的な強さを感じた。だが、ストライクとシンシアが突然飛び出しに向かった。

ストライク、シンシア「ママあつ!!」

ジャック「2人共!!」

ジャックの制止を聞かず、そのまま母親であるハデユスピーチとハデユスパッションの元へ向かった。

ストライク「ママあ、あたし達だよ!!」

シンシア「私達、ママに凄く会いたかった!!」

ストライク「だから帰って来て!!」

母親2人に必死で呼びかけるストライクとシンシア。突然、ハデユスピーチとハデユスパッションは実娘であるストライクとシンシアに攻撃して来た。

ストライク、シンシア「うわあああああー!!」

母親であるハデウスピーチとハデウスパッションに攻撃を受けたストライクとシンシア。

ストライク「ねえ、ママ……!!」

シンシア「どうして攻撃するの……!!」

最愛の母が自分達2人を攻撃した事に愕然とするストライクとシンシア。

ドリージス「もはやこの2人はハデウス様の忠実な配下に改造した。」

ストライク「ドリージス……!!」

ドリージス「キュアストライク、キュアシンシア、最愛の母親2人と殺し合いをするがいい。」

ドリージスによってハデウスの忠実な配下となり、ハデウスピーチとハデウスパッ

シヨンとなった2人がストライクとシンシアと交戦する。2人の攻撃を受けつつ、相手が母親である事で戦う事が出来ないストライクとシンシア。

ストライク「ママ、やめて!!」

シンシア「お願い、やめて!!」

必死で2人の母親に声をかけたが、聞く耳を持たなかった。ハデユスピーチとハデユスピーションが2人にパンチで殴りにかかった。その時、ミステイック、アラム、ジュールフがストライクとシンシアの前に現れて、ハデユスピーチとハデユスピーションの攻撃を防いだ。

ストライク、シンシア「ミステイック、アラム、ジュールフ!!」

ミステイック「今来たわ。」

アラム「あたしにも助けに来た。」

ジュールフ「一緒に行くぞ。」

ミステイック、アラム、ジュールフが加わり、ハデユスピーチ達の壮絶な戦いを幕を開いた。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュール「はああああああー!!」

ストライク達9人が一斉にかかり、ハデウス達に攻撃を仕掛けた。

レヴォリユード（戦闘形態）「プリキュア、お前達の力を見せてもらおうか!!」

プリキュアと初めて交戦するレヴォリユードは自らの力を見せるべく、攻撃にかかった。

レヴォリユード（戦闘形態）「ケルベニウスデスカッターブレイク!!」

レヴォリユードは両腕に強力な闇状の刃を纏いながらストライク達に斬り付けた。

一同「うううっ!!」

初めて戦うレヴオリユードを相手にストライク達は彼の攻撃を受け、ダメージを受けた。

レヴオリユード（戦闘形態）「ケルベニウスラッシュブレイカー!!」

レヴオリユードは最速で空を飛んで自由自在に駆けながら、ストライク達に向かって突撃して強烈に与えた。

一同「うわああああー!!」

突撃したレヴオリユードにより、一斉に喰らったストライク達。

マジック「強い……!!」

ジャック「ドラグードと同じ強さだわ……!!」

ミステイック「奴の名はレヴオリユード、インフェルノの最高幹部だ。奴はインフェルノの中でもっとドラグード様と同じ実力で、数々の世界と星を1人で破壊して来た……!!」

レヴオリユード（戦闘形態）「貴様達の最期にしてやろう!!ケルベニウスデスレイン!!」

レヴオリユードが片手に闇状の刃を纏いながらストライク達に巨大な闇状の刃を喰らわせた。

ハデユス「死ぬが良い!!」

ハデユスが片手から光線を放ち、ストライク達に向けた。

アイゼンアロイス「させるか!!」

アイゼンアロイス達ジャステイスヒーローが集まり、ハデユスの光線を防いだ。

ストライク「アイゼンアロイス。」

アイゼンアロイス「俺達ジャステイスヒーローもようやく忌々しき因縁の相手でもあるハデユスと対決が出来る。」

ファイツ「ハデユスを倒して、平和を取り戻す。」

ソール「我々ジャステイスヒーローが奴をこの手で倒す。」

フェアリール「あなた達はピーチとパツシオンを。」

アイゼンアロイス達ジャステイスヒーローらは因縁の相手であるハデユスとついに対決し、ジャステイスヒーローの壮絶な戦いが始まった。

アイゼンアロイス、フェアリール、烈陣丸、ソール、ファイツ、バルクマツスラー
「はあああああああー!!」

アイゼンアロイス、フェアリール、烈陣丸、ソール、ファイツ、バルクマツスラーが一斉にかかり、アイゼンアロイスが両腕のパワージャッキを起動して両手を合わせて掌から強力な光線を放ち、フェアリールが無数のマスケット銃を召喚して射撃し、烈陣丸が戦烈鬼から剣風を連続で放ち、ソールがミョルニアに雷を集中させて、強力な雷光を放ち、ファイツがジャステイスシールドを発光して、真っ向からシュートし、それぞれハデユスに一斉攻撃した。

ハデユス「こんなものか?!」

アイゼンアロイスの攻撃はハデユスには全く効いておらず、無傷だった。

アイゼンアロイス「効いてないだど?!」

ソール「どう言う事だ?!」

ハデユス「お前達の攻撃など、我には効かん!!我が力を見よ!!」

ハデユスは片手から光球を放ち、アイゼンアロイス達に喰らわせた。

アイゼンアロイス、フェアリール、烈陣丸、ソール、ファイツ、バルクマツスラー「う

わあああああー!!」

ハデユスの攻撃を喰らってしまったアイゼンアロイス、フェアリール、烈陣丸、ソール、ファイツ、バルクマツスラーは大ダメージを受けた。

ボルケリート「まだ我々もいるぞ!!」

ボルケリート達も参戦し、ハデユスに挑みにかかる。

鉄斎「ハデユス、お前を終わらせてやる!!」

ウォーテイル「宇宙と世界のために、ここで倒させてもらおうわ!!」

ハデユスに挑むボルケリート達。ボルケリートが炎、スカヴァが氷の力でそれぞれ形成し、炎と氷を同時に組み合わせて螺旋状のような光線を放ち、鉄斎が気力で形成したエネルギー状の拳を放ち、ガンニークスが2丁ガンニークスガンから光波を放ち、ヴォイダートマンが両手の手甲のベアクローを突き出して、全身を発光しながら錐揉み回転して、スパーレディが目から強力なビーム、ウイザーディがウイザーディロッドに魔力を集中して一気に魔法光線を放ち、翔華楽が2つの天翔心を両手に持ちながら舞いながら嵐を呼び起こし、ブレイディオオがブレイディオソード、明利江が2本の羽佐鬼、ウォーテイルがウォーテイルハルバート、大和丸が橙破槍で斬り込み、ハデユスに喰らわせた。

ミラーシエナ「私達も行くわ!!」

ミラーシエナ、エスパネス、ワプニオン、ジエーニー、アラミラード、エンキナウ、ア
ムメント、マナートウ、ゴールドメツシユも加わり、ミラーシエナがミラーシールド鏡
モードからビームを放ち、エスパネスが念動力で形成した光線を放ち、ワプニオンが上
空から異空間の穴を空けて、光弾を降り注ぎ、ジエーニーが霧で形成した光弾を大量に
発射し、アラミラードが自身の角から竜巻を発生し、エンキナウが拳に気を纏いながら
無数のエネルギー状の拳を放ち、アムメントが口を開いて、強力な光線を発射し、マナー
トウがいくつかの光玉を形成して発射し、ゴールドメツシユがゴールドアローを構えて
多数の光矢を放ち、ハデユスに攻撃した。

ハデユス「効かん、お前達など私の敵ではない!!」

ボルケリート達の一斉攻撃を受けても無傷で健在するハデユスは右手を広げて、ボル
ケリート達をまとめて切り裂き、攻撃した。

一同「ぐわあああああー!!」

逆にハデユスから攻撃を受けてしまったボルケリート達。ジャステイスヒーローが一斉にかかってもハデユスを倒す事は出来なかった。またレヴオリユードとハデユス、ピーチとハデユスパッションと交戦するストライク達は、

レヴオリユード（戦闘形態）「ケルベニウスフック!!」

レヴオリユードがストライク達に向かって左右から両拳で繰り出して喰らわし、さらに蹴りで強く打ち込んでいき、両腕に強力な闇状の刃を纏いながら9人に斬撃した。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミスティック、アラム、ジュール「うわああああー!!」

レヴオリユードの繰り出す攻撃を喰らうストライク達。さらに今度はハデユスピーチとハデユスパッションが同時にかかって来た。

ストライク、シンシア「ママ!!」

攻撃しかかる母を再び駆け寄りとうとするストライクとシンシア。ハデウスピーチが魔劍デスカリバー、ハデウスパッションが魔銃デスマグナムを出して、2人に攻撃しかかった。その時、フェッターとミステイックがストライクとシンシアの前に立って、ハデウスピーチとハデウスパッションの攻撃をそれぞれの武器で受け止めた。

ストライク、シンシア「フェッター、ミステイック!!」

フェッター「無茶な行動をしないで!!」

ミステイック「2人はハデウスには操られて強くなっている今、簡単じゃないわ!!」

ストライク「でもママが・・・!!」

フェッター「落ち着いて、私達も一緒にあなたのお母さんを助け出すわ。」

ミステイック「だから私達プリキュア全員で。」

シンシア「フェッター、ミステイック。」

マジック「あたし達も一緒にあなたのお母さんを助けだよ。」

ジャック「私達もいるから。」

クイーン「だから落ち着いて。」

アラム「やれる事は尽くしていく。」

ジュール「ここは全員で力を合わせていくぞ。」

仲間達から励まされたストライクとシンシアは、母親2人を助けるべく、今仲間達と共に行動するが、

レヴオリユード（戦闘形態）「散れ、ケルベニウスデスレイン!!」

だが、レヴオリユードがストライク達の行動に阻み、レヴオリユードは掌を挙げたまま、無数の光線を大量に放った。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミスティック、アラム、ジュールフ「うっ!!」

レヴオリユードの放った無数の光線を喰らったストライク達。その直後にレヴオリユードが襲いかかって来た。

レヴオリユード「ケルベニウスラッシュユブレイカー!!」

レヴオリユードが最速で空を飛んで自由自在に駆けながら、ストライク達に向かって突撃して強烈に喰らわした。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジユルフ「きゃあああああー!!」

レヴオリユードの繰り出す攻撃に2人を助ける事が出来ないストライク達。

アイゼンアロイス、フェアール、烈陣丸、ソール、ファイツ、バルクマツスラー「うっ、うっうっ!!」

アイゼンアロイス達ジャスティスヒーローが一斉にかかってもハデユスには敵わず、ハデユスの絶対的な強さを前にやられた。

アイゼンアロイス「やはりハデユスは強過ぎる・・・!!」

ソール「私達の力では敵わないのか?！」

ハデユス「我は大魔王ハデユス、お前達など所詮は赤子同然だ。」

ハデユスに傷一つも付けられず、逆にやられてしまうアイゼンアロイス達は最悪最強の相手になす術はないのか？またストライク達もレヴォリユードの強さに全く敵わずにいた。

ストライク「強い・・・!!」

シンシア「何て強さなの・・・!!」

ハデユスとレヴォリユード、2人の絶対的な強さを前に全く渡り合えず、圧倒されていき、このままやられてしまうのか？

アイゼンアロイス「こうなったら、全員でヴァンガードヒーローフォームだ：：：!!」
ストライク「みんなでヴァンガードヒーローフォームになって決めるしかないみたいね・・・!!」

ストライク達はアイゼンアロイス達ジャステイスヒーローと共に一体化して、ヴァンガードヒーローフォームへととなり、ハデユスとレヴォリユードに挑んだ。

ハデユス「無駄なあがきを。」

レヴォリユード（戦闘形態）「死ぬがいい。」

ハデユスが片手から光線をいくつか放ち、ストライクヴァンガードヒーローフォームに攻撃した。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム、シンシアヴァンガードヒーローフォーム、フェッターヴァンガードヒーローフォーム、マジックヴァンガードヒーローフォーム、ジャックヴァンガードヒーローフォーム、クイーンヴァンガードヒーローフォーム、ミスティックヴァンガードヒーローフォーム、アラムヴァンガードヒーローフォーム、ジュルフヴァンガードヒーローフォーム「はああああー!!」

攻撃を受けつつ9人は一斉にかかり、ハデユスやレヴォリユードに対し、攻撃を仕掛けた。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ストライクヴァンガードブ

レイドバーストサンシャイン!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・シンシアヴァンガードシューティングバーストサンシャイン!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・フェッターヴァンガード剣放斬!!」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・マジックヴァンガードビックハットトリックトラップボンバー!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ジャックヴァンガードハイドロスピアレイン!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・クイーンヴァンガード大烈乱舞!!」

ミステイックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ミステイックヴァンガードワープアサルト!!」

アラムヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・アラムヴァンガードミストヴィジョンアタック!!」

ジュルフヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ジュルフヴァンガードアローシュート!!」

9人が一斉に必殺技を発動しながらハデユスとレヴォリユードに喰らわせた。9人の一斉に放った必殺技を受けて、ダメージを喰らったハデユスとレヴォリユード。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「これが最後!!」

一気に決めるべく、強力な必殺技を発動する9人のプリキュア達はハデユスとレヴォリユードを倒すべく、全力全身を込めてかかった。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードメロディハートエールザンバー!!」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードホワイトイীগリップトリズムスカールレットクロスショット!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードソードマカロン烈空波!!」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードエースラブリリーホイップワンダーボールシュート!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードフェリーチェエア
ンジユコスモシールドシュート!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードパインムーンラ
イトミューズシヨコラエトワール進突砕!!」

ミステイツクヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ミステイツクヴァンガ
ードサイコブラストビーム!!」

アラムヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・アラムヴァンガードミス
トチャージアタック!!」

ジュルフヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ジュルフヴァンガードブラ
スター!!」

ハデユスとレヴォリユードに全力全身でかかって全てをぶつけたストライクヴァン
ガードヒーローフォーム達。果たして、倒せるのか?!

次回 58話へ続く

第58話 完全敗北

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「やった?！」

ヴァンガードヒーローフォームになった9人が一斉にかかってハデユスとレヴォリユードに必殺技を喰らわせた。だが、ハデユスとレヴォリユードは無傷だった。

ハデユス「これがお前達の力か?！」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「何で?！」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「効いてない何て!!」

レヴォリユード（戦闘形態）「お前達では所詮はこんな程度だったな。」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「私達の力では……!!」

ハデユス「貴様達に本当の絶望を味合わせてやる。」

ハデユスはストライクヴァンガードヒーローフォーム達に真の絶望を味合わせるべく、ハデユスは自身の百メートルを超える巨大に変化し始める。

一同「?!」

レヴオリユード（戦闘形態）「ふふふ。」

突如、ハデユスの姿に変わり始める事に驚く一同。

なぎさ「何なの?!」

ほのか「どうなってるの?!」

咲「何が起きているの?!」

はな「一体何が始まるの?!」

またなぎさ達もハデユスの変化に異変を感じていた。

Drリージス「さあ、ハデユス様の本当の姿を見るがいい!!」

百メートルを超える巨大な身体に変化をし始めたハデユスは全身にヒビが割れ始めて、その中から人らしき者が現れた。

一同「!!」

シン・ハデユス「これが我の真の姿だあっ!!」

ハデユスの中から現れたのはハデユスだった。百メートルの巨大からプリキュア達と同じ大きさ、姿は悪魔の顔をした鉄仮面、体格は巨体、超人と思わせる姿、その名もシン・ハデユスだ。

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「これが真の姿?!」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「どういう事?!」

ミステイクヴァンガードヒーローフォーム「こんな姿は初めてよ?!」

アラムヴァンガードヒーローフォーム「どうなってるんだ?!」

ジュルフヴァンガードヒーローフォーム「わからない。」

ハデユスの別の姿に驚愕するプリキュア達。新たな姿シン・ハデユスとなつて、彼女達に壮絶な絶望と恐怖が始まろうとした。

シン・ハデウス「死ね!!」

シン・ハデウスが素早く瞬間移動しながらアラムヴァンガードヒーローフォームの元に現れ、パンチで思いつき腹を殴り込んだ。

アラムヴァンガードヒーローフォーム「ぐわあっ!!」

瞬間移動して来たシン・ハデウスのパンチを喰らったアラムヴァンガードヒーローフォームはたった1発のパンチによる強烈な威力を前に即座にやられてしまい、元の姿に戻ってしまった。

ジュルフヴァンガードヒーローフォーム「イゼル!!」

彼女が一瞬で葬られて倒されたのを目の当たりにするプリキュア達。

シン・ハデウス「まだ序の曲だ、我の力、見るがいい。」

続いてシン・ハデユスは再び瞬間移動しながらミステイクヴァンガードヒーローフォームとジュールフヴァンガードヒーローフォームの元に現れて、キックで2人纏めて回し蹴りした。

ミステイクヴァンガードヒーローフォーム、ジュールフヴァンガードヒーローフォーム「ぐわああああー!!」

シン・ハデユスのキックを受けて共に瞬殺されたミステイクヴァンガードヒーローフォームとジュールフヴァンガードヒーローフォームは元の姿に戻ってしまった。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「ミステイク、ジュール!!」

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「よくも仲間をやってくれたわね!!」

3人を倒したシン・ハデユスに対し、攻撃にかかるフェッターヴァンガードヒーローフォームはヒーロー烈陣セイバーで斬撃したが、

シン・ハデユス「痛くもないぞ。」

シン・ハデユスの前には全く一ミリも効いていなかった。

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「効いてない……?!」

シン・ハデユス「我が技を受けよ、デス・ザ・ブレイカーナックル!!」

シン・ハデユスが邪悪な力で形成した光状を両腕に纏いながらフェッターヴァンガードヒーローフォームを殴り、一撃で倒した。

フェッターヴァンガードヒーローフォーム「ああああああー!!」

シン・ハデユスの必殺技を一撃により倒されたフェッターヴァンガードヒーローフォームは元の姿に戻ってしまい、手に持っていたソード、フォーチュン、マジカル、マカロン、アムール、セレーネのレジェンドプリキュライドジュエルを落としてしまい、シン・ハデユスに奪われた。

シン・ハデユス「これがプリキュライドか。」

麗奈「返せ……!!」

シン・ハデウス「これは今日から我が物とする。お前達から全てのプリキュライドジュエルを奪ってやろう。」

全てのプリキュライドジュエルを奪う事に目論んだシン・ハデウスは残り5人のプリキュアの持っているプリキュライドジュエルを奪いにかかった。

シン・ハデウス「デス・ザ・デストラクションバースト!!」

シン・ハデウスが邪悪な力で形成した強力な光線をストライクヴァンガードヒーローフォーム達に向けた。

クイーンヴァンガードヒーローフォーム「プリキュア・ヴァンガードルミナスレモネードサンシャインビートトウインクルカスタード光壁頑気!!」

クイーンヴァンガードヒーローフォームがヒーロー翔華楽花着にルミナス、レモネード、サンシャイン、ビート、トウインクル、カスタードのプリキュライドジュエルを装

着し、6人の必殺技を発動しながら、黄色の光状の壁を出現させて防ぐが、クイーンヴァンガードヒーローフォーム「わああああああー!!」

シン・ハデユスのその光線の威力が凄まじく、クイーンヴァンガードヒーローフォームのバリアを軽々と粉碎し、そのまま彼女ごと葬り倒し、彼女は元の姿へと戻り、手に持っていたルミナス、ルージュ、レモネード、ミルクイローズ、パイン、サンシャイン、ムーンライト、ビート、ミューズ、サニー、ピース、ハニー、トウインクル、カスタード、シヨコラ、エトワール、ソレイユのレジエンドプリキュライドジュエルをシン・ハデユスに回収された。

シン・ハデユス「こちらも手に入れた。」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「返してもらおうよ!!」

マジックヴァンガードヒーローフォーム「先輩方の力を悪用させない!!」

奪われたプリキュアの力を取り返すべくマジックヴァンガードヒーローフォームとジャックヴァンガードヒーローフォームが取り返しにかかり、シン・ハデユスに挑んだ。

マジックヴァンガードヒーローフォーム「プリキユア・マジックヴァンガードソーサリーパンチ!!」

ジャックヴァンガードヒーローフォーム「プリキユア・ジャックヴァンガードバスターパンチ!!」

2人が同時に必殺技を発動しながらシン・ハデユスに殴り込んだ。

シン・ハデユス「痛くも痒くもない。我が力を侮るなあつ!!」

2人の必殺技を同時に受けても全く効いてもおらず無傷であるシン・ハデユスはカウンターによるパンチでお見舞いして、2人を纏めて殴り倒した。

マジックヴァンガードヒーローフォーム、ジャックヴァンガードヒーローフォーム「わあああああー!!」

シン・ハデユスのカウンターにより一瞬で倒されたマジックヴァンガードヒーロー

フォームとジャックヴァンガードヒーローフォームは元の姿へと戻り、2人の持つている全てのレジエンドプリキュライドジュエルをハデウスに回収された。

シン・ハデウス「残りはお前達2人か。」

残ったストライクヴァンガードヒーローフォームとシンシアヴァンガードヒーローフォームに近づき始めた。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム、シンシアヴァンガードヒーローフォーム「あつ、あああ．．．!!」

シン・ハデウスの絶対的な強さに恐怖に怯え出し始めたストライクヴァンガードヒーローフォームとシンシアヴァンガードヒーローフォーム。最大の敵がここまで隠された実力により、次々と仲間が倒されてしまい、まさに窮地に陥った。

シン・ハデウス「さあ、どうした、我に怖気付いたか？」

ストライクヴァンガードヒーローフォーム「こんなの勝てないよ．．．。」

シンシアヴァンガードヒーローフォーム「無理だよ、どうやって戦えるの……。」

シン・ハデウスを倒す事が出来ないと理解したた2人は何をどうしたらいいか分からず、全く絶望と地獄を味わおうとしていた。

シン・ハデウス「絶望を味わえ、デス・ザ・ツインシツクルサイズ!!」

シン・ハデウス邪悪な力で形成したエネルギー状の鎌を両腕に纏いながら2人に強烈な斬撃を喰らわして、一撃で葬った。

ストライクヴァンガードヒーローフォーム、シンシアヴァンガードヒーローフォーム「うわああああー!!」

ついにストライクヴァンガードヒーローフォームとシンシアヴァンガードヒーローフォームまでもがシン・ハデウスに倒されてしまい、元の姿へと戻り、2人の持ついたレジェンドプリキュライドジュエルを全て奪われてしまい、歴代プリキュアの力が全てシン・ハデウスの手に移ってしまった。

なぎさ「嘘でしょ……!!」

ほのか「私達の力が……!!」

自分達が後輩達に託したプリキュアの力をシン・ハデユスの手に渡ってしまったのを目の当たりにし、愕然とするなぎさ達。

シン・ハデユス「聞け、お前達、今日を持ってプリキュアは完全敗北をした!!」

大勢のインフェルノの兵達の前に上空から飛んで演説するシン・ハデユス。

インフェルノ兵一同「ハデユス様、万歳!!」

キングファラーミイ「ハデユス様がついに勝利されたのだ!!」

プリキュアを倒した事で勝利を確信したインフェルノ兵達。

シン・ハデユス「ご苦労だったな、インフェルノの兵達よ。お前達の役目は本日限り

で終わった。本日を持ってインフェルノを解散とする!!」

今まで自分のために尽くして来た兵達の前に組織の解散宣言をし、そのまま無数の光弾を大量に降り注いで攻撃するシン・ハデウス。

キングファラミー「ハデウス様、これは一体何の真似ですか?!

ザツパード「ハデウス様、おやめください!!」

シン・ハデウス「お前達の役目は終わった。役目を終えたお前達はもはや用済みだ。」

支えて来た兵達を用済みとして切り捨てて攻撃するシン・ハデウス。

はな「酷い!!」

いちか「仲間を攻撃するなんて・・・!!」

自分の仲間を攻撃するシン・ハデウスの姿に驚愕する歴代プリキュア達。

シン・ハデウス「インフェルノとはな、悲しみや憎しみなどの負の心を持つ者を集め

させるために作らせて、おかげで負の心から出る負のエネルギーを集める事が出来た。お前達にはご苦労だったな。」

ララ「こんなの酷いルン・・・!!」

ユニ「まるで蛇遣い座のプリンセスと同じよ・・・!!」

レヴオリユード（戦闘形態）「そうだ、恨め、悲しめ、憎め、もつと苦しみがぐがいい!!」

自分の部下達をまるで駒としか思わないシン・ハデユスは冷酷無慈悲さを表しながらインフェルノの兵達を攻撃し続けた。シン・ハデユスの絶対的な強さにプリキュアも敗れてしまい、このまま成す術はないのか?!その時、シン・ハデユスの前にある者が現れた。

シン・ハデユス「?!」

ドラグード（戦闘形態）「ハデユス!!」

現れたのはドラグードだった。

トットム「ドラグードが何故?!」

シン・ハデユス「何のようだ?」

ドラグード（戦闘形態）「お前を今日ここで倒しに来た。」

シン・ハデユス「用済みの分際が我を倒すとは小賢しい。」

ドラグード（戦闘形態）「私はお前を討つ日を待っていた。お前に支配されつづて来たアルフォートを解放するためにお前をここで討つ。」

シン・ハデユス「支配された分際め、我に楯突くなど不可能だ。」

ドラグード（戦闘形態）「ハデユス、お前を終わらせる。」

ドラグードはシン・ハデユスを討つため単身で向かって攻撃しにかかった。

レヴオリユード（戦闘形態）「そうはさせん!!」

シン・ハデユスを討ちにかかったドラグードの前にレヴォリユードが立ちはだかった。

ドラグード（戦闘形態）「レヴォリユード。」

レヴォリユード（戦闘形態）「お前とは一度交えてみたかった、だからハデユス様の前にこの私と戦えっ!!」

レヴォリユードがドラグードに直接攻撃にかかった。ドラグードも彼と交えて、対決する事になった。

レヴォリユード（戦闘形態）「はあああああっ!!」

レヴォリユードがパンチを連打して繰り返しながらドラグードに喰らわせた。

ドラグード（戦闘形態）「くっ!!」

レヴォリユードの攻撃を受けたドラグードは自身もパンチでレヴォリユードの腹に

当てて喰らわせた。

レヴオリユード（戦闘形態）「ぐおっ!!」

ドラグードに腹を殴られたレヴオリユードは必殺技のケルベニウスデスカッターブレイクで両腕に強力な闇状の刃を纏いながらドラグードに斬撃する。

ドラグード（戦闘形態）「!!」

ドラグードはアームドラゴブレードで受け止めて、隙を突いて脚からキックでレヴオリユードに蹴り込んだ。

レヴオリユード（戦闘形態）「ケルベニウスラッシュブレイカー!!」

ドラグードに蹴り込まれたレヴオリユードは必殺技を発動して、最速で空を飛んで自由自在に駆けながら、ドラグードに向かって突撃して強烈に喰らわせた。

ドラグード（戦闘形態）「うっ!!」

レヴオリユードの攻撃を受けたドラグードは姿勢を崩してしまい、レヴオリユードがそのまま攻撃しにかかった。

レヴオリユード（戦闘形態）「死ね!!」

レヴオリユードがキックで強くドラグードに思いつきり喰らわせ、突き飛ばした。

ドラグード（戦闘形態）「うううっ!!」

レヴオリユードの強い蹴りで突き飛ばされて、高層ビルにぶつけられたドラグード。

レヴオリユード（戦闘形態）「ケルベニウスダーククラッシュ!!」

レヴオリユードから強烈な邪悪光線を放ち、ドラグードに向けた。

ドラグード（戦闘形態）「龍獄滅龍波!!」

ドラグードも巨大なエネルギー状の龍を形成して、レヴォリユードに向けた。両者の必殺技が激しくぶつかり合い、その影響によりとてつもない衝撃波が起き、東京全体、いや地球全体に響き渡り、各都市の建物などが崩壊した。

なぎさ「何?!」

ゆり「何て言うぶつかり合いなの?!」

ドラグードとレヴォリユードの激しいぶつかり合いは両者共に互角の戦いを繰り広げた。

レヴォリユード（戦闘形態）「老害がああああー!!」

ドラグード（戦闘形態）「舐めるああああー!!」

それでも繰り広げる2人。ドラグードはある行動を取り始めた。

ドラグード（戦闘形態）「ならば我が奥の手を見せてやる!!今ここに現れよ、閻魔よ!!」

パラレルワールド

地獄界

閻魔庁

閻魔大王の部屋

閻魔大王「遂にこの日が来たか。」

五官王「閻魔大王様……。」

突如、動き始めた閻魔大王はドラグードの声に反応し、人間界へと向かった。

パラレルワールド

人間界

東京

一同「!!」

人間界に突如現れた閻魔大王の姿に驚く一同。

トットム「あつ、あれは閻魔大王様!!」

ペル「こつ、これは一体?!」

アーニヤ「どう言う事でありますか?!」

閻魔大王「今すぐにこの場から離れよ!!ここはわしとドラグードだけでやる。」

トットム「はっ、はい……!!」

トットム、ペル、アーニヤはなぎさ達と共にすぐにアイカ達を連れてこの場から引いた。

シン・ハデユス「久しぶりだったな、閻魔よ。」

閻魔大王「ハデユス、久しぶりのようだな。」

シン・ハデユス「こうしてまた会えるとは因縁だな。」

閻魔大王「こつちもだ。」

両者、因縁の再会を果たす閻魔大王とシン・ハデユス。

ドラグード（戦闘形態）「今こそ私と閻魔の力をかせてやる!!」

ドラグードが閻魔大王と一体化をし始め、2人は1つになった事で、ドラグードの姿も変わり、神と龍を組み合わせたアーマーを纏って神々さの姿となった。

ドラグードアルティメットゴッドフォーム「……」

閻魔大王と一体化した姿、ドラグードアルティメットゴッドフォームへとなり、10大神の1人である閻魔大王の力を身に纏った事で、強さは通常形態を上回る実力で、数億倍の力を持つ。

レヴオリユード（戦闘形態）「なら我が最大奥義を受けよ!!」

レヴオリユードも自身の最大奥義を見せるべく、必殺技を発動させる。

レヴオリユード（戦闘形態）「ケルベニウスダークザトリプルクラッシュシュート!!」

レヴォリユードが両手とケルベルウスメイルの胴体のケルベロスの口から強烈な邪悪光線を同時に放ち、ドラグードに向けた。

ドラグードアルティメットゴッドフォーム「龍獄究極滅烈霸斬!!」

ドラグードアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッドアームドラグードブレードに超強烈なエネルギーを集中して纏いながら、左右の両刃から超強烈な真空波を放ち、レヴォリユードの必殺技とぶつかり合った。2つの必殺技の衝突により、大規模な大爆発が発生し、地球全体を巻き込み、大規模な被害が出た。その大爆発により、人間界は崩壊した。

次回 59話へ続く

第59話 新たな決意とスタート

シン・ハデウスに敗れたプリキユア達はレジエンドプリキユライドジュエルを全て奪われてしまい、さらにドラグードとレヴオリユードの対決により、地球全体が壊滅し、人間界は崩壊した。

東京

サルニコフ「どうやら地球全体が壊滅してしまったな。」

ターニャ「今回の被害は10年前の被害を上回り、地球全体が壊滅的で、あらゆる国家や機関や組織や企業などが機能停止、崩壊されました。」

サルニコフ「今回の被害によって、人間社会が崩壊し、終わりを遂げてしまった。ターニャ「はい、そのようです。」

サルニコフ「過酷な時代が待ち受けるかもしれん。」

由紀「サルニコフ総監、この間、地下秘密基地に来た彼女は別の者の人間でした。そのせいでフェアリージュエルを全て奪われてしまいました。」

サルニコフ「彼女はラスフェクターの送り込んだ者だったのか。」

由紀「私達も全く気付けなかったわ。」

ヴァレリアン「レジェンドプリキュライドジュエルも全てハデユスの手に渡ってしまつた今、我々になす術がないのか。」

サルニコフ「我々は完全敗北をした事となる。」

地球全体が壊滅的な被害を受けて、レジェンドプリキュライドジュエルとフェアリージュエルを全て奪われてしまい、事実上完全敗北をした事となつたWJG。地球壊滅の影響で組織も被害を受け、なす術もない。

避難テント

アイカ、はるな「うつ、うつうつ。」

シン・ハデユスとの戦いに敗れたアイカ達は避難テントに運ばれて、アイカとはるなの2人は目が覚めた。

アイカ「ここは？」

アイゼンアロイス「気が付いたか。」

アイカ「アイゼンアロイス。」

フェアリール「目が覚めたね。」

はるな「フェアリール。」

アイゼンアロイス「人間界は完全に崩壊した。」

フェアリール「ドラグードとレヴォリユードとの一騎打ちで。」

アイカ「人間界が崩壊した……?!」

はるな「私達は負けたって事……。」

アイゼンアロイス「残念ながらそうだ。レジエンドプリキュライド、フェアリール
ジュエルも全て奪われ、俺達は完全敗北をしたんだ。」

アイカ「先輩達から託された力や妖精も奪われて、人間界は崩壊し、ママも助けられ
なかった。」

はるな「私達は負けたのね……。」

アイゼンアロイス、フェアリール「……。」

アイカ「あたし達は弱かったんだ、ハデユスの絶対的な強さに全く敵わなかつ
た……。」

はるな「悔しいよ……。」

シン・ハデウスに敗れてレジエンドプリキュアライドジュエルやフェアリージュエルを全て奪われてしまい、自分達の非力さを感じるアイカとはるな。

咲耶歌「あたし達、これからどうして行けばいいのかな？」

海「私にもわからないわ。人間界が崩壊した今、もうどうする事も出来ないわ。」

文「私達はハデウスに負けたんだね……。」

麗奈「ハデウスは私達全員が挑んでも勝つ事は出来なかった……。」

クレア「ハデウスに勝とうなんて私達には無理だった……。」

イゼル「あたしらでは勝てなかったな。」

ライラ「そのようだな。」

ハデウスの絶対的な強さを前に敵わず、自分達には勝つ事が出来なかった咲耶歌達。人間界全体も壊滅的な被害を受けて、どうする事も出来なかった。

咲耶歌「あたし達、プリキュアとして結局上手く出来ていたのかな？」

海「咲耶歌。」

咲耶歌「これまでいっぱい頑張って来たのに、ハデウスに負けちゃったんだ。あたし

達、どうしたらハデユスに勝てるの？どうしたら強くなれるの？」

文「……………」

咲耶歌「敵わなかった、あたし達が弱かった、力がなかった。悔しいよ、悔しいよ、悔しいよ……!!」

ライラ「そうだな。」

イゼル「あああつ。」

咲耶歌「これからどうしたらいいの?!あたし達はこのままおしまいなの?!」

クレア「……………」

咲耶歌「あたし達、このまま何も出来ないの…………?!」

自分達が弱さに悔しさと無念を感じ、どうする事も出来ない咲耶歌達。

なきぎ「あれから10年経ってもハデユスに勝てなかった……………」

ほのか「本当にそうだね……………」

咲「ハデユスに世界は再び崩壊させられて、もう社会が完全に終わっちゃったね。」

舞「今世界全体は崩壊した今、生活にも影響が出て、食糧の奪い合いが起きたりして
るわ。」

のぞみ「争い事はいやだよね。」

りん「そうだね。」

うらら「今、各地で略奪が起きたりしてます。」

こまち「世界崩壊の影響ね。」

かれん「えええ。」

美希「何だか辛く感じるわ。」

祈里「私達の知っている世界じゃなくなって来たんだね。」

つぼみ「荒れ果てた世界、まるで何もかも終わってしまった世界ね。」

えりか「綺麗な景色も見れなくなったね。」

いつき「そうだね。」

ゆり「これからどうして行くか。」

響「どうして行くかって?」

奏「わからないわ。」

みゆき「かなり難しい問題だね。」

あかね「人間はかなりの被害が出とる。」

やよい「もう混乱状態ね。」

なお「簡単に解決する問題じゃないね。」

れいか「そのようであります。」

マナ「あたし達で出来ることをまずはしよう。」

六花「そうみたいね。」

ありす「どうして行くかですね。」

めぐみ「簡単にはいかないみたいね。」

ひめ「地球各地はかなり荒れてるから。」

ゆうこ「治安もますます危険になってくるね。」

いおな「安全も考えないと。」

はるか「私達も私達で何をして行くか。」

みなみ「どのようにしてやって行くか？」

きさら「難題だらけね。」

みらい「何をしなればいいか？」

いちか「なかなか閃かない。」

ひまり「こんな状態では簡単には行きませんね。」

あおい「難しいな。」

ゆかり「全くね。」

あきら「そう一筋ではいかないみたいね。」

シエル「簡単な事じゃないみたいね。」

はな「そうだね・・・。」

さあや「犠牲者もかなり出てるわ。」

ほまれ「今回の戦いはかなり大き過ぎたみたいね。」

えみる「大変な時期が訪れるみたいね。」

ルルー「そうですね。」

この戦いで地球、人間界は崩壊し、かなり大き過ぎた犠牲が出て、これからどうして行くか考えるなごさ達。

くるみ「私に良い考えがあるわ。」

のぞみ「くるみ？」

アコ「私達異世界人なら自分達の故郷に帰還して食糧や物資を用意して持つて行くわ。」

エレン「一緒に用意して何とかして行くわ。」

真琴「私達に任せて。」

トワ「私も出来る事は尽くしますわ。」

リコ「魔法界に一旦戻って行くわ。」

ひかる「私達も一度戻って取りに行くよ。」

ララ「何かあつたらすぐに来るルン。」

えれな「苦しいけど何とかしてみるわ。」

まどか「私達は一度戻りに行きますわ。」

ユニ「じゃあ行くニャ。」

くるみ達異世界の人間は一度自分達のいる世界へ戻り、食糧や物資を取りに行くため出る事となった。その頃、自分達の非力さに悔いを感じるアイカ達は、

一同「……。」

これからどうしたらいいのか自分達でも分からず、今の自分達ではどうする事も出来ずにおり、無力感を抱いて虚しい気持ちでいた。

アイカ「結局、何も出来なかつた。」

はるな「私達ではハデユスに勝つ事なんか出来なかつた。」

麗奈「ハデユスは予想外の強さに私達を蹴散らした。」

咲耶歌「あたし達が弱かったからレジェンドプリキュライドジュエルやフェアリージュエルも全部奪われた。」

海「世界を守れなかった。」

文「世界が崩壊した事で荒れ果てた世界になっちゃった。」

クレア「私達はもう何もかもダメだったのね。」

イゼル「そうかもしれないな。」

ライラ「あああつ。」

何もかも絶望するアイカ9人は自分達がハデユスに勝てず、世界を守れなかった事に悔いを感じた。

アイゼンアロイス「それでいいのか?!

そんな中、絶望するアイカ達の前に声をかけて来たのはアイゼンアロイスだ。

アイカ「アイゼンアロイス・・・?」

この場にいたのは彼だけでなく、フェアリールら他のジャスティスヒーロー達もいた。

アイゼンアロイス「お前達はここまでだったのか?! 何のためにプリキュアになったんだ!!」

はるな「何のために・・・?!」

フェアリール「思い出して、あなた達がプリキュアになった意味を・・・!!」

咲耶歌「あたし達になった意味・・・?」

ソール「お前達はここでおしまいか?!」

ファイツ「君達がここで終わるはずじゃない!!」

烈陣丸「立ち上がれ!!」

バルクマツスラー「お前達プリキュアはまだ終えてないはずだ!!」

アイゼンアロイス「プリキュアが何だったのか・・・!!」

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「!!」

アイゼンアロイス達の言葉にアイカ達9人は何かに気が付き始めた。

アイカ「あたし達はママや世界を救うためにプリキュアになったんだ……。」
はるな「私達はまだプリキュアとして役目を終えてなかったんだ……。」

麗奈「私にはまだ故郷を取り戻すと言う目標があったんだ。」

咲耶歌「あたし達が諦めたらさらに絶望を増す所だった……。」

海「私達がプリキュアになった事、ファイツ達と共にハデウスから戦い抜く事……。」
文「夢のために守り続ける。」

クレア「私は故郷を取り戻すため。」

イゼル「あたしらはまだ役目を終えてない。」

ライラ「そうだな。」

諦めかけた9人はアイゼンアロイスら言葉に自分達がプリキュアになった事を思い出し、再び自分を取り戻した。

アイカ「あたし、もう1度頑張るよ。」

はるな「ハデウスを今度こそ倒してママを取り戻したい。」

アイゼンアロイス「俺達はいつでもお前達の味方だ。」

フェアリール「私達もこれからもあなた達と一緒に戦って行くわ。」

烈陣丸「ハデユスの野望を今度こそ終止符を。」

ソール「我々が必ずこの手で。」

ファイツ「私達も君達と共に歩んで行こう。」

バルクマツスラー「俺達はこの先もお前達を支えて行く。」

再びジャステイスヒーロー達と共に歩み事を選び、ハデユスの野望を打ち砕く決意をするアイカ達。そんな中、彼女達の前に五官王が現れた。

五官王「プリキュア、ジャステイスヒーロー達よ。」

トットム「五官王様!!」

五官王「再び決心しようだな。」

ペル「五官王様、何をしに……。」

五官王「これから全員へ地獄界へ行く。」

アイカ「地獄界に……?」

アイカ達全員を地獄界へ連れて行く五官王。一方、シン・ハデユスは、自ら用意した

新たな組織のところへ向かい、ラスフェックラーらセレブやインフェルノにいたレヴオリュード、ゴーゴル三姉妹、ヴェルアル、D r i i j s、W J Gからは中坂滝絵もいた。

???

ラスフェックラー「ククククク、これでワシらの時代じゃな。」

ロークット「プリキュアとインフェルノが滅んだお陰でワシらも動け出せてきたわ。」
ブランバーク「レジェンドプリキュライドジュエルやフェアリージュエルも全て手に入れたよ。」

アゼール「これで目的が動かせるな。」

ゴーゴルステノー「ハデウス様、大喜びですわ。」

ゴーゴルアレー「ようやく始まりの時ね。」

ゴーゴルドウーザ「ハデウス様の新たな創造を。」

レヴオリュード「今から始まる新たな世界を。」

シン・ハデウス「グローヴァリテイの時代だ。」

新組織グローヴァリテイの開始と共に新たな野望に向けて動き出すシン・ハデウス。彼ら以外にもグローヴァリテイに大勢の者もあり、中には亜苦羅を支配する悪炉血、ゴ

ウガイもいた。全員が邪悪な存在で、吐き気を催す者ばかりだ。

パラレルワールド

地獄界

閻魔庁

閻魔大王の部屋

閻魔大王「よくぞ来てくれたな。」

アイカ「閻魔大王様、無事だったんですか・・・？」

閻魔大王「ハデウスは既に次の段階へと進んでいる。ハデウスは人間界で密かに用意した者達と共に良からぬ事を企んでおる。」

はるな「ラスフェックターやブランバークやロークットやアゼールの事ね。」

閻魔大王「その通りだ。ハデウスは遙か前から人間界にいる邪悪な人間と手を組み、新たな野望に向けて進んでいる。その人間達は恐らく政治家や官僚や財界や芸能人等で集められ、裏で知らない事を企んで悪事しているようだ。」

麗奈「そうみたいね。奴らによって世界各地で戦争を引き起こしたり、他国を干渉して牛耳り、金融も操作して自分達の都合のいいにするなど数々の悪事が山ほど行っているわ。」

アイゼンアロイス「ラスフェックラーにこれ以上好き勝手させる訳にはいかない。」
鉄斎「俺はそいつらを追って今まで人間界を旅して来た。」

閻魔大王「奴らも一筋でない。強力な軍勢を持っている。その力はお前達より上回っている。」

咲耶歌「今のあたし達では勝てない。」

海「またやられてしまうだけね。」

文「私達が強くないといけなみたいね。」

クレア「ハデウスは私達より強かった。」

イゼル「このままにしている訳にもいかねえな。」

ライラ「今以上に強くないといけな。」

閻魔大王「お前達ブリキユアとジャステイスヒーローをこれからこの地獄界で修行をさせる事にする。」

ファイツ「修行か。今の私達ではハデウスには勝てない。全員で強くなつて行くしか方法はない。」

ソール「地獄界で修行して行くしかないな。」

フェアリール「私達も必ず強く身に付けて行くしかないわね。」

バルクマツスラー「鍛えて強くなる以外ない。」

「ボルケリート「地獄で修行か、悪くはないな。」

スカヴァ「私達は地獄界で修行して強くなるしかないみたいね。」

ウォーテイル「今の私達では勝つ事は難しいわ。」

ウイザーデイ「より強くなって行くほかはないようじや。」

明利江「地獄界で私達全員強くなるしかないようだ。」

ヴォイダートマン「俺達に今出来るのはそれしかない。」

スーパードレイ「私達は地獄界で修行して行く他はないね。」

隼疾風「この先、ゴウドウと戦う事もある。77

翔華楽「強くなって頑張って行こう。」

大和丸「俺達全員なら出来る。」

ブレイディオ「強く鍛えて行く。」

ガングニークス「必ずやり遂げてみせる。」

ジェーニー「地獄界で修行も悪くないな。」

アラミラード「そうだな。」

エンキナウ「地獄で限界を超えてやろうぜ。」

アムムント「地獄界で修行で強くなってやるぜ。」

マナートウ「あああつ、必ず出来る。」

ゴールドメツシユ「地獄で必ず強くなつてハデユスを倒してやるぜ。」

ミラーシエナ「私達全員、地獄界で修行で決まりね。」

エスパネス「プリキュアやジャスティスヒーローも全員強くならなければならない。」

ワプニオン「地獄界での修行やってみせる。」

閻魔大王「決意は出来ているようだな。」

アイカ「はい、あたし達全員は強くなるため地獄界で修行します。」

閻魔大王「これよりお前達全員はこの地獄界で修行を行う事とする。」

今の自分達では勝てないとわかり、閻魔大王の地獄界で修行する事で強くなる事に決意するプリキュア達とジャスティスヒーロー達。強くなるための彼女達の修行が今ここから始まる。

第一部 完

第二部

設定12

プリキュア

ハデユスとの戦いに敗れたプリキュア達は閻魔王の地獄界で修行し、あらゆる事に強くなり、今まで以上強さが身に付いた。気と言うのを身に付いた。戦闘中での瞬間移動が可能、全ての特殊能力の影響を一切受けなが身に付いた。

桃園アイカ／キュアストライク（13）

CV：諸星すみれ（アイカツの星宮いちご）

本作の主人公。桃園ラブと東せつなの間でプリマティアル細胞性出産で生まれた双子。ハデユスとの戦いに敗れて、仲間達と共に地獄界で4年間修行して、鍛えて強くなった。地獄界で修行した事により、従来のプリキュアの力を上回る能力、全ての特殊能力の影響を一切受けないと言うのも身に付けた。4年後の容姿は背が伸び、髪型が短髪になっている。嫌いな食べ物も食べれるようになった。修行した事により、身体能力、剣、体術がより優れるようになった。

桃園はるな／キュアシンシア（13）

CV：千本木彩花（甲鉄城のカバネリの無名）

本作の主人公。桃園ラブと東せつなの間でプリマティアル細胞の同性出産で生まれた双子。ハデウスとの戦いに敗れて、仲間達と共に地獄界で4年間修行して、鍛えて強くなった。地獄界で修行した事により、従来のプリキュアの力を上回る能力、全ての特殊能力の影響を一切受けないと言うのも身に付けた。4年後の容姿は背が伸び、髪型は4年前と同じ長髪のまま。嫌いな食べ物も食べれるようになった。修行した事により、身体能力、銃、体術がより優れるようになった。

麗奈Ⅱブランシユネージュ（23）／キュアフエッター

CV：庄司芽香（ゲゲゲの鬼太郎6期の猫娘）

WJGのメンバー、階級は大尉。ハデウスとの戦いに敗れて、仲間達と共に地獄界で4年間修行して、鍛えて強くなった。地獄界で修行した事により、従来のプリキュアの力を上回る能力、全ての特殊能力の影響を一切受けないと言うのも身に付けた。4年後の容姿は4年前とは変わらないが、髪型がポニーテールになっている。剣の腕をさらに磨き上げた。

天爛咲耶歌（18）／キュアマジック

CV：麻倉もも（マリアレコードの環いろは）

18歳。ハデウスとの戦いに敗れて、仲間達と共に地獄界で4年間修行して、鍛えて

強くなった。地獄界で修行した事により、従来のプリキュアの力を上回る能力、全ての特殊能力の影響を一切受けたくないと言うのも身に付けた。4年後の容姿は背が伸び、髪型は4年前とは変わらないが、修行した事により、身体能力が優れ、あらゆる魔法や術等が使えるようになった。

pixivの桔梗さんのオリキュアより

儀城海(18) / キュアジャック

CV: 木村茉莉 (フューチャーアベンジャーズのクロエ)

18歳。ハデウスとの戦いに敗れて、仲間達と共に地獄界で4年間修行して、鍛えて強くなった。地獄界で修行した事により、従来のプリキュアの力を上回る能力、全ての特殊能力の影響を一切受けたくないと言うのも身に付けた。4年後の容姿は背が伸び、髪型は4年前とは変わらないが、修行した事により、身体能力も優れ、格闘技や各世界の知識が身に付くようになった。

pixivの桔梗さんのオリキュアより

周防文(18) / キュアクイーン

CV: 石川由依 (進撃の巨人のミカサ・アッカーマン)

18歳。ハデウスとの戦いに敗れて、仲間達と共に地獄界で4年間修行して、鍛えて強くなった。地獄界で修行した事により、従来のプリキュアの力を上回る能力、全ての

特殊能力の影響を一切受けたいと言うのも身に付けた。4年後の容姿は背が伸び、髪型は4年前とは変わらないが、修行した事により、身体能力、槍術がより優れるようになった。

pixivの桔梗さんのオリキュアより

クレア||ベルリーニ(24) / キュアミステイック

CV: 田所あずさ

アルフオート出身、24歳。ハデウスとの戦いに敗れて、仲間達と共に地獄界で4年間修行して、鍛えて強くなった。地獄界で修行した事により、従来のプリキュアの力を上回る能力、全ての特殊能力の影響を一切受けたいと言うのも身に付けた。4年後の容姿は髪型が長髪になっている。修行した事により、身体能力も優れ、格闘技や武術が身に付くようになった。

イゼル(25) / キュアアラム

CV: 石原夏織

中東出身、25歳。ハデウスとの戦いに敗れて、仲間達と共に地獄界で4年間修行して、鍛えて強くなった。地獄界で修行した事により、従来のプリキュアの力を上回る能力、全ての特殊能力の影響を一切受けたいと言うのも身に付けた。4年後の容姿は中東の衣装からアイカ達と同じ衣装を着用している。修行した事により、身体能力も優れ、

格闘技や武術が身に付くようになった。

ライラ（23）／キュアジュールフ

CV：佐倉綾音

中東出身、23歳。ハデウスとの戦いに敗れて、仲間達と共に地獄界で4年間修行して、鍛えて強くなった。地獄界で修行した事により、従来のプリキュアの力を上回る能力、全ての特殊能力の影響を一切受けないと言うのも身に付けた。4年後の容姿は中東の衣装からアイカ達と同じ衣装を着用している。修行した事により、身体能力も優れ、格闘技や武術が身に付くようになった。

妖精

トットム

アスゴルド王国出身の妖精。性格は江戸っ子で口が悪く、姿は頭に鉢巻を締めたハムスター。ハデウスが再び動き出した事により、オーズイーンと地獄界の閻魔大王の命によりペル、アーニャと共にフェアリールジュエルやプリキュライドジュエルを探す事で、人間界へ向かう。

pixivの桔梗さんのオリキャラより

ペル

アスゴルド王国出身の妖精。真面目でしっかり者で、ペンギンの姿をしている。周り

の人間に対してはくさんと呼んでいる。オーズイーンと地獄界の閻魔大王の命によりトットム、アーニヤと共にフェアリアルジュエルやプリキュライドジュエルを探す事で、人間界へ向かう。

pixivの桔梗さんのオリキャラより

アーニヤ

アスゴルド王国出身の妖精。首にネックレスを掛けたシャム猫の姿をしている。トットム、アーニヤと共にアイカ達と行動する。

pixivの桔梗さんのオリキャラより

プリキュア

4年前のハデウスとの戦いに敗れて、閻魔大王の地獄界で4年間修行した事で、身体を鍛えて、獄気を身に付けた。極気はワンピースの覇気と同じで、全て地獄を鍛えて乗り越えたもののみ使える。

キュアストライク

アイカが変身したプリキュア。アイカ本人も身長が伸びた事で、プリキュアの姿も身長が伸び、衣装は4年前とは変わらないが、地獄で修行した事により、身体能力、剣、術がより優れて強くなり、全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ストライクサンシャインパンチ

ストライクの必殺技。両手に獄気を集中しながらピンクの発光して、敵に両拳で殴り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ストライクサンシャインキック

ストライクの必殺技。両足に獄気を集中しながらピンクの発光して、敵に向かってジャンプしてキックする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ストライクサンシャインスラッシュ

ストライクの必殺技。キュアブレードマグナム剣モードの刀身に獄気を集中してピンクの発光しながら相手を斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ストライクサンシャインショット

ストライクの必殺技。キュアブレードマグナム銃モードに獄気を集中しながら銃口からピンクのハート型光線を発射して、敵全体に射撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアシンシア

はるなが変身したプリキュア。はるな本人も身長が伸びた事で、プリキュアの姿も身長が伸び、衣装は4年前とは変わらないが、地獄で修行した事により、身体能力、銃、体術がより優れて強くなり、全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・シンシアサンシャインパンチ

シンシアの必殺技。両手に獄気を集中しながらレッドの発光して、敵に両拳で殴り込む。相手を浄化または撃破する。その威力はプリキュア・シンフォギアサンシャインを上回り、全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・シンシアサンシャインキック

シンシアの必殺技。両足に獄気を集中しながらレッドの発光して、敵に向かってジャンプしてキックする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・シンシアサンシャインスラッシュ

シンシアの必殺技。キュアブレードマグナム剣モードの刀身に獄気を集中してレッドの発光しながら相手を斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・シンシアサンシャインショット

シンシアの必殺技。キュアシンシアマグナム銃モードに獄気を集中しながら銃口か

らレッドのハート型光線を発射して、敵全体に射撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアフェッター

麗奈が変身したプリキュア。姿は4年前とは変わらないが、髪型は紫のポニーテールで、地獄で修行した事により、身体能力、剣、銃術がより優れて強くなり、全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・フェッターハンドスラッシュ

フェッターの必殺技。両手にごく気を集中してパープルの光刃を纏いながら敵に斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・フェッターソードザンバー

フェッターの必殺技。キュアカタナテツポウ刀モードの刀身に獄気を集中してパープルの発光を纏いながら斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・フェッターザンバーショット

フェッターの必殺技。キュアカタナテツポウの鉄砲モードの銃口に獄気を集中しながら銃口から多数のパープルの剣型光線を発射して、敵全体に射撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアマジック

咲耶歌が変身したプリキュア。咲耶歌本人も身長が伸びた事で、プリキュアの姿も身長が伸び、姿は4年前とは変わらないが、地獄で修行した事により、身体能力、魔法や術も身に付くようになった。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・マジックトランプスラッシュ

マジックの必殺技。トランプを数枚手に持ちながら、獄気を集中してマゼンタの発光を纏いながら敵に斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・マジックエクスペロージョン

マジックの必殺技。片手で人差し指を前に出しながら、敵全体の真下に魔法陣を出して大爆発させる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・マジックファイアアイス

マジックの必殺技。マジックステッキスピア杖モードで振りながら、敵に火と氷の螺旋状を出現して巻き付いて爆発させる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・マジックイリュージョンスピーア

マジックの必殺技。マジックステッキスピア槍モードに獄気を集中しながらマゼン

タの発光をしながら、無数の槍を形成して、敵全体に降り注ぐ。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアジャック

海が変身したプリキュア。海本人も身長が伸びた事で、プリキュアの姿も身長が伸び、姿は4年前とは変わらないが、地獄で修行した事により、身体能力、格闘技、槍技が身に付いた。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ジャックフイストアッパー

ジャックの必殺技。両腕に獄気を集中してブルーの発光しながら敵にパンチで連打して殴り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ジャックスープレックス

ジャックの必殺技。全身に獄気を集中してブルーの発光しながら相手を持ち上げて、地面に思いつきりぶち込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ジャックハードヒット

ジャックの必殺技。ジャックステッキスピア杖モードに獄気を集中してブルーの発光をしながら、敵に思いつきり叩く。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影

響を一切受けない。

プリキュア・ジャックエイミングスピア

ジャックの必殺技。ジャッククステッキスピア槍モードに獄気を集中しながらブルーの発光をしながら敵に刺突する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアクイーン

文の変身したプリキュア。本人も身長が伸びた事で、プリキュアの姿も身長が伸び、姿は4年前とは変わらないが、地獄で修行した事により、身体能力、体術、槍技が身に付いた。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・クイーンストーンボール

クイーンの必殺技。人差し指から石の球状を形成して、敵にシュートして攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・クイーンクロススラッシュ

クイーンの必殺技。クイーンナギナライフル薙刀モードに獄気を集中しながらイエローの発光して、敵に十字斬りし、最後に刺突する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・クイーンウィンドショット

クイーンの必殺技。クイーンファンから突風を放ち、敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・クイーンバスターアタック

クイーンの必殺技。キュアブレイカーに獄気を集中しながらイエローの発光して、銃口から強力な光刃を出刃しみて、敵全体に攻撃する。その威力は都市全体を破壊すると言われる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアミスティック

クレアが変身した姿。姿は4年前と変わらないが、地獄で修行した事により、身体能力、武術、体術が身に付いた。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ミスティックマーシャルキック

ミスティックの必殺技。空中ジャンプし、右脚に獄気を集中しながらグレーの発光して、敵に踵下ろし蹴りする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ミスティックトライナックル

ミスティックの必殺技。素早く駆け込みながら敵に三方向からパンチし、最後に右拳に獄気を集中しながらグレーの発光して、敵に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ミスティックサークルスラッシュ

ミスティックの必殺技。左腕に装着しているミスティックサークルスピナーに獄気を集中しながらグレーの光状の円輪を纏わせて、敵を斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ミスティックサークルショット

左腕に装着しているミスティックサークルスピナーに獄気を集中しながらグレーの光状の円輪を放ち、敵に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアアラム

イゼルが変身したプリキュア。姿は4年前と変わらないが、地獄で修行した事により、身体能力、武術、体術が身に付いた。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・アラムストームパンチ

アラムの必殺技。右腕に獄気を集中してグリーンの光状の竜巻を纏いながら敵を攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・アラムストームキック

アラムの必殺技。右脚に獄気を集中してグリーンの光状の竜巻を纏いながら敵を攻

撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・アラムストームツインスライサー

アラムの必殺技。アラムツインダガーに獄気を集中してグリーンの発光を纏いながら敵に斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・スピードサイクロンキック

アラムの必殺技。敵に向かって空中キックをし、敵の胴体に足を近づけたまま竜巻を放ち、胴体を貫く。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアジュールフ

ライラが変身したプリキュア。姿は4年前と変わらないが、地獄で修行した事により、身体能力、武術、体術が身に付いた。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ジュールフブレイクパンチ

ジュールフの必殺技。右腕に獄気を集中してオレンジの光状を纏いながら敵を攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ジュールフブレイクキック

ジュールフの必殺技。右脚に獄気を集中してオレンジの光状を纏いながら敵を攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ジュルフクラツシャー

ジュルフの必殺技。ジュルフハンマーに獄気を集中してオレンジの発光を纏いながら敵に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュアジュルフクラツシャーパンチ

ジュルフの必殺技。両腕にオレンジの光状を纏いながら敵に向かって思いっきり左右のパンチで殴り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アイテム

キュアアトフオンチエンジャー

アイカとはるなと麗奈と咲耶歌と海とクレアとイゼルとライラが使う変身アイテム。基本は第一部と同じ、歴代プリキュアやジャスティスヒーローズの力を使って変身する事も可能。また電話での通話が可能。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアブレードマグナム

ストライクとシンシアの武器。基本は第一部と同じで、剣モードと銃モードの2種類の機能を持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアカタナテツポウ

フェッター専用の武器。基本は第一部と同じで、刀モードと鉄砲モードの2種類を持

つ。剣モードと銃モードの2種類の機能を持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マジックステッキスピア

マジック専用武器。基本は第一部と同じで、杖モードと槍モードの2種類を持ち、棒の横にプリキュライドジュエルを5つ装着する機能があり、マジックや多段変身が可能。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ジャックステッキスピア

ジャック専用武器。基本は第一部と同じで、杖モードと槍モードの2種類を持ち、棒の横にプリキュライドジュエルを5つ装着する機能があり、マジックや多段変身が可能。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアナギナライフル

クイーン専用の武器。基本は第一部と同じで、薙刀モードと小銃モードの2種類を持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

クイーンファン

クイーン専用の扇子型武器。基本は第一部と同じで、マジックとジャックのステッキスピアはプリキュライドジュエルを5つ装着するの対し、こちらは扇子の扇面に10本装着する事で、マジックや多段変身が可能。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアブレイカー

キュアアナギナライフルとクイーンファンを合体した武器。基本は第一部と同じで、キュアアナギナライフルを小銃モードの銃口にクイーンファンと連結し、強力な必殺技を発動する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ミステイックサークルスピナー

ミステイック専用の武器。基本は第一部と同じで、左腕に装着し、円形型をし、エネルギー弾を連射し、また盾として使用したりする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アラムツインダガー

アラム専用武器。双剣型で、切れ味は鋭い。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ジュールフハンマー

ジュールフ専用武器。ハンマー型で、打撃力は高い。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

共通技

気除明点

プリキュア達の共通技。獄気を放ちながら、敵を気絶させたり、気絶以外にも隠れている敵の姿を解除したり、仮想空間などの空間系を簡単に解除したりする。

気心能捜

プリキュア達の共通技。獄気を感じなら敵の気配や強さを感じ取る。

気精孔弾

プリキュア達の共通技。獄気で形成した光弾を放つ。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ジャステイスヒーロー

アイゼンアロイス

CV：花輪英司

ジャステイスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で姿も変わって進化し、両腕からは変幻自在するキュアメタルアームによってアームビームブラスター、アームキュアメタルナックル、アームビームブレードにそれぞれ変化し、両脚にはキュアメタルレッグブラスター、背中の小型飛行ユニットはウィングキュアメタルウェポンとなって飛行も可能でレーザーを放ち、パワージャッキも両腕脚に内蔵し、より強くなった。格闘や射撃や攻撃力も優れており、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ストライクが使用して召喚し、またストライクと一体化してキュアストライクアイゼンフォームへとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アベンジャーズのアイアンマンマーク50を元に

キュアストライクアイゼンフォーム

ストライクとアイゼンアロイスが一体化した姿。4年後のアイゼンアロイスの姿をストライクの全身にアーマーを纏わせ、両腕にキュアメタルアームでアームビームブラスター、アームキュアメタルナックルにそれぞれ変化し、掌からはビームブレードを出し、両脚にはキュアメタルレッグブラスター、背中の小型飛行ユニットのキュアメタルウイングバーニアを装備し、格闘や射撃や攻撃力も優れており、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・アイゼンメタルナックル

ストライクアイゼンフォームの必殺技。両腕のキュアメタルアームから変化したキュアメタルナックルのパワージャッキに獄気を集中して発光しながら、相手に左右からパンチで殴る。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・アイゼンビームツインスマッシュ

ストライクアイゼンフォームの必殺技。両腕のキュアメタルアームの掌から出したビームブレードで敵に強く打ち込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・アイゼンサンシャインバスター

ストライクアイゼンフォームの必殺技。両腕のキュアメタルアームから変化したアームビームブラスタのパワージャッキを獄気を集めて発光しながら両手を合わせて掌から強力な光線を放ち、敵に喰らわせる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・アイゼンレーザープラスト

ストライクアイゼンフォームの必殺技。背中のキュアメタルウイングバーニアから無数のレーザー光線を放ち、敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・アイゼンサンシャインバスターショット

ストライクアイゼンフォームの必殺技。キュアブレードマグナム銃モードから手に持ったままパワージャッキを発光して獄気とエネルギーの2つを集中しながら一気に強力な光線を放ち、敵全体に喰らわせる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

フェアリール

CV：水橋かおり

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で

姿も変わって進化し、背中の翼は鳥人の翼、衣装は戦闘服、武器が現代風アサルトライフルとなり、アサルトライフルは実弾、魔法弾、貫通弾に切り替えて、無数に召喚も可能、掌から光弾を放つ。動きやスピードや射撃に優れており、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ストライクが使用して召喚し、またストライクと一体化してキュアアストライクアイゼンフォームへとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アベンジャーズのワスプ、まどかマギかのバママを元に

キュアシンシアフェアリーフォーム

シンシアとフェアリールが一体化した姿。シンシアにフェアリーの姿の戦闘服を着用、背中に鳥の翼があり、アサルトライフルを召喚して攻撃を行い、無数のアサルトライフルを召喚して、一斉射撃をし、あらゆる遠距離や全方位からの対応を可能とし、命中率も確実に、弾は通常弾、貫通弾、魔法弾の3種類に切り替え、掌から光弾を放ち、鳥の翼で飛行しながら素早いスピード攻撃を駆使し、動きやスピードや射撃に優れており、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・フェアリーエイミングシュート

シンシアフェアリーフォームの必殺技。獄気を集中しながら眼で相手の動きを捉えて、アサルトライフルで狙撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影

響を一切受けない。

プリキュア・フェアリアルバーストシユート

シンシアフェアリアルフォームの必殺技。無数のアサルトライフルを召喚し、背中のから羽と同時に敵全体に一斉射撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・フェアリアルウイングスラッシュ

シンシアフェアリアルフォームの必殺技。背中の鳥の翼を広げて飛びながら敵に斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・フェアリアルエアリアルバードアタック

シンシアフェアリアルフォームの必殺技。鳥の翼を羽ばたいて空を飛んで自由自在に回りながら敵全体に突撃し、鳥の翼で斬り付けて行き、次に掌から光弾を放ち、さらにアサルトライフルをあらゆる方位から召喚して射撃し、最後に掌から光線を放つ。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・フェアリアルバスターテンペスト

シンシアフェアリアルフォームの必殺技。キュアブレッドマグナム銃モードと無数のアサルトライフルと共に獄気とエネルギーの2つを集中しながら一斉射撃しつつ、敵全体に喰らわせる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切

受けない。

烈陣丸

CV：小西克幸

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事でも変わって進化し、前の武者鎧が武将風の鎧へとなり、武器は刀型のキュアメタル戦烈鬼のみで、あらゆる剣術と剣技に優れ、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。フェッターが使用して召喚し、またフェッターと一体化してキュアフェッター烈陣フォームへとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアフェッター烈陣フォーム

フェッターと烈陣丸と一体化した姿。フェッターに烈陣丸の姿をした武将風の鎧を身に纏い、女武将と思わせ、剣術や剣技や防御力に優れており、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア気烈閃斬

フェッター烈陣フォームの必殺技。キュアメタル戦烈鬼の刀身に獄気を集中して発光しながら敵を素早く一刀両断する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア気真空斬

フェッター烈陣フォームの必殺技。キュアメタル戦烈鬼の刀身に獄気を集中して発光しながら真空波を放ち、敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア烈陣残翔月

フェッター烈陣フォームの必殺技。キュアメタル戦烈鬼を持ったまま刀身に獄気を集中して発光しながら敵に向かってダツシユして斬撃し、敵を上を飛ばして、自身も昇りながら斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けな
い。

プリキュア烈陣双斬突刃

フェッター烈陣フォームの必殺技。キュアカタナテツポウ刀モードとキュアメタル戦烈鬼の頭を連結して、両手に持ちながら敵に向かって大きく振りながら斬撃を繰り出し、最後に刺突する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けな
い。

ソール

CV：加瀬康之

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で

姿は4年前と同じだが、雷の力をより強く強化し、気候や超能力や飛行能力も健在。ミヨルニアも進化して、キュアメタルミヨルニアと新たにアスゴルボウガンが加わった。パワーや魔法に優れており、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。現在はヒーローライドジュエルに入っており、マジックが使用して召喚し、またマジックと一体化してキュアマジックソールフォームへとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアマジックソールフォーム

マジックがソールと一体化した姿。マジックにソールの姿をしたフォームを纏い、雷槌ミヨルニアとアスゴルボウガンを手にながら雷や気候を操り、魔法や術や超能力も駆使する。パワーや魔法に優れており、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ソールサンダースーパースマッシュ

マジックソールフォームの必殺技。ミヨルニアに獄気を集中して発光しながら強力な雷を纏って敵に殴り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ソールサンダーストームショット

マジックソールフォームの必殺技。腕に装着しているアスゴルボウガンに極気を集

中して発光しながら雷状の嵐を放ち、敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ソールスコールウエーブアースクエイクサンダー

マジックソールフォームの必殺技。敵全体に真上から豪雨を降り注ぎ、次に巨大な津波を起こし、大地震を起こし、最後に落雷する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ソールライトニングプラズマブレイカー

マジックソールフォームの必殺技。ミョルニアに獄気を集中して発光しながら雷を集中して、強力な雷光を放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ソールプラズマスピアブレイク

マジックソールフォームの必殺技。マジックステッキスピア槍モードに獄気を集中して発光しながら雷を纏って敵に投擲して雷撃を喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ファイツ

CV：中谷一博

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で

姿も変わって進化し、全身に強化アーマーのキュアメタルプロテクターアーマーを身に纏い、顔はヘルメット型のキュアメタルマスクを着用し、色は青一色でカラーリングしている。ジャステイスシールドも進化して、キュアメタルジャステイスシールドへととなり、かなり頑丈さと高い防御力を持ち、投擲としても可能とし、格闘技と体術とバランスに優れている。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ジャックが使用して召喚し、またジャックと一体化してキュアジャックファイフオームへとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アベンジャーズのキャプテンアメリカとキン肉マンのテリーマンを元に

キュアジャックファイフオーム

ジャックがファイツと一体化した姿。ジャックにファイツの姿をしたキュアメタルプロテクターアーマーを身に纏い、顔はヘルメット型のキュアメタルマスクを着用し、武器はキュアジャステイスシールドのみで、格闘技と体術とバランスに優れている。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ファイツスーパーイーグルキック

ジャックファイツフォームの必殺技。全身に獄気を集中して発光しながら敵に向かってジャンプして、両手を広げて両脚を揃えてキックする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ファイツブローニングパンチ

ジャックファイツフォームの必殺技。左右からパンチで連打して打ち込み、最後に右腕を360°回転しながら思いっきり殴り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ファイツブレンバスター

ジャックファイツフォームの必殺技。全身に獄気を集中して発光しながら相手を逆さまに持ち上げてジャンプし、相手を抱きかかえたまま地面に強くぶち込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ファイツシールドスピニングブーメラン

ジャックファイツフォームの必殺技。ジャステイスシールドを手に構えて、身体を360°回転しながらジャステイスシールドを投擲し、自由自在に回りながら敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ファイツシールドヨーヨー

ジャックファイツフォームの必殺技。ジャステイスシールドに獄気を集中して発光しながら、敵に向かってジャステイスシールドをヨーヨーのように投げて何度も繰り返し、最後はジャステイスシールドを真っ向からシュートして打ち込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

バルクマツスラー

CV：松田健一郎

ジャステイスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事では4年前と同じだが、力はより強くなり、攻撃力とパワーがとてつもなく高く優れており、高いパワーを強いた戦いと相撲技を得意とし、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。現在はヒーローライドジュエルに入っており、クイーンが使用して召喚し、またクイーンと一体化してキュアクイーンバルクフォームへとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アベンジャーズのハルクとキン肉マンのウルフマンを元に

キュアクイーンバルクフォーム

クイーンがバルクマツスラーと一体化した姿。両腕にキュアメタルバルクナックル、胴体にキュアメタルバルクアーマー、両脚にキュアメタルバルクレギンスを装着し、高い攻撃力とパワーに非常に優れており、打撃技も健在で、4年前より遥かに強くなっている。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・バルクハンマースマッシュ

クイーンバルクフォームの必殺技。両手に獄気を集中して発光しながら、ブローで合わせながら思いっきり地面に打ち込んで敵全体衝撃波喰らわせる。相手を浄化または

撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・バルクツインブレイクナツクル

クイーンバルクフォームの必殺技。両腕に獄気を集中して発光しながら敵にストリートして思いつきリダブルパンチする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・バルク連突手破

クイーンバルクフォームの必殺技。両手から平手打ちを連打で繰り出しながら敵に思いつき喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・バルク昇雲投落撃

クイーンバルクフォームの必殺技。全身に獄気を集中して発光しながら敵を掴んで高ジャンプしたまま地上に急降下し、掴んだ敵を思いつきぶつけて衝撃波を喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・バルククラッシュャーバスター

キュアブレイカー気を集中して発光しながら武器をチャージしてトリガーを引いて、バルクマッスラーのエネルギー状の光線を放ち、敵全体に喰らわせる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ミラーシエナ

C V：井口裕香

ジャステイスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で姿も変わって進化し、美貌な女性へとなり、可愛さから大人の女性へとなり、アーマーからドレスへと変えて、反射能力を捨てて防御力と魔法に力を入れて、防御力と魔法に優れており、ビットと鏡を組み合わせたミラーシールドビット10基は魔法と防御に使われ、また頭部にはバイザーもあり、索敵、分析能力を持つ。4年前の姿の数倍の強さを持つ。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ミスティックが使用して召喚し、またミスティックと一体化してキュアマスティックミラーシエナフォームへとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

シンフォギアの小日向未来を元に

キュアマスティックミラーシエナフォーム

ミスティックがミラーシエナと一体化した姿。今のミラーシエナの姿に合わせてミラーシエナドレスを纏い、武器は10基のミラーシールドビットによる攻撃で、防御力と魔法に優れている。4年前より遥かに強くなっている。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ミラーシエナミラーバリアシールド

ミステイック・ミラーシエナフォームの必殺技。10基のミラーシールドビットからバリアを発生し、味方全体を敵の攻撃から防ぐ。かなりの頑丈さを持つ。

プリキュア・ミラーシエナビットバスター

ミステイック・ミラーシエナフォームの必殺技。10基のミラーシールドビットであらゆる全角方向で敵全体の周りに包囲し、ミラーシールドビット全基から光弾を無数に放ち、最後に掌から光線を放つ。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ミラーシエナビットマジカルストーム

ミステイックミラーシエナフォームの必殺技。10基のミラーシールドビットで敵全体の包囲を円陣を形成して囲み、円陣から魔力で形成した暴風で敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ミラーシエナビットイレブンエツジ

ミステイックミラーシエナフォームの必殺技。左腕に装着しているミステイックサークルスピナーに獄気を集中しながらグレーの光状の円輪を纏わせ、10基のミラーシールドビットから光刃を出し、敵に向かって10基のミラーシールドビットで突撃し、最後にミステイックサークルスピナーで斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ミラーシエナビットマジカルクロスレイ

ミスティックミラーシエナフォームの必殺技。10基のミラーシールドビットで十字を形成し、強烈な光を放ちながら敵全体に与える。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ジェーニー

CV：神谷浩史

ジャステイスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事では4年前と同じだが、能力は強くなり、能力は魔法や物理攻撃が優れ、武器はジェーニーランプを持ち、霧を形成した攻撃を得意とする。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。現在はヒーローライドジュエルに入っており、アラムが使用して召喚し、またアラムと一体化してキュアアラムジェーニーフォームへとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアアラムジェーニーフォーム

アラムがジェーニーと一体化した姿。ジェーニーアラビアンドレスを纏い、武器はジェーニーランプで、魔法と物理攻撃に優れ、霧を形成したあらゆる物で攻撃する。4年前より遥かに強くなっている。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ジェーニーミストレイン

アラムジェーニーフォームの必殺技。霧で形成した雨を敵全体に降り注いで攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ジェーニーミストパンチャー

アラムジェーニーフォームの必殺技。右手に獄気を集中しながら霧で形成した拳を放ち、敵に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ジェーニーアラビアンザンバー

アラムジェーニーフォームの必殺技。アラムツインダガーに獄気を集中しながら霧状を纏いながら敵に斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マナートウ

CV：ブリドカットセーラ恵美

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事では姿はも変わって進化し、戦闘服を着用し、両腕には籠手型のキュアメタルマナートウクローを着用し、敵の攻撃を吸収して自分の力に増すも健在し、爪を伸ばしたりし、キュアメタルナツクルやキュアメタルアームスピアに変化したりし、格闘技やバランスに優れている。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。現在はヒーローライドジュエルに入っ

ており、ジュールフが使用して召喚し、またジュールフと一体化してキュアジュールフマナー
トウフオームへとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアジュールマナートウフオーム

ジュールフとマナートウが一体化した姿。マナートウバトルスーツを纏い、両腕に両腕
には籠手型のキュアメタルマナートウクロを着用し、敵の攻撃を吸収して自分の力に
増すも健在し、爪を伸ばしたりし、キュアメタルナックルやキュアメタルアームスピア
に変化したりし、格闘技やバランスに優れている。4年前より遥かに強くなっている。
全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・マナートウクロススライサー

ジュールフマナートウフオームの必殺技。キュアメタルマナートウクロに獄気を集
中して発光しながら敵を切り裂く。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影
響を一切受けない。

プリキュア・マナートウアツパークラッシュ

ジュールフマナートウフオームの必殺技。キュアメタルマナートウクロから変化し
たキュアメタルナックルからアツパーで連打で繰り出しながら敵に喰らわせる。相手
を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・マナートウストリングナックル

ジュールフマナートウフォームの必殺技。キュアメタルマナートウクローから変化したキュアメタルアームスピアに獄気を集中して発光しながら敵に刺突する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・マナートウスパイルドリルキック

ジュールフマナートウフォームの必殺技。全身に獄気を気を集中して発光しながら空中ジャンプし、自身をドリルのように回転しながら敵に向かって突撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・マナートウインパクトスラッシュ

ジュールフマナートウフォームの必殺技。メタルマナートウクローに獄気を集中して発光しながら衝撃波を放ち、敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

グロウヴァリテイ

悪の超巨大組織。ハデウスが密かに用意し、人間界の世界各地の政治家や官僚や財界人などのセレブで構成され、中には怪人もいる。怪人はインフェルノと同様に超人、機械、人間もいるが、その中でミュータント、キメラ、爬虫類、悪魔がいる。人間界では影で暗躍し、WJGやインフェルノに潜ませ、目的は不明。高度な科学力や人間界で集めた莫大な資金があり、兵力は不明だが、インフェルノより上回る。組織の支配者はハ

デウス、No2はレヴオリユードが着いている。

最高幹部

ゼシウス

CV：川田紳司

グローヴァリテイの最高幹部。種族は人間。レヴオリユードの腹心。詳細は不明。

ギガノトロス

CV：北沢洋

グローヴァリテイの最高幹部。種族は爬虫類。ギガノトザウルスの姿をし、テイラノスの2倍の大きさをし、強力なパワーと牙と爪と尻尾を持ち、爬虫類族の長の1人で、上には爬虫類貴族がおり、彼の配下は恐竜やトカゲや蛇などの爬虫類タイプの怪人を持つ。同じ爬虫類のゴール三姉妹とは仲が良い。力で相手を支配し、冷酷と暴虐と残酷な性格で、高い実力を持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

ギガノトブレイクフアング

ギガノトロスの必殺技。強力な牙で相手を噛み砕く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ギガノトブレイククロー

ギガノトロスの必殺技。強力な爪で相手を切り裂く。全ての特特殊能力の影響を一切受けない。

ギガノトブレソオブザウルス

ギガノトロスの必殺技。大きな口を開いて、強力なエネルギー状のギガノトザウルスを息吹きして、敵全体に食らわす。その威力は大陸1個分を壊滅させる事が可能。全ての特特殊能力の影響を一切受けない。

ギガノトクラツシウイッブテイル

ギガノトロスの必殺技。尻尾を大きく振り回しながら敵全体に喰らわす。全ての特特殊能力の影響を一切受けない。

ダビッツIIラスフェック

CV：斎藤次郎

グローヴァリテイの最高幹部。種族は人間。世界一の大富豪の1人で、姿は90代に近い小柄の老人で、食品、家電等を扱う大企業デスロツク社の会長。彼は人間界で悪名高く、様々な悪事をし、集めた資金でグローヴァリテイに提供している。

オメガデイツトマンアルデイステラ

CV：杉田智和

グローヴァリテイの最高幹部。種族は超人。かつてファイナルウォーに出たジ・オメ

ガディットマンの双子の兄であり、外見は少し似ているが、顔の目付きが鋭く、背中の大きな手の向きは左向きで、性格は残虐、残忍、冷酷、冷徹である。戦闘力はジ・オメガディットマン以上であり、ファイティングスタイルもパワーと技術を活かした戦いに優れており、宇宙艦隊全体や惑星100個分をたった一人で葬る力を見せつける。オメガディット族の繁栄のためにグローヴァリテイに尽くしている。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キン肉マンのオメガマンアリステラを元に

必殺技

オメガディットフィンガースラッシュ

オメガディットマンアルデイステラ**の必殺技**。背中の大きな手の指にある爪で敵を引き裂く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

オメガディットフィンガーストリング

オメガディットマンアルデイステラ**の必殺技**。背中にある大きな手の5本指を突き出しながら敵に刺突する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

オメガディットラッシュユナツクル

オメガディットマンアルデイステラ**の必殺技**。両手から高速で繰り出す多連の拳で敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

オメガテイツトスラッシュハンド

オメガテイツトマンアルデイステラの必殺技。両手に光状の刃を纏いながら敵に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

オメガテイツトアーマゲドンドストロイヤー

オメガテイツトマンアルデイステラの必殺技。背中にある大きな手で相手を持ち上げたまま空中を飛んで、一気に急降下して地面にぶち込み、衝撃波を起こし、敵全体にも喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

大幹部

テイラノス

CV：外島孝一

グローヴァリテイの大幹部。種族は爬虫類。テイラノサウルスの姿をし、巨体と牙と爪と尻尾を持ち、凄まじいパワーによる高い攻撃力で圧倒し、性格は冷酷非道、残虐残忍で、弱者を力で支配しつつ、虐殺と殺戮を楽しむ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

テイラノクロー

テイラノスの必殺技。両手の爪で相手を切り裂く。全ての特殊能力の影響を一切受

けない。

ティラノタツクル

ティラノスの必殺技。勢いでかかりながら思いつきり体当たりする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ティラノブレイクファング

ティラノスの必殺技。巨大な牙で相手を噛み砕く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ティラノブレスフレイム

ティラノスの必殺技。口から強力な火炎を吐き、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

レイディキータル

CV：戸谷公人

グロウヴァリティの大幹部。種族は昆虫。外見はてんとう虫の姿をした人型で、性格はクルーで、あらゆる格闘技、空中を強い戦いを得意とし、オメガデイトマンアルデイステラと同じ族の1人で、彼の腹心的なポジションでもある。宇宙艦隊全体や惑星100個分をたった一人で葬る力を見せつける。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

レイディエアリアルアタック

レイディキータルの必殺技。空中を飛び回りながら敵全体に突撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

カローフウダリヤーチ

レイディキータルの必殺技。素早くパンチを繰り出して相手に喰らわせる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マリキータステイングキック

レイディキータルの必殺技。空中から相手の頭上に向かって両脚を合わせて発光しながらキックで打ち込む。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マリエンゼーデルヒープ

レイディキータルの必殺技。背中にある羽根を刃のようにし、強力な斬撃を繰り出す。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

幹部

ターボヒッツ

CV：藤井隼

グローヴァリテイの幹部。種族は機械生命体。外見はロボットの姿をし、両腕にリボ

ルバーアームが内蔵し、強力な火力で撃ち込む。また掌からニードルを出して相手を突き刺す。両腰にはターボブースターが装備されている。性格は機械的で、相手を容赦なく始末する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キン肉マンのターボマンを元に

必殺技

ターボリボルバスター

ターボヒッツの必殺技。両腕のリボルバーアームから強力なビーム弾を放ち、敵全体に喰らわし、その威力は都市1個分を焼き尽くす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ターボニードルブレイク

ターボヒッツの必殺技。掌をニードルに変換しながら発光し、そのまま敵に刺突する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ターボスピーディダッシュ

ターボヒッツの必殺技。両腰のターボブースターで加速しながら敵全体にパンチやキックで繰り返し出し、次にリボルバーアームで射撃し、最後にニードルで次々と攻撃していく。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ゴレイドス

CV：大畑伸太郎

グロウヴァリテイの幹部。種族は岩石。外見はボディビルの姿をした岩石人で、かなり全身が頑丈で両腕脚共に太く、高いパワーや攻撃力や防御力を持ちながら圧倒する。その力は大幹部に匹敵し、オメガディットマンアルデイステラと同じ族の1人で、宇宙艦隊全体や惑星100個分をたった一人で葬る力を見せつける。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

メタルファイトベイブレードZEROGのグレイムを元に

グレイパワーナックル

グレイドスの必殺技。カ一杯込めてナックルで敵に思いつきり殴り込む。その威力は相手を一撃で倒す威力を持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

グレイパワープレス

グレイドスの必殺技。巨体を活かしながら敵に向かって体当たりし、踏み潰す。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

グレイハンマーパンチ

グレイドスの必殺技。両腕を発光しながら敵に思いつきり強烈なパンチ連打で喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ギアジャイアント

CV：木村昴

グローヴァリテイの幹部。種族は機会生命体。外見は左右の胴体が2つ歯車の形をした巨漢で、頭の下部も歯車で、高いパワーを持つ故に3つの歯車であらゆるものを飲み込んで一瞬で粉々する。オメガデイトマンアルディステラと同じ族の1人で、宇宙艦隊全体や惑星100個分をたった一人で葬る力を見せつける。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キン肉マンのギヤマスターを元に

必殺技

ギアブレイク

ギアジャイアントの必殺技。相手を捕まえて、3つの歯車の中に挟み、歯車を回転しながら押し潰して粉々にする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ギアザタックル

ギアジャイアントの必殺技。3つの歯車を回転したまま相手にタックルする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ベノムポイズマー

CV：浜添伸也

グローヴァリテイの幹部。種族は不明。外見は毒液のスライム状の姿をした人型で、

毒攻撃を得意とし、彼の身体はあらゆるものに変化し、いろんな姿に変えるのが特徴で、彼の毒液はあらゆるものを溶かしたりする。

必殺技

ベノムポイズソード

ベノムポイズマーの必殺技。右腕を毒液状の刃に変化し、敵に斬撃して、毒状態にする。

ベノムポイズボールシュート

ベノムポイズマーの必殺技。毒液状で形成したボールで敵にぶつけて、毒状態にする。

ベノムポイズウエーブ

ベノムポイズマーの必殺技。毒液状が形成した巨大な津波で敵全体に喰らわし、毒状態にし、あらゆるものを全て溶かしたりし、都市全体を滅ぼす事も可能。

ブリザーヘイル

CV：濱野大輝

グローヴァリテイの幹部。種族は超人。氷結の姿をした超人で、氷属性の攻撃を得意とし、あらゆる氷結状を形成したりし、氷結して粉々にする。オメガデイトマンアルデイステラと同じ族の1人で、宇宙艦隊全体や惑星100個分をたった一人で葬る力を

見せつける。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キン肉マンのヘイルマンを元に

必殺技

ブリザーヘイルブレード

ブリザーヘイルの必殺技。片腕を氷結状の剣に変化し、相手に斬撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ブリザーヘイルブレス

ブリザーヘイルの必殺技。口から強烈な吹雪を吐いて、敵全体を凍らして粉々にする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ブリザーヘイルスピア

ブリザーヘイルの必殺技。片腕を氷結状の槍に変化し、相手に刺突し、そのまま凍らせて粉々にする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ブリザーヘイルフロストニードル

ブリザーヘイルの必殺技。空中ジャンプしながら全身を巨大な氷柱に変化して、敵に向かって急降下して喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

クローキルド

CV：白熊寛嗣

グローヴァリティの幹部。種族は機械生命体。背中に6本の爪アームズクローがあり、背中にある6本の爪だけでなく、両腕に内蔵されたレーザーソードがあり、6本の爪から繰り出す攻撃技と防御技を持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キン肉マンのクラッシュマンを元に。

必殺技

クローザアームズシックスアタック

クローキルドの必殺技。背中の6本のアームズクローで敵に突き付ける。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

クローザレーザーショット

クローキルドの必殺技。背中の6本のアームズクローと両腕からレーザー光線を放ち、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

クローザアームズバスター

クローキルドの必殺技。背中の6本のアームズクローで敵を掴みながら空中からジャンプし、急降下で掴んだ敵を地面にぶつける。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

クローザアームズデイスカス

クローキルドの必殺技。背中にある6本のアームズクローを全身に包みながら回転

し、敵全体に突撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

オストリツカー

CV：葉山翔太

グロウヴァリテイの幹部。種族は超人。ダチヨウの姿をした超人で、優れた脚力による高いスピードを持ち、スピードを得意とした戦いで相手を圧倒する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

オストダツシング

オストリツカーの必殺技。脚で素早く走りながら敵全体に突撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

オストキツク

オストリツカーの必殺技。高い脚力でジャンプしながら敵に空中キックする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

オストサマーソルト

オストリツカーの必殺技。身体を宙返りしながら敵に蹴り上げる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

オストスライサーズ

オストリツカーの必殺技。両手脚を刃の光状を纏いながら素早く駆け込んで、敵に斬

り付ける。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

カリブーツマン

CV：伊藤健太郎

グロウヴァリテイの幹部。種族は超人。海賊の格好をした巨漢で、外見も機械的で、パワーが高い故攻守速共にバランスが優れている。武器はカリビアンサーベル。オメガデイツトマンアルデイステラと同じ族の1人で、宇宙艦隊全体や惑星100個分をたつた一人で葬る力を見せつける。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キン肉マンのパイレートマンを元に

必殺技

バイキングパンチ

カリブーツマンの必殺技。敵に向かって思いっきりパンチで殴る。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

カリビアンザンバー

カリブーツマンの必殺技。カリビアンサーベルの刀身を発光しながら斬撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

トレジャーダイタリアウエーブ

カリブーツマンの必殺技。掌を地面に着けて、巨大な津波を起こし、敵全体に喰らわ

す。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

パイレーツジャッジメント・ザ・デス

カリブーツの必殺技。相手を持ち上げて空中ジャンプし、地面に複数のカリビアンサーベルを出現させて、持ち上げた相手を真下に向けて、急降下しながら相手に刺突する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ギガノトロスの配下側

プーティラド

CV：伊丸岡篤

グローヴァリティの幹部。種族は爬虫類。プテラノドンの姿をし、鋭い嘴と大きな翼を持ち、高いスピードで敵を翻弄し、殺す事を娯楽としている。弱者を平然と殺しながら楽しむ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

ストリングブレイク

プーティラドの必殺技。口の嘴を発光しながら敵を貫く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プテラトルネード

プーティラドの必殺技。翼を羽ばたきながら強力な竜巻を起こし、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

トリケンラ

CV：かねこはりい

グローヴァリテイの幹部。種族は爬虫類。トリケラトプスの姿をし、3本の角を持っているのと巨体をしているのが特徴、攻撃力と防御力が高く、残虐な戦いを好む。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

トリケラジャンプレス

トリケンラの必殺技。高くジャンプしながら地面に着地して強烈な体当たりをし、敵に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

トリケラチャージ

トリケンラの必殺技。勢い良く突き進みながら敵全体に突撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ステゴラツシュ

CV：木村雅史

グローヴァリテイの幹部。種族は爬虫類。ステゴサウルスの姿をし、本来と同じ4足

歩行で、背中の多数の背鰭から光刃を放ったり、身体の頑丈さが故にあらゆる攻撃に耐え、狙った獲物を逃さず、殺す事を楽しむ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ステゴバースト

ステゴラツシュの必殺技。背中の多数の背鰭から大量の光刃を連射し、敵全体に喰らわす。狙った相手を必ず捕捉する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ステゴアースグラウンド

ステゴラツシュの必殺技。4足を強いながらジャンプし、強烈か地震を起こして、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ブラーキッド

CV：高橋広樹

グローヴァリテイの幹部。ブラキオザウルスの姿をし、本来と同じ4足歩行で、水中での活動を可能とし、長い首と尻尾が特徴で、相手を殺す事を遊びとして楽しむ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

ブラキオハンマーテイル

ブラーキッドの必殺技。尻尾をハンマーのように振りながら敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ブラキオブレスウオーター

ブラーキッドの必殺技。口から強力な水の息吹を吐き、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ブラキオアースクラッシュ

ブラーキッドの必殺技。前足を地面に叩きながら地面から巨大な尖った岩を出現させて敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

兵士

ラプトルジャー

グローヴァリテイの兵士。種族は爬虫類。ラプトルの姿をし、数が非常に多く、両手に鋭い爪、長い尻尾、全身にアーマーを身に纏い、武器はビームナギナタで、戦闘力も高く、兵士全員が残忍残虐性で、殺戮を楽しむ。リザードソルジャーとゴブリオンとは相性が良く、組んで戦う事が多い。

リザードアーミー

グローヴァリテイの兵士。種族は爬虫類。インフェルノに所属していたが、アントソルジャーとゴブリオンと共に全員が組織を裏切り、グローヴァリテイに着いた。全身にアームズメイルを纏い、武器はメタルスピア、ビームバズーカ、ショットライフル。

ゴブリオン

グローヴァリテイの兵士。種族は獣人タイプ。インフェルノに所属していたが、リザードアーミーとアントソルジャーと共に全員が組織を裏切り、グローヴァリテイに着いた。全身にメタルアーマーを纏い、武器はアサルトビームカービンとアサルトステイツクとビームアックス。

アントウインガー

グローヴァリテイの兵士。種族は昆虫類。インフェルノに所属していたが、リザードアーミーとアントソルジャーと共に全員が組織を裏切り、グローヴァリテイに着いた。元のアントソルジャーが進化した姿で、全身に甲を纏い、背中に羽が生え、戦闘力も増している。口から溶液、多数の足による爪、羽から毒粉を出す。

マシンドマン

グローヴァリテイの兵士。種族は機械生命体。グローヴァリテイの機械兵で、武器は右腕にアームレーザーソード、左腕にアームレーザーガン、両肩部にガトリングガン2門、背中に飛行ユニットがある。数もかなり多い。

第60話 新たな戦いへ

ハデウスとの戦いに敗れたプリキュア達は、レジエンドプリキュライドジュエルとフェアリージュエルを全て奪われてしまい、ドラグードとレヴォリユードの壮絶な対決により、地球全体が壊滅し、人間界は崩壊し、人間社会と文明が終わった。戦いに敗れたプリキュア達は地獄界の閻魔大王の元で修行をする事となり、そして今、4年の月日が経った。

パラレルワールド

地獄界

無間地獄

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュール「はあああああー!!」

ここは無間地獄。地獄の中では最大級の地獄で、他の7大地獄よりもっと過酷で極めない地獄でもあり、落下すると2000年はかかり、落下したら極めない恐ろしいとて

も最強の鬼や獄卒などがおり、刑期は682京1120兆年だ。そんな彼女達9人はあらゆる地獄界の修行で鍛え抜きながら強くなり、現在、最後の修行とも言える無間地獄に行き、無間地獄の最強の獄卒を相手に挑んだ。

最極上獄卒「ぐおおおおおー!!」

無間地獄の最強と言われる最極上獄卒がプリキユア達に襲いかかった。だが、プリキユア達は襲いかかってきた最極上獄卒に対して、パンチを同時に出して打ち込み、最極上獄卒を一撃で倒した。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミスティック、アラム、ジュール「……………」

閻魔大王「この4年間の修行で強くなるとは。全ての地獄で修行した事で無限地獄に着くのもわずか1時間で辿り着き、最極上獄卒を含めた全ての獄卒を倒せるになったな。」

地獄界で過酷な修行したストライク達9人はとても強くなり、今まで以上の強さが身に付き、最極上獄卒を軽々と倒せるようになった。

ストライク「あたし達はこの4年間の地獄の修行で強くなった。」

シンシア「ハデユスに敗れて、この修行を生き抜いて来た。」

フェッター「私達やジャスティスヒーローは強くなった。」

マジック「あたし達は修行した事で今まで以上の強さを身に付けた。」

ジャック「4年間、地獄で修行した事は意味があった。」

クイーン「地獄で私達は強く鍛えたわ。」

ミステイック「おかげで強くなれた。」

アラム「あたしらやジャスティスヒーローも修行で強くなったはず。」

ジュール「この修行で私達は4年間鍛え抜いた。」

地獄界で4年間の過酷な修行に鍛えて来たストライク達は、より強くなり、今まで以上に強くなった。

閻魔王「この無限地獄を乗り越えたようだな。お前達はこの地獄の修行をこなした

事だ。」

地獄界の修行を乗り越えたストライク達9人を褒める閻魔大王。

ストライク「全部あなたのおかげです。」

シンシア「私達は閻魔大王様の修行で強くなれました。」

フェッター「この地獄界の修行で鍛えて強くなれた。」

マジック「閻魔大王様には感謝します。」

ジャック「そのおかげで私達はこの修行で強くなれた。」

クイーン「かなり大変だった。」

ミステイック「私達は地獄で修行した事は悔いはなかったわ。」

アラム「あたしらもこれで強くなった訳だな。」

ジュール「地獄界での修行は私達にとっては大きな意味はあったな。」

閻魔大王「この修行でハデユスの野望を必ず打ち砕くはずだ。お前達なら出来る。」

一同「はい。」

地獄界での修行をし終えたストライク達はハデユスの野望を打ち砕くため再び動き

出し、地獄界を出て向かった。その頃、4年後の人間界では、ドラグードとレヴオリュードとの激闘によって全て壊滅し、この地球全体が荒れ果てた大地と化し、太陽も出ずに雲も暗く、国は亡くなり、企業は全て倒産し、機関や組織なども停止し、社会と文明が終わり、今は世紀末の世界と化し、治安も危険が増し、犯罪や略奪や殺し合いが日常的に起きる日々となった。

パラレルワールド

人間界

モヒカン1「ヒヤッハー、そいつをよこせやあ!!」

世紀末の世界となって洗われるようになった荒れ暮れたモヒカン達の集団が一般人に食料を奪いかかった。

男性1「やつ、やめてくれ、これは一生懸命日々育てた野菜なんだ!!」

モヒカン2「これは俺達のものだ、よこせ。」

男性1「いつ、嫌だ、これはお前達みたいな者には渡さん、みんなが一緒に食べていくためにあるんだ!!」

モヒカン3 「みんなだあ?!俺達はその中に含まれてんだろ?!」

男性 「うっ!!」

モヒカン1 「黙ってよこせやあ!!」

男性から野菜を強引に奪った挙句に殺害したモヒカンの集団。人間界はすでにゴロツキやならず者が暴れて強盗や殺人をする毎日だ、警察や軍も停止して消滅した今、守れるのは自力だけとなった。自警団を結成してモヒカンやゴロツキやならず者達から守るが、力の差によって押されてしまい、モヒカンやゴロツキやならず者に圧倒され、暴力だけの支配が成り立った。

ゴロツキ1 「よお、姉ちゃん、俺達と一緒に付き合うじゃねえか。」

女性1 「嫌、離して!!」

ゴロツキ達に無理矢理連れて行かれる女性達。街中もモヒカンやゴロツキやならず者達がいっぱいいいて、治安も危険に陥り、恐怖と絶望と地獄と化した背景だ。

????
1 「人間界もこのザマか。」

????? ????

2 「どうして行く？」

3 「ラスフェツクーム、俺達が終わった世界に行かせるとは、何か気に喰わねえな。」

上空を飛ぶローブを着た謎の集団が現れ、会話した。

4 「この世界を滅ぼしてやるべき事をやらねえとな。」

????? ????

1 「我が一族の力を見せてやる時だ、この地球にいやマザーラパーパへの復讐を!!」

ローブを着た集団達が動き出し、この世界に対して滅ぼしにかかった。

なぎさ 「地球が崩壊してあれからもう4年。」

ほのか 「私達の世界はもう終わっちゃったね。」

咲 「地球が滅んだ事で社会や文明は滅亡しちゃったみたいね。」

舞 「崩壊して治安は無法地帯になってあちこち暴力だけの支配が起きて来たみたいね。」

満 「そうね。」

薫 「まるで滅んだみたいね。」

なぎさ「もう前みたいにみんなが楽しく幸せに暮らした世界は戻らない。」

ほのか「夢も希望も消えて、絶望だけの世界ね。」

なぎさ「プリキュアの力、妖精達も全部ハデユスに奪われた。」

ほのか「私達の世界も滅ぼされた。」

のぞみ「ラブちゃんやせつなちゃんやんがハデユスに操られて敵になっちゃった。」

はな「もう何ともならないよ。」

人間界が全面的に壊滅して社会や文明も終了し、荒れ果てた大地となり、人々は生きるために争いもせざるを得なくなり、地獄と化した人間界は絶望の日々を送っていた。

なぎさ「復興だつてなかなか進まないよ。」

ほのか「こんな状態じゃ復興すら進まないわ。」

復興も進まず逆に悪化が進んでいき、人間界全体が危険地区と化し、かつてのような明るい世界はなくなった。そんな中、謎のローブの集団が急接近して来た。

なぎさ「何?!」

ほのか「何なの?!」

?????
1「もう気付いたか。」

近くにいたW J Gの隊員達が銃を構えて、謎のロープの集団に応戦した。

W J G隊員1「正体を見せろ!!」

W J G隊員達の一斉射撃を受ける謎のロープの集団達。射撃の弾丸でロープが外れた。

一同「!!」

ロープが外れた事で、一同はその人物に驚愕をした。

はな「うつ、嘘・・・?!」

さあや「なっ、何で・・・?!」

ほまれ「そんな・・・?!」

えみる「14年前にあいつは……!!」

ルルー「確かに……!!」

はな「何で生きているの、ジ・オメガデイトマン!!」

14年前、かつて倒したはずのジ・オメガデイトマンが生きていた。

オメガデイトマンアルディステラ「……。」

なぎさ「ジ・オメガデイトマン。」

オメガデイトマンアルディステラ「俺を双子の弟と一緒にするな。」

はな「弟……?!」

オメガデイトマンアルディステラ「俺の名はオメガデイトマンアルディステラだ、覚えておけ!!」

ジ・オメガデイトマンに似た人物はオメガデイトマンアルディステラだ、彼の双子の兄である。そのまま襲いかかり、WJG隊員に背中の大きな手の指で刺突し、瞬殺した。

オメガテイトマンアルデイステラ「オメガテイトトラッシュユナツクル!!」

両手から高速で繰り出す多連の拳でWJG隊員達を蹴散らした。

オメガテイトマンアルデイステラ「姿を見せよ、我が同胞達よ!!」

オメガテイトマンアルデイステラに続き、他のローブの集団もローブを脱いだ。

レイディキータル「俺の名はレイディキータル。」

ターボヒッツ「俺はターボヒッツ。」

ゴレイドス「俺はゴレイドス。」

ギアジャイアント「俺様の名はギアジャイアント。」

ベノムポイズマー「俺の名はベノムポイズマー。」

ブリザーヘイル「俺はブリザーヘイルだ。」

クローキルド「俺はクローキルド。」

オストリツカー「俺様はオストリツカー。」

カリブーツマン「我輩の名はカリブーツマン。」

ローブを脱ぎ捨てた9名はレイディキータル、ターボヒッツ、ゴレイドス、ギアジャイアント、ベノムポイズマー、ブリザーヘイル、クローキルド、オストリツカー、カリブーツマンだ。

オメガティットマンアルデイステラ「我が名はオメガティットマン族はハデユスのグローヴァリテイの刺客!!」

オメガティットマンアルデイステラ、レイディキータル、ゴレイドス、ギアジャイアント、ブリザーヘイル、カリブーツマンはオメガティット族。かつてエールが倒したジ・オメガティットマンもオメガティット族だ。そしてハデユスの率いるグローヴァリテイの一員でもある。

なぎさ「まさか、ハデユスの刺客がいきなり現れるなんて……」

咲「今のあたし達じゃ変身は出来ないよ。」

のぞみ「どうしよう……」

ほのか「私達じゃ戦えないわ。」

プリキュアの変身能力のないなぎさ達では戦う事が不可能だ、どうする？

満、薫「私達が相手よ!!」

その時、一緒にいた満と薫が出て、2人は月と風力で変身し、オメガティットマンアルデイステラの率いる集団に挑んだ。

咲「満!!」

舞「薫!!」

満「今戦えるのは私達2人だけよ!!」

薫「私達2人で戦うわ!!」

満と薫が2人でオメガティットマンアルデイステラ達と交戦を開始した。満と薫が同時にパンチを繰り出して、オストリツカーに喰らわした。

オストリツカー「うっ、こいつ!!」

満と薫に殴られたオストリツカーは脚で強くキックした。

満、薫「うっ!!」

オストリツカーの強いキックを受けた満と薫。だが多数を相手に敵う事が難しく、勝ち目は困難だ。その時、交戦中の2人の前にある物達が現れた。

???? 「ちよつと待った!!」

満、薫「!!」

2人の前に現れたのは、何とブンビー、ウエスター、サウラー、レジーナ、テンダー、ミラージュ、フアントム、シャット、ロック、ジュリオ、グレイブ、チャラリート、パップル、ダイガンだ。

満「ウエスター、サウラー。」

ウエスター「俺達がいる事を忘れるなよ。」

サウラー「プリキュアがいない今は僕達が相手をする。」

ブンビー（戦闘形態）「俺達正義のヒーローが相手をしてやる!!」

薫「みんなの力を見せていきましよう!!」

ブンビー達と共に共闘して、オメガティットマンアルデイステラ達に挑んだ。満と薫はオストリツカー、ブンビーはレイディキータル、ジュリオはブリザーヘイル、ウエスターとサウラーはカリブツマン、レジーナはギアジャイアント、シャットとロツクはベノムポイズマー、グレイブはゴレイドス、チャラリートとパツプルとダイガンはクローキルド、ファントムはターボヒツツ、ミラージュとテンダーはオメガティットマンアルデイステラと交戦する事となった。

満、薫「はあああああー!!」

オストリツカーに対して光弾で連射する満と薫。2人の攻撃をオストリツカーが素早く走りながら回避していき、2人に向かって急接近しかかった。

オストリツカー「オストダツシング!!」

オストリツカーが脚で素早く走りながら満と薫に突撃した。

満、薫「うっ、あああっ!!」

オストリツカーの突撃を喰らってダメージを受けた満と薫。

ジュリオ「喰らえ!!」

クリームエネルギーで形成した剣でブリザーヘイルに斬撃した。

ブリザーヘイル「痛くねえな。」

ジュリオの斬撃に怯まないブリザーヘイルはパンチで殴り込んだ。

ブリザーヘイル「ブリザーヘイルブレード!!」

ブリザーヘイルは片腕を氷結状の剣に変化し、ジュリオに斬撃した。

ウエスター「行くぞ!!」

ウエスターがカリブーツマンと力で押し合いし、力と力でぶつかり合った。

カリブーツマン「ふん!!」

カリブーツマンはそのままウエスターを突き放し、パンチで殴りにかかった。

サウラー「そうはさせない!!」

カリブーツマンの背後からサウラーが空中からパンチで彼の背中に殴り込んだ。

カリブーツマン「2人がかりか、ならば我が技を受けよ!!トレジャーダイタリア
ウエーブ!!」

カリブーツマンは掌を地面に着けて、巨大な津波を起こし、ウエスターとサウラーを津波で飲み込ませて、喰らわした。

レジーナ「あんたみたいなデカブツ、終わらせてやるんだから。」

レジーナがギアジャイアントを相手に戦い、ミラクルドラゴングレイブで突きや払うなどで攻撃した。

ギアジャイアント「チビの分際が俺を舐めるなよ!!ギアザツクル!!」

ギアジャイアントは3つの歯車を回転したままレジーナにタツクルした。

グレイブ「上等だ、かかって来いやあ!!」

グレイブがゴレイドスにキックで強く打ち込んだだが、ゴレイドスには全く効いていない。

ゴレイドス「俺にそんな程度の攻撃は通用せん!!死ねえっ!!」

ゴレイドスがパンチでグレイブに殴り込んだ。

シャット「行くぞ、ロック!!」

ロック「2人なら!!」

シャットがロックを被って一体化して、ベノムポイズマーに挑み、素早く駆け込みながら衝撃波を放った。

ベノムポイズマー「俺の力を見せてやる!!ベノムポイズボールシュート!!」

ベノムポイズマーが自身の毒液状で形成したボールをシャットとロックに向けて放った。

チャラリート「行くよ!!」

パップル「あたしらの力、見せてやるよ!!」

ダイガン「すぐに片付けてくれるわ!!」

チャラリート、パップル、ダイガンの3人が一緒に取りながら、クローキルドに攻撃した。クローキルドが背中に6本の爪アームズクローで3人の攻撃を防いだ。

クローキルド「俺が貴様ら雑魚の攻撃などお見通しだ。クローザレーザーショット
!!」

背中に6本の爪アームズクローと両腕からレーザー光線を放ち、でチャラリート、パップル、ダイガンに喰らわした。

フアントム「はああああー!!」

カッタラスでターボヒッツに斬り付けるフアントム。フアントムの攻撃を素早く回避するターボヒッツ。

ターボヒッツ「こいつを喰らうんだな、ターボニードルブレイク!!」

ターボヒッツが掌をニードルに変換しながら発光し、そのままファントムに攻撃した。

ブンビー（戦闘形態）「喰らいやがれ!!」

拳を繰り出しながらレイディキータルにお見舞いするブンビー。

レイディキータル「見え見えだ、カローフウダリヤーチ!!」

レイディキータルが素早くパンチを繰り出して相ブンビーに喰らわした。

ミラージユ「地球は私達が守るわ!!」

テンダー「ハデユスの資格であるあなた達からわ!!」

地球を支配を企むオメガティットマンアルデイステラを相手に戦うミラージユとテ
ンダー。

オメガティットマンアルデイステラ「貴様らは何もわかってないようだな。」

ミラージュ「どう言う事?!」

オメガティットマンアルデイステラ「俺達オメガティット族は貴様らと同じ地球人だと言うのを!!」

テンダー「同じ地球人?!」

オメガティットマンアルデイステラ「元は遥か太古に暮らしていたが、ある日、マザー・ラパーパによって追い出され、我々は外宇宙まで逃げ延びた!!我々はオメガティット族と名乗り、マザー・ラパーパに復讐するため、地球を取り戻すまでにハデユスに着いたのだ!!」

オメガティットマンアルデイステラオメガティット族は何と地球出身である事が判明し、遥か太古に暮らしていたが、ある日、マザー・ラパーパに追放され、外宇宙まで逃げ延びて、オメガティット族と名乗り、マザー・ラパーパへの復讐と地球を支配する事が目的だ。

オメガティットマンアルデイステラ「我が技を受けろ、オメガティットフィンガース

ラッシュ!!」

オメガティットマンアルディステラが背中の大きな手の指にある爪でミラージュとテンダーに引き裂いた。グローヴァリテイの幹部の強さに圧倒され、追い詰められていく満達。その頃、人間に到着したアイカ達は、

アイカ「人間界に戻るのには4年ぶりね。」

はるな「でも崩壊したままね。」

麗奈「ここまで悪化もしているようね。」

咲耶歌「何だか危険地帯になってるね。」

海「段々暗くなっているみたい。」

文「平和じゃなくなっている感じだね。」

クレア「そうみたいね。」

イゼル「あああ。」

ライラ「迂闊に気をつけないとな。」

人間界に戻ったアイカ達は、人間界はすでに治安は崩壊した危険地帯と化し、どこも

犯罪や略奪などが多発し、暴力だけで成り立った光景を見た。

モヒカン4 「よお、嬢ちゃん達。」

モヒカン5 「俺らと遊ばねえか？」

突如、アイカ達の前にモヒカンの集団が現れた。

アイカ 「悪いけど、付き合っている暇はないよ。」

はるな 「去ってくれない？」

モヒカン1 「そんな事言わずに付き合おうよ。」

モヒカン達がアイカ達に近づいて来たが、アイカは拳でモヒカンの顔を殴り込んだ。

モヒカン1 「ぐわあっ!!」

モヒカン2 「て、てめえ!!」

モヒカン3 「俺達に楯突くとは良い度胸だ!!」

モヒカン4 「ぶっ殺してやる!!」

モヒカン達がアイカ達を囲んで一斉にかかって来た。

アイカ「!!」

突如、アイカの全身から気を放たれ、モヒカン達の集団を一気に気絶させた。モヒカンの恐怖に怯えた人々がアイカ達が無傷で倒した事でその恐怖から解放され、アイカ達に礼をした。一方、オメガティットマンアルデイステラ達と交戦する満達だが、

ジュリオ「うっ!!」

ブリザーヘイル「お前はただ武器を振り回しているだけに過ぎねえな、今俺が戦いと
言うのを教えてやる、ブリザーヘイルスピア!!」

ブリザーヘイルが片腕を氷結状の槍に変化し、ジュリオに刺突し、そのまま凍らせて粉々にした。

シエル「ピカリオー!!」

双子の弟が凍結されて粉々なつて最期を見たシエル。

グレイブ「うっ、あああつ。」

ゴレイドス「期待外れだな、ならば死ね!!ゴレイパワーナツクル!!」

ゴレイドスが一杯込めてナツクルでグレイブに思いつき殴り込み、その威力によってグレイブは敗死した。

いちか「グレイブ!!」

グレイブの最期を目の当たりにするいちか。

シャット「この私が……」

ロック「うっ。」

ベノムポイズマー「美と言うのにこだわるからこうなる、貴様らには死を与えてやる。ベノムポイズウェーブ!!」

はるか、みなみ、きらら「シャツト、ロック!!」

シャツトとロックの最期を目の当たりにする遙か、みなみ、きらら。

ベノムポイズマーが毒液状が形成した巨大な津波でシャツトとロックに喰らわし、2人を溶かした。

フロントム「バカな、この俺が・・・!!」

ターボヒッツ「俺達グローヴァリテイは生ぬくないんだよ、ターボリボルバスター!!」
ターボヒッツは両腕のリボルバースタームから強力なビーム弾を放ち、フロントムに命中し、凄まじい高い威力で彼を撃ち倒した。

ゆうこ「フアンフアン!!」

フロントムの最期を目の当たりにするゆうこ。

チャラリート、パップル、ダイガン「くっ、ああああつ。」

クローキルド「3人がかりでこんなザマとはな。戦いと言うのを教え込ませてやる。クローザアームズデイスカス!!」

クローキルドが背中にある6本のアームズクローを全身に包みながら回転し、チャラリート、パップル、ダイガンに突撃した。

クローキルド「まだだ、クローザアームズバスター!!」

クローキルドが背中 of 6本のアームズクローでチャラリートを掴みながら空中からジャンプし、急降下で地面にいるパップル、ダイガンにぶつけた。

はな、さあや、ほまれ、えみる、ルールー「チャラリート、パップル、ダイガン!!」

チャラリート、パップル、ダイガンの最期を目の当たりにしたはな達。

レジーナ「うっ、あああ……!!」

ギアジャイアント「チビの分際が俺様を舐めたからこうなった、今から死刑にしてやる、ギアブレイク!!」

レジーナを捕まえて、3つの歯車の中に挟み、歯車を回転しながら押し潰してレジーナを惨殺させた。

マナ、六花、ありす「レジーナ!!」

レジーナの最期を目の当たりにしたマナ達。

ブンビー（戦闘形態）「まだだ、俺はやられねえ……!!」

レイディキータル「大した相手ではなかったな。お前は所詮は雑魚に過ぎない。」

レイディキータルが背中中の羽を羽ばたいて空を飛びながらブンビーに向かって来た。

レイディキータル「マリエンゼーデルヒーブ!!」

レイディキータルが背中にある羽根を刃のようにし、強力な斬撃を繰り出し、ブンビーを大いに喰らわし、斬殺した。

のぞみ、りん、うらら、こまち、かれん「ブンビー!!」

ブンビーの最期を目の当たりにしたのでぞみ達。

カリブーツマン「しぶとい奴だな。」

ウエスター、サウラーを追いやったカリブーツマン。

ウエスター「まだだ、まだ俺は死なん!!」

サウラー「死ぬ訳にはいかないんだ!!」

それでも立ち上がるウエスターとサウラー。

「カリブーツマン「そんなにしぶといなら我輩が死を下してやる、カリビアンザンバー
!!」

カリブーツマンがカリビアンサーベルの刀身を発光しながらサウラーに斬撃した。

サウラー「ぐわあっ!!」

カリブーツマンの必殺技を受けて死亡したサウラー。

ウエスター「サウラー!!」

美希「サウラー!!」

カリブーツマン「他愛もない、雑魚は雑魚だったな。」

ウエスター「許せねえ、俺の大事な仲間をやってくれたな!!」

サウラーを殺したカリブーツマンを倒すべく、ウエスターが必死になって力を思いつきり出しながらパンチで殴り込んだ。

カリブーツマン「!!」

ウエスターの込めた渾身のパンチを受けたカリブーツマン。

カリブーツマン「ハハハハハっ!!」

ウエスター「何がおかしい?!」

カリブーツマン「所詮、貴様も雑魚に過ぎなかつたようだ、命を助けたければ貴様の故郷ラピリンスを差し渡せ、オメガティット族の隷属にしてやれば、命を助けてやろう。」

ウエスター「故郷を差し出せだと、ふざけるなあ!!俺達が一生懸命築き上げた故郷をお前のような海賊に渡してたまるかよ!!」

カリブーツマン「ならば、死ね!!バイレーツジャツジメント・ザ・デス!!」

カリブーツマンがウエスターに近付きながら持ち上げて空中ジャンプし、地面に複数のカリビアンサーベルを出現させて、持ち上げたウエスターを真下に向けて、急降下しながらウエスターに刺突する。

祈里「ウエスターさん!!」

カリブーツマンの圧倒的な強さに敗れて戦死したウエスター。

オメガテイツトマンアルデイステラ「2人がかりでこのザマか。」

ミラージュとテンダーを2人まとめて軽々と圧倒するオメガテイツトマンアルデイステラ。

ミラージュ「何という強さなの……。」

テンダー「強過ぎるわ……。」

オメガテイツトマンアルデイステラ「貴様ら2人を死刑にしてやる!!」

ミラージュとテンダーに対し、死刑を通告し、必殺技を発動する。

オメガテイツトマンアルデイステラ「オメガテイツトアーマゲドンデストロイヤー

!!」

オメガティットマンアルディステラは背中にある大きな手でミラージユを持ち上げたまま空中を飛んで、一気に急降下してテンダーにぶち込み、衝撃波を起こし、2人まとめて即殺した。

めぐみ、ひめ「ミラージユさん!!」

いおな「お姉ちゃん!!」

ミラージユとテンダーも敗死し、次々と敗れていく戦士達。

満、薫「みんな!!」

残ったのは自分達2人だけとなってしまった。どう立ち向かう。

オストリツカー「よそ見すんじゃないやねえ!!オストキック!!」

オストリツカーが高い脚力でジャンプしながら満に空中キックした。

満「わあああああー!!」

オストリツカーの必殺技を喰らった満は直撃により、敗死した。

薫「満!!」

咲、舞「満!!」

満が死亡し、ついに薫1人だけとなってしまった。1人となった彼女は最後の力を出し切って挑んだ。

薫「私1人になっても戦い抜くわ!!」

オストリツカー「無駄だつて教えてやるぜ!!オストスライサー!!」

オストリツカーが両手脚を刃の光状を纏いながら素早く駆け込んで、薫に喰らわした。

咲、舞「薫!!」

ついに薫まで戦死してしまい、戦士は全員全滅した。

オメガティットマンアルデイステラ「さあ、降伏か死を選べ。」

窮地に落とされ、このまま成す術はないのか。

アイカ「待ったー!!」

その時、なぎぎ達の前にアイカ達9人が現れた。

なぎぎ「アイカちゃん……?!」

アイカ「ただいま。」

次回 61話へ続く

第61話 プリキュアの再動

人間界へ4年ぶりに帰還したアイカ達9人は、グローヴァリテイのオメガティットマンアルデイステラ達と対峙する。

人間界

アイカ「お待たせ、みんな。」

はな「アイカちゃんだよね……?」

はるな「そうよ、私達よ。」

麗奈「地獄界で4年間修行して来たわ。」

いちか「地獄界?!」

トットム「アイカの嬢ちゃん達は地獄界で4年間修行して鍛えたんやで。」

咲耶歌「かなり大変だったよ。」

海「おかげで強くなれたわ。」

文「私達は地獄界で修行して今より強くなったわ。」

みらい「よく地獄界で修行を。」

クレア「えええ。」

イゼル「地獄界の修行はかなり大変だったな。」

ライラ「その分パワーアップする事も出来た。」

アイカ「あれがハデユスの新たな刺客ね。」

オメガティットマンアルデイステラ「ようやく現れたか、プリキュア。」

アイカ達9人のプリキュアを初めて見るオメガティットマンアルデイステラ。だが、アイカとはるなを見たオメガティットマンアルデイステラはかつて弟を倒したピーチとパッションに似ている事を思い出す。

オメガティットマンアルデイステラ「あの2人に似ている、もしかや2人の子供か?!」

ギアジャイアント「アルデイステラ。」

オメガティットマンアルデイステラ「いや、何でもない。それよりプリキュアを倒す事だな。」

現れたプリキュアと対決にかかろうとするオメガティットマンアルデイステラ達。

アイカ「地獄界で修行したあたし達9人の力を見せよう。」
はるな「私達9人が地獄で修行して力を付けたのを。」

麗奈「私達9人は地獄を乗り越えて日々強くなって来た。」

咲耶歌「あたし達はハデウスを倒すために強くなって来た。」

海「私達みんなは地獄界で修行して強くなった。」

文「みんなの幸せは私達が絶対守り抜く。」

クレア「行くよ、みんな。」

イルゼ「地獄界で修行した成果を見せてやる。」

ライラ「私達の力を。」

アイカ「行くよ、みんな!!」

地獄界で修行した成果を見せるべくアイカ達9人はプリキュアに変身するため、キュアートフォンチェンジャーを出した。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアアトフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラは全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを着用し、クレアは髪型がパープルのロングカット、衣装はMHのブラックの似たスカート丈の短いドレスとスパッツで、イゼルは衣装は中東風のグリーンのベリータンダンス、ライラは中東風のマリードレスで、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

ミスティック「神秘の戦士、キュアミスティック!!」

アラム「切り裂く風、キュアアラム!!」

ジュルフ「荒ぶる大地、キュアジュルフ!!」

ストライク、シンシア、フェツター、マジック、ジャック、クイーン、ミスティック、

アラム、ジュルフ「フューチャーフォースプリキュア!!」

プリキュアに変身した9人はオメガティットマンアルデイステラの率いる配下と対決をするのであった。

オメガティットマンアルデイステラ「貴様ら、かかれ!!」

オメガティットマンアルデイステラもレイディーキータル達に命令し、プリキュア達と対決にかかり、ストライクはカリブーツマン、シンシアはレイディーキータル、フェツターはオストリツカー、マジックはターボヒッツ、ジャックはゴレイドス、クイーンは

ギアジャイアント、ミステイツクはベノムポイズマー、アラムはブリザーヘイル、ジュルフはクローキルドと交戦するとなった。

カリブーツマン「我輩の相手は貴様か!!」

ストライク「かかって来なさい!!」

ストライクはカリブーツマンと交戦し、カリブーツマンがカリビアンサーベルを出して、彼女に斬撃するが、ストライクはキュアブレードマグナム剣モードを出して、彼の攻撃を止めた。

カリブーツマン「ならばこれはどうだ!!カリビアンザンバー!!」

カリブーツマンがカリビアンサーベルの刀身を発光しながら斬撃したが、ストライクはキュアブレードマグナム剣モードで受け止め、反撃に出た。

ストライク「プリキュア・ストライクサンシャインスラッシュ!!」

ストライクがキュアブレードマグナム剣モードの刀身に獄気を集中してピンクの発光しながらカリブーツマンに斬撃した。

シンシア「あなたは私が相手よ!!」

レイディキータル「貴様など俺が余裕で始末してやる。」

レイディキータルが空中を飛びながらシンシアにキックをして行くが、シンシアは両腕を重ねて防御し、キュアブレードマグナム銃モードで射撃した。

レイディキータル「こいつはどうだ、マリキータスティングキック!!」

レイディキータルが空中から相手の頭上に向かって両脚を合わせて発光しながらキックで打ち込んだが、シンシアが受け止めてその振り回した。

シンシア「プリキュア・シンシアサンシャインショット!!」

シンシアがキュアシンシアマグナム銃モードに獄気を集中しながら銃口からレッド

のハート型光線を発射して、レイディキータルに喰らわした。

フェッター「ダチヨウが相手ね。」

オストリツカー「俺様のスピードで簡単に倒してやる!!」

素早く走り出すオストリツカーはフェッターに向かって突っかかって来た。

オストリツカー「オストサマーソルト!!」

オストリツカーが身体を宙返りしながらフェッターに蹴り上げるが、フェッターが片手で脚を受け止めてそのまま投げ飛ばした。

フェッター「プリキュア・フェッターザンバーショット!!」

フェッターがキュアカタナテツポウの鉄砲モードの銃口に獄気を集中しながら銃口から多数のパープルの剣型光線を発射して、オストリツカーに喰らわした。

マジック「あたしのマジック見せてあげる。」
ターボヒッツ「お前など即終わらせてやる。」

ターボヒッツがマジックに向かって攻撃し、次にリボルバーアームで射撃し、喰らわした。

ターボヒッツ「ターボニードルブレイク!!」

ターボヒッツが掌をニードルに変換しながら発光し、そのままマジックに刺突しにかかったが、マジックは1枚のトランプで受け止めた。

マジック「プリキュア・マジックトランプスラッシュユ!!」

マジックがトランプを数枚手に持ちながら、獄気を集中してマゼンタの発光を纏いながらターボヒッツに斬撃した。

ジャック「相手は硬そうね。」

ゴレイドス「貴様など潰してやる。」

頑丈で硬いゴレイドスを相手に戦うジャック。ゴレイドスはジャックにパンチで殴りかかり、ジャックはすらすら攻撃を回避した。

ゴレイドス「ゴレイパワープレス!!」

ゴレイドスが巨体を活かしながらジャックに体当たりしかかった。ジャックは体当たりしかかかってきたゴレイドスを受け止めて、持ち上げた。

ジャック「プリキュア・ジャックスープレックス!!」

ジャックが全身に獄気を集中してブルーの発光しながらゴレイドスを持ち上げてたまま、地面に思いつきりぶち込んだ。

クイーン「あなたは私が相手してあげるわ。」

ギアジャイアント「粉々にしてやる!!」

クイーンはギアジャイアントを相手に戦い、ギアジャイアントのパワー押しに対抗していた。ギアジャイアントはクイーンに向かって突進しかかった。

ギアジャイアント「ギアザタツクル!!」

ギアジャイアントが3つの歯車を回転したままクイーンにタツクルしたが、クイーンはギアジャイアントの攻撃を両手で受け止めた。

クイーン「プリキュア・クイーンストーンボール!!」

クイーンが人差し指から石の球状を形成して、ギアジャイアントにシュートして攻撃した。

ミステイック「毒々しい相手ね。」

ベノムポイズマー「溶かしてやる!!」

ミスティックに毒液を放出するベノムポイズマー。毒液をすらすら回避するミスティック。

ベノムポイズマー「ならばこれを喰らえ!!ベノムポイズウエーブ!!」

ベノムポイズマーが毒液状が形成した巨大な津波でミスティックに放つが、

ミスティック「プリキュア・ミスティックサークルスラッシュユ!!」

ミスティックが左腕に装着しているミスティックサークルスピナーに獄気を集中しながらグレーの光状の円輪を纏わせて、毒液の津波を斬り、さらにベノムポイズマーにもダメージを与えた。

アラム「氷が相手か。」

ブリザーヘイル「凍りつかせてやる!!」

アラムはブリザーヘイルと対決し、アラムはパンチを繰り出してブリザーヘイルにく

らわしたが、

ブリザーヘイル「ブリザーヘイルスピア!!」

ブリザーヘイルが片腕を氷結状の槍に変化し、アラムに刺突しなかった。アラムはすぐにジャンプして回避した。

アラム「プリキュア・アラムストームパンチ!!」

アラムが右腕に獄気を集中してグリーンの光状の竜巻を纏いながらブリザーヘイルに攻撃した。

ジュール「お前の相手は私か。」

クローキルド「貴様を刻み込んでやる。」

クローキルドと交戦するジュールはパンチで素早く繰り出しながらクローキルドにお見舞いしたが、クローキルドは背中のアームズクローで防ぎ、必殺技を発動する。

クローキルド「クローザーームズシックスアタック!!」

クローキルドが背中の中の6本のアームズクローでジュルフに向かって刺突しかかったが、ジュルフがジュルフハンマーで受け止めて、必殺技を発動させる。

ジュルフ「プリキュア・ジュルフクラッシュャー!!」

ジュルフがジュルフハンマーに獄気を集中してオレンジの発光を纏いながらクローキルドに喰らわした。

オストリツカー「何だ、こいつらの強さは?!」

ターボヒッツ「強くなっているとは・・・?!」

プリキュア達が強くなっている事に実感したグローヴァリテイの幹部達。

ギアジャイアント「こいつ、ハデウス様にやられておきながら強くなりやがってる!!」

オメガティットマンアルデイステラ「ここは俺がやる、お前達は下がれ。」

レイディキータル「アルデイステラ、お前1人には・・・。」

オメガティットマンアルデイステラ「下がれと言っている!!これは命令だあつ!!」

レイディキータル「・・・わかった。」

ストライク達9人の相手を自ら1人で引き受ける事となったオメガティットマンアルデイステラが動き出し、プリキユア9人と対決する。

オメガティットマンアルデイステラ「プリキユア、俺の力、とくと見せてやる!!」

背中の手の指を広げてストライク達に突き刺しにかかるオメガティットマンアルデイステラ。

一同「!!」

オメガティットマンアルデイステラの背中の手の指を受け止めるストライク達9人のプリキユア。

ストライク「強い!!」

オメガティットマンアルデイステラ「お前達もどうやら強いようだな。」

シンシア「只者じゃないね。」

オメガティットマンアルデイステラ「だが、ここで負けるわけにはいかん、オメガティット族のため、我が一族の栄光を取り戻すために!!」

そう言いながら背中の手で強く振り払うオメガティットマンアルデイステラは必殺技を発動する。

オメガティットマンアルデイステラ「オメガティットフィンガースラッシュ!!」

オメガティットマンアルデイステラが背中の子供の指にある爪でプリキュア達9人をまとめて攻撃した。

一同「うっ!!」

オメガティットマンアルデイステラの攻撃を受けたストライク達9人。

マジック、ジャック「はあっ!!」

マジックがトランプ、ジャックがコインを投擲し、オメガテイトマンアルディステラに当てて姿勢を崩した。

アラム、ジュール「貰った!!」

隙をついたアラムとジュールが奇襲を仕掛けてオメガテイトマンアルディステラに同時攻撃をした。

オメガテイトマンアルディステラ「!!」

2人の同時攻撃を受けたオメガテイトマンアルディステラは瞬間移動しながら2人の元に現れて、パンチで殴り込んだ。

オメガテイトマンアルディステラ「オメガテイトスラッシュハンド!!」

オメガティットマンアルデイステラが両手に光状の刃を纏いながらアラムとジユルフに喰らわした。

フェッター、クイーン、ミステイック「はあああああー!!」

フェッター、クイーン、ミステイックが同時にかかり、フェッターがキュアカタナテツポウ鉄砲モード、クイーンがクイーンナギナライフル薙刀モード、ミステイックがミステイックサークルスピナーでオメガティットマンアルデイステラに攻撃した。

オメガティットマンアルデイステラ「むう!!」

オメガティットマンアルデイステラがパンチを繰り出しなから3人の攻撃を防ぎ、そのままパンチで殴り込んだ。

ストライク「プリキュア・ストライクサンシャインパンチ!!」

シンシア「プリキュア・シンシアサンシャインキック!!」

ストライクが両手に獄気を集中しながらピンクの発光し、シンシアが両足に獄気を集中しながらレッドの発光し、オメガテイトマンアルデイステラに喰らわした。その直前に両腕ですガードし、2人の攻撃を防いだオメガテイトマンアルデイステラ。

オメガテイトマンアルデイステラ「9人ががりでやるとは、俺はまだまだぞ!!」

オメガテイトマンアルデイステラは一人で奮闘しつつ、9人の相手と渡り合う。

ジュール「強い!!」

アラム「ここまで渡り合うのも!!」

ストライク「だったら、これを使うよ!!」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「パワーアップした俺達の力、見せてやる!!」

フェアリール（ヒーローライドジュエル）「私達だって修行したわ!!」

烈陣丸（ヒーローライドジュエル）「地獄界での修行を見せていくでござる!!」

ソール（ヒーローライドジュエル）「過酷な修行の元で強くなったのを!!」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「我々はハデユスを倒すために強くなった!!」
バルクマツスラー（ヒーローライドジュエル）「俺達は強くなるため鍛えて抜いて来た!!」

ミラーシエナ（ヒーローライドジュエル）「私達の新しい力見せてあげるわ!!」

ジェーニー（ヒーローライドジュエル）「俺達」修行の成果を見せてやる!!」

マナートウ（ヒーローライドジュエル）「あたしらとプリキュアの力を見せてやろうぜ!!」

ストライク「行くよ!!」

地獄界で共に修行をしたジャスティスヒーロー達と共にプリキュア達はヒーローライドジュエルを取り出し、一体化をし始める。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミスティック、アラム、ジュール「ヒーローライドチェンジ!!」

9人はキュアアトフォンチェンジャーにプリキュライドジュエルを刺して変身し、地獄界で修行したジャスティスヒーローの力と一体化した。

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリアルフォーム、フェッター烈陣フォーム、マジックソールフォーム、ジャックファイツフォーム、クイーンバルクフォーム、ミスティックミラーシエナフォーム、アラムジェーニーフォーム、ジュールフマナートウフォーム「……………」。

地獄界での修行したジャステイスヒーロー達と一体化したストライク達はその力を見せるのだ。

ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリアルフォーム、フェッター烈陣フォーム、マジックソールフォーム、ジャックファイツフォーム、クイーンバルクフォーム、ミスティックミラーシエナフォーム、アラムジェーニーフォーム、ジュールフ「はあああああー!!」

ストライクアイゼンフォームがキュアメタルアームでアームビームプラスターに変化し、シンシアフェアリアルフォームはアサルトライフル、フェッターは戦烈鬼、マジックソールフォームはキュアメタルミョルニア、ファイツはキュアメタルジャステイス

シールド、クイーンバルクフォームはキュアメタルバルクナツクル、ミステイックミラーシエナフォームはミラーシールドビット10基、アラムジェーニーフォームはジェーニーランプ、ジュールフマナートウフォームはキュアメタルマナートウクロードオメガテイツトマンアルデイステラに攻撃した。

オメガテイツトマンアルデイステラ「これがジャスティスヒーローの力か?! ならば見せてやる、我が力を!!」

オメガテイツトマンアルデイステラが全力で出すため全身を発光し、ストライクアイゼンフォーム達9人にかかった。

オメガテイツトマンアルデイステラ「散れえっ!!」

オメガテイツトマンアルデイステラが瞬間移動でストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアリアルフォーム、フェッター烈陣フォームにパンチで殴り、マジックソールフォーム、ジャックファイツフォーム、クイーンバルクフォームにキックで蹴り、ミステイックミラーシエナフォーム、アラムジェーニーフォーム、ジュールフマナートウ

フォームに光線を放った。

オメガテイトマンアルデイステラ「うおおおおおー!!」

全力を出したオメガテイトマンアルデイステラが猛威を振るいながらプリキュア達に攻撃を喰らわした。だが、プリキュア達もやられているばかりでなく反撃に出た。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンサンシャインバスター!!」

シンシアフェアリアルフォーム「プリキュア・フェアリアルバーストシュート!!」

フェッター烈陣フォーム「プリキュア気真空斬!!」

マジックソールフォーム「プリキュア・ソールサンダーストームショット!!」

ジャックファイツフォーム「プリキュア・ファイツシールドスピニングブーメラン!!」

クイーンバルクフォーム「プリキュア・バルクハンマースマッシュ!!」

ミステイクミラーシェナフォーム「プリキュア・ミラーシェナビットバスター!!」

アラムジェーニーフォーム「プリキュア・ジェーニーミストパンチャー!!」

ジュールフマナートウフォーム「プリキュア・マナートウインパクトストラッシュ!!」

9人のプリキュア達が一齐に必殺技を放ち、オメガティットマンアルデイステラに喰らわし、大ダメージを負わせた。

オメガティットマンアルデイステラ「これがプリキュアか、強いものだ。」

9人の必殺技を喰らったオメガティットマンアルデイステラ。

オメガティットマンアルデイステラ「今日は引いてやる、次は必ずお前達を倒してやる!!」

配下を連れて撤退するオメガティットマンアルデイステラ。戦いはストライク達9人が勝利した。

アイカ「グローヴァリテイ、ハデユスの率いる新たな組織。」

はるな「これからは私達はグローヴァリテイと戦う事になるみたいね。」

自分達がこれから戦う相手がハデユスの新たな組織グローヴァリテイとなる。新た

な戦いの幕開けが始まった。

パラレルワールド

グローヴァリテイフオートレス

ゼシウス「アルデイステラがプリキユア達と対決か。」

ラスフェツク「久々に現れたかプリキユア。」

ゼシウス「戦いの幕開けのようだな。」

ラスフェツク「グローヴァリテイが新たな世界を創り上げる。わしらが世界の支配者だ。」

次回 62話へ続く

設定 1 3

プリキュア

皇神悠（おうかゆう）（不明）

CV：松本沙羅

突如姿を現した謎の少女。彼女は何処から来たのか不明であり、髪型はミセスで、性格は冷静であるが、相手を上から目線で見ている。彼女は門矢士とは同じ存在でもある。生身でも戦う事も可能。

キュアヴァイド

皇神悠が変身する姿。髪型はショートで黒髪で、両腕にガントレット、両脚にレギンス、背中に飛行可能な古代風の金属翼を身に付けている。キュアゼロに近い姿をしているが、こちらは中世の衣装風のようなのを纏い、戦闘力はキュアゼロと同じで、ガントレットの手甲から光刃を出したり、光弾を発射したり、バリアを貼ったりする機能を持つ。レギンスには小型ブースターが内蔵されており、使用すると加速力がアップする。また歴代プリキュアに変身する事も可能、また召喚したりする事も可能である。攻撃力、防御力、スピードは共に高く、高バランスであり、レヴォリユードとは互角である。

掛け声は「虚空の彼方より現る、キュアヴァイド!!」実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ヴァイドチェンジャー

ブレスレット型の変身アイテム。彼女の右手首に着けており、変身する際は「プリキュア・イグニツション・チェンジ!!」と叫ぶ。歴代プリキュアを変身、召喚したりする機能を持ち、自ら変身する際の掛け声は「プリキュア・ライドイグニツション・チェンジ!!」と叫ぶ。また召喚する際の掛け声は「プリキュア・ライドイグニツション・キャル!!」と叫ぶ。またパラレルワールドへ移動するワープ機能を持つ。

ヴァイドグローブス

ヴァイドの専用武器。形状がナックルグローブで、両手に装着し、あらゆる技を繰り出したり、打撃力はあらゆる物を完全粉碎する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ヴァイドパンチ

ヴァイドの必殺技。両拳を発光しながら敵に殴り込む。実体のない者や不死身や不

老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ヴァイドキッカー

ヴァイドの必殺技。敵に向かって飛びながら、両足を発光しながら思いつきり喰らわす。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ヴァイドマシンガンパンチ

ヴァイドの必殺技。両拳を発光しながら敵に連打でパンチを繰り出していく。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ヴァイドビーム

ヴァイドの必殺技。掌から光線を放ち、敵全体に攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ヴァイドブレイクナックル

ヴァイドの必殺技。ヴァイドグローブスを装着しながら無、虚空の力の光状を纏いながら敵に思いつきり強烈なパンチを繰り出す。実体のない者や不死身や不老不死や負

の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ヴァイドブレイクプラスター

ヴァイドの必殺技。ヴァイドグローブスを装着したまま両手を合わせて、全身を集中しながら無、虚空の力の光線を放つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ジャステイスヒーロー

ボルケリート

CV：岡本信彦

ジャステイスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事では4年前と同じだが、火と炎を更に極めた事により強くなり、地獄の炎をより更に使いこなし、格闘と攻撃力に優れて、4年前の姿の数倍の強さを持つ。弱点の水と氷を克服した。またストライクと一体化して、キュアストライクボルケリートフォームとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

FFシリーズのイフリートを元に

キュアストライクボルケリートフォーム

ストライクとボルケリートが一体化した姿。頭にボルケリートの2本の有角のキュアメタルボルケリートカチューシャを着け、胴体にインナーの上にキュアメタルボルケリートアーマーを身に纏い、両手にキュアメタルボルケリートナックルを装備し、火と炎をより自在にこなし、格闘と攻撃力に強く優れて、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ボルケリートファイアエクスプロージョン

ストライクボルケリートフォームの必殺技。獄気で集中して形成した火炎で敵に爆発して喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ボルケリートフレイムラッシュナックル

ストライクボルケリートフォームの必殺技。獄気で集中して両拳に火炎を纏いながら連打パンチで敵に強く殴り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ボルケリートバーンバースト

ストライクボルケリートフォームの必殺技。全身から地獄の業火を放ちながら敵全体を焼き尽くす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ボルケリートバーニングチャージダッシュ

ストライクボルケリートフォームの必殺技。獄気を集中して全身に地獄界の業火を

纏いながら、敵全体に向かって突撃して焼き尽くす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ボルケリートバーンサイクロンザンバー

ストライクボルケリートフォームの必殺技。キュアブレードマグナム剣モードに火炎の竜巻状を纏いながら敵全体に斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スカヴァ

C V：大西沙織

ジャステイスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で姿は4年前と同じだが、氷と雪を更に極めた事でより強くなり、アスゴルド王国の氷を更に使いこなし、魔法と動きに優れて、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。弱点の炎を克服した。またシンシアと一体化して、キュアシンシアスカヴァフォームとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

FFシリーズのシヴァを元に

キュアシンシアスカヴァフォーム

シンシアとスカヴァが一体化した姿。スカヴァをイメージしたプリンセスドレスを身に纏い、両腕にアイススカヴァリングを装着し、リングから冷気を漂う。氷と雪をよ

り自在にこなし、魔法と動きに強く優れて、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・スカヴァブリザードトルネード

シンシアスカヴァフォームの必殺技。掌から氷状の竜巻を放ちながら敵全体に放つ。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・アイスチャージウエーブ

シンシアスカヴァフォームの必殺技。獄気を集中して氷結の津波を形成して、敵全体にを飲み込んで喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・スカヴァフリーザーバースト

シンシアスカヴァフォームの必殺技。全身にアスゴルド王国の氷を放ちながら敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・スカヴァスノウダイヤモンドダスト

シンシアスカヴァフォームの必殺技。獄気を集中して敵全体に氷結の嵐を起こし、アスゴルド王国の氷で形成した氷の巨大な球をシュートして敵全体に喰らわして、そのまま氷結して粉碎する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・スカヴァブリザードレイセイバー

シンシアスカヴァフォームの必殺技。キュアブレードマグナム剣モードに氷結柱を纏いながら敵に斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ウオーテイル

CV：雨宮天

ジャステイスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で姿は変わり、胴体にキュアメタルウオーテイルアーマー、両腕にキュアメタルウオーテイルガントレットを身に纏い、武器はキュアメタルウオーテイルハルバートで槍の先端を変化してキュアメタルウオーテイルハンマーとなり、水中戦も得意で、水を極め、水と槍術とバランスに優れて、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。人間時は水野冴子と名乗り、女性用スーツを着用し、弁護士として活動している。ジャックと一体化してキュアジャックウオーテイルフォームとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マジアレコードの七海やちよを元に

キュアジャックウオーテイルフォーム

ジャックとウオーテイルが一体化した姿。胴体にキュアメタルウオーテイルアーマー、両腕にキュアメタルウオーテイルガントレットを身に纏い、武器はキュアメタル

ウオーテイルハルバートで槍の先端を変化してキュアメタルウオーテイルハンマーとなり、水と槍術とバランスに優れて、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ウオーテイルスウインガー

ジャックウオーテイルフォームの必殺技。キュアメタルウオーテイルハルバートに獄気を集中して発光しながら身体を360度回転して敵全体を薙ぎ払う。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ウオーテイルアクアハンマー

ジャックウオーテイルフォームの必殺技。獄気を集中してキュアメタルウオーテイルハンマーに水状を纏いながら、敵に思いつき打撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ウオーテイルトライウオータースピアレイン

ジャックウオーテイルフォームの必殺技。3方向から多数の水状の槍を召喚して、敵全体に喰らわせる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ウオーテイルハイドロウエーブシユート

ジャックウォーティルフォームの必殺技。掌から大きな津波を放って敵全体飲み込ませる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ウォーティルダブルランサーブレイカー

ジャックウォーティルフォームの必殺技。ジャックステッキスピア槍モードを右手に、キュアメタルウォーティルハルバート左手に構えて、両槍に獄気を集めて発光しながら、敵に向かって攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ウィザーデー

C V：内田彩

ジャステイスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で姿は変わり、背が伸びて大人の姿へとなり、武器はキュアメタルウィザーデイロッドで、魔法を極めて優れており、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。魔導士の衣装をしている。マジックと一体化してキュアマジックウィザーデイフォームとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアマジックウィザーデイフォーム

マジックとウィザーデーが一体化した姿。魔導士の姿をし、衣装はマジシャンウィザーデイロッドを纏い、武器はキュアメタルウィザーデイロッドを装備し、あらゆる魔

法と術を使用したりする。魔法を極めて優れており、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ウィザードイフラッシュユレイ

マジックウィザードイの必殺技。獄気を集中して全身に発光しながら魔光波を敵全体に放ち、姿を消している敵を暴く。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ウィザードイマジカルバーン

マジックウィザードイフォームの必殺技。敵の真下に魔法陣を出現して、魔法陣から結界を発生しながら閉じ込めて魔力で形成した炎を出現させて火炙りにし、大爆発させる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ウィザードイリカバリーオール

マジックウィザードイフォームの必殺技。キュアメタルウィザードイロッドから光を放ち、味方全体を回復させる。

プリキュア・ウィザードイリニューションアタックショータイム

マジックウィザードイフォームの必殺技。獄気を集中して自身の分身体を形成し、敵全体に囲んでいき、各魔法陣からチェーン、魔力球、魔力弾、魔力光線、風船爆弾を放

ちながら攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ウィザードイミラクルシューティングバスター

マジックウィザードイフォームの必殺技。獄気を集めてキュアメタルウィザードイロッドに魔力を高めながら魔法光線を放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ウィザードイフオーパーマジック・ザ・ショータイム

マジックウィザードイフォームの必殺技。マジックステッキスピア杖モードを右手に、キュアメタルウィザードイロッドを左手に構えて、2つの杖で辺り一帯をステージに変え、ステージの上にいる敵全体にクラッカー、大量の鳩、チェーン、魔力球、魔力弾、魔力光線、風船爆弾で攻撃し、さらに巨大なシルクハットを召喚して、閉じ込めて、最後に巨大な花火を起こして蹴散らす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

光陰命

CV：豊崎愛生

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で姿は4年前と同じだが、術式や呪詛や魔法などを極めてより優れるようになり、4年前

の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特異能力の影響を一切受けない。現在はヒーローライドジュエルに入っており、フェッターが使用して召喚し、またフェッターと一体化してキュアフエッター光陰命フォームへとなる。

キュアフエッター光陰命フォーム

キュアフエッターと光陰命が一体化した姿。光陰命の陰陽師の服装を身に纏い、術式や呪詛や魔法などを極めて優れており、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特異能力の影響を一切受けない。

プリキュア・光陰六芒陣柱

フェッター光陰命フォームの必殺技。手で六芒星の陣を形成して、敵全体に六芒星の陣から光線で攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特異能力の影響を一切受けない。

プリキュア・光陰呪人碎

フェッター光陰命フォームの必殺技。藁人形を出して対象の敵をターゲットし、光状の杭を出して藁人形に刺し、対象となった敵にダメージを喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特異能力の影響を一切受けない。

プリキュア・光陰命霊札滅烈

フェッター光陰命フォームの必殺技。大量の御札を出していきながら敵全体に貼り

付けていき、大爆発させる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・光陰命桜舞吹嵐

フェッター光陰命フォームの必殺技。両手を広げて術を唱え、桜吹雪の嵐を起こして敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けな

い。

プリキュア・光陰命式七式蟬芯壮破

フェッター光陰命フォームの必殺技。獄気を集中して人型の式神を6体呼び出して共に五芒星の陣を形成して、陣からいくつからの光を降り注いで敵全体を攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・光陰命天滅令光

フェッター光陰命フォームの必殺技。キュアカタナテツポウ鉄砲モードに獄気を集中して六芒星を形成し、六芒星から構成を放ち、敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

大和丸

CV：ボルケーノ太田

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で

姿は烈陣丸と同じ武将風の鎧を身に纏い、武器は槍型のキュアメタル橙破槍で、槍術と槍技と攻撃力に優れており、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。現在はヒーローライドジュエルに入っており、クイーンが使用して召喚し、またクイーンと一体化してキュアクイーン大和丸フォームへとなる。

キュアクイーン大和丸フォーム

クイーンと大和丸が一体化した姿。クイーンに大和丸の姿をした武将風の鎧を身に纏い、女武将と思わせ、武器は槍型のキュアメタル橙破槍で、槍術と槍技と攻撃力に優れており、4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・大和暴乱破

クイーン大和丸フォームの必殺技。獄気を集中してキュアメタル橙破槍を発光したまま構えて、敵に向けて大きく振り回していき、最後に連続突きをする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・大和大輪回

クイーン大和丸フォームの必殺技。キュアメタル橙破槍を上を持ち上げたまま360度回しながら敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・大和十字破

クイーン大和丸フォームの必殺技。キュアメタル橙破槍に獄気を集中して発光しながら、敵に十文字斬りする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・大和双刃破撃

クイーン大和丸フォームの必殺技。キュアメタル橙破槍とクイーンナギナライフル薙刀モードの頭を連結し、獄気を集中して光柱状を纏いながら大きく斬り込んでいき、最後に刺突する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

エスパネス

CV：興津和幸

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で姿は4年前と同じだが、超能力をより極めてより強くなり、超能力や魔法やサイコキネシスやパイロキネシスなどに優れている。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ミステックが使用して召喚し、またミステックと一体化してキュアミステックエスパネスフォームへとなる。

キュアミステックエスパネスフォーム

ミステイックとエスパネスが一体化した姿。胴体にエスパネスドレスコート、右腕にキユアメタルエスパネスガントレットを装着し、あらゆる超能力などを使い、念動力で形成した技を可能とし、超能力による魔法攻撃を得意とする。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・エスパネススーパーバインド

ミステイックエスパネスフォームの必殺技。獄気を集中して両手を発光して前に出しながら、念動力で敵を持ち上げていき、念動力で形成した光線に敵を放つ。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・エスパネススーパーパイロキネシス

ミステイックエスパネスフォームの必殺技。獄気を集中して念動力で敵全体に火炎を起こして、燃やし尽くす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・エスパネスポルターゴースト

ミステイックエスパネスフォームの必殺技。周辺に落ちている物を念動力で持ち上げて、敵全体にぶつける。さらに念動力で形成したいくつかの幻影の幽霊を出現して攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・エスパネスフォースウォールバリア

ミスティックエスパネスフォースの必殺技。念動力で形成した全方向のバリアを貼って、敵の攻撃を防ぐ。

プリキュア・エスパネスフォースサイコブラスタ

ミスティックエスパネスフォースの必殺技。獄気を集中してキュアメタルガンレットを発光しながら、強力な念動力の光線を放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化したは撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アラミラード

CV：森田成一

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で姿は獣人へとなり、頭に角を生やしたウサギに似た生物の姿をし、頭の角が特徴で、動きとスピードをより極めてより優れるようになる。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。現在はヒーローライドジュエルに入っており、アラムが使用して召喚し、またアラムと一体化してキュアアラムアラミラードフォームへとなる。

中東神話のアルミラージュを元に

キュアアラムアラミラードフォーム

アラムとアラミラードが一体化した姿。全身にキュアメタルアラミラードアーマーを身に纏い、武器は右腕にキュアメタルアラミラードドリルアームでドリルを変化してキュアメタルアラミラードソードアームとなり、動きとスピードをより極めてより優れるようになる。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・アラミラードトルネードブレイカー

アラムアラミラードフォームの必殺技。右腕に装備しているアラミラードドリルアームに獄気を発光して回転しながらドリルの先端から竜巻を放ち、敵全体を蹴散らす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・アラミラードクラッシュブレイカー

アラムアラミラードフォームの必殺技。右腕に装備しているアラミラードドリルアームに獄気を集中して発光しながら回転して相手に突撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アメモント

CV：平田広明

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行し、修行した事で

姿は4年前と同じで、頭はワニ、上半身は獅子、下半身は河馬の姿をした超人。口の牙であらゆるものを噛み砕いていき、腕の爪で切り裂き、脚から地震を引き起こす。攻撃と防御をより極めてより優れるようになる。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ジュールフが使用して召喚し、またと一体化してキュアジュールフアメントフォームへとなる。

キュアジュールフアメントフォーム

ジュールフとアメントが一体化した姿。両手にキュアメタルアメントクロー、脚にキュアメタルアメントパワーブーツ、胴体にキュアメタルアメントアーマーを身に纏い、攻撃と防御をより極めてより優れるようになる。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・アメントスラッシュブレイカー

ジュールフアメントフォームの必殺技。両手のアメントクローに獄気を集めて発光しながら、敵を切り裂く。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・アメントブレスブラスター

ジュルファメメントフォームの必殺技。キュアメタルアムメントアーマーの胴体にワニの顔に獄気を集中して発光しながら口を開いて、強力な光線を敵全体に向けて発射する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・アムメントハンマークラッシュャー

ジュルファメメントフォームの必殺技。ジュルフハンマーに獄気を集中してチャージしながら敵に思いつき打撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

鉄斎

CV：木村良平

ジャステイスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行した事で姿は変わり、頭に髪が生え、衣装は男性用チャイナ服を着用し、素手、格闘、体術、拳法をより極めて優れている。獄気を身につけた事でより相手の行動を読みながら見切っている。彼は地獄界の閻魔王の腹心でもあるが、現在はアイカ達と行動中。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。ストライクと一体化してキュアストライク鉄斎フォームとなる。

キョウリキュウジャーのキョウリキュウグレー、キン肉マンのモンゴルマンを元にキュアストライク鉄斎フォーム

ストライクと鉄斉が一体化した姿。4年後の鉄斉の姿をし、素手、格闘、体術、拳法をより極めて優れている。獄気を身につけた事でより相手の行動を読みながら見切っている。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・鉄斉突烈拳

ストライク鉄斉フォームの必殺技。獄気を集中して形成したエネルギー状の拳を放つ。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・鉄斉百仁烈拳

ストライク鉄斉フォームの必殺技。獄気を集中して両拳を発光しながら、敵全体に100発のパンチを喰らわせる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・鉄昇燐仁拳

ストライク鉄斉フォームの必殺技。獄気の拳に集中して飛び上がって、敵にアツパークットする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・鉄斉砲光礼

ストライク鉄斉フォームの必殺技。獄気を集中しながら両腕を前に出して獄気の光線を放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一

切受けない。

プリキュア・鉄斉昇落地

ストライク鉄斉フォームの必殺技。敵に向かって肩車のように持ちながら上空を飛び、敵を地面に向けて激突させる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

明利江

CV：洲崎綾

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行した事で姿は4年前と同じだが、衣装の軽装はセクシーさがさらに目立つようになり、素早い動きや忍術をより極めて優れている。武器は投げて手元に戻るクナイ型のキュアメタル羽佐鬼2本と大型手裏剣型のキュアメタル旋忍風とキュアメタル手裏剣のみである。彼女は麗奈と烈陣丸と光陰命と翔華楽と大和丸と同じ亜苦羅出身である。4年前の姿の数倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。シンシアと一体化する事で、キュアシンシア明利江フォームとなる。敵の全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアシンシア明利江フォーム

シンシアと明利江が一体化した姿。全身にセクシーな軽装鎧のキュアメタル明利江軽鎧を身に纏い、くノ一らしさがしつかり姿をし、素早い動きや忍術をより極めて優れ

ている。武器は投げて手元に戻るクナイ型のキュアメタル羽佐鬼2本と大型手裏剣型のキュアメタル旋忍風とキュアメタル手裏剣のみである。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・明利江閃光斬

シンシア明利江フォームの必殺技。2本のキュアメタル羽佐鬼に獄気を集中して光状を纏いながら、敵に閃光のような速さで斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・明利江爆雷水風陣

シンシア明利江フォームの必殺技。忍術を唱えて敵全体に炎を放ち、次に地上から巨大な洪水を起こして飲み込み、さらに無数の雷を降り注ぎ、最後に竜巻を呼び起こして喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・明利江大旋風斬

シンシア明利江フォームの必殺技。獄気を集中してキュアメタル旋忍風に風状を纏って投げながら風の如く自由自在に回り、敵全体に斬り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・明利江分身乱武

シンシア明利江フォームの必殺技。シンシア明利江フォームが分身して、敵に向かっていくつかの分身と共にキュアメタル羽佐鬼とキュアメタル旋忍風とキュアメタル手裏剣と忍術を使って突撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ヴォイダートマン

CV：菅原雅芳

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行した事で姿は4年前と同じだが、格闘とバランスにをより極めて優れている。姿が黒いヘルメットと仮面とアーマーを身に纏い、手甲にスノーダーク時に使われたキュアメタルベアクロウがあり、変化しながらキュアメタルナックルへとなるのが特徴で、格闘技を得意とする。ジャックと一体化する事で、キュアジャックヴォイダートフォームとなる。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キン肉マンのウォーズマンとアベンジャーズのバツキーを元に

キュアジャックヴォイダートフォーム

ジャックとヴォイダートマンが一体化した姿。胴体にキュアメタルヴォイダートアーマーを纏い、両腕にキュアメタルヴォイダートガントレットを着用し、手甲から

キュアメタルベアクローを出刃して斬り裂いたり、キュアメタルナツクルに変化したりする。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ヴォイダートスライサーエッジ

ジャックヴォイダートフォームの必殺技。獄気を集中してキュアメタルベアクローを発光しながら敵を斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ヴォイダートランチャーパンチ

ジャックヴォイダートフォームの必殺技。獄気を集中してキュアメタルナツクルを発光しながら敵をパンチする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ヴォイダートスーパーランチャーキック

ジャックヴォイダートフォームの必殺技。獄気を集中して両脚を発光しながらジャンプで両脚を出したまま、敵に打ち込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ヴォイダートロックキングブレイカー

ジャックヴォイダートフォームの必殺技。獄気を集中して全身を発光しながら敵を

持ち上げて、そのままジャンプして両手で敵の両腕を掴み、両脚で敵の両脚をはみながら、引つ掻きあげて、敵の両腕脚を折る。敵に打ち込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スーパーレディ

CV：平田絵里子

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行した事で姿は4年前と同じだが、格闘とパワーをより極めて優れている。髪が金髪で、青と赤と黄色の3色のスーツを着ているのが特徴。超人的体力と怪力を持ち、敵のエネルギー、光線等の攻撃を吸収して自分の力に変えていく。人間時は増野志保と名乗っている。マジックと一体化する事で、キュアマジックスーパーレディフォームとなる。4年前の姿の数倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアマジックレディフォーム

マジックとスーパーレディが一体化した姿。マジックにスーパーレディの姿をしたスーツを身に纏い、超人的体力と怪力を持ち、敵の敵のエネルギー、光線等の攻撃を吸収して自分の力に変えていく。格闘とパワーをより極めて優れている。

必殺技

プリキュア・レディエナジーブラスター

マジックレディフォームの必殺技。獄気を集中して両手を発光して合わせながら強力なビームを敵全体に放つ。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・レディメガトンアッパー

マジックレディフォームの必殺技。獄気を集中して両拳を発光しながら敵に強く殴り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・レディブラストルシユート

マジックレディフォームの必殺技。敵のエネルギー、光線等の攻撃を吸収し、獄気とエネルギーの2つを集中しながら一気に強力な光線を放ち、敵全体に喰らわせる。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

隼疾風

CV：石川界人

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行した事で姿は4年前と同じだが、動きとスピードをより極めて優れている。姿は背中に翼を生やして空を飛ぶのが特徴。猛スピードで駆けながら敵を翻弄し、さらに風を引き起こしたりする。フェッターと一体化する事で、キュアフェッター隼疾風フォームとなる。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアフェッター隼疾風フォーム

フェッターと隼疾風が一体化した姿。全身にキュアメタル隼疾風軽鎧を纏いながら背中に隼疾風の翼があり、空を飛び、空中戦を得意とする。風を自在に呼び起こしたり、さらにスピードを駆使して敵を翻弄させる。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・隼疾風俊速乱舞

フェッター隼疾風フォームの必殺技。獄気を集中して全身を発光しながら素早く飛んで敵全体に翼で斬り付けたたり、突撃したりする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・隼疾風嵐華風舞

フェッター隼疾風フォームの必殺技。翼から嵐を発生して、敵全体を飲み込んで一気に蹴散らす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・隼疾風竜巻斬り

フェッター隼疾風フォームの必殺技。獄気を集中してキュアカタナテツポウ刀モードの刀身に竜巻状を纏いながら敵に斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

翔華樂

CV：夏川椎菜

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行した事で姿は大人びた姿へととなり、和服を着た舞妓の姿をし、両手に2つの扇子型のキュアメタル天翔心を持ち、先端に刃が仕込まれて斬撃に使用したり、ブーメランとして投げたりし、風を引き起こしたりする。動きと攻撃を極めて優れている。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。現在はヒーローライドジュエルに入っており、クイーンが使用して召喚し、またクイーンと一体化してキュアクイーン翔華樂フォームへとなる。

マギアレコードの由比鶴乃を元に

キュアクイーン翔華樂フォーム

クイーンと翔華樂が一体化した姿。和服を身に着用し、日本の両手にキュアメタル天翔心を持ちなが舞で駆使し、動きと攻撃を極めて優れている。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・翔華樂舞風烈斬

クイーン翔華樂フォームの必殺技。獄気を集中して天翔心を発光しながら手に持つて舞いながら風斬を呼び起こして、敵を斬り込む。相手を浄化または撃破する。全ての

特殊能力の影響を一切受けない。

プリキユア・翔華楽舞嵐烈斬

クイーン翔華楽フォームの必殺技。獄気を集中して2つの天翔心を発光しながら両手に持ち、舞いながら嵐を呼び起こして、敵全体を斬り込む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキユア・翔華楽舞天烈氣

クイーン翔華楽フォームの必殺技。獄気を集中してクイーンファンを右手に、天翔華を左手にそれぞれ持ちながら2つの扇子を発光しながら光風を起こして、敵全体に包み込み、最後に風斬で斬り刻む。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ワプニオン

CV：日高里菜

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行した事で姿は変わり、全身にキュアワプニオンアーマーを身に纏い、アーマーから電磁波を放ち、敵の身動きを一時的に封じる。クレアが移動する際は、彼女の力を使って人間界へ移動する。能力はあらゆる場所へ瞬間移動し、自分の攻撃をワープして、あらゆる遠近距離にいる敵に与える。動きとバランスをより極めて優れている。4年前の姿の数百倍の強

さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ミステックが使用して召喚し、またミステックと一体化してキュアミステックワプニオンフォームへとなる。

マジンボーンのダークパンサーを元に。

キュアミステックワプニオンフォーム

ミステックとワプニオンが一体化した姿。全身にキュアメタルワプニオンアーマーを身に纏い、空間移動による戦いを得意とし、アーマーから電磁波を発生して、敵の動きを一時的に封じる。動きとバランスをより極めて優れている。4年前の姿の数倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ワプニオンワープアタック

ミステックワプニオンフォームの必殺技。ワープで移動しながら敵のあらゆる方向から攻撃し、最後にミステックサークルで斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ワプニオンスーパーレインショット

ミステックワプニオンフォームの必殺技。獄気を集中して全身を発光しながら上空から異空間の穴を空けて、敵全体に光弾を降り注ぐ。相手を浄化または撃破する。全

ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ワプニオンシャインブラストルバースト

ミスティックワプニオンフォームの必殺技。獄気を集中して全身を発光しながらアーマーから電磁波を用いた強力な光波を放ち、さらにいくつかの光線を放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

エンキナウ

C V：河西健吾

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行した事で姿は4年前と同じだが、格闘とバランスをより極めて優れている。格闘や技で相手を翻弄する。相手を浄化または撃破する。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。現在はヒーローライドジュエルに入っており、アラムが使用して召喚し、またアラムと一体化してキュアアラムエンキナウフォームへとなる。

キュアアラムエンキナウフォーム

アラムとエンキナウが一体化した姿。胴体にエンキナウライトアーマーを身に纏い、格闘とバランスをより極めて優れている。格闘や技で相手を翻弄する。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・エンキナウブレイクキック

アラムエンキナウフォームの必殺技。両脚に獄気を集中して纏いながらジャンプして両脚を前に出して、敵に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・エンキナウブラストルマシンガンナックル

アラムエンキナウフォームの必殺技。両拳に獄気を集中しながらエネルギー状の拳を敵全体に放つ。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・エンキナウブライトキッキングパンチング

アラムエンキナウフォームの必殺技。両拳脚に獄気を集中して発光しながら敵に思いつき強く蹴り、最後はパンチで思いつき殴る。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ゴールドメツシュ

CV：濱野大輝

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行した事で姿は黄金の中東風の騎士鎧を纏い、武器はキュアメタルゴールドツイングダガー、キュアメタルゴールドアロー、キュアメタルゴールドアックスであり、攻撃と防御をより極めて優れ

ている。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。現在はヒーローライドジュエルに入っており、ジュールフが使用して召喚し、またアラムと一体化してキュアジュールフゴールドメッシュフォームへとなる。

キュアジュールフゴールドメッシュフォーム

ジュールフとゴールドメッシュが一体化した姿。全身にキュアメタルゴールドメイルを纏い、武器はキュアメタルゴールドツインダガー、キュアメタルゴールドアロー、キュアメタルゴールドアックスであり、攻撃と防御をより極めて優れている。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ゴールドツインクロススライサー

ジュールフゴールドメッシュフォームの必殺技。キュアメタルゴールドツインダガーに獄気を集中して発光しながら敵にX文字斬りする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュアプリキュア・ゴールドアローバスター

ジュールフゴールドメッシュフォームの必殺技。キュアメタルゴールドアローに獄気を集中しながら強力な光矢の光線を放ち、敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ゴールドアクセルアックス

ジュルフゴールドメッシュフォームの必殺技。敵の各方向にキュアメタルゴールドアックスで斬り付け、最後に大きく斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ブレイディオ

CV：谷山紀章

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行した事で姿は胴体にキュアメタルブレイディオアーマー、両腕にキュアメタルガンレットを纏い、武器はキュアメタルブレイディオソード、キュアメタルシルバーバンカーで、剣術、格闘、スピードを極めて優れている。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。ストライクと一体化する事で、キュアストライクブレイディオフォームとなる。

キュアストライクブレイディオフォーム

ストライクとブレイディオが一体化した姿。ブレイディオの姿をしたキュアメタルブレイディオアーマーを纏い、武器はキュアブレイディオソード、キュアシルバーバンカーで、剣術、格闘、スピードを極めて優れている。暗闇の戦いも優れている。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ブレイディオスーパースラッシュ

ストライクブレイディオフォームの必殺技。獄気を集中してキュアメタルブレイディオソードを発光しながら敵に斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ブレイディオスラッシュショット

ストライクブレイディオフォームの必殺技。キュアメタルブレイディオソードから斬波を放ち、敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ブレイディオトリプルクラッシュ

ストライクブレイディオフォームの必殺技。キュアメタルブレイディオソードから強力な斬撃を3回繰り出して、敵に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ブレイディオクロスデイバイドスラッシュ

ストライクブレイディオフォームの必殺技。獄気を集中してキュアブレードマグナム剣モード、ブレイディオソードを両手に持ちながら光状を纏って敵にX文字斬りをする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ガンニークス

CV：上田耀司

ジャスティスヒーローの1人。アイカ達と共に地獄界で4年間修行した事で姿はガンニークスコートに纏い、武器は2丁銃キュアメタルガンニークスガン、レーザー光線を放ち、さらに銃口の下部にシルバークンカーで敵を貫く。射撃と攻撃力を極めて優れている。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。ストライクと一体化する事で、キュアストライクブレイディオフォームとなる。

キュアシンシアガンニークスフォーム

シンシアとガンニークスが一体化した姿。ガンニークスの姿をしたガンニークスコートを身に纏い、武器は2丁銃キュアメタルガンニークスガン、レーザー光線を放ち、さらに銃口の下部にシルバークンカーで敵を貫く。射撃と攻撃力を極めて優れている。4年前の姿の数百倍の強さを持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ガンニークススーパーショット

シンシアガンニークスフォームの必殺技。獄気を集中してキュアメタルガンニークスガン2丁を発光しながら光波を放つ。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ガンニークスターゲッツティングプラストル

シンシアガンニークスフォームの必殺技。獄気を集中してキュアメタルガンニークスガン2丁で敵全体をロックオンし、光球を連射して敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特異能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ガンニークスマシンガンバースト

シンシアガンニークスフォームの必殺技。キュアメタルガンニークスガンから光球を連射で撃ち続ける。相手を浄化または撃破する。敵の全ての特異能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ガンニークスメガバスターショット

シンシアガンニークスフォームの必殺技。獄気を集中してキュアブレードマグナム銃モード、左右合体した2丁のキュアメタルガンニークスガンを発光して両手に持ちながら強力な光線を放ち、敵全体に攻撃する。

乗り物

プリキュアーク

WJGが開発した母艦。プリキュア達がパラレルワールドや宇宙へ移動するために使われ、主砲が3門、対空機関砲、対空ミサイルランチャーが10門、下部からはキュアライドロボツヴァイを発進させるカタパルトがある。

キュアライドロボツヴァイ

全高：7・10 m

WJGが2機を改修し、強化した機体。武器は右腕にアームビームブレード、左腕にガトリングガンが装備されている。性能面も強化し、数十倍の力を持つ。1号機はピンクとレッド、2号機はパープルの。またプリキュライドジュエルを装着して歴代プリキュアやジャスティスヒーローの能力を使う事が可能。背中に飛行ユニット、脚部にブースターが内蔵されていて、飛行が可能。

第62話 旅立ちへ

オメガティットマンアルデイステラを退けさせたアイカ達。4年ぶりに人間界に帰って来て、なきぎ達と再会をする。

人間界

なきぎ「アイカちゃん達が地獄界で修行して強くなったんだ。」

アイカ「あたし達とジャステイスヒーローはハデユスを倒すために閻魔様の地獄界で修行で鍛えて来たんです。」

ほのか「かなり大変だったわね。」

はるな「かなり大変でしたよ。」

咲「地獄界で修行何て本当に苦労するよ。」

麗奈「死ぬ物狂いで大変だったわ。」

のぞみ「かなり強くなったんでしょ。」

咲耶歌「はい。」

つぼみ「私達では予想が着かないね。」

海「地獄界で私達はかなり付けたわ。」

響「続々する。」

みゆき「ハラハラしたよ。」

文「私達全員強くなったわ。」

マナ「帰って来たんだね。」

めぐみ「4年ぶりね。」

クレア「地獄界での修行はすごくハードだった。」

はるか「アイカちゃんが帰ってよかったね。」

みらい「本当にそうだね。」

イルゼ「あたしらはかなり強くなって来た。」

いちか「本当に大きくなったわね。」

はな「アイカちゃん達も帰って来たんだね。」

ライラ「地獄界での修行で強くなれた。」

アイカ「ただいま。」

なぎさ達と再会を果たしたアイカ達。アイカ達の前にサルニコフが現れた。

サルニコフ「久しぶりだったな。」

はるな「サルニコフ総監。」

サルニコフ「無事帰って来たようだな。」

麗奈「総監。」

サルニコフ「君達はハデユスの野望を止めなければならぬのはわかる。」

咲耶歌「あたし達はこれからハデユスの野望を止めに行きます。」

クレア「ハデユスを今度こそ終わらすためにも。」

アイカ「あたし達で必ず終わらせませす。」

サルニコフ「これからハデユスとの戦いに君達に渡したいものがある。」

海「渡したい物？」

トットム「一体どんなのだい？」

サルニコフ「ついて来た前。」

サルニコフと同行するアイカ達。場所は地下へと入り、中へと進み、入り込んだ。

地下格納庫

サルニコフ「これだ。」

サルニコフがアイカ達に見せたのは、母艦らしき物だ。

アイカ「これは？」

サルニコフ「君達のために用意した艦だ。その名はプリキュアークだ。」

麗奈「新たな戦いに向けて用意した事ね。」

サルニコフ「ハデユス達は新たな野望に向けている。ハデユスを倒せるのは君達しかない。」

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「はい。」

サルニコフ「世界と宇宙は君達にかかっている。君達プリキュアにかかっている。」

イゼル「あたし達に未来はかかっているか。」

サルニコフ「そういう事だ。」

アイカ「必ずハデユスの野望を食い止めてみせます。」

サルニコフ「任せたぞ、プリキュア。」

アイカ達はプリキュアークへと乗り込み、ブリッジへ到着した。

プリキュアーク

ブリッジ

アイカ「これがプリキュアーク……?」

はるな「何だか凄いね……」

麗奈「WJGは別次元隊にもこのような艦はあつたはずよ。」

咲耶歌「別次元隊?」

麗奈「パラレルワールドを守っている部隊よ。今は連絡が途絶えてわからないままよ。」

海「気になるわ。」

文「そろそろ動かしてみようかしら?」

文が艦の起動ボタンを押すと、プリキュアークが起動し始め、地下のハッチが開いて外へ浮上した。

クレア「動いた!!」

イゼル「浮上している!!」

ライラ「これは?!!」

ペル「動いています!!」

アーニヤ「何が起きてるのですか?!」

プリキュアークが起動した事で、艦の前から次元の穴が開いた。

アイカ「穴が開いた!!」

はるな「パラレルワールドへの突入ね。」

キュアナビ「はい。あなた達は今からパラレルワールドへ突入します。」

ブリッジから突如、声が流れ始めた。

咲耶歌「喋った?!」

キュアナビ「私はキュアナビです。この艦のオペレーターナビです。」
海「プリキュアークのナビ担当ね。」

キュアナビ「皆様の航路をサポートします。」

文「よろしくね。」

キュアナビ「ではあなた方の航路の出発を開始します。」

次元の穴へと突き進むプリキュアーク。

なぎさ「みんな、必ずハデユスを倒すんだよ!!」

ほのか「ハデユスを倒せるのはあなた達しかいないのよ!!」

はな「ハデユスを倒したらみんなですべて祝おうよ!!」

パラレルワールドへ旅立ちするアイカ達になぎさ達が言葉をかけ、アイカ達の乗るプリキュアークは次元の穴へと入り込んだ。

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

ブリッジ

アイカ「これが空間?！」

初めて次元空間へ入ったアイカ達、次元空間の中は大きくて広いような綺麗な景色た

が、生物や岩陰はなかった。

クレア「次元空間がこんなに広いなんて驚いたわ。」

イゼル「本当だ。」

ライラ「綺麗だ。」

次元空間の景色が綺麗に感動するクレアとイゼルとライラ。

海「綺麗だわ。」

咲耶歌「あたし達はどこへ向かおうとしているの？」

キュアナビ「あなた達が向かわれている先はヒーリングつどプリキュアの世界です。」

一同「ヒーリングつどプリキュア？」

キュアナビ「ヒーリングつどプリキュアはお手当てをする事で戦うプリキュアです。

ビョーゲンズとの戦いに行く度に戦い抜いてきました。」

アイカ「スタートウインクルプリキュアとは違うプリキュアなんだね。」

キュアナビ「はい。」

イゼル「会ってみたいな。」

ライラ「そうだな。」

麗奈「ヒーリングつどプリキュアの世界、気になるわね。」

最初に向かう世界はヒーリングつどプリキュアの世界。果たして最初に着く世界はどうなるのか？

パラレルワールド

グローヴァリティフオートレス

メインオーダーーム

ラスフェックター「プリキュアも動き出したか。」

ゼシウス「今恐竜軍団を向かわせた。その世界を征服にさせるつもりだ。」

ラスフェックター「ヒーリングつどプリキュアの力と妖精をわしらのものにしてやる。」

ゼシウス「欲深いな。」

ラスフェックター「わしはいかなる手段でも全て手に入れてやる。」

ラスフェックターはヒーリングつどプリキュアの力と妖精を手に入れようと目論み、グローヴァリティの野望のために何としてでも手に入れる事を目論んだ。一方、アイカ達

はヒーリングつどプリキュアの到着に向けて移動していた。

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

ブリッジ

アイカ「ヒーリングつどプリキュアの世界、どんな場所かな？」

咲耶歌「気になるね。」

海「私達が最初に向かう世界。」

クレア「どんな子なのかな？」

ヒーリングつどプリキュアの世界が気になるアイカ達。彼女達がどんな子なのかな
今から気になり、自分達と同じプリキュアと会う事に楽しみにしていた。

キュアナビ「そろそろ目的地に着きます。」

イゼル「ようやくか。」

目的地のヒーリングつどプリキュアの世界に到着する事で次元の穴を開き、中へと進み、プリキュアークを到着させた。

パラレルワールド

ヒーリングつどプリキュアの世界

すこやか市

森林

アイカ「ここがヒーリングつどプリキュアの世界。」

はるな「綺麗な景色。」

ライラ「自然が溢れてるな。」

文「何だか凄く自然って感じがする。」

ヒーリングつどプリキュアの世界に到着したアイカ達は、自然に囲まれた場所、景色を見ていた。

麗奈「ヒーリングつどプリキュアの世界のプリキュアがどこにいるか。」

アイカ「町へ行こう。」

海「そうと来たらそうね。」

クレア「町に行けば手がかりはあるかも。」

麗奈「まずは町へ行こう。」

町へ向かうアイカ達。すこやか市の商店街へ入り込み、ヒーリングつどプリキュアを探しに向かった。

商店街

咲耶歌「なかなか見つからないね。」

文「どこにいるかな？」

麗奈「いないわけではないね。」

ライラ「何処かにいるはずだ。」

ヒーリングつどプリキュアを探しに回るアイカ達。そんな中、1人の少女が近くにやって来た。

のどか「あの、何か困り事はありますか？」

アイカ「あなたは？」

のどか「私は花寺のどか。」

はるな「花寺のどか？」

のどか「初めて見る顔だね？」

咲耶歌「そうだよ。」

海「この町へ来るのは初めてよ。」

のどか「初めてなんだ。」

ちゆ「のどかー。」

のどかの元にちゆとひなたとアスミが現れた。

のどか「ちゆちゃん、ひなたちゃん、アスミちゃん。」

ひなた「その人達は？」

アスミ「誰なんですか？」

のどか「初めて会う人よ。」

アイカ「あたしは桃園アイカ。」

はるな「私は桃園はるな。」

麗奈「私は麗奈Ⅱブランネーヂユ。」

咲耶歌「あたしは天蘭咲耶歌。」

海「私の名前は儀城海。」

文「私、周防文。」

クレア「私はクレアⅡベルリーニ。」

イゼル「あたしはイゼル。」

ライラ「私はライラだ。」

自己紹介をするアイカ達9人。

のどか「じゃあ、この3人を紹介するね。」

ちゆ「私は沢泉ちゆ。」

ひなた「平光ひなた。」

アスミ「私はアスミです。」

自己紹介をするちゆ、ひなた、アスミ。

ラテ「ワンワン。」

アスミ「この子はラテ。」

ラテ「この人達……プリキュア……。」

一同「えええー!!」

ラテがアイカ達9人がプリキュアだと感知してしまい、正体がバレてしまった。

アイカ「のどかさん達がじゃあヒーリングっどプリキュアなんですわね。」

のどか「私達がヒーリングっどプリキュアだよ。」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミら4人がヒーリングっどプリキュアだ。のどか達がヒーリングっどプリキュアだと知ったアイカ達は、自分達もプリキュアである事と事情を全て話した。

のどか「今世界は大変な目に遭ってるのね？」

アイカ「ハデユスとグローヴァリテイは世界を支配しようとしているの。」

ひなた「ビョーゲンズ以外にも悪い奴がいたんだ。」

ちゆ「グロウヴァリテイって言うのは？」

はるな「グロウヴァリテイは悪い人間も関与して成り立っているの。」

アスミ「……。」

麗奈「どうしたの？」

アスミ「以前サルローさんが言っていた言葉がわかりますわ。人間も悪がいることに。」

のどか、ちゆ、ひなた「……。」

咲耶歌「ラスフェックレーやブランバークやロックツトやアゼールね。」

海「彼らの企業によって多くの犠牲は出てきた、環境、生活、人間関係など。」

ちゆ「人間が悪って私達が戦わなければならない相手ね。」

ひなた「ビョーゲンズの次に戦わなきゃならない相手だね。」

文「悪の人間と戦う事は私達がやなきゃならない事ね。」

トットム「暗い話になるな。」

アーニヤ「そのようですわね。」

ペル「人間が敵は私達がやらなければならない戦いですね。」

ラビリン「そうラビ。」

ペギタン「ティアティーヌ様は人間も浄化の対象と。」

ニヤトラン「俺達の次の役目かも知れねえな。」

クレア「私達にも課せられた役目ね。」

イゼル「あたし達もその役目やらねえとな。」

ライラ「あああつ。」

グローヴァリテイの中に人間がいる事で、自分達が人間と戦う事に向き合わなければならぬとなるアイカ達とのどか達。これは最も大きな壁でもあった。そんな中、町の近くに大きな音が鳴った。

一同「!!」

直ぐに近くへと向かい、そこにはグローヴァリテイの刺客が町を襲っていた。

のどか「何?!」

ちゆ「あれは何なの?!」

アイカ「あれがグローヴァリテイだよ、みんなを苦しめて支配しようとしているのよ。」

ひなた「グローヴァリテイ……。」
アスミ「……。」

ギガノトロス「ははははは、この世界は今日から俺達グローヴァリテイの支配下となるだろ!!」

すこやか市に破壊活動するグローヴァリテイ最高幹部のギガノトロスの率いる兵団。

テイラノス「ギガノトロス様、直ぐに支配してやろうぜ!!」

すこやか市を支配しようとするギガノトロスら。そんな中、彼らの前にアイカ達とのどか達が現れた。

テイラノス「何だこいつらは？」

アイカ「あなた達グローヴァリテイだね!!」

ギガノトロス「俺達に楯突く気か？」

テイラノス「お前から何か俺達に殺されてえのか？」

はるな「私達はあなた達を倒す。」

ギガノトロス「何だと、ならば望み通り叶えてやる、かかれ!!」

ギガノトロスの配下のラプトソルジャーとリザードアーミーが群れで襲いかかって来た。

ひなた「来るよ!!」

ちゆ「まずいわ!!」

襲いかかる兵達にのどか達は危機を感じた。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「気除明点!!」

9人は気除明点で獄気を放ちながら、兵達を一瞬で気絶させた。

のどか、ちゆ、ひなた、アスミ「!!」

アイカ達9人が戦わず敵兵を一瞬で気絶させた事に驚くのどか達4人。

ちゆ「すつ、凄い。」

ひなた「戦わないで倒すなんて。」

アスミ「彼女達は……。」

のどか「アイカちゃん達。」

アイカ「みんな行くよ。」

アイカ達9人はプリキュアに変身するため、キュアートフォンチェンジャーを出した。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「プリキュア・チェンジアツプ!!」

キュアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラは全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツイントール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部

分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを着用し、クレアは髪型がパープルのロングカット、衣装はMHのブラックの似たスカート丈の短いドレスとスパッツで、イゼルは衣装は中東風のグリーンのベリーダンス、ライラは中東風のマリードレスで、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気の力!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

ミステイック「神秘の戦士、キュアミステイック!!」

アラム「切り裂く風、キュアアラム!!」

ジュール「荒ぶる大地、キュアジュール!!」

ストライク、シンシア、フェツター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュール「フューチャーフォースプリキュア!!」

プリキュアに変身した9人。

のどか「私達も変身するよ。」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミらもプリキュアに変身するためパートナーの妖精達と一緒に変身し、ラビリン、ペギタン、ニヤトランはヒーリングステッキとなり、ラテはアスミに抱かれた。

ラビリン、ペギタン、ニヤトラン、ラテ「スタート!!」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミ「プリキュア・オペレーション!!」

のどか、ちゆ、ひなたはヒーリングステッキ、アスミはラテにエレメントボトルを装

着させた。

ラビリン、ペギタン、ニヤトラン「エレメントレベル上昇!!」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミ「キュアタッチ!!」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミは肉球を触れながら白衣を纏いそれがコスチュームに変化して変身する。

グレース「重なる2つの花!!キュアグレース!!」

ラビリン「ラビ!!」

フォンテーヌ「交わる2つの流れ!!キュアフォンテーヌ!!」

ペギタン「ペエ!!」

スパークル「溶け合う2つの光!!キュアスパークル!!」

ニヤトラン「ニヤ!!」

アース「時を経て繋がる2つの風!!キュアアース!!」

ラテ「ワン!!」

「グレース、フォンテーヌ、スパークル、アース「地球をお手当て!!ヒーリンググッドプリキュア!!」

「のどか、ちゆ、ひなた、アスミら4人はプリキュアとなり、ストライク達と共にグローヴァリテイに挑んだ。」

次回 63話へ続く

第63話 共に戦う

両チームのプリキュアがグローヴァリテイのギガノトロスの兵団と激突する。

すこやか市

市街地

ギガノトロス「貴様ら、かかれ!!」

部下や兵達に命令してかからせるギガノトロス。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュール「はああああー!!」

ストライク達9人が敵兵の大群に挑み、リザードソルジャーの集団がショットライフで射撃しかかったが、ストライクとシンシアが目撃して弾を素手で全て受け止め、その弾を全て投げ返し、キックで見舞いした。ラプトソルジャーの集団がビーム

ナギナタを構えたまま一斉にかかったが、マジックとジャックが極気で纏った手でビームナギナタを受け止めて投げ飛ばしていき、パンチでぶち込んだ。アントウインガールの集団が飛行で一斉に襲い掛かって来たが、フェッターとクイーンが同時にジャンプして、2人はパンチを連打で繰り出しながら次々と撃退した。マシンドマンの集団が左腕のアームレーザーガン、両肩部のガトリングガン2門で射撃していくが、ミステイックがスライディングで次々と突撃して破壊し、アラムとジュールが同時に駆けながら次々と破壊した。

ティラノス「なっ、何?！」

ギガノトロス「こいつら、一瞬で……!!」

ストライク達9人が一瞬で兵を一瞬で倒したのに驚愕するギガノトロス。

グレース「凄い。」

フォンテーヌ「直ぐに片付けるなんて。」

スパークル「あたし達も負けられないように頑張らなないと。」

アース「行きましょう。」

グレース達も行動に出て兵達に挑み、グレース、フォンテーヌ、スパークルがパンチを繰り出しながらマシンドマンの集団を次々と破壊し、アースがドロップキックでラプトソルジャーの集団に喰らわした。

ギガノトロス「プリキュアめ、いい気になりおつて!! テイラノス、恐竜軍団の力を見せてやるぞ。」

テイラノス「はっ!!」

ギガノトロスはテイラノスのと共に配下を引き連れて、プリキュア達にかかった。

ストライク「幹部クラスのお出ましね。」

ギガノトロス「この俺が相手をしてやる、プーティラド、トリケーンラ、ステゴラツシュ、ブラーキッド、ステイラゴン、アロザー、ウネンラー、イグアナス、スネイクス!!」

幹部のプーティラド、トリケーンラ、ステゴラツシュ、ブラーキッド、怪人のステイ

ラゴン、アロザー、ウネンラー、イグアナス、スネイクスと共にプリキュア達と対決するギガノトロス、ティラノス。

プーティラド「貴様の最後にしてやる!!」

フェッター「望むところ。」

フェッターはプーティラドと対決し、空から攻撃して来るプーティラドにフェッターはキュアカタナテツポウ鉄砲モードで射撃し、プーティラドは必殺技のストリングブレイクで口の嘴を発光し、刺突しかかったが、両手で掴みながら投げ飛ばした。

トリケーンラ「死ぬがいい!!」

マジック「ここであなたはジ・エンドよ!!」

トリケーンラが必殺技のトリケラチャージで勢い良く突き進みながらマジックに向かったが、マジックがジャンプしながらかわして、トリケーンラの頭にキックした。

ステゴラッシュ「貴様を倒してハデユスに首を届けてやる!!」

ジャック「あなたは私が倒すわ!!」

ステゴラツシュが必殺技のステゴバーストで背中中の多数の背鰭から大量の光刃を連射したが、ジャックがジャックステツキスピア槍モードに薙ぎ払われ、ジャックが刺突で攻撃した。

テイラノス「3人まとめて皆殺しにしてやる!!」

テイラノスが必殺技のテイラノタツクルでミスティック、アラム、ジュルフに向かって勢いがかかりながら思いっきり体当たりしかかった。3人はテイラノスの体当たりを受け止めながら持ち上げて、地面に叩き込んだ。

グレース「行くよ、フォンテーヌ、スパークル、アース!!」

グレース、フォンテーヌ、スパークル、アースの4人が一緒に行動に出て、ステイラゴン、アロザー、ウネンラー、イグアナス、スネイクスの相手をする。

ステイラゴン「ぶちのめしてやる!!」

アロザー「俺達爬虫類の力を見せてやる!!」

ウネンラー「切り刻んでやる。」

イグアナス「ぶちのめした。」

スネイクス「巻き付いてやる。」

5人の怪人と交戦するグレース達。

ステイラゴン「喰らえ!!」

グレース「!!」

ステイラゴンがグレースにパンチを繰り出して殴りかかった。グレースがプリシールドで防ぎ、今度は自分が攻撃に出て、パンチで殴り込んだ。

アロザー「貴様をここで始末してやる!!」

フォンテーヌ「やられるのはあなたよ!!」

アロザーがフォンテーヌに向かって飛びかかり、爪で引つ掻きかかるが、フォンテーヌがキックでアロザーに喰らわせ、攻撃を止めた。

ウネンラー「死ねえ!!」

スパークル「悪いけどやられるわけにはいかないよ!!」

ウネンラーが2本のサーベルでスパークルに向かって斬撃を繰り返すが、スパークルがプリシールドで防ぎつつ、パンチで殴り込んだ。

スネイクス「2人がかりで倒してやる!!」

イグアナス「始末してやる!!」

アース「あなた方は私が成敗いたします。」

イグアナスとスネイクスが2人がかりでアースに挑み、同時攻撃をしたが、アースが攻撃を見切りながらかわし、2人にパンチで殴り込んだ。

ギガノトロス「プリキュア、その首いただくぞ!!」

ストライク「悪いけど簡単にやられないよ。」
シンシア「やられるのはあなたよ。」

ギガノトロスが必殺技のギガノトブレイクフアングでストライクとシンシアに噛み付きにかかった。だが、ストライクとシンシアはすぐに回避し、ギガノトロスの左右の間を挟んで同時キックでお見舞いした。プリキュア達の威勢により、逆にやられてしまいうギガノトロスの恐竜軍団。

プーティラド「くそ、こんなところで!!」

トリケーンラ「俺達が……!!」

ステゴラツシュ「プリキュアがこんなに強いとは……!!」

ブラーキッド「くっ!!」

ティラノス「やられてたまるか!!」

必死になって抵抗するティラノスらは、プリキュア達に猛攻する。

プーティラド「プテラトルネード!!」

トリケーンラ「トリケラジャンプレス!!」

ステゴラツシユ「ステゴアースグランド!!」

ブラーキッド「ブラキオプレスウォーター!!」

ティラノス「ティラノプレスフレイム!!」

ティラノスらが一齐に必殺技を放ち、マジック達に喰らわした。だが、7人は素手で薙ぎ払い、必殺技を打ち破った。

ティラノス「何?!」

マジック「悪いけど、地獄で修行したあたし達には通用しないよ。」

フェッター「今度は私達の力を見せていくわ。」

フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミスティック、アラム、ジュールフは反撃に出るべく、ヒーローライドジュエルを出した。

光陰命（ヒーローライドジュエル）「では行きます。」

ウィザーデイ（ヒーローライドジュエル）「久々の出番じゃな。」

ヴオイダートマン（ヒーローライドジュエル）「暴れてやるか。」

翔華楽（ヒーローライドジュエル）「久々に行くんだから。」

ワプニオン（ヒーローライドジュエル）「行こうとするか。」

アラミラード（ヒーローライドジュエル）「やつていくか。」

アムメント（ヒーローライドジュエル）「少々行くか。」

フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミスティック、アラム、ジュール「ヒーローライドジュエル!!」

7人はキュアートフォンチェンジャーにヒーローライドジュエルを刺して変身し、一体化した。

フェッター光陰命フォーム、マジックウイザーデイフォーム、ジャックヴオイダートフォーム、クイーン翔華楽フォーム、ミスティックワプニオンフォーム、アラムアラミラードフォーム、ジュールアムメントフォーム「プリキュアの力、見せていくよ!!」

それぞれのフォームに変身した7人は一気に決めるべき、必殺技を発動する。

フエッター光陰命フォーム「プリキュア・光陰六芒陣柱!!」

マジックウイザーディフォーム「プリキュア・ウイザーディフラッシュレイ!!」

ジャックヴォイダートフォーム「プリキュア・ヴォイダートスライサーエッジ!!」

クイーン翔華楽フォーム「プリキュア・翔華楽舞風烈斬!!」

ミステックワプニオンフォーム「プリキュア・ワプニオンスーパーレインショット
!!」

アラムアラミラード「プリキュア・アラミラードトルネードブレイカー!!」

ジュールファメントフォーム「プリキュア・アメントブレスブラスター!!」

7人が必殺技を一斉に発動し、ティラノス、プーティラド、トリケーンラ、ステゴラツシユ、ブラーキッドに喰らわした。

ティラノス、プーティラド、トリケーンラ、ステゴラツシユ、ブラーキッド
「ひええええー、退却だー!!」

7人の必殺技を喰らったティラノスらはすぐに撤退をした。

グレース「私達も決めるよ!!」

グレース達も怪人を倒すべく、フォンテーヌ、スパークルと共にヒーリングステッキを合わせて必殺技を発動する。

グレース、フォンテーヌ、スパークル「プリキュア・ヒーリング・オアシス!!」

ヒーリングステッキにミラクルヒーリングボトルを装着して。パワーを溜めて肉球を3回タツチし、背面にオアシスを作り出し、ステッキからピンク、水色、黄色の螺旋状のエネルギーを放ち、ステイラゴン、アロザー、ウネンラー、イグアナス、スネイクスに喰らわした。

ステイラゴン、アロザー、ウネンラー、イグアナス、スネイクス「ヒーリングうっ!!」

グレース、フォンテーヌ、スパークルの3人の必殺技により浄化されたステイラゴン、アロザー、ウネンラー、イグアナス、スネイクス。

ギガノトロス「よくもやってくれたな。」

尻尾を振りながらストライクとシンシアに向けるギガノトロス。

ストライク、シンシア「!!」

2人はギガノトロスの尻尾を掴み、上に持ち上げて投げ飛ばした。

ギガノトロス「貴様らあっ!!」

ギガノトロスがストライクとシンシアに向かって、爪で引つ掻きかかった。

ギガノトロス「ギガノトブレイククロー!!」

ギガノトロスが強力な爪で2人をを切り裂いた。

ストライク、シンシア「くっ!!」

た。
ギガノトロスの攻撃を受けたストライクとシンシア。だが2人には効いていなかった。

ギガノトロス「効いてないだど?!」

ストライク「そろそろ行くよ。」

シンシア「私達の番よ。」

た。
ストライクとシンシアはボルケリートとスカヴァアのヒーローライドジュエルを出した。

ボルケリート（ヒーローライドジュエル）「そろそろ俺の出番だな。」

スカヴァア（ヒーローライドジュエル）「久々に行くわ。」

ストライク、シンシア「ヒーローライドジュエル!!」

2人はキュアアーツフォンチェンジャーにヒーローライドジュエルを刺して変身し、一
体化した。

ストライクボルケリートフォーム「プリキュア・ボルケリートファイアエクスペロー
ジョン!!」

シンシアスカヴァアフォーム「プリキュア・スカヴァブリザードトルネード!!」

2人の炎と氷による必殺技で、ギガノトロスに燃やし冷やし尽くした。

ギガノトロス「ぎゃあああー!!」

2人の必殺技を同時に喰らい、大ダメージを負ったギガノトロス。

ギガノトロス「今回は引き上げだ!!」

戦いに敗れたギガノトロスも撤退をした。無事勝利をしたプリキュア達。

ストライク「まずは勝ったね。」

シンシア「グローヴァリテイの野望を必ず止めよう。」

グローヴァリテイの野望を阻止するべく戦いは続くプリキュア達。

グレース「私達もあなた達と一緒に戦うわ。」

ストライク「グレース。」

グレース「グローヴァリテイと言うのが世界を支配しようしているなら私達だって戦うわ。」

フォンテーヌ「悪い人間がいるなら私達のやらなければならない事。」

スパークル「あたし達も何もしないわけには行かないよ。」

アース「悪い人間を浄化する事は私達に課せられた役目でもあります。」

シンシア「私達と一緒に行きましょう。」

グレース「ありがとう。あなた達と一緒に戦えるなんて嬉しいよ。」

ストライク「グローヴァリテイの野望を必ず終わらせよう。」

グレースらヒーリングつどプリキュアが仲間に加わり、グローヴァリテイとの戦いに共にする事となった。

パラレルワールド

グローヴァリティブオートレス

レヴォリユード「恥を晒すつもりか、ギガノトロス。」

ギガノトロス「どっ、どうかお許しをレヴォリユード様!!」

レヴォリユード「黙れ、役立たずが、プリキュアを倒す事や世界の1つを征服出来ない奴には死だ!!」

プリキュアを倒す事や世界の1つを征服が出来なかったギガノトロスらに制裁を加えようとするレヴォリユード。

ゼシウス「待て、レヴォリユード。」

レヴォリユード「ゼシウス、何だ。」

ゼシウス「彼らの処分はまだしない方がいいかと。彼らはまだ使えるかと。」

レヴォリユード「お前には世話が焼けるな。」

ゼシウス「あああつ。」

レヴォリユードのギガノトロスらの処分を止めたゼシウス。

ギガノトロス「ゼシウス様、ありがとうございます。」
ゼシウス「君達を失う訳には行かないからさ。」
レヴォリユード「プリキュア、早く再会したいな。」

悠 ???
悠「時は来た。」

次回 64話へ続く

第64話 次元内の戦い

ヒーリングつどプリキュアが仲間に加わり、グローヴァリティを共に戦う事で同行する事となった。

移動中

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

ブリッジ

のどか「これが空間なの？」

ちゆ「初めてだわ。」

ひなた「艦に乗るのも初めてだよ。」

アスミ「まるでアニメのような感じでありますわ。」

アイカ「この艦で移動で使っているの。」

はるな「私達はパラレルワールドや宇宙を旅しているの。」

ひなた「異世界にも行くんだ。楽しみ。」

アスミ「別の世界へ行くのは初めてですわ。」

ちゆ「私達は旅行しに行くんじゃないのよ。」

のどか「でも別の世界に行くのもいいかもね。」

麗奈「私達も別世界へ行くのは初めてよ。グローヴァリテイの野望を阻止するため
に。」

咲耶歌「まずはここで何するか？」

海「仲間が増えたからね。」

文「いっぱいだね。」

クレア「何をしようかしら？」

イゼル「どうして行こうか。」

ライラ「そうだな。」

今から何をするか考えるアイカ達。

ラビリン「ラビリン達以外にも妖精がいたなんて。」

トットム「妖精は色々いるからな。」

ペギタン「別世界の妖精も初めてだペエ。」

ペル「あなた、私と同じ姿ですね。」

ニヤトラン「俺がオスでそっちはメスだニヤ。」

アーニヤ「本当そうですね。」

ラテ「わんわん。」

妖精同士仲良くやり取りし、ペルとペギタン、アーニヤとニヤトラン、似た者同士のやり取りをした。

麗奈「次の世界はどこへ行くか？」

ひなた「せっかくだし、楽しいところへ行こうよ。」

麗奈「私達は遊びに行くつもりじゃないのよ。ハデユスとグローヴァリテイの野望を止めるために旅してるのよ。」

ひなた「そんな事言わずにー。」

ちゆ「もうひなたったら。」

アスミ「何だかこうして行くのもワクワクしますわ。」

のどか「そうだね、別世界がどんなのか気になるね。」

アイカ「グローヴァリテイが別世界で悪事を止めるためにも」
のどか「私達もやるよ。」

パラレルワールドで悪事を目論むグローヴァリテイを倒すためにも次の世界へと進むアイカ達。

パラレルワールド

グローヴァリテイフオートレス

居間

ゼシウス「奴らも動き出したか。」

レヴォリユード「簡単にはいかん。」

ゼシウス「既に向かわせたのか?」

レヴォリユード「あああつ、早いうちに。」

ラスフェックター「随分早いようじゃな。」

レヴォリユード「ラスフェックター。」

ラスフェックター「プリキュアが動きにかかる事はワシらの野望を邪魔をしにかかるのか。」

レヴオリユード「だが、また彼女達とこうしてやり合えるのも久々ではないか。」
ラスフェックター「ほお。」

レヴオリユード「俺は強くなった彼女達と対決してみたい。」
ゼシウス「熱くなってるな。」

レヴオリユード「プリキュアあ、早くお前達とやり合いたい。」

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

ブリッジ

のどか「どこに着くかな？」

アイカ「着いてのお楽しみかな？」

キュアナビ「目的地に辿り着きます。」

ひなた「何処かな？」

目的地に辿り着こうとするアイカ達。だが、次元空間の真上から穴が現れて、グローヴァリテイの怪人と兵が現れた。

外

ギガスジャイアント「あれがプリキュアの艦か。」

アンテイクジャイアツツ「プリキュア、抹殺。」

マシンドゴーレム「プリキュア、殲滅。」

ギガスジャイアント「俺達で手柄を立ててやる。リザードソルジャー、ゴブリオン、マシンドマン!!」

ギガスジャイアントがリザードソルジャーとゴブリオンとマシンドマンら兵達に命令を出し、プリキュアークに攻撃にかからせた。

プリキュアーク

ブリツジ

キュアナビ「敵襲です。」

アイカ「グローヴァリテイね。」

のどか「こつちを攻めに来たのね。」

はるな「行こう。」

咲耶歌「グローヴァリティを倒しに行こう。」

海「みんなで行きましょう。」

グローヴァリティの襲撃に立ち向かうアイカ達は艦の外へ出始めた。

外

ギガスジャイアント「今樂にしてやる!!」

ギガスジャイアントがパンチでプリキュアークに殴りにかかった。その時、遠くから銃弾が放たれ、ギガスジャイアントに命中した。

ギガスジャイアント「!!」

現れたのはストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイツク、アラム、ジュルフ、グレース、フォンテーヌ、スパークル、アースだ。

ストライク「あたし達が相手よ!!」

アンテイクジャイアツツ「現れたか、プリキュア。」

グレース「ここで好き勝手させないわ。」

マシンドゴーレム「プリキュア、殲滅する。」

ジャック「あなた達をここで倒してみせる。」

怪人3人の軍団を相手に戦うストライク達。

ゴブリオン「散れ!!」

ゴブリオンの集団がアサルトビームカービンで一斉射撃する。ストライクとシンシアがキュアブレードマグナム銃モード、フェッターがキュアカタナテツポウ鉄砲モードで射撃しながら次々と撃退した。

ラプトソルジャー「きしやああああー!!」

ラプトソルジャーの集団がビームナギナタを構えながら襲いかかり、マジックはマジックステツキスピア槍モード、ジャックはジャックステツキスピア槍モード、クイー

ンはクイーンナギナライフル薙刀モードで攻撃し、撃退した。

リザードアーミー「殺してやる!!」

リザードアーミーの集団がショットライフルで一斉射撃しかかるが、ミステイク、アラム、ジュールフが3方向に分かれて囲んで動き回りながら翻弄し、パンチやキックで殴り込んだ。

マシンドマン「……。」

マシンドマンが右腕のアームビームソードで斬りかかってきたが、グレース、フォンテーヌ、スパークル、アースが同時にジャンプしながらキックでまとめて破壊した。

ギガスジャイアント「プリキュア、散れ!!」

ギガスジャイアントがパンチでストライク、シンシア、フェッターに殴り込んだ。

ストライク、シンシア、フェッター「うっ!!」

ギガスジャイアントの攻撃を受けたストライク、シンシア、フェッター。

アンテイクジャイアツツ「破壊する。」

アンテイクジャイアツツが両腕を広げながらマジック、ジャック、クイーンにぶち込んだ。

マジック、ジャック、クイーン「くっ!!」

アンテイクジャイアツツの攻撃を受けたマジック、ジャック、クイーン。

マシンドゴーレム「プリキュア、殲滅。」

マシンドゴーレムが右腕のアームビームガトリングガンと背中中の10連ミサイルランチャーを一斉発射して、ミステイック、アラム、ジュールに喰らわした。

ミスティック、アラム、ジュールフ「うっ!!」

マシンドゴーレムの攻撃を受けたミスティック、アラム、ジュールフ。

グレース、フォンテーヌ、スパークル、アース「はああああー!!」

グレース、フォンテーヌ、スパークル、アースら4人がギガスジャイアント、アンティクジャイアツツ、マシンドゴーレムにパンチで殴り込んだ。

ギガスジャイアント「うぐっ!!」

グレース達4人に殴られたギガスジャイアント、アンティクジャイアツツ、マシンドゴーレム。

グレース「今のうちよ!!」

ストライク「わかったよ!!」

た。
グレース達が時間を作った間にストライク達はヒーローライドジュエルを取り出し

鉄斎（ヒーローライドジュエル）「久しぶりに行くか。」

明利江（ヒーローライドジュエル）「私達の久々の戦を。」

ウオーテイル（ヒーローライドジュエル）「待ち侘びたわ。」

スーパーレディ（ヒーローライドジュエル）「腕がなるわ。」

大和丸（ヒーローライドジュエル）「久々に暴れてやるわ。」

隼疾風（ヒーローライドジュエル）「行くとするか。」

エスパネス（ヒーローライドジュエル）「久しぶりの戦いだ。」

エンキナウ（ヒーローライドジュエル）「やってやろうぜ。」

ゴールドメツシュ（ヒーローライドジュエル）「あああつ。」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュール「ヒーローライドチェンジ!!」

9人はキュアアトフォンチェンジャーにプリキュライドジュエルを刺して変身し、ギ

ガスジャイアント、アンテイクジャイアッツ、マシンドゴーレムに挑んだ。

ギガスジャイアント「変身したくらいで!!」

ギガスジャイアントがパンチで殴りかかったが、

ストライク鉄齋フォーム、シンシア明利江フォーム、フエッター隼疾風フォーム「そこ!!」

ストライク鉄齋フォーム、シンシア明利江フォーム、フエッター隼疾風フォームが先手に出て、ストライク鉄齋フォームが拳で殴り、シンシア明利江フォームがキュアメタル羽佐鬼で斬り付け、フエッター隼疾風フォームが風を放ち、ギガスジャイアントに喰らわした。

アンテイクジャイアッツ「プリキュア、覚悟。」

アンテイクジャイアッツが飛びかかって殴るが、

マジックレディフォーム、ジャックウオーテイルフォーム、クイーン大和丸フォーム
「はあああつ!!」

マジックレディフォームがパンチで殴り、ジャックウオーテイルフォームがキュアメタルウオーテイルハルバート、クイーン大和丸フォームがキュアメタル橙破槍で同時に
刺突し、アンテイクジャイアツツに喰らわした。

マシンドゴーレム「プリキュア、倒す。」

マシンドゴーレムが左手に持つてるトマホークで斬りかかったが、

ミステイクエスパネスフォーム、アラムエンキナウフォーム、ジユルフゴールド
メツシユフォーム「そこ!!」

ミステイクエスパネスフォームが超能力でマシンドゴーレムの動きを止め、アラム
エンキナウフォームがキックで打ち込み、ジユルフゴールドメツシユフォームがキュア

ゴールドツインダガーで斬撃した。怪人にトドメを刺すべく、必殺技を発動する。

ストライク鉄斎フォーム「プリキュア・鉄昇燐仁拳!!」

シンシア明利江フォーム「プリキュア・明利江大旋風斬!!」

フェッター隼疾風「プリキュア・隼疾風嵐華風舞!!」

マジックレディフォーム「プリキュア・レディエナジーブラスタター!!」

ジャックウオーテイルフォーム「プリキュア・ウオーテイルトライウオータースピア
レイン!!」

クイーン大和丸フォーム「プリキュア・大和十字破!!」

ミスティックエスパネスフォーム「プリキュア・エスパネススーパーパイロキネシス
!!」

アラムエンキナウフォーム「プリキュア・エンキナウブラストルマシンガンナツクル
!!」

ジュールゴールドメッシュフォーム「プリキュアプリキュア・ゴールドアローバス
ター!!」

9人が一気に必殺技を発動しながら、ギガスジャイアントとアンティクジャイアッツ

とマシンドゴーレムに喰らわれ、倒した。グローヴァリテイの怪人部隊を倒す事に成功し、次の世界へ到着する頃だ。

キュアナビ「間も無く到着します。」

アイカ「いよいよだね。」

次の世界に突入するアイカ達。その世界に到着をした。

パラレルワールド

ハムハムワールド

アイカ「ここが？」

辿り着いた世界はハムハムワールドだ。果たしてこの世界は、

次回 65話へ続く

設定14

グローヴァリテイ

最高幹部

オムニアロケット

CV：宝亀克寿

グローヴァリテイの最高幹部。宇宙やパラレルワールドの旅行会社ツアーードの会長であり、姿は80代の老人。彼もラスフェックと同様に人間界で悪名高く、様々な悪事をし、集めた資金でグローヴァリテイに提供している。

大幹部

ベルゼブブス

グローヴァリテイの大幹部。種族は悪魔。ハエのような姿をした悪魔で、背中の羽があり、戦闘力、スピードがとてつもなく高く、プリキユアを圧倒する力を持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

ベルゼブラストル

ベルゼブブスの必殺技。口から無数の光線を放ち、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ベルゼストリングアサルト

ベルゼブブスの必殺技。口をニードル状に変換し、敵に思いつきり突撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

バフォミッツ

グローヴァリテイの大幹部。種族は悪魔。ヤギの姿をした悪魔で、パワーが高く、魔法や魔術を得意とし、邪悪な計画や企み、グローヴァリテイの開発やキメラに参加している。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

バフォメイジスカルデッド

バフォミッツの必殺技。いくつかの髑髏状の光球を出現して、敵全体に攻撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

バフォメイジカースウエーブ

バフォミッツの必殺技。邪悪な光波を放ち、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

バフォメイジメルトエクスプロージョン

バフオミッツの必殺技。敵全体に溶岩の雨を降り注ぎ、大爆発を起こす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

バフオメイジイービルブリザード

バフオメイジの必殺技。邪悪な魔力で形成した吹雪を放ちながら、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ヴェルフエゴイル

グローヴァリテイの大幹部。種族は悪魔。ガーゴイルの姿をした悪魔で、攻撃力がとても高く、口の牙と両手の鋭い爪をしているのが特徴をしている。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

ヴェルフエスラッシュ

ヴェルフエゴイルの必殺技。両手の爪を発光しながら敵を切り裂く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ヴェルフエプレス

ヴェルフエゴイルの必殺技。口からプレスを吐き、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

幹部

マモンド

グロウヴァリテイの幹部。種族は悪魔。ワシの顔を2つくっ付いた顔をし、背中に翼を生やしす。スピードが高く、口から光線を放つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

マモンドウインドウ

マモンドの必殺技。背中の翼を羽ばたきながら強烈な風を起こし、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マモンドブラスター

マモンドの必殺技。2つの顔の嘴から光線を放ち、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

デカラビエス

グロウヴァリテイの幹部。種族は悪魔。ヒトデの姿をし、魔法やスピードに優れており、水中も得意とする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

デカラビエスターレイン

デカラビエスの必殺技。邪悪な魔力で形成したいくつかの星を降り注ぎ、敵全体に攻

撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

デカラビエスタースピード

デカラビエスの必殺技。素早く駆けながら全身で敵全体に突撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

フォルネウシア

グローヴァリテイの幹部。種族は悪魔。魚の姿をした悪魔で、パワーと戦闘力が高く、プリキュアを圧倒する力を持つ。武器はフォルネウストライデントで駆使する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

フォルネグランサー

フォルネウシアの必殺技。フォルネウストライデントに水柱を纏いながら敵に乱撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

フォルネウエーブブレス

フォルネウシアの必殺技。口から強烈な波を放ち、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ベリトルス

グローヴァリテイの幹部。種族は悪魔。騎士の姿をし、武器はベリトルスランス。鍊

金術にも優れている。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

ベリトルスメタルランサー

ベリトルスの必殺技。ベリトルスランスを錬金術で巨大化し、敵に思いつきり刺突する。

ベリトルスメタリックドリルブレイカー

ベリトルスの必殺技。ベリトルスランスの先端を錬金術でドリルに変換し、敵に思いつきり刺突する。

ストラウル

グローヴァリテイの幹部。種族は悪魔。フクロウの姿をし、スピードに優れている。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

ストラルクローザー

ストラウルの必殺技。翼羽ばたきながら空を飛んで、足の鉤爪で敵に切り裂く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ストラルウインドウ

ストラウルの必殺技。翼を羽ばたきながら強烈な風を起こし、敵全体に喰らわす。全

ての特殊能力の影響を一切受けない。

グレモサート

グローヴァリテイの幹部。種族は悪魔。中東の女性をし、砂漠を使った戦いを得意とする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

グレモサンドストーム

グレモサートの必殺技。砂漠の嵐を発生し、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

グレモサンドナツクル

グレモサートの必殺技。両腕に砂状の巨大なナツクルを形成し、敵に殴り込む。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

バルバトリアス

グローヴァリテイの幹部。種族は悪魔。戦士の姿をし、攻撃力が高く、戦闘を得意とする。武器はバルバトリアスハンマー。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

バルバトスクラツシヤー

バルバトリアスの必殺技。バルバトスハンマーを発光しながら敵に思いつきりぶち込む。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

バルバトススラツシャー

バルバトリアスの必殺技。両手の爪で敵を切り裂く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キマリシアス

グローヴァリテイの幹部。種族は悪魔。人馬の姿をし、全身に騎士鎧を身に纏い、武器はキマリスピアで、バランスに優れている。全ての特殊能力の影響を一切受けない。
必殺技

キマリシランシング

キマリシアスの必殺技。キマリスピアを発光しながら敵に刺突する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キマリスウインガー

キマリシアスの必殺技。キマリスピアを360度回転しながら敵全体に攻撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

W J G

キュアナビ

C V : 宮本侑芽

プリキュアークのA I ナビ。艦のオペレーターナビで、艦全体を動かす役目でもあ

る。会話も可能。

兵器

メガメタルザウルマシン

全高：12.5 m

グローヴァリテイの開発した量産無人兵器。テイラノサウルスのような姿をし、頭部の額にレーザ砲、口にメタルフアング、両腕にアームメタルクロー、両肩に4連ミサイルランチャー、背中にブースター、尻尾はメタルテイル。

第65話 救出

アイカ達が到着した世界ハムハムワールド。

パラレルワールド

ハムハムワールド

はるな「何だか荒れているね。」

のどか「何だか気味が悪いね。」

着いた世界は荒れ果てており、争われてた形跡がいくつかあり、気配もなかった。

文「グローヴァリテイに攻められた可能性はあり得るかな？」

麗奈「あり得るわね。」

この世界はグローヴァリテイに攻められた可能性はあり得ると断定し、歩き回るアイカ達。

海「生物がなかなか見当たらないね。」

イゼル「何処かにいるはずか。」

生物の気配すら見当たらず、何処にいるのかもいなかった。

アイカ「何処にいるかな？」

咲耶歌「うーん、何処にもいないね。」

ライラ「何処もいないな。」

クレア「一体何処に。」

この生物が見当たらない中歩き回るアイカ達。その時、目の前に1匹のジャンガリアンハムスターの小動物が倒れていた。

ハム太「うっ、うううっ。」

アイカ「ん？」

咲耶歌「何か倒れている。」

その倒れていた小動物に近づいたアイカ達。

はるな「大丈夫？」

ハム太「たっ、助けて……。」

倒れた小動物をプリキュアークに連れて一旦戻ったアイカ達。

プリキュアーク

医務室

ハム太「ここは？」

アイカ「気が付いた？」

はるな「もう大丈夫だよ。」

ハム太「僕はハム太。」

咲耶歌「トットムと同じ姿だな。」

トットム「そーいやそーうだな。」

アーニャ「似てますね。」

ペル「同族かな？」

トットム「こりや偶然だな。」

ハム太を見て、トットムと似ている事で、同じ姿をしていると指摘した。

ハム太「僕の仲間連れて行かれたのです。」

文「連れて行かれた？」

アイカ「もしかしてグローヴァリテイね？」

ハム太「はい、グローヴァリテイに僕の仲間を全員連れて行かれたんです。」

ちゆ「何を目当てに。」

ハム太「食肉化や奴隷労働や人身売買や娯楽などに使われたりします。」

ひなた「酷い。」

アスミ「許せませんわ。」

ハム太「僕はこの世界で仲間達と共に仲良く過ごして来ました。」

はるな「グローヴァリテイが来る前は平和に暮らしていたんだ。」

ハム太「グローヴァリテイが現れた時は僕達の世界を無差別に攻撃し、仲間を1人足らず捕らえてきました。幸い僕だけは残りしましたが、1人ぼっちは寂しいです。」

クレア「あなたの仲間達は今捕らわれているのね。」

ハム太「僕一人では無理です、どうか助けてください。」

トットム「何なら俺達に任せな、何せプリキュアがいるからな。」

ハム太「プリキュア、あの伝説の戦士の？」

アイカ「あたし達がプリキュアだよ。あなたの仲間はず助けさせてみるよ。」

はるな「私たちに任せて。」

咲耶歌「あたし達プリキュアならグローヴァリテイを倒してみせるから。」

ハム太「本当にお願います。仲間を必ず助け出す事を信じてます。」

アイカ「じゃあ、あなたの仲間を助けに行こう。」

ハム太の仲間を助け出すためグローヴァリテイを追いに向かうアイカ達、

パラレルワールド

グローヴァリテイフォートレス

居間

ラスフェクター「またしても資金に必要な奴隷を収獲したな。」

ロークット「今回は貧弱な下等生物のようじゃな。」

「プランバグ」「この下等生物は爬虫類族の食用や殺しの娯楽や人身売買などに使えそうだ。」

アゼール「もう既に取り掛かっておる。楽しい事になっておるぞ。」

ラスフェックター「異世界からのセレブも集まって何よりもじゃ。」

ロークット「ハムジャン族は爬虫類貴族の好物でもある。ゴーゴル3姉妹も来ておる。」

シン・ハデウス「皆の者よ。」

ラスフェックター「ハデウス。」

シン・ハデウス「計画は進めておるか？」

ロークット「順調です、各世界や宇宙から捕らえた者を人身売買に使っております。資金もかなり集まってるさ。」

シン・ハデウス「全ての世界を再び1つにし、我が支配者となる日を。」

アゼール「ワシらとハデウスによる新たな世界を。」

何やら計画を進めるシン・ハデウスとラスフェックター達。一方、ハム太の仲間を助けに向かうアイカ達。

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

ブリッジ

アイカ「ハムジャン族の行方は？」

キュアナビ「今、捕まったハムジャン族はグロウヴァリテイのいるオークションカジノシツプスにいます。」

麗奈「人身売買か。」

イゼル「罪のない人間を無理やり拐って売り飛ばす。」

ライラ「利益のために人を犠牲にするのか。」

クレア「人間社会の闇ね。」

咲耶歌「あたし達の知らないところで悪事が行われているんだね。」

アイカ「とにかく、その場所へ行こう。」

囚われたハム太の仲間がオークションカジノシツプスにいたことがわかり、すぐに向かうアイカ達。だが、前方から数テイラノサウルス型のメガメタルザウルマシン12機

が現れて来た。

咲耶歌「先手を打って来たみたいね。」

麗奈「キュアナビ、直ちに戦闘態勢に。」

キュアナビ「了解、これより迎撃態勢にかかります。」

接近しかかる敵機に対し、迎撃態勢を取るプリキュアークは対空機関砲、対空ミサイルランチャーを発射した。プリキュアークの対空攻撃を喰らったメガメタルザウルマシンは6機破壊され、残った6機はそのままプリキュアークに襲いかかり、レーザー砲やミサイルランチャーを発射した。

キュアナビ「緊急回避します。3時の方向にかわします。」

メガメタルザウルマシンの攻撃を3時の方向に回避するプリキュアーク。

麗奈「行くしかないわね。」

文「じゃあ私と麗奈さんで行ってくるわ。」

麗奈「みんなは先に向かって行って。」

アイカ「はい。」

はるな「麗奈さん、文さん、お願いします。」

メガメタルザウルマシンの相手を麗奈と文が引き受けて、2人はキュアライドロボツヴァイ2機にそれぞれ乗り込み、出撃した。アイカ達はオークションカジノシップスへ全速で向かった。

フエッター（キュアライドロボツヴァイ2号機）「落ちなさい!!」

フエッターが操縦するキュアライドロボツヴァイ2号機がメガメタルザウルマシンにパンチで連打し、次に右腕のビームアームブレードで斬撃して破壊した。

クイーン（キュアライドロボツヴァイ1号機）「行くよ!!」

クイーンが操縦するキュアライドロボツヴァイ1号機が左腕のガトリングガンでメガメタルザウルマシンに射撃し、続いてパンチで思いっきり殴って破壊した。他のメガ

メタルザウルマシンのブースターを加速して2機にメタルファンクで噛みつきにかかった。

フェッター（キュアライドロボツヴァイ2号機）、クイーン（キュアライドロボツヴァイ1号機）「ヒーローライドチェンジ!!」

フェッターとクイーンはヒーローライドジュエルを出して装着し、フェッターの2号機は烈陣丸、クイーンは大和丸の姿へとなり、2号機がキュアメタル戦烈鬼を出して2機に斬撃し、1号機がキュアメタル橙破槍で2機に刺突し、破壊した。プリキュアークがオークションカジノシップスに接種し、中へと突入するストライク達。オークションカジノシップスの中に入ったアイカ達は通路内でグローヴァリテイの兵達と交戦した。

オークションカジノシップス

通路

ストライク、シンシア「はあああああー!!」

ストライクとシンシアがキュアブレードマグナム剣モードでマシンドマンを次々と

斬撃して破壊した。

ストライク「プリキュア・ストライクサンシャインパンチ!!」

シンシア「プリキュア・シンシアサンシャインパンチ!!」

2人が両手に獄気を集中しながらピンク、レッドの発光して、敵に両拳で殴り込んだ。

ジャック「プリキュア・ジャックフイストアッパー!!」

ジャックが両腕に獄気を集中してブルーの発光しながら敵にパンチで連打して殴り込んだ。

マジック「プリキュア・マジックトランプスラッシュ!!」

マジックがトランプを数枚手に持ちながら、獄気を集中してマゼンタの発光を纏いながら敵を斬撃した。そのまま突き進みながら中へと迫り着いた。

ホールルーム

一同「!!」

中に辿り着いたストライク達が見たのは、異世界から集まった大勢のセレブ達の目の前でハムジャン族がラプトソルジャーとりザードソルジャーに捕食されたり、必死で逃げ回って走り回るハムジャン族をゴブリオンに遊び感覚で射殺されたり、ハムジャン族をオークシヨンで売り飛ばしてセレブ達に落札されたりする光景だ。

マジック「酷い。」

ジャック「こんなのは残酷よ。」

フォンテーヌ「こんな光景はあんまりだわ……。」

この残酷な光景を目の当たりにするストライク達は驚愕した。

ストライク「これがこんなのは許されない……。」

シンシア「ストライク。」

グローヴァリテイの非道さに怒りを表すストライクは、ハムジャン族が無惨殺されていく姿に耐えれず、そのまま歩いて向かい出した。

ゴブリオン1「何だお前、セレブじゃないな。帰って貰おうか？」

ストライク「そこをどけ。」

ゴブリオン1「何だと?！」

ストライク「どけと言ってるんだ!!」

道を塞ぐゴブリオンを殴り飛ばしたストライクはそのままハムジャン族のいる場所へと進んだ。

セレブ1「何だ?!」

セレブ2「あれも招待されたセレブの一員か？」

セレブ3「何処の者なの?!」

突如と現れたストライク達の姿を見て動揺するセレブ。そんな中、このオークションの司会者でもあるゴーゴル三姉妹がストライク達の前に立ち憚った。

ゴーゴルステノー「お待ち、あなた方プリキュアでしょ。会うのは久々ね。」

シンシア「ゴーゴル三姉妹!!」

ゴーゴルアレー「久しぶりのようね。」

ゴーゴルドウーザ「また会えたね。」

ストライク「お前らもグローヴァリテイだったか。」

ゴーゴルステノー「そうですね、ハデユス様とレヴォリユード様の素晴らしい世界を

築き上げるために。」

ゴーゴルアレー「そこにいる虫けらの無残な最期も楽しかったわ。」

ゴーゴルドウーザ「こいつらを捕食して満腹だった。」

ストライク「!!」

マジック「ストライク。」

ストライク「命を粗末にして楽しむお前らを絶対許す訳にはいかない!!」

ゴーゴルステノー「私達の邪魔は死に値するのみですわ!!」

ゴーゴルステノーが頭の髪の毛の無数の蛇を伸ばしてストライクに向けたが、

ストライク「はあああー!!」

ストライクがパンチで殴り、弾き返した。

ゴーゴルステノー「おのれ、よくも私の髪を!!」

ゴーゴルアレー「よくもお姉様を!!アレースコブラスマツシュ!!」

ゴーゴルアレーが頭の無数の蛇を鞭のように振りながらストライクに向けた。

ストライク「!!」

ゴーゴルアレーの必殺技をストライクがキックで蹴り、防いだ。

ゴーゴルアレー「こいつ、強くなっている・・・!!」

ゴーゴルドウザ「どうなってるの?!」

ストライク「この4年間あたし達修行して強くなったのよ。」

ゴーゴルステノー「強くなられたのですか、でも私達を舐めないでいただきたいです

わ。ステノヴァイパーフラッシュユブラスト!!」

ゴーゴルステノーはストライク達に対し、頭の無数の蛇を発光しながら喰らわした。

ゴーゴルアレー、ゴーゴルドウーザ「はああああー!!」

2人が一気に仕掛けてストライク達に攻撃した。

一同「うっ!!」

ゴーゴルアレーとゴーゴルドウーザの攻撃を受けたストライク達も反撃にかかり、行動に出た。

ストライク「プリキュア・ストライクサンシャインショット!!」

シンシア「プリキュア・シンシアサンシャインスラッシュユ!!」

マジック「プリキュア・マジックファイアアイス!!」

ジャック「プリキュア・ジャックハードヒット!!」

ストライク、シンシア、マジック、ジャックが必殺技を発動してゴーゴル三姉妹に喰らわした。

ゴーゴルステノー「くう、簡単にはくたばりませんわ!!」

ゴーゴルステノーが光球を放ち、ストライク達に向けたが、ストライクがキュアブレードマグナム剣モードで斬り払い、シンシアがキュアブレードマグナム銃モードで射撃した。

マジック、ジャック「はああああー!!」

マジックがマジックステッキスピア槍モード、ジャックがジャックステッキスピア槍モードでゴーゴルアレー、ゴーゴルドウーザに喰らわした。

ゴーゴルアレー「やってくれるわね、ならこれを受けなさい!!アレーノイズブレイク

!!
」

た。
ゴーゴルアレーが不気味な騒音を発生して、ストライク達に響かせてダメージを与えた。

ゴーゴルドウーザ「ドウーザスネークテンペスト!!」

ゴーゴルドウーザが頭の無数の蛇伸ばしながらストライク達に喰らわした。

マジック「こうなったらソール達の力を使って行こう。」

ジャック「えええっ。」

ソール（ヒーローライドジュエル）「我々の出番だ。」

ファイツ（ヒーローライドジュエル）「あああっ!!」

ブレイディオ（ヒーローライドジュエル）「俺とガンニークスは久々だな。」

ガンニークス（ヒーローライドジュエル）「そうだな。」

シンシア「じゃあ行くよ。」

ストライク「一体化するよ。」

ストライク、シンシア、マジック、ジャックはヒーローライドジュエルを出してキュアートフォンチェンジャーに刺して変身し、一体化した。

ストライクブレイドイオフォーム、シンシアガンニークスフォーム、マジックソールフォーム、ジャックファイツフォーム「はああああー!!」

ストライクブレイドイオフォームがキュアメタルブレイドイオソードでゴーゴルステノーに斬撃し、シンシアガンニークスフォームがキュアメタルガンニークスツインガンで射撃した。マジックソールフォームが掌から雷球を放ち、ゴーゴルアレーに浴びせた。ジャックファイツフォームがゴーゴルドゥーザの頭にエルボーで見舞いした。

ゴーゴルステノー、ゴーゴルアレー、ゴーゴルドゥーザ「うっ、ぐわあっ!!」

4人の攻撃を受けたゴーゴル三姉妹。

ストライクブレイドイオフォーム「これで終わりだ!!」

一気にトドメを刺すべく必殺技を発動する4人。

ストライクブレイドイオフォーム「プリキュア・ブレイディオスパーラスッシュ!!」
シンシアガンニークスフォーム「プリキュア・ガンニークスパーショット!!」
マジックソールフォーム「プリキュア・ソールサンダースパースマッシュ!!」
ジャックファイツフォーム「プリキュア・ファイツスパーイーグルキック!!」

4人が同時に一気に必殺技を発動してゴール三姉妹に叩き込んだが、

レヴォリユード（戦闘形態）「そうはさせん。」

ゴール三姉妹の前にレヴォリユードが現れ、4人の攻撃を防いだ。

ストライクブレイドイオフォーム「お前はレヴォリユード!!」

レヴォリユード（戦闘形態）「久しぶりだったな、プリキュアあつ!!」

ゴールステノー「レヴォリユード様!!」

レヴオリユード（戦闘形態）「4年ぶりに生きていたとはな。」

シンシアガンニークスフォーム「くっ!!」

レヴオリユード（戦闘形態）「もはやここは踏み入られた以上用済みだ。」

レヴオリユードの片手から強烈な邪悪光線を放ち、船ごと破壊をし始めた。急いで脱出するストライク達はすぐにプリキュアークに戻り、緊急離脱した。

レヴオリユード（戦闘形態）「プリキュア、次は楽しみにしてるぞ!!はーははははははははっ!!」

移動中

次元空間

プリキュアーク

ブリッジ

クレア「何とかハムジャン族を救えたね。」

海「レヴオリユードとまた会うなんて。」

咲耶歌「レヴオリユード、4年前の強さは健在だったよ。」

はるな「まだ私達ではレヴオリユードには勝てないね。」

アイカ「レヴオリユード、あたし達が戦わなきゃならない相手ね。」

レヴオリユードと次対峙した時は必ず勝負をしなければならぬと悟ったアイカ達。
レヴオリユードに勝つ事は出来るか？

次回 66話へ続く

第66話 ヴァイド

ハムジャン族を救い、次の世界へ向かうアイカ達。

移動中

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

個室

麗奈「グローヴァリテイは何が目的なのか？」

個室でただ一人でグローヴァリテイの事を考える麗奈。

麗奈「グローヴァリテイ、セレブがよく集まっていたわね。セレブもグローヴァリテイの一員のようなね。」

文「失礼するわ。」

麗奈「文。」

文「食事ができたよ。」

麗奈「じゃあ行くね。」

文に呼ばれて食事へ向かう麗奈。

食堂

アイカ「今日はカレーだね。」

咲耶歌「カレー食べるのも久々だね。」

クレア「濃くもたまらないな。」

食事はカレーライスで、地獄界から帰還したアイカ達9人は食べるのが久々で美味しく実感した。

あすみ「これを作られたのはキュアナビさんですか？」

キュアナビ「はいそうです。艦全部であらゆる事は全て私が行ってます。」

ひなた「何でも出来るんだ。」

ちゆ「万能みたいね。」

キュアナビ「この艦のことなら私に任せてください。」
イゼル「便利だな。」

ライラ「安心して出来るな。」

麗奈「……。」

咲耶歌「どうしたの？」

麗奈「グローヴァリテイの事でね。」

アイカ「ハデウスが新たに用意した組織ね。」

はるな「グローヴァリテイは何が目的何だろう。」

海「わからないわ。」

のどか「悪い人間いるのは確かみたいね。」

文「グローヴァリテイは政治家や財界などセレブで集まってる。ゴール三姉妹も。」

アイカ「グローヴァリテイは邪悪な野望を秘めてる事は確かね。」

はるな「目的さえわかれば。」

グローヴァリテイの野望が何なのか気になるアイカ達。グローヴァリテイの狙いが何なのか考えていた。

パラレルワールド

グローヴァリティブォートレス

居間

レヴオリユード「オークションカジノシッПСを失ったが、計画は上手く順調だ。」

ロークット「まあ、あんなものでワシらが簡単にくたばる訳がない。」

Drリージス「我々には資金を集める場所はいくらでもあるのだから。」

ラスフェックター「それに人間界で大規模に集めた資金もまだあるからな。」

ブランバーク「バカな奴から金を取るの間抜けツラだったね。」

アゼール「バカ共はワシらの計画に気付いてないようだな。」

レヴオリユード「邪魔な存在はプリキユアだ。奴らは我々の最大の障害でもある。」

Drリージス「そのようだな。」

レヴオリユード「全ての世界をリセット新たな世界と宇宙を築き上げ、ハデユス様の絶対的な支配を作り上げる事だ。」

ラスフェックター「ハデユスとワシらの支配で全てを支配して作る上げてやろう。」

シン・ハデユス「その通りだ。」

Drリージス「ハデユス様。」

シン・ハデユス「新世界計画はまだか？」

レヴオリユード「まずは歴代プリキュアの力とフェアリージュエルを全て揃えてお
ります。」

シン・ハデユス「いやこれが全てではない!!」

D r r イージス「ヒーリングつどプリキュアとトロピカルージュプリキュアですか?」

シン・ハデユス「この2つも手に入れ、星と世界の核を手に入れ、最果ての地タムル
ロードで集めて終結させる!!」

D r r イージス「まずはヒーリングつどプリキュアとトロピカルージュプリキュアの力
を手に入れねば。」

シン・ハデユス「既に悪魔族を向かわせた。まずはヒーリングつどプリキュアの力を
!!」

既に配下を向かわせてヒーリングつどプリキュアの力を奪いにかからせたシン・ハ
デユス。

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

個室

麗奈「グローヴァリテイ、ここまで謎が多いと気になるわ。」

グローヴァリテイの事が気になる麗奈はグローヴァリテイの目的が今も気になっていた。

麗奈「奴らの野望は何なのかは分からないが、邪悪な野望なのは明確よ。」

グローヴァリテイの野望は邪悪である事は明確で、阻止する事は自分達の役目でもある。その時、警報が鳴った。

キュアナビ「敵の襲来です。直ちに出撃を!!」

麗奈「グローヴァリテイね!!」

直ぐにプリキュアに変身して出撃をするアイカ達。

艦上

ストライク「敵は何処からなの?!」
シンシア「上からよ!!」

上から現れたグローヴァリテイの面々。

ベルゼブブス「あれがプリキュアか。」

バフォミッツ「お目にかかるのは初めてだ。」

ヴェルフエゴイル「どんな感じだ。」

グローヴァリテイの新たな幹部軍団は悪魔の姿をし、大幹部のベルゼブブス、バフォミッツ、ヴェルフエゴイル、幹部のマモンド、デカラビエス、フォルネシア、ベリトルス、ストラウル、グレモサート、バルバトリアス、キマリシアスだ。

マジック「グローヴァリテイの新手ね。」

ジャック「悪魔がいるみたいよ。」

マモンド「俺達悪魔族を初めて見るな。」

ベリトルス「こいつらがプリキュアか。」

バルバトリアス「早くやろうぜ。」

ベルゼブブス「なら一斉にかかろうじゃないか!!」

ベルゼブブスら悪魔族がストライク達に一斉にかかり、攻撃をしてきた。ストライク達に攻撃に出て、ベルゼブブスらと対決する。

マモンド「マモンドブラスター!!」

マモンドの2つの顔から光線を放ち、ストライク達に喰らわした。

デカラビエス「デカラビスターレイン!!」

デカラビエスが邪悪な魔力で形成したいくつかの星を降り注ぎ、ストライク達に攻撃した。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュール、グレース、フォンテーヌ、スパークル、アース「はああああー!!」

ストライク達が反撃に出て、パンチで同時に出して喰らわした。

バフオミッツ「くっ、これがプリキュアの力か。ならば我が魔術を受けよ!!バフオメ
イジスカルデッド!!」

バフオミッツがいくつかの髑髏状の光球を出現して、ストライク達に喰らわした。

一同「うっ!!」

バフオミッツの必殺技を喰らったストライク達。

マジック「プリキュア・マジックファイアアイス!!」

クイーン「プリキュア・クイーンウインドショット!!」

マジックとクイーンが反撃に出て、マジックがマジックステッキスピア杖モードで振りながら、バフオミッツに火と氷の螺旋状を出現して巻き付いて爆発させ、クイーンが

クイーンファンから突風を放ち、バフォミッツに喰らわした。

ベルゼブブス「ベルゼブラストル!!」

ベルゼブブスが口から無数の光線を放ち、ストライク達に喰らわした。

フォルネウシア「フォルネウエーブプレス!!」

フォルネウシアが口から強烈な波を放ち、ストライク達に喰らわした。

一同「うっ!!」

フォルネウシアの攻撃を喰らったストライク達。

グレモサート「グレモサンドストーム!!」

グレモサートが砂漠の嵐を発生し、ストライク達に喰らわした。

マジック「このままだとやられる訳にはいかない。」

ジャック「ジャステイスヒーローを召喚しよう。」

シンシア「そうしよう!!」

一同「ヒーローライドジュエル!!」

ヒーローライドジュエルを出してキュアトフォンチェンジャーに自分達のヒーローライドジュエルを刺して、アイゼンアロイス、フェアリール、ウオーテイル、スーパーレディ、大和丸、隼疾風、ワプニオン、アラミラード、アメントを召喚した。

アイゼンアロイス「久々の召喚だ!!」

フェアリール「ぶっ放つわ!!」

ウオーテイル「かかっていくわ!!」

スーパーレディ「まとめて相手をしてあげる!!」

大和丸「ワシらの力見せたるわ!!」

隼疾風「すぐ着けてやる!!」

ワプニオン「今楽にしてやる。」

アラミラード「片付けてやろう。」

アメント「倒してやる!!」

アイゼンアロイスらジャステイスヒーローがヴェルフエゴイルとマモンドら8人の幹部と激突した。

アイゼンアロイス「この野郎!!」

アイゼンアロイスがキュアメタルアームを変化してアームキュアメタルナックルで、ヴェルフエゴイルを殴り、キックで打ち込んだ。

ヴェルフエゴイル「ヴェルフエスラッシュ!!」

ヴェルフエゴイルが両手の爪を発光しながらアイゼンアロイスに喰らわした。

フェアリール「顔2つの相手なんて珍しいわね!!」

マモンド「お前などすぐにでも倒してやる!!」

マモンドが口から光線を吐き、フェアリールに向けたが、回避され、フェアリールがアサルトライフルを数本召喚して、実弾、魔法弾、貫通弾3種類同時に発射してマモンドに命中した。

ウオーテイル「砂漠なんか私の水で仕留めてあげるわ!!」

グレモサート「砂で固めてやる。」

グレモサートが砂漠の波を放ち、ウオーテイルに向けたが、ウオーテイルがキュアメタルウオーテイルハルバートで薙ぎ払い、刺突するが、グレモサートが砂状でかわし、そのままウオーテイルに包み込んだ。

スーパーレディ「はああああー!!」

スーパーレディがキマリシアスにパンチで連打で殴り込んだ。

キマリシアス「キマリスインガー!!」

キマリシアスがキマリスピアを360度回転しながらスーパーレディに喰らわした。

デカラビエス「死ね!!デカラビエススタースピード!!」

デカラビエスが素早く駆けながら全身で隼疾風に突撃した。

隼疾風「ヒトデか、ならばこちらの速さを見せてやる!!」

背中の翼を羽ばたきながら空を飛び回りながらデカラビエスに翼で斬りつけた。

ベリトルス「散れ!!」

ベリトルスが錬金術でベリトルスランスを巨大化して、大和丸に攻撃した。

大和丸「やってくれやがったな!!」

大和丸がキュアメタル橙破槍を大いに回しながらベリトルスにぶち込んだ。

ワプニオン「貰った!!」

ワプニオンが瞬間移動しながらフォルネウシアにキックで蹴りかかった。

フォルネウシア「フォルネグランサー!!」

フォルネウシアがフォルネウストライデントに水柱を纏いながらワプニオンに乱撃した。

ストラウル「死ね!!」

アラミラード「簡単にはくたばらん!!」

空から襲いかかるストラウルが翼を羽ばたきながら空を飛んで、足の鉤爪でアラミラードを引っ掻くが、アラミラードがジャンプして頭の角で攻撃した。

アムムント「俺が相手してやる!!」

バルバトリアス「俺が相手をしてやるよ!!」

アムムントの爪とバルバトリアスのバルバトスハンマーがぶつかり合い、激突した。

ベルゼブブス「散れ!!」

ベルゼブブスがストライク達にパンチで連打して殴り込んだ。

ストライク、シンシア「はああああー!!」

ストライクとシンシアが同時にパンチを繰り出してベルゼブブスに殴り込んだ。

バフォミッツ「バフォメイジカースウェーブ!!」

バフォミッツが邪悪な光波を放ち、ストライク達に喰らわせた。

一同「うううっ!!」

ベルゼブブス「貰った!!」

ベルゼブブスがグレース、フォンテーヌ、スパークル、アースらに接近し、捕らえかかった。

グレース、フォンテーヌ、スパークル、アース「うっ、ああああっ!!」

ベルゼブブスに捕らわれたグレース、フォンテーヌ、スパークル、アース。

ストライク「グレース、フォンテーヌ、スパークル、アース!!」

フェッター「狙いは彼女達の力よ!!」

マジック「このままだと奪われてしまう。」

ジャック「助けないと!!」

すぐにグレース達4人を救出に向かうが、バフォミッツがストライク達に妨害する。

バフオミッツ「バフオメイジメルトエクスプロージョン!!」

バフオミッツがストライク達に溶岩の雨を降り注ぎ、大爆発を起こして喰らわした。

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイック、アラム、ジュール「うわああああー!!」

バフオミッツの攻撃を喰らったストライク達。

ベルゼブブス「お前達や妖精の力を奪ってハデユス様に捧げてやる!!」

4人と妖精の力を奪おうとするベルゼブブス。その時、遠方から光線が放たれて、ベルゼブブスに命中した。

ベルゼブブス「ぐわあっ!!」

一同「!!」

突如、攻撃を受けたベルゼブブスは捕らえた4人を引き離された。

フェッター「一体どこから?!」

何処からか攻撃し、一体誰が攻撃をしたのか戸惑うストライク達。その時、1人の人物が現れた。

ヴァイド「私だ。」

突如現れた謎の人物、ヴァイド。

一同「誰?」

ヴァイドを初めて見るストライク達。

ベルゼブブス「何だ貴様は?」

ヴァイド「私の名はキュアヴァイド。」

ベルゼブブス「プリキュアか、ならばお前も楽にしてやる!!」

ベルゼブブスがヴァイドに向かって襲いかかった。

ヴァイド「!!」

ヴァイドはベルゼブブスに対し、パンチで殴りながらベルゼブブスに喰らわし、喰らったベルゼブブスを消滅し始めた。

ベルゼブブス「わあああああー!!」

ヴァイドの拳の一撃により完全消滅したベルゼブブス。

ストライク「一瞬で消滅させた……。」

シンシア「何て言う強さなの……。」

ヴァイドの強さに驚愕するストライク達。

ヴェルフエゴイル「貴様、よくも我が仲間をやってくれたな!!」

ベルゼブブスの仇を取るためヴェルフエゴイルらがヴァイドに対して一斉に襲いかかった。

ヴァイド「!!」

一斉にかかって来るヴェルフエゴイルらに対し、ヴァイドは両拳を発光する。

ヴァイド「プリキュア・ヴァイドパンチ!!」

ヴァイドが両拳を発光しながらマモンドを殴り、一撃で葬り、完全消滅させた。

ヴェルフエゴイル「マモンド!!」

グレモサート「己よくも!!」

仲間の仇を取るべく、グレモサートとキマリシアスがヴァイドに攻撃しかかったが、

ヴァイド「散れ!!」

ヴァイドがヴァイドグローブスを装着してグレモサートとキマリシアスを殴り、一撃で葬り、完全消滅した。

デカラビエス「なっ、なんだこいつは?!」

ヴァイドの圧倒的な強さによって仲間が倒されていき、驚愕するヴェルフエゴイル達。

ヴァイド「こんな程度か？」

ベリトルス「舐めやがって、ベリトルスメタリックドリルブレイカー!!」

ベリトルスがベリトルスランスの先端を錬金術でドリルに変換し、ヴァイドに刺突し

かかった。

ヴァイド「見え見えだ。」

ヴァイドグローブスでペリトルスに殴りながら消滅させ、次にデカラビエスやフォルネウシアやストラウルに攻撃する。

ヴァイド「プリキュア・ヴァイドブレイクブラスター!!」

ヴァイドがヴァイドグローブスを装着したまま両手を合わせて、全身を集中しながら、虚空の力の光線を放ち、デカラビエスやフォルネウシアやストラウルに完全消滅させた。

バルバトリアス「ひっ、ひいっ!!」

ヴァイドの圧倒的な強さに震え出すバルバトリアスは逃げ始めたが、

ヴァイド「逃がさん!!」

逃走するバルバトリアスがヴァイド追跡し、背後から殴り貫き、バルバトリアスを消滅させた。

一同「あああつ!!」

ヴァイドの圧倒的な強さに驚愕するストライク達。

バフオミッツ「なっ、何だこいつは?!」

ヴェルフエゴイル「こいつ只者ではない!!」

バフオミッツ「ここは引き上げた!!」

バフオミッツとヴェルフエゴイルはこの場からすぐに引いて立ち去った。

ヴァイド「……。」

ヴァイドの圧倒的な強さによってグローヴァリテイの幹部ら軽々と倒していった姿を目の当たりにしたストライク達。

アイゼンアロイス「只者ではないな。」

フェアリアル「凄いわ。」

アイゼンアロイス達もヴァイドの圧倒的な強さで簡単に幹部達を消滅させた事に驚愕した。

ヴァイド「……………」

マジック「キュアヴァイド、何者なの……………?」

ヴァイドは一体何者なのか? 彼女は何処から来たのか? ヴァイドは変身を解き、普通の姿へとなった。

悠「……………」

普通の姿は皇神悠だ。

悠「私の名は皇神悠だ。」

次回 67話へ続く

第67話 ヴァイドの戦い

謎のプリキュア、ヴァイド如く皇神悠は多数の敵幹部を一瞬にして葬り、その強さは圧倒的故に桁外れの強さだ。

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

ブリッジ

悠「これがこの艦か。」

アイカ「あたし達が旅に使う艦だから。」

悠「マニアック的な要素があるようだな。」

咲耶歌「言われてみれば確かにそうだね。」

悠「上出来だな。」

海「ところであなたは一体何者なの？」

悠「私か、私は謎だ。」

麗奈「謎？」

悠「私はお前達と同じ人間ではない。」

クレア「人間ではないって？」

悠「それはわからないな。」

はるな「わからないって？」

悠「私でも自分が何なのかわからない。だが、私にはやるべき事がある。」

文「やるべき事？」

悠「ハデウスを倒す事だ。」

アイカ「ハデウス、あたし達が倒さなきゃならない相手。」

はるな「ハデウスのせいで色んな人が苦しんでいる。」

悠「ハデウスは世界を全てリセットして新たな世界を作ろうとしている。」

麗奈「自分達だけの都合の良い世界ね。」

悠「プリキュアと妖精の力と滅した星の核を集めて最果ての地タムルロードで起きさ

せようとする。」

文「タムルロード？」

悠「パラレルの奥にある最果ての地の事だ。そこに辿り着いたものは誰一人もいない。」

イゼル「未知の領域ね。」

悠「タムルロードはいくつか謎が包まれている。」

アイカ「タムルロード、どんなのがあるだろう。」

はるな「行ってみないとわからないかもね。」

海「それよりそろそろ着くわ。」

アイカ達はそのまま次の世界へと入り、到着した世界は砂漠で溢れたデザートワールドだ。

パラレルワールド

デザートワールド

アイカ「次の世界は砂漠ね。」

咲耶歌「何だか暑い場所だね。」

砂漠に溢れた世界デザートワールドは気温は暑く、辺りが砂漠で、生物はラクダのよ
うな生き物などが生息している。

文「砂漠なんて初めてね。」

ライラ「私とイゼルがいた地域では砂漠にはよく慣れていたからな。」

イゼル「懐かしい気分だ。」

はるな「目的は……?」

悠「この世界を守る事だ、奴らは世界や星を破壊して核を集めるみたいだ。」

クレア「何かよからぬ事を企んでるね。」

悠「ハデユスは滅ぼした世界や星の核を集めて何かよからぬ事を企んでるのは確かだ。」

アイカ「守らないと。」

海「アイカ。」

アイカ「ハデユス、グローヴァリテイから世界や星を守らないと。」

はるな「私達プリキュアが世界や星を守ってハデユスの野望を阻止しないと。」

麗奈「ハデユスだけじゃない、ゴウドウや悪炉血もよ。」

咲耶歌「グローヴァリテイを絶対に倒して奪われたプリキュアの力、妖精を必ず取り返さないと。」

その時、上空からグローヴァリテイの刺客が早速現れて来た。

文「あれはグローヴァリテイ!!」

イゼル「早速現れたか。」

ライラ「私達が相手に……。」

悠「ここは私一人がやる。私の戦いをお前達にもう一度見てもらいたい。」

そう言いながら悠は一人でグローヴァリテイの対決に挑んだ。

スコープス「ターボヒッツ様、ベノムポイズマー様、クローキルド様、ただいま目的地に着きました。」

ターボヒッツ「この世界を破壊して核を手に入れるまでだ。」

ベノムポイズマー「さてどう手に入れるか。」

クローキルド「滅ぼして手に入れてやる。」

コブランダー「じゃあー、この世界の生物を全て滅ぼしてやる!!」

クロコイン「碎いてやるぜ」

ターボヒッツが仲間と配下と兵を率いて現れだが、目の前に悠が現れた。

悠「お前らの相手は私だ。」

クローキルド「何だ貴様は?!

ベノムポイズマー「俺達に殺されに来たのか?」

ターボヒッツ「1人でやり合う気か?」

悠「そうだ、お前ら雑魚など1人で十分だ。」

スコーピス「痛い目見せてやるぜ。」

ターボヒッツ「行くぞ!!」

悠に向かって襲いかかり始めるターボヒッツ達。悠は右手首に装着しているプレスレット型の変身アイテム、ヴァイドチェンジャーを上に掲げた。

悠「プリキュア・イグニッション・チェンジ!!」

悠の全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、髪型はショートで黒髪で、両腕にガントレット、両脚にレギンス、背中に飛行可能の古代風の金属翼を身に付け、プリキュアとなった。

ヴァイド「虚空の彼方より現る、キュアヴァイド!!」

ヴァイドとなった悠は早速、攻撃にかかった。

ヴァイド「はああああー!!」

ヴァイドが先手に出て、パンチを繰り出してスコープスに喰らわした。

スコープス「ぐわああー!!」

ヴァイドのパンチを喰らったスコープス。

コブランダー「この野郎、こいつを喰らえ!!」

コブランダーが口から毒液を吐いて、ヴァイドにかけた。

コブランダー「俺の毒液を喰らえばひとたまりもないな!!」

ヴァイドに毒液をかけたが、ヴァイドに全く効いていなかった。

ヴァイド「何だ、こんな生温いの、くたばると思ったか？」

コブランダー「効いてないだ?!」

ヴァイド「次はこちらから行かせてもらおうぞ!!」

反撃に出たヴァイドがコブランダーに対し、パンチで殴り貫き、コブランダーを瞬殺した。

コブランダー「ぎゃあああああー!!」

ヴァイドのパンチの一撃を喰らったコブランダーはそのまま完全消滅した。

ターボヒッツ「一撃だ?!」

ターボヒツツらもヴァイドがコブランダーを一撃で消滅させた事に驚愕した。

クロコイン「ただの偶然だろ!!」

クロコインがヴァイドに向かって噛み付きかかったが、

ヴァイド「雑魚があっ!!」

踵蹴りをしてクロコインの頭上に打ち込み、完全消滅させた。

クローキルド「一撃だど?!」

ベノムポイズマー「こいつ一体?!」

ヴァイド「かかって来いよ。」

スコープス「ふざけやがって、死ねえ!!」

スコープスが尻尾の毒針でヴァイドに向けたが、ヴァイドは片手で毒針を掴みながら相手の特殊能力の影響を受けずに毒が通じなかった。

ヴァイド「貴様にはこいつをお見舞いしてやる。プリキュア・ヴァイドマシンガンパ
ンチ!!」

ヴァイドが両拳を発光しながらスコープスに連打し、喰らわして消滅させた。

ターボヒッツ「こいつ、只者ではない。」

クローキルド「軽々と倒すとは。」

ベノムポイズマー「だからと言って見過ごす訳には行かないんだよ!!」

ターボヒッツ、クローキルド、ベノムポイズマーらが一斉にかかり、ヴァイドに襲い
かかった。

ヴァイド「無駄だ、プリキュア・ヴァイドビーム!!」

ヴァイドが掌から光線を放ち、ターボヒッツ、クローキルド、ベノムポイズマーらに
喰らわした。

ターボヒッツ、クローキルド、ベノムポイズマー「うわああああー!!」

ヴァイドの放った必殺技を喰らったターボヒッツ、クローキルド、ベノムポイズマー。

ベノムポイズマー「やってくれたな、ベノムポイズウェーブ!!」

ベノムポイズマーが毒液状が形成した巨大な津波でヴァイドを飲み込んだ。

ヴァイド「はああああー!!」

ヴァイドが気力で毒液状の巨大な津波を振り払い、ベノムポイズマーに対し、キツクで飛び蹴りをして喰らわせて瞬殺し、消滅させた。

ターボヒッツ「ベノムポイズマー!!」

仲間が倒されたのを目の当たりにするターボヒッツとクローキルド。

クローキルド「よくも仲間をやってくれたな、クローザアームズデイスカス!!」
ターボヒッツ「ターボスピーデーダッシュ!!」

クローキルドが背中にある6本のアームズクローを全身に包みながら回転し、ターボヒッツが両腰のターボブースターで加速しながらヴァイドに向かって同時攻撃をするが、

ヴァイド「見え見えだ!!」

2人の攻撃をパンチでブロックし、ヴァイドは手刀でターボヒッツとクローキルドに喰らわした。

ヴァイド「これが最期だ、プリキュア・ヴァイドブレイクナックル!!」

ヴァイドがヴァイドグロブスを装着しながら無、虚空の力の光状を纏いながらターボヒッツとクローキルドに思いっきり強烈なパンチを繰り出した。

ターボヒッツ、クローキルド「ぐわああああー!!」

ヴァイドの必殺技によってターボヒッツとクローキルドは倒され、完全消滅した。

アイカ「強い。」

はるな「私達より強いなんて。」

ヴァイドの圧倒的な強さに驚愕し、自分達より強いと言う事にも感じた。この世界は無事守られた。

悠「私は出る、また何処かでだ。」

そう言いながらアイカ達と別れた悠。

咲耶歌「ヴァイド、あたし達より遥かに強い実力を持っているんだね。」

次回
68話へ続く

第68話 レーシング

次の世界であるサーキットワールドに到着したアイカ達。そこはレースによる激しいバトルが行われていた。

パラレルワールド

サーキットワールド

市街地

アイカ「レースの世界ね。」

咲耶歌「何だか楽しそうな世界だね。」

クレア「そうでもないみたいね。どうやらグロウヴァリテイが関与しているかもしれないみたいね。」

咲耶歌「レースにもスポンサーが着いて暗躍しているみたいだから。」

海「グロウヴァリテイがやる事ね。」

麗奈「目的は資金集めね。資金が断たれば陥るみたいね。」

イゼル「さっさとしてやらねえとな。」

アスミ「どのようにしたらいいのでしょうか？」

ライラ「確かに。」

文「普通のやり方では難しそうですね。」

麗奈「レースにはレースでやるしかないね。」

アイカ「麗奈さん。」

麗奈「私はバイク乗りは得意よ。エアバイクで勝負するしかないわね。」

はるな「麗奈さんならきつとやりこなせます。」

麗奈「やってみせるさ。レースで勝ってみせる。グローヴァリテイを追い払ってみせる。アイカ達は内部を探つて。」

アイカ「わかったよ。」

麗奈がレースに出場し、レースに優勝してグローヴァリテイの支配から解放し、アイカ達は内部から潜り込んで探る事となった。麗奈は早速プリキュアに変身し、自分のエアバイクである戦浮鬼に操縦し、レースに出場した彼女は揃い揃いしたレーサー達と対峙する。

サーキット会場

フエッターは戦浮鬼を操縦しながらライバル達のマシンとぶつかり合いながら激突し、戦浮鬼を加速しながらライバルのマシンを次々と蹴散らしたが、左右から来るライバル達のマシンがフエッターの戦浮鬼を挟みにかかった。

フエッター「甘い!!」

フエッターが戦浮鬼を飛びながらかわし、左右に挟みかかったライバル達のマシンは逆に衝突し、自滅した。フエッターは戦浮鬼からエネルギー弾を発射してライバル達のマシンを背後から射撃して次々と破壊し、グローヴァリテイの面子を一人残らず潰すつもりでおり、徹底的にかかった。

モーターレーシング「俺の配下をやってくれやがったな!!」

モーターレーシングがレーシングカーに変形した姿でフエッターの戦浮鬼に潰しにかかった。

フエッター「そこ!!」

接近しかかるモーターレーシングにフエッターは後方に下がり、エネルギー弾を発射して攻撃した。

モーターレーシング「てめえ!!」

モーターレーシングが爆弾を放出して、フエッターにお見舞いした。

フエッター「くっ!!」

モーターレーシングの爆弾を喰らったフエッター。その直後にモーターレーシングが突進しかかり、フエッターは大きく喰らった。

フエッター「うわあっ!!」

モーターレーシングの突進により、マシンから突き飛ばされたフエッター。

フェッター「このっ!!」

フェッターがキュアカタナテツポウ鉄砲モードで応戦し、モーターレーシングに喰らわした。

モーターレーシング「洒落せえ!!」

モーターレーシングが人型に戻り、足部のホイールを加速しながらフェッターにパンチで殴り、フェッターの周りを回りながらパンチで殴り込んだ。

フェッター「速い!!」

モーターレーシングのスピードに苦戦を強いられるフェッター。

フェッター「ならば、ヒーローライドジュエル!!」

フェッターは隼疾風のヒーローライドジュエルを使って変身し、空を飛んで空中から攻撃を仕掛けた。

フェッター隼疾風フォーム「プリキュア・隼疾風嵐華風舞!!」

フェッター隼疾風フォームが翼から嵐を発生して、モーターレーシングを飲み込んで蹴散らした。

モーターレーシング「やりやがったな!!」

モーターレーシングがレーシングカーに変形して高ジャンプして空中にいるフェッター隼疾風フォームに体当たりし、墜落させた。

フェッター隼疾風フォーム「只者じゃないわね・・・。」

モーターレーシング「俺の速さを見せてやる!!」

モーターレーシングが素早く駆けながらフェッター隼疾風フォームに対し、手甲に内

蔵されたライフル弾を発射して喰らわした。

フェッター隼疾風フォーム「くうっ、このままじゃやられてしまうわ!!」

このままではやられてしまうと感じ、フェッター隼疾風フォームはどうするのか？

フェッター隼疾風フォーム「こうなったらこれに賭けるしかない、プリキュライド
ジュエル!!」

フェッター隼疾風フォームは光陰命のプリキュライドを使って変身し、ある行動に出
た。

フェッター光陰命フォーム「プリキュア・光陰命桜舞吹嵐!!」

フェッター光陰命フォームは両手を広げて術を唱え、桜吹雪の嵐を起こして加速中の
モーターレーシングに浴びせて喰らわした故に目を眩まして姿勢を崩してぶつかつた。

モーターレーシング「うわああああー!!」

フエッター光陰命フォームの必殺技によつて桜吹雪の嵐でモーターレーシングは目を眩まされた挙句、姿勢を崩してぶつかり、ダメージを負い、ボディに傷が付いた。

モーターレーシング「俺のボディが!!」

フエッター光陰命フォーム「これで終わりよ、プリキュライドジュエル!!」

フエッター光陰命フォームは烈陣丸のプリキュライドジュエルを使って変身し、一気に決めにかかった。

フエッター烈陣フォーム「プリキュア烈陣残翔月!!」

フエッター烈陣フォームがキュアメタル戦烈鬼を持ったまま刀身に獄気を集中して発光しながらモーターレーシングに向かってダッシュして斬撃し、モーターレーシングを上を飛ばして、自身も昇りながら斬撃し、撃破した。モーターレーシングを倒したフエッター。また内部から攻めたアイカ達もこの世界にいるグローヴァリテイの人間

を捕まえ、グローヴァリテイの資金を停止させ、グローヴァリテイの人間達を地獄界へ送った。

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

個室

麗奈「グローヴァリテイ、奴らの野望は阻止しないと。」

次回 69話へ続く

第69話 解放戦線

パラレルワールドを次々と進むアイカ達。次行く世界は、

パラレルワールド

スタートウインクルプリキュアの世界

観星町

アイカ「またこの世界に来たんだね。」

はるな「ここや他の世界は支配されてるって。」

スタートウインクルプリキュアの世界はグローヴァリテイに支配されてしまい、現在はグローヴァリテイの圧政によって虐げられていた。また他にもパルミエ王国、メイジャーランド、トランプ共和国、ホープキングダム、魔法界も支配されてしまい、アイカ達が分別して向かい、解放する事となった。

パラレルワールド

パルミエ王国

咲耶歌 「ここがパルミエ王国。」

海 「でも霧囲気が荒れてるみたいね。」

パラレルワールド

メイジャーランド

文 「グローヴアリティに支配で苦しんでるね。」

パラレルワールド

トランプ共和国

麗奈 「ここは2度もね……。」

パラレルワールド

ホープキングダム

クレア 「ホープキングダム。」

イゼル 「今度はグローヴアリティにか。」

ライラ 「そうだな。」

パラレルワールド

魔法界

のどか 「ここが異世界……。」

ひなた「ヒーリングガーデン以外にもこんなところもあるんだ。」
ちゆ「でもグローヴァリテイの侵略でかなり攻められたわね。」
アスミ「侵略、やってはならない事ですわね。」

グローヴァリテイに支配されたスタートウインクルプリキュアの世界、パルミエ王国、メイジャーランド、トランプ共和国、ホープキングダム、魔法界をどう解放するか。そんな中、早速グローヴァリテイの面子がアイカ達の存在を察してかかって来た。

パラレルワールド

スタートウインクルプリキュアの世界

観星町

ゴブリオン「いたぞ、プリキュアだ!!」

アイカ「グローヴァリテイはあたし達が既にプリキュアだつてもう知られてるね。」
はるな「察知してるね。」

パラレルワールド

パルミエ王国

咲耶歌「もう!!」

海「とつくに知られてる訳ね。」

パラレルワールド

メイジャーランド

文「もう気付いたなんて。」

パラレルワールド

トランプ共和国

麗奈「私達の事は知らされてるわけね。」

パラレルワールド

ホープキングダム

クレア「グローヴァリテイは私達の普通の姿でも知られてる訳か。」

イゼル「一枚上手だな。」

ライラ「侮れないな。」

パラレルワールド

魔法界

のどか「もう見つかったのね。」

ひなた「ヤバくない？」

ちゆ「確かに。」

アスミ「まずいですわね。」

グローヴァリテイに普通の姿でも知られていた事で兵達がかかって来たアイカ達。

パラレルワールド

スタートウインクルプリキュアの世界

観星町

アイカ「変身するよ!!」

はるな「行くよ。」

各世界にいるプリキュア達はグローヴァリテイの兵を相手に挑むためすぐに変身して挑んだ。

ゴブリオン「プリキュア、死ね!!」

ゴブリオンの集団がアサルトビームカービンでストライクとシンシアに射撃したが、2人は素手で振り払い、パンチでぶち込んだ。

パラレルワールド

パルミエ王国

リザードアーミー「プリキュアは殺す!!」

マジック「行くよ!!」

ジャック「えええっ!!」

リザードアーミーの集団がマジックとジャックにメタルスピア、ビームバズーカ、ショットライフルで攻撃するが、マジックとジャックがジャンプしてかわしながらマジックは掌から光状の球を出して放ちながら喰らわせ、ジャックがアツパーで連打でお見舞いしつつ、ムーンサルトキックで打ち込んだ。

パラレルワールド

メイジャーランド

クイーン「私が相手よ!!」

クイーンがキュアナギナライフル薙刀モードを360°回転しながらラプトソル

ジャーの群れを一気に薙ぎ払い、真っ向から刺突して撃退した。

パラレルワールド

トランプ王国

フエッター「あんたら、雑魚は斬るまでよ!!」

マシンドマンの大群をキュアカタカナテツポウ鉄砲モードで次々と撃ち落とすフエッター。

パラレルワールド

ホープキングダム

ミステイック「一気に決めていく。」

アラム「すぐに片付けてやる。」

ジュール「こいつらは余裕だ。」

ミステイック、アラム、ジュールが3方向に分かれて、リザードアーミーの集団を攻めて行き、ミステイックがパンチで連打で喰らわし、アラムとジュールが連携しつつ同

時に空中キックで打ち込んだ。

パラレルワールド

魔法界

グレース「相手は羽蟻よ!!」

フォンテーヌ「空を飛んでるわね。」

スパークル「やるしかないね。」

アース「行きましょう。」

空を飛ぶアントウインガアの群れに対し、グレース、フォンテーヌ、スパークルがヒーリングステッキから光線を放ちながら次々と撃ち落とし、アースが空中ジャンプでドロップキックでお見舞いした。各世界の兵達を片付けたプリキユア達は早速彼女達と再会をする。

パラレルワールド

スタートウインクルプリキユアの世界

観星町

ひかる「もしかしてアイカちゃん、はるなちゃん。ストライク「ひかるさん。」

ララ「私達の世界がハデユスに侵略されたルン。」

シンシア「グローヴァリテイね。」

エレナ「今圧政で虐げられてるんだ。」

まどか「人々を奴隷にして強制労働をさせられているの。」

ユニ「プリキュアの力を失った私達じゃ太刀打ちが出来ないの。」

パラレルワールド

パルミエ王国

マジック「パルミエ王国もグローヴァリテイに支配されてる訳ね。」

くるみ「パルミエの住民はたくさん奴隷として無理やり働かされてるのよ。私は生き残った者達と逃亡生活を送ってるの。」

ジャック「許せないわ。」

パラレルワールド

メイジャーランド

クイーン「捕まった人達は兵器作らされてるのね？」

アコ「そうよ、悍ましい物を作り上げているみたいよ。」

エレン「メイジャーランドを侵略して隷属扱いよ。」

パラレルワールド

トランプ共和国

フェッター「グローヴァリテイの非道的は変わりないね。」

真琴「トランプ共和国以外にも支配はしているみたいよ。」

パラレルワールド

ホープキングダム

ミステイック「ホープキングダムはグローヴァリテイに支配されているのね。」

トワ「民は次々と連れて行かれています。」

アラム「グローヴァリテイのやる事は人のする事じゃねえな。」

ジユルフ「全くだ。」

パラレルワールド

魔法界

リコ「何とか解放したい。」

のどか「グローヴァリティは植民地化と奴隷政策をやってるね。」

ちゆ「どんどん搾り取っていくようね。」

ひなた「こんなの絶対止めさせないと。」

アスミ「場所は何処ですか？」

リコ「次元空間にあるファクトリーコロニーよ。各世界で集められた人々を奴隷にして強制労働が行われてるのよ。」

グローヴァリティがファクトリーコロニーで侵略した世界の人々を捕まえて奴隷にし、兵器を作らせるための強制労働が行われていた。それを知った一同は次元空間にあるファクトリーコロニーへと向かった。

移動中

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

ブリッジ

ストライク「あれがグローヴァリテイのファクトリーコロニーね。」

グローヴァリテイのファクトリーコロニーは巨大な筒型をし、中は兵器の製造が行われており、そこにはグローヴァリテイが侵略した世界の人々を連行して強制労働が行われており、女や子供や老人にも無理矢理働かせて、1日24時間寝ずも寝ずに行われて過酷な労働を強いられていた。

シンシア「グローヴァリテイは自分達の利益のために無理矢理働かせるね。」

フェッター「人的非道過ぎるね。」

マジック「すぐにでも捕まった人達を助け出していこう。」

グローヴァリテイのファクトリーコロニーへ辿り着いたストライク達は中に突入した。

ファクトリーコロニー

内部

リザードアーミー2「侵入者だ、かかれ!!」

中に突入したプリキュア達を迎撃にかかるリザードアーミー、マシンドマン、ゴブリオンの各部隊。

プリキュア一同「はああああー!!」

プリキュア一同もかかり、敵兵部隊と交戦し、ストライクとシンシアがキュアブレードマグナム銃モードでリザードアーミーの集団に次々と射撃し、フェッターがキュアカタナテツポウ刀モードで数十体のゴブリオンを次々と斬撃し、マジックとジャックがクイーンが3方向に分かれてマシンドマンの集団にかかり、マジックが数枚のトランプを放ちながら命中し、ジャックがキックで思いつき蹴り込み、クイーンがキュアナギナライフル薙刀モードで斬り込んだ。ミスティックがゴブリオンの集団をパンチで連打して喰らわし、アラムとジュールがコンビネーションアタックでマシンドマンにお見舞いし、グレースとフォンテーヌとスパークルとアースがリザードアーミーの集団に同時キックでお見舞いし、蹴散らした。この場にいた兵達を片付けて、奴隷労働された人々を救出した。だが、その時、4つの影が現れた。

クラブータス「お前らの相手は俺らがしてやるぜ。」

バッファアータイラノ「ぶち込んでやるぜ。」

サソープラ「ぎつちよぎつちよにしてやる。」

ビートルガー「食い殺してやるぜ。」

現れた4つの影は2体の生物が合成した姿だ。

ストライク「なっ、何?!」

シンシア「何、この生物?」

フェッター「カメラよ。2体の生物を合成させた生物。」

ミステイック「グローヴァリテイもえげつない事が出来るわね。」

クラブータス「俺達カメラの力、見せてやる!!」

バッファアータイラノ「行くぜ!!」

生体兵器のカメラであるクラブータス、バッファアータイラノ、サソープラ、ビートルガーが襲いかかった。

ストライク、シンシア、アラム、ジュール「!!」

ストライク、シンシア、アラム、ジュールが挑み、4体のキメラ怪人と交戦する。

クラブータス「プリキュア、お前と戦えるのは初めてだ!!」

クラブータスがハサミで挟みかかりながらストライクに迫った。

ストライク「そこ!!」

ストライクはすぐに瞬間移動して回避し、クラブータスの真上に現れてキュアブレイドマグナム剣モードで斬撃した。

バッファアータイラノ「オラオラオラー!!」

バッファアータイラノが真つ向から突き進みながらシンシアに突撃する。

シンシア「とう!!」

シンシアがジャンプしてかわしながらバッファァーテイラノの頭に空中キックでお見舞いした。

サソープラ「はいはい、ミーの毒液で溶かしてあげる!!」

サソープラの尻尾にあるコブラの口から毒液が吐かれて、アラムに向けた。

アラム「こんな小細工は通じねえ!!」

アラムはアラムツインダガーでサソープラが吐いた毒液を切り払い、そのまま斬撃した。

ビートルガー「うがぁー!!」

ビートルガーがジュールフに飛びかかって、口の牙で噛みつきにかかった。

ジュールフ「見え見えだ!!」

ジュールフがパンチでビートルガーの顔面を殴り込んだ。

クラブータス「野郎!!」

クラブータスが両腕のハサミを真つ向から突いてストライクにぶち込んだ。

バッファアータイラノ「死ね!!」

バッファアータイラノが右肩に力を入れてシンシアにタックルした。

サソープラ「散れえっ!!」

サソープラが尻尾のコブラを振り回しながらアラムに喰らわした。

ビートルガー「喰らえ!!」

ビートルガーが角で強いながらジュールフに喰らわした。4体のキメラ怪人の攻撃を受けたストライク、シンシア、アラム、ジュールフ。

ストライク「こうなったら一気に決めるよ。」

すぐに着けるため4人は必殺技を発動させた。

ストライク「プリキュア・ストライクサンシャインキック!!」

シンシア「プリキュア・シンシアサンシャインパンチ!!」

アラム「プリキュア・アラムストームパンチ!!」

ジュールフ「プリキュア・ジュールフブレイクキック!!」

4人はそれぞれ必殺技を発動して、4体のキメラ怪人に喰らわして撃破した。キメラ怪人を倒し、ファクトリーコロニーを制圧して支配された各世界を解放した。

移動中

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

ブリッジ

アイカ「スタートウインクルプリキュアの世界や他の世界も解放は出来たね。」

シンシア「グローヴァリテイ、これ以上好き勝手はさせないね。」

麗奈「そうね。」

パラレルワールド

グローヴァリテイフオートレス

居間

ゼシウス「そろそろ本気で行かないとな。」

ラスフェックター「ただ支配して搾り取るだけではな。」

レヴォリユード「星やパラレルワールドを滅ぼして核を再び集める。」

次回
70話へ続く

設定15

グローヴァリテイ

生体兵器

キマイラス

グローヴァリテイの幹部。種族はキメラ。神話のキマイラの姿をし、顔はライオン、胴体はヤギ、翼は蝙蝠、尻尾は蛇で出来ており、身体は巨大で、グローヴァリテイが生み出した生体兵器の1つで、攻撃力、スピード共に高く、プリキュアを圧倒し、口からブレスを吐き、その強さは最高幹部クラスに匹敵する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

必殺技

キマイラスウィップテイル

キマイラスの必殺技。蛇の顔の尻尾を鞭のよう振りながら相手を叩く。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

キマイラスウイングシザース

キマイラスの必殺技。翼をハサミに変えて相手を切り裂く。全ての特殊能力の影響

は一切受けない。

キマイラスブレス

キマイラスの必殺技。口からブレスを吐き、敵全体に喰らわす。その威力は惑星やパラレルワールド1個分を消滅させる事も可能。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

アクアキマイラス

グローヴァリテイの幹部。種族はキメラ。キマイラスが空陸型に対し、こちらは水陸型で、顔はサメ、両腕はロブスター、胴体は亀、両脚はゴリラ、尻尾はシーラカンスで出来ており、身体は巨大、グローヴァリテイが生み出した生体兵器の1つで、攻撃力、防御力共に高く、プリキュアを圧倒し、口からブレスを吐き、その強さは最高幹部クラスに匹敵する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

必殺技

アクアキマイラスハンマークロー

アクアキマイラスの必殺技。両腕のロブスターのハサミで相手に打撃する。その威力は衝撃波を起こす。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

アクアキマイラスビーム

アクアキマイラスの必殺技。口からビームを吐き、敵全体に喰らわす。その威力は惑星やパラレルワールド1個分を消滅させる事も可能。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

最高幹部

アヴェエルド

グロウヴァリテイの最高幹部。種族は人間。錬金術士で、あらゆる錬金術を使った戦い得意とする。錬金術で作った怪物を生み出したり、生体兵器にも関わっており、キメラは彼がほぼ生み出している。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

必殺技

アルケミストメタルウエーブ

アヴェエルドの必殺技。錬金術で生み出した金属液体の巨大な津波を起こし、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

アルケミストビックダブルハンマー

アヴェエルドの必殺技。錬金術で形成した2つの巨大なハンマーで敵全体に打撃する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

アルケミストメタルウォール

アヴェルードの必殺技。錬金術で形成した巨大な金属の壁で敵の攻撃を防ぐ。

アルケミストオールキヤノンバースト

アヴェルードの必殺技。錬金術で形成した多数の砲台を周囲全体に出現した敵全体に砲撃する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

Drリージス（戦闘形態）

グロウヴァリテイの最高幹部。彼の戦闘形態は化け物の姿をし、腹部に獣の顔、背中に6本の触手が生え、右手に鉤爪、左手に恐竜の頭をし、理性を失い本能的に戦い、残酷性を持ち、攻撃力、防御力共に高く、惑星1つやパラレルワールド1つや宇宙艦隊数億隻をたつた1人で壊滅させる力を持つ。パラレルワールド全ての特殊能力の影響は一切受けない。

必殺技

リージスシックスウィップ

Drリージス（戦闘形態）の必殺技。背中の6本の触手を鞭のように振るいながら攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

リージススラッシュクロー

Drリージス（戦闘形態）の必殺技。右手の鉤爪を発光しながら攻撃する。実体のな

い者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

イージスクラッシュファンク

Drイージス（戦闘形態）の必殺技。左手の恐竜の顔の牙を発光しながら相手を噛み砕く。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

イージスブラスタースキュート

Drイージス（戦闘形態）の必殺技。腹部の獣の顔から強力な光線を放ち、敵全体に攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ジャステイスヒーロー

五官王

ジャステイスヒーローの1人であり、地獄界の十王の1人でもある。人の五感が元となる悪業や罪を審理対象とし、特に嘘に関しての裁判を行う。能力は相手の行動を読み、見破ったり、自身の五感で感知したり、体術や術に優れている。また針山地獄を強いた技を得意とする。ストライクと一体化して、キュアストライク五官フォームとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キョアストライク五官フォーム

ストライクと五官王が一体化した姿。五官王の姿をした衣装を纏い、五感による感知で相手の動き、パターンを読み、また嘘を見破り、体術や術による戦いを得意とする。また針山地獄を強い技を得意とする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキョア・五官針心拳

ストライク五官フォームの必殺技。自身の五感を感知して獄気を集中しながらピンクの光状の針を纏いながら敵を殴り貫く。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキョア五官心除破

ストライク五官フォームの必殺技。五感を感知して全身から波動を放ち、敵全体に喰らわす。隠れている敵を姿を現し、また能力アップした敵を解除したりする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキョア五官針山地獄

ストライク五官フォームの必殺技。五感を感知しながら柱状の針山をいくつから現れて敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキョア五官針射獄拳

ストライク五官フォームの必殺技。周囲に無数の針を出現して放つて敵に喰らわし、

最後に獄気で形成したピンクの光状の針を纏いながら敵を殴り貫く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アレクサンドルス

ジャステイスヒーローの1人であり、機械の姿をした城型ロボット。巨大な両腕にはとてつもないパワーを持ち、両肩には多連ミサイルランチャーが内蔵され、胴体からは聖なる光条ビームを放つ。シンシアと一体化するとキュアシンシアアレクサンドルスフォームへとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアシンシアアレクサンドルスフォーム

シンシアとアレクサンドルスが一体化した姿。全身にキュアメタルアレクサンドルスアーマー、両腕にキュアメタルアレクサンドルスアーム、背中にキュアメタルアレクサンドルスミサイルランチャーを纏い、パワーと防御力に優れており、聖なる力を持っている。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

FFシリーズのアレクサンダーを元に

プリキュア・アレクサンドルスアームバスター

キュアメタルシンシアアレクサンドルスフォームの必殺技。両腕から光条ビームを放ち、敵に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けな
い。

プリキュア・アレクサンドルスホーリーミサイル

シンシアアレクサンドルスフォームの必殺技。背中にあるキュアメタルアレクサンドルスミサイルランチャーから聖なるミサイルを無数発射して敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・アレクサンドルスホーリージャッジメント

シンシアアレクサンドルスフォームの必殺技。キュアメタルアレクサンドルスアーマーを集中しながら聖なる光条ビームを放ち、敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マスターストレンジャー

ジャスティスヒーローの1人。魔術師の姿をし、魔術により優れており、あらゆる攻撃魔術をこなし、彼の魔術はあらゆるものを治し、不老不死や不滅の能力を打ち消す事も可能。魔術だけでなくテレパシーや念力や未来予知や空中も可能。ウィザーデイとは旧知の仲。マジックと一体化し、キュアマジックストレンジャーフォームへと変化する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キュアマジックストレンジャーフォーム

マジックとマスターストレンジャーが一体化した姿。マスターストレンジャーの姿をした衣装を纏い、あらゆる魔術を繰り出し、多彩な魔術を持ち、テレパシーや念力や

未来予知も可能。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ストレンジジャーマジシャンビーム

マジックストレンジジャーフォームの必殺技。両手に魔法陣を纏いながらビームを放ち、敵に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ストレンジジャーイリユージョントライアタック

マジックストレンジジャーフォームの必殺技。3体の分身を形成して、敵に三角陣形で囲んで魔術を唱えて光線を放ち、攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ストレンジジャーフレアエクスプロージョン

マジックストレンジジャーフォームの必殺技。高熱球を形成して放ち、敵全体に大爆発を起こす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ストレンジジャーメイジレイシユート

マジックストレンジジャーフォームの必殺技。上空から巨大な魔法陣を出現して無数の光柱を放って敵全体に攻撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ブラックレディ

ジャステイスヒーローの1人。女性スパイの姿をし、全身に漆黒のボディスーツを纏い、ファイツと同じ超人でありながら動きに優れており、あらゆる武器による戦いを得意とし、潜入活動も得意とする。武器はキュアメタルブラックレディアームソード、キュアメタルブラックレディツインガンを持ち、ジャックと一体化して、キュアジャックブラックレディフォームとなる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マーベルのブラックウイドウを元に

キュアジャックブラックレディフォーム

ジャックとブラックレディが一体化した姿。ブラックレディの姿をしたボディスーツを纏い、素晴らしい動きを相手を翻弄し、さまざまな武器を駆使していきながら圧倒し、暗殺技を持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

プリキュア・ブラックレディツインスライサー

ジャックブラックレディフォームの必殺技。キュアメタルブラックレディアームソードに獄気を集めて光状を纏いながら敵に斬撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ブラックレディツインドリトルネード

ジャックブラックレディフォームの必殺技。キュアメタルブラックレディアーム

ソードに獄気を集中して光状を纏って上にあげて回転しながら敵に突撃する。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ブラックレディクロスファイア

ジャックブラックレディフォームの必殺技。キュアメタルブラックレディツインガンから強力な光線を放ち、敵全体に喰らわす。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

プリキュア・ブラックレディアップブレイク

ジャックブラックレディフォームの必殺技。右手に獄気を集中してブルーの光状を纏いながら敵に捻りながら飛び上がりながらアップパークットする。相手を浄化または撃破する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

第70話 新たな力

グローヴァリテイの野望を食い止める為、パラレルワールドや星に行き、守り抜くプリキュア達。グローヴァリテイによるパラレルワールドや星の破壊を次々と阻止していった。

移動中

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

ブリッジ

アイカ「次の世界もそろそろ着く頃だね。」

はるな「グローヴァリテイの野望を止めないとね。」

麗奈「それだけじゃない、奴らに支配されてパラレルワールドや星も解放しないとね。」

咲耶歌「そうだね。」

グローヴアリティの野望を食い止める為、次の世界へ到着したアイカ達。着いた世界は都市が盛んなシティワールドだ。

パラレルワールド

シティワールド

都市

アイカ「シティワールド。」

はるな「都市が盛んね。」

海「海も綺麗ね。」

麗奈「ここはまだグローヴアリティの手に落ちてないみたいね。」

クレア「いつ来るかね。」

のどか「グローヴアリティが何をしてくるのか。」

グローヴアリティがいつ襲ってくるのか警戒するアイカ達。

移動中

パラレルワールド

次元空間

Drījis 「ついに私が動く時か。」

アヴェールド 「私が開発した2匹のキメラを見せる時だ。」

Drījisとアヴェールドが2匹のキメラを連れてプリキュア達のいるシティワールドに向かった。

パラレルワールド

シティワールド

都市

アイカ 「今のところ、問題ないみたいね。」

麗奈 「いつ来るかわからないみたいね。」

海 「警戒はした方がいいかもね。」

グローヴァリテイがいつ来るか警戒するアイカ達。早速上空からグローヴァリテイの刺客が現れた。

はるな「来たね、グローヴァリテイ。」

咲耶歌「あたし達も戦おう。」

グローヴァリテイの出現に対し、直ぐにプリキュアに変身したアイカ達はD r イー
スらと交戦する。

D r イービス「待っていたぞ、プリキュア!!」

ストライク「D r イービス!!」

D r イービス「君達とこうしてまた会えるのを楽しみにしていたよ。」

シンシア「ここで倒させて貰うよ。」

D r イービス「今日が君達の命日だよ、プリキュア。私の本当の力を見せる時だ!!」

D r イービスの姿に異変が起き始めて、化け物のような姿へと変え、腹部に獣の顔、背
中に6本の触手が生え、右手に鉤爪、左手に恐竜の頭へとなった。

一同「!!」

D r i e j s の豹変した姿に驚愕したプリキュア達。

アヴェルード「ふっ、イーゼスもついに本気を出したか。」

戦闘形態へとなったD r i e j s がプリキュア達に襲いかかった。

D r i e j s (戦闘形態)「死ねえっ!!」

背中に6本の触手でストライク達に向けて来た。6本の職種をストライク、シンシアがキュアブレードマグナム剣モードで斬り払った。

D r i e j s (戦闘形態)「喰らえ!!イーゼスクラッシュユフアング!!」

D r i e j s が左手の恐竜の顔の牙を発光しながらストライクに噛み付きにかかった。

シンシア「はああああー!!」

シンシアが空中キックでD r イージスに喰らわした。

D r イージス（戦闘形態）「邪魔をするなあ、イージスシックスウィップ!!」

D r イージスが背中 of 6本の触手を鞭のように振るいながらシンシアに攻撃した。

マジック、ジャック「たああああー!!」

マジックとジャックはD r イージスと同じ最高幹部のアヴェルードと交戦した。アヴェルードの繰り出す錬金術に苦戦をした。

アヴェルード「アルケミストビックダブルハンマー!!」

アヴェルードが錬金術で形成した2つの巨大なハンマーでマジックとジャックに喰らわした。

アヴェルード「アルケミストメタルウエーブ!!」

アヴェルードが錬金術で生み出した金属液体の巨大な津波を起こし、マジックとジャックに喰らわした。

フエッター、クイーン「!!」

フエッターとクイーンはそれぞれのキュアライドロボツヴァイに乗り込んで2大キメラを相手に戦った。

ミステイック、アラム、ジュルフ「はああああー!!」

ミステイック、アラム、ジュルフがキマイラスにパンチとキックでお見舞いした。

グレース、フォンテーヌ、スパークル、アース「たあああああー!!」

グレース、フォンテーヌ、スパークルがヒーリングステッキでアクアキマイラスに光線を放ち、アースが空中キックでお見舞いした。だが、キマイラスとアクアキマイラスにはびくともしなかった。

キマイラス「キシヤアアアアー!!」

キマイラスが必殺技のキマイラスウィップテイルで蛇の顔の尻尾を鞭のよう振りながらキュアライドロボツヴァイ1号とミスティックとアラムとジュールフにぶつけた。

アクアキマイラス「グオオオオオー!!」

アクアキマイラスが必殺技のアクアキマイラスハンマークローで両腕のロボスターのハサミでキュアライドロボツヴァイ2号機とグレースとフォンテーヌとスパークルとアースに打撃した。

ドリージス（戦闘形態）「死ね!!」

D r i e e j s が左手の恐竜の顔から光線を放ち、ストライクとシンシアに喰らわした。

ストライク「プリキュア・ストライクサンシャインスラッシュ!!」

シンシア「プリキュア・シンシアサンシャインショット!!」

2人は反撃に出て、必殺技を発動してD r i e e j s に喰らわした。

D r i e e j s (戦闘形態)「まだやられん!!イージススラッシュクロー!!」

D r i e e j s が必殺技を発動して右手の鉤爪を発光しながらストライクとシンシアをまとめて攻撃した。

ストライク、シンシア「うっ!!」

D r i e e j s の必殺技を喰らったストライク、シンシア。

アヴェルード「死ね!!」

アヴェルードが近くにあった車を錬金術で錬成して金属の獣を作り出してマジックとジャックに襲いかかった。

マジック、ジャック「!!」

マジックとジャックは襲いかかる金属の獣をパンチを同時に出して殴り、破壊した。そのままアヴェルードに殴りにかかった。

アヴェルード「アルケミストメタルウォール!!」

アヴェルードが錬金術で形成した巨大な金属の壁でマジックとジャックの攻撃を防いだ。

フェッター（キュアライドロボツヴァイ2号機）「はああああー!!」

フェッターのキュアライドロボツヴァイ2号機が右腕のアームブレードでキマイラスの胴体に斬りつけた。

キマイラス「キシヤアアアアー!!」

フェッターに斬りつけられたキマイラスが必殺技のキマイラスウイングシザーで翼をハサミに変えて相手を切り裂きかかった。直ぐに上空を飛んで回避したが、キマイラスが体当たりでぶつかり、喰らってしまった。

クイーン（キュアライドロボツヴァイ1号機）「そこね!!」

クイーンのキュアライドロボツヴァイ1号機が左腕のガトリングガンでアクアキマイラスに命中したが、防御が頑丈であるため効いておらず、アクアキマイラスが両腕のロボスターのハサミでクイーンに打撃した。

ミステイク「これでも喰らえ!!プリキュア・ミステイクサークルスラッシュ!!」

ミスティックが左腕に装着しているミスティックサークルスピナーに獄気を集中しながらグレーの光状の円輪を纏わせてキマイラスに斬りかかったが、キマイラスが蛇の顔の尻尾を鞭のように振りながらミスティックに喰らわした。

グレース、フォンテーヌ、スパークル「プリキュア・ヒーリング・オアシス!!」

ヒーリングステッキにミラクルヒーリングボトルを装着してパワーを溜めて肉球を3回タッチし、背面にオアシスを作り出し、ステッキからピンク、水色、黄色の螺旋状のエネルギを放ったが、アクアキマイラスには効いていなかった。アクアキマイラスが尻尾を振り回しながら喰らわした。

ドライジス（戦闘形態）「どうした、もう終わりか?」

ドライジス、アヴェールド、キマイラス、アクアキマイラスに圧倒されたプリキュア達。

ストライク「まだ終わらない!!」

アヴェルード「くたばりない奴め。」

シンシア「まだ終わるわけにはいかない!!」

マジック「あたし達はこんなものじゃない!!」

ジャック「地獄界で修行した成果はこんなものじゃない!!」

D r イー ジ ス (戦 闘 形 態) 「 なら ば 死 ぬ が い い !! 」

D r イー ジ ス が ス ト ラ イ ク 達 に 向 か っ て 襲 い か っ た。 ス ト ラ イ ク、 シ ン シ ア、 マジック、 ジャック は 新 た な ヒーロー ライド ジュエル を 出 し、 キュア ト フォン チェン ジャー に 刺 し た。

ス ト ラ イ ク、 シ ン シ ア、 マジック、 ジャック 「 ヒーロー ライド ジュエル !! 」

4 人 の 各 ヒーロー ライド ジュエル が 発 光 し、 ヒーロー ライド ジュエル から 4 人 の 人 物 が 現 れ た。

五 官 王 「 わ し の 番 か。 」

ス ト ラ イ ク 「 五 官 王 様。 」

ストライクが出したのは地獄界の十王の一人である五官王だ。

アレクサンドルス「私の番か。」

シンシア「アレクサンドルス。」

シンシアが出したのは機械の姿をした城型ロボットで巨大な両腕を持つアレクサンドルスだ。

マスターストレンジヤー「私の魔術を使う時だな。」

マジック「マスターストレンジヤー。」

マジックが出したのは魔術師の姿をしたマスターストレンジヤーだ。

ブラックレディ「私を使う時ね。」

ジャック「ブラックレディ。」

ジャックが出したのは女性スパイの姿をし、全身に漆黒のボディスーツを纏ったブラックレディ。新たなジャステイスヒーロー4人が現れた。

ドライージス（戦闘形態）「ジャステイスヒーローだと!!」

アヴェエルード「ジャステイスヒーローなど今片付けてやる。」

ドライージスとアヴェエルードが一緒になってかかり、五官王らに襲いかかった。

五官王、アレクサンドルス、マスターストレンジャー、ブラックレディ「!!」

敵の接近に対し、五官王は五感を感じして全身から波動を放ち、アレクサンドルスは両腕から光条ビームを放ち、マスターストレンジャーは両手に魔法陣を纏いながらビームを放ち、ブラックレディはキュアメタルブラックレディツインガンから強力な光線を放ち、ドライージスとアヴェエルードキマイラスとアクアキマイラスに攻撃した。

ドライージス（戦闘形態）「ぐわあっ!!」

アヴェエルード「何だ、こいつらは?!」

五官王「地獄界の十王であるわしの力はどうだ？」

マスターストレンジャー「我が魔術はどんな気分だ？」

アヴェルード「舐めた真似を。キマイラス、アクアキマイラス!!」

キマイラスとアクアキマイラスが同時にかかり、攻めてきた。

アレクサンドルス、ブラックレディ「!!」

アレクサンドルスが胴体から聖なる光条ビームを放ち、キマイラスとアクアキマイラスに攻撃した。ブラックレディがキュアメタルブラックレディアームソードで2匹に斬り込んだ。新たなジャステイスヒーローの力によって追いやられるDリージス、アヴェルード、キマイラス、アクアキマイラス。

ストライク「一気に決めるよ!!」

ストライク、シンシア、マジック、ジャックは五官王、アレクサンドルス、マスターストレンジャー、ブラックレディと一体化し、ストライクと五官王はストライク五官

フォーム、シンシアとアレキサンドルスはシンシアアレクサンドルスフォーム、マジックとマスターストレンジジャーはマジックストレンジジャーフォーム、ジャックとブラックレディはジャックブラックフォームへと一体化した。

ストライク五官フォーム「たあっ!!」

ストライク五官フォームが拳を繰り出しながらD r e i j sに喰らわし、蹴りで強く打ち込んだ。

シンシアアレクサンドルス「当たれ!!」

シンシアアレクサンドルスフォームが背中のキュアメタルアレクサンドルスミサイルランチャーで空中にいるキマイラスに攻撃した。

マジックストレンジジャーフォーム「はあっ!!」

マジックストレンジジャーフォームがアヴェルードの錬金術で形成した金属の獣を魔

術で使つて元の車に戻し、さらに掌から光線を放ち、アヴェルードに攻撃した。

ジャックブラックフォーム「!!」

ジャックブラックフォームがキュアメタルブラックレディツインガンでアクアキマイラスに射撃し、空中キックで打ち込んだ。

ストライク五官フォーム「一気に終わらせるよ!!」

4人は一気に終わらせるべく、必殺技を発動させた。

ストライク五官フォーム「プリキュア五官針山地獄!!」

シンシアアレクサンドルスフォーム「プリキュア・アレクサンドルスアームバスター!!」

マジックストレンジジャーフォーム「プリキュア・ストレンジジャーフレアエクスプローション!!」

ジャックブラックフォーム「プリキュア・ブラックレディクロスファイア!!」

4人はそれぞれ必殺技を発動して放ちながらD r i j sとアヴェルードとキマイラスとアクアキマイラスに喰らわした。だが、当たる直前にすぐに退去し、この場を立ち去った。

ストライク五官フォーム「逃げられたね。」

シンシアアレクサンドルスフォーム「でもこの世界は守れたね。」

敵は逃げられたが、無事世界を守る事は出来た。

移動中

パラレルワールド

次元空間

D r i j s「プリキュア、次は必ず……。」

次回 71話へ続く

第71話 オメガガティツト族再び

戦いばかりで疲れたアイカ達は次の世界であるリフレッシュワールドで休息を取っていた。

パラレルワールド

リフレッシュワールド

アイカ「戦いばかりだと疲れが溜まっちゃうね。」

はるな「たまには休むのもありだね。」

麗奈「休息は何をしていこうかな？」

咲耶歌「そうだね。」

海「せつかくの休みだから何をしていこうかしら？」

文「やる事があつて色々決められないわ。」

クレア「どんな事をしていこうかな？」

イゼル「休みは何していこうか。」

ライラ「何がいいかな？」

のどか「みんなが静かに過ごせるところがいいかな？」

ちゆ「静かに過ごすもいいかもね。」

ひなた「賑やか過ごしたいな。」

アスミ「どちらでもいいですわね。」

休暇を過ごす事に楽しむアイカ達。

移動中

パラレルワールド

次元空間

オメガティットマンアルデイステラ「プリキュアを倒しに行くぞ。」

レイディキータル「やけに張り切っているようだな。」

オメガティットマンアルデイステラ「プリキュアを倒して地球を我がオメガティット

族の手に取り戻すためにだ。」

ゴレイドス「俺達オメガティット族はかつては地球の支配者だった。」

ギアジャイアント「周りは俺達の力をただ恐れてマザー・ラパーパに追放された。」

ブリザーヘイル「追放された日々は宇宙で長い数万年の旅を経て来た。」

カリブーツマン「新しく着いた星で吾輩達の先祖は復讐するために力を強くなって蓄えて来た。」

オメガタイトマンアルデイステラ「我が先祖達を追放したラパーパ、そして今地球を取り戻すためにプリキュアを倒す!!」

レイディキータル「俺達はオメガタイト族は全宇宙と全パラレルワールドで最強だ。」

オメガタイトマンアルデイステラ「オメガタイト族の繁栄のために!!」

パラレルワールド

リフレッシュワールド

アイカ「何だか落ち着ける。」

リフレッシュワールドの人の疲れた心を癒すリフレッシュヒーリングで満喫するアイカ達。

はるな「凄く快適。」

麗奈「癒される。」

咲耶歌「心地よくて堪らない。」

海「戦いからの疲れを癒やされる。」

文「本当ね。」

クレア「こんな良い世界があるなんて良いわね。」

イゼル「そうだな。」

ライラ「何だか落ち着けるな。」

トットム「休みも取るのも大事だな。」

ペル「最近戦いばかりでしたからね。」

アーニヤ「休んで落ち着けますわ。」

のどか「こうして過ごすのも悪くないね。」

ちゆ「心が落ち着ける。」

ひなた「そうだね。」

アスミ「平和で休めるのも良いですわね。」

アイカ達が休息を過ごしている中、上空からオメガティットマンアルデイステラらが現れた。

一同「!!」

オメガティットマンアルデイステラ「見つけたぞ、プリキュア!!」

アイカ「あれはオメガティットマンアルデイステラ!!」

オメガティットマンアルデイステラ「久しぶりだったな、プリキュア。」

はるな「また現れに来たのね。」

オメガティットマンアルデイステラ「お前達を倒しにだ。」

咲耶歌「あたし達を倒す事ね。」

オメガティットマンアルデイステラ「地球を追放されたオメガティット族の復讐を果たすために!!」

海「あなた達も同じ地球人だったはずね？」

レイディキータル「俺達はお前達と同じ人間界の地球出身だ。俺達オメガティット族は強大でこの地球を築き上げて来て支配者となった。」

オメガティットマンアルデイステラ「だが、マザー・ラパーパの出現により俺達はマザー・ラパーパと戦ったが、奴の強さの前では叶わず、我らの先祖は民と共に地球を追われる事となり、地球を去らざる得なくなり、地球を去った。地球を去った先祖達は長い日々の旅をしながら新たな星を見つける事となった。着いた星でそこをオメガ

ティットマンの新たな星とし、その環境に対応すべく星を地球と同じ環境にし、オメガティット族は強く強大となるため日々鍛錬した。」

文「そんな事が……。」

ゴレイドス「俺達オメガティット族はマザー・ラパーパによつて追い出されて地獄を味わつた!!地球を再び俺達の物とする!!」

オメガティットマンアルデイステラ「俺達オメガティット族は地球を再び手にするためハデウスと手を組み、グローヴァリテイに入ったのだ。」

クレア「ハデウスに騙されないで!!ハデウスは利用する者は切り捨てる、仲間を大事にしない。」

オメガティットマンアルデイステラ「貴様に何がわかる。我らオメガティット族はハデウスの力がなければ復讐は成し遂げられなかつた!!」

レイディキータル「オメガティット族は悲願を果たすのみだ!!」

オメガティットマンアルデイステラ「プリキュア、ここで倒すのみだ!!」

オメガティットマンアルデイステラらは自分の悲願を果たすためにアイカ達にかかつた。

アイカ「相手は6人ならこっちも6人で行くよ!!」
はるな「行くよ。」

咲耶歌「任せて。」

海「オメガティット族と早期に終わらせないと。」

イゼル「とつとと決めてやる。」

ライラ「あああつ。」

アイカ、はるな、咲耶歌、海、イゼル、ライラはプリキュアに変身するため、キュアトフォンチェンジャーを出した。

アイカ、はるな、咲耶歌、海、イゼル、ライラ「プリキュア・チェンジアップ!!」

キュアトフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、咲耶歌、海、イゼル、ライラは全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼ

ンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、イゼルは衣装は中東風のグリーンのベリーダンス、ライラは中東風のマリードレスで、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

マジック「未来を切り開く勇気のパワー!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

アラム「切り裂く風、キュアアラム!!」

ジュール「荒ぶる大地、キュアジュール!!」

プリキュアになった6人はオメガティットマンアルデイステラら6人と6対6の対決をした。

ストライク「たあああああー!!」

ストライクがパンチでオメガティットマンアルディステラに殴り込んだ。ストライクの攻撃を背中の大きな手で防御して防いだオメガティットマンアルディステラ。

オメガティットマンアルディステラ「散れ!!」

オメガティットマンアルディステラが背中にある大きな手の5本指で握りながらストライクに殴り込んだ。

シンシア「えいっ!!」

シンシアが空中にいるレイディキータルに対し、ジャンプしながらキックでお見舞いした。

レイディキータル「やってくれたな。」

シンシアに向かって空中で体当たりするレイディキータル。

マジック「こっちよ!!」

ギアジャイアントを手品を使って挑発して走るマジック。

ギアジャイアント「待ちやがれ!!」

マジックを追うギアジャイアントがタックルでかかったが、マジックがジャンプしてかわした。

ジャック「えいつ!!」

ジャックがゴレイドスの周りを素早く駆けながらキックとパンチを繰り返していった。

ゴレイドス「洒落臭い!!」

ゴレイドスが両手を上げてジャックに叩き込んだ。

アラム「えいつ!!」

アラムがブリザーヘイルの右腕を持ち上げながら地面にぶち込んだ。

ブリザーヘイル「野郎!!」

ブリザーヘイルが片腕から氷結状のビームを放ち、アラムに攻撃した。

カリブーツマン「ぶちのめしてやる!!」

カリブーツマンがジュルフに向かってカリビアンサーベルで斬りかかった。

ジュルフ「!!」

カリブーツマンの攻撃をかわすジュルフ。

オメガティットマンアルデイステラ「貴様もなかなかやるようだな。」

ストライク「あなたも只者じゃないね。」

オメガティットマンアルデイステラ「ならば喰らうがいい、オメガティットスラツシユハンド!!」

オメガティットマンアルデイステラの両手に光状の刃を纏いながらストライクに斬りかかったが、

ストライク「!!」

オメガティットマンアルデイステラの攻撃をジャンプしてすぐにかわし、パンチで頭を強く殴った。

レイディキータル「マリエンゼーデルヒープ!!」

レイディキータルが背中にある羽根を刃のようにし、強力な斬撃をシンシアに向けたが、

シンシア「そこっ!!」

レイディキータルの羽根を目で見切って白羽取りをして受け止めたシンシア。

レイディキータル「受け止めただと?!」

シンシア「簡単にはやられないわ。」

レイディキータル「舐められたものだ。」

そう言いながら羽根に力を入れてシンシアを振り払ったレイディキータル。

ギアジャイアント「ギアブレイク!!」

ギアジャイアントがマジックを捕らえてつの歯車の中に挟もうとしたが、

マジック「そこっ!!」

マジックがギアジャイアントのギアとギアの間マジックステッキスピア杖モードを入れてギアを停止させた。

ギアジャイアント「お前何を?!」

マジック「ショーの始まりよ、マジックファイアアイス!!」

マジックがマジックステッキスピア杖モードで振りながら、ギアジャイアントのギアの間火と氷の螺旋状を出現して巻き付けて爆発させた。

ギアジャイアント「ぐわああああー!!」

ギアジャイアントに必殺技を喰らわせて火と氷の影響でギアジャイアントのギアに損傷させた。

ゴレイドス「ぶっ潰してやる、ゴレイパワープレス!!」

ゴレイドスが巨体を活かしながらジャックに向かって体当たりしかかった。

ジャック「そこっ!!」

ジャックが真上から体当たりしかかるゴレイドスにパンチで腹を殴り、突き飛ばした。

ゴレイドス「こいつ、俺の攻撃を・・・!!」

ジャック「あなたの攻撃は全部見切ったわ。」

ゴレイドス「いい気になるなよ!!」

ジャックに殴りかかるゴレイドス。

ブリザーヘイル「凍りつかせてやる、ブリザーヘイルブレス!!」

ブリザーヘイルが口から強烈な吹雪を吐いたが、

アラム「やらせるかよ!!」

アラムがアラムツインダガーから剣風で吹雪を斬り払った。

ブリザーヘイル「お前、只者ではないな。」

アラム「あたしらは伊達じゃないからな。」

カリブーツマン「トレジャーダイタリアウエーブ!!」

カリブーツマンが掌を地面に着けて、巨大な津波を起こしたが、

ジュルフ「させない!!」

ジュルフがジュルフハンマーで地面を叩いて地割れし、津波を地に落としたりした。

カリブーツマン「吾輩の技を破っただ?!」

ジュルフ「簡単にはやられる訳には行かないからな。」

ジュールフはカリブーツマンにジュールフハンマーで打撃した。オメガテイト族に圧倒するプリキュア達。

オメガテイトマンアルデイステラ「このままやられる訳いかん!!一族のために負けるわけにはいかんだ、地球を手にするまでは!!」

プリキュアに追い詰められたオメガテイトマンアルデイステラ一族のために、地球を再び手にするため全力で本気を出してかかり、ストライクにパンチで強く殴り、さらにレイディキータルと交戦中のシンシアの方に向かってキックで打ち込んだ。

マジック「ストライク!!」

ジャック「シンシア!!」

マジックとジャックがすぐに2人を助けにオメガテイトマンアルデイステラに挑むが、

オメガティットマンアルデイステラ「貴様らまとめてやる!!オメガティットアーマゲドンデストロイヤー!!」

オメガティットマンアルデイステラが背中にある大きな手でマジックとジャックを持ち上げたまま空中を飛んで、一気に急降下して地面にぶち込み、衝撃波を起こし、ストライク、シンシア、アラム、ジュールフにも喰らわした。

オメガティットマンアルデイステラ「我が力を思い知ったか!!オメガティット族が最強である事を!!」

ストライク「まだやられない!!」

オメガティットマンアルデイステラ「何?!」

オメガティットマンアルデイステラの必殺技を受けても倒れなかったストライク達。

シンシア「私達も負けるわけにはいかないの!!」

マジック「ハデユスを必ず倒すためにあたし達は必死で強くなったの!!」

ジャック「こんなところで負けるわけにはいかない!!」

アラム「あたしらだつてやらなきゃいけない事があるんだ!!」

ジュール「ハデユスを倒して平和を取り戻すためだ!!」

オメガテイトマンアルデイステラ「威勢がいいだけでは俺には勝てん、ならば死ぬがいい!!」

再びストライク達をまとめてかかるオメガテイトマンアルデイステラ。

ストライク、シンシア、マジック、ジャック「ヒーローライドジュエル!!」

ストライク、シンシア、マジック、ジャックはヒーローライドジュエルを使って変身し、ストライクはストライク五官フォーム、シンシアはシンシアアレクサンドルスフォーム、マジックはストレンジャーフォーム、ジャックはブラックフォームへと変わった。

オメガテイトマンアルデイステラ「蹴散らしてやる!!」

オメガティットマンアルデイステラが勢いでかかって4人に背中の手を握り拳にして殴りにかかった。

ストライク五官フォーム「はああああー!!」

ストライク五官フォームがパンチでオメガティットマンアルデイステラの巨大な拳とぶつかり合い、衝突した。

シンシアアレクサンドルスフォーム「プリキュア・アレクサンドルスホーリーミサイル!!」

シンシアアレクサンドルスフォームが背中にあるキュアメタルアレクサンドルスミサイルランチャーから聖なるミサイルを無数発射してオメガティットマンアルデイステラに喰らわした。

オメガティットマンアルデイステラ「貴様ら如きに!!」

攻撃を喰らいつつも怯まずに立ち、オメガテイトマンアルデイステラはシンシアアレクサンドルスフォームを掴み上げて投げ飛ばした。

マジックストレンジャーフォーム「プリキュア・ストレンジャーイリユージュントライアタック!!」

マジックストレンジャーフォームが3体の分身を形成して、敵に三角陣形で囲んで魔術を唱えて光線を放ち、オメガテイトマンアルデイステラに攻撃した。

オメガテイトマンアルデイステラ「やられてたまるか!! オメガテイトラツシユナツクル!!」

オメガテイトマンアルデイステラが両手から高速で繰り出す多連の拳でストライク五官フォーム達に喰らわした。

オメガテイトマンアルデイステラ「オメガテイトフィンガーストリング!!」

さらに続いて背中にある大きな手の5本指を突き出して来たが、

ジャックブラックフォーム「やらせない!!」

ジャックブラックフォームが前に出て、オメガティットマンアルデイステラの指を掴みながら持ち上げて地面にぶつけた。

オメガティットマンアルデイステラ「うぐうっ!!」

ジャックブラックフォームに地面にぶつけられたオメガティットマンアルデイステラはすぐ立ち上がり、4人に攻撃にかかった。

ストライク五官フォーム「はあああああー!!」

ストライク五官フォームが飛び蹴りでオメガティットマンアルデイステラにお見舞いし、ジャックブラックフォームと一緒に必殺技を発動した。

ストライク五官フォーム「プリキュア・五官針心拳!!」
ジャックブラックフォーム「プリキュア・ブラックレディアツパーブレイク!!」

ストライク五官フォームが自身の五感を感じて獄気を集中しながらピンクの光状の針を纏い、ジャックブラックフォームが右手に獄気を集中してブルーの光状を纏いながら敵に捻りながら飛び上がりながらアッパーカットでオメガテイトマンアルデイステラを同時に殴り込んだ。

オメガテイトマンアルデイステラ「ぐわああああー!!」

2人の同時必殺技を喰らってやられたオメガテイトマンアルデイステラ。

レイディキータル、カリブーツマン「アルデイステラ!!」

レイディキータル達がアルデイステラの元に駆けつけにかかり、彼を守り始めた。

ギアジャイアント「アルデイステラには手は出させん!!」

ブリザーヘイル「アルデイステラはオメガティット族の希望だ!!」
ゴレイドス「アルデイステラの命は俺らが守る!!」

オメガティットマンアルデイステラ「お前達。」

ストライク五官フォーム「これだけあなたが仲間から慕われてるんだね。」

オメガティットマンアルデイステラ「プリキュア。」

ストライク五官フォーム「あなたから悪意を感じられない、ただ必死で一族を想う事があるね。」

オメガティットマンアルデイステラ「俺はオメガティット族を地球を取り戻すためにだ。」

ストライク五官フォーム「一緒に人間界へ暮らそう、そうすれば……。」

オメガティットマンアルデイステラ「断る、俺達オメガティット族はグローヴァリテイの一員で入っている、お前達と仲良くする事は出来ない。オメガティット族を見捨てるわけにも行かない。」

ストライク五官フォーム「……。」

オメガティットマンアルデイステラ「俺達はオメガティット族とグローヴァリテイの為に尽くす。」

プリキュア達と共存する事は出来ず、仲間達と共にそのまま立ち去るオメガティットマンアルデイステラ。

ストライク五官フォーム「オメガティットマンアルデイステラ。いつか分かり合えるのかな？」

彼らと分かり合える日を望むプリキュア達。

次回 72話へ続く

第72話 未来的な世界

ド。次の世界へ辿り着いたアイカ達。着いた世界は未来的な都市、センチュリーワールド。

パラレルワールド

センチュリーワールド

都市

アイカ「ここが次の世界。」

はるな「未来的な街ね。」

麗奈「あらゆる技術が発展し、進んでいるようね。」

咲耶歌「街の人達の姿が普通じゃないね。」

海「何か機械の様なのを着けてるね。」

文「何だろう。」

クレア「それにロボットもいっぱいいるみたいね。」

イゼル「この世界は一体なんだ？」

ライラ「普通とは思えないな。」

のどか「何だかあまりいいところではないみたいね。」

ちゆ「そうみたいね。」

ひなた「いい感じではなさそうですね。」

アスミ「何か裏があるかも知れませんかね。」

センチュリーワールドの人々が機械の様なのを着けたり、ロボットがあちこちいる事で、何やら普通とは思えない光景だった。

センタータワー

ラスフェックター「プリキュアも既に来おったか。」

アゼール「奴らはこの世界の秘密を知ったら驚愕するだろうな。」

ロークット「人間が肉体解放され、その魂を機械に移す。さらに肉体を改造、仮想空間による偽りの世界の満喫。」

ブランバグ「馬鹿共が知らずに楽しむね。」

ラスフェックター「さあどうなるかだ。」

プリキュアの存在を察知し、センチურიワールドが悍ましい世界である事で、企みをするラスフェクター達。一方、都市を回り続けたアイカ達は、何やら仮想空間が入れる施設を見つけた。

サイバービルディング

アイカ「ここは？」

はるな「何か気になるね。」

咲耶歌「あまり良いとは言えないみたいね。」

海「それに何だろうあれは？」

寝台のようところに人がいて頭に何かのような物が着けているのを見るアイカ達。

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「あれは仮想空間か。」

アイカ「知っているの？」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「コンピューターネットワーク上の仮想的な空間やコンピューターが作り出した人工的な環境だ、偽りの世界だ。」

麗奈「幻と同じね。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「グローヴァリテイなら必ずやりかねない。」

はるな「グローヴァリテイが何を企んでいるかね。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「地獄で修行したアイカ達なら肉体ごと仮想空間に入り込む事が出来る。」

アイカ「地獄で修行した成果を見せて行こう。」

アイカ達は地獄界の修行で身に付いた自身の肉体ごと空間に突入し、仮想空間に入り込んだ。

仮想空間

アイカ「このまま入れるなんて修行した成果もあつたね。」

はるな「仮想空間、何か不気味ね。」

麗奈「現実世界と似ているが、全く生気を感じられない。」

仮想空間は現実世界と似ているが、ここは作られた空間だ。目の前にあるのが現実世界にはないものがあり、あらゆるものがあつた。

咲耶歌「楽しそうにしてるね。」

海「ただ何も気付かずに過ごしているね。」

アイゼンアロイス（ヒーローライドジュエル）「無知が多いようだな。」

仮想空間にいる人々は何も疑問に思わず過ごしており、ここが偽りの世界であると言
う事に。アイカ達は仮想空間にいる人々に声をかけた。

アイカ「ねえ。」

男性1「何だよ一体？」

アイカ「今すぐここをやめよう。」

男性2「邪魔するなよ、せっかく楽しんだ世界だって言うのに文句あるのか?！」

女性1「そうよ、そうよ、私達は楽しく過ごしたいのよ。」

アイカ達が説得をするが、耳を傾けず聞く耳を持たずにいた。

はるな「この人達、気付いてないみたいね。」

麗奈「こうなったら気除明点を使うしかないね。」
アイカ「任せて。」

仮想空間から過ごす人々が離れようとしなかったためアイカは斯くなる手段は気除明点を使う事にし、アイカは獄気を放ちながら、仮想空間そのものを解除した。

サイバービルディング

男性Ⅰ「なっ、何だ?!」

仮想空間にいた人々がアイカの気除明点によつて解除されて目覚め、さらにその装置を壊れてしまった。

咲耶歌「目が覚めたみたいだね。」

文「そろそろ敵が来るみたいね。」

彼女達の前にグローヴァリテイの兵達が一斉に集まって囲んだ。

イゼル「敵のお出迎えだ。」

ラプトソルジャー「見つけたぞ!!」

ゴブリオン「プリキュア!!」

クレア「雑魚はすぐに片付けてやる。」

グローヴァリテイの兵達を相手に戦うアイカ達。雑魚兵達を素手で次々と殴り、直ぐに片付けた。そのまま突き進むアイカ達はセンタータワーへ向かった。

センタータワー

アイカ「ここだね。」

センタータワーに辿り着いたアイカ達。そこにラスフェック達待ち受けていた。

ラスフェック「良くぞ来た、プリキュア達よ。」

一同「ラスフェック!!」

ロークット「ワシらの目的が気付いたかね?」

アゼール「人間管理計画を。」

クレア「人間を仮想空間や機械の様なを着けていたのは……!!」
アイゼンバーグ「機械の様なを着けていたのは人間の機械化さ、あらゆる力を発揮し、全てにおいて解放、機械化された人間を管理。」
のどか「酷い。」

ラスフェックター「ワシらによる支配のためにな。」

イゼル「お前らみたいなのが気に食わねんだよ。」

ライラ「お前らだけはこの手で始末する。」

ロークツト「ワシらの相手はこいつらじゃ。」

ラスフェックターらが用意した数機のメガメタルザウルマシンが現れ、ラスフェックターはすぐにこの場を立ち去った。

麗奈「待て!!」

はるな「今はこいつらを先に倒さないと!!」

アイカ達はすぐにプリキュアに変身し始めた。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「プリキュア・チェンジアアップ!!」

キュアアトフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラは全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアップ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルクハットを着用し、クレアは髪型がパープルのロングカット、衣装はMHのブラックの似たスカート丈の短いドレスとスパッツで、イゼルは衣装は中東風のグリーンのベリールダンス、ライラは中東風のマリードレスで、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気のパワー!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

ミステイク「神秘の戦士、キュアミステイク!!」

アラム「切り裂く風、キュアアラム!!」

ジュール「荒ぶる大地、キュアジュール!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミステイク、

アラム、ジュール「フューチャーフォースプリキュア!!」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミらもプリキュアに変身するためパートナーの妖精達と一緒に変身し、ラビリン、ペギタン、ニャトランはヒーリングステッキとなり、ラテはアスミに抱かれた。

ラビリン、ペギタン、ニャトラン、ラテ「スタート!!」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミ「プリキュア・オペレーション!!」

のどか、ちゆ、ひなたはヒーリングステッキ、アスミはラテにエレメントボトルを装着させた。

ラビリン、ペギタン、ニャトラン「エレメントレベル上昇!!」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミ「キュアタッチ!!」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミは肉球を触れながら白衣を纏いそれがコスチュームに変化して変身する。

グレース「重なる2つの花!!キュアグレース!!」

ラビリン「ラビ!!」

フォンテーヌ「交わる2つの流れ!!キュアフォンテーヌ!!」

ペギタン「ペエ!!」

スパークル「溶け合う2つの光!!キュアスパークル!!」

ニヤトラン「ニヤ!!」

アース「時を経て繋がる2つの風!! キュアアース!!」

ラテ「ワン!!」

グレース、フォンテーヌ、スパークル、アース「地球をお手当て!! ヒーリングつどプリキュア!!」

変身した2チームのプリキュアが数機のメガメタルザウルマシンに挑んだ。

一同「はあああああー!!」

ストライク達が一斉パンチして殴り込んだ。メガメタルザウルマシンが頭部の額からレーザー砲を放ち、攻撃した。

ミスティック「こんな鉄屑!!」

ミスティックがメガメタルザウルマシンに空中キックで頭部の額に喰らわし、ミスティックサークルザンバーで斬りつけた。

アラム「こうしてやるよ!!」

ジュール「あああつ!!」

続いてアラムとジュールが連携を取ってメガメタルザウルマシンの左右から挟んでいき、アラムがアラムツインダガーで斬りつけていき、最後にジュールがジュールハンマーでメガメタルザウルマシンの頭上に叩き込んで破壊した。

マジック「行くよ!!」

マジックがメガメタルザウルマシンにシルクハットを投擲して、トランプを数枚出して正面から投擲して刺し、爆発させた。

ジャック「次行くよ!!」

続いてジャックがジャックステッキスパア杖モードでメガメタルザウルマシンに叩き込んだ。

クイーン「トドメ!!」

最後にクイーンがキュアブレイカーで射撃し、メガメタルザウルマシンを破壊した。

グレース「3人共行くよ。」

フォンテーヌ「えええつ。」

スパークル「任せて。」

グレース、フォンテーヌ、スパークルがメガメタルザウルマシンを3方向から囲んでいき、真つ向からグレース、右横からフォンテーヌ、左横からスパークルがヒーリングステッキで光線を放ち、メガメタルザウルマシンを転倒させ、アースがドロップキックでお見舞いして破壊した。

ストライク、シンシア「たあああああー!!」

ストライクとシンシアが同時に空中キックでメガメタルザウルマシンにお見舞いし

た。

フェッター「これで終わり!!」

最後にフェッターがキュアカタナテップウ刀モードを両手に持って力を入れてメカメタルザウルマシンを一刀両断した。まだもう2機いたメカメタルザウルマシンがプリキュア達に両肩の4連ミサイルランチャーで攻撃した。

ストライク「一気に決めるよ!!」

ストライク、シンシア、フェッター、クイーンはヒーローライドジュエルを出して変身し、ストライクアイゼンフォーム、シンシアフェアールフォーム、フェッター光陰命、クイーン大和丸フォームへとなって、必殺技を発動した。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンサンシャインバスターショット!!」

シンシアフェアールフォーム「プリキュア・フェアールバスターテンペスト!!」

フエッター光陰命フォーム「プリキュア・光陰命天滅令光!!」
クイーン大和丸フォーム「プリキュア・大和双刃破撃!!」

4人が必殺技を同時に発動しながらメカメタルザウルマシンに喰らわし、破壊した。メカメタルザウルマシンを全て破壊し、機械に支配された人々を解放した。

アイカ「本当に悍ましかった。」

はるな「あんなのは吐き気がするよ。」

麗奈「グローヴァリテイ。」

センチュリーワールドを機械から解放したアイカ達。グローヴァリテイの野望は簡単に潰れない。

パラレルワールド

グローヴァリテイフォートレス

ゼシウス「私がそろそろ動くとするか。そして亜苦羅のゴウガイもだ。」

ゼシウス、ついに動く。

パラレルワールド

亜苦羅

ゴウガイ「俺も動くか。」

謎の巨大な姿をした人物、ゴウガイ。

次回 73話へ続く

設定16

グローヴァリテイ

ゼシウス（戦闘形態）

ゼシウスの戦闘形態。全身にウロボヌスメイルを纏い、頭部にウロボヌスヘッドアーマーを装着し、両腕にウロボヌステイルウィップがあり、背中にウロボヌスリングがある。次元の穴や瞬間移動を得意とした戦いをし、相手の行動も読み切ったりする。その実力はレヴォリユードの次ぐ実力を持つ。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

マジンボーンのダークウロボロスを元に

必殺技

ウロボロスワームシユート

ゼシウスの必殺技。空間の穴を出現して穴から光線を放ち、敵全体に攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ウロボロスヴァイパーウィップ

ゼシウスの必殺技。両腕のウロボヌステイルウィップを伸ばして鞭のように振るい

ながら敵を攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ウロボロスワープアタック

ゼシウスの必殺技。瞬間移動で敵にキックで打ち込み、続いて再び瞬間移動で敵にパンチし、最後に光線を放ち、攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ウロボロスワームスラッシュャー

ゼシウスの必殺技。背中にあるウロボヌスリングを外して空間の穴に入れて、各方向からウロボヌスリングをシュートして敵全体に攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ウロボロスワームバスター

ゼシウスの必殺技。背中にあるウロボヌスリングを外して正面に置き、リングから巨大な光状の蛇を放ち、敵全体に攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響

響は一切受けない。

ゴウガイ

ハデユスの2皇魔の1人。種族は超人、10m?の巨大な体格の故に頭に角を生やし、その実力はとてつもなく高くハデユスに次ぐ戦闘力を持ち、その実力は宇宙艦隊全体や惑星とパラレルワールド1000個分を滅ぼす力を持ち、肉体はかなり頑丈で傷一つも付かない。配下と共に亜苦羅を侵略して支配し、亜苦羅にいくつかの兵器工場を建て、民を隷属として強制労働させ、グローヴァリテイの全世界全宇宙支配を目指してる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ワンピースのカイドウを元に

必殺技

覇豪烈拳

ゴウガイの必殺技。巨大な拳で敵にお見舞いし、衝撃波を起こして敵全体に喰らわす。その威力は1発で瞬殺する力を持つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

覇豪烈波

ゴウガイの必殺技。口から強烈な雄叫びを咆哮し、敵全体に響かせて衝撃波を起こし

て喰らわす。その威力は宇宙艦隊全体や惑星とパラレルワールドを滅ぼす威力を持つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ジャイアントレア

ハデユスの2皇魔の1人。種族は超人、50代の女性の様な外見で、9m?の巨大な体格で肥満体に見えるが、全身が筋肉の塊で、その実力はゴウドウと同じ宇宙艦隊全体や惑星とパラレルワールド100個分を滅ぼす力を持ち、肉体はかなり頑丈で傷一つも付かない。配下もいくつかおり、自分に楯突く者は容赦なく死を下す、冷酷無慈悲な性格である。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ワンピースのビツクママを元に

必殺技

レアドクラツシユパンチ

ジャイアントレアの必殺技。強烈な巨大な拳でストレートで敵を殴り、衝撃波を起こして敵全体に喰らわす。その威力は1発で瞬殺する力を持つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

レアドビームブラスター

ジャイアントレアの必殺技。口から強烈なビームを放ち、敵全体に攻撃する。その威力は宇宙艦隊全体や惑星とパラレルワールドを滅ぼす威力を持つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

コカビエラス

ゴウガイの腹心。種族は悪魔、背中に漆黒の翼を生やし、全身にレザー製のダブルスーツを着用し、武器は空魔刀、剣術も得意とする。かなりの実力でもある。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ワンピースのキングを元に

必殺技

空飛速斬

コカビエラスの必殺技。漆黒の翼を羽ばたいて高速で駆けながら敵全員に斬撃する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

空飛烈斬

コカビエラスの必殺技。空魔刀に風状を纏いながら斬撃する。全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ゴウガイ兵

ゴウガイの兵士。衣装は世紀末風のファッションをし、武器は棍棒、剣、槍、銃であり、戦闘力は高く、略奪や殺戮を非常に楽しんでいる。

ジャイアントレア兵

ジャイアントレアの兵士。衣装はトランプの絵柄が着いた兵服で、武器は槍、魔法も使える。戦闘力は高く、略奪や殺戮を非常に楽しんでいる。

第73話 トロピカルージュプリキュア

次の世界へ来たアイカ達は、着いた世界はトロピカルージュプリキュアの世界だ。

パラレルワールド

トロピカルージュプリキュアの世界

あおぞら市

アイカ「ここがトロピカルージュプリキュアの世界。」

はるな「ここにトロピカルージュプリキュアがいるみたいね。」

咲耶歌「海が広いね。」

海「まるで南国みたいなどころね。」

のどか「どんなプリキュアだろう。」

ちゆ「トロピカルージュプリキュアは誰が誰なのかな？」

ひなた「早く会って行きたいな。」

アスミ「私達と同じプリキュアであるといいですわね。」

トロピカルージュプリキュアが探しに行くアイカ達は街へと向かった。

商店街

アイカ「街も賑やかだね。」

麗奈「街の人達がそれだけ明るくて元気みたいね。」

文「不自由そうでハキハキしてるね。」

街の人々が明るくて元気でいて、何不自由もなく過ごしており、街の人々が賑やかでいた。

クレア「何があるかな？」

イルゼ「折角だし、何か寄って行こう。」

ライラ「あああつ。」

商店街の店に寄って見物するアイカ達。色々店を周っていくアイカ達。近くにあったコスメ店に寄った。

Pretty Holic

麗奈「この町にこんな店があつたんだ。」

クレア「コスメを扱っている店だね。」

ライラ「何かやってみたいな。」

さんご「もしかしてメイクに興味があるの？」

3人の前にさんごがやって来た。

海「あなたは？」

さんご「私はさんご、母がこの店のメイクを経営してるのよ。」

イゼル「珍しいな。」

アスミ「コスメの店ですか？」

さんご「そうだよ、メイクもやってるよ。」

ライラ「メイクか。」

さんご「もしかしてメイクをやったことがないの？」

イゼル「そうよ……。」

ライラ「やった事がないな。」

さんご「もし良ければ私がメイクしてあげるよ。」

メイクを1度もした事がないイゼルとライラはさんごにメイクしてもらおう事になり、彼女に顔をメイクし、2人の顔は綺麗になった。

イゼル、ライラ「……………」

咲耶歌「綺麗。」

文「2人共変わってるね。」

さんご「似合ってるでしょ。」

さんごにメイクしてもらったイゼルとライラの顔が綺麗になり、とっても似合った。

イゼル「生まれて初めてだな。」

ライラ「そうだな。」

さんご「気になってくれてありがとう。」

さんごのメイクを気になったイゼルとライラ。そこでまなつとローラとみのりとあす

かがやって来た。

まなつ「さんご。」

さんご「まなつ。」

あすか「客人か？」

みのり「珍しい人ね。」

ローラ「どんな人かしら？」

アイカ「この人達は？」

まなつ「私の名前は夏海まなつ。」

みのり「私は一之瀬みのり。」

あすか「あたしは滝沢あすか。」

ローラ「私はローラ＝ラメールよ。」

アイカ「まなつさんと言うんだ。」

まなつ「私達はいつもトロピカってるの。」

海「トロピカってる？」

あすか「あたし達5人はトロピカる部でいつも活動してるさ。」

麗奈「トロピカる部？」

ローラ「学園生活を楽しく過ごすための部活よ。」

文「学校生活を楽しくする事ね。」

のどか「楽しそうにする事が活動なんだね。」

まなつ「いつだって楽しくして行く事が私達の活動なんだ。」

ひなた「いつも明るいね。」

まなつ達5人はトロピカル部で学園生活を楽しくするために活動し、いつも明るくて元気で楽しく過ごしている。

咲耶歌「楽しそうだね。」

ちゆ「いつも5人で活動されてるのね。」

さんご「5人で一緒に学園生活を楽しくしてるの。」

アイカ「学園生活か。」

ローラ「あなた達は学園生活を楽しんでるの？」

アイカ「あたし達は色々と・・・。」

あすか「何か訳がありそうみたいだな。」

まなつ「何か楽しいことしてみない？」

麗奈「楽しい事？」

まなつ「一緒にトロピカっちゃおう。」

咲耶歌「何だか面白そうね。」

トロピカル部の活動に興味津々で参加する事にしたアイカ達。

移動中

パラレルワールド

次元空間

ゼシウス「そろそろ私達が動く時のようですね。」

ゴウガイ「プリキュアか。」

ゼシウス「ここ負けて来た分あなた方の力が必要になって来たからですよ。」

ジャイアントレア「プリキュア、どんなに強いのか楽しみだな。」

ゼシウス「プリキュアはアルデイステラを凌いただけの力があると。だがあなた方が人が動いた今プリキュアを倒す事は可能だと。」

ゴウガイ「今、コカビエラスと忍里丸を先に向かわせた。」

ゼシウス「先発隊か。」

ジャイアントレア「早く着くといいなあ。」

忍び寄る魔の手が迫ろうとしていた。ゴウガイとジャイアントレア、只ならぬ実力を持ち、その力は一体。

パラレルワールド

トロピカルージュプリキュアの世界

あおぞら市

まなつ「楽しかったー。」

アイカ「トロピカル部は楽しい事を活動して行くような感じだね。」

はるな「元気が溢れて楽しく盛り上がったね。」

のどか「そうだね。」

トロピカル部の活動をしたアイカ達は楽しく過ごし、元気も溢れて明るい気分になった。街から騒ぎ声があった。

「わあああああー!!」
「!!」

急いで街へと駆け付けに向かったアイカ達。街で世紀末風のファッションをした者達の集団が暴れていた。

ゴウガイ兵「ヒヤッハー、暴れてやるぜ!!」

武器などを使用して破壊活動を行う世紀末風のファッションをした者達。

クレア「何あれ?!」

文「あれもグローヴァリテイなの？」

麗奈「……」

咲耶歌「麗奈さん、どうしたんですか？」

麗奈「何でもないわ、とにかく行きましょう。」

直ぐに街で暴れている世紀末風のファッションをした者達の集団を倒しに行くアイ

カ達。

アイカ「たあああつ!!」

パンチやキックで世紀末風のファッションをした者達の集団を次々と撃退するアイカ達。

まなつ「凄い……。」

アイカ達9人が生身で戦っている姿に共感するまなつ達4人。

ゴウガイ兵2「何だこいつ、強いぞ!!」

ゴウガイ兵3「いい気になりやがって!!」

アイカ達9人に一齐に攻めかかる世紀末風のファッションをした者達。

海「お見通しよ!」

そのまま返り討ちにして1人足らず倒したアイカツ達9人。

コカビエラス「お前達の相手をしてやろう。」

アイカ達の前に世紀末風のファッションをした者達の集団のリーダーと思われるコカビエラスと忍里丸が現れた。

アイカ「忍里丸!!」

咲耶歌「それに誰なの?」

コカビエラス「俺はコカビエラス、ゴウガイ様の片腕だ。」

麗奈「!!」

コカビエラスの口からゴウガイと言う言葉に反応した麗奈。

忍里丸「プリキュア、久々だったな!!」

コカビエラス「どれほどの実力か貯めさせて貰おう。」

アイカ「みんな、変身するよ。」

コカビエラスと忍里丸と対決するためプリキュアに変身し始めた。

アイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラ「プリキュア・チェンジアツプ!!」

キュアアートフォンチェンジャーで、プリキュアに変身し始めたアイカ、はるな、麗奈、咲耶歌、海、文、クレア、イゼル、ライラは全身を光に纏い、髪型と服装を一新し、アイカは髪型が金髪のツインテール、衣装がピンクの主体と細かい部分は黒と白のカラーリングのドレスとなり、はるなは髪型がピンクのロングヘア、衣装が赤主体と細かい部分は白と緑のカラーリングのドレスとなり、麗奈は髪型は紫のサイドアツプ、衣装は紫一色の和服風のドレスとなり、咲耶歌は髪型はピンクのポニーテールとなり、衣装はマゼンタと黒のカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、頭にシルクハットを被り、海は髪型は青いセミロングとなり、衣装はブルーのカラーリングの燕尾服に似たドレスを着用し、文は髪型が両側に紅色のリボンが結ばれた黄金色のツインテール、衣装はイエローとパープルと紅色のカラーリングの燕尾服に似た和服風のドレスで、頭にシルク

ハットを着用し、クレアは髪型がパープルのロングカット、衣装はMHのブラックの似たスカート丈の短いドレスとスパッツで、イゼルは衣装は中東風のグリーンのベリードダンス、ライラは中東風のマリードレスで、プリキュアとなった。

ストライク「愛溢れる愛情、キュアストライク!!」

シンシア「穏やかな優しさ、キュアシンシア!!」

フェッター「正義の剣、キュアフェッター!!」

マジック「未来を切り開く勇気のパワー!! キュアマジック!!」

ジャック「未来へ導く希望の光!! キュアジャック!!」

クイーン「未来を信じる誠実の心!! キュアクイーン!!」

ミスティック「神秘の戦士、キュアミスティック!!」

アラム「切り裂く風、キュアアラム!!」

ジュール「荒ぶる大地、キュアジュール!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン、ミスティック、

アラム、ジュール「フューチャーフォースプリキュア!!」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミらもプリキュアに変身するためパートナーの妖精達と

一緒に変身し、ラビリン、ペギタン、ニャトランはヒーリングステッキとなり、ラテはアスミに抱かれた。

ラビリン、ペギタン、ニャトラン、ラテ「スタート!!」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミ「プリキュア・オペレーション!!」

のどか、ちゆ、ひなたはヒーリングステッキ、アスミはラテにエレメントボトルを装着させた。

ラビリン、ペギタン、ニャトラン「エレメントレベル上昇!!」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミ「キュアタッチ!!」

のどか、ちゆ、ひなた、アスミは肉球を触れながら白衣を纏いそれがコスチュームに変化して変身する。

グレース「重なる2つの花!!キュアグレース!!」

ラビリン「ラビ!!」

フォンテーヌ「交わる2つの流れ!! キュアフォンテーヌ!!」

ペギタン「ペエ!!」

スパークル「溶け合う2つの光!! キュアスパークル!!」

ニャトラン「ニャ!!」

アース「時を経て繋がる2つの風!! キュアアース!!」

ラテ「ワン!!」

グレース、フォンテーヌ、スパークル、アース「地球をお手当て!! ヒーリングつどプリキュア!!」

変身した2チームのプリキュア。

まなつ「ちよつと待ったー!!」

一同「?!」

まなつ「ちよつとあなた達がプリキュアなら私達もプリキュアに変身するよ。」

ストライク「まなつさん。」

ローラ「私達もただ何もする訳にもいかないわね。」

あすか「見せてやろう。」

さんご「私達5人の戦いを。」

みのり「変身していこう。」

まなつ「じゃあ行くよ。」

まなつ達5人はプリキュアに変身するためそれぞれの変身アイテムを出し、パクトを開けた。

まなつ、さんご、みのり、あすか、ローラ「プリキュア!!トロピカルチェンジ!!」

まなつ「チーク!!」

さんご「アイズ!!」

みのり「ヘアー!!」

あすか「リップ!!」

ローラ「ドレス!!」

プリキュアに変身するまなつ、さんご、みのり、あすか、ローラはメイクし、髪型、衣装もチェンジした。

サマー「今日も元気だ!!」

サマー、コーラル、パパイヤ、フラミンゴ、ラメール「トロピカルージュプリキュア
!!」

まなつ達5人もプリキュアに変身し、彼女達がトロピカルージュプリキュアだった。

ストライク「あなた達がトロピカルージュプリキュア?!」

サマー「そうだよ、私達がトロピカルージュプリキュアだよ。」

グレース「偶然だね。」

マジック「運命的だね。」

サマー「じゃあ行くよ!!」

3チームの共闘でコカビエラスと忍里丸に挑んだ。

コカビエラス「お前達かかれ!!」

兵達に命令して向かわせるコカビエラス。

ゴウガイ兵4「ヒヤッハー、死ぬ!!」

槍で突き刺しにかかったゴウガイ兵の集団。

コーラル「ペケ!!」

コーラルがペケシールドで攻撃を防いだ。

ミステイック、ジュール、アラム、アース「たああああー!!」

ミステイック、ジュール、アラム、アースがキックでゴウガイ兵を蹴散らした。

ジャック、クイーン、フォンテーヌ、スパークル、ラメール、パイヤ、フラミンゴ

「はああああー!!」

ジャック、クイーン、フォンテーヌ、スパークル、ラメール、パイヤ、フラミンゴがゴウガイ兵の大軍に挑んで一気に次々と蹴散らした。

忍里丸「火遁の術!!」

忍里丸が片手から炎を放つが、フェッターが素手で薙ぎ払った。

フェッター「お前の攻撃、お見通しよ!!」

忍里丸「ならばこれはどうだ!!」

忍里丸が身に付けている鎧の忍影鎧でステルス機能を使って姿を消してシンシア、フェッターに見えない攻撃でかかったが、

シンシア「そんなのはお見通しよ!!」

シンシアが気心能捜で姿を消した忍里丸を感知して見破り、すぐにパンチでお見舞いした。

忍里丸「見破つただと?!

フェッター「もうあんたじゃ私達には勝てない!!」

忍里丸「小癪な!!」

手裏剣を多数投げてシンシアとフェッターに攻撃する忍里丸。

シンシア、フェッター「はあああああー!!」

シンシアとフェッターが手裏剣を薙ぎ払い、忍里丸にパンチで喰らわした。

コカビエラス「散れ!!」

コカビエラスが空を飛びながらストライク、マジック、グレース、サマーに空魔刀で斬りかかった。

ストライク「!!」

ストライクがキュアブレードマグナム銃モードでコカビエラスの翼に射撃し、撃ち落としたが、コカビエラスが身体を反転して、ストライクにキックでお見舞いした。

コカビエラス「この俺を簡単に撃ち落とすとは只者ではないな。」

ストライク「かなり手強そうね。」

コカビエラス「ならばこれを喰らうがいい、空飛烈斬!!」

コカビエラスが空魔刀に風状を纏いながらストライクに斬撃する。ストライクはキュアブレードマグナム剣モードで受太刀し、防いだ。

サマー「プリキュア・おてんとサマーストライク!!」

サマーがハートルージュロッドを召喚し、リップにキスをして、ハートを作り出し息を吹いて膨らませてエネルギーの太陽を作り出し、ジャンプしてハートルージュロッドを突き刺しながらコカビエラスに投げた。

コカビエラス「むう!!」

コカビエラスが空魔刀でエネルギーの太陽を斬り払った。

マジック「プリキュア・マジックイリユージョンスピア!!」

マジックがマジックステッキスピア槍モードに獄気を集中しながらマゼンタの発光をしながら、無数の槍を形成して、コカビエラスに降り注いだ。コカビエラスは空魔刀で無数の槍を斬り払った。

コカビエラス「俺を舐めるな!!」

翼を飛ばたきながら素早くかかって空魔刀でストライク、マジック、グレース、サマーをまとめて斬撃した。

グレース「強い!!」

コカビエラス「俺は簡単にやられる訳にはいかないんだよ。」

ストライク「じゃあこれなら!!」

ストライクが瞬間移動してコカビエラスの頭上に現れてパンチするが、コカビエラスがパンチでストライクのパンチをブロックした。激しい戦いを繰り返す中、上空から次元の穴が開いた。

一同「!!」

次元の穴から巨大な2体と1アーマーを纏った1人が現れた。

フェッター「あつ、あああつ……!!」

突如1人の巨大な人物を見て震え出すフェッター。

シンシア「フェッター!!」

ゴウガイ「こいつらがプリキユアか。」

ジャイアントレア「ちっちえじゃねえか。」

ゼシウス（戦闘形態）「お目にかかるな。」

巨大な2体はゴウガイとジャイアントレア、もう1人はゼシウスだ。

次回 74話へ続く

第74話 2 皇魔の力

突如現れたグローヴァリテイのゴウガイとジャイアントレアとゼシウス。

トロピカルージュプリキュアの世界

あおぞら市

ゴウガイ「プリキュア、どんな程度か。」

ジャイアントレア「どいつから殺せばいいか？」

ゼシウス「ヒーリングつとプリキュアとトロピカルージュプリキュアの力を奪わなければならぬな。」

ジャック「グローヴァリテイの新手ね!!」

フェッター「・・・。」

クイーン「フェッター？」

3人の姿に対し、特にゴウガイの姿を見て表情を変えたフェッターはそのままゴウガイに向かった。

フェッター「ゴウガイいいいいー!!」

ゴウガイに向かったフェッターが激しい感情を見せながらキュアカタナテツポウ刀モードで斬りかかった。

ゴウガイ「ん？」

迫り来るフェッターの攻撃を巨大な拳で受け止めたゴウガイ。

ゴウガイ「何だ貴様は？」

フェッター「お前に忘れたとは言わせない、お前が亜苦羅を攻めて光川家を滅ぼした事を!!」

ゴウガイ「貴様は光川家の生き残りか？てつきり光川家の息子だけだと思ったが。」

フェッター「弟はどうしてる!!」

ゴウガイ「さあな。」

そう言いながらフェッターを押し返すゴウガイ。

アラム「どうなっているの？」

シンシア「フェッターは亜苦羅がどうこうだと言っていたよ。」

ジュールフ「彼女は亜苦羅出身とすることか。」

フェッターが亜苦羅出身だと言う事に気付く一同。

フェッター「はああああー!!」

フェッターがゴウガイに斬撃をするが、

ゴウガイ「こんな程度で俺を倒せると思うな!!」

巨大なパンチで思いつきりフェッターに殴り込み、全身に大きく喰らいながら飛ばされて、建物に衝突し、戦闘不能になった。

一同「フエッター!!」

ジャイアントレア「あたしもやらせて貰うぞ。」

ジャイアントレアがストライク達の前に現れて殴りかかった。すぐにかわしたストライク達。

ゼシウス「私もやらせて貰おう。」

ゼシウスが戦闘形態へと変身し、ストライク達に掌から光弾を放った。

ゼシウス（戦闘形態）「ウロボロスワームシユート!!」

ゼシウスが空間の穴を出現して穴から光線を放ち、ストライク達に攻撃した。

一同「うっ!!」

ゼシウスの攻撃を喰らったストライク達。

ゼシウス（戦闘形態）「これだけではない!!」

ゼシウスが瞬間移動でストライク達に次々とパンチを繰り出して喰らわした。

マジック「強い・・・!!」

ゼシウス（戦闘形態）「私は同じ最高幹部のアルデイステラとは違うのでね。」

アラム「違うだと・・・?!」

ゼシウス（戦闘形態）「私はこれだけではないのだよ。」

背中のウロボヌスリングを投擲し、自在に回りながらストライク達に喰らわし、さらにリングから光線を放った。

一同「うわあっ!!」

ゼシウスの繰り出す攻撃を喰らうストライク達。

ジャイアントレア「喰らいやがれ!!」

その直後にジャイアントレアがパンチでストライク達に思いっきり殴り込んだ。

マジック「つ、強過ぎる……!!」

クイーン「何て強さなの……!!」

ゼシウスとゴウガイとジャイアントレアの圧倒的な強さに実感する一同。修行して強くなった自分達の前にかなりの強敵の存在を目の当たりにした。

ゴウガイ「他のプリキュアを倒させてもらうか。」

ゴウガイが目を向けた先はヒーリングつどプリキュアとトロピカルージュプリキュアだ。

ゴウガイ「こいつらの力を奪えばいいのか。」

ゼシウス（戦闘形態）「この9人の力と妖精です。」

ゴウガイ「任せろ!!」

ゴウガイがヒーリングつどプリキュアとトロピカルージュプリキュアの力と妖精を狙って攻撃にかかった。

サマー「プリキュア・おてんとサマーストライク!!」

サマーがハートルージュロッドを召喚し、リップにキスをして、ハートを作り出し息を吹いて膨らませてエネルギーの太陽を作り出し、ジャンプしてハートルージュロッドを突き刺して投げたが、

ゴウガイ「効かんわ!!」

ゴウガイがサマーの必殺技を拳で打ち破りながらサマーを殴り、直撃させた。

サマー「わああああー!!」

ゴウガイの拳でサマーは一撃で倒された。

コーラル、パイパイ、フラミンゴ、ラメール「サマー!!」

サマーが一撃で倒されたのを目の当たりにするコーラル達。

ゼシウス（戦闘形態）「では一つ目をいただくとしよう。」

ゼシウスは手を掲げてサマーから力を吸収し、吸収した力をプリキュライドジュエルに収めた。力を失ったサマーは元の姿へと戻った。

ラメール「サマーの力が奪われたわ!!」

サマーの力が奪われたのを目の当たりにして驚愕するラメール達。

フラミンゴ「どういう事だ、これは?!」

コーラル「どうして奪われるの?!」

パイヤ「わからないわ!!」

ゼシウス（戦闘形態）「ではあなた達の力を奪おうとするか。」

サマー以外の他のトロピカルージュプリキュアとヒーリングつどプリキュアの力を奪おうと開始するゼシウス。

ゼシウス（戦闘形態）「ウロボロスワームスラッシャー!!」

ゼシウスが背中にあるウロボノスリングを外して空間の穴に入れて、各方向からウロボノスリングをシュートして敵全体に攻撃した。

グレース、フォンテーヌ、スパークル、アース、コーラル、パイヤ、フラミンゴ、ラメール「きゃああああー!!」

ゼシウスの必殺技を喰らったグレース達もやられてしまい、そのままゼシウスにプリキュアの力や妖精を奪われてしまい、アースは奪われた影響で消えてしまい、奪われたプリキュアの力をプリキュライドジュエル化や妖精をフェアリージュエル化させた。

のどか「返して……」

ゼシウス（戦闘形態）「これはハデユス様に捧げるためのものだ。ゴウガイ殿、ジャイアントレア殿、後は任せた。」

そう言いながらゼシウスは立ち去り、ゴウガイとジャイアントレアに任せた。

ストライク「待て!!」

ゴウガイ「お前の相手は俺らだ。」

ゴウガイとジャイアントレアが立ち塞がり、ストライク達に攻撃にかかった。

ゴウガイ「覇豪烈拳!!」

ゴウガイが巨大な拳で殴りにかかり、ストライク達はすぐにかわしたが、ゴウガイの巨大な拳が地面に喰らい、衝撃波を起こしてストライク達に喰らわした。

一同「わあああああー!!」

ゴウガイの拳で殴られた威力から衝撃波が起きて大きく喰らったストライク達。

ジャック「なつ、何この強さ・・・!!」

ミステイック「4年前のハデウスと同じみたいだわ・・・!!」

ゴウガイの強さを4年前のシン・ハデウスと同じ強さに実感した一同。

ゴウガイ「ハデウス様と戦ったのか。お前達ではハデウス様には勝てないな。」

ストライク「そんな事はない!!」

ゴウガイ「?!」

ストライク「地獄界で修行したあたし達の力見せてあげる!!」

自分達が地獄界で修行した力を見せるゴウガイにかかるストライク。

ストライク「プリキュア・ストライクサンシャインキック!!」

ストライクが両足に獄気を集中しながらピンクの発光して、ゴウガイの顔に向かってジャンプしてキックした。

ゴウガイ「うっ!!」

ストライクに顔をキックされてダメージをゴウガイ。

ゴウガイ「貴様、俺に舐めた真似をしてくれやがったな、覇豪烈拳!!」

ゴウガイが必殺技を発動して、ストライクに殴り込んだ。

ストライク「うわああああー!!」

ゴウガイの必殺技を全身に喰らいやられてしまったストライクは戦闘不能になった。

シンシア「ストライク!!」

「ゴウガイ「こいつは連れて行く。」

倒されたストライクを持ち上げたゴウガイ。

マジック「ストライクを返して!!」

ゴウガイ「俺を喰らわせた奴を簡単には返すわけにはいかねえ、こいつを亜苦羅の兵器工場の奴隷労働へ連れてやる。コカビエラス、忍里丸、帰るぞ。」

コカビエラス、忍里丸と共にストライクを亜苦羅の兵器工場の奴隷労働へ連れて行きながらこの場を立ち去ったゴウガイ。

シンシア「アイカを連れて行かないで、アイカを連れ去らないで、私一人何か嫌よ、アイカ、アイカ、アイカ!!」

アイカがゴウガイに亜苦羅へ連れて行かれてしまい、2人の母がハデユスの支配下とされて続いて双子のアイカが連れ拐われて独りぼっちになってしまったシンシア。

ジャイアントレア「さてこいつらを一気に皆殺しにしてやろうか。」

残ったシンシア達を1人で始末しようとするジャイアントレア。

ヴァイド「待ちな。」

そんな窮地の前にヴァイドが現れた。

ジャック「あなたはヴァイド!!」

ヴァイド「ジャイアントレア、お前の相手は私だ。」

次回 75話へ続く

第75話 ヴァイドVSジャイアントレア

窮地に陥ったシンシア達の前にヴァイドが現れ、ジャイアントレアと対決した。

トロピカルージュプリキュアの世界

あおぞら市

ジャイアントレア「何だおめえは？」

ヴァイド「お前など簡単に倒してやる。」

ジャイアントレア「このあたしを倒すだと舐めた真似をしてくれるんじゃねえか？」

ヴァイド「やってみてからだ!!」

ジャイアントレアがヴァイドに向かって勢いよく殴りにかかった。

ヴァイド「!!」

瞬間移動でかわし、ジャイアントレアの頭上に現れてキックで打ち込んだ。

ジャイアントレア「ぐうっ!!」

ヴァイドに頭を蹴られたジャイアントレア。

ジャイアントレア「こいつうっ!!」

ジャイアントレアがヴァイドにストレートでパンチして喰らわした。

ヴァイド「うううっ!!」

ジャイアントレアのパンチを喰らったヴァイド。

ヴァイド「この威力は痛々しいな。」

ジャイアントレア「誉めてるのかい？」

ヴァイド「2皇魔がこんなに強いとはな。」

ジャイアントレア「だったら今てめえを楽にして殺してやるよお!!」

ヴァイドに向かって左右からパンチを繰り出していくジャイアントレア。ヴァイドはジャイアントが来るパンチを見切りながらかわしていき、下に間合いを駆け込んで足元にパンチで殴り込んだ。

ジャイアントレア「ぐうっ!!」

ヴァイドに足元を殴られて転倒したジャイアントレア。直ぐに立ち上がり、ヴァイドに巨大な身体による全身で体当たりしたジャイアントレア。

ヴァイド「うっ!!」

ジャイアントレアの攻撃を喰らったヴァイド。

シンシア「ヴァイドが互角に渡り合っている。」
マジック「凄い。」

ヴァイドとジャイアントレアの互角の戦いを見るシンシア達。

ヴァイド「プリキュア・ヴァイドパンチ!!」

ヴァイドが両拳を発光しながらジャイアントレアに殴り込んだ。

ジャイアントレア「うおりやあああああー!!」

ジャイアントレアがヴァイドにパンチを連打して喰らわし、続いて口から必殺技を発動させた。

ジャイアントレア「レアドビームブラスター!!」

ジャイアントレアが口から強烈なビームを放ち、ヴァイドに喰らわした。

ヴァイド「うわあああああー!!」

ジャイアントレアの必殺技を喰らったヴァイド。

ジャイアントレア「どうだ、思い知ったか!!」

ヴァイド「やってくれたな!!」

ジャイアントレア「簡単にくだばらねえな!!」

ヴァイド「今度はこれを喰らえ!!プリキュア・ヴァイドブレイクプラスター!!」

ヴァイドがヴァイドグローブスを装着して両手を合わせて、全身を集中しながら無、虚空の力の光線を放った。

ジャイアントレア「ぐわああああー!!」

ヴァイドの必殺技を喰らったジャイアントレア。技は受けたものの、ジャイアントレアの強靱な肉体に無、虚空の力に耐え切った。

ヴァイド「2皇魔は簡単にくたばらないか。」

ジャイアントレア「お前、この俺を軽々とこんなダメージを喰らわせたなあ!!殺して

やる!!」

自分に大ダメージを喰らわしたヴァイドに向かって攻撃にかかろうとするジャイアントレア。

レヴオリユード（戦闘形態）「そこまでだ、ジャイアントレア!!」

突如と現れたレヴオリユードがジャイアントレアを止めた。

ジャイアントレア「レヴオリユード!!」

レヴオリユード（戦闘形態）「今お前をここで失う訳にはいかない。ここは引け。」

ジャイアントレア「若僧が、この俺がお前の言うかあ!!」

レヴオリユード（戦闘形態）「引け、引かないならお前をここで消すぞ。」

ジャイアントレア「わかったよ……。」

レヴオリユードに威圧されて言われた通りに撤退したジャイアントレア。

シンシア「レヴオリユード、一体何を?!」

レヴオリユード（戦闘形態）「お前達の顔を見にきたただけだ、次へ向かう世界は亜苦羅のようだな、お前達の活躍を期待しようではないか。」

そう言いながら立ち去ったレヴオリユード。

マジック「亜苦羅、麗奈さんの故郷。」

ジャック「亜苦羅は次へ向かう世界。」

シンシア「アイカを助けなきゃ。」

次へ向かう世界である亜苦羅へ行く事となったシンシア達。そこには一体何があるのか？

ヴァイド「お前達は亜苦羅へ行くのか？」

クイーン「私達は亜苦羅へ行くわ。」

ミステイック「亜苦羅に捕らわれたアイカを助けに行くのよ。」

ヴァイド「ゴウガイはお前達の敵う相手じゃない。ゴウガイの強さを見たか、お前達

の今の力じゃ勝てないのを。」

シンシア「アイカを捕まった野放しなんて嫌よ。私達はアイカを必ず助け出しに行くよ。」

アラム「あたしらはどんな事があっても引く訳には行かないんだ。」

ジュール「グローヴァリテイを野放しにはさせない。」

ヴァイド「なら私もお前達と一緒に同行だ。」

ヴァイドがシンシア達と一緒に同行する事となった。

ジャック「力を奪われたヒーリングつどプリキュアとトロピカルージュプリキュアが。」

ゼシウスによって力と妖精を奪われてしまったヒーリングつどプリキュアとトロピカルージュプリキュアをどうするか。

まなつ「力が奪われるなんて。」

さんご「変身も出来なくなっちゃったね。」

みのり「プリキュアの力を奪われるなんてあり得ない。あすか「くるるんが囚われてしまった。」

ローラ「プリキュアの力を失った事で人間の姿じやなくなっちゃったわ。」のどか「力失ってラベリン達も失っちゃった。」

ちゆ「アスミもプリキュアの力を奪われて消えてしまったわ。」ひなた「これからどうすればいいの？」

プリキュアの力と妖精を奪われてしまったまなつ達とのどか達はどうしたらいいか迷っていた。

ヴァイド「お前達を戦わせる事は難しい。」

のどか「ヴァイド。」

ヴァイド「自分達のいた世界に戻った方がいい。」

のどか「そうだね、私達は私達の世界に戻るしかないね。」

まなつ「私達はここだから。」

ちゆ「悔しいけど戻るしかないね。」

ひなた「ニャトラン。」

プリキュアの力と妖精を失った事で自分達のいる世界へ戻る事を決めたまなつ達とのどか達。まなつ達は自分達のいる世界で待機し、プリキュアークでのどか達をヒーリングつどプリキュアの世界へ帰させた。

移動中

パラレルワールド

次元空間

プリキュアーク

ブリッジ

麗奈「……。」

はるな「麗奈さん、少し良いですか？」

麗奈「良いわよ。」

はるな「麗奈さんは亜苦羅とはどう言う関係ですか？」

麗奈「……私の故郷よ。私はあなた達の世界の人間じゃないのよ。」

咲耶歌「やつぱり、亜苦羅は麗奈さんのいた世界。」

麗奈「そうよ、私は亜苦羅出身よ。亜苦羅は今となってはハデウスとゴウガイと悪炉

血によって支配されているのよ。亜苦羅は元々は平和で豊かな国だったわ。でも14年前、悪炉血がハデユスとゴウガイと結託して呼び寄せて国を一気に攻め込んできた。父は必死の抵抗でハデユスとゴウガイに挑んだが、力は敵わず、敗れて命を落としたの。私は弟と共に必死で逃げ出して行くが、敵に見つかってしまい、脱出出来たのが私だけよ。」

海「大変だったね。」

麗奈「国を取り戻すためにプリキュアになった。でもさっきの戦いでゴウガイに敗れた。悔しかった。」

悠「ゴウガイ、ジャイアントレアはかなり手強い相手だ。下手に戦うとやられてしまう。」

文「どうしたらいいの?」

クレア「今の私達じゃ勝ち目はないわね。」

悠「やるなら私1人で引き受けるしかない。」

次回 76話へ続く

設定 17

プリキュア

キュアストライクアルティメットゴッドフォーム

ストライクがアイゼンアロイス、ボルケリート、鉄斎、ブレイディオ、五官王、10大神の地獄界の閻魔大王と一体化した姿で最強フォーム。ストライクが神々の姿へとなり、全身にアルティメットゴッドアイゼンアーマー、頭部にアルティメットゴッド五官ヘッドアーマー、両腕にアルティメットゴッドボルケリートガントレット、両脚にアルティメットゴッド鉄斎レガース、背中にある光の翼アルティメットゴッドアロイスウイングがあり、武器はアルティメットゴッドブレイディオソードと閻魔超武神剣。能力はヴァンガードヒーローフォームの数百億倍の力で数百億倍の力を持ち、格闘に一番優れており、不死身、不老不死、実体を持たない幽体など全てに対して彼の攻撃はさらに通用し、完全消滅させることが可能。歴代ラスボスや神を簡単に倒す力を持ち、ファイナルゼロ（Ver2）と神の存在を超えた究極の存在であり、ぶつかり合うと全パラレルワールドと全宇宙が滅ぶとされる。アルティメットゴッドは10大神の力でもある。全ての特殊能力の影響は一切受けず、シン・ハデウスと渡り合う力を持つ。

必殺技

プリキユア・アルティメットゴッドブレイズナツクル

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技。両腕に獄気を集中しながら地獄界の火炎を纏いながら敵を殴り込む。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキユア・アルティメットゴッドブレイズキック

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技。両脚に獄気を集中しながら地獄界の火炎を纏いながら敵にキックする。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキユア・アルティメットゴッド獄炎絶麟拳

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技。右腕に獄気を集中しながら地獄界の火炎状の拳型を放ち、敵全体に攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキユア・アルティメットゴッド獄空刃斬

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッドブレイディオソードに獄気を集中してピンクの光刃を放ちなから敵全体に斬撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキユア・アルティメットゴッド獄滅砲波

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技。獄気を集中して両手を合わせながら強力な光線を放ち、敵全体に攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキユア・アルティメットゴッド武獄真絶斬

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技。閻魔超武神剣に獄気を集中して巨大なピンクの光状を纏いながら敵を十文字斬りする。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキユア・アルティメットゴッド武獄双撃破斬

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技。右手に閻魔超武神剣、左手にア

ルティメットゴッドブレイディオソードに獄気を集中して巨大なピンクの光状を纏いながら敵をX字斬りし、最後に2つの剣を合わせて同時に斬撃する。その威力は凄まじく、ラスボスクラスを一撃で倒す事も可能。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドノヴァバースト

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技。全身に獄気を集中して最大限のフルチャージしてアルティメットゴッドウイングで羽ばたきながら敵に向かって突撃し、全身から最大限のフルチャージした地獄界の火炎を放出する。その威力はとても凄まじく、世界全体を消滅させてしまったり、また神を完全消滅させる事も可能で、ラスボスクラスを完全に一撃で倒し、まさに神や全てを恐れずに屈しない。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

グローヴアリティ

ゴウガイ龍人化

ゴウガイの獣人化した姿。全身が龍人化し、顔が獣の顔、口に鋭い牙、尻尾があり、全

身に鱗があり、戦闘力もさらに凄まじく、その強さはシン・ハデユスと同等でもある。

必殺技

覇豪吹龍波

ゴウガイ龍人化の必殺技。口から強烈なブレスを吐く。その威力は凄まじく、宇宙艦隊全体や惑星とパラレルワールドを滅ぼす威力を持つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

覇豪龍仁拳

ゴウガイ龍人化の必殺技。両腕を発光しながら連打を繰り返しながら敵に喰らわし、いくつかの衝撃波を起こして敵全体に喰らわす。その威力は1発で瞬殺する力を持つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、全ての特殊能力の影響は一切受けない。

覇豪龍光拳

ゴウガイ龍人化の必殺技。右腕を発光して龍の光状を纏いながら敵を殴る。その威力は凄まじく、敵を完全に一撃で倒す。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

ヴォルガス

ゴウガイの配下。種族は獣人。両手に鋭い爪と口に鋭い牙を持ち、高い戦闘力を持つ。残忍残虐な性格で相手をいたぶる事を楽しむ。非実態系を軽々と捕食する能力を持つ。

必殺技

ブレイジングクロー

ヴォルガスの必殺技。両手の爪を発光しながら相手を切り裂く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ブレイジングフアング

ヴォルガスの必殺技。口の牙を発光しながら相手に噛み付き、噛み付かれたら回復が追いつけないダメージを負わせる。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ガルガイード

ゴウガイの配下。種族は人間。5mを超えた体格と機械化した左腕が特徴で、全身が筋肉の塊でパワーも優れており、主にウィルスやキメラの開発を行っている。奴隷達を管理する看守でもある。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ワンピースのクイーンを元に

必殺技

ビームボールシユート

ガルガイードの必殺技。機械化した左腕から巨大なビームの球を作り上げて投げていき、敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ビームバスターランチャー

ガルガイードの必殺技。機械化した左腕から強力なビームを放つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

デスウイルススパイス

ガルガイードの必殺技。紫の粉を大量に放ち、ウイルスに感染し、病疫にかからせて苦しめる。

4武騎

ガウラート

ゴウガイの配下。4武騎の1人。種族は人間。炎を使う技を得意とし、相手を燃やし尽くす残虐な戦いを得意とする。武器は火炎滅刀。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

火炎滅砲斬

ガウラートの必殺技。火炎滅刀に火炎を纏いながら強烈な火炎状の刃を放つ。全て

の特殊能力の影響を一切受けない。

サラベーン

ゴウガイの配下。4武騎の1人。種族は人間。氷を使う技を得意とし、智略に相手を追いつめる。武器は氷結滅杖。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

氷結血滅陣

サラベーンの必殺技。氷結滅杖から上空に無数の血色の氷塊弾を敵全体に放つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

合体技

炎氷波業

ガウラートとサラベーンの合体技。ガウラートの火炎とサラベーンの氷結が合わせ、強烈なビームとなって敵全体に喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アラメモミーノ

ゴウガイの配下。4武騎の1人。種族は人間。霧を使う技を得意とし、霧を使った幻覚で相手を惑わせ、霧による酸性雨で陥れる。格闘も得意とする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ワンピースのブラックマリアを元に

霧酸滅死

アラメミーノの必殺技。周囲全体に霧を発生し、霧の中から酸性雨による攻撃を喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

霧纏拳

アラメミーノの必殺技。両手に霧状を纏いながら相手を殴る。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アルティノス

ゴウガイの配下。4武騎の1人。パキケファロスとラプトルと人間の女性が合成したキメラ。物理的攻撃力が高く、頭の頭突きで強烈に与え、両手の爪で切り裂く、残酷残忍な性格である。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ワンピースのうるティを元に

必殺技

パキケヘッドブレイク

アルティノスの必殺技。パキケファロスの頭を発光しながら相手に頭突きする。その威力は凄まじい。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ザ・キメラーズ

オクトジュエリース

ゴウガイの配下。ザ・キメラーズの1人。タコとクラゲが合成した姿で、クラゲの頭と両腕と両足にタコの触手をしているのが特徴で、触手による攻撃、全身から電撃を放つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

コンドイガー

ゴウガイの配下。ザ・キメラの1人。コンドルまと虎が合成した姿で、顔と爪と尻尾が虎と背中にコンドルの翼を生やしたのが特徴で、空中戦を得意とし、強烈な牙と爪で相手を切り裂く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ライノコング

ゴウガイの配下。ザ・キメラの1人。サイとゴリラが合成した姿で、サイの角と頭部とゴリラの胴体をしているのが特徴で、高いパワーと突進力で相手を蹴散らす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

コブラーピオン

ゴウガイの配下。ザ・キメラの1人。蠍とコブラが合成した姿で、尻尾がコブラの顔と蠍の胴体をしているのが特徴で、鋭い鋏とコブラの口から溶解液を吐く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

クラブスタッグ

ゴウガイの配下。ザ・キメラの1人。クワガタと蟹が合成した姿で、両手がクワガタ

の鍔と蟹の胴体をしているのが特徴で、鋭い鍔で切り裂いていき、口から泡攻撃をする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

亜苦羅

悪炉血一派

安田野悪炉血

亜苦羅の將軍。裁月の家臣だったが、14年前にハデユスとゴウガイと手を組んで国を乗っ取り支配し、亜苦羅を牛耳りながら圧政し、民を苦しめ、国を自分の思うままにし、冷酷無慈悲な性格で、麗奈の宿敵でもある。

仁戦組

近藤板生

亜苦羅の將軍の直属の仁戦組の局長。種族は人間。真面目で厳格な性格で、任務に忠実で遂行し、武器は虎徹丸。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

轟憐斬

板生の必殺技。虎徹丸を発光しながら敵を斬撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

土方敏雄

亜苦羅の將軍の直属の仁戦組の副局長。種族は人間。組織をまとめる事で隊員達を動かしていき、彼の指揮による統一された隊員達の動きで相手を追い詰める。武器は義仁刀。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

光川家

光川謙之介

18歳。光川家の現当主、麗奈の生き別れの弟。12年前、ハデユスとゴウガイの襲撃によつて故郷の亜苦羅を制圧され、生き残つた家臣と武士と共に立ち上がるが、圧倒的な戦力にやられてしまい、それでも必死で戦い続ける。

御川宗陣

40歳。光川家の家臣。若君の謙之介を支えている。

座野昌伸

28歳。光川家の武士。武士達を束ねている。

第76話 亜苦羅へ

はるな達は亜苦羅へと向かって辿り着き、ここは侍達がいる世界だ。

パラレルワールド

亜苦羅

荒地

はるな「ここが亜苦羅。」

咲耶歌「随分荒れてるね。」

麗奈「元々は緑があつた場所だった。ハデユスとゴウガイが攻めてくる前は。」

文「着いた以上、何をするかね。」

悠「そうだな。ゴウガイのいる松の都へ向かう、捕らわれたアイカを救出する、光川家の生き残りを見つける、この3つに分かれてやると言うのはどうだ？」

クレア「良いわね、じゃあ私と咲耶歌と海は松の都へ。」

麗奈「私とイゼルとライラは光川家の生き残りを探しに行く。私は光川家の生き残りの1人として探しに行く。」

はるな「私と文さんと悠さんでアイカを探しに行く。」
悠「3つに分かれて行くか。決まりだな。」

亜苦羅での行動を3つに分かれて行く事となり、咲耶歌と海とクレアは松の都へ情報収集しに、麗奈とイゼルとライラは光川家の生き残りを探しに、はるなと文と悠はアイカを探し出しにそれぞれ向かった。松の都へ向かった咲耶歌と海とクレアはウオーテイルとスーパーレディと共に服装を亜苦羅の服装へと着替えて、町へと入り込んだ。

松の都

町

咲耶歌「ここが松の都。」

松の都の町は人間界の日本の江戸時代の町と似ており、風土や景色も江戸時代そのものだ。

増野志保（スーパーレディ）「まるで江戸時代ね。」

海「人々も江戸時代の人間そのものね。」

水野定子（ウオーテイル）「情報を収集していかないと。」
トットム「松の都にはゴウガイもいるみたいだ、くれぐれも気を付けていかないと
な。」

ペル「えええつ。」

クレア「町の中を回ろう。」

松の都の町を回っていく咲耶歌達。一方、光川家の生き残りが荒れた町の輝来町へと
やって来た麗奈達。

輝来町

麗奈「ここに光川家の生き残りがいると。」

イゼル「この町、随分荒れてるな。」

ライラ「貧しい人々がいっぱいいるな。」

麗奈「……。」

イゼル「麗奈。」

麗奈「ハデユスとゴウガイの侵略と悪炉血の裏切りがなければ平和に暮らせていた。
そのせいでこの国は奴らによって私物化されて地獄の日々を送るようになったの。」

亜苦羅は元々は平和な国だったが、ハデユスとゴウガイの侵略と悪炉血の裏切りによつて支配され、貧困が増えて、地獄の日々を過ごす事となった。

移動中

プリキュアーク

ブリッジ

はるな「アイカ。」

悠「アイカはゴウガイの兵器開発工場にいる。そこには多く集められた囚人者がいる。」

文「アイカちゃんを含めて助け出さないと。」

悠「敵も護衛がかなりいるはずだ。グローヴァリティも一緒にいる事もある。この3人でやり抜くしかないな。」

はるな「絶対助け出してみせる。」

アイカは囚人者で集められた兵器開発工場に思うわれ、そこで過酷な奴隷労働が行われており、毎日休みなく働かされている。松の都、将軍がいる城、臍衛城では、

松の都

臈衛城

將軍の間

悪炉血「ヒヤハハハハハッ、宴じや宴じや。」

この国の長、將軍である安田野悪炉血。国を私欲私物化し、自分の思うままにし、国全体を牛耳り、民を圧政する。

女舞1「悪炉血様ー。」

悪炉血「お前も飲め飲め。」

女舞2「もう悪炉血様。」

大老「悪炉血様こそが亜苦羅の支配者なり。」

悪炉血「このわしこそが亜苦羅の支配者じや。」

周りの者達と宴で贅沢三昧をする悪炉血。

レヴオリユード「随分楽しそうにしているな。」

ゴウガイと悪炉血の前にレヴオリユードが現れた。

悪炉血「レヴオリユード様!!」

レヴオリユード「こんな下らない事をするならプリキュアを殺せ!!」

悪炉血に圧迫で言い詰めたレヴオリユード。

悪炉血「はっ、はい……。」

レヴオリユード「プリキュアは既にこの国に来ていたのを、貴様はプリキュアを侮っているな。光川家もプリキュアと手を組む可能性がある。組む前に殺し出せ!!」

レヴオリユードの命でプリキュアと光川家の残党を討伐にかかる悪炉血。一方、兵器開発工場で休みなく強制労働されるアイカ。

兵器開発工場

アイカ「うううつ……」

重い兵器の部品を一人で持ち出されていくアイカ。ゴウガイ兵に鞭で背中を叩かれて働かされるアイカ。アイカはキュアートフォンチェンジャーとプリキュアライドジュエル、ヒーローライドジュエルも盗られてしまい、両手に特製手錠を付けられて苦しい日々を送った。

ゴウガイ兵「休むな働け!!」

囚人者達を鞭で叩くゴウガイ兵。この囚人者達は光川家のために戦った武士達だったが、ゴウガイとの戦いに敗れてしまい、現代はこの兵器開発工場で奴隷として働かされていた。

ガルガイド「お前達は人権などない、さっさと働け!!」

この兵器開発工場の看守でもあるゴウガイの配下のガルガイドが奴隷達を管理し、グローヴァリテイの兵器開発のために行われており、奴隷達を強制労働をさせている。

アイカ「くうつ、こんな時に・・・!!」

ガルガイド「ハデユス様とゴウガイ様のために働け働け!!」

身動きが出来ない今、働かされるアイカ。

輝来町で光川家の生き残りを探す麗奈達。

輝来町

麗奈「……………」

町を歩き回る麗奈達は、この町の人達が貧しい暮らしをしているのを目の当たりにし、人間界と同じ光景を感じ、亜苦羅は悪炉血とゴウガイによって支配されており、食料や水も奪われて人々は飢えていた。

イゼル「とても苦しそうにしてるな。」

ライラ「上の連中による支配でこうなったな。」

麗奈「ゴウガイと悪炉血のせいで。」

イゼル「あたしらで必ず倒そう。」

麗奈「亜苦羅を必ず解放してみる。」

亜苦羅を必ずゴウガイと悪炉血の支配から必ず解放する事を誓う麗奈。3人の前に光川家の人間と思われる人物が現れた。

昌伸「其方は?!」

麗奈「もしや、昌伸!!」

昌伸と言う人物と知り合いと思われる麗奈。

昌伸「麗奈様、麗奈様で御座いますか?!」

麗奈「そうよ、私です。」

昌伸「麗奈様、ご無事でありましたか?」

麗奈「はい、仲間達と一緒に。」

昌伸「仲間とは?」

イゼル「あたしは彼女の仲間だ。」

ライラ「同じく。」

昌伸「おおおっ。」

麗奈「仲間は他にもいます。それより弟は。」

昌伸「今ご案内いたします。」

麗奈達は昌伸に連れて一緒に同行した。

松の都

町

咲耶歌「町の人達も賑やかね。」

クレア「ゴウガイの支配に何も感じてないのかしら?」

海「確かに。」

水野定子（ウオーテイル）「何だか不穏を感じるわね。」

増野志保（スーパレディ）「ゴウガイの支配に怯えていないのかしら?」

ゴウガイに支配された町の人々が何も怯えずに暮らしている事に疑問を感じる咲耶

歌達。そこで騒ぎが起きた。

一同「!!」

すぐに駆け付けに向かった咲耶歌達はそこに数人の武士達が刀を持って暴動を起こした。

武士1「俺達はゴウガイの支配から解放しようとしている、何故わからない!!」

突然叫び出す武士達。そこに悪炉血の配下の仁戦組が現れた。

板生「亜苦羅に反旗を覆す逆賊が!!」

武士2「ゴウガイと悪炉血の犬が!!」

仁戦組の局長の板生が数十人の隊員で数人の武士達を囲んで包囲した。

武士1「うわああおあー!!」

隊員達に斬りかかる武士達。

敏雄「斬れ。」

副局長の土方敏雄が隊員達に命じて、数人の武士達を刀で斬り込んだ。

武士1「うわああああー!!」

仁戦組の隊員達に斬られた数人の武士達。

武士3「はあ、はあ、はあ。」

斬られた武士の1人が虫の息の状態に陥った。

武士3「死んでたまるか……悪炉血に支配された亜苦羅を……!!」

板生「死ね!!」

虫の息状態の武士に愛刀の虎徹丸でトドメを刺した。

咲耶歌、海、クレア、水野定子（ウオーテイル）、増野志保（スーパーレディ）「!!」

仁戦組の非道な戦いを目の当たりをする咲耶歌達。この国が齒向かう者を死罪し、国を私物化されている事を知った。

トットム「俺達は国の闇を知ったわけだな。」

ペル「まさにその通り。」

咲耶歌「・・・。」

海「ハデユスがいるからね。」

クレア「ハデユスがいる以上、平和は来ないわ。」

水野定子（ウオーテイル）「そうね。」

増野志保（スーパーレディ）「闇が潜んでいるね。」

ゴウガイと悪炉血に支配された亜苦羅はまさに人々を苦しめるための政を行われ、この国はいかに圧政を強いられているのか。一方、兵器開発工場で強制労働されるアイカは、

兵器開発工場

アイカ「うっ、うううっ!!」

鞭を打たれて働かされるアイカは必死で耐え続けていた。

ガルガイド「おい、休んだらぶちのめすぞゴラア!!」

囚人者達を酷使するガルガイド。彼の非道にアイカがついに反抗をし始めた。

アイカ「わああああー!!」

ガルガイドに向かって重い物を放り投げてぶつけたアイカ。

ガルガイド「ぐほっ!!」

重い物をぶつけられたガルガイド。

ガルガイド「てめえ、何しやがった!!」

アイカ「もうこんな奴隷みたいな事は限界よ!!」

囚人者1「そうだ、その子の言う通りだ!!」

囚人者2「もう我慢ならん反逆だ!!」

アイカの行動を機に多くの囚人者達が立ち上がり、ガルガイドに反逆をした。

ガルガイド「てめえら、俺に楯突いた事を後悔してやるぞ、ゴラア!!」

ガルガイドも囚人者の暴動に鎮圧するため行動しかかった。

ガルガイド「こうなれば、アルティノス、ザ・キメラーズ!!」

ゴウガイの配下の4武騎の1人であるアルティノス、キメラで構成されたザ・キメラーズを呼び出した。

アルティノス「囚人者共は大人しくするんだな。」

オクトジユエリース「俺達が相手をしてやるぜ。」

コンドイガー「死にたくなければやめるんだな。」

ライノコング「ぶっ潰してやる!!」

コブラーピオン「俺様の毒で溶かしてやる!!」

クラブスタッグ「切り刻んでやろうか?!」

相手は怪人クラス6名、まさに力の差は勝ち目は無い。

アイカ「こんなのに負けてたまるか!!」

囚人者1「嬢ちゃん。」

アイカ「地獄界の修行に比べればこんなの屁じゃない。だからあたしが相手になってやる!!」

地獄界の修行に比べれば屁じゃないと言い、堂々とかかろうとするアイカ。

??? 「その役目は我々がやろう。」

その時6つの影が現れて、アイカの前に立った。

アイカ「!!」

その目の前に立った人物達はアイカが知る人物だった。

チエスメイト「お久しぶりです。」

ザッパード「元気か?!」

アルス「こいつらは俺達が相手だ。」

レオンダー「お前は下がるんだな。」

キラーヒツツ「プリキュアばかりに良い格好はさせねえ。」

バイソック「俺は現世で蘇った。」

チエスメイトとかつて戦ったチエスメイトと同じインフェルノのザツパード、アルス、レオンダー、キラーヒッツ、死んだはずのバイソックが現れた。

チエスメイト「グローヴァリテイ、あなた方の相手はこの私達がします!!」

次回 77話へ続く

第77話 6人の戦士達

兵器開発工場で奴隷として働くアイカの前にインフェルノのチェスマイト、ザッパード、アルス、レオンダー、キラールヒツツ、死んだはずのバイソツクが現れ、ゴウガイの配下と対決をする。

パラレルワールド

亜苦羅

兵器開発工場

チェスマイト「グローヴァリテイ、勝負だ!!」

チェスマイトら6人がアルティノスとザ・キメラーズに挑んだ。

チェスマイト「たあああああー!!」

チェスマイトが飛び蹴りでアルティノスに喰らわした。

アルティノス「お前、プリキュアじゃないのに強そうだな。」
チエスメイト「私の実力、あなたにお見せしましょう。」

そう言いながらチエスメイトが周りに剣を出現して、アルティノスに斬り込んだ。

アルティノス「こいつを喰らえ!!」

アルティノスが両手の爪でチエスメイトに切り裂いた。

チエスメイト「くっ!!」

アルティノスの爪攻撃を喰らったチエスメイト。

アルティノス「オラオラオラ!!」

爪を繰り出してチエスメイトに喰らわせるアルティノス。

ザッパード「こいつを喰らいやがれ!!」

ザッパードが大型ビームガトリングガンを出して、オクトジュエリースに撃ちまくった。

オクトジュエリース「効かないぞ!!」

両腕と両足のタコの吸盤で無効化し、触手を伸ばして攻撃した。

ザッパード「野郎!!」

トゲ型ナツクルダスターに持ち替えて、パンチで連打して喰らわした。

オクトジュエリース「痛っ!!」

ザッパードのトゲ型ナツクルダスターの刺突を喰らい、トゲの攻撃でダメージを喰

らったオクトジュエリース。

オクトジュエリース「やってくれたな!!」

オクトジュエリースが全身から放電をザツパードに放った。

ザツパード「!!」

すぐに放電をかわしたザツパードはオクトジュエリースにトマホークで斬撃した。

オクトジュエリース「ぐうっ!!」

ザツパードの攻撃を喰らったオクトジュエリースは触手で連打してザツパードに喰らわした。

アルス「行くぜ!!」

アルスがライノコングに向かってラリアットし、続いて蹴りで打ち込んだ。

ライノコング「お前潰す!!」

ライノコングが突進しながら鼻の角でアルスにお見舞いした。

アルス「うっ!!」

ライノコングの突進で勢い良く飛ばされたアルス。

ライノコング「おりゃあー!!」

ライノコングがパンチでアルスに殴りにかかった。

アルス「簡単に行くかよ!!」

アルスがライノコングの片手を掴んでそのまま上に持ち上げて叩き込んだ。

レオンダー「行くぜ!!」

レオンダーが爪でコンドイガーに向かって切り裂いたが、コンドイガーは空を飛んで空中からレオンダーに攻撃を仕掛けた。

コンドイガー「死ね!!」

コンドイガーが爪でレオンダーに引っ掻いた。

レオンダー「うっ!!」

空中からの攻撃を受けるレオンダー。

レオンダー「レオンタイフーン!!」

レオンダーが顔の鬣から竜巻を起こして、空中にいるコンドイガーに喰らわした。

コンドイガー「この俺を落とすとは。」

レオンダー「俺の力侮るなよ。」

キラーヒッツ「お前は俺が撃ち抜いてやるぜ!!」

キラーヒッツがカタールランチャーを持ちながら、コブラーピオンに斬りつけた。

コブラーピオン「させないぞ!!」

コブラーピオンが鋭い鋏でキラーヒッツに切り裂き、尻尾のコブラの口から毒液を放った。

キラーヒッツ「!!」

コブラーピオンの吐いた毒液をカタールランチャーで斬り払い、ジャンプして空中

キツクでお見舞いした。

キラーヒッツ「かなり危なそうだな。」

コブラーピオン「俺様の毒でお前を溶かしてやる!!」

尻尾のコブラの口から毒液を連続で吐くコブラーピオン。いくつか吐いた毒液を目で見切りながらかわすキラーヒッツ。

キラーヒッツ「シューティングキラーショット!!」

キラーヒッツが右手に持っているカタールランチャーを発光しながら右腕からワイヤーを発射してコブラーピオンに喰らわすが、コブラーピオンがハサミで振り払い、キラーヒッツにそのまま喰らわした。

バイソック「現世で蘇った俺の力見せてやる!!」

現世で蘇ったバイソックがクラブスタッグに体当たりした。

クラブスタッグ「死人の分際めが!!」

クラブスタッグがクワガタの鋏でバイソックを挟んだ。

バイソック「ぐうっ!!」

クラブスタッグに挟まれたバイソック。だが、バイソックは力を入れながらクラブスタッグの鋏を振り払った。

クラブスタッグ「なかなかやるな。」

バイソック「こいつを喰らうんだな、バイソックチャージ!!」

バイソックが走りながら頭の角でクラブスタッグに向けて突撃して体当たりした。

クラブスタッグ「ぐわあっ!!」

バイソックに体当たりされたクラブスタッグ。ゴウガイの配下と激闘するインフェルノの6人の幹部。

アルティノス「こいつらかなり手強い!!」

チエスメイト「私達の力舐めてはいけませんよ。」

オクトジュエリース「舐めやがって!!」

ザッパード「簡単にはいかねえぞ。」

ライノコング「俺達を誑かせやがって!!」

アルス「いつでも相手してやる。」

コンドイガー「ここまでやるとは。」

レオンダー「俺達の力、まだまだだぜ。」

コブラーピオン「こいつら、只者じゃないな。」

キラーヒッツ「俺が狙い撃ちしてやるぜ。」

クラブスタッグ「ここまでやり合うとは。」

バイソック「いつでも押しやるぜ。」

両者共に互角に渡り合い、激闘を続けた。そこで大きな音が鳴り、壁に穴が空いた。

一同「!!」

穴からプリキュアークが突入して、兵器工場の壁を壊した。

ガルガイド「何だあれは?!」

ゴウガイ兵「ガルガイド様!!」

プリキュアークの出現でパニックになるガルガイド。プリキュアークからはシンシア、クイーン、ヴァイドが出てきた。

シンシア「アイカ!!」

アイカ「はるな!!」

クイーン「ここがゴウガイの兵器工場ね。」

ヴァイド「それよりもインフェルノの幹部がいるみたいだ。」

3人のプリキュアの出現により攪乱とした。

ガルガイド「プリキュアが現れるとは、ここで兵を失う訳にはいかねえ。ここはこの工場を捨てるしかない、野郎共、この工場を捨てるしかない、今お前らを失うと元も子もねえからな!!」

この兵器開発工場を捨てる事で部下の安全を選んだガルガイドは、部下を連れて撤収した。

ヴァイド「いきなり引き下げか。」

クイーン「インフェルノの幹部達が来ていたなんて。」

チエスメイト「久しぶりですね。」

ザッパード「また会えるとはな。」

シンシア「本当に久しぶりね。」

レオンダー「何かの縁だな。」

キラーヒッツ「ふっ、会うのも悪くはないな。」

アルス「感動の再会だな。」

バイソック「……。」

アイカ「バイソック。」

バイソック「俺が生き返った事とインフェルノの事だな。俺は閻魔様に蘇生されて罪を償うためにだ。俺だけじゃない、チエスメイトやザッパードやアルスやレオンダーやキラーヒッツやそしてインフェルノも自分達の犯した罪を償うために行動をしている。俺達は2度と悪事を犯さない事を誓った。」

アイカ「罪を償っていくんだね。」

バイソック「そうだ、俺はお前達プリキュアにも申し訳なかつた。」

クイーン「いいのよ、あなたインフェルノのみんなが償いを果たす為に頑張っているのを。」

チエスメイト「私達はこの罪を生きて生きて償う事を決意した。」

レオンダー「殺戮はもう2度としねえ。」

キラーヒッツ「ハデユスに利用された事で罪の意識はちゃんと感じている。」

アルス「罪は必ず果たしてみせる。」

ハデユスのいたインフェルノで自分達が今まで犯した罪を償うために生きていく事を胸に刻むチエスメイト達。

ヴァイド「この工場にいる人間を解放だ。」

クイーン「まずは解放しないと。」

この兵器開発工場にいる奴隷達を解放するプリキュア達。

武士1「やっと解放されたぞ。」

武士2「ついにこの時だ。」

武士3「あなた方に感謝します。」

武士4「これで光川家のために再起を果たせれる。」

ヴァイド「光川家の武士か。」

武士1「あなた方にも是非お力を貸してください。」

ヴァイド「実は仲間の1人が光川家の人間で、光川家の生き残りを探しに向かっている。」

武士2「あなた方の仲間に光川家の人間がいるのですか？」

クイーン「今会いに行っているのよ。」

一方、光川家の生き残りを会いにやって来た麗奈達は、

輝来町

光川家の隠れ家

麗奈「光川の隠れ家ね。」

光川家の隠れ家に到着した麗奈達。

昌伸「麗奈様、謙之介様がお待ちです。」

麗奈「……………」

弟と思われる人物とついに対面する麗奈。

謙之介「姉上なのか……………」

麗奈「謙之介なの……………」

ついに弟の謙之介と再会を果たす麗奈。

謙之介「姉上、生きてて光栄です。」

麗奈「謙之介、あなたと再会果たせて誠に光栄よ。」

謙之介「姉上。」

麗奈「謙之介。」

姉弟の涙の再会を果たした。

イゼル「生き別れの再会か。」

ライラ「そうだな。」

姉弟の再会を見守るイゼルとライラ。生き別れた2人が再会出来た事を想った。

麗奈「謙之介、私は故郷を離れてからこの長い年月を経てプリキュアになられたの。」

謙之介「姉上はプリキュアになられたと言うのでござるか？」

麗奈「プリキュアは私以外にもいるの。」

謙之介「姉上以外にもプリキュアはおられたのでござるか。」

麗奈「この2名も私と同じプリキュアよ。」

イゼル「どうも。」

ライラ「同じく。」

昌伸「このお二人も麗奈様と同じプリキュアだったとは、」

麗奈「他のプリキュアは今分散中よ。」

謙之介「これからゴウガイを倒せれるはずだ。」

麗奈「そう簡単に上手くいかないわ、旅の途中でゴウガイに会ってやられたのよ。」

謙之介「姉上はゴウガイに会われたのか。」

麗奈「奴は強過ぎた、プリキュアが一同がかかって叶わなかった。」

謙之介「ゴウガイがこんなに強いとは……。」

麗奈「でも故郷は必ず取り戻してみせるわ。」

謙之介「姉上。」

麗奈「ゴウガイが強くても諦めるわけにはいかない。必ず故郷を取り戻し、ゴウガイ

と悪炉血を倒すわ。」

イゼル「あたしにもいるさ。」

ライラ「力を合わせてれば勝てるはずだ。」

麗奈「イゼル、ライラ。」

イゼル「ゴウガイを力を合わせれば勝てるはずだ。」

謙之介「問題は戦う兵力の数だ、生き残った武士達はゴウガイに捕われたり、個人で抗おうすると者がある。」

麗奈「亜苦羅を想うための武士が必死ね。」

謙之介「戦う同士が集まれば。」

ゴウガイと悪炉血を倒す意志を見せるが、問題は兵の数だ、現在生き残った生き残った武士達はゴウガイに捕われたり、個人で抗おうすると者でいた。一方、松の都の町にいる咲耶歌達は、

松の都

町

増野志保（スーパーレディ）「平穏な生活の裏で悪炉血に逆らった者を死罪ね。」

水野定子（ウオーテイル）「ゴウガイと悪炉血はこの国を牛耳っているね。」

咲耶歌「あんなの見せられたらますます怖いよ。」

海「ゴウガイと悪炉血がいかに恐怖政治をしているのか。」

クレア「悍ましいわね。」

トットム「こいつはやべえところに来たか。」

ペル「亜苦羅はハデユスの支配下に置かれてる訳ですな。」
海「まだ様子を見ないと。」

町の様子を探り続ける咲耶歌達。そこで通りすがった武士の一人が右脚に花のような印があつたの見つけた。

一同「?!」

偶然、通つた武士にあつた花のような印に気付いた咲耶歌達はその武士と接触しようとする。

咲耶歌「ちよつといい・・・?」

声を掛けようとする咲耶歌だったが、

武士4「!!」

声をかけて来た咲耶歌から突如逃げ出す武士。

咲耶歌「待って!!」

その武士を走って追いかける咲耶歌達。その武士を追いかけて建物と建物の右角へ回りながら奥へと進み、下に地下らしき場所があり、入り込んだ。

地下

咲耶歌「ここは？」

地下に入った咲耶歌達は、何か古そうな場所だった。そこ大勢の武士達が現れて、咲耶歌達を囲んだ。

武士5「動くな、貴様らゴウガイと悪炬血の手先だな!!」

咲耶歌「待って、私達はあなた達の敵じゃ・・・!!」

武士6「黙れ、貴様がゴウガイと悪炬血の手先なのかわかっている!!」

武士4「ここで覚悟するんだな!!」

咲耶歌達に斬りかかろうとする武士達。

海「私達の仲間光川家の人間がいるの、敵じゃない!!」

武士5「何だと?！」

クレア「あなた達には敵意はないわ。」

武士6「誠か?！」

咲耶歌「あたし達もゴウガイと悪炬血を倒しに来たの。」

クレア「私達はプリキュアよ。」

武士一同「プリキュアだと?！」

水野定子（ウオーテイル）「彼女達はプリキュアよ。この亜苦羅を救いに。」

次回 78話へ続く

第78話 武凰大將軍

兵器開発工場を制圧し、奴隷とされたアイカと武士達を解放し、インフェルノの面々と武士達と一緒に行動するアイカ達。

パラレルワールド

亜苦羅

移動中

プリキュアーク

ブリッジ

アイカ「解放されて疲れた気分。」

文「何十日も過酷な奴隷作業やらされて大変だったわね。」

はるな「本当に無事でよかったよ。」

アーニヤ「まさかインフェルノの面々が味方になるなんて驚きですわ。」

チエスメイト「今までハデユスに利用されて来た数々の罪を償うためにです。その罪を償って世界と宇宙の人々達のために。」

悠「お前達も良心はあるんだな。」

はるな「助けた武士達を連れて麗奈さん達のいる場所へ行かないと。」

悠「この亜苦羅は光川家が治めていた。ハデウスとゴウガイの侵略に支配されて、前將軍の定長は処刑された。」

アイカ「麗奈さんは故郷を解放するためにプリキュアになったんだ、この日が来ようとするんだ。」

チエスメイト「ゴウガイの戦力に太刀打ちするにはインフェルノの兵力を協力しませう。」

悠「亜苦羅の武士達がどう立ち上がるかだ。」

一方、松の都では、武士達と会話をする咲耶歌達は、

松の都

町

地下

咲耶歌「あたし達プリキュアはこの国を救いにきたの。」

武士1「あの伝説の戦士プリキュアなのか？」

海「私達の仲間の1人の光川家の1人もプリキュアよ。」

武士2「心強い。」

武士3「プリキュアがいれば我々も勝てるはずだ。」

トットム「俺達も協力するぜ。」

ペル「私達も手は貸します。」

増野志保（スーパレディ）「光川家と合流して団結する事ね。」

クレア「光川家の長、謙之介ね。彼に鍵がかかっているわね。」

動かす鍵となるのは現光川家の長の謙之介である事だ。

水野定子（ウォーテイル）「残りの武士達を集めないと。」

地下にいる咲耶歌達と武士達の前に突如、仁戦組がやって来た。

一同「!!」

板生「見つけたぞ、賊共!!」

咲耶歌「どうしてここが?!」

敏雄「その女性共も亜苦羅に入学した時に我が同盟の者から情報を渡されて把握した。」

海「私達はマークされた事ね!!」

仁戦組に包囲された咲耶歌達。

トットム「どうする?!」

ペル「まずいですよ。」

クレア「こうなったらプリキュアに変身するしかないね。」

海「私達の力を武士達に見せていかないと。」

咲耶歌「とにかく変身よ。」

咲耶歌、海、クレアはキュアートフォンチェンジャーを出して、プリキュライドジュエルを刺してプリキュアに変身した。

マジック、ジャック、ミスティック「……」

プリキュアに変身した3人は仁戦組を相手に戦い出した。

マジック、ジャック、ミスティック「たあああああー!!」

マジックがマジックステッキスピア槍モードで仁戦組の隊員達を薙ぎ払った。ジャックは斬りかかってきた隊員を持ち上げながら数人の隊員に投げ飛ばした。ミスティックがミスティックサークルスピナーでエネルギー弾を放った。

仁戦組隊員1「覚悟!!」

仁戦組隊員が数人で組んでマジック、ジャック、ミスティックを囲んで斬りかかった。

マジック「プリキュア・マジックエクスプロージョン!!」

マジックが片手で人差し指を前に出しながら、敵全体の真下に魔法陣を出して大爆発

させた。

仁戦組隊員一同「うわああああー!!」

マジックの必殺技によって一気に蹴散らされた仁戦組隊員。

板生「そこだ!!」

板生が虎徹丸を抜刀してマジックに斬り込んだ。

マジック「うっ!!」

ジャック、ミステイク「マジック!!」

敏雄「かかれ!!」

敏雄の統制で動いた仁戦組隊員達がジャックとミステイクに斬り込んだ。

ジャック「この!!」

ジャックがパンチを繰り出して仁戦組隊員にお見舞いするが、刀で受太刀して防がれた。

仁戦組隊員2「貰った!!」

ジャックに隙を突いて斬りかかる仁戦組隊員。ジャックは直ぐに下にしゃがんで回避し、ジャックは必殺技のジャックフィストアッパーでお見舞いした。

ミスティック「プリキュア・ミスティックサークルショット!!」

ミスティックが左腕に装着しているミスティックサークルスピナーに獄気を集中しながらグレーの光状の円輪を放ち、敏雄にお見舞いした。

敏雄「ぐうっ!!」

ミステイックの必殺技を受けた敏雄はそのまま倒れた。

板生「敏雄!!」

ウオーテイル「今のうちよ!!」

武士達と共に急いで地下から脱出するマジック達。

板生「追え!!」

逃走したマジック達を追跡させる板生。町中を走り出すマジック達。

スーパーレディ「町の外まで急ぐわ!!」

町の外まで急ぐマジック達は必死に走りながら向かっていた。

トットム「急げ!!」

マジック「わかつているよ!!」

追手から逃げて走り出すマジック達。

ミステイック「これでは間に合いきれない、ワプニオンの力を使うしかないわ!!」

ミステイックはすぐにワプニオンのヒーロースライドジュエルを出してキュアアトフォンチェンジャーに刺して変身した。

ミステイックワプニオンフォーム「みんな、私に集まって!!」

彼女の元に一斉に集まりながら固まって、能力を使って町の郊外へとワープした。

板生「逃げられたか。」

敏雄「光川家の再起だろうな。」

輝来町

光川家の隠れ家

麗奈「この人数では勝ち目がないわね。」

謙之介「確かにでござる。」

イゼル「向こうにはゴウガイがいる。グローヴァリテイも援軍は必ず来るはずだ。」

ライラ「敵う相手じゃないのは確かだ。」

宗陣「我々の同胞は捕まったり、分散したりしておる。」

昌伸「ここもいつバレるか問題であります。」

謙之介「……。」

麗奈「謙之介？」

謙之介「ゴウガイに勝つには1つだけ方法はある。」

麗奈「それは？」

謙之介「10大神の亜苦羅の武凰大將軍を目覚める事だ。かつてこの国を守護した武凰大將軍の力を目覚めさせればゴウガイに勝てるはず。」

麗奈「10大神の亜苦羅の武凰大將軍ね、場所はここから離れた西にある十殿塔にあると。」

宗陣「洞穴にはさまざまな罠があると。」

昌伸「迂闊に近づければ……。」

麗奈「私はそれでも行くわ、亜苦羅を解放するために。」

謙之介「姉上。」

烈陣丸（ヒーローライドジュエル）「麗奈様は拙者達がお守りします。」

麗奈「私は1人で行っていくわ。武風大將軍を目覚めさせるのであれば私はやりに行くわ。」

宗陣「麗奈様。」

麗奈「必ず成し遂げてみせるわ。」

謙之介「では御武運を。」

亜苦羅の10大神である武風大將軍のいる十殿塔へ1人で向かう麗奈。

松の都

孺衛城

將軍の間

ゴウガイ「厄介のが向かおうとしているな。ガウラート、サラベーン、アラメミーノ。」

ガウラート「只今!!」

サラベーン「ゴウガイ様、参りました。」

アラメミーノ「うちらにお任せあれ。」

アルテイノスと同じ4武騎の3人であるガウラート、サラベーノ、アラメミーノが現れた。

ゴウガイ「武凰大將軍のいる十殿塔へ向かえ。」

直ちに配下の3人を十殿塔へ向かわせたゴウガイ。十殿塔へと1人で向かう麗奈は戦浮鬼に操縦して移動した。

パラレルワールド

亜苦羅

移動中

麗奈「武凰大將軍のいる十殿塔は西のはず。」

西の方角に武凰大將軍のいる十殿塔へと向かう麗奈。

烈陣丸（ヒーローライドジュエル）「武風大將軍、亜苦羅の10大神の1人。」

光陰命（ヒーローライドジュエル）「閻魔大王様とオーズイン殿とは盟友であります。」

隼疾風（ヒーローライドジュエル）「もし手を貸してくれるのであればありがたい。」

麗奈「そうね、そろそろ着くはずよ。」

ようやく十殿塔に辿り着いた麗奈。

十殿塔

外

麗奈「ここが十殿塔ね、人間界における五重塔ね。」

烈陣丸「長い塔でござるな。」

光陰命「入り口が見当たらないですね。」

隼疾風「何処から入るのか？」

????「良くぞ、辿りし者達よ。」

突如、何処からか声がした。

麗奈「何者?!」

武凰大將軍「わしの名は武凰大將軍。」

烈陣丸「武凰大將軍……。」

武凰大將軍「この国を解放するためにわしの元へ来たのか。」

麗奈「はい、私はこの亜苦羅を解放するためにあなた様のお力をお借りに。」

武凰大將軍「わしの力を授かりたいというのか?」

麗奈「はい。」

武凰大將軍「ならばこの十殿塔の試練をこなすがいい、行け。」

自分の力を授かるべく麗奈に十殿塔の試練を出し、十殿塔なら穴が開いて入る麗奈。

十殿塔

中

麗奈「ここは?」

十殿塔の中は異空間だらけで、何が来るか警戒する麗奈。

武風大將軍「お主が亜苦羅を想う心があるのか試させてもらおう。」

武風大將軍は麗奈に亜苦羅を想う心があるのか試しだし、真上から無数の刀を降り注いだ。

麗奈「!!」

麗奈は直ぐにキュアカタナテツポウ刀モードを出して、無数の刀の雨を次々と斬り払った。

武風大將軍「次はこれだ。」

4方向から火炎が放たれ、その火炎をかわしながらキュアカタナテツポウ刀モードで火炎を斬り払う麗奈。

麗奈「私の全てを見せていく!!」

武風大將軍「この調子だ。」

このまま次の試練を出しながら着々とこなす麗奈。

麗奈「はあああああー!!」

次々と過酷な試練をこなしていく麗奈。

麗奈「はあ、はあ、はあ。」

武風大將軍「どうしたこの程度か？」

麗奈「まだまだ!!」

試練を続ける麗奈。そんな中、忍び寄る魔の手が迫ろうとしていた。

十殿塔

外

ガウラート「ここが十殿塔か。」

サラベーン「見つけた。」

アラメミーノ「破壊をしよう。」

十殿塔に到着したガウラートらが塔に攻撃をし始めた。

中

麗奈「!!」

武風大將軍「亜苦羅に害を及ぼす者達か。」

麗奈「武風大將軍、私はゴウガイの手先を倒しに参ります!!」

武風大將軍「よかろう。」

ゴウガイの配下の襲撃に武風大將軍は麗奈を外を出させた。

外

麗奈「……。」

ガウラート「来たたら光川の生き残りか。」

サラベーノ「死にに来たのか?」

アラメミーノ「お前などあつしが始末してやる。」

麗奈「お前達をここで始末する!!」

麗奈はキュアアトフォンチェンジャーを出してプリキュアに変身し、ガウラートらに挑んだ。

フェッター「はあああああー!!」

キュアカタナテツポウ刀モードでガウラートに斬りかかった。

ガウラート「俺も刀はあるぜ!!」

ガウラートは火炎滅刀を出して、フェッターのキュアカタナテツポウ刀モードとぶつかり合った。

フェッター「この国を返せ!!」

ガウラート「返すかよ、この国はハデユス様とゴウガイ様のもんだと言うのを!!」

フエッターを力で押し返したガウラート。

サラベーン「氷漬けにしてやる!!」

サラベーンが氷結滅杖から吹雪を放ちながらフエッターに向けた。すぐにそのまま回避するフエッター。

アラメミーノ「霧纏拳!!」

隙を突いてアラメミーノが両手に霧状を纏いながらフエッターに殴り込んだ。

フエッター「ぐわあっ!!」

アラメミーノの必殺技を喰らったフエッター。

フエッター「ヒーローライドジュエル!!」

すぐに烈陣フォームへと変身し、反撃にかかった。

フェッター烈陣フォーム「プリキュア気真空斬!!」

フェッターがキュアメタル戦烈鬼の刀身に獄気を集中して発光しながら真空波を放ち、ガウラートらに攻撃したが、

ガウラート「サラベーン!!」

サラベーン「おうよ!!」

2人は互いの武器を合わせて必殺技を同時に発動する。

ガウラート、サラベーン「炎氷波業!!」

ガウラート、サラベーンが火炎と氷結を合わせた強烈なビームとなってフェッター烈陣フォームにお見舞いした。

フェッター烈陣フォーム「わあああああー!!」

ガウラートとサラベーンノの合体必殺技を前に返り討ちにあつたフェッター烈陣フォーム。そのまま元の形態へと戻ってしまった。

フェッター「うっ、うううっ!!」

3人の強敵を前にやられるフェッター。

ガウラート「もうおしまいか、死に損ないが!!」

フェッター「私は……!!」

その時、フェッターの前に武凰大將軍が現れた。

武凰大將軍「お主の国への想い、見せてもらった。」

フェッター「武凰大將軍。」

武凰大將軍「わしの力を授かる時だ。」

フェッター「私に。」

武凰大將軍「わしと一体化をするのだ。」

武凰大將軍にフェッターが国を想う心を見届けて、彼女を認め、その力を授かるため一体をした。武凰大將軍と一体化したフェッターはキュアフェッターアルティメットゴッドフォームとなり、アルティメットゴッドフォームは全パラレルワールドと宇宙を司る10大神の力で、その力はファイナルゼロ（Ver2）と神の存在を超えた究極の存在である。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「……」

フェッターアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド烈陣セイバーを右手に構えて、大きく一振りした。

ガウラート、サラバーノ、アラメミーノ「うぐっ!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームの攻撃を纏めて喰らったガウラート、サラ

ベーン、アラメミーノ。

ガウラート「なっ、何だこいつ?!」

サラベーン「ならば、氷結血滅陣!!」

サラベーンが氷結滅杖から上空に無数の血色の氷塊弾をフエッターアルティメットゴッドフォームに放つが、10大神である武風大將軍と一体化した力によって全く無傷だった。

フエッターアルティメットゴッドフォーム「効いてないね。」

サラベーン「なっ、何だと?!」

フエッターアルティメットゴッドフォーム「今度はこっちの番よ、プリキュア・アルティメットゴッド烈鬼斬!!」

フエッターアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド烈陣セイバーに獄気を集めながら発光してサラベーンに斬撃した。

サラベーン「わあつ、わあああああー!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームの必殺技を受けてそのまま絶命したサラベーン。

ガウラート「サラベーン!!」

アラメミーノ「こうなったら、霧酸滅死!!」

アラメミーノが周囲全体に霧を発生し、霧の中から酸性雨による攻撃を喰らわすが、

フェッターアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド翼嵐突斬!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド隼疾風翼に獄気を集めて羽ばたきながら敵に向かって、アルティメットゴッド烈陣セイバーに風状を纏いながらアラメミーノに刺突した。

アラメミーノ「ぐわあああああー!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームの必殺技を喰らい、アラメミーノも絶命した。

ガウラート「退却だ!!」

この場を立ち去るガウラート。戦いが終わったフェッターは、

武風大將軍「お主と共に亜苦羅を解放するために戦おう。」

麗奈「武風大將軍。」

武風大將軍が亜苦羅を解放するために戦う事に協力する事になり、麗奈は亜苦羅解放のために光川家の隠れ家へと戻るが、そこには大勢の武士達が集まっていた。

光川家の隠れ家

謙之介「姉上!!」

麗奈「これは？」

謙之介「亜苦羅の解放をするために戦う同士達が集まってくれた。」

亜苦羅を解放するために立ち上がった者達が一同に集まって集結し、中には麗奈と共に戦ったアイカ達プリキュアやかつての敵だったインフェルノの面々や亜苦羅の武士達^がいた。

麗奈「これなら亜苦羅のために戦えるわ。」

謙之介「姉上、今こそ亜苦羅を解放する時。」

ゴウガイと悪炉血に支配された亜苦羅を取り戻すべく来るべき戦いが来た。

次回 79話へ続く

設定 18

キュアフェッターアルティメットゴッドフォーム

フェッターが烈陣丸、光陰命、隼疾風、10大神の亜苦羅の武凰大將軍と一体化した姿で最強フォーム。フェッターが神々の姿へとなり、全身にアルティメットゴッド烈陣鎧、両腕にアルティメットゴッド光陰名小手、背中にアルティメットゴッド隼疾風翼が可能であり、武器はアルティメットゴッド烈陣セイバーと武凰超武神刀。能力はヴァンガードヒーローフォームの数百億倍の力で数百億倍の力を持ち、剣技に一番優れており、不死身、不老不死、実体を持たない幽体など全てに対して彼の攻撃はさらに通用し、完全消滅させることが可能。歴代ラスボスや神を簡単に倒す力を持ち、ファイナルゼロ（Ver2）と神の存在を超えた究極の存在であり、ぶつかり合うと全パラレルワールドと全宇宙が減ぶとされる。アルティメットゴッドは10大神の力でもある。全ての特殊能力の影響は一切受けず、シン・ハデウスと渡り合う力を持つ。

必殺技

プリキュア・アルティメットゴッド烈鬼神斬

フェッターアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッド烈陣セ

イバーに獄気を集中しながら発光して斬撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッド六芒光滅

フェッターアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッド光陰名小手に獄気を集中して広げた状態で六芒星形成して、6つの巨大な光を放ちながら敵全体に当てて大爆発を起こす。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッド翼嵐突斬

フェッターアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッド隼疾風翼に獄気を集中して羽ばたきながら敵に向かって、アルティメットゴッド烈陣セイバーに風状を纏いながら刺突する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッド光蛇斬

フェッターアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッド烈陣セ

イバーに獄気を集中しながらパープルの光状を纏って鞭のように振るいながら敵を斬り込む。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキユア・アルティメットゴッド衝輪蓮撃斬

フェッターアルティメットゴッドフォームの必殺技。武凰超武神刀に獄気を集中しながら長いパープルの光状を纏いながら敵に向かって大きく振り下ろして斬撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキユア・アルティメットゴッド二刃動烈斬

フェッターアルティメットゴッドフォームの必殺技。右手に武凰超武神刀、左手にアルティメットゴッド烈陣セイバーに獄気を集中して巨大なパープルの光状を纏いながら2つの刀を合わせて敵を一刀両断する。その威力は凄まじく、ラスボスクラスを一撃で倒す事も可能。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

グローヴァリテイ

最高幹部

デーモニアス

グローヴァリテイの最高幹部。種族は悪魔。悪魔の中の最高幹部で、全身が筋肉質で、ボディビルダーの姿をし、頭に角を生やし、背中の翼で飛行が可能で、物理攻撃と魔術の両方優れており、プリキュアを圧倒する力を持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

デーモニクロー

デーモニアスの必殺技。両手の爪を発光しながら敵を斬り裂く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

デーモニデスブラストル

デーモニアスの必殺技。魔法陣を形成して、陣からいくつかの無数の魔法弾を敵全体に放つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

デーモニパニッシュレイ

デーモニアスの必殺技。いくつかの無数の光状の柱を出現して敵全体に攻撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ブラッディスカル

グローヴァリティの最高幹部。種族はアンデッド。血の色の骸骨と魔術師を組み合わせた姿をし、あらゆる魔法や魔術を得意とし、プリキュアを圧倒する力を持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

マーベルのレッドスカル、サガフロンティア2の死せる賢者を元に
必殺技

スカルバーニングストーム

ブラッディスカルの必殺技。灼熱の火炎の嵐を敵全体に放つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スカルドレインルーパー

ブラッディスカルの必殺技。異空間の穴から巨大なウーパールーパーを出して敵に吸血する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スカルスパークプラズマ

ブラッディスカルの必殺技。強烈な雷を敵全体に放電する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スカルストーンハンマー

ブラッディスカルの必殺技。岩石で形成したハンマーで敵に攻撃する。全ての特殊

能力の影響を一切受けない。

大幹部

スカルアームドグリーン

グロウヴァリテイの大幹部。種族はアンデッド。骸骨に重武装を纏った姿をし、両腕にボーンブレードを装備し、あらゆる剣技を駆使する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

スカルツインストラッシュ

スカルアームドグリーン**の必殺技**。両腕のボーンブレードを発光しながら斬撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スカルクロストラッシュ

スカルアームドグリーン**の必殺技**。両腕のボーンブレードを発光しながら十文字斬りする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スカルマルチウェイ

スカルアームドグリーン**の必殺技**。両腕のボーンブレードを発光しながら敵に4方向に斬撃して、最後に二刀を合わせながら斬撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スカルアームドレッド

グロウヴァリテイの大幹部。種族はアンデッド。骸骨に重武装を纏った姿をし、いくつかの武器を装備し、右肩にビームキャノン、左肩にミサイルランチャー、4本の腕を持ち、剣、ハンマー、槍、斧を装備し、武器による攻撃を得意とする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

スカルクラッシュブレイク

スカルアームドレッドの必殺技。4本の腕に持っている剣、ハンマー、槍、斧から繰り出す連続攻撃し、右肩にビームキャノン、左肩にミサイルランチャーで攻撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スピノザイン

グロウヴァリテイの大幹部。種族は爬虫類。スピノサウルスの姿をし、背中の背鰭は何でも斬り裂き、高い格闘能力を持ち、残虐性を持つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

必殺技

スピノクローラッシュ

スピノザインの必殺技。両手の爪を発光しながら敵を斬り裂く。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スピノカッターブレイク

スピノザインの必殺技。背中の巨大な背鰭に光刃を纏いながら敵に向かって斬撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

スピノカッターブレイクシユート

スピノザインの必殺技。背中の巨大な背鰭から光刃を敵全体に放つ。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

兵士

ゲノメイシス

グローヴァリテイの幹部。種族はミュータント。グローヴァリテイが生み出した人工生命体で、超能力が使える、肉弾戦も得意とする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

兵器

メガメタルザウルスカスタム

全長：14.54m?

機体説明

グローヴァリテイの開発した量産無人兵器。メガメタルザウルスの改良機。背中にツインビームキャノンが装備され、火力が強化された。頭部の額にレーザー砲、口にメタルファンング、両腕にアームメタルクロー、両肩に4連ミサイルランチャー、背中にブースター、尻尾はメタルテイルは変わらず。

必殺技

グランドキングチャージアタック

チエスメイト最終形態の必殺技。全身を発光しながら敵に強烈な体当たりをする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

ザッパードアックストルネードスラッシュ

ザッパードの必殺技。トマホークを両手に構えて自身を360°回転し続けて竜巻状になって、敵に突撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

アルス・ザ・ブレイクヘッド

アルスの必殺技。両手を発光しながらパンチで連打し、続いて相手を持ち上げてさながら上に投げて、最後にジャンプして頭を発光して頭突きする。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

レオンブレイジングスラッシュ

レオンダーの必殺技。両手の爪に火炎状を纏いながら敵に斬撃する。全ての特殊能

力の影響を一切受けない。

スラッシュユザソード

キラーヒッツの必殺技。右手に持っているカタールランチャーに巨大な光状を纏いながら敵を一刀両断する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

バイソツクギガバスター

バイソツクの必殺技。全身を発光しながら敵の周りを回りながら頭の角で突撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

第79話 大激突

亜苦羅解放のためについて動き出し、光川家の当主の謙之介を元に集まった武士達がこの国を解放するために立ち上がった。

パラレルワールド

亜苦羅

輝来町

光川の隠れ家

麗奈「いよいよね。」

謙之介「この日がいよいよ来た。」

宗陣「武士達もこの日のために待ち望んでいます。」

昌伸「亜苦羅を賭けた戦いの幕開けが始まるうとするわけでありませぬ。」

麗奈「10大神の1人である武凰大將軍がある。この力ならゴウガイを倒せる。亜苦羅を必ず解放する。」

亜苦羅解放に向けてゴウガイとの対決に備える麗奈。

アイカ「ドラグードだね。」

ドラグード「そうだ、お前達と再会するのも何かの縁だな。」

はるな「私達の敵だった者が味方になるなんて頼もしい。」

ドラグード「私は今まで犯した罪を償う為にハデユス、グローヴァリテイを倒す。」

クレア「ドラグード様。」

ドラグード「お前もプリキユア達と上手くやれているようだな。」

クレア「はい。」

チエスメイト「ここからが大規模な戦いになると。」

イゼル「全力を出し切ってやらないとな。」

ライラ「負けられない戦いだ。」

亜苦羅解放に全てを賭け、絶対負けられない戦いに勝つ事を決意するプリキユア達。

松の都

臍衛城

將軍の間

ゴウガイ「奴らは武凰大將軍の力を手にしたか。」

悪焔血「何をしておる、奴らがこのまま動いしまったら……。」

ゴウガイ「案ずるな、ハデユス様が援軍を送ってくれる。それに倒された2人もすぐに生き返るようだ。」

悪焔血「そうなのか。」

ゴウガイ「俺の本当の力を見せる時だな。」

悪焔血「本当の力だ?!」

ゴウガイ「俺の本当の力と言うのを奴らに地獄を味合わせてやる。」

ゴウガイにはまだ隠された力があつた、その力は一体?!一方、亜苦羅解放決戦に向けて武士達を集結させつつ、松の都に向けて進軍の準備をする謙之介。

輝来町

謙之介「これで決戦に挑めるでござる。」

麗奈「ゴウガイと悪焔血を必ず討ち取る。」

アイカ「グローヴァリテイの野望を打ち砕く。」

謙之介「皆の者達よ、今日こそ決戦の時じゃ!!ゴウガイと悪焔血に支配された亜苦羅を解放するために今こそ決起じゃ!!」

一同「おおおー!!」

ついに立ち上がる謙之介の引き入る武士軍団、プリキュア、インフェルノの協力の元、ゴウガイと悪焔血に支配された亜苦羅を解放すべく、松の都へと向かい、進軍した。松の都へと進軍一同の前にゴウガイと悪焔血の軍勢とさらに援軍として現れたグロヴァリテイの軍勢がいた。

謙之介「ゴウガイ、悪焔血!!」

ゴウガイ「お前達が来るのを最初を待ってやったぞ。」

悪焔血「今日が貴様らの墓場となる!!」

ブラッティスカル「ハデユス様の命により、参られたブラッティスカル只今ここに。」

デーモニアス「デーモニアスが来たから全員始末してやる。」

スピノザイン「俺達が貴様らの墓場にしてやる!!」

ストライク「お前達を必ず倒す!!」

ゴウガイ「何だと?!

シンシア「グローヴァリテイのようなやつを絶対好きないようにさせないわ!!」

マジック「亜苦羅の未来のためここで終わらせる!!」

ジャック「私達プリキュアが相手よ!!」

クイーン「亜苦羅を解放するわ!!」

ミステイック「私プリキュアは負けられない!!」

アラム「あああつ!!」

ジュール「終わらせる!!」

フェッターアルティメットゴッドフォーム「みんな、行くよ!! 亜苦羅を解放するためにゴウガイと悪焔血を斬る!!」

ついに戦いの幕が開き、両軍の激突が行われた。

武士一同「わあああああー!!」

大勢の武士達が先手を出て、刀でゴウガイ兵に斬り込んだ。故郷を取り返すために戦う武士達の強い想いと士気が上がりながら圧倒した。

ゴウガイ兵「こいつら!!」

ゴウゴイ兵も武器を駆使して武士達に攻撃し、バイクに乗ったゴウガイ兵が一気に駆け込んで強襲した。だが、インフェルノからレブナッツが口から毒液を吐いて、ゴウガイ兵のバイクに浴びせて溶かし、武士達が隙を突いて斬り込んだ。

ギガノトロス「貴様らかかれ、一人残らず皆殺しだ!!」

部下や兵達に命じて攻撃にかからせるギガノトロス。ラプトルジャーの群れが一斉に飛びかかって、ビームナギナタで斬りかかった。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「はああああー!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド烈陣セイバーでラプトルジャーの群れをまとめて斬り込み、蹴散らした。またリザードアーミーの集団がビームバズーカ、ショットライフルで一斉射撃してかかってきたが、フェッターアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド隼疾風翼で羽ばたきながら吹き飛

ばした。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド六芒光滅!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド光陰名小手に獄気を集中して広げた状態で六芒星形成して、6つの巨大な光を放ちながら敵全体に当てて大爆発を起こして蹴散らした。

クイーンバルクフォーム「はあああああー!!」

クイーンバルクフォームがパワーを駆使していきながらパンチでマシンドマンを殴り込み、次のマシンドマンを持ち上げながら他のジャイアントスイングでマシンドマンを次々とぶち込んで破壊した。他のマシンドマンの集団が空中から攻め込んで武士達に攻撃した。

武士1「これじゃ勝てない!!」

シンシアアレクサンドルスフォーム「ここは私が相手よ!!」

シンシアアレクサンドルスフォームが空中にいるマシンドマンの集団に対し、背中にあるキュアメタルアレクサンドルスミサイルランチャーで必殺技を発動した。

シンシアアレクサンドルスフォーム「プリキュア・アレクサンドルスホーリーミサイル!!」

シンシアアレクサンドルスフォームが背中にあるキュアメタルアレクサンドルスミサイルランチャーから聖なるミサイルを無数発射して空中にいるマシンドマンを全機撃ち落とした。

テイラノス「スピノダイン、行くぞ!!」
スピノダイン「おうよ!!」

テイラノスとスピノダインがシンシアアレクサンドルスフォームを左右から挟み撃

ちを仕掛けてきた。

シンシアアレクサンドルスフォーム「ヒーローライドチェンジ!!」

シンシアアレクサンドルスフォームは明利江フォームにチェンジして素早く飛びながら、テイラノスとスピノダインにキュアメタル手裏剣を放ち、キュアメタル旋忍風を投擲して攻撃した。

スピノダイン「やりやがったな、スピノカタターブレイクシュート!!」

スピノダインが背中 of 巨大な背鰭から光刃をシンシア明利江フォームに放った。すぐに回避したシンシア明利江フォームはテイラノスとスピノダインに斬りかかった。

テイラノス「テイラノブレスフレイム!!」

テイラノスが口から強力な火炎を吐いたが、シンシア明利江フォームにあっさりかわされた。

シンシア明利江フォーム「プリキュア・明利江閃光斬!!」

シンシア明利江フォームが2本のキュアメタル羽佐鬼に獄気を集中して光状を纏いながら、テイラノスに閃光の速さで斬撃した。

テイラノス「ぐわああー!!」

シンシア明利江フォームの必殺技を受けて最期を遂げたテイラノス。

スピノダイン「こいつを喰らえ、スピノカッターブレイク!!」

スピノダインがシンシア明利江フォームに向かって背中の巨大な背鰭に光刃を纏いながら斬撃した。シンシア明利江フォームはキュアメタル羽佐鬼で受け止めた。

スピノダイン「なかなかやるな。」

シンシア明利江フォーム「やられる訳には行かないから。」

激しくぶつかり合う2人。

マジックソールフォーム「プリキュア・ソールスコールウェーブアースクエイクサンダー!!」

マジックソールフォームが大勢のゴウガイ兵らに真上から豪雨を降り注ぎ、次に巨大な津波を起こし、大地震を起こし、最後に落雷して全滅させた。

プーティラド「死ねえっ!!」

空中からプーティラドが強襲して、マジックソールフォームに襲いかかった。

ジャックファイツフォーム「プリキュア・ファイツシールドスピニングブーメラン!!」

ジャックファイツフォームがキュアメタルジャスティスシールドを手に構えて、身体を360°回転しながらジャスティスシールドを投擲し、自由自在に回りながらプー

テイラドに喰らわせて倒した。

マジックソールフォーム「ジャック!!」

ジャックフォーム「2人で決めましょう。」

2人は一緒に組みながら次々と兵を倒していき、圧倒した。

ミステイックエスパネスフォーム「プリキュア・エスパネスポルターゴースト!!」

ミステイックエスパネスフォームが周辺に落ちている岩などを念動力で持ち上げて、敵全体にぶつけて、さらに念動力で形成したいくつかの幻影の幽霊を出現して攻撃した。

トリケーンラ「トリケラジャンププレス!!」

トリケーンラが高くジャンプしながらミステイックエスパネスフォームに着地して強烈な体当たりをしかかった。

ミステイックエスパネスフォーム「プリキュア・エスパネスフォースサイコブラスター!!」

ミステイックエスパネスフォームが獄気を集中してキュアマタルガントレットを発光しながら、強力な念動力の光線を放ち、トリケーンラに直撃し、撃破した。

ステゴラツシユ「よくもやりやがったな!!」

ブラーキッド「仲間の仇を取ってやる!!」

ステゴラツシユとブラーキッドが仲間の仇を取るためミステイックエスパネスフォームに襲いかかった。

ミステイックエスパネスフォーム「ヒーローライドチェンジ!!」

ミステイックエスパネスフォームはフォームチェンジし、ミステイックミラーシエナフォームへと変わった。

ミステイックミラーシエナフォーム「プリキュア・ミラーシエナビットマジカルストーム!!」

ミステイックミラーシエナフォームが10基のミラーシールドビットでステゴラツシュ、ブラーキッドの包围を円陣を形成して囲み、円陣から魔力で形成した暴風でステゴラツシュ、ブラーキッドに攻撃し、撃破した。またメガメタルザウルスカスタムの部隊を相手にキュアライドロボツヴァイ1、2号機にそれぞれ操縦するアラム、ジュルフ。

アラム（キュアライドロボツヴァイ1号機）「オラオラオラー!!」

アラムの操縦するキュアライドロボツヴァイ1号機がパンチを繰り出しながらメガメタルザウルスカスタムに喰らわし、キックで打ち込み、さらに右腕のアームビームブレードで斬り込んで破壊した。他のメガメタルザウルスカスタム数機がツインビームキャノンを一斉に放ち、攻撃して来た。

ジュルフ（キュアライドロボツヴァイ2号機）「散れ!!」

ジュールフの操縦するキュアライドロボツヴァイ2号機が空中から左腕のガトリングガンで射撃し、空中キックでお見舞いして、パンチを繰り出しながら次々と破壊していった。

ストライク五官フォーム「プリキュア五官針山地獄!!」

ストライク五官フォームが五感を感じながら柱状の針山をいくつから現れて敵全体に喰らわて撃退した。

忍里丸「覚悟!!」

ストライク五官フォームの前に忍里丸が現れた。

ストライク五官フォーム「お前の相手をしている暇はない!!」
忍里丸「プリキュア、貴様の首を取るまでは!!」

ストライク五官フォームに向かって襲い掛かる忍里丸。ストライク五官フォームはパンチで忍里丸を一撃で倒したが、身に付いていた忍影鎧を脱いで身代わりにした。

忍里丸「こうなれば私の最後を説くとみよ!!」

忍里丸はある事に出て、漆黒の忍影鎧のような物をだして身に纏った。

忍里丸「うおおおおー!!」

それを身に纏った忍里丸は凶暴化し、ストライク五官フォームに襲いかかった。ストライク五官フォームは拳で忍里丸に食らわすが、忍里丸は瞬間移動してかわし、ストライク五官フォームの背後に突いて攻撃した。

ストライク五官フォーム「くう!!」

漆黒の忍影鎧のような物を身に付いた忍里丸の攻撃を受けたストライク五官フォーム。

ストライク五官フォーム「こうなったら、プリキユア五官針山地獄!!」

ストライク五官フォームは五感を感じしながら柱状の針山をいくつから現れて忍里丸にお見舞いするが、素早く回避された。

忍里丸「死ねえ!!」

漆黒の忍影鎧の力で増した忍里丸がストライク五官フォームにクナイで斬り込み、さらに分身体を形成して手裏剣を放ち、火遁の術後、水遁の術、雷迅の術をいくつか放った。

ストライク五官フォーム「あの鎧の力が増しているのね。」

漆黒の忍影鎧で力が増している事で暴走する忍里丸。激戦を繰り広げる戦い、勝つのは果たして……。

次回 80話へ続く

第80話 亜苦羅での戦い

亜苦羅で繰り広げる激闘。

パラレルワールド

亜苦羅

シンシアスカヴァフォーム「はああああー!!」

シンシアスカヴァフォームが冷凍光線を放ち、スピノダインに喰らわした。

スピノダイン「寒いのを喰らわせやがったな、こいつ!!スピノクロースラッシュ!!」

スピノダインが両手の爪を発光しながらシンシアスカヴァフォームに喰らわした。

スピノダイン「スピノカッターブレイク!!」

スピノダインが背中中の巨大な背鰭に光刃を纏いながらシンシアスカヴァフォームに向かって斬撃するが、

シンシアスカヴァフォーム「プリキュア・スカヴァフリーザーバースト!!」

シンシアスカヴァフォームが全身にアスゴルド王国の氷を放ちながらスピノダインに喰らわれ、撃破した。

マジックストレンジャーフォーム「プリキュア・ストレンジャーフレアエクスプロージョン!!」

マジックストレンジャーフォームが高熱球を形成して放ち、敵兵を一気に大爆発させた。

スカルアームドグリーン「死ね!!」

その時、マジックストレンジャーフォームとジャックブラックレディフォームの前に

スカルアームドグリーンとスカルアームドレッドが強襲して来た。すぐ攻撃をかわした2人。

ブラッディスカル「流星はプリキュア、わしの配下の攻撃をかわすと。」

2人の前にブラッディスカルが現れた。

ジャックブラックレディフォーム「グローヴァリテイ。」

ブラッディスカル「お前達の相手をしよう、スカルスパークプラズマ!!」

ブラッディスカルが強烈な雷をマジックストレンジャーフォームとジャックブラックレディフォームに喰らわした。

マジックストレンジャーフォーム、ジャックブラックレディフォーム「うっ!!」

ブラッディスカルの必殺技を喰らったマジックストレンジャーフォームとジャックブラックレディフォーム。スカルアームドグリーンとスカルアームドレッドが隙を突

いて攻撃して来た。

スカルアームドグリーン「スカルツインスラッシュユ!!」

スカルアームドグリーンが両腕のボーンブレードを発光しながらマジックストレンジャーフォームに斬撃した。

スカルアームドレッド「行け!!」

スカルアームドレッドがに右肩にビームキャノン、左肩にミサイルランチャーを同時に発射してジャックブラックレディフォームに攻撃した。

マジックストレンジャーフォーム「やってくれたね、プリキュア・ストレンジャーマジックストレンジャーフォーム!!」

マジックストレンジャーフォームが両手に魔法陣を纏いながらビームを放ったが、

スカルアームドグリーン「スカルクロススラッシュユ!!」

スカルアームドグリーンが両腕のボーンブレードを発光しながら十文字斬りでマジックストレンジャーフォームのビームを打ち消した。

ジャックブラックレディフォーム「プリキュア・ブラックレディツインスライサー!!」

ジャックブラックレディフォームがキュアメタルブラックレディアームソードに獄気を集めて光状を纏いながらスカルアームドレッドに斬撃するが、

スカルアームドレッド「そうはさせせん!!」

スカルアームドレッドがジャックブラックレディフォームの必殺技を4本の腕による剣、ハンマー、槍、斧で受け止めた。

クイーン翔華楽フォーム「プリキュア・翔華楽舞風烈斬!!」

ミスティックワプニオンフォーム「プリキュア・ワプニオンワープアタック!!」

2人は同時攻撃を仕掛けていくが、

デーモニアス「そうはさせせん、デーモニパニツシュレイ!!」

デーモニアスがいくつかの無数の光状の柱を出現してクイーン翔華楽フォーム、ミステイツクワプニオンフォームの攻撃を打ち消し、そのまま2人にお見舞いした。

クイーン翔華楽フォーム、ミステイツクワプニオンフォーム「きやああああー!!」

デーモニアスの必殺技の受けたクイーン翔華楽フォーム、ミステイツクワプニオンフォーム。

クイーン翔華楽フォーム「てやああああー!!」

クイーン翔華楽フォームが2つのキュアメタル天翔心を両手に持ちながらデーモニアスに斬撃するが、デーモニアスが両手の爪で受け止めた。

デーモニアス「デーモニクロー!!」

デーモニアスの両手の爪を発光しながらクイーン翔華楽フォームに斬り裂いた。

ミステイクワプニオンフォーム「プリキュア・ワプニオンスーパーインシヨット!!」

ミステイクワプニオンフォームが獄気を集中して全身を発光しながら上空から異空間の穴を空けて、デーモニアスにお見舞いするが、デーモニアスが素手で全て薙ぎ払い、ミステイクワプニオンフォームに拳で殴り込んだ。

アラム（キュアライドロボツヴァイ1号機）、ジュルフ（キュアライドロボツヴァイ2号機）「邪魔だあああああー!!」

アラムとジュルフがそれぞれ操縦するキュアライドロボツヴァイでメガメタルザウルスカスタムの集団に殴り込み、次にアームビームブレードで斬り込み、続いてガトリ

ングガンで撃ち込んだ。メガメタルザウルスカスタムがツインビームキャノン、ミサイルランチャーを同時に一齐発射し、背中のブースターを加速しながらメタルファンング、アームメタルクローで強襲しかかるが、

アラム（キュアライドロボツヴァイ1号機）、ジュルフ（キュアライドロボツヴァイ2号機）「見え見えだ!!」

2機が同時攻撃でメガメタルザウルスに殴り込んで破壊した。

ザッパード「オラオラオラー!!」

ザッパードが大型ビームガトリングガンでゴウガイ兵やりザードアーミーやゴブリオンに一気にぶち込んだ。

オクトジュエリース「貴様の相手をしてやる!!」

オクトジュエリースが現れて、ザッパードに強襲して来た。

ザッパード「またお前か?!」

再びオクトジュエリースと再戦するザッパード。オクトジュエリースが全身から放電し、ザッパードに喰らわした。

ザッパード「うぐっ!!」

オクトジュエリースの放電を浴びたザッパードは、トマホークを出して斬撃するが、

オクトジュエリース「やらせるか!!」

触手から繰り出すパンチでザッパードにお見舞いした。

アルス「アルスステイングへアー!!」

アルスが自身の髪を伸ばしながら先端を尖った状態でライノコングにお見舞いした

が、

ライノコング「やられるかよ!!」

カウンターによるパンチで連打しながら角でお見舞いしたライノコング。

アルス「この野郎!!」

アルスがライノコングの背中に飛び込んで掴みかかり、殴り込んだ。

ライノコング「俺の背中を飛び込みやがったな!!」

背中に飛び付いたアルスを力を出し切って振り払ったライノコング。

レオンダー「うおおおおー!!」

レオンダーが右手の爪でストレートにコンドイガーに喰らわすが、

コンドイガー「かわしてやる!!」

空を飛んで回避し、コンドイガーが空中から勢いよくレオンダーに体当たりした。

レオンダー「うっ!!」

コンドイガーの体当たりを喰らったレオンダー。

レオンダー「レオンタイフーン!!」

レオンダーが顔の鬣から竜巻を起こして、コンドイガーにお見舞いして落とした。

キラーヒッツ「蠍野郎、ここで終わらせてやる!!」

キラーヒッツが大量のナイフを投げて、コブラーピオンに喰らわした。

コブラーピオン「洒落!!」

コブラーピオンが両腕の鍔でキラーヒッツに斬りつけて、尻尾のコブラを振りながら当てた。

キラーヒッツ「やってくれたな!!」

キラーヒッツがコブラーピオンに飛び蹴りしてお見舞いし、カタールランチャーで斬撃した。

バイソック「こいつを喰らえ!!」

バイソックがパンチでクラブスタッグを殴り、タツクルでお見舞いした。

クラブスタッグ「泡攻撃を喰らえ!!」

クラブスタッグの口から泡攻撃でバイソックに喰らわせてダメージを負わせ、両手の

鋏で斬り込んだ。

バイソック「うっ!!」

クラブスタッグの攻撃を受けたバイソック。

アルティノス「チエス野郎!!」

アルティノスがチエスメイトに頭で頭突きし、爪で切り裂いた。

チエスメイト「!!」

チエスメイトはナイト形態へとなって、アルティノスに向かって4足を強いた飛び蹴りでお見舞いし、ランスで突いた。

アルティノス「やってくれたな!!」

アルティノスが再び頭突きでチェスメイトに喰らわそうとするが、チェスメイトは両手で頭を掴み、そのまま振り回して投げ飛ばした。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「はああああー!!」

敵兵の大軍を次々と蹴散らすフェッターアルティメットゴッドフォーム。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド六芒光滅!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド光陰名小手に獄気を集めて広げた状態で六芒星形成して、6つの巨大な光を放ちながら敵兵の大軍を蹴散らした。

ゴウガイ兵「死ねえっ!!」

ゴウゴイ兵が棍棒でフェッターアルティメットゴッドフォームに向かって打撃にか

かるが、

フェッターアルティメットゴッドフォーム「見え見えよ!!」

アルティメットゴッド烈陣セイバーで切り込んで返り討ちにしたフェッターアルティメットゴッドフォーム。

ストライクブレイディオフォーム「うううっ!!」

ストライクブレイディオフォームは漆黒の忍影鎧で暴走する忍里丸相手に戦っていた。

忍里丸「うおおおー!!」

忍里丸がクナイでストライクブレイディオフォームに斬りつけ、さらに威力を増した火遁の術で喰らわせた。

ストライクブレイディオフォーム「このままやられる訳にはいかない。」

ストライクブレイディオフォームはキュアメタルブレイディオソードで防御しつつ、相手の動きを感知しながら行動を読み始めた。

忍里丸「貰った!!」

忍里丸がストライクブレイディオフォームの真上から急所を刺しにかかった。

ストライクブレイディオフォーム「そこ!!」

ストライクブレイディオフォームが忍里丸の動きを感知して、キュアメタルブレイディオソードで受け止めて、そのまま斬り込んだ。

忍里丸「うっ!!」

ストライクブレイディオフォームの斬撃を受けた忍里丸は漆黒の鎧を破壊されてし

まった。

忍里丸「鎧が!!」

鎧を失った忍里丸は戦う手段を失った。

忍里丸「もはやここまでか!!」

鎧を失った忍里丸は自決しようとするが、そこでストライクブレイディオフォームが止めに入った。

ストライクブレイディオフォーム「自分の命を捨てないで。」

忍里丸「何故止める。」

ストライクブレイディオフォーム「もう誰も死なせたくないの、だから生きて。」

そう言いながら立ち去ったストライクブレイディオフォーム。

忍里丸「生きるか……。」

亜苦羅で大激戦はまだまだ終わらない。

次回 81話へ続く

第81話 壮絶な戦い

亜苦羅での激戦は尚もまだ続いていた。

クイーン大和丸フォーム、ミステイクエスパネスフォーム「はあああああー!!」

デーモニアスに同時攻撃でかかるクイーン大和丸フォームとミステイクエスパネスフォーム。デーモニアスは2人の同時攻撃を防ぎ、爪で切り裂いた。

デーモニアス「最高幹部の力を侮るな、プリキュア!!」

グローヴァリテイの最高幹部の立場であながらプリキュアを圧倒するデーモニアス。

デーモニアス「デーモニデスブラストル!!」

デーモニアスが魔法陣を形成して、陣からいくつかの無数の魔法弾をクイーン大和丸

フォームとミスティックエスパネスフォームに攻撃した。

クイーン大和丸フォーム「プリキュア・大和十字破!!」

ミスティックエスパネスフォーム「プリキュア・エスパネスフォーササイコブラスター!!」

2人が必殺技を同時にデーモニアスにお見舞いした。

デーモニアス「うおおおおおー!!」

2人の必殺技を同時に喰らったデーモニアス。だがそれでもデーモニアスは倒れなかった。

デーモニアス「死ぬ、デーモニパニッシュユレイ!!」

デーモニアスがいくつかの無数の光状の柱を出現してクイーン大和丸フォームとミスティックエスパネスフォームに攻撃した。

マジックレディフォーム「プリキュア・レディメガトンアッパー!!」

ジャックヴォイダートフォーム「プリキュア・ヴォイダートランチャーパンチ!!」

マジックレディフォームとジャックヴォイダートフォームがスカルアームドグリーンとスカルアームドレッドに喰らわして撃破した。

ブラッディスカル「スカルストーンハンマー!!」

ブラッディスカルが岩石で形成したハンマーでジャックヴォイダートフォームに攻撃する。直ぐにジャンプして回避したジャックヴォイダートフォームはそのままブラッディスカルにキュアメタルナツクルをキュアメタルベアクローに変化して斬り込むが、

ブラッディスカル「ふん!!」

素手でジャックヴォイダートフォームのキュアメタルベアクローを受け止めた。

マジッククレディフォーム「たあああああー!!」

マジッククレディフォームがブラッディスカルに殴りにかかったが、

ブラッディスカル「甘いわ!!」

ブラッディスカルが左手からバリアを貼り、マジッククレディフォームの攻撃を防いだ。

ジャックヴオイダートフォーム「何て手強いのだ!!」

ブラッディスカル「わしは簡単にやられんよ、スカルバーニングストーム!!」

ブラッディスカルは2人に灼熱の火炎の嵐を放った。

マジッククレディフォーム、ジャックヴオイダートフォーム「わあああああー!!」

ブラッディスカルの必殺技を受けたマジックレディフォーム、ジャックヴオイダートフォーム。

アラム（キュアライドロボツヴァイ1号機）「こいつ!!」

ジュルフ（キュアライドロボツヴァイ2号機）「数がかなり多い!!」

メガメタルザウルスカスタムの大軍を2人で戦うアラムとジュルフ。メガメタルザウルスカスタムがアームメタルクロードでキュアライドロボツヴァイ1号に攻撃しかかった。

アラム（キュアライドロボツヴァイ1号）「見え見えだ!!」

アラムのキュアライドロボツヴァイ1号がパンチで思いつきりメガメタルザウルスカスタムの胴体を殴り貫き、破壊した。

ジュルフ（キュアライドロボツヴァイ2号機）「消える!!」

ジュルフのキュアライドロボツヴァイ2号機がキツクで回し蹴りをしながらメガメタルザウルスカスタムの3機をまとめて破壊しました。メガメタルザウルスカスタム全機がツインビームキャノンで一斉に放った。アームビームブレードで斬り払いながら突き進んでメガメタルザウルスカスタムを次々と破壊するキュアライドロボツヴァイ1号、2号機。

シンシアフェアリアルフォーム「プリキュア・フェアリアルエアリアルバードアタック!!」

シンシアフェアリアルフォームが鳥の翼を羽ばたいて空を飛んで自由自在に回りながらラプトソルジャー、ラプトアーミー、ゴブリオンの集団を蹴散らした。だがその時、見掛けない存在がシンシアフェアリアルフォームに襲いかかった。

シンシアフェアリアルフォーム「!!」

直ぐに空中を飛んで回避したシンシアフェアリアルフォーム。見掛けない存在を見たシンシアフェアリアルフォームは、

シンシアフェアリールフォーム「こっ、これは・・・?!」

初めて見る姿に驚愕するシンシアフェアリールは、まるで見たこともない生命体で、ミュータントだ。グローヴァリテイが人工的に生み出した生命体、ゲノメイシスだ。

シンシアフェアリールフォーム「初めて見るわ。」

ゲノメイシスを初めて見るシンシアフェアリールフォームは戸惑いを感じながら挑んだ。アサルトライフルで一斉に攻撃するが、ゲノメイシスは超能力を使って、弾を止めた。

シンシアフェアリールフォーム「止めた?!」

弾が全て止められたのに驚愕するシンシアフェアリールフォームは翼を羽ばたきながら突撃するが、

ゲノメイシス「……」

ゲノメイシスが超能力を使って、シンシアフェアリールフォームの動きを止めた。

シンシアフェアリールフォーム「うっ、動けない……!!」

ゲノメイシスの超能力によって動きを止められてしまったシンシアフェアリールフォーム。隙を突いて、ゲノメイシスが一齐にパイロキネシスで火を起こしてシンシアフェアリールフォームに喰らわした。

シンシアフェアリールフォーム「きゃああああー!!」

ゲノメイシスのパイロキネシスを喰らったシンシアフェアリールフォーム。

武士「プリキュア!!」

武士達が直ぐに水を出して、シンシアフェアリールフォームに着いた火を消した。ゲノメイシスは近くにいた武士達をテレポートして直ぐに肉弾戦で蹴散らした。

シンシアフェアリールフォーム「ヒーローライドチェンジ!!」

シンシアフェアリールフォームがスカヴァフォームにチェンジし、必殺技を発動させた。

シンシアスカヴァフォーム「プリキュア・スカヴァスノウダイヤモンドダスト!!」

シンシアスカヴァフォームが獄気を集中してゲノメイシスの大軍に氷結の嵐を起し、アスゴルド王国の氷で形成した氷の巨大な球をシュートして敵全体に喰らわして、そのまま氷結して粉碎した。

ザッパード「オラオラオラー!!」

オクトジュエリースの攻撃をトマホークで受け止め、斬撃するザッパード。

オクトジュエリース「貴様を八つ裂きにしてやる。」

オクトジュエリースが触手でザッパードに打撃で連打し、放電するが、

ザッパード「やらせるかよ!!」

ザッパードが頭部に内蔵されているビームブラスターを展開し、オクトジュエリースにお見舞いした。

オクトジュエリース「うわああああー!!」

ザッパードのビームブラスターを喰らったオクトジュエリース。

ザッパード「こいつで終わりだ、ザッパードアックストルネードスラッシュ!!」

ザッパードがトマホークを両手に構えて自身を360°回転し続けて竜巻状になっ

て、オクトジュエリースに喰らわした。ザッパードの必殺技を受けて最期を迎えたオクトジュエリース。

ライノコング「俺を舐めるなよ!!」

角で強いてアルスに突撃するが、アルスが片手でライノコングの角を受け止めた。

アルス「お前の角をへし折ってやる!!」

アルスが力一杯入れて、ライノコングの角を挿んだ状態でへし折った。

アルス「こいつで終わりだ、アルス・ザ・ブレイクヘッド!!」

アルスが両手を発光しながらライノコングにパンチで連打し、続いて相手を持ち上げてさながら上に投げて、最後にジャンプして頭を発光して頭突きした。アルスの必殺技を受けて最期を迎えたライノコング。

レオンダー「今終わらせてやる!!」

コンドイガーに向かって攻撃にかかるレオンダー。

コンドイガー「貴様にやられる筋合いはない!!」

コンドイガーが口の牙でレオンダーに噛み付きにかかるが、

レオンダー「やらせるかよ、レオンブレイジングスラッシュユ!!」

レオンダーが両手の爪に火炎状を纏いながらコンドイガーに斬撃した。レオンダーの必殺技を受けて最期を迎えたコンドイガー。

キラーヒッツ「ふん!!」

カタールランチャーでコブラーピオンに斬撃を繰り出すキラーヒッツ。

コブラーピオン「貴様を今楽にしてやる!!」

コブラーピオンが尻尾のコブラでキラーヒッツに向けて噛み付きにかかるが、

キラーヒッツ「そこか!!」

キラーヒッツがカタールランチャーでコブラーピオンの尻尾を切断した。

キラーヒッツ「終わりだ、スラツシユザソード!!」

キラーヒッツが右手に持っているカタールランチャーに巨大な光状を纏いながらコブラーピオンを一刀両断し、撃破した。

バイソツク「俺の角を受けろ!!」

バイソツクが自身の角でクラブスタッグにお見舞いした。

クラブスタッグ「いい気になるなよ!!」

鍬形の鍬でバイソックを掴んだクラブスタッグ。だが、バイソックが力一杯入れて、クラブスタッグの鍬をへし折った。

バイソック「今終わらせてやる、バイソックギガバスター!!」

バイソックが全身を発光しながらクラブスタッグの周りを回りながら頭の角で突撃し、撃破した。キメラーズ全員を倒したインフェルノの幹部達。

チエスメイト「決着をつけさせて貰います!!」

アルティノス「ならここで最期にしてやる!!」

チエスメイトとアルティノスが早期に決着を着けるべく、ぶつかり合おうとする。

アルティノス「パキケヘッドブレイク!!」

アルティノスが頭を発光しながらチエスメイトに頭突きにしかかった。

チエスメイト「グラウンドキングチャージアタック!!」

チエスメイトが最終形態になって、全身を発光しながらアルティノスに向かって突進する。両者激しくぶつかり合い、力と力がぶつかり合い、2人は必殺技で炸裂した。

チエスメイト「はああああー!!」

チエスメイトが力を全て出し切りながらアルティノスを押し返し、強烈な体当たりをした。

アルティノス「うわああああー!!」

チエスメイトの必殺技を喰らい最期を迎えたアルティノス。次々と幹部を倒されるゴウガイ軍。

ドラグード（戦闘形態）「……」

ドラグードはコカビエラスとヴォルガスとガルガードとガウラートの4人を相手に戦っていた。

コカビエラス「1人で挑みに来たのか。」

ヴォルガス「死にに来たのか?！」

ガルガイド「笑わせてやるぜ!!」

ガウラート「貴様など楽にしてやるぜ!!」

ドラグードに向かって一斉にかかるコカビエラスとヴォルガスとガルガイドとガウラート。

ドラグード「龍獄滅龍波!!」

ドラグードが巨大なエネルギー状の龍を形成して、コカビエラスとヴォルガスとガルガードとガウラートをまとめて喰らわし、跡形もなく完全消滅させた。

ドラグード「ふっ。」

ドラグードの強さは未だ健在だった、この後彼には重い結末が待っていた。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「はああああー!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームが次々と敵兵を蹴散らすフェッターアルティメットゴッドフォーム。

ストライクアイゼンフォーム「フェッター!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームと合流するストライクアイゼンフォーム。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「ストライク。」

ゴウガイ「2人一緒に来たか。」

2人の前にゴウガイが現れた。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「ゴウガイ!!」

ゴウガイ「その姿、武凰大將軍の力か。貴様がその力来たなら、俺の真の力を見せてやる。」

ゴウガイが突如全身に異変が起こり始めて、龍人へと姿を変え、凶暴な目つき、鋭さ、力も増していった。

ゴウガイ龍人化「これが俺の本当の力だあっ!!」

龍人化したゴウガイ。その力は果たして、

次回 82話へ続く

第82話 悪夢再び

ゴウガイが真の力を発動し、龍人化となった。

パラレルワールド

亜苦羅

ゴウガイ龍人化「俺の力を見せてやる!!」

ゴウガイ龍人化がフェッターアルティメットゴッドフォームに襲いかかった。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド烈陣セイバーでゴウガイ龍人化の拳を受け止めた。

ゴウガイ龍人化「これはまだ序の口だ!!」

そう言いながら力で押し返していきながらフェッターアルティメットゴッドフォー
ス突き飛ばした。

フェッターアルティメットゴッドフォー「くっ!!」

ゴウガイ龍人化に突き飛ばされたフェッターアルティメットゴッドフォー。

フェッターアルティメットゴッドフォー「プリキュア・アルティメットゴッド光蛇
斬!!」

フェッターアルティメットゴッドフォーがアルティメットゴッド烈陣セイバーに
獄気を集中しながらパープルの光状を纏って鞭のように振るいながらゴウガイ龍人化
に喰らわした。

ゴウガイ龍人化「やるな、ならこれはどうだ、覇豪龍仁拳!!」

「ゴウガイ龍人化が両腕を発光しながら連打を繰り返しながらフェッターアルティメットゴッドフォームに喰らわれ、いくつかの衝撃波を起こしてプリキュア達や光川家の軍勢に喰らわした。」

一同「わあああああー!!」

ゴウガイの必殺技の影響で衝撃波を受けたプリキュアや光川家の軍勢。

ジャック「何て威力なの?！」

マジック「あたし達が戦っている方にも影響を出すなんて・・・!!」

ブラッディスカルと交戦中のマジックやジャックにも影響を及ぼした。

クイーン「こんなの信じられない!!」

ミステック「あああつ!!」

またデーモニアスと交戦中のクイーンやミステックにも影響を及ぼした。

ゴウガイ龍人化「見たか、これが俺の力!! 貴様らでは俺を倒す事は不可能だ!!」

フェッターアルティメットゴッドフォーム「そんなのはやってみなきやわからない

!!」

ゴウガイ龍人化「貴様に死を与えてくれるわ!!」

ゴウガイ龍人化がフェッターアルティメットゴッドフォームに向かって正拳突きをしかなかった。それを直ぐに回避し、ゴウガイ龍人化に間合いに斬りかかるフェッターアルティメットゴッドフォーム。

ゴウガイ龍人化「甘いわ!!」

拳でフェッターアルティメットゴッドフォームで殴り飛ばしたゴウガイ龍人化。

ストライクアイゼンフォーム「フェッター!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームが殴り飛ばされるのを目の当たりにする

ストライクアイゼンフォーム。

ゴウガイ龍人化「貴様も死を与えてやる。」

ゴウガイ龍人化がストライクアイゼンフォームに殴りにかかった。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンサンシャインバスターショット
!!」

ストライクアイゼンフォームがキュアブレードマグナム銃モードから手に持ったま
まパワージャッキを発光して獄気とエネルギーの2つを集中しながら一気に強力な光
線を放ち、ゴウガイ龍人化に喰らわしたが、

ゴウガイ龍人化「効かん!!」

ゴウガイ龍人化が素手でストライクアイゼンフォームの必殺技を薙ぎ払った。

ゴウガイ龍人化「貴様もまたここで俺に敗れるが良い、覇豪吹龍波!!」

ゴウガイ龍人化が口から強烈なブレスを吐き、ストライクアイゼンフォームに喰らわした。

ストライクアイゼンフォーム「あああああー!!」

ゴウガイ龍人化の強烈なブレスを喰らい、とてつもないダメージを受けたストライクアイゼンフォーム。

ストライクアイゼンフォーム「何て強さなの・・・?!」

ゴウガイ龍人化が通常形態よりさらに上回る強さの攻撃に圧倒されたストライクアイゼンフォーム。

ゴウガイ龍人化「貴様が俺に勝つなど不可能だ!!」

ストライクアイゼンフォーム「まだだよ、まだ負けない!!」

それでも挫けず、ゴウガイ龍人化に立ち向かうストライクアイゼンフォーム。

ゴウガイ龍人化「死に損ないめが。」

ゴウガイ龍人化がストライクアイゼンフォームに再び攻撃をするが、

ドラグード（戦闘形態）「貴様は私が相手だ。」

2人の間にドラグードが現れた。

ストライクアイゼンフォーム「ドラグード!!」

ドラグード「キュアストライク、こいつはお前1人では勝てない。キュアフエッター、立ち上がれるか。」

フエッターアルティメットゴッドフォーム「まだやれるわ。」

ストライクアイゼンフォーム「3人で一緒に共闘ね。」

ドラグード（戦闘形態）「3人でゴウガイに挑むぞ!!」

フエッターアルティメットゴッドフォーム「3人で行くしかないね!!」

ストライクアイゼンフォームとフエッターアルティメットゴッドフォームとドラグードが3人で一緒に共闘し、ゴウガイ龍人化にたちむかった。

ゴウガイ龍人化「無駄な足掻きを。」

ゴウガイ龍人化と一緒に共闘する3人に殴りにかかった。

ドラグード（戦闘形態）「龍獄双龍斬!!」

まず先にドラグードが先手に出て、必殺技を発動しながら両腕のアームドラゴブレードでゴウガイ龍人化にX字斬りした。

ゴウガイ龍人化「小癩な真似を。」

ゴウガイ龍人化がドラグードに口から鋭い牙で噛みつきにかかった。

ストライクアイゼンフォーム「プリキュア・アイゼンサンシャインバスター!!」

ストライクアイゼンフォームが両腕のキュアメタルアームから変化したアームビームブラスターのパワージャッキを獄氣を集中して発光しながら両手を合わせて掌から強力な光線をゴウガイ龍人化の口の中に放った。

ゴウガイ龍人化「うっ、ぐうっ!!」

ストライクアイゼンフォームの必殺技を口の中に喰らったゴウガイは、身体の中にダメージを喰らった。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「はああああー!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド烈陣セイバーと武凰超武神刀を両手に持ちながら二刀流で攻めて、ゴウガイ龍人化に斬り込んでいき、二刀を真つ向から突いた。

ゴウガイ龍人化「舐めた真似を!!」

ゴウガイ龍人化が3人に対し、拳でまとめて殴り込み、次に口から必殺技の覇豪吹龍波を吐いた。

ゴウガイ龍人化「貫った!!」

再び3人をまとめて殴りにかかろうとするゴウガイ龍人化。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「やらせない!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームが武凰超武神刀で斬り込んだ。

ゴウガイ龍人化「貴様!!」

フェッターアルティメットゴッドフォーム「ゴウガイ、今終わらせてやる!!」

フエッターアルティメットゴッドフォームがゴウガイを倒すべく、必殺技を発動する
フエッターアルティメットゴッドフォーム「プリキユア・アルティメットゴッド衝輪
蓮撃斬!!」

フエッターアルティメットゴッドフォームが武凰超武神刀に獄気を集中しながら長いパープルの光状を纏いながらゴウガイ龍人化に向け下ろした。

フエッターアルティメットゴッドフォーム「これで終わりだあっ!!」

フエッターアルティメットゴッドフォームが故郷を支配したゴウガイ龍人化を倒すべく、この手で斬撃するが、

ゼシウス（戦闘形態）「はい、そうはさせない。」

その時、ゴウガイ龍人化の前にゼシウスが突如現れて、フエッターアルティメットゴッドフォームの必殺技を片手で軽々と受け止めた。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「ゼシウス!!」

レヴォリユード(戦闘形態)「私もいるぞ。」

ゼシウスに続いて、レヴォリユードも現れた。

ストライクアイゼンフォーム「ゼシウス・・・!!」

レヴォリユード(戦闘形態)「貴様らに絶望を味合わせてやる!!」

攻撃にかかったレヴォリユード。

レヴォリユード(戦闘形態)「ケルベニウスラッシュブレイカー!!」

レヴォリユードが最速で空を飛んで自由自在に駆けながら、ストライクアイゼンフォーム、フェッターアルティメットゴッドフォーム、ドラグードに突撃して強烈に喰らわした。

レヴオリユード（戦闘形態）「ケルベニウスデスレイン!!」

レヴオリユードが掌を挙げたまま、無数の光線を大量に放ち、ストライクアイゼンフォーム、フェッターアルティメットゴッドフォーム、ドラグードに喰らわした。

ストライクアイゼンフォーム、フェッターアルティメットゴッドフォーム、ドラグード（戦闘形態）「うわあっ!!」

レヴオリユードの猛攻を受けるストライクアイゼンフォーム、フェッターアルティメットゴッドフォーム、ドラグード。

ストライクアイゼンフォーム「レヴオリユードにゼシウスまで来て最悪だ・・・!!」

レヴオリユードとゼシウスの参戦に最悪な状況に陥ってしまったプリキュア側。

レヴオリユード（戦闘形態）「終わりだ!!」

レヴオリユードがストライクアイゼンフォームに向かって、片手に闇状の刃を纏いながら刺しにかかった。

ドラグード（戦闘形態）「!!」

その時、ドラグードが彼女の前に立ち、レヴオリユードの攻撃を受けた。

ストライクアイゼンフォーム、フェッターアルティメットゴッドフォーム「!!」

ドラグードが自分達を庇う為に犠牲となり、彼は大きな致命傷を受けた。

次回 83話へ続く

第83話 閻魔大王

レヴオリユードとゼシウスの参戦でと戦いは悪化する方へ進んだ。

パラレルワールド

亜苦羅

レヴオリユード（戦闘形態）「貴様らに地獄を味合わせてやる!!」

レヴオリユードが光川家の軍勢に一気に攻めにかかった。

レヴオリユード（戦闘形態）「ケルベニウスデスレイン!!」

レヴオリユードが掌を挙げたまま、無数の光線を大量に放ち、光川家の軍勢に喰らわした。

一同「うわああああー!!」

レヴオリユードの必殺技によって大きな損害を受けた光川家の軍勢。

宗陣「我が軍勢が……!!」

昌伸「武士達が……!!」

武士達が一気にやられてしまい、危機に陥った光川家の軍勢。

レヴオリユード（戦闘形態）「雑魚を片付けてやる!!」

光川家の武士達を素手で次々と蹴散らすレヴオリユード。

武士1「ぐわああああー!!」

武士2「わあああああー!!」

レヴオリユードによって倒されていく武士達。

シンシアフェアリアルフォーム「武士達が!!」

アラム（キュアライドロボツヴァイ1号）「まずい!!」

ジュールフ（キュアライドロボツヴァイ2号機）「このままじゃ!!」

レヴォリユードの攻撃で武士達がやられていく姿にシンシアフェアリアルフォームらは彼を倒しにかかった。

レヴォリユード（戦闘形態）「雑魚が、ケルベニウスダーククラッシュ!!」

レヴォリユードが片手から強烈な邪悪光線をシンシアフェアリアルフォームらに喰らわした。たった1人で圧倒的な強さを誇るレヴォリユードによってプリキュア・光川家の軍勢は壊滅的に追い込まれた。

ドラグード「うっ、うううっ。」

レヴォリユードの攻撃によって、致命傷を負ったドラグード。

ストライクアイゼンフォーム「ドラグード!!」

フェッターアルティメットゴッドフォーム「ダメだわ、もう彼は……。」

ドラグード「キュアストライク……。」

ストライクアイゼンフォーム「？」

ドラグード「私はもう長くない……これからお前に私の全てを託す……。」

ストライクアイゼンフォーム「託す……？」

ドラグード「お前が閻魔大王様と1つとなつてアルティメットゴッドフォームとなるのだ……。」

ストライクアイゼンフォーム「私に?!」

ドラグード「そうだ……私の残った全てを使う……。」

残り僅かな命を最後の力を使ってある事に出るドラグード。

ドラグード「閻魔大王様……!!」

閻魔大王の名を叫ぶドラグード。

パラレルワールド

地獄界

閻魔庁

閻魔大王の部屋

閻魔大王「ドラグードよ。」

パラレルワールド

亜苦羅

ドラグード「私の命はもう長くない、最後の願いを受け入れたい、キュアストライクにどうか10大神であるあなたの力を彼女に認めてあげてください。私の命はどうでもいい……最後に彼女を認めあげてください……。」

閻魔大王に最後の願いを頼むドラグード。自分の命はもう長くはない、最後にストライクを認めて欲しいという事を。

パラレルワールド

地獄界

閻魔庁

閻魔大王の部屋

閻魔大王「ドラグード、お前の最後の願いを確かに聞き受けた。」

ドラグードの最後の願いを聞き受けた閻魔大王は直ちに亜苦羅へと向かった。

パラレルワールド

亜苦羅

ストライクアイゼンフォーム「!!」

亜苦羅に姿を現した閻魔大王。

閻魔大王「……。」

一同「閻魔大王様!!」

閻魔大王が現れた事に驚愕するプリキュア達。

レヴォリユード（戦闘形態）「貴様も死ぬがいい!!」

閻魔大王に向かって、襲いかかるレヴォリユード。閻魔大王は片手で接近して来るレヴォリユードを殴り飛ばした。

一同「!!」

自分達が敵わなかったレヴォリユードを閻魔大王が一瞬で喰らわせたのを光景し、驚愕した。10大神の1人でありながらその強さは絶対的、彼は全ての存在の中では最強だ。

レヴォリユード（戦闘形態）「舐めた真似を、ケルベニウスダーククラッシュ!!」

レヴォリユードが片手から強烈な邪悪光線を閻魔大王にお見舞いしたが、全く傷一つも効いていなかった。

レヴォリユード（戦闘形態）「効いていないだと?！」

閻魔大王「お前如きにやられるような者ではない。」

レヴオリユードの必殺技にびくともしない閻魔大王は、彼に地獄の炎を放ち、喰らわした。

レヴオリユード（戦闘形態）「ぐわああああー!!」

閻魔大王の地獄の炎によって、やられたレヴオリユード。

レヴオリユード（戦闘形態）「この私が敗れただと・・・?!」

閻魔大王「お前の様なひよっこにわしに敵うと思うな!!」

レヴオリユード（戦闘形態）「くっ!!」

ゼシウス（戦闘形態）「レヴオリユード、退くんぞ。今ここでやられる訳にはいかな
い。」

レヴオリユード（戦闘形態）「覚えていろ!!」

閻魔大王にやられたレヴオリユードを連れて退却したゼシウス。

閻魔大王「キュアストライクよ、お前の力になる時が来た。」

キュアストライクアイゼンフォーム「閻魔大王様。」

閻魔大王「ドラグードはお前の事を認めていた。」

キュアストライクアイゼンフォーム「ドラグードが。」

閻魔大王「その強さに実感し、これまでの戦いで戦い抜いてきた。」

キュアストライクアイゼンフォーム「はい。」

閻魔大王「戦いの中、挫けない心、最後までやり抜く意思、偽りを見抜く、真っ直ぐに生きる在り方。」

キュアストライクアイゼンフォーム「あたしはこれまでの戦いで強敵に立ち向かい、偽りの世界を見破り、真っ向から進んで行きました。」

閻魔大王「真っ直ぐな心を持つお前とわしの一体化だ。」

キュアストライクアイゼンフォーム「10大神の力ですね。」

閻魔大王「今こそ一体化する時だ。」

戦いの中、挫けない心、最後までやり抜く意思、偽りを見抜く、真っ直ぐに生きるキュアストライクアイゼンフォームは10時神の閻魔大王と一体化し始め、キュアストライ

クアイゼンフォームは閻魔大王と一体化した事により、神々の姿となり、キュアストライカルティメットゴッドフォームへと変わった。

ストライカルティメットゴッドフォーム「これが10大神の力。」

自分が10大神の閻魔大王と一体化した姿に実感するストライカルティメットゴッドフォーム。

ゴウガイ龍人化「姿が変わったくらいで。」

ストライカルティメットゴッドフォームに向かって、殴りかかるゴウガイ龍人化。その反応に対し、すぐに向かって、ゴウガイ龍人化に殴り込んだ。

ゴウガイ龍人化「ぐおおおー!!」

ストライカルティメットゴッドフォームのパンチの一撃で殴り飛ばされたゴウガイ龍人化。

ゴウガイ龍人化「なっ、何だ、今の一撃は?!」
ストライクアルティメットゴッドフォーム「10大神、閻魔大王様と一体化した力、見せてあげる。」

閻魔大王と一体化して、アルティメットゴッドフォームへと変わったキュアストライク。ゴウガイ龍人化とぶつかり合う。

次回 84話へ続く

第84話 亜苦羅戦終結

閻魔大王と一体化したストライクはついにアルティメットゴッドフォームへととなり、ゴウガイ龍人化と激突した。

パラレルワールド

亜苦羅

ストライクアルティメットゴッドフォーム「今日で終わらせる。」

ゴウガイ龍人化「終わらせるは貴様の方だ!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームに殴りにかかるゴウガイ龍人化。ストライクアルティメットゴッドフォームは神速の如く素早く駆けながらゴウガイ龍人化に殴り込んだ。

ゴウガイ龍人化「ぐおっ!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームのパンチで殴られたゴウガイ龍人化は、その凄まじい威力を受けてダメージを喰らった。

ゴウガイ龍人化「何だその力は・・・?!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「閻魔大王様と一体化した姿だよ。ゴウガイ、今日でお前を終わらして、亜苦羅を解放する!!」

ゴウガイ龍人化「この国は俺の物だ、だからこいつらは俺の奴隷だ。」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「お前は消すべき相手だ、ここで消す!!」

ゴウガイ龍人化を倒すべく、ストライクアルティメットゴッドフォームは必殺技を發動する。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドブレイズナツクル!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームが両腕に獄気を集中しながら地獄界の火炎を纏いながらゴウガイ龍人化に殴り込んだ。

ゴウガイ龍人化「うぐっ!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技を喰らったゴウガイ龍人化。

ゴウガイ龍人化「こいつ、閻魔大王と一体化した事で強くなっている?!!」

閻魔大王と一体化した事で強くなった彼女に驚愕するゴウガイ龍人化。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「この力は全て終わらず、お前やハデユスを倒すために!!」

ゴウガイ龍人化「俺を倒すなど寝言は寝てから言うんだな!!」

ゴウガイ龍人化がストライクアルティメットゴッドフォームに向かって、パンチで殴り込んだが、ゴウガイ龍人化のはパンチを片手で軽々と握り止めた。

ゴウガイ龍人化「くうっ!!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「お前の行動は全て見切った。」
ゴウガイ龍人化「舐めた真似を、覇豪吹龍波!!」

ゴウガイ龍人化が口から強烈なブレスを吐いて、ストライクアルティメットゴッドフォームに喰らわしたが、全く効いていなかった。

ゴウガイ龍人化「効いてかいだと?!

ストライクアルティメットゴッドフォーム「今度はこっちから行くよ、プリキュア・アルティメットゴッド獄炎絶麟拳!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームが右腕に獄気を集中しながら地獄界の火炎状の拳型を放ち、ゴウガイ龍人化に喰らわした。

ゴウガイ龍人化「うおおおおー!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技を受けたゴウガイ龍人化は、閻魔大王と一体化したストライクの力によってダメージを負った。

ゴウガイ龍人化「この俺が喰らっただと・・・?!ふざけるなあっ!!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「お前の負けだ、さあ負け認めるんだ。」

ゴウガイ龍人化「負けを認めるだと、貴様に俺を倒せると思うな!!覇豪龍光拳!!」

ゴウガイ龍人化が右腕を発光して龍の光状を纏いながらストライクアルティメットゴッドフォームに殴りかかったが、ストライクアルティメットゴッドフォームは片手で受け止め、防いだ。

ゴウガイ龍人化「なっ、何だと?!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「これで終わりだ、プリキュア・アルティメットゴッド武獄真絶斬!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームが闇魔超武神剣に獄気を集中して巨大なピンクの光状を纏いながら敵を十文字斬りした。

ゴウガイ龍人化「ぐおおおー!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技を受けたゴウガイ龍人化。

ゴウガイ龍人化「この俺が死ねだと、俺を倒せてもハデユス様は簡単にはやられない、ハデユスと再び交えた時こそが貴様らの最期だ……!!」

捨て台詞を残して最期を遂げたゴウガイ龍人化。ゴウガイ龍人化は倒され、戦局は一気に逆転し、光川家の軍勢が一気に攻勢に出て、ゴウガイ軍、悪炉血の軍勢を攻め落としました。

悪炉血「わしの軍勢がやられていくだと、このままじゃ……!!」
ヴァイド「ここまでだな。」

悪炉血の前にヴァイドが現れた。

悪炉血「貴様は誰だ……!!」
ヴァイド「貴様を消しに来た者だ。」

悪炉血「消すだ?!」

ヴァイド「今日で終わりだ、プリキュア・ヴァイドビーム!!」

ヴァイドが掌から光線を放ち、悪焔血に喰らわした。

悪焔血「ぎゃあああー!!」

ヴァイドの必殺技を受けた悪焔血は跡形もなく、完全消滅し、最期を遂げた。戦いは勝利し、ゴウガイ軍、悪焔血軍を壊滅させたが、グローヴァリテイの軍勢は撤退した。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「遂に故郷を取り戻せたのね。」
ストライクアルティメットゴッドフォーム「ようやくだね。」

遂にゴウガイと悪焔血に支配された亜苦羅を取り戻し、その苦しみから支配を解き放った。謙之介は家臣達と共に松の都へ凱旋し、悪焔血が倒されて將軍の座に着き、真の国主となり、ゴウガイと悪焔血の圧政に苦しむ人々を解放した。また戦いに勝利したプリキュア達は休息を取った。

松の都

臚衛城

居間

アイカ「やっと戦いも終えたね。」

はるな「そうだね。」

イゼル「しつかり休まねえとな。」

ライラ「あああつ。」

文「亜苦羅で過ごすのもいいわね。」

クレア「和風って感じね。」

麗奈「故郷をようやく取り戻せて何よりも良かったよ。」

咲耶歌、海「……。」

アイカ「どうしたの。」

トットム「元気ないそうだな？」

ペル「何かあつたんですか？」

アーニヤ「何だか顔色が悪いみたいですよ。」

咲耶歌「何でもないよ。」

海「そうよ……。」

元氣のない咲耶歌と海を心配するアイカ達。

謙之介「ようやくついに故郷を取り戻せた。」

麗奈「あれから14年。ゴウガイと悪炬血から解放された今、平和がようやく訪れた。」

謙之介「姉上や皆の者のおかげで取り戻せた。」

麗奈「元の亜苦羅に戻れるのね。」

謙之介「拙者が將軍に就いてかつての亜苦羅に戻してみせます。姉上には姉上のやる事を優先すべきです。」

麗奈「ハデユスを倒す。」

謙之介「この国は必ず拙者達で守り抜きます。」

麗奈「謙之介、任せたわ。私は仲間達と共にまた旅立つわ。」

謙之介「姉上、武運を。」

ハデユスやグローヴァリティを倒す為に仲間達と共に旅に出る麗奈。亜苦羅での戦いが終わり、そしてプリキュア達の最後の戦いが始まった。

次回
85話へ続く

設定 19

プリキュア

キュアシンシアアルティメットゴッドフォーム

シンシアがフェアリール、スカヴァ、明利江、ガンニークス、アレクサンドルス、10大神の氷界のキオネシスと一体化した姿で最強フォーム。シンシアが神々の姿へとなり、全身にアルティメットゴッドアレクサンドルスアーマー、両腕にアルティメットゴッドスカヴァアガントレット、両足には明利江シューズを纏い、背中にアルティメットゴッドフェアリールウイングがあり、武器はアルティメットゴッドガンニークスツインライフルとアルティメットゴッドキオネシスバスターライフル。能力はヴァンガードヒーローフォームの数百億倍の力で数百億倍の力を持ち、射撃とスピードに優れており、不死身、不老不死、実体を持たない幽体など全てに対して彼女の攻撃はさらに通用し、完全消滅させることが可能。歴代ラスボスや神を簡単に倒す力を持ち、ファイナルゼロ(Ver2)と神の存在を超えた究極の存在であり、ぶつかり合うと全パラレルワールドと全宇宙が滅ぶとされる。アルティメットゴッドは10大神の力でもある。全ての特異能力の影響は一切受けず、シン・ハデウスと渡り合う力を持つ。

必殺技

プリキュア・アルティメットゴッドブリザードビーム

シンシアアルティメットゴッドフォームの必殺技。掌から獄気を集中しながら氷界の吹雪の光線を放つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドアイステンペストシユート

シンシアアルティメットゴッドフォームの必殺技。獄気を集中しながらアルティメットゴッドアレクサンドルスアームから氷界の氷結弾を一斉発射し、敵全体に放つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドライトニングエアリアル

シンシアアルティメットゴッドフォームの必殺技。シンシアアルティメットゴッドフォームが全身に獄気を集中しながら発光して全速で敵全体に突撃して飛び回りながらアルティメットゴッドガンニークスツイインライフルで射撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能で

あり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドゴッドブラストルシユートブレイク

シンシアアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッドガンニークスツイインライフル2丁に獄気を集中して合わせて、強力な赤色のハート型の光線を放ち、敵に喰らわす。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドシユーティンングブリーディングシユート

シンシアアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッドキオネシスバスターライフルに獄気を集中して強力な赤色光線を敵全体に放つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドギガンブレイクトバスター

シンシアアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッドキオネシスバスターライフルとアルティメットゴッドガンニークスツイインライフルを合体して、3つ獄気を集中して3つの銃口から強力な赤色光線を敵全体に放つ。その威力は凄ま

じく、ラスボスクラスを一撃で倒す事も可能。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

キュアマジックアルティメットゴッドフォーム

マジックがソール、ウィザード、スーパードレイ、マスターストレンジャー、10大神のアスゴルド王国のオーズインと一体化した姿で最強フォーム。マジックが神々の姿へとなり、全身にアルティメットゴッドウィザード、両腕にアルティメットゴッドドレイグロブ、両脚にアルティメットゴッドストレンジャーシユーズ、背中にアルティメットゴッドソールウイングがあり、武器はアルティメットゴッドソールハンマーとトゥールアックス。能力はヴァンガードヒーローフォームの数百億倍の力で数百億倍の力を持ち、魔法に優れており、不死身、不老不死、実体を持たない幽体など全てに対して彼女の攻撃はさらに通用し、完全消滅させることが可能。歴代ラスボスや神を簡単に倒す力を持ち、ファイナルゼロ（Ver2）と神の存在を超えた究極の存在であり、ぶつかり合うと全パラレルワールドと全宇宙が滅ぶとされる。アルティメットゴッドは10大神の力でもある。全ての特殊能力の影響は一切受けず、シン・ハデウスと渡り合う力を持つ。

必殺技

プリキユア・アルティメットゴッドウイザードブラスト

マジックアルティメットゴッドフォームの必殺技。掌から獄気を集中しながら掌から魔力で形成した多数のマゼンタの魔法光線を多数放ち、敵全体に攻撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキユア・アルティメットゴッドサンダーレイン

マジックアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッドソールハーンマーに獄気を集中しながら無数のアスゴルドの雷を敵全体に放電する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキユア・アルティメットゴッドサンダークラップ

マジックアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッドソールハーンマーに獄気を集中しながらアスゴルドの雷状を纏いながら敵に殴り込む。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受け

ない。

プリキユア・アルティメットゴッドマジカルナツクル

マジックアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッドレディグローブに獄氣を集中しながらマゼンタの光状を纏いながらパンチする。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けられない。

プリキユア・アルティメットゴッドリカバリ

マジックアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッドレディグローブに獄氣をしながら味方全体を回復させる。また状態異常も解除させる。

プリキユア・アルティメットゴッドエレメンタルサイクロン

マジックアルティメットゴッドフォームの必殺技。獄氣を集中しながら魔法陣を形成し、火、水、氷、雷、雷、岩で形成した竜巻を敵全体に放つ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けられない。

プリキユア・アルティメットゴッドメイジブレイカー

マジックアルティメットゴッドフォームの必殺技。トウールアックスに獄氣して魔

力で集まった巨大なマゼンタの光状を纏いながら敵を一刀両断する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドシャイニングブレイカー

マジックアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッドソールハンマーとトウルアックスを合体して巨大な斧となり、獄気して魔力で集まった巨大なマゼンタの光状を纏いながら光り輝く巨大な斧を振り回しながら敵を一刀両断する。その威力は凄まじく、ラスボスクラスを一撃で倒す事も可能。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

キュアジャックアルティメットゴッドフォーム

ジャックがファイツ、ウォーテイル、ヴォイダートマン、ブラックレディ、10大神の境界のアテニノーネと一体化した姿で最強フォーム。ジャックが神々の姿へととなり、全身にアルティメットゴッドヴォイダートメール、背中にアルティメットゴッドウォーテイルウイングがあり、武器はアルティメットゴッドウォーテイルハルバート、アルティメットゴッドファイツシールド、アキレイオスジャベリン。能力はヴァンガードヒーローフォームの数百億倍の力を持ち、格闘に優れており、不死身、不

老不死、実体を持たない幽体など全てに対して彼女の攻撃はさらに通用し、完全消滅させることが可能。歴代ラスボスや神を簡単に倒す力を持ち、ファイナルゼロ（Ver 2）と神の存在を超えた究極の存在であり、ぶつかり合うと全パラレルワールドと全宇宙が滅ぶとされる。アルティメットゴッドは10大神の力でもある。全ての特殊能力の影響は一切受けず、シン・ハデウスと渡り合う力を持つ。

必殺技

プリキュア・アルティメットゴッドツインバスターナックル

ジャックアルティメットゴッドフォームの必殺技。両手に獄気を集中しながら360°回転しながら、敵に向かつて左右から両拳で思いつき殴り込む。実体のない者や不死身や老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドシールドブーメラン

ジャックアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッドファイツシールドに獄気を集中して手に持ちながら、盾を投擲して敵に攻撃する。実体のない者や不死身や老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドダイダルウエーブナックル

ジャックアルティメットゴッドフォームの必殺技。右手に獄気を集中しながら水界の津波状の拳を敵全体に喰らわす。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドスクリュートルネードウエーブスピア

ジャックアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッドウォーティルスピアに獄気を集中して水界の津波状の竜巻を纏いながら錐揉み回転して、敵に突撃して貫く。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドギガンティックエルボー

ジャックアルティメットゴッドフォームの必殺技。右腕に獄気を集中しながらブルーの発光をし、敵に思いっきり打ち込む。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドグローサーランサー

ジャックアルティメットゴッドフォームの必殺技。アキレイオスジャベリンに獄氣を集中して巨大なブルーの光状を纏いながら敵に突撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッドツヴァイランサー

ジャックアルティメットゴッドフォームの必殺技。アキレイオスジャベリンとアルティメットゴッドウオーティルスピアに獄氣を集中して巨大なブルーの光状を纏いながら2つの槍で敵に突撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

キュアクイーンアルティメットゴッドフォーム

クイーンがバルクマツスラー、翔華楽、大和丸、10大神の地界のガイアーンと一体化した姿で最強フォーム。クイーンが神々の姿へとなり、全身にアルティメットゴッド翔華楽花着、両腕にアルティメットゴッドバルクナツクル、背中にアルティメットゴッド翔華楽翼があり、武器はアルティメットゴッド大和丸槍、ガイアーンベル。能力はヴァンガードヒーローフォームの数百億倍の力で数百億倍の力を持ち、パワーに優れており、不死身、不老不死、実体を持たない幽体など全てに対して彼女の攻撃はさらに通

用し、完全消滅させることが可能。歴代ラスボスや神を簡単に倒す力を持ち、ファイナルゼロ（Ver2）と神の存在を超えた究極の存在であり、ぶつかり合うと全パラレルワールドと全宇宙が減ぶとされる。アルティメットゴッドは10大神の力でもある。全ての特殊能力の影響は一切受けず、シン・ハデウスと渡り合う力を持つ。

プリキュア・アルティメットゴッド舞麟翔

クイーンアルティメットゴッドフォームの必殺技。獄気を集中して黄色のエネルギー状の扇子を2本出現して、舞ながら敵に斬り込む。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッド岩丈神壁

クイーンアルティメットゴッドフォームの必殺技。獄気を集中して巨大な岩状の壁を形成し、敵全体からの強力な攻撃を防ぐ。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッド轟烈地拳

クイーンアルティメットゴッドフォームの必殺技。獄気を集中して右手に岩状を纏いながら敵に殴り込む。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きな大ダメージ

メージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッド地力剛突

クイーンアルティメットゴッドフォームの必殺技。アルティメットゴッド大和丸槍に獄気を集めて尖った岩状を先端に纏いながら敵に突撃する。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

プリキュア・アルティメットゴッド静震鈴音

クイーンアルティメットゴッドフォームの必殺技。ガイアーンベルに獄気を集めて鳴らしながら敵全体を響し、真下から無数の岩山を出現して喰らわす。実体のない者や不死身や不老不死や負の存在にも大きなダメージを与え、完全消滅させることが可能であり、ベクトル操作やバリアやガードなどの全ての特殊能力の影響は一切受けない。

グローヴァリテイ

シン・ハデウス

インフェルノの大魔王であったが、インフェルノを切り捨て、レヴォリユード、ラスフェクター達グローヴァリテイに切り替え、グローヴァリテイの支配者となった。前の

百メートルを超える巨大な悪魔のような姿からプリキュアと同じサイズへとなり、容姿は顔が悪魔の顔をした鉄仮面、体格は巨体、超人と思わせる姿をし、その全体能力は神を超えた存在で、攻撃力、防御力、スピードなどの全体能力は全てとてつもなく強烈に高く、ファイナルゼロ（Ver2）を遥かに上回り、絶対的な存在である。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

キン肉マンの大魔王サタンを元に

pixivの桔梗さんのオリキャラより

必殺技

デス・ザ・ブレイカーナックル

シン・ハデユスの必殺技。邪悪な力で形成した光状を両腕に纏いながら敵を殴る。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

デス・ザ・ディストラクションバースト

シン・ハデユスの必殺技。邪悪な力で形成した強力な光線を全身から放ち、敵全体に攻撃する。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

デス・ザ・コキュートスブレイク

シン・ハデユスの必殺技。邪悪な力で形成した吹雪で敵全体を凍結させて、強烈なダメージを与える。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

デス・ザ・ツインシツクルサイズ

シン・ハデユスの必殺技。邪悪な力で形成したエネルギー状の鎌を両腕に纏いながら敵全体に強烈な斬撃を喰らわす。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

デス・ザ・エビルアポカリプス

シン・ハデユスの必殺技。邪悪な力を全身に集中して強力な光状の悪魔型の光線を放つ。その威力はパラレルワールドと星100個分を消滅させる事が出来る。全ての特殊能力の影響を一切受けない。

第85話 試練

グローヴァリテイの野望を終わらすため、グローヴァリテイのいる場所を向かおうとするアイカ達。

次元空間

プリキュアーク

ブリッジ

アイカ「グローヴァリテイとハデユスの野望を阻止しないと。」

はるな「アイカと麗奈さんは10大神の力を手にしたから。」

麗奈「今の私とアイカなら勝てる。」

咲耶歌、海「……。」

文「私達だけでは勝てない……。」

はるか「私達8人は10大神の力を手にしていない。」

咲耶歌「ブラッディスカルが強過ぎて勝てなかった……。」

海「グローヴァリテイもまだレヴォリユードやジャイアントレアもいる。」

イゼル「そのようだな。」

ライラ「10大神を力にしたら2人だけでは厳しいな。」

アイカ「確かにそうだね。」

麗奈「他の7人も10大神の力を手にしないとね。」

アイカと麗奈が10大神の力を手にしてもはるな達他の7人がまだ手に入れてない事や、グローヴアリティはまだ他にも強力な幹部がいる事で悩まされた。そんな中、プリキュアークからある通信が入ってきた。

オーズイーン（通信）「プリキュア達よ……。」

トットム、ペル、アーニヤ「オーズイーン様!!」

オーズイーン（通信）「アスゴールド王国へ来るがいい。」

オーズイーンからアスゴールド王国へ来るように向かい、アスゴールド王国へ到着したアイカ達。

アスゴールド王国

アスゴルド城

オーズイーン「久々のようだったな。」

咲耶歌「オーズイーン様に会うのも久々です。」

海「私達に一体？」

オーズイーン「この中の4名を私を含めた10大神の力を授ける試験を与えよう。」

はるな「10大神……!!」

オーズイーン「グローヴァリテイとの決戦は近い。だからこの4名にも10大神の力を手にしてハデウスを倒さなければならない。」

文「ハデウスとグローヴァリテイと決戦ね。」

オーズイーン「この4人とはそれは、はるな、咲耶歌、海、文だ。」

はるな「私達が……?!」

オーズイーンから10大神の力を授ける試験に選ばれた4人ははるな、咲耶歌、海、文だ。

咲耶歌「あたし達がですか……。」

オーズイーン「お前達4人は10大神と向き合い、試練に受け、その力を授かる。」

文「私達にですか……?」

オーズイーン「お前達なら出来る。お前達の可能性を見せる時だ。」

海「はるな、咲耶歌、文、私達にその試練をしましょう。」

はるな「もしハデウスに勝てるなら……。」

咲耶歌「勝てるかもしれない……。」

文「10大神の力、私達にももし出来るなら。」

はるな「その10大神のところへお願いします。」

オーズイーン「良からう、咲耶歌は私はアスゴルドだ、お主は私が試練を与える。はるなは水界のキオネシス、海は水界のアテニノーネ、海は地界のガイアーンだ、今からお主3人をそれぞれの世界へ送り込む。」

オーズイーンは自分10大神の1人である事に咲耶歌をアスゴルドで試練させ、はるなは水界のキオネシス、海は水界のアテニノーネ、海は地界のガイアーンの元へ送り込んだ。

オーズイーン「用意はいいか?」

咲耶歌「はい。」

これから試練を受ける咲耶歌を連れて行くオーズイーン。

パラレルワールド

水界

はるな「ここは？」

キオネシス「よく参りましたね、ここは水界、私はこの世界の長であり、10大神の1人、キオネシスです。あなたがキュアシンシアですね。」

はるな「あなたがですか。」

キオネシス「あなたに相応しいか試させてもらいます。」

オーズイーンにより水界へ送られたはるなは10大神のキオネシスと対面し、試練を受ける事に。

パラレルワールド

水界

海「ここが水界。」

アテニノーネ「よく来ましたね、ここは水界、私はこの世界の長です。10大神の1人、アテニノーネです。」

海「あなたが。」

アテニノーネ「はい、初めまして、キュアジャック。あなたにふさわしいか、試させてもらいます。」

オズイーンにより水界へ送られた海は10大神のアテニノーネと対面し、試練を受ける事に。

パラレルワールド

地界

文「ここが地界。」

ガイアーン「良くぞ来た、ここは地界だ。私はこの世界の長だ。10大神の1人、ガイアーンだ。」

文「あなたがガイアーン様ですか。」

ガイアーン「そなたがキュアクイーンか、そなたにふさわしいか、試させてもらう。」

オーズイーンにより地界へ送られた文は10大神のガイアーンと対面し、試練を受ける事に。4人がそれぞれの世界で10大神から与えられた試練を受け、挑んだ。

パラレルワールド

アスゴルド王国

咲耶歌「くっ!!」

咲耶歌はオーズイーンから与えられた試練、空から降る無数の雷から走り回った。雷が咲耶歌の目の前に降りながらそれでも走り続けた。

パラレルワールド

水界

海「うぐっ!!」

海はアテニノーネから与えられた試練、広大の水の中を潜り続けながら進む海。この広い海を潜り続ける海は息が苦しくなりながら突き進んだ。

パラレルワールド

氷界

はるな「うっ!!」

はるなはキオネシスから与えられた試練、絶対零度の雪の中を突き進むはるな。この寒さに苦しみながらそれでも突き進んだ。

パラレルワールド

地界

文「くっ!!」

文はガイアーンから与えられた試練、無限に続く崖を登っていく文。広大な崖をただ登り続ける文は真下から離れている地面を見て、落ちる事に気をつけながら登り続けた。

パラレルワールド

アスゴルド王国

咲耶歌「あっ!!」

雷の衝撃を受けて飛ばされた咲耶歌。次の雷が降ろうとした瞬間、直ぐに立ち上がってかわして走り続けた。

パラレルワールド

水界

海「うぐ、うううっ!!」

水の中で潜り続ける海は息が苦しみ出そうとした。だが、ここで引くわけにはいかないと必死で進んだ。

パラレルワールド

水界

はるな「くっ、うっ!!」

極寒の絶対零度の寒さに苦しむはるな。この寒さに耐えつつ突き進んだ。

パラレルワールド

地界

文「あっ!!」

地上からとても離れた崖登りつつある文は、足を滑らせてしまい、落ちそうになった。冷静さを保ちつつ直ぐに両手で岩を掴んだまま、そのまま登り続けた。それぞれの試練に苦しむ4人は引き下がる事なく進み、ゴールへと目指そうとした。

パラレルワールド

アスゴルド王国

咲耶歌「よし!!」

パラレルワールド

水界

海「もうじき!!」

パラレルワールド

氷界

はるな「ここで!!」

パラレルワールド

地界

文「もう直ぐ!!」

それぞれが各試練のゴールに辿り着いた4人。ゴールに着いた4人は、

アスゴルド王国

アスゴルド城

はるな、咲耶歌、海、文「……」

オズイーン「良くぞ、辿り着いた。」

咲耶歌「オズイーン様。」

アテニノーネ「あなた達はそれぞれの試練を合格しましたね。」

キオネシス「諦めずに最後まで突き進みましたね。」

ガイアーン「その強さと不屈の心があったからこそ出来たのだ。」

海「じゃあ。」

文「私達は。」

はるな「認められたと言うのね。」

オーズイーン「お前達4人は合格したのだ。」

それぞれの試練に挑んだはるな、咲耶歌、海、文はその強さと不屈さがあったから出来た。
来た。

キオネシス「キュアシンシア、あなたを認めます。」

はるな「キオネシス様。」

オーズイーン「咲耶歌よ、お前を認めよう。」

咲耶歌「オーズイーン様。」

アテニノーネ「キュアジャック、あなたを認めます。」

海「アテニノーネ様。」

ガイアーン「キュアクイーンよ、そなたを認めよう。」

文「ガイアーン様。」

それぞれの10大神に認められたはるな、咲耶歌、海、文。

オーズイーン「これからハデユス、グローヴァリテイと最後の戦いが始まる奴らは今最果ての世界だ、そこで最後の野望を行おうとしている。」

ハデユスとグローヴァリテイとの最後の戦いが始まり、奴らのいる最果ての世界へ向かった。

パラレルワールド

最果ての世界

ラスフェックター「いよいよじゃな。」

ロークット「むしろハデユスの野望がいよいよ始まりじゃな。」

ブランバグ「世界を作り変え、我々のものとなる。」

アゼール「グローヴァリテイによる支配を。」

レヴォリユード「奴らがそろそろ来るな。」

最果ての世界までハデユスとグローヴァリテイを追いにやって来たプリキュア達。

ストライク「みんな、これが最後の戦いだよ!!」

プリキュア達とハデユスとグローヴァリテイとの最後の戦いが今始まる。

次回 86話へ続く

第86話 最後の戦い

ついに最後の戦いが始まり、プリキュア達の壮絶な戦いが始まった。

パラレルワールド

最果ての世界

プリキュア一同「たあああああー!!」

ストライク達が一齐にかかって敵の軍勢に挑み、ストライク、シンシアがキュアブレードマグナム剣モードでラプトソルジャーの大軍を次々と斬り込んでいき、マジックがマジックステッキスピア槍モード、ジャックが格闘を繰り出してリザードアーミーの集団を蹴散らしていき、フェッターがキュアカタナテツポウ刀モード、クイーンがキュアナギナライフル小銃モードでアントウインガーの群れを次々撃ち落とし、ミステイク、アラム、ジュール、ヴァイドが4方向からかかって、ゴブリオンとマシンドマンの集団を次々と蹴散らした。

ラスフェックター「プリキュアが来るとはな。」

ロークット「わしらの邪魔にしたら来よったか。」

アゼール「本気でかかって来たと言うのか。」

ブランバグ「ここで邪魔をされるわけにはいかない。」

ラスフェックター「全員かかれ!!」

ラスフェックター達もここで野望を潰される訳にはいかないと配下達を呼び寄せて攻めかかった。

ストライク、シンシア「ええええーい!!」

ストライクとシンシアがメガメタルザウルスカスタムの部隊にキュアブレードマグナム剣で思いつきり一刀両断した。

マジック、ジャック「たああああー!!」

マジックとジャックが連携を取りながら、メガメタルザウルスカスタムの間を挟みな

がら同時にパンチし、一緒に持ち上げながら他のメガメタルザウルスカスタムに投げつけてぶち込んだ。

フェッター、クイーン「てやああああー!!」

フェッター、クイーンがメガメタルザウルスカスタムがパンチで同時に喰らわして、突き飛ばしながら他のメガメタルザウルスカスタム数機にぶつけて破壊した。

ミステイック、アラム、ジュール、ヴァイド「見え見えだ!!」

ミステイック、アラム、ジュール、ヴァイドがメガメタルザウルスカスタム3機に対し、それぞれパンチで連打して繰り返し出しながら破壊した。

レヴオリユード「プリキュア、厄介な奴め。貴様らも出る。」

レヴオリユードはグローヴァリテイの幹部達を出させて総員でかかってきた。

ストライク「来るよ。」

グローヴァリテイの幹部達が総員かかってきて、ストライク達に攻めかかった。

ストライク「あたし達の力行くよ!!」

自分達の力を見せるべき、グローヴァリテイの幹部達に挑んだ。

オメガティットマンアルデイステラ「プリキュア、最後の対決だ!!」

レイディキータル「俺達も最後の対決に挑む!!」

ゴレイドス「全てを賭けてやる!!」

ギアジャイアント「この戦いで全てを終わらせてやる!!」

ブリザーヘイル「プリキュアの最期にしてやる!!」

カリブーツマン「終わりにしてやる!!」

オメガティットマンアルデイステラもおり、オメガティット族もプリキュアとの最後の戦いに向けて挑んだ。

バフオミッツ「俺達も最後の戦いに挑んでやる!!」

ヴェルフエイゴル「プリキュアの首を手に入れてやる!!」

アヴェルルト「今日で終わらせてやる!!」

ヴェルアル「プリキュア、貴様らを皆殺しにしてやる!!」

他のグローヴァリテイの幹部達もプリキュアに挑みにかかった。

ストライク「アルデイステラ。」

オメガティットマンアルデイステラ「ストライク、お前との決着、着けさせてもらおうぞ!!」

プリキュアと決着すべく、オメガティットマンアルデイステラが全身全霊をかけて挑んだ。

オメガティットマンアルデイステラ「オメガティットフィンガーストリング!!」

オメガティットマンアルディステラが背中にある大きな手の5本指を突き出しながらストライクに刺突しかかるが、ストライクは片手で受け止めた。

レイディキータル「マリキータステイングキック!!」

レイディキータルが空中からシンシアの頭上に向かって両脚を合わせて発光しながらキックで打ち込もうとするが、シンシアはすぐにかわした。

ゴレイドス「ゴレイパワープレス!!」

ゴレイドスが巨体を活かしながらジャックに向かって体当しかかったが、ジャックはすぐに回避した。

ギアジャイアント「ギアザタックル!!」

ギアジャイアントが3つの歯車を回転したままマジックにタックルしかかるが、マジックは直ぐに回避した。

ブリザーヘイル「ブリザーヘイルブレード!!」

ブリザーヘイルが片腕を氷結状の剣に変化し、アラムに斬りかかるが、アラムが拳で剣を殴り止めた。

カリブーツマン「カリビアンザンバー!!」

カリブーツマンがカリビアンサーベルの刀身を発光しながらジュールフに斬りかかるが、ジュールフは両手で真剣白刃取りして受け止めた。オメガティット族の攻撃をかわしたストライク達。

ストライク「アルデイステラ、あなたはハデユスの言いなりのままでいいの?」

オメガティットマンアルデイステラ「俺達には戦う以外方法はない!!」

レイディキータル「俺達はこれ以上負ける事は許されない!!」

ゴレイドス「人間共滅ぼすまでは!!」

ギアジャイアント「俺達はハデユスに捧げた以上、裏切る訳にはいかねえんだ!!」

ブリザーヘイル「オメガティット族の明日のためにも俺達は戦う!!」
カリブーツマン「オメガティット族のためにもプリキュアを倒す!!」

これ以上後を引く事が許されず、最後まで戦いを選ぶオメガティット族。

シンシア「あなた達がこれ以上戦って意味はあるの?！」

マジック「ハデユスの下僕でいる訳なの?！」

ジャック「こんなのはおかしいよ!!」

アラム「目を覚ませ!!」

ジュール「ハデユスはお前達を駒としか思っていない、今すぐやめろ!!」

オメガティットマンアルデイステラ「俺達はもう後戻りは出来ないんだ!!俺達にはハ

デユスのために尽くさなければならぬんだ!!」

ストライク「ハデユスはあたし達が倒す、だからもう戦うのはやめて!!」

オメガティットマンアルデイステラ「俺達を励ますな、俺達はハデユスには逆らえな

いんだ!!」

ヴェルアル「見苦しいぞ、オメガティット族。」

オメガティットマンアルデイステラ「ヴェルアル!!」

ヴェルアル「ここまで情けない奴に成り下がるとは、みつともないな。」

オメガティットマンアルデイステラ「俺達はまだ……!!」

シン・ハデユス「情けないぞ!!」

一同の目の前にシン・ハデユスが現れた。

一同「ハデユス!!」

再びシン・ハデユスが現れたのに驚愕したストライク達。

シン・ハデユス「プリキュアに情けを感じたのか?」

オメガティットマンアルデイステラ「そっ、それは……?!」

シン・ハデユス「お前達オメガティット族には失望した、ここまで情けをすると。」

オメガティットマンアルデイステラ「俺達は……?!」

シン・ハデユス「黙れ、貴様ら役立たずには必要ない、貴様らは既にプリキュアに情けをかけていた。」

オメガティットマンアルデイステラ「!!」

ストライク「アルデイステラ。」

オメガティットマンアルデイステラ「俺は俺達はオメガティット族のために……!!」
シン・ハデウス「オメガティット族は最初から捨て駒に過ぎなかった。」

オメガティットマンアルデイステラ「なっ、何だと?!」

レイディキータル「どう言うつもりだ?!」

レヴオリユード「ハデウス様は貴様らを最初から利用するためだけの存在だど。」

オメガティットマンアルデイステラ「そっ、そんな、俺達は最初から……!!」

レイディキータル「捨て駒だったと言うのか?!」

ゴレイドス「俺達は初めから利用されるだけの存在だったのか?!」

ギアジャイアント「俺たち何のためにグローヴァリテイのために……!!」

ブリザーヘイル「あっ、ああああっ!!」

カリブーツマン「我輩達は騙されてたのか?!」

シン・ハデウスからオメガティット族は捨て駒と言われ、今までオメガティット族のためにシン・ハデウスやグローヴァリテイに尽くして来た自分達は真実を告げられ、愕然とし、絶望した。

ストライク「ハデユス!!」

シン・ハデユス「？」

ストライク「人を踏み躪るお前だけは絶対許さない!!」

シンシア「お前がどれだけ悪なのか!!」

フェッター「みんなを苦しめるのを楽しむお前の存在は絶対許さない!!」

マジック「お前やグローヴァリテイがいるからみんなは苦しむんだ!!」

ジャック「全ての元凶、災いをもたらして来たお前を倒すわ!!」

クイーン「平和を脅かすお前は絶対悪だ!!」

ミステイック「人の心を何とも思わないお前は悪魔そのものだ!!」

アラム「ハデユス、お前をこれ以上野放しにはさせねえ!!」

ジュール「お前だけは絶対倒す!!」

ヴァイド「今日で終わらせてやる!!」

シン・ハデユスの踏み躪る行為に怒りを爆発させたストライク達10人はシン・ハデユスを倒しにかかった。

シン・ハデユス「ふん!!」

片手から衝撃波を放ち、10人を薙ぎ払った。

シン・ハデウス「我はこれより奥へ向かう。全てのプリキュアと妖精の力と世界の核を。」

そう言いながら奥へ向かったシン・ハデウスとレヴォリユード。

ストライク「待て、ハデウス!!」

シン・ハデウスとレヴォリユードを追おうとしたらジャイアントレアとグローヴァリ
ティ幹部達が現れた。

ジャイアントレア「お前らの相手はあたしだよ!!」

シンシア「ジャイアントレア!!」

ジャイアントレア「お前らゴウガイを倒したようだな。だからってあたしも黙って
ねえんだよ!!」

フェッター「厄介なのが来たわね。」

ジャイアントレア「プリキュア、てめえらを血祭りにしてやるよ!!」

ジャイアントレアがプリキュア達に襲い掛かろうとして来た。

ストライク「今こそ見せる時よ!!」

シンシア「10大神の力を!!」

フェッター「試練を乗り越えた私達の力を!!」

マジック「あたし達の力を!!」

ジャック「今こそ使う時よ!!」

クイーン「10大神の力を見せる時よ!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーン「アルティメットゴッドフォーム!!」

10大神の力を使うべく、6人は自分達のジャスティスヒーローと10大神と一体化し、アルティメットゴッドフォームへとなった。

ストライクアルティメットゴッドフォーム、シンシアアルティメットゴッドフォーム、フェツタールティメットゴッドフォーム、マジックアルティメットゴッドフォーム、ジャックアルティメットゴッドフォーム、クイーンアルティメットゴッドフォーム
「さあ、行くよ!!」

次回 87話へ続く

第87話 対決、ジャイアントレア

10大神と一体化してアルティメットゴッドフォームとなった6人のプリキュアがジャイアントレアと激突する。

パラレルワールド

最果ての世界

ストライクアルティメットゴッドフォーム、シンシアアルティメットゴッドフォーム、フェッターアルティメットゴッドフォーム、マジックアルティメットゴッドフォーム、ジャックアルティメットゴッドフォーム、クイーンアルティメットゴッドフォーム
「たああああー!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームら6人がジャイアントレアに同時に殴り込んだ。

ジャイアントレア「うぐっ!!」

6人の同時攻撃を喰らったジャイアントレア。

ジャイアントレア「ええーい!!」

ジャイアントレアがパンチでストライクアルティメットゴッドフォーム達に殴りにかかった。

クイーンアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド岩丈神壁!!」

クイーンアルティメットゴッドフォームが獄気を集中して巨大な岩状の壁を形成し、ジャイアントレアの攻撃を防いだ。

マジックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドウィザードブラスト!!」

マジックアルティメットゴッドフォームが掌から獄気を集中しながら掌から魔力で形成した多数のマゼンタの魔法光線を多数放ち、ジャイアントレアに攻撃した。

シンシアアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドアイステンペストシュート!!」

続いてシンシアアルティメットゴッドフォームが獄気を集中しながらアルティメットゴッドアレクサンドルスアーマーから氷界の氷結弾を一斉発射し、ジャイアントレアに攻撃した。

ジャックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドツインバスターナックル!!」

さらにジャックアルティメットゴッドフォームが両手に獄気を集中しながら360回転しながら、ジャイアントレアに向かって左右から両拳で思いっきり殴り込んだ。

ジャイアントレア「ぐわあああー!!」

4人の連続攻撃を喰らったジャイアントレア。

ジャイアントレア「テメエらやつてくれたな、レアドビームプラスター!!」

ジャイアントレアが口から強烈なビームを放ち、4人に喰らわすが、

フエッターアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド光蛇斬!!」

フエッターアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド烈陣セイバーに獄気を集めながらパープルの光状を纏って鞭のように振るいながらジャイアントレアのビームを切り払った。

ジャイアントレア「なっ、何?!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「ジャイアントレア、お前は今日で最期だ

!!」

ジャイアントレア「ふざけるなよ、お前ら!!このあたしを誰だと思っていやがるんだ!! 2皇魔だぞ、お前らにやられる筋合いはねえ!!」

10大神の力と一体化した6人のプリキュア達がジャイアントレアを圧倒しつつ、ジャイアントレアも必死でプリキュア達に猛攻を加えようとするが、

ストライクアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド武獄双撃破斬!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームが右手に閻魔超武神剣、左手にアルティメットゴッドブレイディオソードに獄気を集中して巨大なピンクの光状を纏いながらジャイアントレアをX字斬りし、最後に2つの剣を合わせて同時に斬撃した。

ジャイアントレア「ぐおおおおおー!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技を喰らったジャイアントレアは壮絶なダメージを負いながら耐えた。

ジャイアントレア「まだだ、あたしがこんな奴らにくたばってたまるかあっ!!」

なおそれでも怯まずに屈しないジャイアントレア。

ジャイアントレア「死ねえ、レアドクラツシユパンチ!!」

かなりのダメージを受けたままジャイアントレアが強烈な巨大な拳でストレートでストライクアルティメットゴッドフォームに殴りにかかったが、ジャイアントレアのパンチをストライクアルティメットゴッドフォームが片手で簡単に止めた。

ジャイアントレア「なっ、何だと・・・?!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「お前の負けだ、ジャイアントレア、もう諦めて降参するんだ!!」

ジャイアントレア「降参だと?!ふざけるなあ、貴様らガキ如きに負けてたまるか!!」

降参を拒否し、プリキュア達にまだ戦おうとするジャイアントレア。だが、その時、

ジャイアントレアの様子に異変が起きた。

ジャイアントレア「うつ、あああつ……!!」

ジャイアントレアはストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技を喰らったダメージの影響により、倒れ始めた。

ジャイアントレア「あたしが……。」

ストライクアルティメットゴッドフォームの必殺技のダメージによつて絶命したジャイアントレア。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「……。」

シンシアアルティメットゴッドフォーム「ストライク。」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「あたし達はハデウスやグローヴァリティを倒さなきゃならない。だからここで立ち止まっていくわけにはいかない。」

ここで立ち止まるわけには行かないストライクアルティメットゴッドフォーム。

ミステイック「プリキュア・ミステイックサークルショット!!」

アラム「プリキュア・アラムストームツインスライサー!!」

ジュール「プリキュア・ジュールフラッシュャー!!」

ヴァイド「プリキュア・ヴァイドブレイクブラスター!!」

ミステイック、アラム、ジュール、ヴァイドがそれぞれ必殺技でバフオミッツ、ヴェルフエイゴル、アヴェェルルト、ヴェルアルを撃破した。

ミステイック「まだ他の幹部はいっぱいいるわね。」

他のグローヴァリテイの幹部がまだ沢山しており、彼らを倒さないとシン・ハデユスの元へは辿り着けない。

アラム「厄介だな。」

ジュール「やるしかないな。」

他のグローヴァリテイの幹部の大軍に立ち向かおうとするが、

オメガティットマンアルデイステラ「待て!!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「オメガティットマンアルデイステラ。」

オメガティットマンアルデイステラ「こいつらは俺達がやる。お前達はハデユスの元へ行け。俺達オメガティット族はグローヴァリテイに加担した罪を償うべくここで戦う。」

レイディキータル「俺達は俺達の戦いをする。」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「わかった。」

グローヴァリテイの軍勢をオメガティット族が引き受けて、自分達はシン・ハデユスの元へ向かった。迫り来るハデユスとの最後の戦い。果たしてこの戦いはどうなる?!

次回 88話へ続く

第88話 圧倒

シン・ハデユスの野望を阻止するため急いで向かうストライクアルティメットゴッドフォーム達。

パラレルワールド

最果ての世界

ストライクアルティメットゴッドフォーム「急いで向かわないと!!」

グローヴァリテイの怪人や兵士達を倒しながら突き進んでいくストライクアルティメットゴッドフォーム達。

シンシアアルティメットゴッドフォーム「ハデユスの野望を食い止めないと!!」

フェッターアルティメットゴッドフォーム「ハデユスは奪った歴代プリキュアの力や妖精達を手に行っているわ!!」

マジックアルティメットゴッドフォーム「まだレヴオリユードやゼシウスやDryer

ジスやブラッティスカルやラスフェックター達もいるわ!!」

ジャックアルティメットゴッドフォーム「ストライクとシンシアのお母様もハデユスにまだ操られたままよ!!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム、シンシアアルティメットゴッドフォーム「ママ!!」

クイーンアルティメットゴッドフォーム「2人共?!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「ラブママ……」

シンシアアルティメットゴッドフォーム「せつなママ……」

ミステイック「2人共、必ず助け出すわ!!」

アラム「ハデユスは必ず倒してやろうな!!」

ジュール「ハデユスを倒してみんなで!!」

ヴァイド「最後まで行こうか!!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「みんな!!」

シン・ハデユスを倒す事とストライクアルティメットゴッドフォームとシンシアアルティメットゴッドフォームの母親2人を助け出す事を全員でやっていく事を決意する。

ブラッディスカル「待っていたぞ、プリキュア!!」

そこでブラッディスカルとデーモニアスとD r イージスとアヴェルードとキマイラスとアクアキマイラスが待ち伏せしていた。

一同「ブラッディスカル、デーモニアス、D r イージス、アヴェルード!!」

D r イージス「今日が貴様達の墓場にしてやろう。」

アヴェルード「お前達をハデユス様の元には行かせまい。」

デーモニアス「プリキュア、死ね!!」

キマイラスとアクアキマイラスがストライクアルティメットゴッドフォームに襲いかかった。キマイラスが必殺技のキマイラスウィングシザースで翼をハサミに変えて切り裂こうとし、アクアキマイラスが必殺技のアクアキマイラスハンマークローで両腕のロブスターのハサミで打撃しかかったが、

ストライクアルティメットゴッドフォーム、シンシアアルティメットゴッドフォーム

「!!」

2人は2匹の必殺技を軽々と振り払いながら打ち破った。

ブラッドデイスカル「何だと?！」

デーモニアス「そんな馬鹿な?！」

Drリージス「必殺技が?！」

アヴェエルード「こんな事が?！」

キマイラスとアクアキマイラスの必殺技が簡単に打ち破られたのに驚愕したブラッドデイスカル達。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド武獄
真絶斬!!」

シンシアアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドシュー
ティングブリーディングシュート!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームとシンシアアルティメットゴッドフォー

ムが必殺技を発動して、それぞれキマイラスとアクアキマイラスにぶち込み、消滅させた。

ブラッデイスカル「馬鹿な、我々のキメラを一撃で倒しただと?!」

デーモニアス「信じれん!!」

Drイージス「あり得ない?!」

アヴェエルード「こんな事が?!」

キマイラスとアクアキマイラスを一撃で倒されたのを目の当たりにするブラッデイスカル達。

ブラッデイスカル「ならばワシらが相手をしてやろう!!」

ブラッデイスカル達が自ら挑み、Drイージスは戦闘形態に変身し、プリキュア達と対決する。

ブラッデイスカル「スカルドレインルーパー!!」

デーモニアス「デーモニクロー!!」

アヴェルード「アルケミストビックダブルハンマー!!」

Drイージス「イージススラッシュクロー!!」

4人がそれぞれ必殺技を発動してストライクアルティメットゴッドフォーム達に襲いかかった。

クイーンアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド岩丈神壁!!」

クイーンアルティメットゴッドフォームが気を集中して巨大な岩状の壁を形成し、4人の必殺技を防いだ。

ブラッディスカル「何?!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム、シンシアアルティメットゴッドフォーム、フェツターアルティメットゴッドフォーム、マジックアルティメットゴッドフォーム、ジャックアルティメットゴッドフォーム、クイーンアルティメットゴッドフォーム

「はあああああー!!」

6人のプリキュアがブラッディスカル達にパンチで攻撃した。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「デーモニアス、今日こそここで終わらせてあげる!!」

シンシアアルティメットゴッドフォーム「ハデユスやグローヴァリテイの野望もここまです!!」

デーモニアス「小賢しい、デーモニデスプラストル!!」

デーモニアスが陣からいくつかの無数の魔法弾を放ち、ストライクアルティメットゴッドフォームとシンシアアルティメットゴッドフォームに攻撃した。

ストライクアルティメットゴッドフォーム、シンシアアルティメットゴッドフォーム「はあああああー!!」

2人はパンチを同時に出して、デーモニアスに喰らわした。

デーモニアス「ちい!!」

デーモニアスが2人に直接パンチを連打して喰らわした。

ブラッディスカル「スカルバーニングストーム!!」

灼熱の火炎の嵐をマジックアルティメットゴッドフォームとジャックアルティメットゴッドフォームに放った。

マジックアルティメットゴッドフォーム、ジャックアルティメットゴッドフォーム「はあああああー!!」

ブラッディスカルの攻撃を受けつつ、そのまま突き進みながら同時にパンチを繰り出してブラッディスカルに殴り込んだ!!

ブラッディスカル「スカルスパークプラズマ!!」

ブラッディスカルが強烈な雷を放ち、喰らわしたが、

マジックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドサン
ダークラップ!!」

ジャックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドギガン
ティックエルボー!!」

2人が同時に必殺技を発動してしながら、ブラッディスカルに喰らわした。

ブラッディスカル「ぐおっ!!」

2人の必殺技を喰らったブラッディスカル。

ブラッディスカル「よくもやりおったな!!」

片手から光線を放ち、二人に向けたが、ジャックアルティメットゴッドフォームがア

ルティメットゴッドファイツシールドで防いだ。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「はああああー!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームがドリージスと交戦した。ドリージスが右手に鉤爪で引つ掻きかかったが、フェッターアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド烈陣セイバーで受け止めた。

ドリージス（戦闘形態）「簡単には行かんようだな。」

フェッターアルティメットゴッドフォーム「そうね。」

両者互角の戦いを繰り広げ、ぶつかり合った。

ドリージス（戦闘形態）「イージスクラッシュフアング!!」

ドリージスが左手の恐竜の顔の牙を発光しながらフェッターアルティメットゴッドフォームに噛みつきかかった。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド翼嵐突斬!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド隼疾風翼に獄気を集中して羽ばたきながらD r e e j i s に向かって、アルティメットゴッド烈陣セイバーに風状を纏いながら刺突し、技と技がぶつかり合った。

D r e e j i s 「ここまでやるとは!!」

フェッターアルティメットゴッドフォーム「あなたの方こそ!!」

互角の戦いを繰り広げる2人。

クイーンアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド舞焔翔!!」

クイーンアルティメットゴッドフォームが獄気を集中して黄色のエネルギー状の扇

子を2本出現して、舞ながらアヴェルードに斬りかかった。

アヴェルード「アルケミストメタルウォール!!」

アヴェルードが錬金術で形成した巨大な金属の壁でクイーンアルティメットゴッドフォームの必殺技を防いだ。

クイーンアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド轟烈地拳!!」

クイーンアルティメットゴッドフォームが獄気を集中して右手に岩状を纏いながら巨大な金属の壁をぶち破りながらアヴェルードを殴り込んだ。

アヴェルード「ここまでやるとは!!」

クイーンアルティメットゴッドフォーム「負けるわけにはいかないから!!」

グローヴァリテイの幹部達と壮絶な戦いを繰り広げるプリキュア達。

ブラッティスカル「スカルスパークプラズマ!!」

ブラッティスカルが強烈な雷をマジックアルティメットゴッドフォームとジャックアルティメットゴッドフォームに放ったが、ジャックアルティメットゴッドフォームがアルティメットファイツシールドで防ぎ、2人は同時に必殺技を発動する。

マジックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドエレメンタルサイクロン!!」

ジャックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドシールドブーメラン!!」

マジックアルティメットゴッドフォームが獄気を集中しながら魔法陣を形成し、火、水、氷、雷、雷、岩で形成した竜巻を放ち、ジャックアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッドファイツシールドに獄気を集中して手に持ちながら、盾を投擲して、ブラッティスカルに同時にぶち込んだ。

ブラッディスカル「ぐおおおー!!」

2人の必殺技を同時に喰らって最期を遂げたブラッディスカル。

ドリージス（戦闘形態）「イージスブラスタースキュート!!」

ドリージスが腹部の獣の顔から強力な光線を放ち、フェッターアルティメットゴツドフォームに喰らわすが、

フェッターアルティメットゴツドフォーム「はあああああー!!」

フェッターアルティメットゴツドフォームがアルティメットゴツド烈陣セイバーで斬り払い、ドリージスに向かって必殺技を発動させる。

フェッターアルティメットゴツドフォーム「プリキュア・アルティメットゴツド二刃
動烈斬!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームが右手に武凰超武神刀、左手にアルティメットゴッド烈陣セイバーに獄気を集中して巨大なパープルの光状を纏いながら2つの刀を合わせて、Dryीडsを一刀両断して撃破した。

アヴェルード「アルケミストオールキャノンバースト!!」

アヴェルードが錬金術で形成した多数の砲台を周囲全体に出現して、クイーンアルティメットゴッドフォームに一斉砲撃した。だが、クイーンアルティメットゴッドフォームはすぐにかわしつ、全弾喰らわず、回避した。

クイーンアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド地力剛突!!」

クイーンアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッド大和丸槍に獄気を集中して尖った岩状を先端に纏いながらアヴェルードに突撃し、撃破した。

デーモニアス「デーモニパニッシュユレイ!!」

デーモニアスがいくつかの無数の光状の柱を出現して、ストライクアルティメットゴッドフォームとシンシアアルティメットゴッドフォームに喰らわした。

デーモニアス「デーモニデスプラストル!!」

さらに魔法陣を形成して、陣からいくつかの無数の魔法弾をストライクアルティメットゴッドフォームとシンシアアルティメットゴッドフォームに喰らわした。

デーモニアス「やったか?!」

デーモニアスの必殺技を喰らった2人だが、無傷だった。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド武獄
双撃破斬!!」

シンシアアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドギガン
ブレイクトバスター!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームが右手に閻魔超武神剣、左手にアルティメットゴッドブレイディオソードに獄氣を集中して巨大なピンクの光状を纏いながらデーモニアスをX字斬りし、最後に2つの剣を合わせて同時に斬撃し、さらにシンシアアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッドキオネシスバスターライフルとアルティメットゴッドガンニークスツインライフルを合体して、3つ獄氣を集中して3つの銃口から強力な赤色光線をデーモニアスに喰らわし、撃破した。最高幹部達を倒したプリキュア達。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「とにかく急ごう!!」

シン・ハデユスの元へ急ぐプリキュア達。決戦へと迫る中、ハデユスの邪悪な野望を阻止出来るのか?!

次回 89話へ続く

第89話 ジャスティスヒーローの戦い

シン・ハデウスを追いに向かうプリキユア達。

パラレルワールド

最果ての世界

ストライクアルティメットゴッドフォーム「ハデウスを倒さないと!!」

急いで向かうストライクアルティメットゴッドフォーム達。

カロン「待つんだな。」

何と、そこに倒されたはずのカロンとカワリーノ、ノーザ、ジョーカー、グランマン
モス、さらにラスフェック、ロックツト、アゼール、ブランバーク、リビングデッド
マシンで蘇った過去のプリキユアに倒された幹部達が立ちあはばかった。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「カロン!!」

ジャックアルティメットゴッドフォーム「まだ生きていたの!!」

カロン「そうだ、私はあの程度では簡単にはくたばらん。」

ジョーカー「そうですね、何度だって蘇るのですから。」

ノーザ「私達は何度だって蘇る。」

カワリーノ「ハデユス様の力がある限りは。」

グランマンモス「俺達は不滅だ。」

カロン達がいる以上、先へは進めない。その時、アルティメットフォームになった6人が突如、元の姿へ戻り、一体化したジャスティスヒーロー達闇魔大王達が現れた。

ストライク「アイゼンアロイス!!」

シンシア「フェアリール!!」

フェッター「烈陣丸!!」

マジック「ソール!!」

ジャック「ファイツ!!」

クイーン「バルクマッスラー!!」

ミステイック「ミラーシエナ!!」

アラム「ジーエーニー!!」

ジュールフ「マナートウ!!」

アイゼンアロイス「こいつらは俺達がやる、だから閻魔大王様らと共に先に行くんだ。」

フェアリール「私達ジャスティスヒーローの戦いを今こそ見せる時よ。」

烈陣丸「拙者達の力、とくと見るがいい!!」

ソール「お前達プリキュアはハデユスのところへ行くんだ!!」

ファイツ「カロン達は私達が倒す!!」

バルクマツスラー「俺達ジャスティスヒーローがこいつらを引き受ける!!」

ミラーシエナ「私達が引き受ける!!」

ジーエーニー「ジャスティスヒーロー全員が相手をしてやる!!」

マナートウ「みんなは先に行け!!」

アイゼンアロイス達ジャスティスヒーローらがカロン達の相手をし、ストライク達はハデユスの元へ向かった。

ラスフェツクー「お前達如きに何が出来る？」

アイゼンアロイス「俺達ジャステイスヒーローの戦いつてやつを見せてやるんだよ。」
カロン「貴様ら如きに何が出来るんだ。」

グランマンモス「貴様らなど俺が捻り潰してやる!!」

ボルケリート「お前達を今度こそ最期にしてやる。」

ブレイディオ「だから俺達がお前達を終わらせてる!!」

ジャステイスヒーロー達全員がカロン達と全面对決をする。

アイゼンアロイス、フェアリール、ソール、ジェーニー、マナートウ「うおおおおおー!!」

アイゼンアロイスが両腕のキュアメタルアームでアームビームブレードに変化してピーザード、ゲキドラゴ、ポイズニーをまとめて斬撃し、フェアリールがイクルーポ、ジュナにアサルトライフルを2丁召喚して、魔法弾を放ちながらイクルーポ、ジュナに射撃し、ソールがキュアメタルミョルニアで雷撃を纏いながらレギーネ、ベルゼイにまとめて喰らわし、ジェーニーがジェーニーランプから霧状の拳を放ち、サーキュラス、ウ

ラガノスに喰らわれし、マナートウがキュアメタルマナートウクローでビブリス、バルデスに切り裂いた。

ブレイディオ、ガンニークス、大和丸、ウオーテイル、明利江、ゴールドメツシユ
「たあああああー!!」

ブレイディオがキュアメタルブレイディオソードでカレハーンに斬撃し、ガンニークスがキュアメタルガンニークスガンでモエルンザに射撃し、ヴォイダートマンがキュアメタルベアクローでドロドロに斬撃し、大和丸がキュアメタル橙破槍でガマオ、ウオーテイルがキュアメタルウオーテイルハルバートでミズ・シタターレに刺突し、明利江がキュアメタル羽佐鬼でキントレスキーに斬撃し、ゴールドメツシユがキュアメタルゴールドアックスでギリンマに斬撃した。

アラミラード、アメモント、エスパネス、光陰命、ウイザーデイ、スカヴァ「てやああああー!!」

アラミラードが素早い動きを駆使してガマオ、アクラネアに攻撃し、アメモントが爪

でブラッディ、ハデーニヤに攻撃し、エスパネスが超能力を駆使してスコルプ、ネバタコスに喰らわれ、光陰命が術式でシビレッタ、イソギーン、ヤドカーンで喰らわれ、ウイザーデイが魔法を駆使してムカーディアに喰らわれ、スカヴァが氷技でアナコンディに喰らわれた。

翔華楽、ミラーシエナ、ワプニオン、エンキナウ、隼疾風、アレクサンドルス、ブラッディ「たあああああー!!」

翔華楽が舞いながらキュアメタル天翔心でクライン、サソリーナ、クモジャッキーに斬りつけ、ミラーシエナがミラーシールドビット10基でコブラージャ、バリトン（怪物形態）、バズドラ（怪物形態）ファルセット（仮面形態）で攻撃し、ワプニオンがワープを駆使しながらウルフルン、アカオーニ、マジヨリーナに攻撃し、エンキナウが格闘技でリーヴァ、グーラに喰らわれ、隼疾風は空中を飛びながらナマケルダ、ホツシーワ、オレスキーに突撃し、アレクサンドルスが胴体から聖なる光条ビームを放ち、ストップ、フリーズに喰らわれ、ブラックレディが素早い動きを駆使しながらキュアメタルブラックレディアームソードでバツディ、スパルダ、ヤモーに斬撃した。再生幹部達と激突するジャステイスヒーロー達。

ファイツ「はあああああー!!」

ファイツと五官王はカロンを相手に激闘を繰り広げた。ファイツが格闘技でカロンに喰らわし、五官王が自身の五感を感じて獄気を集めながら光状の針を纏いながらカロンに喰らわした。

カロン「ふん!!」

カロンが大鎌を振り回しながら2人に斬りつけるが、ファイツがキュアメタルジャスティスシールドで防いだ。

五官王「カロン、お主を今日で終わらせる!!」

カロン「私を倒すなど不可能だ。」

ファイツ「カロン、お前だけは私がこの手で倒す!!お前は海の兄を苦しめた、この罪を受けろ!!」

カロン「あの人間など、もう必要ない、私の身体は充分蘇ったのだよ。」

ファイツ「貴様あつ!!」

ジャックの兄の勇一の身体を使って苦しめたカロンに正拳するファイツ。ファイツの拳を大鎌で防いだカロン。

烈陣丸「カワリーノ、いざ勝負!!」

カワリーノと対決する烈陣丸はキュアメタル戦烈鬼での刀身に獄気を集中して発光しながらカワリーノに素早く斬りかかった。

カワリーノ（戦闘形態）「ふん!!」

烈陣丸の攻撃を回避したカワリーノ。

カワリーノ（戦闘形態）「死ね!!」

カワリーノが手から光線を放ち、烈陣丸に向けた。

烈陣丸「!!」

烈陣丸がキュアメタル戦烈鬼で光線を斬り払った。

烈陣丸「カワリーノ、お主とは今日ここで終わらす!!」

カワリーノ「終わるのはあなたですよ!!」

両者の繰り出す戦いはさらに増した。

ボルケリート「ノーザ!!」

ノーザと再び対峙するボルケリート。

ノーザ「またあなたとね。」

ボルケリート「お前のような悪は俺の業火で燃やし尽くしてやる!!」

ノーザ「これ以上炎は喰らわせないわ!!」

シン・ハデウスによって能力を強化されたノーザが無数の蔓を出してボルケリートに襲いかかった。両腕に地獄界の炎を纏いながら、無数の蔓を殴り燃やすボルケリート。

ノーザ「ちいつ!!」

ノーザがボルケリートに光線を放った。

マスターストレンジジャー「!!」

マスターストレンジジャーがノーザの光線を魔術で打ち消した。

ボルケリート「マスターストレンジジャー!!」

マスターストレンジジャー「一緒に行くぞ。」

2人でノーザに挑むボルケリートとマスターストレンジジャー。

鉄斎「はあああああー!!」

鉄斎はジョーカーと激闘を繰り広げた。

ジョーカー「あなたが私を倒す事は不可能ですよ。」

鉄斎「ジョーカー、お前の邪悪な存在を俺の拳で殴り潰す!!」

ジョーカーに拳で殴り込む鉄斎。ジョーカーはトランプで鉄斎の拳をガードした。

ジョーカー「あなたには死んでもらいますよ。」

ジョーカーが剣で鉄斎に斬りかかった。ジョーカーの攻撃を回避し、獄気を集中して形成したエネルギー状の拳を放ち、喰らわした。

鉄斎「はあああああー!!」

ジョーカーに向かって飛び蹴りする鉄塚。

ジョーカー「うぐつ、よくもやりやがったなあ、テメエー!!」
鉄斎「化けの皮が剥がれたな。」

鉄斎の攻撃で豹変したジョーカーは彼に向けてトランプを数枚投擲した。

バルクマツスラー、スーパーレディ「はああああー!!」

バルクマツスラーとスーパーレディがグランマンモスに同時にパンチでお見舞いした。

グランマンモス「ノーズグランドスラム!!」

グランマンモスが鼻を上げて地面に叩いて大地震を起こして叩き割ってバルクマツスラーとスーパーレディに攻撃した。

グランマンモス「フアングランス!!」

グランマンモスが2本の牙を伸ばして2人に向けたが、

バルクマツスラー、スーパーレディ「!!」

グランマンモスの2本の牙を受け止めて、そのままへし折ったバルクマツスラーとスーパーレディ。

バルクマツスラー「うおおおおー!!」

バルクマツスラーが両腕に獄気を集中して発光しながらグランマンモスにストリートして思いつきりダブルパンチした。

スーパーレディ「喰らいなさい!!」

スーパーレディが獄気を集中して両拳を発光しながらグランマンモスに殴り込んだ。

グランマンモス「ここまで俺を追い込むとはな!!」

バルクマツスラー「お前もだ!!」

スーパージェイ「だけど私達は負ける訳にはいかないわ!!」

そう言いながらぶつかり合う両者。ジャステイスヒーロー達の壮絶な戦いが繰り広げられていた。再生幹部達を次々と倒していくアイゼンアロイス達。カロン、カワリーノ、ノーザ、ジョーカー、グランマンモスと激しい死闘を繰り広げるファイツ達。

カワリーノ「あなたもしぶといですな。」

烈陣丸「拙者は簡単にはやられる訳にはいかないでござる!!」

カワリーノ「どちらが生き残るかやり合いましょうか!!」

カワリーノが爪で烈陣丸に引つ掻きかかった。烈陣丸はキュアメタル戦烈鬼で防ぎ、斬撃した。

カワリーノ「はあああああー!!」

烈陣丸に向かって光弾を連続で放ったカワリーノ。烈陣丸もカワリーノの光弾をキュアメタル戦烈鬼で次々と斬り払った。

カワリーノ「死ねえい!!」

カワリーノが烈陣丸に向かって、引つ掻きかかったが、

烈陣丸「そこかあっ!!」

カワリーノの動きを見切りながらかわして、そのままキュアメタル戦烈鬼でカワリーノの急所を刺した。

カワリーノ「ぐわあっ!!」

烈陣丸に急所を刺されて最期を遂げたカワリーノ。

烈陣丸「これでお主も終わったな。」

カワリーノに勝利した烈陣丸。

ノーザ「死ねえ!!」

ノーザが植物の木を出現して、ボルケリートとマスターストレンジャーに攻撃した。

ボルケリート「うおおおおー!!」

ボルケリートの地獄の炎によって、植物の木を燃やし尽くし、パンチで殴り込んだ!!

ノーザ「貴様あつ!!」

ボルケリートに光弾をいくつか放ち、さらに鶴を出して叩き込んだ。

マスターストレンジャー「!!」

マスターストレンジヤーが念力でノーザの動きを封じた。

ノーザ「舐めるなあっ!!」

マスターストレンジヤーの念力を自力で破りながら、鶴で叩き込んだ。

ボルケリート「ノーザああああー!!」

ボルケリートが気を集中して全身に地獄界の業火を纏いながら、ノーザに突撃した。

ノーザ「無駄よ、強化された私の身体であなたが勝つ訳が・・・!!」

ボルケリート「俺の炎を甘く見るんじゃないやねえ、地獄つてのを教えてやる!!」

地獄界の業火を最大限に引き出しながらノーザに思いつきり業火で飲み込んだ。

ノーザ「バカな、この私が?!」

ボルケリート「ノーザ、地獄界の業火で燃え尽きて墜ちろ!!」

ノーザ「うわああああー!!」

ボルケリートの地獄の業火によって燃やし尽くされるノーザ。

ノーザ「私が、私が、私が!!」

最期を遂げたノーザ。

ボルケリート「これで終わったな、ノーザ、地獄界へ還るんだな。」

ノーザを倒したボルケリート。

ジョーカー「貴様も終わりにしてやる!!」

鉄斎に向けて剣で斬りかかるジョーカー。ジョーカーの剣を白羽取りし、へし折った。

鉄斎「ジョーカー、貴様の終わりだ。」

ジョーカー「終わり?!んな訳ねえだろうがあ!!テメエが終わりなんだよお、死ねええええー!!」

ジョーカーがもう一本剣を出して、鉄斎に斬撃した。

鉄斎「くう!!」

ジョーカーの攻撃を受けた鉄斎。ジョーカーが鉄斎の間合いに駆け込んで来た。

ジョーカー「あなたもあの出来損ないのインフェルノの幹部みたいにしてやるよお!!」

鉄斎「ドラン達の事か?!」

ジョーカー「悲しい過去を持った出来損ない共もハデユス様の役に立てなかったな、おまけに救われず惨めに散ったと。」

鉄斎「貴様、死んだドラン達を侮辱するつもりか?!」

ジョーカー「俺は事実を言ってやったんだぜ、違うか?!」

鉄齋「ジョーカー、貴様は死者を冒瀆した事は許さん!!」

倒されたドラン・キュラー3世達を侮辱したジョーカーに鉄齋の怒りが爆発し、彼の顔に拳で殴り込んだ。

鉄齋「はああああー!!」

鉄齋が獄気を集中して両拳を発光しながら、ジョーカーに殴り込んだ。

ジョーカー「があっ!!」

鉄齋「まだまだだ!!」

続いて鉄齋が獄気を集中しながら両腕を前に出して獄気の光線を放ち、ジョーカーに喰らわした。

鉄齋「これで終わりだ、鉄齋昇落地!!」

鉄斎がジョーカーにトドメを刺すべく、彼のに向かって肩車のように持ちながら上空を飛び、ジョーカーを地面に向けて激突した。

ジョーカー「うわああああー!!」

鉄斎の怒りの連続攻撃によって最期を遂げたジョーカー。

鉄斎「ジョーカー、地獄界へ還れ、2度と蘇るな。」

ジョーカーを倒した鉄塚。

グランマンモス「死ねええええー!!」

ス。
グランマンモスがバルクマツスラーとスーパーレディに体当たりするグランマンモス。

バルクマツスラー「!!」

片手でグランマンモスを受け止めたバルクマツスラー。

バルクマツスラー「うおおおおおー!!」

バルクマツスラーが拳でグランマンモスに殴り込んだ。

スーパーレディ「グランマンモス、あなたの負けよ!!」

グランマンモス「俺様が負けだと、ふざけるなあ!!俺はまだ負けん!!」

グランマンモスがバルクマツスラーとスーパーレディを鼻で持ち上げて、放り投げた。

グランマンモス「アイスロッククラッシュャー!!」

グランマンモスの新たな必殺技アイスロッククラッシュャーでバルクマツスラーとスーパーレディを鼻で凍らせたまま放り投げて、鼻で叩き込み、最後に2人を持ち上げ

て、地面にぶち込んだ。

バルクマツスラー、スーパーレディ「うおおおおおー!!」

グランマンモスの必殺技を喰らいつつ直ぐに立ち上がって、反撃に出たバルクマツスラーとスーパーレディ。

スーパーレディ「レディメガトンアッパー!!」

スーパーレディが獄気を集中して両拳を発光しながらグランマンモスに殴り込んだ。

バルクマツスラー「はああああー!!」

続いてバルクマツスラーがグランマンモスに張り手で殴り込んだ。

バルクマツスラー「バルク昇雲投落撃!!」

バルクマツスラーが全身に獄気を集中して発光しながらグランマンモスを掴んで高ジャンプしたまま地上に急降下し、掴んだグランマンモスを思いつきりぶつけて衝撃波を喰らわした。

グランマンモス「ぐおおおおー!!」

バルクマツスラーの必殺技を受けたグランマンモスは戦闘不能となった。

グランマンモス「俺が俺が俺が……!!」

最期を遂げたグランマンモス。

バルクマツスラー「お前もかなり強かったぞ。」

グランマンモスに勝利したバルクマツスラーとスーパーレディ。

ファイツ「はああああー!!」

ファイツがカロンのパンチでストレートした。

カロン「デスサイズシャドウスラッシュ!!」

カロンが分身体を形成して、ファイツと五官王に斬撃する。

五官王「!!」

五官王が自身の五感でカロンの分身体を打ち消した。

カロン「私の分身を破るとは?!」

五官王「わしに偽りは通用せん!!」

カロン「閻魔大王と同じ地獄界の十王。」

五官王「お主はいくつかの悪事を重ねているようだな。」

カロン「貴様は黙っている!!」

大鎌を五官王に向けて振りかかるカロン。

ファイツ「ファイツスーパーイーグルキック!!」

ファイツが全身に獄気を集中して発光しながらカロンに喰らわした。

ファイツ「カロン、お前を今日で終わらす。」

カロン「貴様が最後だ!!」

カロンが大鎌でファイツに斬りかかった。

ファイツ「はああああー!!」

ファイツがキュアマタルジャステイスシールドで防ぎ、そのままカロンに投擲した。

ファイツ「ファイツブロウニングパンチ!!」

ファイツがカロンを左右からパンチで連打して打ち込み、最後に右腕を360°回転しながら思いつきり殴り込んだ。

カロン「ぐわあああー!!」

ファイツの必殺技を喰らったカロン。

五官王「これで終わりだ、五官針射獄拳!!」

五官王が周囲に無数の針を出現して放ってカロんに喰らわし、最後に獄気で形成した光状の針を纏いながらカロんに喰らわした。

カロン「ここまでか。」

五官王の必殺技によって最期を遂げたカロン。無事勝利した2人。

ラスフェック「くっ、ここで引き下がる訳には。」

アイゼンアロイス「ここまでだな。」

ラスフェックラーの前にアイゼンアロイスとウオーテイルと鉄齋が現れた。

ロークット「なっ!!」

アゼール「くっ!!」

ブランバーク「ちいっ!!」

ウオーテイル「あなた達の負けよ、大人しくしなさい。」

鉄齋「負けを認めるんだ。」

アイゼンアロイス達に負けを認めたラスフェックラー達。

五官王「奴らはわしが地獄界送りにする。」

アイゼンアロイス「五官王様。」

五官王「邪悪な人間達を地獄界に送る。」

五官王が地獄の門を出現して、門が開いて、ラスフェックラーら邪悪な人間達を吸い込

み始めた。

ラスフェックター、ロークット、アゼール、ブランバーク「うわあああああー!!」

地獄の門によって吸い込まれたラスフェックターら邪悪な人間達全員を地獄界へ送り込んだ。

五官王「これでグローヴァリテイも終わったようだな。」

グローヴァリテイの大半がほぼ壊滅し、残るはシン・ハデウス、レヴォリユード、ゼシウス、ゴーゴル三姉妹だけだ。

次回 90話へ続く

第90話 シン・ハデユス

シン・ハデユスのいる場所へと向かうプリキュア達。

パラレルワールド

最果ての世界

ストライク「ハデユスの所まで急いで行かないと!!」

閻魔大王「ハデユスが何をするのか分からん、奴の野望を食い止めればならん!!」

シンシア「ハデユスを今度こそ倒していかないと!!」

キオネシス「ハデユスは奥にいます。」

シン・ハデユスが奥にいる事で急いで向かうストライク達。奥へ辿り着いたプリキュア達は、そこにシン・ハデユス、レヴオリユード、ゼシウス、ゴーゴル三姉妹、ハデユスピーチ、ハデユスパッションがおり、そこに集められたレジエントプリキュライドジュエル、フェアリージュエル、滅ぼして来た星、世界の核が集まっていた。

シン・ハデウス「待っていたぞ、プリキュア、閻魔大王達よ!!」

閻魔大王「ハデウス!!」

レヴオリュード(戦闘形態)「プリキュア、貴様達の最期にしてやる!!」

ゴーゴルステノー「久しぶりのようですね、あなた達。」

フェッター「レヴオリュード、ゼシウス、ゴーゴル三姉妹!!」

ハデウスピーチ、ハデウスパッション「……」

ストライク、シンシア「ママ!!」

奥に集まっていたシン・ハデウス達ら。ストライク、シンシアの母親もその中にいた。

ジャック「ストライク、シンシア。」

ストライク「ラブママ。」

シンシア「せつなママ。」

クイーン「2人のお母さんね。」

閻魔大王「ラブ、せつな。」

オーズイーン「2人はハデウスに操られている。」

ストライク「うっ。」

シンシア「やっぱり戦えない。ママを相手に戦うのは。」

マジック「2人共、あたし達と一緒に助けよう。」

フエッター「私達で必ず助け出そう。」

ストライク「みんな。」

ミステイック「ゴーゴル三姉妹は私とアラムとジュールでやるわ。」

アラム「インフェルノにいた者同士のケリを着けないとな。」

ジュール「あああつ。」

ヴァイド「レヴオリユードはわたしがやる。」

フエッター「私とクイーンはゼシウスをやるわ。」

クイーン「マジックとジャックはストライクとシンシアと一緒に2人を助けてあげ

て。」

マジック「2人のお母さんをあたし達で助け出すよ。」

ジャック「ストライク、シンシア、一緒に行きましょう。」

ストライク「今度こそママを助け出そう。」

シンシア「今度こそ絶対。」

閻魔大王「ワシらはハデウスをやる。」

キオネシス「ハデウスは私達で食い止めます。」

ストライク「お願いします。」

ミステイック、アラム、ジュルフはゴーゴル三姉妹、ヴァイドはレヴオリュード、フェツター、クイーンはゼシウス、ストライク、シンシア、マジック、ジャックはハデウスピーチ、ハデウスパッション、閻魔大王ら10大神はシン・ハデウスとそれぞれやり合う事となった。

ミステイック、アラム、ジュルフ「はあああああー!!」

ミステイック、アラム、ジュルフがゴーゴルステノー、ゴーゴルアレー、ゴーゴルドゥーサに直接攻撃を加えた。

ゴーゴルステノー「ステノヴァイパーフラッシュブラスト!!」

ゴーゴルステノーが頭の無数の蛇を発光しながらミステイック、アラム、ジュルフに喰らわした。

ミステイック「プリキュア・ミステイックマーシャルキック!!」

ミステイックが空中ジャンプし、右脚に獄気を集中しながらグレーの発光して、ゴールステノーに踵下ろし蹴りした。

ゴールアレー「アレーサウンドボイス!!」

ゴールアレーが口から音波を放ち、ミステイック、アラム、ジュルフに喰らわした。

アラム「プリキュア・アラムストームパンチ!!」

アラムが右腕に獄気を集中してグリーンの光状の竜巻を纏いながらゴールアレーに殴り込んだ。

ゴールドゥーサ「ドゥーザスネークテンペスト!!」

ゴールドゥーサが頭の無数の蛇伸ばしながらミステイック、アラム、ジュルフに喰

らわした。

ジュルフ「プリキュア・ジュルフブレイクパンチ!!」

ジュルフが右腕に獄気を集中してオレンジの光状を纏いながらゴーゴルドゥーサに殴り込んだ。

ゴーゴルステノー「やりますね。」

ミステイツク「そつちもだな。」

ゴーゴルアレー「インフェルノにいた者同士決着着けようかしら。」

アラム「あああつ。」

ゴーゴルドゥーサ「生き残るのは私達よ!!」

ジュルフ「決着を着ける!!」

インフェルノにいた者同士、互いに決着を着け始めようとする両者。

レヴォリユード（戦闘形態）「死ね!!」

レヴォリユードがヴァイドに向かって両手に纏った闇状の刃で斬りかかった。

ヴァイド「!!」

ヴァイドが手刀でレヴォリユードの攻撃を受け止めた。

レヴォリユード（戦闘形態）「貴様とやり合うとはな。」

ヴァイド「お前をここで終わらせてやる!!」

レヴォリユード（戦闘形態）「それは貴様だ、ケルベニウスダークカッターショット!!」

レヴォリユードが片手に闇状の刃を纏いながらヴァイドに放った。

ヴァイド「プリキュア・ヴァイドマシンガンパンチ!!」

ヴァイドが両拳を発光しながらレヴォリユードに殴り込んだ。

レヴオリユード（戦闘形態）「貴様あつ!!」
ヴァイド「お前こそ!!」

激闘を繰り広げるヴァイドとレヴオリユード。

フェッター「クイーン!!」

クイーン「一緒に行くよ!!」

フェッターとクイーンが同時にかかって、ゼシウスを挟み撃ちする。

ゼシウス（戦闘形態）「ふん!!」

2人の攻撃を同時に防ぐゼシウス。

ゼシウス（戦闘形態）「この程度か。」

フェッター「プリキュア・フェッターザンパーショット!!」

クイーン「プリキュア・クイーンクロススラッシュ!!」

フェッターとクイーンが必殺技を同時に放って、ゼシウスに喰らわした。

ゼシウス（戦闘形態）「少しはやるな、だが、ウロボロスワームスラッシャー!!」

ゼシウスが背中にあるウロボヌスリングを外して空間の穴に入れて、各方向からウロボヌスリングをシュートしてフェッター、クイーンに喰らわした。

フェッター、クイーン「はああああー!!」

ゼシウスの必殺技を喰らいつつ、そのまま同時攻撃でゼシウスに喰らわすフェッターとクイーン。

ストライク「ママ、目を覚まして!!」

シンシア「お願い、元に戻って!!」

必死母親2人を元に戻そうと必死でかかるストライクとシンシア。ハデユスピーチ

とハデウスパッションが2人に対し、容赦のない攻撃が振りかかった。

マジック、ジャック「させない!!」

マジックとジャックがハデウスピーチとハデウスパッションの攻撃を防いだ。

ストライク「マジック!!」

シンシア「ジャック!!」

マジック「あの2人を正気に戻していこう。」

ジャック「戦うのは辛いかもしれないけど、やるしかないね。」

4人がかりでハデウスピーチとハデウスパッションに挑み、マジックとジャックがパ
ンチを同時に出して2人に喰らわした。

ハデウスピーチ、ハデウスパッション「・・・。」

ダメージを喰らいつつ、無表情でいるハデウスピーチとハデウスパッションは4人に

直接パンチで殴りにかかった。

マジック「プリキュア・マジックエクスペロージョン!!」

マジックが片手で人差し指を前に出しながら、ハデユスピーチとハデユスパッションの真下に魔法陣を出して大爆発させた。

ハデユスピーチ、ハデユスパッション「……。」

マジックの必殺技を喰らいつつ、ハデユスピーチとハデユスパッションはマジックに對して強力な光線を放った。

マジック「うわあっ!!」

ハデユスピーチとハデユスパッションの攻撃を喰らったマジック。

ストライク、シンシア、ジャック「たああああー!!」

ストライク、シンシア、ジャックが3人同時に空中キックでハデウスピーチとハデウスパッションに喰らわした。ハデウスピーチとハデウスパッションは3人に直接殴り込んだ。

シン・ハデウス「閻魔、貴様とまた戦えるのは数億年以來だな。」

閻魔大王「ハデウス、貴様の息の根を止めてやる!!」

閻魔大王が地獄界の炎を放ちながら、シン・ハデウスに喰らわした。

シン・ハデウス「デス・ザ・ディストラクションバースト!!」

シン・ハデウスが邪悪な力で形成した強力な光線を全身から放ち、閻魔大王らに攻撃した。

オーズイーン「はあああああー!!」

オーズイーンがトゥールアックスでシン・ハデユスに斬りかかった。

シン・ハデユス「ふん!!」

オーズイーンのトゥールアックスを片手で受け止めたシン・ハデユス。

シン・ハデユス「はあっ!!」

オーズイーンを突き飛ばしたシン・ハデユス。

キオネシス「6人ががりでもハデユスを簡単にはいかないのですね。」

アテニーノ「ハデユスの方もかなり手強いようすね。」

武風大將軍「奴からとてつもない強さを感じる。」

ガイアーン「そのようだ。」

6人ががりでもシン・ハデユスに勝つ事に簡単には行かず、シン・ハデユスも壮絶な強さを持っていた。

ゴーゴルステノー「散りなさい!!」

ミステイックに頭の無数の蛇を伸ばして襲いかからせるゴーゴルステノー。

ミステイック「プリキュア・ミステイックサークルスラッシュ!!」

ミステイックが左腕に装着しているミステイックサークルスピナーに獄気を集中しながらグレーの光状の円輪を纏わせて、ゴーゴルステノーの頭の無数の蛇に斬撃したが、ゴーゴルステノーの頭の無数の蛇が口で彼女の必殺技を受け止めた。

ゴーゴルステノー「私が簡単にやられると思いましたが?」

ミステイック「くっ!!」

ゴーゴルステノー「では、行きますよ、ステノーダークブリザード!!」

ゴーゴルステノーが闇の魔力で形成して、漆黒の吹雪を放ち、ミステイック、アラム、ジュールをまとめて喰らわした。

ミステイック、アラム、ジュール「うわああああー!!」

ゴーゴルステノーの必殺技を喰らったミステイック、アラム、ジュール。

ゴーゴルアレー「もう終わりかしら？」

ゴーゴルドゥーサ「さてトドメを刺していこうかな？」

倒れた3人に向かってトドメを刺そうとするが、

アラム「プリキュア・アラムストームツインスライサー!!」

ジュール「プリキュア・ジュールフラッシュャー!!」

アラムとジュールが必殺技を発動しながらゴーゴルアレーとゴーゴルドゥーサに喰らわした。

ゴーゴルアレー、ゴーゴルドゥーサ「なっ、バカな!!」

2人の必殺技を喰らって最期を遂げたゴーゴルアレー、ゴーゴルドゥーサ。

ゴーゴルステノー「アレー、ドゥーサ!!」

ミステイツク「残りはお前1人だけだ。」

ゴーゴルステノー「よくも!!」

ゴーゴルステノーが妹の仇を取ろうと3人にかかった。

ミステイツク「プリキュア・ミステイツクサークルスラッシュユ!!」

ミステイツクが左腕に装着しているミステイツクサークルスピナーに獄気を集中しながらグレーの光状の円輪を纏わせて、ゴーゴルステノーの胴体に斬撃した。

ゴーゴルステノー「うぐっ!!」

ミステイツクに胴体を斬撃されたゴーゴルステノー。

ゴーゴルステノー「ハデユス様、レヴオリユード様……。」

最期を遂げたゴーゴルステノー。

フェッター「たあああああー!!」

フェッターがゼシウスの間合いに飛び込んで斬撃しかかった。

ゼシウス（戦闘形態）「甘い!!」

素手でキュアカタナテツポウ刀モードを受け止めたゼシウス。ゼシウスの背後からクイーンが迫った。

クイーン「プリキュア・クイーンバスターアタック!!」

クイーンがキュアブレイカーに獄気を集中しながらイエローの発光して、銃口から強

力な光刃を出して、ゼシウスの背後に斬り込んだ。

ゼシウス（戦闘形態）「ぐわあっ!!」

クイーンの必殺技によって、背後のウロボヌスリングを破壊された。

ゼシウス（戦闘形態）「ウロボヌスリングが!!」

フェッター「これが最後だ、プリキュア・フェッターソードザンバー!!」

フェッターがキュアカタナテツポウ刀モードの刀身に獄気を集中してパープルの発光を纏いながらゼシウスに斬撃した。

ゼシウス（戦闘形態）「ここまでか!!」

最期を遂げたゼシウス。

ヴァイド「レヴオリユードおおおー!!」

レヴオリユードにパンチで連打して喰らわすヴアイド。

レヴオリユード（戦闘形態）「死ねええええー!!」

レヴオリユードがヴアイドに光線を放ち、喰らわした。

ヴアイド「はあああああー!!」

ヴアイドがレヴオリユードの顔にパンチで殴り込んだ。

レヴオリユード（戦闘形態）「ケルベニウスダーククラッシュ!!」

レヴオリユードが片手から強烈な邪悪光線をヴアイドに放ったが、かわされた。

レヴオリユード（戦闘形態）「しぶとい奴め!!」

ヴアイド「簡単にはいかないようだな。」

両者互角に渡り合いながら繰り広げる2人。

ストライク「ママあつ、お願い元に戻って!!」

シンシア「ママ、お願い目を覚まして!!」

母親2人と戦いながら必死で戦うストライクとシンシア。ハデウスピーチとハデウスパッションが掌から強力な光線を放とうとするが、

マジック、ジャック「はあああああー!!」

マジックとジャックが同時にパンチで2人に殴り込んだ。

ストライク、シンシア「ママあつ!!」

ストライクとシンシアはハデウスピーチとハデウスパッションに間合に入り込んで、2人を抱きしめた。

ストライク「ラブママ、元に戻って!!」

シンシア「せつなママ、お願い、優しいママに戻って!!」

ストライクとシンシアが洗脳された母親2人を抱きしめながら泣きながら説得した。ハデユスピーチとハデユスパッションが自分達を抱き締めるストライクとシンシアを振り払おうとするが、背後からマジックとジャックが2人の後ろを抱きしめた。

マジック「あなた達2人、ストライクとシンシアの母親でしょ!!」

ジャック「2人がどんな想いで会いたかったか?!」

マジックとジャックもハデユスピーチとハデユスパッションを説得する。

ストライク「お願いだから元に戻ってよ!!」

シンシア「だから戻ってよ、ママ!!」

ストライクとシンシアが泣きながら母親に必死で訴えるが、2人の涙に当たって異変

が起きた。

ハデウスピーチ、ハデウスパッション「!!」

2人の流れた涙にハデウスピーチとハデウスパッションが突如、苦しみ出した。

ハデウスピーチ、ハデウスパッション「あつ、あああああー!!」

洗脳されたハデウスピーチとハデウスパッション娘の涙によつて苦しみ出し、自我を取り戻そうとする。

ハデウスピーチ「アイカ・・・!!」

ハデウスパッション「はるな・・・!!」

娘の名前を挙げて必死で自我を取り戻そうとするハデウスピーチとハデウスパッション。

シン・ハデウス「いかん、このままでは。」

自我を取り戻そうとするハデウスピーチとハデウスパッションに対し、シン・ハデウスがある事をし始めた。

シン・ハデウス「プリキュアと妖精の力よ、我の元に全て集まれ!!」

全てのレジェンドプリキュアライドジュエルとフェアリーライドジュエルと滅ぼして来た星、世界の核を自身に取り込み始めたシン・ハデウス。さらにハデウスピーチとハデウスパッションの2人を取り込もうとし、吸い込み始めた。

ハデウスピーチ「アイカ!!」

ハデウスパッション「はるな!!」

自我を取り戻しつつあった母親2人がシン・ハデウスによって吸収された。

ストライク、シンシア「ママあつ!!」

母親を取り戻そうとしたものの、シン・ハデウスによって吸収されてしまった。歴代プリキュアの力と妖精と滅ぼして来た星、世界の核を吸収したシン・ハデウスに異変が起きた。

シン・ハデウス「全てを吸収した我の力を見よ!!」

シン・ハデウスに変化し、巨大な姿へととなり、百メートルを超える巨体。悪魔のように黒い、大きな両翼。頭部から突き出た五本の角。獅子のような長いたてがみ。顔は鉄仮面の様な龍の顔、八重歯のような二本の巨大な牙が生えた口からは長い舌が垂れ下がっている。全身至る所に存在する人レジェンドプリキュライドジュエルとフェアリーライドジュエル、腹部にピーチとパッションが取り込まれていた。

シン・ハデウス最終形態「さあ、全て終わらせてやろう!!」

次回 91話へ続く

第91話 レヴオリユードとの決着

レジェンドプリキュアライドジュエルとフェアリーライドジュエルと滅ぼして来た星、世界の核、ピーチ、パツシヨンを取り込んだシン・ハデウスは最終形態へととなり、全世界を滅亡の危機へと向かった。

パラレルワールド

最果ての世界

シン・ハデウス最終形態「見よ、これが全てを取り組んだ力だ!!」

マジック「プリキュアと妖精の力が!!」

ジャック「ハデウスに全部吸収されてしまったわ!!」

クイーン「何とか取り返さない」と。

ミスティック「ハデウスがここで倒さないと。」

アラム「ハデウスを倒せば真の平和は必ずしも来る。」

ジュルフ「あああつ。」

ストライク、シンシア「ママ。」

フエッター「ストライク、シンシア、あなたの母は必ず助け出す。」

ヴァイド「みんな、これが最後の決戦だ、気を引くな!!」

シン・ハデウス最終形態を倒して、真の平和や奪われたプリキュアの力、妖精、そして体内に取り込まれたストライクとシンシアの母親のピーチ、パッションを取り返す事だ。

シン・ハデウス「我が力を見せてやる!! デス・ザ・デイストラクションバースト!!」

シン・ハデウス最終形態が邪悪な力で形成した強力な光線を全身から放ち、ストライク達に攻撃をする。ストライク達の前にアイゼンアロイスらジャスティスヒーローが全員が集結し、シン・ハデウス最終形態の攻撃を防いだ。

ストライク「アイゼンアロイス!!」

アイゼンアロイス「待たせたな!!」

フェアリール「こちらも済ませたわ!!」

ファイツ「みんなでハデウスを倒そう!!」

閻魔大王「一体化するぞ!!」

ストライク、シンシア、フェッター、マジック、ジャック、クイーンはアイゼンアロイスらジャスティスヒーローらが全員集結し、閻魔大王ら10大神と一体化し、アルティメットゴッドフォームへとなり、シン・ハデウスに挑みにかかった。

レヴォリユード（戦闘形態）「待て、プリキュア!!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム達の前にレヴォリユードが現れた。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「レヴォリユード!!」

レヴォリユード（戦闘形態）「ハデユス様の前に私と戦え!!」

クイーンアルティメットゴッドフォーム「こんな時に!!」

レヴォリユード（戦闘形態）「さあ、全て尽くしてやろうか!!ケルベニウスデスレイン!!」

レヴォリユードが掌を挙げたまま、無数の光線を大量に放ち、ストライクアルティメットゴッドフォーム達に喰らわした。

マジックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドサンダーレイン!!」

マジックアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッドソールハンマーに獄気を集めながら無数のアスゴルドの雷をレヴオリュードに喰らわした。

レヴオリュード（戦闘形態）「散れ!!」

レヴオリュードが猛スピードでマジックアルティメットゴッドフォームにパンチで殴り込んだ。

ジャックアルティメットゴッドフォーム「たあああああー!!」

ジャックアルティメットゴッドフォームがレヴオリュードにパンチで殴り込んだ。

レヴオリュード（戦闘形態）「ケルベニウスデスカッターブレイク!!」

レヴオリユードが両腕に強力な闇状の刃を纏いながらジャックアルティメットゴツドフォームに斬撃しかかった。

フェッターアルティメットゴツドフォーム「!!」

フェッターアルティメットゴツドフォームがアルティメットゴツド烈陣セイバーと武風超武神刀でレヴオリユードの攻撃を防いだ。

レヴオリユード（戦闘形態）「私の邪魔をするなあつ!!」

力一杯出し切りながらフェッターアルティメットゴツドフォームを押し返した。

レヴオリユード（戦闘形態）「ケルベニウスダークカッターショット!!」

レヴオリユードが片手に闇状の刃を纏いながらフェッターアルティメットゴツドフォームに巨大な闇状の刃を放った。

クイーンアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド岩丈神壁!!」

クイーンアルティメットゴッドフォームが獄気を集中して巨大な岩状の壁を形成し、レヴォリユードの攻撃を防いだ。

レヴォリユード（戦闘形態）「どこまで邪魔をする、貴様らは!!」

レヴォリユードが瞬間移動しながらクイーンアルティメットゴッドフォームの真後ろに現れて、背後に攻撃した。

レヴォリユード（戦闘形態）「死ねええええー!!」

レヴォリユードが掌を上げて、無数の光弾を放ちながら、ストライクアルティメットゴッドフォーム達に喰らわした。

ストライクアルティメットゴッドフォーム、シンシアアルティメットゴッドフォーム
「はあああああー!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームとシンシアアルティメットゴッドフォーム
ムが同時にパンチを出して、レヴオリユードに殴り込んだ。

レヴオリユード（戦闘形態）「貴様ら如きに!!」

レヴオリユードが1人で奮闘しながらストライクアルティメットゴッドフォーム達
9人を相手に繰り広げた。

レヴオリユード（戦闘形態）「ケルベニウスダーククラッシュ!!」

レヴオリユードが片手から強烈な邪悪光線をストライクアルティメットゴッド
フォーム達に放った。

一同「ううううっ!!」

レヴォリユードの放った必殺技を喰らったストライクアルティメットゴッドフォーム達。

ミステイック、アラム、ジユルフ、ヴァイド「はああああー!!」

ミステイック、アラム、ジユルフ、ヴァイドが4人同時にレヴォリユードに喰らわすが、

レヴォリユード（戦闘形態）「舐めるなあっ!!」

全身から衝撃波を放ち、4人まとめて蹴散らした。

ミステイック「たった1人であれだけの強さがあるなんて!!」

レヴォリユードがたった1人で圧倒的する強さに苦戦を強いられるプリキュア達。

レヴオリユード（戦闘形態）「私を倒すなど不可能だ。貴様らにはハデユス様とは戦わせない。私が終わらせてやる。」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「レヴオリユード、あなたをここで終わらす。」

レヴオリユード（戦闘形態）「終わるのは貴様達だ!!」

レヴオリユードがストライクアルティメットゴッドフォーム達に向かって突撃しかかった。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームがレヴオリユードの接近に対し、パンチで殴り込んだ。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「はああああー!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッドブレイディオ

ソードと閻魔超武神剣でレヴォリユードに斬撃した。

レヴォリユード（戦闘形態）「舐めるなあっ!!」

両拳から繰り出すパンチでストライクアルティメットゴッドフォームにお見舞いしたレヴォリユード。

レヴォリユード（戦闘形態）「ケルベニウスラッシュユブレイカー!!」

レヴォリユードが最速で空を飛んで自由自在に駆けながら、ストライクアルティメットゴッドフォーム達9人に突撃した。

レヴォリユード（戦闘形態）「終わりだ、ケルベニウスダークザトリプルクラッシュシュート!!」

レヴォリユードが両手とケルベルウスメイルの胴体のケルベロスの口から強烈な邪悪光線を同時に放ち、ストライクアルティメットゴッドフォーム達9人に喰らわした。

レヴオリユード（戦闘形態）「!!」

喰らったと思われていたストライクアルティメットゴッドフォーム達らは、クイーンアルティメットゴッドフォームのプリキュア・アルティメットゴッド岩丈神壁で防がれていた。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「レヴオリユード、あたし達プリキュアは負けない、どんな事でも絶対!!」

シンシアアルティメットゴッドフォーム「私達はハデユスを倒すまで絶対負けない!!」

フェッターアルティメットゴッドフォーム「私達はこの命がある限り負けない!!」

マジックアルティメットゴッドフォーム「プリキュアは決して負けない!!」

ジャックアルティメットゴッドフォーム「私達が

生きている限り、ハデユスの野望を終わらせる!!」

クイーンアルティメットゴッドフォーム「守りたい物を絶対守り抜いて見せる!!」

ミステイック「ハデユスを終わらせて平和を取り戻す!!」

アラム「未来を切り開くために!!」

ジュール「明日に向かって進むために!!」

ヴァイド「今日で最後の戦いにする!!」

レヴォリユード（戦闘形態）「ふざけた事を!!」

レヴォリユードが再び必殺技のケルベニウスダークザトリプルクラッシュユースートを放ったが、

ストライクアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドノヴァバースト!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームが全身に獄気を集中して最大限のフルチャージしてアルティメットゴッドウイングで羽ばたきながらレヴォリユードに向かって突撃し、全身から最大限のフルチャージした地獄界の火炎を放出した。

レヴォリユード（戦闘形態）「ぐおおおおおー!!」

ストライクアルティメットゴッドフォームの最強の必殺技によって跡形もなく最期を遂げて完全消滅されたレヴオリユード。

シン・ハデウス最終形態「役立たず目が。」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「ハデウス、残るのはお前だけだ!!」

残ったのはシン・ハデウス最終形態1人だけだ。シン・ハデウス最終形態を倒せば全てが終わり、平和が訪れる。プリキユア達は果たして倒せるのか?!

次回 91話へ続く

第9 2話 最終決戦

た。 ついにシン・ハデユス最終形態と始まった。これがプリキュア達の最後の戦いとなつた。

シン・ハデユス最終形態「貴様達を滅ぼしてやる!!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「滅びるのはお前だ、ハデユス!!」

シンシアアルティメットゴッドフォーム「奪われたプリキュアの力と妖精と滅ぼして来た世界と星の核、そしてママを返して貰うよ!!」

シン・ハデユス最終形態「世界や宇宙を作り直し、我が支配する世界を!!」

フェッター「お前の野望はここまでだ!!」

シン・ハデユス「ならば死ね、デス・ザ・コキュートスブレイク!!」

シン・ハデユス最終形態が邪悪な力で形成した吹雪でストライクアルティメットゴッドフォーム達に喰らわした。

マジックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドマジカルナツクル!!」

マジックアルティメットゴッドフォームが直ぐに反撃に出て、アルティメットゴッドレディグロブに獄気を集中しながらマゼンタの光状を纏いながらパンチでシン・ハデウス最終形態に殴り込んだ。

シン・ハデウス最終形態「無駄だ、効かん!!」

フェッターアルティメットゴッドフォーム「これなら、プリキュア・アルティメットゴッド衝輪蓮撃斬!!」

フェッターアルティメットゴッドフォームが凰超武神刀に獄気を集中しながら長いパールルの光状を纏いながらシン・ハデウス最終形態に向かって大きく振り下ろして斬撃したが、それでも効かなかった。

シン・ハデウス最終形態「無駄だ、我は全てを取り込んだ。貴様達が勝つなど不可能だ。」

プリキュアの力と妖精と滅ぼして来た世界と星の核、ピーチ、パッションを取り込んだ事で絶対的な強さを誇り、プリキュアの攻撃を傷一つも付かないシン・ハデウス最終形態。

シン・ハデウス最終形態「デス・ザ・デストラクションバースト!!」

シン・ハデウス最終形態が邪悪な力で形成した強力な光線を全身から放ち、ストライクアルティメットゴッドフォーム達に喰らわした。

一同「うわああああー!!」

シン・ハデウス最終形態の攻撃を喰らったストライクアルティメットゴッドフォーム達。

ジャックアルティメットゴッドフォーム「4年前よりさらに強くなっている……!!」
クイーンアルティメットゴッドフォーム「ハデウスを傷一つすら付けることも出来ない

いわ!!」

ミスティック「プリキュアや妖精達の力を取り組んでいる以上、これじゃ勝つ事も不可能よ。」

アラム「どうすればいいんだ・・・!!」

ジュルフ「何か手はないのか?」

ヴァイド「私の持つ無、虚空の力なら!!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「ヴァイド。」

ヴァイド「私の持てる力、全てを出し切ってみせる。」

ヴァイドは自分の持つ無、虚空の力で全てを出していく事でシン・ハデウス最終形態に挑んだ。

ヴァイド「ハデウス、貴様に私の全てをぶち込んでやる!!」

シン・ハデウス最終形態「貴様如きが無駄な足掻きを。」

ヴァイド「なら見せてやる、プリキュア・ヴァイドブレイクプラスター!!」

ヴァイドが必殺技を最大限に引き出しつつ、ヴァイドグローブスを装着したまま両手

を合わせて、全身を集中しながら最大限に引き出した無、虚空の力の光線をシン・ハデユス最終形態に喰らわした。

シン・ハデユス最終形態「!!」

ヴァイドの最大限に引き出した必殺技を喰らったシン・ハデユス最終形態。

ヴァイド「これどうだ!!」

シン・ハデユス最終形態「この程度か。」

何とヴァイドの最大限に引き出した必殺技を受けても尚無傷だったシン・ハデユス最終形態。

ヴァイド「効いてないだ?!」

シン・ハデユス最終形態「我が簡単にやられるとも思ったか? 我をまだまだみくびっていたようだな。」

アラム「ヴァイドの無、虚空の力でも通用しないと云うのか?!」

シン・ハデユス最終形態「私の力を再び見るがいい、デス・ザ・エビルアポカリプス!!」

シン・ハデユス最終形態が邪悪な力を全身に集中して強力な光状の悪魔型の光線を放ち、ストライクアルティメットゴッドフォーム達に喰らわした。

一同「うわあああああー!!」

シン・ハデユス最終形態の必殺技によって壮絶なダメージを負ったストライクアルティメットゴッドフォーム達。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「負けない・・・!!」

シンシアアルティメットゴッドフォーム「負けてたまるものか・・・!!」

ダメージを喰らいつつ直ぐに立ち上がるストライクアルティメットゴッドフォーム達。

ジャックアルティメットゴッドフォーム「私達の力、見せてあげるわ!!」

マジックアルティメットゴッドフォーム「全てを決めてみせる!!」

プリキュア全員がシン・ハデウス最終形態に対し、一斉に必殺技を発動させた。

シンシアアルティメットゴッドフォーム「

プリキュア・アルティメットゴッドギガンブレイクトバスター!!」

フェッターアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド二刃
動烈斬!!」

マジックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドシャイ
ニングブレイカー!!」

ジャックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドツヴァ
イランサー!!」

クイーンアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド静震鈴
音!!」

ミステイック「プリキュア・ミステイックサークルショット!!」

アラム「プリキュア・アラムストームツインスライサー!!」

ジュルフ「プリキュア・ジュルフクラッシュャー!!」

シンシアアルティメットゴッドフォーム達8人が一斉にシン・ハデウス最終形態に喰らわした。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドノヴァバースト!!」

最後にストライクアルティメットゴッドフォームが全身に獄気を集めて最大限のフルチャージしてアルティメットゴッドウイングで羽ばたきながらシン・ハデウス最終形態に向かって突撃し、全身から最大限のフルチャージした地獄界の火炎を放出した。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「これで終わりだ!!」

全員が一斉に必殺技を放ち、シン・ハデウス最終形態に喰らわしたが、

シン・ハデウス最終形態「こんな程度か？」

全員が一斉に放った必殺技を全て喰らっても無傷だったシン・ハデユス最終形態。

マジックアルティメットゴッドフォーム「そんな……!!」

クイーンアルティメットゴッドフォーム「何で……!!」

シン・ハデユス最終形態「我は全てを取り込み、無敵の存在となった。倒すなど不可能だ!!」

全てを取り込んだシン・ハデユス最終形態は絶対的な存在で、倒す事も不可能。シン・ハデユス最終形態の口から光線を放った。

一同「うわあああああぁー!!」

シン・ハデユス最終形態の攻撃を喰らったストライクアルティメットゴッドフォーム達。
「

ストライクアルティメットゴッドフォーム「あたし達はもう負けなの……!!」

シンシアアルティメットゴッドフォーム「ママやプリキュアや妖精達を取り返せないままもう何も出来ないの・・・?!」

フェッターアルティメットゴッドフォーム「私達はどうする事も出来ないの・・・!!」
ジャックアルティメットゴッドフォーム「何もかもがダメだったの・・・!!」

ミステイック「私達はハデウスには勝てなかったのか・・・!!」

アラム「何でだ、何で勝てなかったんだ!!」

ジュール「うわああああー!!」

ヴァイド「ここまでか?!」

シン・ハデウス最終形態になす術もなくこのまま絶望するプリキュア達。

シン・ハデウス最終形態「お前達の最期だ。」

絶望するプリキュア達にトドメを刺そうとするシン・ハデウス最終形態。その時、シン・ハデウス最終形態に異変が起きた。

シン・ハデウス最終形態「?!」

突如、シン・ハデウス最終形態の全身に異変起き始め、全身にあるレジェンドプリキュアライドジュエルとフェアリーライドジュエルが光り出した。

シン・ハデウス最終形態「何だ、何がどうなっている?！」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「一体どうなっているの?！」

シン・ハデウス最終形態に異変が起きた事に驚くプリキュア達。

メツプル「諦めちゃだめメポ!!」

ミツプル「あなた達はプリキュアは諦めちゃだめミポ!!」

シン・ハデウス最終形態の動きを止め始めたフェアリーライドジュエルに入っているメツプル、ミツプルだ。

トットム「メツプル先輩、ミツプル先輩!!」

メツプル「今僕達妖精はハデウスを食い止めているメポ!!」

ミツプル「私達妖精が力を持ってハデユスを食い止めている間にプリキュアの力と妖精の力をミポ!!」

ペル、アーニャ「ミツプル先輩。」

ヴァイド「妖精達が食い止めている間に全てを取り戻すぞ!!」

メツプルとミツプルがシン・ハデユス最終形態を食い止めている間に全てを取り戻しにかかろうとするプリキュア達。

シン・ハデユス最終形態「くっ、そんな事はさせん!!」

取り込んでいる妖精達に食い止めれつつもシン・ハデユス最終形態は口から光線を放った。

クイーンアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド岩丈神壁!!」

クイーンアルティメットゴッドフォームが獄気を集中して巨大な岩状の壁を形成し、

シン・ハデウス最終形態の攻撃を防いだ。その隙にストライクアルティメットゴッドフォーム達はシン・ハデウス最終形態に取り込まれているレジエンドプリキュライドジュエルとフェアリーライドジュエルを取り始めた。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「返してもらおうよ!!」

シン・ハデウス最終形態の全身にあるレジエンドプリキュライドジュエルとフェアリーライドジュエルを取り出すとするストライクアルティメットゴッドフォーム達。

シン・ハデウス最終形態「やめろおおおおー!!」

シン・ハデウス最終形態が自身の全身にあるレジエンドプリキュライドジュエルとフェアリーライドジュエルを取り出されるのに必死で抵抗し、メップルとミップル達妖精を抑え、プリキュア達を振り払った。

シン・ハデウス最終形態「我に勝とうなど不可能だ!!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「それはどうかな?!

ストライクアルティメットゴッドフォーム達はシン・ハデウス最終形態の全身に取り込んだブラックとホワイトのレジェンドプリキュライドジュエルを取り出す事に成功した。

シン・ハデウス最終形態「なっ、バカな?！」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「先輩達のカ、返してもらおうよ!!」

シンシアアルティメットゴッドフォーム「ハデウス、この力はお前だけの物じゃない!!」

シン・ハデウス最終形態「貴様らあっ!!」

ブラックとホワイトのレジェンドプリキュライドジュエルを抜き取ったストライクアルティメットゴッドフォーム達にシン・ハデウス最終形態は直ぐに襲いかかろうとするが、

シン・ハデウス最終形態「?!」

突如、シン・ハデユス最終形態の全身にあるレジエンドプリキュライドジュエルとフェアリーライドジュエルが抜け始め、さらに腹部に取り込まれているピーチとパッションも取り出された。

シン・ハデユス最終形態「ぐわあああああー!!」

全てを取り出されたシン・ハデユス最終形態。

マジックアルティメットゴッドフォーム「全てのプリキュライドジュエルとフェアリーライドジュエルが!!」

フェッターアルティメットゴッドフォーム「ピーチとパッションも解放されてるわ!!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム、シンシアアルティメットゴッドフォーム「ママ!!」

シン・ハデユス最終形態から全てを解放され、母親2人を取り返したが、

ヴァイド「ハデユスを倒さないとならないな。」

シン・ハデユス最終形態「貴様らあつ!!」

全てを取り出されたシン・ハデユス最終形態は怒り狂い、全身に溜め込んである強烈な邪気を解き放った。

シン・ハデユス最終形態「皆殺しにしてやる!!」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「ハデユス、お前を今度こそ終わらせてやる!!」

次回 最終話へ続く

最終話

シン・ハデユス最終形態を今度こそ終わらすためプリキュア達が真の最後の戦いに挑んだ。

パラレルワールド

最果ての世界

シン・ハデユス最終形態「死ね、プリキュアあつ!!」

大量の槍状の光弾を放ったシン・ハデユス最終形態。ストライクアルティメットゴツドフォーム達は大量の槍状の光弾を薙ぎ払った。

プリキュア一同「はあああああー!!」

ストライクアルティメットゴツドフォーム達が一斉にシン・ハデユス最終形態にパンチで殴り込んだ。

シン・ハデユス最終形態「ぐうっ!!」

レジェンドプリキュライドジュエルとフェアリーライドジュエルとピーチとパツシオンを失った事でダメージを喰らったシン・ハデユス最終形態。

シンシアアルティメットゴッドフォーム「プリキュアと妖精を失ったお前にダメージは通ったね!!」

フェツターアルティメットゴッドフォーム「今のお前を倒す事は可能だ!!」

シン・ハデユス最終形態「我を倒すだど?!我を侮るなど言っているだろ!!」

シン・ハデユス最終形態が全身から波動を放った。

クイーンアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド岩丈神壁!!」

クイーンアルティメットゴッドフォームが獄気を集中して巨大な岩状の壁を形成し、

シン・ハデユス最終形態の波動を防いだ。

マジックアルティメットゴッドフォーム「ハデユス、これ以上好きにさせない!!」
ジャックアルティメットゴッドフォーム「今まで犠牲にされた人達の仇取らせてもら
うよ!!」

マジックアルティメットゴッドフォームとジャックアルティメットゴッドフォーム
がシン・ハデユス最終形態を左右から挟んで攻撃した。

シン・ハデユス最終形態「ぐうつ、いい気になるなあっ!!」

マジックアルティメットゴッドフォームとジャックアルティメットゴッドフォーム
に爪で薙ぎ払ったシン・ハデユス最終形態。

シン・ハデユス最終形態「デス・ザ・コキュートスブレイク!!」

シン・ハデユス最終形態が邪悪な力で形成した吹雪でストライクアルティメットゴッ

ドフォーム達に凍結させて、強烈なダメージを与えた。

シン・ハデウス最終形態「我を簡単に倒せると思うな!!」

ミステイック「私達プリキユアを舐めるな!!」

ミステイック、アラム、ジュールフ、ヴァイドが同時にかかってシン・ハデウス最終形態にジャンプキックでお見舞いした。

シン・ハデウス最終形態「雑魚如きが我を舐めるな!!」

シン・ハデウス最終形態が全身から無数の光弾を放ち、ストライクアルティメットゴッドフォーム達に与えた。

シン・ハデウス最終形態「デス・ザ・ツインシックルサイズ!!」

シン・ハデウス最終形態が邪悪な力で形成したエネルギー状の鎌を両腕に纏いながらストライクアルティメットゴッドフォーム達に斬撃した。

シン・ハデウス最終形態「どうだ、我の力を思い知ったか?！」

シン・ハデウス最終形態の必殺技を喰らったストライクアルティメットゴッドフォーム達。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「まだやられない・・・!!」

それでも立ち上がるストライクアルティメットゴッドフォーム達。

シンシアアルティメットゴッドフォーム「私達プリキュアは何度だって立ち上がる・・・!!」

シン・ハデウス最終形態「黙れ、貴様らが今日が最期だと言うのを!!」

マジックアルティメットゴッドフォーム「最期はお前だ、ハデウス!!」

クイーンアルティメットゴッドフォーム「今日で終わらす!!」

シン・ハデウス最終形態「いい気になるなあっ!!」

諦めない不屈さを見せるストライクアルティメットゴッドフォーム達にシン・ハデユス最終形態は本気で殺しにかかった。

シン・ハデユス最終形態「デス・ザ・エビルアポカリプス!!」

シン・ハデユス最終形態が邪悪な力を全身に集中して強力な光状の悪魔型の光線をストライクアルティメットゴッドフォーム達に放った。

一同「うわあああー!!」

シン・ハデユス最終形態が放った必殺技を喰らったプリキュア達。

シン・ハデユス最終形態「今度こそ終わりだあっ!!」

そのまま勢いよくかかりながらストライクアルティメットゴッドフォーム達に強襲するシン・ハデユス最終形態。その時、空からヒビが割れて穴が開き、中から謎のビツ

トがシン・ハデユス最終形態に攻撃した。

シン・ハデユス最終形態「!!」

ファイナルゼロ「ハデユス!!」

中から現れたのはかつて14年前にシン・ハデユス最終形態に次元の歪みに放り込まれたファイナルゼロだった。

ヴァイド「ゼロ!!」

トットム「あれはキュアゼロじゃねえか!!」

ペル「14年前、ハデユスとの戦いで敗れて次元の歪みに放り込まれたと。」

アーニヤ「どうやって……」

ヴァイド「初めてだな……」

ファイナルゼロ「あああつ。」

ヴァイド「どうやって抜けたんだ。」

ファイナルゼロ「それはハデユスが取り込んだプリキュアの力と妖精を解放した事で

次元の歪みにも影響は出たんだ、それを機に私は自力で出たんだ。」

ヴァイド「ようやく抜け出せたな。」

シン・ハデウス最終形態「ゼロめ、また抜けたからと言って逆にもう1度次元の歪みに放り込んでやる。」

ファイナルゼロ「それはどうかな？今のお前は1人だ、仲間もいないお前に勝ち目などない。」

シン・ハデウス最終形態「黙れ、最強である我を倒せると思うな!!」

ファイナルゼロ「今のお前は段々落ちていくな。お前、一緒にやれるか？」

ストライクアルティメットゴッドフォーム「はい!!」

ファイナルゼロ「全員で力を合わせるぞ!!」

プリキュア一同「おおおっ!!」

ファイナルゼロの帰還に緊急参戦し、シン・ハデウス最終形態を倒すためプリキュア達が一致団結し、かかった。

マジックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドリカバリー!!」

マジックアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッドレディグロープに獄氣をしながら味方全体を回復させた。

ジャックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドツヴァイランサー!!」

ジャックアルティメットゴッドフォームがアキレイオスジャベリンとアルティメットゴッドウオーテイルスピアに獄氣を集中して巨大なブルーの光状を纏いながら2つの槍でシン・ハデウス最終形態に喰らわした。

シン・ハデウス最終形態「ぐっ、ほざくなあつ、デス・ザ・ブレイカーナックル!!」

シン4444ハデウス最終形態が邪悪な力で形成した光状を両腕に纏いながらジャックアルティメットゴッドフォームに殴りにかかった。

フェッターアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド二刃動烈斬!!」

フエッターアルティメットゴッドフォームが右手に武凰超武神刀、左手にアルティメットゴッド烈陣セイバーに獄気を集中して巨大なパープルの光状を纏いながら2つの刀を合わせてシン・ハデウス最終形態の必殺技を防いだ。

シン・ハデウス最終形態「何?！」

フエッターアルティメットゴッドフォーム「私達の力を舐めないで貰うわ!!」

シン・ハデウス最終形態「我を舐めるな!!」

フエッターアルティメットゴッドフォームに攻撃しようとしかかるが、

ミステイック、アラム、ジュールフ「たああああー!!」

ミステイック、アラム、ジュールフがシン・ハデウス最終形態の顔に飛び蹴りで打ち込んだ。
んだ。

シン・ハデウス最終形態「この雑魚があっ!!」

ミステイック、アラム、ジユルフを薙ぎ払ったシン・ハデユス最終形態。

マジックアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドシャイニングブレイカー!!」

マジックアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッドソールハンマーとトウルルアックスを合体して巨大な斧となり、獄気して魔力で集まった巨大なマゼンタの光状を纏いながら光り輝く巨大な斧を振り回しながらシン・ハデユス最終形態に喰らわした。

シン・ハデユス最終形態「ぐおっ!!」

マジックアルティメットゴッドフォームの必殺技を喰らって姿勢を崩したシン・ハデユス最終形態。

シンシアアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドギガン

ブレイクトバスター!!」

シンシアアルティメットゴッドフォームがアルティメットゴッドキオネシスバスターライフルとアルティメットゴッドガンニークスツインライフルを合体して、3つ獄気を集中して3つの銃口から強力な赤色光線を放ち、シン・ハデウス最終形態に喰らわした。

シン・ハデウス最終形態「貴様あつ!!」

プリキュア達の攻撃を受け続けたシン・ハデウス最終形態は怒り狂いながら無数の光線を放った。

シン・ハデウス最終形態「ぶち殺してやる!!」

自分を追い込んだプリキュア達に対し殺しにかかった。

シン・ハデウス最終形態「死ね、デス・ザ・デストラクションバースト!!」

シン・ハデユス最終形態が邪悪な力で形成した強力な光線を全身から、ストライクアルティメットゴッドフォームに向けたが、

クイーンアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド岩丈神壁!!」

クイーンアルティメットゴッドフォームが再び獄気を集中して巨大な岩状の壁を形成し、シン・ハデユス最終形態の攻撃を防いだ。

クイーンアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッド静震鈴音!!」

クイーンアルティメットゴッドフォームがガイアーンベルに獄気を集中して鳴らしながらシン・ハデユス最終形態にを響し、真下から無数の岩山を出現して喰らわした。

シン・ハデユス最終形態「ぐわああああー!!」

プリキュア達の必殺技によって追い詰められていくシン・ハデユス最終形態。そしてストライクアルティメットゴッドフォームとヴァイドとファイナルゼロが最後を決めた。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「プリキュア・アルティメットゴッドノヴァバースト!!」

ヴァイド「プリキュア・ヴァイドブレイクブラスタ―!!」

ファイナルゼロ「プリキュア・ゼロオブファイナルノヴァ!!」

3人が同時に必殺技を発動して放ちながらシン・ハデユス最終形態に喰らわした。

シン・ハデユス最終形態「ぐわああああー!!」

3人のプリキュアの強力な必殺技を喰らったシン・ハデユス最終形態。だが、喰らっても尚も耐えていた。

シン・ハデユス最終形態「我は不滅だ、我は簡単にやられん……。」

ボロボロの姿になりつつそれでも不屈さを持つシン・ハデユス最終形態。プリキュアの必殺技をたくさん受けても倒れず、不死身なのか？その時、全てのレジェンドプリキュライドジュエルとフェアリーライドジュエルがストライクアルティメットゴッドフォーム達の元を集まった。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「プリキュライドジュエルとフェアリーライドジュエルが……。」

シンシアアルティメットゴッドフォーム「集まっている。」

シンシアアルティメットゴッドフォーム「ハデユスを倒すために使えと……。」

レジェンドプリキュライドジュエルとフェアリーライドジュエルがシン・ハデユス最終形態を倒すように使うようにと意志が伝わり、ストライクアルティメットゴッドフォーム達は手にしてかざし、レジェンドプリキュライドジュエルとフェアリーライドジュエルが光が放ち、シン・ハデユス最終形態に浴びせた。

シン・ハデウス最終形態「ぐわああああー!!」

光を浴びて徐々に消滅していくシン・ハデウス最終形態。

シン・ハデウス最終形態「我は我は我はあああああー!!」

消滅したシン・ハデウス最終形態。そしてついに悪の親玉が倒された事により、戦いは終わった。

マジックアルティメットゴッドフォーム「ついに戦いは終わったね。」

ジャックアルティメットゴッドフォーム「やっとハデウスを倒せたね。」

クイーンアルティメットゴッドフォーム「これでだね。」

ヴァイド「あああつ。」

ファイナルゼロ「これで戦いも全て終わったな。全て取り戻すことが出来たな。」

ミステイック「そうね。」

アラム「グローヴァリテイも終わった。」

ジュルフ「これで2度と悪が蔓延る事はなくなつたな。」

ハデユスを倒した事で戦いも終わり、全てを取り戻した。

ストライクアルティメットゴッドフォーム「後はママ達を連れて帰ろう。」
シンシアアルティメットゴッドフォーム「プリキュアの力と妖精を返していこう。」
ファイナルゼロ「あああつ。」

戦いが終わったプリキュア達は帰還した。長い戦いも終わり、平和が訪れた。

ハデユスとの戦いが終わってから1年が経過した。各世界では平和が訪れた。

パラレルワールド

地獄界

閻魔庁

閻魔大王の部屋

閻魔大王「グローヴァリテイの人間達は無間地獄で裁かれているな。」

五官王「はっ。」

鉄齊「奴らは長年悪業を尽くしたようです。」

閻魔大王「地獄は悪事を犯した人間を裁くためにあるからな。」

アイゼンアロイス「これで終わりのようですね。」

ファイツ「私達の戦いも終わりましたね。」

閻魔大王「今後奴等のような人間は2度と現れなくなるようだ。」

パラレルワールド

アスゴルド王国

アスゴルド城

オーズイーン「トットム、ペル、アーニヤ、ソール、スカヴァアご苦労だった。」

トットム、ペル、アーニヤ「はっ。」

ソール「父上、ようやくこれで戦いも終わりましたね。」

スカヴァア「平和も訪れましたね。」

オーズイーン「あああつ。」

パラレルワールド

亜苦羅

松の都

臍衛城

謙之介「姉上、ようやく亜苦羅も昔みたいに戻って来たようです。麗奈「そうね。」

烈陣丸「取り戻せて何よりもでござる。」

光陰命「この国はみんなで。」

隼疾風「民と共にある。」

翔華楽「亜苦羅も平和がやつとだね。」

大和丸「ようやくだな。」

パラレルワールド

アルフオート

クレア「アルフオートも徐々に回復しつつあるね。」

ワプニオン「ハデユスの支配から解放されてようやくだな。」

ミラーシエナ「やつとだね。」

エスパネス「ハデユスがいなくなった今平和が来たようだ。」

パラレルワールド

人間界

文「人間界もかつての大昔みたいになるようね。」

海「人間界は新しく生まれ変わる。」

咲耶歌「これから人々が協力し合って助け合って生きて行く社会。」
ウオーテイル「みんなが協力して生きていく未来を。」
バルクマツスラー「新しい未来のために。」
アイカ「あたし達で未来を築く。」
はるな「未来は私達で。」

終わり。